



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の内容
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. その他
- 3. マスタ設定
 - 3.1. 概要
 - 3.1.1. Kaiden!マスタ
 - 3.1.2. IM-共通マスタ
 - 3.2. 項目マスタ
 - 3.2.1. 概要
 - 3.2.2. メンテナンス
 - 3.2.3. インポート
 - 3.2.4. エクスポート
 - 3.3. 金融機関マスタ
 - 3.3.1. 概要
 - 3.3.2. メンテナンス
 - 3.3.3. インポート
 - 3.3.4. エクスポート
 - 3.4. 会社口座マスタ
 - 3.4.1. 概要
 - 3.4.2. メンテナンス
 - 3.4.3. インポート
 - 3.4.4. エクスポート
 - 3.5. 従業員口座マスタ
 - 3.5.1. 概要
 - 3.5.2. メンテナンス
 - 3.5.3. インポート
 - 3.5.4. エクスポート
 - 3.6. 通勤経路マスタ
 - 3.6.1. 概要
 - 3.6.2. メンテナンス
 - 3.6.3. 経路検索機能
 - 3.6.4. 通勤費Web連携
 - 3.7. フィルタリング設定
 - 3.7.1. 概要
 - 3.7.2. マスタメンテナンス
 - 3.7.3. 絞り込み条件
 - 3.8. プロジェクトマスタ
 - 3.8.1. 概要
 - 3.8.2. メンテナンス
 - 3.8.3. インポート
 - 3.8.4. エクスポート
 - 3.9. 税区分マスタ
 - 3.9.1. 概要
 - 3.9.2. メンテナンス
 - 3.9.3. インポート
 - 3.9.4. エクスポート
 - 3.10. 勘定科目マスタ
 - 3.10.1. 概要
 - 3.10.2. メンテナンス
 - 3.10.3. インポート
 - 3.10.4. エクスポート
 - 3.11. 経費区分マスタ
 - 3.11.1. 概要
 - 3.11.2. メンテナンス

- 3.11.3. インポート
- 3.11.4. エクスポート
- 3.12. 支払方法マスタ
 - 3.12.1. 概要
 - 3.12.2. メンテナンス
 - 3.12.3. インポート
 - 3.12.4. エクスポート
- 3.13. 支払分類マスタ
 - 3.13.1. 概要
 - 3.13.2. メンテナンス
 - 3.13.3. インポート
 - 3.13.4. エクスポート
- 3.14. 日当マスタ
 - 3.14.1. 概要
 - 3.14.2. メンテナンス
 - 3.14.3. インポート
 - 3.14.4. エクスポート
- 3.15. 仕訳パラメータマスタ
 - 3.15.1. 概要
 - 3.15.2. メンテナンス
 - 3.15.3. インポート
 - 3.15.4. エクスポート
- 3.16. 会計期間マスタ
 - 3.16.1. 概要
 - 3.16.2. メンテナンス
- 3.17. 仕入先マスタ
 - 3.17.1. 概要
 - 3.17.2. メンテナンス
 - 3.17.3. インポート
 - 3.17.4. エクスポート
- 3.18. 申請書マスタ
 - 3.18.1. 概要
 - 3.18.2. メンテナンス
 - 3.18.3. インポート
 - 3.18.4. エクスポート
- 3.19. transit managerユーザマッピングマスタ
 - 3.19.1. 概要
 - 3.19.2. メンテナンス
 - 3.19.3. インポート
 - 3.19.4. エクスポート
- 3.20. 法人カードマスタ
 - 3.20.1. 概要
 - 3.20.2. メンテナンス
 - 3.20.3. インポート
 - 3.20.4. エクスポート
- 3.21. 法人カード会社マスタ
 - 3.21.1. 概要
 - 3.21.2. メンテナンス
 - 3.21.3. エクスポート
- 3.22. 法人カード会社契約マスタ
 - 3.22.1. 概要
 - 3.22.2. メンテナンス
 - 3.22.3. インポート
 - 3.22.4. エクスポート
- 3.23. 法人カードブランドマスタ
 - 3.23.1. 概要
 - 3.23.2. メンテナンス
 - 3.23.3. インポート
 - 3.23.4. エクスポート

- 3.24. 法人カード契約体系マスタ
 - 3.24.1. 概要
 - 3.24.2. メンテナンス
 - 3.24.3. インポート
 - 3.24.4. エクスポート
- 3.25. Cloud-Base契約マスタ
 - 3.25.1. 概要
 - 3.25.2. メンテナンス
 - 3.25.3. インポート
 - 3.25.4. エクスポート
- 3.26. Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ
 - 3.26.1. 概要
 - 3.26.2. メンテナンス
 - 3.26.3. インポート
 - 3.26.4. エクスポート
- 3.27. 案件番号採番ルールマスタ
 - 3.27.1. 概要
 - 3.27.2. メンテナンス
 - 3.27.3. インポート
 - 3.27.4. エクスポート
 - 3.27.5. 置換文字列
- 3.28. 案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ
 - 3.28.1. 概要
 - 3.28.2. メンテナンス
 - 3.28.3. インポート
 - 3.28.4. エクスポート
- 3.29. J'sNAVI Jr.契約マスタ
 - 3.29.1. 概要
 - 3.29.2. メンテナンス
 - 3.29.3. インポート
 - 3.29.4. エクスポート
- 3.30. J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ
 - 3.30.1. 概要
 - 3.30.2. メンテナンス
 - 3.30.3. インポート
 - 3.30.4. エクスポート
- 3.31. J'sNAVI Jr.法人カードマスタ
 - 3.31.1. 概要
 - 3.31.2. メンテナンス
 - 3.31.3. インポート
 - 3.31.4. エクスポート
- 3.32. 出張手配ユーザマッピングマスタ
 - 3.32.1. 概要
 - 3.32.2. メンテナンス
 - 3.32.3. インポート
 - 3.32.4. エクスポート
- 3.33. 出張手配代理マスタ
 - 3.33.1. 概要
 - 3.33.2. メンテナンス
 - 3.33.3. インポート
 - 3.33.4. エクスポート
- 3.34. RODEMユーザマッピングマスタ
 - 3.34.1. 概要
 - 3.34.2. メンテナンス
 - 3.34.3. インポート
 - 3.34.4. エクスポート
- 3.35. 予算単位マスタ
 - 3.35.1. 概要

- 3.35.2. メンテナンス
- 3.35.3. インポート
- 3.35.4. エクスポート
- 3.36. 予算バージョンマスタ
 - 3.36.1. 概要
 - 3.36.2. メンテナンス
 - 3.36.3. インポート
 - 3.36.4. エクスポート
- 3.37. 予算マスタ
 - 3.37.1. 概要
 - 3.37.2. メンテナンス
 - 3.37.3. インポート
 - 3.37.4. エクスポート
- 3.38. 変更事由マスタ
 - 3.38.1. 概要
 - 3.38.2. メンテナンス
 - 3.38.3. インポート
 - 3.38.4. エクスポート
- 3.39. 住所種別マスタ
 - 3.39.1. 概要
 - 3.39.2. インポート
 - 3.39.3. エクスポート
- 3.40. 郵便番号マスタ
 - 3.40.1. 概要
 - 3.40.2. インポート
- 3.41. 従業員住所マスタ
 - 3.41.1. 概要
 - 3.41.2. メンテナンス
 - 3.41.3. 住所検索機能
 - 3.41.4. インポート
 - 3.41.5. エクスポート
- 3.42. 安否確認ユーザマッピングマスタ
 - 3.42.1. 概要
 - 3.42.2. メンテナンス
 - 3.42.3. インポート
 - 3.42.4. エクスポート
- 3.43. 駅すばあと検索条件設定マスタ
 - 3.43.1. 概要
 - 3.43.2. メンテナンス
 - 3.43.3. インポート
 - 3.43.4. エクスポート
- 3.44. 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ
 - 3.44.1. 概要
 - 3.44.2. メンテナンス
 - 3.44.3. インポート
 - 3.44.4. エクスポート
- 3.45. 権限設定マスタ
 - 3.45.1. 概要
 - 3.45.2. メンテナンス
 - 3.45.3. インポート
 - 3.45.4. エクスポート
- 3.46. PDFデータ出力設定マスタ
 - 3.46.1. 概要
 - 3.46.2. メンテナンス
 - 3.46.3. インポート
 - 3.46.4. エクスポート
- 3.47. 受領方法マスタ
 - 3.47.1. 概要
 - 3.47.2. メンテナンス

- 3.47.3. インポート
- 3.47.4. エクスポート
- 3.48. ファイルバス管理マスタ
 - 3.48.1. 概要
 - 3.48.2. メンテナンス
 - 3.48.3. インポート
 - 3.48.4. エクスポート
- 3.49. 設定マスタ
 - 3.49.1. 概要
 - 3.49.2. メンテナンス
 - 3.49.3. インポート
 - 3.49.4. エクスポート
- 3.50. 適格請求書設定マスタ
 - 3.50.1. 概要
 - 3.50.2. メンテナンス
 - 3.50.3. インポート
 - 3.50.4. エクスポート
- 3.51. 事業者区分・交付義務の免除理由マスタ
 - 3.51.1. 概要
 - 3.51.2. メンテナンス
 - 3.51.3. インポート
 - 3.51.4. エクスポート
- 3.52. 適格請求書発行事業者の公表情報マスタ
 - 3.52.1. 概要
 - 3.52.2. インポート
- 3.53. ジョブ管理マスタ
 - 3.53.1. 概要
 - 3.53.2. メンテナンス
 - 3.53.3. インポート
 - 3.53.4. エクスポート
- 3.54. 従業員家族マスタ
 - 3.54.1. 概要
 - 3.54.2. メンテナンス
 - 3.54.3. インポート
 - 3.54.4. エクスポート
- 3.55. 支払先マスタ
 - 3.55.1. 概要
 - 3.55.2. メンテナンス
 - 3.55.3. インポート
 - 3.55.4. エクスポート
- 3.56. ファイル分類内訳マスタ
 - 3.56.1. 概要
 - 3.56.2. メンテナンス
 - 3.56.3. インポート
 - 3.56.4. エクスポート
- 3.57. 通勤費Web連携設定マスタ
 - 3.57.1. 概要
 - 3.57.2. メンテナンス
 - 3.57.3. インポート
 - 3.57.4. エクスポート
- 3.58. 通勤費Webユーザマッピングマスタ
 - 3.58.1. 概要
 - 3.58.2. メンテナンス
 - 3.58.3. インポート
 - 3.58.4. エクスポート
- 4. ワークフロー設定
 - 4.1. 概要
 - 4.2. コンテンツ定義

- 4.2.1. 新規登録
- 4.2.2. 更新
- 4.2.3. コピー
- 4.2.4. 申請書の連携
- 4.2.5. プレビュー表示
- 4.2.6. コンテンツバージョン設定時の操作方法
- 4.2.7. 初期データ
- 4.3. ルート定義
- 4.4. フロー定義
- 4.5. その他の定義
 - 4.5.1. 案件プロパティ定義
 - 4.5.2. ルール定義
 - 4.5.3. メール定義
- 5. 運用時の操作
 - 5.1. 仕訳データ
 - 5.1.1. 概要
 - 5.1.2. 仕訳のパターン
 - 5.1.3. エクスポート
 - 5.1.4. 実行パラメータ
 - 5.2. 振込データ
 - 5.2.1. 概要
 - 5.2.2. メンテナンス
 - 5.2.3. エクスポート
 - 5.3. 精算ステータス
 - 5.3.1. 概要
 - 5.3.2. 精算ステータス変更
 - 5.4. アーカイブ
 - 5.5. 案件削除
 - 5.6. 案件操作
 - 5.7. 法人カードデータを取り込み精算するための関連操作
 - 5.7.1. 利用データ取得
 - 5.7.2. 利用データ再取得
 - 5.7.3. 利用データテーブルメンテナンス
 - 5.7.4. 法人カード会社取り込み
 - 5.8. J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作
 - 5.8.1. 利用データ取得
 - 5.8.2. 出張手配実績データ取得
 - 5.8.3. 法人カード利用データテーブル (J'sNAVI Jr.) メンテナンス
 - 5.8.4. 出張手配実績データテーブルメンテナンス
 - 5.9. BTMサービス利用実績データメンテナンス
 - 5.9.1. 概要
 - 5.9.2. メンテナンス
 - 5.10. 申請書公開設定
 - 5.10.1. 概要
 - 5.10.2. 公開状況変更
 - 5.11. 決裁連携データメンテナンス
 - 5.11.1. 概要
 - 5.11.2. 決裁状況の変更
 - 5.11.3. 連携対象者の変更
 - 5.11.4. 決裁状況レポートの表示
 - 5.12. ストレージのファイルを操作するための関連操作
 - 5.12.1. ストレージアップロード／ダウンロード
 - 5.13. ジョブ実行
 - 5.13.1. 概要
 - 5.13.2. ジョブネット実行
 - 5.13.3. ジョブネット実行結果の確認
 - 5.14. ファイル管理
 - 5.15. ファイル削除
 - 5.16. 通勤費Webと連携して通勤経路を取得するための関連操作

- 5.16.1. 通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポート
- 5.16.2. 通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート
- 5.17. Builder編集
 - 5.17.1. 概要
 - 5.17.2. Builder編集
- 6. リファレンス
 - 6.1. 各種操作
 - 6.1.1. 一覧画面の操作
 - 6.1.2. 期間の操作
 - 6.1.3. 明細行の操作
 - 6.1.4. 明細行（カード形式）の操作
 - 6.1.5. マスタ検索
 - 6.1.6. セレクトボックス
 - 6.1.7. 登録番号検索
 - 6.2. ジョブの設定に関する補足
 - 6.2.1. インポートモードと実行結果
 - 6.2.2. ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて
 - 6.3. 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法
 - 6.3.1. その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法
 - 6.4. 交通系ICカードデータを使用して精算する方法
 - 6.4.1. 概要
 - 6.4.2. 連携イメージ
 - 6.4.3. 交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.4.4. 取消明細を使用する
 - 6.5. 法人カードデータを使用して精算する方法
 - 6.5.1. Cloud-Baseと連携して精算する方法
 - 6.5.2. J'sNAVI Jr.と連携して精算する方法
 - 6.6. 予算管理を実施する方法
 - 6.6.1. 概要
 - 6.6.2. 編成した予算を使用してKaiden!の申請を実施する
 - 6.6.3. 予算を連携した申請書を取り消す
 - 6.6.4. 予算関連マスタの補足
 - 6.7. カレンダーデータを使用して精算する方法
 - 6.7.1. 概要
 - 6.7.2. 連携イメージ
 - 6.7.3. カレンダーから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.8. 出張手配サービスと連携する方法
 - 6.8.1. 概要
 - 6.8.2. 連携イメージ
 - 6.8.3. Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」を使用して出張手配する方法
 - 6.8.4. 出張手配実績データを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.8.5. 取消明細を使用する
 - 6.9. 事前申請書・精算申請書を取り消す方法
 - 6.9.1. 事前申請書・精算申請書を取り消す申請書の作成手順
 - 6.9.2. 検索対象となる申請書
 - 6.9.3. 申請時の注意
 - 6.10. 安否確認システムと連携する方法
 - 6.10.1. 概要
 - 6.10.2. Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法
 - 6.10.3. Kaiden!の出張事前申請を取り消す際に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法
 - 6.10.4. 出力ファイルの定義
 - 6.11. 申請書にアラートを表示する方法
 - 6.11.1. 申請書にアラートを表示する方法
 - 6.11.2. 確認コメントが必須入力のアラートの操作
 - 6.11.3. 確認コメントが任意入力のアラートの操作
 - 6.12. 駅すばあとWebサービスと連携する方法
 - 6.12.1. 概要
 - 6.12.2. 駅すばあとWebサービスを使用してKaiden!の申請を実施する

- 6.13. 仕訳の出力項目を変更する方法
 - 6.13.1. 設定ファイル
 - 6.13.2. タグ概要
 - 6.13.3. 追加可能な項目
- 6.14. 税率変更時のマスタ設定方法
 - 6.14.1. 税区分マスタの設定
 - 6.14.2. 経費区分マスタの設定
- 6.15. ガジェットテンプレートを使用方法
 - 6.15.1. ガジェットテンプレートを使用する方法
 - 6.15.2. ガジェットのテンプレート登録の操作
 - 6.15.3. ガジェットのテンプレート読込の操作
 - 6.15.4. ガジェットのテンプレート削除の操作
- 6.16. 申請書に任意のメッセージを表示する方法
 - 6.16.1. 申請書に任意のメッセージを表示する方法
- 6.17. BTMサービスと連携する方法
 - 6.17.1. BTMサービス利用実績データを使用してKaiden!の精算を実施する
 - 6.17.2. 取消明細を使用する
- 6.18. 申請書公開設定機能を使用する方法
 - 6.18.1. 申請書公開設定機能を使用する方法
- 6.19. 申請書紐づけ機能を使用する方法
 - 6.19.1. 申請書紐づけ機能を使用してKaiden!の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する
- 6.20. フォーム付きPDFを添付して申請する方法
 - 6.20.1. フォーム付きPDFを添付して申請する方法
 - 6.20.2. 出力ファイルの定義
- 6.21. ファイル連携の機能を使用する方法
 - 6.21.1. 概要
 - 6.21.2. 運用時の操作
 - 6.21.3. リファレンス
- 6.22. 申請書を取り消す方法
 - 6.22.1. 申請書を取り消す申請書の作成手順
 - 6.22.2. 検索対象となる申請書
 - 6.22.3. 申請時の注意
- 6.23. インボイス制度対応に必要なKaiden!の設定
 - 6.23.1. 関連マスタの設定
 - 6.23.2. 仕訳出力ファイルの設定
 - 6.23.3. 精算申請書の作成
 - 6.23.4. 請求書払申請書の作成
- 6.24. ジョブ実行機能からジョブを実行する方法
 - 6.24.1. 関連マスタの設定
 - 6.24.2. ジョブ実行機能の使用法
- 6.25. 申請書マスタのインポート・エクスポート機能を用いて申請書情報を移行する方法
 - 6.25.1. 前提
 - 6.25.2. 手順
 - 6.25.3. 環境間の設定比較
- 6.26. 通勤費Webから通勤経路をインポートする方法
 - 6.26.1. 概要
 - 6.26.2. 通勤費Webから通勤経路をインポートする
- 7. オプションモジュールの操作
 - 7.1. Racco連携モジュールの操作
 - 7.1.1. 概要
 - 7.1.2. 連携イメージ
 - 7.1.3. マスタ設定
 - 7.1.4. 運用時の操作
 - 7.1.5. リファレンス
 - 7.2. 出張なび連携モジュールの操作
 - 7.2.1. 概要
 - 7.2.2. 連携イメージ
 - 7.2.3. マスタ設定
 - 7.2.4. 運用時の操作

- 7.2.5. リファレンス
- 7.3. JCS連携モジュールの操作
 - 7.3.1. 概要
 - 7.3.2. 連携イメージ
 - 7.3.3. マスタ設定
 - 7.3.4. 運用時の操作
 - 7.3.5. リファレンス
- 7.4. DataDelivery連携モジュールの操作
 - 7.4.1. 概要
 - 7.4.2. 業務フロー
 - 7.4.3. DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施する
 - 7.4.4. DataDeliveryとワークフローモジュールのファイル管理の連携
- 7.5. 活文連携モジュールの操作
 - 7.5.1. 概要
 - 7.5.2. 連携イメージ
 - 7.5.3. 活文IDE とKaiden!の紐付け
 - 7.5.4. 運用時の操作
 - 7.5.5. リファレンス
- 7.6. Bill One連携モジュールの操作
 - 7.6.1. 概要
 - 7.6.2. マスタ設定
 - 7.6.3. 運用時の操作
- 7.7. CLOVA OCR連携モジュールの操作
 - 7.7.1. 概要
 - 7.7.2. マスタ設定
 - 7.7.3. リファレンス
- 7.8. invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作
 - 7.8.1. 概要
 - 7.8.2. マスタ設定
 - 7.8.3. 運用時の操作
 - 7.8.4. リファレンス
- 7.9. マルチバリューチャージサービス連携モジュールの操作
 - 7.9.1. 概要
 - 7.9.2. マスタ設定
 - 7.9.3. 運用時の操作
 - 7.9.4. リファレンス
- 7.10. Microsoft 365 連携モジュールの操作
 - 7.10.1. 概要
 - 7.10.2. マスタ設定
 - 7.10.3. リファレンス
- 7.11. SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)の操作
 - 7.11.1. 概要
 - 7.11.2. intra-mart Accel Documents と Kaiden! の紐付け
 - 7.11.3. intra-mart Accel Documents のデータ更新のタイミング
- 7.12. SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の操作
 - 7.12.1. 概要
 - 7.12.2. 連携イメージ
 - 7.12.3. マスタ設定
 - 7.12.4. 運用時の操作
 - 7.12.5. リファレンス

改訂情報

変更年月日	変更内容
2013-11-21	初版
2014-06-09	第2版 以下を追加・変更しました <ul style="list-style-type: none"> ページ遷移を修正
2015-02-27	第3版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の構成や記載内容を整備 仕入先マスタの設定方法を追加 申請書マスタメンテナンスの必須／任意設定、テキスト／ラベル設定を追加 アーカイブ方法を追加 案件削除方法を追加
2015-10-23	第4版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 各項のメニューパスを修正しました。 振込データに「出力方法（一括）」を追加しました。
2016-08-01	第5版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 プロジェクトマスタの設定方法を修正しました。 コンテンツ定義を修正しました。 SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)の操作を追加しました。
2017-04-01	第6版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 申請書マスタを追加しました。 コンテンツ定義の設定方法を修正しました。 セレクトボックスを追加しました。 その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を追加しました。
2017-07-01	第7版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> 本書の記載内容を整備しました。 概要を修正しました。 法人カードマスタを追加しました。 法人カード会社マスタを追加しました。 法人カード会社契約マスタを追加しました。 法人カードブランドマスタを追加しました。 法人カード契約体系マスタを追加しました。 Cloud-Base契約マスタを追加しました。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタを追加しました。 transit managerユーザマッピングマスタを追加しました。 法人カードデータを取り込み精算するための関連操作を追加しました。 交通系ICカードデータを使用して精算する方法を追加しました。 法人カードデータを使用して精算する方法を追加しました。
2017-10-01	第8版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none"> フィルタリング設定を修正しました。 交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するを修正しました。

変更年月日	変更内容
2018-04-01	<p>第9版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none">▪ 概要を修正しました。▪ 案件番号採番ルールマスタを追加しました。▪ 案件番号採番ルール（フロー連携）マスタを追加しました。▪ J'sNAVI Jr. 契約マスタを追加しました。▪ J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタを追加しました。▪ J'sNAVI Jr. 法人カードマスタを追加しました。▪ 出張手配ユーザマッピングマスタを追加しました。▪ 出張手配代理マスタを追加しました。▪ RODEMユーザマッピングマスタを追加しました。▪ 予算単位マスタを追加しました。▪ 予算バージョンマスタを追加しました。▪ 予算マスタを追加しました。▪ 利用データテーブルメンテナンスを修正しました。▪ 案件操作を追加しました。▪ J'sNAVI Jr. と連携して精算するための関連操作を追加しました。▪ J'sNAVI Jr. と連携して精算する方法を追加しました。▪ 予算管理を実施する方法を追加しました。▪ カレンダーデータを使用して精算する方法を追加しました。▪ 出張手配サービスと連携する方法を追加しました。▪ 事前申請書・精算申請書を取消する方法を追加しました。

変更年月日	変更内容
2019-04-01	<p data-bbox="405 132 767 154">第10版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 181 655 203">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 224 751 246">▪ 金融機関マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 266 772 288">▪ 従業員口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 309 751 331">▪ 通勤経路マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 351 794 374">▪ フィルタリング設定を修正しました。 <li data-bbox="424 394 794 416">▪ プロジェクトマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 436 730 459">▪ 税区分マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 479 751 501">▪ 勘定科目マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 521 751 544">▪ 経費区分マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 564 751 586">▪ 支払方法マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 607 751 629">▪ 支払分類マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 649 815 672">▪ 仕訳パラメータマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 692 730 714">▪ 仕入先マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 734 730 757">▪ 申請書マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 777 991 799">▪ transit managerユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 819 772 842">▪ 法人カードマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 862 852 884">▪ 法人カード会社契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 904 852 927">▪ 法人カード契約体系マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 947 826 969">▪ Cloud-Base契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 990 810 1012">▪ J'sNAVI Jr. 契約マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1032 868 1055">▪ J'sNAVI Jr. 法人カードマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1075 911 1097">▪ 出張手配ユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1117 794 1140">▪ 出張手配代理マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1160 906 1182">▪ RODEMユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1202 715 1225">▪ 予算マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1245 751 1267">▪ 変更事由マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1288 751 1310">▪ 郵便番号マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1330 772 1352">▪ 従業員住所マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1373 911 1395">▪ 安否確認ユーザマッピングマスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1415 890 1438">▪ 駅すばあと検索条件設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1458 1011 1480">▪ 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタを追加しました。 <li data-bbox="424 1500 970 1523">▪ コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1543 730 1565">▪ その他の定義を修正しました。 <li data-bbox="424 1585 715 1608">▪ 仕訳データを修正しました。 <li data-bbox="424 1628 1027 1650">▪ J'sNAVI Jr. と連携して精算するための関連操作を修正しました。 <li data-bbox="424 1671 868 1693">▪ 明細行（カード形式）の操作を追加しました。 <li data-bbox="424 1713 1134 1736">▪ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1756 911 1778">▪ 出張手配サービスと連携する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1798 970 1821">▪ 事前申請書・精算申請書を取り消す方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1841 911 1863">▪ 安否確認システムと連携する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1883 911 1906">▪ 申請書にアラートを表示する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1926 975 1948">▪ 駅すばあとWebサービスと連携する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1968 890 1991">▪ 仕訳の出力項目を変更する方法を追加しました。
2019-08-01	<p data-bbox="405 1971 767 1993">第11版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 2020 890 2042">▪ ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 2063 868 2085">▪ 税率変更時のマスタ設定方法を追加しました。

変更年月日	変更内容
2019-12-01	第12版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。▪ 駅すばあと検索条件設定マスタを修正しました。▪ 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタを修正しました。
2020-04-01	第13版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ ドキュメントの構成や記載内容を見直しました。▪ 概要を修正しました。▪ 経費区分マスタを修正しました。▪ 申請書マスタを修正しました。▪ 予算マスタを修正しました。▪ 権限設定マスタを追加しました。▪ コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。▪ 出張手配実績データテーブルメンテナンスを修正しました。▪ BTM サービス利用実績データメンテナンスを追加しました。▪ 申請書公開設定を追加しました。▪ 決裁連携データメンテナンスを追加しました。▪ 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法を修正しました。▪ SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)の操作を 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法から オプションモジュールの操作に移動しました。▪ SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)の操作を リファレンスから オプションモジュールの操作に移動しました。▪ ガジェットテンプレートを使用する方法を追加しました。▪ 申請書に任意のメッセージを表示する方法を追加しました。▪ BTM サービスと連携する方法を追加しました。▪ 申請書公開設定機能を使用する方法を追加しました。▪ 申請書紐づけ機能を使用する方法を追加しました。▪ フォーム付きPDFを添付して申請する方法を追加しました。▪ オプションモジュールの操作を追加しました。
2020-05-29	第14版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。
2020-08-01	第15版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法を修正しました。
2020-12-01	第16版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ 概要を修正しました。▪ プロジェクトマスタを修正しました。▪ 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法を修正しました。▪ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法の業務フローを修正しました。▪ DataDelivery連携モジュールの操作の業務フローを修正しました。▪ SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の操作を追加しました。
2021-04-30	第17版 以下の追加・変更を行いました。 <ul style="list-style-type: none">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。▪ 活文IDE と Kaiden! の 紐付けを追加しました。

変更年月日	変更内容
2021-12-01	<p data-bbox="405 129 766 152">第18版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 181 831 203">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 226 1394 248">▪ 申請書マスタのエクスポートのパラメータキーを修正し、インポートのパラメータキーと統一しました。 <li data-bbox="424 271 751 293">▪ 権限設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 315 852 338">▪ PDFデータ出力設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 360 751 383">▪ 受領方法マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 405 831 427">▪ ファイルパス管理マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 450 711 472">▪ 設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 495 751 517">▪ 申請書公開設定を修正しました。 <li data-bbox="424 539 871 562">▪ 決裁連携データメンテナンスを修正しました。 <li data-bbox="424 584 1050 607">▪ ストレージのファイルを操作するための関連操作を追加しました。 <li data-bbox="424 629 1447 696">▪ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法のユーザプログラムの設定に設定可能なユーザプログラムを追加しました。 <li data-bbox="424 719 890 741">▪ 仕訳の出力項目を変更する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 763 1190 786">▪ フォーム付きPDFを添付して申請する方法の出力ファイルの定義を修正しました。 <li data-bbox="424 808 932 831">▪ ファイル連携の機能を使用する方法を追加しました。
2022-03-31	<p data-bbox="405 808 766 831">第19版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 860 831 882">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 904 651 927">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 949 711 972">▪ 日当マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 994 970 1016">▪ コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1039 711 1061">▪ 初期データを修正しました。 <li data-bbox="424 1084 711 1106">▪ 仕訳データを修正しました。 <li data-bbox="424 1128 890 1151">▪ 仕訳の出力項目を変更する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1173 730 1196">▪ ファイル管理を修正しました。 <li data-bbox="424 1218 810 1240">▪ 申請書を取り消す方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1263 1447 1285">▪ DataDelivery連携モジュールの操作にDataDeliveryとワークフローモジュールのファイル管理の連携を追加しました。
2022-06-01	<p data-bbox="405 1317 766 1339">第20版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 1368 831 1391">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 1413 651 1435">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1458 890 1480">▪ 出張なび実績データインポートを修正しました。 <li data-bbox="424 1503 890 1525">▪ Bill One連携モジュールの操作を追加しました。 <li data-bbox="424 1547 932 1570">▪ CLOVA OCR連携モジュールの操作を追加しました。 <li data-bbox="424 1592 1027 1615">▪ invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作を追加しました。
2022-09-30	<p data-bbox="405 1630 766 1653">第21版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 1682 831 1704">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 1727 651 1749">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1771 852 1794">▪ PDFデータ出力設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1816 831 1839">▪ ファイルパス管理マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1861 970 1883">▪ ストレージアップロード／ダウンロードを修正しました。 <li data-bbox="424 1906 991 1928">▪ フォーム付きPDFを添付して申請する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1951 730 1973">▪ ファイル管理を修正しました。 <li data-bbox="424 1995 1075 2018">▪ DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施するを修正しました。 <li data-bbox="424 2040 852 2063">▪ 活文連携モジュールの操作を修正しました。 <li data-bbox="424 2085 1027 2107">▪ invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作を修正しました。

変更年月日	変更内容
2022-12-01	<p data-bbox="405 136 767 159">第22版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 185 831 208">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 226 651 248">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 266 711 288">▪ 項目マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 306 751 329">▪ 会社口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 347 772 369">▪ 従業員口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 387 791 409">▪ フィルタリング設定を修正しました。 <li data-bbox="424 427 730 450">▪ 税区分マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 468 711 490">▪ 日当マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 508 730 530">▪ 仕入先マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 548 751 571">▪ 予算単位マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 589 751 611">▪ 変更事由マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 629 772 651">▪ 従業員住所マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 669 751 692">▪ 権限設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 710 810 732">▪ 適格請求書設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 750 970 772">▪ 事業者区分・交付義務の免除理由マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 790 970 813">▪ 適格請求書発行事業者の公表情報マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 831 970 853">▪ コンテンツバージョン設定時の操作方法を修正しました。 <li data-bbox="424 871 730 893">▪ 登録番号検索を追加しました。 <li data-bbox="424 911 1353 934">▪ 電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法を修正しました。 <li data-bbox="424 952 1369 974">▪ その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法のユーザプログラムの設定を修正しました。 <li data-bbox="424 992 1442 1059">▪ 交通系ICカードデータを使用して精算する方法の「transit manager」から申請したデータを使用して皆伝！で自動的に精算申請を実施する」を削除しました。 <li data-bbox="424 1077 970 1099">▪ 事前申請書・精算申請書を取り消す方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1117 1422 1184">▪ Kaiden! の出張事前申請を取り消す際に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1202 890 1225">▪ 仕訳の出力項目を変更する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1243 730 1265">▪ ファイル管理を修正しました。 <li data-bbox="424 1283 1007 1305">▪ インボイス制度対応に必要なKaiden! の設定を追加しました。 <li data-bbox="424 1323 871 1346">▪ オプションモジュールの操作を修正しました。 <li data-bbox="424 1364 991 1386">▪ Racco連携モジュールの操作のマスタ設定を修正しました。 <li data-bbox="424 1404 1011 1426">▪ 出張なび連携モジュールの操作のマスタ設定を修正しました。 <li data-bbox="424 1444 963 1467">▪ JCS連携モジュールの操作のマスタ設定を修正しました。 <li data-bbox="424 1485 1430 1507">▪ DataDelivery連携モジュールの操作のDataDeliveryと連携してKaiden! の精算を実施するを修正しました。 <li data-bbox="424 1525 1142 1547">▪ DataDelivery連携モジュールの操作の出力ファイルの定義を修正しました。 <li data-bbox="424 1565 1163 1588">▪ Bill One連携モジュールの操作の請求書情報取得 (Bill One) を修正しました。 <li data-bbox="424 1606 1442 1673">▪ CLOVA OCR連携モジュールの操作のLINE WORKS OCR APIと連携してファイル管理を使用するを修正しました。 <li data-bbox="424 1691 1147 1713">▪ invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作のマスタ設定を修正しました。 <li data-bbox="424 1731 1177 1753">▪ SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の操作の概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1771 1318 1794">▪ SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の操作のファイル分類マスタを修正しました。
2023-04-01	<p data-bbox="405 1839 767 1861">第23版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 1888 831 1910">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 1928 651 1951">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1968 730 1991">▪ 登録番号検索を修正しました。 <li data-bbox="424 2009 890 2031">▪ 仕訳の出力項目を変更する方法を修正しました。 <li data-bbox="424 2049 810 2072">▪ 申請書を取り消す方法を修正しました。 <li data-bbox="424 2089 1110 2112">▪ マルチバリューチャージサービス連携モジュールの操作を追加しました。

変更年月日	変更内容
2023-06-30	<p data-bbox="405 132 767 154">第24版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul data-bbox="424 181 1356 1072" style="list-style-type: none"><li data-bbox="424 181 831 203">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。<li data-bbox="424 226 651 248">▪ 概要を修正しました。<li data-bbox="424 271 751 293">▪ 通勤経路マスタを修正しました。<li data-bbox="424 315 730 338">▪ 申請書マスタを修正しました。<li data-bbox="424 360 890 383">▪ 駅すばあと検索条件設定マスタを修正しました。<li data-bbox="424 405 751 427">▪ 権限設定マスタを修正しました。<li data-bbox="424 450 772 472">▪ ジョブ管理マスタを追加しました。<li data-bbox="424 495 772 517">▪ 従業員家族マスタを追加しました。<li data-bbox="424 539 730 562">▪ 支払先マスタを追加しました。<li data-bbox="424 584 831 607">▪ ファイル分類内訳マスタを追加しました。<li data-bbox="424 629 711 651">▪ ジョブ実行を追加しました。<li data-bbox="424 674 730 696">▪ ファイル管理を追加しました。<li data-bbox="424 719 730 741">▪ ファイル削除を追加しました。<li data-bbox="424 763 1091 786">▪ ジョブパラメータで指定可能な会社グループについてを追加しました。<li data-bbox="424 808 810 831">▪ 予算関連マスタの補足を追加しました。<li data-bbox="424 853 730 875">▪ ファイル管理を修正しました。<li data-bbox="424 898 991 920">▪ ジョブ実行機能からジョブを実行する方法を追加しました。<li data-bbox="424 943 1356 965">▪ 申請書マスタのインポート・エクスポート機能を用いて申請書情報を移行する方法を追加しました。<li data-bbox="424 987 879 1010">▪ DataDelivery連携設定マスタを修正しました。<li data-bbox="424 1032 794 1055">▪ 出力ファイルの定義を修正しました。<li data-bbox="424 1077 879 1099">▪ invoiceAgent連携設定マスタを修正しました。<li data-bbox="424 1122 1070 1144">▪ カスタムプロパティへ設定可能なファイル情報項目を修正しました。

変更年月日	変更内容
2023-11-01	<p data-bbox="405 136 767 159">第25版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 185 831 208">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 226 651 248">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 266 751 288">▪ 会社口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 306 772 329">▪ 従業員口座マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 347 751 369">▪ 通勤経路マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 387 794 409">▪ フィルタリング設定を修正しました。 <li data-bbox="424 427 711 450">▪ 日当マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 468 794 490">▪ 出張手配代理マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 508 751 530">▪ 変更事由マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 548 751 571">▪ 住所種別マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 589 772 611">▪ 従業員住所マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 629 892 651">▪ 駅すばあと検索条件設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 669 1011 692">▪ 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 710 751 732">▪ 権限設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 750 772 772">▪ ジョブ管理マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 790 857 813">▪ 通勤費Web連携設定マスタを追加しました。 <li data-bbox="424 831 938 853">▪ 通勤費Webユーザマッピングマスタを追加しました。 <li data-bbox="424 871 1134 893">▪ 通勤費Webと連携して通勤経路を取得するための関連操作を追加しました。 <li data-bbox="424 911 751 934">▪ 一覧画面の操作を修正しました。 <li data-bbox="424 952 711 974">▪ 期間の操作を修正しました。 <li data-bbox="424 992 732 1014">▪ ファイル削除を修正しました。 <li data-bbox="424 1032 1241 1055">▪ ファイルの電子化申請を実施する方法(ファイル明細(汎用)ガジェット)を追加しました。 <li data-bbox="424 1072 812 1095">▪ 申請書を取り消す方法を修正しました。 <li data-bbox="424 1113 1035 1135">▪ 通勤費Webから通勤経路をインポートする方法を追加しました。 <li data-bbox="424 1153 847 1176">▪ JCS役職マッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1193 1082 1216">▪ invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタを修正しました。
2023-12-22	<p data-bbox="405 1272 767 1294">第26版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 1321 831 1344">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 1361 751 1384">▪ 通勤経路マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1402 906 1424">▪ RODEMユーザマッピングマスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1442 892 1464">▪ 駅すばあと検索条件設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1482 711 1505">▪ マスタ検索を修正しました。
2024-04-01	<p data-bbox="405 1547 767 1570">第27版 以下の追加・変更を行いました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="424 1597 831 1619">▪ ドキュメントの記載内容を見直しました。 <li data-bbox="424 1637 651 1659">▪ 概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1677 812 1700">▪ コンテンツ定義の更新を修正しました。 <li data-bbox="424 1718 724 1740">▪ Builder編集を追加しました。 <li data-bbox="424 1758 1086 1780">▪ invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作の概要を修正しました。 <li data-bbox="424 1798 884 1821">▪ invoiceAgent連携設定マスタを修正しました。 <li data-bbox="424 1839 1166 1861">▪ invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作の運用時の操作を追加しました。 <li data-bbox="424 1879 1433 1935">▪ Kaiden! からinvoiceAgent 文書管理へファイルアップロードしてから電子化申請を実施する(OCR機能の活用)を追加しました。 <li data-bbox="424 1953 1437 2009">▪ ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)ガジェットを使用してファイル管理への登録及び電子化申請を実施する方法を追加しました。 <li data-bbox="424 2027 954 2049">▪ Microsoft 365 連携モジュールの操作を追加しました。

はじめに

本書の内容

本書では、次の様な構成でintra-mart Accel Kaiden! 経費旅費における管理者の操作内容・手順を記載しています。

- [マスタ設定](#)
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費に必要な、マスタデータの登録方法を記載しています。
- [ワークフロー設定](#)
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるIM-Workflowの設定方法を記載しています。
- [運用時の操作](#)
仕訳データや振込データの出力方法などの運用時に利用する機能の操作方法を記載しています。
- [リファレンス](#)
本書のリファレンスを記載しています。

対象読者

本書では次の読者を対象としています。

- [ワークフロー管理者](#)
intra-mart Accel Kaiden!に必要なマスタデータの登録・更新の操作手順を確認できます。
- [経理担当者](#)
仕訳データやFBデータの出力操作手順を確認できます。

その他

- 本書内で記載されている外部URLは、2024年4月現在のものです。

マスタ設定

概要

- Kaiden!マスタ
 - マスタ分類
 - 機能別マスタ設定
- IM-共通マスタ
 - 会社登録時の注意点
 - 通貨登録時の注意点

Kaiden!マスタ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、次のマスタを利用しています。

モジュール	マスタ	用途
intra-mart Accel Platform IM-共通マスタ	ユーザ	intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費を利用するユーザ
	会社	ユーザが所属する会社
	組織	ユーザが所属する組織
	通貨	intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費で利用する通貨
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	項目マスタ	ドロップダウンリストの選択肢データ
	金融機関マスタ	会社口座や従業員口座の基となる金融機関
	会社口座マスタ	振込データの振込元口座
	従業員口座マスタ	振込データの振込先口座
	通勤経路マスタ	経路検索時の控除区間
	フィルタリング設定	経費区分検索時の絞り込み条件
	プロジェクトマスタ	経費や旅費、仮払金などの計上先
	申請書マスタ	コンテンツ定義
	法人カードマスタ	連携する法人カード
	法人カード会社マスタ	連携する法人カード会社
	法人カード会社契約マスタ	連携する法人カード会社との契約情報
	法人カードブランドマスタ	連携する法人カードのブランド
	法人カード契約体系マスタ	連携する法人カードの契約体系
	Cloud-Base 契約マスタ	Cloud-Base契約
	Cloud-Base 契約・会社マッピングマスタ	Cloud-Base契約と会社の紐付け
	案件番号採番ルールマスタ	案件番号の採番ルール
	案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ	案件番号採番ルールとのフローの連携
	J'sNAVI Jr. 契約マスタ	J'sNAVI Jr. 契約
	J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	J'sNAVI Jr. 契約と会社の紐付け
	J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カード
	出張手配ユーザマッピングマスタ	ユーザと「J'sNAVI Jr.」のユーザの紐付け
	出張手配代理マスタ	「J'sNAVI Jr.」の出張手配に関する代理情報
	RODEMユーザマッピングマスタ	ユーザと「RODEM」のユーザの紐付け
	変更事由マスタ	変更事由のドロップダウンリストの選択肢データ
	郵便番号マスタ	住所検索時に使用する郵便番号データ
従業員住所マスタ	従業員の住所	
安否確認ユーザマッピングマスタ	ユーザと安否確認サービスのユーザの紐付け	

	駅すばあと検索条件設定マスタ	経路検索時の条件設定
	駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ	ユーザと 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタの紐付け
	権限設定マスタ	組織及びその配下組織に関する権限管理
	ファイルパス管理マスタ	ストレージアップロード/ダウンロード機能で使用するファイルパス
	設定マスタ	各機能の設定を管理
	ジョブ管理マスタ	ジョブを実行する権限を管理
	支払先マスタ	「intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー」で使用する支払先の管理
	通勤費Web連携設定マスタ	「通勤費Web」との通信設定
	通勤費Webユーザマッピングマスタ	ユーザと「通勤費Web」のユーザの紐付け
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	税区分マスタ	仕訳作成時の税区分や税率
	勘定科目マスタ	経費や旅費などの仕訳を行うための科目
	経費区分マスタ	勘定科目と税区分の組合わせた名称
	支払方法マスタ	現金/銀行振込などの支払時の方法
	支払分類マスタ	立替、その他の支出分類
	日当マスタ	日当の情報
	仕訳パラメータマスタ	仕訳データ作成機能に関わる諸設定
	会計期間マスタ	申請可能な期間、承認期日など
	仕入先マスタ	仕入先の情報
	transit managerユーザマッピングマスタ	ユーザと「transit manager」の紐付け
	予算単位マスタ	予算で使用する項目の管理
	予算バージョンマスタ	予算で使用するバージョンの管理
	予算マスタ	予算の管理
	PDFデータ出力設定マスタ	PDFデータ出力の設定
	受領方法マスタ	ファイルの受領方法
	適格請求書設定マスタ	インボイス制度の適格請求書に関する設定
	事業者区分・交付義務の免除理由マスタ	インボイス制度の事業者区分と適格請求書の交付義務の免除理由
	適格請求書発行事業者の公表情報マスタ	インボイス制度の適格請求書発行事業者の公表情報
	ファイル分類内訳マスタ	ファイル管理で管理するファイルの識別情報
	Racco連携モジュール	Racco契約マスタ
Racco契約・会社マッピングマスタ		「Racco」との契約と会社の紐付け
楽天会員マッピングマスタ		「Racco」との契約とユーザの紐付け
出張なび連携モジュール	出張なび契約マスタ	「出張なび」との契約情報
	出張なび契約・会社マッピングマスタ	「出張なび」との契約と会社の紐付け
	出張なびユーザマッピングマスタ	ユーザと「出張なび」のユーザの紐付け
JCS連携モジュール	JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報
	JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社の紐付け
	JCSユーザマッピングマスタ	ユーザと「JCS」のユーザの紐付け
	JCS役職マッピングマスタ	役職と「JCS」の役職の紐付け
Microsoft 365 連携モジュール	Microsoft 365 連携設定マスタ	「Microsoft 365」との連携設定
	Microsoft 365 連携ユーザ設定	ユーザと「Microsoft 365」の紐付け
DataDelivery連携モジュール	DataDelivery連携設定マスタ	「DataDelivery」の連携設定の管理

Bill One連携モジュール	Bill One連携設定マスタ	「Bill One」の連携設定の管理
CLOVA OCR連携モジュール	CLOVA OCR連携設定マスタ	「LINE WORKS OCR API」の連携設定の管理
invoiceAgent 文書管理連携モジュール	invoiceAgent連携設定マスタ invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ	「invoiceAgent 文書管理」の連携設定の管理 「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティとファイル管理の項目の紐づけ
マルチバリューチャージサービス連携モジュール	マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタ	「マルチバリューチャージサービス」の連携設定の管理 「マルチバリューチャージサービス」で使用する携帯電話番号の管理
SAStruts版 アーカイブ (基盤モジュール)	従業員家族マスタ	「intra-mart Accel Kaiden! マイナンバー」で使用する従業員家族の管理
SAStruts版 アーカイブ (ファイル連携モジュール)	ファイル分類マスタ	ファイルの分類情報の管理

マスタ分類

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が利用する各マスタは、次の様な分類があります。

- **会社単位で管理するマスタ**

intra-mart Accel Kaiden! のマスタの多くは会社単位で管理できます。

「A社の申請書ではA社のマスタデータのみが利用できる」など、業務／処理を会社の単位で行います。

- **期間化情報を持つマスタ**

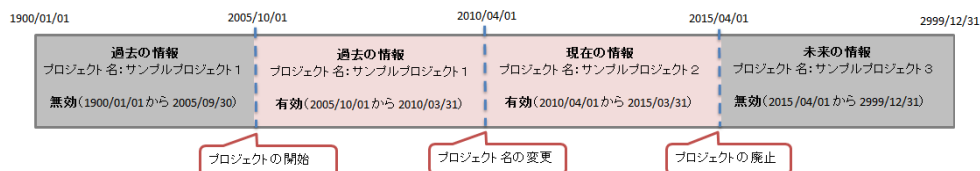
期間化情報とは、同一のマスタをある日付を境にして名称や属性などの情報を変更した変更情報(履歴)です。

来年度から名称が変わる場合でも、今年度と来年度の両方の情報を保持することができます。

また、ある日付を境に、マスタのステータス(有効／無効)を変化させることのできるものもあります。

例えば、プロジェクトマスタに以下のような期間化情報を持たせることができます。

システム有効期間の範囲で無効な期間化情報を補完してデータを保持します。



- **国際化情報を持つマスタ**

名称などの情報を複数ロケール（言語）分登録可能なマスタです。

利用者のロケール設定で表示内容を切り替えることができます。

- **インポート可能なマスタ**

「ジョブスケジューラ」を利用して、マスタデータを一括して登録することができます。

モジュール	マスタ	会社	期間化	国際化	インポート
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	項目マスタ	○		○	○
	金融機関マスタ				○
	会社口座マスタ	○	○		○
	従業員口座マスタ		○		○
	通勤経路マスタ		○		
	フィルタリング設定	○	○	○	
	プロジェクトマスタ	○	○	○	○
	申請書マスタ		○	○	○
	法人カードマスタ	○	○		○
	法人カード会社マスタ		○	○	

	法人カード会社契約マスタ	○	○	○
	法人カードブランドマスタ	○	○	○
	法人カード契約体系マスタ	○	○	○
	Cloud-Base契約マスタ		○	○
	Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○		○
	案件番号採番ルールマスタ	○		○
	案件番号採番ルール（フロー連携）マスタ	○		○
	J'sNAVI Jr.契約マスタ	○	○	○
	J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ	○		○
	J'sNAVI Jr.法人カードマスタ	○	○	○
	出張手配ユーザマッピングマスタ	○	○	○
	出張手配代理マスタ	○	○	○
	RODEMユーザマッピングマスタ	○		○
	変更事由マスタ	○	○	○
	郵便番号マスタ			○
	従業員住所マスタ	○	○	○
	安否確認ユーザマッピングマスタ	○	○	○
	駅すばあと検索条件設定マスタ	○		○
	駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ	○	○	○
	権限設定マスタ	○	○	○
	ファイルバス管理マスタ	○		○
	設定マスタ	○		○
	ジョブ管理マスタ	○	○	○
	支払先マスタ	○	○	○
	通勤費Web連携設定マスタ	○	○	○
	通勤費Webユーザマッピングマスタ	○	○	○
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	税区分マスタ	○	○	○
	勘定科目マスタ	○	○	○
	経費区分マスタ	○	○	○
	支払方法マスタ	○	○	○
	支払分類マスタ	○	○	○
	日当マスタ	○	○	○
	仕訳パラメータマスタ	○	○	○
	会計期間マスタ	○	○	
	仕入先マスタ	○	○	○
	transit managerユーザマッピングマスタ	○		○
	予算単位マスタ	○		○
	予算バージョンマスタ	○		○
	予算マスタ	○	○	○
	PDFデータ出力設定マスタ	○	○	○
	受領方法マスタ	○	○	○
	適格請求書設定マスタ	○	○	○
	事業者区分・交付義務の免除理由マスタ	○	○	○
	適格請求書発行事業者の公表情報マスタ			○

	ファイル分類内訳マスタ		○	○	○	○
Racco連携モジュール	Racco契約マスタ		○		○	○
	Racco契約・会社マッピングマスタ		○			○
	楽天会員マッピングマスタ		○	○		○
出張なび連携モジュール	出張なび契約マスタ		○		○	○
	出張なび契約・会社マッピングマスタ		○			○
	出張なびユーザマッピングマスタ		○	○		○
JCS連携モジュール	JCS契約マスタ		○		○	○
	JCS契約・会社マッピングマスタ		○			○
	JCSユーザマッピングマスタ		○	○		○
	JCS役職マッピングマスタ		○	○	○	○
Microsoft 365 連携モジュール	Microsoft 365連携設定マスタ		○	○		○
	Microsoft 365連携ユーザ設定		○	○		○
DataDelivery連携モジュール	DataDelivery連携設定マスタ		○	○		
Bill One連携モジュール	Bill One連携設定マスタ		○	○		
CLOVA OCR連携モジュール	CLOVA OCR連携設定マスタ		○	○		
invoiceAgent 文書管理連携モジュール	invoiceAgent連携設定マスタ		○	○		
	invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ		○	○		○
マルチバリューチャージサービス連携モジュール	マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ		○	○		○
	マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタ			○		○
SAStruts版 アーカイブ(基盤モジュール)	従業員家族マスタ		○	○		○
SAStruts版 アーカイブ (ファイル連携モジュール)	ファイル分類マスタ		○	○	○	○

機能別マスタ設定

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の各機能では、次のマスタを利用します。
 予算管理機能及び、外部システムと連携する機能で使用するマスタは以下に記載していません。
[リファレンス、オプションモジュールの操作](#)の各項目を参照してください。

凡例

- ：任意
- ◎：必須
- 申請書機能

ガジェットのカテゴリ	項目	金融機関	プロジェクト区分	経費区分	支払方法	支払分類	日当	会計期間	仕入先	変更事由	住所種別	郵便番号	申請書(拡張テキスト設定)	PDFデータ出力設定	受領方法	適格請求書設定	事業者区分・交付義務の免除理由	適格請求書発行事業者の公表情報
事前情報		○			◎													
精算情報						◎												
旅程明細		○	◎			◎												
経費明細		○	◎			◎												
宿泊明細		○	◎			◎												

日当明細	○	◎	◎					
請求書払情報	○			◎				
請求書払明細	○	◎						
会計期間チェック				◎				
通勤経路	○							
従業員口座	○	◎						
家族異動	○							
支払先登録	○							
費用振替明細		○	◎					
住所変更	○				○	○	○	
メッセージ表示							◎	
フォーム付PDF								○
ファイル検索	○						◎	○
事業者区分・交付義務の免除理由								◎
登録番号チェック							◎	○

i コラム

次のカテゴリのガジェットはマスタ登録不要です。

- 経費旅費情報
- 汎用
- 交際情報
- 費用明細行数チェック
- ファイル添付明細
- 請求書番号チェック
- 案件明細
- 事前・精算書検索
- 情報明細
- 申請書公開設定
- 決裁事前
- 決裁精算
- 電子化ファイル登録
- 連携ファイル検索
- ファイル明細
- 案件検索（取消用）
- 税率別合計金額

次のガジェットはマスタ登録不要です。

- 事前情報

i コラム

各カテゴリのガジェットで利用する項目マスタの項目区分は次の通りです。
標準的なデータは初期データとして登録していますが、必要に応じてメンテナンスしてください。
「従業員家族マスタ：その他区分」は初期データが登録されませんので、使用する場合は必ず項目を登録してください。

- 請求書払情報：納品/請求区分
- 通勤経路：変更事由（通勤経路申請）
- 従業員口座：変更事由（口座変更申請）
- 家族異動：変更事由（家族異動届）、続柄、従業員家族マスタ：その他区分
- 支払先登録：変更事由（支払先申請）
- 住所変更：都道府県
- ファイル検索：ファイルカテゴリ

i コラム

ガジェットで利用するマスタに紐づく項目マスタの項目区分は次の通りです。
仕入先マスタの支払先分類を使用する場合は、項目マスタに登録してください。
次に記載した支払先分類以外の項目区分の項目は初期データとして登録しているため、メンテナンスは任意です。

- 日当：算定基準
- 仕入先：支払先分類、消費税端数処理区分
- 受領方法：受領方法カテゴリ

i コラム

経費区分を利用するガジェットの場合は、税区分、勘定科目も合わせて設定してください。

i コラム

経費区分、事業者区分・交付義務の免除理由を利用するガジェットの場合は、フィルタリング設定を設定可能です。

■ その他機能

機能名	項目	金融機 関	会社口 座	従業員 口座	仕訳パ ラメー タ	権限設 定	受領方 法	ファイ ルパス 管理	適格請 求書設 定	適格請求書発行 事業者の公表情 報	ジョブ 管理
仕訳					◎						
FB出力		◎	◎	◎	◎						
FB一括出力		◎	◎	◎	◎						
FBメンテナンス	○	○	○		◎						
BTMサービス利用実 績データメンテナ ンス						○					
ストレージアップ ロード/ダウンロー ド						◎		◎			
ジョブ実行						◎					◎
ファイル管理	○						◎		○	○	

i コラム

その他機能で利用するマスタに紐づく項目マスタの項目区分は次の通りです。
次に記載した項目区分の項目は初期データとして登録しているため、メンテナンスは任意です。

- 仕訳パラメータ：消費税計算単位、消費税処理区分、消費税端数処理区分
- 会社口座：口座種別、改行文字区分、振込指定区分
- 従業員口座：口座種別
- ファイル検索：受領方法カテゴリ

IM-共通マスタ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費のマスタ設定を行う前に、IM-共通マスタの次のマスタ登録が必要です。

IM-共通マスタの登録方法は『IM-共通マスタ 管理者操作ガイド』を参照してください。

- ユーザ
- 会社
- 組織
- 通貨

i コラム

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費を利用するユーザは、必ず会社（組織）に所属する必要があります。
マスタ設定を行うユーザも必ず会社（組織）に所属する必要があります。

i コラム

日当マスタを使用する場合、「役職」または「ロール」の登録が必要です。
JCS役職マッピングマスタを使用する場合、「役職」の登録が必要です。

会社登録時の注意点

会社マスタを登録する場合は、会社毎に通貨マスタの登録を行う必要があります。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の金額入力欄は、通貨マスタに登録された桁数まで入力できます。

通貨登録時の注意点

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨マスタには次の様な設定を行ってください。

- **通貨コード**
intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュールのモジュール設定で設定した会社通貨コードを必ず登録してください。
モジュール設定の設定方法は、『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-「モジュール設定」を参照してください。

! 注意

日本円を登録する場合の通貨コードは"JPY"を指定してください。

- **通貨精度区分**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨の通貨精度区分は、"KAIDEN"を指定してください。
- **通貨換算コード**
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する通貨レートの通貨換算コードは"KAIDEN"を指定してください。
通貨換算コードが"KAIDEN"のデータが存在しない場合、レート登録なしとして扱います。

i コラム

請求書払（外貨支払）申請書の場合、通貨換算コードを"KAIDEN"以外から選択可能です。

項目マスタ

本項では、項目マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

項目マスタは、intra-mart Accel Kaiden!の各画面で利用するドロップダウンリストの選択肢です。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

標準的なデータは、初期データとして登録していますが、次の項目区分の項目データは利用する内容に合わせて設定を追加してください。

「従業員家族マスタ：その他区分」は初期データが登録されませんので、使用する場合は必ず項目を登録してください。

- 続柄
- 従業員家族マスタ：その他区分
- 決済方式
- 変更事由種別
- 都道府県
- 従業員家族マスタ：その他区分
- 変更事由（通勤経路申請）
- 支払先分類
- 納品/請求区分
- 変更事由（家族異動届）
- 変更事由（支払先申請）



注意

上記以外の項目区分は、項目データの追加ができません。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「項目」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

項目メンテナンス

新規登録

検索

No	▲ 項目区分コード	項目区分名	項目コード	項目名	ソートキー	ステータス
----	-----------	-------	-------	-----	-------	-------

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

項目メンテナンス

←

会社* サンプル会社

項目区分* 変更事由(口座変更申請)

項目コード* 000000

項目名*

日本語 サンプル項目

英語 Sample Item

中国語(中華人民共和国) 样品项目

ソートキー* 1

ステータス* 有効 無効

登録 一覧に戻る

- 項目区分
登録対象の項目区分を選択します。
項目区分は、選択肢(項目)をグルーピングした単位です。
- 項目コード
会社・項目区分ごとに一意のコードを入力します。
- 項目名
項目の名称を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

項目メンテナンス

←

会社* サンプル会社

項目区分* 変更事由(口座変更申請)

項目コード* 000000

項目名*

日本語 サンプル項目

英語 Sample Item

中国語(中華人民共和国) 样品项目

ソートキー* 1

ステータス* 有効 無効

登録 一覧に戻る

確認

登録します。

決定 取り消し

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「項目」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい項目の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 項目区分コード
- 項目区分名
- 項目コード
- 項目名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

項目マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	▲ 項目区分コード	項目区分名	項目コード	項目名	ソートキー	ステータス
1	300004	算定基準	POST	役職	2	●
2	300005	精算ステータス	0	未精算	1	●
3	300005	精算ステータス	1	精算中	2	●
4	300005	精算ステータス	2	精算済	3	●
5	300005	精算ステータス	9	精算不要	4	●
6	300006	変更事由(口座変更申請)	000000	サンプル項目	1	●
7	300006	変更事由(口座変更申請)	1	入社	1	●
8	300006	変更事由(口座変更申請)	2	自己都合	2	●
9	300006	変更事由(口座変更申請)	3	金融機関都合	3	●
10	300007	変更事由(通勤経路申請)	0	入社	1	●
11	300007	変更事由(通勤経路申請)	1	異動	2	●
12	300007	変更事由(通勤経路申請)	2	経路変更(路線)	3	●
13	300007	変更事由(通勤経路申請)	3	経路変更(新路線)	4	●

最初へ 前へ 1 2 3 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

項目マスターメンテナンス

←

会社* サンプル会社

項目区分* 変更事由(口座変更申請)

項目コード* 000000

項目名*

日本語 サンプル項目

英語 Sample Item

中国語(中華人民共和国) 样品项目

ソートキー* 1

ステータス* 有効 無効

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

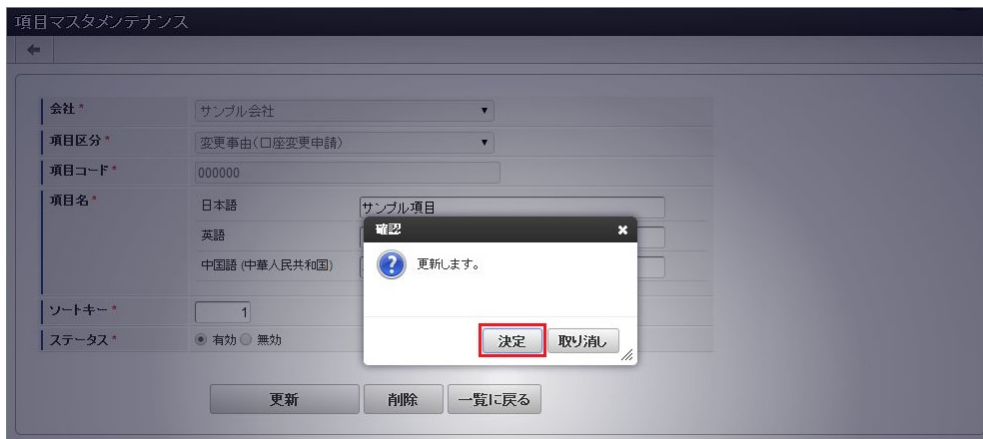
- 会社
- 項目区分
- 項目コード
- ステータス

i コラム

更新処理は、データの登録方法によって異なります。

- 会社ごとに設定した項目
ステータス変更可能、更新・削除可能
- 初期データで設定されている項目
更新可能・削除不可
- 初期データで設定されていて名称変更した項目
更新可能、削除不可、初期データに戻すことが可能

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	

2	項目区分コード	○	10	
3	項目コード	○	10	
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
5	項目名	○	250	
6	ソートキー	○	15	
7	ステータス	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

データサンプル

```
"comp_sample_01","300007","01","ja","サンプル項目","1","0"
"comp_sample_01","300007","01","en","Sample item","1","0"
"comp_sample_01","300007","01","zh_CN","品目","1","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/item

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

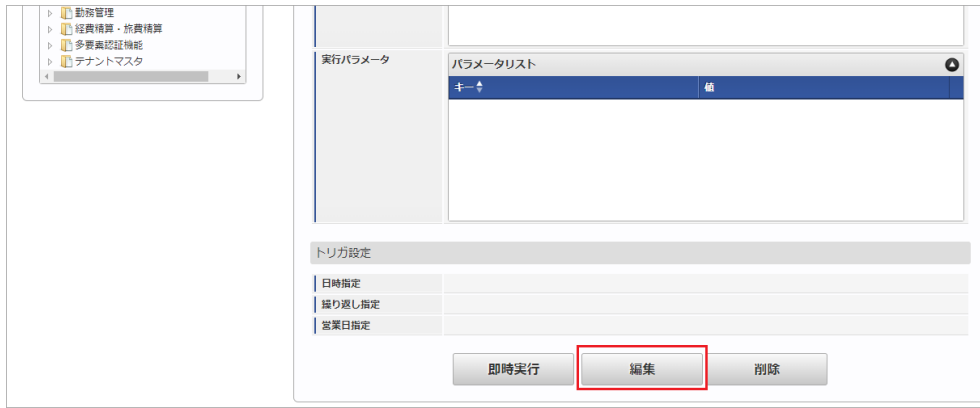
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

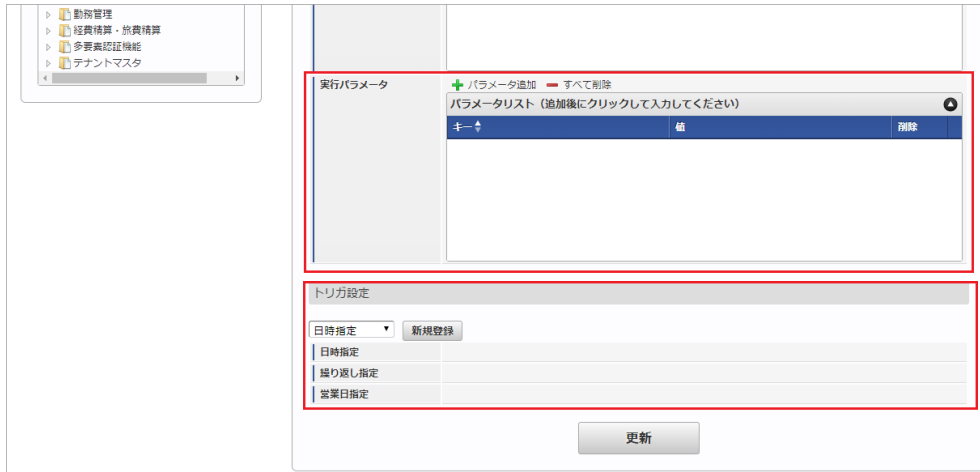
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧 (画面左部) の「項目」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

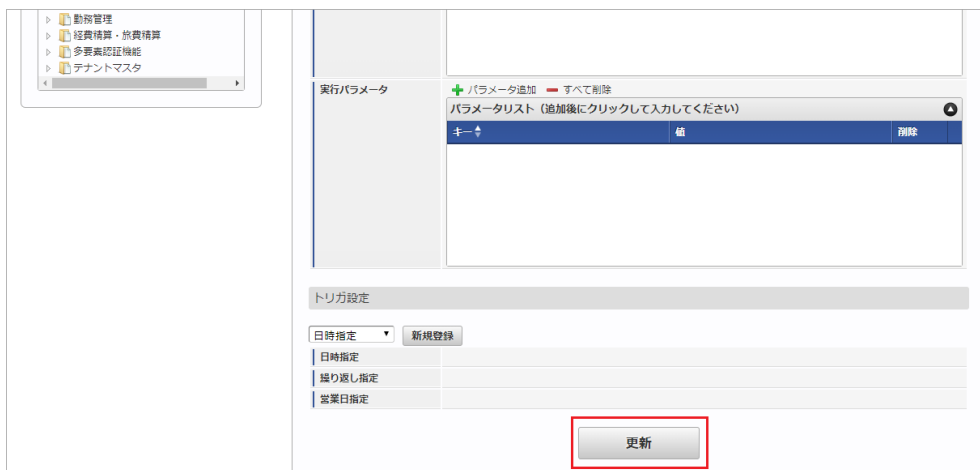
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

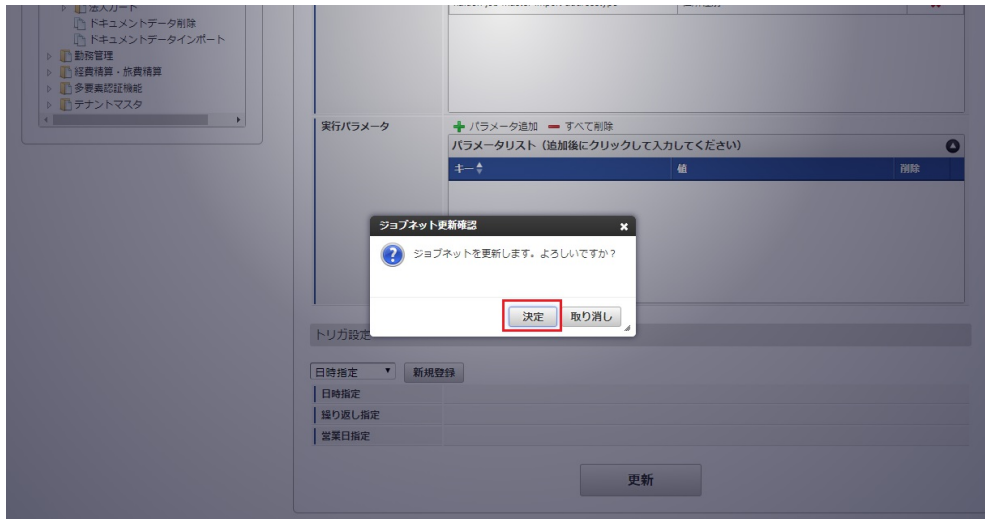
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-item	Kaiden! / マスタ / インポート / 項目

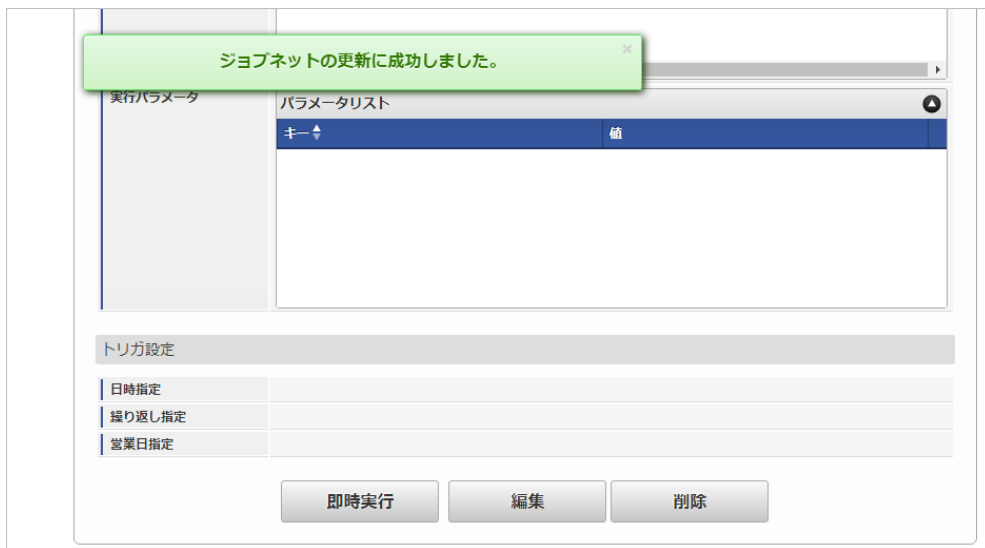
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/item/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/item/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 項目マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「item」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

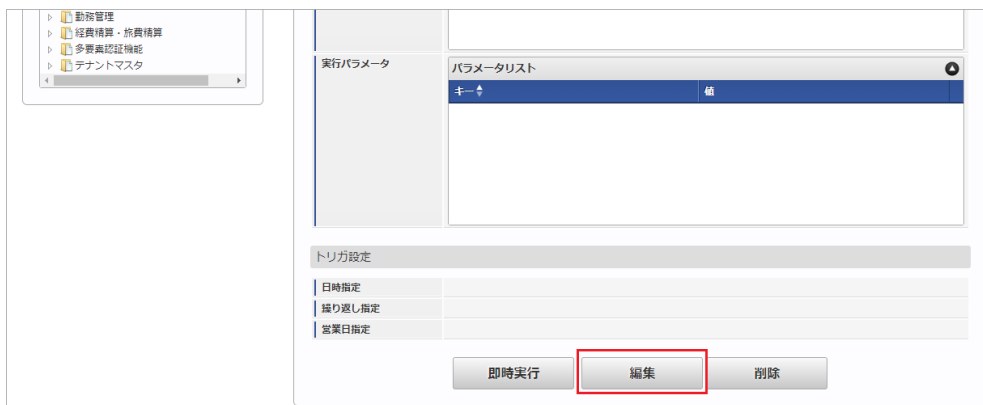
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

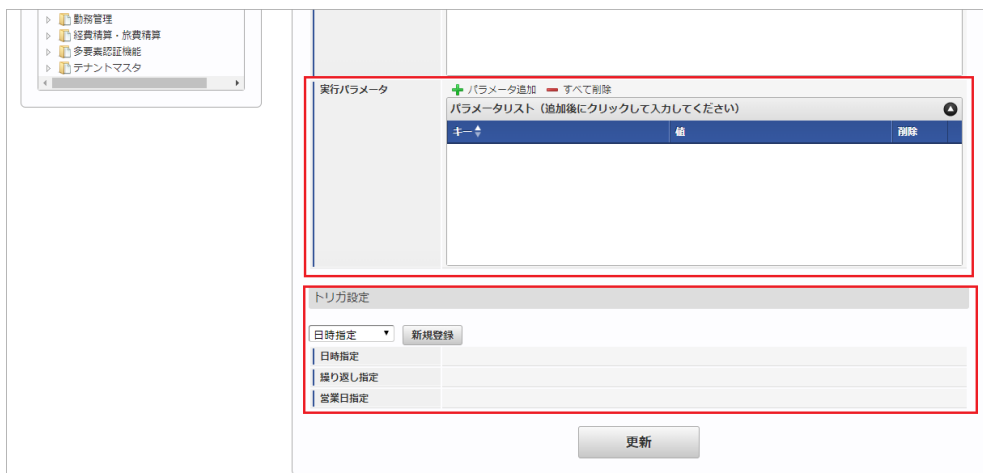
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「項目」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

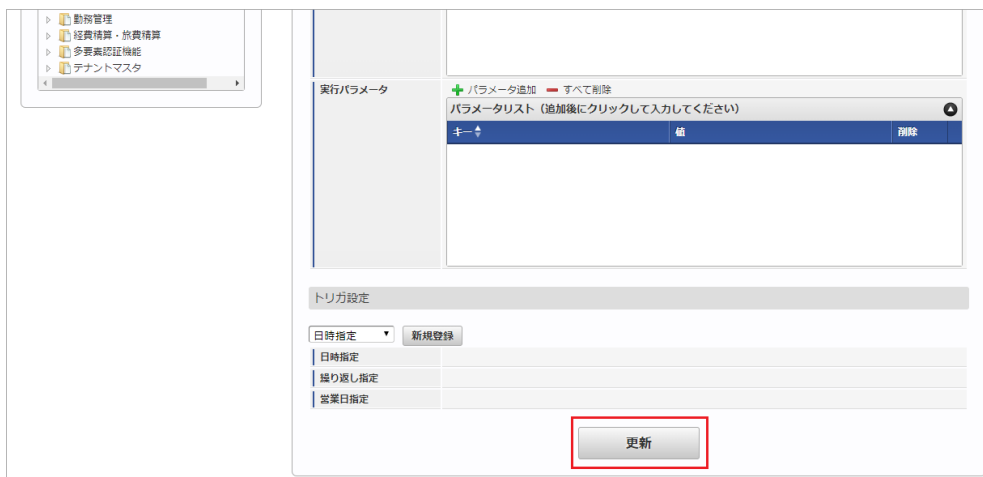
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

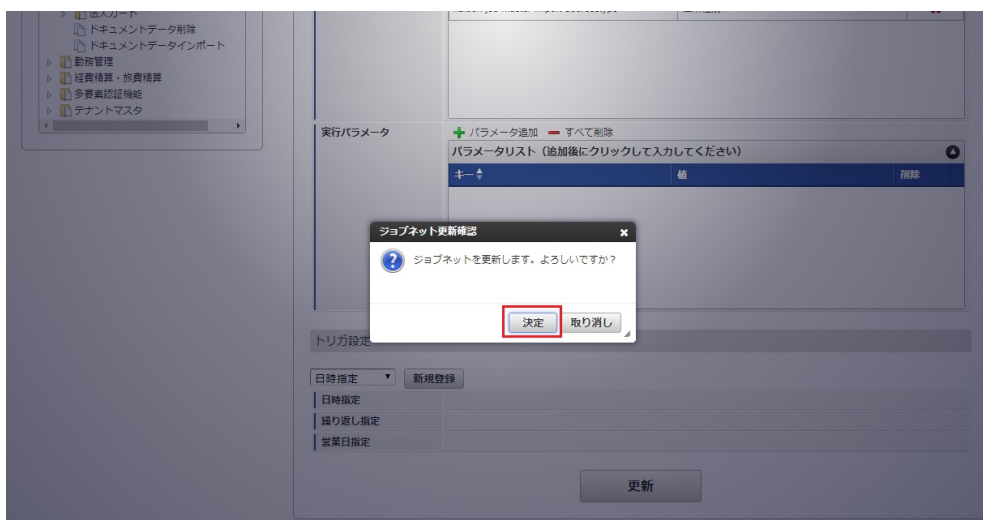
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-item	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 項目

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/generic/master/item/`

ファイル名 `export.csv`



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
itemTypeCd	項目区分コード	
itemCd	項目コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
itemName	項目名	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	ステータス	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/item/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/item/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 項目マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「item」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

金融機関マスタ

本項では、金融機関マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

金融機関マスタは、会社口座や従業員口座を設定する際の金融機関情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「金融機関」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 金融機関コード
金融機関のコードを入力します。
- 金融機関名
金融機関の名称を入力します。
- 金融機関名(カナ)
金融機関の名称(カナ)を入力します。
- 支店番号
支店番号を入力します。
- 支店名
支店の名称を入力します。
- 支店名(カナ)
支店の名称(カナ)を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳 既済 ?

金融機関 登録しました。

新規登録

検索 クリア

No	金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	築地支店	キキ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	有楽町支店	ユラク	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オセ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネタク	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ミズホ	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	麹町支店	コウジ	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町村金種出張所	チムラ	1
11	0001	サンプル銀行	サンプル	111	サンプル支店	サンプル	1
12	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	004	船場支店	フナバ	1
13	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	003	瓦町支店	カワチ	1
14	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	005	大塚営業部	オホウラ	1
15	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「金融機関」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

金融機関 新規登録

検索 クリア

No	金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	築地支店	キキ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	有楽町支店	ユラク	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オセ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネタク	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ミズホ	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	麹町支店	コウジ	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町村金種出張所	チムラ	1
11	0001	サンプル銀行	サンプル	111	サンプル支店	サンプル	1
12	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	004	船場支店	フナバ	1
13	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	003	瓦町支店	カワチ	1
14	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	005	大塚営業部	オホウラ	1
15	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1

コラム

検索欄に検索したい金融機関の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 金融機関コード
- 金融機関名
- 金融機関名(カナ)
- 支店番号
- 支店名
- 支店名(カナ)

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

金融機関 新規登録

検索 クリア

No	金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	築地支店	キキ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	有楽町支店	ユラク	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オセ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネタク	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ミズホ	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	麹町支店	コウジ	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町村金種出張所	チムラ	1
11	0001	サンプル銀行	サンプル	111	サンプル支店	サンプル	1
12	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	004	船場支店	フナバ	1
13	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	003	瓦町支店	カワチ	1
14	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	005	大塚営業部	オホウラ	1
15	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1
16	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	012	伊勢支店	イセ	1
17	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	011	大塚支店	オホウラ	1
18	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	010	神田駅前支店	カネデ	1
19	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	007	玉造支店	タマゾウ	1
20	0005	三菱東京 U F J	ミヅホ	008	歌島橋支店	カシマ	1

最初へ 前へ 1 2 3 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 金融機関コード
- 支店番号
- 金融機関並びコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	金融機関コード	金融機関名	金融機関名(カナ)	支店番号	支店名	支店名(カナ)	金融機関並びコード
1	0001	みずほ銀行	ミズホ	015	薬地支店	ヤチ	1
2	0001	みずほ銀行	ミズホ	006	有楽町支店	ユラク	1
3	0001	みずほ銀行	ミズホ	022	浅草橋支店	アサハシ	1
4	0001	みずほ銀行	ミズホ	009	神田駅前支店	カネデ	1
5	0001	みずほ銀行	ミズホ	020	押上支店	オセ	1
6	0001	みずほ銀行	ミズホ	019	確定拠出年金支店	カネタク	1
7	0001	みずほ銀行	ミズホ	001	本店	ホン	1
8	0001	みずほ銀行	ミズホ	005	丸の内支店	マルノウチ	1
9	0001	みずほ銀行	ミズホ	021	麹町支店	コウジ	1
10	0001	みずほ銀行	ミズホ	013	町村会館出張所	チムラ	1
11	0001	サンプル銀行	サンプル	111	サンプル支店	サンプル	1
12	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	004	船橋支店	フナバシ	1
13	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	003	瓦町支店	ハチ	1
14	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	005	大原営業部	オハラ	1
15	0005	三菱東京UFJ	ミヅホ	002	丸の内支店	マルノウチ	1

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	金融機関コード	○	4	
2	金融機関名	○	250	
3	金融機関名(カナ)	○	15	
4	支店番号	○	3	
5	支店名	○	250	
6	支店名(カナ)	○	15	
7	郵便番号		25	
8	支店所在地		250	
9	支店所在地(カナ)		250	
10	電話番号		25	
11	手形交換所番号		100	
12	金融機関並びコード	○	100	

データサンプル

```
"0001","サンプル銀行","サンプルバンク","005","本店","ホテン","999-999","所在地","ショバ 仔","100-000-111","","1"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/bank_facil_jp

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「金融機関」をクリックします。

ジョブネット管理

カテゴリ編集

親カテゴリ名: マスタ
 カテゴリID: kaiden-jobnet-category-master-import
 カテゴリ名: 日本語: インポート, 英語: Import, 中国語 (中華人民共和国): 導入

更新 削除

3. 「編集」をクリックします。

実行パラメータ

パラメータリスト

キー	値

トリガ設定

日時指定
 繰り返し指定
 営業日指定

即時実行 編集 削除

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべての削除

パラメータリスト(追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録
 日時指定
 繰り返し指定
 営業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-bankfaciljp	Kaiden! / マスタ / インポート / 金融機関

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	✖
start_date		✖
end_date		✖
shift_date		✖
company_cd		✖

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定
繰り返し指定
営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	✖
start_date		✖
		✖
		✖
		✖

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定
繰り返し指定
営業日指定

更新

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

キー	値
company_cd	
end_date	
import_mode	1
shift_date	
start_date	

トリガ設定

日時指定
繰り越し指定
営業日指定

即時実行 編集 削除

コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/bank_facil_jp/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/bank_facil_jp/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 金融機関マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「bank_facil_jp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

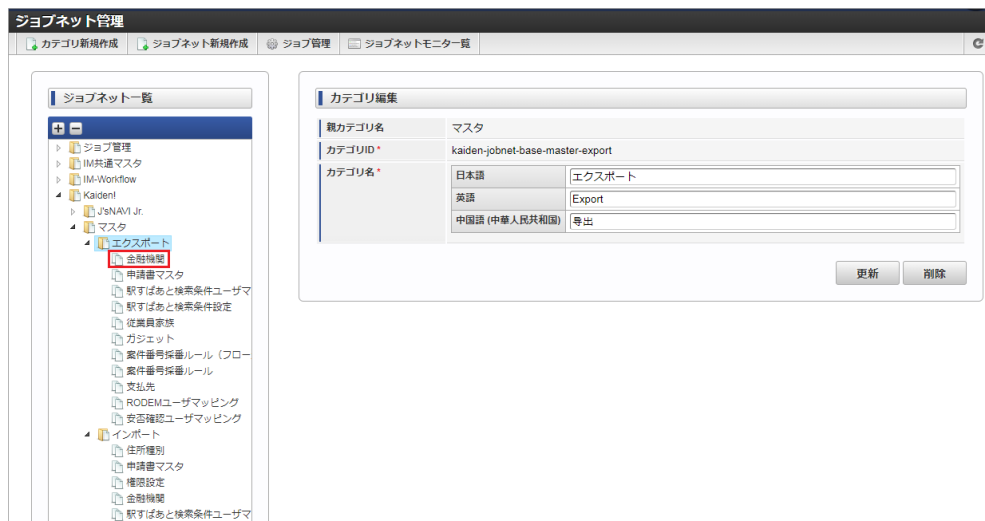
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「金融機関」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

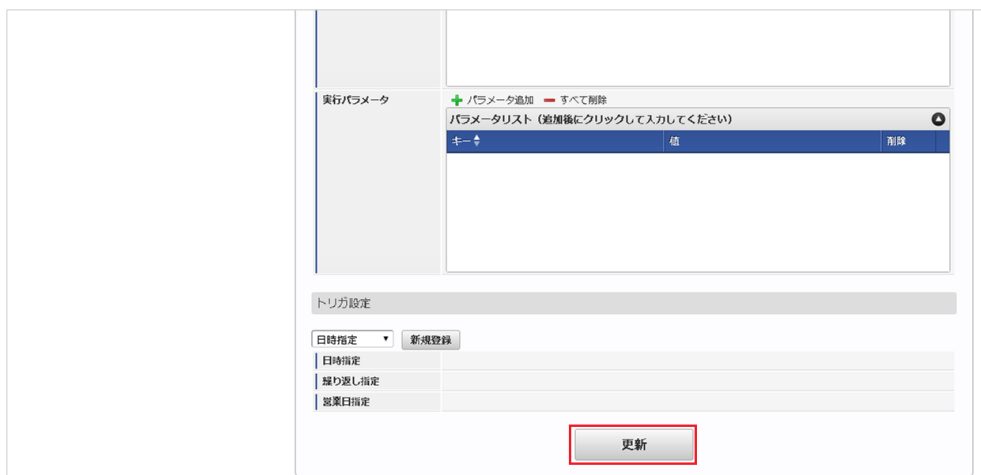
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

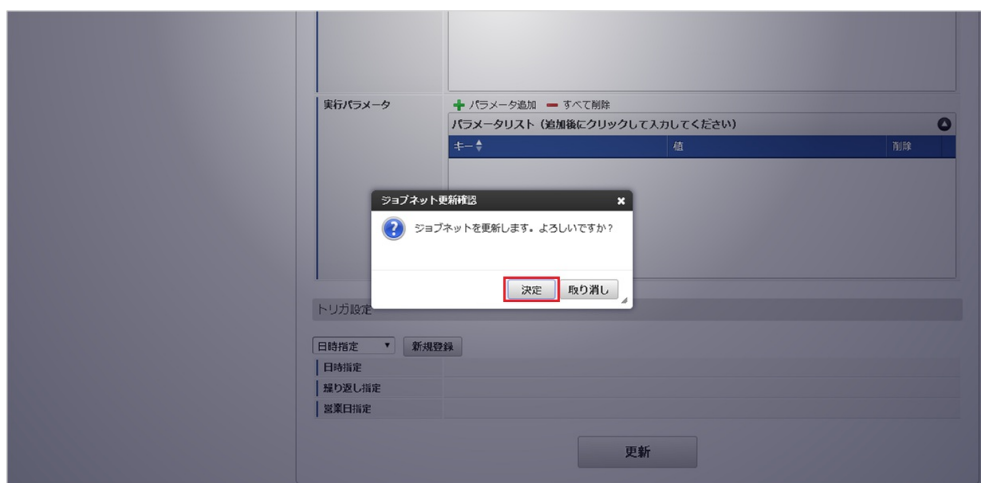
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-bankfaciljp	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 金融機関

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。

The screenshot shows a web interface with a green success message at the top: "ジョブネットの更新に成功しました。" (Job Network update successful). Below the message is a table titled "パラメータリスト" (Parameter List) with columns "キー" (Key) and "値" (Value). The table is currently empty. Below the table is a section for "トリガ設定" (Trigger Settings) with fields for "日時指定" (Date/Time), "繰り返し指定" (Repeat), and "営業日指定" (Business Day). At the bottom are three buttons: "即時実行" (Execute Immediately), "編集" (Edit), and "削除" (Delete).

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/bank_facil_jp/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
bankFacilCd	金融機関コード	
bankFacilNameKj	金融機関名	
bankFacilNameKn	金融機関名(カナ)	
branchNo	支店番号	
branchNameKj	支店名	
branchNameKn	支店名(カナ)	
zipCd	郵便番号	
branchAddressKj	支店所在地	
branchAddressKn	支店所在地(カナ)	
telephoneNumber	電話番号	
clearingHouseNo	手形交換所番号	
lineCd	金融機関並びコード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/bank_facil_jp/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 金融機関マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「bank_facil_jp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、会社口座マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

会社口座マスタは、F Bデータ（振込データ）を作成する際の振込元口座情報として利用します。
設定は会社単位で行い、複数の口座情報を管理できます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(会社)」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

会社口座コード * 000000

会社口座名 * 会社口座(サンプル銀行)

委託者コード * 0000000000

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * サンプル インヤ 入力可能文字

改行文字区分 * なし

振込指定区分 * 電信振込

ソートキー * 1

登録 一覧に戻る

- 会社口座コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 会社口座名
会社口座の名称を入力します。
- 委託者コード
ファームバンキング利用のため、金融機関から発行された委託者コードを入力します。
- 金融機関
金融機関を選択します。
- 口座種別
口座種別を選択します。
- 口座番号
口座番号を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

会社口座コード * 000000

会社口座名 * 会社口座(サンプル銀行)

委託者コード *

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 *

口座番号 *

口座名義 *

改行文字区分 * なし

振込指定区分 * 電信振込

ソートキー * 1

登録 一覧に戻る

確認
登録します。
決定 取り消し

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「口座(会社)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい会社口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社口座コード
- 会社口座名
- 金融機関名
- 支店名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	会社口座コード	会社口座名	金融機関名	支店名	口座番号	▲ソートキー	ステータス
1	000000	会社口座(サンプル銀行)	サンプル銀行	サンプル支店	1000000	1	
2	bank_account_01	会社口座(三菱東京UFJ)	三菱東京UFJ	本店	0000000	1	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会社口座マスターメンテナンス

←

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

会社口座コード * 000000

会社口座名 * 会社口座(サンプル銀行)

委託者コード * 0000000000

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * サンプル会社 入力可能文字

改行文字区分 * なし

振込指定区分 * 電信振込

ソートキー * 1

更新 削除 一覧に戻る

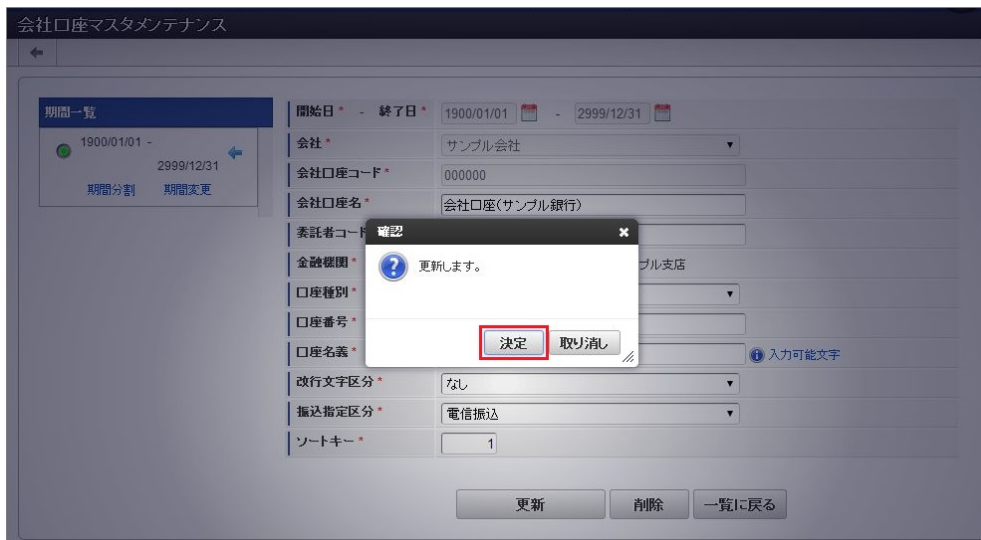
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 会社口座コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	会社口座コード	○	100	
3	期間コード		50	未設定の場合、自動的に付与されます。 半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	会社口座名	○	250	
7	委託者コード	○	10	
8	金融機関コード	○	4	
9	支店番号	○	3	
10	口座種別	○	100	100001-1：普通 100001-2：当座 100001-9：その他
11	口座番号	○	7	
12	口座名義(カナ)	○	40	
13	改行文字区分	○	100	100002-0：なし 100002-1：CR 100002-2：LF 100002-3：CR + LF
14	振込指定区分	○	100	100003-7：電信振込 100003-8：文書振込
15	ソートキー	○	15	
16	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）

データサンプル

```
"comp_sample_01","bank_account_00","term01","1900/01/01","1999/12/31","会社口座（サンプル銀行）","0000000000","0005","001","100001-1","0000000","サンポルカイヤ","100002-0","100003-7","1","1"
"comp_sample_01","bank_account_00","term02","2000/01/01","2999/12/31","会社口座（サンプル銀行）","0000000000","0005","001","100001-1","0000000","サンポルカイヤ","100002-0","100003-7","1","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「会社口座コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。

「会社コード」、「会社口座コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/companyBank

ファイル名 import.csv

コラム

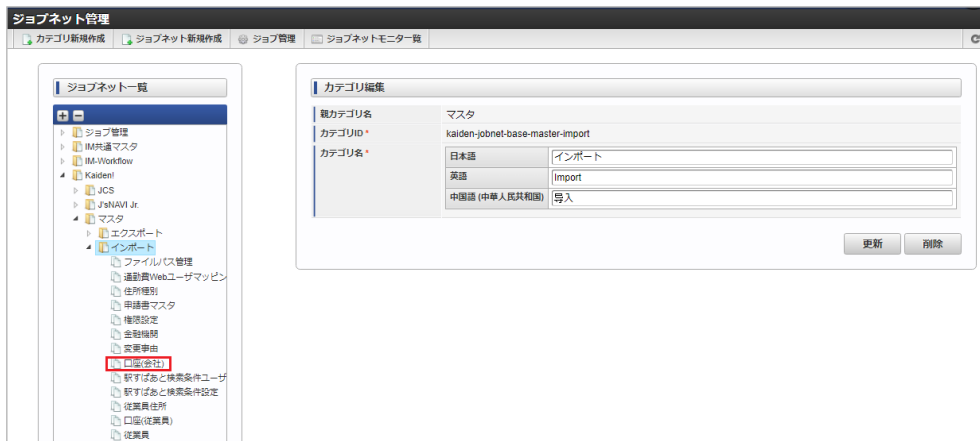
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

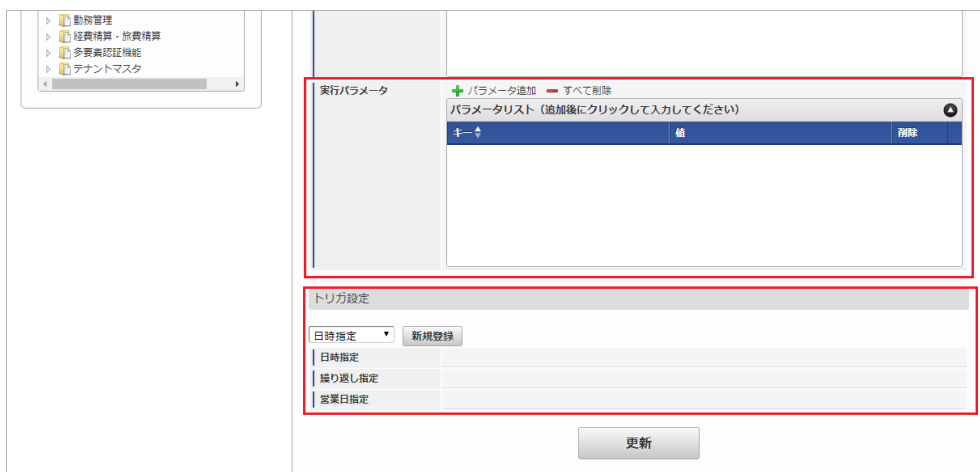
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「口座(会社)」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

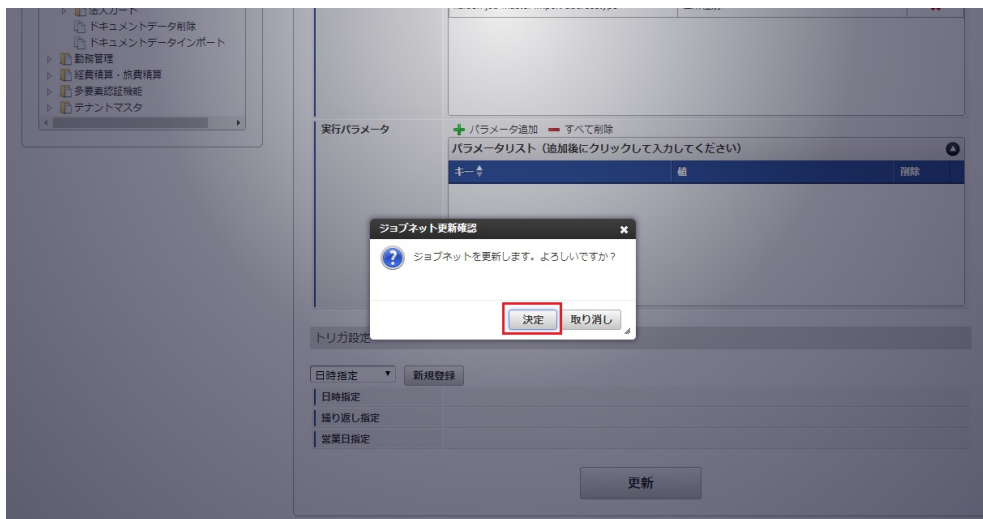
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-companybank	Kaiden! / マスタ / インポート / 口座(会社)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/companyBank/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/companyBank/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 会社口座マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 会社口座マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「companyBank」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

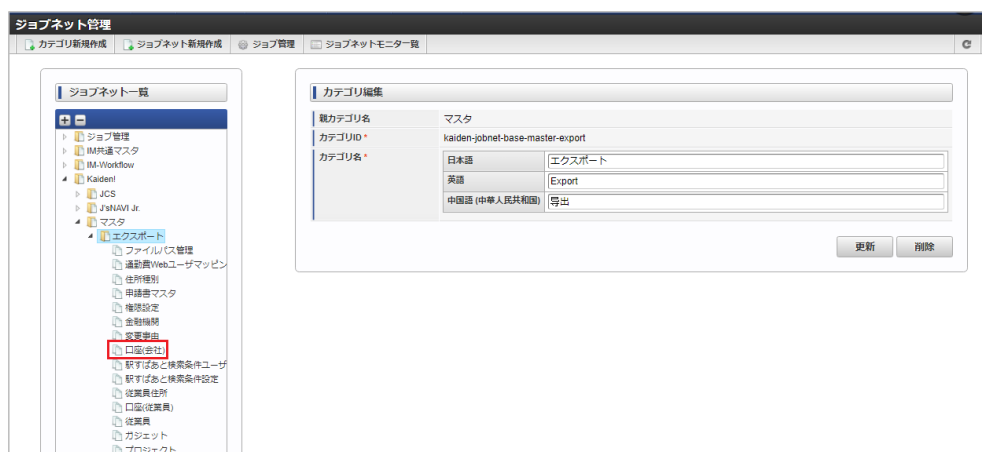
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

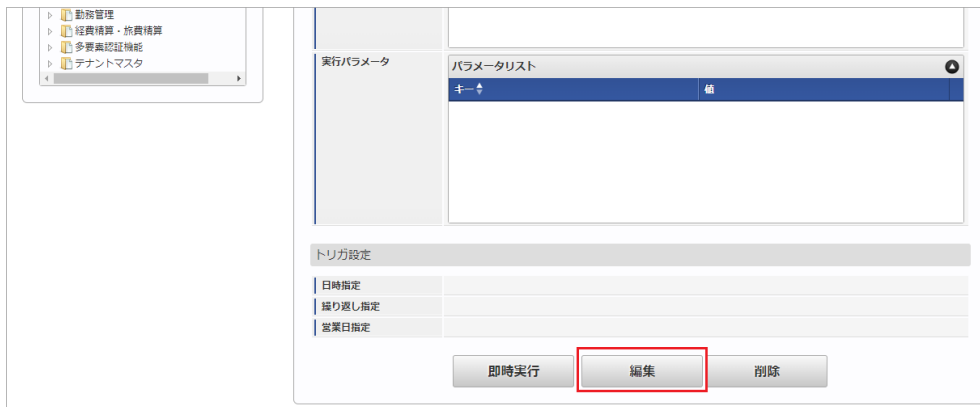
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

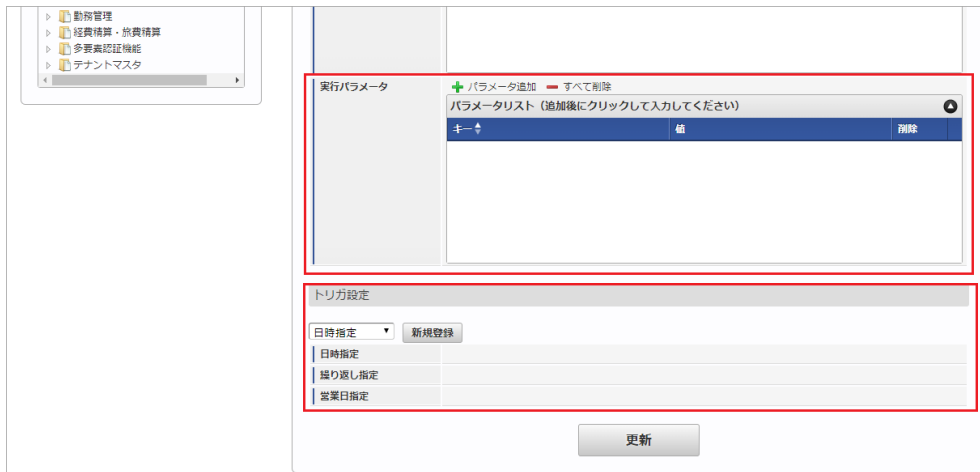
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「口座(会社)」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

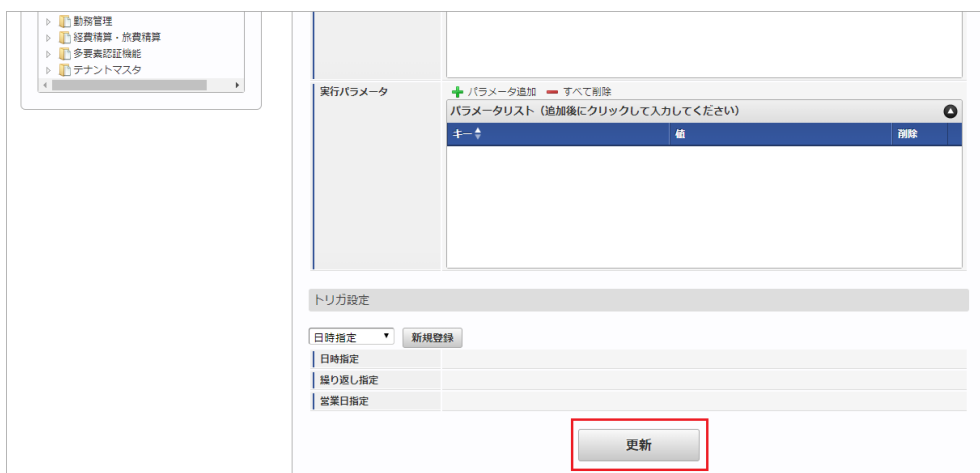
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

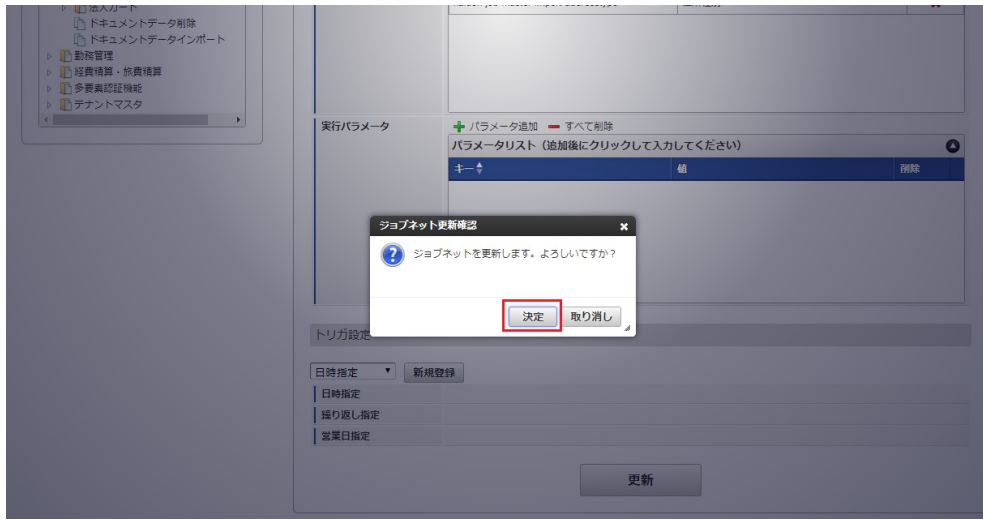
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-companybank	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 口座(会社)

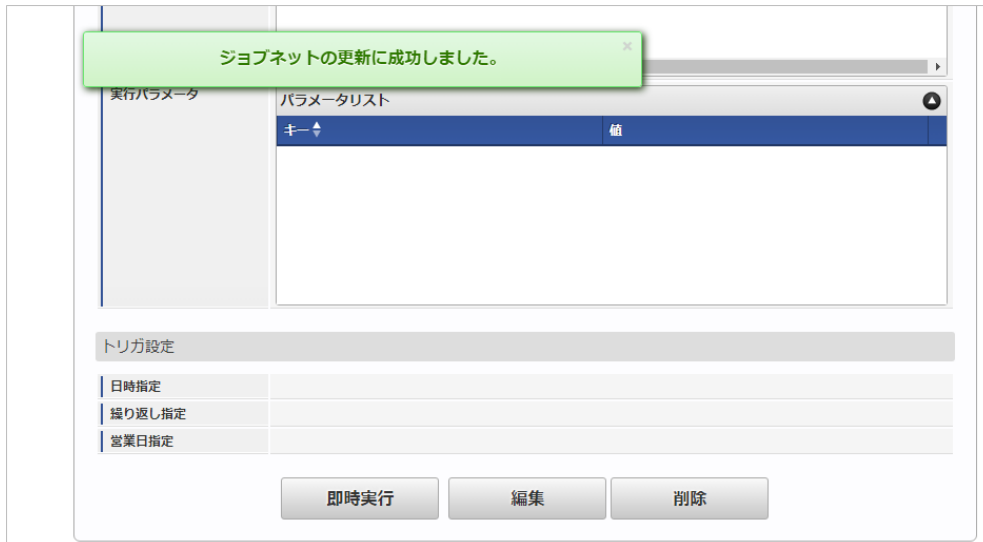
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/companyBank/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
companyBankCd	会社口座コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式

endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
companyBankName	会社口座名	
trustCd	委託者コード	
bankFacilCd	金融機関コード	
branchNo	支店番号	
bankAccountType	口座種別	100001-1 : 普通 100001-2 : 当座 100001-9 : その他
bankAccountNo	口座番号	
bankAccountKana	口座名義(カナ)	
newlineCharType	改行文字区分	100002-0 : なし 100002-1 : CR 100002-2 : LF 100002-3 : CR + LF
paymentAssignType	振込指定区分	100003-7 : 電信振込 100003-8 : 文書振込
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索 対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/companyBank/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/companyBank/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 会社口座マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 会社口座マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「companyBank」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

従業員口座マスタ

本項では、従業員口座マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

従業員口座マスタは、F Bデータ（振込データ）を作成する際の振込先口座情報として利用します。設定はユーザ単位で行い、複数の口座情報を管理できます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。
メンテナンスの他に申請機能（口座変更申請）でも、従業員口座の登録が可能です。



コラム

口座変更申請では、最終承認後に従業員口座が登録（更新）されます。
口座変更申請の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(従業員)」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

従業員口座マスタメンテナンス

社員* 青柳辰巳

開始日* - 終了日* 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替精算

金融機関* サンプル銀行 サンプル支店

口座種別* 普通

口座番号* 1000000

口座名義* アヤギ かつみ 入力可能文字

登録 一覧に戻る

- 用途
対象口座の用途を選択します。
口座情報が複数存在する場合、立替精算は1つのみ選択できます。
両方に選択なしも可能です。
- 金融機関
金融機関を選択します。
- 口座種別
口座種別を選択します。
- 口座番号
口座番号を入力します。
- 口座名義
口座の口座名義を入力します。

i コラム

「従業員」は、開始日を検索基準日としています。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

従業員口座マスタメンテナンス

社員* 青柳辰巳

開始日* - 終了日* 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替精算

金融機関* サンプル銀行 サンプル支店

口座種別* 普通

口座番号* 1000000

口座名義* アヤギ かつみ

登録 一覧に戻る

確認

登録します。

決定 取り消し

5. 新規登録することができました。

従業員口座マスタメンテナンス

登録しました。

新規登録

検索

No	▲ 社員コード	社員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本剛子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「口座(従業員)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

従業員口座マスタメンテナンス

新規登録

検索

No	▲ 社員コード	社員名	開始日	終了日
----	---------	-----	-----	-----



コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 社員コード
- 社員名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	社員コード	社員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本順子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

社員 * 青柳辰巳

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替積算

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * アヤキ かつみ 入力可能文字

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 社員

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

従業員口座マスターメンテナンス

社員 * 青柳辰巳

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

用途 給与・賞与等 立替積算

金融機関 * サンプル銀行 サンプル支店

口座種別 * 普通

口座番号 * 1000000

口座名義 * アヤキ かつみ

確認

更新します。

決定 取り消し

更新 削除 一覧に戻る

6. 更新することができました。

The screenshot shows the '従業員口座マスタメンテナンス' (Employee Account Master Maintenance) screen. A green notification box at the top says '登録しました。' (Registered). Below is a search bar with a '検索' (Search) button. The main area contains a table with the following data:

No	▲ 社員コード	社員名	開始日	終了日
1	aoyagi	音柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本順子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

At the bottom right of the table area, there are navigation links: '最初へ前へ 1 次へ最後へ'.

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ユーザコード	○	100	
2	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
3	開始日	○	10	yyyy/MM/dd形式
4	終了日	○	10	yyyy/MM/dd形式

データサンプル

```
"aoyagi","term01","1900/01/01","1999/12/31"
"aoyagi","term02","2000/01/01","2999/12/31"
```

i コラム

「期間コード」は、「ユーザコード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「ユーザコード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ データ形式

import_detail.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ユーザコード	○	100	
2	期間コード	○	50	
3	タプルID	○	18	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	行番号	○	18	
5	用途（給与・賞与等）	○	1	0：給与・賞与等の用途として使用しない 1：給与・賞与等の用途として使用する
6	用途（立替精算）	○	1	0：立替精算の用途として使用しない 1：立替精算の用途として使用する
7	金融機関コード	○	4	
8	支店番号	○	3	
9	口座種別	○	100	100001-1：普通 100001-2：当座 100001-9：その他
10	口座番号	○	7	
11	口座名義（カナ）	○	40	

データサンプル

```
"aoyagi","term01","0","1","1","1","0005","001","100001-1","1111111","アオヤギ"
```

```
"aoyagi","term02","0","1","1","1","0005","001","100001-1","1111111","アオヤギ"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

i コラム

「import_header.csv」、「import_detail.csv」で設定された「ユーザコード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/empBank

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

i コラム

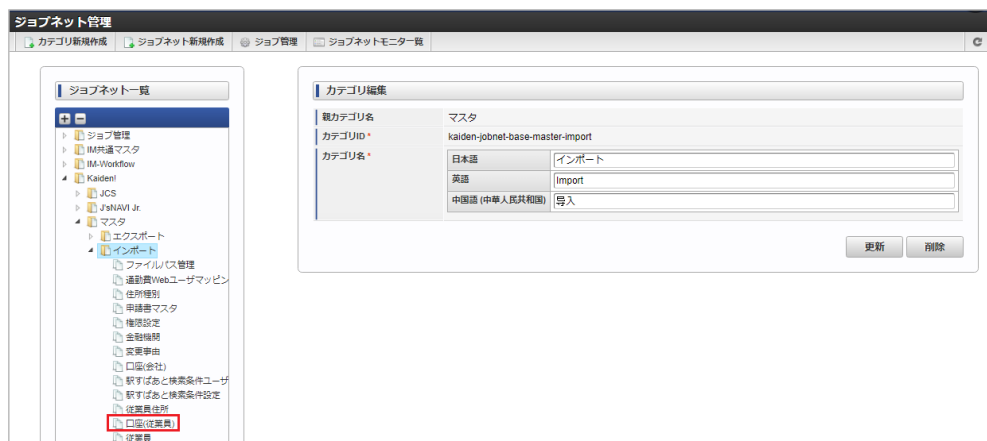
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

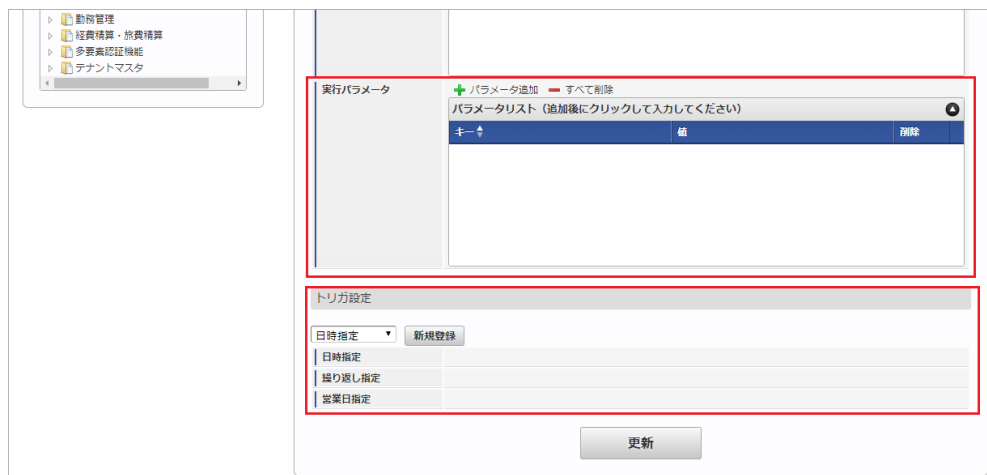
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「口座(従業員)」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

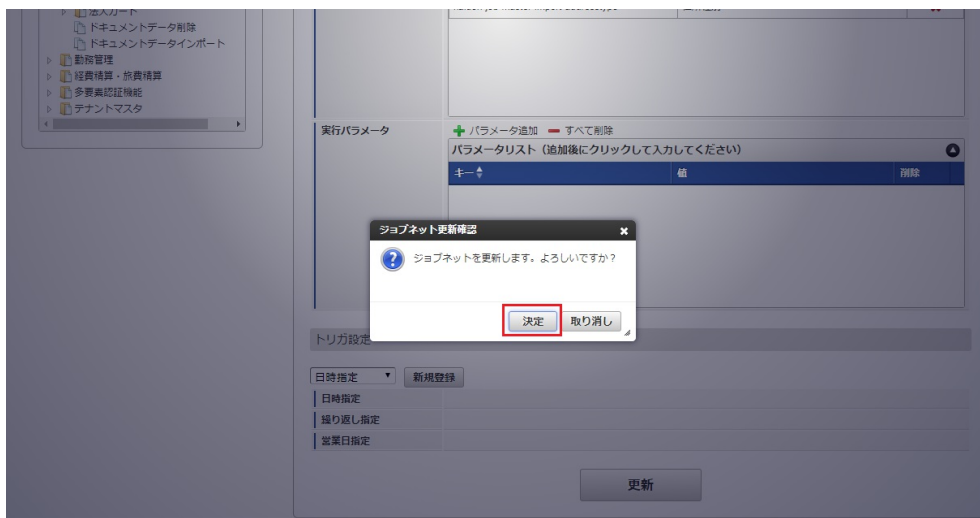
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-empbank	Kaiden! / マスタ / インポート / 口座(従業員)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/empBank/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/empBank/import_header_{YMDHMSN}.csv import_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 JCS役職マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 従業員口座マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「empBank」を設定しています。

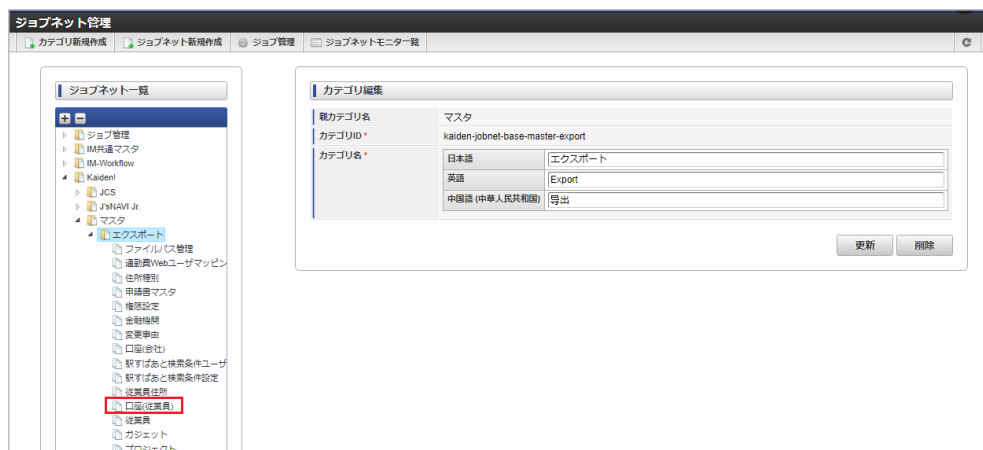
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

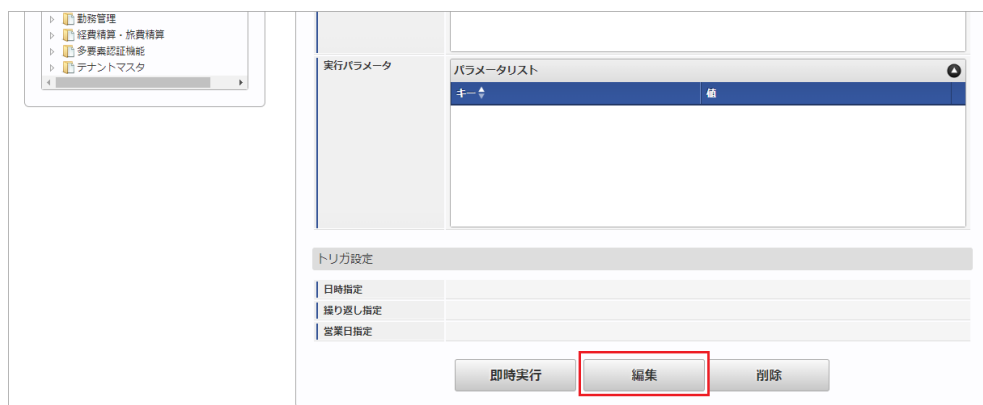
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

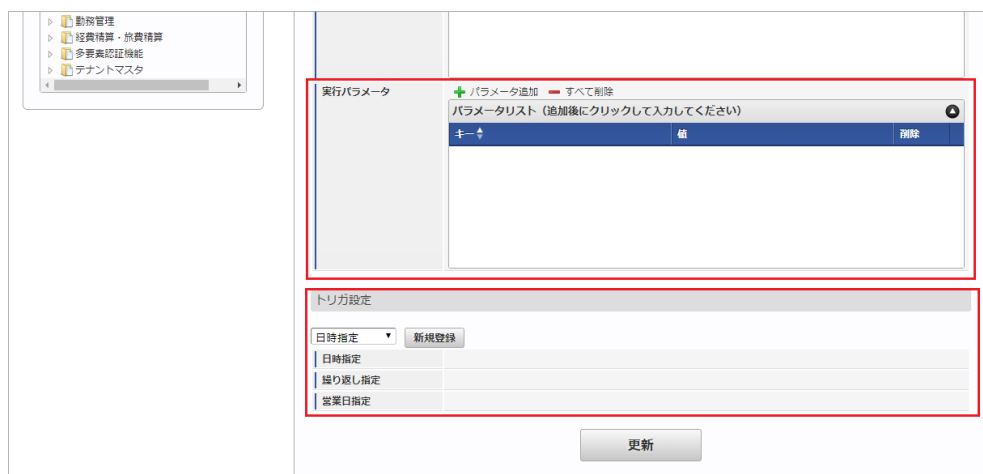
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「口座(従業員)」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
 トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

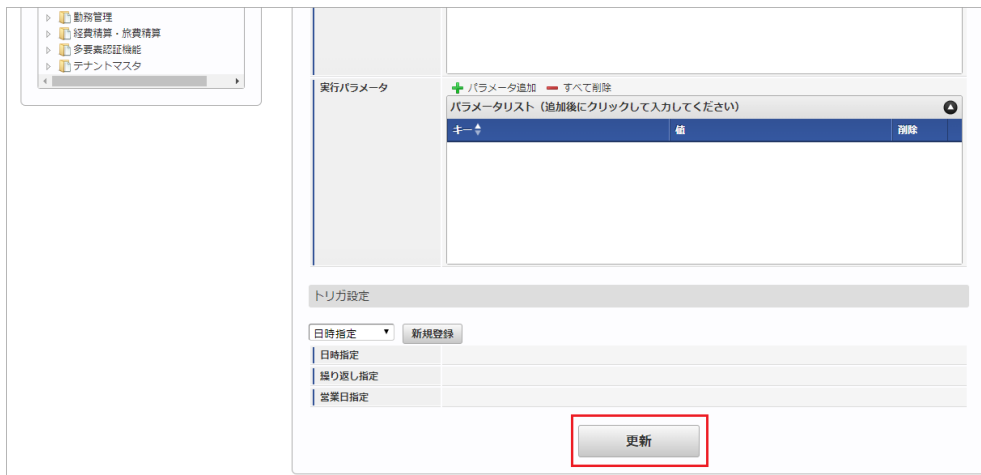
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

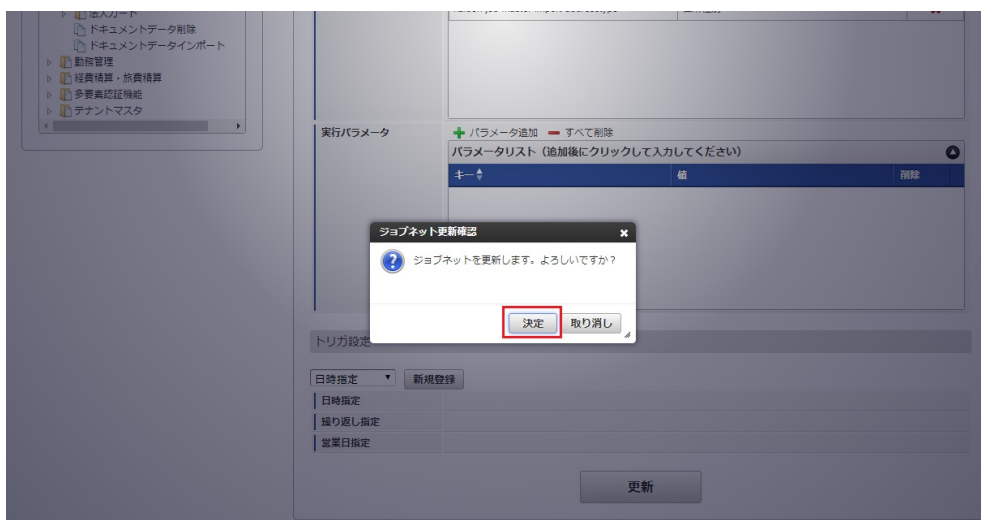
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-empbank	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 口座(従業員)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/empBank/

ファイル名 export_header.csv
export_detail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。
export_header.csv

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式

export_detail.csv

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
usesOther	用途（給与・賞与等）	0：給与・賞与等の用途として使用しない 1：給与・賞与等の用途として使用する
usesSettle	用途（立替精算）	0：立替精算の用途として使用しない 1：立替精算の用途として使用する
bankFacilCd	金融機関コード	
branchNo	支店番号	
bankAccountType	口座種別	100001-1：普通 100001-2：当座 100001-9：その他
bankAccountNo	口座番号	
bankAccountKana	口座名義(カナ)	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empBank/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empBank/export_header_{YMDHMSN}.csv export_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 JCS役職マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。

名称	キー	説明 / 設定値
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 口座(従業員)マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「empBank」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

通勤経路マスタ

本項では、通勤経路マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- 経路検索機能
 - 経路検索
 - 経路検索解除
 - 経路情報
 - その他
 - トラブルシューティング
- 通勤費Web連携

概要

通勤経路マスタは、経路検索時の定期区間控除情報として利用します。
設定はユーザ単位で行います。

メンテナンスの他に申請機能（通勤経路変更申請）でも、通勤経路の登録、変更が可能です。

i コラム

通勤経路変更申請では、最終承認後に通勤経路変更申請が登録（更新）されます。
通勤経路変更申請の詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

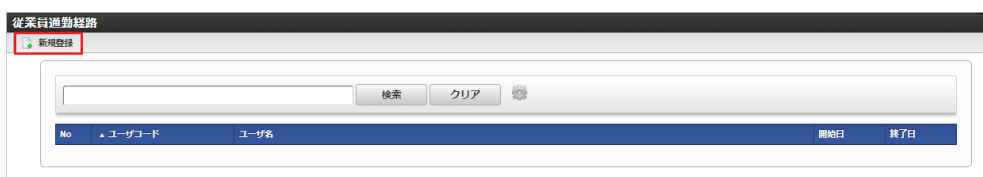
当マスタはインポート・エクスポート機能がありません。
データ移行の際はTableMaintenance機能を使用してください。
対象テーブルは「k10m_comm_route」、「k10m_comm_route_dtl」、「k10m_comm_route_val」、
「k10m_comm_route_tsukinhi_web」です。
詳細は『[TableMaintenance 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「通勤経路」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録 / 更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

従業員通勤経路

経路検索

社員
青柳環巴

開始日 - 終了日
1900/01/01 - 2999/12/31

検索基準日

1

区間
東京 - 新宿

補足
JR中央線

所要時間
13

1ヶ月定期
6290

3ヶ月定期
17920

6ヶ月定期
30270

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
13	6290	17920	30270

その他支給項目

支給内容
軽車庫代

支給額
15000

登録 一覧に戻る

- 区間
移動区間（定期券区間など）を入力します。
- 補足
補足を入力します。
- 所要時間
移動区間の所要時間（分単位など）を入力します。
- 定期代（1ヶ月、3ヶ月、6か月）
それぞれの定期代を入力します。
- 連携情報
経路連携している場合、連携情報が表示されます。
- その他支給項目
定期代以外の支給項目などあれば入力します。
 - 支給内容
支給名目を入力します。
 - 支給額
支給額を入力します。

i コラム

「社員」は、システム日付を検索基準日としています。

i コラム

経路検索機能を利用することができます。（機能が有効になっている場合のみ）
経路検索機能の詳細は、[経路検索機能](#)を参照してください。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行（カード形式）の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

1

区間
東京 - 新宿

補足
JR中央線

所要時間
13

1ヶ月定期
6290

3ヶ月定期
17920

6ヶ月定期
30270

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
13	6290	17920	30270

その他支給項目

支給内容
軽車庫代

支給額
15000

登録 一覧に戻る

確認

登録します。

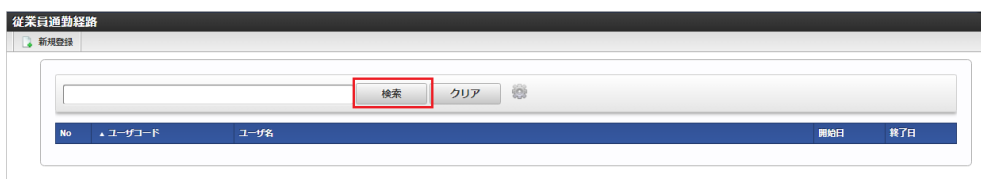
決定 取り消し

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「通勤経路」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

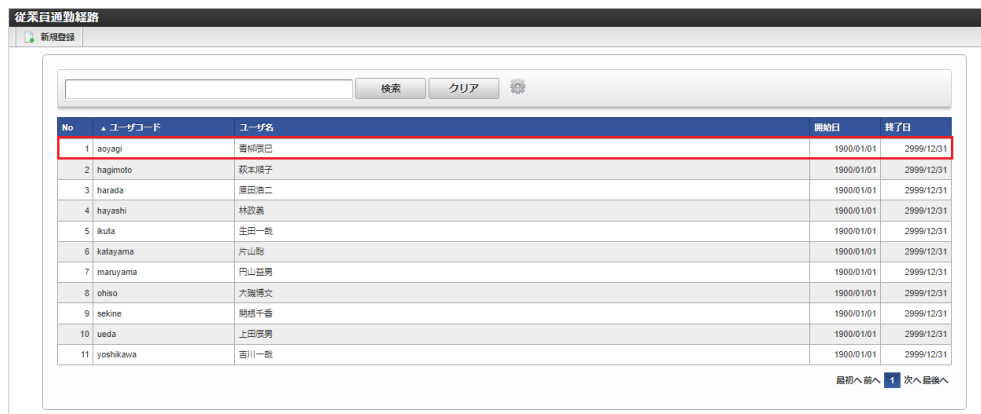


i コラム

検索欄に検索したい通勤経路の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 社員

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No.	ユーザコード	ユーザ名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳環己	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本環子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayaashi	林政義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	manuyama	丹山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田環男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

経路検索機能

経路検索機能は、駅すばあと(R)と連携して経路情報を検索・表示する機能です。
経路検索機能を利用するには、駅すばあと(R)の利用契約が必要です。

コラム

経路検索機能が利用できる場合には、以下のように「経路検索」リンクが表示されます。



経路検索

1. 経路検索をクリックします。

2. 検索基準日、出発地/目的地を入力して「検索」をクリックします。

i コラム

2文字以上入力し、しばらく待つと候補が表示されますので、そこから選択することもできます。

出発地	池袋
目的地	池袋 池袋 バス停 池袋/茨城コミュニティバス 池袋サンシャインB T(高速・連絡バス) 池袋サンシャインシティ/都営バス 池袋駅/関東バス 池袋駅西口/国際興業バス 池袋駅前(高速・連絡バス) 池袋駅東口/都営バス 池袋駅東口(10番のりば)/都営バス 池袋駅東口/国際興業バス 池袋四丁目/国際興業バス 池袋車庫/関東バス 池袋車庫/国際興業バス 池袋小学校/国際興業バス 池袋二丁目/関東バス 池袋二丁目/国際興業バス 池袋二又交番/関東バス 池袋二又交番/国際興業バス

i コラム

以下のアイコンをクリックすると経由地の表示・非表示を切り替えることができます。

出発地	池袋	↑↓+
目的地	大阪	
↑↓		
出発地	池袋	↑↓×
経由地(1)		
経由地(2)		
経由地(3)		
目的地	大阪	

3. 検索された中から今回利用する「この経路を利用」をクリックし、検索結果を反映させます。

経路検索 (powered by 駅すばあと)

検索日時: 2019/01/22 31

出発地: 練馬

目的地: 都庁前

検索

経路	所要時間	乗換回数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	備考
経路 1	21分	乗換0回	9,170円	26,140円	49,520円	この経路を利用
経路 2	34分	乗換1回	17,680円	50,400円	95,490円	この経路を利用
経路 3	35分	乗換2回	18,400円	52,450円	97,040円	この経路を利用
経路 4	37分	乗換2回	17,790円	50,700円	93,140円	この経路を利用
経路 5	38分	乗換2回	18,410円	52,480円	99,420円	この経路を利用

経路 1 詳細:
 検索基準日: 2019/01/22
 合計時間: 21分 (乗車: 16分, 徒歩: 0分, ほか: 5分)
 定期代 (1ヶ月: 9,170円, 3ヶ月: 26,140円, 6ヶ月: 49,520円)

経路図:
 S 練馬 (16分) → 7駅 都営大江戸線 → E 都庁前
 定期代 (1ヶ月: 9,170円, 3ヶ月: 26,140円, 6ヶ月: 49,520円)

閉じる

i コラム

以下のバーをクリックすると、経路の詳細が開閉します。

経路 1 21分 乗換0回 1ヶ月:9,170円, 3ヶ月:26,140円, 6ヶ月:49,520円 此の経路を利用

4. 経路結果が反映されました。

従業員通勤経路

経路検索

社員: [社員ID] 開始日 - 終了日: 1900/01/01 - 2999/12/31

検索基準日: 2019/01/22

1

区間: 練馬 - 都庁前

所要時間: 14 1ヶ月定期: 9170 3ヶ月定期: 26140 6ヶ月定期: 49520

再検索 詳細を表示 連携解除

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
14	9170	26140	49520

その他の項目

支給内容: [支給内容] 支給額: [支給額]

登録 一覧に戻る

i コラム

経路検索後は次の項目が編集不可項目に変化します。
 経路検索解除で編集可能に変化します。

- 区間
- 所要時間
- (1ヶ月、3ヶ月、6か月)

1

区間: 練馬 - 都庁前

所要時間: 14 1ヶ月定期: 9170 3ヶ月定期: 26140 6ヶ月定期: 49520

再検索 詳細を表示 連携解除

経路検索解除

1. 「解除」をクリックします。

The screenshot shows the '経路検索' (Route Search) interface. At the top, there are search criteria for '社員' (Employee) and '開始日 - 終了日' (Start - End Date). Below this, a list of search results is shown, with the first result selected. The '解除' (Cancel) button is highlighted with a red box. The '合計' (Total) section shows the following values:

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
14	9170	26140	49520

2. 解除されました。

The screenshot shows the '経路検索' (Route Search) interface after the '解除' (Cancel) button has been clicked. The '解除' button is now highlighted in red. The '合計' (Total) section shows the following values:

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
14	9170	26140	49520

コラム

経路検索結果との連携は解除されますが、区間、所要時間、定期代（1ヶ月、3ヶ月、6か月）はクリアされずに残ります。

コラム

「再検索」をクリックすると、再度経路検索画面が表示されます。

経路情報

1. 「詳細を表示」で経路情報の詳細を表示できます。



その他

経路検索アイコン

アイコン	意味
	探索結果中で最も早い経路
	探索結果中で6か月定期代が最も安い経路
	探索結果中で最も楽な経路
	探索結果中で最も二酸化炭素排出量が少ない経路
	特急を利用
	バスを利用
	飛行機を利用
	船を利用

コラム
 アイコンがグレーの場合はその意味をなさないことを表します。

住所を使用した検索

出発地、目的地に住所を入力すると、最寄りの駅が1件表示されます。
 住所を入力する際は、都道府県から町・字までは必ず入力してください。



住所を使用して検索する際、範囲を指定して検索できます。

下記の通り入力した場合、入力した住所から半径1000m以内の駅が表示されます。

詳細設定検索

駅すばあと検索条件設定マスタの設定により「詳細設定」が表示されます。

「詳細設定」をクリックすると、詳細設定の表示・非表示を切り替えることができます。

複数の検索基準日

経路が2つ以上ある場合、検索基準日をそろえる必要があります。

これは、「早」「安」「楽」を判定するのに用いた日付であり、「いつの時点で安いと判定したのか？」を承認者が参照するためのものです。

従業員通経路

経路検索

社員 開始日 - 終了日 1900/01/01 前 - 2999/12/31 前

検索基準日 検索

1

区間 練馬 - 都庁前

補足 所要時間 1ヶ月定期 3ヶ月定期 6ヶ月定期

補足 14 9340 28620 50440

再検索 詳細を表示 連携解除

2

区間 練馬一丁目/西武バス - 練馬

補足 所要時間 1ヶ月定期 3ヶ月定期 6ヶ月定期

補足 5 9900 28220 53460

再検索 詳細を表示 連携解除

+

合計

所要時間合計	定期券代合計(1ヶ月)	定期券代合計(3ヶ月)	定期券代合計(6ヶ月)
19	19240	54840	103900

その他支給項目

支給内容 支給額 支給額

登録 一覧に戻る

i コラム

検索基準日は経路検索する際に指定します。

検索日時

定期券として利用できない経路

経路に特急やバスなどが含まれる場合は、「定期券としては利用できない経路です。」と表示されます。1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月すべての定期代が取得できなかった場合このような判定になるためです。

i コラム

バス会社によっては6ヶ月定期の取り扱いがない場合があります。

経路検索(power by 駅ずばあと)

検索日時

出発地

目的地

検索

経路	所要時間	乗換回数	定期代(定期券としては利用できない経路です。)	この経路を利用
経路 1	56分	乗換1回	定期代(定期券としては利用できない経路です。)	この経路を利用
検索基準日 2019/01/22 合計時間:56分(乗車:13分、徒歩:0分、ほか:43分) 定期代(定期券としては利用できない経路です。) 経路 1: 湘南台駅東口/神奈川中央交通 10分: 神奈川中央交通・湘2 7 横浜薬六南門/神奈川中央交通 3分: 神奈川中央交通・戸5 5 横浜医療センター/神奈川中央交通				
経路 2	1時間5分	乗換1回	定期代(定期券としては利用できない経路です。)	この経路を利用
経路 3	1時間16分	乗換2回	定期代(定期券としては利用できない経路です。)	この経路を利用
経路 4	1時間26分	乗換1回	定期代(定期券としては利用できない経路です。)	この経路を利用

閉じる

! 注意

「定期券としては利用できない経路です。」となっても、特にエラーなく登録できますが、旅程明細にて交通費を計算する際に定期券控除をしようとしても控除できない場合があります。

! 注意

旅程明細にて交通費を計算する際に定期券控除が可能な経路は鉄道のみです。

オフピーク定期券の検索

「駅すばあと検索条件設定マスタ」の設定などで、オフピーク定期を「計算する」設定にした場合、オフピーク定期券に対応している経路はオフピーク定期券の料金を検索します。

検索結果の経路にオフピーク定期券が含まれる場合、「オフピーク定期」のアイコンを表示します。



反映した経路にオフピーク定期券が含まれる場合、「オフピーク定期」のアイコンを表示します。

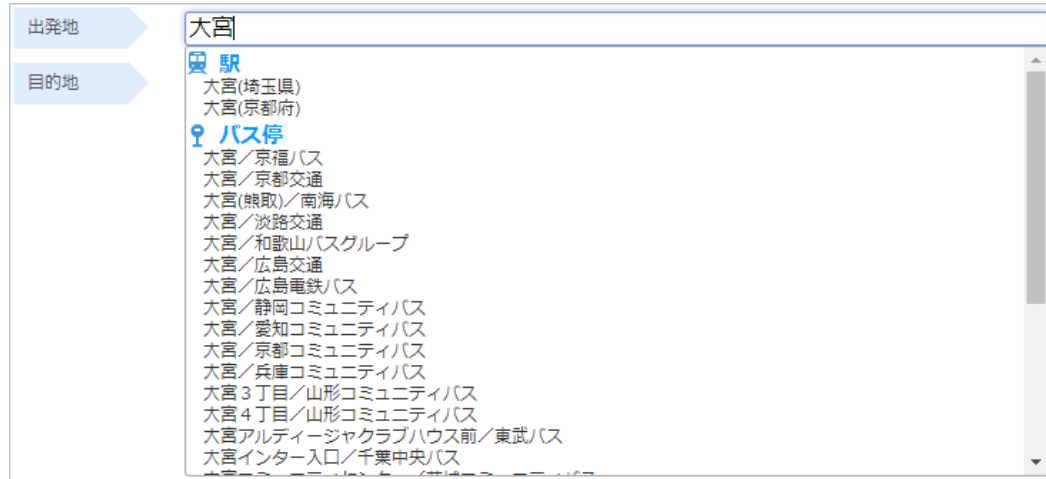


トラブルシューティング

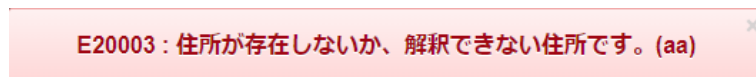
- E102:駅名が見つかりません。**
 駅名が見つからないか、同じ名前が複数あるなど特定できない場合に表示されるエラーです。



入力して候補を表示させ、その候補の中から選択してください。

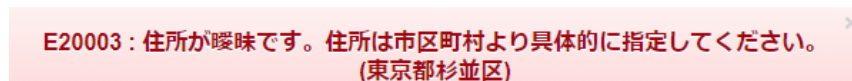


- E20003:住所が存在しないか、解釈できない住所です。**
 住所が解釈できない際に表示されるエラーです。



住所または駅名を入力してください。

- E20003:住所が曖昧です。住所は市区町村より具体的に指定してください。**
 住所が解釈できない際に表示されるエラーです。



住所を入力する際は、都道府県から町・字までは必ず入力してください。

通勤経路は、通勤費Webからインポート可能です。

通勤費Webから通勤経路をインポートする場合、[通勤費Webから通勤経路をインポートする方法](#)を参照してください。

コラム

通勤費Webと紐づけされた経路は、「通勤費Webと連携済みの明細です。」と表示され、「補足」のみ編集可能です。ただし、バス経路を含むなどで通勤費Webと紐づけされない経路は全ての項目を編集可能です。

フィルタリング設定

本項では、フィルタリング設定の設定方法を説明します。

- 概要
- マスタメンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- 絞り込み条件
 - 例①：フィルタリング設定を行わない場合
 - 例②：コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合
 - 例③：ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合
 - 例④：コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合

概要

フィルタリング設定は、検索機能で表示するマスタデータを絞り込む条件として利用します。設定可能なフィルタ区分、マスタ区分は次の通りです。

- フィルタ区分
 - コンテンツ（コンテンツバージョンID）
 - ガジェット
- マスタ区分
 - 経費区分マスタ
 - 事業者区分・交付義務の免除理由マスタ
 - 日当マスタ

コラム

絞り込みの詳細は、[絞り込み条件](#)を参照してください。

コラム

当マスタはインポート・エクスポート機能がありません。データ移行の際はTableMaintenance機能を使用してください。対象テーブルは「k10m_filtering」、「k10m_filtering_item」、「k10m_filtering_mapping」です。詳細は『[TableMaintenance 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

マスタメンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「フィルタリング設定」をクリックします。

2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

検索 クリア

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
----	--------------	----------	------	-------	-------

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

フィルタリングコード * 000000

フィルタリング名 *

日本語	サンプル
英語	Sample
中国語 (中華人民共和国)	样品

対象機能 * ガジェット

旅程明細

対象マスタ * 経費区分マスタ

	経費区分 *	勘定科目	税区分
1	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
2	<input checked="" type="checkbox"/> 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(8%)

登録 一覧に戻る

- フィルタリングコード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- フィルタリング名
フィルタリングの名称を入力します。
- 対象機能
フィルタリング対象の機能を選択します。
- 対象マスタ
フィルタリング対象のマスタ、およびマスタデータを選択します。

i コラム

「経費区分」、「事業者区分・交付義務の免除理由」、「日当」は、メンテナンス画面の「開始日」を検索基準日としています。

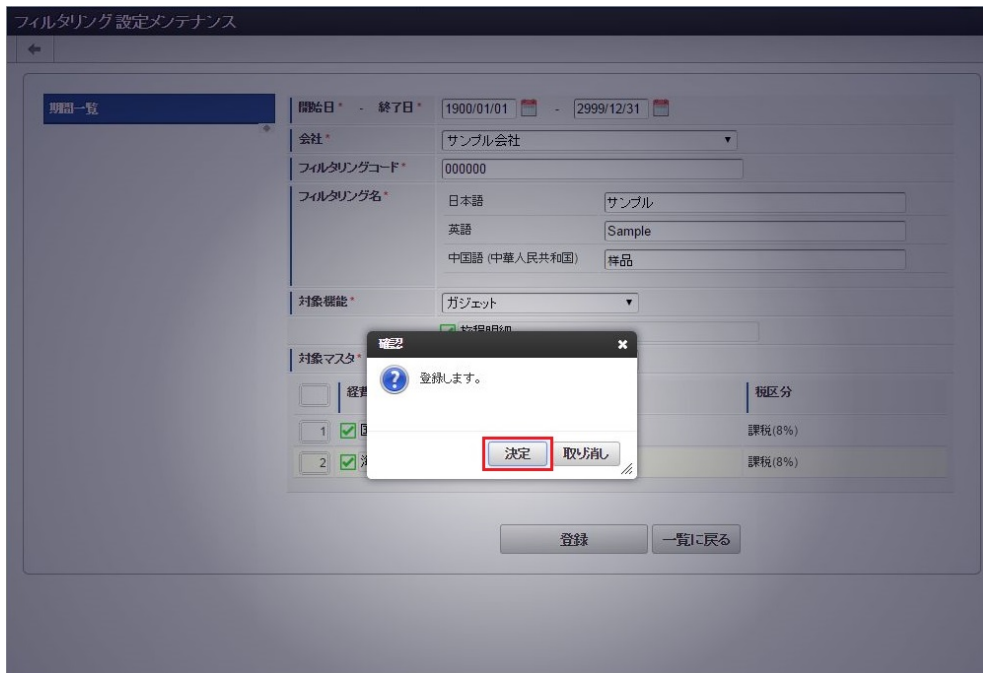
i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

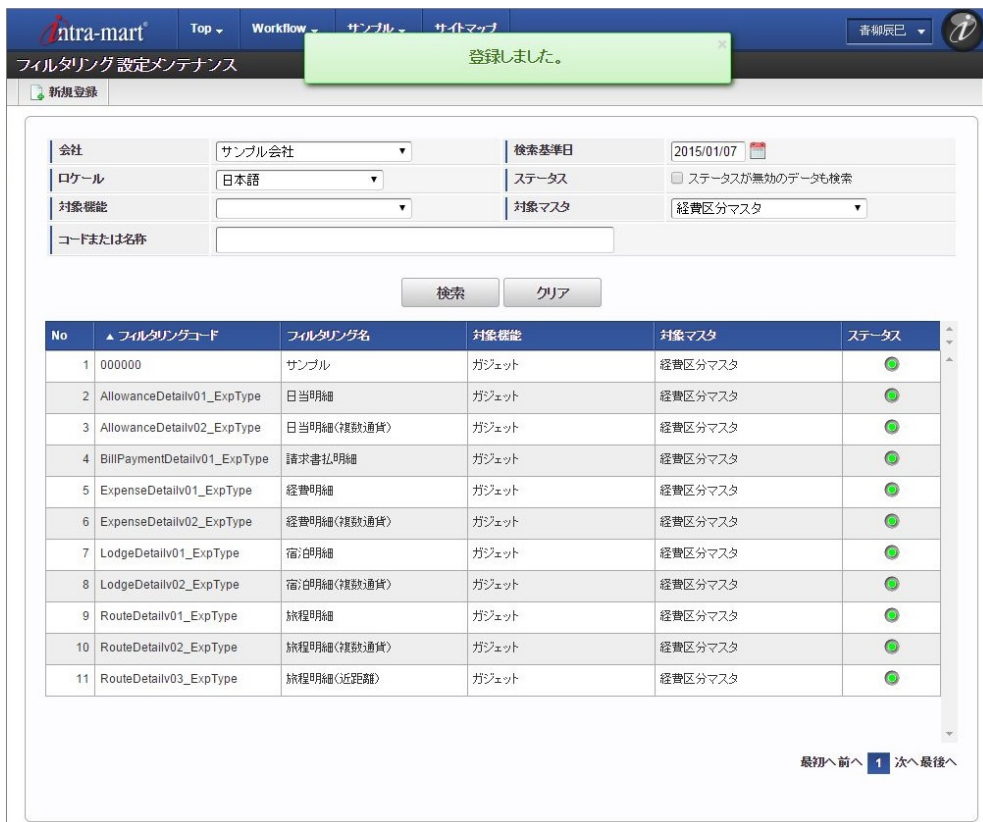
i コラム

対象マスタに事業者区分・交付義務の免除理由マスタを選択した場合、初期値設定を設定できます。
 初期値設定にチェックした事業者区分・交付義務の免除理由はガジェットの実費区分選択時に初期値として設定されます。
 ただし、経費区分に紐づく税区分の税率が0%の場合、初期値として設定されません。
 また、既に事業者区分・交付義務の免除理由が設定済みの場合、設定済みの値は変更されません。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「フィルタリング設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

新規登録

会社	サンプル会社	検索基準日	2015/01/07
ロケール	日本語	ステータス	<input type="checkbox"/> ステータスが無効のデータも検索
対象機能		対象マスタ	経費区分マスタ
コードまたは名称			

No	▲ フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
1	000000	サンプル	ガジェット	経費区分マスタ	●
2	AllowanceDetailv01_ExpType	日当明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
3	AllowanceDetailv02_ExpType	日当明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
4	BillPaymentDetailv01_ExpType	請求書払明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
5	ExpenseDetailv01_ExpType	経費明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
6	ExpenseDetailv02_ExpType	経費明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
7	LodgeDetailv01_ExpType	宿泊明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
8	LodgeDetailv02_ExpType	宿泊明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
9	RouteDetailv01_ExpType	旅程明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
10	RouteDetailv02_ExpType	旅程明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
11	RouteDetailv03_ExpType	旅程明細(近距離)	ガジェット	経費区分マスタ	●

最初へ前へ **1** 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日* - 終了日* 1900/01/01 - 2999/12/31

会社* サンプル会社

フィルタリングコード* 000000

フィルタリング名*
日本語 サンプル
英語 Sample
中国語 (中華人民共和国) 样品

対象機能* ガジェット
 旅程明細

対象マスタ* 経費区分マスタ

経費区分*	勘定科目	税区分
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
<input checked="" type="checkbox"/> 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(8%)

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- フィルタリング設定コード
- 対象機能
- 対象マスタ

i コラム

フィルタリング対象のマスタは編集不可項目ですが、フィルタリング対象のマスタデータは編集可能です。

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

フィルタリング設定メンテナンス

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日* - 終了日* 1900/01/01 - 2999/12/31

会社* サンプル会社

フィルタリングコード* 000000

フィルタリング名*
日本語 サンプル
英語 Sample
中国語 (中華人民共和国) 样品

対象機能* ガジェット
 旅程明細

対象マスタ* 経費区分マスタ

経費区分*	勘定科目	税区分
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)
<input checked="" type="checkbox"/> 海外出張 国内移動	旅費交通費	課税(8%)

更新 削除 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳辰巳

フィルタリング設定メンテナンス 更新しました。

新規登録

会社: サンプル会社 検索基準日: 2015/01/07

ロケール: 日本語 ステータス: ステータスが無効のデータも検索

対象機能: 対象マスタ: 経費区分マスタ

コードまたは名称

検索 クリア

No	▲フィルタリングコード	フィルタリング名	対象機能	対象マスタ	ステータス
1	000000	サンプル	ガジェット	経費区分マスタ	●
2	AllowanceDetailv01_ExpType	日当明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
3	AllowanceDetailv02_ExpType	日当明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
4	BillPaymentDetailv01_ExpType	請求書払明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
5	ExpenseDetailv01_ExpType	経費明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
6	ExpenseDetailv02_ExpType	経費明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
7	LodgeDetailv01_ExpType	宿泊明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
8	LodgeDetailv02_ExpType	宿泊明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
9	RouteDetailv01_ExpType	旅程明細	ガジェット	経費区分マスタ	●
10	RouteDetailv02_ExpType	旅程明細(複数通貨)	ガジェット	経費区分マスタ	●
11	RouteDetailv03_ExpType	旅程明細(近距離)	ガジェット	経費区分マスタ	●

最初へ前へ 1 次へ最後へ

絞り込み条件

マスタデータの絞り込みは、対象の検索機能がいずれかのフィルタリング設定に合致した場合に有効になり、複数のフィルタリング設定に該当する場合は、AND条件として絞り込まれます。

本項では、旅費精算申請の経費区分マスタ検索を例に、フィルタリング設定のマスタデータの絞り込み方法を説明します。

コラム

旅費精算申請のフィルタ区分は、コンテンツです。

旅費精算申請には次のガジェットが含まれているものとします。

- 旅程明細
- 宿泊明細
- 日当明細
- 経費明細

経費区分マスタには次のマスタデータのみが登録されているものとします。

- 国内出張
- 国内宿泊日当
- 国内宿泊代・実費精算
- 海外出張 国内移動
- 海外出張 航空費
- 海外宿泊日当
- 海外出張 海外移動
- 海外宿泊代・実費精算
- 消耗品費
- 雑費

例①: フィルタリング設定を行わない場合

フィルタリング設定を行わない場合（フィルタリング設定が登録されていない場合）は、各フィルタ区分の設定は、全てのマスタデータをフィルタリング対象にした設定です。

フィルタリング設定 (○: 設定済み)

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張					
国内宿泊日当					
国内宿泊代・実費精算					
海外出張 国内移動					
海外出張 航空費					
海外宿泊日当					
海外出張 海外移動					
海外宿泊代・実費精算					
消耗品費					
雑費					

検索対象 (○: 検索対象)

マスターデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○	○	○
国内宿泊日当	○	○	○	○
国内宿泊代・実費精算	○	○	○	○
海外出張 国内移動	○	○	○	○
海外出張 航空費	○	○	○	○
海外宿泊日当	○	○	○	○
海外出張 海外移動	○	○	○	○
海外宿泊代・実費精算	○	○	○	○
消耗品費	○	○	○	○
雑費	○	○	○	○



コラム

フィルタリング設定を行わない場合、全てのマスターデータが検索対象です。

例②: コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合

コンテンツにのみフィルタリング設定を登録した場合（ガジェットにフィルタリング設定を登録していない場合）は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定: 設定したマスターデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定: 全てのマスターデータを対象とする。

フィルタリング設定 (○: 設定済み)

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○				
国内宿泊日当	○				
国内宿泊代・実費精算	○				
海外出張 国内移動					
海外出張 航空費					
海外宿泊日当					
海外出張 海外移動					
海外宿泊代・実費精算					
消耗品費					

雑費	○
----	---

検索対象 (○: 検索対象)

マスターデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○	○	○
国内宿泊日当	○	○	○	○
国内宿泊代・実費精算	○	○	○	○
海外出張 国内移動				
海外出張 航空費				
海外宿泊日当				
海外出張 海外移動				
海外宿泊代・実費精算				
消耗品費				
雑費	○	○	○	○

例③: ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合

ガジェットにのみフィルタリング設定を登録した場合（コンテンツにフィルタリング設定を登録していない場合）は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定：全てのマスターデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定：設定したマスターデータを対象とする。

フィルタリング設定 (○: 設定済み)

マスターデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張		○			
国内宿泊日当				○	
国内宿泊代・実費精算			○		
海外出張 国内移動		○			
海外出張 航空費		○			
海外宿泊日当				○	
海外出張 海外移動		○			
海外宿泊代・実費精算			○		
消耗品費					○
雑費					○

検索対象 (○: 検索対象)

マスターデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○			
国内宿泊日当			○	
国内宿泊代・実費精算		○		
海外出張 国内移動	○			
海外出張 航空費	○			
海外宿泊日当			○	
海外出張 海外移動	○			
海外宿泊代・実費精算		○		

消耗品費	○
雑費	○

例④：コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合

コンテンツとガジェットにフィルタリング設定を登録した場合は、次の2つのAND条件で絞り込みを行います。

- コンテンツのフィルタリング設定：設定したマスタデータを対象とする。
- ガジェットのフィルタリング設定：設定したマスタデータを対象とする。

フィルタリング設定（○：設定済み）

マスタデータ	旅費精算申請	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○	○			
国内宿泊日当	○			○	
国内宿泊代・実費精算	○		○		
海外出張 国内移動		○			
海外出張 航空費		○			
海外宿泊日当				○	
海外出張 海外移動		○			
海外宿泊代・実費精算			○		
消耗品費					○
雑費	○				○

検索対象（○：検索対象）

マスタデータ	旅程明細	宿泊明細	日当明細	経費明細
国内出張	○			
国内宿泊日当			○	
国内宿泊代・実費精算		○		
海外出張 国内移動				
海外出張 航空費				
海外宿泊日当				
海外出張 海外移動				
海外宿泊代・実費精算				
消耗品費				
雑費				○

プロジェクトマスタ

本項では、プロジェクトマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
 - プロジェクト別アサイン編集
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート

概要

プロジェクトマスタは、経費や旅費、仮払金などの計上先として利用します。
 経費や旅費を申請する際にこのプロジェクトに紐づけておくと、仕訳データ作成時に計上先としてこのプロジェクトが出力されます。
 メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

i コラム

経費や旅費の計上先としては、プロジェクトの他に **部門(組織)** があります。

申請書に以下のような明細が含まれている場合、
 “13,240円” が選択されたプロジェクトの旅費交通費として計上されます。

旅程明細					
日付*	経費区分*	勘定科目	税区分	利用区間*	補足
支払分類*	経路検索連携	支払先	片道金額*	部門	プロジェクト
金額*					
1	2014/04/01	国内出張	旅費交通費	新宿 新大阪	
	<input checked="" type="checkbox"/>	課税(5%)		<input checked="" type="checkbox"/>	〇〇情報システム株式会...
	立替				13240
				<input type="checkbox"/> 往復	13240

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'プロジェクト' (Project) maintenance screen. At the top, there are two tabs: '新規登録' (New Registration) and 'プロジェクト別アサイン編集' (Edit Assignment by Project). The '新規登録' tab is selected and highlighted with a red box. Below the tabs is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. At the bottom, there is a table header with columns: 'No', '分類' (Classification), 'プロジェクトコード' (Project Code), 'プロジェクト名' (Project Name), and '上位プロジェクト' (Parent Project).

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'プロジェクト' (Project) registration/update screen. It has a '期間一覧' (Period List) tab on the left. The main form contains the following fields:

- 開始日 (Start Date): 1900/01/01
- 終了日 (End Date): 2999/12/31
- 会社 (Company): サンプル会社 (Sample Company)
- 分類 (Classification): ワークフロー利用 (Workflow Utilization)
- プロジェクトコード (Project Code): 000000
- プロジェクト名 (Project Name):
 - 日本語 (Japanese): サンプルプロジェクト (Sample Project)
 - 英語 (English): Sample Project
 - 中国語 (中国人民共和国) (Chinese): 示例项目 (Example Item)
- 上位プロジェクト (Parent Project): 上位プロジェクト (Parent Project)
- 主管組織セット (Supervisor Organization Set): サンプル会社 (Sample Company)
- 主管組織 (Supervisor Organization): サンプル部門01 (Sample Department 01)

 At the bottom, there are two buttons: '登録' (Register) and '一覧に戻る' (Return to List). The '登録' button is highlighted with a red box.

- 分類
プロジェクトの分類を選択します。
分類が「ワークフロー利用」のプロジェクトのみ、ワークフロー機能で利用できます。
- プロジェクトコード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- プロジェクト名
プロジェクトの名称を入力します。
- 上位プロジェクト
プロジェクトに親子関係がある場合、親プロジェクトを選択します。
- 主管組織セット
プロジェクトの主管組織セットを選択します。
- 主管組織
プロジェクトの主管組織を選択します。



コラム

「上位プロジェクト」、「主管組織セット」、「主管組織」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the 'プロジェクト' (Project) registration form. A confirmation dialog box is displayed in the center, asking '登録します。' (Register?). The dialog has two buttons: '決定' (Decide) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box. The background form shows fields for '開始日' (Start Date) 1900/01/01, '終了日' (End Date) 2999/12/31, '会社' (Company) サンプル会社, '分類' (Category) ワークフロー利用, 'プロジェクトコード' (Project Code) 000000, 'プロジェクト名' (Project Name) サンプルプロジェクト, '上位プロジェクト' (Parent Project) checked, '主管組織セット' (Supervisor Organization Set) サンプル会社, and '主管組織' (Supervisor Organization) checked サンプル部門01.

5. 新規登録することができました。

The screenshot shows the 'プロジェクト' (Project) registration form after successful registration. A green message box at the top says '登録しました。' (Registered). The form fields are now populated: '開始日' (Start Date) 1900/01/01, '終了日' (End Date) 2999/12/31, '会社' (Company) サンプル会社, '分類' (Category) ワークフロー利用, 'プロジェクトコード' (Project Code) 000000, 'プロジェクト名' (Project Name) サンプルプロジェクト (日本語), Sample Project (英語), 示例項目 (中国語), '上位プロジェクト' (Parent Project) checked, '主管組織セット' (Supervisor Organization Set) サンプル会社, and '主管組織' (Supervisor Organization) checked サンプル部門01. The '更新' (Update) button is visible at the bottom.

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

The screenshot shows the project list page. At the top, there are tabs for '新規登録' (New Registration) and 'プロジェクト別アサイン編集' (Edit Assignment by Project). Below the tabs is a search bar with a '検索' (Search) button highlighted in red and a 'クリア' (Clear) button. Below the search bar is a table header with columns: 'No', '分類' (Category), 'プロジェクトコード' (Project Code), 'プロジェクト名' (Project Name), and '上位プロジェクト' (Parent Project).

コラム

検索欄に検索したいプロジェクトの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 分類
- プロジェクトコード
- プロジェクト名
- 上位プロジェクト

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

プロジェクト

新規登録 | プロジェクト別アサイン編集

検索 クリア

No	▲ 分類	プロジェクトコード	プロジェクト名	上位プロジェクト
1	ワークフロー利用	000000	サンプルプロジェクト	上位プロジェクト
2	ワークフロー利用	000001	〇〇情報システム株式会社 ワークフローシステム再構築プロジェクト	
3	ワークフロー利用	000002	社内環境整備プロジェクト	
4	ワークフロー利用	000003	**社向け動態・経費申請・承認ワークフローシステム(GAPフロント)導入	
5	ワークフロー利用	000004	△社システム保守(2016年度)	
6	ワークフロー利用	000005	システム更新対応(社内)	
7	上位プロジェクト	000000	上位プロジェクト	
8	作業実績利用	000001	〇〇社 ワークフローシステム保守	
9	作業実績利用	000002	H20年度通常運用(問合せ等)	
10	作業実績利用	000003	■社システム構築検討支援	
11	作業実績利用	000004	新製品構築プロジェクト	
12	作業実績利用	000005	品質保証プロジェクト	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

プロジェクト

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

会社: サンプル会社

分類: ワークフロー利用

プロジェクトコード: 000000

プロジェクト名: 日本語: サンプルプロジェクト
英語: Sample Project
中国語(中華人民共和国): 示例項目

上位プロジェクト: 上位プロジェクト

主管組織セット: サンプル会社

主管組織: サンプル部門01

更新 一覧に戻る

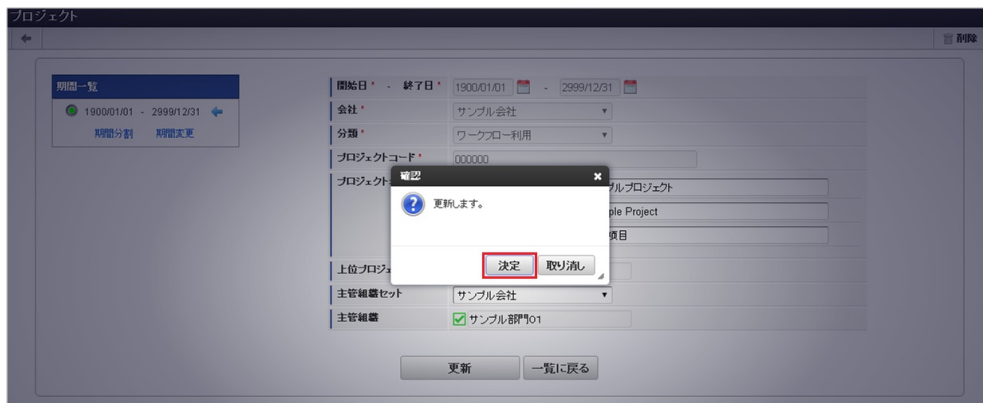
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 分類
- プロジェクトコード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



プロジェクト別アサイン編集

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「プロジェクト」をクリックします。
2. 一覧画面で「プロジェクト別アサイン編集」をクリックします。



3. プロジェクト別アサイン編集画面が表示されます。



コラム

プロジェクトアサインマスタは、現状のワークフローにおいては利用されません。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	プロジェクトコード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	プロジェクト名	○	250	
7	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）
8	会社コード (上位プロジェクト)		100	
9	プロジェクトコード (上位プロジェクト)		100	

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

i コラム

プロジェクトの分類、上位プロジェクトの分類は、自動的に「ワークフロー利用」が設定されます。
プロジェクト、上位プロジェクトの分類を指定したい場合や、主管組織を設定したい場合は、
『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』のプロジェクトのインポートを参照してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプルプロジェクト","0","",""
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Project","0","",""
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","样品项目","0","",""
```


i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/project_workflow

ファイル名 import.csv

i コラム

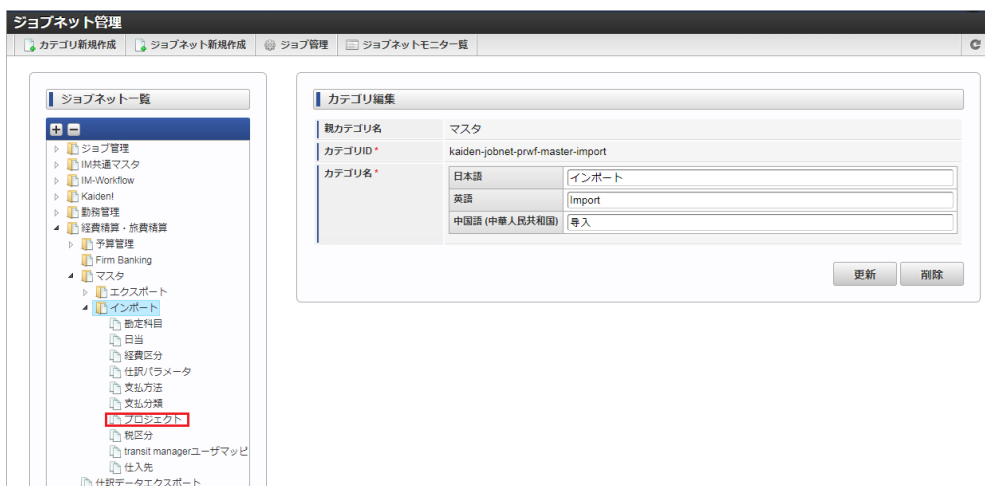
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「プロジェクト」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(G追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-project	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / プロジェクト

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(G追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

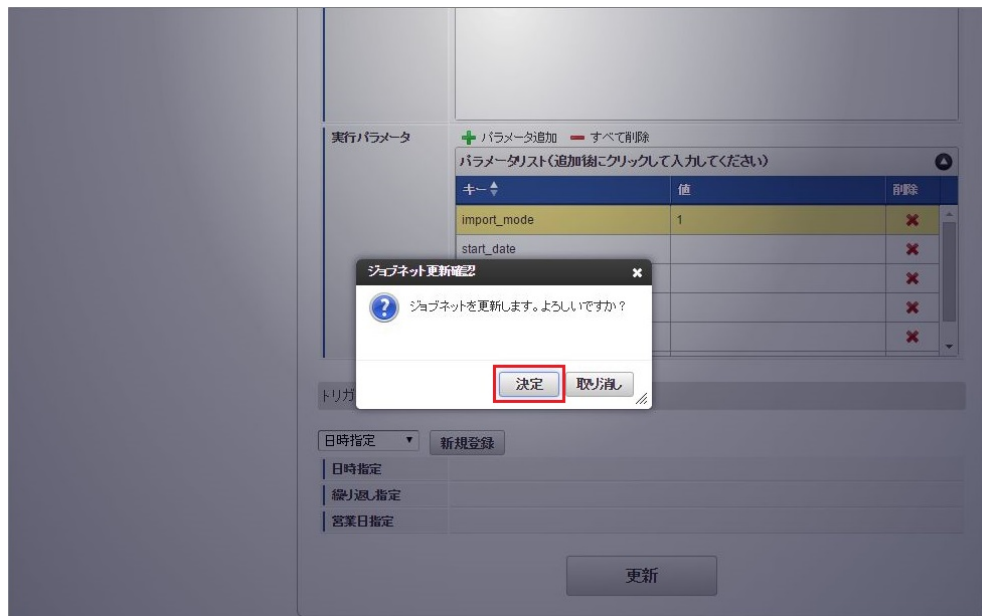
日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間 (差分) モード ▪ 2: 単一期間 (一新) モード ▪ 3: 単一期間 (入替) モード ▪ 4: 複数期間 (差分) モード ▪ 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/project_workflow/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/project_workflow/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 プロジェクトマスタインポートの場合はジョブ設定の実行パラメータに「project_workflow」を設定しています。

エクスポート

i コラム

エクスポート機能は『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』のプロジェクトのエクスポートを参照してください。

! 注意

『intra-mart Accel Kaiden! 勤務管理 / 管理者操作ガイド』に従いエクスポートしたプロジェクトのデータ形式は、本項のインポートのデータ形式と異なります。

エクスポートしたファイルをインポートする場合、データ形式の編集が必要になります。

税区分マスタ

本項では、税区分マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

税区分マスタは、課税・非課税・不課税などの税区分を管理します。

経費や旅費の申請時には、この税区分を直接入力するのではなく、経費区分（勘定科目と税区分のセット）を指定します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「税区分」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

No	税区分コード	税区分名	税率(%)	連絡請求書発行事業若連携コード	免税事業若連携コード
----	--------	------	-------	-----------------	------------

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 税区分コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 税区分名
税区分の名称を入力します。
 - 税率(%)
税率を小数点なしの最大2桁で入力します。
 - 適格請求書発行事業者連携コード
適格請求書発行事業者の場合の連携コードを入力します。
対象取引に登録番号が紐づく場合、仕訳データ作成／出力時、事業者別税区分コードとして使用します。
 - 免税事業者用連携コード
免税事業者の場合の連携コードを入力します。
対象取引に登録番号が紐づかない場合、仕訳データ作成／出力時、事業者別税区分コードとして使用します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	税区分コード	税区分名	税率(%)	適格請求書発行事業者連携コード	免税事業者用連携コード
1	000000	サンプル税	10	xxxx	xxxxxx
2	V0	不課税	0		
3	V10	課税(10%)	10		
4	V8	課税(8%)	8		
5	VA	非課税	0		
6	VY	輸入仕入	0		

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「税区分」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい税区分の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 税区分コード
- 税区分名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

税区分

新規登録

検索 クリア

No	税区分コード	税区分名	税率(%)	連絡請求書発行事業者連携コード	免税事業者用連携コード
1	000000	サンプル税	10	xxx	xxxxx
2	V0	不課税	0		
3	V10	課税(10%)	10		
4	V8	課税(8%)	8		
5	VA	非課税	0		
6	VY	輸入仕入	0		

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

税区分

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 2999/12/31

会社 * サンプル会社

税区分コード * 000000

税区分名 *
日本語 サンプル税
英語 Sample Tax
中国語(中国) 样品税

税率(%) * 10

連絡請求書発行事業者 連携コード xxx

免税事業者用連携コード xxxxxx

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 税区分コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

税区分

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 2999/12/31

会社 * サンプル会社

税区分コード * 000000

税区分名 *
日本語 サンプル税
英語 Sample Tax
中国語(中国) 样品税

税率(%) * 10

連絡請求書発行事業者 連携コード xxx

免税事業者用連携コード xxxxxx

更新 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

No	税区分コード	税区分名	税率(%)	適格請求書発行事業者連携コード	免税事業者用連携コード
1	000000	サンプル税	10	xxxx	xxxxxx
2	V0	不課税	0		
3	V10	課税(10%)	10		
4	V8	課税(8%)	8		
5	VA	非課税	0		
6	VY	輸入仕入	0		

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	税区分コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	税区分名	○	250	
5	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
7	税率	○	28	
8	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効
9	適格請求書発行事業者連携コード		100	
10	免税事業者用連携コード		100	

データサンプル


```
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル税","1900/01/01","2999/12/31","10","0","xxx","xxxxx"
"comp_sample_01","000000","en","Sample Tax","1900/01/01","2999/12/31","10","0","xxx","xxxxx"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","品税","1900/01/01","2999/12/31","10","0","xxx","xxxxx"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tax_type

ファイル名 import.csv

コラム

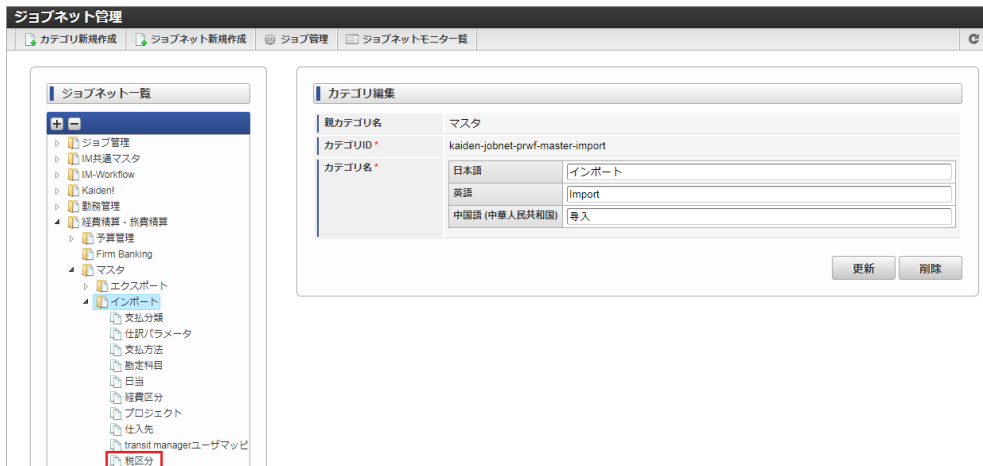
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

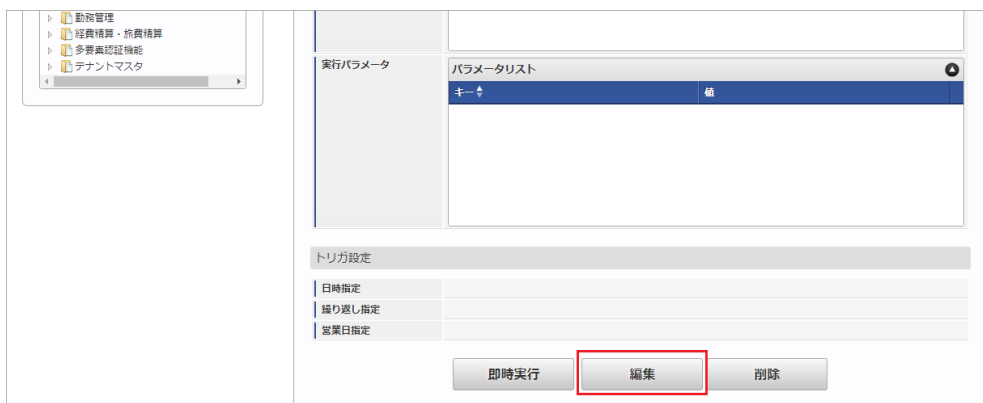
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

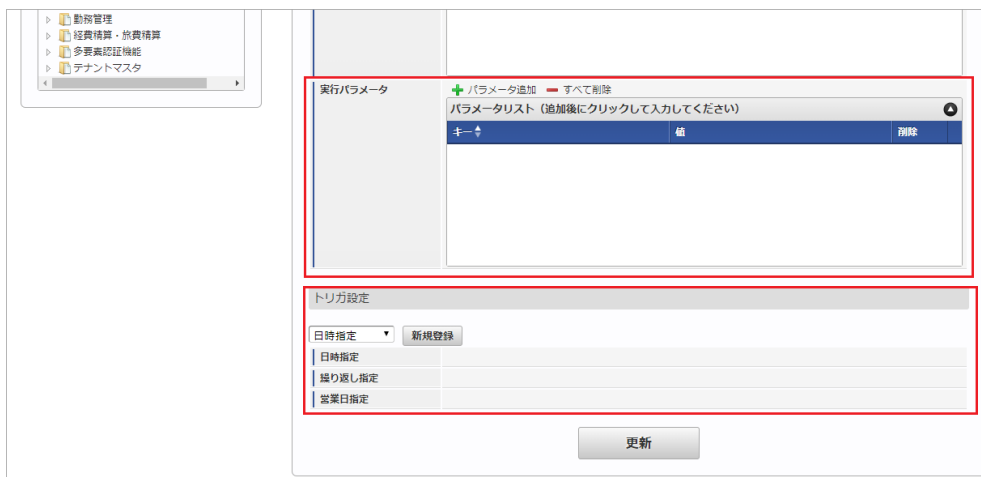
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「税区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

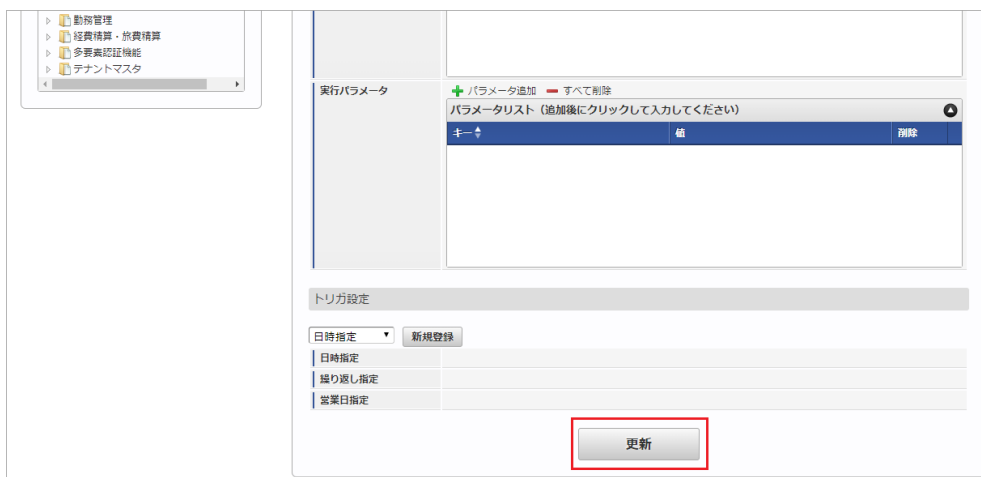
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

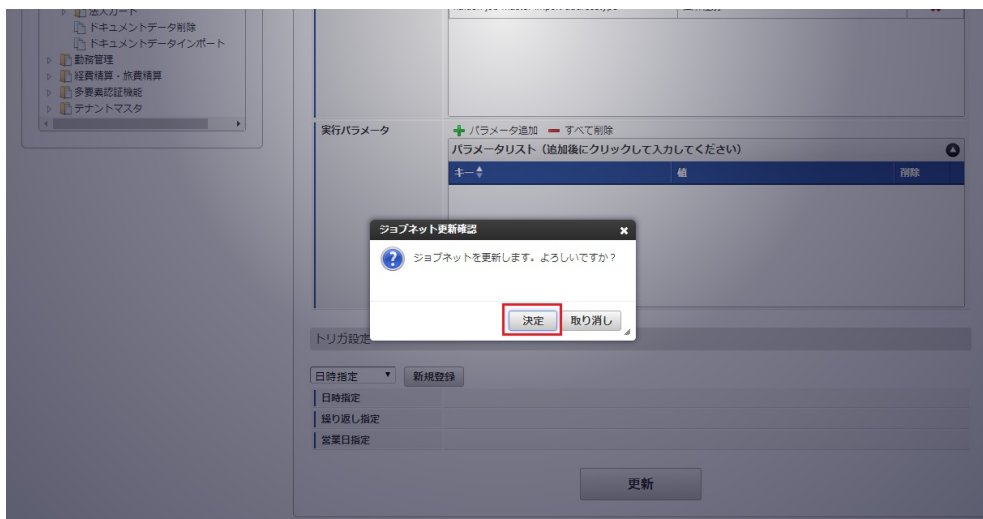
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-taxtype	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / 税区分

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間 (差分) モード ▪ 2: 単一期間 (一新) モード ▪ 3: 単一期間 (入替) モード ▪ 4: 複数期間 (差分) モード ▪ 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tax_type/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tax_type/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 税区分マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tax_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

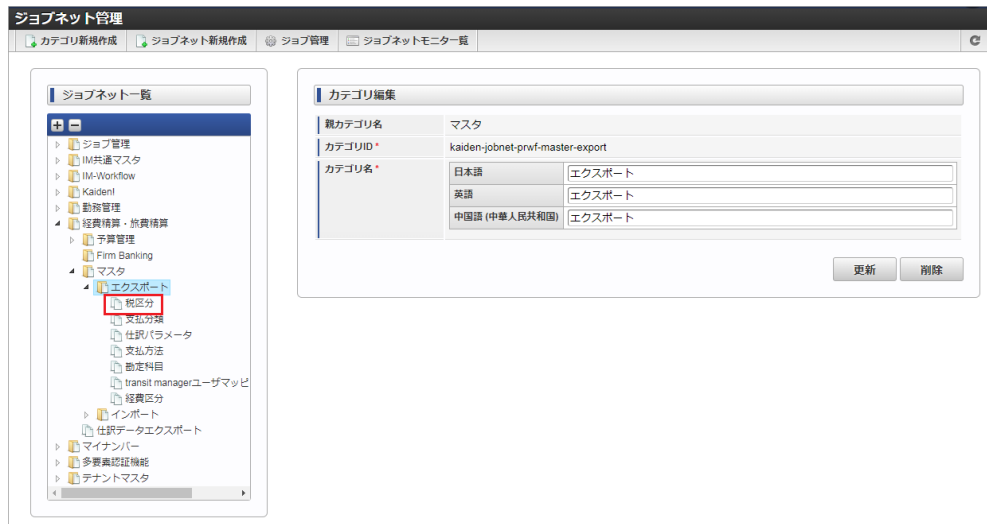
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

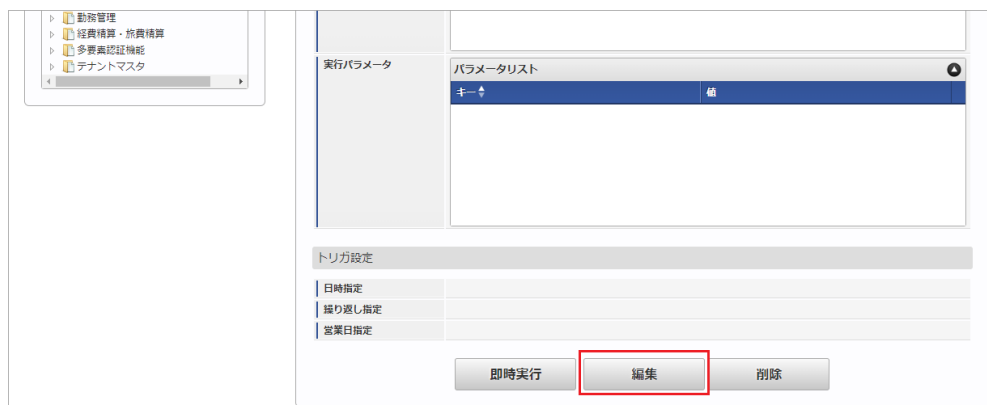
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

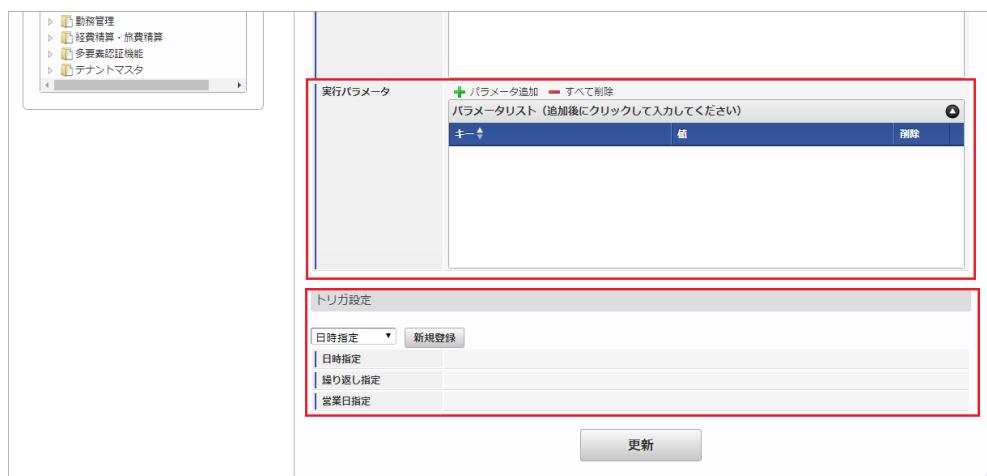
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「税区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

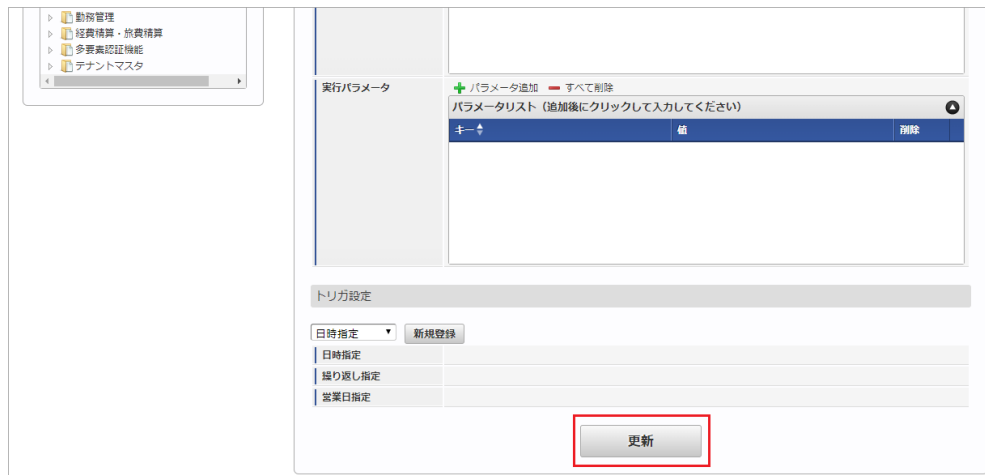
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

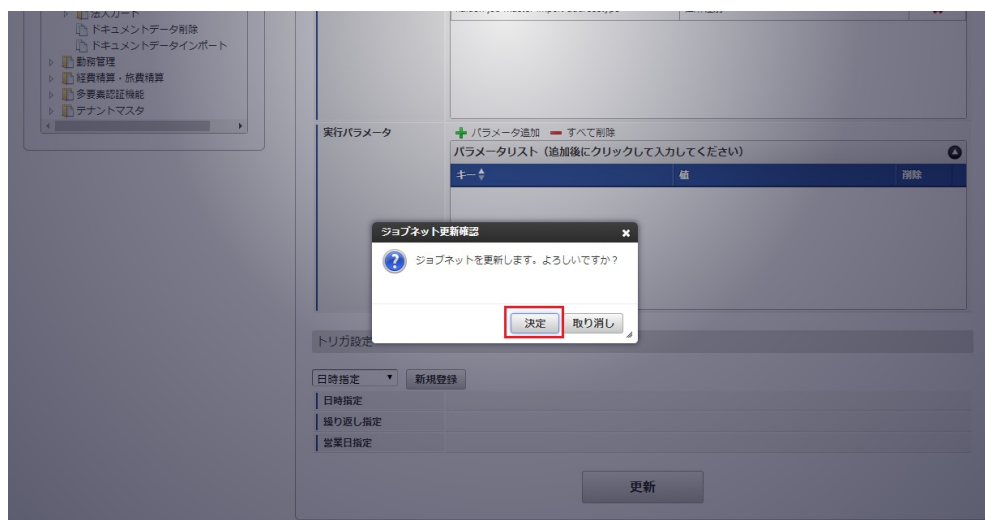
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-taxtype	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 税区分

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tax_type/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
taxTypeCd	税区分コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
taxTypeName	税区分名	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
taxRate	税率	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
invoiceIssuerLinkCd	適格請求書発行事業者連携コード	
taxExemptIssuerLinkCd	免税事業者用連携コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tax_type/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tax_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 税区分マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tax_type」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、勘定科目マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

勘定科目マスタは、消耗品費、旅費交通費などの勘定科目を管理するためのものです。

経費や旅費の申請時には、この勘定科目を直接入力するのではなく、経費区分（勘定科目と勘定科目のセット）を指定します。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

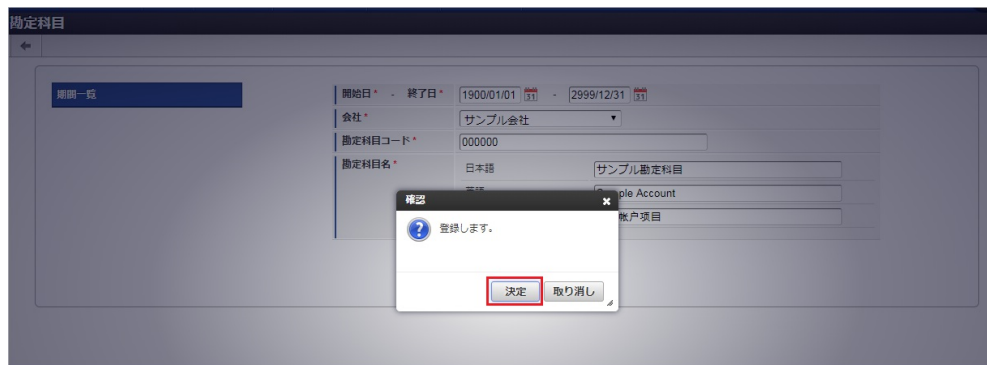
本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「勘定科目」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 勘定科目コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 勘定科目名
勘定科目の名称を入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

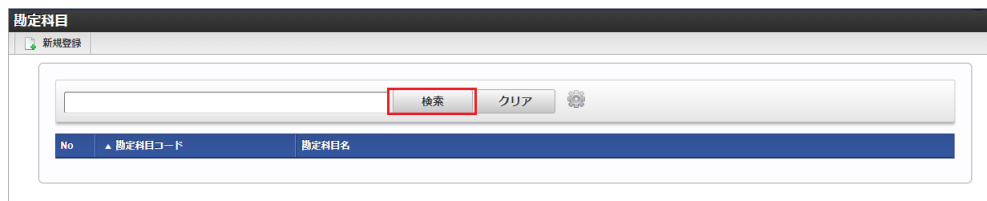


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「勘定科目」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい勘定科目の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 勘定科目コード
- 勘定科目名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

勘定科目

新規登録

検索 クリア

No	勘定科目コード	勘定科目名
1	000000	サンプル勘定科目
2	31000010	給料資金
3	31000012	修繕費
4	31000013	通信費
5	31000014	会議費
6	31000015	広告宣伝費
7	31000016	販売管理費
8	31000017	接待交際費
9	31000018	荷造運賃
10	31000019	福利厚生費
11	31000021	水道光熱費
12	31000022	消耗品費
13	31000023	印刷複写費
14	31000024	新聞図書費
15	31000025	支払報酬
16	31000030	雑費
17	31000038	教育訓練費
18	31001011	旅費交通費

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

勘定科目

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

勘定科目コード * 000000

勘定科目名 *

日本語 サンプル勘定科目

英語 Sample Account

中国語 (中華人民共和国) 株本帳戶項目

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 勘定科目コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

勘定科目

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

勘定科目コード * 000000

勘定科目名 *

日本語 サンプル勘定科目

英語 Sample Account

中国語 (中華人民共和国) 株本帳戶項目

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	勘定科目コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	勘定科目名	○	250	
7	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）



コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル勘定科目","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Account","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","样品科目","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/account

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「勘定科目」をクリックします。

The screenshot shows the 'Job Network Management' interface. On the left, there is a tree view under 'Job Network List' with 'Import' selected and 'Account' highlighted. The main area is titled 'Category Edit' and shows a table for 'Category Name' with columns for 'Import' and 'Import'. The table has three rows: '日本語' (Japanese), '英語' (English), and '中国語 (中華人民共和国)' (Chinese (People's Republic of China)). The 'Import' column contains 'インポート', 'import', and '导入' respectively. There are '更新' (Update) and '削除' (Delete) buttons at the bottom right.

- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

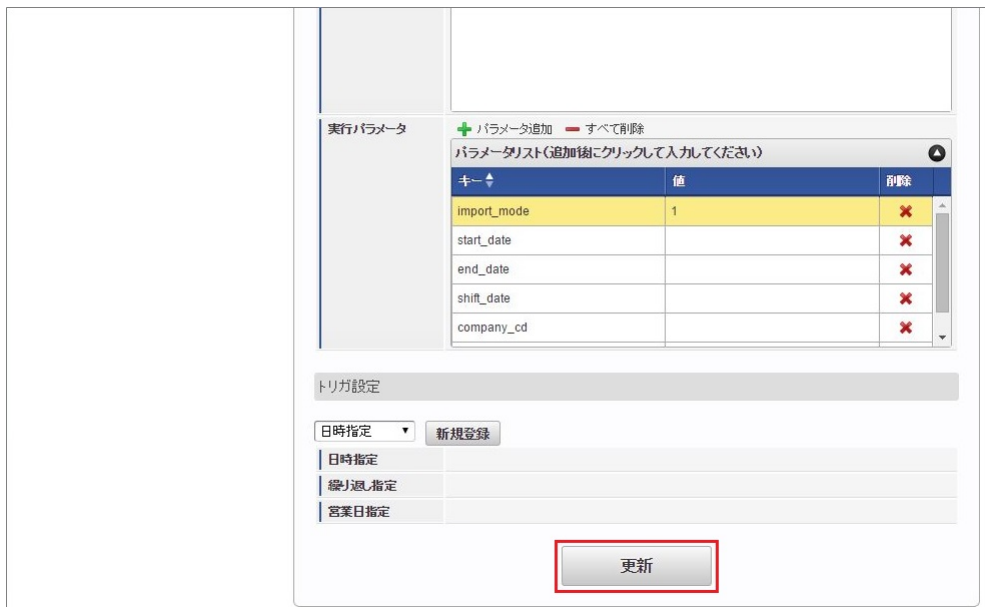
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

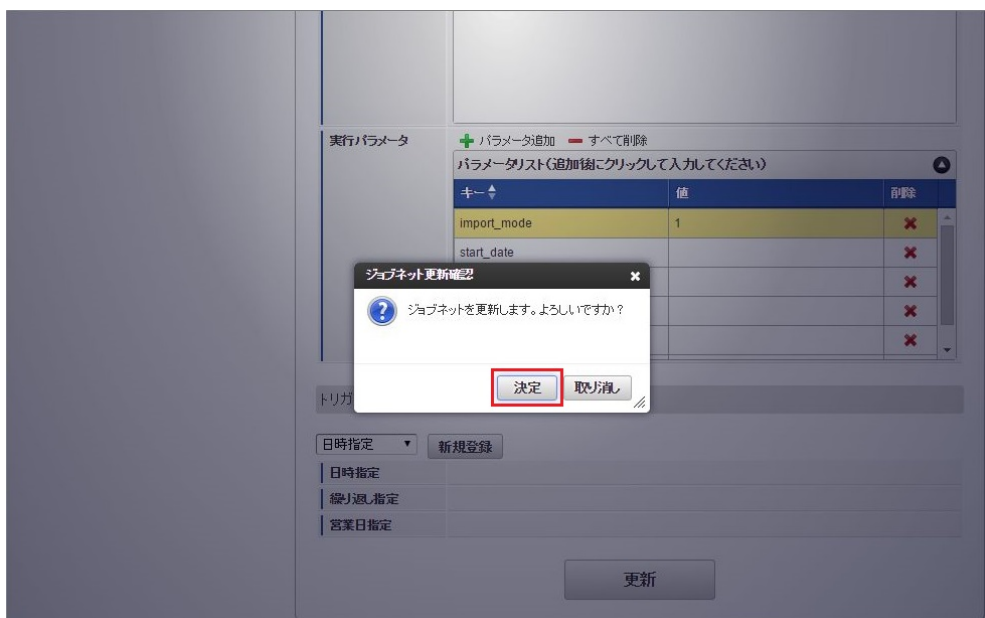
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-account	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 勘定科目

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/account/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/account/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 勘定科目マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「account」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

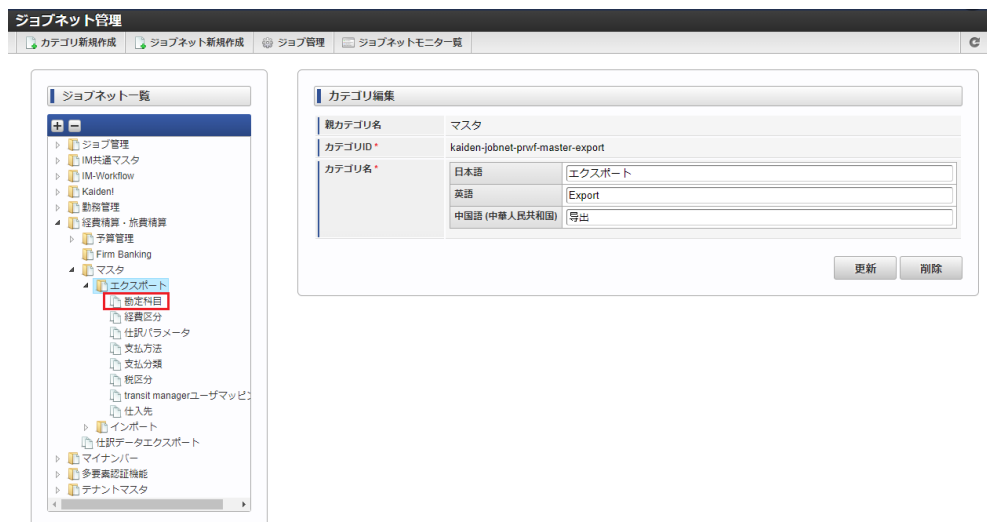
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

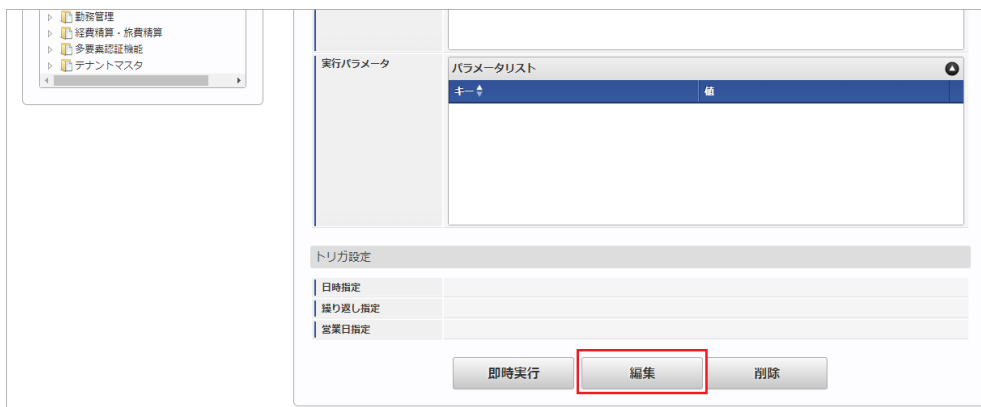
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

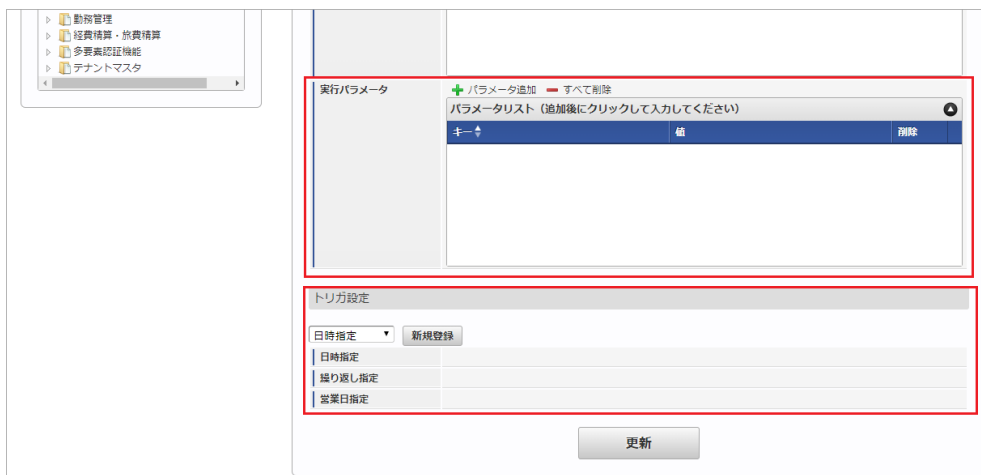
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「勘定科目」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

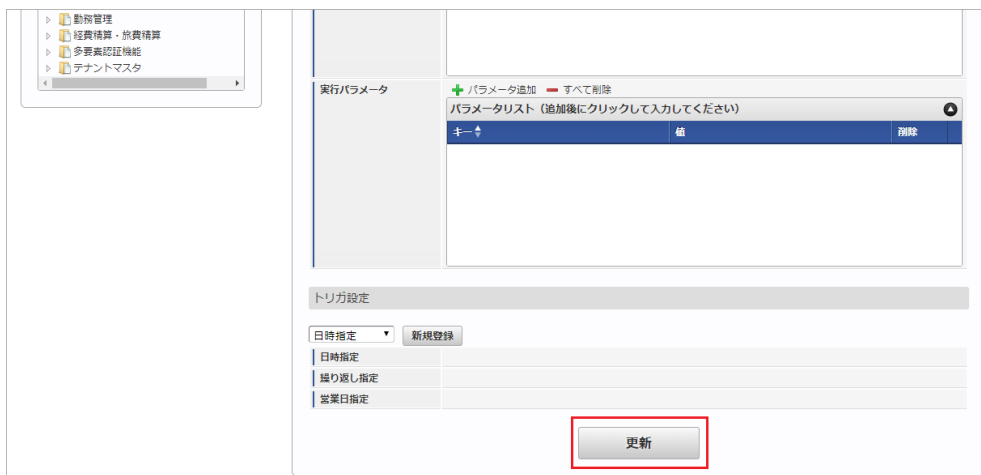
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

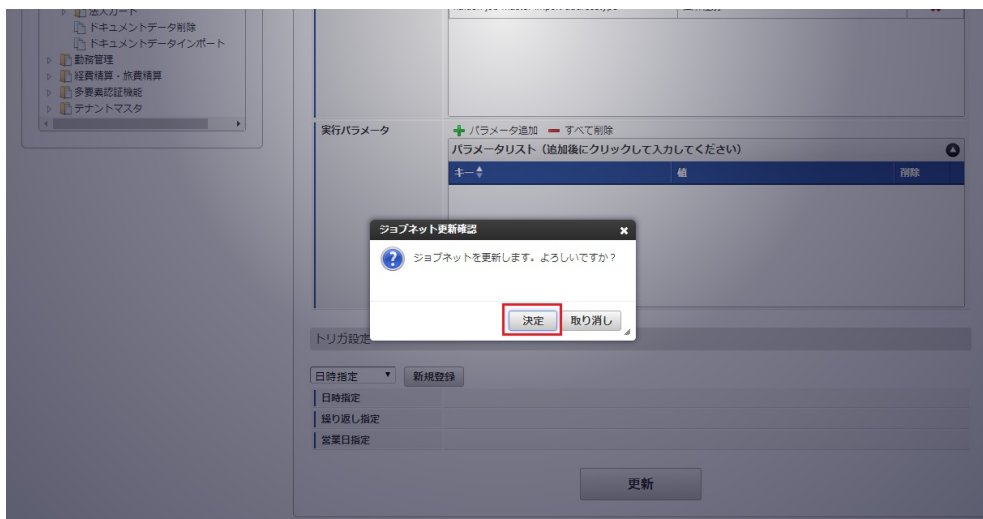
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-account	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 勘定科目

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/account/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
accountCd	勘定科目コード	

localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
accountName	勘定科目名	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索 対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/account/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの 操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/account/export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 勘定科目マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「account」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

経費区分マスタ

本項では、経費区分マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

経費区分マスタは、経費区分と税区分の組み合わせを管理します。

仕訳（科目・税区分）に詳しくない方もわかりやすい名称を付けておくことで、入力の間違いを防ぐことができます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「経費区分」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 経費区分コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 経費区分名
経費区分の名称を入力します。
- 経費区分カテゴリ
経費区分を種類によってカテゴリ化したい場合に、任意の文字列を入力します。
※現状では特に利用されません。
- 勘定科目
経費区分として紐づけたい勘定科目を選択します。
- 税区分
経費区分として紐づけたい税区分を選択します。
- 検索キーワード
検索用のキーワードを入力します。

コラム

「勘定科目」、「税区分」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

経費区分

登録しました。

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日* 終了日* 1900/01/01 2999/12/31

会社* サンプル会社

経費区分コード* 000000

経費区分名* 日本語: サンプル経費区分
英語: Sample Expeance Type
中国語(中華人民共和国): 样品費用类型

経費区分カテゴリ 経費

勘定科目* サンプル勘定科目

税区分* サンプル税

検索キーワード sample

ソートキー 1

更新 一覧に戻る

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「経費区分」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

経費区分

新規登録

検索 クリア

No	経費区分コード	経費区分名	経費区分カテゴリ	勘定科目	税区分	ソートキー
----	---------	-------	----------	------	-----	-------

コラム

検索欄に検索したい経費区分の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 経費区分コード
- 経費区分名
- 検索キーワード

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

経費区分

新規登録

検索 クリア

No	経費区分コード	経費区分名	経費区分カテゴリ	勘定科目	税区分	ソートキー
1	000000	サンプル経費区分	経費	サンプル勘定科目	サンプル税	1
2	20100002	近距離交通費	近距離交通費	旅費交通費	課税(8%)	20100002
3	20100003	国内出張	国内旅費	旅費交通費	課税(8%)	20100003
4	20100004	国内宿泊日当	国内旅費	旅費交通費	課税(8%)	20100004
5	20100005	国内宿泊代・実費精算	国内旅費	旅費交通費	課税(8%)	20100005
6	30100001	海外出張 国内移動	海外旅費	旅費交通費	課税(8%)	30100001
7	30100002	海外出張 航空費	海外旅費	旅費交通費	課税(8%)	30100002
8	30100003	海外宿泊日当	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100003
9	30100008	海外出張 海外移動	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100008
10	30100009	海外宿泊代・実費精算	海外旅費	旅費交通費	不課税	30100009
11	30200001	社内研修時の旅費	国内旅費	教育訓練費	課税(8%)	30200001
12	31000001	コピー・写真代	印刷複写	新聞図書費	課税(8%)	31000001
13	31000002	本・雑誌・地図代	新聞図書	印刷複写費	課税(8%)	31000002
14	31000003	新聞購読料	新聞図書	印刷複写費	課税(8%)	31000003
15	31000005	資格取得・更新	教育訓練費	教育訓練費	課税(8%)	31000005
16	31000006	社内研修費用	教育訓練費	教育訓練費	課税(8%)	31000006

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

経費区分

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

経費区分コード * 000000

経費区分名 * 日本語: サンプル経費区分
英語: Sample Exence Type
中国語 (中華人民共和国): 样品費用类型

経費区分カテゴリ 経費

勘定科目 * サンプル勘定科目

税区分 * サンプル税

検索キーワード sample

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 経費区分コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

経費区分

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ

経費区分 **更新しました。**

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

経費区分コード * 000000

経費区分名 * 日本語: サンプル経費区分
英語: Sample Exence Type
中国語 (中華人民共和国): 样品費用类型

経費区分カテゴリ 経費

勘定科目 * サンプル勘定科目

税区分 * サンプル税

検索キーワード sample

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	経費区分コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	経費区分名	○	250	
7	経費区分カテゴリ		250	
8	勘定科目コード	○	100	
9	税区分コード	○	100	
10	ソートキー	○	15	
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル経費区分","","31001011","V8","0","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Expense Type","","31001011","V8","0","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","品目区分","","31001011","V8","0","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
 項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

コラム

MasterBuilderの定義ファイルを編集することでデータ形式に「検索キーワード」を追加することができます。
 MasterBuilderの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」に格納しています。
 追加方法の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! MasterBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「MasterBuilder定義」 - 「インポート設定」を参照して実施してください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/exp_type

ファイル名 import.csv

コラム

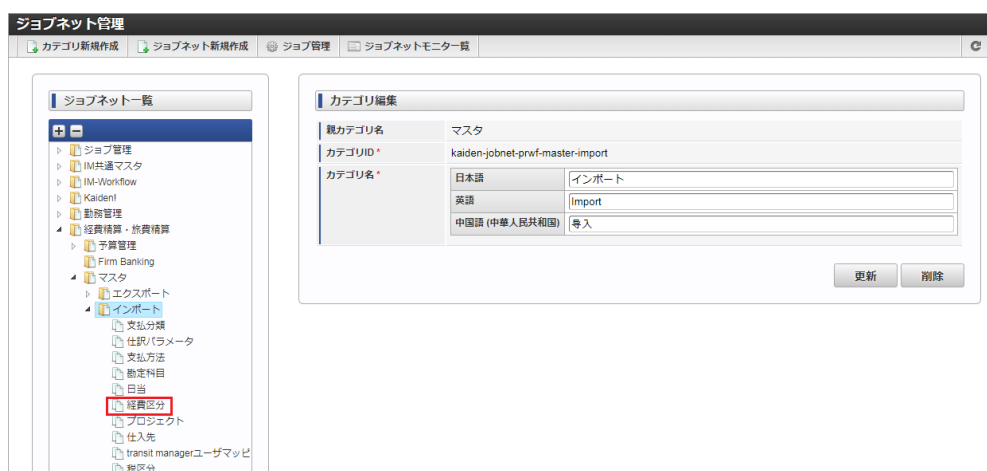
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「経費区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(G追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-exptype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 経費区分

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(G追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	×
start_date		×
end_date		×
shift_date		×
company_cd		×

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

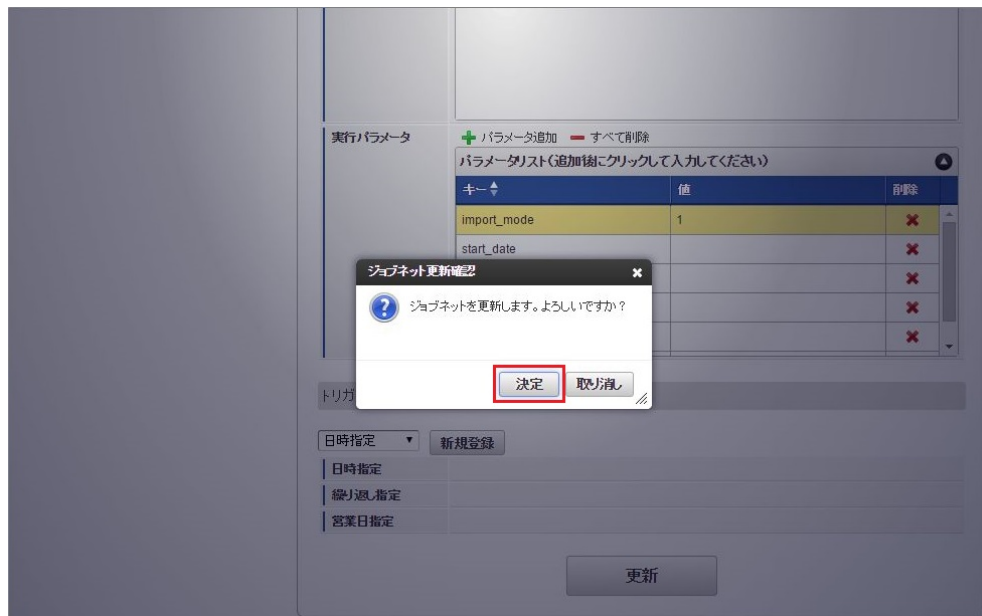
日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/exp_type/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 経費区分マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「exp_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

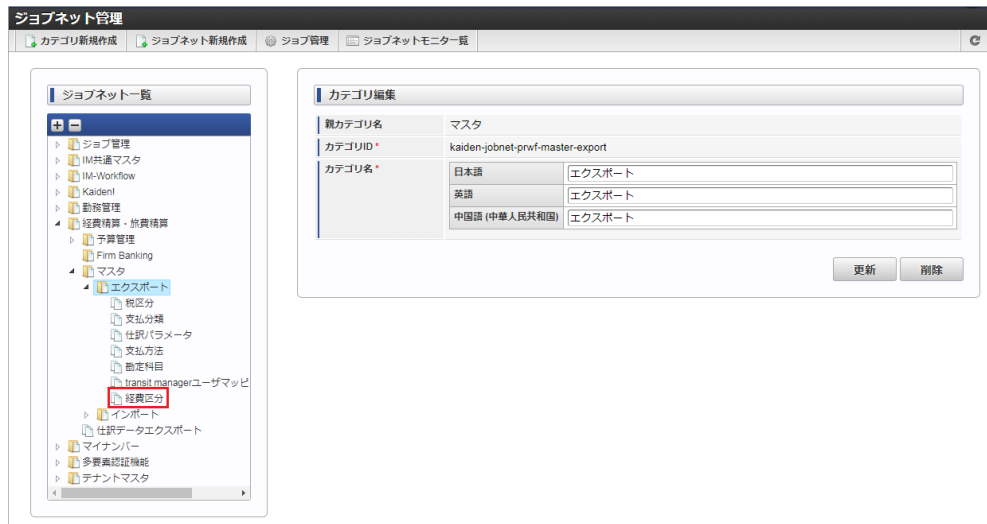
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

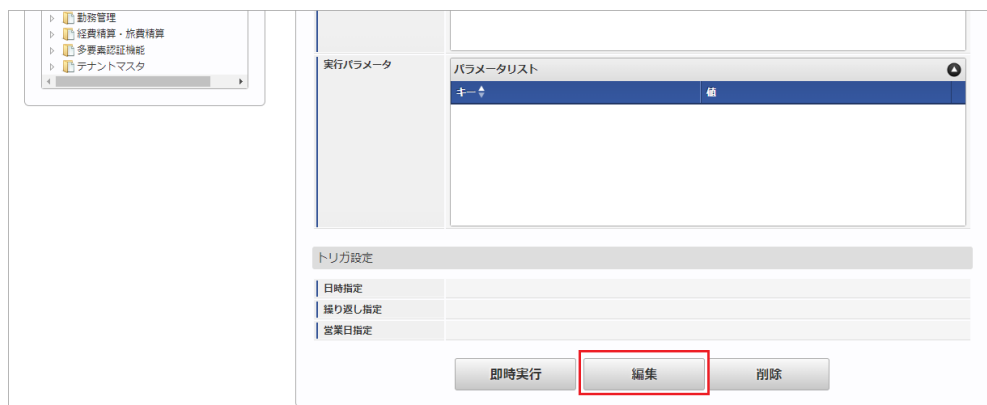
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

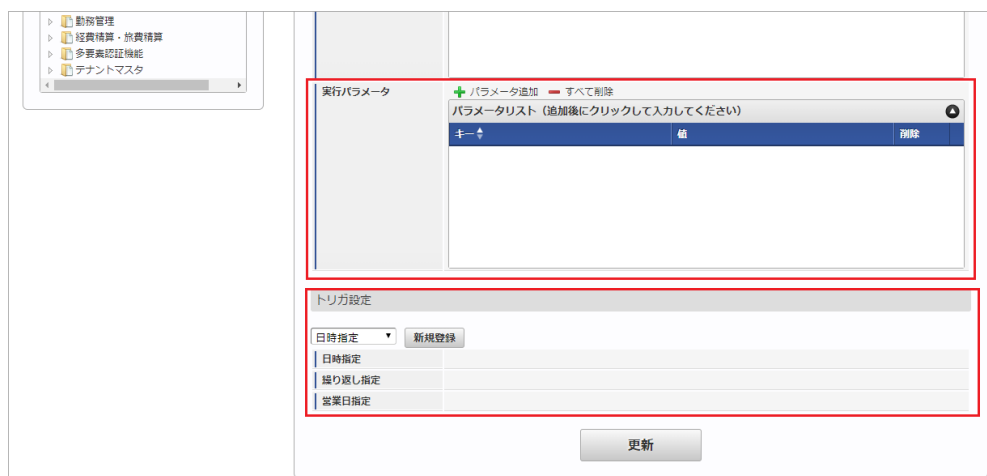
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「経費区分」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

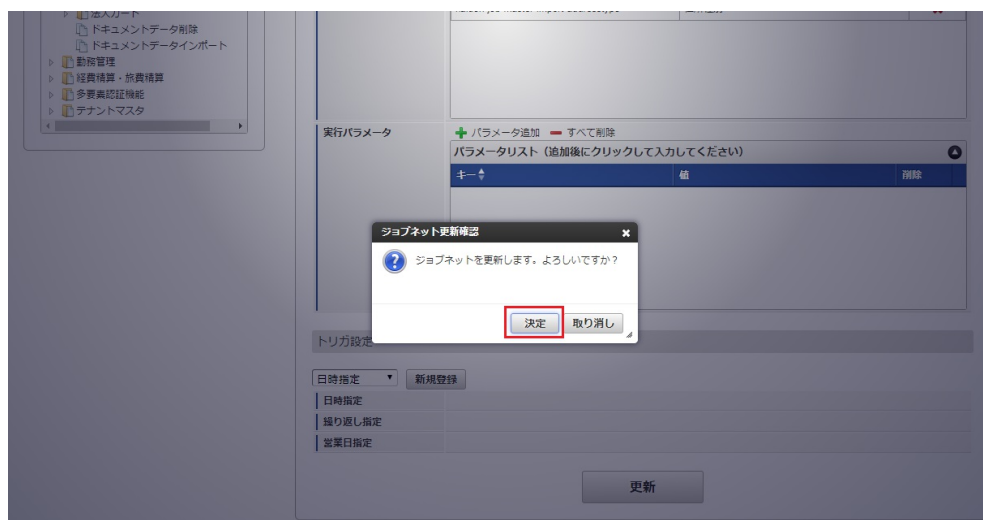
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-exptype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 経費区分

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/exp_type/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
expTypeCd	経費区分コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
expTypeName	経費区分名	
expTypeCategory	経費区分カテゴリ	
accountCd	勘定科目コード	
taxTypeCd	税区分コード	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効



コラム

MasterBuilderの定義ファイルを編集することでデータ形式に「検索キーワード」を追加することができます。

MasterBuilderの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/master」に格納しています。

追加方法の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! MasterBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「MasterBuilder定義」 - 「エクスポート設定」を参照して実施してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：全件出力モード ▪ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/exp_type/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/exp_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション ▪ none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true：ヘッダー出力有 ▪ false：ヘッダー出力無

名称	キー	説明／設定値
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 経費区分マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「exp_type」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

支払方法マスタ

本項では、支払方法マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

支払方法マスタは、現金／銀行振込などの支払時の方法として利用します。
intra-mart Accel Kaiden! では、この「支払方法」により振込データ出力有無や仕訳データ作成時の債務勘定科目が利用されます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払方法」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 支払方法コード

会社ごとに一意のコードを入力します。

- 支払方法名
支払方法の名称を入力します。
- 債務勘定科目コード
仕訳データ作成/出力時の債務勘定科目コードを入力します。
- FB出力
「対象」を指定すると、振込データの出力対象として設定されます。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払方法」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい支払方法の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 支払方法コード
- 支払方法名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

支払方法

新規登録

検索 クリア

No	支払方法コード	支払方法名	ソートキー
1	000000	サンプル支払方法	1
2	0001	銀行振込	1
3	0002	現金	2

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

支払方法

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 2999/12/31

会社 * サンプル会社

支払方法コード * 000000

支払方法名 *

日本語 サンプル支払方法

英語 Sample Pay

中国語 (中華人民共和国) 样本費用类型

債務勘定科目コード * 000000

FB出力 * 対象 対象外

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 支払方法コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

支払方法

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 2999/12/31

会社 * サンプル会社

支払方法コード * 000000

支払方法名 *

日本語 サンプル支払方法

英語 Sample Pay

中国語 (中華人民共和国) 样本費用类型

債務勘定科目コード * 000000

FB出力 * 対象 対象外

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

更新しました。

期間一括
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

支払方法コード * 000000

支払方法名 *
日本語 サンプル支払方法
英語 Sample Pay
中国語 (中華人民共和国) 样本費用类型

債務勘定科目コード * 000000

FB出力 * 対象 対象外

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	支払方法コード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
6	支払方法名	○	250	
7	債務勘定科目コード	○	100	
8	FB出力フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
9	ソートキー	○	15	
10	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)



コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","","ja","サンプル支払方法","000000","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","","en","Sample Pay","000000","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","","zh_CN","品付款","000000","1","0","0"
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pay_method

ファイル名 import.csv



コラム

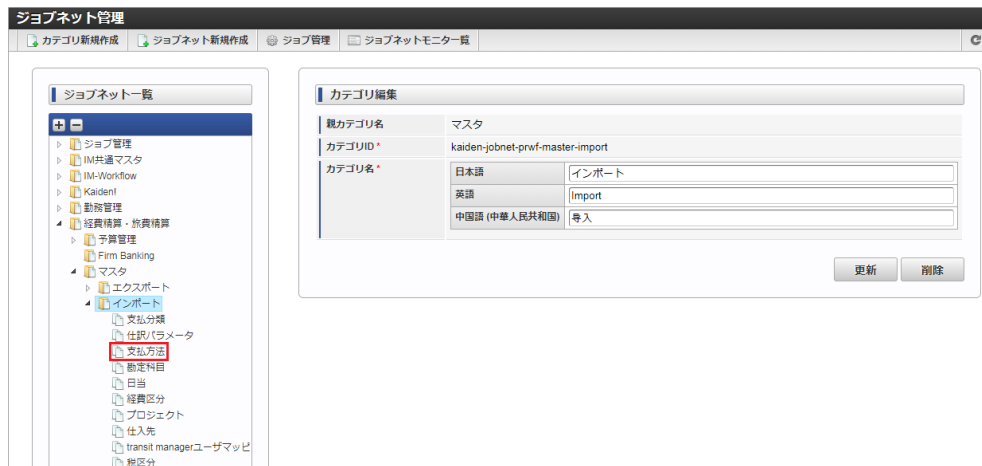
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

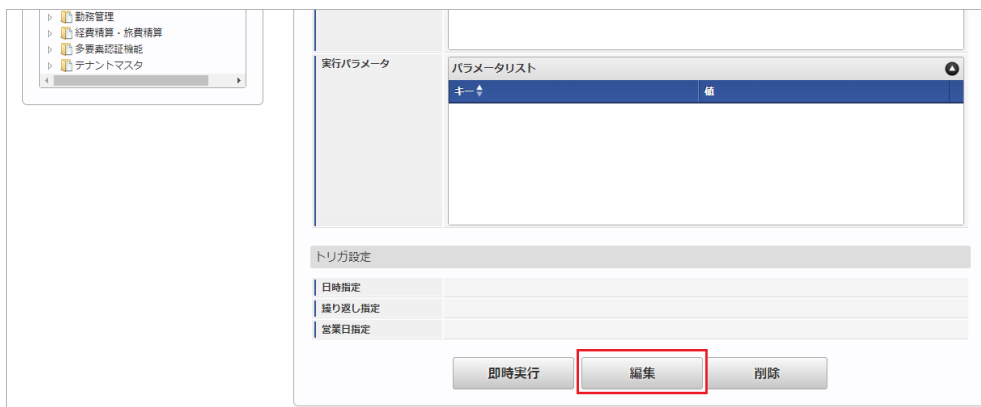
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

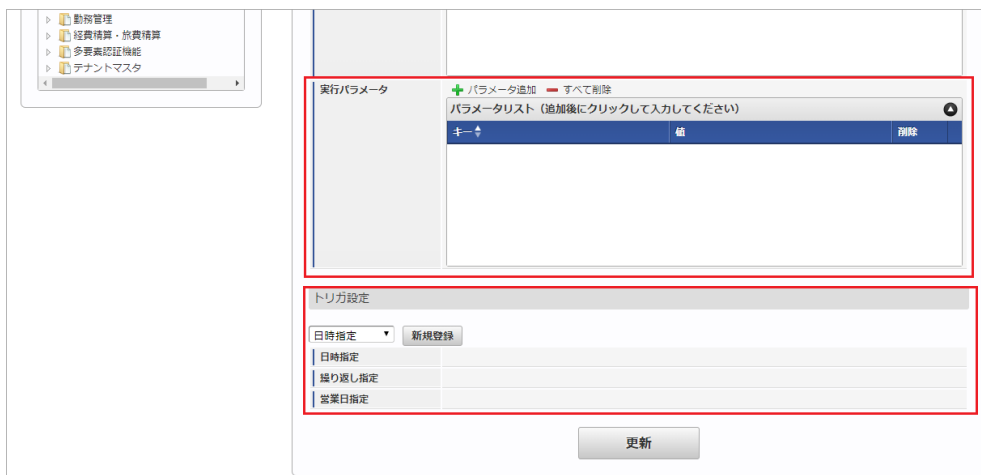
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

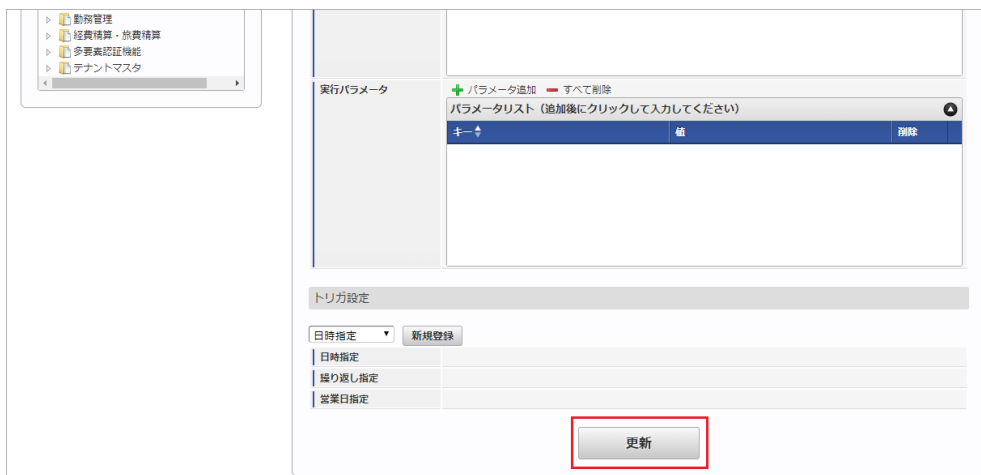
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

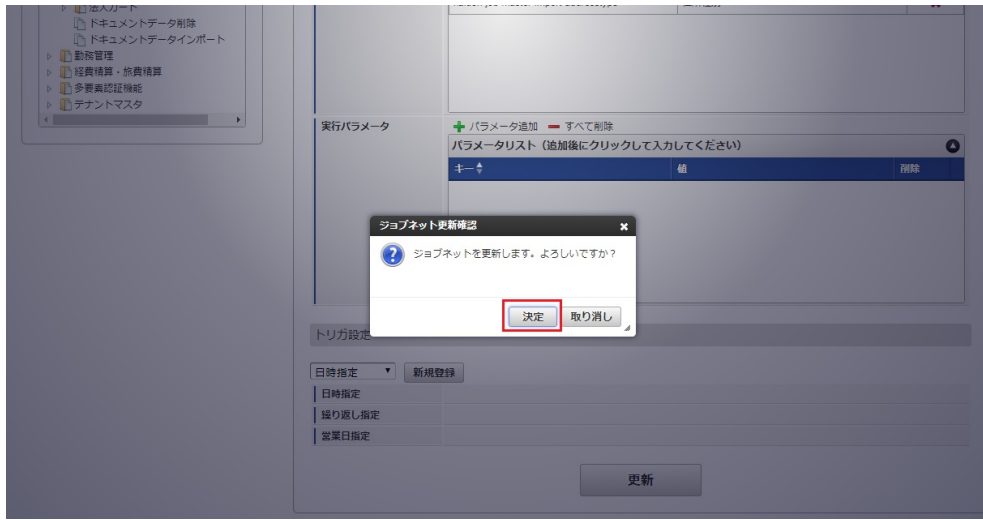
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-paymethod	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 支払方法

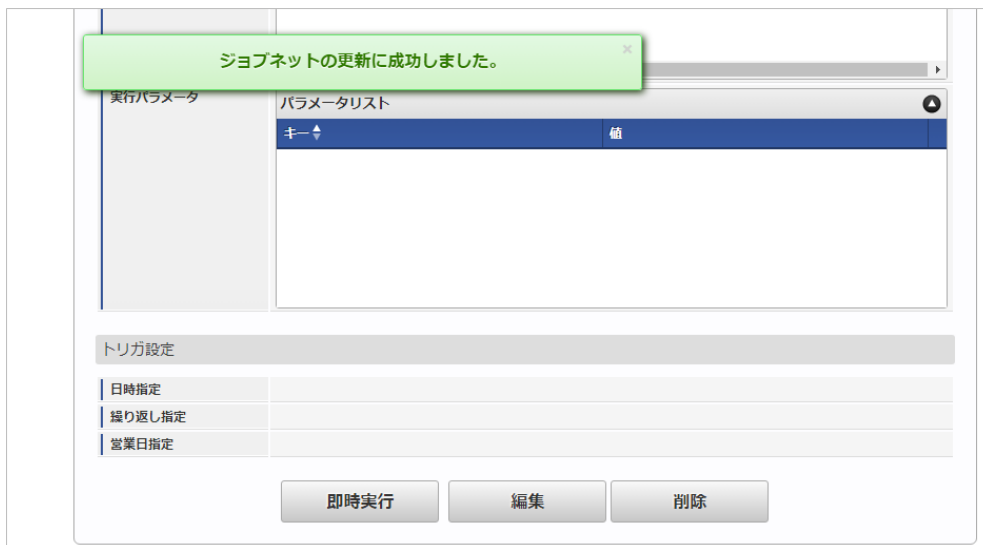
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間 (差分) モード ▪ 2: 単一期間 (一新) モード ▪ 3: 単一期間 (入替) モード ▪ 4: 複数期間 (差分) モード ▪ 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_method/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 支払方法マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_method」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

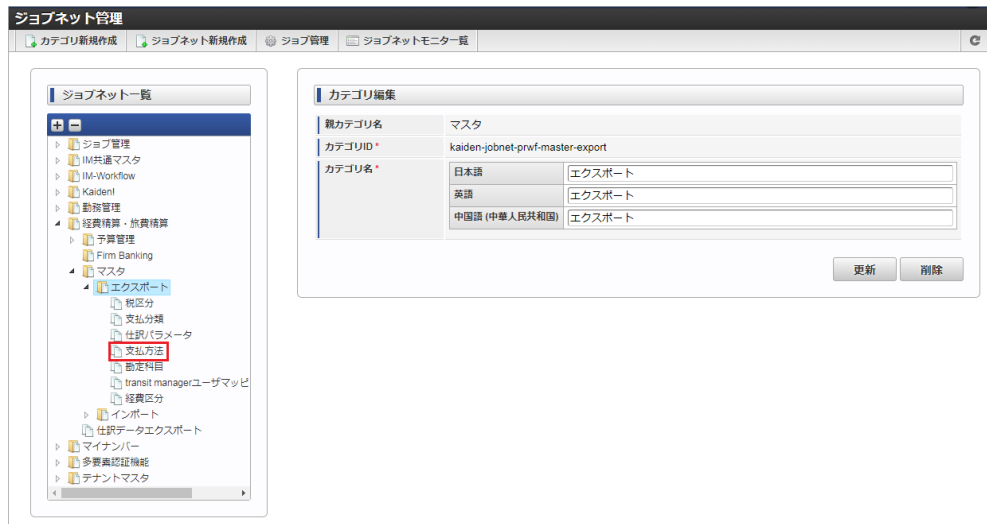
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

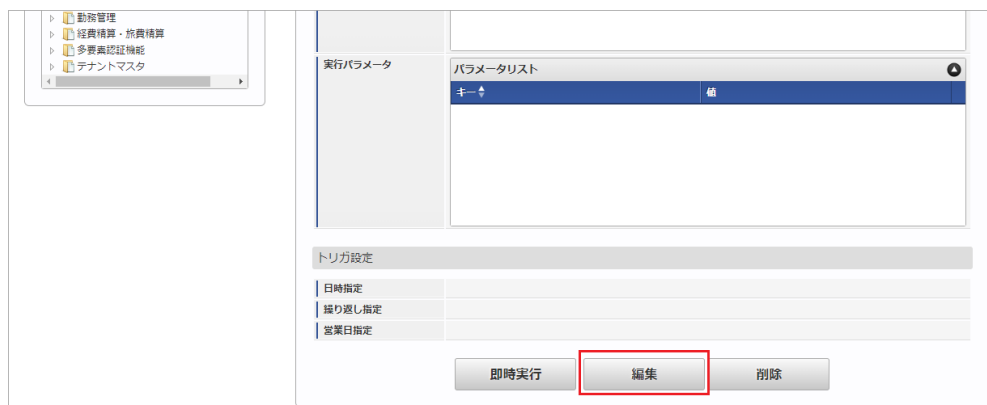
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

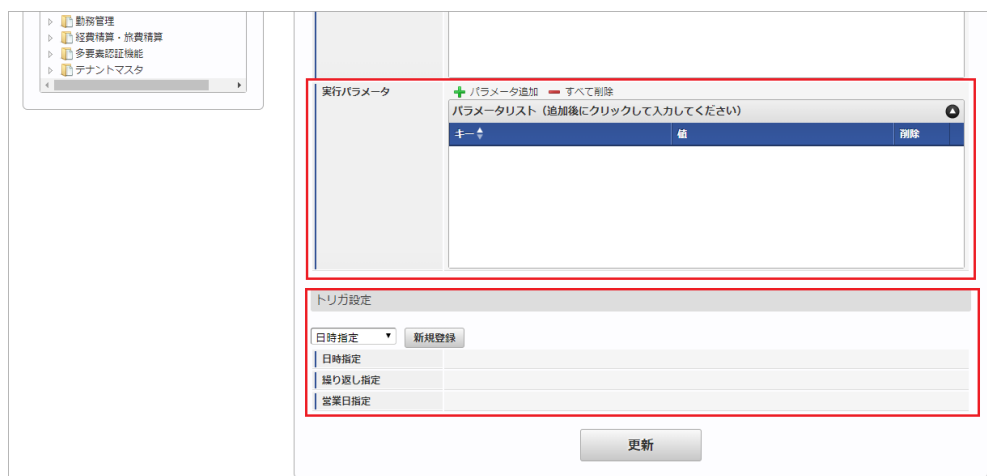
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

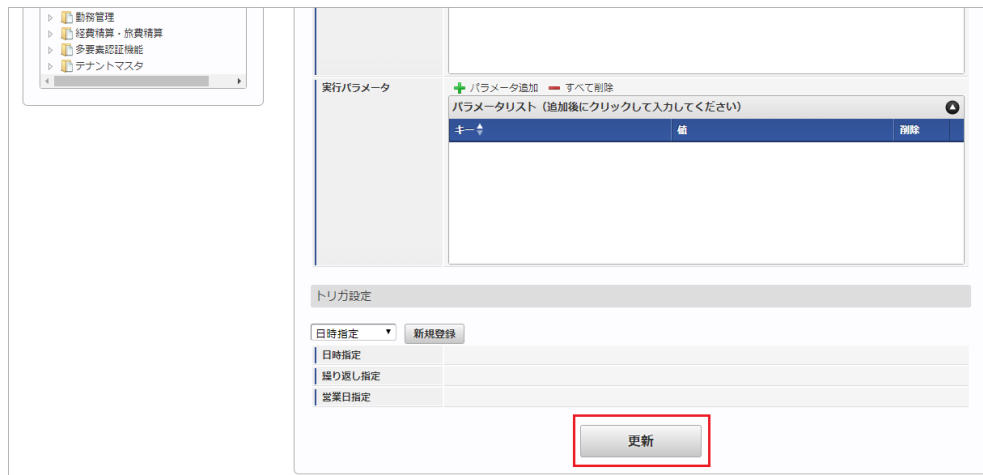
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

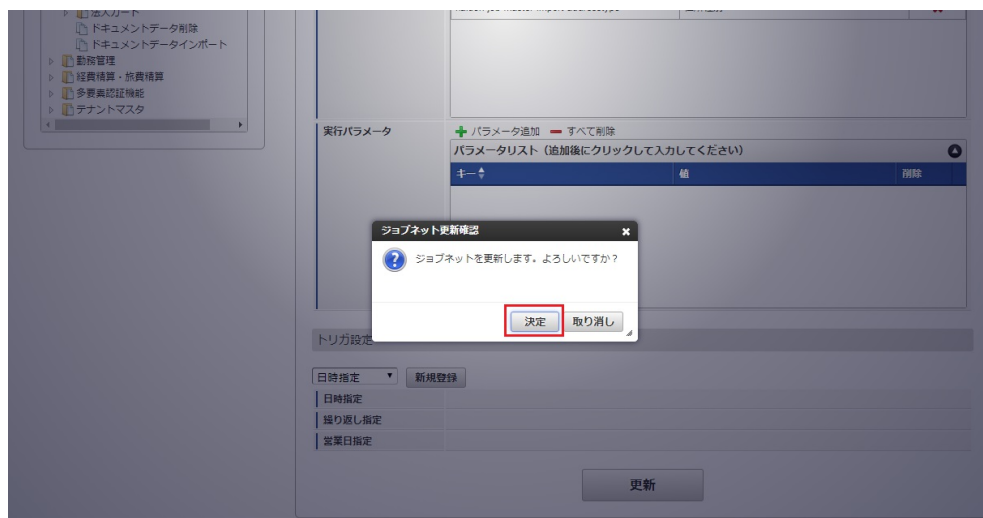
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-paymentmethod	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 支払方法

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/pay_method/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
payMethodCd	支払方法コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
payMethodName	支払方法名	
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
fbOutputFlag	FB出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：全件出力モード ▪ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/pay_method/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/pay_method/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション ▪ none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true：ヘッダー出力有 ▪ false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 支払方法マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_method」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、支払分類マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

支払分類マスタは、従業員が立替えた支出か、またはそれ以外の方法での支出なのかの分類として利用します。

登録時に、「立替」の対象／対象外を設定できます。「立替」とは、従業員が精算時に一時的な立替払いを行うための項目で、立替精算の対象です。

intra-mart Accel Kaiden! では、この「支払分類」により仕訳出力の有無や仕訳データ作成時の債務勘定科目が利用されます。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

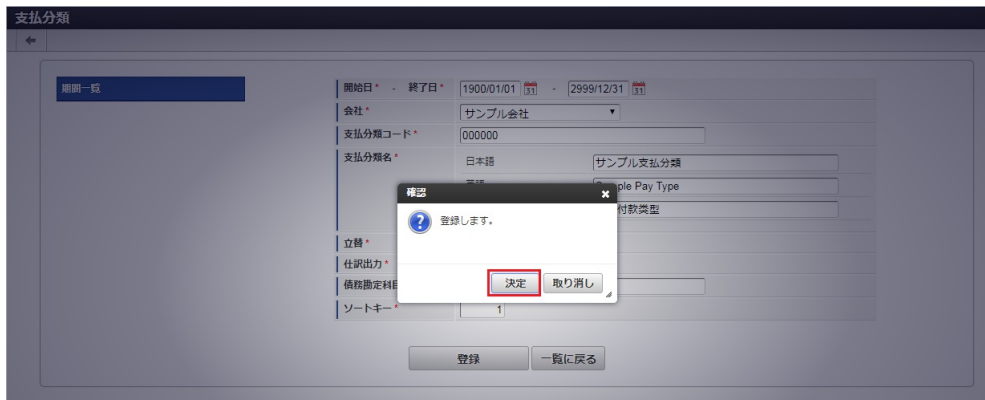
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払分類」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

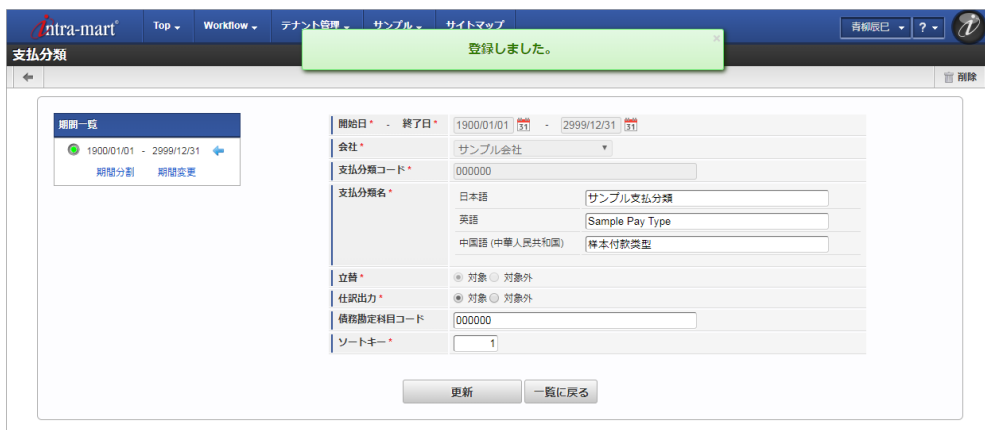
- 支払分類コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 支払分類名
支払分類の名称を入力します。
- 立替
「対象」を指定すると、従業員が立替えたことを示します。
- 仕訳出力
「対象」を指定すると、仕訳データ作成／出力の対象として設定されます。

- 債務勘定科目コード
仕訳データ作成/出力時の債務勘定科目コードを入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

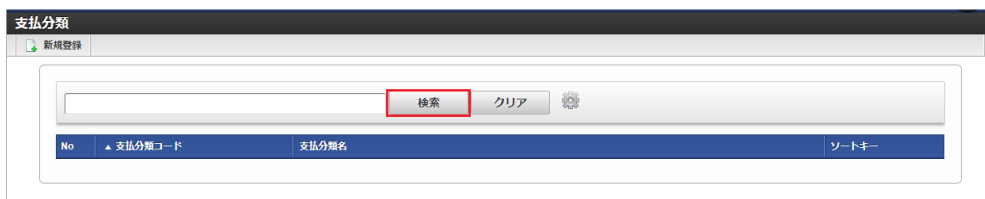


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「支払分類」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい支払分類の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 支払分類コード
- 支払分類名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

支払分類

新規登録

検索 クリア

No	支払分類コード	支払分類名	ソートキー
1	000000	サンプル支払分類	1
2	0001	立替	1
3	0002	タクシー券	2
4	0003	JR券	3
5	0004	JAL/ANA券	4
6	0005	CorpCard	5
7	0006	JTB	6

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

支払分類

← 削除

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [31] - 2999/12/31 [31]

会社 * サンプル会社

支払分類コード * 000000

支払分類名 *
日本語 サンプル支払分類
英語 Sample Pay Type
中国語 (中華人民共和国) 株本付数類型

立替 * 対象 対象外

仕訳出力 * 対象 対象外

債務勘定科目コード 000000

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 支払分類コード
- 立替

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

支払分類

← 削除

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [31] - 2999/12/31 [31]

会社 * サンプル会社

支払分類コード * 000000

支払分類名 *
日本語 サンプル支払分類
英語 Sample Pay Type
中国語 (中華人民共和国) 株本付数類型

立替 * 対象 対象外

仕訳出力 * 対象 対象外

債務勘定科目コード 000000

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

The screenshot shows the '支払分類' (Payment Classification) configuration page. The main content area contains the following fields and options:

- 更新しました。** (Updated) - Green notification box
- 期間一覧** (Period List) - Summary table showing '1900/01/01 - 2999/12/31' with '期間分割' (Period Split) and '期間変更' (Period Change) links.
- 開始日** (Start Date): 1900/01/01
- 終了日** (End Date): 2999/12/31
- 会社** (Company): サンプル会社 (Sample Company)
- 支払分類コード** (Payment Classification Code): 000000
- 支払分類名** (Payment Classification Name):
 - 日本語: サンプル支払分類 (Sample Payment Classification)
 - 英語: Sample Pay Type
 - 中国語 (中華人民共和国): 梅本付款類型 (Umemoto Payment Type)
- 立替** (Substitution): 対象 (Target) / 対象外 (Not Target)
- 仕訳出力** (Journal Output): 対象 (Target) / 対象外 (Not Target)
- 債務勘定科目コード** (Debit Account Code): 000000
- ソートキー** (Sort Key): 1
- Buttons:** 更新 (Update), 一覧に戻る (Return to List)

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 ""

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	支払分類コード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
6	支払分類名	○	250	
7	立替フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
8	仕訳出力フラグ	○	1	0 : 対象外 1 : 対象
9	債務勘定科目コード		100	仕訳出力フラグが「対象」の場合は必須
10	ソートキー	○	15	
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）



コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","","ja","サンプル支払分類","1","0","","1","0"
"comp_sample_01","000000","","en","Sample Pay Type","1","0","","1","0"
"comp_sample_01","000000","","zh_CN","本付款型","1","0","","1","0"
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pay_type

ファイル名 import.csv



コラム

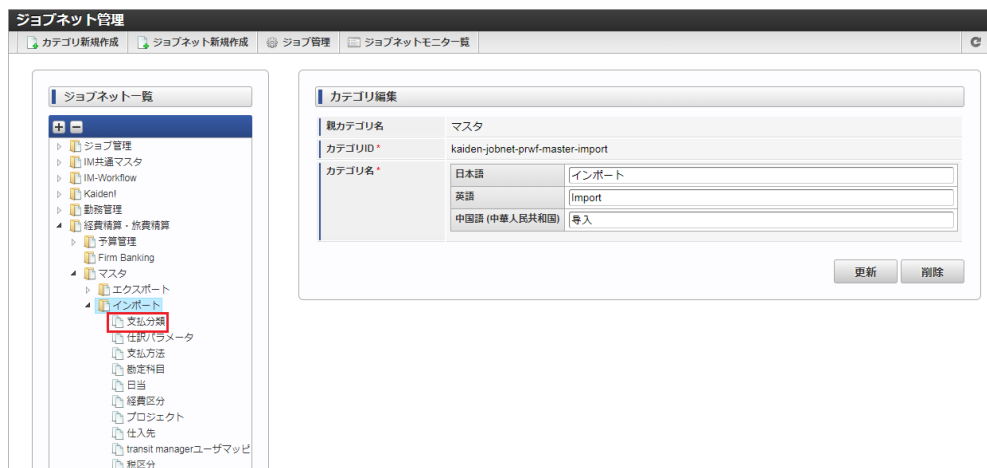
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

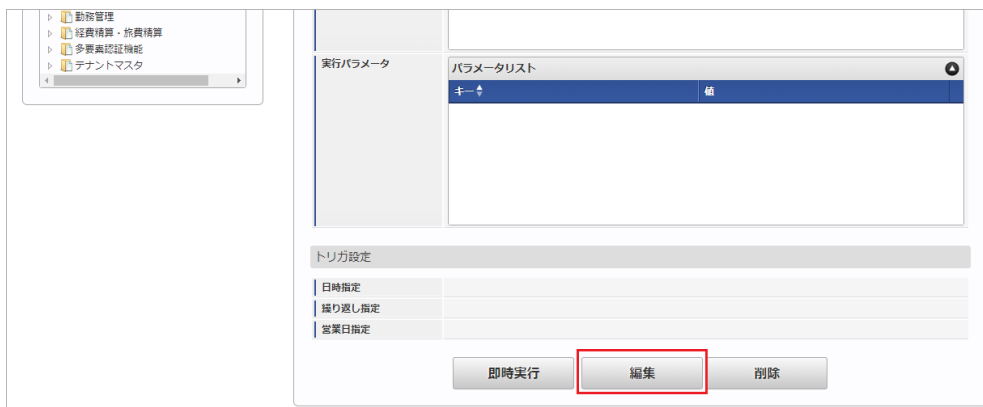
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

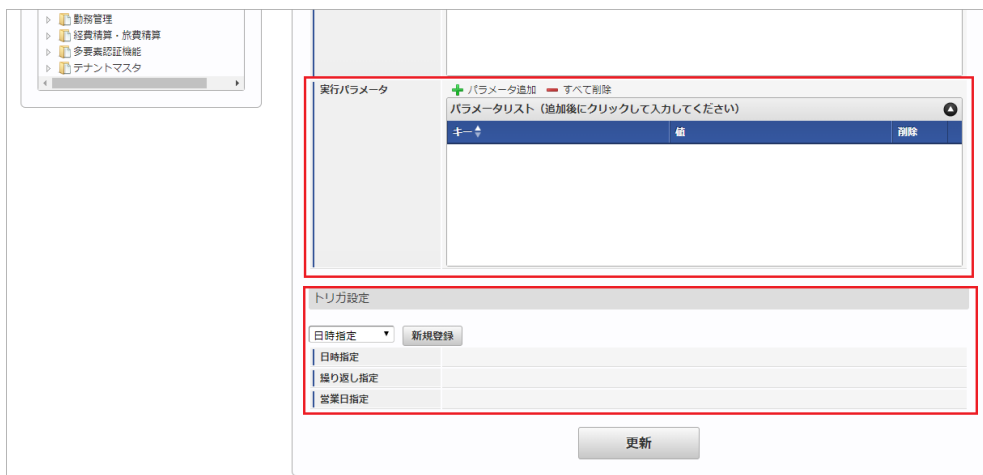
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

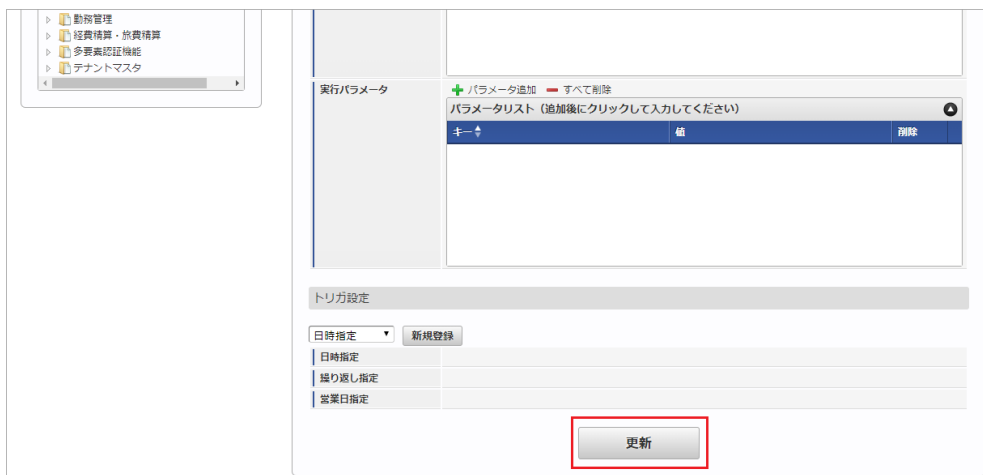
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

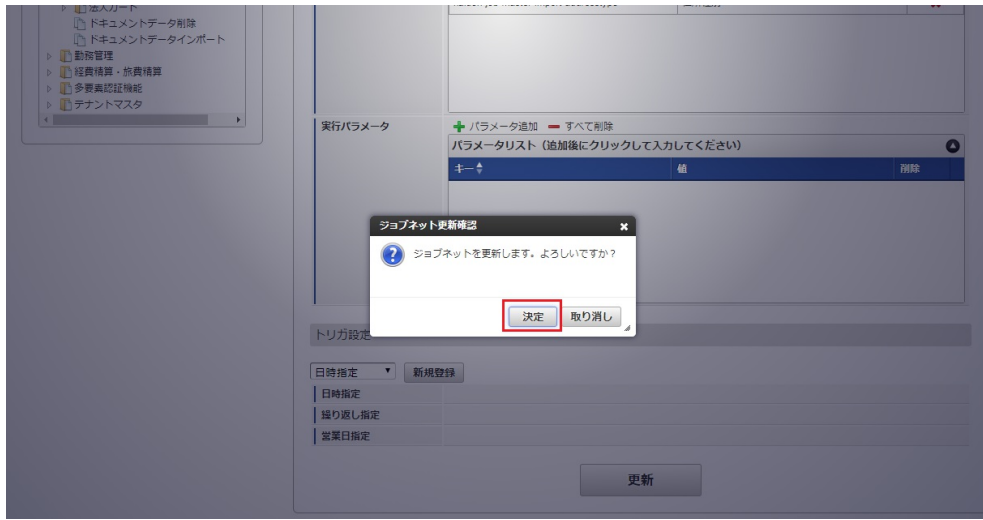
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-paytype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 支払分類

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pay_type/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 支払分類マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_type」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

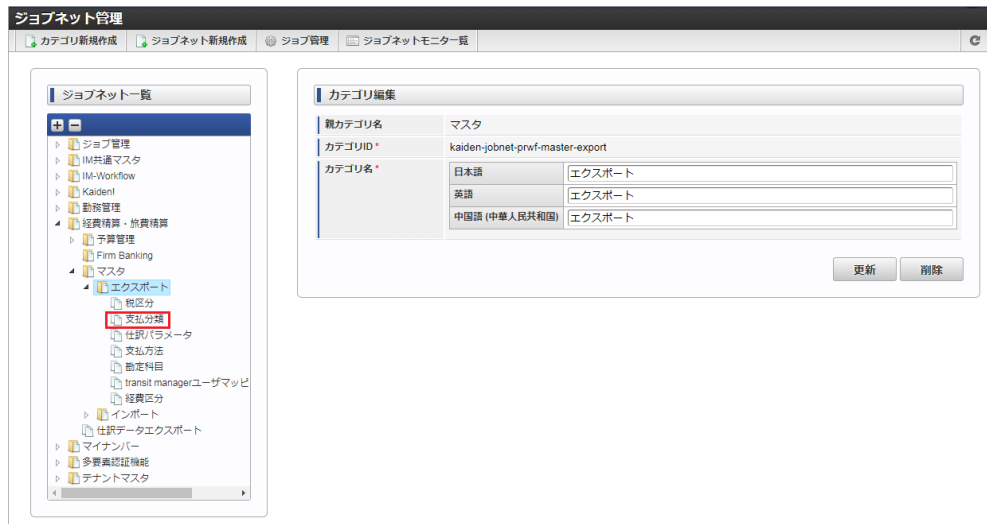
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

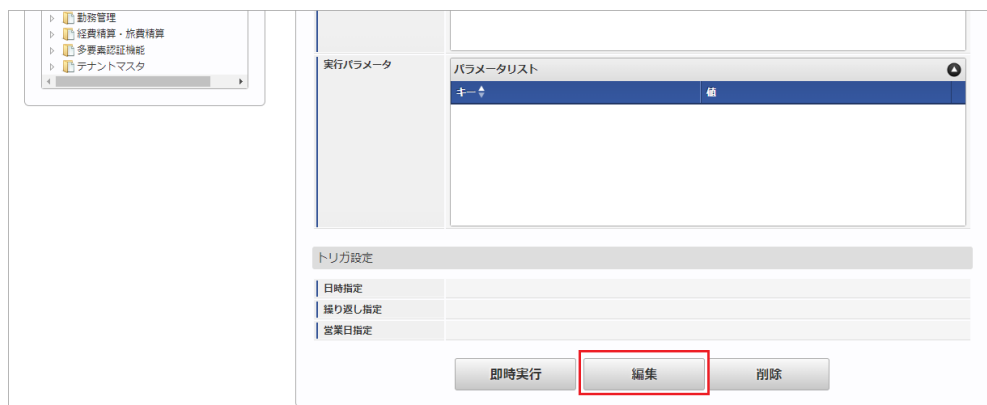
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

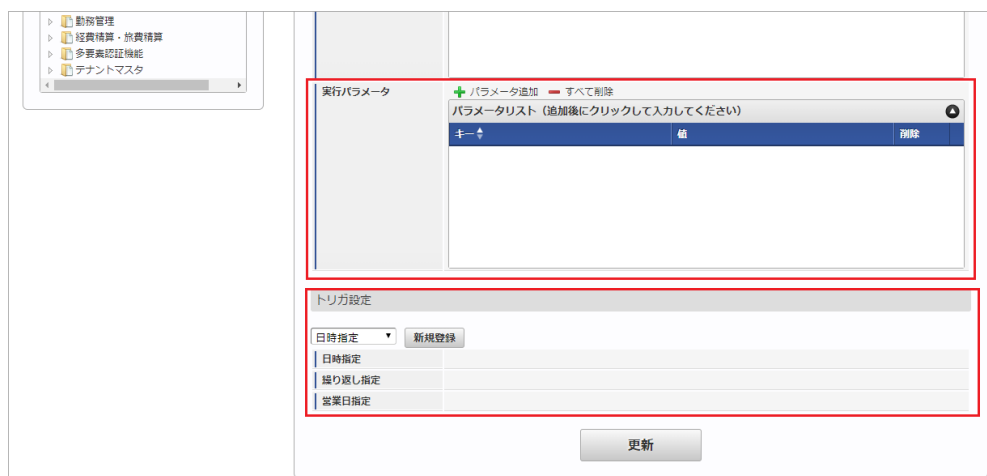
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

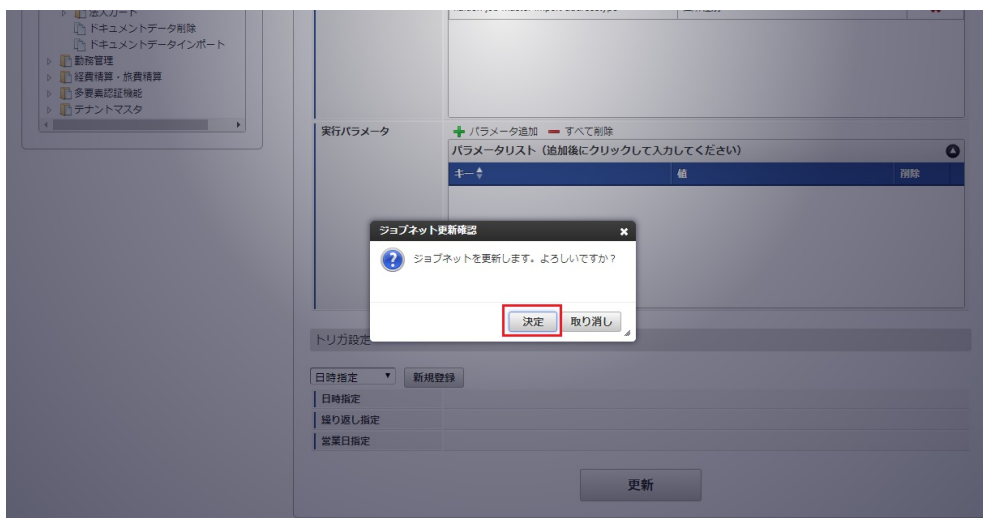
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-paytype	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 支払分類

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pay_type/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
payTypeCd	支払分類コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
payTypeName	支払分類名	
paymentFlag	立替フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
journalOutputFlag	仕訳出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/pay_type/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/pay_type/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 支払分類マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pay_type」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、日当マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

日当マスタは、旅費規程に基づいて、申請者の資格種別から適切な日当額を自動的に算出するためのものです。

日当マスタの資格種別には、役職／ロールが利用できます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

注意

資格種別に利用するロールは、カテゴリに“KAIDEN”を設定したロールのみ利用できます。

ロール一覧

新規登録

検索条件にカテゴリとロール名を指定することができます。

ロール名を入力してください。 検索 クリア

編集	ユーザコード	カテゴリ	ロール名	表示名
			account_manager	アカウント管理者
		KAIDEN	allowance_01	一般社員
		KAIDEN	allowance_02	管理職
			authz_manager	認可管理者
			calendar_manager	カレンダー管理者
		im_master	im_master_manager	IM共通マスタ 管理者
		im_master	im_master_operator	IM共通マスタ 運用管理者
		im_workflow	im_workflow_manager	IM-Workflow 管理者
		im_workflow	im_workflow_operator	IM-Workflow 運用管理者

3 ページ中 1 ページ目 10 22件中 1 - 10 を表示

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「日当」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	日当コード	日当名	ステータス
----	-------	-----	-------

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

←

期間一覧

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 *

日本語 サンプル日当

英語 Sample Allowance

中国語 (中華人民共和国) 样品日补贴

通貨 * JPY

	算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ロール	管理職	10000	10
2	ロール	一般社員	5000	20
3			3000	30

登録 一覧に戻る

- 日当コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 日当名
日当の名称を入力します。
- 通貨
通貨を選択します。
- 算定基準
「ロール」または「役職」を選択します。
空欄の指定も可能です。
- 資格コード
算定基準に「ロール」を指定した場合、ロールがリストされますので選択します。
算定基準に「役職」を指定した場合、役職がリストされますので選択します。
算定基準を指定しない場合は入力不可です。
- 金額
金額を入力します。
- 優先度
優先度を入力します。
数字が小さいほど優先度が高く設定されます。

i コラム

上記の画面のように登録した場合、
 管理職ロールを保持する社員が申請する場合には **10,000円**
 一般社員ロールを保持する社員が申請する場合には **5,000円**
 その他の社員が申請する場合には **3,000円** が表示されます。
 管理職ロールと一般社員ロールを両方保持する場合は、
 優先度が高い(優先度の数字が低い)管理職ロールの金額である **10,000円** が設定されます。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#) を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「日当」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	▲ 日当コード	日当名	ステータス
----	---------	-----	-------



コラム

検索欄に検索したい日当の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 日当コード
- 日当名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

日当マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	▲ 日当コード	日当名	ステータス
1	000000	サンプル日当	●
2	1000	国内日当(200km未満)	●
3	2000	国内日当(200km以上)	●
4	3000	国外日当	●

最初へ前へ 1 次へ最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 *
日本語 サンプル日当
英語 Sample Allowance
中国語 (中華人民共和国) 標品日补贴

通貨 * JPY

算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ロール 管理職	10000	10
2	ロール 一般社員	5000	20
3		3000	30

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 日当コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

日当マスターメンテナンス

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 - 2999/12/31

会社 * サンプル会社

日当コード * 000000

日当名 *
日本語 サンプル日当
英語 Sample Allowance
中国語 (中華人民共和国) 標品日补贴

通貨 * JPY

算定基準	資格コード	金額 *	優先度 *
1	ロール 管理職	10000	10
2	ロール 一般社員	5000	20
3		3000	30

更新 削除 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

注意

バージョン2.0.13でインポートの方式が変更になりました。
バージョン2.0.12までのファイル形式はインポートできません。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名	<ul style="list-style-type: none"> import_header.csv 日当コード・日当名称等の基本情報ファイル import_detail.csv 日当コードごとの資格(ロール/役職)に対する日当金額ファイル
-------	--

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式 (import_header.csv)**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	日当コード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

5	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
7	日当名	○	250	
8	通貨コード	○	100	
9	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","term01","ja","1900/01/01","1999/12/31","サンプル日当","JPY","1"
"comp_sample_01","000000","term01","en","1900/01/01","1999/12/31","Sample Allowance","JPY","1"
"comp_sample_01","000000","term01","zh_CN","1900/01/01","1999/12/31","样品日当","JPY","1"
"comp_sample_01","000000","term02","ja","2000/01/01","2999/12/31","サンプル日当","JPY","0"
"comp_sample_01","000000","term02","en","2000/01/01","2999/12/31","Sample Allowance","JPY","0"
"comp_sample_01","000000","term02","zh_CN","2000/01/01","2999/12/31","样品日当","JPY","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

i コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「日当コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「日当コード」、期間が同じで「ロケールID」が異なるデータは、同じ期間コードを設定します。
「会社コード」、「日当コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ データ形式 (import_detail.csv)

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	日当コード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	連番	○	18	
5	算定基準コード		100	<ul style="list-style-type: none"> ■ 300004-ROLE ロールを設定する場合 ■ 300004-POST 役職を設定する場合
6	資格種別コード		100	ロールまたは役職のコードを設定します。
7	金額	○	28	
8	優先度	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","term01","0","300004-ROLE","allowance_02","300","0"
"comp_sample_01","000000","term01","1","300004-ROLE","allowance_01","200","10"
"comp_sample_01","000000","term02","0","300004-ROLE","allowance_02","300","0"
"comp_sample_01","000000","term02","1","300004-ROLE","allowance_01","200","10"
```


i コラム

「import_header.csv」、 「import_detail.csv」 で設定された「会社コード」、「日当コード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

- **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/allowance

ファイル名 import_header.csv
 import_detail.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「日当」をクリックします。

The screenshot shows the 'Jobnet Management' (ジョブネット管理) interface. On the left, a tree view shows the 'Import' (インポート) category selected under 'Jobnet List' (ジョブネット一覧). The main area displays the 'Category Edit' (カテゴリ編集) form for the 'Import' category. The form fields are as follows:

親カテゴリ名	マスタ	
カテゴリID *	kaiden-jobnet-prvf-master-import	
カテゴリ名 *	日本語	インポート
	英語	Import
	中国語 (中華人民共和国)	导入

Buttons for '更新' (Update) and '削除' (Delete) are visible at the bottom right of the form.

3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

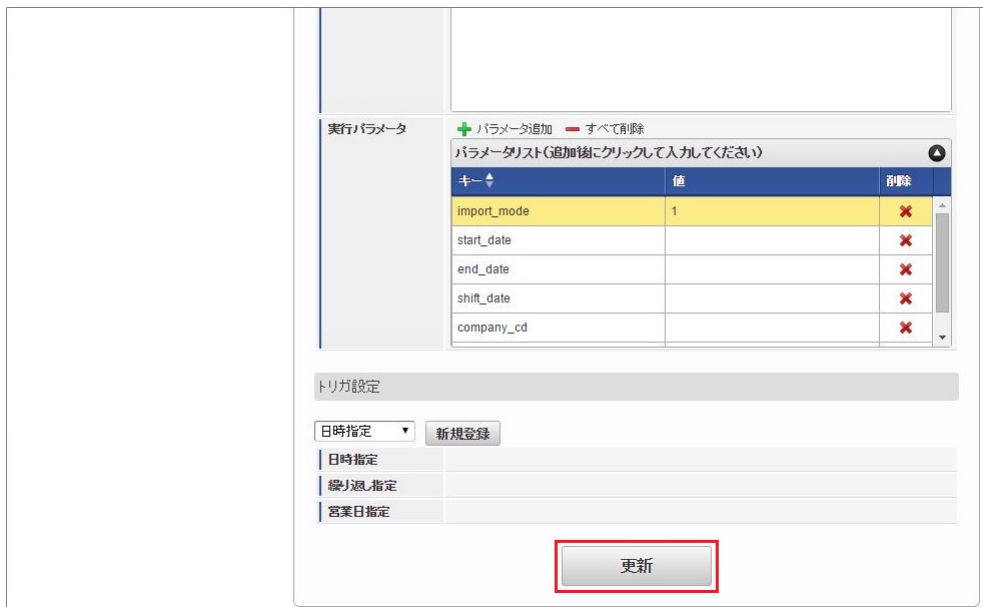
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

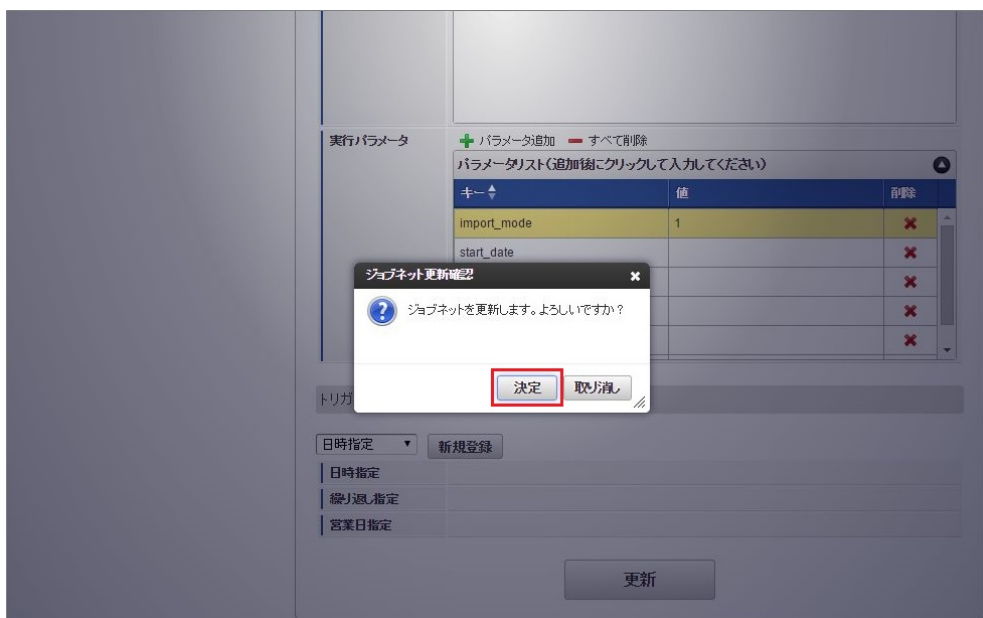
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-allowance	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / 日当

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/allowance/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)

名称	キー	説明／設定値
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/allowance/import_header_{YMDHMSN}.csv import_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 出張手配代理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 出張手配代理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「allowance」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧 (画面左部) の「日当」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

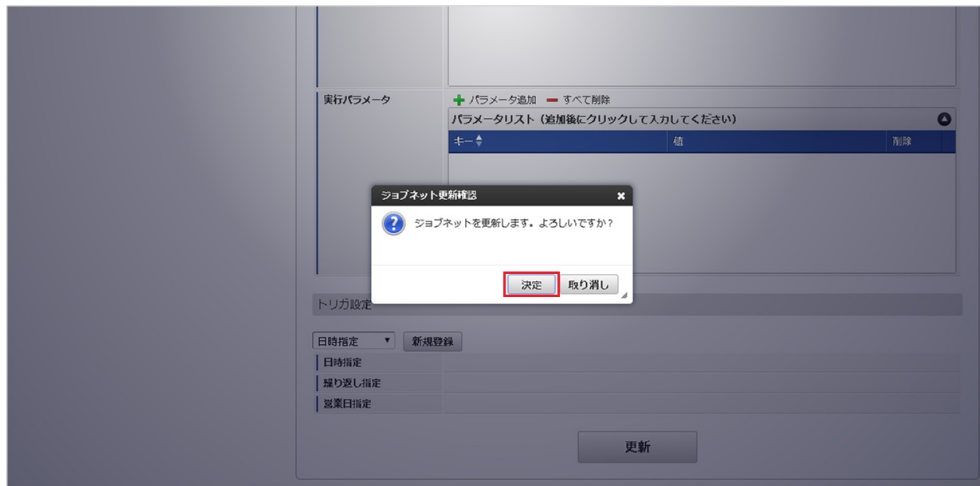
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

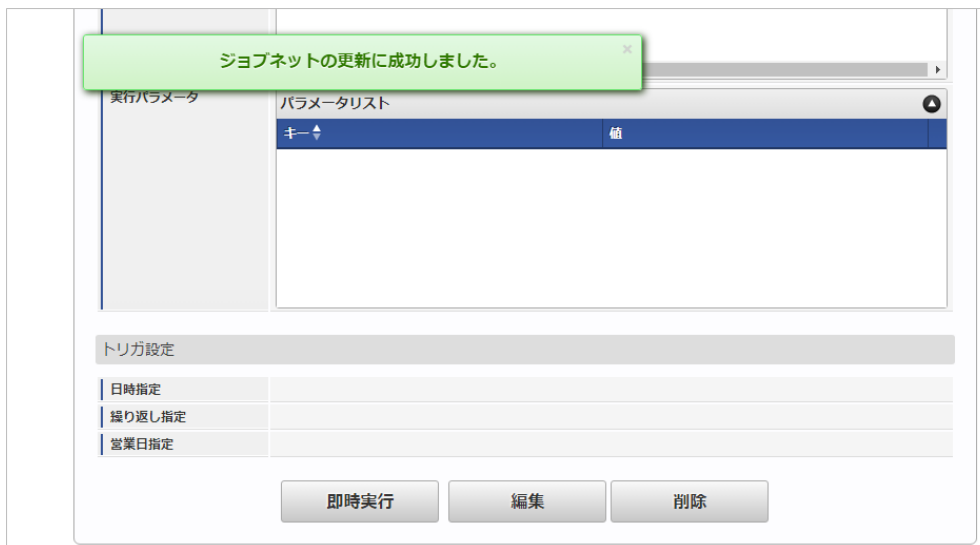
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-allowance	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 日当

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/allowance/

ファイル名 export_header.csv
export_detail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。
export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
allowanceCd	日当コード	
termCd	期間コード	

localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
allowanceName	日当名	
currencyCd	通貨コード	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
allowanceCd	日当コード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
measureCd	算定基準コード	300004-ROLE : ロール 300004-POST : 役職
qualifyTypeCd	資格種別コード	
amount	金額	
sortKey	優先度	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1)

- 1 : 全件出力モード
- 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力)
- 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/allowance/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/allowance/export_header_{YMDHMSN}.csv export_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 出張手配代理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 出張手配代理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「allowance」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

仕訳パラメータマスタ

本項では、仕訳パラメータマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

仕訳パラメータマスタは、仕訳データ作成機能に関わる設定を管理します。
仕訳パラメータマスタの設定内容により、仕訳作成時の処理やFBデータ出力の内容が変わります。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕訳パラメータ」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

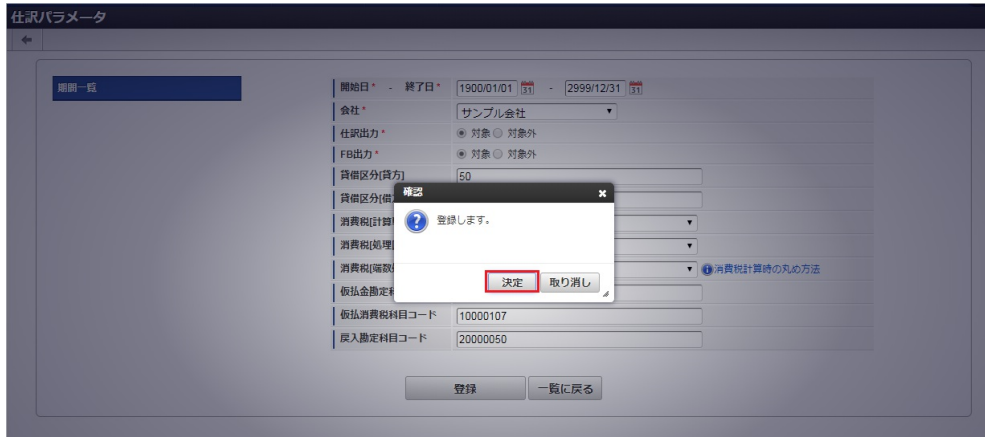
3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

開始日*	終了日*	1900/01/01 (日)	2999/12/31 (日)
会社*	サンプル会社		
仕訳出力*	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外		
FB出力*	<input checked="" type="radio"/> 対象 <input type="radio"/> 対象外		
貸借区分(貸方)	50		
貸借区分(借方)	40		
消費税(計算単位)*	明細単位		
消費税(処理区分)*	税抜総理		
消費税(端数処理区分)*	HALF_UP <small>消費税込計算時の丸め方法</small>		
仮払金勘定科目コード	10000055		
仮払消費税科目コード	10000107		
戻入勘定科目コード	20000050		

- 仕訳出力
「対象」を指定すると、仕訳出力が有効に設定されます。
- FB出力
「対象」を指定すると、FBデータ出力が有効に設定されます。
- 貸借区分[貸方]
貸方レコードであることを識別するための値を指定します。
※ 経理システムなど出力した仕訳データの連携先に必要な値にしてください。
- 貸借区分[借方]
借方レコードであることを識別するための値を指定します。
※ 経理システムなど出力した仕訳データの連携先に必要な値にしてください。

- 消費税[計算単位]
税抜経理の場合に消費税を計算する単位です。「明細単位」のみ指定可能です。
- 消費税[処理区分]
「税抜経理」を選択すると、経費支出などの費用にかかる仮払消費税を別レコードに分割して出力します。
- 消費税[端数処理区分]
税抜経理の場合に使用する、消費税計算時の丸め方法です。
- 仮払金勘定科目コード
事前申請書にて入力された仮払金に関する仕訳で使用する勘定科目コードです。
- 仮払消費税科目コード
税抜経理の場合に仮払消費税に関する仕訳で使用する勘定科目コードです。
- 戻入勘定科目コード
精算申請書で戻入が発生した場合の仕訳で使用する勘定科目コードです。
未指定の場合は、事前申請書で選択した支払方法の「債務勘定科目コード」の設定値が利用されます。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

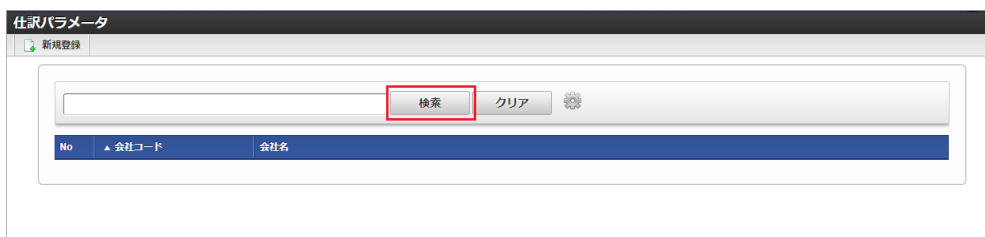


5. 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕訳パラメータ」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい仕訳パラメータの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

仕訳パラメータ

新規登録

検索 クリア

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

仕訳パラメータ

削除

期間一括

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

仕訳出力 * 対象 対象外

FB出力 * 対象 対象外

貸借区分(貸方) 50

貸借区分(借方) 40

消費税(計算単位) * 明細単位

消費税(処理区分) * 税抜経理

消費税(端数処理区分) * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

仮払金勘定科目コード 10000055

仮払消費税科目コード 10000107

戻入勘定科目コード 20000050

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

仕訳パラメータ

削除

期間一括

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

仕訳出力 * 対象 対象外

FB出力 * 対象 対象外

貸借区分(貸方) 50

貸借区分(借方)

消費税(計算) ? 更新します。

消費税(処理)

消費税(端数) ? 消費税計算時の丸め方法

仮払金勘定科目コード 10000107

仮払消費税科目コード 20000050

戻入勘定科目コード

決定 取り消し

更新 一覧に戻る

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	貸借区分[貸方]		250	
5	貸借区分[借方]		250	
6	消費税[計算単位]	○	100	「300001-1」を指定してください。
7	消費税[端数処理区分]	○	100	
8	消費税[処理区分]	○	100	300002-1：税込経理 300002-2：税抜経理
9	仮払勘定科目コード		100	
10	仮払消費税科目コード		100	
11	戻入勘定科目コード		100	
12	仕訳出力フラグ	○	1	0：対象外 1：対象

13	FB出力フラグ	○	1	0: 対象外 1: 対象
14	削除フラグ	○	1	0: 有効 1: 無効 (論理削除)

コラム

消費税[端数処理区分]は以下のいずれかを指定してください。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。(切り上げ)
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。(正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ)
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。(切り捨て)
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。(五捨六入)
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。(最近接偶数への丸め)
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。(四捨五入)
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。(正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て)

データサンプル

```
"comp_sample_01","1900/01/01","2999/12/31","50","40","300001-1","300003-HALFUP","300002-2","10000055","10000107","20000050","1","1","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/journal_prm

ファイル名 import.csv

コラム

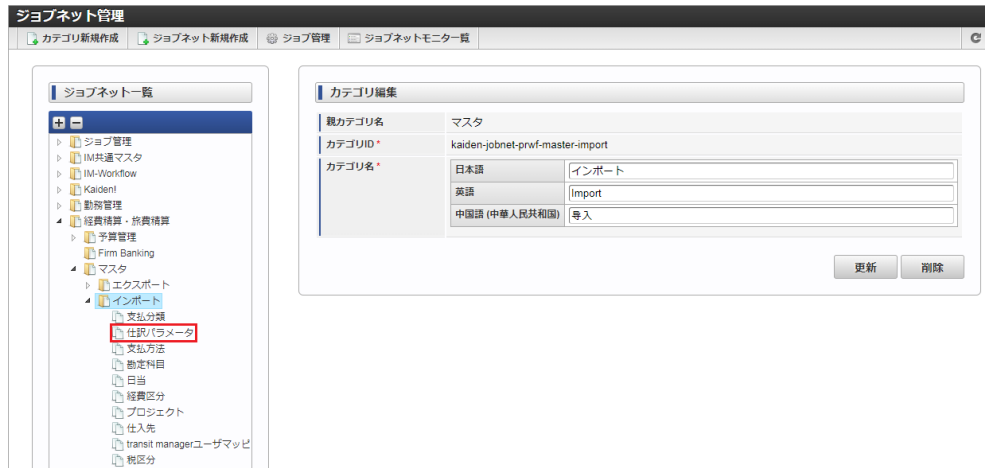
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

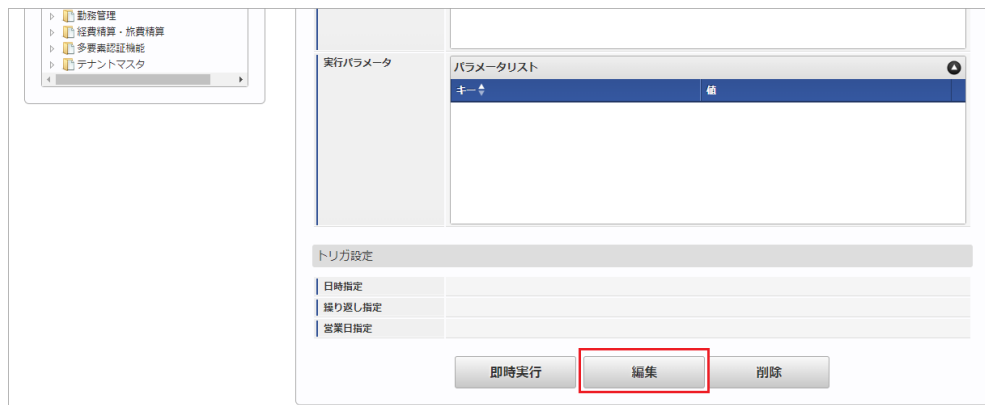
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

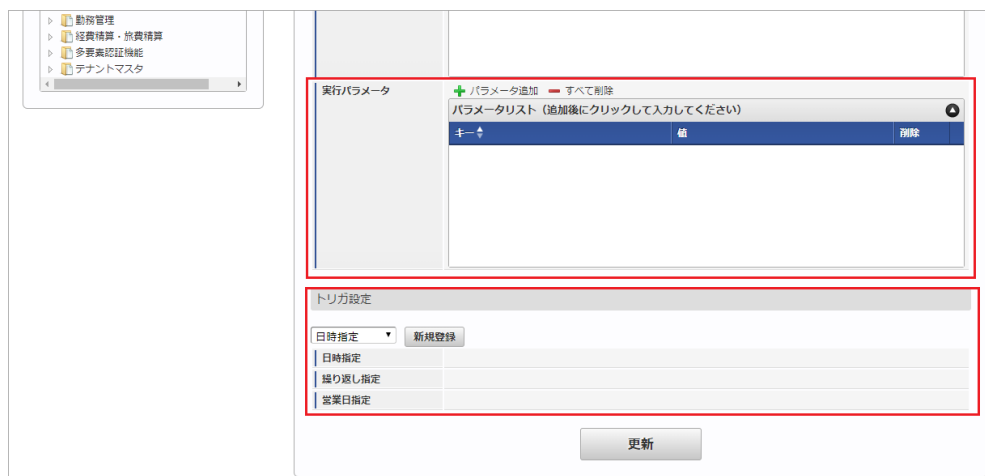
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「仕訳パラメータ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

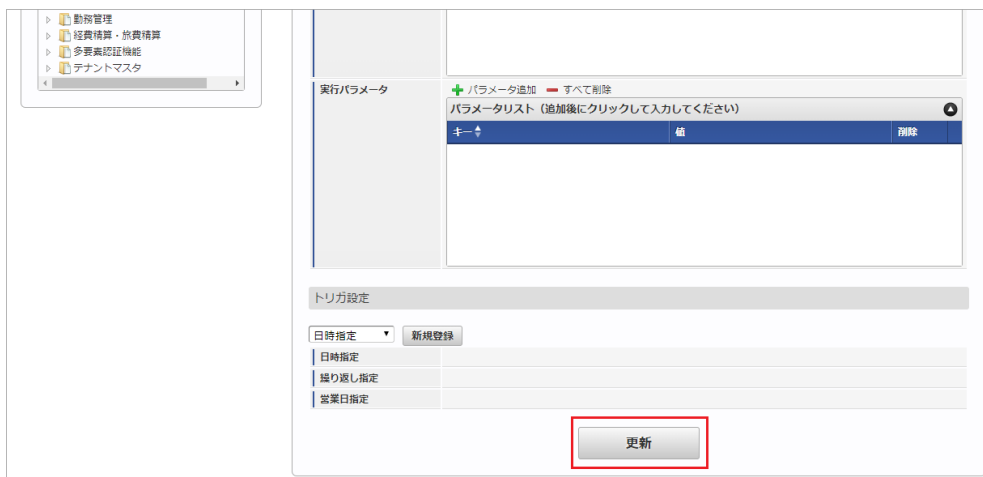
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

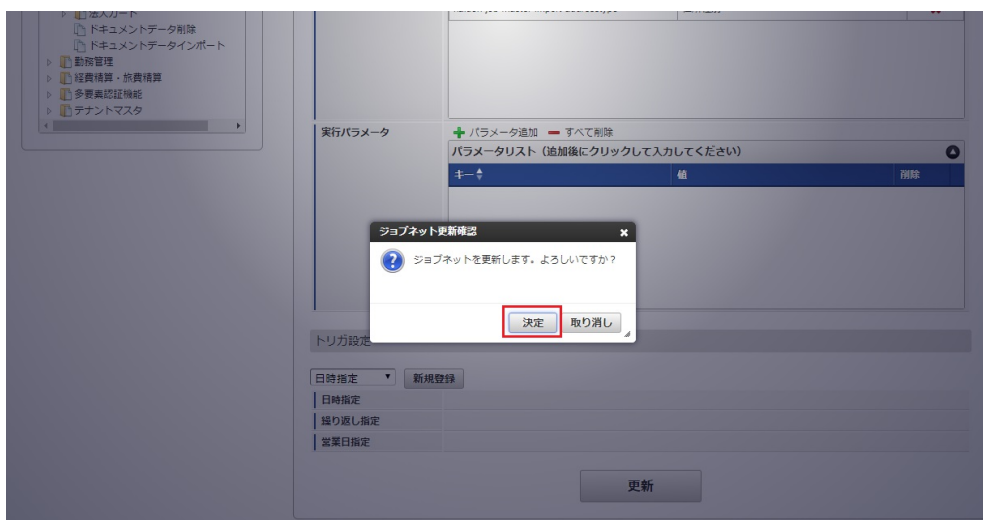
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-journalprm	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 仕訳パラメータ

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ

名称	キー	説明／設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 仕訳パラメータマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「journal_prm」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

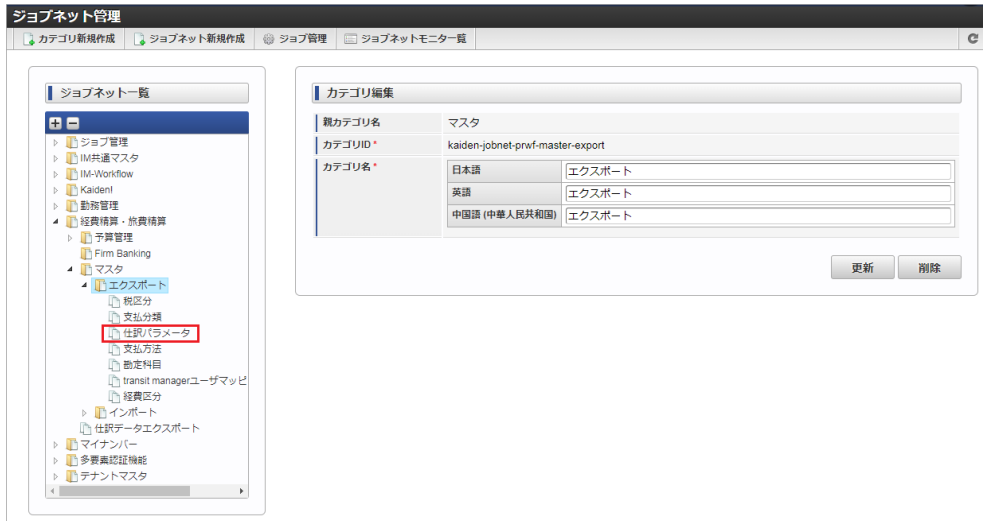
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「仕訳パラメータ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

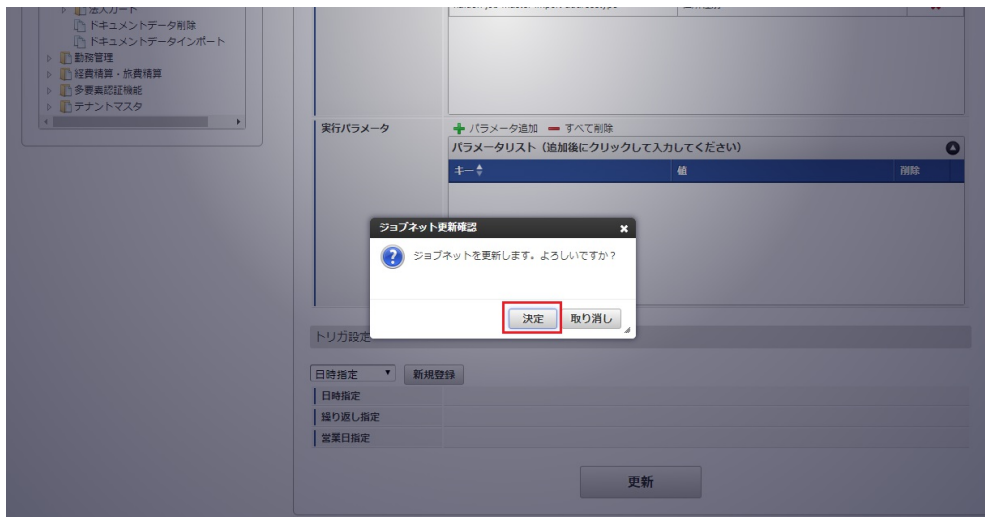
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

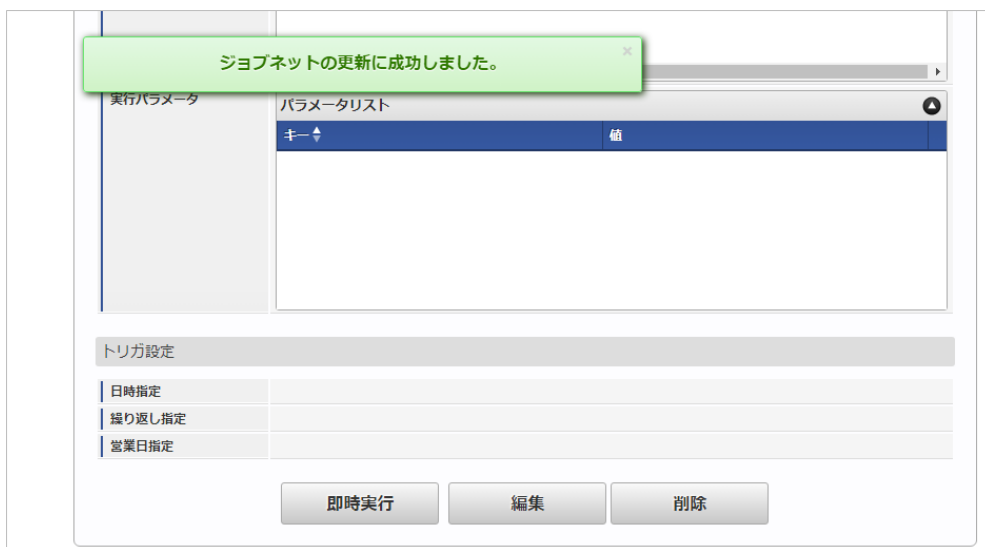
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-journalprm	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 仕訳パラメータ

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/journal_prm/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
dcKindCrName	貸借区分[貸方]	

dcKindDrName	貸借区分[借方]	
taxCalcUnit	消費税[計算単位]	300001-1 : 明細単位
taxRoundTypeCd	消費税[端数処理区分]	
taxProcessingTypeCd	消費税[処理区分]	300002-1 : 税込経理 300002-2 : 税抜経理
accountCdSuspensePayment	仮払勘定科目コード	
accountCdSuspensePaidTax	仮払消費税科目コード	
accountCdSuspenseRet	戻入勘定科目コード	
journalOutputFlag	仕訳出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
fbOutputFlag	FB出力フラグ	0 : 対象外 1 : 対象
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

コラム

消費税[端数処理区分]に出力される値は以下のいずれかです。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。(切り上げ)
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。(正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ)
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。(切り捨て)
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り捨て。(五捨六入)
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は偶数側に丸め。(最近接偶数への丸め)
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣りの数字が等距離の場合は切り上げ。(四捨五入)
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。(正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て)

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/journal_prm/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 仕訳パラメータマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「journal_prm」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

会計期間マスタ

本項では、会計期間マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

会計期間は、申請書の申請可能な期間や承認期日を管理します。
 会計期間チェックガジェットによりこのデータが参照され、申請／承認可能か判断されます。

i コラム

当マスタはインポート・エクスポート機能がありません。
 データ移行の際はTableMaintenance機能を使用してください。
 対象テーブルは「k30m_accounting_period」です。
 詳細は『TableMaintenance 管理者操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「会計期間」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Accounting Period Master Maintenance' interface. At the top, there is a 'New Registration' button highlighted with a red box. Below it is a search bar with a '検索' button and a gear icon. A table header is visible with columns: No, 会計期間名, ▲開始日, 終了日, オープン日, 申請締日, 承認締日. The table body is currently empty.

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration form for 'Accounting Period Master Maintenance'. The form contains the following fields:

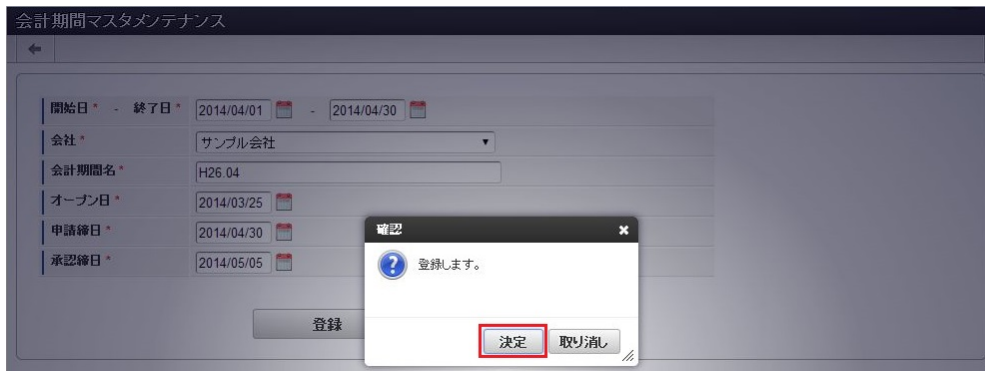
- 開始日 * - 終了日 *: 2014/04/01 - 2014/04/30
- 会社 *: サンプル会社
- 会計期間名 *: H26.04
- オープン日 *: 2014/03/25
- 申請締日 *: 2014/04/30
- 承認締日 *: 2014/05/05

At the bottom, there are two buttons: '登録' (highlighted with a red box) and '一覧に戻る'.

- 会計期間名
会計期間の名称を入力します。
- オープン日
申請が可能になる日付を入力します。

- 申請締日
申請を締切る日付を入力します。
- 承認締日
承認を締切る日付を入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「会計期間」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

会計期間マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	会計期間名	▲開始日	終了日	オープン日	申請締日	承認締日
----	-------	------	-----	-------	------	------

i コラム

検索欄に検索したい会計期間の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会計期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

会計期間マスターメンテナンス

新規登録

検索

No	会計期間名	▲開始日	終了日	オープン日	申請締日	承認締日
1	H25.04	2013/04/01	2013/04/30	2013/03/25	2013/04/30	2013/05/05
2	H25.05	2013/05/01	2013/05/31	2013/04/25	2013/05/31	2013/06/05
3	H25.06	2013/06/01	2013/06/30	2013/05/25	2013/06/30	2013/07/05
4	H25.07	2013/07/01	2013/07/31	2013/06/25	2013/07/31	2013/08/05
5	H25.08	2013/08/01	2013/08/31	2013/07/25	2013/08/31	2013/09/05
6	H25.09	2013/09/01	2013/09/30	2013/08/25	2013/09/30	2013/10/05
7	H25.10	2013/10/01	2013/10/31	2013/09/25	2013/10/31	2013/11/05
8	H25.11	2013/11/01	2013/11/30	2013/10/25	2013/11/30	2013/12/05
9	H25.12	2013/12/01	2013/12/31	2013/11/25	2013/12/31	2014/01/05
10	H26.01	2014/01/01	2014/01/31	2013/12/25	2014/01/31	2014/02/05
11	H26.02	2014/02/01	2014/02/28	2014/01/25	2014/02/28	2014/03/05
12	H26.03	2014/03/01	2014/03/31	2014/02/25	2014/03/31	2014/04/05
13	H26.04	2014/04/01	2014/04/30	2014/03/25	2014/04/30	2014/05/05
14	H26.05	2014/05/01	2014/05/31	2014/04/25	2014/05/31	2014/06/05

最初へ前へ 1 2 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会計期間マスターメンテナンス

←

開始日 * - 終了日 * 2014/04/01 - 2014/04/30

会社 * サンプル会社

会計期間名 * H26.04

オープン日 * 2014/03/25

申請締日 * 2014/04/30

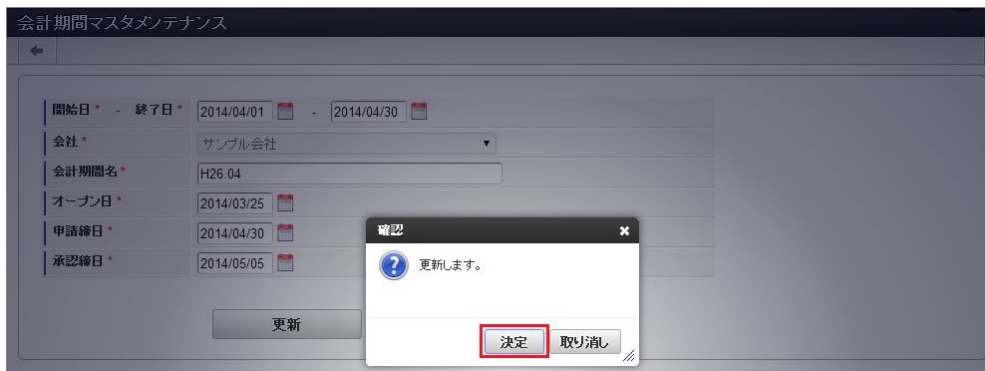
承認締日 * 2014/05/05

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



仕入先マスタ

本項では、仕入先マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

仕入先マスタは、経費を支払う場合の仕入先（支払先）を管理します。

事前に消費税の端数計算方法や源泉徴収有無などを設定することで、申請者の入力負担を低減することができます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

! 注意

仕入先マスタは、経費支払申請などで使用するマスタです。

intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーの個人支払先を登録する「支払先マスタ」とは異なるマスタですのでご注意ください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕入先」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the '仕入先' (Supplier) management interface. At the top left, there is a '新規登録' (New Registration) button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table header is visible with columns: No, ▲ 仕入先コード, 仕入先名, 登録番号, and 検索キーワード.

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the '仕入先' (Supplier) registration form. Fields include: 開始日 (1900/01/01), 終了日 (2999/12/31), 会社 (サンプル会社), 仕入先コード (000000), 仕入先名 (日本語: 株式会社サンプル, 英語: Ltd. Sample, 中国語: 公司样品), 支払先分類 (取引先), 外税/内税区分 (外税), 債務勘定科目コード (111111), 源泉税区分利用 (利用する), 源泉税科目コード (222222), 消費税端数処理区分 (HALF_UP), 登録番号 (T000000000000), and 検索キーワード (sample). The '登録' (Register) button is highlighted with a red box.

- 仕入先コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 仕入先名
仕入先の名称を入力します。
- 支払先分類
支払先の分類を選択します。
- 外税/内税区分
外税/内税を選択します。
本項目は申請時の初期値として使用します。
- 債務勘定科目コード
仕訳データ作成／出力時の債務勘定科目コードを入力します。
- 源泉税区分利用
源泉税に関する項目の利用有無を選択します。
- 源泉税科目コード
仕訳データ作成／出力時の源泉税科目コードを入力します。
- 消費税端数処理区分
消費税計算時の丸め方法を選択します。
- 登録番号
適格請求書発行事業者の登録番号を入力します。
「登録番号検索」をクリックすると、登録番号を検索できます。
- 検索キーワード
検索用のキーワードを入力します。

i コラム

「登録番号検索」は、「[適格請求書設定マスタ](#)」の「登録番号チェック種別」を「公表情報ダウンロードデータ」に設定すると表示されます。

登録番号検索の操作方法は、[登録番号検索](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	仕入先コード	仕入先名	登録番号	検索キーワード
1	000000	株式会社サンプル	T0000000000000	sample
2	000001	ABC商事		
3	000002	法人研修センター		
4	000003	oムデザイン		
5	000004	123法律事務所		

更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「仕入先」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

No	仕入先コード	仕入先名	登録番号	検索キーワード
----	--------	------	------	---------

i コラム

検索欄に検索したい仕入先の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 仕入先コード
- 仕入先名
- 検索キーワード

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

仕入先

新規登録

検索 クリア

No	仕入先コード	仕入先名	登録番号	検索キーワード
1	000000	株式会社サンプル	T0000000000000	sample
2	000001	ABC商事		
3	000002	法人研修センター		
4	000003	コムデザイン		
5	000004	123法律事務所		

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

仕入先

更新

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *

日本語 株式会社サンプル

英語 Ltd. Sample

中国語(中国) 公司样品

支払先分類 取引先

外税/内税区分 * 外税 内税

債権勘定科目コード * 1111111

源泉税区分利用 * 利用しない 利用する

源泉税科目コード 2222222

消費税確定処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

登録番号 T0000000000000 [登録番号検索](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 仕入先コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

仕入先

更新

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

仕入先コード * 000000

仕入先名 *

日本語 株式会社サンプル

英語 Ltd. Sample

中国語(中国) 公司样品

支払先分類 取引先

外税/内税区分 * 外税 内税

債権勘定科目コード * 1111111

源泉税区分 利用する

源泉税科目コード 2222222

消費税確定処理区分 * HALF_UP [消費税計算時の丸め方法](#)

登録番号 T0000000000000 [登録番号検索](#)

検索キーワード sample

更新 一覧に戻る

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	仕入先コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式
6	仕入先名	○	250	
7	支払先分類		100	項目区分（300009）に設定した項目ID
8	債務勘定科目コード	○	100	
9	源泉税利用有無	○	1	0 : 利用しない 1 : 利用する
10	源泉税科目コード	源泉税利用時は必須	100	
11	外税/内税区分	○	1	1 : 外税 2 : 内税
12	消費税端数処理区分	○	100	
13	検索キーワード		1000	
14	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）
15	登録番号		14	

i コラム

消費税[端数処理区分]は以下のいずれかを指定してください。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。(切り上げ)
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。(正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ)
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。(切り捨て)
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は切り捨て。(五捨六入)
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は偶数側に丸め。(最近接偶数への丸め)
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は切り上げ。(四捨五入)
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。(正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て)

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","株式会社サンプル","300009-1","1000","0","","","1","300003-
HALFDOWN","sample","0","T00000000000000"
"comp_sample_01","000000","en","","","Ltd. Sample","300009-1","1000","0","","","1","300003-
HALFDOWN","sample","0","T00000000000000"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","公司品","300009-1","1000","0","","","1","300003-
HALFDOWN","sample","0","T00000000000000"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/vendor

ファイル名 import.csv

i コラム

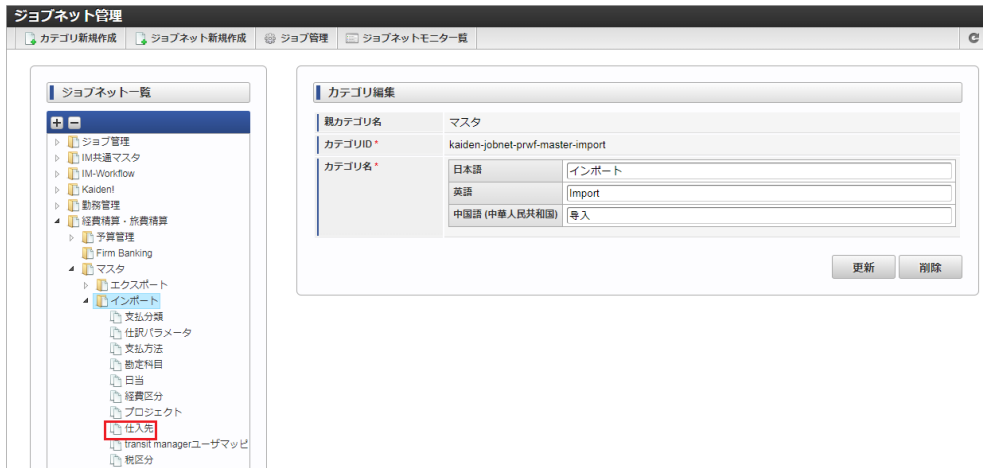
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

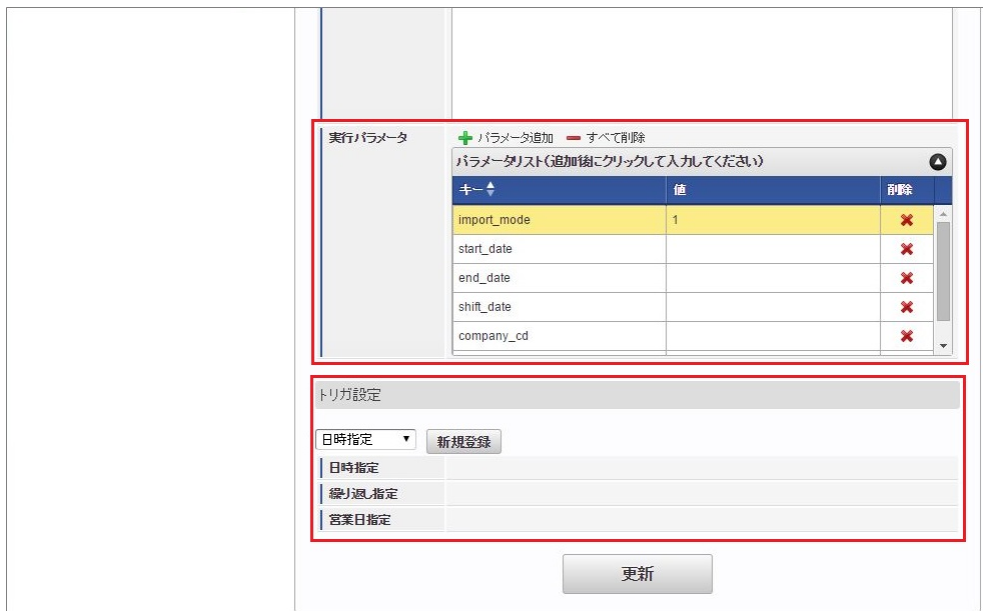
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「仕入先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-vendor	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 仕入先

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

キー	値
company_cd	
end_date	
import_mode	1
shift_date	
start_date	

トリガ設定

日時指定
繰り越し指定
営業日指定

即時実行 編集 削除



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/vendor/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/vendor/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 仕入先マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「vendor」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

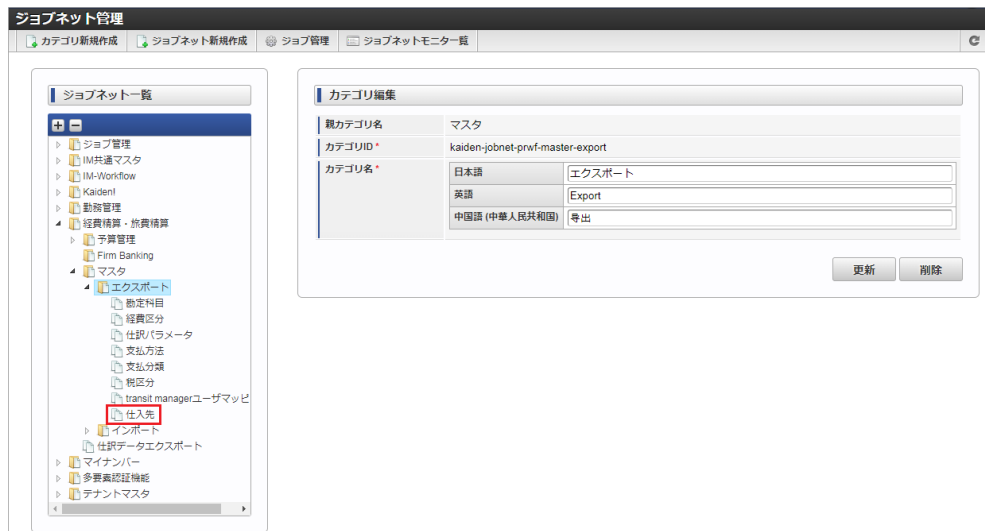
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

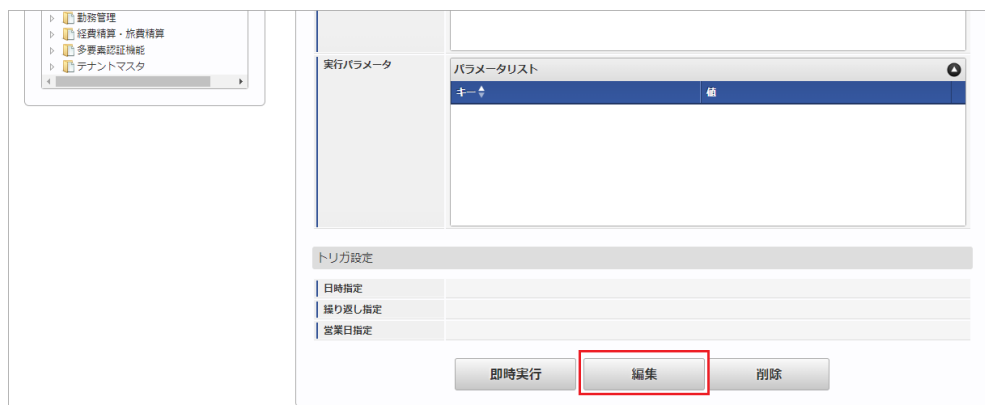
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

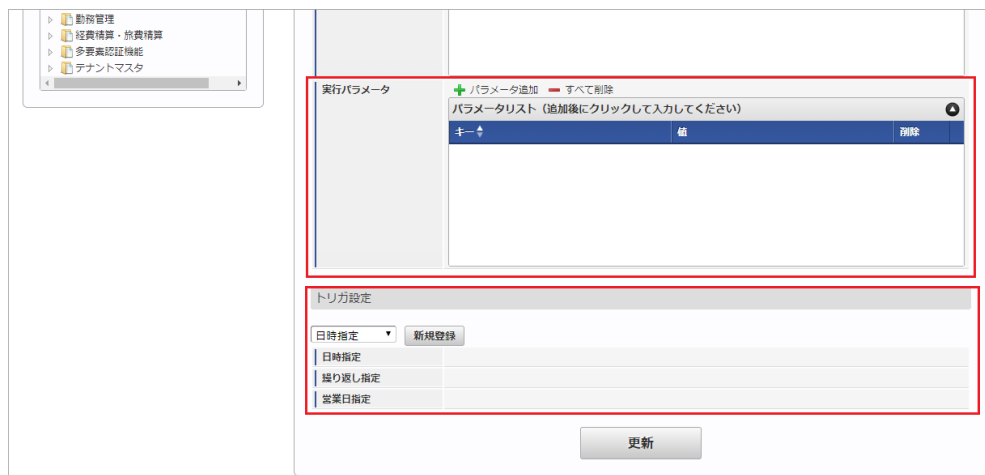
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「仕入先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-vendor	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 仕入先

5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen. On the left, there is a navigation menu with items like '勤務管理', '経費精算・旅費精算', '多要素認証機能', and 'テナントマスタ'. The main area is titled '実行パラメータ' (Execution Parameters) and contains a table for 'パラメータリスト' (Parameter List). Below the table, there are fields for 'トリガ設定' (Trigger Settings) including '日時指定' (Date Specified), '日時指定' (Date Specified), '繰り返し指定' (Repeat Specified), and '営業日指定' (Business Day Specified). A '新規登録' (New Registration) button is next to the '日時指定' field. At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Jobnet Update Confirmation). The dialog contains the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update Jobnet. Is it okay?). Below the text are two buttons: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

7. ジョブネットが設定されました。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen with a success message in a green box: 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Jobnet update successful). Below the message, there is a table for 'パラメータリスト' (Parameter List) with columns 'キー' (Key) and '値' (Value). Below the table, there are fields for 'トリガ設定' (Trigger Settings) including '日時指定' (Date Specified), '繰り返し指定' (Repeat Specified), and '営業日指定' (Business Day Specified). At the bottom, there are three buttons: '即時実行' (Execute Immediately), '編集' (Edit), and '削除' (Delete). The '即時実行' button is highlighted with a red box.

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/vendor/

ファイル名 export.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
customerCd	仕入先コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
customerName	仕入先名	
vendorKbn	支払先分類	
accountCdPayable	債務勘定科目コード	
withholdingTaxFlag	源泉税利用有無	0 : 利用しない 1 : 利用する
accountCdWithholdingTax	源泉税科目コード	
taxTypepe	外税・内税区分	1 : 外税 2 : 内税
taxRoundTypeCd	消費税端数処理区分	
searchKeyword	検索キーワード	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
registeredNumber	登録番号	

i コラム

消費税[端数処理区分]に出力される値は以下のいずれかです。

項目	説明
300003-CEILING	正の無限大に近づくように丸めるモード。(切り上げ)
300003-DOWN	0に近づくように丸めるモード。(正の数の場合は切り捨て、負の数の場合は切り上げ)
300003-FLOOR	負の無限大に近づくように丸めるモード。(切り捨て)
300003-HALFDOWN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は切り捨て。(五捨六入)
300003-HALFEVEN	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は偶数側に丸め。(最近接偶数への丸め)
300003-HALFUP	「もっとも近い数字」に丸めるモード。 ただし、両隣の数字が等距離の場合は切り上げ。(四捨五入)
300003-UP	0から離れるように丸めるモード。(正の数の場合は切り上げ、負の数の場合は切り捨て)

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 全件出力モード ▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/vendor/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/vendor/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ

名称	キー	説明／設定値
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ” : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 仕入先マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「vendor」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

申請書マスタ

本項では、申請書マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

申請書マスタは、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

メンテナンス

申請書マスタメンテナンスの操作方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 指定はありません。

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

次の様なXML形式でコンテンツ定義用のインポートデータファイルを作成します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<contentsSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/contentsSettings">
  <contentsGroup>
    <contents>
      <contentsId>サンプル申請</contentsId>
      <localeId>ja</localeId>
      <contentsName>Sample Application</contentsName>
      <contentsClassify>0</contentsClassify>
      <note></note>
      <contentsDetailGroup>
        <contentsDetail>
          <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
          <startDate>2000/01/01</startDate>
          <limitDate>2015/01/31</limitDate>
          <versionStatus>1</versionStatus>
          <note></note>
        </contentsDetail>
        <contentsDetail>
          <contentsVersionId>8e9yusogl0eoz8</contentsVersionId>
          <startDate>2015/02/01</startDate>
          <limitDate>2999/12/31</limitDate>
          <versionStatus>1</versionStatus>
          <note></note>
        </contentsDetail>
      </contentsDetailGroup>
      <contentsPagePathGroup>
        <contentsPagePath>
          <pagePathId>apply</pagePathId>
          <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
          <pageName>Apply</pageName>
          <pageClassify>0</pageClassify>
          <note></note>
          <defaultFlag>1</defaultFlag>
          <pathType>2</pathType>
          <scriptPath></scriptPath>
          <applicationId></applicationId>
          <serviceId></serviceId>
          <pagePath>kaiden/workflow/apply?kp=apply</pagePath>
        </contentsPagePath>
        ...略...
      </contentsPagePathGroup>
      <contentsPluginGroup>
        <contentsPlugin>
          <contentsPluginId>8e9ysqxIU0e2da8</contentsPluginId>
          <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
          <extensionPointId>jp.co.intra_mart.workflow.plugin.event.node.action.process</extensionPointId>
          <pluginId>jp.co.intra_mart.workflow.plugin.event.node.action.process.pluginJavaExecutor</pluginId>
          <pluginName>Action Process (Apply)</pluginName>
          <parameter>jp.co.slcs.kaiden2.extension_imw.feature.plugin.kaiden.workflow.lmwActionProcessPlugin</parameter>
          <note></note>
          <nodeType>2</nodeType>
          <defaultFlag>1</defaultFlag>
          <executeOrder>0</executeOrder>
        </contentsPlugin>
        ...略...
      </contentsPluginGroup>
    </contents>
  </contentsGroup>
  <contentsImboxGroup>
    <contentsImbox>
      <imboxId>processing</imboxId>
      <contentsImboxClassify>0</contentsImboxClassify>
      <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
      <defaultFlag>1</defaultFlag>
    </contentsImbox>
  </contentsImboxGroup>
</contentsSettings>
```

```

<contentsMailGroup>
  <contentsMail>
    <mailId>confirm</mailId>
    <contentsMailClassify>3</contentsMailClassify>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <defaultFlag>1</defaultFlag>
  </contentsMail>
</contentsMailGroup>
<contentsRuleGroup>
  <contentsRule>
    <ruleId>rule_sample_01</ruleId>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
  </contentsRule>
</contentsRuleGroup>
</contentsSettings>

```

タグ概要

タグ	必須設定	名称・説明	最大文字数
contentsGroup	○	複数のロケールで利用する場合は、全ロケール分のcontentsを作成してください。	
contentsGroup/contents/contentsId	○	コンテンツIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/localeId	○	ロケールIDを設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsName	○	コンテンツ名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsClassify	○	コンテンツ種類を設定します。	5
contentsGroup/contents/note		コンテンツの備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup	○	コンテンツバージョンごとにcontentsDetailを設定します。	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/startDate	○	開始日を設定します。	10
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/limitDate	○	終了日を設定します。	10
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/versionStatus	○	バージョンステータスを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:無効 ■ 1:有効 	1
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/contentsDetail/note		コンテンツバージョンの備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath	○	画面ごとにcontentsPagePathを設定します。	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/pageName	○	画面名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/pageClassify	○	画面種類を設定します。	5
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/note		画面定義の備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/defaultFlag	○	デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	1

contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/pathType	○	パス種別を設定します。	5
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/scriptPath		スクリプトパスを設定します。	200
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/applicationId		アプリケーションIDを設定します。	100
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/serviceld		サービスIDを設定します。	100
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/contentsPagePath/pagePath		ページパスを設定します。	200
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup	○	ユーザプログラムごとにcontentsPluginを設定します。	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/contentsPluginId	○	コンテンツプラグインを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/extensionPointId	○	拡張ポイントIDを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/pluginId	○	プラグインIDを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/pluginName	○	プラグイン名を設定します。	50
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/parameter		パラメータを設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/note		ユーザプログラム定義の備考を設定します。	500
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/nodeType		ノード種別を設定します。	5
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/defaultFlag		デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	1
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/contentsPlugin/executeOrder		実行順番を設定します。	3
contentsImboxGroup		IMBox定義を設定します。複数設定可能です。	
contentsImboxGroup/contentsImbox/imboxId	○	IMBoxIDを設定します。	20
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsImboxClassify	○	コンテンツIMBox種類を設定します。	5
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsImboxGroup/contentsImbox/defaultFlag		デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	1
contentsMailGroup		メール定義を設定します。 複数設定可能です。	
contentsMailGroup/contentsMail/mailld	○	メールIDを設定します。	20
contentsMailGroup/contentsMail/contentsMailClassify	○	コンテンツメール種類を設定します。	5
contentsMailGroup/contentsMail/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20
contentsMailGroup/contentsMail/defaultFlag		デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する 	1
contentsRuleGroup		ルール定義を設定します。 複数設定可能です。	

contentsRuleGroup/contentsRule/ruleId	○	ルールIDを設定します。	20
contentsRuleGroup/contentsRule/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20

- データ形式

次の様なXML形式で申請書定義用のインポートデータファイルを作成します。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="yes"?>
<appSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/appSettings">
  <app>
    <contentsId>ApplicationSample</contentsId>
    <appType>10</appType>
    <appGadgetGroup>
      <appGadget>
        <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
        <pagePathId>apply</pagePathId>
        <gadgetClass>advance</gadgetClass>
        <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
        <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
        <sortKey>0</sortKey>
        <surfaceKey>chapterTitle</surfaceKey>
        <gadgetDispFlag>1</gadgetDispFlag>
        <appGadgetBlockGroup>
          <appGadgetBlock>
            <gadgetBlock>advTable</gadgetBlock>
            <gadgetBlockType>normal</gadgetBlockType>
            <allowAddFlag>0</allowAddFlag>
            <allowDelFlag>0</allowDelFlag>
            <sortKey>1</sortKey>
            <surfaceKey>chapterTitle</surfaceKey>
            <appGadgetFieldGroup>
              <appGadgetField>
                <fieldKey>companyAmount</fieldKey>
                <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
                <sortKey>10202</sortKey>
                <inputType>0</inputType>
                <requiredFlag>0</requiredFlag>
                <appGadgetValidationGroup>
                  <appGadgetValidation>
                    <validationId>numericMax</validationId>
                    <validationTarget>ALWAYS</validationTarget>
                    <validationTimingDefaultFlag>true</validationTimingDefaultFlag>
                    <args>{'id':'numericMax', 'args':'100000'}</args>
                    <extensionA/>
                    <extensionB/>
                    <extensionC/>
                    <extensionD/>
                    <extensionE/>
                    <extensionF/>
                    <extensionG/>
                    <extensionH/>
                    <extensionI/>
                    <extensionJ/>
                  </appGadgetValidation>
                </appGadgetValidationGroup>
              </appGadgetField>
            </appGadgetFieldGroup>
          </appGadgetBlock>
        </appGadgetBlockGroup>
      </appGadget>
    </appGadgetGroup>
  </app>
  ...略...
</appSettings>
```

```

<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appGadgetBlock>
</appGadgetBlockGroup>
<appGadgetSurfaceGroup>
  <appGadgetSurface>
    <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
    <localeId>en</localeId>
    <surface>Suspense Pay Amount</surface>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appGadgetSurface>
  <appGadgetSurface>
    <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
    <localeId>ja</localeId>
    <surface>仮払金額</surface>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appGadgetSurface>
  <appGadgetSurface>
    <surfaceKey>advanceAmount</surfaceKey>
    <localeId>zh_CN</localeId>
    <surface>□付金□</surface>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appGadgetSurface>
  ...略...
</appGadgetSurfaceGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</appGadget>
...略...
</appGadgetGroup>
<appExtTextGroup>
  <appExtText>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
    <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
    <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
    <localeId>en</localeId>

```

```

<extensionText>&lt;p&gt;sample&lt;/p&gt;</extensionText>
<extensionA/>
<extensionB/>
<extensionC/>
<extensionD/>
<extensionE/>
<extensionF/>
<extensionG/>
<extensionH/>
<extensionI/>
<extensionJ/>
</appExtText>
<appExtText>
  <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
  <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
  <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
  <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
  <localeId>ja</localeId>
  <extensionText>&lt;p&gt;サンプル&lt;/p&gt;</extensionText>
  <extensionA/>
  <extensionB/>
  <extensionC/>
  <extensionD/>
  <extensionE/>
  <extensionF/>
  <extensionG/>
  <extensionH/>
  <extensionI/>
  <extensionJ/>
</appExtText>
<appExtText>
  <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
  <gadgetClass>appExtentionText</gadgetClass>
  <gadgetVariation>v01</gadgetVariation>
  <gadgetInstance>0</gadgetInstance>
  <localeId>zh_CN</localeId>
  <extensionText>&lt;p&gt;商品&lt;/p&gt;</extensionText>
  <extensionA/>
  <extensionB/>
  <extensionC/>
  <extensionD/>
  <extensionE/>
  <extensionF/>
  <extensionG/>
  <extensionH/>
  <extensionI/>
  <extensionJ/>
</appExtText>
</appExtTextGroup>
<appVersionGroup>
  <appVersion>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <numberingClassId>imwNumbering</numberingClassId>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appVersion>
  ...略...
</appVersionGroup>
<pageScreenInfoGroup>
  <pageScreenInfo>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <pagePathId>apply</pagePathId>
    <pageJspPath></pageJspPath>
    <spPageJspPath></spPageJspPath>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>

```

```

<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</pageScreenInfo>

...略...

</pageScreenInfoGroup>
<appExtParameterGroup>
  <appExtParameter>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>
    <pagePathId>apply</pagePathId>
    <parameterKey>parameterkey1</parameterKey>
    <parameterValue>docSysLink</parameterValue>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appExtParameter>

  ...略...

</appExtParameterGroup>
<appExtUserPgmGroup>
  <appExtUserPgm>
    <contentsVersionId>8e9ysqx330e2ca8</contentsVersionId>

<extensionUserProgram>jp.co.slcs.kaiden2.product_workflow.feature.conductor.documentationSystemLink.impl.DocumentationSystemL

    <execOrder>1</execOrder>
    <extensionA></extensionA>
    <extensionB></extensionB>
    <extensionC></extensionC>
    <extensionD></extensionD>
    <extensionE></extensionE>
    <extensionF></extensionF>
    <extensionG></extensionG>
    <extensionH></extensionH>
    <extensionI></extensionI>
    <extensionJ></extensionJ>
  </appExtUserPgm>

  ...略...

</appExtUserPgmGroup>
<extensionA></extensionA>
<extensionB></extensionB>
<extensionC></extensionC>
<extensionD></extensionD>
<extensionE></extensionE>
<extensionF></extensionF>
<extensionG></extensionG>
<extensionH></extensionH>
<extensionI></extensionI>
<extensionJ></extensionJ>
</app>
</appSettings>

```

タグ概要

インポート先テーブルの詳細は『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「リファレンス」-「申請書マスターデータのテーブル構成について」を参照ください。

インポート先テーブルは、データが登録される主なテーブルを記載しています。

タグ	必須 設定	名称・説明	最大文 字数	インポート先 テーブル
app	○	申請書ごとに複数設定可能です。		
app/contentId	○	コンテンツIDを設定します。	20	申請書
app/appType	○	申請書タイプを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 00:一般 ■ 10:事前申請書(仕訳対象) ■ 20:精算申請書(仕訳対象) ■ 30:請求書払申請書(仕訳対象) 	100	申請書
app/appGadgetGroup/appGadget	○	ガジェットを、コンテンツバージョン、画面パスごとに設定します。		
app/appGadgetGroup/appGadget/contentVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetClass	○	ガジェットクラスを設定します。	100	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetVariation	○	ガジェットバリエーションを設定しま す。	100	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetInstance	○	ガジェットインスタンスを設定します。	18	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/sortKey	○	ソートキーを設定します。	15	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/surfaceKey		申請書のサーフィスキーを設定します。	100	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetDispFlag	○	ガジェット表示フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:ガジェットを非表示にする ■ 1:ガジェットを表示する 	1	申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetFloatingFlag		設定しても使用されません。		申請書ガ ジェット
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup		ガジェットブロックを設定します。 複数設定可能です。		
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlock	○	ガジェットブロックIDを設定します。	100	申請書ガ ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/gadgetBlockType	○	ガジェットブロックタイプを設定しま す。 <ul style="list-style-type: none"> ■ normal:明細行を保持しない ■ detail:明細行を保持する 	100	申請書ガ ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowAddFlag	○	追加可否フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:許可しない ■ 1:許可する 	1	申請書ガ ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/allowDelFlag	○	削除可否フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:許可しない ■ 1:許可する 	1	申請書ガ ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/sortKey	○	ソートキーを設定します。	15	申請書ガ ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/surfaceKey	○	ガジェットブロックのサーフィスキーを 設定します。	100	申請書ガ ジェットブ ロック

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup		フィールドキーごとに設定します。		
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ fieldKey	○	フィールドキーを設定します。	100	申請書フィールド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ surfaceKey		サーフィスキーを設定します。	100	申請書フィールド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ sortKey	○	ソートキーを設定します。	15	申請書フィールド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ inputType	○	入力区分を設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:入力項目 ■ 1:ラベル項目 	1	申請書フィールド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ requiredFlag	○	必須フラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ 0:任意項目 ■ 1:必須項目 	1	申請書フィールド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation		バリデーション定義を設定します。		
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationId~j		バリデーションIDを設定します。	20	申請書 ジェットバリ デーション
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationTarget		バリデーションターゲットを設定しま す。 <ul style="list-style-type: none"> ■ CLIENT:クライアントサイドのみ 実行 ■ SERVER:サーバーサイドのみ実行 ■ ALWAYS:クライアントサイド、 サーバーサイドの両方で実行 	20	申請書 ジェットバリ デーション
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ validationTimingDefaultFlag		デフォルトフラグを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ true:全てのイベントで実行する ■ false:指定されたイベントで実行 する 	5	申請書 ジェットバリ デーション
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/args		バリデーションID及び引数をJSON形式で 設定します。		申請書 ジェットバリ デーション
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/ extensionA~j		予備項目を設定します。	250	申請書 ジェットバリ デーション
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/ extensionA~j		予備項目を設定します。	250	申請書フィー ルド
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/extensionA~j		予備項目を設定します。	250	申請書 ジェットブ ロック
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup		複数のロケールで利用する場合は、全ロ ケール分のcontentsを作成してくださ い。		
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surfaceKey	○	サーフィスキーを設定します。	100	申請書 ジェットサー フィス

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/localeId	○	ロケールIDを設定します。 <ul style="list-style-type: none">ja:日本語en:英語zh_CN:中国語	50	申請書 ジェットサー フィス
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/surface		サーフィスを設定します。	1000	申請書 ジェットサー フィス
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetSurfaceGroup/ appGadgetSurface/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書 ジェットサー フィス
app/appGadgetGroup/appGadget/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書 ジェット
app/appExtTextGroup		コンテンツバージョンごとに設定しま す。		
app/appExtTextGroup/appExtText/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetClass	○	ガジェットクラスを設定します。	100	申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetVariation	○	ガジェットバリエーションを設定しま す。	100	申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetInstance	○	ガジェットインスタンスを設定します。	18	申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/localeId	○	ロケールIDを設定します。 <ul style="list-style-type: none">ja:日本語en:英語zh_CN:中国語	50	申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionText		拡張テキストをテキスト形式または HTML形式で設定します。 HTML形式で設定する場合は、タグをエ スケープ文字で設定します。		申請書拡張テ キスト
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書拡張テ キスト
app/appVersionGroup		コンテンツバージョンごとに設定しま す。		
app/appVersionGroup/appVersion/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	申請書バー ジョン
app/appVersionGroup/appVersion/numberingClassId	○	案件番号採番クラスIDを設定します。 <ul style="list-style-type: none">imwNumbering:標準(すべての申 請書で通し番号)extensionNumberingImpl:拡張 (すべての申請書で通し番号)kaidenNumberingByFlow:拡張 (採番ルール定義による採番番号)	1000	申請書バー ジョン
app/appVersionGroup/appVersion/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書バー ジョン
app/pageScreenInfoGroup/		申請書基底画面をコンテンツバージョ ン、画面パスごとに設定します。		
app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	ページ画面情 報
app/pageScreenInfoGroup/ pageScreenInfo/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20	ページ画面情 報

app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/pageJspPath		基底JSPパスを設定します。 JSPをカスタマイズした場合、 「kaiden/v2」以下のパスを設定してください。	1000	ページ画面情報
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/spPageJspPath		スマートフォン用画面の基底JSPパスを設定します。 JSPをカスタマイズした場合、 「kaiden/v2」以下のパスを設定してください。	1000	ページ画面情報
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	ページ画面情報
app/appExtParameterGroup		ユーザプログラムで使用するパラメータを設定します。		
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	申請書拡張パラメータ
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/pagePathId	○	画面パスIDを設定します。	20	申請書拡張パラメータ
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterKey	○	パラメータキーを設定します。	100	申請書拡張パラメータ
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/parameterValue	○	パラメータの値を設定します。	1000	申請書拡張パラメータ
app/appExtParameterGroup/ appExtParameter/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書拡張パラメータ
app/appExtUserPgmGroup		ユーザプログラムを設定します。		
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/contentsVersionId	○	コンテンツバージョンIDを設定します。	20	申請書拡張ユーザプログラム
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionUserProgram	○	拡張ユーザプログラムを設定します。	1000	申請書拡張ユーザプログラム
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/execOrder	○	実行順番を設定します。	15	申請書拡張ユーザプログラム
app/appExtUserPgmGroup/ appExtUserPgm/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書拡張ユーザプログラム
app/extensionA~J		予備項目を設定します。	250	申請書

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ（コンテンツ定義） kaiden/import/contents/

ディレクトリ（申請書定義） kaiden/import/app/

ファイル名 指定はありません。



コラム

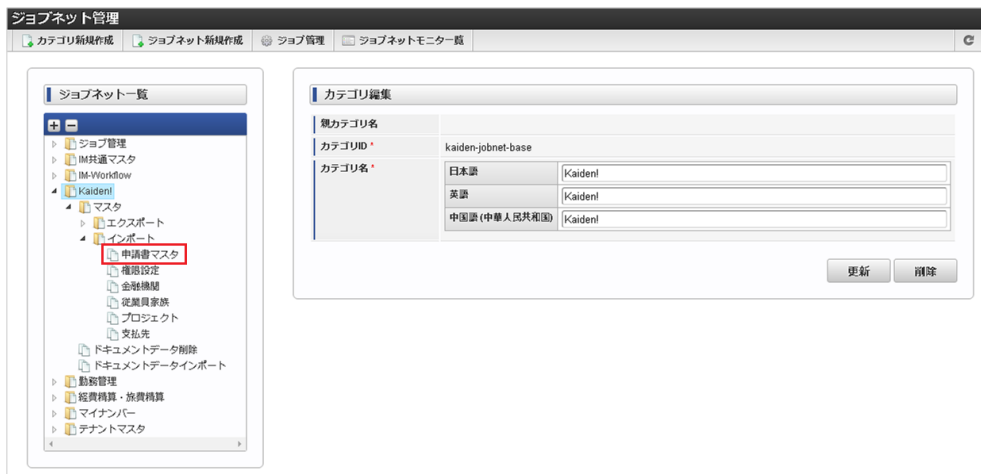
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

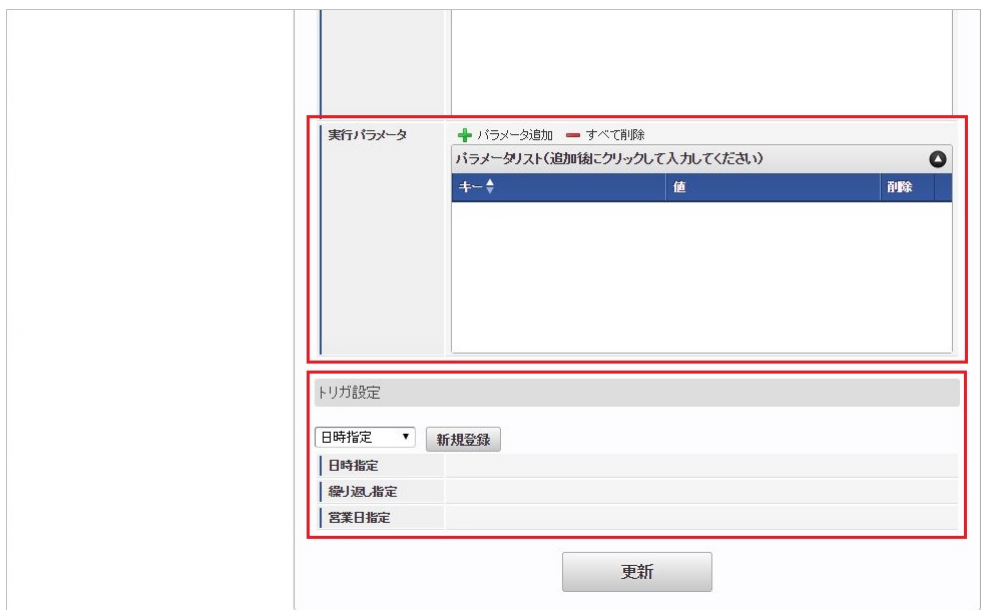
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「申請書マスタ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

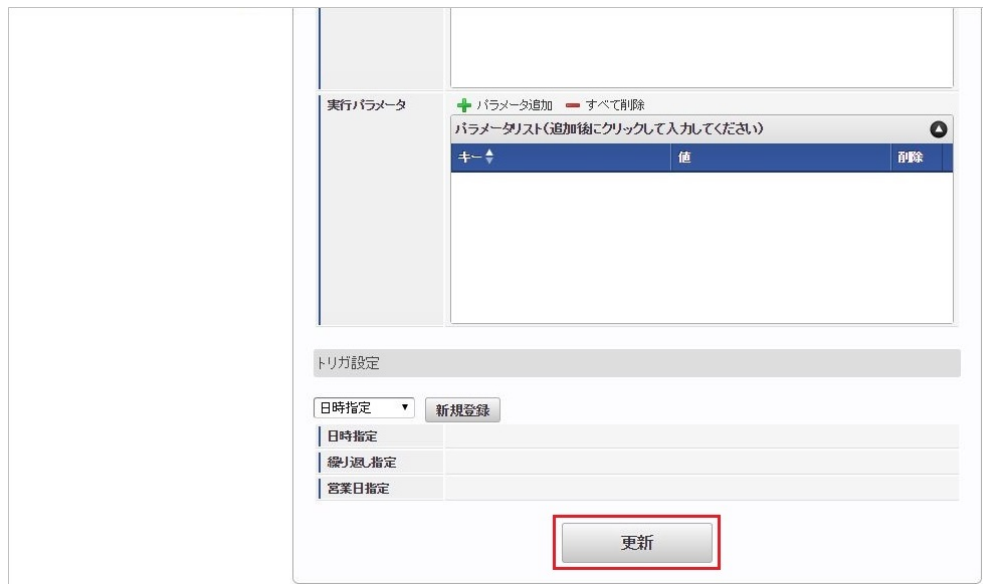
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

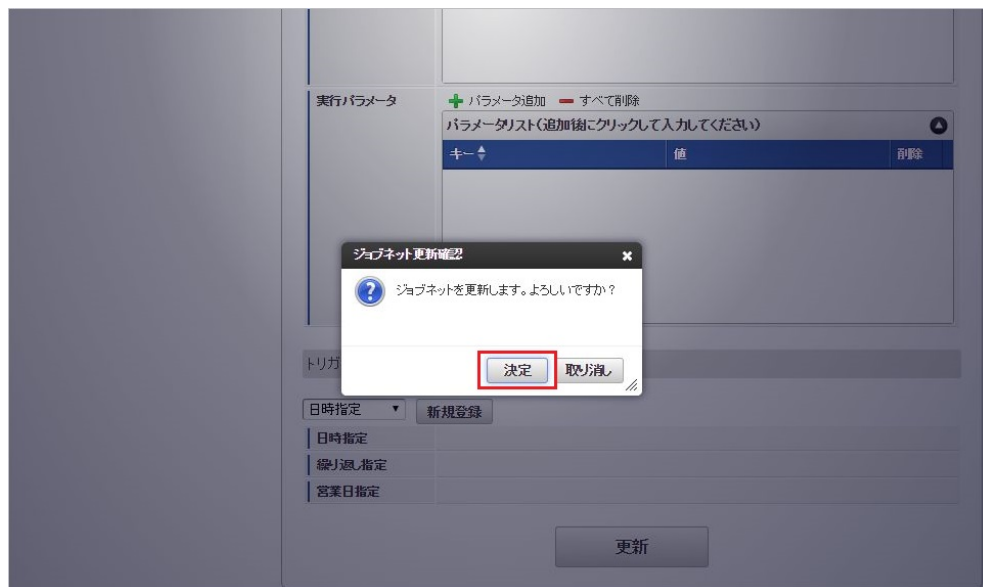
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-contents	Kaiden! / マスタ / インポート / コンテンツ
kaiden-job-master-import-app	Kaiden! / マスタ / インポート / 申請書

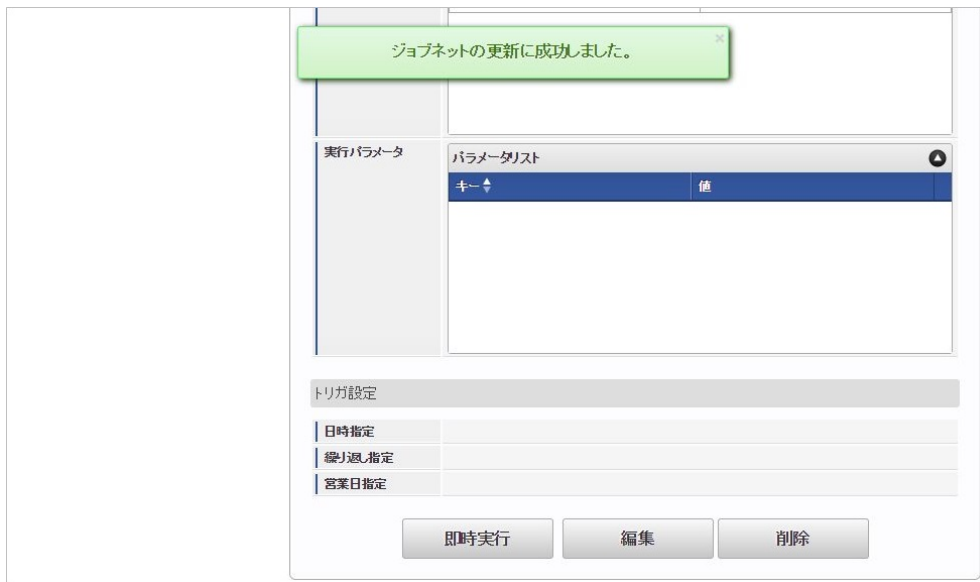
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



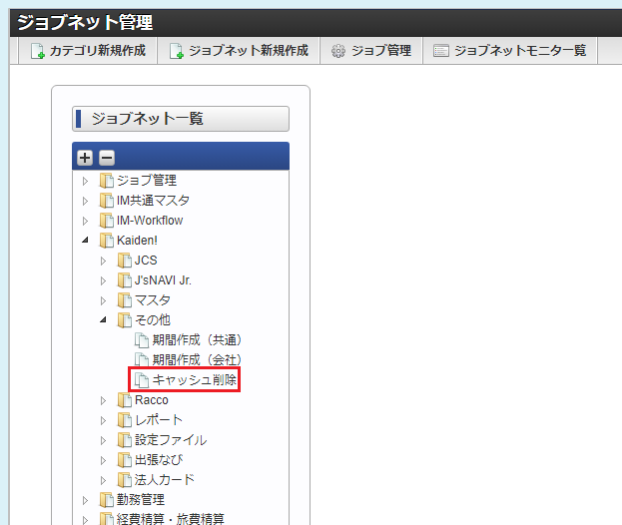
i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

i コラム

インポート後、以下の通り申請書のキャッシュを削除してください。

- 申請書マスタメンテナンスの申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面からインポートしたコンテンツを更新します。詳細は [更新](#) を参照してください。
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。ジョブネット一覧（画面左部）の「キャッシュ削除」のジョブネットを実行します。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

「コンテンツ」、「申請書」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明/設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を指定する必要はありません。 (省略時: kaiden/import/app/, kaiden/import/contents/)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/import/app/{CONTENTS_ID}/{FILE_NM}_{YMDHMSN}.xml kaiden/import/contents/{CONTENTS_ID}/{FILE_NM}_{YMDHMSN}.xml)</p>
コンテンツID	contents_id	<p>インポートするコンテンツのIDを設定します。 「,」区切りで複数設定できます。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{CONTENTS_ID} : コンテンツID

{FILE_NM}:ファイル名

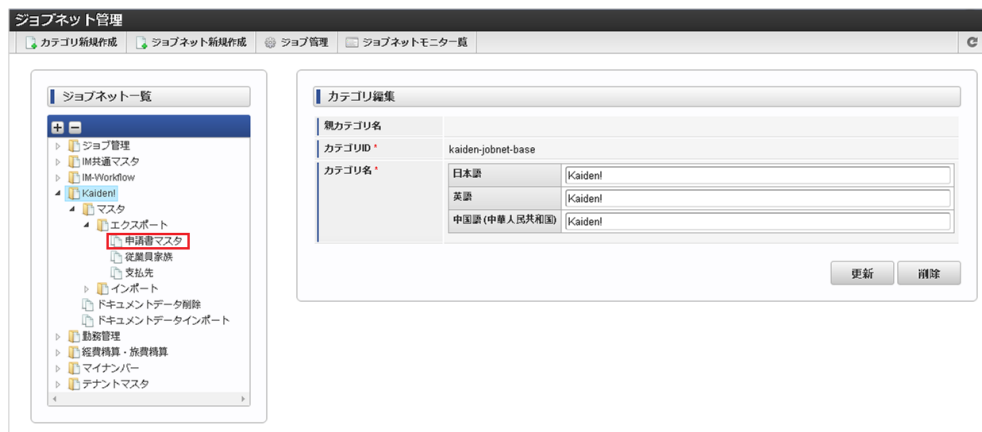
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「申請書マスタ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-contents	Kaiden! / マスタ / エクスポート / コンテンツ
kaiden-job-master-export-app	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 申請書

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

更新

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

パラメータリスト

キー	値

トリガ設定

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

即時実行 編集 削除

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ（コンテンツ定義） kaiden/export/contents/

ディレクトリ（申請書定義） kaiden/export/app/

ファイル名 {contents_id}.xml

コンテンツ単位でファイルが作成されます。
ファイル名にはコンテンツIDが付与されます。



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

コンテンツ定義のデータ形式です。

タグ	項目名	備考
contentsGroup/contents/contentsId	コンテンツID	
contentsGroup/contents/localeId	ロケールID	
contentsGroup/contents/contentsName	コンテンツ名	
contentsGroup/contents/contentsClassify	コンテンツ種類	
contentsGroup/contents/note	コンテンツの備考	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/startDate	開始日	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/limitDate	終了日	
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/versionStatus	バージョンステータス	<ul style="list-style-type: none"> 0:無効 1:有効
contentsGroup/contents/contentsDetailGroup/ contentsDetail/note	コンテンツバージョン の備考	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePathId	画面パスID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pageClassify	画面種類	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/note	画面定義の備考	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> 0:初期設定で使用しない。 1:初期設定で使用する
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pathType	パス種別	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/scriptPath	スクリプトパス	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/applicationId	アプリケーションID	

contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/serviceld	サービスID	
contentsGroup/contents/contentsPagePathGroup/ contentsPagePath/pagePath	ページパス	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsPluginId	コンテンツプラグイン	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/extensionPointId	拡張ポイントID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginId	プラグインID	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/pluginName	プラグイン名	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/parameter	パラメータ	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/note	ユーザプログラム定義 の備考	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/nodeType	ノード種別	
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する
contentsGroup/contents/contentsPluginGroup/ contentsPlugin/executeOrder	実行順番	
contentsImboxGroup/contentsImbox/imboxId	IMBoxID	
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsImboxClassify	コンテンツIMBox種類	
contentsImboxGroup/contentsImbox/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsImboxGroup/contentsImbox/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する
contentsMailGroup/contentsMail/mailId	メールID	
contentsMailGroup/contentsMail/contentsMailClassify	コンテンツメール種類	
contentsMailGroup/contentsMail/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	
contentsMailGroup/contentsMail/defaultFlag	デフォルトフラグ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 0:初期設定で使用しない ■ 1:初期設定で使用する
contentsRuleGroup/contentsRule/ruleId	ルールID	
contentsRuleGroup/contentsRule/contentsVersionId	コンテンツバージョン ID	

■ データ形式

申請書のデータ形式です。

エクスポート元テーブルの詳細は『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「リファレンス」-「申請書マスタデータのテーブル構成について」を参照ください。

タグ	項目名	エクスポート元 テーブル	備考
app/contentsId	コンテンツID	申請書	

app/appType	申請書タイプ	申請書	<ul style="list-style-type: none"> 00:一般 10:事前申請書(仕訳対象) 20:精算申請書(仕訳対象) 30:請求書払申請書(仕訳対象)
app/appGadgetGroup/appGadget/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/pagePathId	画面パスID	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetClass	ガジェットクラス	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetVariation	ガジェットバリエーション	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetInstance	ガジェットインスタンス	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/sortKey	ソートキー	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/surfaceKey	サーフィスキー	申請書ガジェット	
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetDispFlag	ガジェット表示フラグ	申請書ガジェット	<ul style="list-style-type: none"> 0:ガジェットを非表示にする 1:ガジェットを表示する
app/appGadgetGroup/appGadget/gadgetFloatingFlag	ガジェットフローティングフラグ	申請書ガジェット	未使用の項目
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/gadgetBlock	ガジェットブロックID	申請書ガジェットブロック	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/gadgetBlockType	ガジェットブロックタイプ	申請書ガジェットブロック	<ul style="list-style-type: none"> normal:明細行を保持しない detail:明細行を保持する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/allowAddFlag	追加可否フラグ	申請書ガジェットブロック	<ul style="list-style-type: none"> 0:許可しない 1:許可する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/allowDelFlag	削除可否フラグ	申請書ガジェットブロック	<ul style="list-style-type: none"> 0:許可しない 1:許可する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/sortKey	ソートキー	申請書ガジェットブロック	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/surfaceKey	サーフィスキー	申請書ガジェットブロック	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/fieldKey	フィールドキー	申請書フィールド	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/surfaceKey	サーフィスキー	申請書フィールド	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/sortKey	ソートキー	申請書フィールド	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/inputType	入力区分	申請書フィールド	<ul style="list-style-type: none"> 0:入力項目 1:ラベル項目
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/requiredFlag	必須区分	申請書フィールド	<ul style="list-style-type: none"> 0:任意項目 1:必須項目
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/appGadgetField/appGadgetValidationGroup/appGadgetValidation/validationId	バリデーションID	申請書ガジェットバリデーション	

app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/appGadgetValidationGroup/ appGadgetValidation/validationTarget	バリデーション ターゲット	申請書ガジェット バリデーション	<ul style="list-style-type: none"> CLIENT:クライアントサイドのみ実行 SERVER:サーバーサイドのみ実行 ALWAYS:クライアントサイド、サーバーサイドの両方で実行
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/appGadgetValidationGroup/ appGadgetValidation/validationTimingDefaultFlag	バリデーション タイミング デフォルトフラグ	申請書ガジェット バリデーション	<ul style="list-style-type: none"> true:全てのイベントで実行する false:指定されたイベントで実行する
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/appGadgetValidationGroup/ appGadgetValidation/args	引数	申請書ガジェット バリデーション	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ appGadgetField/appGadgetValidationGroup/ appGadgetValidation/extensionA~J	予備項目	申請書ガジェット バリデーション	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ appGadgetBlock/appGadgetFieldGroup/ extensionA~J	予備項目	申請書フィールド	
app/appGadgetGroup/appGadget/appGadgetBlockGroup/ extensionA~J	予備項目	申請書ガジェット ブロック	
app/appGadgetGroup/appGadget/ appGadgetSurfaceGroup/appGadgetSurface/surfaceKey	サーフィスキー	申請書ガジェット サーフィス	
app/appGadgetGroup/appGadget/ appGadgetSurfaceGroup/appGadgetSurface/localeId	ロケールID	申請書ガジェット サーフィス	<ul style="list-style-type: none"> ja:日本語 en:英語 zh_CN:中国語
app/appGadgetGroup/appGadget/ appGadgetSurfaceGroup/appGadgetSurface/surface	サーフィス	申請書ガジェット サーフィス	
app/appGadgetGroup/appGadget/ appGadgetSurfaceGroup/appGadgetSurface/ extensionA~J	予備項目	申請書ガジェット サーフィス	
app/appGadgetGroup/appGadget/extensionA~J	予備項目	申請書ガジェット	
app/appExtTextGroup/appExtText/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	申請書拡張テキスト	
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetClass	ガジェットクラス	申請書拡張テキスト	
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetVariation	ガジェットバリエーション	申請書拡張テキスト	
app/appExtTextGroup/appExtText/gadgetInstance	ガジェットインスタンス	申請書拡張テキスト	
app/appExtTextGroup/appExtText/localeId	ロケールID	申請書拡張テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ja:日本語 en:英語 zh_CN:中国語
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionText	拡張テキスト	申請書拡張テキスト	
app/appExtTextGroup/appExtText/extensionA~J	予備項目	申請書拡張テキスト	
app/appVersionGroup/appVersion/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	申請書バージョン	

app/appVersionGroup/appVersion/numberingClassId	案件番号採番クラスID	申請書バージョン	<ul style="list-style-type: none"> imwNumbering: 標準(すべての申請書で通し番号) extensionNumberingImpl: 拡張(すべての申請書で通し番号) kaidenNumberingByFlow: 拡張(採番ルール定義による採番番号)
app/appVersionGroup/appVersion/extensionA~J	予備項目	申請書バージョン	
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	ページ画面情報	
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/pagePathId	ページパスID	ページ画面情報	
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/pageJspPath	基底JSPパス	ページ画面情報	
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/spPageJspPath	スマートフォン用画面の基底JSPパス	ページ画面情報	
app/pageScreenInfoGroup/pageScreenInfo/extensionA~J	予備項目	ページ画面情報	
app/appExtParameterGroup/appExtParameter/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	申請書拡張パラメータ	
app/appExtParameterGroup/appExtParameter/pagePathId	画面パスID	申請書拡張パラメータ	
app/appExtParameterGroup/appExtParameter/parameterKey	パラメータキー	申請書拡張パラメータ	
app/appExtParameterGroup/appExtParameter/parameterValue	パラメータの値	申請書拡張パラメータ	
app/appExtParameterGroup/appExtParameter/extensionA~J	予備項目	申請書拡張パラメータ	
app/appExtUserPgmGroup/appExtUserPgm/contentsVersionId	コンテンツバージョンID	申請書拡張ユーザプログラム	
app/appExtUserPgmGroup/appExtUserPgm/extensionUserProgram	拡張ユーザプログラム	申請書拡張ユーザプログラム	
app/appExtUserPgmGroup/appExtUserPgm/execOrder	実行順番	申請書拡張ユーザプログラム	
app/appExtUserPgmGroup/appExtUserPgm/extensionA~J	予備項目	申請書拡張ユーザプログラム	
app/extensionA~J	予備項目	申請書	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。
「コンテンツ」、「申請書」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明/設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を指定する必要はありません。 (省略時: kaiden/export/app/, kaiden/export/contents/)
既存ファイル操作	file_mode	同名のファイルが存在する場合の操作を設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 上書き保存する 2: 同名のファイルをアーカイブファイルへ移動してからエクスポートする

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/export/archive/app/{CONTENTS_ID}_{YMDHMSN}.xml、 kaiden/export/archive/contents/{CONTENTS_ID}_{YMDHMSN}.xml)
コンテンツID	contents_id	エクスポートするコンテンツのIDを設定します。 「,」区切りで複数設定できます。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{CONTENTS_ID}: コンテンツID

transit managerユーザマッピングマスタ

本項では、transit managerユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

transit managerユーザマッピングマスタは、intra-mart Accel Kaiden!の使用するユーザと「transit manager」で使用する社員番号を紐付けます。

transit managerユーザマッピングマスタに登録したユーザは、ICデータ検索ガジェットで「transit manager」に登録したデータを検索することができます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「transit managerユーザマッピングマスタ」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'transit managerユーザマッピング' interface. At the top, there is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. Below the search bar is a table header with columns: 'No', 'ユーザコード', 'ユーザ名', and '社員番号'. The '新規登録' (New Registration) button is highlighted with a red box.

- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration form for 'transit managerユーザマッピング'. It contains three input fields: '会社*' (Company) with a dropdown menu showing 'サンプル会社', 'ユーザコード*' (User Code) with a dropdown menu showing '青柳 辰巳', and '社員番号*' (Employee Number) with the value '123456'. At the bottom, there are two buttons: '登録' (Register) and '一覧に戻る' (Return to List), with the '登録' button highlighted in red.

- ユーザ

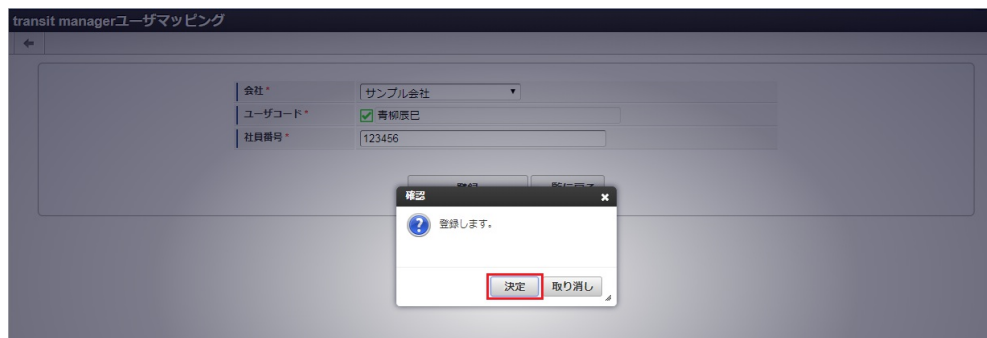
「transit manager」を使用するユーザを選択します。

- 社員番号
「transit manager」の社員番号を入力します。

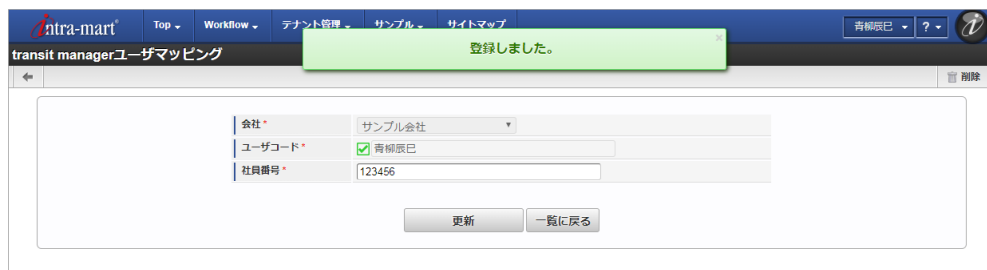
i コラム

「ユーザ」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

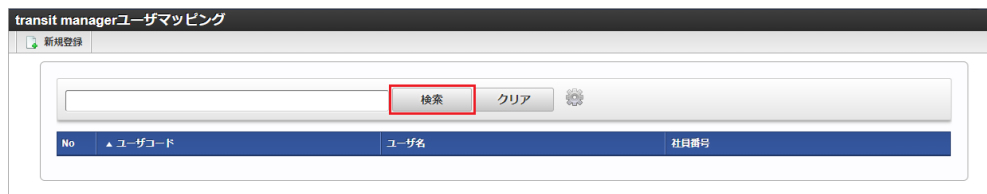


- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「transit managerユーザマッピングマスタ」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいtransit managerユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 社員番号

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

1	会社コード	○	100
2	ユーザコード	○	100
3	社員番号	○	100

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","123456"
```

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tm_user_mapping

ファイル名 import.csv

i コラム

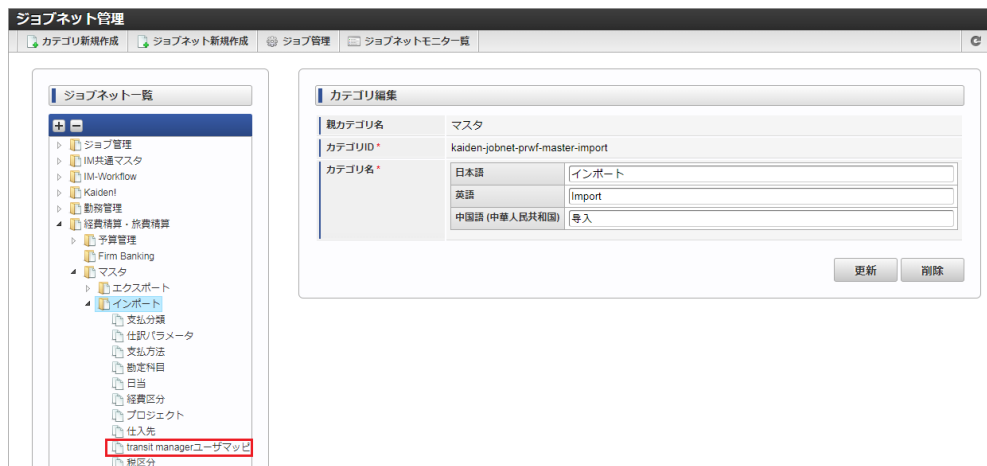
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

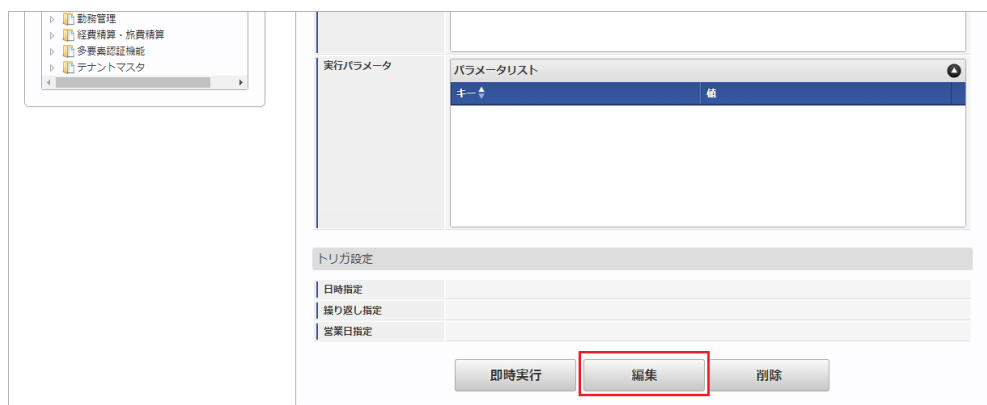
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

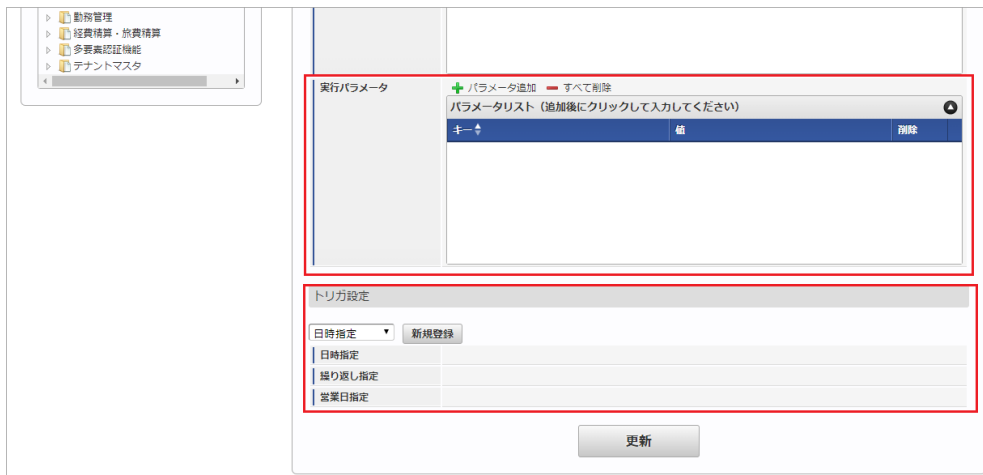
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「transit managerユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

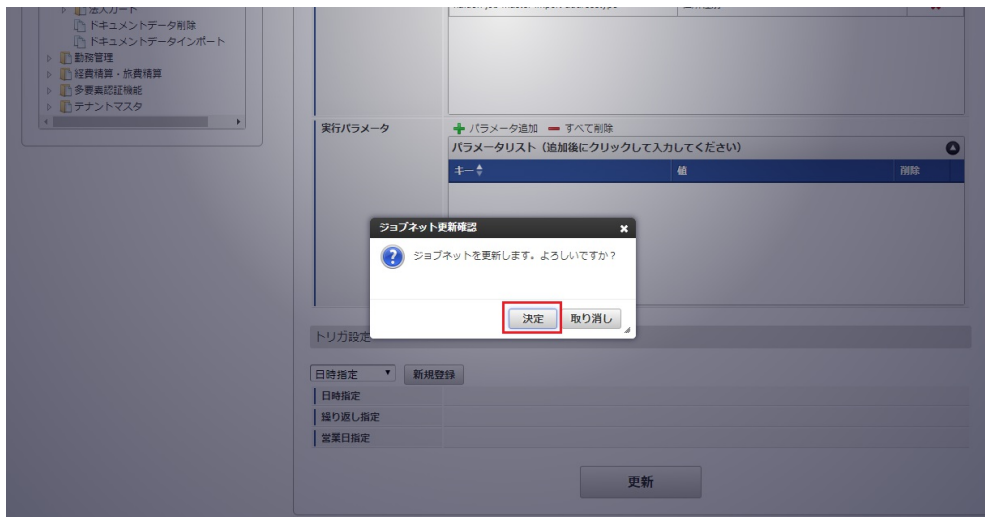
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-tmusermapping	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / transit managerユーザマッピング

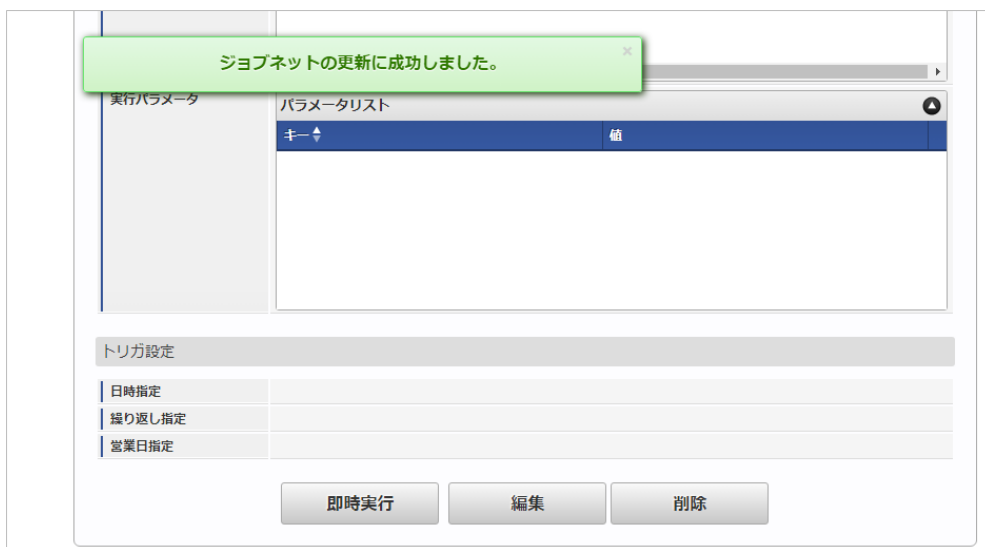
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tm_user_mapping/import.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	<p>インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/import_{YMDHMSN}.csv)</p>
文字コード	character	<p>インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	<p>インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)</p>
マスタID	masterId	<p>インポートするマスタのIDを設定します。 transit managerユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tm_user_mapping」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

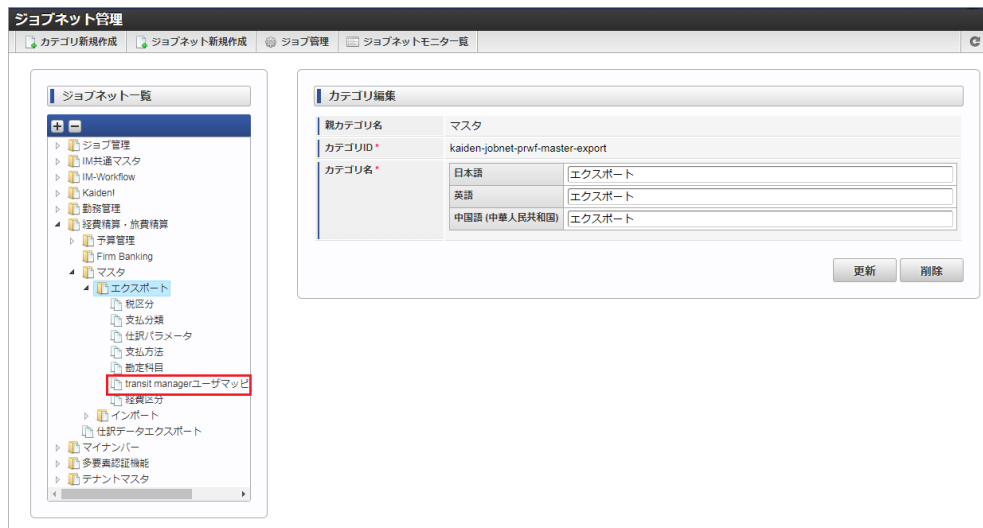
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

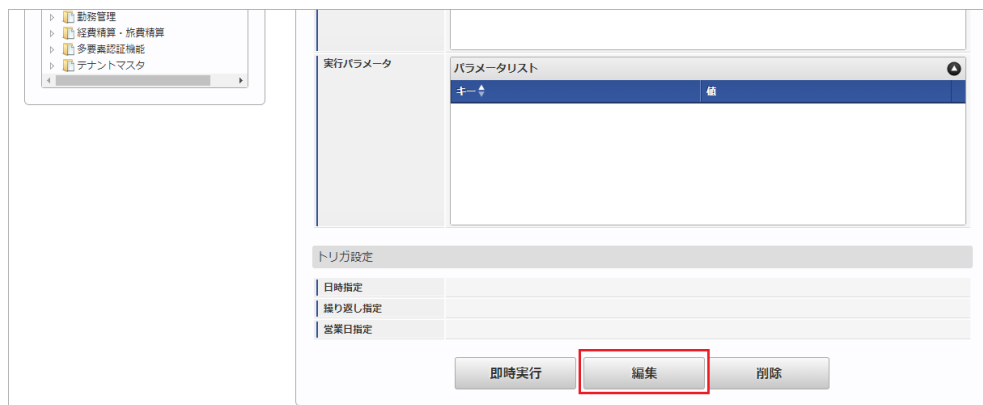
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

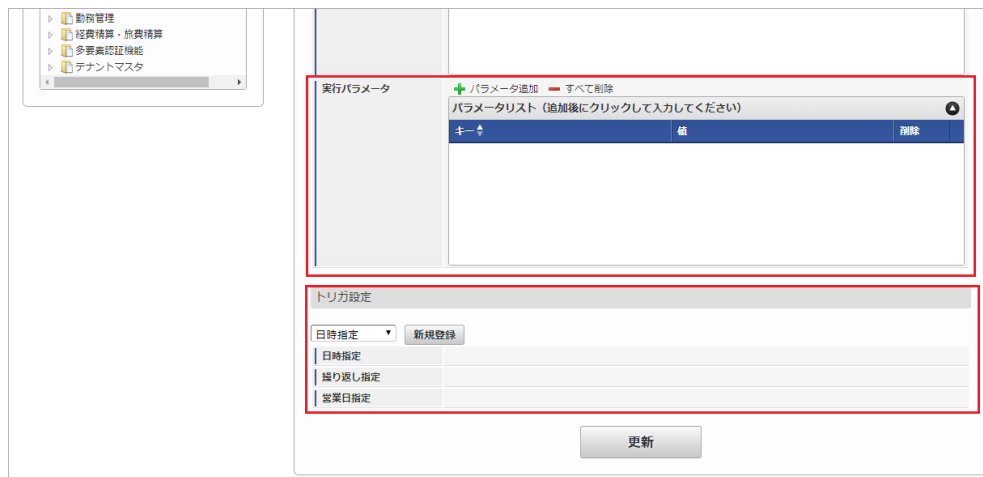
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「transit managerユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-tmusermapping	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / transit managerユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen. On the left, there is a navigation menu with items like '勤務管理', '経費精算・旅費精算', '多要素認証機能', and 'テナントマスタ'. The main area is titled '実行パラメータ' (Execution Parameters) and contains a table for 'パラメータリスト' (Parameter List). Below the table, there are fields for 'トリガ設定' (Trigger Settings) including '日時指定' (Date Specified), '日時指定' (Date Specified), '繰り返し指定' (Repeat Specified), and '営業日指定' (Business Day Specified). A '新規登録' (New Registration) button is next to the '日時指定' field. At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Jobnet Update Confirmation). The dialog box contains the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update Jobnet. Is it okay?). Below the text are two buttons: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

7. ジョブネットが設定されました。

The screenshot shows the 'Jobnet Update' screen with a success message box at the top that says 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Jobnet update successful). Below the message box, the '実行パラメータ' (Execution Parameters) section is visible, including the 'パラメータリスト' (Parameter List) table and the 'トリガ設定' (Trigger Settings) fields. At the bottom, the '即時実行' (Execute Immediately) button is highlighted with a green box.

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ [kaiden/generic/master/tm_user_mapping/](#)

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
userNo	社員番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tm_user_mapping/export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 transit managerユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tm_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カードマスタ

本項では、法人カードマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カードマスタは、連携する法人カードを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 精算ユーザ
連携する法人カードを使用する従業員を選択します。
- カードID
連携する法人カードを特定するためにシステム内で一意の任意のIDを入力します。
- カード会社
連携する法人カードのカード会社を選択します。
- カード会社契約ID
連携する法人カードの会社契約IDを選択します。
- 契約体系
連携する法人カードの契約体系を選択します。
- ブランド
連携する法人カードのブランドを選択します。
- 利用データ編集可否
連携する法人カードの利用データの編集可否を選択します。
「可能」を選択した場合、法人カードの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。

コラム

「精算ユーザ」は開始日、「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

注意

悪用の恐れがあるため、「カードID」に、法人カードのカード番号を入力しないでください。
「カードID」には、法人カードを特定するためのシステム内で一意の任意のIDを入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カードの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カードID
- カード会社
- 積算ユーザ

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

- 積算ユーザ
- カードID

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。

3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
5	カードID	○	100	
6	カード会社コード	○	100	
7	精算ユーザコード	○	100	
8	カード会社契約ID		100	
9	契約体系コード		100	
10	ブランド		100	
11	利用データ編集フラグ	○	1	0：利用データ編集不可能 1：利用データ編集可能

データサンプル

```
"comp_sample_01","","","0","0000000000000000","10","aoyagi","","","1"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/card

ファイル名 import.csv

コラム

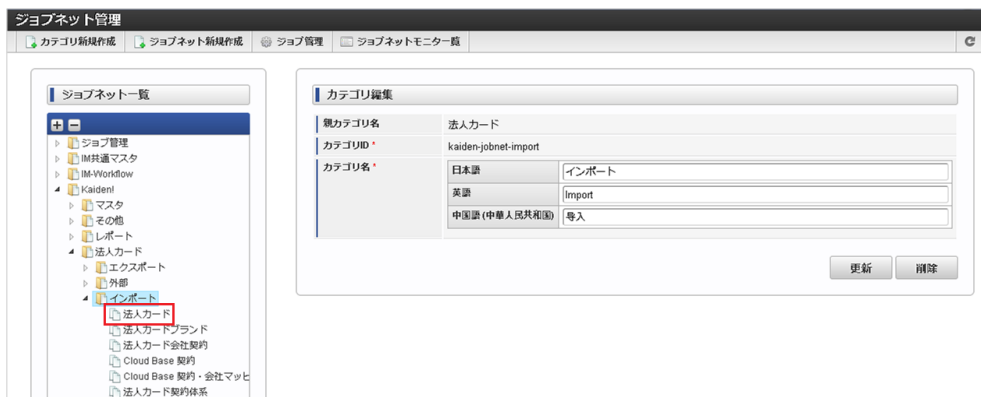
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

キー	値	削除
import_mode	1	✖
start_date		✖
end_date		✖
shift_date		✖
company_cd		✖

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

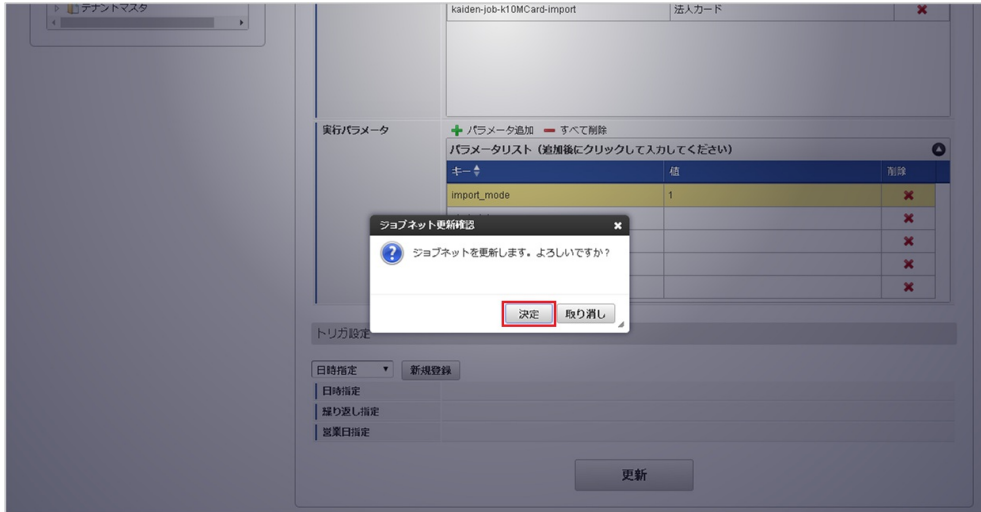
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-01-k10MCard	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間 (差分) モード ▪ 2: 単一期間 (一新) モード ▪ 3: 単一期間 (入替) モード ▪ 4: 複数期間 (差分) モード ▪ 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/card/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/card/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カードマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「card」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

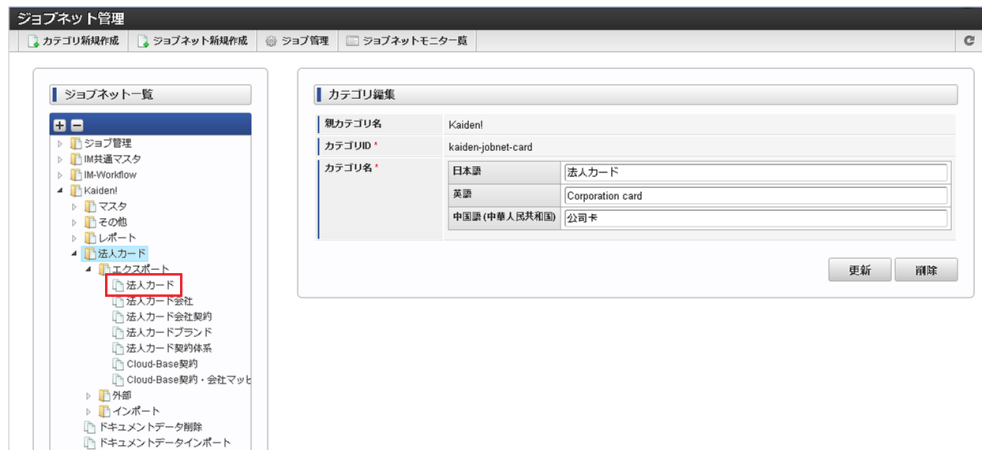
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

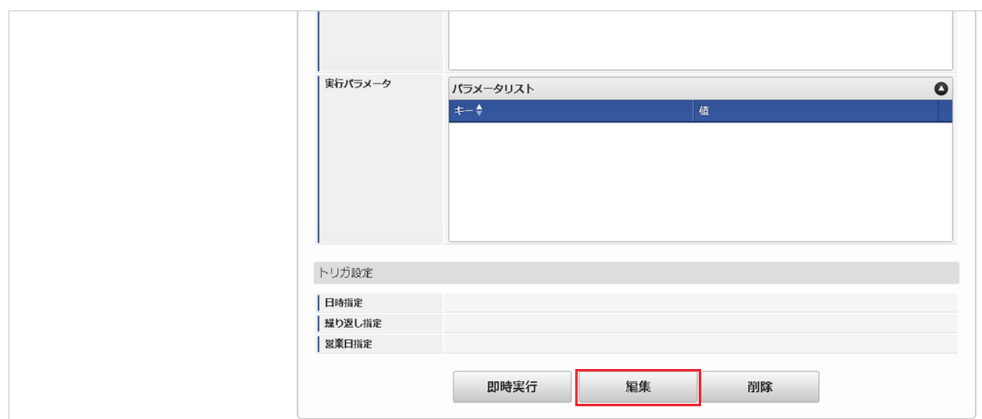
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

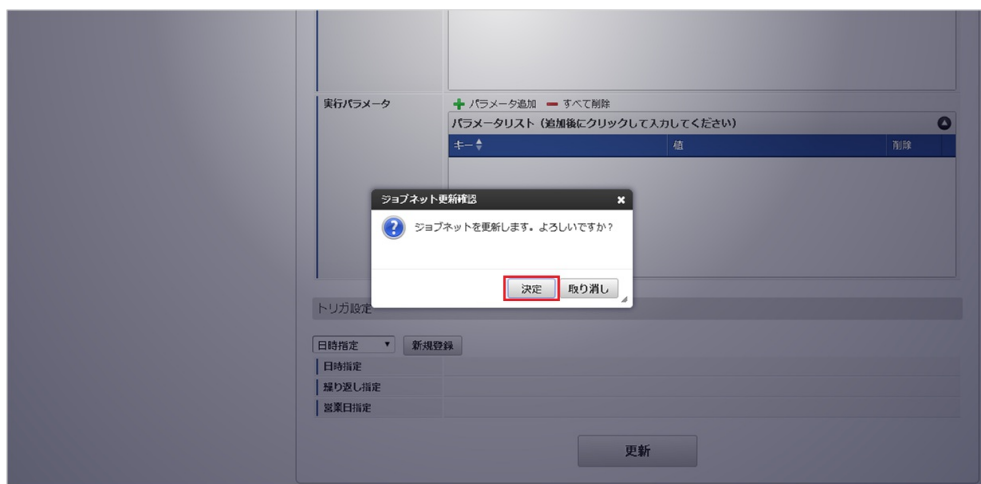
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-01-k10MCard	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/card/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	精算会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効（論理削除）
cardId	カードID	
cardCompanyCd	カード会社コード	
userCd	精算ユーザコード	
contractId	カード会社契約ID	
contractTypeCd	契約体系コード	
brand	ブランド	
editFlg	利用データ編集フラグ	0：利用データ編集不可能 1：利用データ編集可能

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/card/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/card/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カードマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「card」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、法人カード会社マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社マスタは、連携する法人カード会社を管理します。

メンテナンス画面でマスタ設定してください。

[法人カード会社取り込み](#)を利用して「Cloud-Base」からマスタ情報を取得することも可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

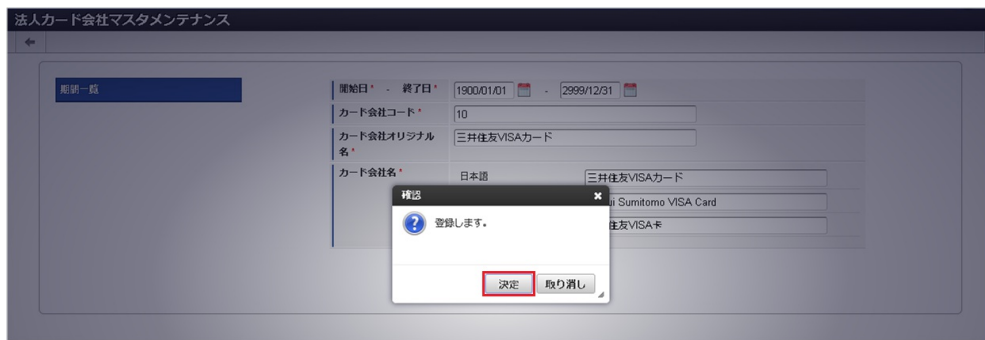
- カード会社コード
連携する法人カードの会社コードを入力します。
- カード会社オリジナル名
連携する法人カード会社の名称を入力します。
- カード会社名
連携する法人カード会社の名称を入力します。

コラム

「カード会社オリジナル名」は、「Cloud-Base」に登録されている法人カード会社の名称を入力してください。

「カード会社名」は、「カード会社オリジナル名」と同一か、Kaiden! 表示用の名称を入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい法人カード会社の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社コード
- カード会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

更新

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- カード会社コード



コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

法人カード会社マスタメンテナンス

更新します。

決定

6. 更新することができました。

intra-mart

法人カード会社マスタメンテナンス

更新しました。

No	▲ カード会社コード	カード会社名
1	10	三井住友VISAカード
2	20	アメリカンエキスプレスカード

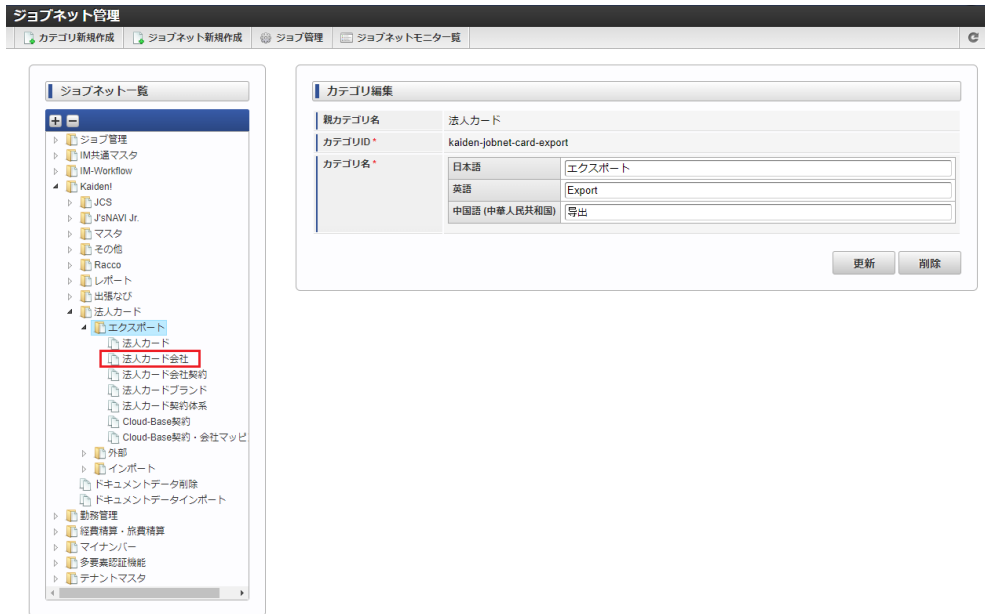
エキスポート

本項では、エキスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エキスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

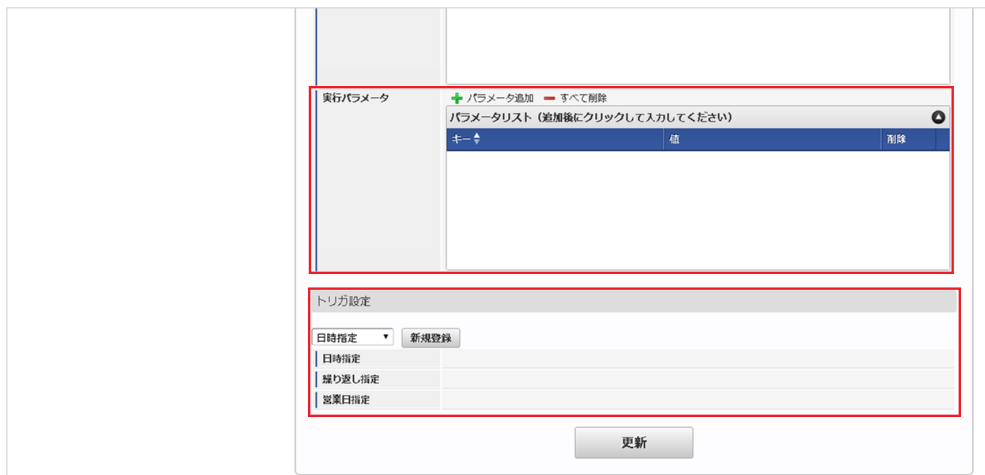
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード会社」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

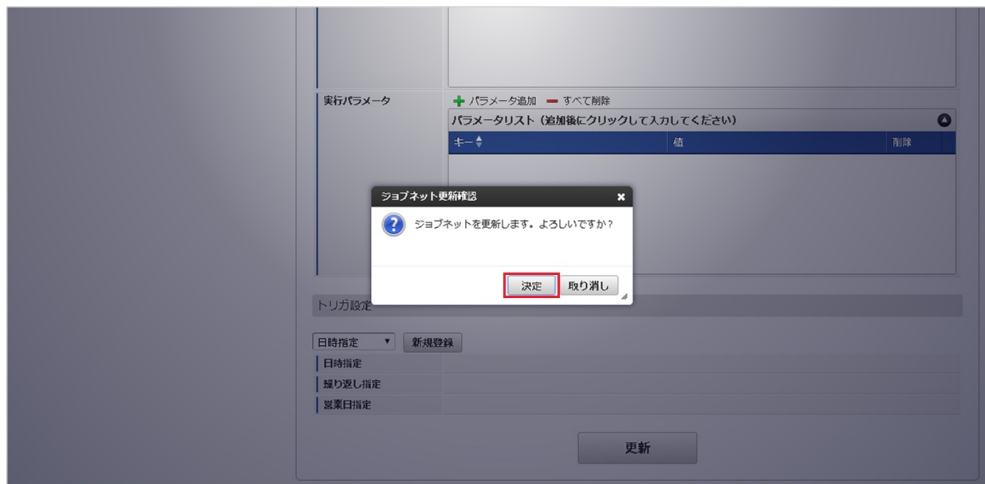
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-02-k10MCardCompany	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード会社

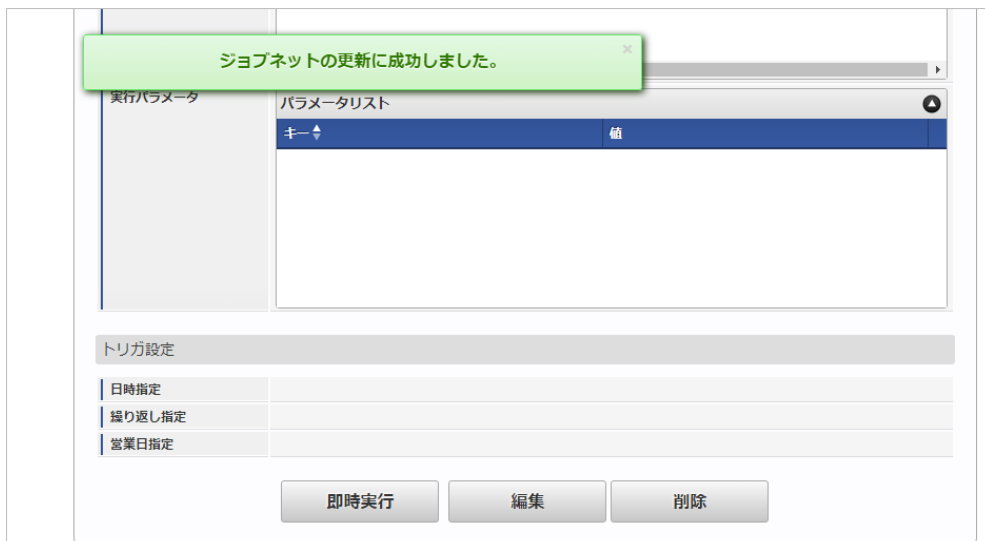
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cardCompany/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cardCompanyCd	カード会社コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
cardCompanyOrgName	カード会社オリジナル名	
cardCompanyName	カード会社名	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ■ 3 : 更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompany/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompany/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompany」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カード会社契約マスタ

本項では、法人カード会社契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社契約マスタは、連携する法人カード会社との契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

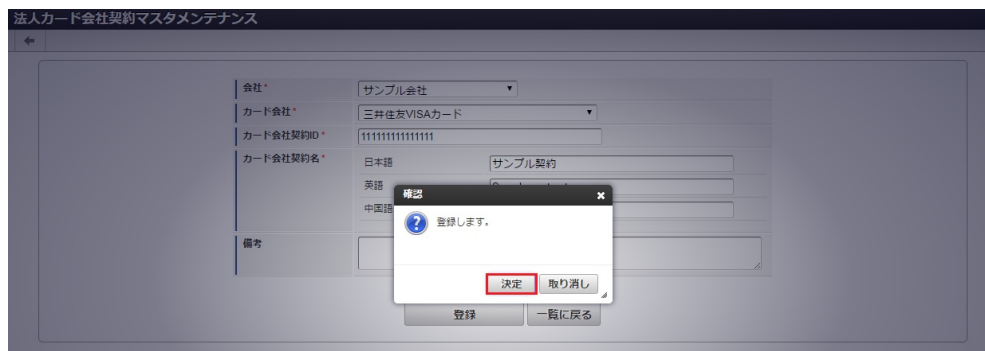
3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- カード会社
連携するカード会社を選択します。
- カード会社契約ID
連携するカード会社契約のIDを入力します。
- カード会社契約名
連携するカード会社との契約名を入力します。
- 備考
備考を入力します。

コラム

「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード会社契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カード会社契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社契約ID
- カード会社契約名
- カード会社名
- カード会社コード

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

法人カード会社契約マスタメンテナンス

← 削除

会社*	サンプル会社
カード会社*	三井住友VISAカード
カード会社契約ID*	1111111111111111
カード会社契約名*	日本語 サンプル契約 英語 Sample contract 中国語(中華人民共和国) 样品合同
備考	

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- カード会社
- カード会社契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

法人カード会社契約マスタメンテナンス

← 削除

会社*	サンプル会社
カード会社*	三井住友VISAカード
カード会社契約ID*	1111111111111111
カード会社契約名*	日本語 サンプル契約 英語 中国語
備考	

確認
更新します。
決定 取り消し

更新 一覧に戻る

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳 既済 ?

法人カード会社契約マスタメンテナンス 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	▲ カード会社契約ID	カード会社契約名	カード会社
1	0000000000	三井住友VISAカード	三井住友VISAカード
2	1111111111111111	サンプル契約	三井住友VISAカード

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
3	カード会社コード	○	100	
4	カード会社契約ID	○	100	
5	カード会社契約名	○	250	
6	備考		250	

データサンプル

```
"ja","comp_sample_01","10","0000000000","三井住友VISAカード",""
"en","comp_sample_01","10","0000000000","Mitsui Sumitomo VISA Card",""
"zh_CN","comp_sample_01","10","0000000000","三井住友VISA卡",""
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardCompanyContract

ファイル名 import.csv

コラム

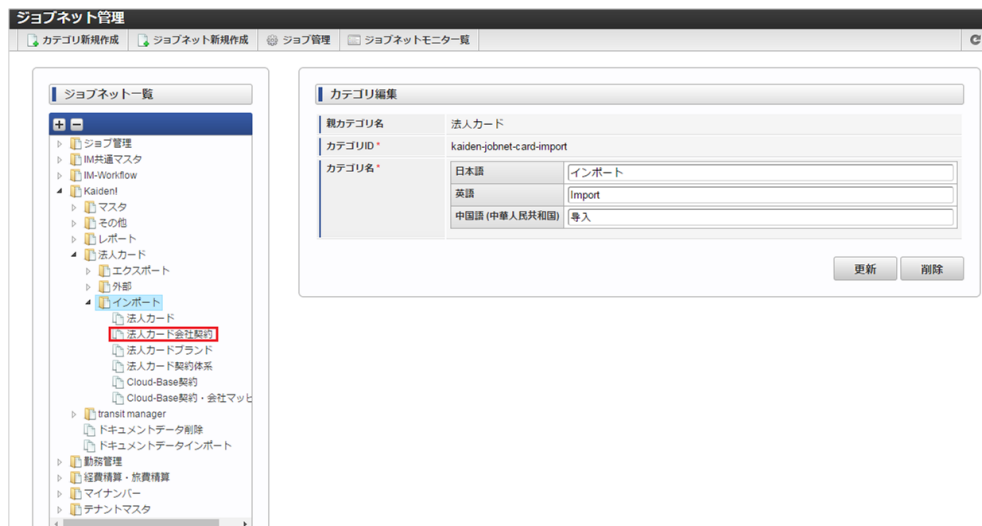
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード会社契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

実行パラメータ

パラメータリスト

キー	値
----	---

トリガ設定

日時指定

繰り返し指定

就業日指定

即時実行 編集 削除

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
----	---	----

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

就業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

kaiden-job-card-import-02-
k10MCardCompanyContract

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード会社契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
----	---	----

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

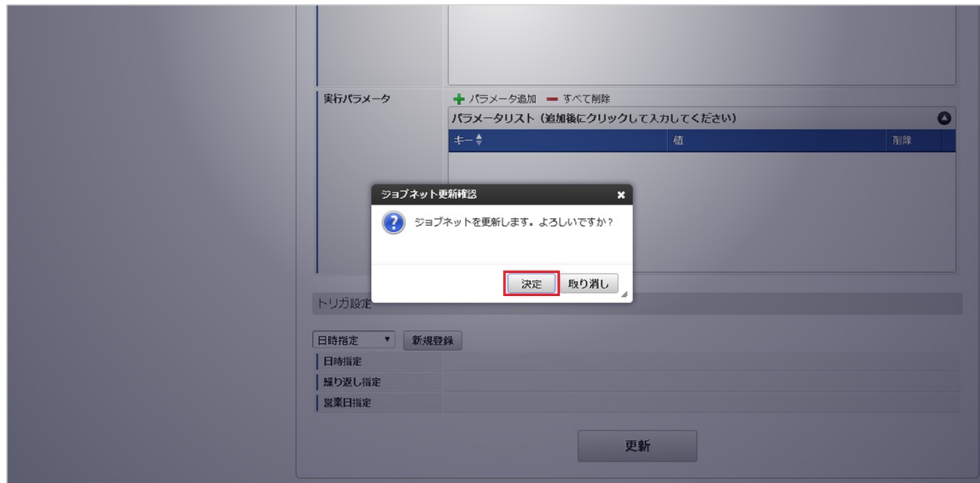
日時指定

繰り返し指定

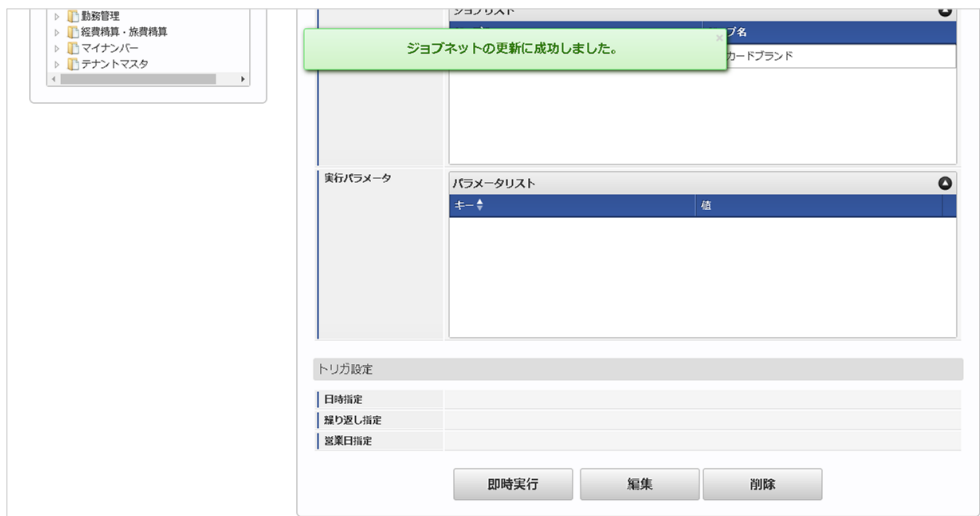
就業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompanyContract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

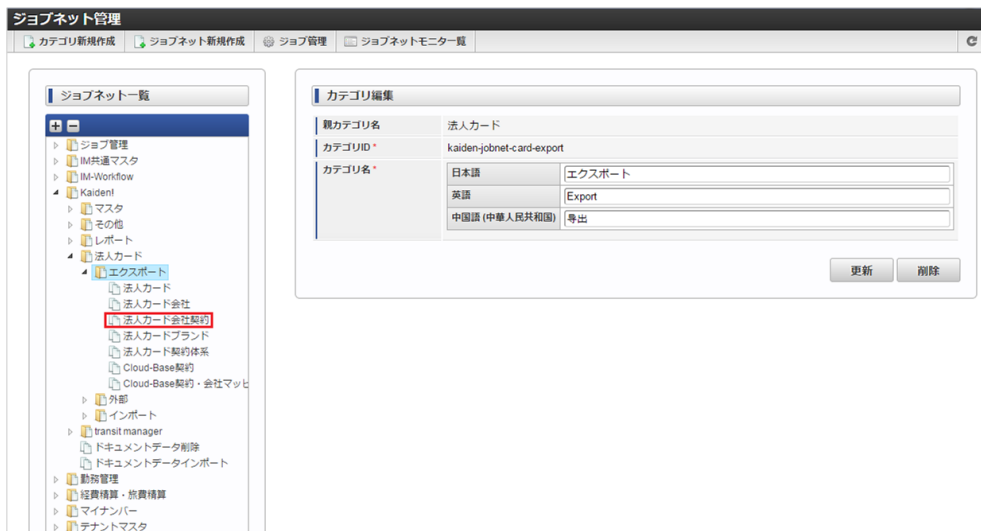
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

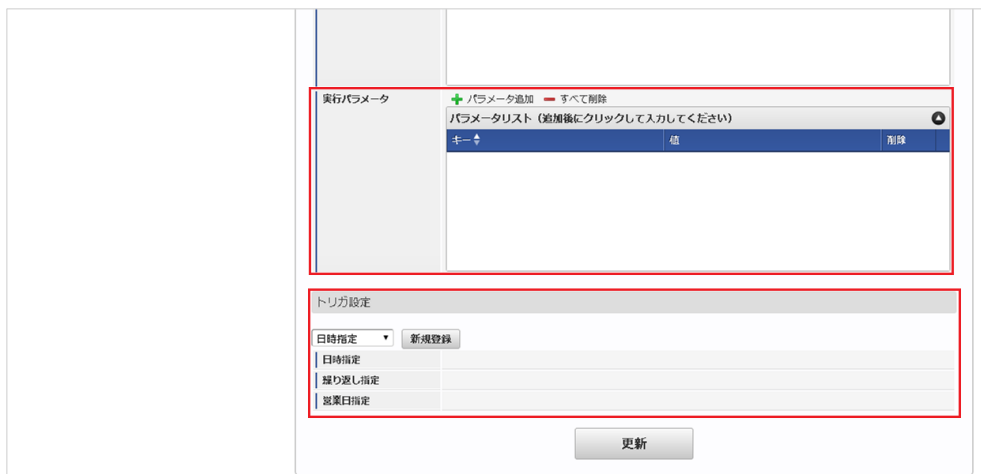
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カード会社契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

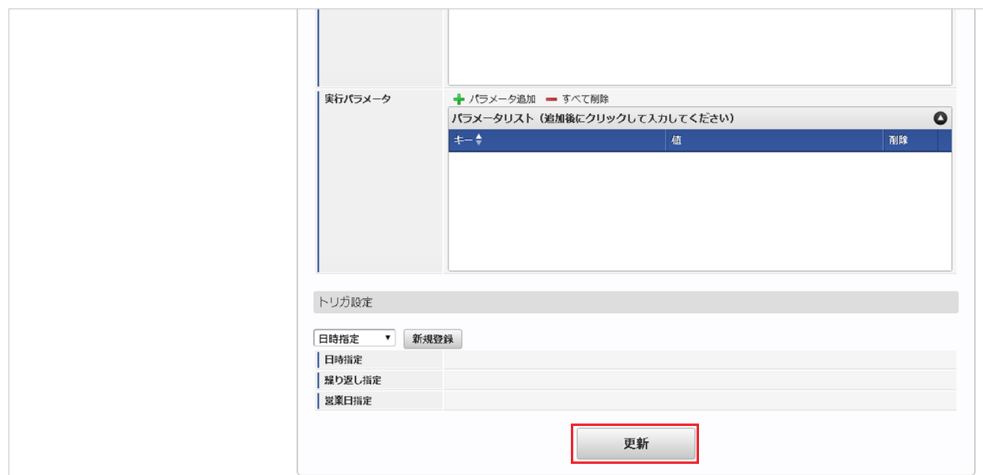
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

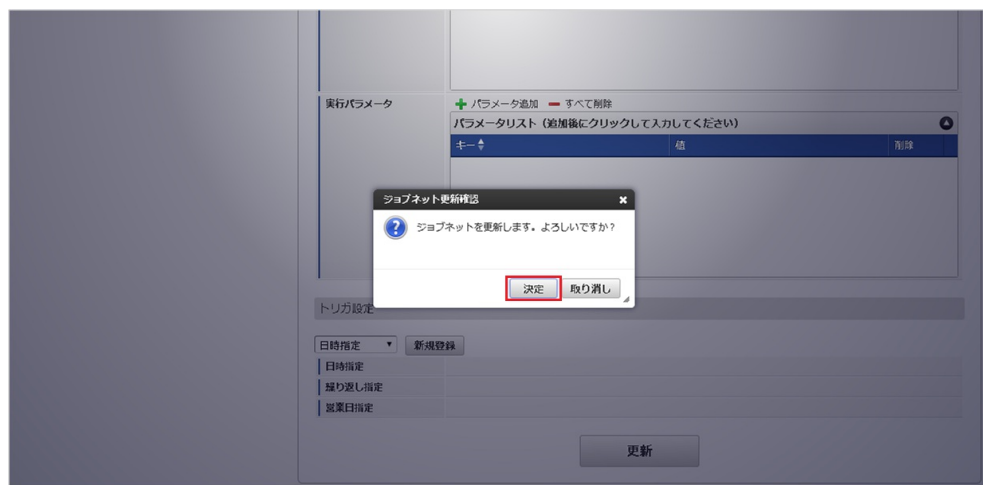
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-03-k10MCardCompanyContract	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カード会社契約

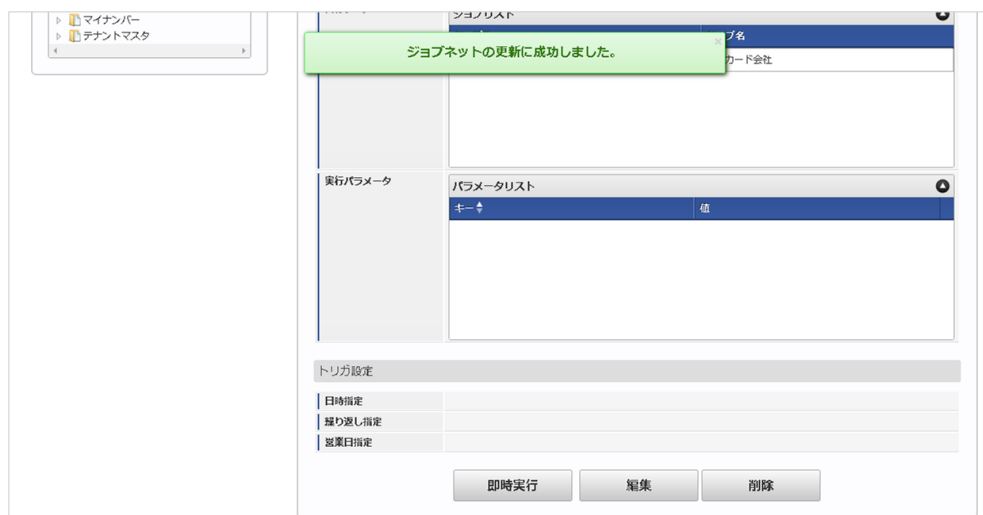
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cardCompanyContract/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
cardCompanyCd	カード会社コード	
contractId	カード会社契約ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
contractName	カード会社契約名	
text	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardCompanyContract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード会社契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardCompanyContract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カードブランドマスタ

本項では、法人カードブランドマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カードブランドマスタは、連携する法人カードのブランドを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カードブランド」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ブランドコード
連携する法人カードのブランドコードを入力します。
 - ブランド名
連携する法人カードのブランド名を入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カードブランド」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい法人カードブランドの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ブランドコード
- ブランド名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ブランドコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	ブランドコード	ブランド名
1	001	VISA
2	002	アメリカン・エキスプレス
3	003	MasterCard
4	004	JCB

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
3	ブランドコード	○	100	
4	ブランド名	○	250	

データサンプル

```
"ja","comp_sample_01","001","VISA"
"en","comp_sample_01","001","VISA"
"zh_CN","comp_sample_01","001","VISA"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardBrand

ファイル名 import.csv

i コラム

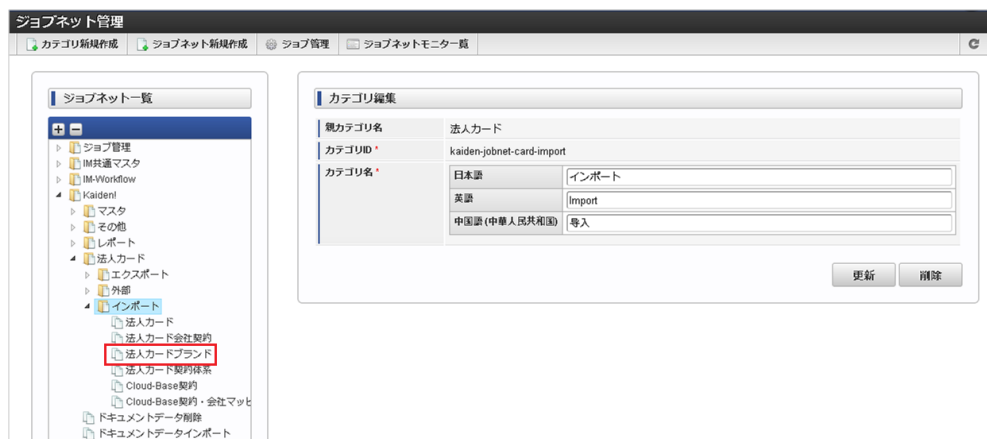
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カードブランド」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

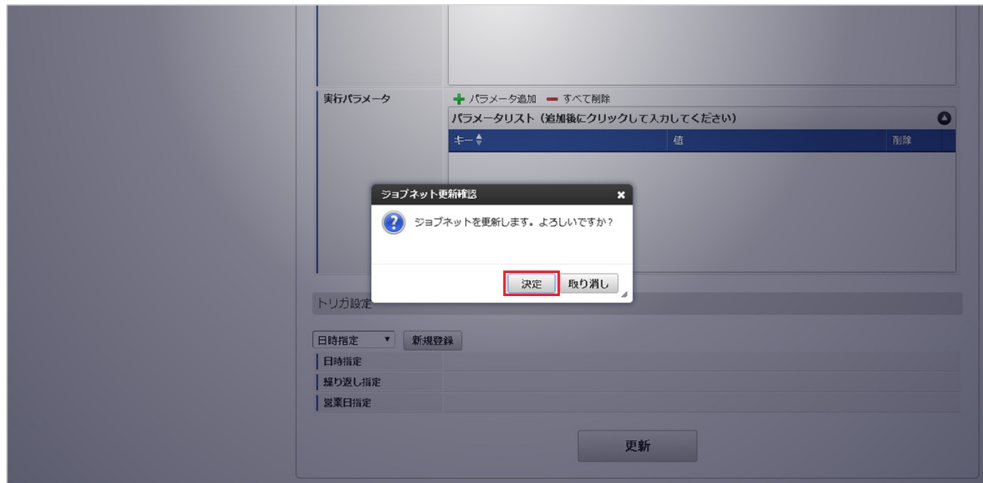
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

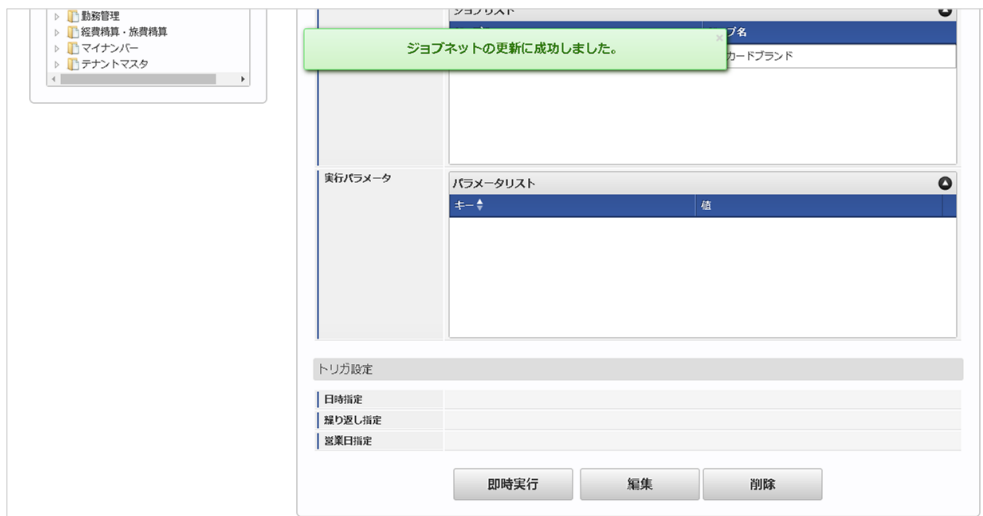
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-03-k10MCardBrand	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カードブランド

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardBrand/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardBrand/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カードブランドマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardBrand」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

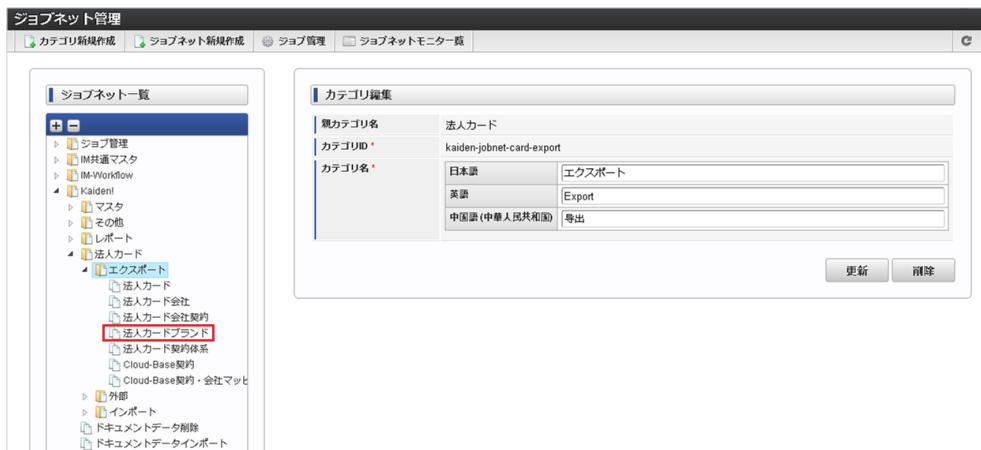
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

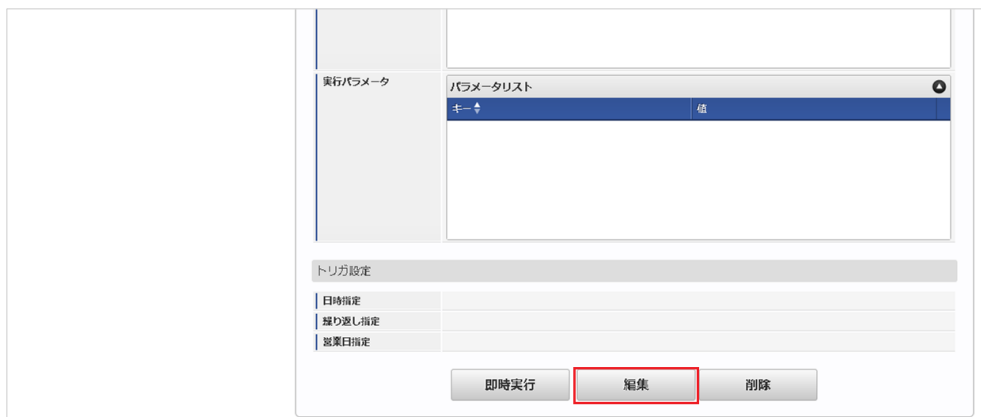
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カードブランド」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

kaiden-job-card-export-04-
k10MCardBrand

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カードブランド

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cardBrand/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
brandCd	ブランドコード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
brandName	ブランド名	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardBrand/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cardBrand/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カードブランドマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cardBrand」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

法人カード契約体系マスタ

本項では、法人カード契約体系マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

法人カード契約体系マスタは、連携する法人カードの契約体系を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード契約体系」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

法人カード契約体系マスタメンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	契約体系コード	契約体系名	カード会社
----	---------	-------	-------

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

法人カード契約体系マスタメンテナンス

会社 * サンプル会社

カード会社 * 三井住友VISAカード

契約体系コード * 001

契約体系名 *

日本語 個人決済

英語 Personal settlement

中国語 (中華人民共和国) 个人结算

備考

登録 一覧に戻る

- カード会社
連携する法人カード会社を選択します。
- 契約体系コード
連携する法人カードの契約体系コードを入力します。
- 契約体系名
連携する法人カードの契約体系の名称を入力します。
- 備考
備考を入力します。

i コラム

「カード会社」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

法人カード契約体系マスタメンテナンス

会社 * サンプル会社

カード会社 * 三井住友VISAカード

契約体系コード * 001

契約体系名 *

日本語 個人決済

英語 Personal settlement

中国語 个人结算

備考

確認

登録します。

決定 取り消し

登録 一覧に戻る

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「法人カード契約体系」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カード契約体系の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- カード会社契約ID
- カード会社契約名
- カード会社コード
- カード会社名

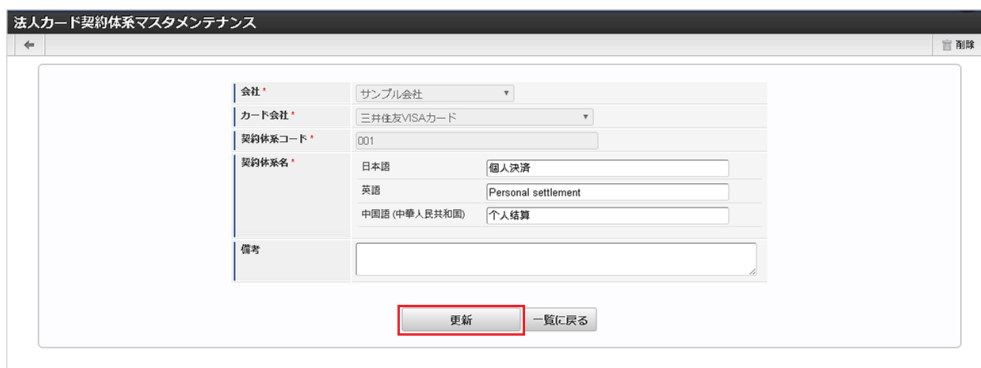
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

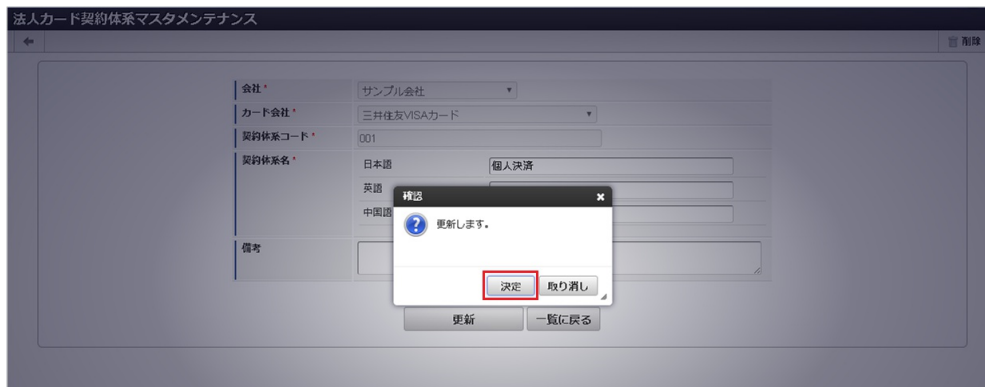


次の項目は編集不可項目です。

- 会社

- カード会社
- カード会社契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	会社コード	○	100	
2	カード会社コード	○	100	
3	契約体系コード	○	100	
4	契約体系名	○	250	

データサンプル

```
"ja","comp_sample_01","10","000","サンプル契約体系",""
"en","comp_sample_01","10","000","Sample contract system",""
"zh_CN","comp_sample_01","10","000","品合同制度",""
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/contractType

ファイル名 import.csv

i コラム

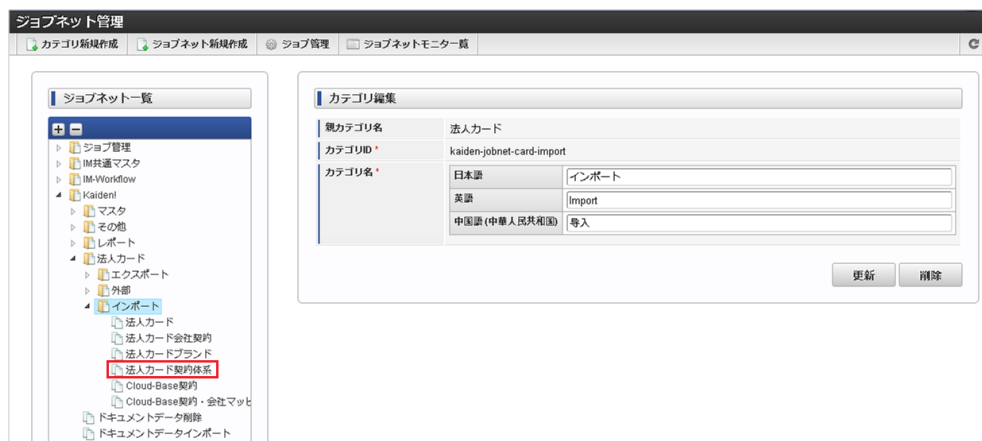
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード契約体系」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

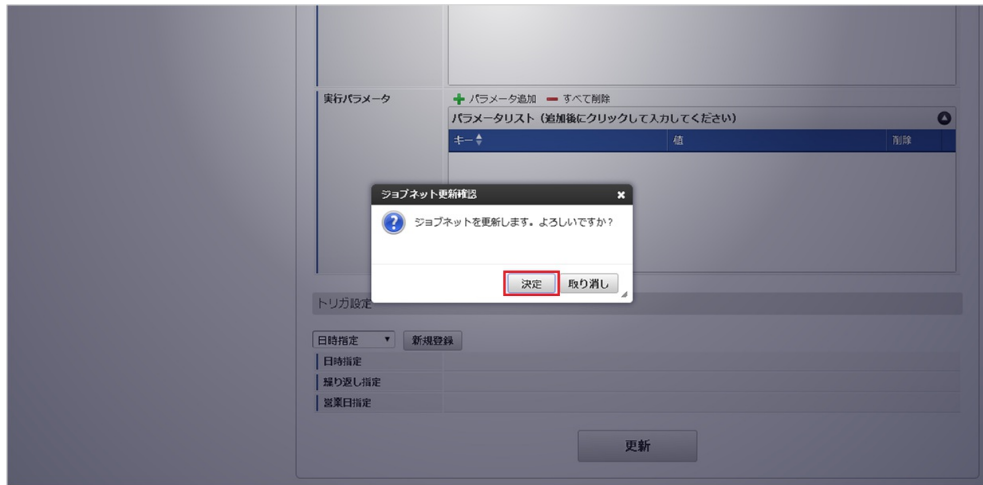
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

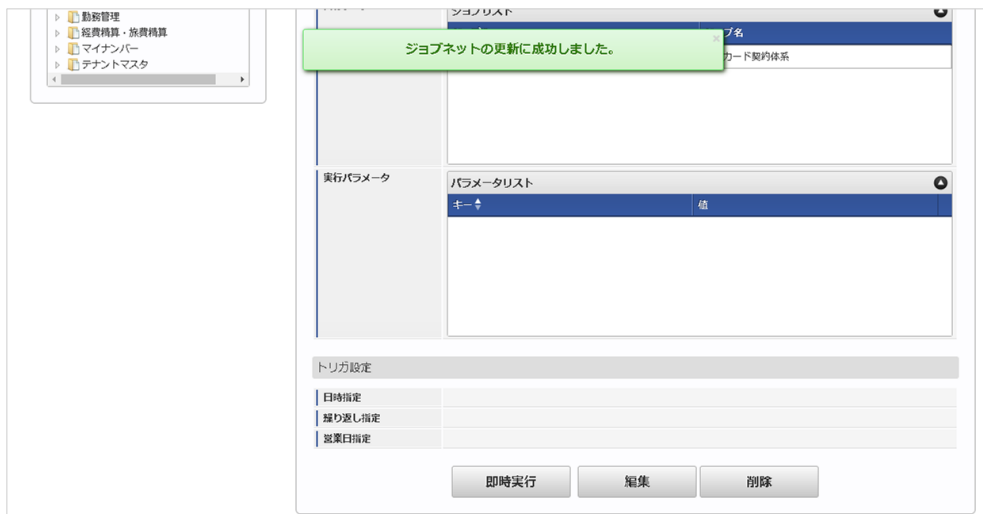
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-04-k10MContractType	Kaiden! / 法人カード / インポート / 法人カード契約体系

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/contractType/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/contractType/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 法人カード契約体系マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「contractType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

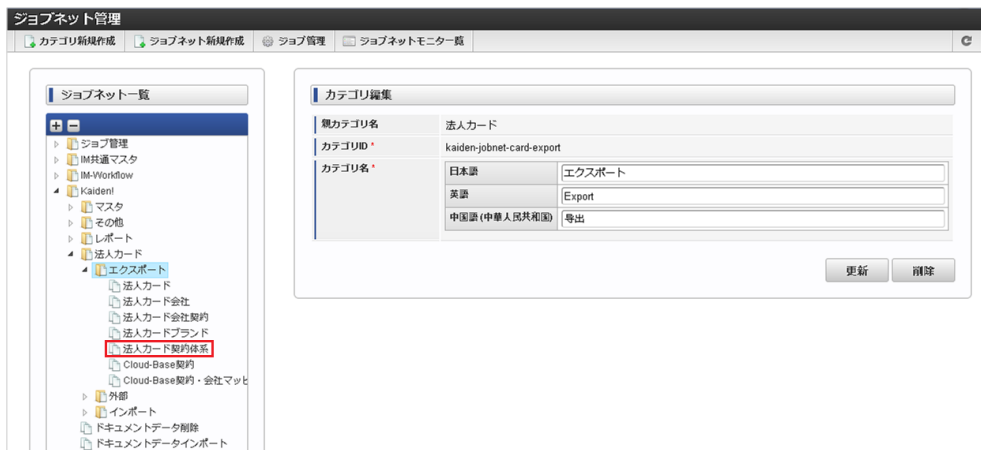
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

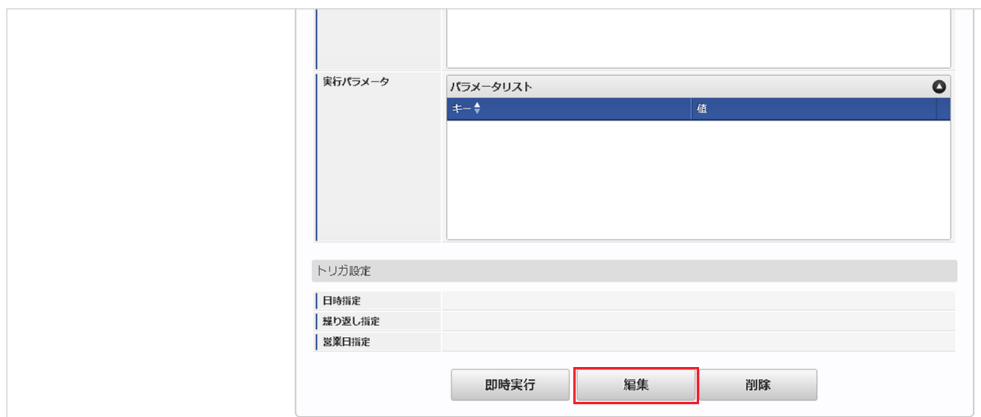
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「法人カード契約体系」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-card-export-05-
k10MContractType

Kaiden! / 法人カード / エクスポート / 法人カードブランド

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/contractType/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
cardCompanyCd	カード会社コード	
contractTypeCd	契約体系コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
contractTypeName	契約体系名	
text	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時 : kaiden/generic/master/contractType/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/contractType/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード契約体系マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「contractType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Cloud-Base契約マスタ

本項では、Cloud-Base契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Cloud-Baseマスタは、「Cloud-Base」の契約情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- CB契約ID
「Cloud-Base」の契約IDを入力します。
- アクセスキー
「Cloud-Base」のアクセスキーを入力します。
- クラウドベースURL
「Cloud-Base」のURLを入力します。
- CB契約名称
「Cloud-Base」の契約名称を入力します。
- 担当者所属会社
「Cloud-Base」の契約担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
「Cloud-Base」の契約担当者を選択します。



コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいCloud-Base契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- CB契約ID
- CB契約名称

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

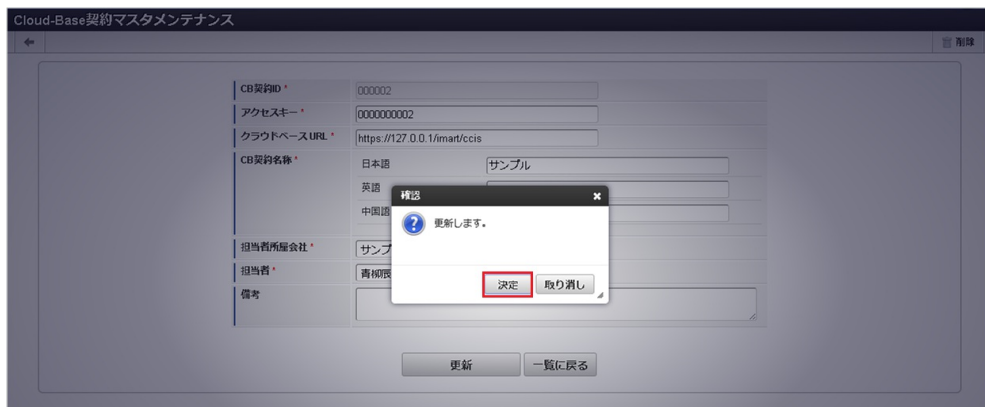
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- CB契約ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
2	CB契約ID	○	100	
3	アクセスキー	○	100	
4	クラウドベースURL	○	100	
5	CB契約名称	○	250	
6	備考		250	
7	担当者所属会社コード	○	100	

データサンプル

```
"ja","000000","0000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB契約名称","","comp_sample_01","aoyagi"
"en","000000","0000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB Contract Name","","comp_sample_01","aoyagi"
"zh_CN","000000","0000000001","https://xxxxxxxxxx/imart/ccis","CB合同名称","","comp_sample_01","aoyagi"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContract

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「Cloud-Base契約」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

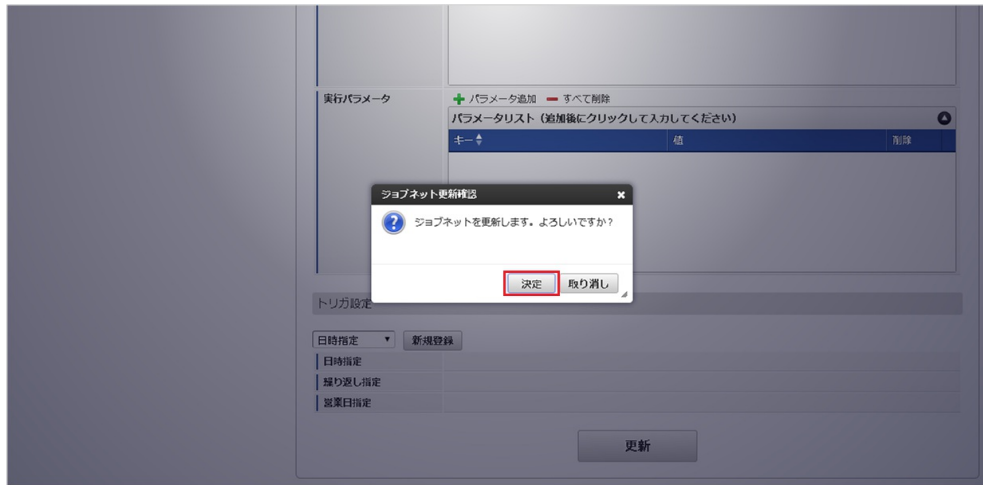
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

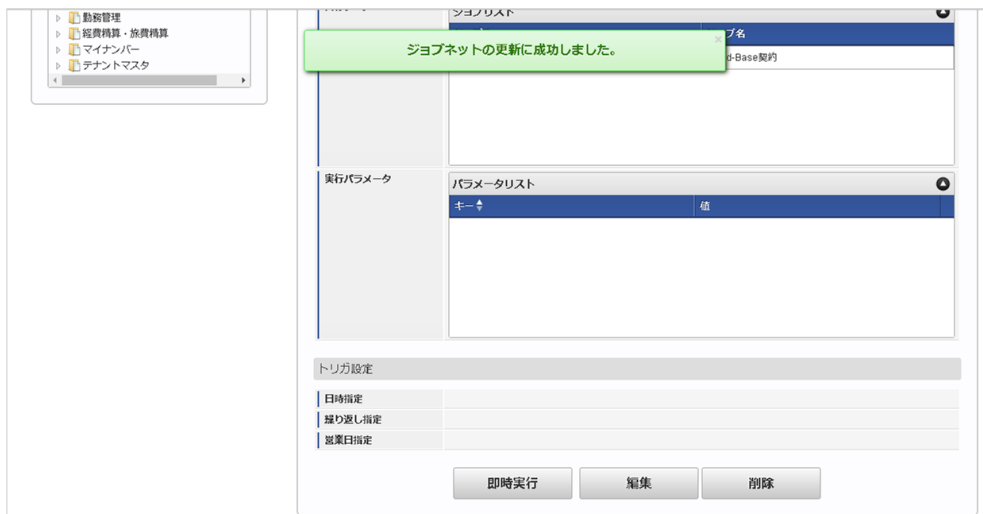
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-05-k10MCbContract	Kaiden! / 法人カード / インポート / Cloud-Base契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/cbContract/import.csv)

名称	キー	説明/設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

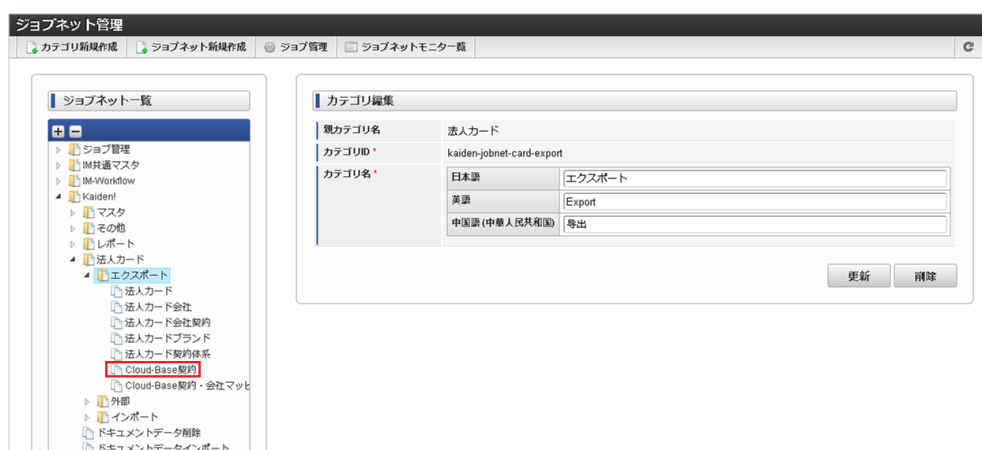
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧(画面左部)の「Cloud-Base契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

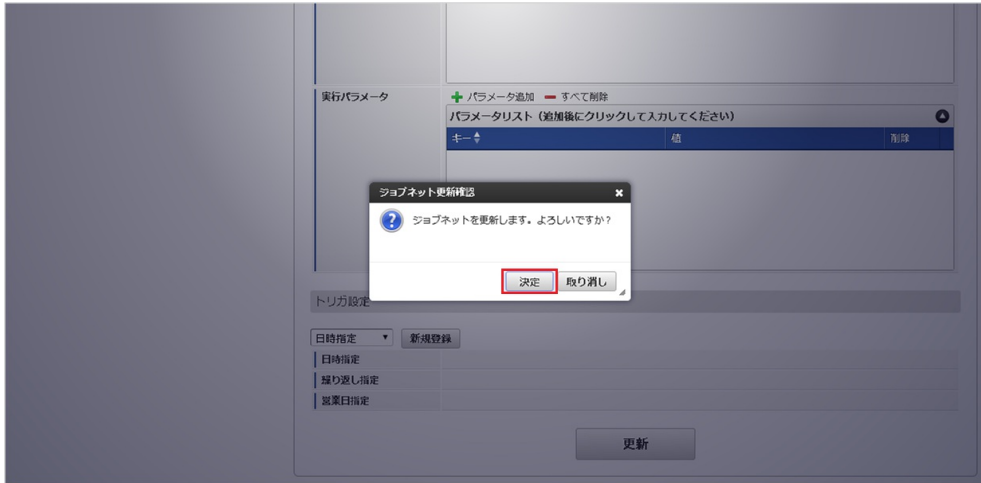
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

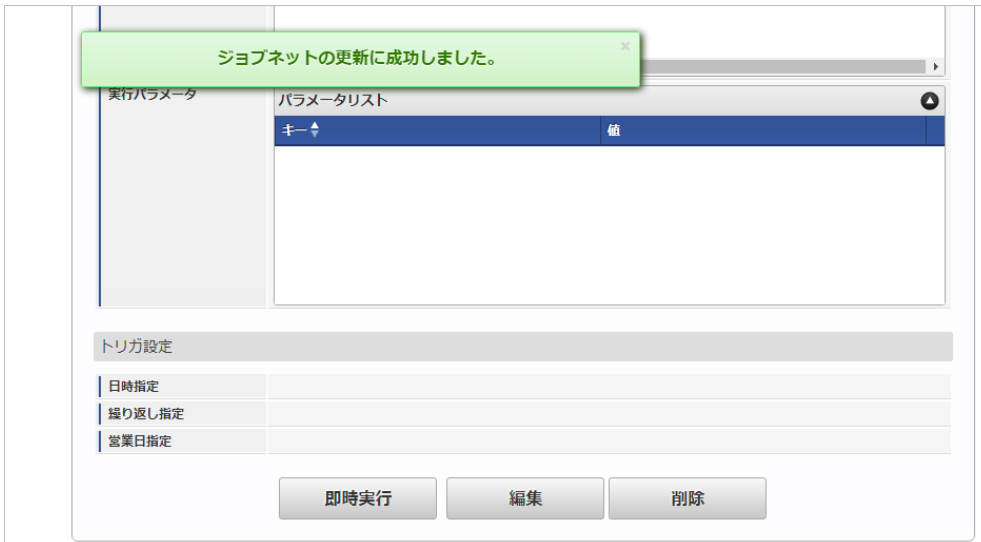
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-06-k10MCbContract	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / Cloud-Base契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContract/

ファイル名 export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cbContractId	CB契約ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

accessKey	アクセスキー
cloudBaseUrl	クラウドベースURL
cbContractName	CB契約名称
text	備考
chargeCompanyCd	担当者所属会社コード
chargeUserCd	担当者ユーザコード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> ": ダブルクォーテーション none: 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true: ヘッダー出力有 false: ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContract」を設定しています。</p>

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ

本項では、Cloud-Base契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタは、「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタメンテナンス

会社: サンプル会社

CB契約: サンプル

登録 一覧に戻る

- 会社
「Cloud-Base」と契約している会社を選択します。
- CB契約
「Cloud-Base」の契約を選択します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタメンテナンス

会社: サンプル会社

CB契約: サンプル

登録 一覧に戻る

確認
登録します。
決定 取り消し

5. 新規登録することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青研部 ?

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタメンテナンス 登録しました。

新規登録

検索 クリア

No	CB契約
1	CloudBase
2	サンプル

最初へ戻る 1 次へ最後へ

更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

Cloud-Base契約・会社マッピングマスタメンテナンス

新規登録

検索 クリア

No	CB契約



コラム

検索欄に検索したいCloud-Base契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- CB契約

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

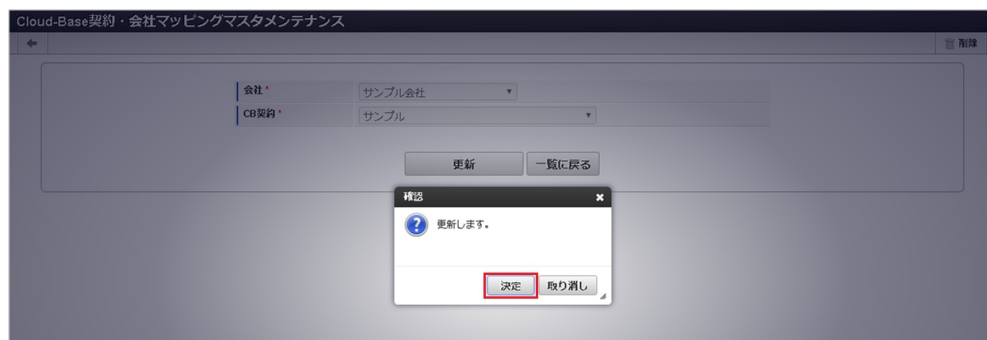
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



注意

当マスタは更新時変更可能な項目がありません。
マッピングを変更する場合、マスタを削除して再度登録してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	CB契約ID	○	100	

データサンプル

"comp_sample_01","000000"

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/cbContractComp

ファイル名 import.csv

i コラム

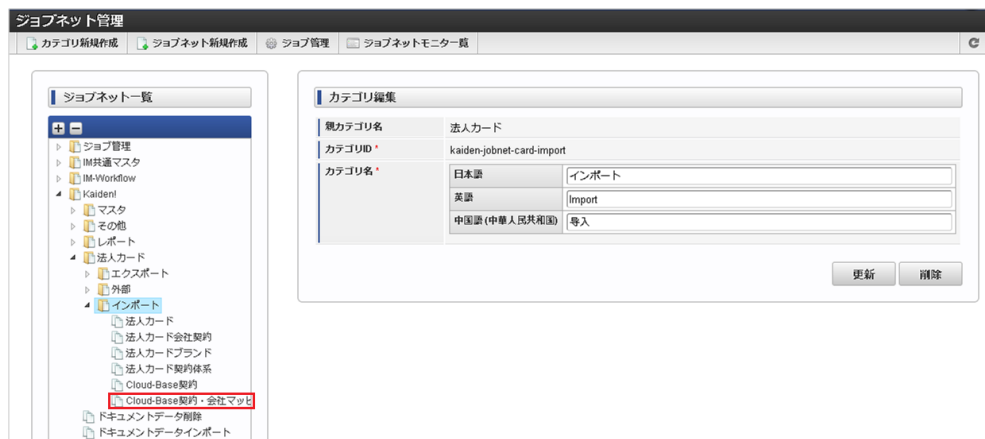
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

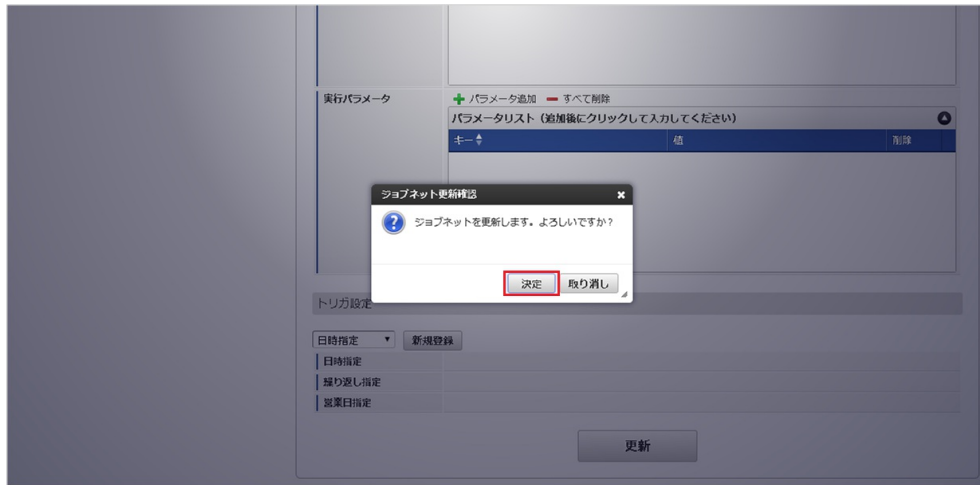
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-import-06-k10MCbContractComp	Kaiden! / 法人カード / インポート / Cloud-Base契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContractComp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

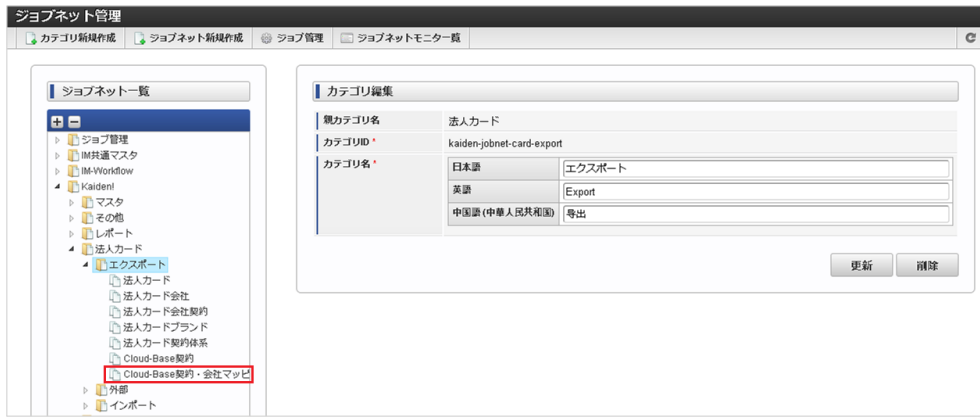
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

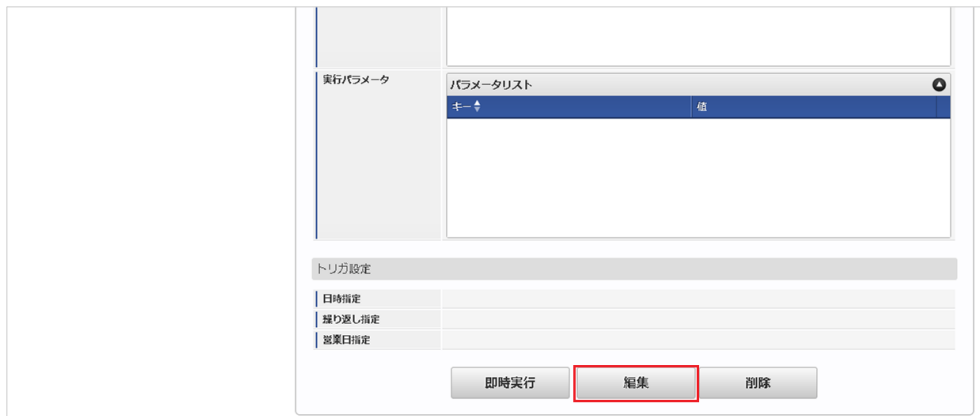
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「Cloud-Base契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-export-07-k10MCbContractComp	Kaiden! / 法人カード / エクスポート / Cloud-Base契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/cbContractComp/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
cbContractId	CB契約ID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/cbContractComp/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/cbContractComp/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Cloud-Base契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「cbContractComp」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

案件番号採番ルールマスタ

本項では、案件番号採番ルールマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
- 置換文字列

概要

案件番号採番ルールマスタは、案件番号採番ルール（フロー連携）マスタに連携させることで案件番号の拡張ルールを管理します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

案件番号採番ルール

新規登録

検索 クリア

No	採番ルール定義ID	採番ルール定義名	桁数	接頭辞	接尾辞
----	-----------	----------	----	-----	-----

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

案件番号採番ルール

←

採番ルール定義ID * sample

採番ルール定義名 *

日本語 サンプル

英語 sample

中国語 (中華人民共和国) 样品

接頭辞 sample

開始番号 * 1

桁数 * 5

増分値 * 1

接尾辞 SAMPLE

通し番号設定フラグ * 無効 有効

リセット設定フラグ * 無効 有効

プレビュー sample00001SAMPLE

登録 一覧に戻る

- 採番ルール定義ID
システム内で一意となる採番ルール定義IDを入力します。
- 採番ルール定義名
採番ルール定義名をロケール別に入力します。
- 接頭辞
案件番号の先頭となる文字を入力します。
- 開始番号
案件番号の採番を開始する際の番号を入力します。
- 桁数
案件番号の数字部分の桁数を入力します。
桁数を「0」にすると案件番号は「接頭辞」+「接尾辞」となり数字は採番されません。
- 増分値
案件番号のを採番する際の増分値を入力します。
- 接尾辞
案件番号の末尾に付ける文字を入力します。
- 通し番号設定フラグ
通し番号設定の可否を決めます。
有効を選択した場合、採番ルール1個に対して1個の通し番号で採番します。
無効を選択した場合、置換文字の置換後の接頭辞・接尾辞の組み合わせに対して1個の通し番号で採番します。
接頭辞、接尾辞に置換文字を使用した場合、採番ルール1個に対して複数の通し番号で採番する場合があります。
- リセット設定フラグ
リセット設定の可否を決めます。
有効を選択した場合、案件番号が指定された桁数で採番できない時、開始番号から再度採番します。
無効を選択した場合、案件番号が指定された桁数で採番できない時、エラーが発生して申請できません。
- プレビュー
実際の案件番号に設定される文字が表示されます。



注意

接頭辞、桁数、接尾辞が20桁を超える場合、申請時にエラーが発生します。



コラム

接頭辞、接尾辞に置換文字を設定できます。
詳細は、[置換文字列](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい採番ルールの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 採番ルール定義ID
- 採番ルール定義名

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

案件番号採番ルール

検索 クリア

No	採番ルール定義ID	採番ルール定義名	桁数	接頭辞	接尾辞
1	bankaccount	口座変更申請	5	BANK(APPLY_Y3)-	
2	billpayment	経費支払申請	5	BPAY(APPLY_Y3)-	
3	chgempfamily	家族異動申請	5	CFMY(APPLY_Y3)-	
4	commroute	通勤経路変更申請	5	CRTE(APPLY_Y3)-	
5	etexpadv	交際費事前申請	5	ETEJ(APPLY_Y3)-	
6	etexpstl	交際費精算申請	5	ETES(APPLY_Y3)-	
7	general	汎用申請	5	GNRL(APPLY_Y3)-	
8	gnexpadv	経費事前申請	5	GNEJ(APPLY_Y3)-	
9	gnexpstl	経費精算申請	5	GNES(APPLY_Y3)-	
10	journalDetail	費用振替明細	5	J-DETAIL(APPLY_Y3)-	
11	matterDetail	案件明細	5	M-DETAIL(APPLY_Y3)-	
12	payeeregist	支払先登録申請	5	PARE(APPLY_Y3)-	
13	rodem	RODEM連携	5	RODEM(APPLY_Y3)-	
14	sample	サンプル	5	sample	SAMPLE
15	trexpadv	出張事前申請	5	TREA(APPLY_Y3)-	
16	trexpstl	出張精算申請	5	TRES(APPLY_Y3)-	

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

案件番号採番ルール

採番ルール定義ID * sample

採番ルール定義名 *
 日本語 サンプル
 英語 sample
 中国語 (中華人民共和国) 样品

接頭辞 sample

開始番号 * 1

桁数 * 5

増分値 * 1

接尾辞 SAMPLE

連し番号設定フラグ * 無効 有効

リセット設定フラグ * 無効 有効

プレビュー sample00001SAMPLE

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 採番ルール定義ID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

案件番号採番ルール

採番ルール定義ID * sample

採番ルール定義名 *
 日本語 サンプル
 英語 sample
 中国語 (中華人民共和国) 样品

接頭辞 sample

開始番号 * 1

桁数 * 5

増分値 * 1

接尾辞 SAMPLE

連し番号設定フラグ * 無効 有効

リセット設定フラグ * 無効 有効

プレビュー sample00001SAMPLE

更新 一覧に戻る

確認
 更新します。
 決定 取り消し

6. 更新することができました。

No	採番ルール定義ID	採番ルール定義名	桁数	接頭辞	接尾辞
1	bankaccount	口座変更申請	5	BANK(APPLY_Y3)-	
2	billpayment	経費支払申請	5	BPAY(APPLY_Y3)-	
3	chgempfamily	家族異動申請	5	CFMY(APPLY_Y3)-	
4	comroute	通勤経路変更申請	5	CRTE(APPLY_Y3)-	
5	etexpadv	交際費事前申請	5	ETEA(APPLY_Y3)-	
6	etexpstl	交際費精算申請	5	ETES(APPLY_Y3)-	
7	general	汎用申請	5	GNRL(APPLY_Y3)-	
8	gnexpadv	経費事前申請	5	GNEA(APPLY_Y3)-	
9	gnexpstl	経費精算申請	5	GNES(APPLY_Y3)-	
10	journalDetail	費用振替明細	5	J-DETAIL(APPLY_Y3)-	
11	matterDetail	案件明細	5	M-DETAIL(APPLY_Y3)-	
12	payeeregist	支払先登録申請	5	PARE(APPLY_Y3)-	
13	rodem	RODEM連携	5	RODEM(APPLY_Y3)-	
14	sample	サンプル	5	sample	SAMPLE
15	trexpadv	出張事前申請	5	TREA(APPLY_Y3)-	
16	trexpstl	出張精算申請	5	TRES(APPLY_Y3)-	

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	採番ルール定義ID	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	採番ルール定義名	○	1000	
4	ノート		4000	
5	開始番号	○	18	
6	桁数	○	18	
7	増分値	○	18	
8	接頭辞		1000	
9	接尾辞		1000	
10	通し番号設定フラグ	○	1	0 : 無効 1 : 有効
11	リセット設定フラグ	○	1	0 : 無効 1 : 有効

データサンプル

```
"sample","ja","サンプル","","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
"sample","en","Sample","","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
"sample","zh_CN","□例","","1","5","1","sample","SAMPLE","0","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/numbering_rule

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール」をクリックします。

- 「編集」をクリックします。

キー	値
import_mode	1

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

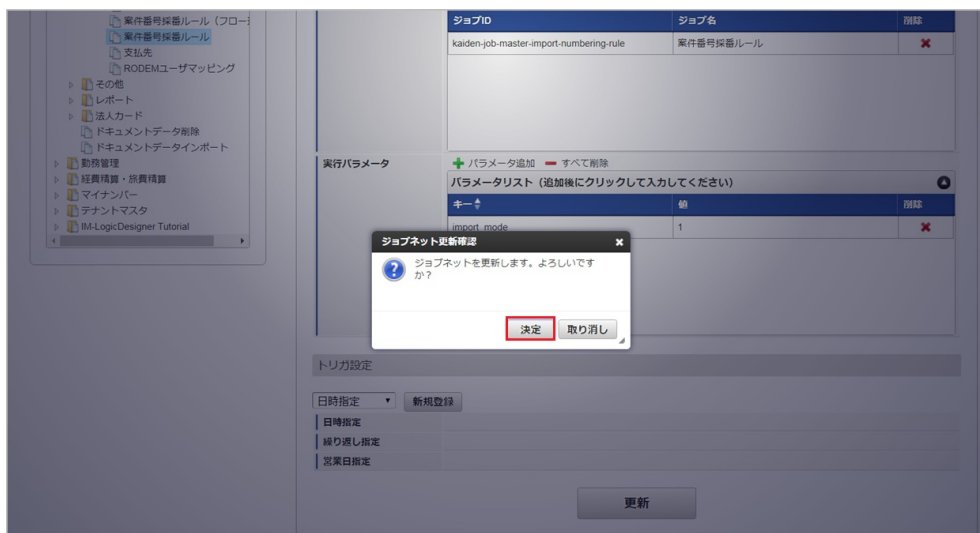
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-numbering-rule	Kaiden! / マスタ / インポート / 案件番号採番ルール

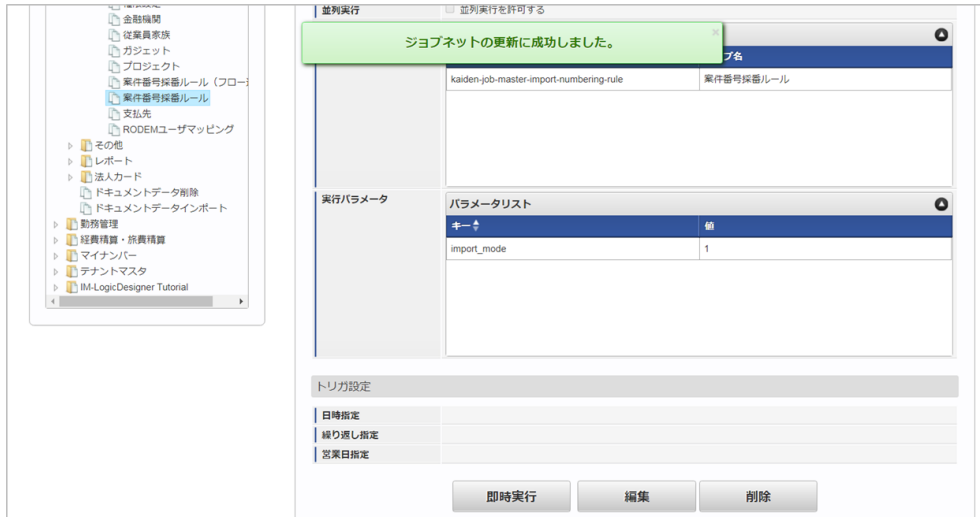
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明／設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none">・ , : カンマ・ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none">・ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルールマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_rule」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

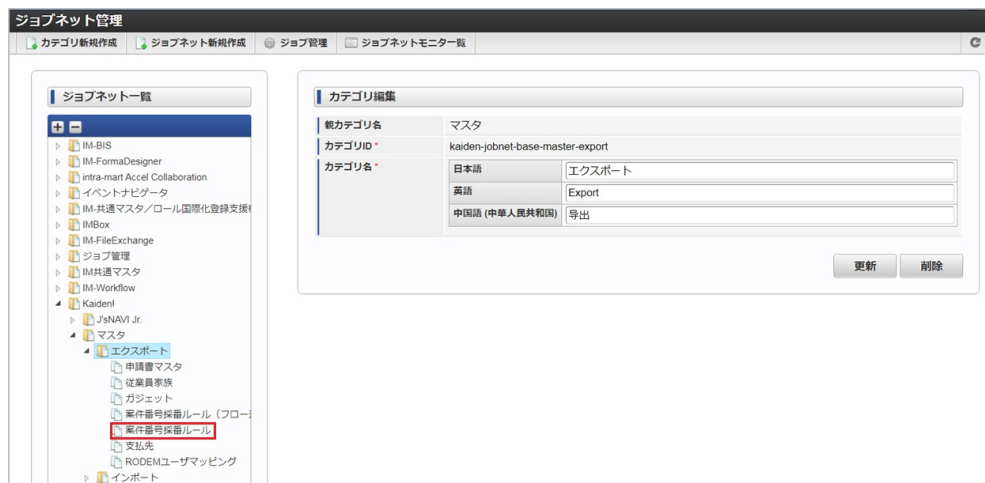
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

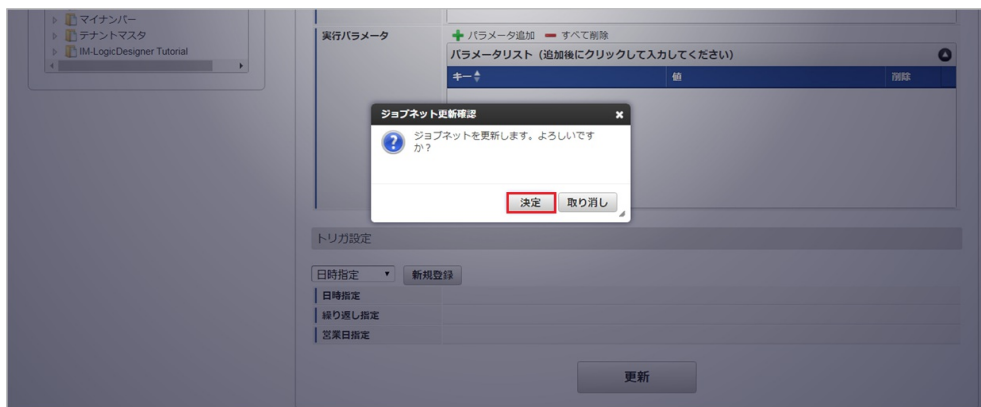
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-numbering-rule	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 案件番号採番号ルール

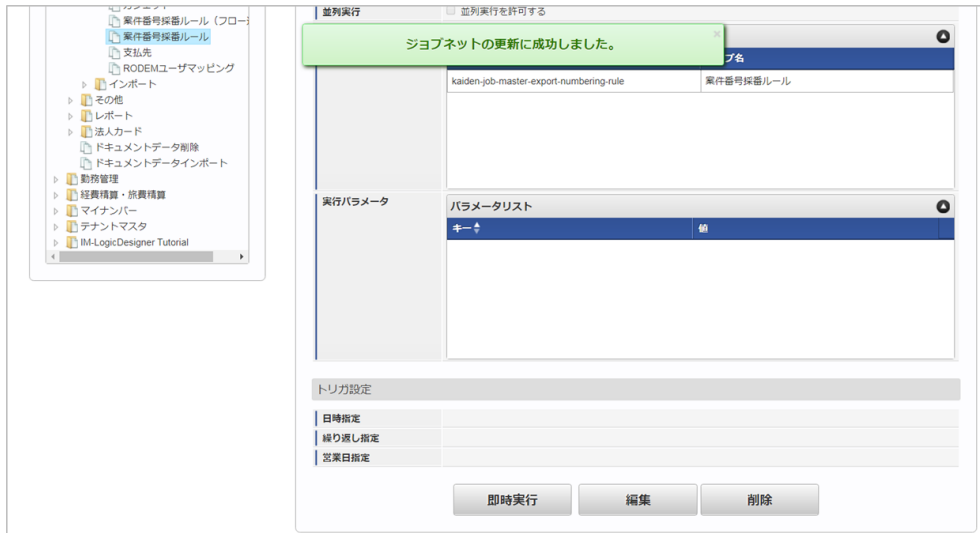
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/numbering_rule
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
numberingRuleId	採番ルール定義ID	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
numberingRuleName	採番ルール定義名	
note	ノート	
startNumber	開始番号	
digit	桁数	
incrementalNumber	増分值	
prefix	接頭辞	
suffix	接尾辞	
serialFlag	通し番号設定フラグ	0 : 無効 1 : 有効
resetFlag	リセット設定フラグ	0 : 無効 1 : 有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_rule/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルールマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_rule」を設定しています。

置換文字列

「接頭辞」、「接尾辞」には、置換文字列の使用が可能です。

置換文字列を設定する際は、「{ }」で囲んでください。

使用可能な置換文字列は、次の通りです。

名称	置換文字列	説明
権限会社コード	COMPANY_CD	申請時の権限会社コードに置換します。
権限組織セットコード	ORGZ_SET_CD	申請時の権限組織セットコードに置換します。
権限組織コード	ORGZ_CD	申請時の権限組織コードに置換します。
代理フラグ	ACT_FLAG	代理フラグに置換します。 <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0 : 本人申請 ▪ 1 : 代理申請
優先度	PRIORITY_LEVEL	優先度に置換します。
処理権限者コード	AUTH_USER_CD	申請時の処理権限者コードに置換します。
処理実行者コード	EXEC_USER_CD	申請時の処理実行者コードに置換します。
コンテンツID	CONTENTS_ID	申請時のコンテンツIDに置換します。
フローID	FLOW_ID	申請時のフローIDに置換します。
ルートID	ROUTE_ID	申請時のルートIDに置換します。
申請基準日「西暦年(yyyy)」	APPLY_Y1	申請基準日を「西暦年(yyyy)」に置換します。
申請基準日「西暦年上2桁(yy)」	APPLY_Y2	申請基準日「西暦年上2桁(yy)」に置換します。
申請基準日「西暦年下2桁(yy)」	APPLY_Y3	申請基準日「西暦年下2桁(yy)」に置換します。
申請基準日「和暦元号(G)」	APPLY_G3	申請基準日「和暦元号(G)」に置換します。
申請基準日「和暦年(y)」	APPLY_GY1	申請基準日「和暦年(y)」に置換します。
申請基準日「和暦年(yy)」	APPLY_GY2	申請基準日「和暦年(yy)」に置換します。
申請基準日「月(M)」	APPLY_M1	申請基準日「月(M)」に置換します。
申請基準日「月(MM)」	APPLY_M2	申請基準日「月(MM)」に置換します。
申請基準日「日(d)」	APPLY_D1	申請基準日「日(d)」に置換します。
申請基準日「日(dd)」	APPLY_D2	申請基準日「日(dd)」に置換します。
申請基準日の月末日(dd)	APPLY_D3	申請基準日の月末日(dd)に置換します。
申請基準日(yyyyMMdd)	APPLY_BASE_DATE	申請基準日(yyyyMMdd)に置換します。
処理日「西暦年(yyyy)」	PROCESS_Y1	処理日「西暦年(yyyy)」に置換します。
処理日「西暦年上2桁(yy)」	PROCESS_Y2	処理日「西暦年上2桁(yy)」に置換します。
処理日「西暦年下2桁(yy)」	PROCESS_Y3	処理日「西暦年下2桁(yy)」に置換します。
処理日「和暦元号(G)」	PROCESS_G3	処理日「和暦元号(G)」に置換します。
処理日「和暦年(y)」	PROCESS_GY1	処理日「和暦年(y)」に置換します。
処理日「和暦年(yy)」	PROCESS_GY2	処理日「和暦年(yy)」に置換します。
処理日「月(M)」	PROCESS_M1	処理日「月(M)」に置換します。
処理日「月(MM)」	PROCESS_M2	処理日「月(MM)」に置換します。
処理日「日(d)」	PROCESS_D1	処理日「日(d)」に置換します。
処理日「日(dd)」	PROCESS_D2	処理日「日(dd)」に置換します。
処理日の月末日(dd)	PROCESS_D3	処理日の月末日(dd)に置換します。
処理日(yyyyMMdd)	PROCESS_DATE	処理日(yyyyMMdd)に置換します。

本項では、案件番号採番ルール（フロー連携）マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

案件番号採番ルール（フロー連携）マスタは、連携するフローと案件番号採番ルールの情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

i コラム

案件番号採番ルール（フロー連携）で定義した設定を有効にするには、フローに紐付くコンテンツの「案件番号採番クラス」を「拡張（採番ルール定義による採番番号）」に設定する必要があります。詳細は、[新規登録](#)を参照してください。

案件番号採番クラス* 拡張(採番ルール定義による採番番号)

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール（フロー連携）」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- フローID
採番ルールに連携させるフローを選択します。
 - 採番ルール定義ID
フローに連携させる採番ルール定義を選択します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「案件番号採番ルール (フロー連携)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい採番ルールの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- フローID
- フロー名
- 採番ルール定義ID
- 採番ルール定義名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	▲ フローID	フロー名	採番ルール定義ID	採番ルール定義名
1	0_budget	0_予算連携	matterDetail	案件明細
2	0_budgetsettle	0_予算実績連携	matterDetail	案件明細
3	0_matterdtl	0_案件明細	matterDetail	案件明細
4	0_route_detail	旅程明細 (連携) カレンダーデータ連携	rodem	RODEM連携
5	0_st2-1	費用振替明細	journalDetail	費用振替明細
6	bankaccount_v01	K201 口座変更申請	bankaccount	口座変更申請
7	billpayment_v01	K114 経費支払申請	billpayment	経費支払申請
8	chgepfamily_v01	K203 家族異動申請	chgepfamily	家族異動申請
9	commroute_v01	K202 通勤経路変更申請	commroute	通勤経路変更申請
10	etexpadv_v01	K105 交際費事前申請	etexpadv	交際費事前申請
11	etexpadv_v02	K112 交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv	交際費事前申請
12	etexpstl_v01	K106 交際費精算申請	etexpstl	交際費精算申請
13	etexpstl_v02	K113 交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl	交際費精算申請
14	general_v01	K901 汎用申請	general	汎用申請
15	gnexpadv_v01	K101 経費事前申請	gnexpadv	経費事前申請
16	gnexpadv_v02	K107 経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv	経費事前申請
17	gnexpstl_v01	K102 経費精算申請	gnexpstl	経費精算申請

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

案件番号採番ルール (フロー連携)

フローID*	<input checked="" type="checkbox"/> 費用振替明細
採番ルール定義ID*	<input checked="" type="checkbox"/> 費用振替明細

次の項目は編集不可項目です。

- フローID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

案件番号採番ルール (フロー連携)

フローID*	<input checked="" type="checkbox"/> 費用振替明細
採番ルール定義ID*	<input checked="" type="checkbox"/> 費用振替明細

確認

更新します。

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow Collaboration サンプル サイトマップ 青補伝已 ?

案件番号採番ルール (フロー連携) 更新しました。

新規登録

No	▲ フローID	フロー名	採番ルール定義ID	採番ルール定義名
1	0_budget	0_予算連携	matterDetail	案件明細
2	0_budgetsettle	0_予算実績連携	matterDetail	案件明細
3	0_matterdtl	0_案件明細	matterDetail	案件明細
4	0_route_detail	旅程明細 (連携) カレンダーデータ連携	rodem	RODEM連携
5	0_st2-1	費用振替明細	journalDetail	費用振替明細
6	bankaccount_v01	K201 口座変更申請	bankaccount	口座変更申請
7	billpayment_v01	K114 経費支払申請	billpayment	経費支払申請
8	chgepfamily_v01	K203 家族異動申請	chgepfamily	家族異動申請
9	commroute_v01	K202 通勤経路変更申請	commroute	通勤経路変更申請
10	etexpadv_v01	K105 交際費事前申請	etexpadv	交際費事前申請
11	etexpadv_v02	K112 交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv	交際費事前申請
12	etexpstl_v01	K106 交際費精算申請	etexpstl	交際費精算申請
13	etexpstl_v02	K113 交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl	交際費精算申請
14	general_v01	K901 汎用申請	general	汎用申請
15	gnexpadv_v01	K101 経費事前申請	gnexpadv	経費事前申請
16	gnexpadv_v02	K107 経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv	経費事前申請
17	gnexpstl_v01	K102 経費精算申請	gnexpstl	経費精算申請

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	採番ルール定義ID	○	100	
2	フローID	○	20	

データサンプル

```
"matterDetail","0_matterdtl"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/numbering_flow

ファイル名 import.csv

コラム

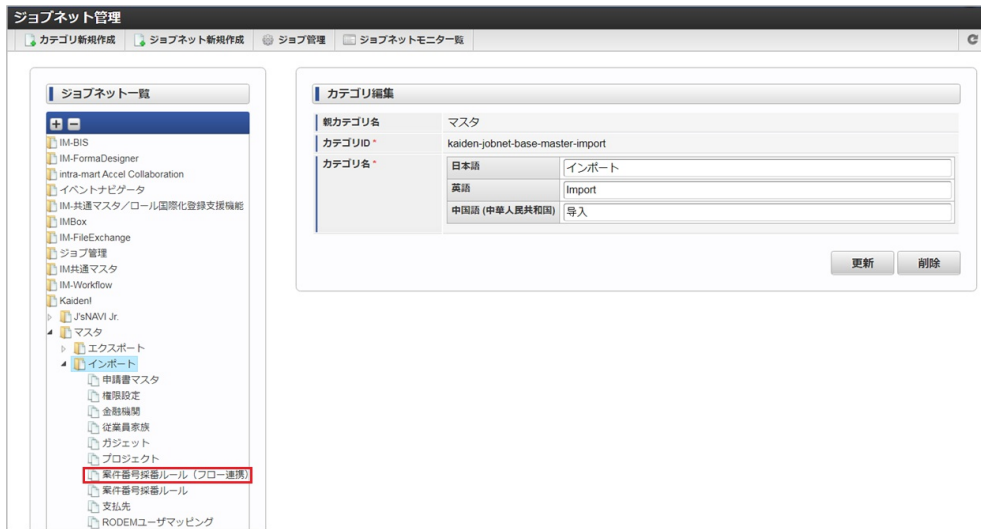
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

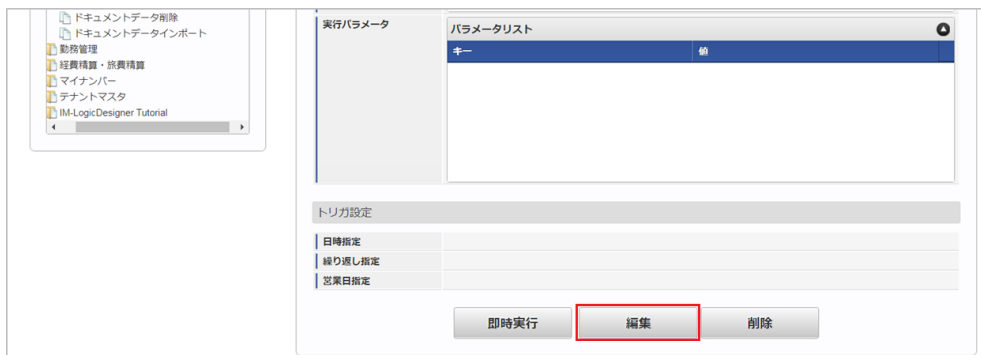
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

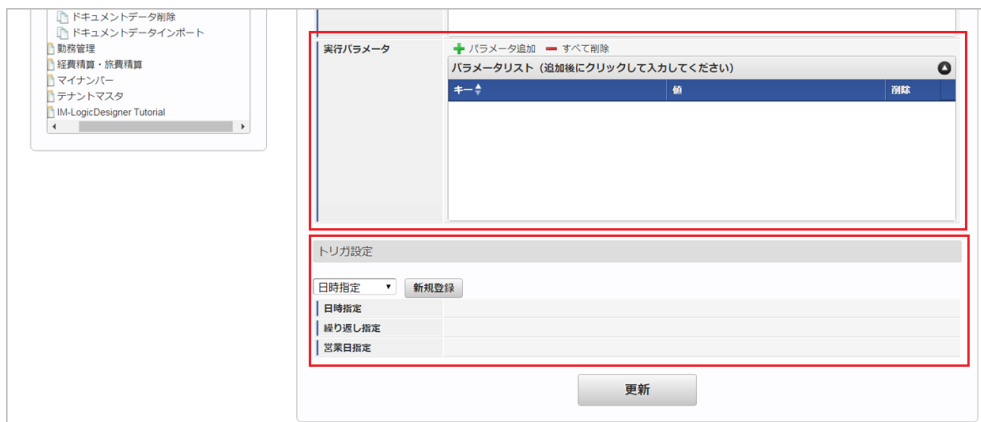
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「案件番号採番ルール（フロー連携）」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

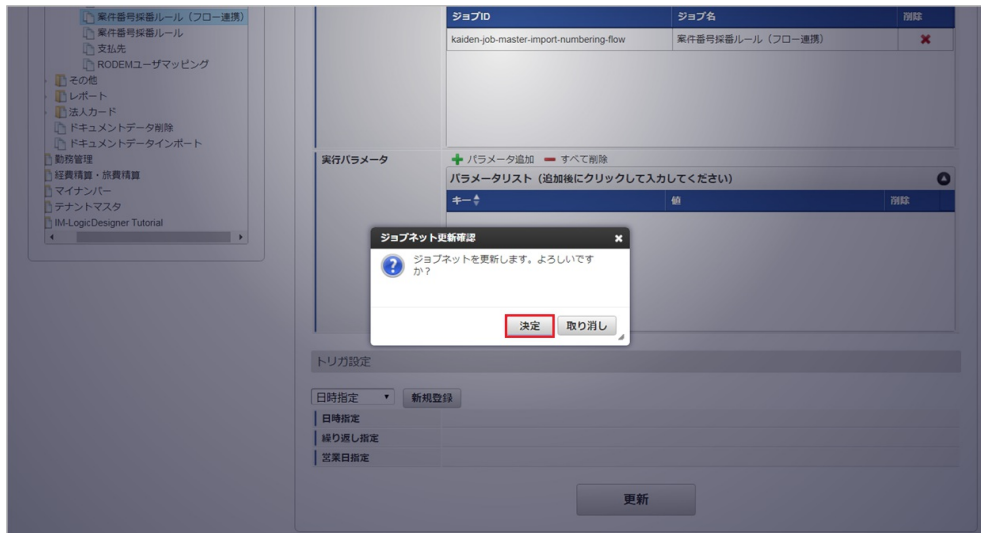
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-numbering-flow	Kaiden! / マスタ / インポート / 案件番号採番ルール (フロー連携)

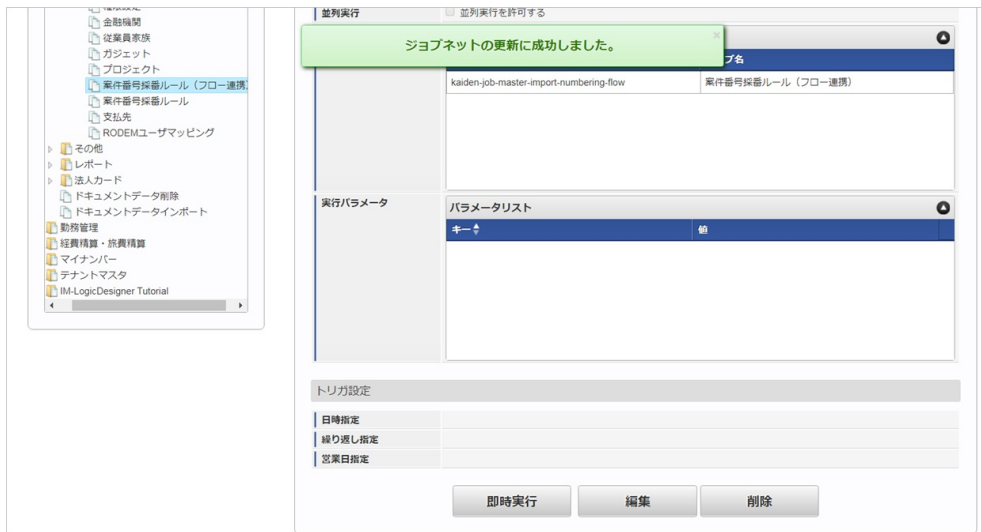
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルール(フロー連携)マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_flow」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「案件番号採番ルール(フロー連携)」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

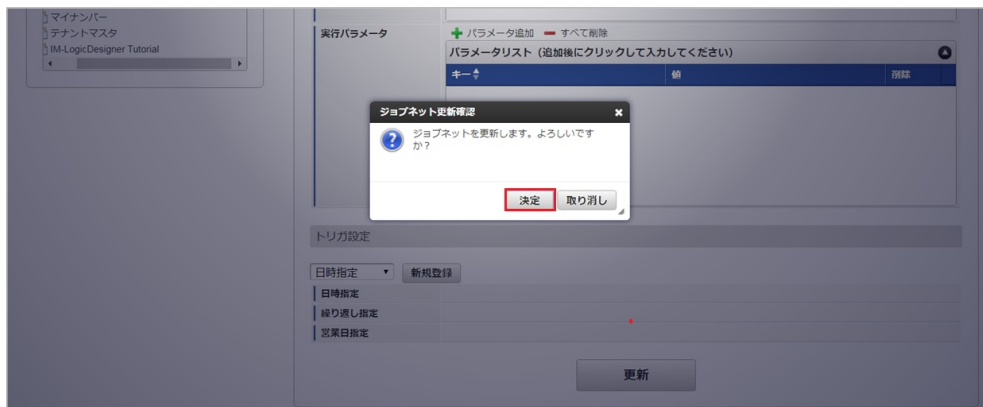
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-numbering-flow	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 案件番号採番号ルール (フロー連携)

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/numbering_flow
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
numberingRuleId	採番ルール定義ID	
flowId	フローID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/numbering_flow/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS

名称	キー	説明/設定値
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,)</p> <ul style="list-style-type: none"> 、 : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 案件番号採番ルール（フロー連携）マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「numbering_flow」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.契約マスタ

本項では、J'sNAVI Jr.契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.契約マスタは、連携する「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 契約企業コード
「J'sNAVI Jr.」に登録している企業コードを入力します。
- 契約企業名称
契約企業名称をロケール別に入力します。
- 契約企業パスワード
「J'sNAVI Jr.」に登録している企業コードに対するパスワードを入力します。
- 認証キー
「J'sNAVI Jr.」の認証キーを入力します。
- 出張手配SSO URL
「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスヘシングルサインオンする際のURLを入力します。
「UTF-8」用のURLを設定してください。
- 出張手配予約情報取得URL
「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスから予約情報を取得する際のURLを入力します。
- 出張手配実績データ取得URL
「[出張手配実績データ取得](#)」で使用します。
- カード利用データ連携URL
「[利用データ取得](#)」で使用します。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
担当者は、「[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)」、「[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)」で担当する契約に紐づくデータを編集・参照できます。

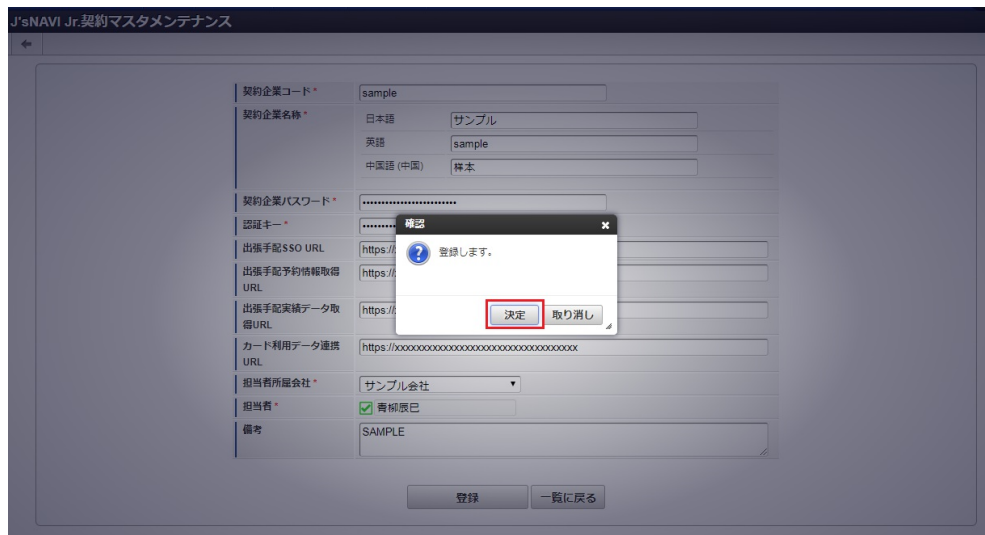
コラム

「[出張手配実績データ取得](#)」、「[利用データ取得](#)」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約企業コード
- 契約企業名称
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	契約企業名称	○	1000	
4	契約企業パスワード	○	100	
5	認証キー	○	100	
6	出張手配SSO URL		1000	
7	出張手配予約情報取得URL		1000	
8	出張手配実績データ取得URL		1000	
9	カード利用データ連携URL		1000	
10	担当者所属会社	○	100	
11	担当者	○	100	
12	備考		1000	

データサンプル

```
"sample","en","sample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","I
"sample","ja","サンプ
ル","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxx
"sample","zh_CN","□
品","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxx
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_contract

ファイル名 import.csv

コラム

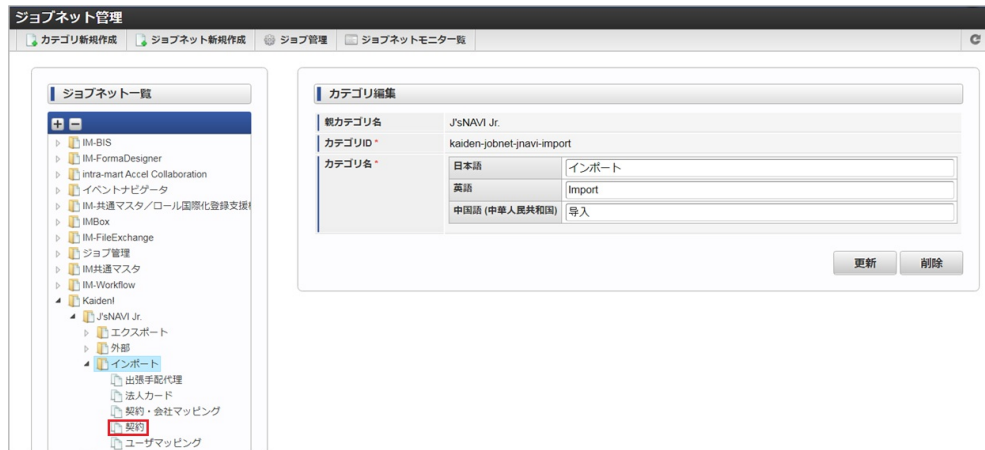
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

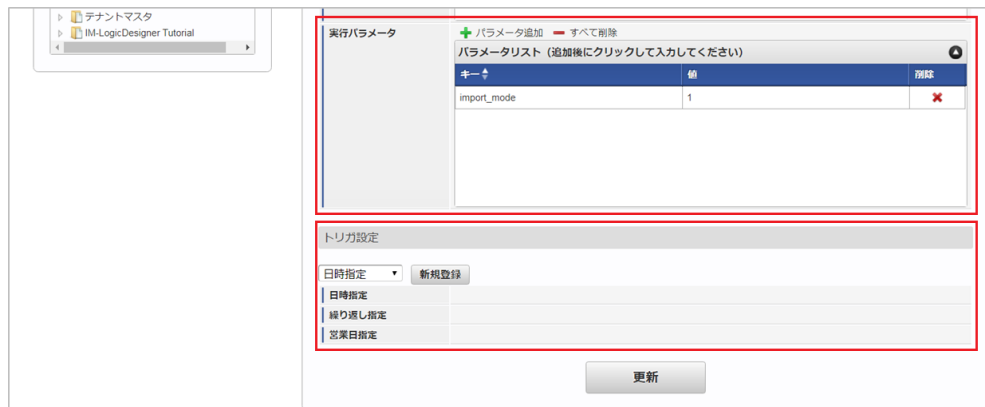
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

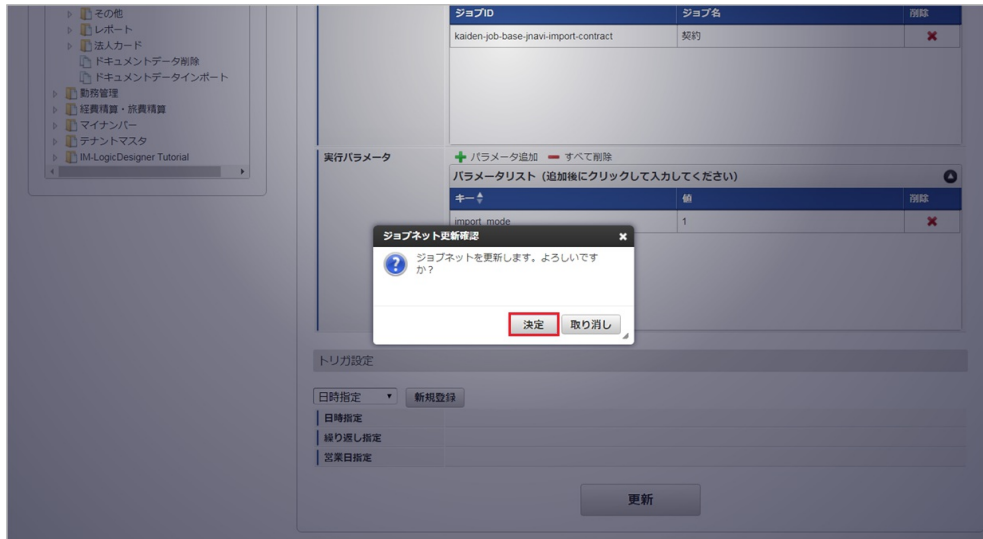
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-contract	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 契約

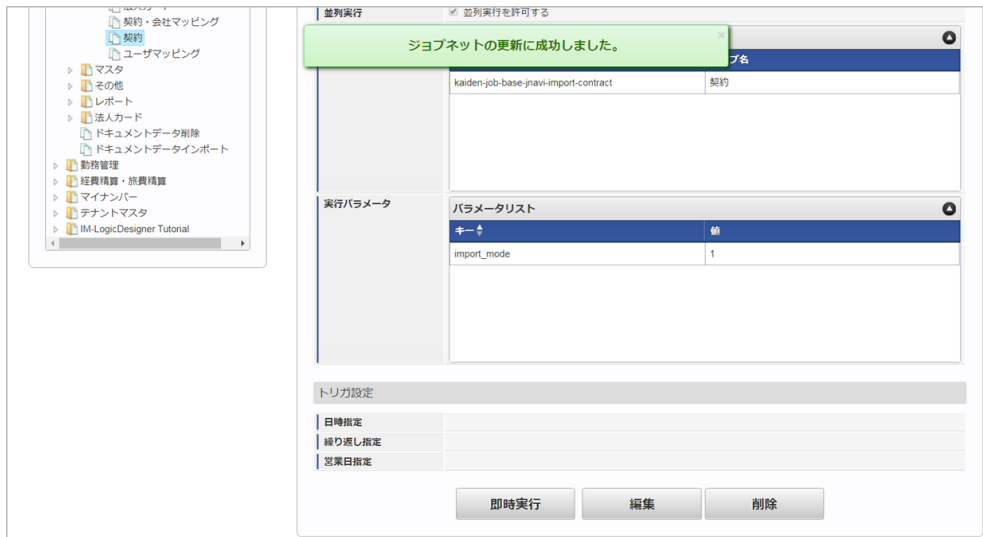
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

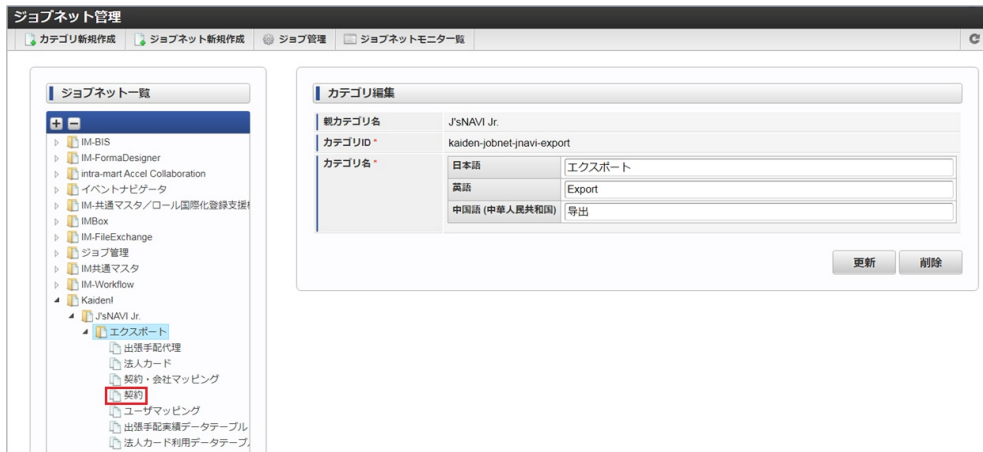
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

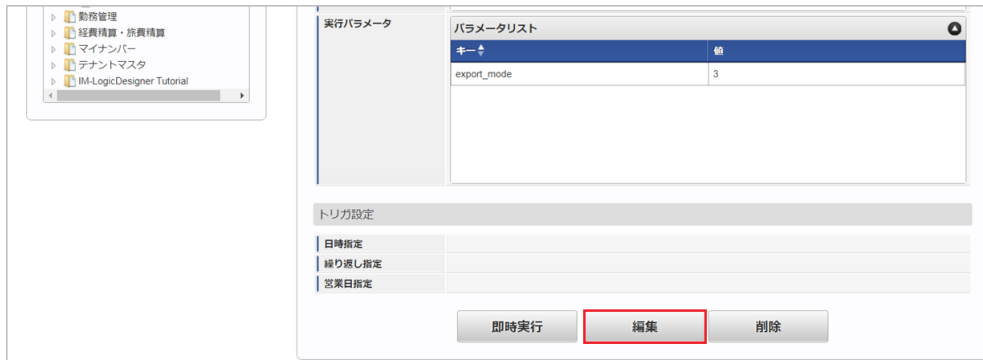
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

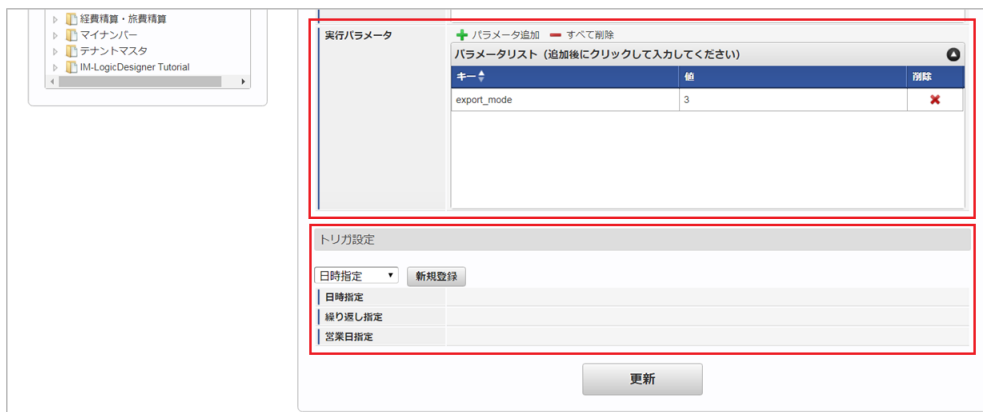
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

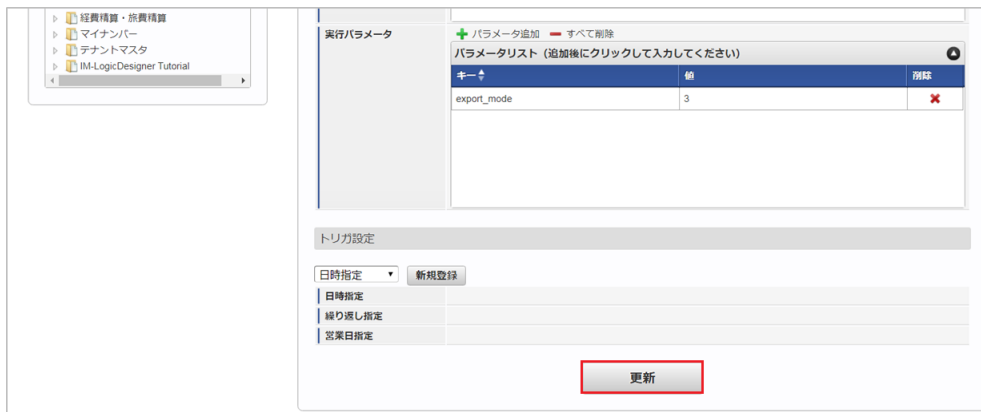
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

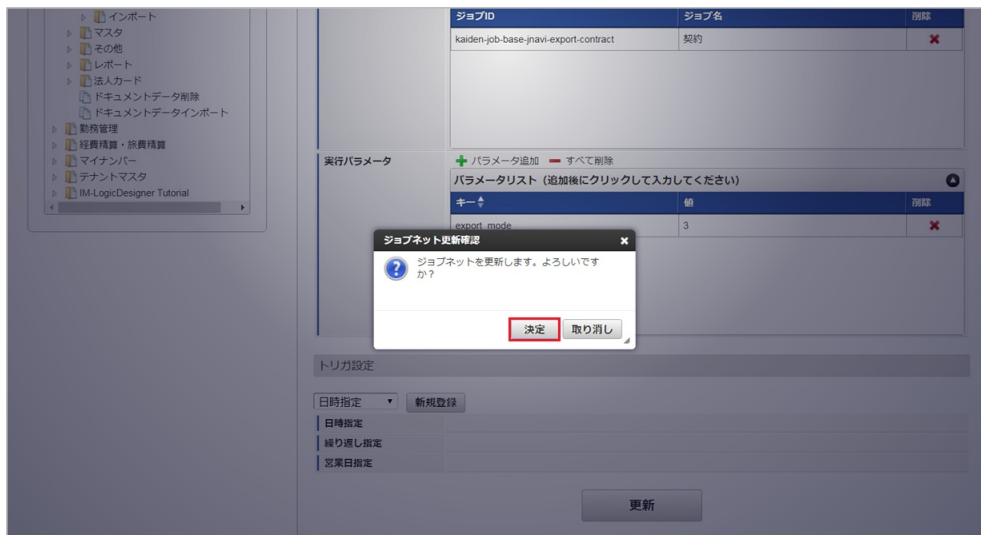
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-contract	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 契約

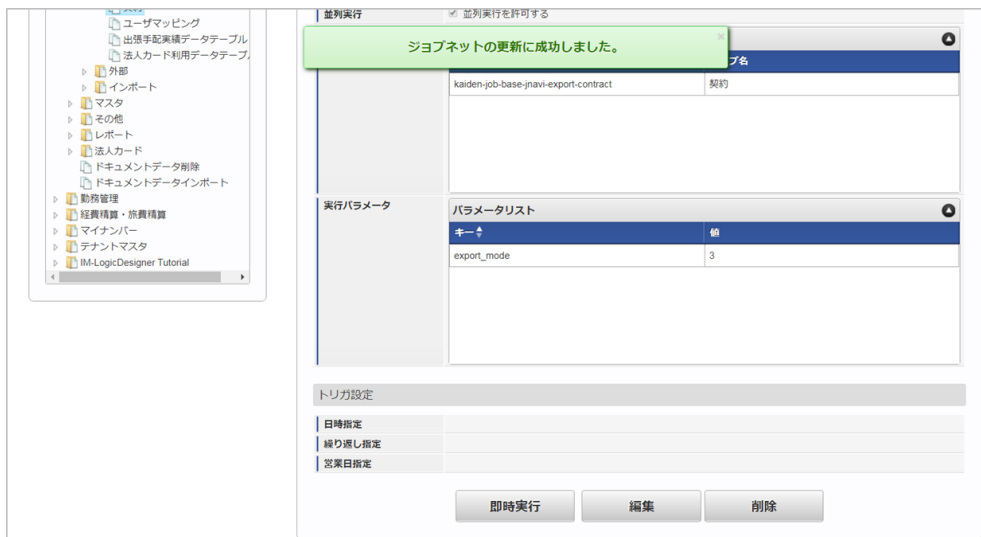
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_contract

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名称	
corporatePassword	契約企業パスワード	
authKey	認証キー	
ticketSsoUrl	出張手配SSO URL	
ticketReserveUrl	出張手配予約情報取得URL	
ticketResultUrl	出張手配実績データ取得URL	
cardDataUrl	カード利用データ連携URL	
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ

本項では、J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

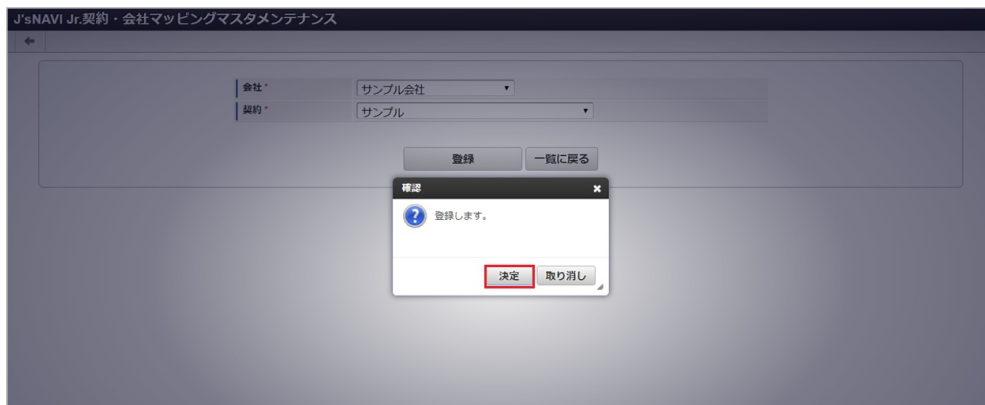


- 会社
「J'sNAVI Jr.」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「J'sNAVI Jr.」に登録済みの契約を選択します。

コラム

「会社」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「契約・会社マッピング」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名称

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

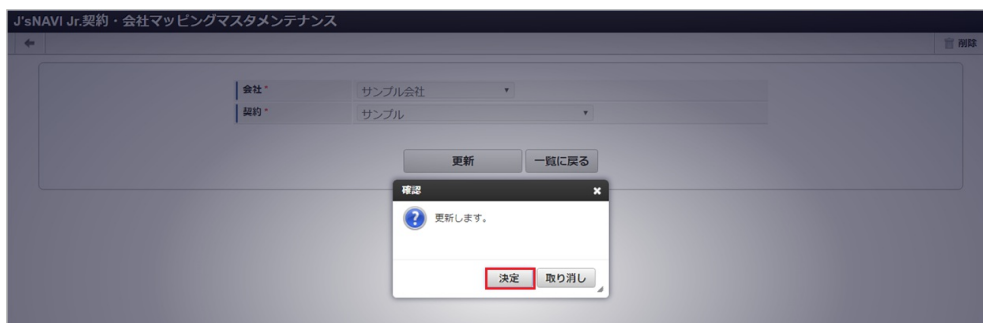
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



! 注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	企業コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_company

ファイル名 import.csv

コラム

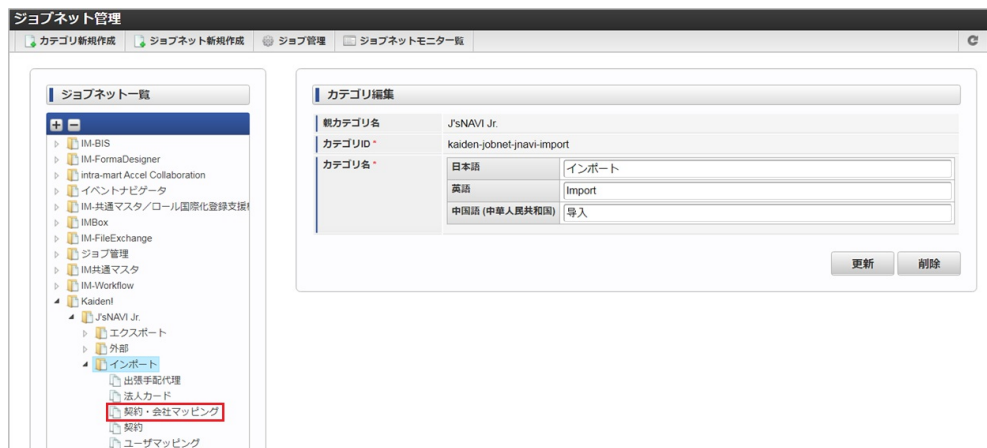
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

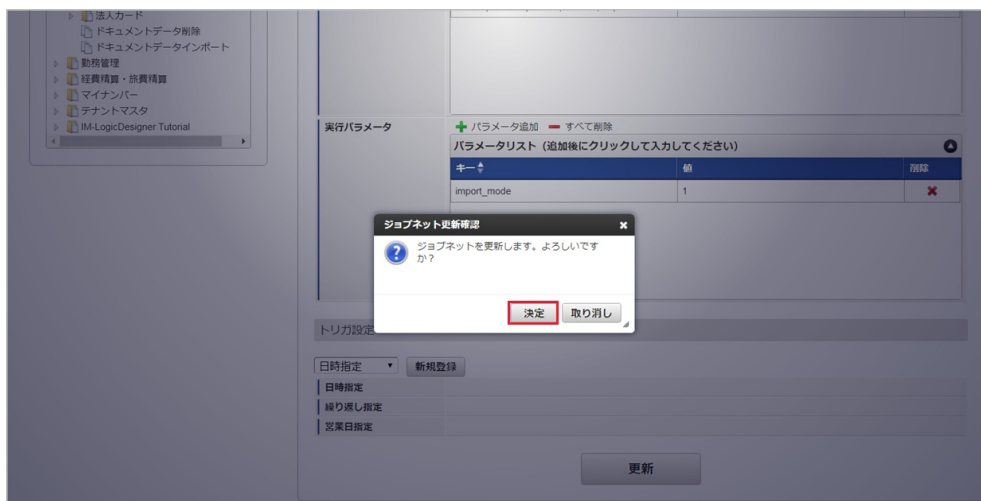
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-company	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定 (実行) 後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_company」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

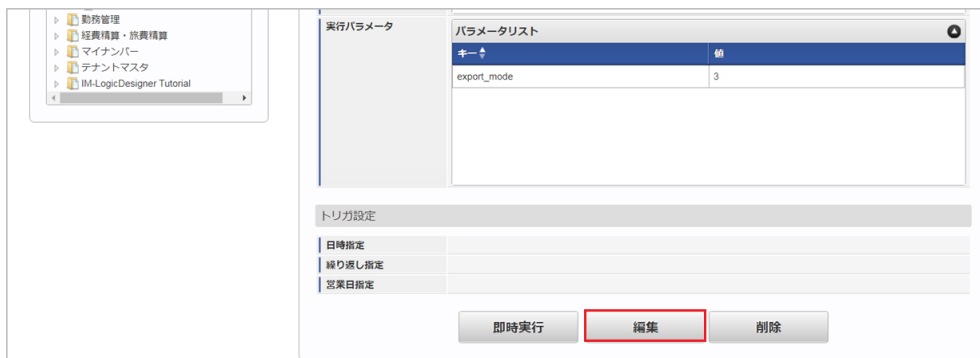
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

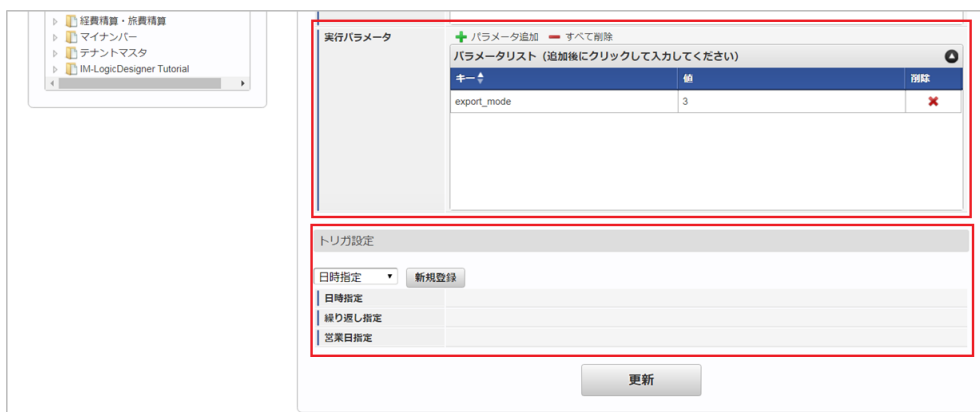
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-company	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the '実行パラメータ' (Execution Parameters) section with a table of parameters. The 'export_mode' parameter has a value of '3'. Below this, the 'トリガ設定' (Trigger Settings) section is visible, including '日時指定' (Date/Time Specification), '日時指定' (Date/Time Specification), '繰り返し指定' (Repeat Specification), and '営業日指定' (Business Day Specification). A red box highlights the '更新' (Update) button at the bottom right.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

The screenshot shows the same job configuration screen as in step 5, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog asks 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). The '決定' (Confirm) button is highlighted with a red box.

7. ジョブネットが設定されました。

The screenshot shows the job configuration screen with a green success message at the top: 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Job network update successful). The '実行パラメータ' section is visible, and the '更新' button has been replaced by '即時実行' (Execute Immediately), '編集' (Edit), and '削除' (Delete) buttons.

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_company/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
corporateCd	企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

J'sNAVI Jr.法人カードマスタ

本項では、J'sNAVI Jr.法人カードマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

J'sNAVI Jr.法人カードマスタは、「J'sNAVI Jr.」からデータを取り込む法人カードを管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 精算会社
法人カードの精算会社を設定します。
- 精算ユーザ
法人カードの精算ユーザを設定します。
- 契約企業
「J'sNAVI Jr.」の契約企業を選択します。
- カードID
システム内で一意となるカードIDを入力します。
- 集計部署コード
集計部署コードを入力します。
将来拡張用の項目です。
- 利用部署コード
利用者の所属部署コードを入力します。
将来拡張用の項目です。
- 利用データ編集可否
利用データの編集可否を設定します。
「可能」を選択した場合、法人カードの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。



コラム

「精算者」、「精算会社」、「契約企業」は、開始日を検索基準日としています。



注意

悪用の恐れがあるため、「カードID」に、法人カードのカード番号を入力しないでください。
「カードID」には、法人カードを特定するためのシステム内で一意の任意のIDを入力してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい法人カードの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算会社
- 精算ユーザ

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

法人カードマスタメンテナンス

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 - 終了日 1900/01/01 - 2999/12/31

精算会社 サンプル会社

精算ユーザ 青柳辰巳

契約企業 サンプル

カードID sample

集計部署コード sample

利用者部署コード sample

利用データ編集可否 可能 不可能

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 契約企業
- カードID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

法人カードマスタメンテナンス

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 - 終了日 1900/01/01 - 2999/12/31

精算会社 サンプル会社

精算ユーザ 青柳辰巳

契約企業 サンプル

カードID sample

集計部署コード sample

利用者部署コード sample

利用データ編集可否 可能 不可能

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow Collaboration サンプル サイトマップ 青柳辰巳

法人カードマスタメンテナンス 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	精算会社	精算ユーザ	契約企業	カードID	開始日	終了日
1	サンプル会社	生田一哉	スマセイ情報システム	S0003	2000/01/01	2999/12/31
2	サンプル会社	青柳辰巳	サンプル	sample	1900/01/01	2999/12/31
3	サンプル会社	青柳辰巳	スマセイ情報システム	asdas	2000/01/01	2999/12/31
4	サンプル会社	大塚博文	スマセイ情報システム	S0004	2000/01/03	2020/12/29
5	サンプル会社	坂本隼子	スマセイ情報システム	S0005	2000/01/01	2999/12/31
6	サンプル会社	林政義	スマセイ情報システム	asda	2000/01/02	2020/12/30

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	100	
2	カードID	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	
6	集計部署コード		100	
7	利用者部署コード		100	
8	精算会社コード	○	100	
9	精算ユーザコード	○	100	
10	利用データ編集可否	○	1	0 : 無効 1 : 有効

データサンプル

```
"sample","sample","1900/01/01","2999/12/31","0","sample","sample","comp_sample_01","aoyagi","1"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_card

ファイル名 import.csv

コラム

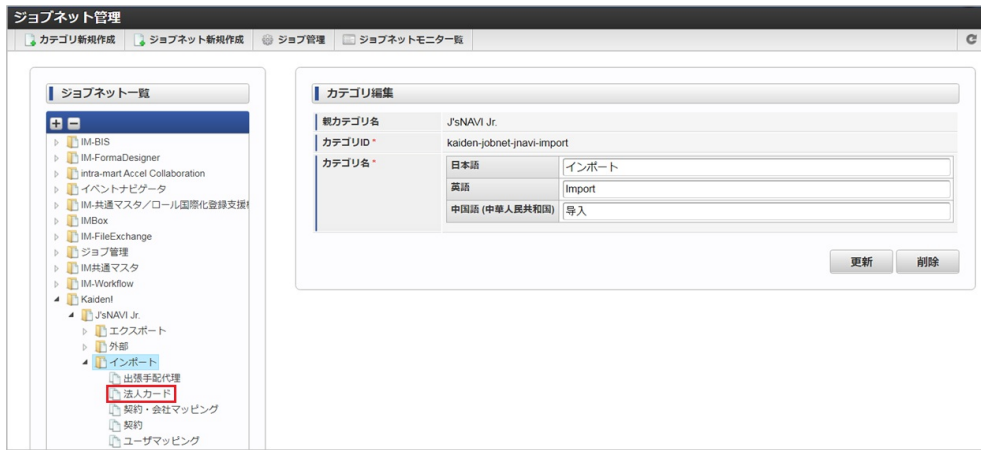
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

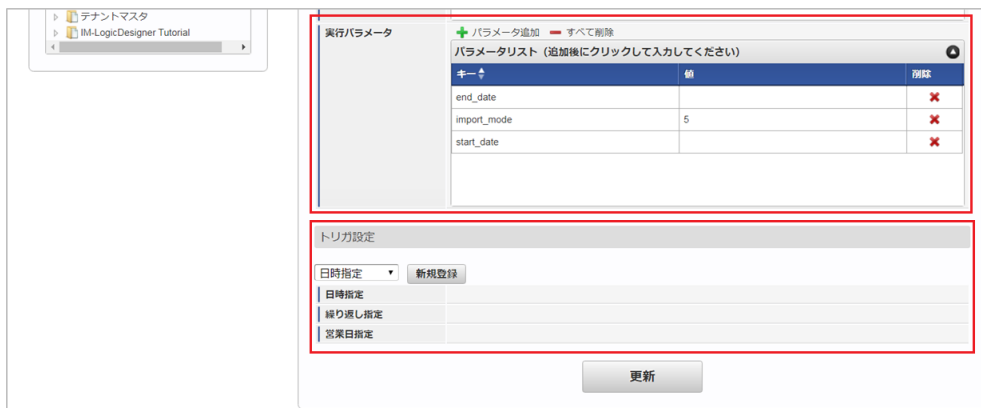
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

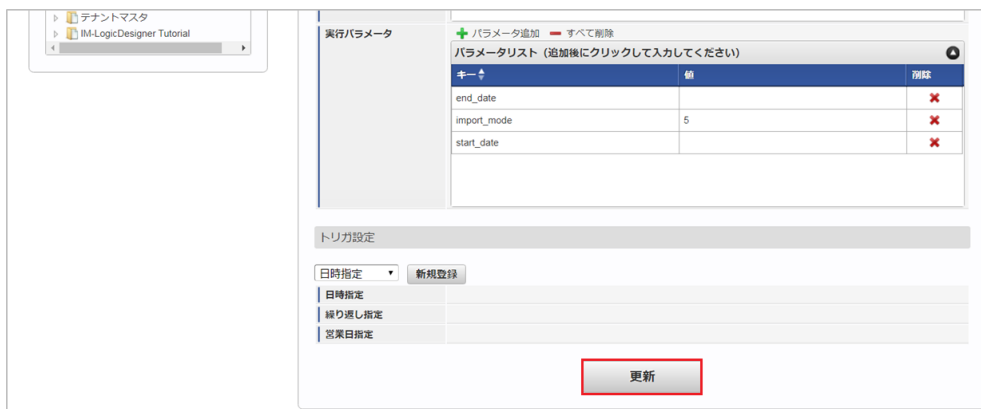
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-card	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 法人カード

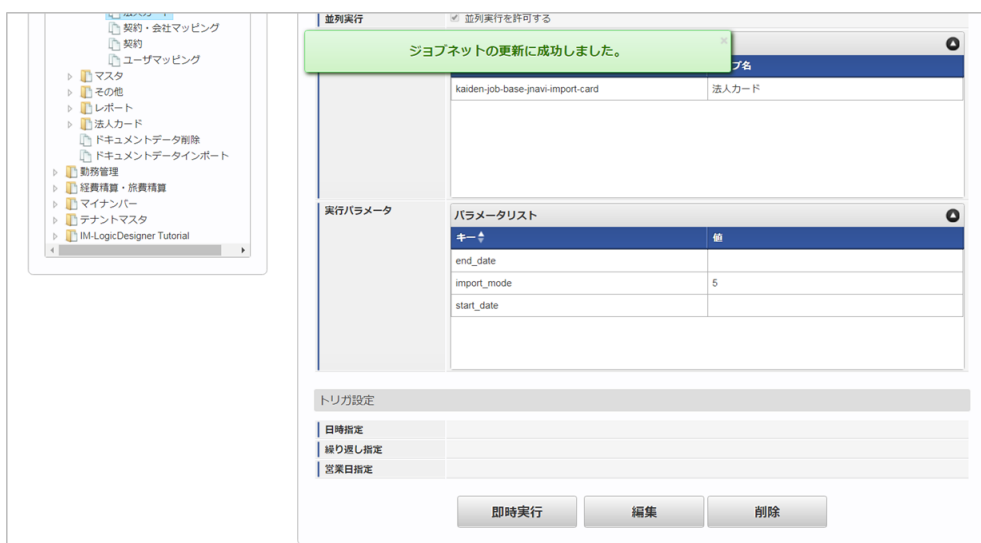
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.法人カードマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

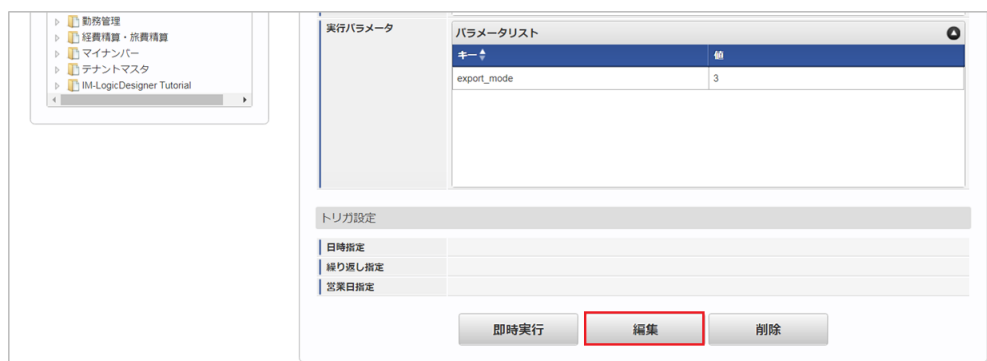
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

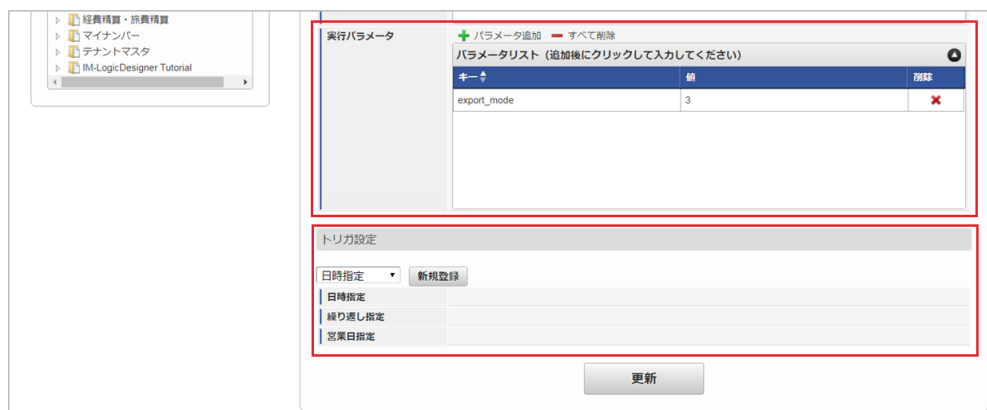
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。


コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

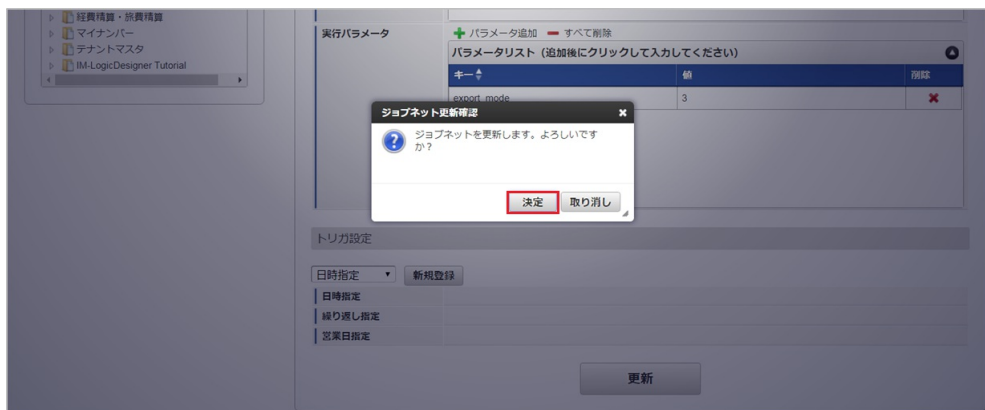
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-card	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 法人カード

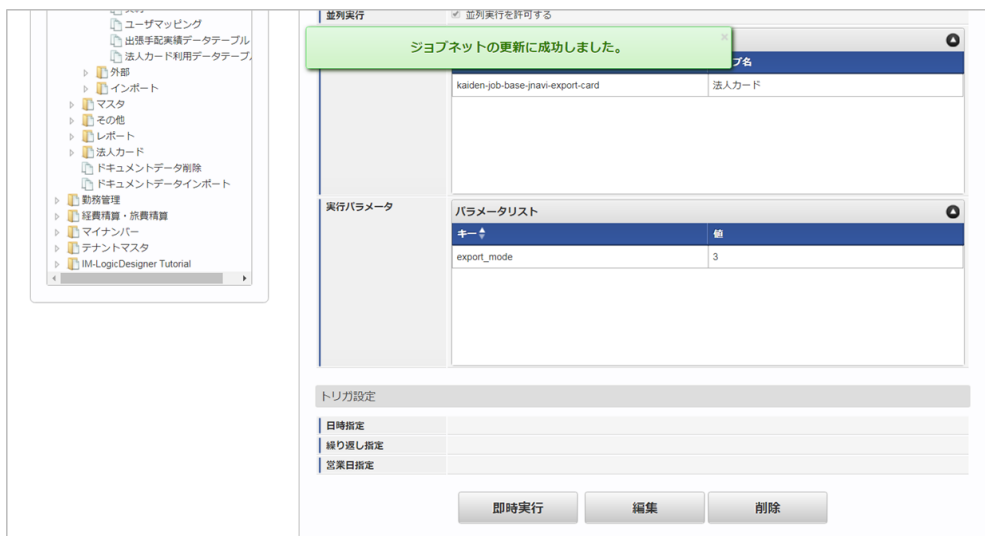
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_card/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	契約企業コード	
cardId	カードID	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
aggregateDeptCd	集計部署コード	
memberDeptCd	利用者部署コード	
settleCompanyCd	精算会社コード	
settleUserCd	精算ユーザコード	
editFlg	利用データ編集可否	0：無効 1：有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日（yyyy/mm/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_card/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 J'sNAVI Jr.法人カードマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張手配ユーザマッピングマスタ

本項では、出張手配ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配ユーザマッピングマスタは、「J'sNAVI Jr.」と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'J'sNAVI Jr. ユーザマッピングマスタメンテナンス' (J'sNAVI Jr. User Mapping Master Maintenance) screen. At the top left, there is a '新規登録' (New Registration) button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table header is visible with columns: No, 会社 (Company), ユーザ (User), J'sNAVI Jr. 契約企業 (J'sNAVI Jr. Contract Company), J'sNAVI Jr. ユーザID (J'sNAVI Jr. User ID), 開始日 (Start Date), and 終了日 (End Date).

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration form for 'J'sNAVI Jr. ユーザマッピングマスタメンテナンス'. The form includes fields for: 開始日 (Start Date) and 終了日 (End Date) with date pickers; 会社 (Company) with a dropdown menu; ユーザ (User) with a dropdown menu and a checked checkbox; J'sNAVI Jr. 契約企業 (J'sNAVI Jr. Contract Company) with a dropdown menu; J'sNAVI Jr. ユーザID (J'sNAVI Jr. User ID) with a text input; and 実績データ編集可否 (实绩 Data Editable) with radio buttons for '可能' (Possible) and '不可能' (Impossible). The '登録' (Register) button is highlighted with a red box.

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- J'sNAVI Jr. 契約企業
「J'sNAVI Jr.」契約企業を選択します。
- J'sNAVI Jr. ユーザID
「J'sNAVI Jr.」で登録するユーザIDを登録します。
- 実績データ編集可否
利用データの編集可否を設定します。
「可能」を選択した場合、出張手配実績データの「利用データステータス」、「精算ユーザ」を変更可能です。

コラム

「ユーザ」、「会社」、「J'sNAVI Jr. 契約企業」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the same registration form as before, but with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box has a question mark icon and the text '登録します。' (Registering). It has two buttons: '決定' (Confirm) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい出張手配ユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社
- ユーザ
- J'sNAVI Jr.契約企業

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

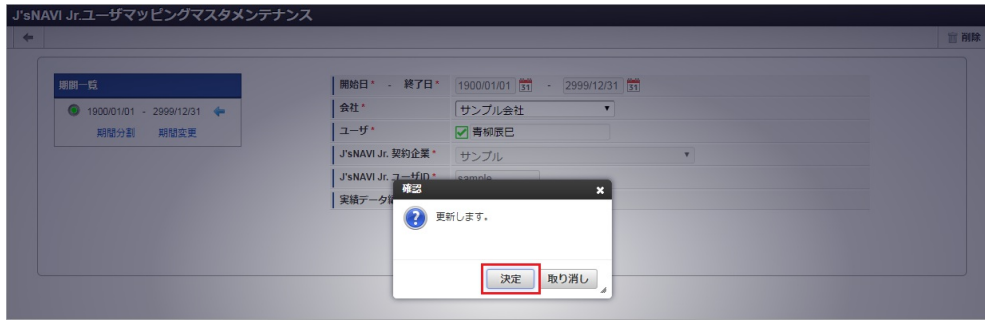
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- J'sNAVI Jr.契約企業
- J'sNAVI Jr.ユーザID

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	企業コード	○	100	J'sNAVI Jr.の企業コード
2	ユーザID	○	100	J'sNAVI Jr.のユーザID
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。

5	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効
6	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
7	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
8	実績データ編集可否	○	1	0 : 無効 1 : 有効

データサンプル

"sample","sample","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","aoyagi","1"

i コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_user

ファイル名 import.csv

i コラム

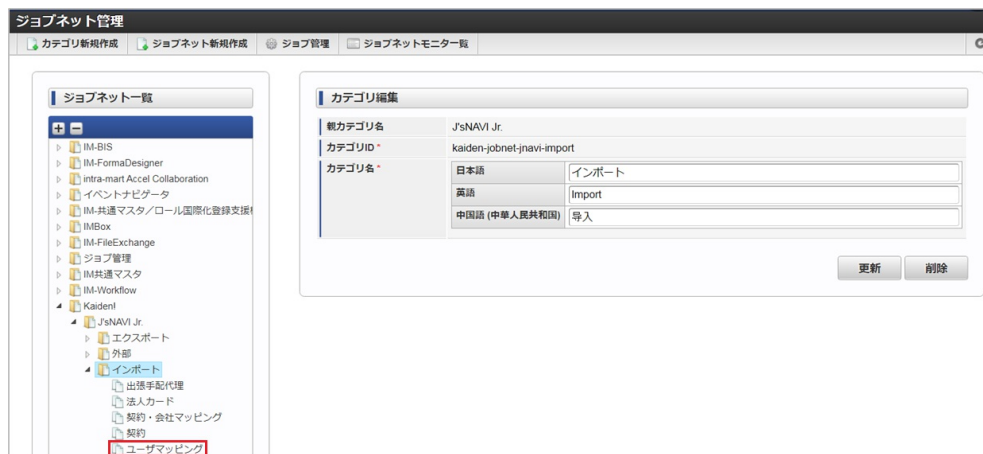
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

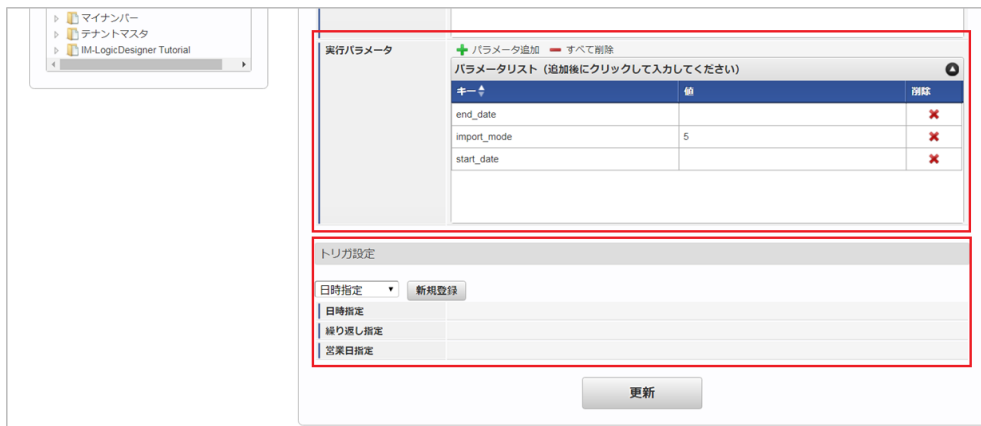
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

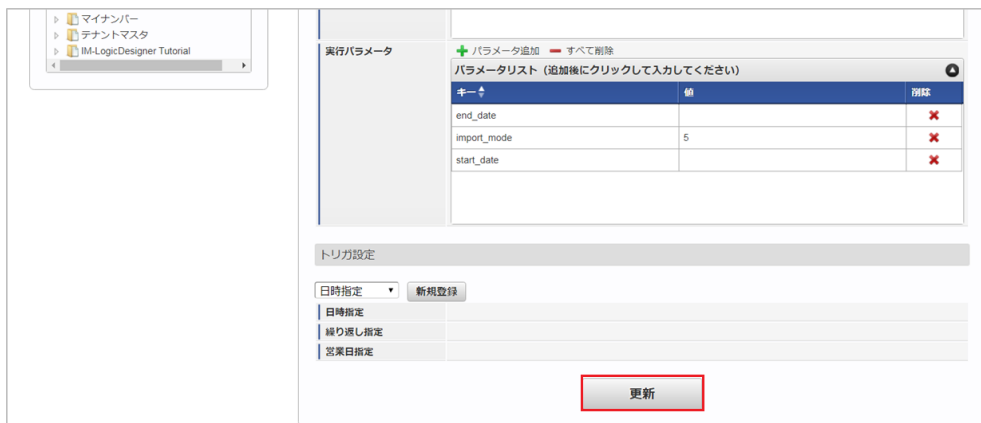
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

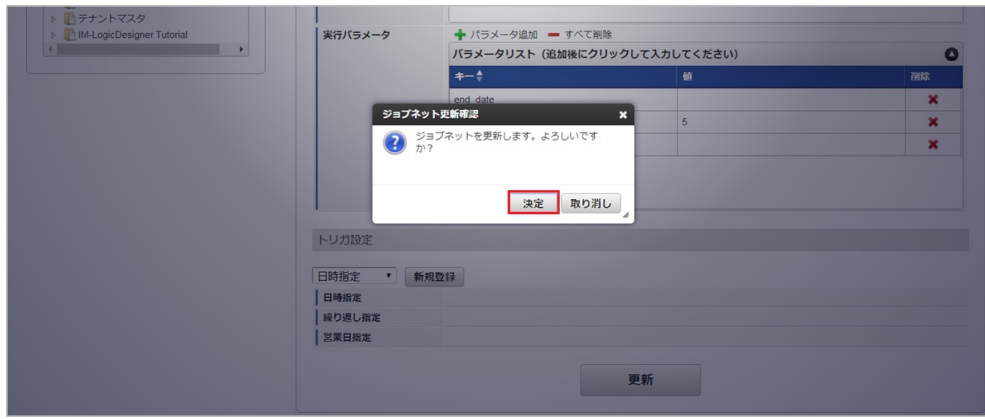
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-base-jnavi-import-corporatecard-card-data Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 出張手配ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

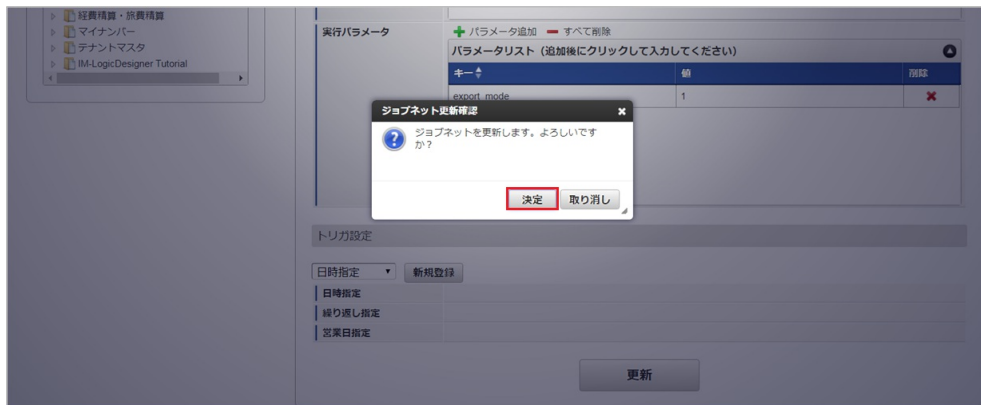
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-corporatecard-card-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / ユーザマッピング

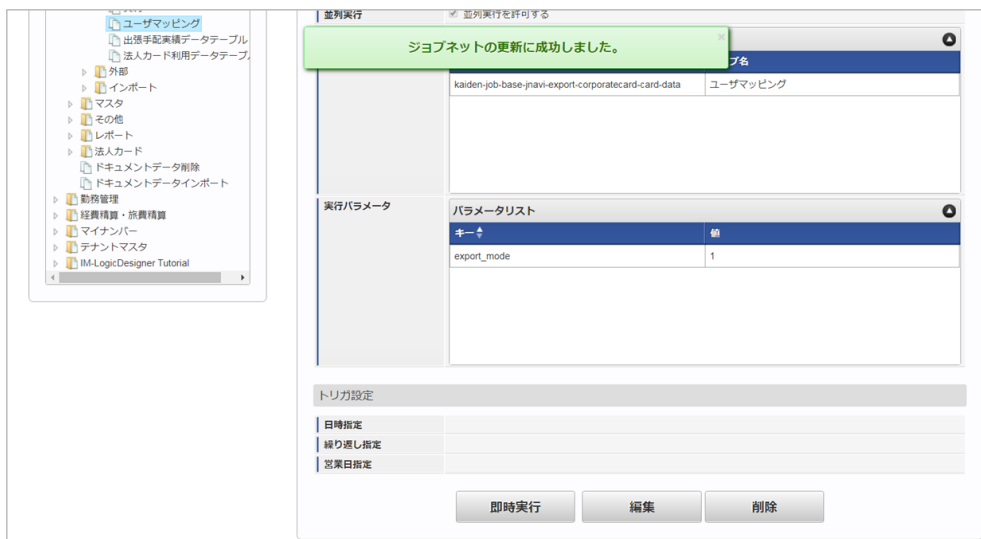
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnavi_user/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
corporateCd	企業コード	J'sNAVI Jr.の企業コード
userId	ユーザID	J'sNAVI Jr.のユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
imUserCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
editFlg	実績データ編集可否	0 : 無効 1 : 有効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時 : kaiden/generic/master/jnavi_user/export.csv)

名称	キー	説明／設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jnavi_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張手配ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_user」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張手配代理マスタ

本項では、出張手配代理マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配代理マスタは、「J'sNAVI Jr.」の出張手配に関する代理情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

出張手配代理マスタに代理先として設定されたユーザは、代理申請時に出張手配が可能です。

また、代理元ユーザが申請した案件について、代理先ユーザが承認者として設定されている場合には、承認時に出張手配が可能です。

出張手配の詳細は「[Kaiden!から J'sNAVI Jr.を使用して出張手配する方法](#)」を参照してください。

出張手配を実施する際は、代理先ユーザも[出張手配ユーザマッピングマスタ](#)に登録する必要があります。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配代理」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 有効期間
開始日と終了日を設定します。
- 会社
代理元の会社を設定します。
- 代理元
代理元ユーザを設定します。
- 代理先
代理先ユーザを設定します。



コラム

「代理元」、「代理先」は、開始日を検索基準日としています。



コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配代理」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

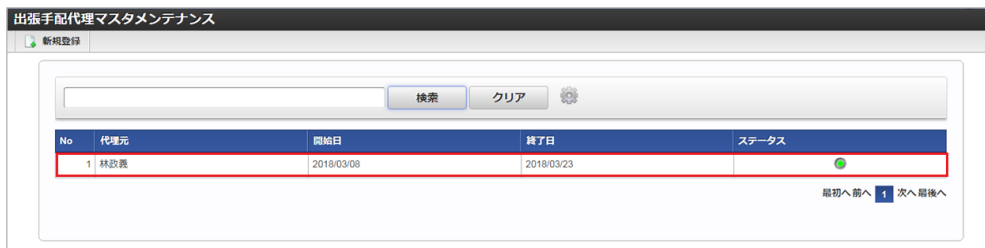


i コラム

検索欄に検索したい出張手配代理マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 代理元

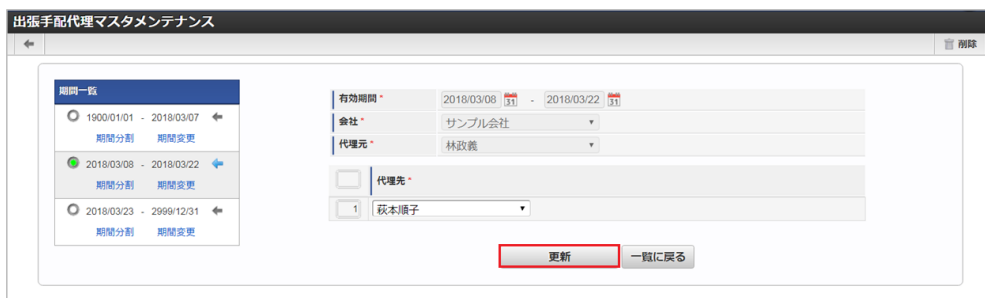
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 代理元

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザID	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term01","1900/01/01","1999/12/31","1"
"comp_sample_01","hayashi","term02","2000/01/01","2999/12/31","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

i コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「ユーザID」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「ユーザID」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ データ形式

import_dtl.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザID	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	代理先ユーザコード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term01","0","1","hagimoto"
"comp_sample_01","hayashi","term02","0","1","hagimoto"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

i コラム

「import_header.csv」、「import_dtl.csv」で設定された「会社コード」、「ユーザID」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jnaviAgt

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

i コラム

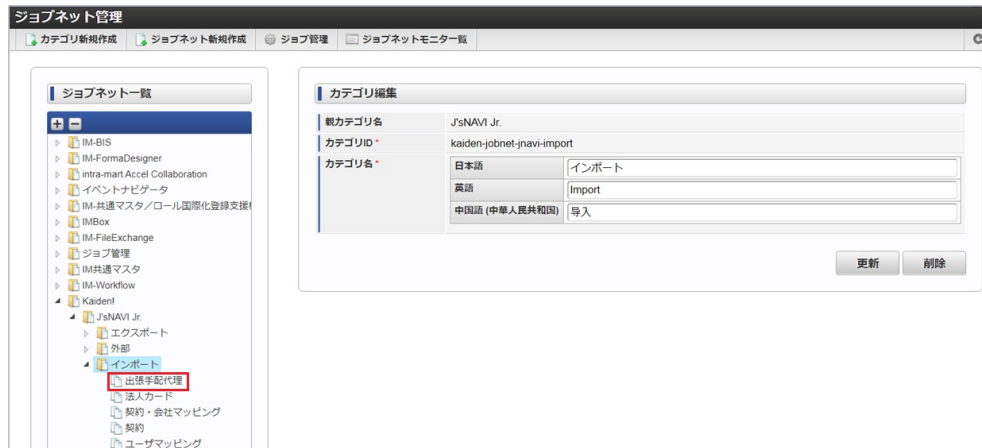
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

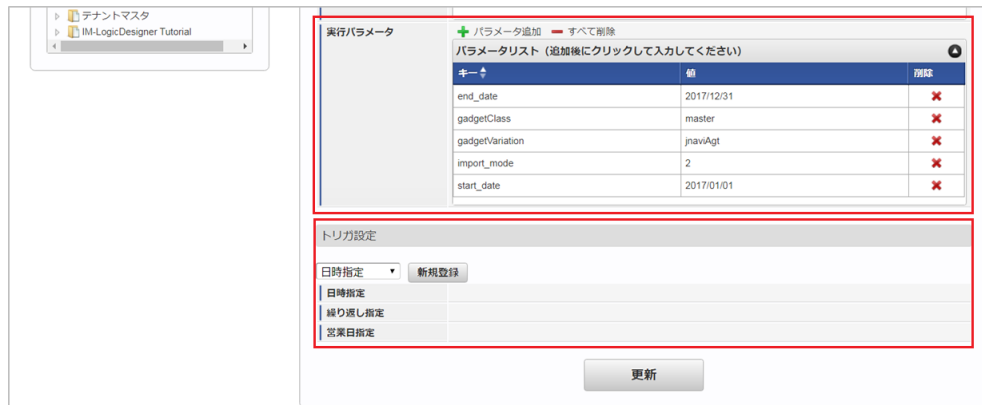
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配代理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

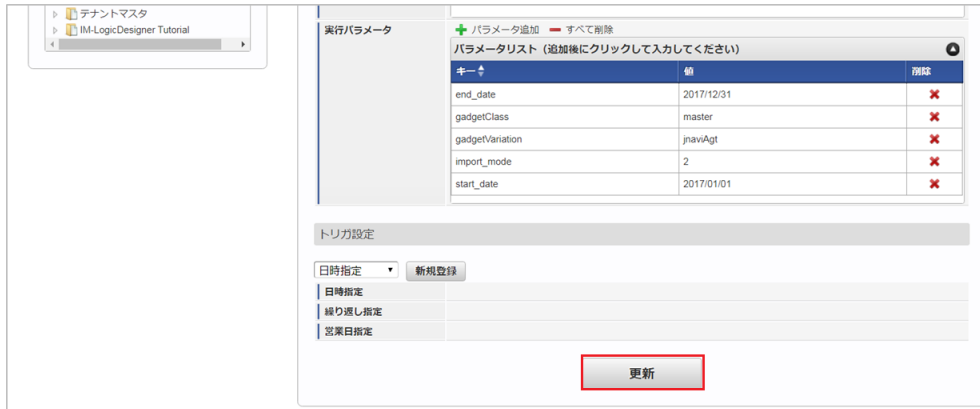
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-import-agt	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / インポート / 出張手配代理

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1: 単一期間(差分)モード▪ 2: 単一期間(一新)モード▪ 3: 単一期間(入替)モード▪ 4: 複数期間(差分)モード▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnaviAgt/import_header.csv import_dtl.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1: 操作なし▪ 2: コピー(copy)▪ 3: アーカイブ(move)▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move)▪ 6: 削除(delete)▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnaviAgt/import_header_{YMDHMSN}.csv import_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none">▪ UTF-8▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none">▪ , : カンマ▪ \t : タブ

名称	キー	説明/設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 出張手配代理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 出張手配代理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnaviAgt」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

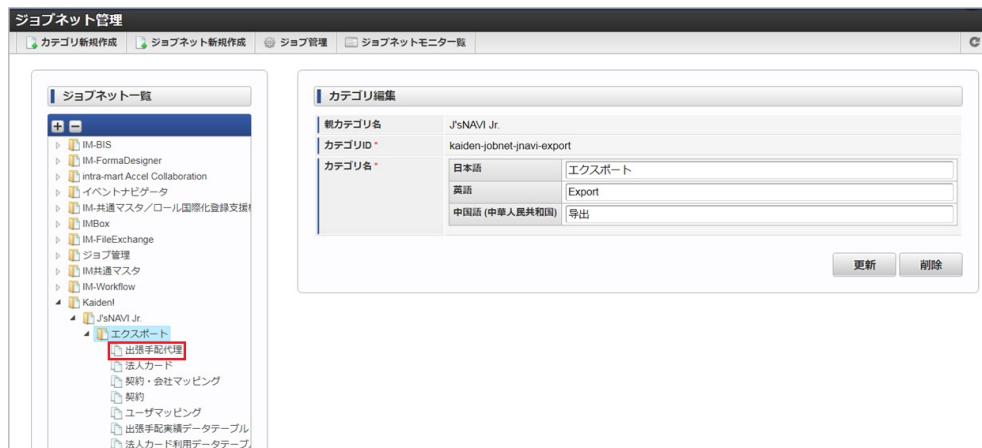
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

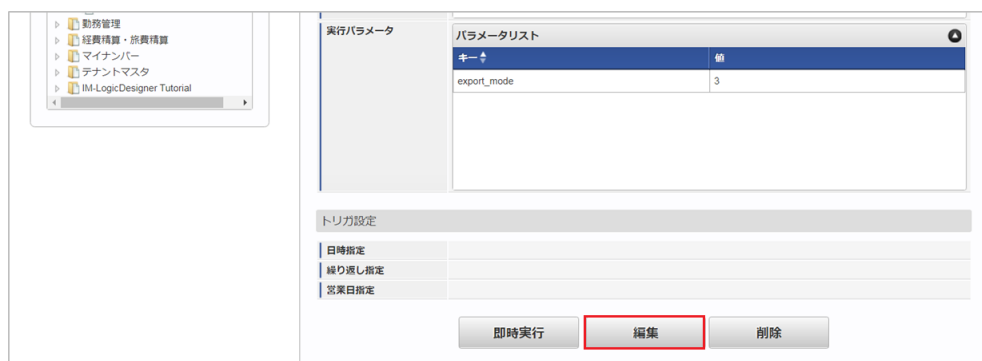
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

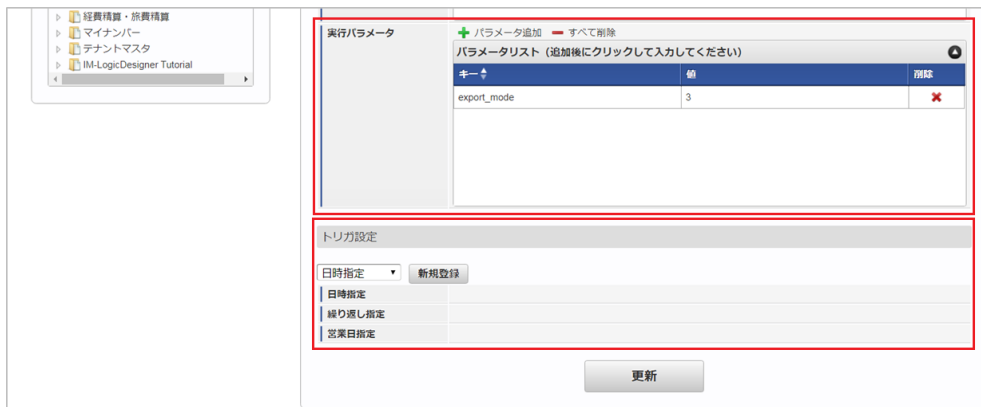
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配代理」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-agt	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / エクスポート / 出張手配代理

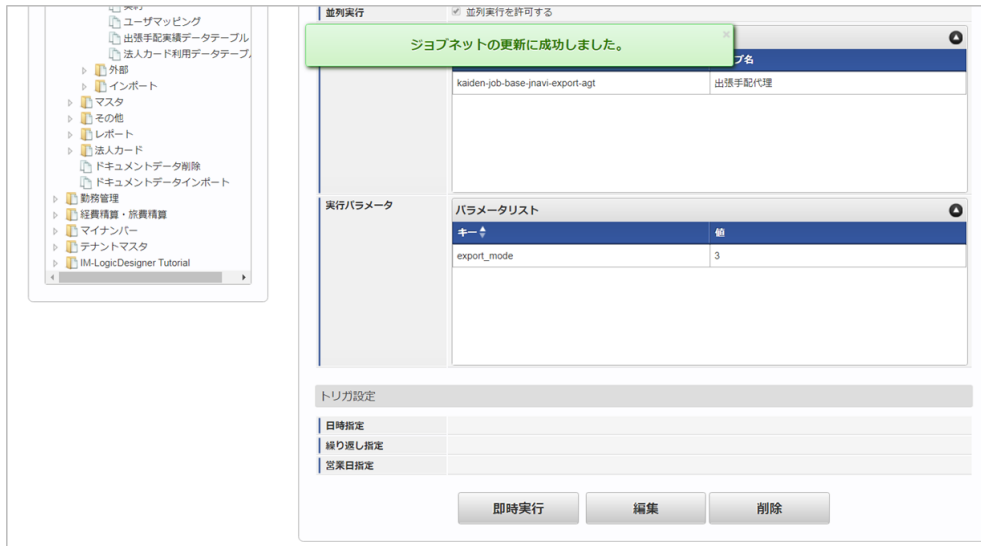
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/
ファイル名	export_header.csv export_dtl.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**

エクスポートファイルのデータ形式です。
 export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	

agentUserCd 代理先ユーザコード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 全件出力モード ▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/export_header.csv export_dtl.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jnaviAgt/export_header_{YMDHMSN}.csv export_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,)</p> <ul style="list-style-type: none"> 、 : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	<p>エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 出張手配代理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。</p>
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	<p>エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 出張手配代理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnaviAgt」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

RODEMユーザマッピングマスタ

本項では、RODEMユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

RODEMユーザマッピングマスタは、「RODEM」と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。



注意

カレンダーデータを使用して精算する際に連携するシステムである「RODEM」がサービス終了したため、当マスタを設定してもカレンダーデータを使用して精算することはできません。

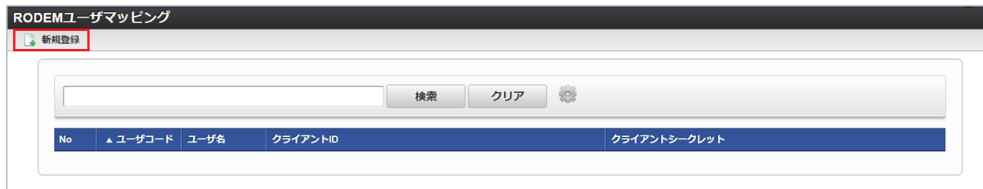
また、Ver2.0.15-PATCH_001で当マスタのメンテナンス画面のメニュー、インポート・エクスポートジョブ、ジョブネットを削除しました。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「RODEMユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 会社
会社を設定します。
- ユーザコード
ユーザを設定します。
- クライアントID
「RODEM」のクライアントIDを入力します。
- クライアントシークレット
「RODEM」のクライアントシークレットを入力します。

コラム

「ユーザコード」は、システム日付を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「RODEMユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したいRODEMユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- クライアントID
- クライアントシークレット

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	ユーザコード	ユーザ名	クライアントID	クライアントシークレット
1	aoyagi	青柳辰巳	sample	sample
2	ueda	上田張男	a	b
3	yoshikawa	吉川一哉	a	b

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザコード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

import.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザID	○	100	
3	クライアントID	○	1000	
4	クライアントシークレット	○	1000	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoiyagi","sample","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rodem_user

ファイル名 import.csv

コラム

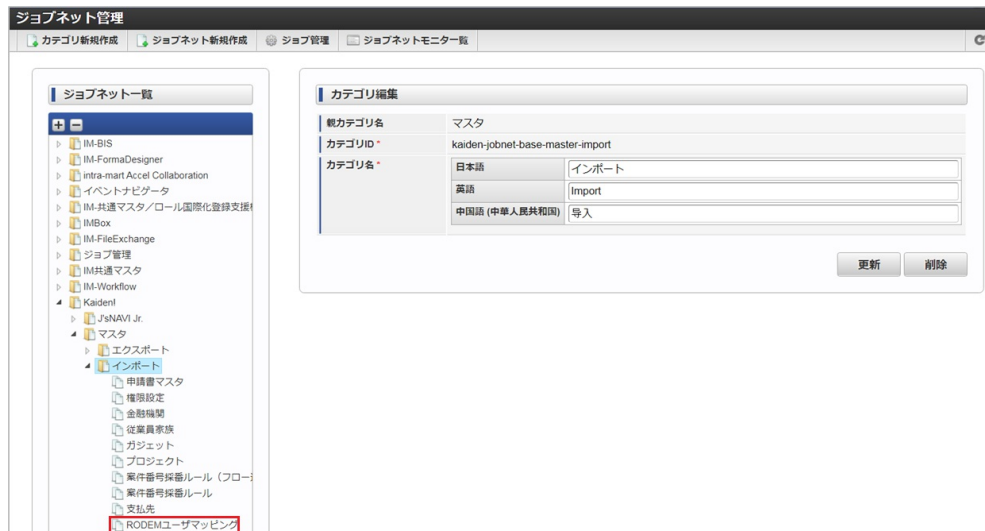
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

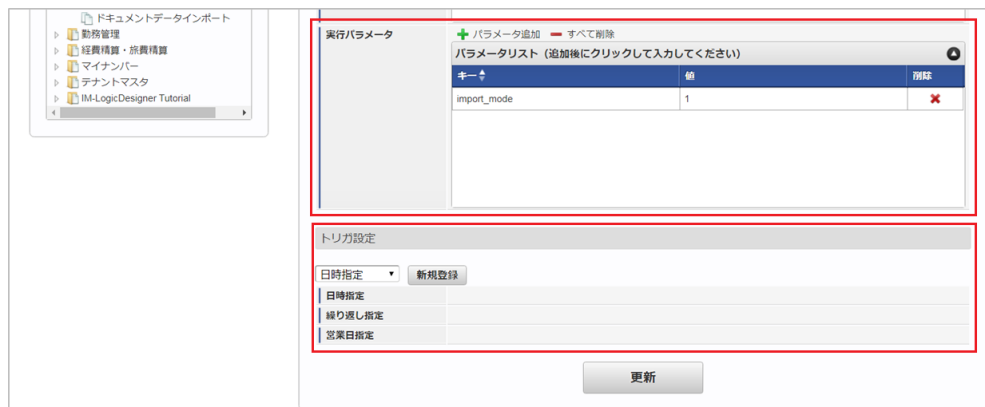
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「RODEMユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-rodem-usersm	Kaiden! / マスタ / インポート / RODEMユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 RODEMユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rodem_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

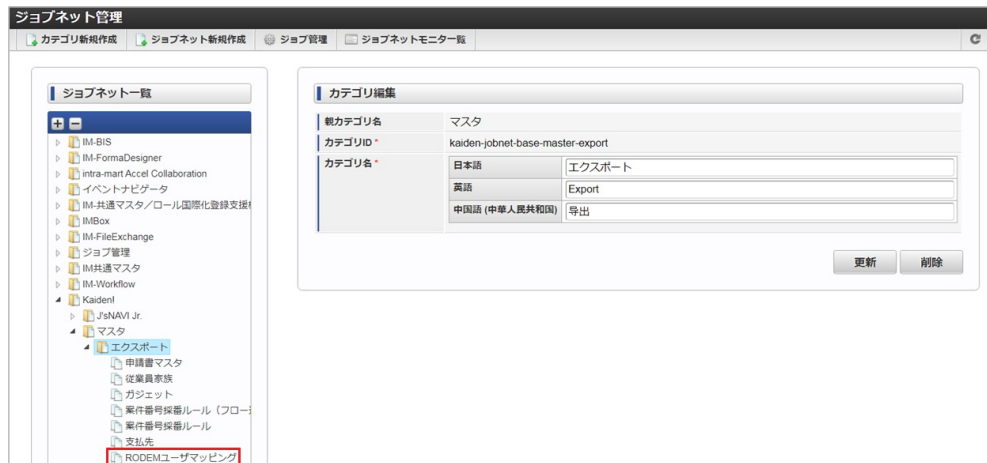
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

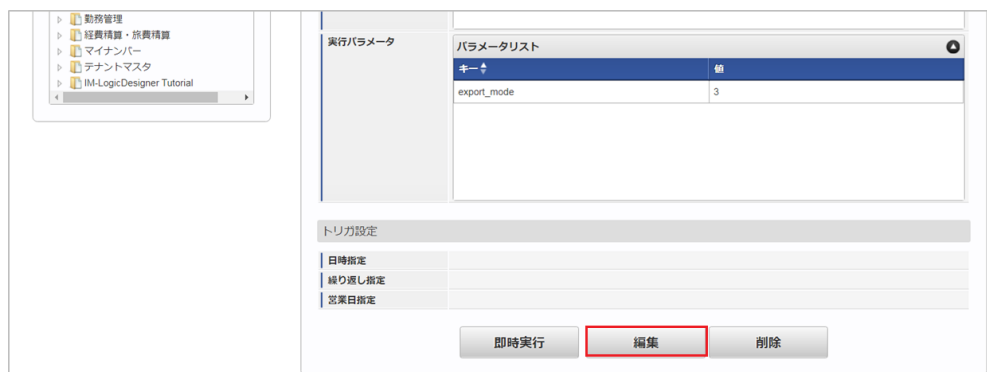
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「RODEMユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-rodem-usersm	Kaiden! / マスタ / エクスポート / RODEMユーザマッピング

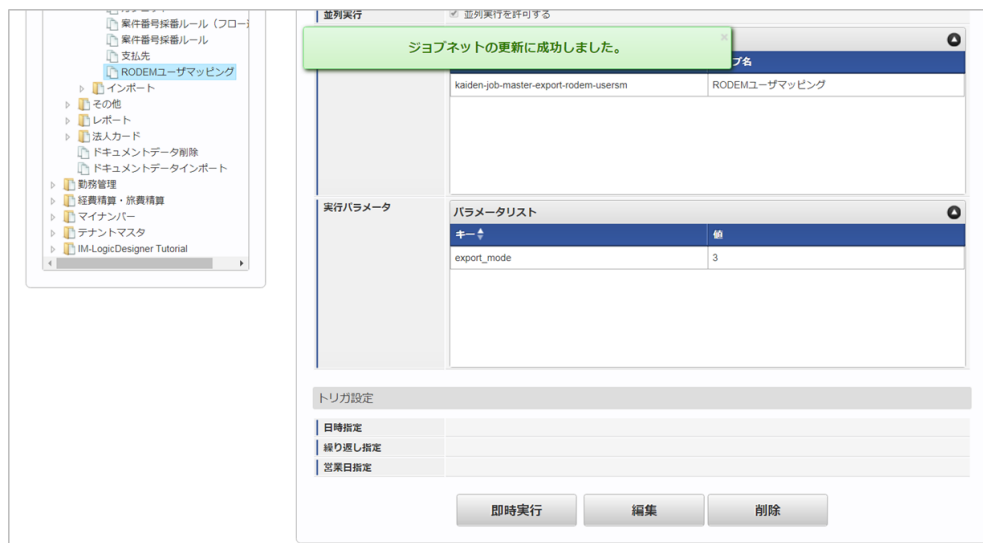
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rodem_user

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

export.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
clientId	クライアントID	
clientSecret	クライアントシークレット	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検 索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rodem_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 RODEMユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rodem_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

予算単位マスタ

本項では、予算単位マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算単位マスタは、予算で使用する項目を管理します。
予算単位マスタの設定内容により、予算で使用する項目が変わります。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算単位」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算単位コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算単位名
予算単位の名称を入力します。
- 予算単位項目
予算単位として紐づけたい予算単位項目を選択します。
 - 予算明細での未選択を許可する
チェックした場合は、予算明細画面の入力で任意項目とします。
チェックをしていない場合は、予算明細画面の入力で必須項目とします。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

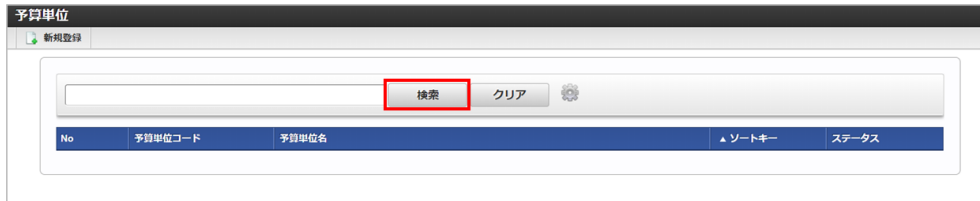
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算単位」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

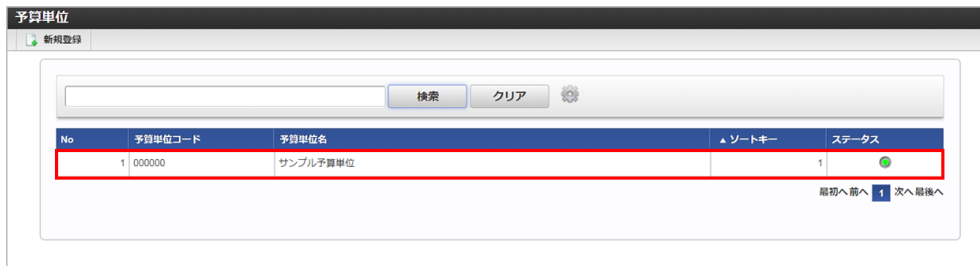


i コラム

検索欄に検索したい予算単位の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算単位コード
- 予算単位名

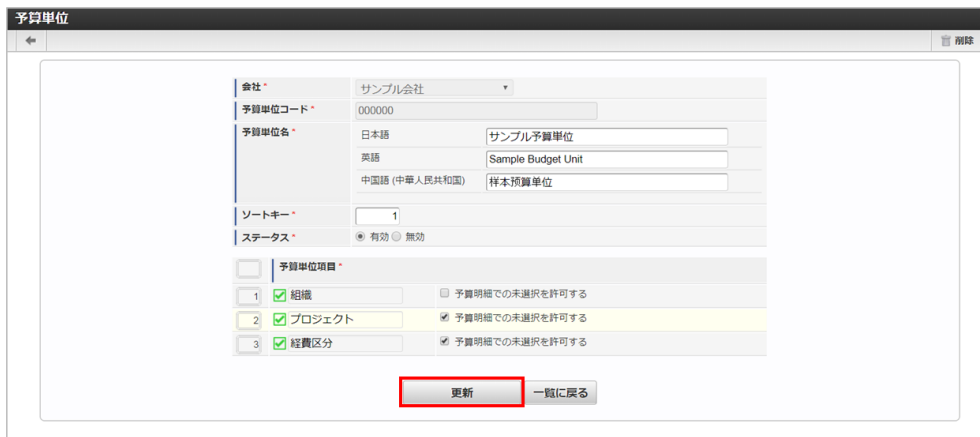
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

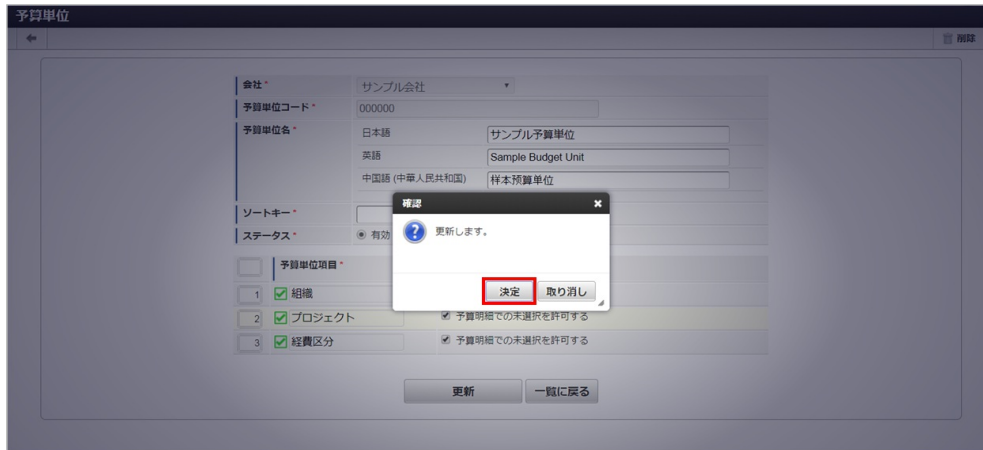
- 会社
- 予算単位コード



コラム

予算単位がすでに予算に紐づけられている場合、予算単位項目の編集および予算単位の削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。



注意

バージョン2.0.13でインポートの方式が変更になりました。
バージョン2.0.12までのファイル形式はインポートできません。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式
import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

1	会社コード	○	100	
2	予算単位コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	予算単位名	○	1000	
5	ソートキー	○	15	
6	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

**コラム**

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","Sample Budget Unit","1","0"
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル予算単位","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","本[]算[]位","1","0"
```

**コラム**

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- **データ形式**

import_detail.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算単位コード	○	100	
3	タプルID	○	18	
4	行番号	○	18	
5	予算単位項目コード	○	100	
6	省略可否フラグ	○	1	0 : 予算明細での未選択を許可しない 1 : 予算明細での未選択を許可する

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","0","1","departmentCd","0"
```

**コラム**

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- **アップロード先**

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/budgetUnit

ファイル名 import_header.csv import_detailv

コラム

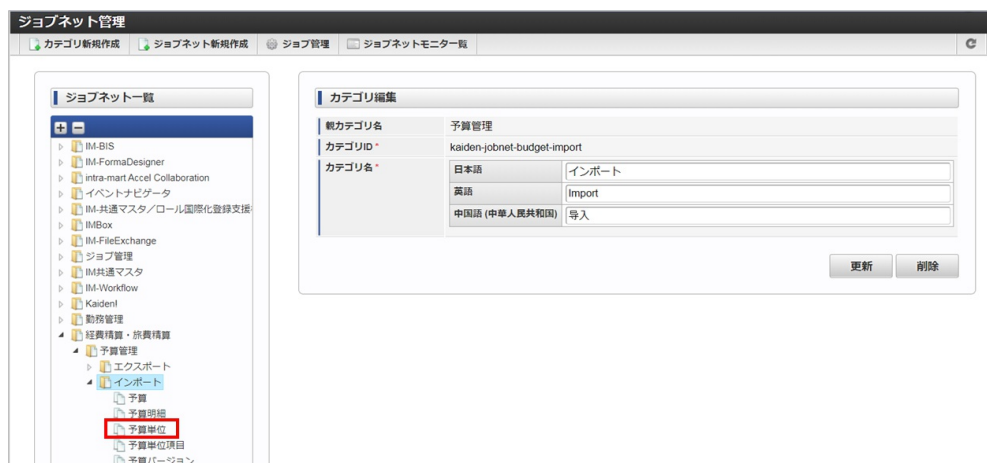
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

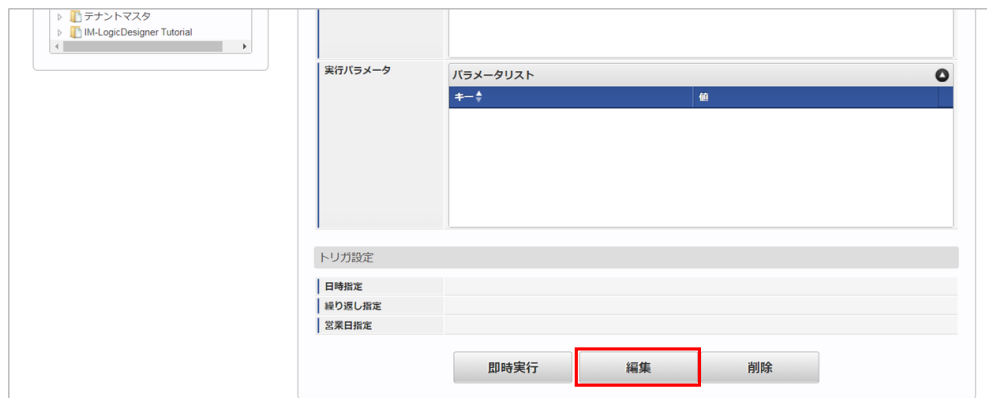
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

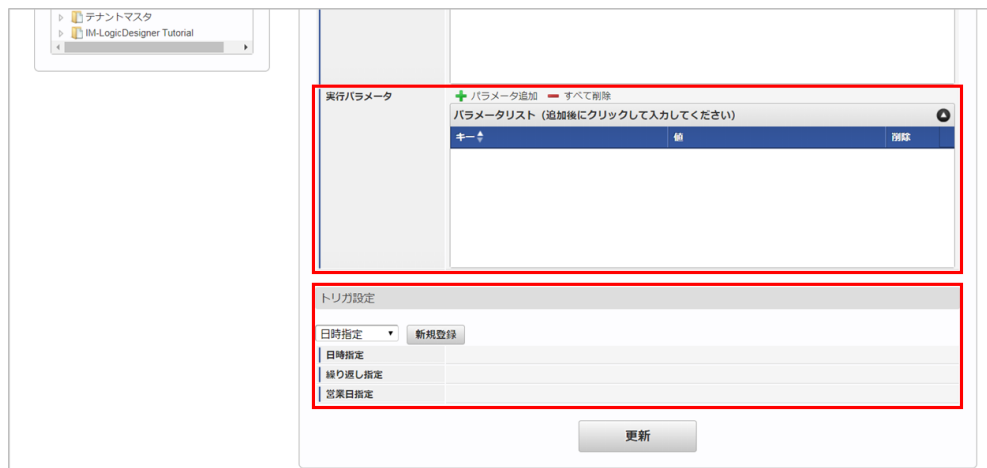
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算単位」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

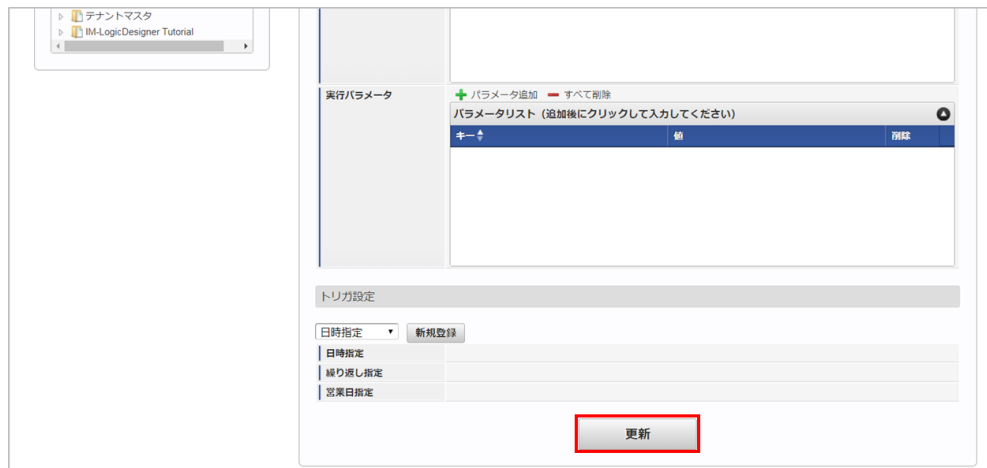
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

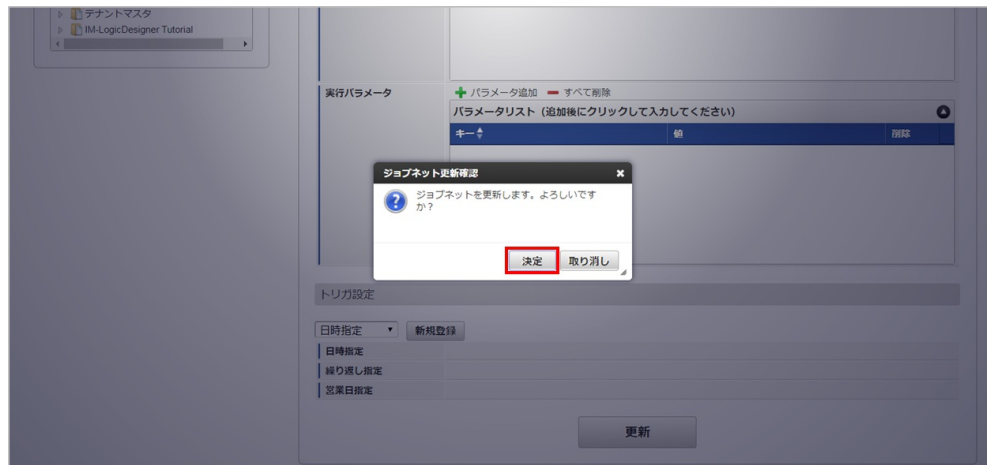
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budgetunit	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算単位

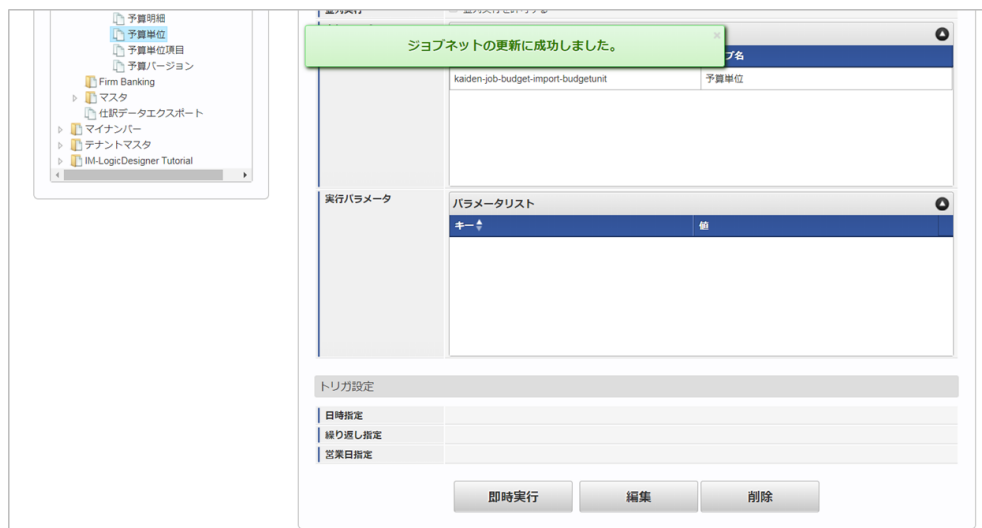
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/budgetUnit/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)

名称	キー	説明／設定値
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/budgetUnit/import_header_{YMDHMSN}.csv import_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 予算単位マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 予算単位マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budgetUnit」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

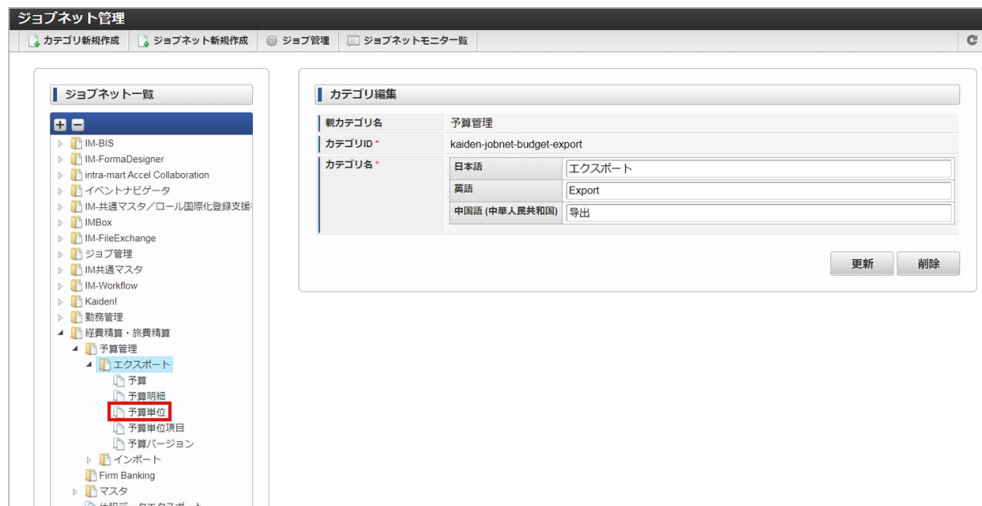
注意

バージョン2.0.13でエクスポートの方式が変更になりました。
バージョン2.0.12までとは異なる方式でエクスポートされます。

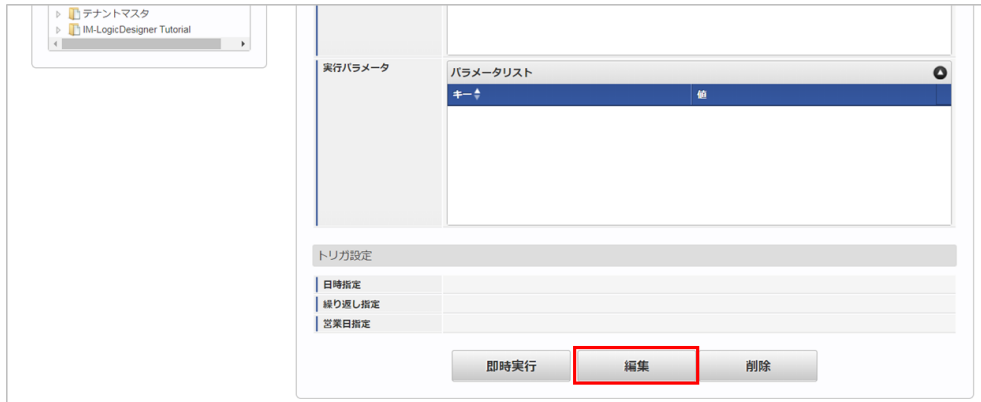
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

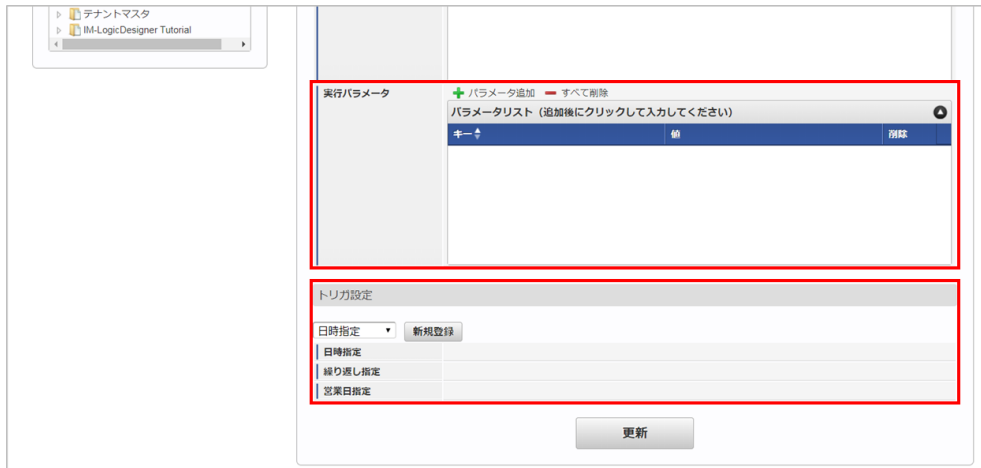
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算単位」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

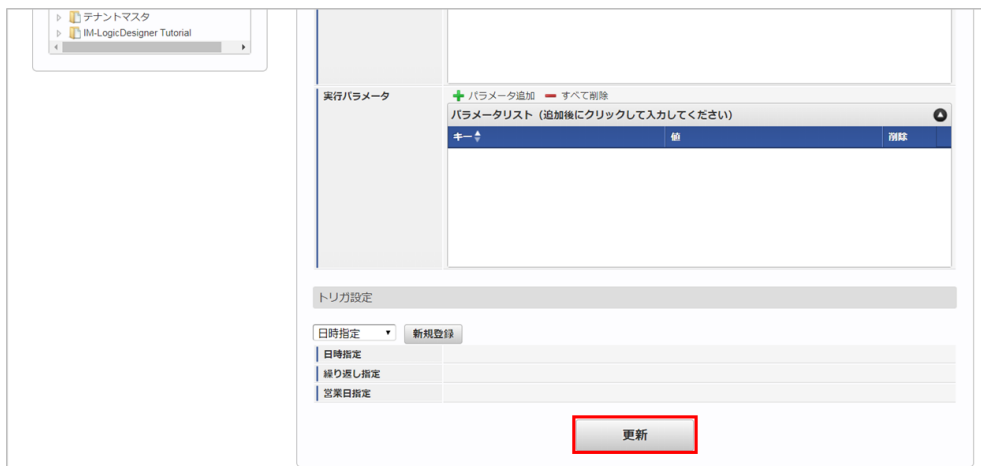
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-budget-export-budgetunit 経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算単位

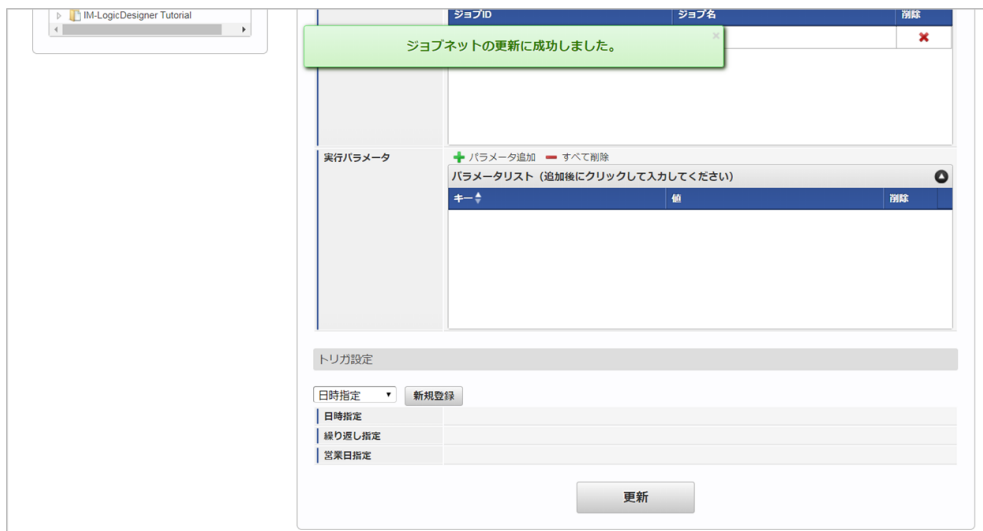
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/budgetUnit/

ファイル名 export_header.csv
 export_detail.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。
 export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetUnitCd	予算単位コード	

localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetUnitName	予算単位名	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

export_detail.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetUnitCd	予算単位コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
budgetUnitItemCd	予算単位項目コード	
allowOmitFlag	省略可否フラグ	0 : 予算明細での未選択を許可しない 1 : 予算明細での未選択を許可する

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budgetUnit/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budgetUnit/export_header_{YMDHMSN}.csv export_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 予算単位マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 予算単位マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budgetUnit」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

予算バージョンマスタ

本項では、予算バージョンマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算バージョンマスタは、予算で使用するバージョンを管理します。
 予算明細でこのデータが参照され、バージョンごとの予算を作成する際に使用されます。

メンテナンス

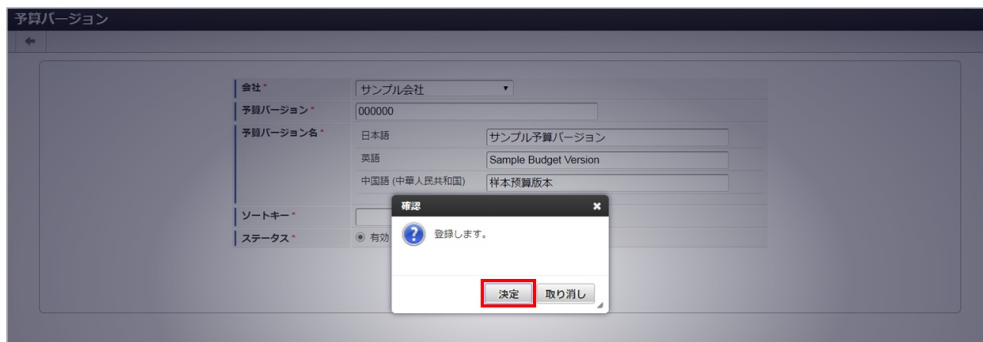
本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算バージョン」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算バージョン
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 予算バージョン名
予算バージョンの名称を入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算バージョン」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム
 検索欄に検索したい予算バージョンの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算バージョン
- 予算バージョン名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム
 一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会社: サンプル会社
 予算バージョン: 000000
 予算バージョン名: 日本語: サンプル予算バージョン, 英語: Sample Budget Version, 中国語 (中華人民共和国): 样本预算版本
 ソートキー: 1
 ステータス: 有効 無効

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 予算バージョン



コラム

予算バージョンがすでに予算に紐づけされている場合、ステータスの変更および予算バージョンの削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

更新しました。

No	予算バージョン	予算バージョン名	ソートキー	ステータス
1	000000	サンプル予算バージョン	1	

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算バージョン	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	予算バージョン名	○	1000	
5	ソートキー	○	15	
6	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)



コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","Sample Budget Version","1","0"
"comp_sample_01","000000","ja","サンプル予算バージョン","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","[ ]本[ ]算版本","1","0"
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget_version

ファイル名 import.csv



コラム

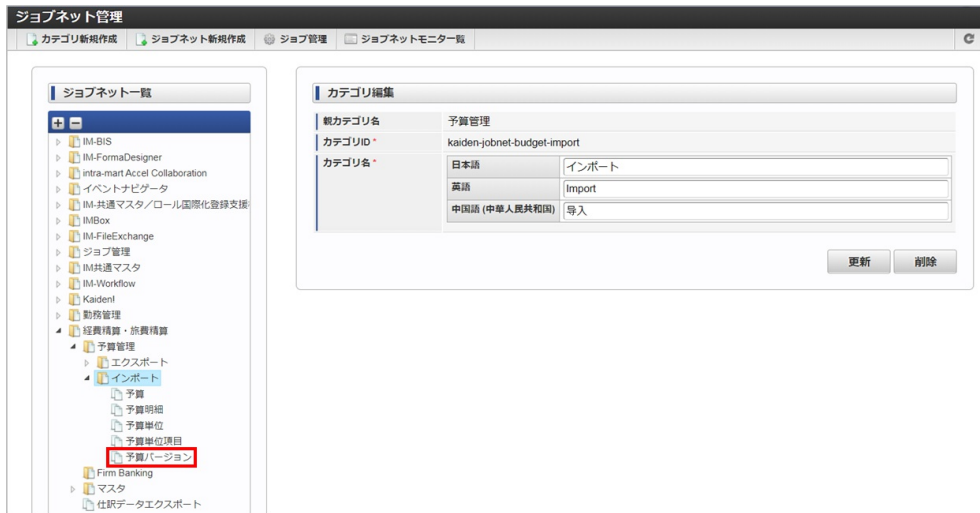
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

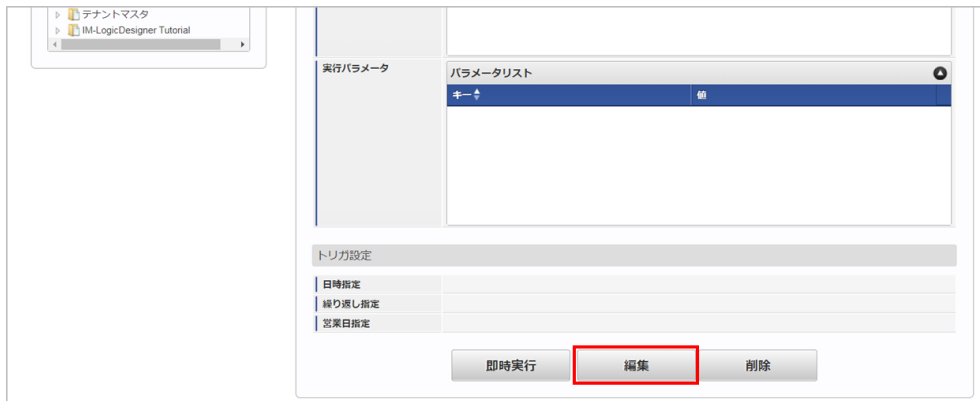
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧 (画面左部) の「予算バージョン」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

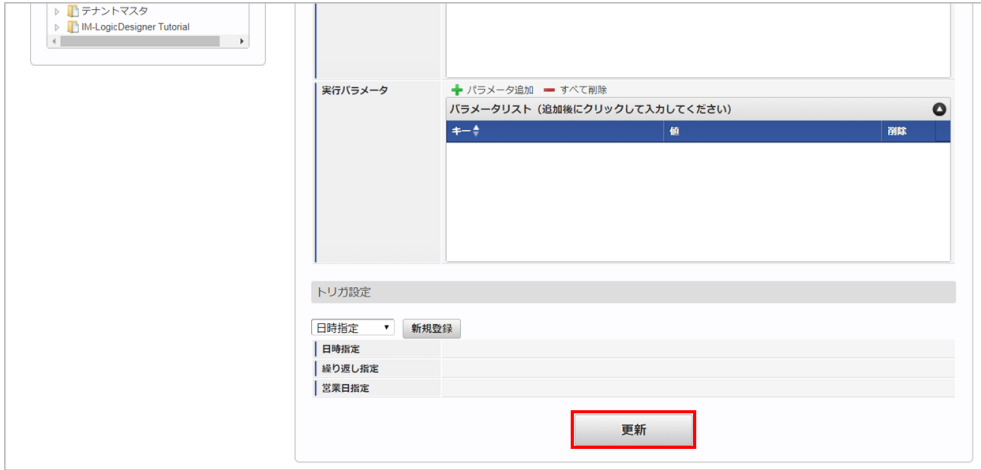
ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

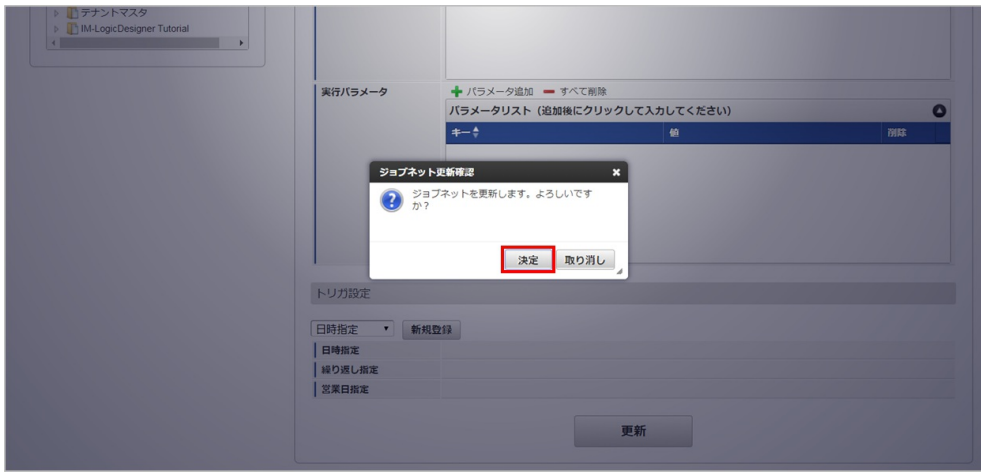
kaiden-job-budget-import-
budgetversion

経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算バージョン

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算バージョンマスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 操作なし ▪ 2 : コピー(copy) ▪ 3 : アーカイブ(move) ▪ 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6 : 削除(delete) ▪ 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget_version/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")
		<ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 予算バージョンマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_version」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

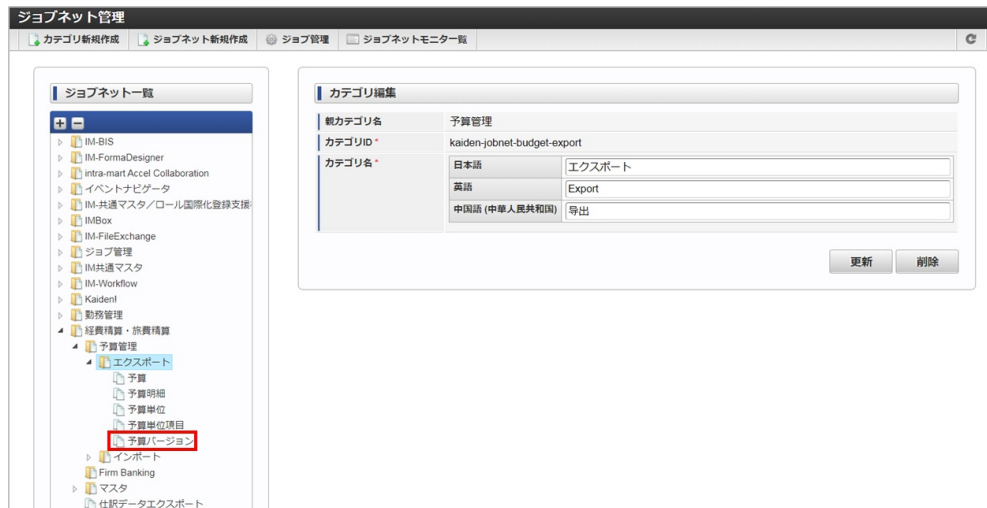
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

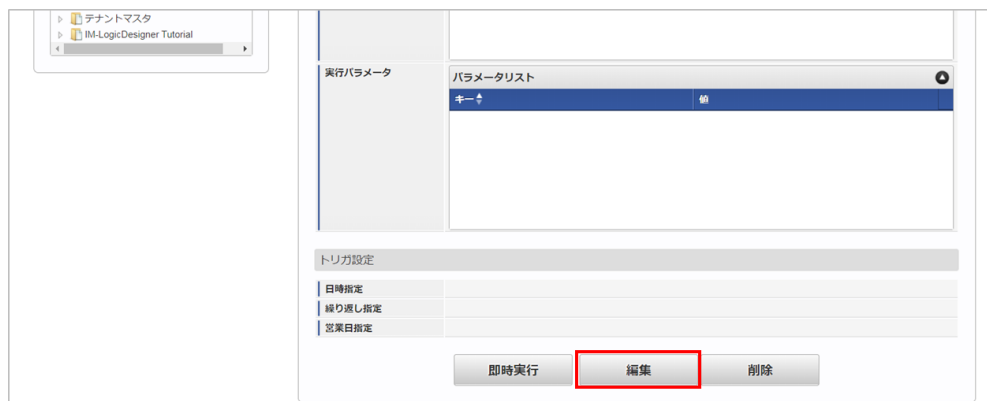
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

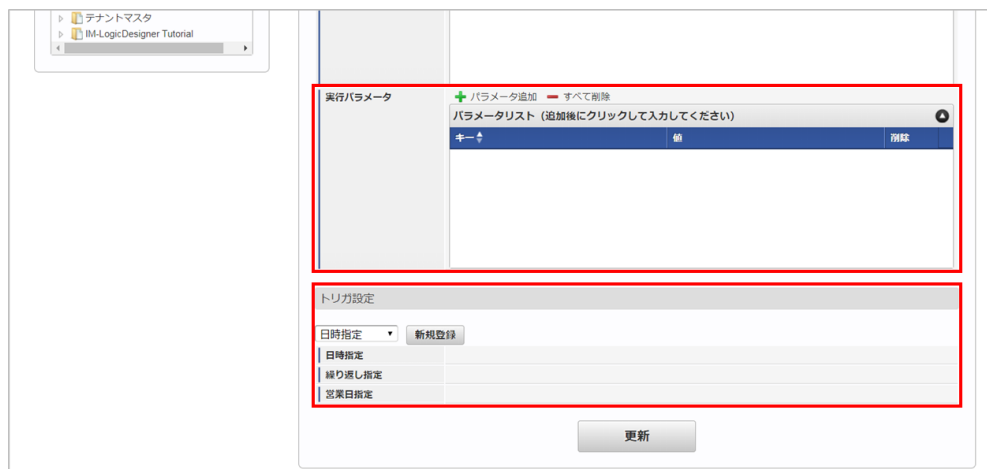
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「予算バージョン」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

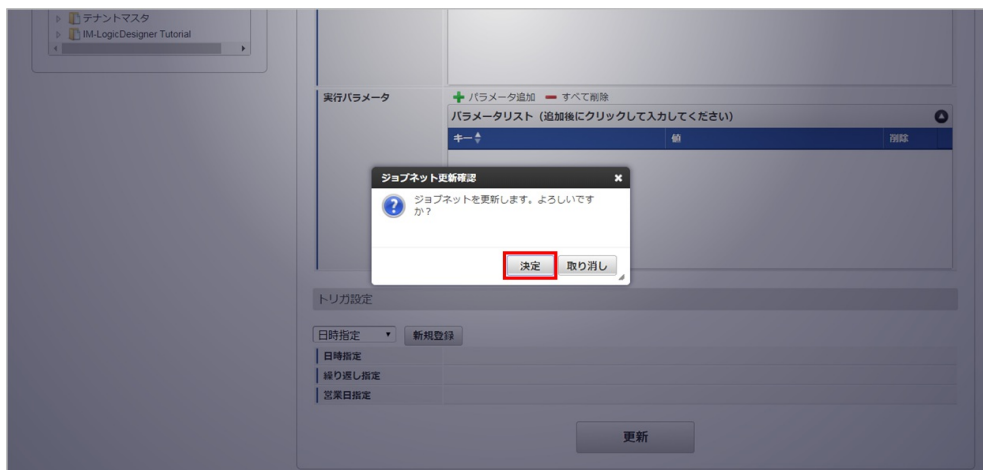
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budgetversion	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算バージョン

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/budget_version

ファイル名 export_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetVersion	予算バージョン	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetVersionName	予算バージョン名	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">1 : 全件出力モード3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算バージョンマスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">1 : 既存ファイルに追記2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget_version/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none">UTF-8SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none">, : カンマ\t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none">" : ダブルクォーテーションnone : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none">true : ヘッダー出力有false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 予算バージョンマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget_version」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式
{MASTER_ID} : マスタID

予算マスタ

本項では、予算マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 予算登録
 - 予算明細登録
 - 更新
 - 予算更新
 - 予算明細更新
 - コピー
 - 予算コピー
 - 予算明細コピー
 - アップロード
 - 予算アップロード
 - 予算明細アップロード
 - ダウンロード
 - 予算ダウンロード
 - 予算明細ダウンロード
- インポート
 - 予算インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
 - 予算明細インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - 予算エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
 - 予算明細エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

予算マスタは、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用する予算を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

本項では、予算の新規登録方法を説明します。

予算登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 予算期間コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算期間名
予算期間の名称を入力します。
- 開始日
予算期間の開始日を入力します。
- 終了日
予算期間の終了日を入力します。
- 分割設定
予算期間を指定した月数で分割する場合、チェックします。
 - 期間分割設定を行う
チェックした場合、予算明細画面で予算金額を分割した期間ごとに入力します。
また分割基準日、分割月数は必須となります。
チェックしていない場合、予算明細画面で予算金額を単一期間で入力します。
- 分割基準日
予算期間を分割する基準日を入力します。
- 分割月数
予算期間を分割する月数を入力します。
「1」の場合「1か月単位」で分割します。
- 予算単位
予算で使用する予算単位を選択します。

コラム

分割設定を下図の通り設定した場合、予算期間は下記の通り作成されます。

開始日 2019/04/01

分割基準日 2019/04/15

分割月数 1

第1期間：2019/04/01～2019/04/14

第2期間：2019/04/15～2019/05/14

第3期間：2019/05/15～2019/06/14

～以下、終了日まで1ヵ月単位に分割

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位		2018/04/01	2019/03/31	1	●	予算明細設定 ▶

予算明細登録

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

予算

新規登録 アップロード ダウンロード

検索 クリア

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ソートキー	ステータス
----	---------	-------	-------	----------	-----	-----	--------	-------



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。

予算

新規登録 アップロード ダウンロード

検索 クリア

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ソートキー	ステータス	予算明細設定
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位		2018/04/01	2019/03/31	1		

最初へ戻る 次へ最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 予算明細画面表示後、「新規登録」をクリックします。

予算明細

← 新規登録 アップロード ダウンロード

会社: サンプル会社 | 予算期間: サンプル予算期間

開始日: 2018/04/01 - 終了日: 2019/03/31

No	予算バージョン名	予算金額合計	選択状況
----	----------	--------	------

戻る

5. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

予算明細

← 新規登録 アップロード ダウンロード

会社: サンプル会社 | 予算期間: サンプル予算期間

開始日: 2018/04/01 - 終了日: 2019/03/31

予算バージョン: サンプル予算バージョン | ソートキー: 1

選択状況: 選択中バージョンに設定する

表示順: | 組織: | プロジェクト: | 経費区分: | 予算集約区分: | 税処理区分: | 警告設定: | 上限設定:

1	1	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム...	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	実績-申請	税込	50,000	差額	100,000	差額
---	---	---	---	--	-------	----	--------	----	---------	----

登録 バージョン一覧へ戻る

- 予算バージョン
予算で使用する予算バージョンを選択します。
- 選択状況
選択したした予算バージョンを有効にします。
有効にした場合、他のバージョンは無効になります。
- 表示順
予算明細の表示順を入力します。

- 予算単位項目
予算に設定されている予算単位に紐づく予算単位項目を選択します。
- 予算集約区分
予算集約区分を選択します。
本項目は申請時の予算残高取得時に使用します。
- 税処理区分
明細行の予算が「税込」「税抜」かを選択します。
- 警告設定
予算金額の警告設定を「差額」「割合」で入力します。
- 上限設定
予算金額の上限設定を「差額」「割合」で入力します。
- 予算金額
明細行の予算金額を入力します。



コラム

「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」は、開始日を検索基準日としています。



コラム

上記の画面の場合、
予算単位に「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」が設定されています。



コラム

予算集約区分は次の種類があります。

予算集約区分	説明
事前-申請	事前申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
事前-承認	事前申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
実績-申請	精算申請が未実施の場合、事前申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。
実績-承認	精算申請が未実施の場合、事前申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。
精算-申請	精算申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。
精算-承認	精算申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用額を算出します。

i コラム

下図の通り、警告設定、上限設定を行った場合の金額は下記の通り算出されます。

差額の場合

予算金額 + 入力した金額

警告設定を5000円と入力した場合、下記の通りです。

$$\begin{array}{r} 20,000 + 5,000 = \\ \hline 25,000 \end{array}$$

警告金額を15,000円としたい場合、「20,000 + -5,000」となるため、警告設定に「-5000円」と入力してください。

% (割合) の場合

予算金額 + 入力した割合 × 予算金額

警告設定を80%と入力した場合、下記の通りです。

$$\begin{array}{r} 20,000 + 16,000 = \\ \hline 36,000 \end{array}$$

警告金額を16,000円（20,000円の80%）としたい場合、「20,000 + -4,000(20,000 × -20%)」となるため、警告設定に「-20%」と入力してください。

警告設定の入力チェックで%を選択時、-100~100の範囲チェックを行っています。
また、上限設定の入力チェックで%を選択時、0~100の範囲チェックを行っています。

! 注意

警告金額の超過判定について

予算金額が警告金額より大きい場合エラーとしています。

警告金額を16,000円とした場合、予算金額が16,001円以上の場合エラーとなります。

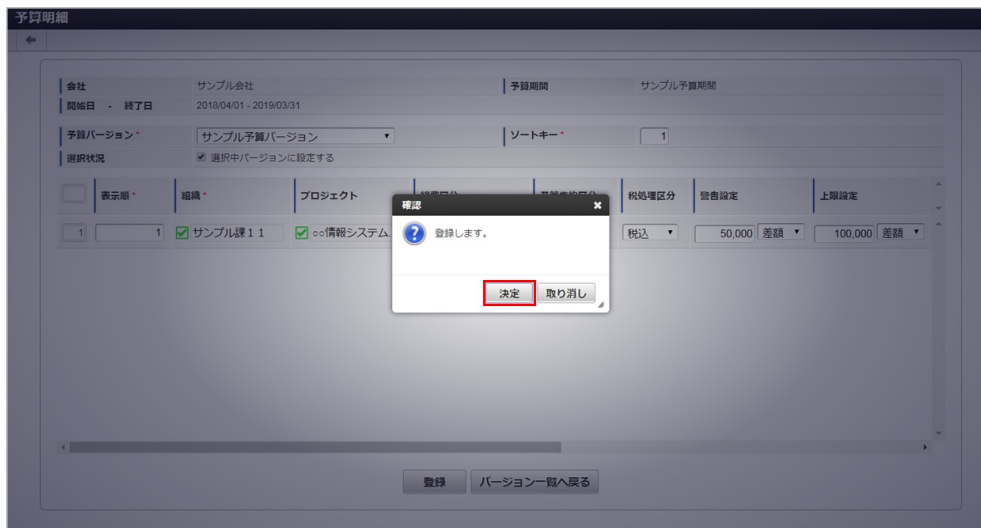
i コラム

予算残高は、予算金額 - 予算利用額で算出します。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 新規登録することができました。



更新

本項では、予算の更新方法を説明します。

予算更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



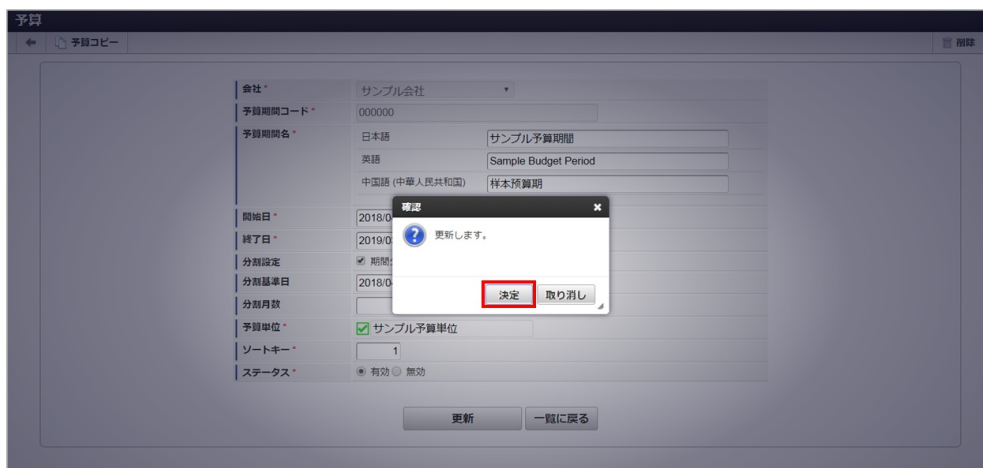
次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 予算期間コード

i コラム

予算明細がすでに登録されている場合、開始日、分割設定、予算単位の編集および予算期間の削除が行えません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



予算明細更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

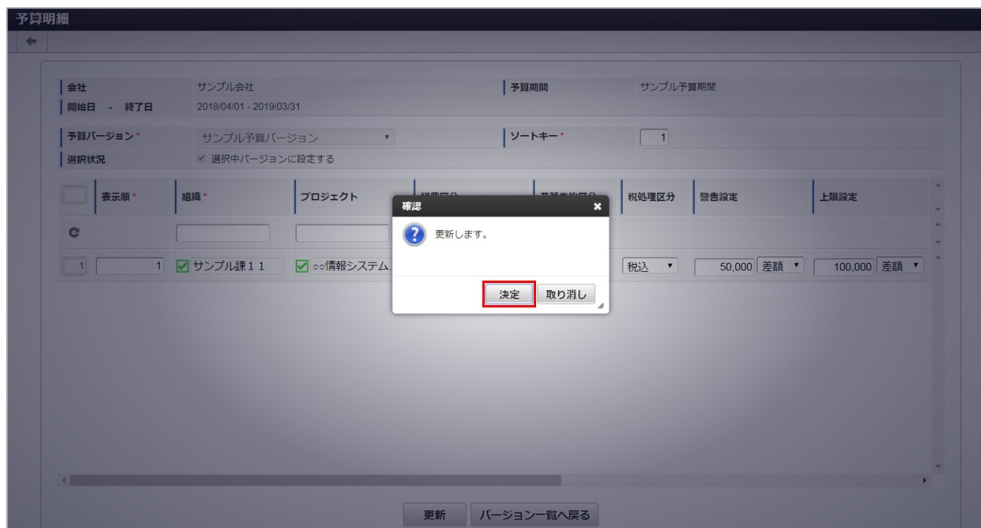
4. 予算明細画面表示後、対象データが表示されている行の「表示」をクリックします。

5. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 予算バージョン
- 選択状況

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 更新することができました。



コピー

本項では、予算のコピー方法を説明します。

予算コピー

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面表示後、「予算コピー」をクリックします。

予算

← 予算コピー 削除

⚠️ 予算バージョンが存在するため、削除できません。

会社 *	サンプル会社
予算期間コード *	000000
予算期間名 *	日本語 サンプル予算期間
	英語 Sample Budget Period
	中国語 (中華人民共和国) 样本预算期
開始日 *	2018/04/01
終了日 *	2019/03/31
分割設定	<input checked="" type="checkbox"/> 期間分割設定を行う
分割基準日	2018/04/01
分割月数	3
予算単位 *	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル予算単位
ソートキー *	1
ステータス *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

更新 一覧に戻る

5. 登録／更新画面で情報を編集し、「コピー」をクリックします。

予算

← 削除

会社 *	サンプル会社
予算期間コード *	000001
予算期間名 *	日本語 サンプル予算期間
	英語 Sample Budget Period
	中国語 (中華人民共和国) 样本预算期
開始日 *	2018/04/01
終了日 *	2019/03/31
分割設定	<input checked="" type="checkbox"/> 期間分割設定を行う
分割基準日	2018/04/01
分割月数	3
予算単位 *	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル予算単位
ソートキー *	1
ステータス *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

コピー 一覧に戻る

- 予算期間コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 予算期間名
予算期間の名称を入力します。
- 開始日
予算期間の開始日を入力します。
- 終了日
予算期間の終了日を入力します。
- 分割設定
予算期間を指定した月数で分割する場合、チェックします。
 - 期間分割設定を行う
チェックした場合は、予算明細画面で予算金額を分割した期間ごとに入力を可能とします。
チェックをしていない場合は、予算明細画面で予算金額を単一期間で入力します。
- 分割基準日
予算期間を分割する基準日を入力します。
- 分割月数
予算期間を分割する月数を入力します。
- 予算単位
予算で使用する予算単位を選択します。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

会社: サンプル会社
 予算期間コード: 000001
 予算期間名: 日本語: サンプル予算期間, 英語: Sample Budget Period, 中国語 (中華人民共和国): 样本预算期
 開始日: 2018/0
 終了日: 2019/0
 分割設定: 期間
 分割基準日: 2018/0
 分割月数:
 予算単位: サンプル予算単位
 ソートキー: 1
 ステータス: 有効 無効

確認
 ? コピーします。
 決定 取り消し

コピー 一覧に戻る

7. コピーすることができました。

登録しました。

検索 クリア

検索基準日: 2018/04/08 前 会社: サンプル会社 ロケール: 日本語 ステータスが無効のデータも検索

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位	サンプル予算バージョン	2018/04/01	2019/03/31	1	●	予算明細設定 ▶
2	000001	サンプル予算期間	サンプル予算単位	サンプル予算バージョン	2018/04/01	2019/03/31	1	●	予算明細設定 ▶

最初へ前へ 1 次へ最後へ

コラム

予算マスター一覧画面で、コピーされた予算を確認してください。

予算明細コピー

注意

コピー機能を利用して新たなバージョンを作成する場合、行削除を行わないでください。
 コピー画面で行削除を行った場合、新たに削除した行と同一の予算単位を持つ予算を追加しても予算コードは異なるコードで作成されます。
 また、行のコピー、貼付け機能を使用した場合も同様に予算コードは異なるコードで作成されます。
 予算コードが異なる場合、元の予算コードに紐づく予算としては予算残高の集計が行われません。

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

検索 クリア

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	ソートキー	ステータス
----	---------	-------	-------	----------	-----	-----	-------	-------

コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

- 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。

予算

新規登録 アップロード ダウンロード

検索 クリア

No	予算期間コード	予算期間名	予算単位名	選択中バージョン	開始日	終了日	▲ソートキー	ステータス	
1	000000	サンプル予算期間	サンプル予算単位	サンプル予算バージョン	2018/04/01	2019/03/31	1		予算明細設定 ▶

最初へ戻る 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 予算明細画面表示後、対象データが表示されている行の「コピー」をクリックします。

予算明細

← 新規登録 アップロード ダウンロード

会社: サンプル会社 | 予算期間: サンプル予算期間
開始日: 2018/04/01 - 終了日: 2019/03/31

No	予算バージョン名	予算金額合計	選択状況		
1	サンプル予算バージョン	1,000,000		表示	コピー

戻る

5. 登録／更新画面で情報を編集し、「登録」をクリックします。

予算明細

←

会社: サンプル会社 | 予算期間: サンプル予算期間
開始日: 2018/04/01 - 終了日: 2019/03/31

予算バージョン: コピー先バージョン | ソートキー: 2

選択状況: 選択中バージョンに設定する

表示順	組織	プロジェクト	経費区分	予算集約区分	税処理区分	警告設定	上限設定
1	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課11	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム...	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	実績-申請	税込	50,000 差額	100,000 差額

登録 バージョン一覧へ戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 予算バージョン
予算で使用する予算バージョンを選択します。
- 選択状況
選択したした予算バージョンを有効にします。
有効にした場合、他のバージョンは無効になります。
- 表示順
予算明細の表示順を入力します。
- 予算単位項目
予算に設定されている予算単位に紐づく予算単位項目を選択します。
- 予算集約区分
予算集約区分を選択します。
本項目は申請時の予算残高取得時に使用します。
- 税処理区分
明細行の予算が「税込」「税抜」かを選択します。
- 警告設定
予算金額の警告設定を「差額」「割合」で入力します。
- 上限設定
予算金額の上限設定を「差額」「割合」で入力します。
- 予算金額
明細行の予算金額を入力します。

i コラム

上記の画面の場合、
予算単位に「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」が設定されています。

i コラム

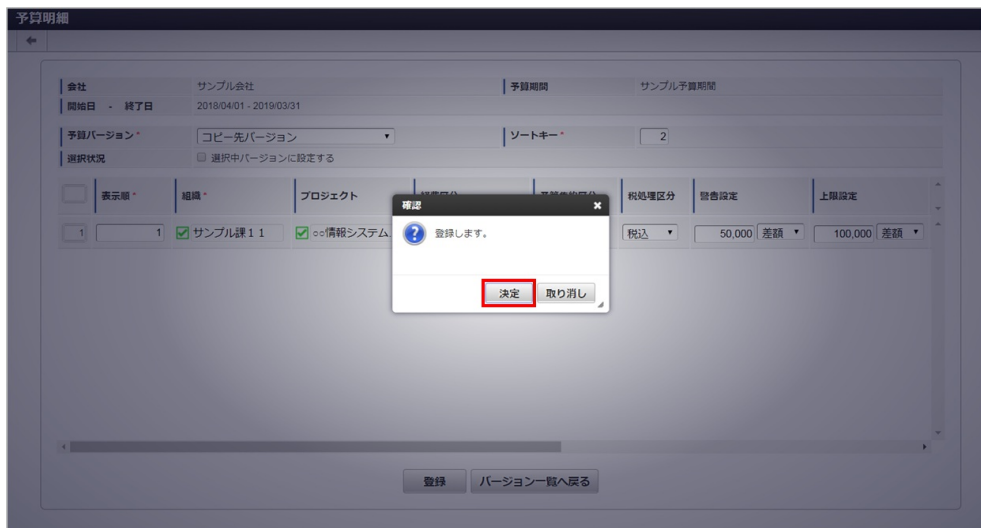
予算集約区分は次の種類があります。

予算集約区分	説明
事前-申請	事前申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
事前-承認	事前申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用金額を算出します。 事前申請がない予算では予算利用額が算出されません。
実績-申請	精算申請が未実施の場合、事前申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の申請時の金額を集計して予算利用額を算出します。
実績-承認	精算申請が未実施の場合、事前申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。 精算申請を申請済みの場合、精算申請の最終承認時の金額を集計して予算利用額を算出します。
精算-申請	精算申請の申請時の金額を集計して、予算利用額を算出します。
精算-承認	精算申請の最終承認時の金額を集計して、予算利用金額を算出します。

i コラム

予算残高は、予算金額-予算利用額で算出します。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. コピーすることができました。





コラム

予算明細一覧画面で、コピーされた予算明細を確認してください。

アップロード

本項では、予算のアップロード方法を説明します。

予算アップロード

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「アップロード」をクリックします。



3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. ファイル選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択し「開く」をクリックします。



コラム

アップロードファイルの詳細は、[インポートデータ作成](#)を参照してください。

5. 予算の情報が登録／更新されます。

予算明細アップロード



注意

予算明細をアップロードする場合、予算コードを変更しないでください。
予算コードを変更すると、変更前の予算コードに紐付く予算としては予算残高が計算されません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 一覧画面表示後、「アップロード」をクリックします。



- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- ファイル選択ダイアログが表示されますので、ファイルを選択し「開く」をクリックします。

コラム

アップロードファイルの詳細は、[インポートデータ作成](#)を参照してください。

- 予算明細の情報が登録／更新されます。

ダウンロード

本項では、予算のダウンロード方法を説明します。

予算ダウンロード

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「ダウンロード」をクリックします。



- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. 予算の情報がダウンロードされます。

予算明細ダウンロード

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「予算管理」→「予算」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい予算の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 予算期間コード
- 予算期間名

3. 一覧画面で対象データが表示されている行の「予算明細設定」をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 一覧画面表示後、「ダウンロード」をクリックします。



5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 予算明細の情報がダウンロードされます。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

予算インポート

本項では、予算マスタのインポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算期間コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日	○	10	yyyy/MM/dd形式
5	終了日	○	10	yyyy/MM/dd形式
6	予算期間名	○	1000	
7	予算単位コード	○	100	
8	期間分割フラグ	○	1	0 : 予算期間を分割しない 1 : 予算期間を分割する
9	期間分割基準日		10	yyyy/MM/dd形式
10	期間分割月数		18	
11	ソートキー	○	15	

12	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
----	-------	---	---	-------------------------

i コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","en","2020/04/01","2021/03/31","Sample Budget Period","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
"comp_sample_01","000000","ja","2020/04/01","2021/03/31","サンプル予算期間","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","2020/04/01","2021/03/31","□本□算期","000000","1","2020/04/01","3","1","0"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget

ファイル名 import.csv

i コラム

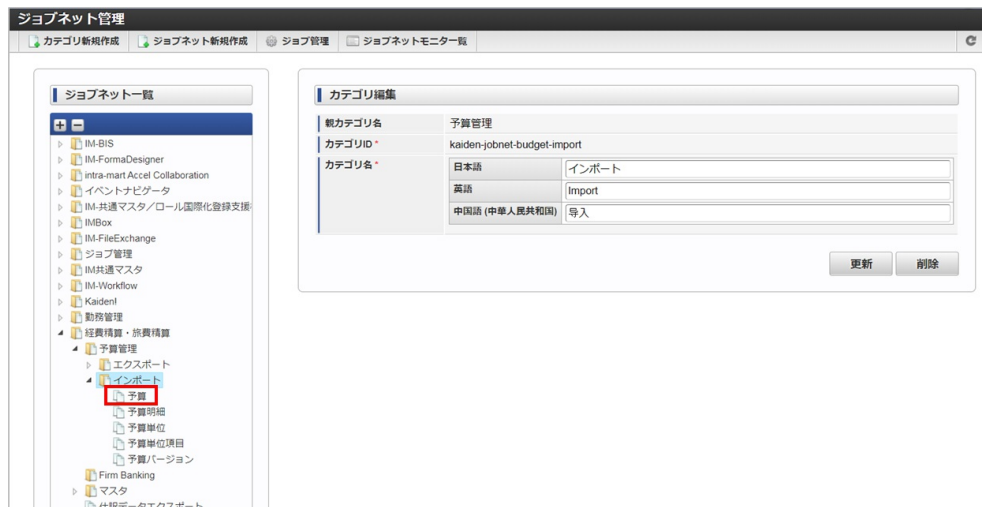
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

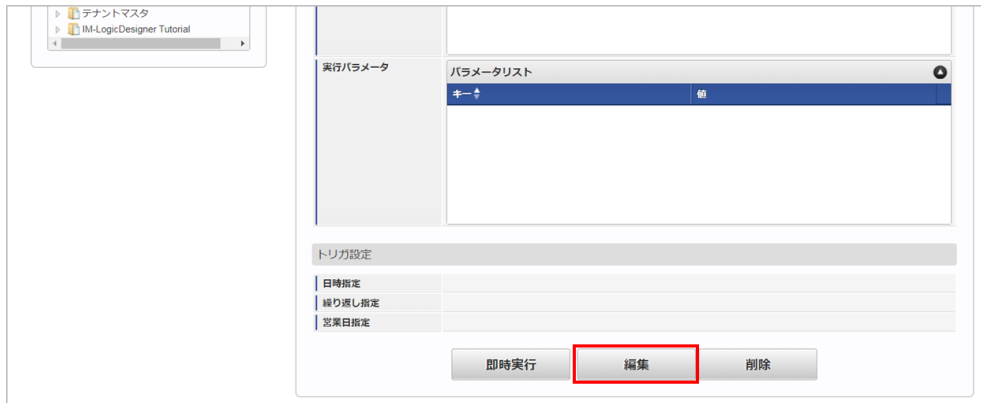
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

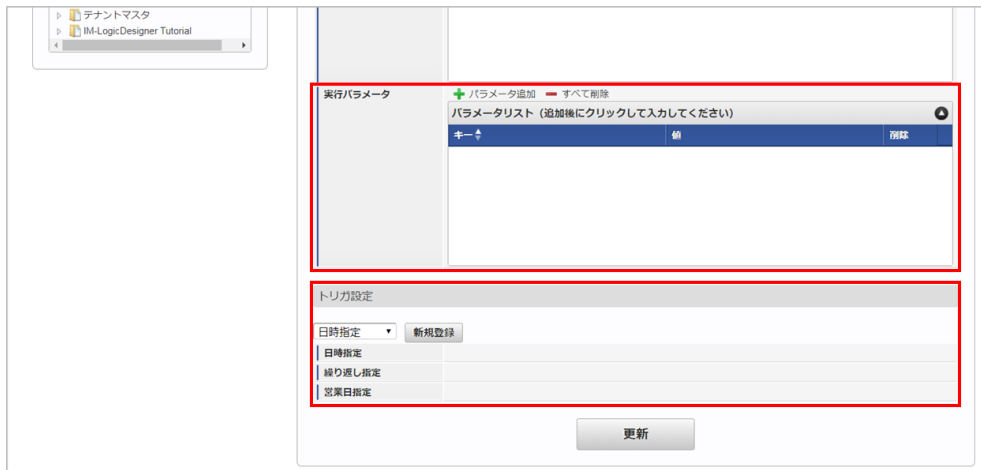
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧 (画面左部) の「予算」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

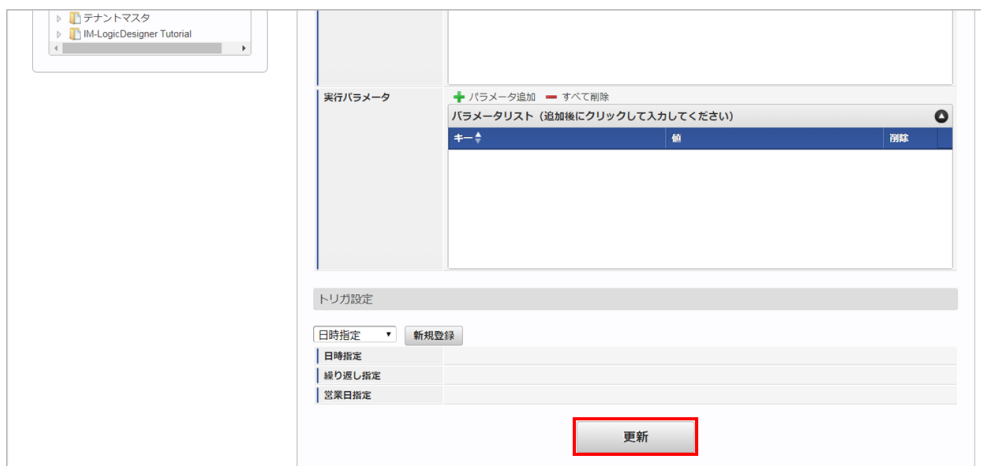
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

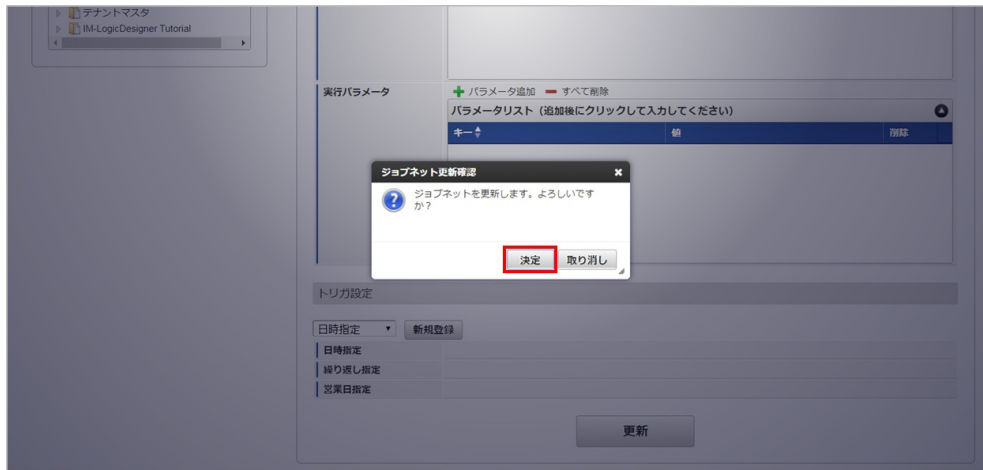
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budget	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算マスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。

名称	キー	説明 / 設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 予算マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID}: マスタID

予算明細インポート

本項では、予算明細マスタのインポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	予算期間コード	○	100	
3	予算バージョン	○	100	
4	予算コード		100	
5	組織セットコード		100	
6	単位項目値 1		1000	
7	単位項目値 2		1000	
8	単位項目値 3		1000	
9	単位項目値 4		1000	
10	単位項目値 5		1000	
11	単位項目値 6		1000	
12	単位項目値 7		1000	
13	単位項目値 8		1000	
14	単位項目値 9		1000	
15	単位項目値 10		1000	
16	予算集約種別	○	100	10：事前-申請 20：事前-承認 30：実績-申請 40：実績-承認 50：精算-申請 60：精算-承認
17	税処理区分	○	100	1：税込 2：税抜
18	警告設定種別		100	300013-1：％ 300013-2：差額
19	警告設定値		18	
20	上限設定種別		100	300013-1：％ 300013-2：差額
21	上限設定値		18	
22	ソートキー	○	15	
23	予算金額		18	

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","000000","8eppuaviuuws5cu","comp_sample_01","dept_sample_11","000001","20100003","","","","","","","2","50000","300013-2","100000","1","250000","250000","250000","250000"
```

 コラム

上記は、予算単位に設定されている予算単位項目に「組織」、「プロジェクト」、「経費区分」を持つ場合のファイル例です。項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

 注意

上記は、予算期間を分割している場合のファイル例です。予算マスタで予算期間を分割している場合は、分割した期間分の予算金額を設定してください。

 注意

インポートまたはアップロード機能を利用して予算を統合する場合は、予算コードを統合元に合わせる必要があります。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/budget_detail

ファイル名 import.csv

i コラム

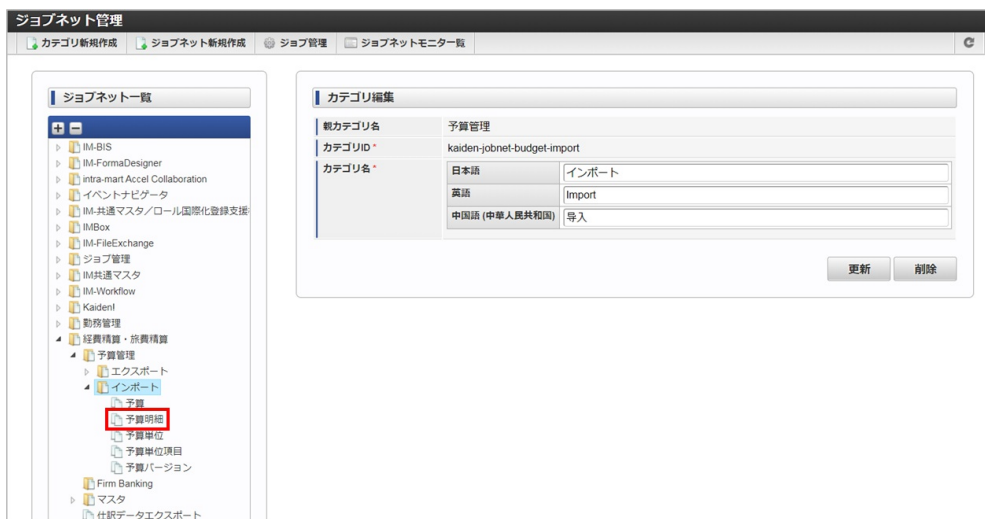
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

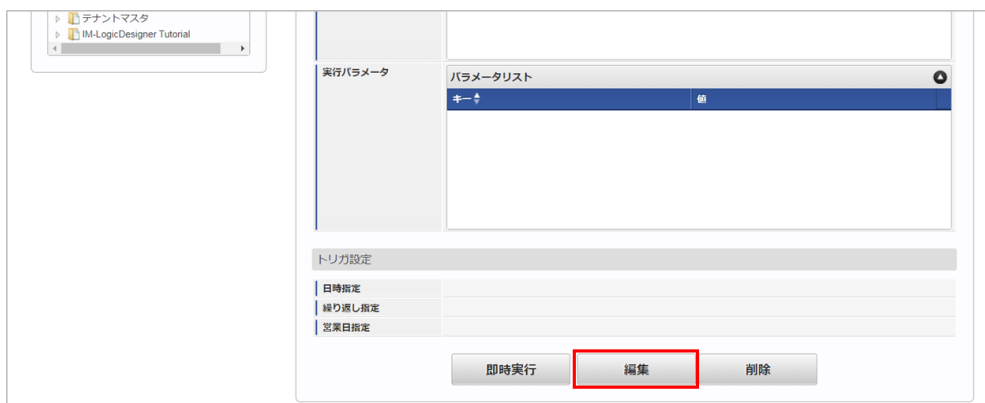
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「予算明細」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

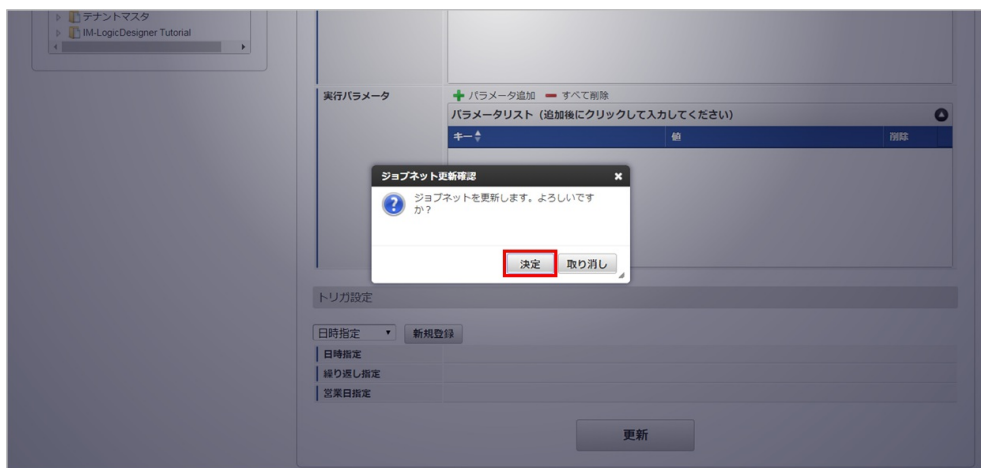
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-import-budgetdetail	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / インポート / 予算明細

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	<p>インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1：単一期間（差分）モード 3：単一期間（入替）モード
<div data-bbox="730 1196 778 1245" data-label="Image"></div> <div data-bbox="783 1196 857 1227" data-label="Section-Header">コラム</div> <div data-bbox="780 1240 1404 1299" data-label="Text"> <p>1：単一期間（差分）および3：単一期間（入替）以外のインポートモードは使用できません。</p> </div>		
<div data-bbox="730 1352 778 1402" data-label="Image"></div> <div data-bbox="783 1352 857 1384" data-label="Section-Header">コラム</div> <div data-bbox="780 1397 1420 1489" data-label="Text"> <p>3：単一期間（入替）指定時は、「会社コード」、「予算期間コード」、「予算バージョン」が同じデータを削除し、インポートデータを登録します。</p> </div>		
エラースキップ	error_skip	<p>会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)</p>
ロック待ち時間	lock_wait	<p>ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)</p>
コンダクター	conductor	<p>ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)</p>
インポートファイルのパス	file_path	<p>インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算明細マスタインポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/import/{MASTER_ID}/import.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。</p>

名称	キー	説明／設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：操作なし 2：コピー(copy) 3：アーカイブ(move) 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6：削除(delete) 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/import/budget_detail/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
予算期間コード	budget_period_cd	インポートする予算明細の予算期間コードを設定します。
予算バージョン	budget_version	インポートする予算明細の予算バージョンを設定します。
検索対象日	target_date	予算明細をインポートする予算期間の検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID}：マスタID

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

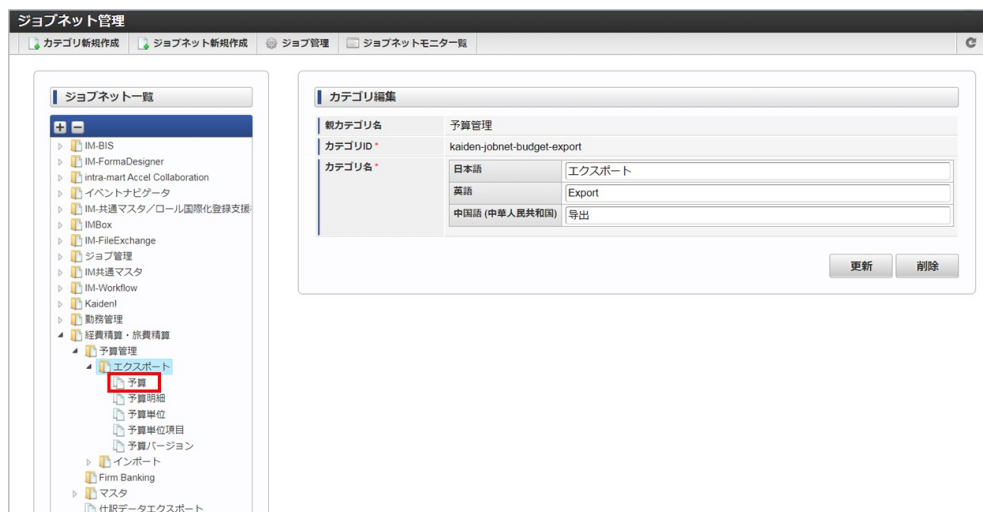
予算エクスポート

本項では、予算マスタのエクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

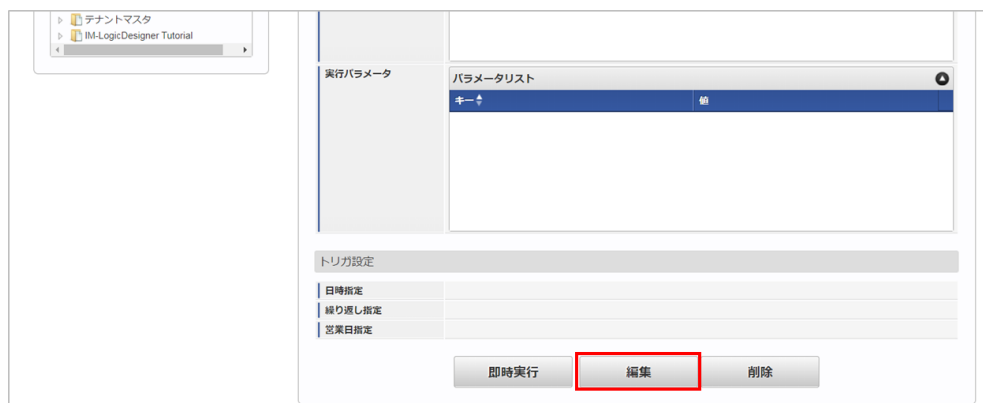
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「予算」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

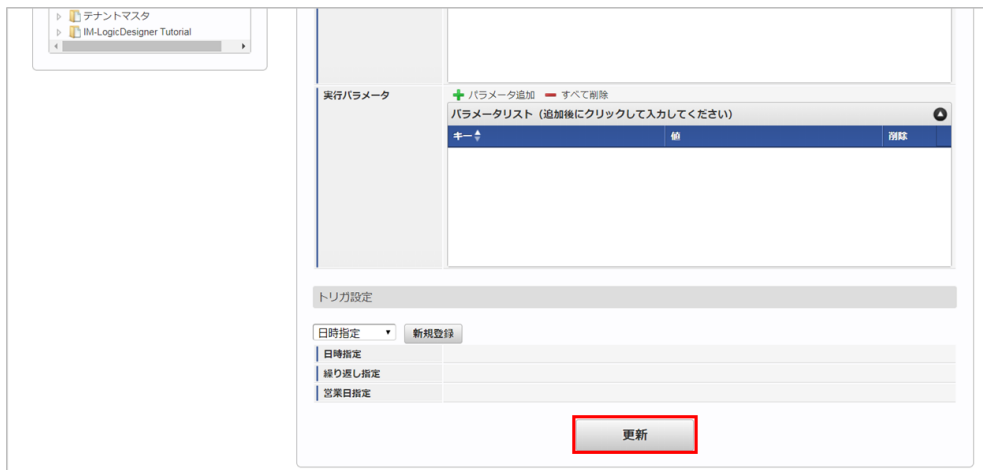
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

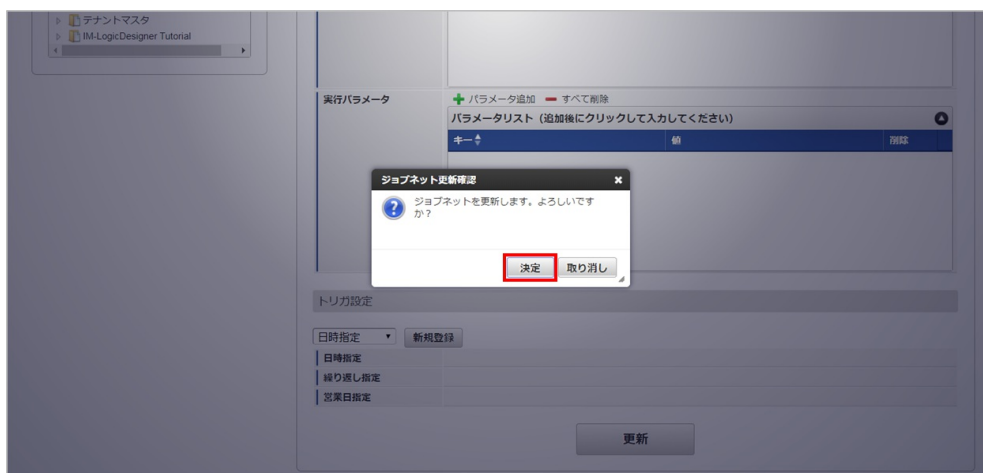
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budget	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/export/budget
ファイル名	export_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetPeriodCd	予算期間コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
budgetPeriodStartDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
budgetPeriodEndDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
budgetPeriodName	予算期間名	
budgetUnitCd	予算単位コード	
periodDivideFlag	期間分割フラグ	0 : 予算期間を分割しない 1 : 予算期間を分割する
periodDivideCriteriaDate	期間分割基準日	
periodDivideMonths	期間分割月数	
sortKey	ソートキー	
deleteStatusFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「2」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。 <ul style="list-style-type: none"> 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/budget/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 予算マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「budget」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式
{MASTER_ID} : マスタID

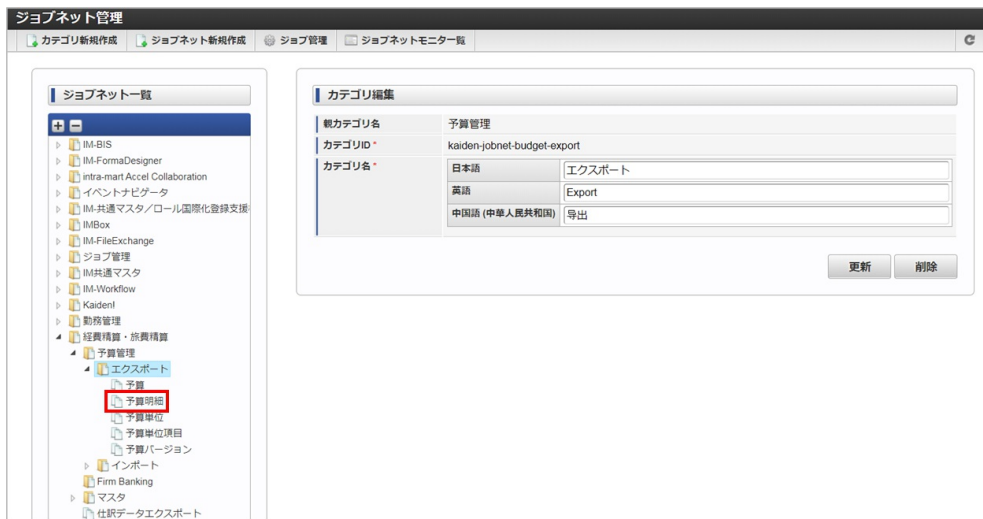
予算明細エクスポート

本項では、予算明細マスタのエクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

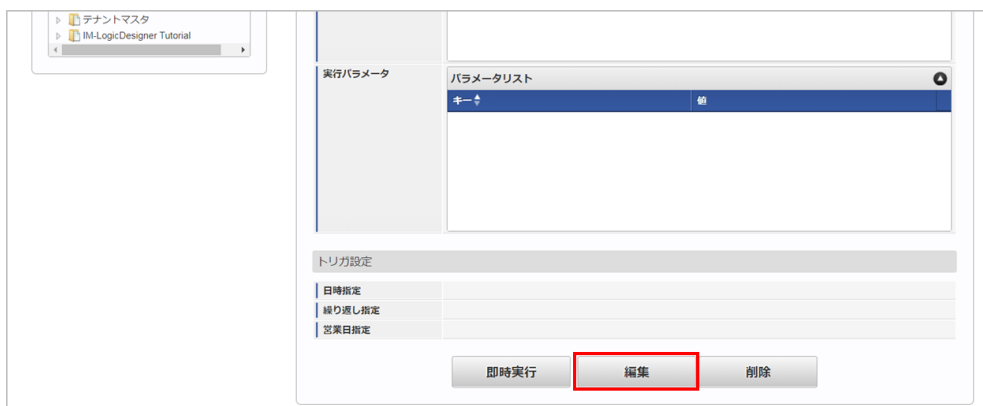
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

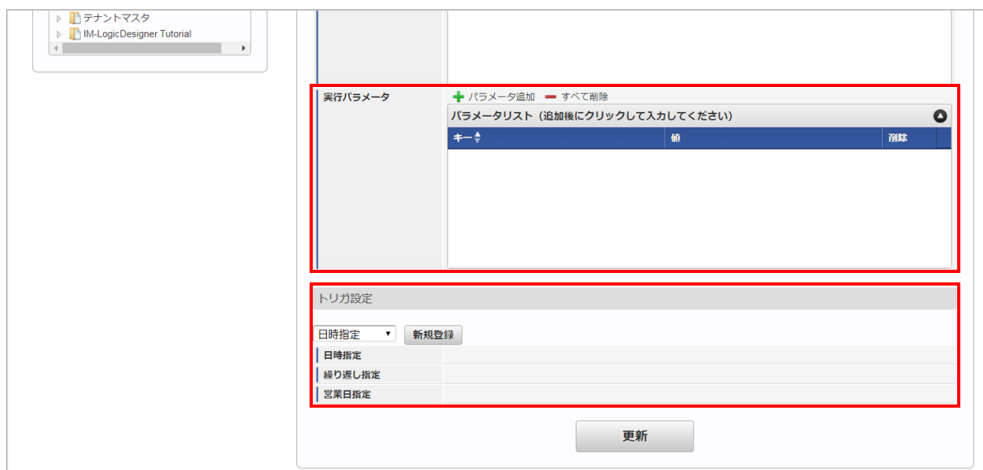
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「予算明細」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

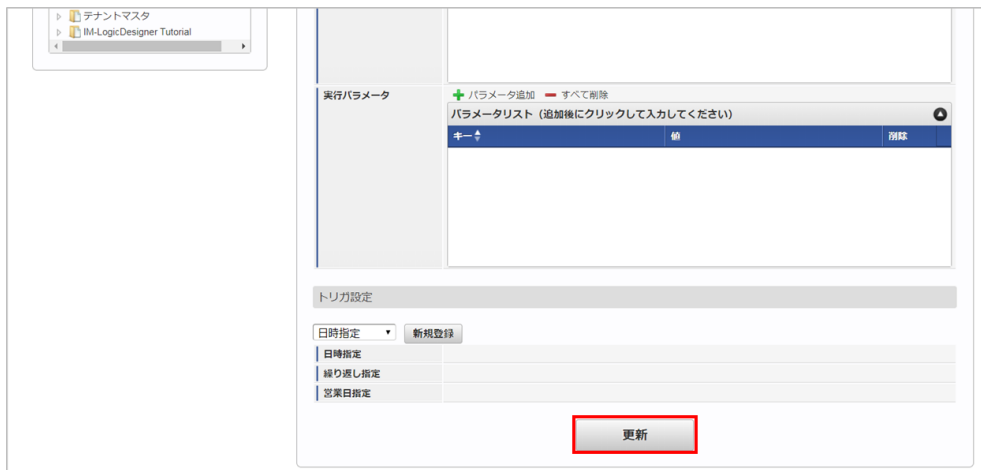
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

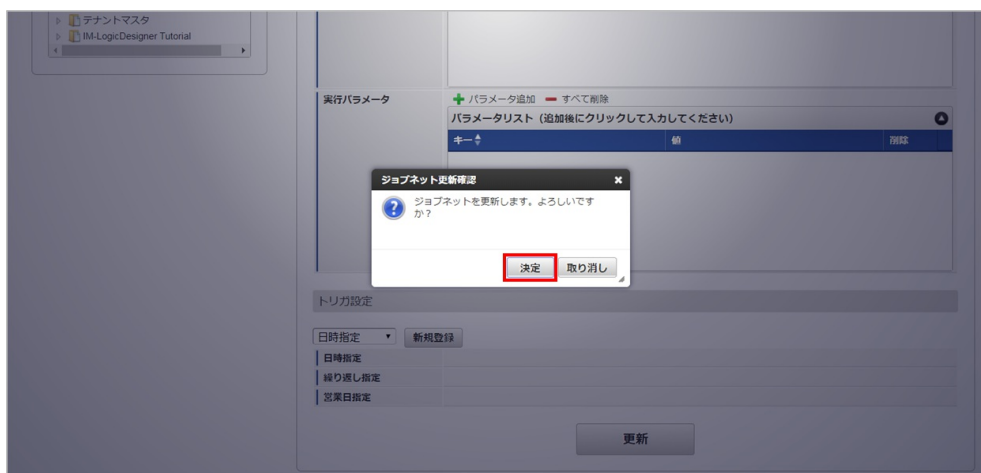
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-budget-export-budgetdetail	経費精算・旅費精算 / 予算管理 / エクスポート / 予算明細

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ `kaiden/export/budget_detail`

ファイル名 `export_{YMDHMSN}.csv`

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

■ データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
budgetPeriodCd	予算期間コード	
budgetVersion	予算バージョン	
budgetCd	予算コード	
departmentSetCd	組織セットコード	
unitItemValue1	単位項目値 1	
unitItemValue2	単位項目値 2	
unitItemValue3	単位項目値 3	
unitItemValue4	単位項目値 4	
unitItemValue5	単位項目値 5	
unitItemValue6	単位項目値 6	
unitItemValue7	単位項目値 7	
unitItemValue8	単位項目値 8	
unitItemValue9	単位項目値 9	
unitItemValue10	単位項目値 1 0	
budgetSummaryType	予算集約種別	10：事前-申請 20：事前-承認 30：実績-申請 40：実績-承認 50：精算-申請 60：精算-承認
taxProcessingTypeCd	税処理区分	1：税込 2：税抜
warningSettingType	警告設定種別	300013-1：％ 300013-2：差額
warningSettingValue	警告設定値	
limitSettingType	上限設定種別	300013-1：％ 300013-2：差額
limitSettingValue	上限設定値	
sortKey	ソートキー	
budgetAmount	予算金額	

i コラム

予算マスタで予算期間を分割している場合は、分割した期間分の予算金額が出力されます。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 予算明細マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「kaiden/export/{MASTER_ID}/export_{YMDHMSN}.csv」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 予算明細マスタエクスポートの場合は、MasterBuilderの定義ファイルの実行パラメータに「2」を設定しています。 ジョブ・ジョブネットに実行パラメータを指定した場合でも定義ファイルの設定値が優先されます。 <ul style="list-style-type: none"> 2：既存ファイルを削除し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/budget_detail/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
予算期間コード	budget_period_cd	エクスポートする予算明細の予算期間コードを設定します。
予算バージョン	budget_version	エクスポートする予算明細の予算バージョンを設定します。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{MASTER_ID} : マスタID

変更事由マスタ

本項では、変更事由マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

変更事由マスタは、intra-mart Accel Kaiden!の各画面で利用する変更事由のドロップダウンリストの選択肢です。変更事由のドロップダウンリストを使用する場合、メンテナンスしてください。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「変更事由」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

No	分類	事由コード	事由名
1	変更事由 (住所変更)	100001	転居 (自己都合)
2	変更事由 (住所変更)	100002	転居 (会社都合)
3	変更事由 (共通)	100001	その他
4	変更事由 (口座変更申請)	100001	入社
5	変更事由 (口座変更申請)	100002	自己都合
6	変更事由 (口座変更申請)	100003	金融機関都合
7	変更事由 (家族異動届)	100001	入社
8	変更事由 (家族異動届)	100002	自己都合
9	変更事由 (支払先申請)	100001	入社
10	変更事由 (支払先申請)	100002	自己都合
11	変更事由 (支払先申請)	100003	登録
12	変更事由 (通勤経路申請)	100001	入社

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

期間一覧

開始日 - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

事由分類コード * 変更事由 (共通)

事由コード * sample

事由名 * サンプル

ソートキー * 1

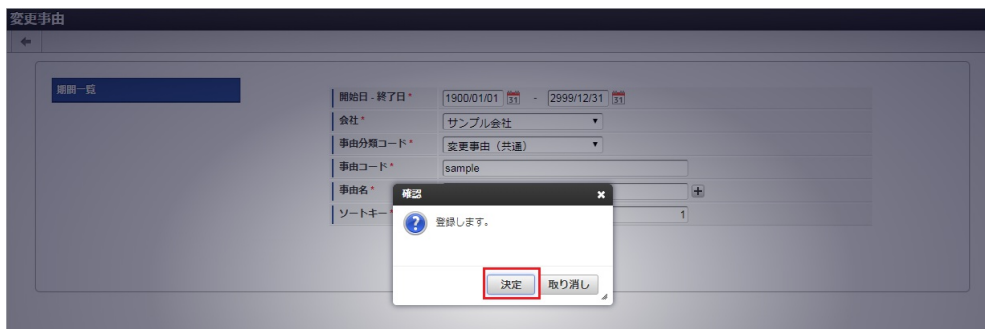
登録 一覧に戻る

- 事由分類コード

登録する変更事由を使用するガジェットを選択します。

- 事由コード
会社、事由分類ごとに、一意のコードを入力します。
- 事由名
事由の名称を入力します。
- ソートキー
ソートキーを入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「変更事由」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい変更事由の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 事由コード
- 事由名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

変更事由

新規登録

検索 クリア

No	▲ 分類	事由コード	事由名
1	変更事由 (住所変更)	100001	転居 (自己都合)
2	変更事由 (住所変更)	100002	転居 (会社都合)
3	変更事由 (共通)	100001	その他
4	変更事由 (共通)	sample	サンプル
5	変更事由 (口座変更申請)	100001	入社
6	変更事由 (口座変更申請)	100002	自己都合
7	変更事由 (口座変更申請)	100003	金融機関都合
8	変更事由 (家族異動届)	100001	入社
9	変更事由 (家族異動届)	100002	自己都合
10	変更事由 (支払先申請)	100001	入社
11	変更事由 (支払先申請)	100002	自己都合

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

変更事由

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日・終了日: 1900/01/01 - 2999/12/31

会社: サンプル会社

事由分類コード: 変更事由 (共通)

事由コード: sample

事由名: サンプル

ソートキー: 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 事由分類コード
- 事由コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

変更事由

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日・終了日: 1900/01/01 - 2999/12/31

会社: サンプル会社

事由分類コード: 変更事由 (共通)

事由コード: sample

事由名: サンプル

ソートキー: 1

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 有権限已 ?

変更事由

更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	▲ 分類	事由コード	事由名
1	変更事由 (住所変更)	100001	転居 (自己都合)
2	変更事由 (住所変更)	100002	転居 (会社都合)
3	変更事由 (共通)	100001	その他
4	変更事由 (共通)	sample	サンプル
5	変更事由 (口座変更申請)	100001	入社
6	変更事由 (口座変更申請)	100002	自己都合
7	変更事由 (口座変更申請)	100003	金融機関都合
8	変更事由 (家族異動届)	100001	入社
9	変更事由 (家族異動届)	100002	自己都合
10	変更事由 (支払先申請)	100001	入社

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	期間コード		50	未設定の場合、自動的に付与されます。 半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
6	ロケールID	○	50	ja：日本語 en：英語 zh_CN：中国語
7	事由分類コード	○	100	
8	事由コード	○	100	
9	事由名	○	250	
10	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","ja","100012-1","00000","サンプル事由","1"
"comp_sample_01","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","en","100012-1","00000","Sample Reason","1"
"comp_sample_01","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","zh_CN","100012-1","00000","日本原因","1"
"comp_sample_01","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","ja","100012-1","00000","サンプル事由","1"
"comp_sample_01","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","en","100012-1","00000","Sample Reason","1"
"comp_sample_01","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","zh_CN","100012-1","00000","日本原因","1"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「事由分類コード」、「事由コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。

「会社コード」、「事由分類コード」、「事由コード」、期間が同じで「ロケールID」が異なるデータは、同じ期間コードを設定します。

「会社コード」、「事由分類コード」、「事由コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/changeReason

ファイル名 import.csv

i コラム

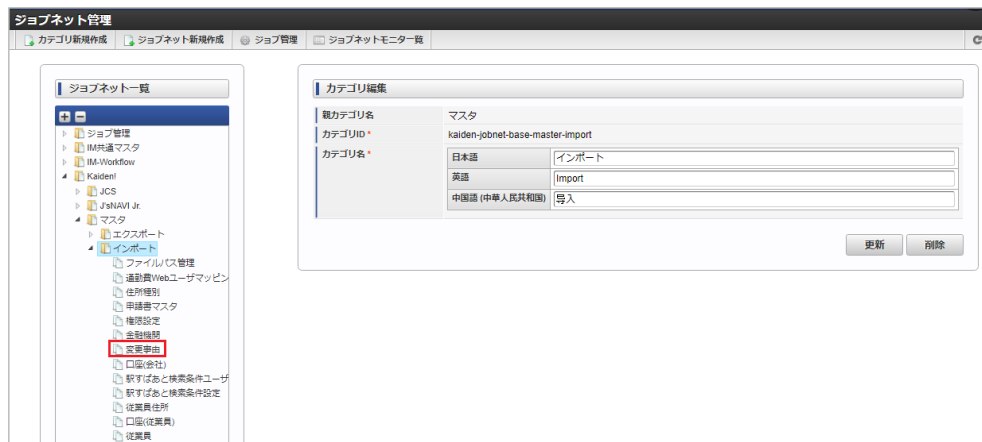
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

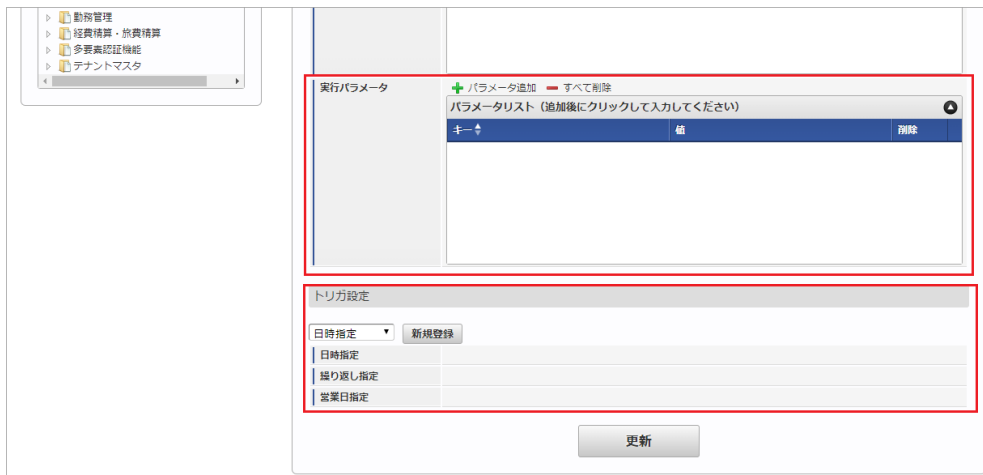
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「変更事由」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

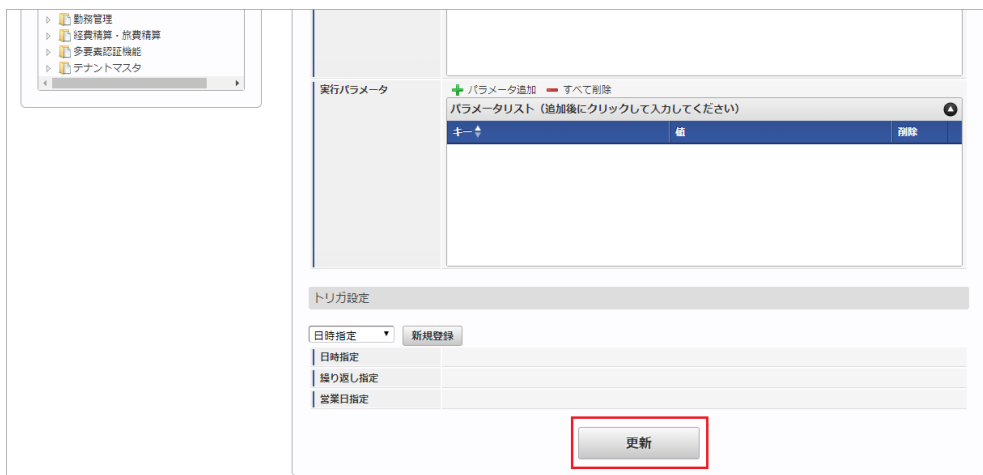
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

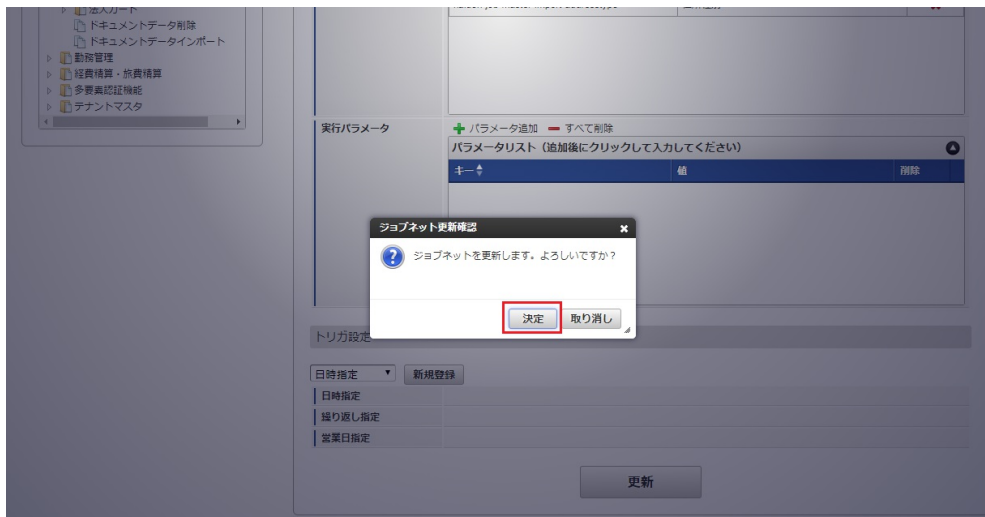
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-changereason	Kaiden! / マスタ / インポート / 変更事由

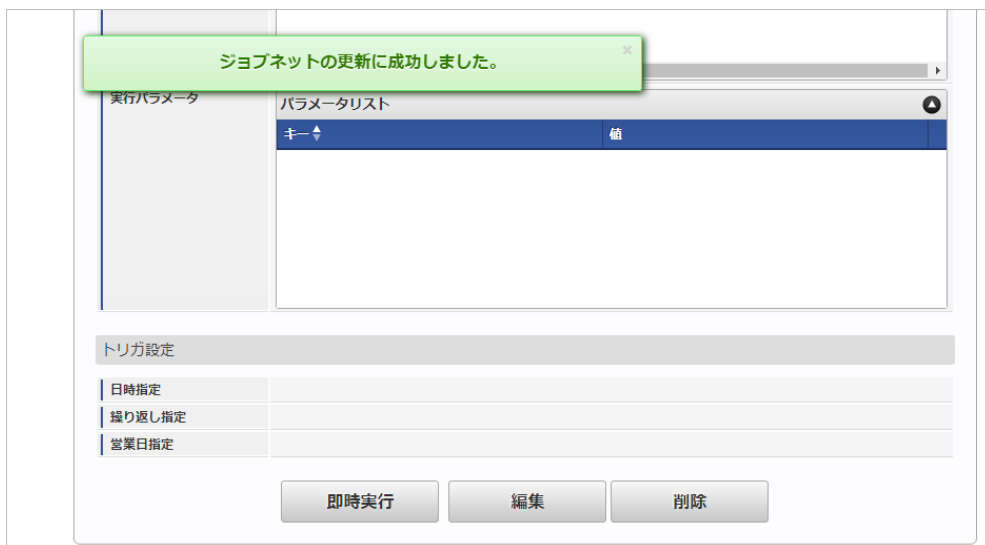
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/changeReason/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/changeReason/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 変更事由マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。

名称	キー	説明 / 設定値
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 変更事由マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「changeReason」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

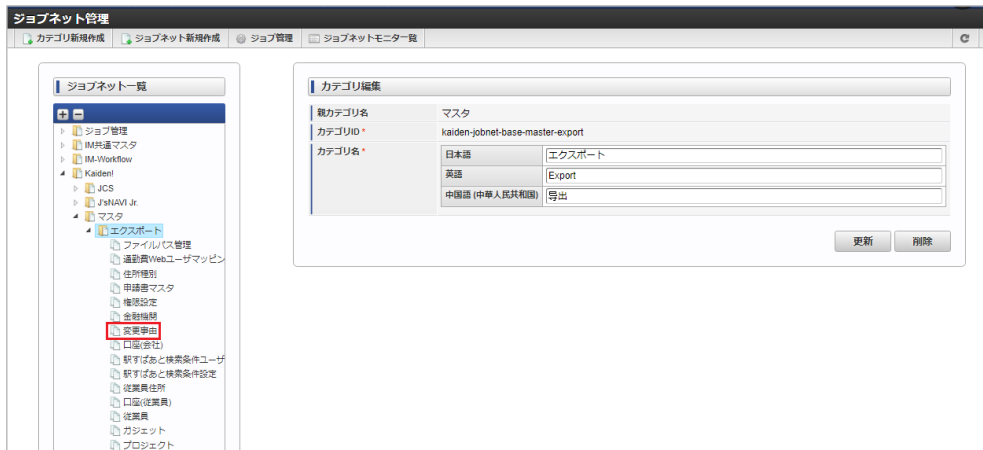
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

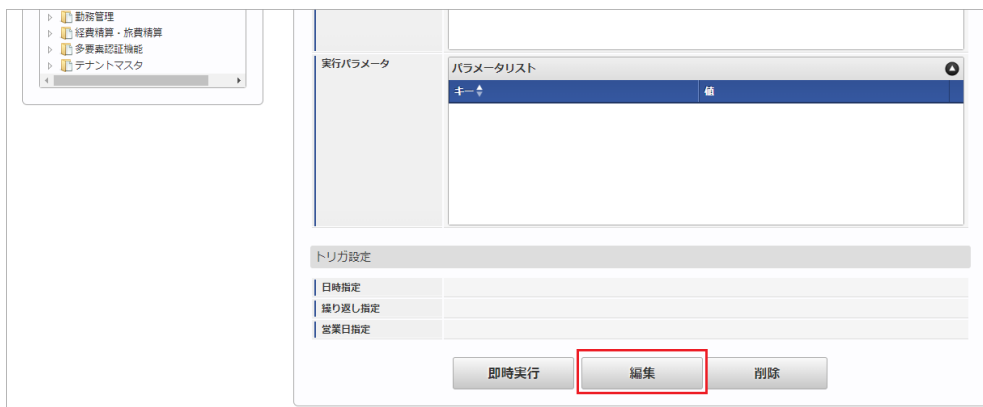
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

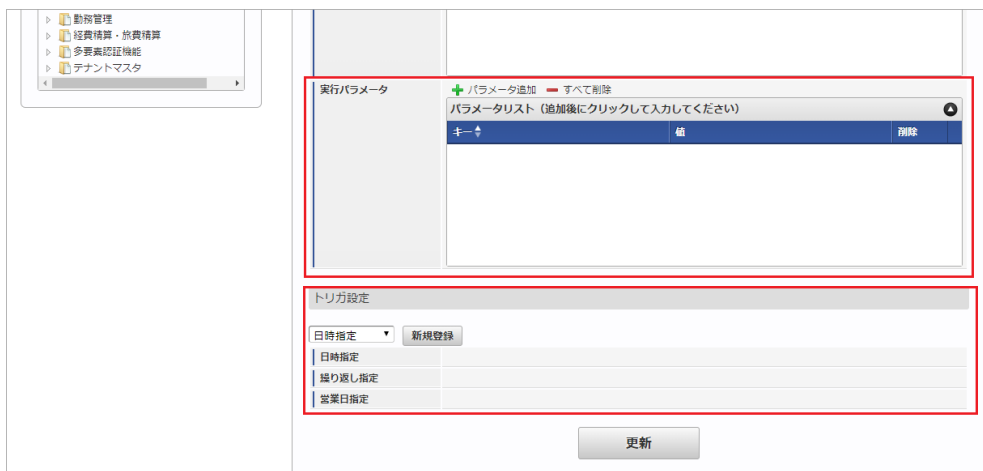
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「変更事由」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-changereason	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 変更事由

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ	パラメータリスト	
	キー	値

トリガ設定

日時指定	
繰り返し指定	
営業日指定	

即時実行 編集 削除

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/changeReason/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効
localeId	ロケールID	ja：日本語 en：英語 zh_CN：中国語
reasonCategoryCd	事由分類コード	
reasonCd	事由コード	
reasonName	事由名	
sortKey	ソートキー	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 全件出力モード ▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/changeReason/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/changeReason/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 変更事由マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 変更事由マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「changeReason」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

住所種別マスタ

本項では、住所種別マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

住所種別マスタは、「従業員住所マスタ」で使用する住所の種別を管理します。
インポートとエクスポートが可能です。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	住所ID	○	100	
3	期間コード		50	未設定の場合、自動的に付与されます。 半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効
7	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
8	住所種別名称	○	250	
9	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","en","Current address","1"
"comp_sample_01","sample","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","zh_CN","目前的地址","1"
"comp_sample_01","sample","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","ja","現住所","1"
"comp_sample_01","sample","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","en","Current address","1"
"comp_sample_01","sample","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","zh_CN","目前的地址","1"
"comp_sample_01","sample","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","ja","現住所","1"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「住所ID」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「住所ID」、期間が同じで「ロケールID」が異なるデータは、同じ期間コードを設定します。
「会社コード」、「住所ID」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/addressType

ファイル名 import.csv

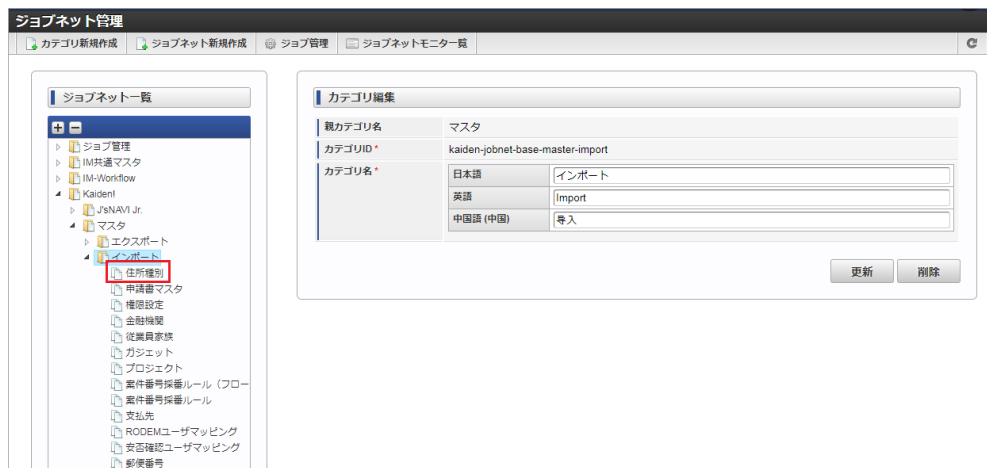
コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

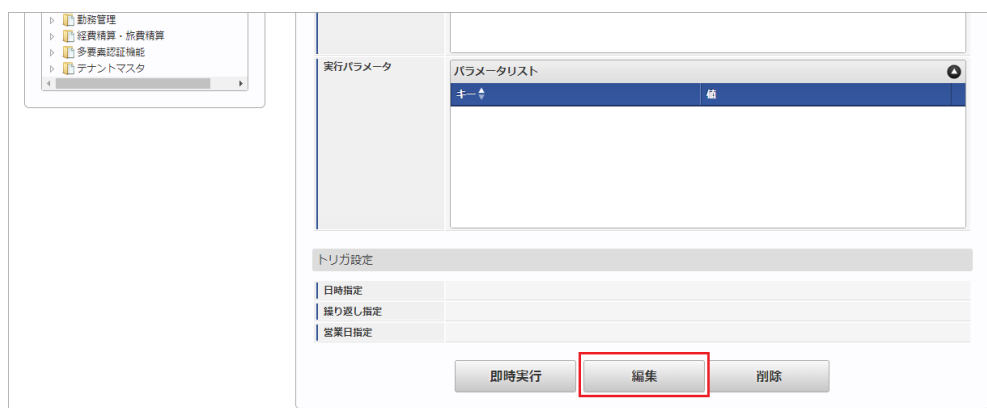
- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

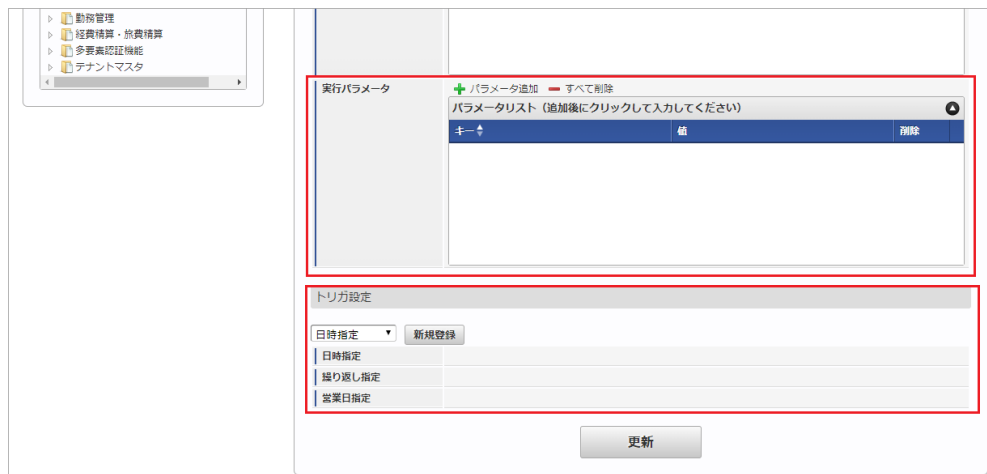
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「住所種別」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

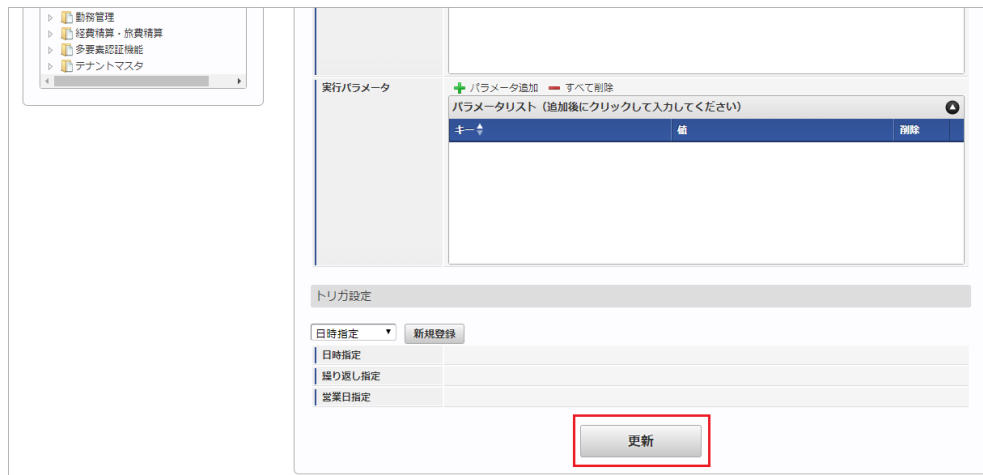
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

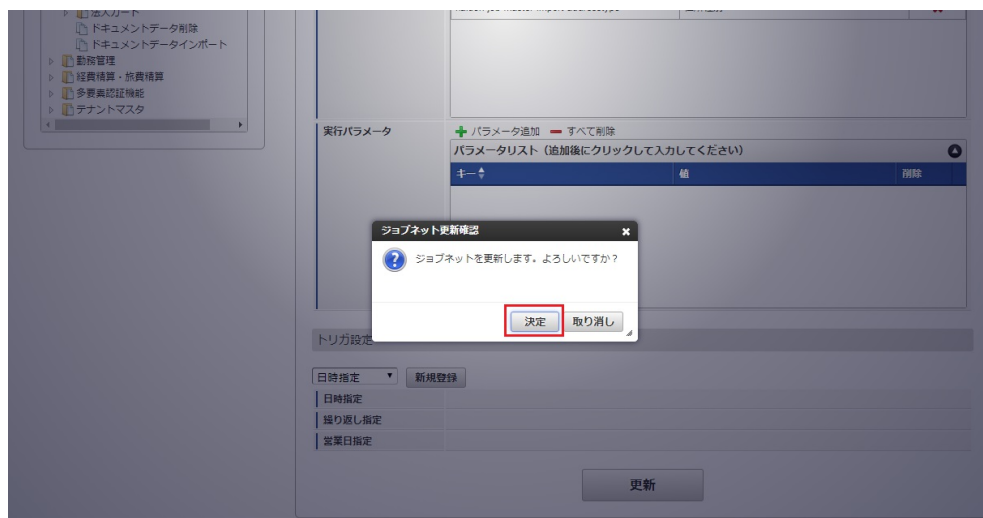
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-addressstype	Kaiden! / マスタ / インポート / 住所種別

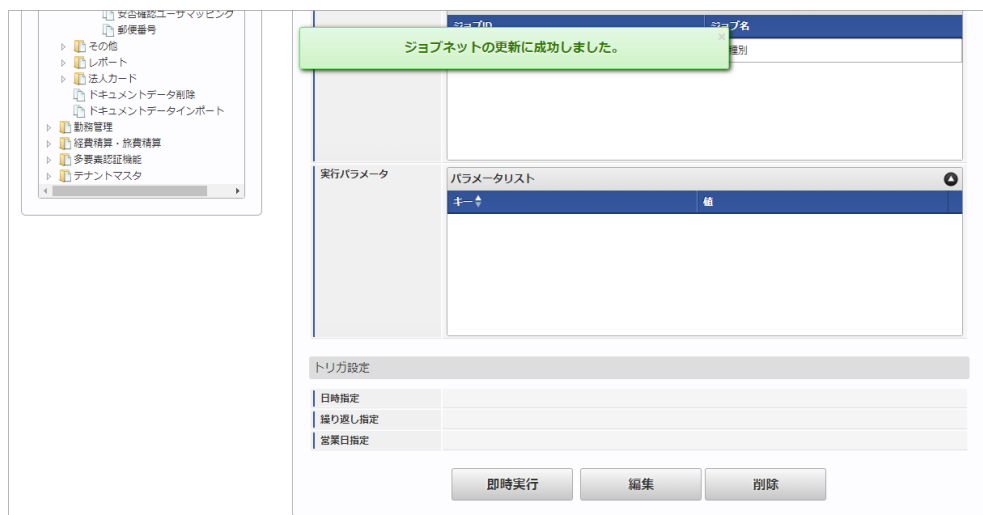
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/addressType/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/addressType/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 住所種別マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 住所種別マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「addressType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

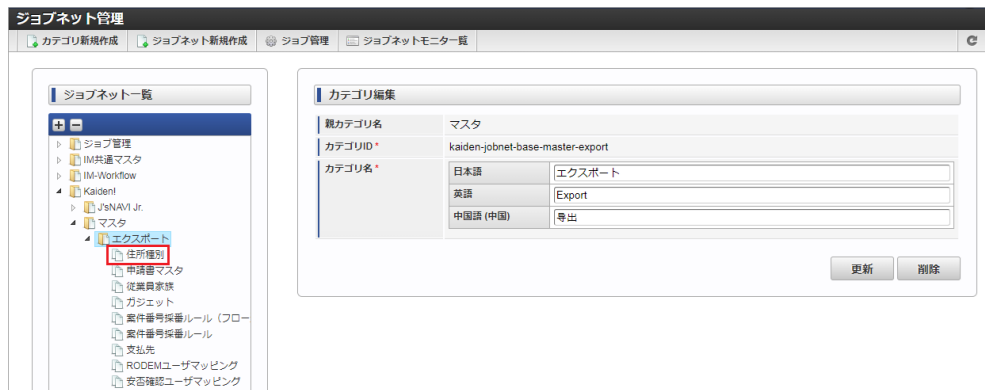
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

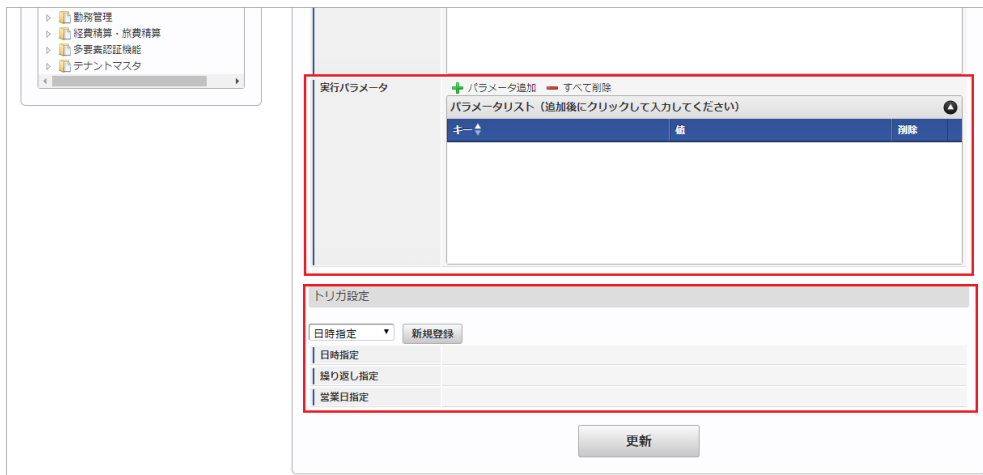
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「住所種別」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

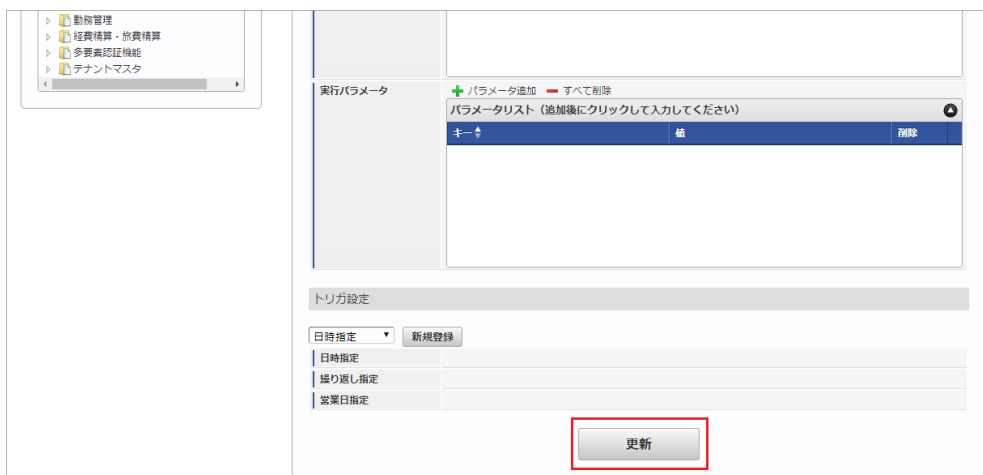
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

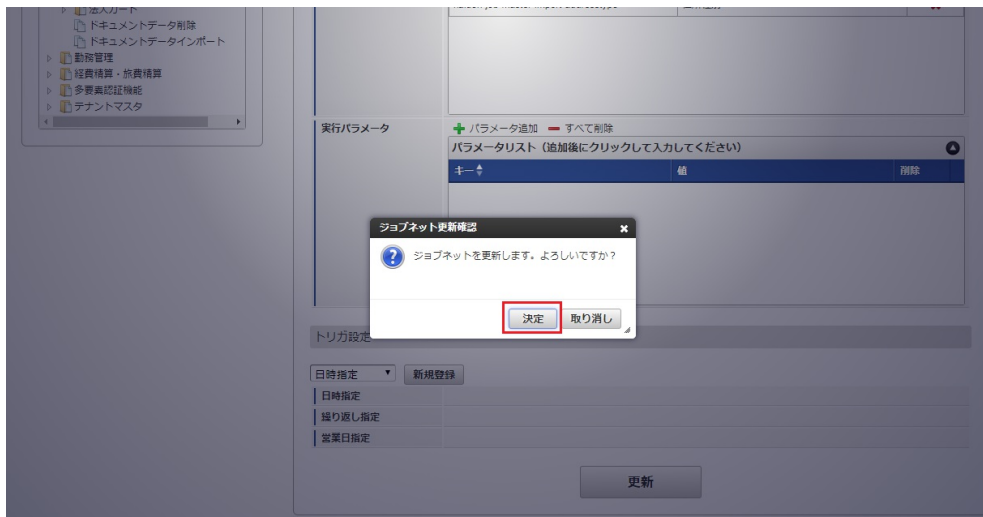
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-addressstype	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 住所種別

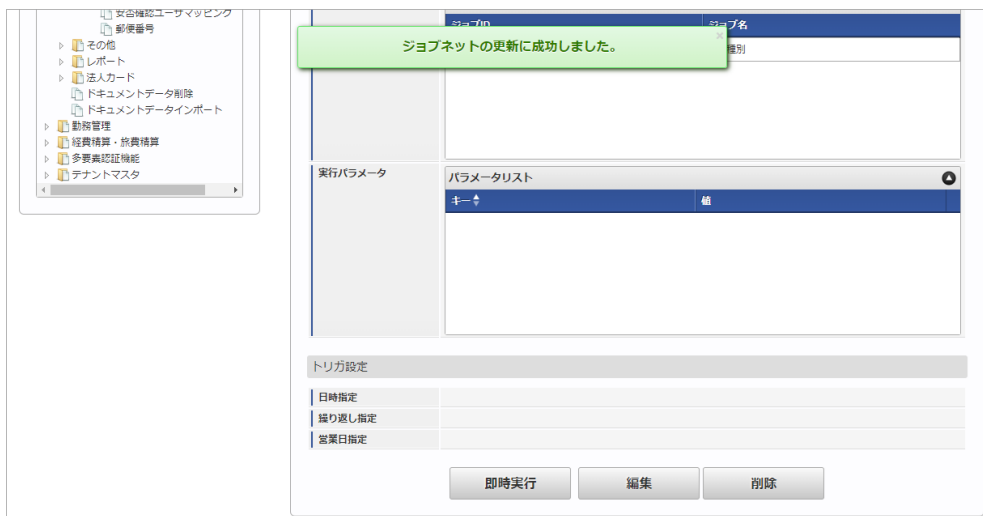
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/addressType
 ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
addressId	住所ID	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式

endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
addressTypeName	住所種別名称	
sortKey	ソートキー	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/addressType/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/addressType/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 住所種別マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 住所種別マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「addressType」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

郵便番号マスタ

本項では、郵便番号マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

郵便番号マスタは、日本郵便株式会社の提供している郵便番号データを取り込み「[従業員住所マスタ](#)」で使用します。インポートを実施できます。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

日本郵便株式会社の[サイト](#)から郵便番号データ(ken_all.zip)をダウンロードして、インポートデータに使用してください。インポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード SHIFT-JIS

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	LGコード	○	6	
2	old_zipコード	○	5	
3	zipコード	○	7	
4	都道府県カナ		250	
5	市町村カナ		250	
6	町域名カナ		250	
7	都道府県		250	
8	群市町村		250	
9	町域名		250	
10	フラグ1		1	
11	フラグ2		1	
12	フラグ3		1	
13	フラグ4		1	
14	フラグ5		1	
15	フラグ6		1	

データサンプル

```
01101,"064 ", "0640941", "ホッカイド", "サッポロ市中央区", "アサヒカ", "北海道", "札幌市中央区", "旭ヶ丘", 0,0,1,0,0,0
```

コラム

日本郵便株式会社の[サイト](#)からダウンロードしたデータをインポートしてください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/zipCode

ファイル名 import.csv

コラム

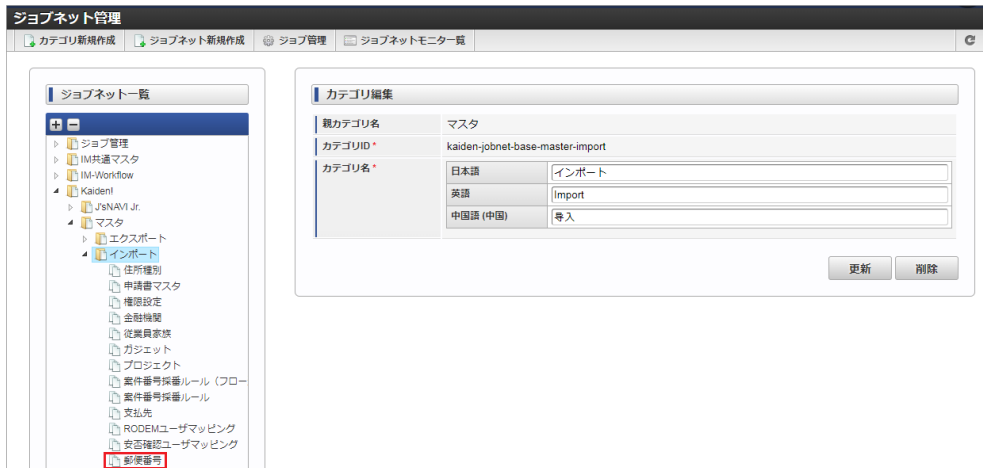
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

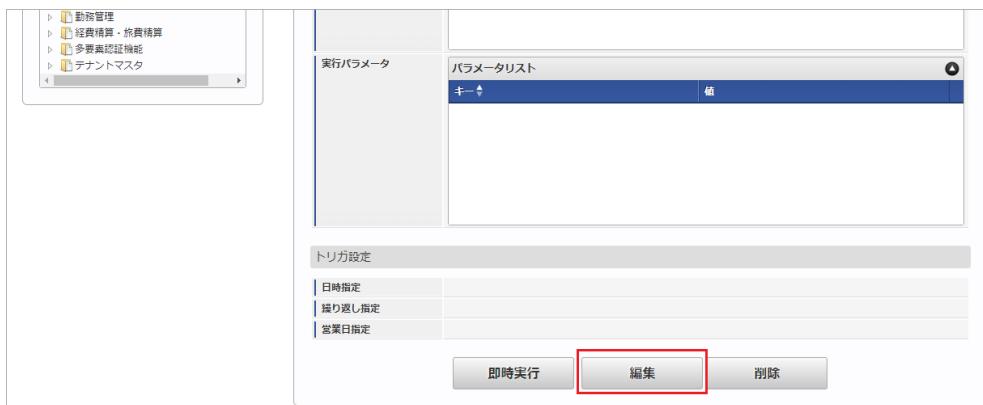
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「郵便番号」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

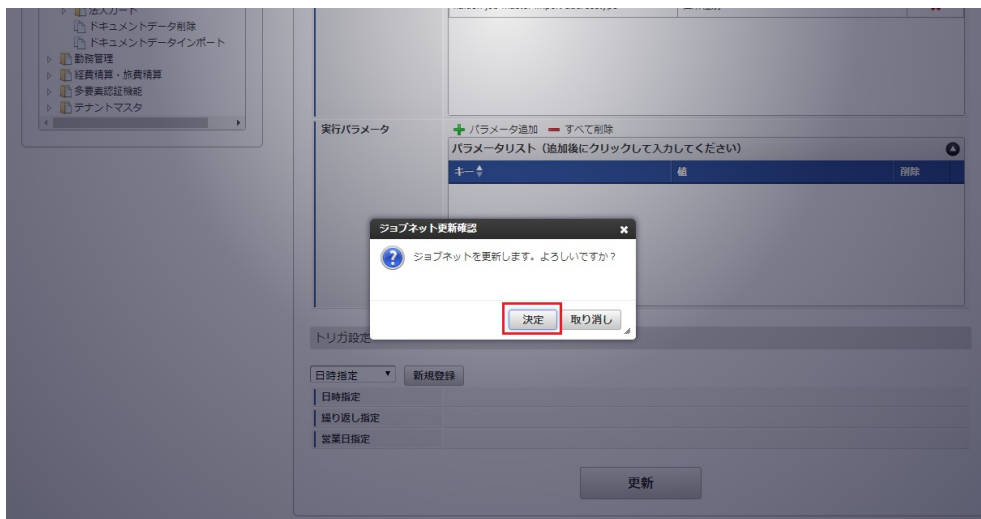
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-zipcode	Kaiden! / マスタ / インポート / 郵便番号

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/zipCode/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/zipCode/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: SHIFT-JIS) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
整理モード	cleanup_mode	整理モードの有無を設定します。 整理する場合、郵便番号データの市区町村・市区町村カナが住所ではないデータの場合(例「以下に掲載がない場合」)空文字を設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 0: 整理しない ▪ 1: 整理する

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

従業員住所マスタ

本項では、従業員住所マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- 住所検索機能
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

従業員住所マスタは、従業員の住所を管理します。
 設定はユーザ単位で行い、複数の住所情報を管理できます。
 メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
 また、マスタ設定をエクスポート可能です。
 メンテナンスの他に申請機能（住所変更申請）でも、従業員住所の登録が可能です。

コラム

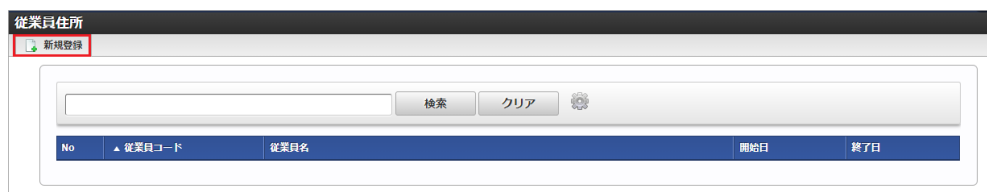
住所変更申請では、最終承認後に従業員住所が登録（更新）されます。
 住所変更申請の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「従業員住所」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 変更事由
住所を変更した事由を選択します。
- 住所種別
対象住所の種別を選択します。
- 郵便番号
郵便番号を入力します。
「住所検索」をクリックすると、住所を検索できます。
- 都道府県
都道府県を選択します。
- 群市町村
住所のうち、群市町村を入力します。
- 丁目・番地
住所のうち、丁目・番地を入力します。
- ビル・建物名
住所のうち、ビル・建物名を入力します。

i コラム

「従業員」、「住所種別」は開始日、「変更事由」はシステム日付を検索基準日としています。

i コラム

明細機能の操作方法は、[明細行 \(カード形式\) の操作](#) を参照してください。

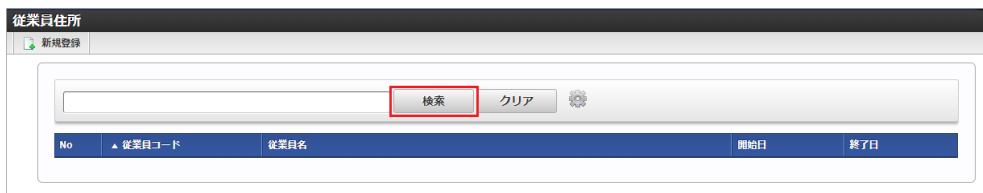
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「従業員住所」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

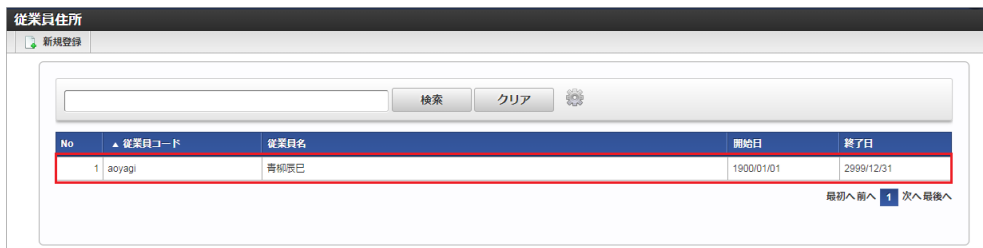


i コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 従業員コード
- 従業員名

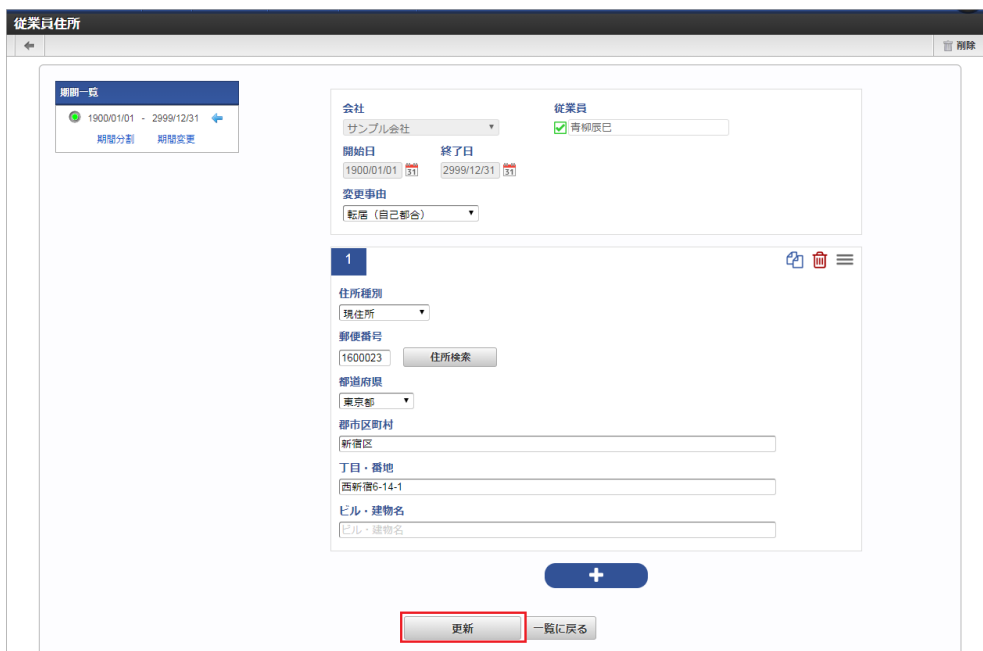
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 従業員
- 開始日
- 終了日

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	従業員コード	従業員名	開始日	終了日
1	aoiyagi	青柳京巳	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

住所検索機能

住所検索機能は、[郵便番号マスタ](#)のインポートを実施している場合使用できます。

1. 「住所検索」ボタンをクリックします。

2. 検索条件を入力し、「検索」をクリックします。

住所検索

郵便番号 都道府県

市区町村 丁目・番地

検索

No	郵便番号	都道府県	市区町村	丁目・番地

3. 反映したい行をクリックします。

住所検索

郵便番号 都道府県

市区町村 丁目・番地

検索

No	郵便番号	都道府県	市区町村	丁目・番地
1	1600023	東京都	新宿区	西新宿

最初へ前へ **1** 次へ最後へ

4. 「郵便番号」、「都道府県」、「市区町村」、「丁目・番地」が反映されます。

1

住所種別

郵便番号 **住所検索**

都道府県

市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名	import_header.csv import_detail.csv
文字コード	UTF-8
区切り文字	,
囲み文字	"

- データ形式**
 import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	事由分類コード		100	「100012-6」を指定してください。
3	事由コード		100	
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term01","1900/01/01","1999/12/31","100012-6","100001","1"
"comp_sample_01","hayashi","term02","2000/01/01","2999/12/31","100012-6","100001","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「ユーザコード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「ユーザコード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

- データ形式**
 import_detail.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	住所種別	○	100	住所種別マスタの住所ID
6	郵便番号	○	7	
6	都道府県	○	100	項目マスタの項目ID
6	郡市区町村		200	
6	丁目・番地		200	
6	ビル・建物名		200	

データサンプル

```
"comp_sample_01","hayashi","term01","0","1","10001","1070052","100013-13","","",""
"comp_sample_01","hayashi","term02","0","1","10001","1070052","100013-13","","",""
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。



コラム

「import_header.csv」、「import_detail.csv」で設定された「会社コード」、「ユーザコード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/empAddress

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv



コラム

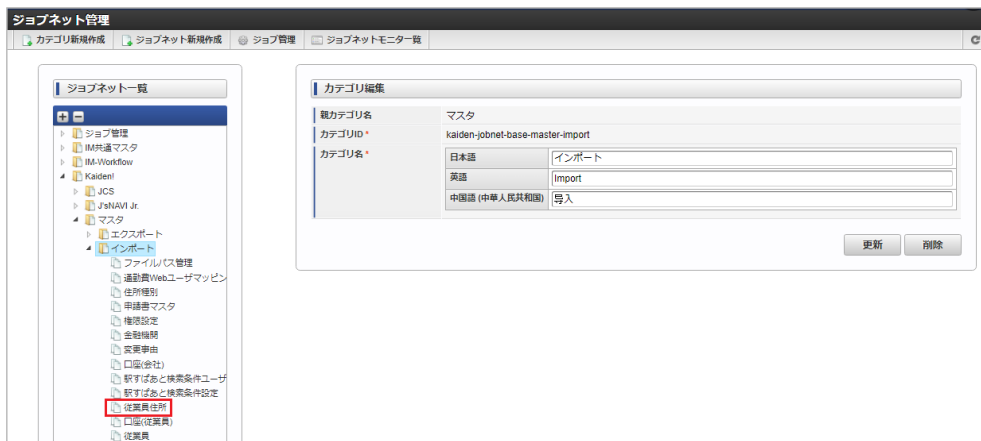
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

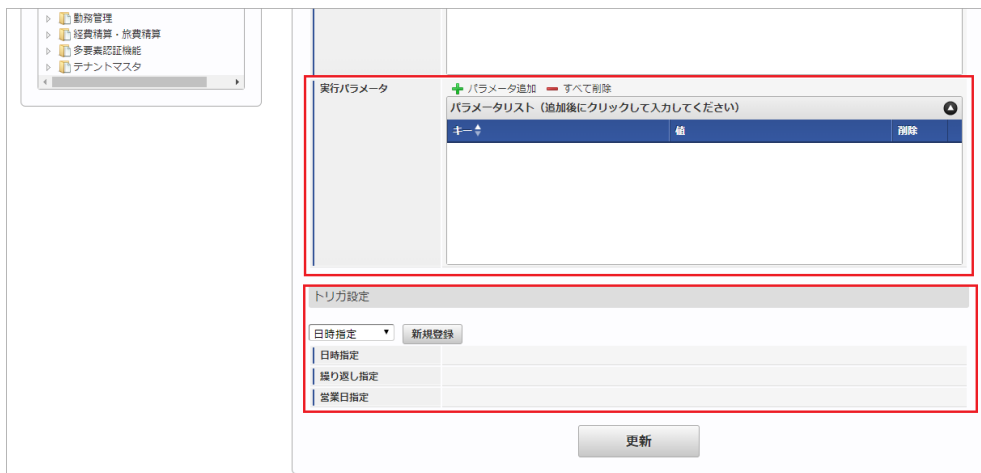
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「従業員住所」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

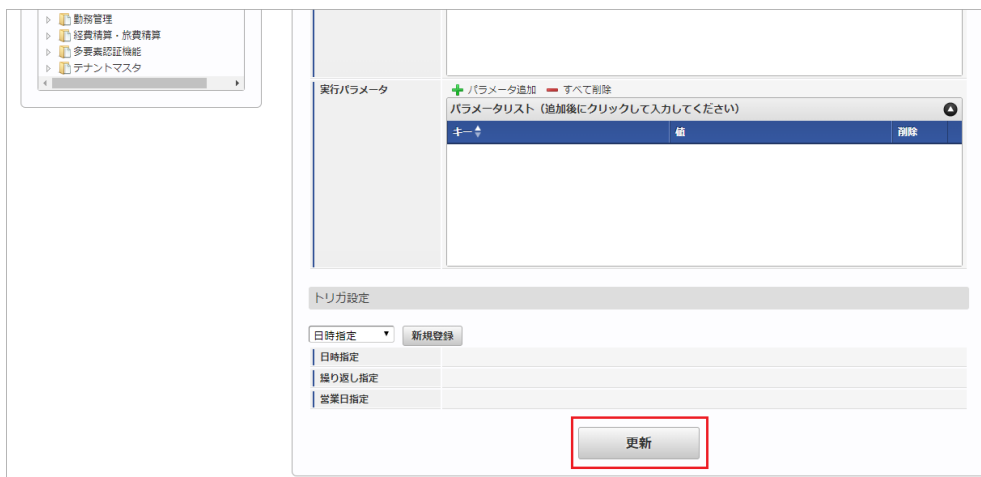
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

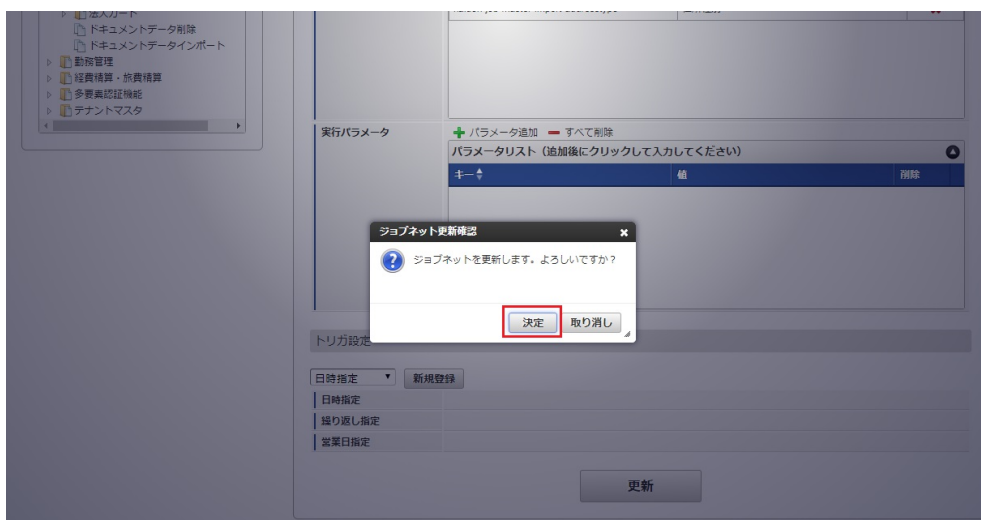
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-master-import-empaddress Kaiden! / マスタ / インポート / 従業員住所

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empAddress/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empAddress/import_header_{YMDHMSN}.csv import_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明/設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 従業員住所マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 従業員住所マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「empAddress」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

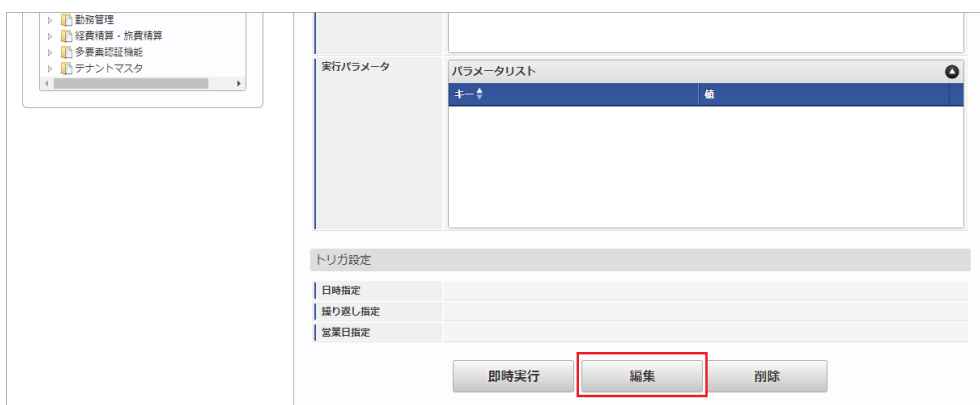
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

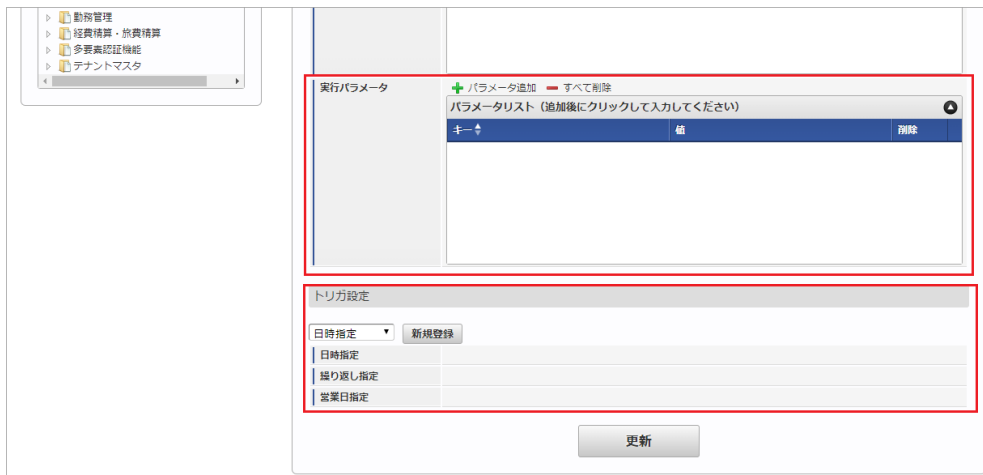
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「従業員住所」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

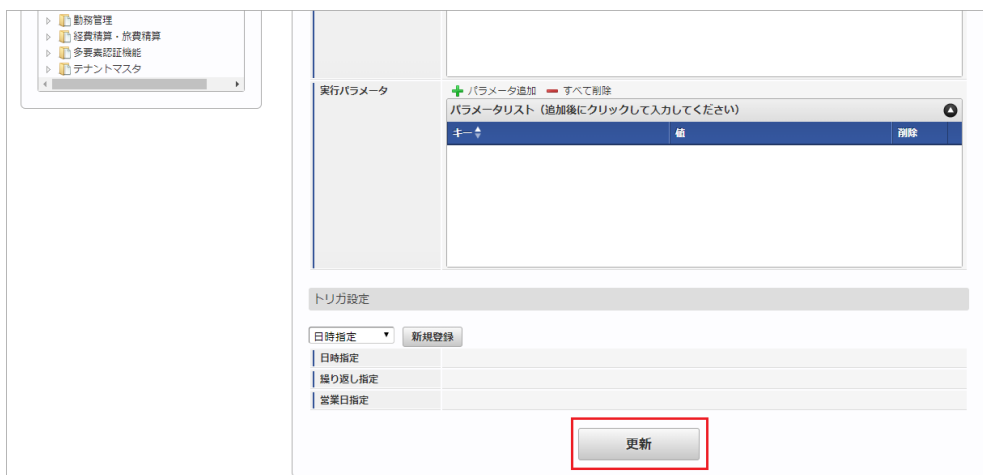
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

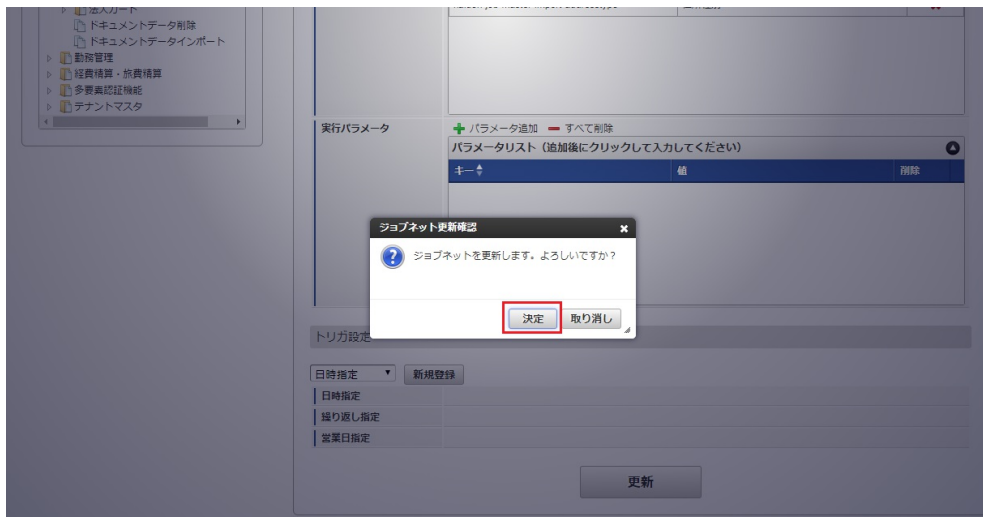
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-empaddress	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 従業員住所

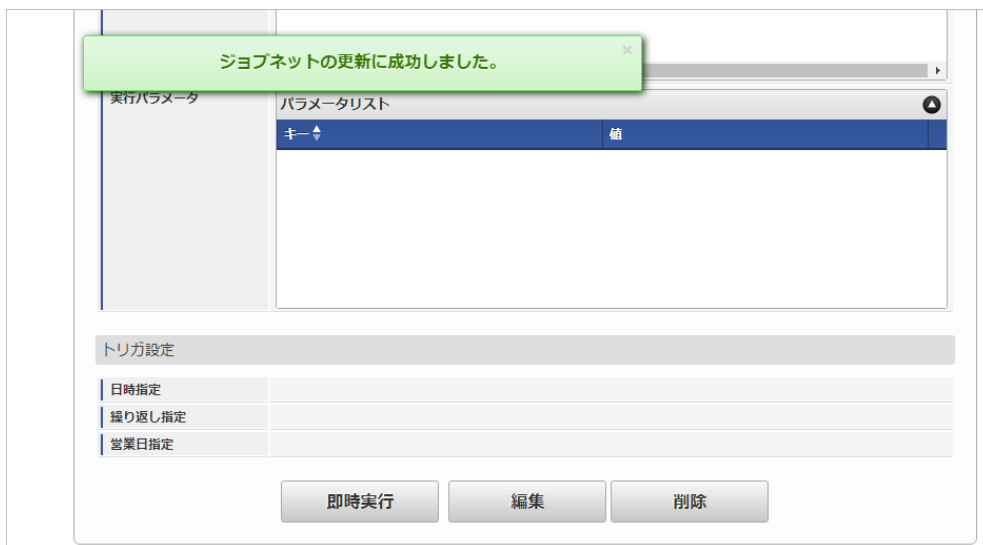
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/empAddress/
ファイル名	export_header.csv export_detail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
 エクスポートファイルのデータ形式です。
 export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	

startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
reasonCategoryCd	事由分類コード	
reasonCd	事由コード	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_detail.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザID	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
agentUserCd	代理先ユーザコード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empAddress/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/empAddress/export_header_{YMDHMSN}.csv export_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 従業員住所マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 従業員住所マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「empAddress」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

安否確認ユーザマッピングマスタ

本項では、安否確認ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

安否確認ユーザマッピングマスタは、安否確認サービスと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

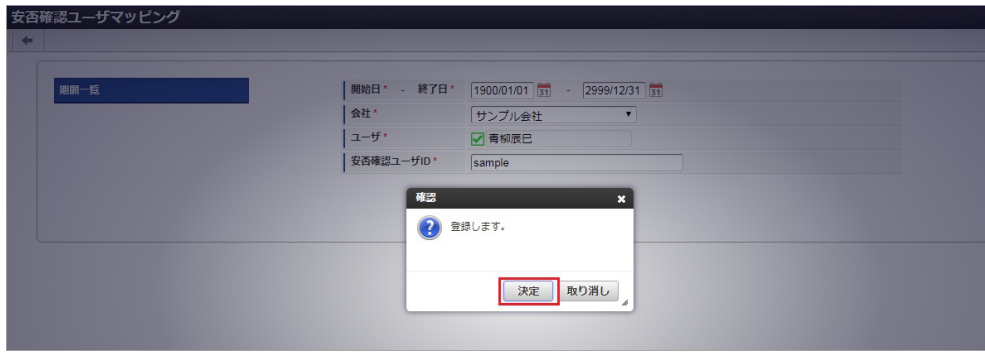
- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 安否確認ユーザID
安否確認システムのユーザIDを入力します。



コラム

「ユーザ」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

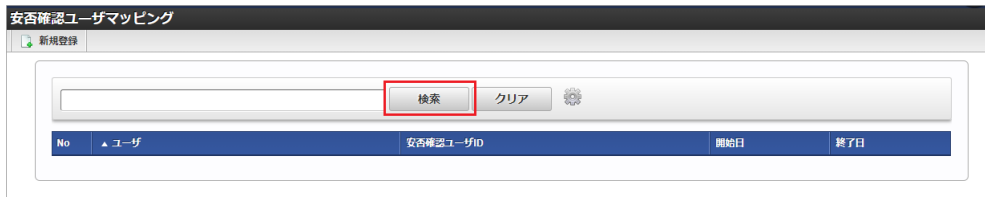


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

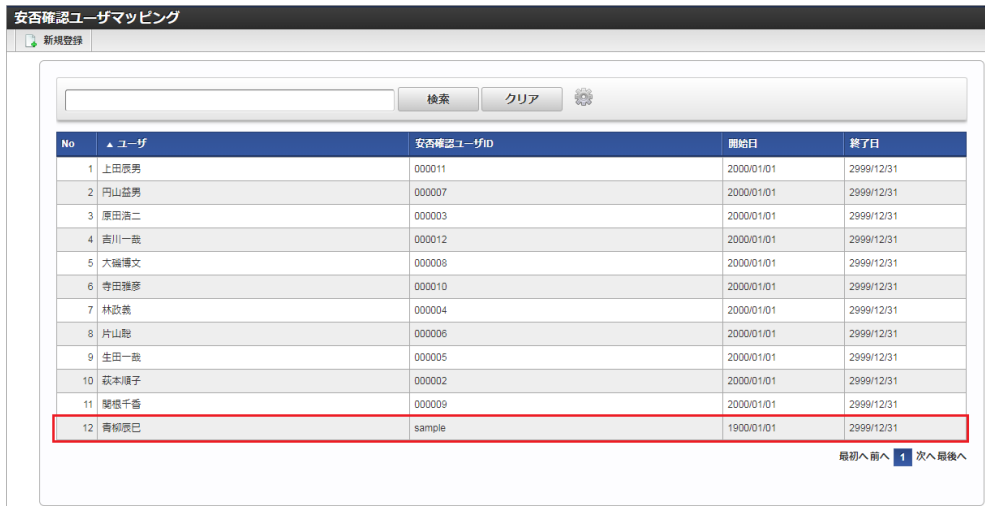


コラム

検索欄に検索したい安否確認ユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザ
- ユーザID
- 安否確認ユーザID

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効
6	安否確認ユーザID	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/safe_user_mapping

ファイル名 import.csv



コラム

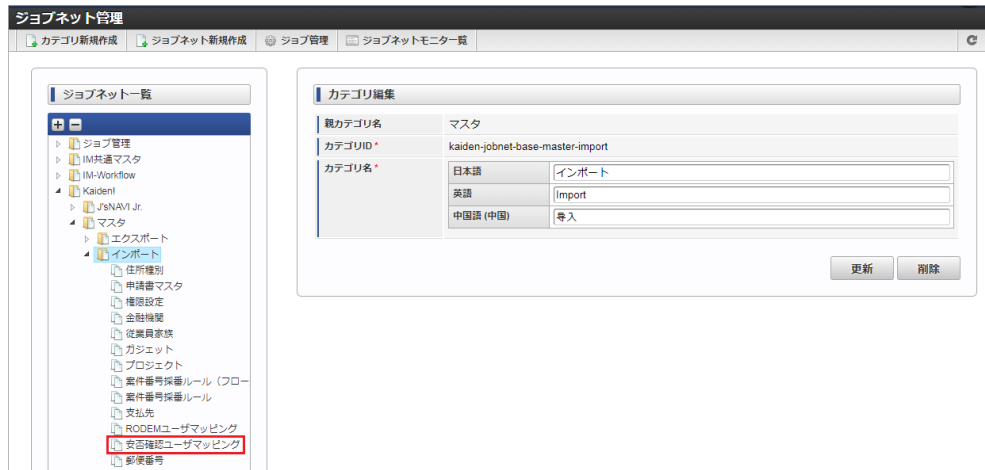
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

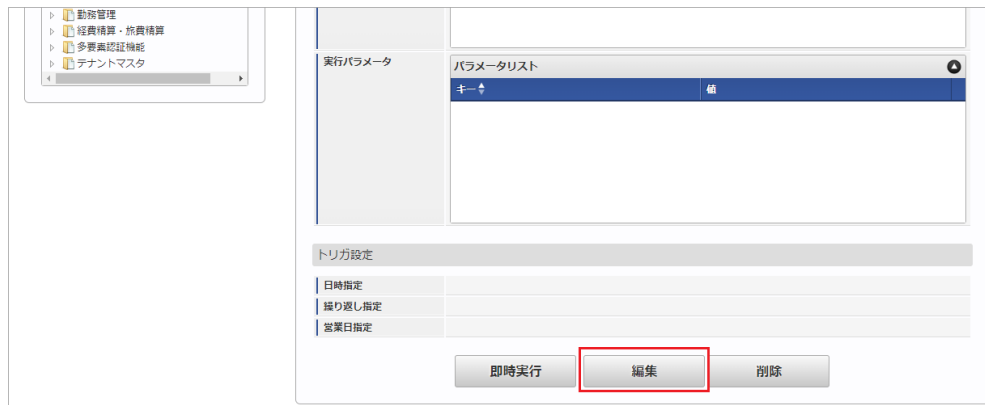
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

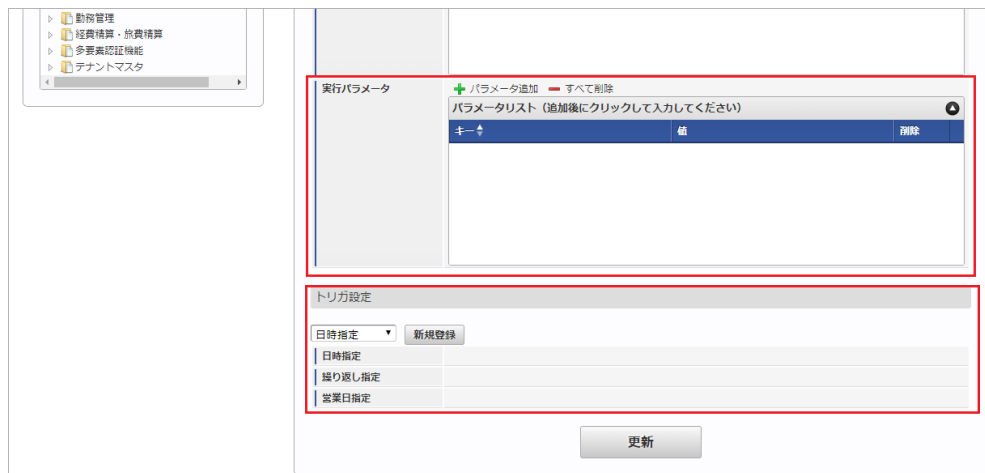
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

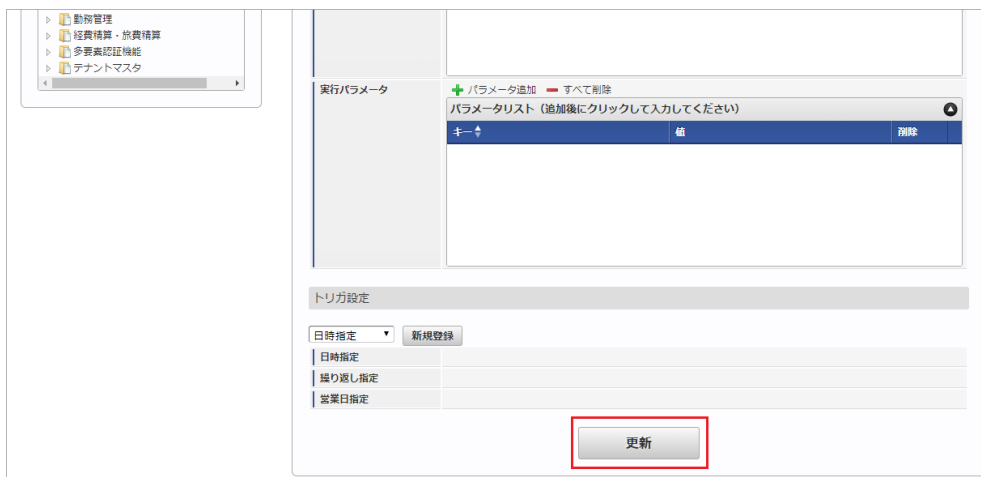
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

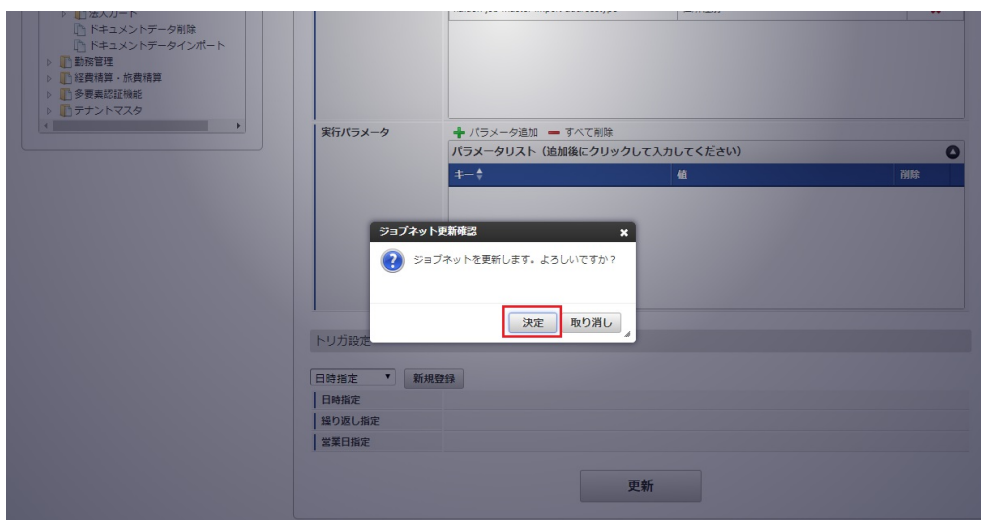
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-safe-user-mapping	Kaiden! / マスタ / インポート / 安否確認ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ

名称	キー	説明 / 設定値
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none">" : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 安否確認ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「safe_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

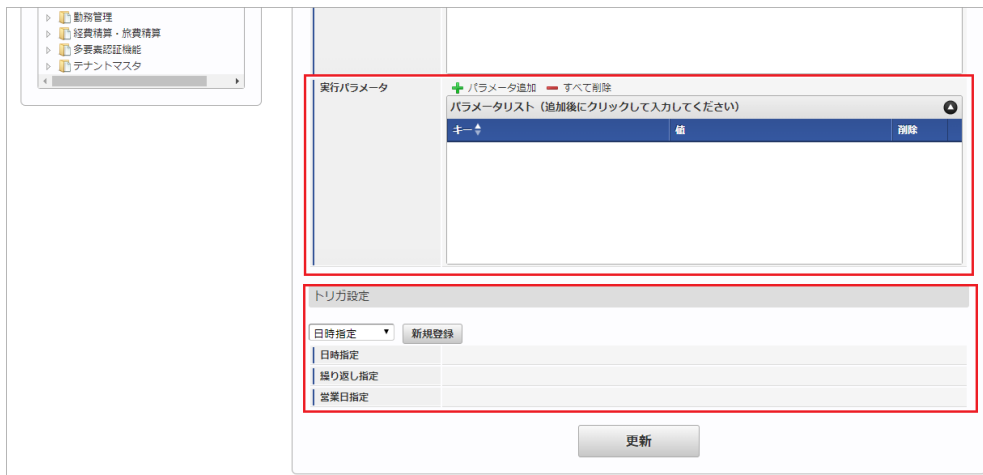
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「安否確認ユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

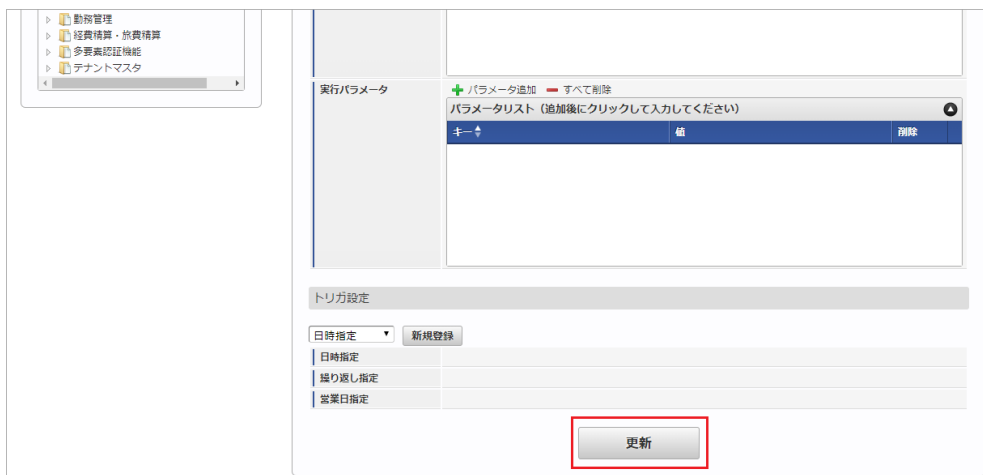
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

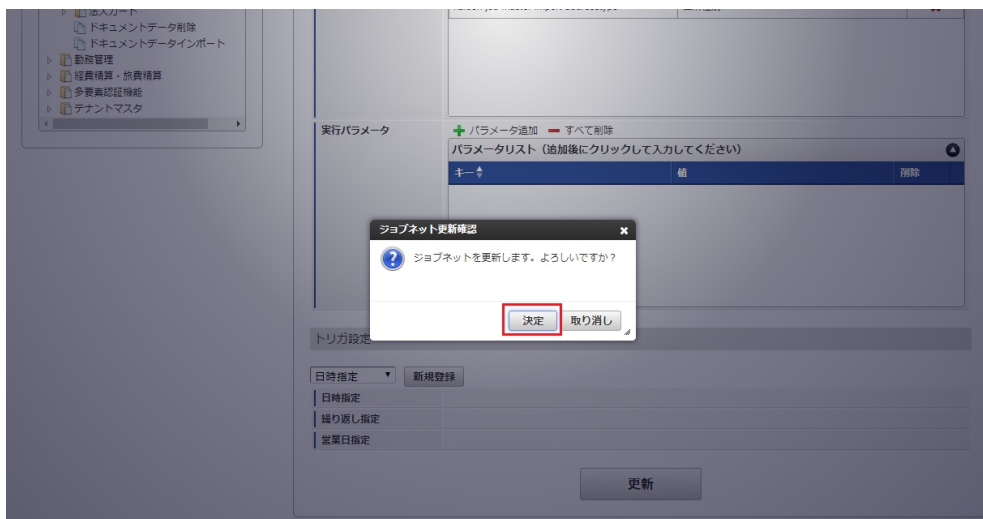
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-safe-user-mapping	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 安否確認ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/safe_user_mapping/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式

deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
userId	安否確認ユーザID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/safe_user_mapping/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t :タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " :ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 安否確認ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「safe_user_mapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

駅すばあと検索条件設定マスタ

本項では、駅すばあと検索条件設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

駅すばあと検索条件設定マスタは、駅すばあとWebサービスで経路を検索する際の検索条件の表示条件を管理します。

[駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#)で、ユーザと検索条件設定を紐付けます。

駅すばあと検索条件設定マスタを設定しない場合、駅すばあとWebサービスの設定ファイルに基づいて検索条件を指定します。

また、「探索種別」は「平均待ち時間探索」が設定され、詳細な検索条件の設定画面は非表示になります。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

コラム

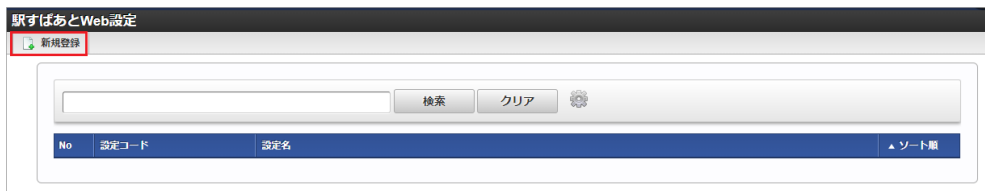
駅すばあとWebサービスの設定ファイルの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-「駅すばあとWebサービス設定」を参照して設定してください。

メンテナンス

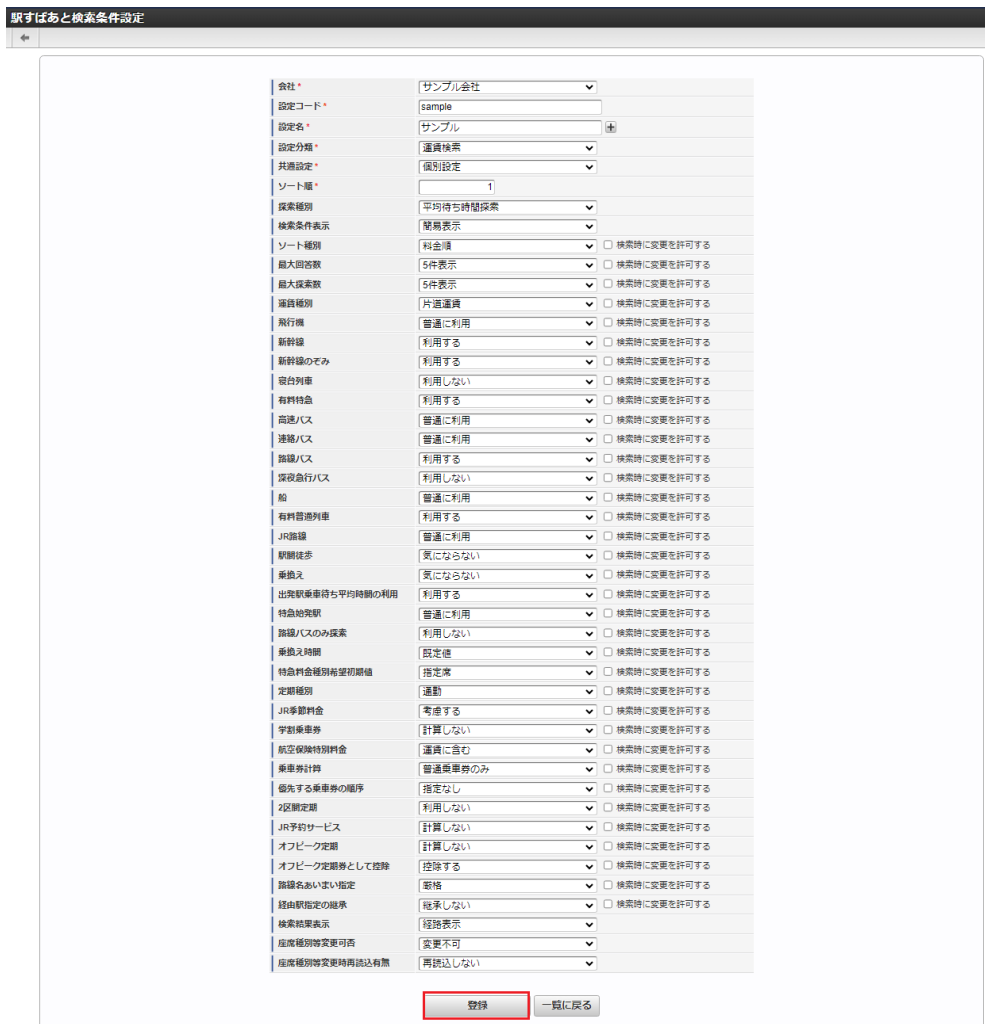
本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



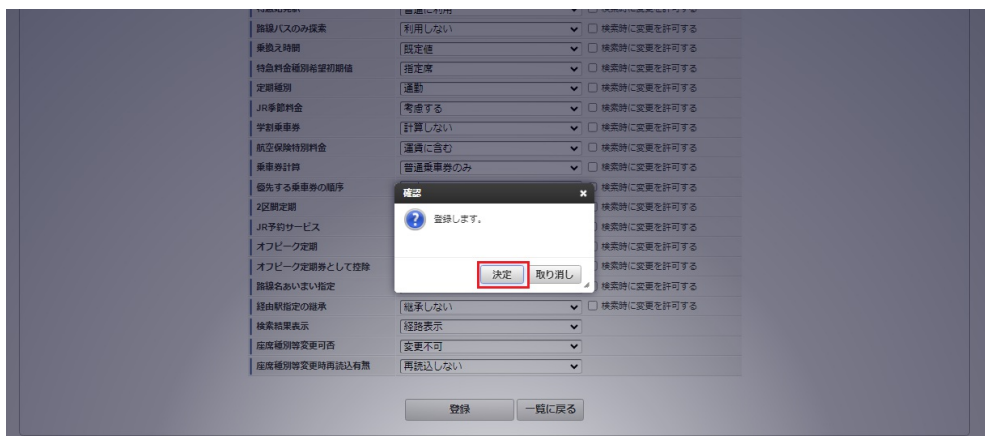
- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 設定コード**
 会社ごとに一意のコードを入力します。
- 設定名**
 設定の名称を入力します。
- 設定分類**
 「運賃検索」を選択した場合、経路探索時の設定として使用します。
 「定期券料金検索」を選択した場合、定期券の料金検索時の設定として使用します。
- 共通設定**
 「個別設定」を選択した場合、駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングしたユーザの検索条件として使用します。
 「共通設定」を選択した場合、該当の会社の全てのユーザの検索条件として使用します。
 ただし、「個別設定」が設定されている場合、「個別設定」を優先して使用します。
- ソート順**
 ソート順を入力します。
- 探索種別**
 「平均待ち時間探索」：指定した日付の平均待ち時間を考慮して経路を探索します。
 「出発時刻探索」：指定した日時に出発する経路を探索します。
 「到着時刻探索」：指定した日時に到着する経路を探索します。
 「始発電車探索」：指定した日付の始発経路を探索します。
 「最終電車探索」：指定した日付の最終経路を探索します。
 「ダイヤ探索」：「出発時刻探索」、「到着時刻探索」、「始発電車探索」、「最終電車探索」から選択して経路を探索します。
 設定分類が「定期券料金検索」の場合、「平均待ち時間探索」を設定してください。

- 検索条件表示
 - 「簡易表示」を設定した場合、経路探索時に詳細な検索条件の設定画面を非表示にします。
 - 「詳細表示」を設定した場合、経路探索時に詳細な検索条件の設定画面が表示されます。
- 詳細検索条件全般
 - 「検索時に変更を許可する」にチェックを入れた項目は、詳細な検索条件の設定画面に表示され、ユーザが検索条件を変更できます。
 - また、選択した項目が詳細な検索条件の設定画面表示時の初期値となります。
 - 「検索時に変更を許可する」にチェックを入れた項目がある場合、「検索条件表示」に「詳細表示」を選択してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



コラム

「学割乗車券」と「JR予約サービス」の同時指定はできません。いずれかを設定なし、もしくは計算しないに設定してください。

コラム

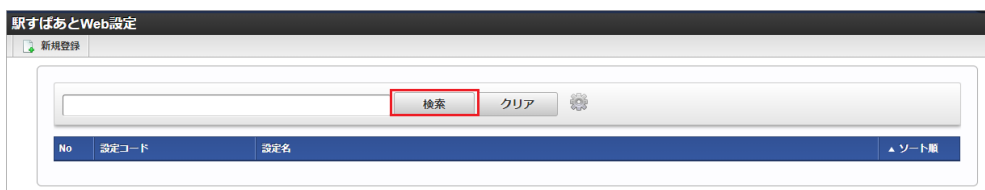
「運賃種別」、「検索結果表示」、「座席種別等変更可否」、「座席種別等変更時再読込有無」は将来拡張用の項目です。

注意

「航空保険特別料金」は無効な項目です。設定しても、駅すばあとWebサービスで経路を検索する際の検索条件として使用されません。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい駅すばあと検索条件設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 設定コード
- 設定名

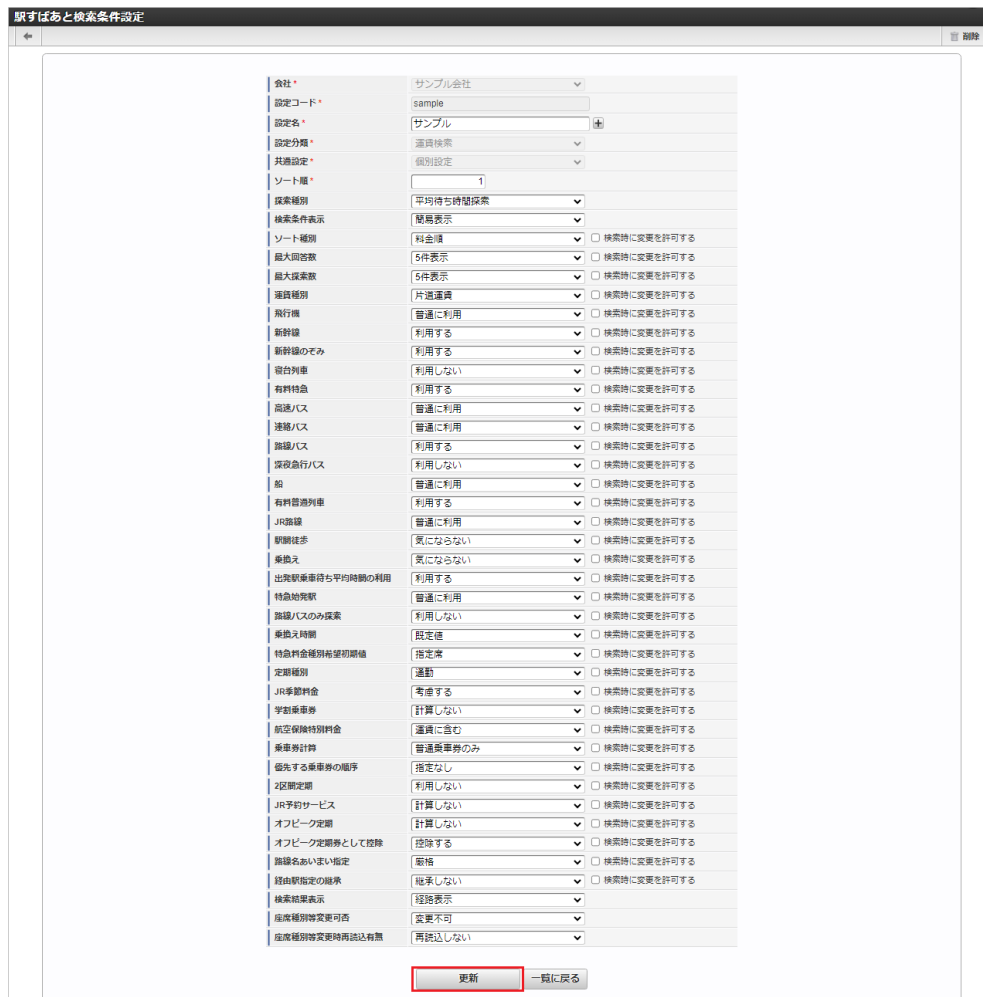
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

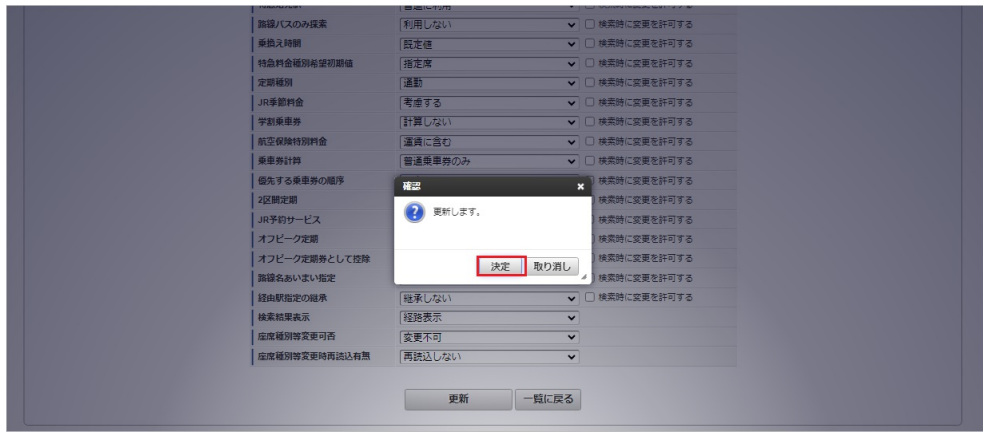
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 設定コード
- 設定分類
- 共通設定

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 ""

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	設定コード	○	100	
4	設定名	○	250	
5	設定分類	○	1	1 : 運賃検索 2 : 定期券料金検索

6	共通設定	○	1	1 : 共通設定 2 : 個別設定
7	ソート順	○	18	
8	探索種別		100	plain : 平均待ち時間探索 dia : ダイヤ探索 departure : 出発時刻探索 arrival : 到着時刻探索 firstTrain : 始発電車探索 lastTrain : 最終電車探索
9	検索条件表示	○	100	true : 簡易表示 false : 詳細表示
10	ソート種別		100	ekispert : 駅すばあと探索順 price : 料金順 time : 時間順 transfer : 乗換回数順 co2 : CO2排出量順 teiki : 定期券の料金順 teiki1 : 定期券の料金順(1カ月) teiki3 : 定期券の料金順(3カ月) teiki6 : 定期券の料金順(6カ月)
11	ソート種別(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
12	最大回答数		100	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
13	最大回答数(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
14	最大探索数		100	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
15	最大探索数(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
16	運賃種別		100	oneway : 片道運賃 round : 往復運賃 teiki : 定期代 将来拡張用の項目です。
17	運賃種別(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
18	飛行機		100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
19	飛行機(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
20	新幹線		100	normal : 利用する never : 利用しない
21	新幹線(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
22	新幹線のみ		100	normal : 利用する never : 利用しない
23	新幹線のみ (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
24	寝台列車		100	possible : 極力利用する normal : 普通に利用 never : 利用しない

25	寝台列車(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
26	有料特急	100	normal : 利用する never : 利用しない
27	有料特急(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
28	高速バス	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
29	高速バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
30	連絡バス	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
31	連絡バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
32	路線バス	100	normal : 利用する never : 利用しない
33	路線バス(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
34	深夜急行バス	100	normal : 利用する never : 利用しない
35	深夜急行バス (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
36	船	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
37	船(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
38	有料普通列車	100	normal : 利用する never : 利用しない
39	有料普通列車 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
40	JR路線	100	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない
41	JR路線(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
42	駅間徒歩	100	normal : 気軽に利用 little : 普通に利用 never : 極力利用しない
43	駅間徒歩(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
44	乗換え	100	normal : 気にならない little : 少し気になる never : 極力利用しない
45	乗換え(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
46	出発駅乗車待平均時間	100	true : 利用する false : 利用しない

47	出発駅乗車待平均時間 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
48	特急始発駅	100	possible : 極力利用する normal : 普通に利用
49	特急始発駅(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
50	路線バスのみ探索	100	true : 利用する false : 利用しない
51	路線バスのみ探索 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
52	乗換え時間	100	normal : 規定値 moreMargin : 少し余裕をみる mostMargin : 余裕をみる lessMargin : 短め
53	乗換え時間(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
54	特急料金種別希望初期値	100	free : 自由席 reserved : 指定席 green : グリーン
55	特急料金種別希望初期値 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
56	定期種別	100	bussiness : ビジネス highSchool : 学割 (高校) university : 学割
57	定期種別(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
58	JR季節料金	100	true : 考慮する false : 考慮しない
59	JR季節料金(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
60	学割乗車券	100	true : 計算する false : 計算しない
61	学割乗車券(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
62	航空保険特別料金	100	true : 運賃に含む false : 運賃に含まない 無効な項目です。
63	航空保険特別料金 (検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
64	乗車券計算	100	normal : 普通乗車券のみ ic : ICカード乗車券も計算
65	乗車券計算(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
66	優先乗車券	100	none : 指定なし normal : 普通乗車券 ic : ICカード乗車券 cheap : 安い乗車券
67	優先乗車券(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
68	2区間定期	100	true : 利用する false : 利用しない
69	2区間定期(検索時の変更許可)	10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

70	検索結果表示	○	100	true : 一覧表示 false : 経路表示 将来拡張用の項目です。
71	座席種別等変更可否	○	100	true : 変更可 false : 変更不可 将来拡張用の項目です。
72	座席種別等変更時再読込有無	○	100	true : 再読込する false : 再読込しない 将来拡張用の項目です。
73	JR予約サービス		100	exYoyaku : EX予約 exETokkyu : EX予約(e 特急券) exHayatoku : EX予約(EX早特) exHayatoku21 : EX予約(EX早特21) exHayatoku28 : EX予約(EX早特28) exGreenHayatoku : EX予約 (EXグリーン早特) smartEx : スマートEX smartExHayatoku : スマートEX(EX早特) smartExHayatoku21 : スマートEX (EX早特21) smartExHayatoku28 : スマートEX (EX早特28) smartExGreenHayatoku : スマートEX (EXグリーン早特) none : 計算しない
74	JR予約サービス (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
75	オフピーク定期		100	true : オフピーク定期として計算する false : オフピーク定期として計算しない
76	オフピーク定期 (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
77	路線名あいまい指定		100	true : あいまいに行う false : 厳格に行う
78	路線名あいまい指定 (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
79	経由駅指定の継承		100	true : 継承する false : 継承しない
80	経由駅指定の継承 (検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
81	オフピーク定期券として 控除		100	offpeakTime : オフピーク定期として 控除する peakTime : オフピーク定期として 控除しない
82	オフピーク定期券として 控除(検索時の変更許可)		10	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

データサンプル

```
"comp_sample_01","en","1000","Common setting
(Fare)","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0"

"comp_sample_01","ja","1000","共通設定 (運
賃)","1","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0"

"comp_sample_01","zh_CN","1000","普通□置 (票
价)","1","1","1","1000","plain","true","price","0","5","0","5","0","oneway","0","normal","0","normal","0","normal","0","never","0","normal","0"
```


i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertweb

ファイル名 import.csv

i コラム

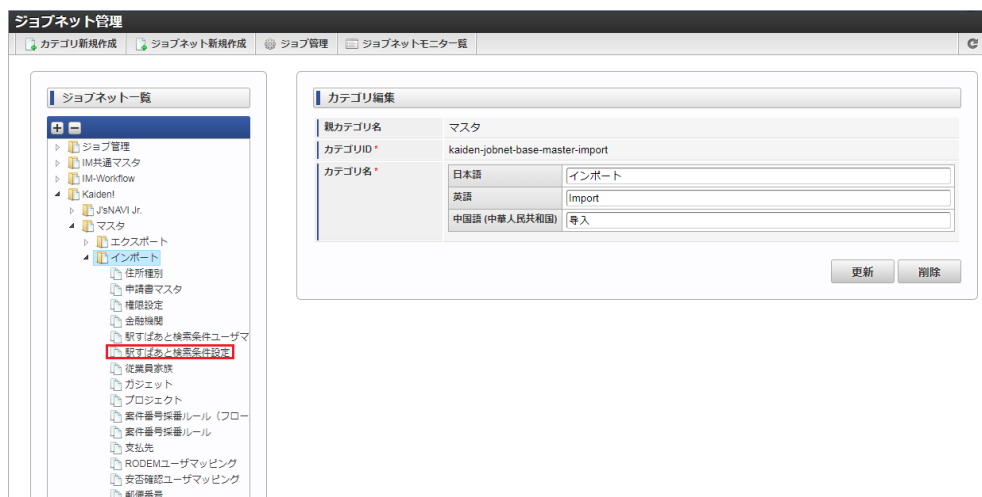
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

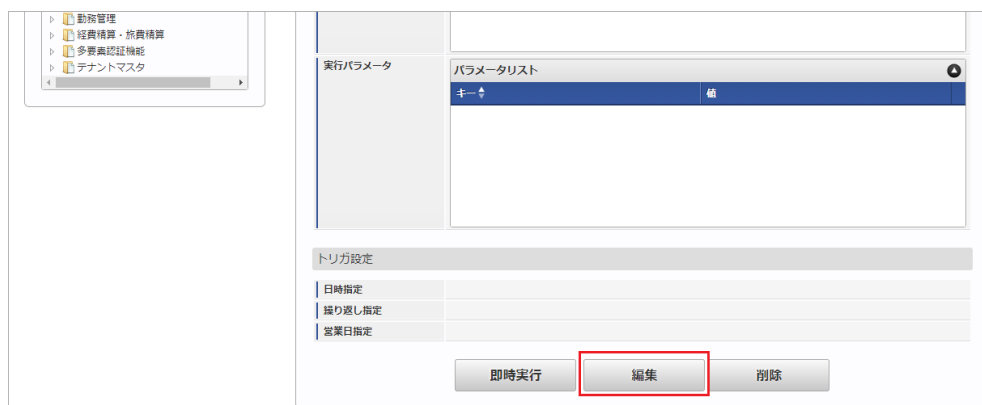
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

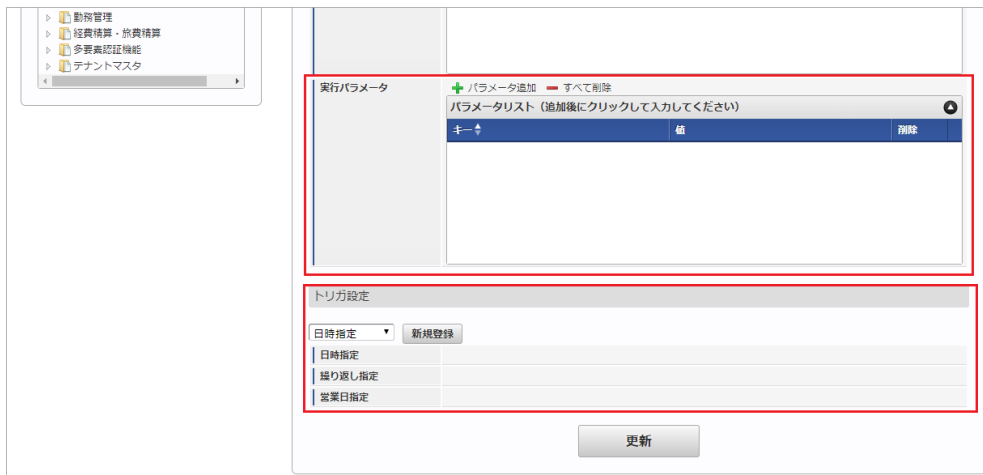
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

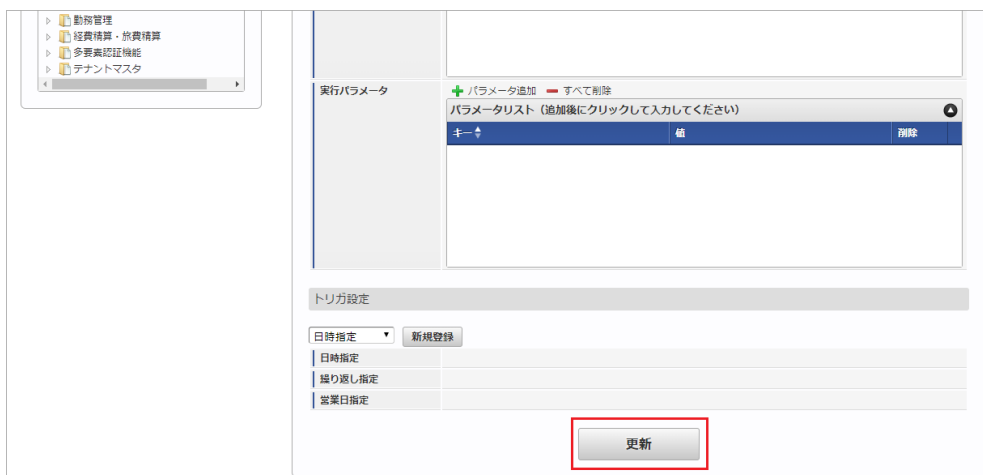
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

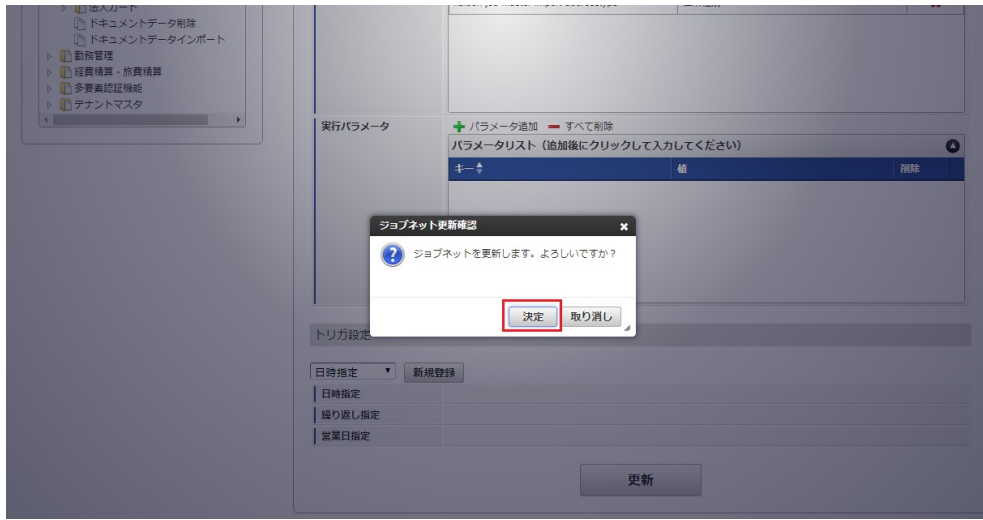
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-ekispertweb	Kaiden! / マスタ / インポート / 駅すばあと検索条件設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertweb」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

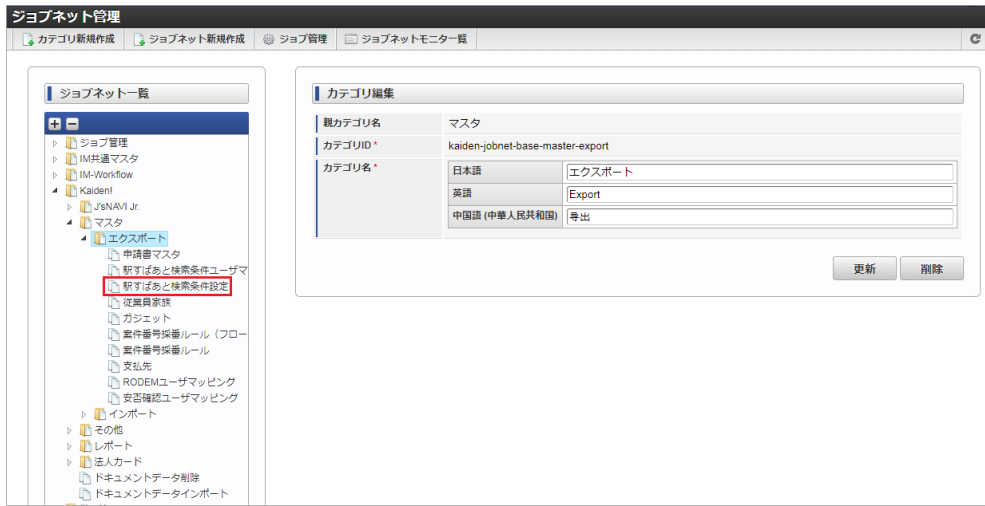
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

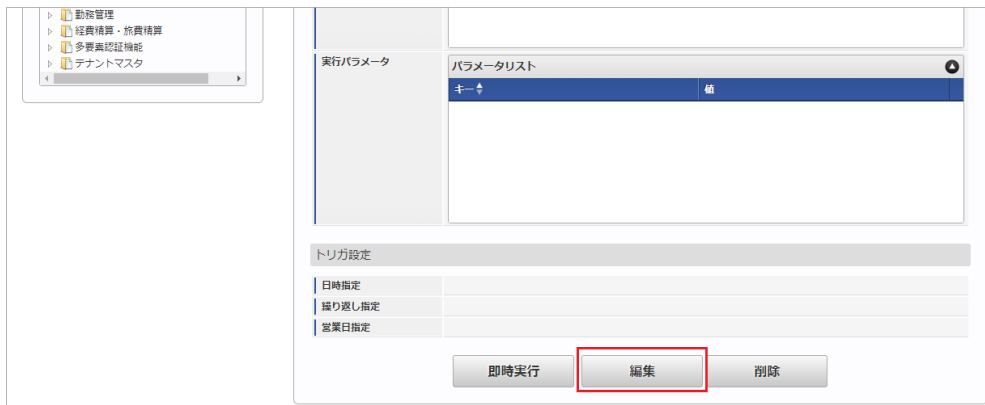
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

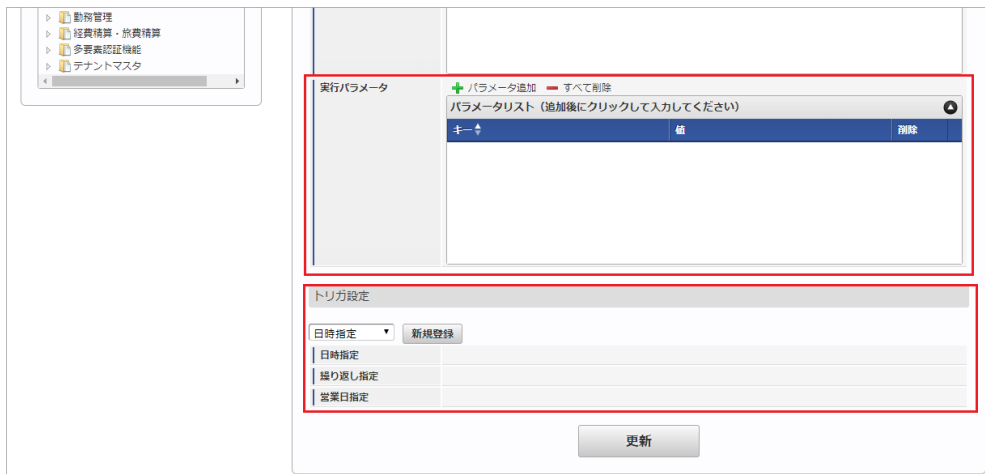
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「駅すばあと検索条件設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

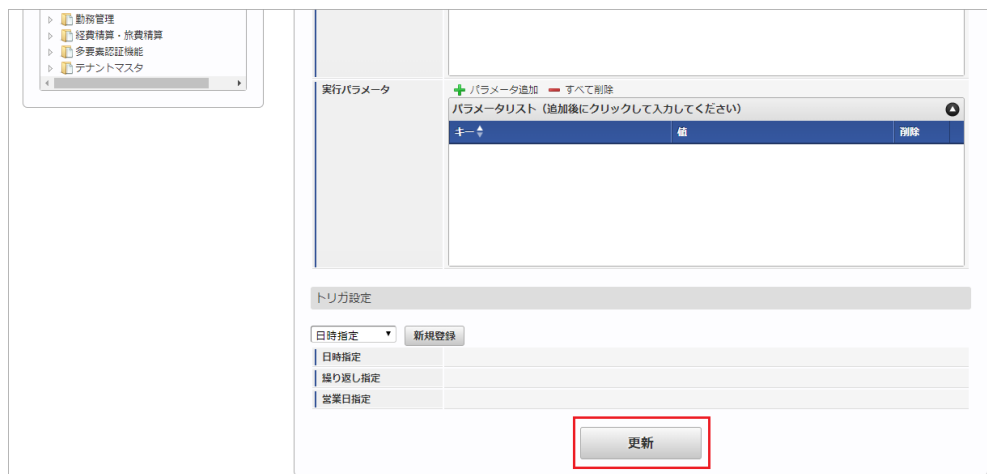
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

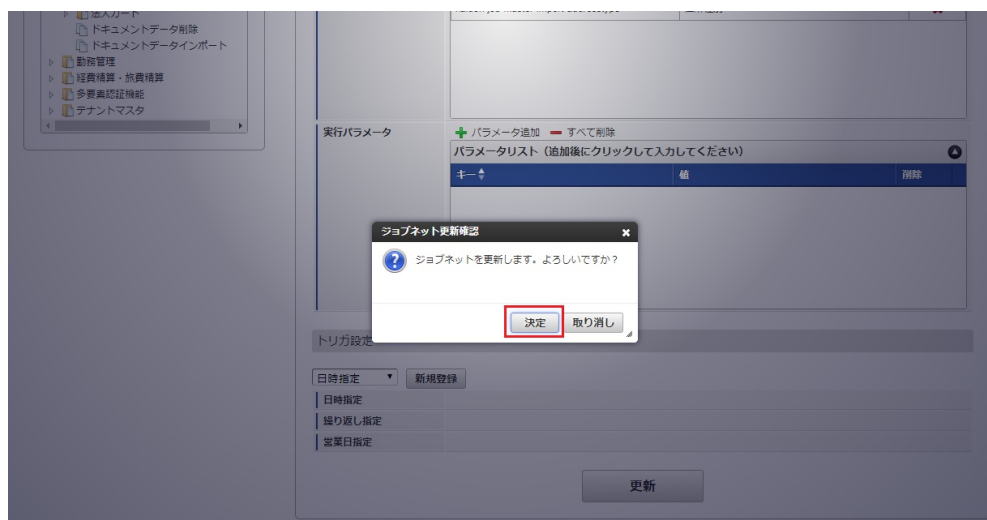
ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-master-export-ekispertweb Kaiden! / マスタ / エクスポート / 駅すばあと検索条件設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertweb/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
settingCd	設定コード	
settingName	設定名	
settingType	設定分類	1 : 運賃検索 2 : 定期券料金検索
defaultFlag	共通設定	1 : 共通設定 2 : 個別設定
sortKey	ソート順	
searchType	探索種別	plain : 平均待ち時間探索 dia : ダイヤ探索 departure : 出発時刻探索 arrival : 到着時刻探索 firstTrain : 始発電車探索 lastTrain : 最終電車探索
simpleConditon	検索条件表示	true : 簡易表示 false : 詳細表示
cndSortType	ソート種別	ekispert : 駅すばあと探索順 price : 料金順 time : 時間順 transfer : 乗換回数順 co2 : CO2排出量順 teiki : 定期券の料金順 teiki1 : 定期券の料金順(1カ月) teiki3 : 定期券の料金順(3カ月) teiki6 : 定期券の料金順(6カ月)
dspSortType	ソート種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndAnswerCount	最大回答数	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
dspAnswerCount	最大回答数(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndSearchCount	最大探索数	5 : 5件表示 10 : 10件表示 15 : 15件表示 20 : 20件表示
dspSearchCount	最大探索数(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndPriceType	運賃種別	oneway : 片道運賃 round : 往復運賃 teiki : 定期代

dspPriceType	運賃種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndPlane	飛行機	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspPlane	飛行機(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndShinkansen	新幹線	normal : 利用する never : 利用しない
dspShinkansen	新幹線(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndNozomi	新幹線のぞみ	normal : 利用する never : 利用しない
dspNozomi	新幹線のぞみ (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndSleeperTrain	寝台列車	possible : 極力利用する normal : 普通に利用 never : 利用しない
dspSleeperTrain	寝台列車(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLimitedExpress	有料特急	normal : 利用する never : 利用しない
dspLimitedExpress	有料特急(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndHighwayBus	高速バス	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspHighwayBus	高速バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndConnectionBus	連絡バス	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspConnectionBus	連絡バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLocalBus	路線バス	normal : 利用する never : 利用しない
dspLocalBus	路線バス(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndMidnightBus	深夜急行バス	normal : 利用する never : 利用しない
dspMidnightBus	深夜急行バス (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndShip	船	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない never : 利用しない
dspShip	船(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLiner	有料普通列車	normal : 利用する never : 利用しない
dspLiner	有料普通列車 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

cndUseJr	JR路線	light : 気軽に利用 normal : 普通に利用 bit : 極力利用しない
dspUseJr	JR路線(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndWalk	駅間徒歩	normal : 気軽に利用 little : 普通に利用 never : 極力利用しない
dspWalk	駅間徒歩(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTransfer	乗換え	normal : 気にならない little : 少し気になる never : 極力利用しない
dspTransfer	乗換え(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndWaitAverage	出発駅乗車待平均時間	true : 利用する false : 利用しない
dspWaitAverage	出発駅乗車待平均時間 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndExpStart	特急始発駅	possible : 極力利用する normal : 普通に利用
dspExpStart	特急始発駅(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndLocalBusOnly	路線バスのみ探索	true : 利用する false : 利用しない
dspLocalBusOnly	路線バスのみ探索 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTransferTime	乗換え時間	normal : 規定値 moreMargin : 少し余裕をみる mostMargin : 余裕をみる lessMargin : 短め
dspTransferTime	乗換え時間(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndSurchargeKind	特急料金種別希望初期値	free : 自由席 reserved : 指定席 green : グリーン
dspSurchargeKind	特急料金種別希望初期値 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTeikiKind	定期種別	bussiness : ビジネス highSchool : 学割 (高校) university : 学割
dspTeikiKind	定期種別(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndJrSeason	JR季節料金	true : 考慮する false : 考慮しない
dspJrSeason	JR季節料金(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndStudent	学割乗車券	true : 計算する false : 計算しない
dspStudent	学割乗車券(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndInclInsurance	航空保険特別料金	true : 運賃に含む false : 運賃に含まない

dspInclInsurance	航空保険特別料金 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTicketType	乗車券計算	normal : 普通乗車券のみ ic : ICカード乗車券も計算
dspTicketType	乗車券計算(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndTicketOrder	優先乗車券	none : 指定なし normal : 普通乗車券 ic : ICカード乗車券 cheap : 安い乗車券
dspTicketOrder	優先乗車券(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndNikukanTeiki	2区間定期	true : 利用する false : 利用しない
dspNikukanTeiki	2区間定期(検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
courseList	検索結果表示	true : 一覧表示 false : 経路表示
priceChange	座席種別等変更可否	true : 変更可 false : 変更不可
priceChangeRef	座席種別等変更時再読込有無	true : 再読込する false : 再読込しない
cndJrReservation	JR予約サービス	exYoyaku : EX予約 exETokkyu : EX予約(e 特急券) exHayatoku : EX予約(EX早特) exHayatoku21 : EX予約(EX早特21) exHayatoku28 : EX予約(EX早特28) exGreenHayatoku : EX予約 (EXグリーン早特) smartEx : スマートEX smartExHayatoku : スマートEX (EX早特) smartExHayatoku21 : スマートEX (EX早特21) smartExHayatoku28 : スマートEX (EX早特28) smartExGreenHayatoku : スマートEX (EXグリーン早特) none : 計算しない
dspJrReservation	JR予約サービス (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndOffpeakTeiki	オフピーク定期	true : オフピーク定期として計算する false : オフピーク定期として計算しない
dspOffpeakTeiki	オフピーク定期 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndFuzzyLine	路線名あいまい指定	true : あいまいに行う false : 厳格に行う
dspFuzzyLine	路線名あいまい指定 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する
cndEntryPathBehavior	経由駅指定の継承	true : 継承する false : 継承しない
dspEntryPathBehavior	経由駅指定の継承 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

condOffpeakTeikiMode	オフピーク定期券として控除	offpeakTime : オフピーク定期として 控除する peakTime : オフピーク定期として 控除しない
dspOffpeakTeikiMode	オフピーク定期券として控除 (検索時の変更許可)	0 : 検索時の変更を許可しない 1 : 検索時の変更を許可する

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索 対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの 操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertweb/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,)</p> <ul style="list-style-type: none"> 、 : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	<p>エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。</p>
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	<p>エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertweb」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ

本項では、駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタは、ユーザと [駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を紐付けます。

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングされているユーザは、マッピングされた検索条件に基づいて検索します。

駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタでマッピングされていないユーザは、共通設定が設定されている場合、共通設定の検索条件に基づいて検索します。

共通設定が設定されていない場合、駅すばあとWebサービスの設定ファイルの検索条件に基づいて検索します。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

コラム

駅すばあとWebサービスの設定ファイルの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「駅すばあとWebサービス設定」を参照して設定してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ユーザ
駅すばあと検索条件と紐付けるユーザを選択します。
- 運賃検索
運賃検索で使用する駅すばあと検索設定を選択します。
- 定期代検索
定期代検索で使用する駅すばあと検索設定を選択します。

i コラム

「ユーザ」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No.	ユーザコード	ユーザ名	運賃検索	定期代検索
1	aoyagi	青柳辰巳	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
2	harada	原田洋二	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
3	katayama	片山聡	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
4	maruyama	丸山益男	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい駅すばあと検索条件ユーザマッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

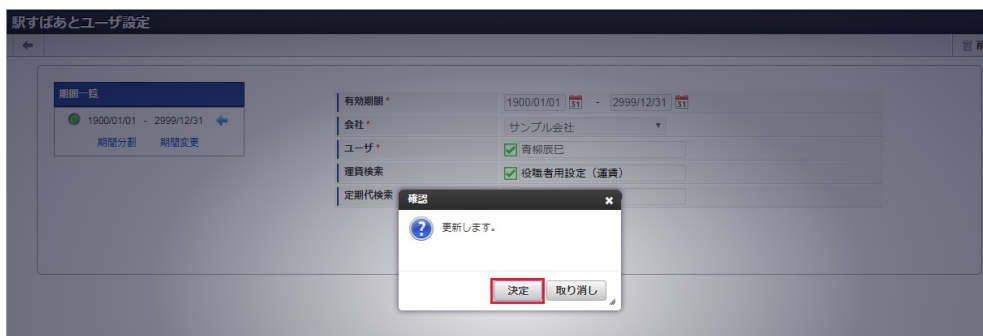
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 有効期間
- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。

No	ユーザコード	ユーザ名	運賃検索	定期代検索
1	aoyagi	青柳 辰巳	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
2	harada	原田 清二	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
3	katayama	片山 聡	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)
4	maruyama	丸山 益男	役職者用設定 (運賃)	役職者用設定 (定期)

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	期間コード		50	未設定の場合、自動的に付与されます。 半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
7	設定コード(運賃検索)		100	
8	設定コード(定期代検索)		100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","1001","2001"
"comp_sample_01","aoyagi","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","1001","2001"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「ユーザコード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。

「会社コード」、「ユーザコード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値(実行パラメータ未設定の場合)のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertuser

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

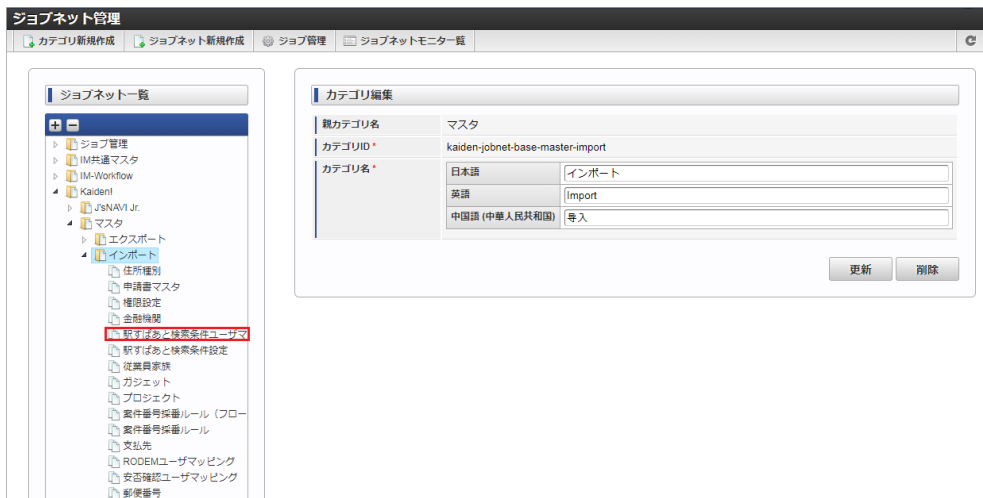
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

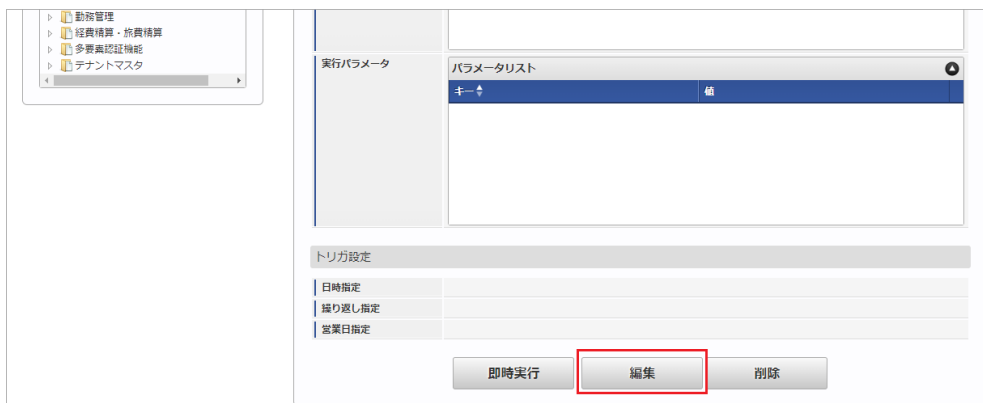
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

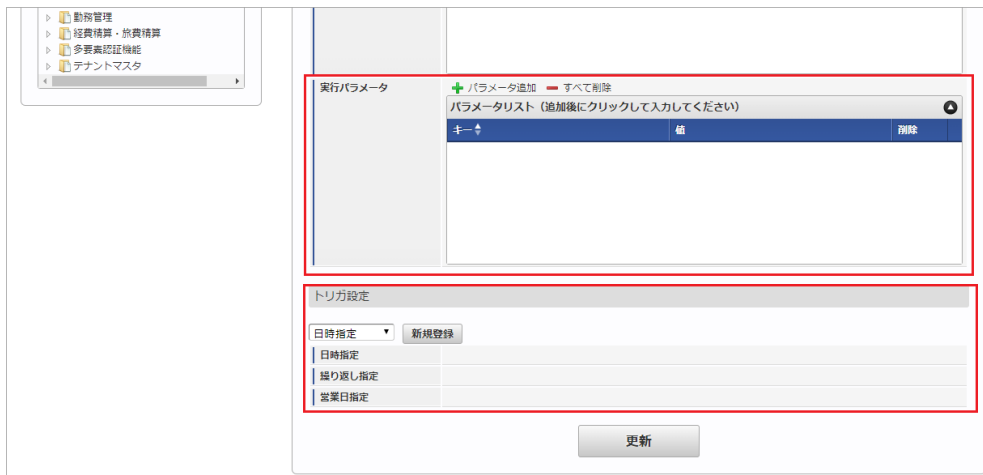
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧(画面左部)の「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

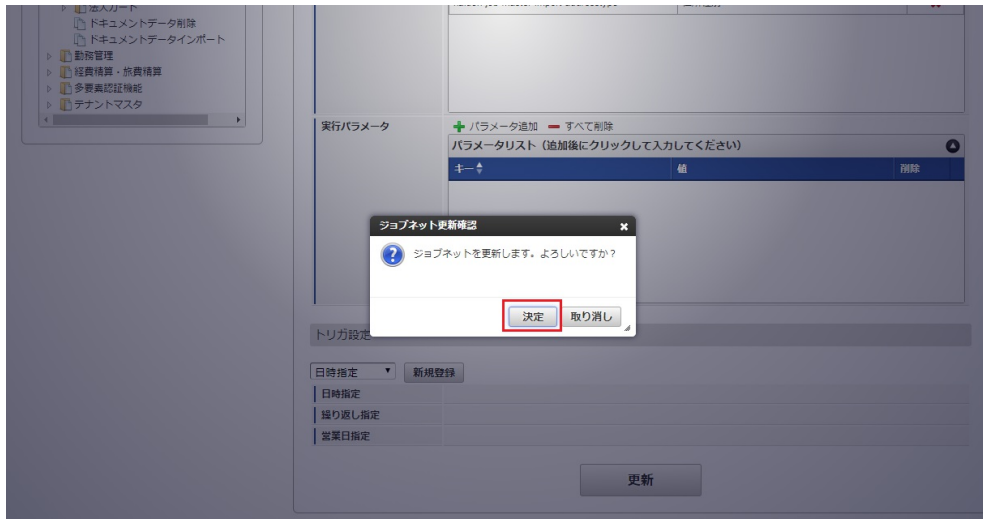
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-ekispertuser	Kaiden! / マスタ / インポート / 駅すばあと検索条件ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード ▪ 2: 単一期間(一新)モード ▪ 3: 単一期間(入替)モード ▪ 4: 複数期間(差分)モード ▪ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertuser/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/ekispertuser/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。

名称	キー	説明 / 設定値
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertuser」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

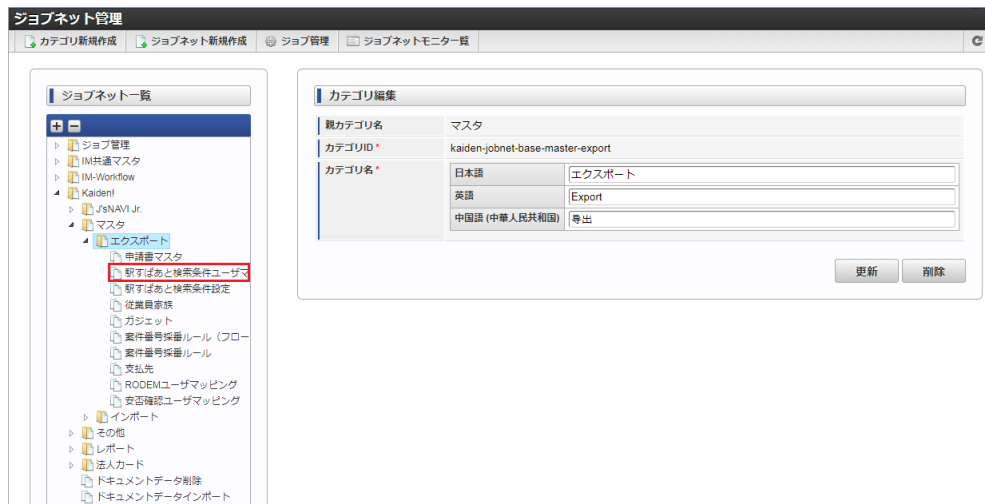
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

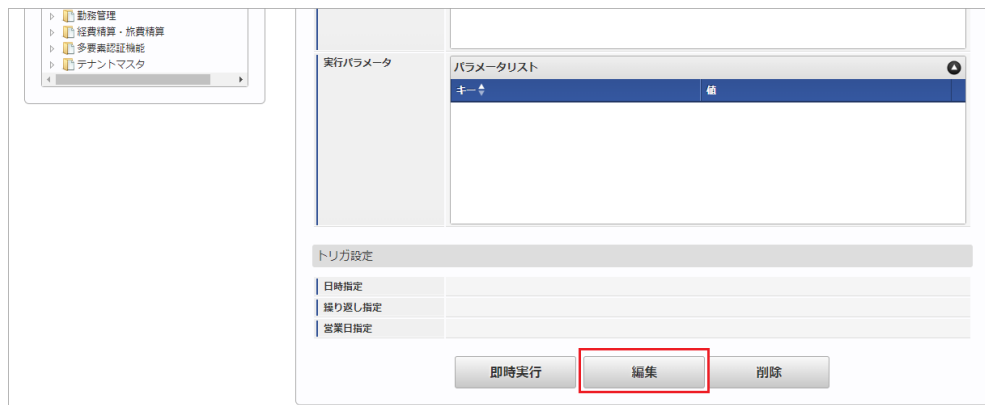
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

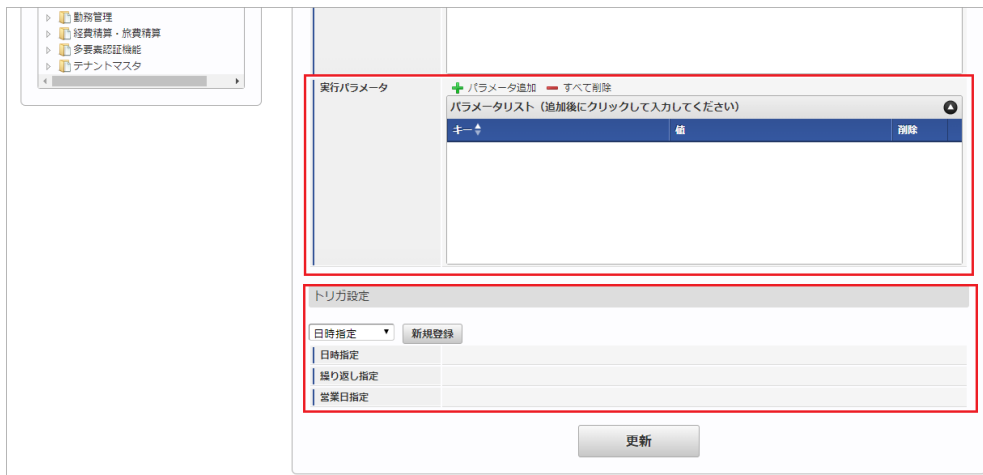
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「駅すばあと検索条件ユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

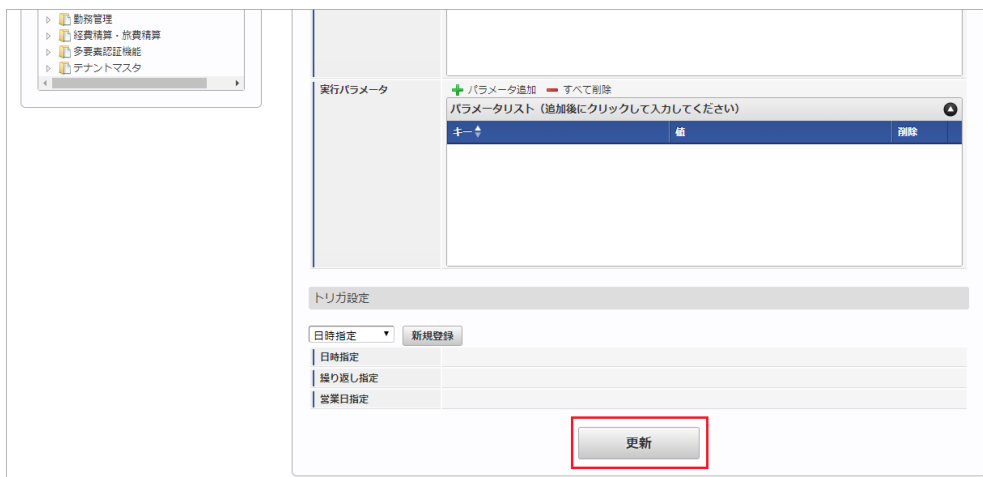
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

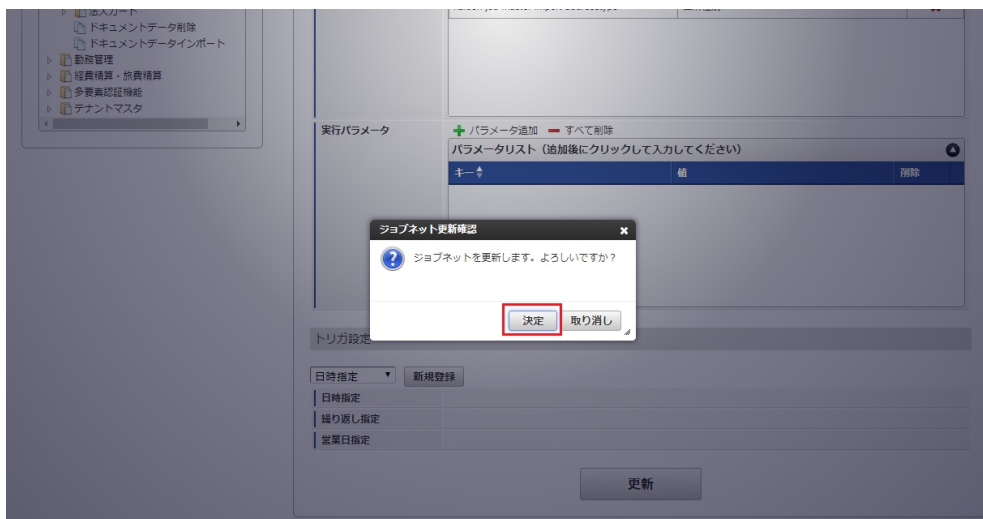
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-ekispertuser	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 駅すばあと検索条件ユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/ekispertuser/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式

endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効
routeSettingCd	設定コード(運賃検索)	
teikiSettingCd	設定コード(定期代検索)	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：全件出力モード ▪ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/ekispertuser/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/ekispertuser/export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「ekispertuser」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

権限設定マスタ

本項では、権限設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

権限設定マスタは、特定の組織および配下の組織に所属するユーザに対する、関連機能の権限を管理します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費で管理する各種データや操作は、この権限設定マスタに基づいてコントロールすることができます。

BTMサービスに関する権限

権限	説明
BTMサービス利用実績データの更新権限	BTMサービス利用実績データメンテナンス画面で更新を可能とする権限

権限	説明
ストレージファイルアップロード権限	ストレージアップロード／ダウンロード画面でアップロードを可能とする権限
ストレージファイルダウンロード権限	ストレージアップロード／ダウンロード画面でダウンロードを可能とする権限

i コラム

ジョブ管理機能で選択する機能権限として、「ジョブ実行・参照権限①～⑤」があります。

「ジョブ実行・参照権限①～⑤」を用いて権限を判定する機能はありません。

ジョブ管理機能でジョブ実行を可能とする権限として登録されることで、ジョブ実行時の権限を判定する際に使用されます。

詳細は [ジョブ管理マスタ](#) を参照ください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「権限設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
会社を選択します。
- 組織セット
組織セットを選択します。
- 組織
組織を選択します。
- 従業員
従業員を選択します。
- 開始日 - 終了日
権限設定の有効期間を選択します。

- 付与権限
付与する権限を選択します。

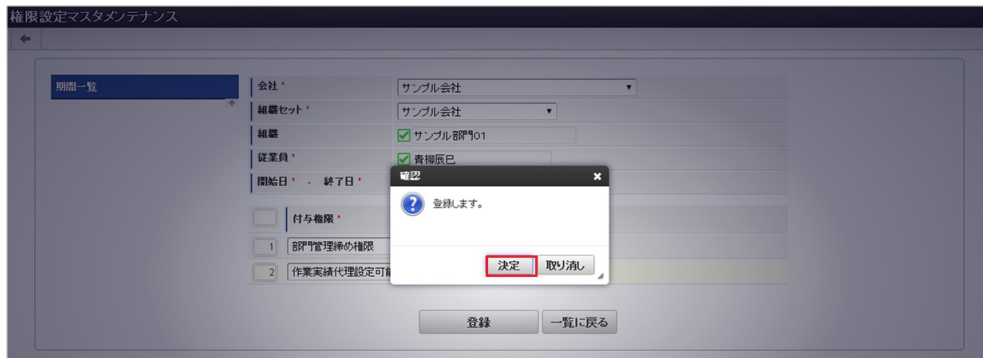
i コラム

「組織セット」、「従業員」は、システム日付を検索基準日としています。
「組織」は、開始日を検索基準日としています。

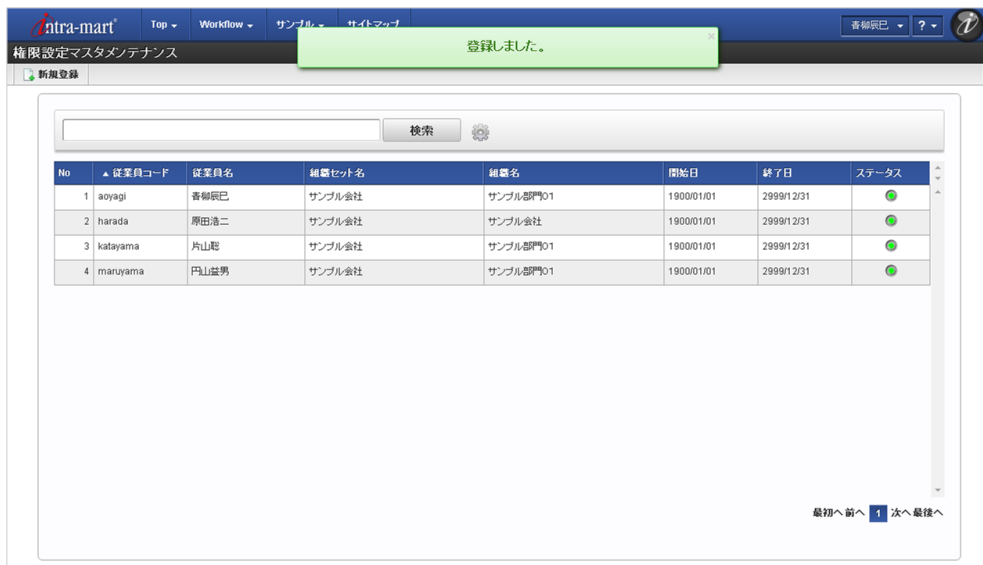
i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 新規登録することができました。



! 注意

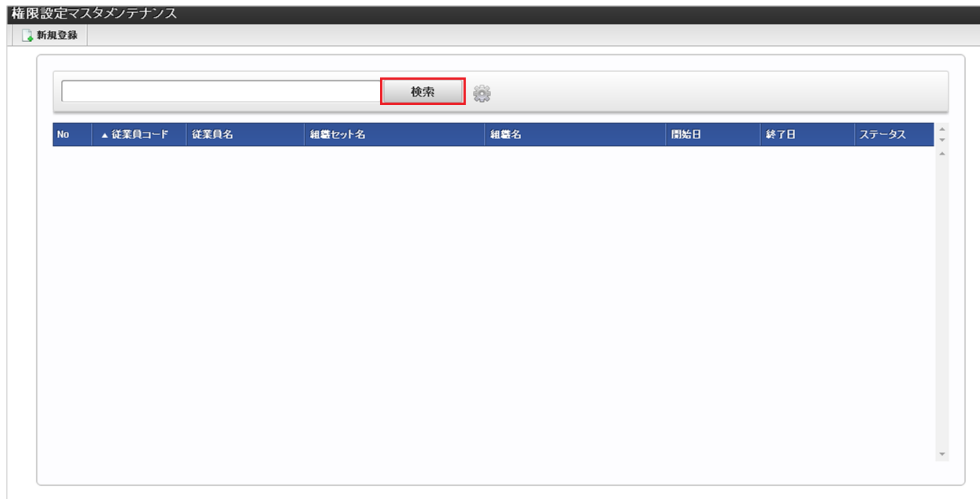
BTMサービスに関する権限は、会社ごとに設定します。
そのため、組織を選択しないで権限を設定してください。

! 注意

ファイル操作に関する権限は、会社ごとに設定します。
そのため、組織を選択しないで権限を設定してください。

更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「権限設定」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

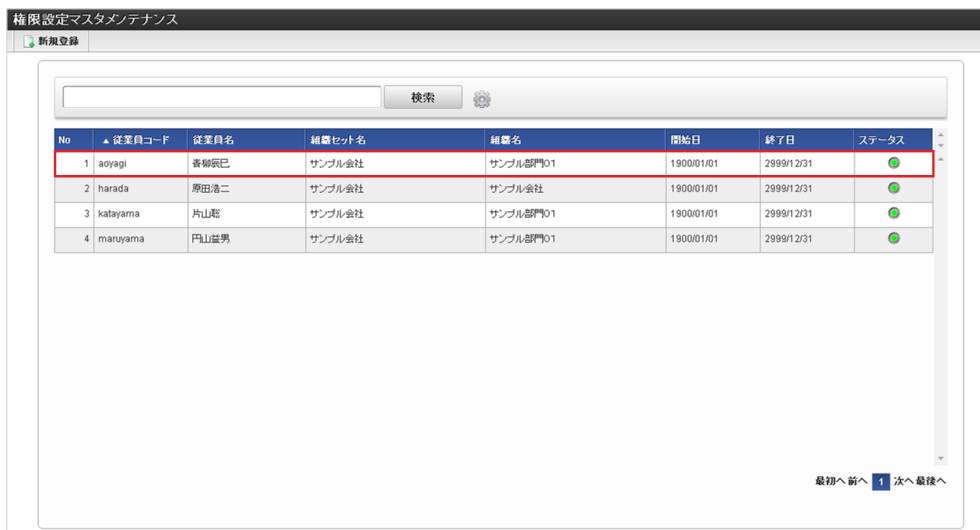


i コラム

検索欄に検索したい権限設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 従業員コード
- 従業員名
- 組織名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

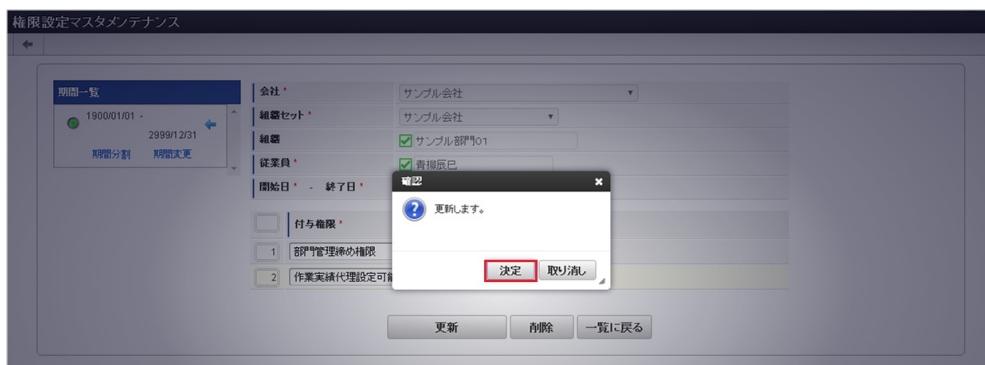


次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 組織セット
- 組織

- 従業員
- 開始日
- 終了日

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

注意

バージョン2.0.13でインポートの方式が変更になりました。
バージョン2.0.12までのファイル形式はインポートできません。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式
import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	組織セットコード	○	100	
3	組織コード		100	
4	ユーザコード	○	100	
5	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
6	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
7	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
8	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
9	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","comp_sample_01","","aoyagi","term01","1900/01/01","1999/12/31","1","1"
"comp_sample_01","comp_sample_01","","aoyagi","term02","2000/01/01","2999/12/31","0","1"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。



コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「組織セットコード」、「組織コード」、「ユーザコード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。

「会社コード」、「組織セットコード」、「組織コード」、「ユーザコード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ データ形式

import_detail.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	組織セットコード	○	100	
2	組織コード		100	
2	ユーザコード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	付与権限コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","comp_sample_01","","aoyagi","term01","0","1","btm_serivce_management_edit"
"comp_sample_01","comp_sample_01","","aoyagi","term02","0","1","btm_serivce_management_edit"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「import_header.csv」、「import_detail.csv」で設定された「会社コード」、「組織セットコード」、「組織コード」、「ユーザコード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/authority

ファイル名 import_header.csv、import_detail.csv

i コラム

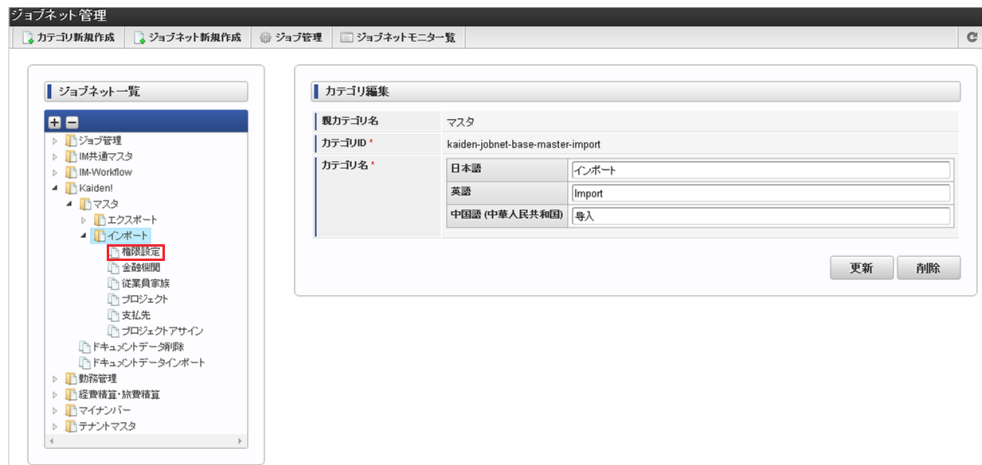
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「権限設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

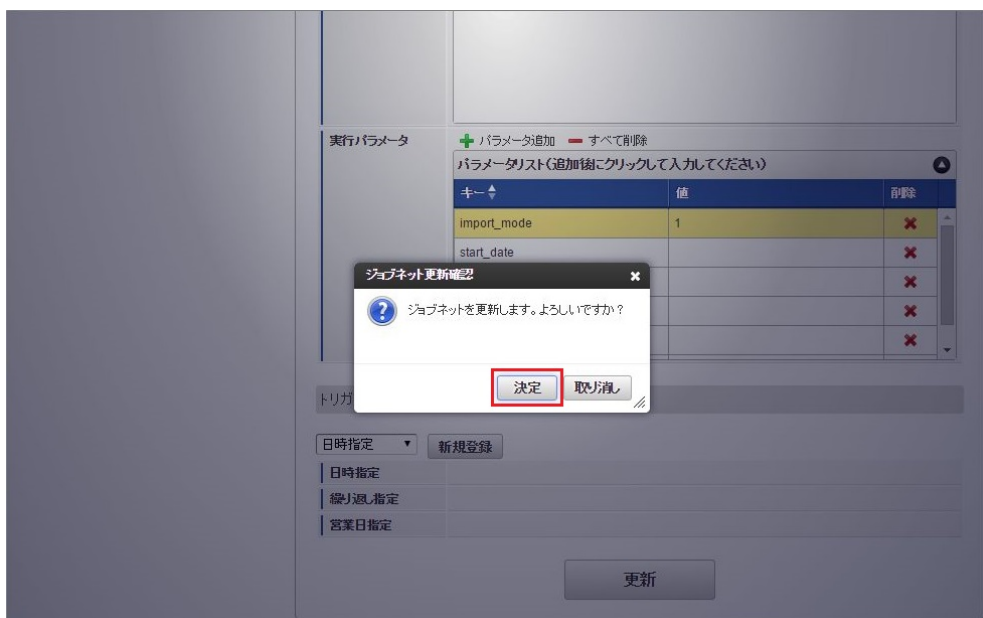
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-authority	Kaiden! / マスタ / インポート / 権限設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：単一期間（差分）モード ▪ 2：単一期間（一新）モード ▪ 3：単一期間（入替）モード ▪ 4：複数期間（差分）モード ▪ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/authority/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)

名称	キー	説明／設定値
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/authority/import_header_{YMDHMSN}.csv import_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 権限設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 権限設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「authority」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

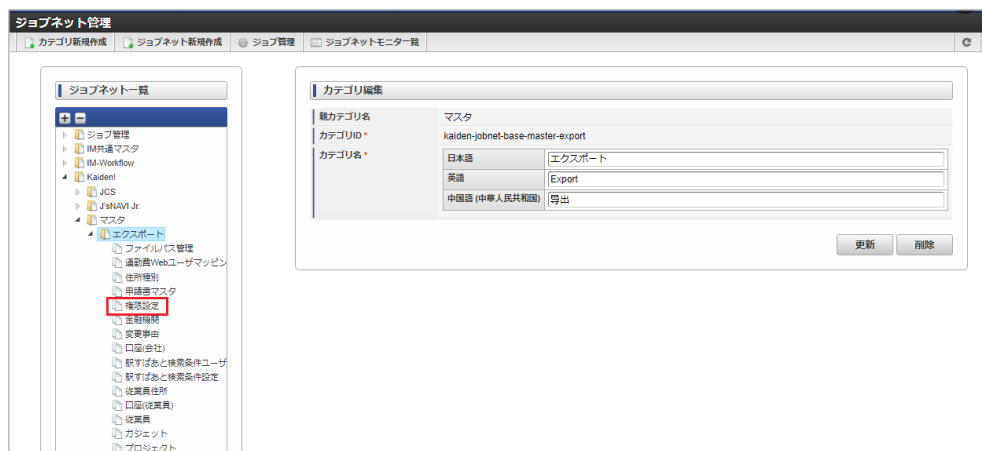
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「権限設定」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

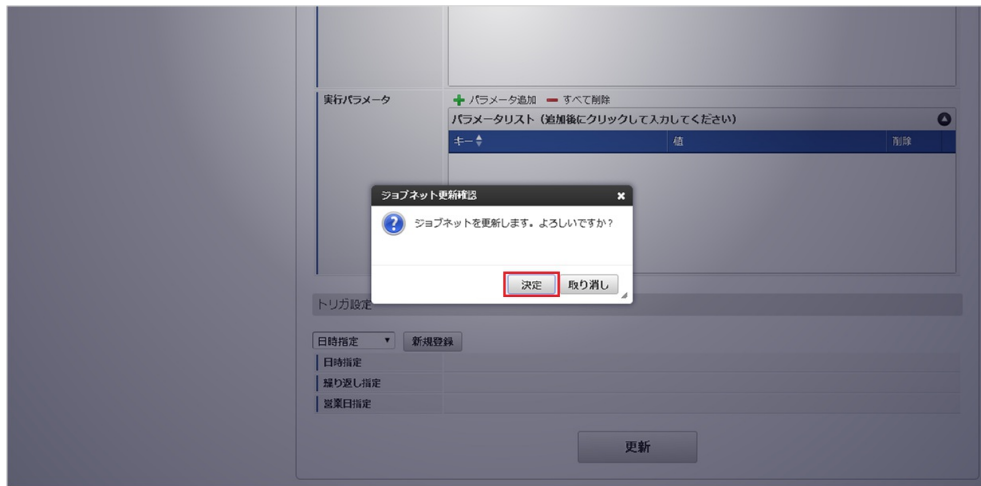
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

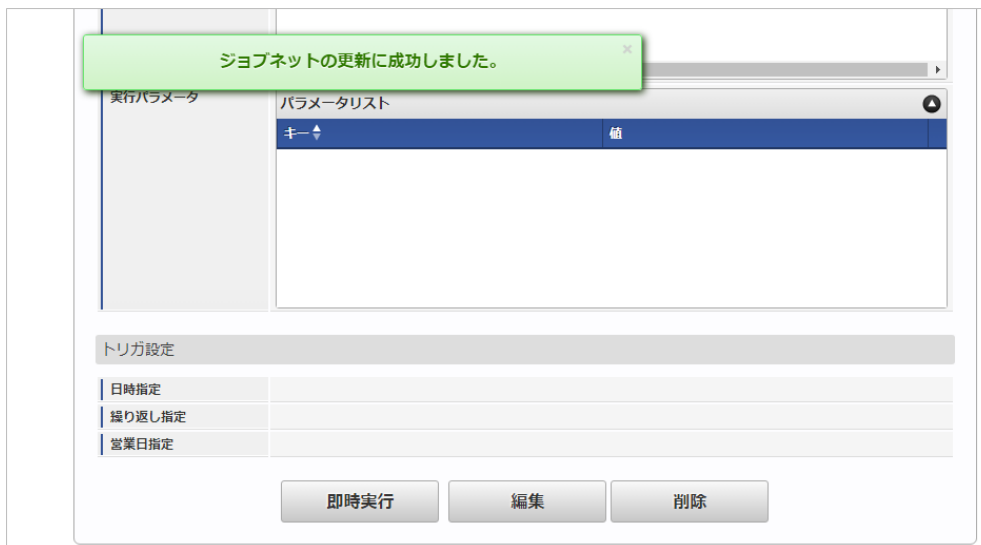
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-authority	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 権限設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/authority/
ファイル名	export_header.csv export_detail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。
 export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
departmentSetCd	組織セットコード	
departmentCd	組織コード	
userCd	ユーザコード	

termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
sortKey	ソートキー	

export_detail.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
departmentSetCd	組織セットコード	
departmentCd	組織コード	
userCd	ユーザコード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
grantAuthorityCd	付与権限コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/authority/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/authority/export_header_{YMDHMSN}.csv export_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 権限設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 権限設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「authority」を設定しています。

{COMPANY_CD}: 会社コード

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

PDFデータ出力設定マスタ

本項では、PDFデータ出力設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

PDFデータ出力設定マスタは、フォーム付PDFガジェットを使用した申請書のデータをCSVファイルで出力する項目の設定と出力先を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

i コラム

フォーム付PDFガジェットを使用した申請書のデータを、最終承認後にCSVファイルで出力したい場合は本設定を実施ください。フォーム付PDFガジェットについては、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』-「ガジェット」-「フォーム付PDF」を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「PDFデータ出力設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'PDFデータ出力設定' (PDF Data Output Settings) screen. At the top left, there is a '新規登録' (New Registration) button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table header is visible with columns: No, 設定コード (Setting Code), 設定名 (Setting Name), ファイルパス (File Path), 出力カラム (Output Column), 文字コード (Character Code), 区切り文字 (Delimiter), and 囲み文字 (Enclosure Character).

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration form for 'PDFデータ出力設定'. The form includes fields for:

- 開始日 (Start Date): 1900/01/01
- 終了日 (End Date): 2999/12/31
- 会社 (Company): サンプル会社 (Sample Company)
- 設定コード (Setting Code): sample
- 設定名 (Setting Name): 日本語 (Japanese), サンプル設定 (Sample Settings); 英語 (English), Sample settings; 中国語 (中華人民共和国) (Chinese), 样品设置 (Sample Settings)
- ファイルパス (File Path): kaiden/export/[authCompanyCd]/[settingCd].csv
- 出力カラム (Output Column): matterNumber, matterName, applyBaseDate, authOrgzCd, authOrgzName, authUser
- 文字コード (Character Code): UTF-8
- 区切り文字 (Delimiter): .
- 囲み文字 (Enclosure Character): ''

 At the bottom, the '登録' (Register) button is highlighted with a red box, along with a '一覧に戻る' (Return to List) button.

- 設定コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- 設定名
設定の名称を入力します。
- ファイルパス
CSVファイルの出力先ファイルパスを入力します。
※{}内に出力データのキーを設定することで、出力データに置換されます。

- 出力カラム
CSVファイルに出力するカラムを入力します。
※出力データをカンマ区切りで設定します。
- 文字コード
出力するCSVファイルの文字コードを入力します。
(未設定:「UTF-8」)
- 区切り文字
出力するCSVファイルの区切り文字を入力します。
(未設定:「,」)
- 囲み文字
出力するCSVファイルの囲み文字を入力します。
(未設定:「"」)



コラム

以下、出力可能なデータの一覧です。

「ファイルパス」、「出力カラム」で使用します。

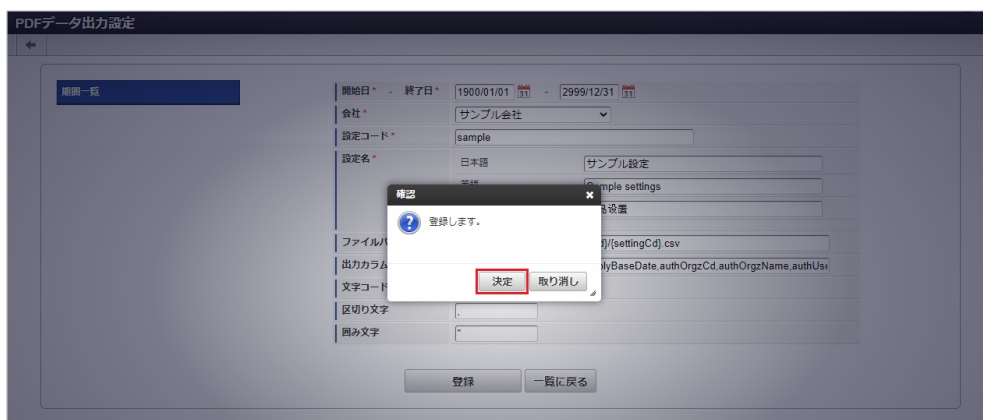
「ファイルパス」で使用する場合、 {} で囲むことで出力データに置換されます。

出力データ一覧

キー	値
matterNumber	案件番号
matterName	案件名
applyBaseDate	申請基準日
applyAuthUserCd	申請権限者コード
authCompanyCd	権限会社コード
authCompanyName	権限会社名
authOrgzSetCd	権限組織セットコード
authOrgzSetName	権限組織セット名
authOrgzCd	権限組織コード
authOrgzName	権限組織名
authUserCd	権限者コード
authUserName	権限者名
executeUserCd	実行者コード
executeUserName	実行者名
localeIdApply	申請時ロケールID
actFlag	代理フラグ
flowId	フローID
flowName	フロー名
flowVersionId	フローバージョンID
contentsId	コンテンツID
contentsName	コンテンツ名
contentsVersionId	コンテンツバージョンID
routeId	ルートID
routeName	ルート名
routeVersionId	ルートバージョンID
systemMatterId	システム案件ID
userDataId	ユーザデータID
gadgetId	ガジェットID
gadgetClass	ガジェットクラス

キー	値
gadgetVariation	ガジェットバリエーション
gadgetInstance	ガジェットインスタンス
tupleId	タプルID
rowNumber	行番号
pdfFile	PDFファイルパス
json	PDFファイルのフォームデータ ※「出力カラム」で使用する場合、JSON形式の文字列を出力 「出力カラム」については、「 フォーム付きPDFを添付して申請する方法 」を参照
[フォーム名]	PDFファイルに設定した入力フォームのフォーム名 フォーム名の例) text01,text02,text03,text04 等 入力フォームについては各ツールのマニュアル等を参照してください。 参考URL : (Adobe) PDF フォームの作成と配布

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「PDFデータ出力設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したいPDFデータ出力設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 設定コード
- 設定名

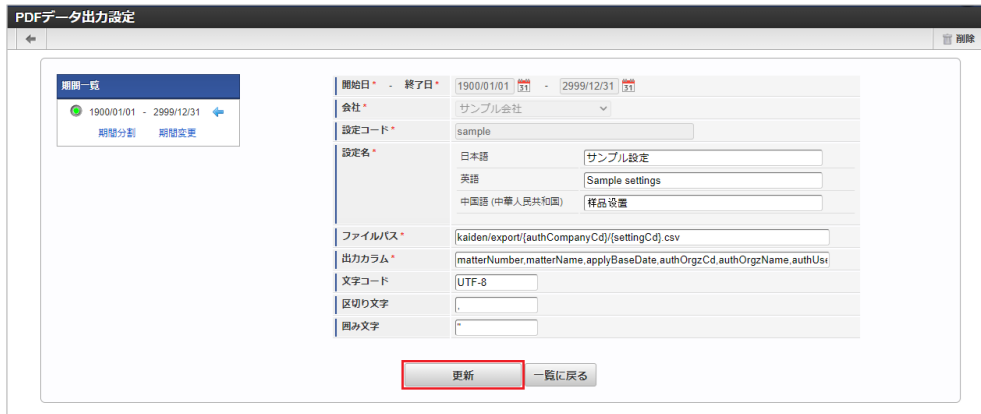
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



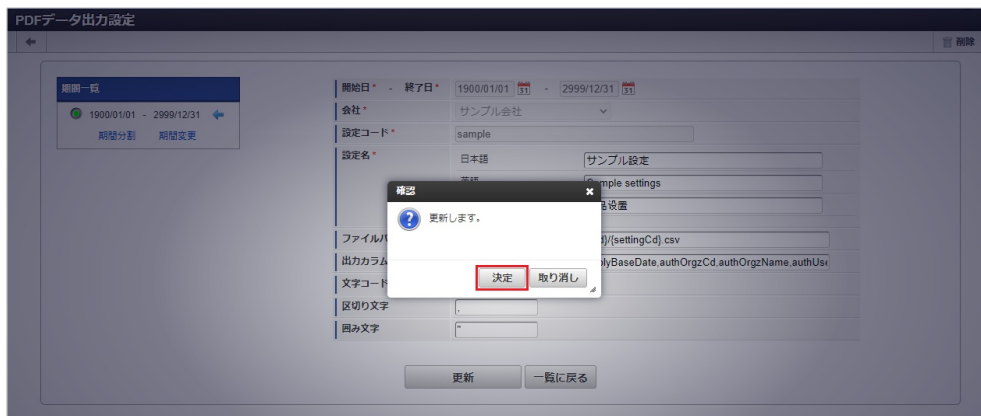
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 設定コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	設定コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	設定名	○	250	
7	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）
8	ファイルパス	○		
9	出力カラム	○		
10	文字コード		100	
11	区切り文字		100	
12	囲み文字		100	

コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","ja","","","サンプル設
定","0","kaiden/export/{authCompanyCd}/{settingCd}.csv","matterNumber,matterName,applyBaseDate,authOrgzCd,authOrgzName,auth
8","",""
"comp_sample_01","sample","en","","","Sample
settings","0","kaiden/export/{authCompanyCd}/{settingCd}.csv","matterNumber,matterName,applyBaseDate,authOrgzCd,authOrgzNam
8","",""
"comp_sample_01","sample","zh_CN","","","品置
置","0","kaiden/export/{authCompanyCd}/{settingCd}.csv","matterNumber,matterName,applyBaseDate,authOrgzCd,authOrgzName,auth
8","",""
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

i コラム

データ形式 No.6[設定名]に設定している"settingCd"は、最終承認後にPDFへ入力した値をCSV出力する場合、必要なフォームの名称になります。
最終承認後にCSVを出力する際、"settingCd"には、データ形式 No.2[設定コード]を設定します。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings

ファイル名 import.csv

i コラム

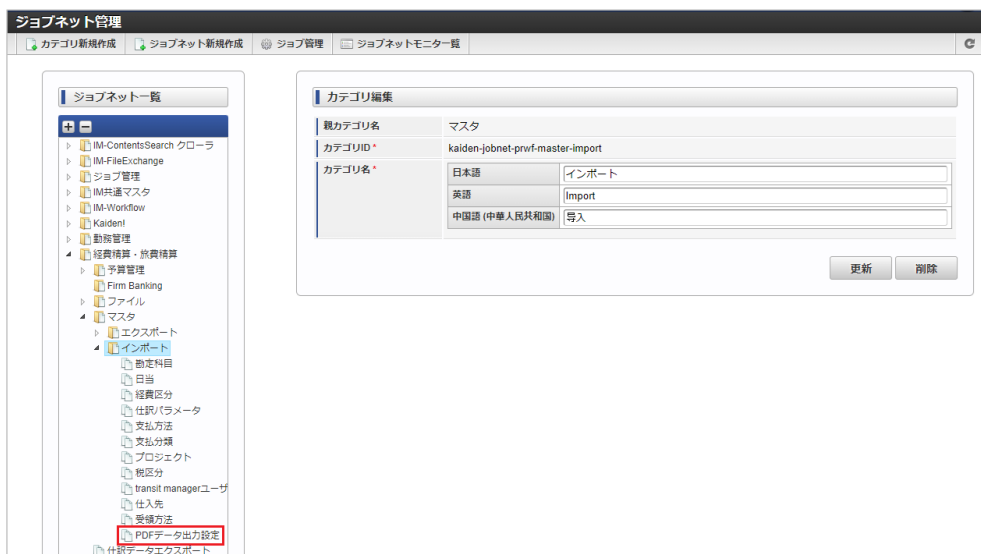
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

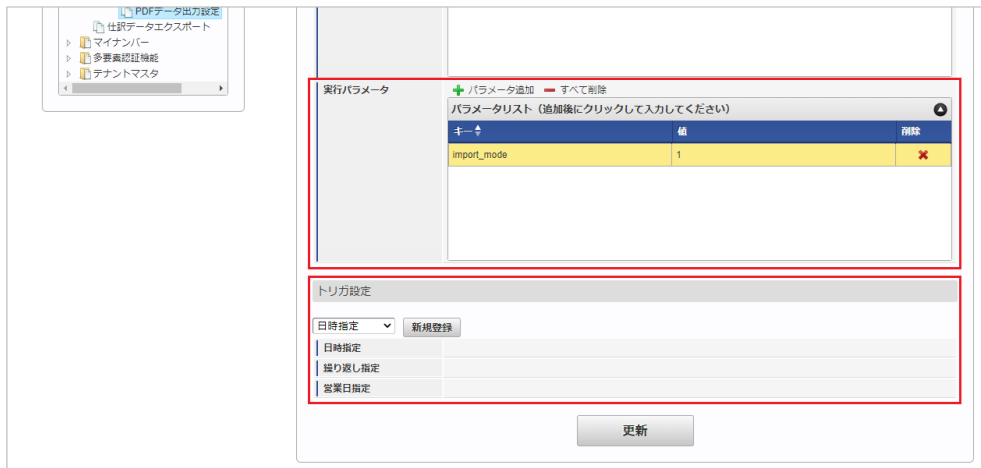
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「PDFデータ出力設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

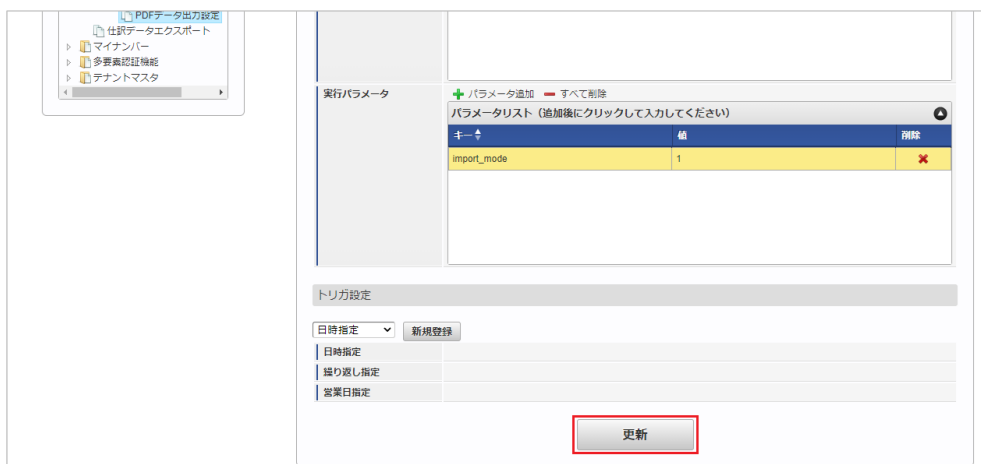
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

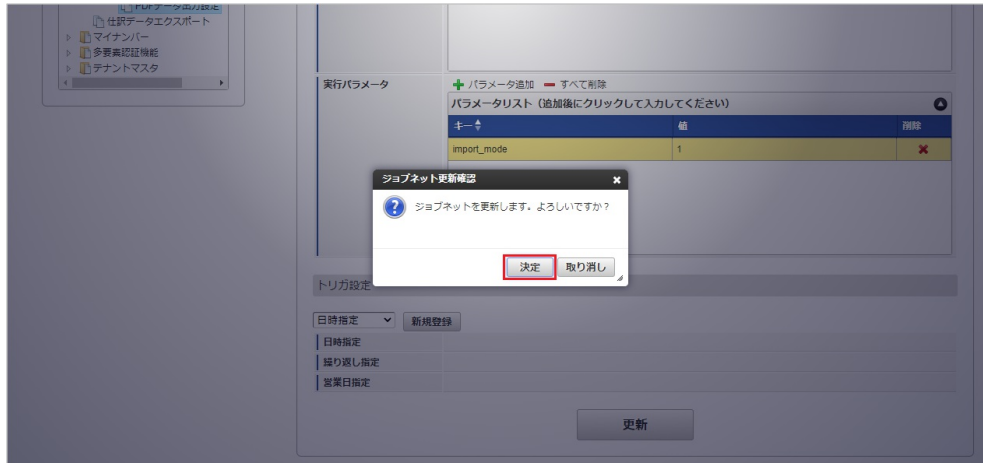
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-pdf-data-export-settings	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / PDFデータ出力設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明/設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 単一期間(差分)モード 2: 単一期間(一新)モード 3: 単一期間(入替)モード 4: 複数期間(差分)モード 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 PDFデータ出力設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pdf_data_export_settings」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

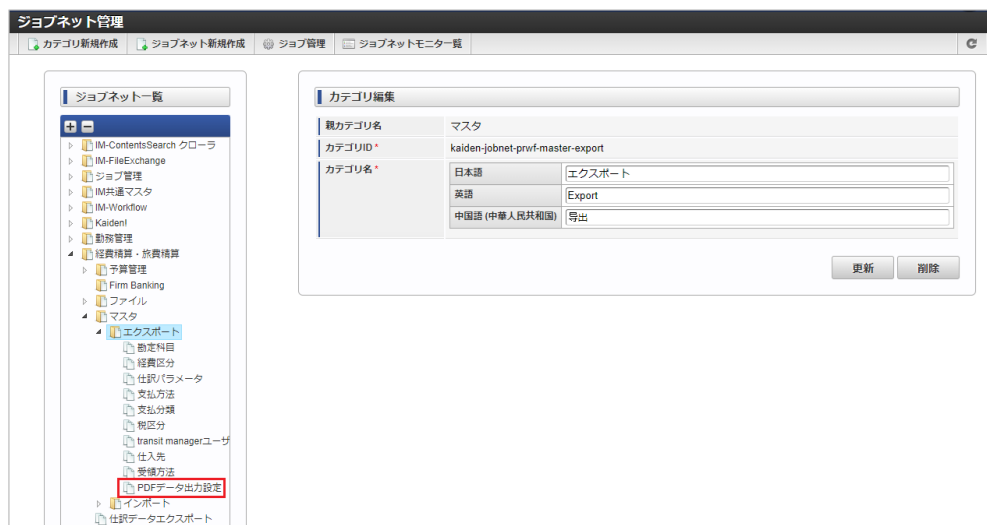
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

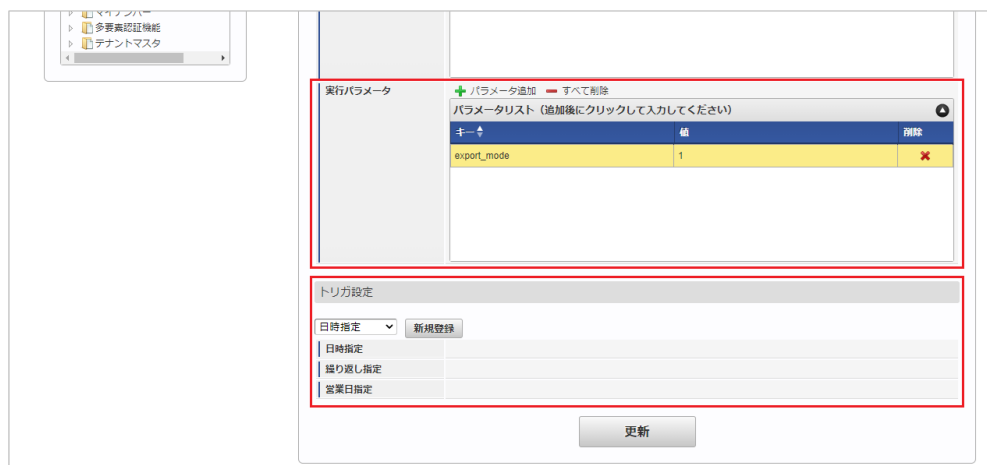
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「PDFデータ出力設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

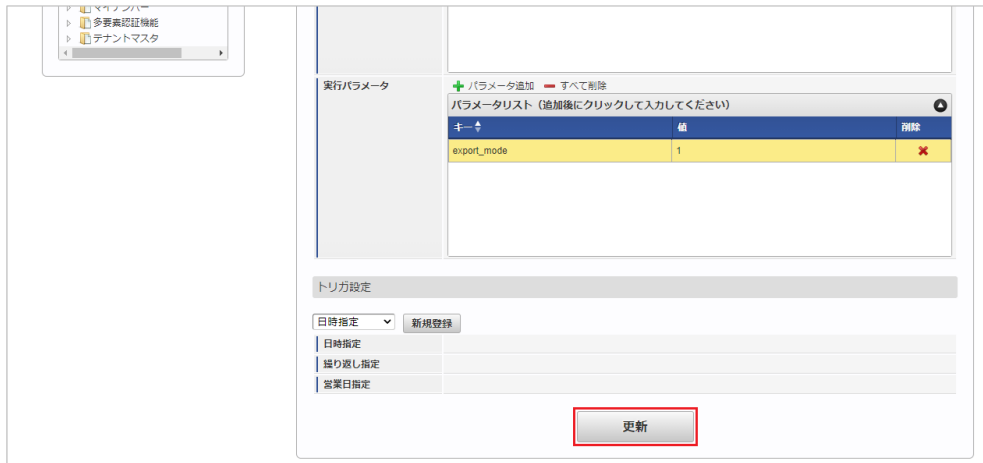
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

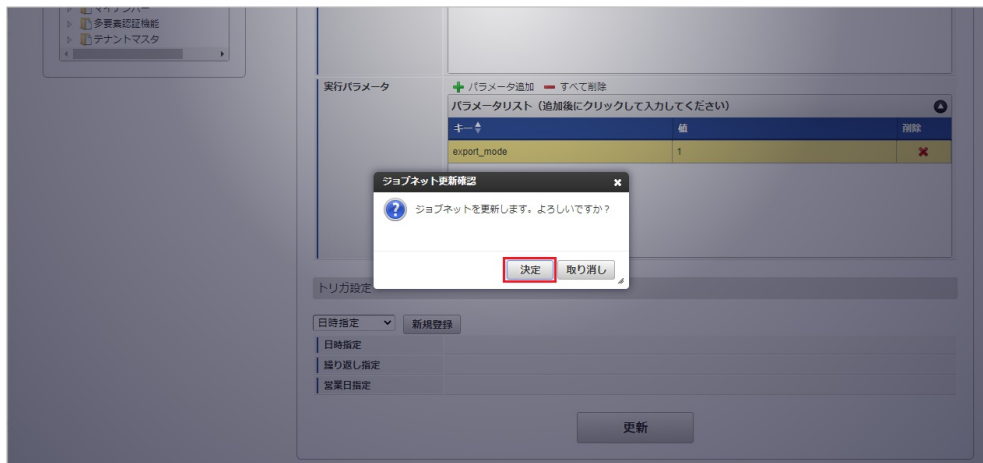
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-export-pdf-data-export-settings	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / PDFデータ出力設定

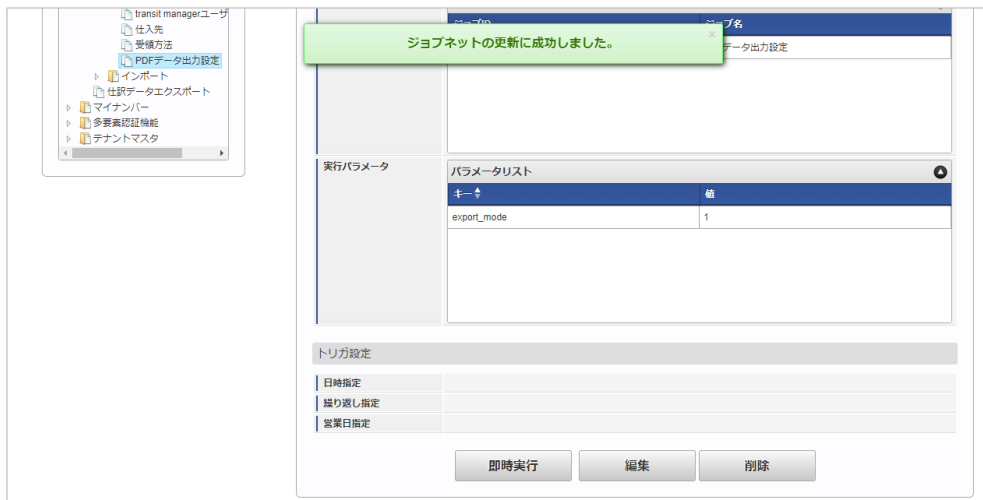
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
settingCd	設定コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
settingName	設定名	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
filePath	ファイルパス	
fileColumns	出力カラム	
fileCharacter	文字コード	
fileDelimiter	区切り文字	
fileEnclosing	囲み文字	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明/設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/pdf_data_export_settings/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 PDFデータ出力設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「pdf_data_export_settings」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、受領方法マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

受領方法マスタは、ファイルの受領方法を管理するためのものです。メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「受領方法」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 受領方法コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - 受領方法名
受領方法の名称を入力します。
 - 受領方法カテゴリ
受領方法のカテゴリを選択します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

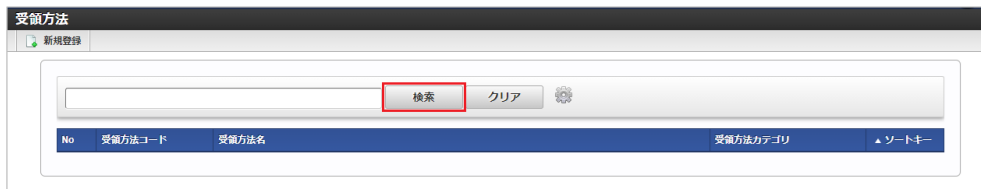


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「受領方法」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

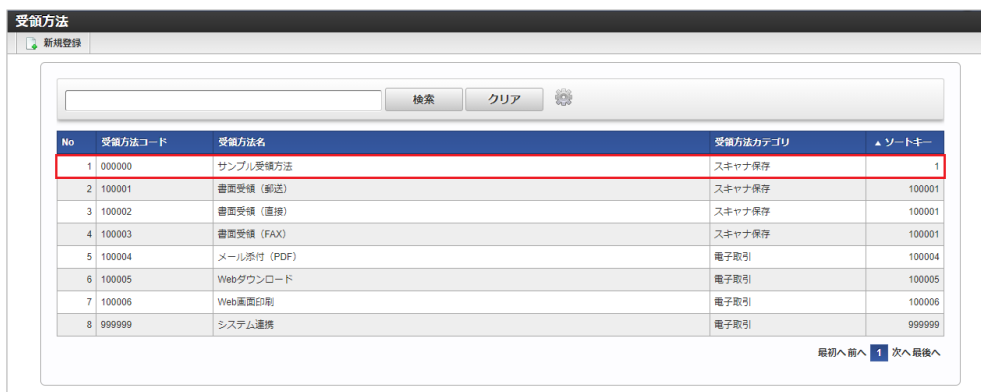


i コラム

検索欄に検索したい受領方法の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 受領方法コード
- 受領方法名
- 受領方法カテゴリー

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 受領方法コード

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	受領方法コード	受領方法名	受領方法カテゴリ	ソートキー
1	000000	サンプル受領方法	スキャナ保存	1
2	100001	書面受領 (郵定)	スキャナ保存	100001
3	100002	書面受領 (直接)	スキャナ保存	100001
4	100003	書面受領 (FAX)	スキャナ保存	100001
5	100004	メール添付 (PDF)	電子取引	100004
6	100005	Webダウンロード	電子取引	100005
7	100006	Web画像印刷	電子取引	100006
8	999999	システム連携	電子取引	999999

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	受領方法コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	受領方法名	○	250	
7	受領方法カテゴリ	○	100	
8	ソートキー	○	15	
9	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効（論理削除）

コラム

複数のロケールで利用する場合は、必要な全ロケール分のデータを作成してください。

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプル受領方法","300017-1","1","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","Sample Received","300017-1","1","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","本收方式","300017-1","1","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
 項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/file_received

ファイル名 import.csv

i コラム

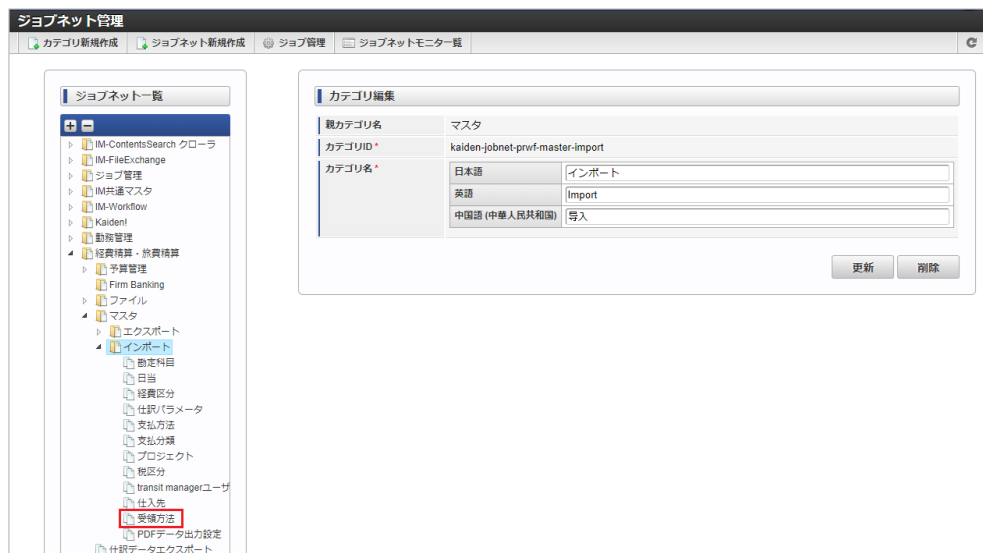
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「受領方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-file-received	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 受領方法

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	✖

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

更新

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_received/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_received/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , :カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 受領方法マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_received」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

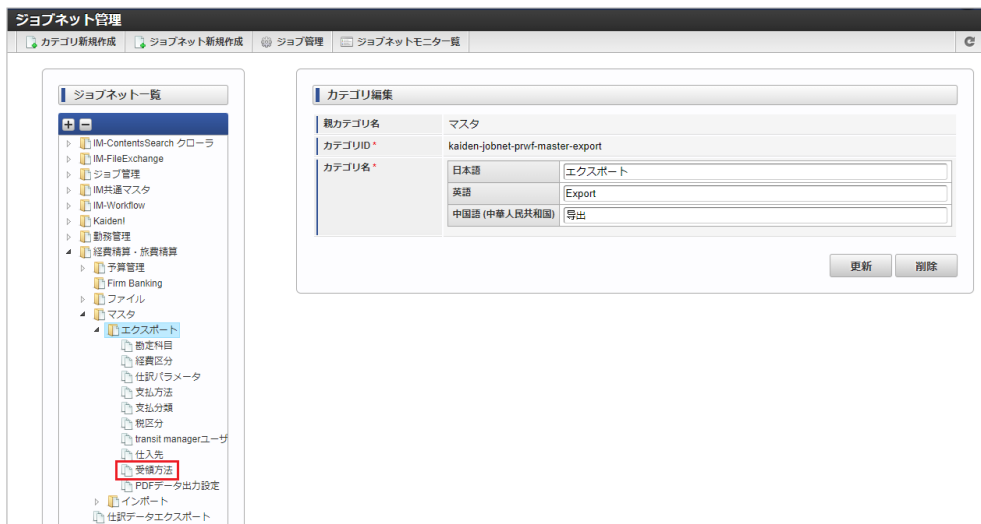
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

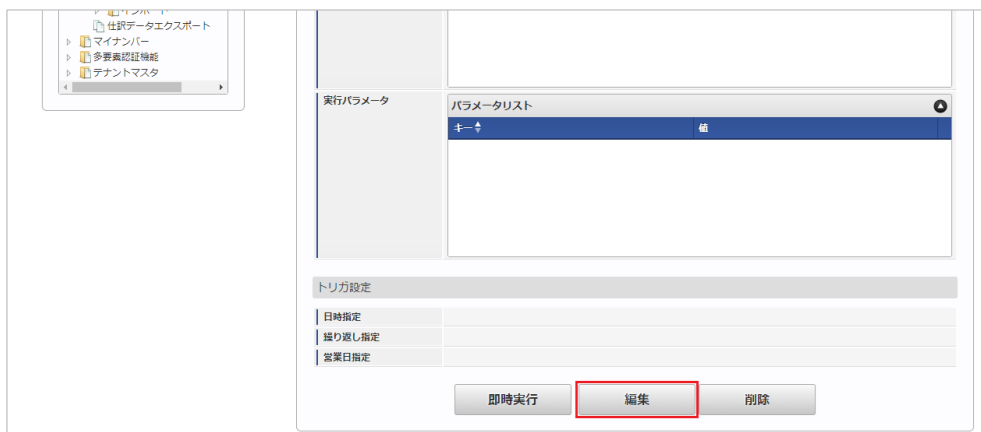
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

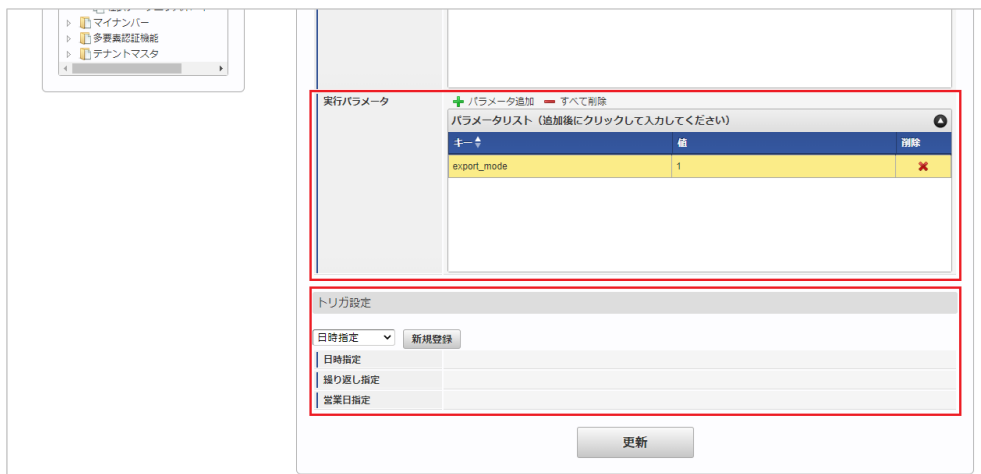
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「受領方法」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

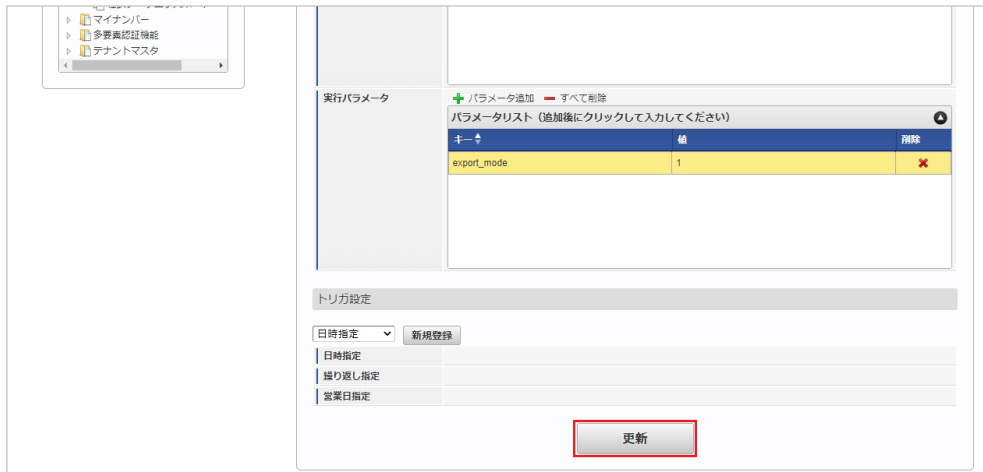
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

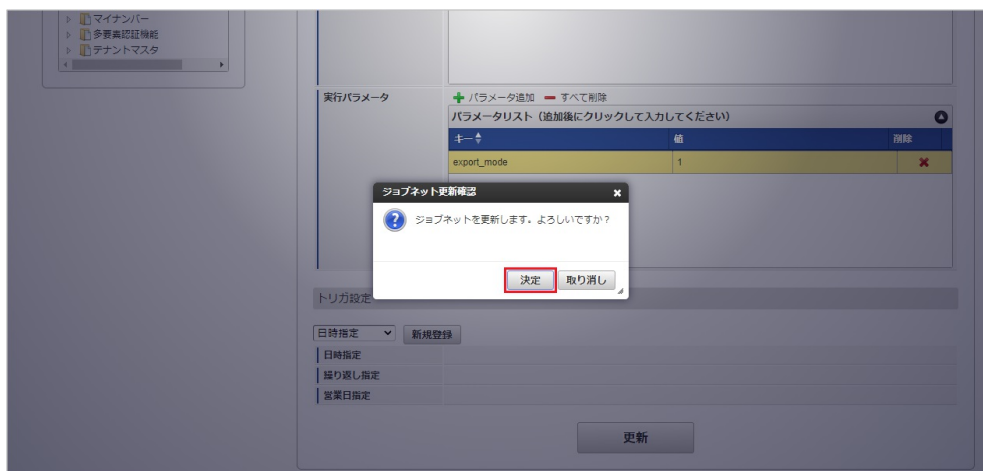
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-export-file-received	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 受領方法

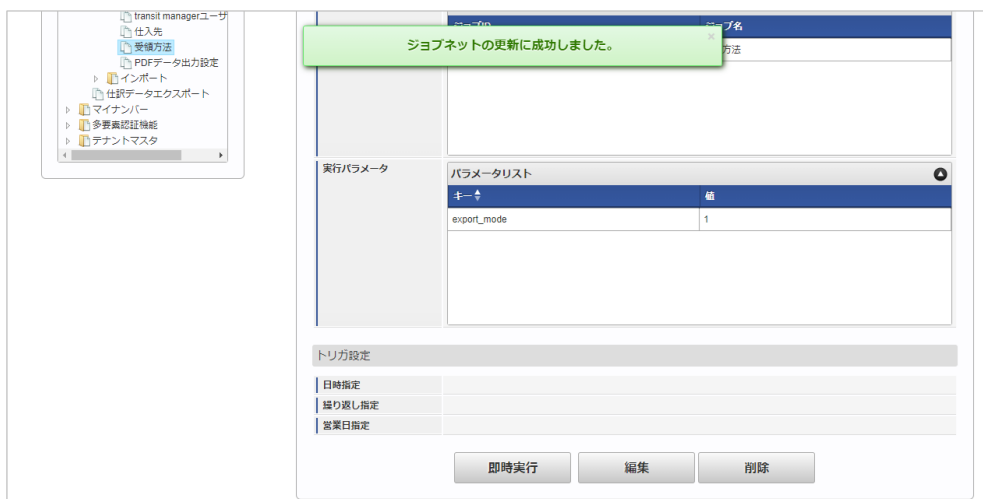
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/file_received/
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
receivedCd	受領方法コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
receivedName	受領方法名	
receivedCategoryCd	受領方法カテゴリ	
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明／設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/file_received/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/file_received/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 受領方法マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_received」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

ファイルパス管理マスタ

本項では、ファイルパス管理マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

ファイルパス管理マスタは、ストレージアップロード／ダウンロード機能で使用するファイルパスを管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

コラム

ストレージアップロード／ダウンロード機能については、「[ストレージアップロード／ダウンロード](#)」を参照してください。

メンテナンス

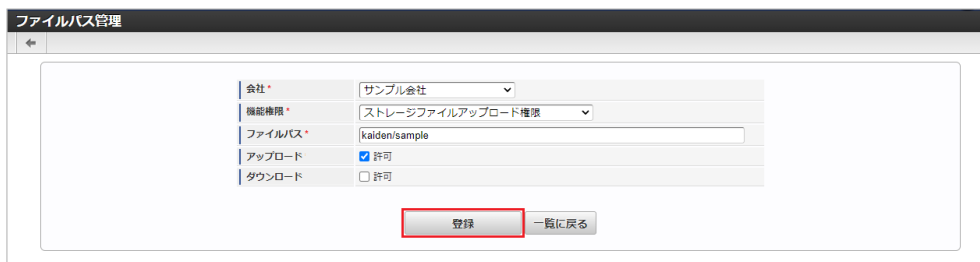
本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル操作」→「ファイルパス管理」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- 機能権限
機能権限を選択します。
- ファイルパス
会社、機能権限ごとに一意のファイルパスを入力します。
- アップロード
ストレージアップロード／ダウンロード機能でアップロードを許可する場合、チェックします。
- ダウンロード
ストレージアップロード／ダウンロード機能でダウンロードを許可する場合、チェックします。

i コラム

「ファイルパス」の先頭、最後尾に「/」を入力して登録することができます。
入力した場合と入力しない場合でパスに違いはありません。

i コラム

ストレージ直下の「ファイルパス」を登録したい場合、「/」のみで登録してください。

! 注意

「会社」、「機能権限」が同一であり、先頭、最後尾の「/」以外が同一の「ファイルパス」が既に登録されている場合、登録時にエラーが発生します。

「会社」、「機能権限」のいずれかが異なる場合、エラーは発生しません。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

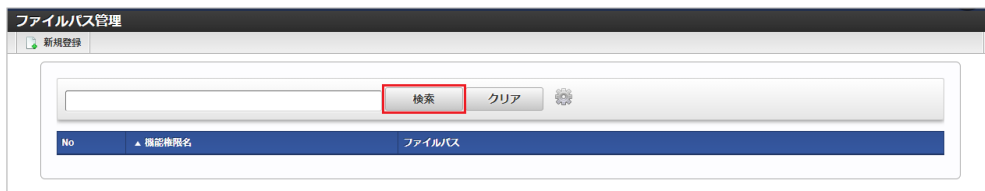


2. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル操作」→「ファイルパス管理」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

**i** コラム

検索欄に検索したいファイルパス管理の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 機能権限名
- ファイルパス

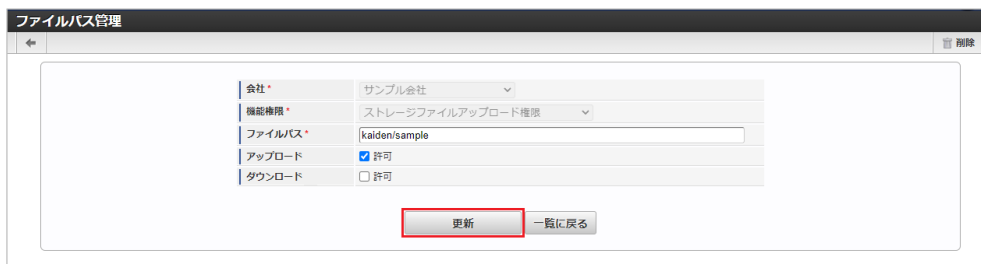
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

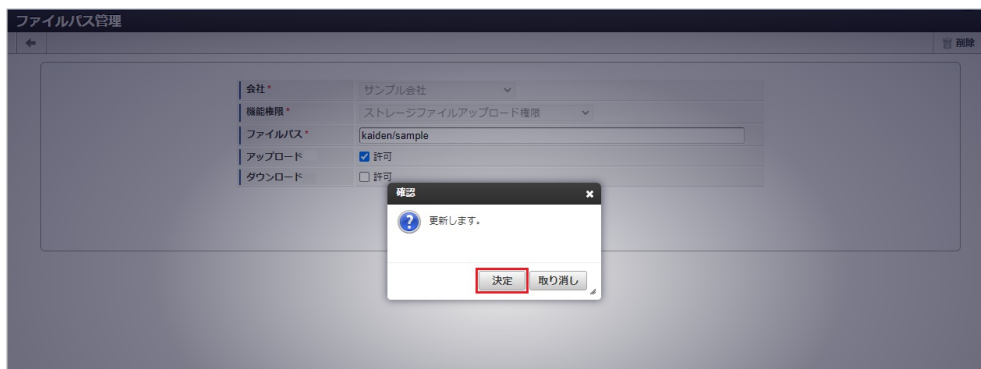
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 機能権限

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ストレージファイルパスid	○	50	
3	権限（機能）コード	○	100	
4	ファイルパス	○		
5	アップロードフラグ	○	1	0：禁止 1：許可
6	ダウンロードフラグ	○	1	0：禁止 1：許可

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample_path_id","storage_file_upload","kaiden/sample","1","0"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/file_path_management

ファイル名 import.csv



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

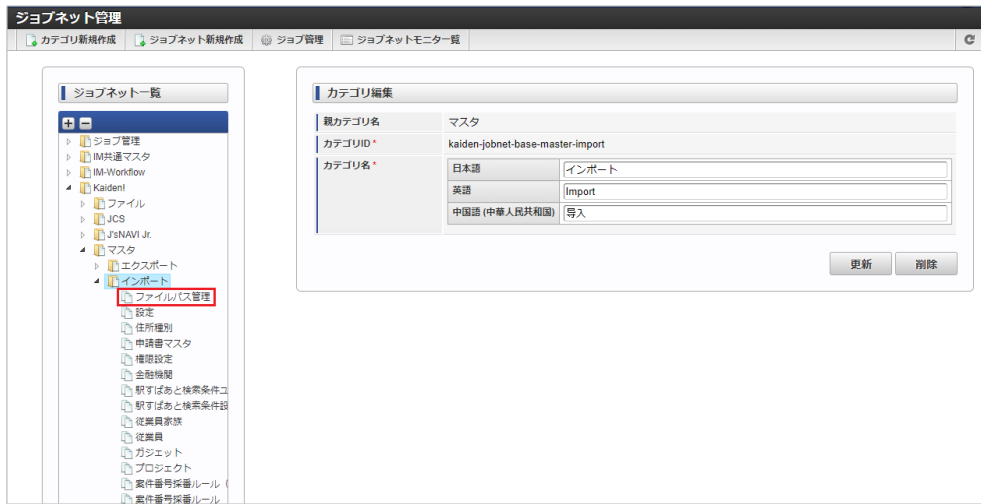
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

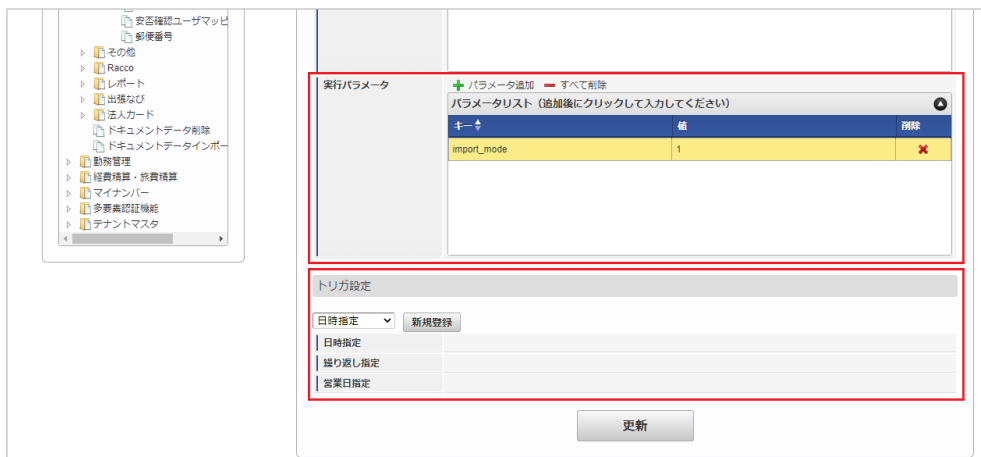
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイルパス管理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

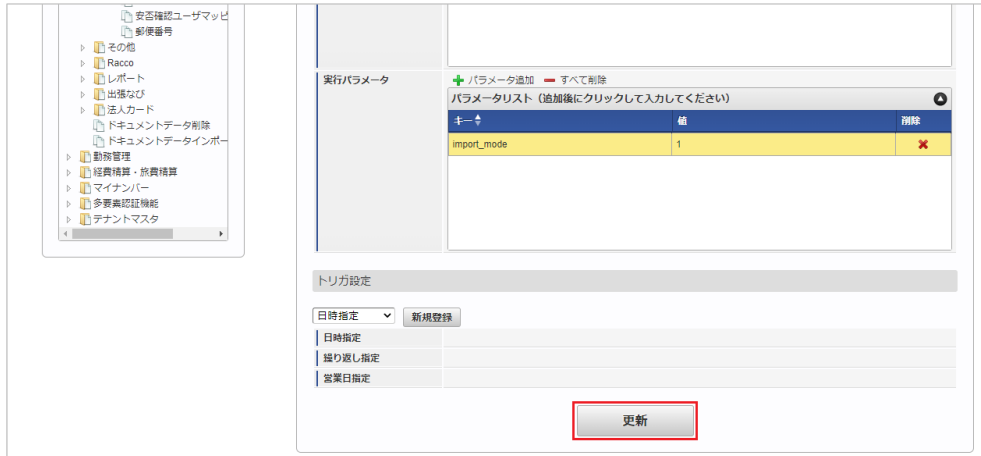
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

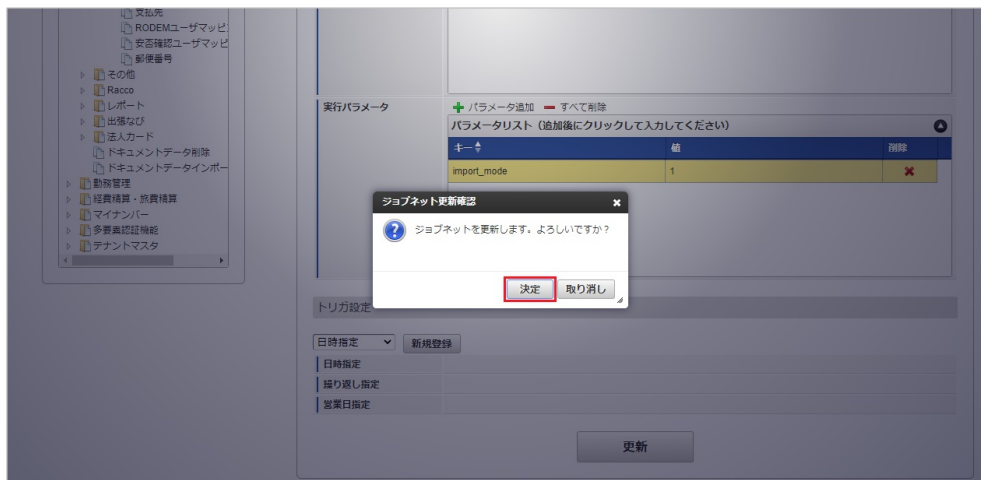
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-master-import-file-path-management	Kaiden! / マスタ / インポート / ファイルパス管理

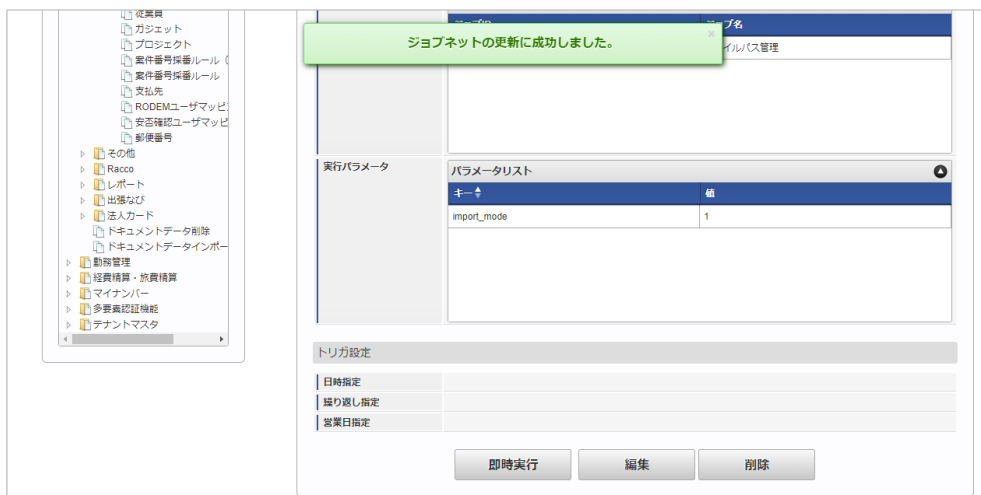
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_path_management/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_path_management/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 ファイルパス管理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_path_management」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

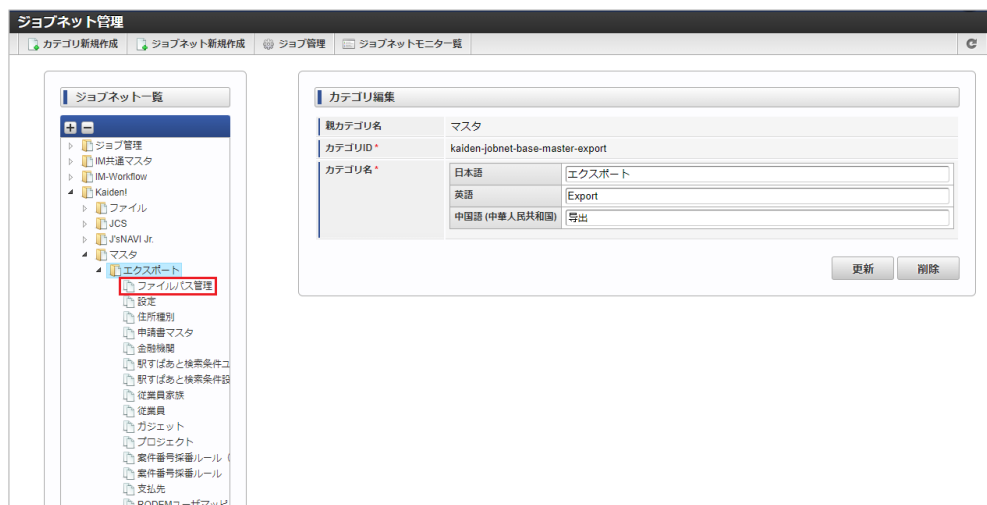
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

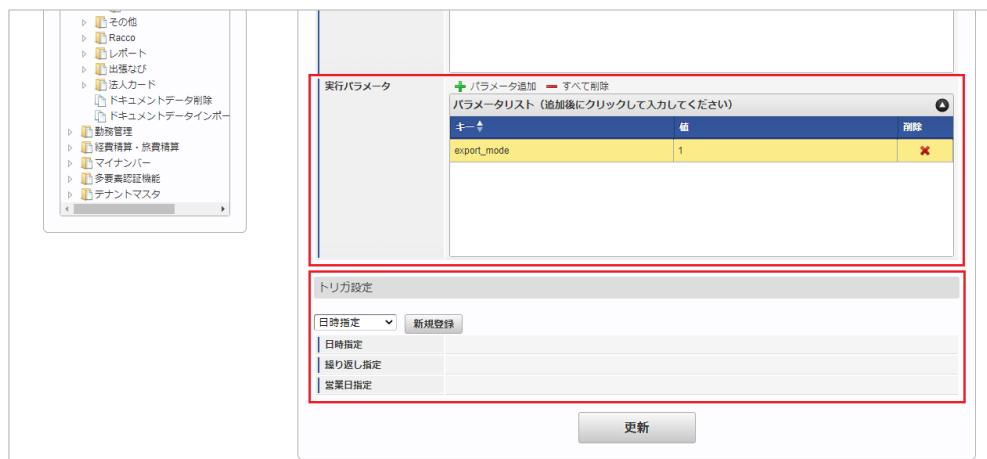
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイルパス管理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

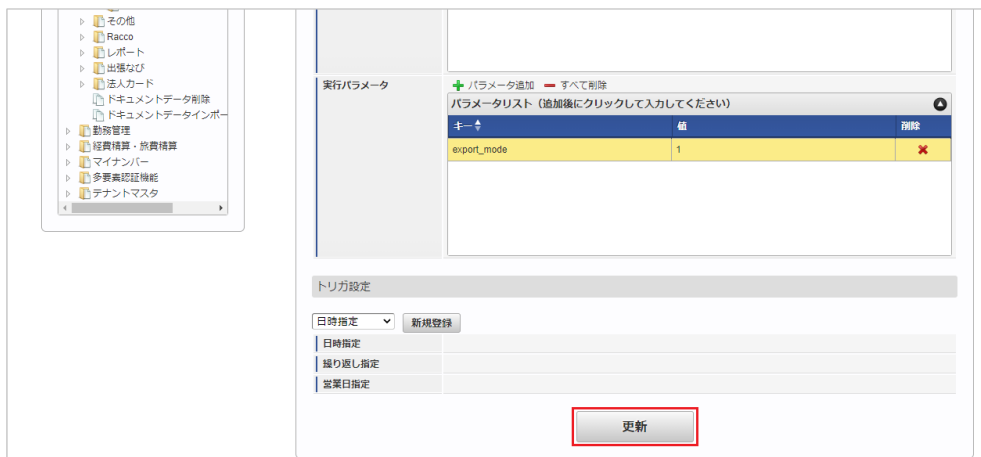
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

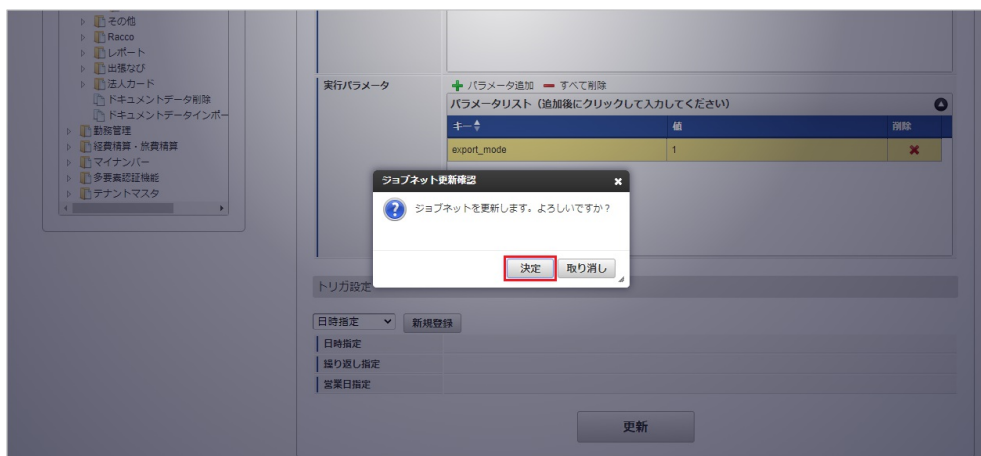
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-master-export-file-path-management	Kaiden! / マスタ / エクスポート / ファイルパス管理

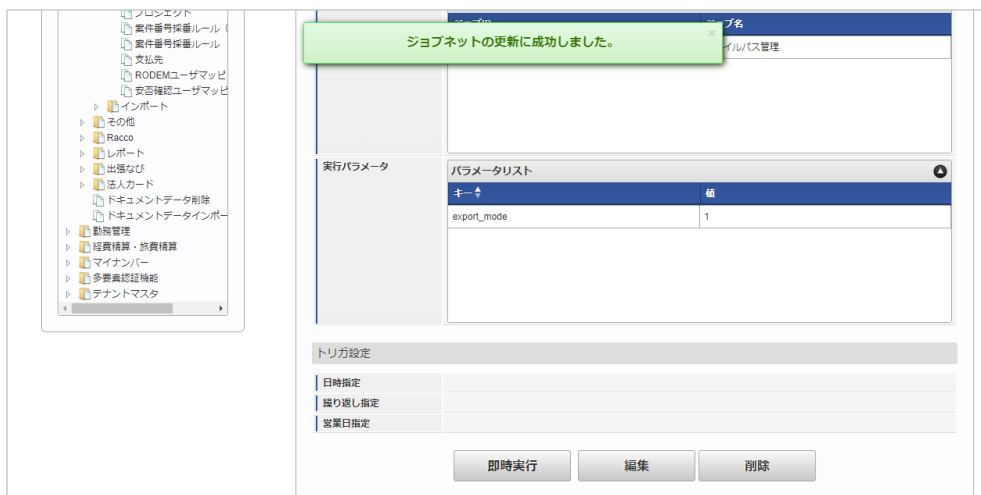
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/file_path_management/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
storageFilePathId	ストレージファイルパスid	
functionAuthorityCd	権限（機能）コード	
filePath	ファイルパス	
uploadFlag	アップロードフラグ	0：禁止 1：許可
downloadFlag	ダウンロードフラグ	0：禁止 1：許可

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_path_management/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_path_management/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 ファイルパス管理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_path_management」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

設定マスタ

本項では、設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

設定マスタは、各機能の設定を管理するためのものです。
各機能の設定をファイルでの編集ではなく画面で編集して設定することができます。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

注意

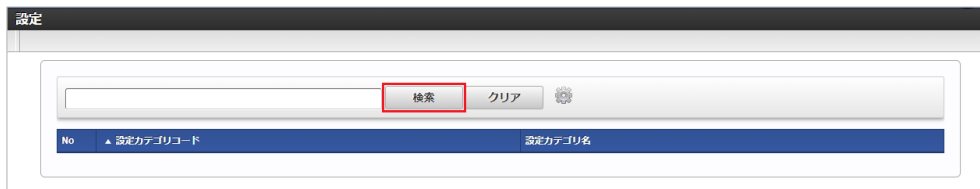
各機能の設定を設定マスタから読み込む場合、基盤モジュールの定数ファイルにて設定マスタモードを有効にする必要があります。
設定マスタモードを有効にした場合、設定マスタに各機能の設定を登録することが必須となります。
設定マスタモードの設定方法は、『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「応用」-「その他」-「機能説明」-「constants」-「基盤モジュール」を参照してください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「設定ファイル」→「設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧には、設定可能な機能の設定カテゴリが表示されます。

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 設定項目
設定値を入力します。

i コラム

設定カテゴリ名以降の項目は全て設定項目となります。

設定項目の詳細、数は各機能によって異なります。

各機能の設定項目については、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「皆伝! の設定ファイル」を参照してください。

i コラム

各設定項目には初期値が表示されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「設定ファイル」→「設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 設定カテゴリコード
- 設定カテゴリ名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

会社*	サンプル会社
設定カテゴリ名	基盤モジュール設定
intra-mart Accel Kaiden! で利用する組織セットコード	
会社通貨コード*	JPY
レート計算時の端数処理モード*	HALF_UP
時刻表現方法*	H99
稼働[本人]を特定するコード*	100004-10
システムメッセージの配信元となるユーザのコード	
セレクトボックスの表示最大数*	10
ファイルタグの1ファイルサイズ上限*	0

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 設定カテゴリ名

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

更新 一覧に戻る

6. 更新することができました。

更新しました。

No	設定カテゴリコード	設定カテゴリ名
1	BaseSettings	基盤モジュール設定
2	EkispartWebSettings	駅すばあとWebサービス設定
3	ExtensionlmwSettings	IM-Workflow連携モジュール設定
4	JcsSettings	JCS設定
5	JnaviSettings	J'sNAVI Jr 設定
6	KatsubunIdeSettings	活文IDE設定
7	NeoFaceCloudSettings	NeoFace Cloud GPS連携サービス設定
8	ProductLabormgrSettings	勤務管理モジュール設定
9	ProductWorkflowSettings	ワークフローモジュール設定
10	RaccoSettings	Racco設定
11	RodemSettings	RODEM設定
12	RouteSearchSettings	経路検索設定
13	SolutionidentnbrColSettings	マイナンバー (収集) モジュール設定
14	SolutionidentnbrStgSettings	マイナンバー (保管・削除) モジュール設定
15	TimestampSettings	タイムスタンプ設定
16	TransitManagerSettings	transit manager設定
17	TripNavSettings	出張ナビ設定

最初へ前へ 1 次へ最後へ

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	設定カテゴリコード	○	100	
3	設定項目コード	○	100	
4	設定値		250	

データサンプル

```
"comp_sample_01","BaseSettings","defaultDepartmentSetCd",""
"comp_sample_01","BaseSettings","companyCurrencyCd","JPY"
"comp_sample_01","BaseSettings","amountConvertRoundMode","HALF_UP"
"comp_sample_01","BaseSettings","timeFormat","H99"
"comp_sample_01","BaseSettings","relationshipOwnPerson","100004-10"
"comp_sample_01","BaseSettings","deliverUserCd",""
"comp_sample_01","BaseSettings","showSelectOptionMaxCount","10"
"comp_sample_01","BaseSettings","maxFileSize","0"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/setting

ファイル名 import.csv

コラム

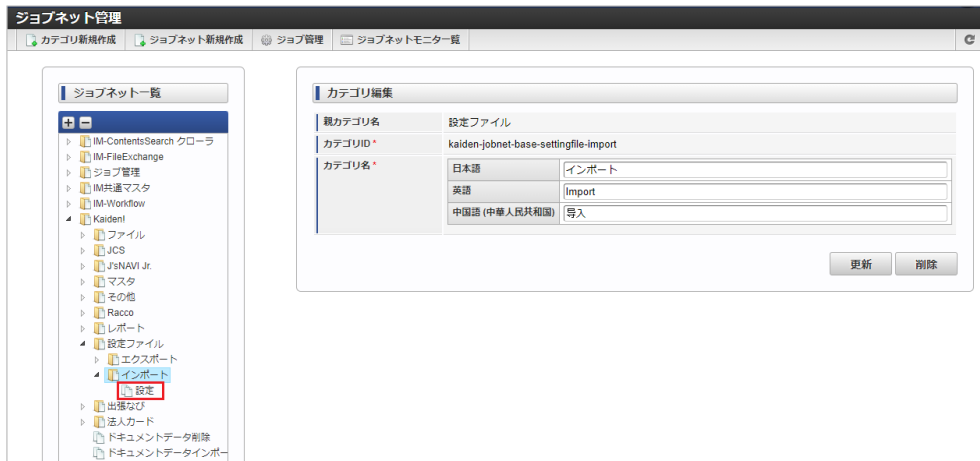
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

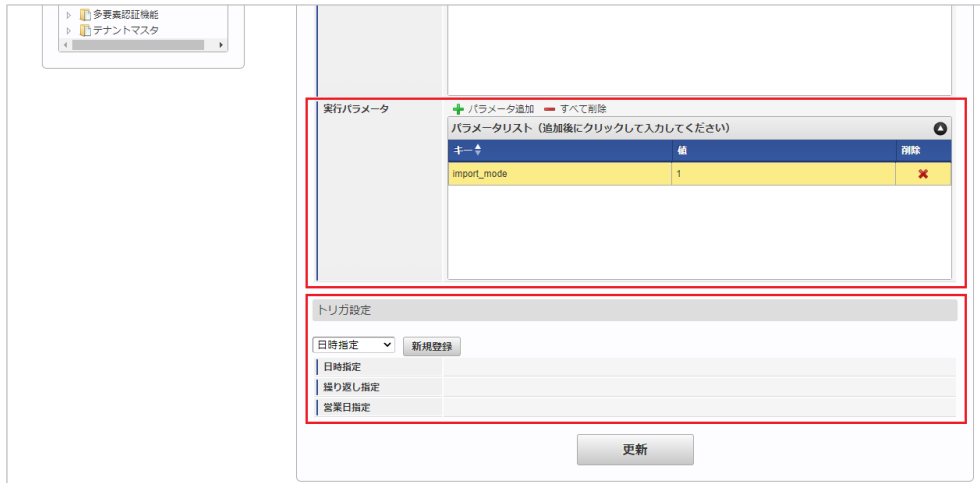
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

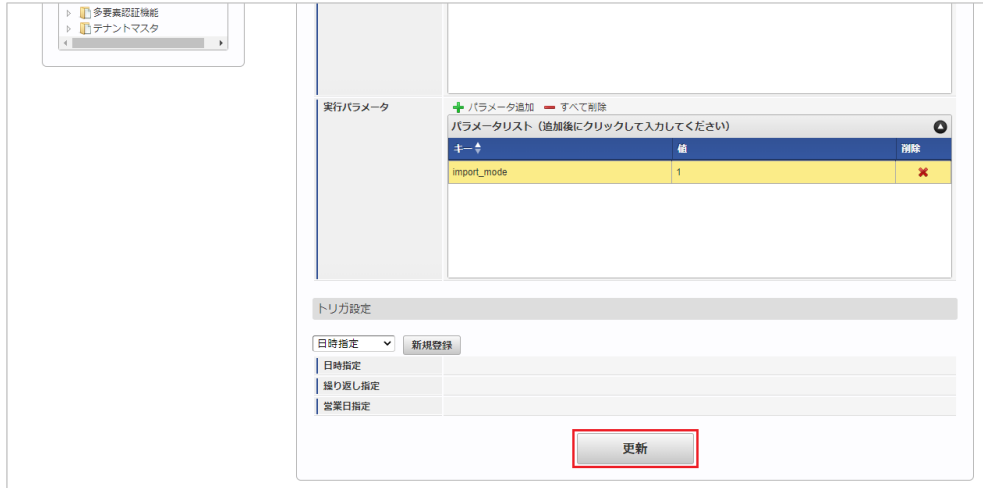
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

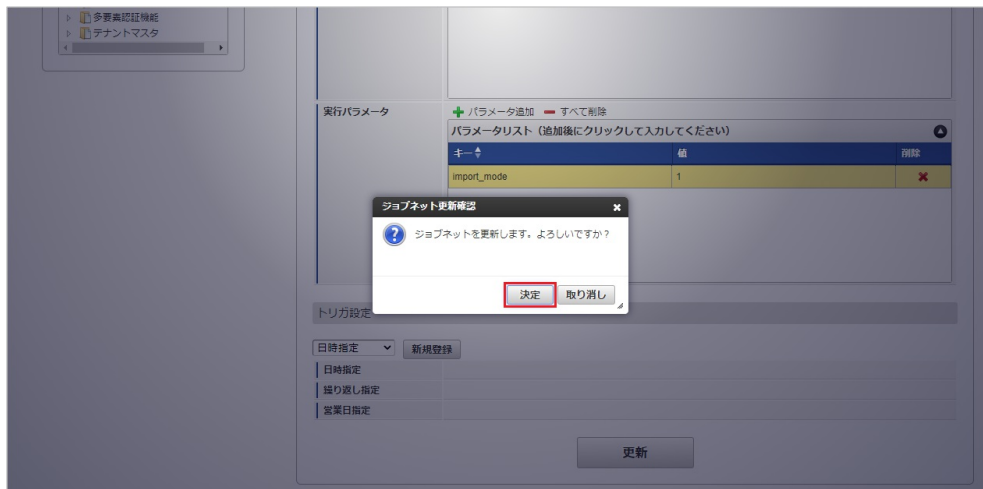
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-settingfile-import-setting	Kaiden! / 設定ファイル / インポート / 設定

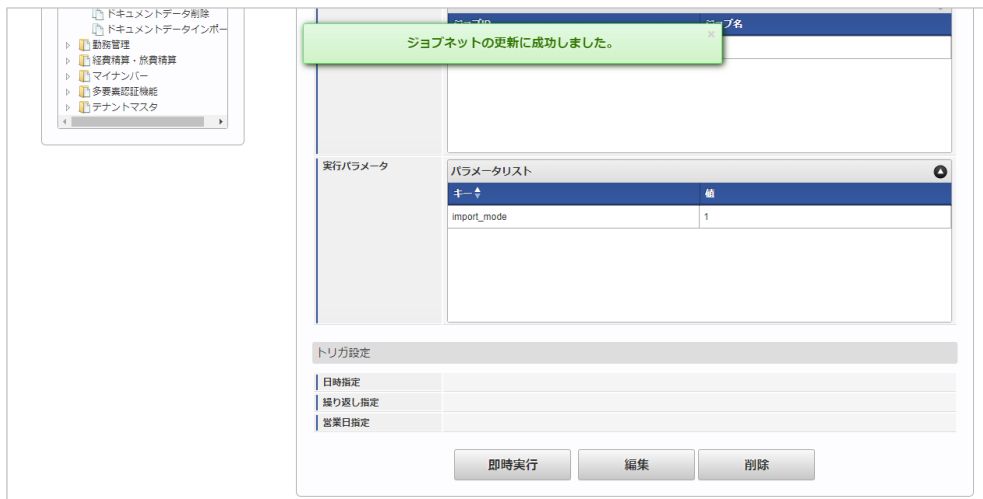
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 単一期間(差分)モード
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/setting/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/setting/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「setting」を設定しています。

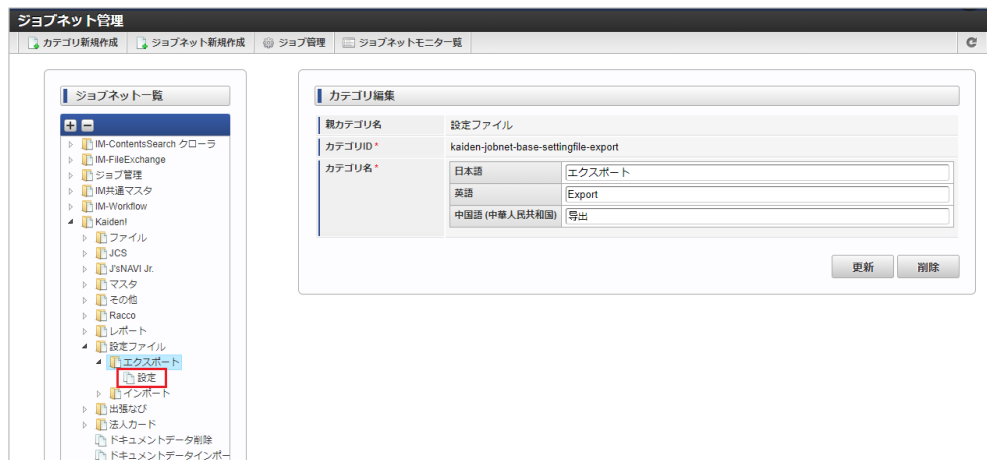
{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

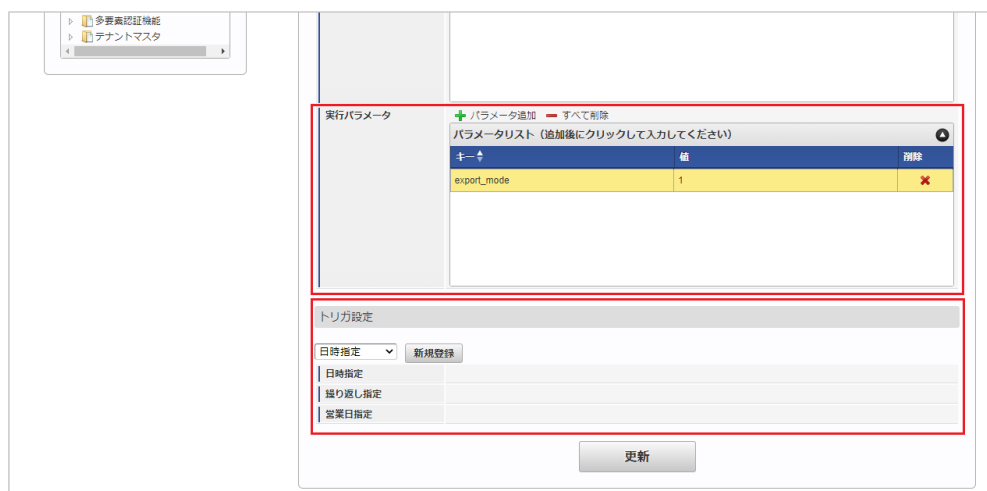
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

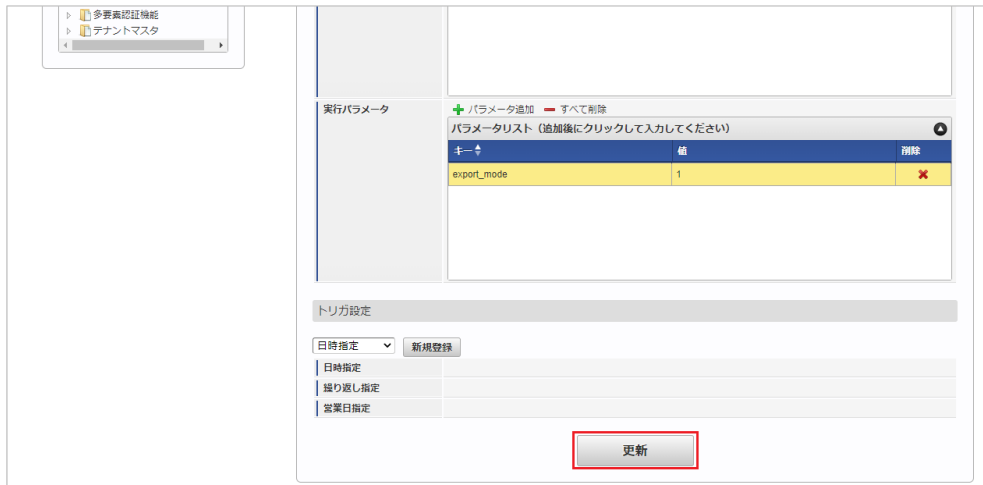
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

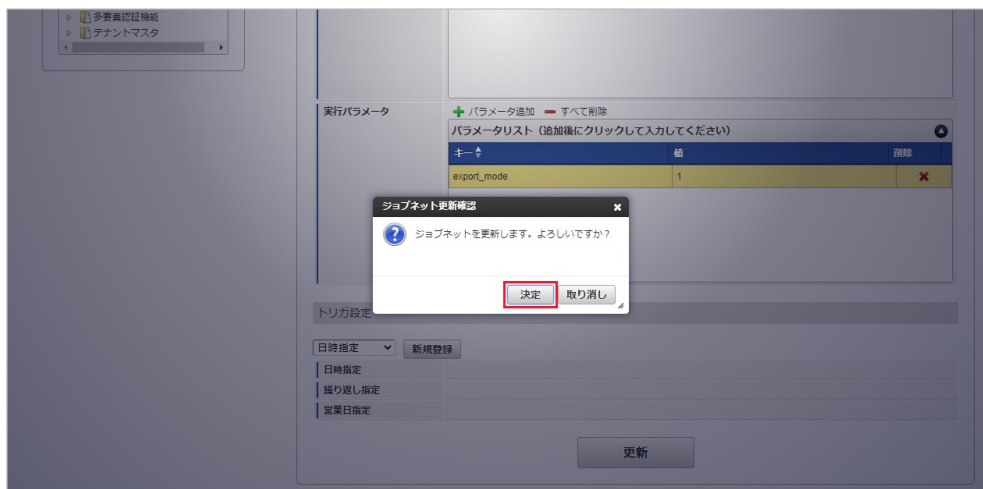
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-settingfile-export-setting	Kaiden! / 設定ファイル / エクスポート / 設定

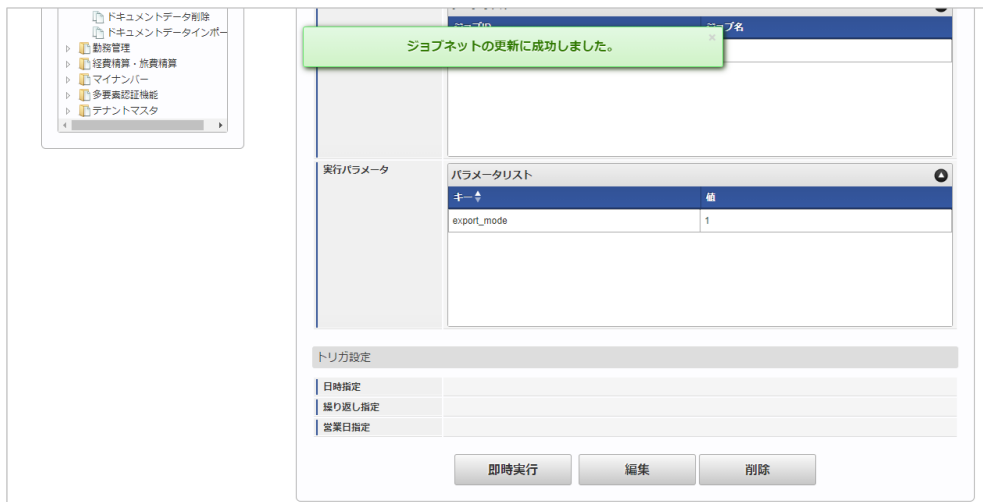
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/setting/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
settingCategoryCd	設定カテゴリコード	
settingItemCd	設定項目コード	
settingValue	設定値	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検 索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/setting/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/setting/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「setting」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

適格請求書設定マスタ

本項では、適格請求書設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

適格請求書設定マスタは、インボイス制度の適格請求書に関する設定を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「適格請求書設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 登録番号チェック
チェックすると、申請書の申請時やマスタの登録時などに登録番号の存在チェックを実施します。
- 登録番号チェック種別
「公表システムWeb-API」を指定すると、国税庁の適格請求書発行事業者公表システムWeb-API機能を使用して登録番号の存在チェックを実施します。
「公表情報ダウンロードデータ」を指定すると、[適格請求書発行事業者の公表情報マスタ](#)でインポートしたデータで登録番号の存在チェックを実施します。
- ベースURL
登録番号チェックを「公表システムWeb-API」で行う場合、国税庁の適格請求書発行事業者公表システムWeb-APIのURLを設定してください。
- アプリケーションID
登録番号チェックを「公表システムWeb-API」で行う場合、国税庁が発行するアプリケーションIDを設定してください。
国税庁の適格請求書発行事業者公表システムWeb-APIを使用する場合、国税庁が発行するアプリケーションIDが必要です。
- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。

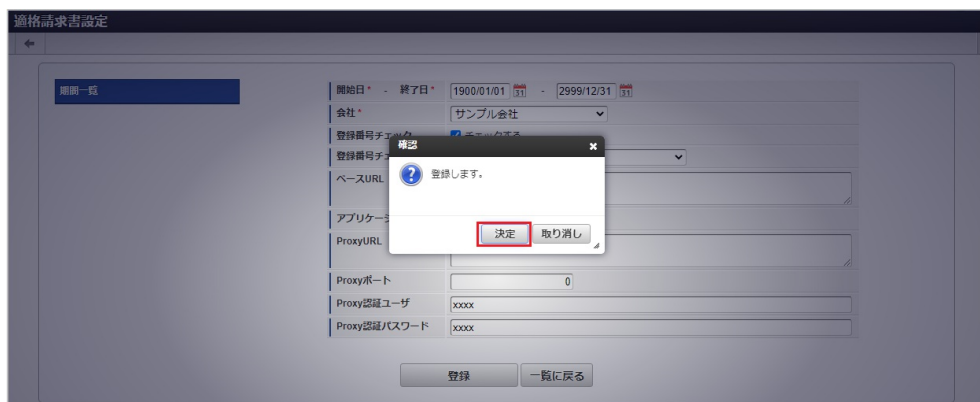
コラム

登録番号チェック種別で「公表システムWeb-API」を指定した際に実施する登録番号の存在チェックは、国税庁適格請求書発行事業者公表システムWeb-API機能を利用して取得した情報をもとに実施しています。

ただし、登録番号の存在チェックの内容は国税庁によって保証されたものではありません。

本項は「[国税庁 インボイス制度 適格請求書発行事業者公表サイト（Web-APIの利用規約）](#)」の第6条（情報の取得元の明示）に則り記載しております。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

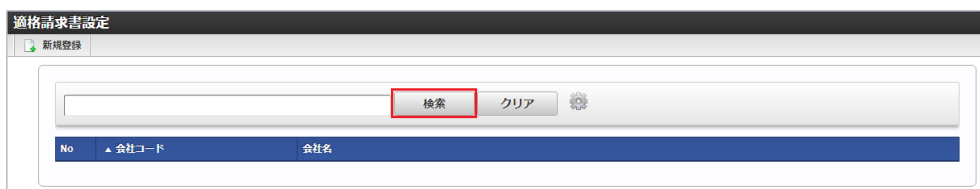


- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「適格請求書設定」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい適格請求書設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the '適格請求書設定' (Qualified Invoice Settings) page. On the left, there is a sidebar with '期間一覧' (Period List) and '1900/01/01 - 2999/12/31' with '期間分割' (Split Period) and '期間変更' (Change Period) buttons. The main area contains a form with the following fields:

- 開始日 (Start Date): 1900/01/01
- 終了日 (End Date): 2999/12/31
- 会社 (Company): サンプル会社 (Sample Company)
- 登録番号チェック (Registration Number Check): チェックする (Checked)
- 登録番号チェック種別 (Registration Number Check Type): 公表システムWeb-API
- ベースURL (Base URL): https://xxxxxxxxxxxxxxxx
- アプリケーションID (Application ID): 00000000000000
- ProxyURL (Proxy URL): https://xxxxxxxxxxxxxxxx
- Proxyポート (Proxy Port): 0
- Proxy認証ユーザ (Proxy Authentication User): xxxxx
- Proxy認証パスワード (Proxy Authentication Password): xxxxx

At the bottom, there are two buttons: '更新' (Update) and '一覧に戻る' (Return to List). The '更新' button is highlighted with a red box.

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the same '適格請求書設定' page as in step 4, but with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box has a question mark icon and the text '更新します。' (Update). At the bottom of the dialog, there are two buttons: '決定' (Confirm) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

6. 更新することができました。

The screenshot shows the '適格請求書設定' page with a green notification banner at the top that says '更新しました。' (Updated). Below the banner, there is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. Below the search bar, there is a table with the following data:

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

At the bottom right of the table, there are navigation links: '最初へ前へ' (Previous to Start) and '次へ最後へ' (Next to End).

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
5	ベースURL			
6	ProxyURL			
7	Proxyポート		18	
8	Proxy認証ユーザ		1000	
9	Proxy認証パスワード		1000	
10	登録番号チェック	○	1	0 : チェックしない 1 : チェックする
11	登録番号チェック種別		100	10 : 公表システムWeb-API 00 : 公表情報ダウンロードデー タ
12	アプリケーションID		13	

データサンプル

```
"comp_sample_01","1900/01/01","2999/12/31","0","https://xxxxxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxxxxx","0","xxx","xxx","1","10","00000"
```

 コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings

ファイル名 import.csv

 コラム

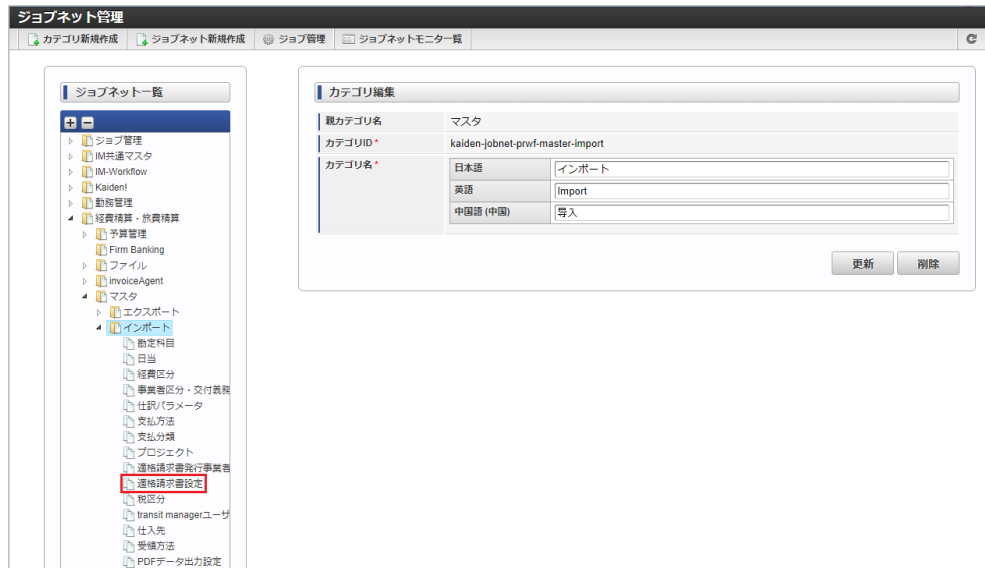
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

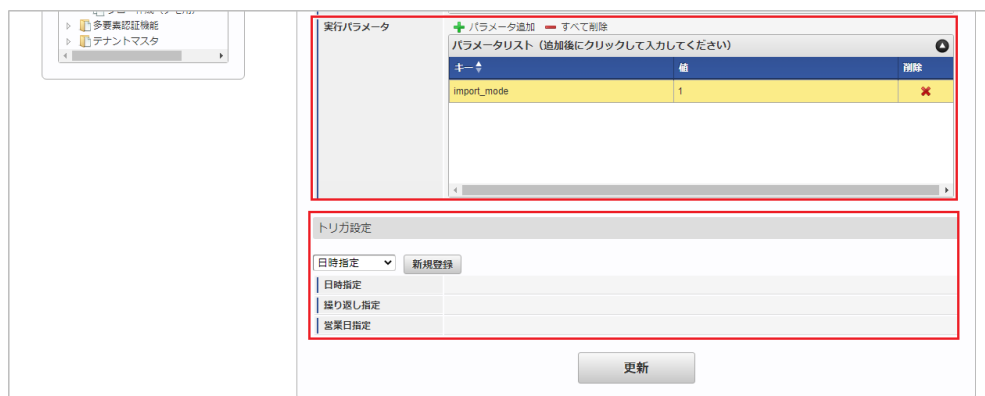
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「適格請求書設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

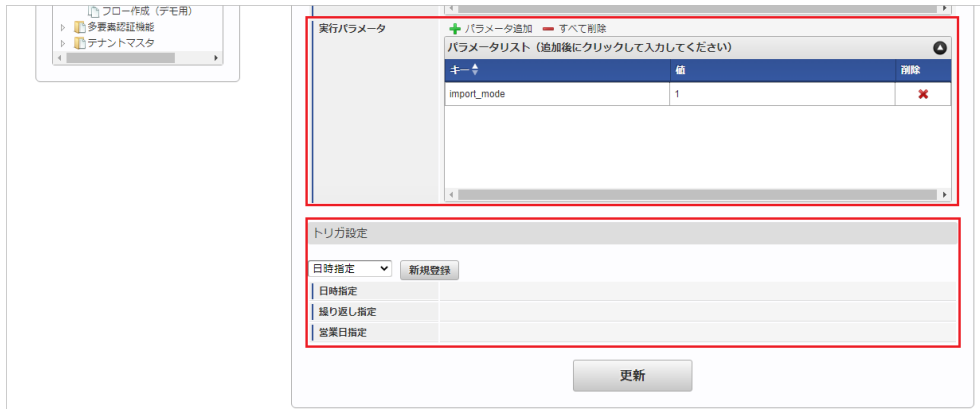
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-qualified-invoice-settings	経費旅費・旅費精算 / マスタ / インポート / 適格請求書設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



The screenshot shows the '実行パラメータ' (Execution Parameters) and 'トリガ設定' (Trigger Settings) sections. The 'パラメータリスト' (Parameter List) table contains one entry: 'import_mode' with a value of '1'. The 'トリガ設定' section has a '日時指定' (Date/Time Specification) dropdown set to '新規登録' (New Registration). The '更新' (Update) button at the bottom is highlighted with a red box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



This screenshot is identical to the previous one, showing the '更新' (Update) button highlighted in red. A confirmation popup is not yet visible.

7. ジョブネットが設定されました。



The screenshot shows a green success message popup: 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Job network update successful). The '更新' (Update) button is now highlighted in red. Below the 'トリガ設定' section, three buttons are visible: '即時実行' (Execute Immediately), '編集' (Edit), and '削除' (Delete).

コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS

名称	キー	説明 / 設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 適格請求書設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「qualified_invoice_settings」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

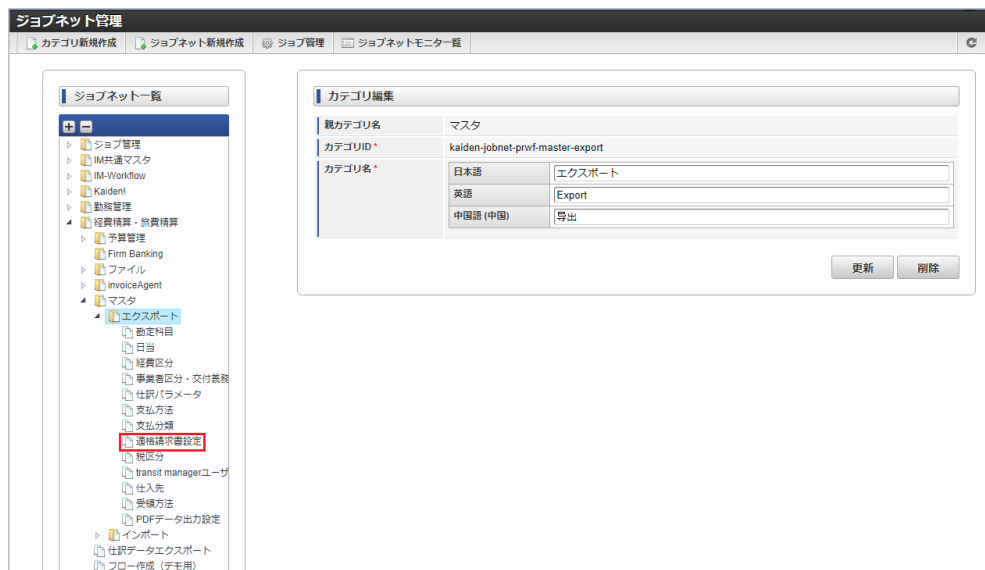
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

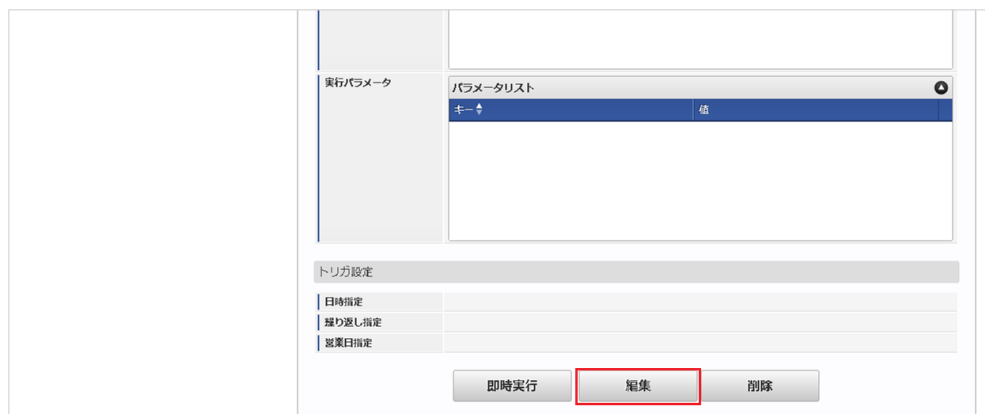
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「適格請求書設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

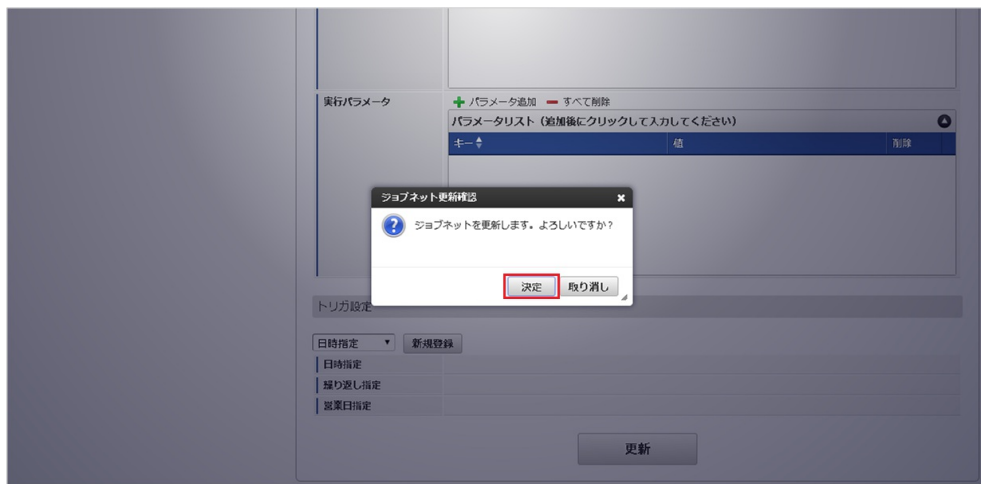
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-export-qualified-invoice-settings	経費旅費・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 適格請求書設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

baseUrl	ベースURL	
proxyHost	ProxyURL	
proxyPort	Proxyポート	
proxyUser	Proxy認証ユーザ	
proxyPassword	Proxy認証パスワード	
useRegistNumberCheckFlag	登録番号チェック	0 : チェックしない 1 : チェックする
registNumberCheckType	登録番号チェック種別	10 : 公表システムWeb-API 00 : 公表情報ダウンロードデータ
applicationId	アプリケーションID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 既存ファイルに追記 ■ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/qualified_invoice_settings/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルの ヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 適格請求書設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「qualified_invoice_settings」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

事業者区分・交付義務の免除理由マスタ

本項では、事業者区分・交付義務の免除理由マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

事業者区分・交付義務の免除理由マスタは、インボイス制度の事業者区分と適格請求書の交付義務の免除理由を管理します。登録した内容は、申請書の各明細の「交付義務の免除理由」として選択できます。また、選択した内容を仕訳データの「交付義務の免除理由」に出力可能です。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「事業者区分・交付義務の免除理由」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 事業者区分
事業者区分を選択します。
 - 事業者区分・交付義務の免除理由コード
事業者区分・交付義務の免除理由のコードを入力します。
 - 事業者区分名・交付義務の免除理由
事業者区分名、適格請求書交付義務の免除理由を入力します。
 - 交付義務の免除理由(仕訳連携用)
適格請求書交付義務の免除理由を入力します。
仕訳データ作成/出力時、交付義務の免除理由として使用します。
事業者区分が「適格請求書発行事業者」の場合、必要に応じて設定します。
 - 金額チェック
チェックした場合、申請書で「事業者区分・交付義務の免除理由」が選択された明細の金額が3万円未満かのチェックを実施します。
事業者区分が「適格請求書発行事業者」の場合、必要に応じて設定します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マスタメンテナンス」→「事業者区分・交付義務の免除理由」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい事業者区分・交付義務の免除理由の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 事業者区分・交付義務の免除理由コード
- 事業者区分名・交付義務の免除理由

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

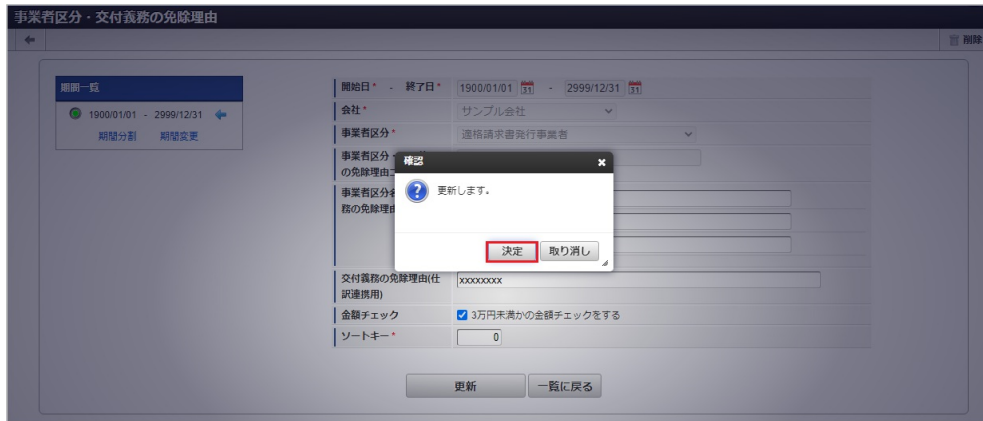
- 開始日
- 終了日
- 会社
- 事業者区分
- 事業者区分・交付義務の免除理由コード



コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	事業者区分・交付義務の免除理由コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	事業者区分名・交付義務の免除理由	○	250	
7	事業者区分	○	100	10：適格請求書発行事業者 20：免税事業者
8	交付義務の免除理由(仕訳連携用)		250	
9	金額チェック	○	1	0：チェックしない 1：チェックする
10	ソートキー	○	15	
11	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","1900/01/01","2999/12/31","サンプル","10","xxxxxxxx","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","en","1900/01/01","2999/12/31","Sample","10","xxxxxxxx","1","0","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","1900/01/01","2999/12/31","样品","10","xxxxxxxx","1","0","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason

ファイル名 import.csv

コラム

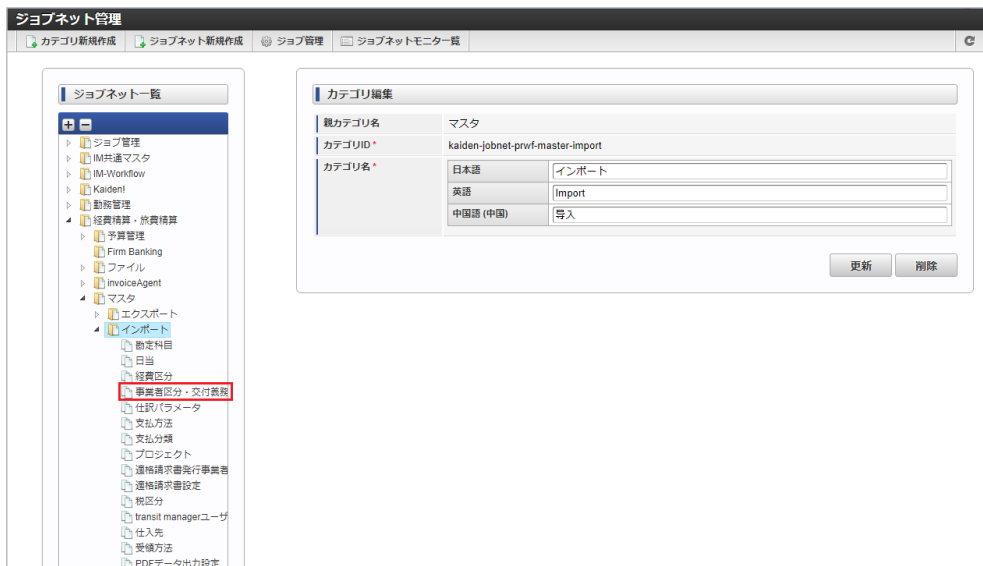
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

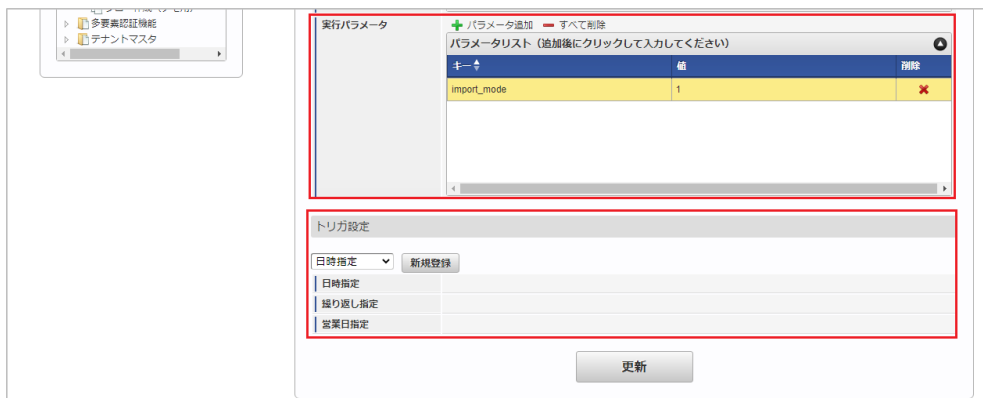
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「事業者区分・交付義務の免除理由」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

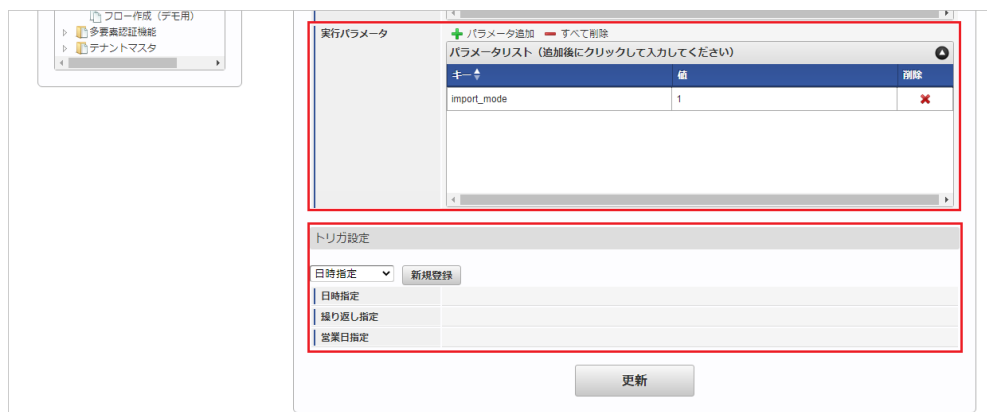
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-issuer-type-exemption-reason	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / 事業者区分・交付義務の免除理由

5. 編集後、「更新」をクリックします。



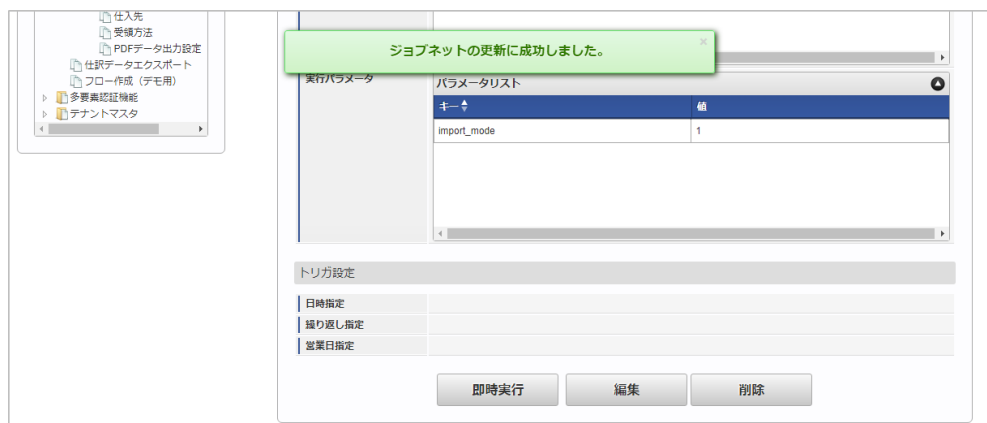
The screenshot shows the '実行パラメータ' (Execution Parameters) and 'トリガ設定' (Trigger Settings) sections. The 'パラメータリスト' (Parameter List) table contains one entry: 'import_mode' with a value of '1'. The '更新' (Update) button at the bottom is highlighted with a red box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



This screenshot is identical to the previous one, showing the '更新' (Update) button highlighted in red. A confirmation popup is not yet visible.

7. ジョブネットが設定されました。



The screenshot shows a green success message: 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Job network update successful). The '更新' button has been replaced by three buttons: '即時実行' (Execute Immediately), '編集' (Edit), and '削除' (Delete).

コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループ セットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループ コード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルの パス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason/import.csv)
処理後のインポート ファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS

名称	キー	説明/設定値
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 事業者区分・交付義務の免除理由マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「issuer_type_exemption_reason」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

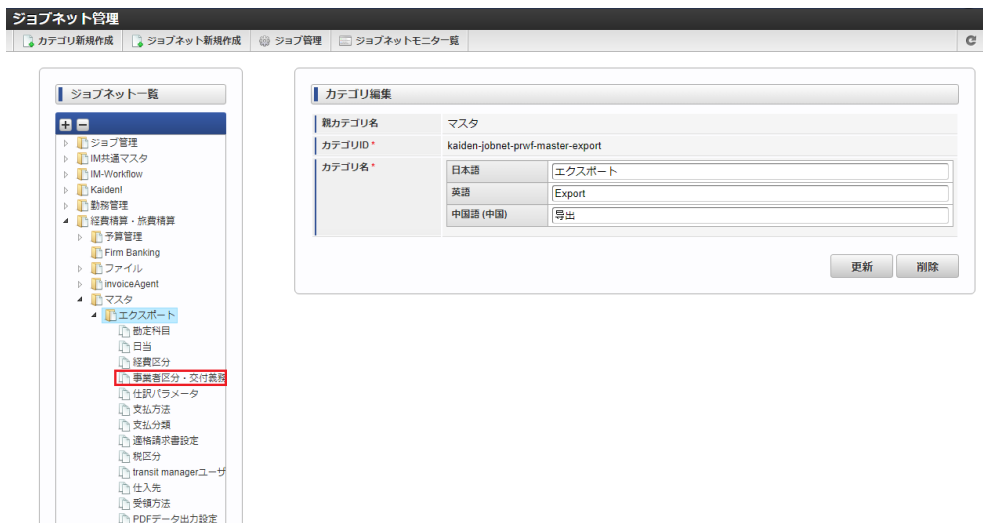
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「事業者区分・交付義務の免除理由」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

The screenshot shows a configuration interface with two main sections: '実行パラメータ' (Execution Parameters) and 'トリガ設定' (Trigger Settings). The '実行パラメータ' section includes a '+ パラメータ追加' (Add Parameter) button and a '- すべて削除' (Delete All) button. Below these is a table titled 'パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)' (Parameter List (Please click after adding to input)). The table has three columns: 'キー' (Key), '値' (Value), and '削除' (Delete). The 'トリガ設定' section has a '日時指定' (Date/Time Specification) dropdown menu and a '新規登録' (New Registration) button. Below this are four input fields: '日時指定', '繰り返し指定' (Repeat Specification), '曜日指定' (Day Specification), and '祝日指定' (Holiday Specification). At the bottom center of the page is a '更新' (Update) button.

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

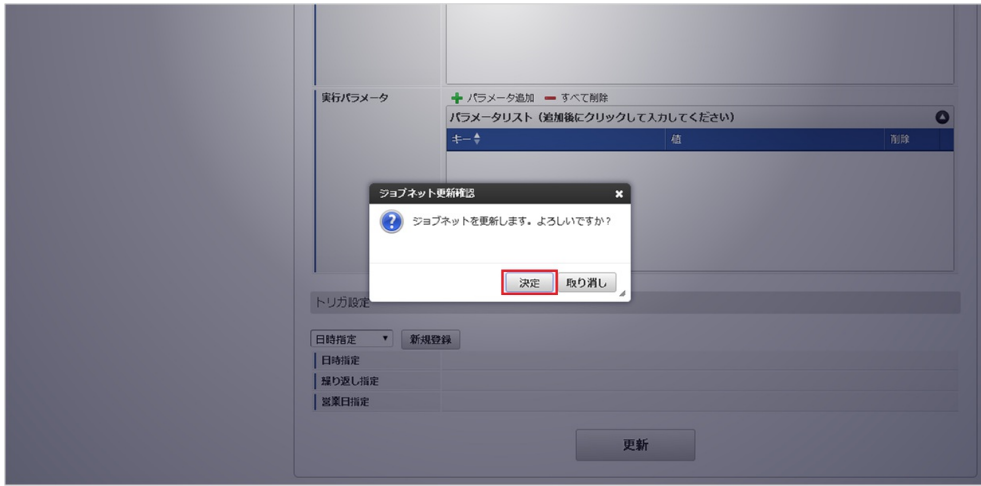
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-export-issuer-type-exemption-reason	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / 事業者区分・交付義務の免除理由

5. 編集後、「更新」をクリックします。

This screenshot is identical to the one above, showing the configuration page. The '更新' (Update) button at the bottom center is highlighted with a red rectangular box to indicate it should be clicked.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
issuerTypeExemptionReasonCd	事業者区分・交付義務の免除理由コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語

startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
issuerTypeExemptionReason	事業者区分名・交付義務の免除理由	
issuerType	事業者区分	10：適格請求書発行事業者 20：免税事業者
exemptionReason	交付義務の免除理由(仕訳連携用)	
amountCheckFlag	金額チェック	0：チェックしない 1：チェックする
sortKey	ソートキー	
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループ セットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループ コード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象デー タの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する 増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイル のパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason/export.csv)
エクスポート時の既存 ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：既存ファイルに追記 ■ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ■ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート

名称	キー	説明／設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/issuer_type_exemption_reason/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 事業者区分・交付義務の免除理由マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「issuer_type_exemption_reason」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

適格請求書発行事業者の公表情報マスタ

本項では、適格請求書発行事業者の公表情報マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

適格請求書発行事業者の公表情報マスタは、国税庁の提供している適格請求書発行事業者の公表情報を取り込み「[登録番号検索](#)」および、登録番号の存在チェックで使用します。

適格請求書発行事業者の公表情報マスタを使用する場合、「[適格請求書設定マスタ](#)」の「登録番号チェック種別」を「公表情報ダウンロードデータ」に設定してください。

インポートを実施できます。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

国税庁 [インボイス制度 適格請求書発行事業者公表サイト](#) (公表情報ダウンロード) から公表情報(CSV形式)をダウンロードして、インポートデータに使用してください。

初回インポート時は、ダウンロードした全件データを、インポートモード「0」(全件インポート)でインポートします。

初回インポート後は、運用方法に合わせてインポート方式を選択してください。

ダウンロードする公表情報(CSV形式)の形式とインポートモードを統一する必要があります。

インポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

以下のファイル形式でインポートを行います。

ファイル名 指定なし

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	一連番号	○	8	
2	登録番号	○	14	
3	事業者処理区分	○	2	
4	訂正区分		1	
5	人格区分		1	
6	国内外区分		1	
7	最新履歴	○	1	
8	登録年月日	○	10	
9	更新年月日	○	10	
10	取消年月日		10	
11	失効年月日		10	
12	本店又は主たる事務所の所在地（法人）		600	
13	本店又は主たる事務所の所在地都道府県コード（法人）		2	
14	本店又は主たる事務所の所在地市区町村コード（法人）		3	
15	本店又は主たる事務所の所在地（公表申出）		600	
16	本店又は主たる事務所の所在地都道府県コード（公表申出）		2	
17	本店又は主たる事務所の所在地市区町村コード（公表申出）		3	
18	日本語（カナ）		500	
19	氏名又は名称		300	
20	国内において行う資産の譲渡等に係る事務所、事業所その他これらに準ずるものの所在地		300	
21	国内において行う資産の譲渡等に係る事務所、事業所その他これらに準ずるものの所在地都道府県コード		2	
22	国内において行う資産の譲渡等に係る事務所、事業所その他これらに準ずるものの所在地市区町村コード		3	
23	主たる屋号		200	
24	通称・旧姓		200	

データサンプル

1,"T0000000000000",01,0,2,1,1,2023-10-05,2023-09-29,,,"北海道札幌市XXXXXXXX",01,101,"",,"","株式会社XXXXXXXX","",,"",,""

i コラム

国税庁 インボイス制度 適格請求書発行事業者公表サイト（公表情報ダウンロード）からダウンロードしたzipファイルを解凍してインポートしてください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリに格納されたCSVファイルを全てインポートします。

CSVファイルごとに処理を行うため、特定のファイルでエラーが発生した場合でも他の正常に処理が完了したファイルのデータは登録されます。

ディレクトリ kaiden/qualified_invoice_issuer/import

ファイル名 指定なし

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

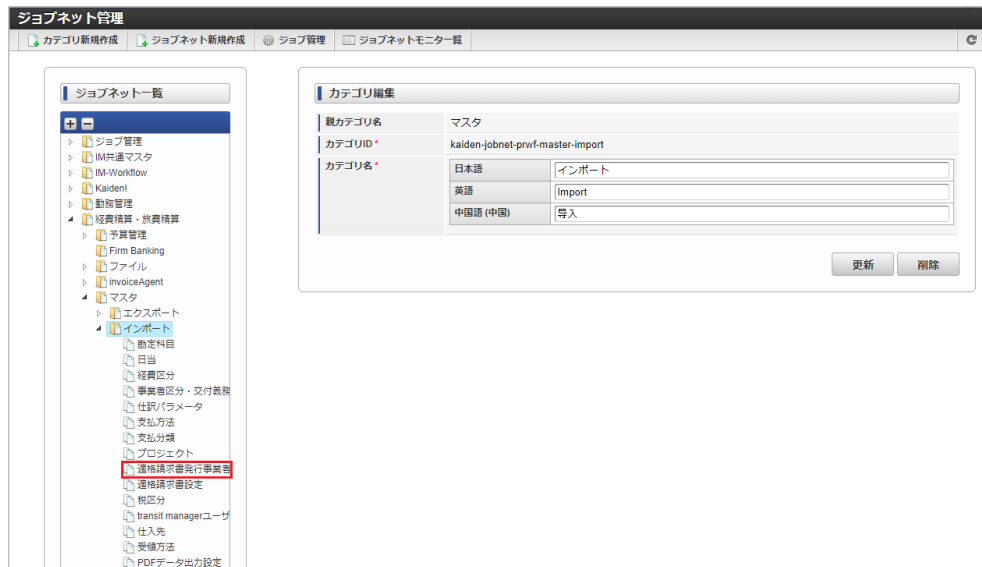
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

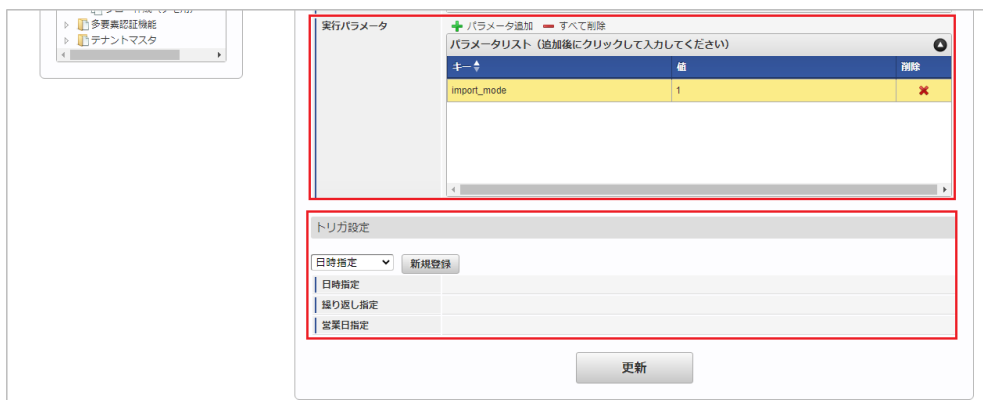
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「適格請求書発行事業者の公表情報」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

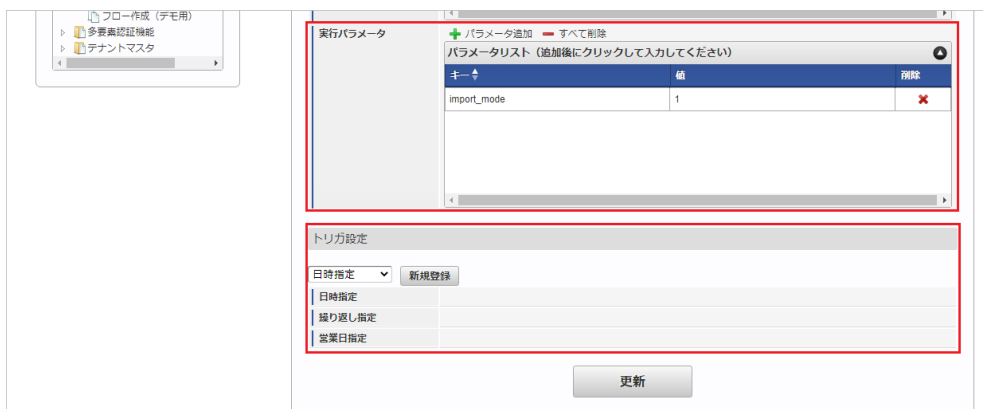
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

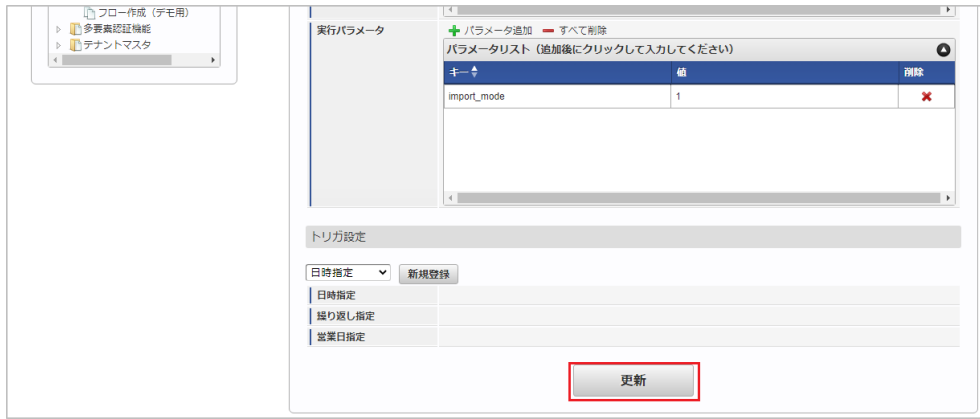
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-qualified-invoice-issuer	Kaiden! / マスタ / インポート / 適格請求書発行事業者の公表情報

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	<p>インポートモードを設定します。 設定は必須です。</p> <p>国税庁 インボイス制度 適格請求書発行事業者公表サイト（公表情報ダウンロード）からダウンロードしたファイルが全件データの場合、「0」（全件インポート）を設定します。</p> <p>ダウンロードしたファイルが差分データの場合、「1」（差分インポート）を設定します。</p> <p>全件インポートを設定した場合、すべてのデータを一旦削除し、インポートデータを新規データとして登録します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 0：全件インポート 1：差分インポート
ロック待ち時間	lock_wait	<p>ロックの待ち時間を設定します。 （省略時：10秒）</p>
インポートファイルのパス	file_path	<p>インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を含めずに設定してください。 （省略時：kaiden/qualified_invoice_issuer/import）</p>
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	<p>処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 （省略時：0）</p> <ul style="list-style-type: none"> 0：操作なし 1：削除

ジョブ管理マスタ

本項では、ジョブ管理マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

ジョブ管理マスタは、ジョブ実行機能を使用可能な権限とジョブネットを管理します。
 ジョブ実行機能の詳細は [ジョブ実行](#) を参照ください。
 メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
 また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ジョブ」→「ジョブ管理」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Job Management' (ジョブ管理) screen. At the top left, there is a 'New Registration' (新規登録) button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. A table header is visible with columns: No, 機能権限名 (Function Authority Name), 開始日 (Start Date), 終了日 (End Date), and ステータス (Status).

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration/edit form for Job Management. It includes fields for:

- 開始日・終了日 (Start/End Date): 1900/01/01 to 2999/12/31
- 会社 (Company): サンプル会社 (Sample Company)
- 機能権限 (Function Authority): ジョブ実行・参照権限① (Job Execution/Reference Authority 1)
- ジョブネット (Job Net): (unchecked)
- 権限設定 (Authority Setting): (checked), value: 1
- ジョブネットID (Job Net ID): kaiden-jobnet-master-import-authority

 At the bottom, the '登録' (Register) button is highlighted with a red box, along with a '一覧に戻る' (Return to List) button.

- 機能権限
権限を選択します。
選択する権限を保持するユーザが、ジョブ実行機能を使用できます。
- ジョブネット
ジョブネットを選択します。
選択されたジョブネットをジョブ実行機能で実行可能です。
- ジョブネットID
選択したジョブネットのジョブネットIDを表示します。

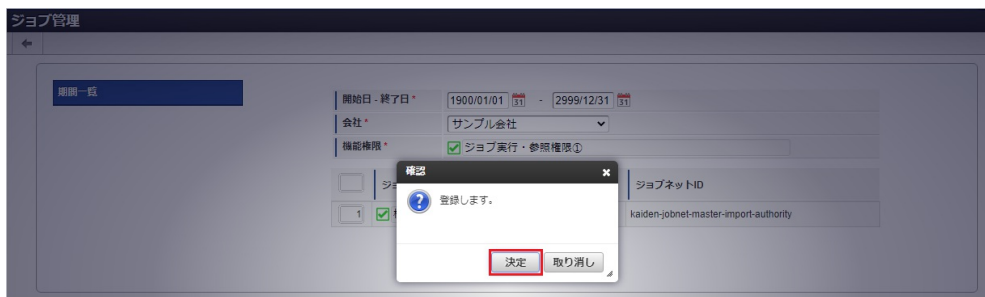
コラム

ジョブ管理機能で選択する機能権限として、「ジョブ実行・参照権限①～⑤」を使用可能です。
 「ジョブ実行・参照権限①～⑤」は、他の機能で権限を判定する際に使用されません。
 「ジョブ実行・参照権限①～⑤」以外の機能権限を設定することも可能ですが、他の機能を利用する際の権限判定に使用されます。
 詳細は [権限設定マスタ](#) を参照ください。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ジョブ」→「ジョブ管理」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいジョブ管理の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 機能権限名

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- 機能権限



コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No.	機能権限名	開始日	終了日	ステータス
1	ジョブ実行・参照権限	1900/01/01	2999/12/31	

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_dtl.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式
import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	機能権限コード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","job_exec_01","term01","1900/01/01","1999/12/31","1"
"comp_sample_01","job_exec_01","term02","2000/01/01","2999/12/31","0"
```

 コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

 コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「機能権限コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「機能権限コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

- データ形式

import_dtl.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	機能権限コード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」 「-」を設定可能です。
4	タプルID	○	18	
5	ジョブネットID	○	200	
6	ソートキー	○	15	

データサンプル

```
"comp_sample_01","job_exec_01","term01","0","kaiden-jobnet-master-import-authority","1"
"comp_sample_01","job_exec_01","term02","0","kaiden-jobnet-master-import-authority","1"
```

 コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

 コラム

「import_header.csv」、「import_dtl.csv」で設定された「会社コード」、「機能権限コード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jobManagement

ファイル名 import_header.csv、import_dtl.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ジョブ管理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-master-import-job-management	Kaiden! / マスタ / インポート / ジョブ管理

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト(追加欄をクリックして入力してください)

キー	値	削除
import_mode	1	✕
start_date		✕
end_date		✕
shift_date		✕
company_cd		✕

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

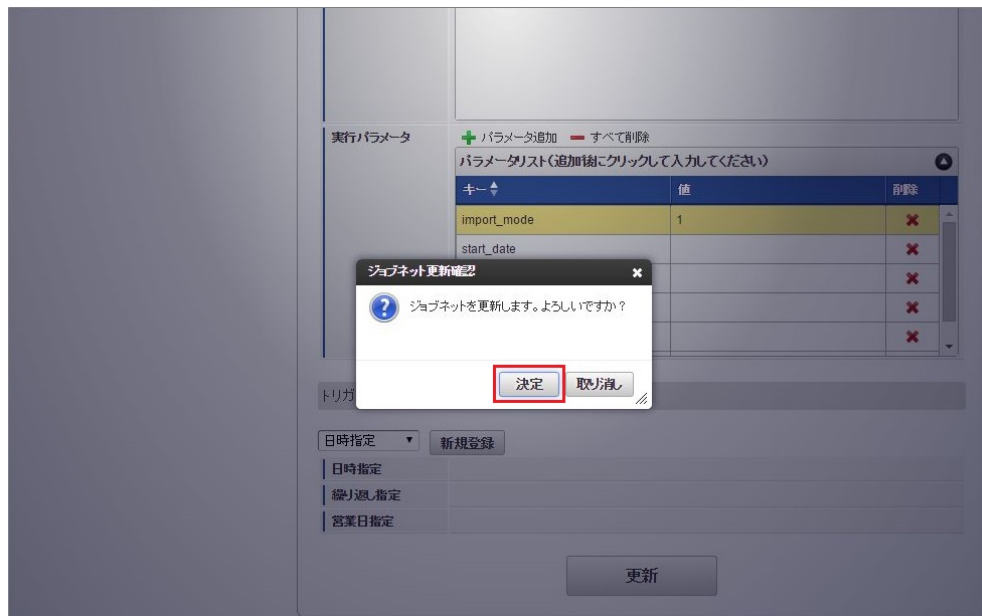
日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明／設定値
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：単一期間（差分）モード ▪ 2：単一期間（一新）モード ▪ 3：単一期間（入替）モード ▪ 4：複数期間（差分）モード ▪ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jobManagement/import_header.csv import_dtl.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/jobManagement/import_header_{YMDHMSN}.csv import_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション

名称	キー	説明 / 設定値
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 ジョブ管理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 ジョブ管理マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jobManagement」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

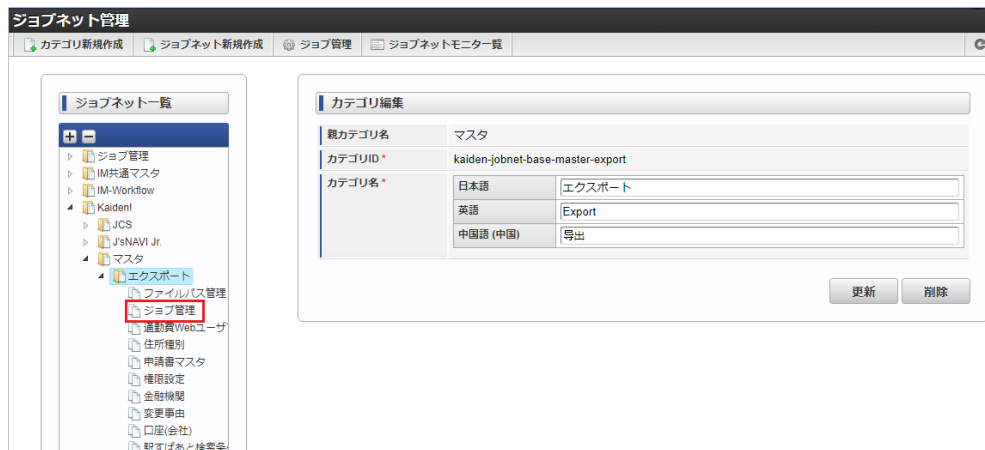
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ジョブ管理」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

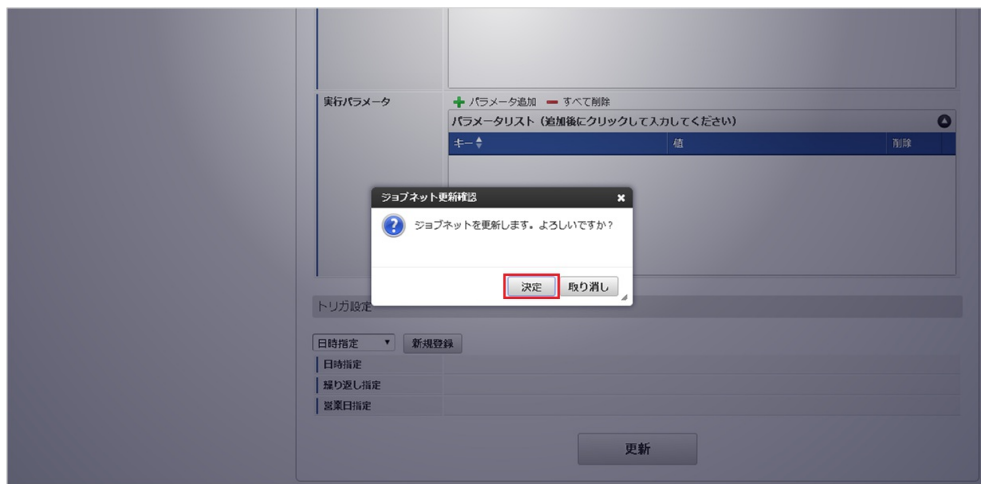
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-master-export-job-management	Kaiden! / マスタ / エクスポート / ジョブ管理

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/jobManagement/
ファイル名	export_header.csv export_dtl.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。
 export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
functionAuthorityCd	機能権限コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式

endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
functionAuthorityCd	機能権限コード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
jobnetId	ジョブネットID	
sortKey	ソートキー	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考 : ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時 : 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時 : 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時 : kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/jobManagement/export_header.csv、export_dtl.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/jobManagement/export_header_{YMDHMSN}.csv、export_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 ジョブ管理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 ジョブ管理マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jobManagement」を設定しています。

{COMPANY_CD}: 会社コード

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

従業員家族マスタ

本項では、従業員家族マスタの設定方法を説明します。
メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

従業員家族マスタは、intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーで管理する従業員の扶養家族の情報を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「従業員家族」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

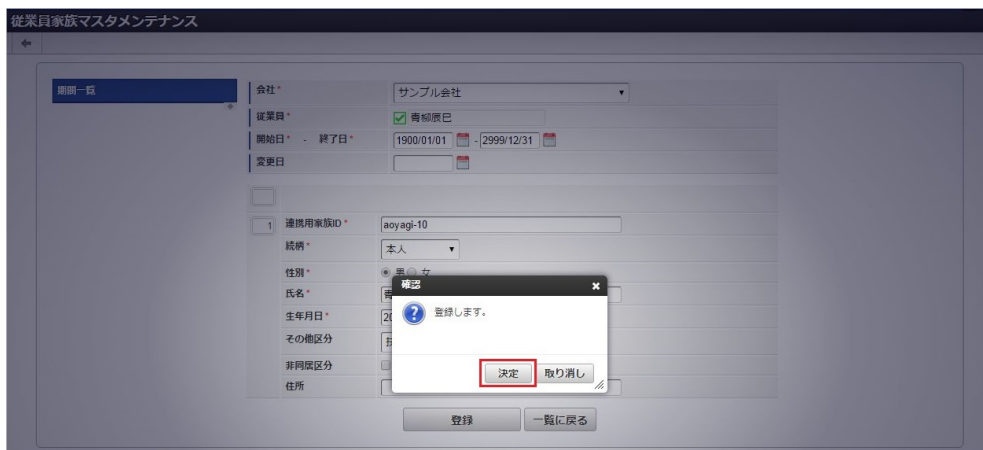
- 会社
会社を選択します。
- 従業員
従業員を選択します。
- 開始日 - 終了日
有効期間を選択します。
- 変更日
変更を行った日を選択します。
- 連携用家族ID
他システムなどとの連携を行うためのIDを入力します。
連携用家族IDは該当家族内で一意になる様に設定してください。
ドキュメント作成などで、家族のマイナンバーを取得する際にも利用されます。
- 続柄
従業員との続柄を選択します。
- 性別
家族の性別を入力します。
- 氏名
家族の氏名を入力します。

- 生年月日
家族の生年月日を選択します。
- その他区分
家族の区分を選択します。
- 非同居区分
家族との同居・非同居を選択します。
- 住所
家族の住所を入力します。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。
「決定」をクリックすると、一覧画面表示時に再検索します。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「従業員家族」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

従業員家族マスタメンテナンス

新規登録

検索

No	従業員コード	従業員名	開始日	終了日
----	--------	------	-----	-----

i コラム

検索欄に検索したい従業員家族の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 従業員コード
- 従業員名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

従業員家族マスタメンテナンス

新規登録

検索

No	従業員コード	従業員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本暎子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林次義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山基男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大磯博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	terada	寺田雅彦	1900/01/01	2999/12/31
11	ueda	上田辰男	1900/01/01	2999/12/31
12	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

従業員家族マスタメンテナンス

期間一覧: 1900/01/01 - 2999/12/31

会社: サンプル会社

従業員: 青柳 辰巳

開始日: 1900/01/01 - 終了日: 2999/12/31

変更日: []

1 連携用家族ID: aoyagi-10
 続柄: 本人
 性別: 男
 氏名: 青柳 辰巳
 生年月日: 2000/01/01
 その他区分: []
 非同居区分: 非同居
 住所: []

2 連携用家族ID: aoyagi-12
 続柄: 配偶者(妻)
 性別: 女
 氏名: 青柳 []
 生年月日: 2000/01/01
 その他区分: []
 非同居区分: 非同居
 住所: []

3 連携用家族ID: aoyagi-21
 続柄: 長男
 性別: 男
 氏名: 青柳 []
 生年月日: 2015/01/01
 その他区分: []
 非同居区分: 非同居
 住所: []

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 従業員
- 開始日 - 終了日

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

6. 更新することができました。

「決定」をクリックすると、一覧画面表示時に再検索します。

更新しました。

No	従業員コード	従業員名	開始日	終了日
1	aoyagi	青柳辰巳	1900/01/01	2999/12/31
2	hagimoto	萩本博子	1900/01/01	2999/12/31
3	harada	原田浩二	1900/01/01	2999/12/31
4	hayashi	林次義	1900/01/01	2999/12/31
5	ikuta	生田一哉	1900/01/01	2999/12/31
6	katayama	片山聡	1900/01/01	2999/12/31
7	maruyama	丸山益男	1900/01/01	2999/12/31
8	ohiso	大穂博文	1900/01/01	2999/12/31
9	sekine	関根千香	1900/01/01	2999/12/31
10	ueda	上田源男	1900/01/01	2999/12/31
11	yoshikawa	吉川一哉	1900/01/01	2999/12/31

確認

再検索します。

決定 取り消し

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 emp_family_import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 未来互換用の項目ですので、 設定された場合でも使用しません。
5	変更日		10	yyyy/MM/dd形式
6	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
7	連番	○	18	
8	連携用家族ID	○	100	
9	続柄	○	100	
10	性別	○	1	1：男 2：女
11	氏名	○	250	
12	生年月日	○	10	
13	その他区分		100	
14	非同居区分		1	0：同居 1：非同居
15	住所		250	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","","","0","1","aoyagi-10","100004-10","1","青柳辰巳","2000/01/01","","",""
```

コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/import/empfamily

ファイル名 emp_family_import.csv

i コラム

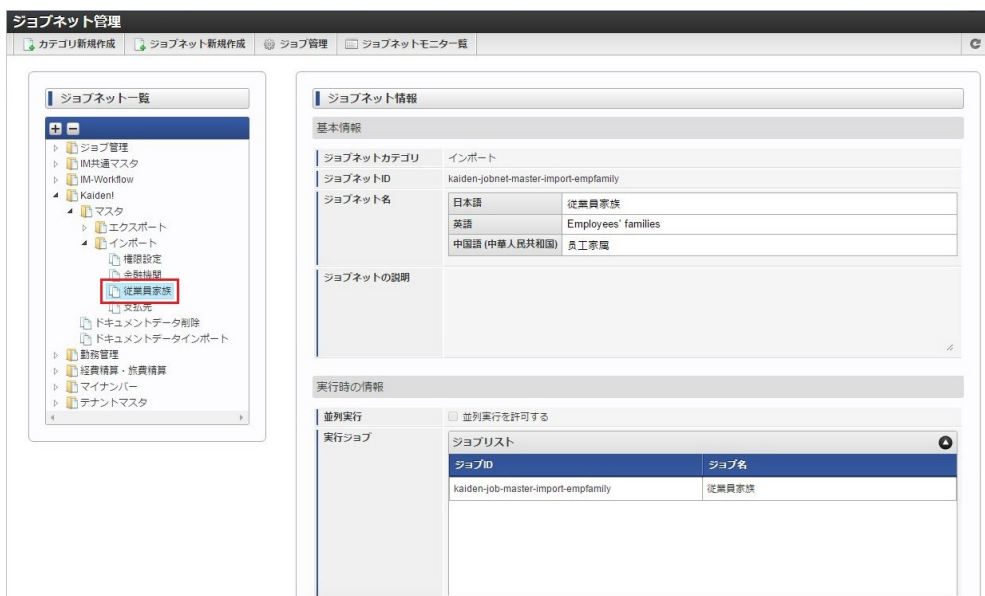
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「従業員家族インポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-empfamily	Kaiden! / マスタ / インポート / 従業員家族

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの実行方法は、『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：単一期間（差分）モード 2：単一期間（一新）モード 3：単一期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
インポートファイル	target_file	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/import/empfamily/emp_family_import.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション

名称	キー	説明/設定値
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
アーカイブファイル	archive_file	インポートファイルのアーカイブ先を設定します。 (省略時: kaiden/archive/import/empfamily/emp_family_import_{YMDHMSN}.csv)
ファイル削除判定	delete_flag	インポートファイルの削除有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : 削除する ▪ false : 削除しない

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

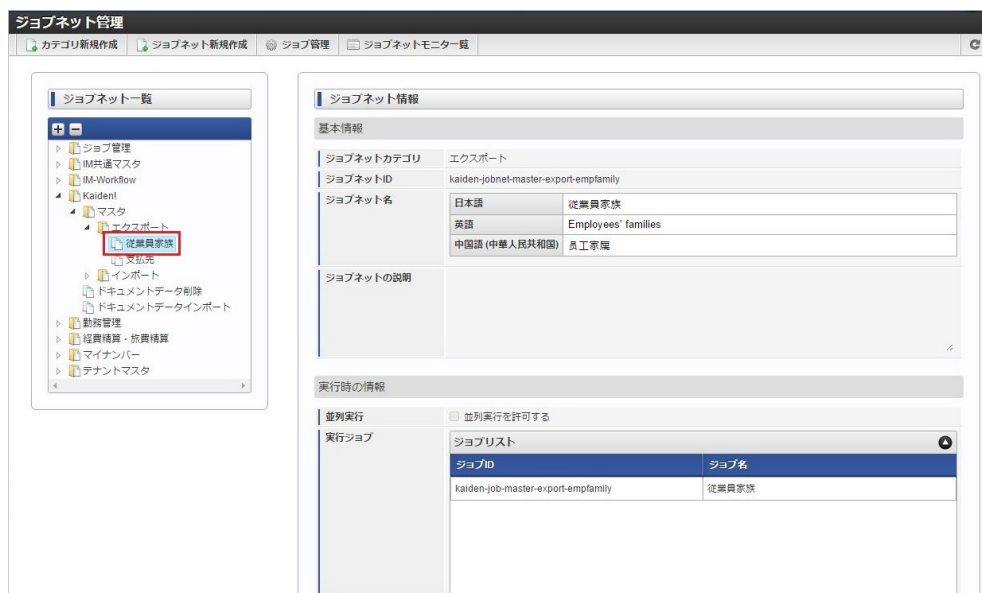
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「従業員家族エクスポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-empfamily	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 従業員家族

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

パラメータリスト	
キー	値

トリガ設定

日時指定	
繰り返し指定	
営業日指定	

即時実行 編集 削除

i コラム

ジョブネットの実行方法は、『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/export/empfamily/

ファイル名 (ヘッダ) emp_family_header_{YMDHMSN}.csv

(明細) emp_family_dtl_{YMDHMSN}.csv

ファイル名には実行日付（「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式）が付与されます。

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
開始日	start_date	エクスポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	エクスポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイル	target_file	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/export/payee/payee_export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明/設定値
文字コード	character	<p>エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,)</p> <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
ヘッダー出力有無	header_output	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: true)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : 出力する false : 出力しない
既存ファイル操作	file_operation	<p>同名のファイルが存在する場合の操作を設定します。 (省略時: 2)</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 : エラーを出力する 2 : 上書き保存する
不整合データの出力有無	inconsistent_data	<p>不整合データの出力有無を設定します。 (省略時: false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : 出力する false : 出力しない

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{COMPANY_CD} : 会社コード

支払先マスタ

本項では、支払先マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - ファイル作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

支払先マスタは、intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーで管理する支払先の情報を管理します。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

! 注意

本マスタは、intra-mart Accel Kaiden! マイナンバーで使用する個人支払先を登録するマスタです。
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の経費支払申請で使用する「仕入先マスタ」とは異なるマスタですのでご注意ください。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

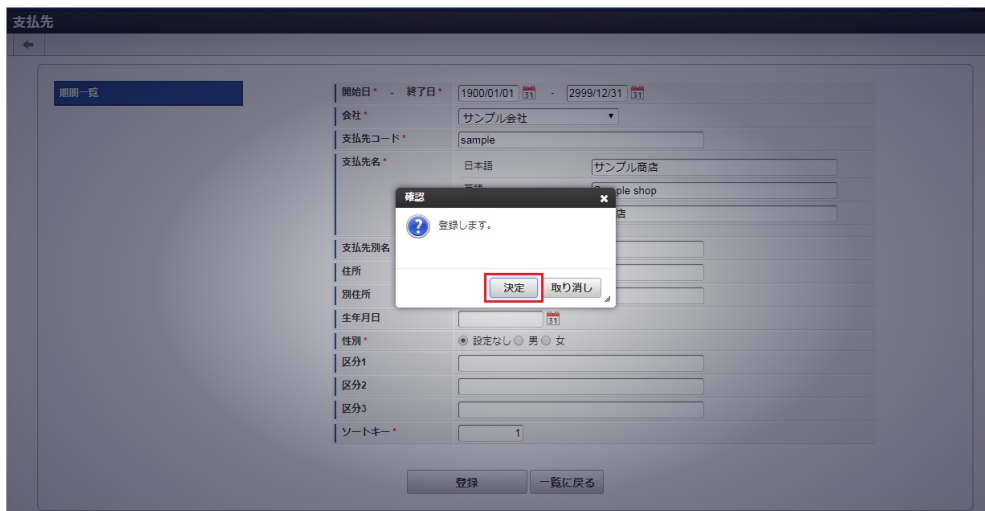
1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「支払先」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日 - 終了日
支払先の情報の有効期間を選択します。
- 会社
会社を選択します。
- 支払先コード
支払先コードを入力します。
- 支払先名
支払先名を入力します。
- 支払先別名
支払先別名を入力します。
- 住所
支払先の住所を入力します。
- 別住所
支払先の別住所を入力します。
- 生年月日
支払先の生年月日を入力します。
- 性別
支払先の性別を選択します。
- 区分1
支払先の区分を入力します。
- 区分2
支払先の区分を入力します。

- 区分3
支払先の区分を入力します。
- ソートキー
ソートキーを入力します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「支払先」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい支払先の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 支払先コード
- 支払先名
- 支払先別名
- 住所
- 区分1

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

支払先

新規登録

検索 クリア

No	支払先コード	支払先名	支払先別名	住所	区分1	ソートキー
1	payee_01	〇〇商店	〇〇商店	東京都〇〇区** 1-1-1		1
2	payee_02	ABC商事	ABC商事	神奈川県〇〇市** 1-1-1		2
3	payee_03	〇△×デザイン	〇△×デザイン	大阪府〇〇区** 1-1-1		3
4	payee_04	123法律事務所	123法律事務所	東京都〇〇区** 1-1-1		4
5	sample	サンプル商店	サンプル 太郎			1

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

支払先

← 削除

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

支払先コード * sample

支払先名 *
日本語 サンプル商店
英語 Sample shop
中国語 (中華人民共和国) 样品店

支払先別名 サンプル 太郎

住所

別住所

生年月日 [日]

性別 * 設定なし 男 女

区分1

区分2

区分3

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- 支払先コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

支払先

← 削除

期間一覧
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

支払先コード * sample

支払先名 *
日本語 サンプル商店
英語 Sample shop
中国語 (中華人民共和国) 样品店

支払先別名

住所

別住所

生年月日 [日]

性別 * 設定なし 男 女

区分1

区分2

区分3

ソートキー * 1

更新 一覧に戻る

確認
更新します。
決定 取り消し

6. 更新することができました。

No	支払先コード	支払先名	支払先別名	住所	区分1	ソートキー
1	payee_01	〇〇商店	〇〇商店	東京都〇〇区×× 1-1-1		1
2	payee_02	ABC商事	ABC商事	神奈川県〇〇市×× 1-1-1		2
3	payee_03	〇△×デザイン	〇△×デザイン	大阪府〇〇区×× 1-1-1		3
4	payee_04	123法律事務所	123法律事務所	東京都〇〇区×× 1-1-1		4
5	sample	サンプル商店	サンプル 太郎			1

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

ファイル作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	支払先コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式
6	支払先名	○	250	
7	支払先別名		250	
8	住所		1000	
9	別住所		1000	
10	生年月日		10	
11	性別	○	1	0 : 設定なし 1 : 男 2 : 女
12	区分1		250	
13	区分2		250	
14	区分3		250	
15	ソートキー	○	15	

16	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
----	-------	---	---	-------------------------

データサンプル

```
"comp_sample_01","payee01","ja","","","サンプル支払先","","","2000/01/01","1","","","1","0"
"comp_sample_01","payee01","en","","","Sample Payee","","","2000/01/01","1","","","1","0"
"comp_sample_01","payee01","zh_CN","","","品收款人","","","2000/01/01","1","","","1","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- **アップロード先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値 (実行パラメータ未設定の場合) のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/payee

ファイル名 import.csv

i コラム

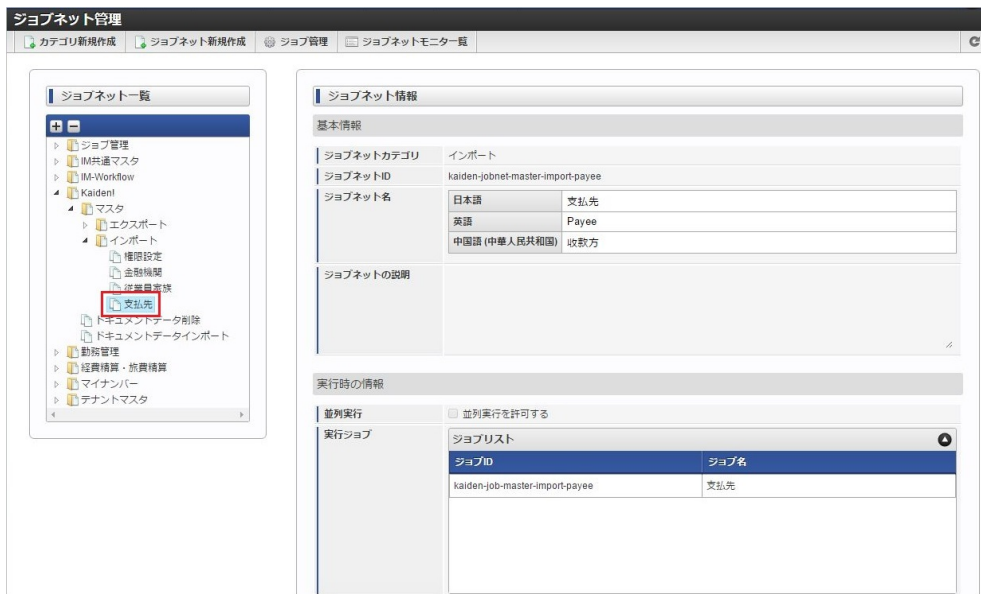
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「支払先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

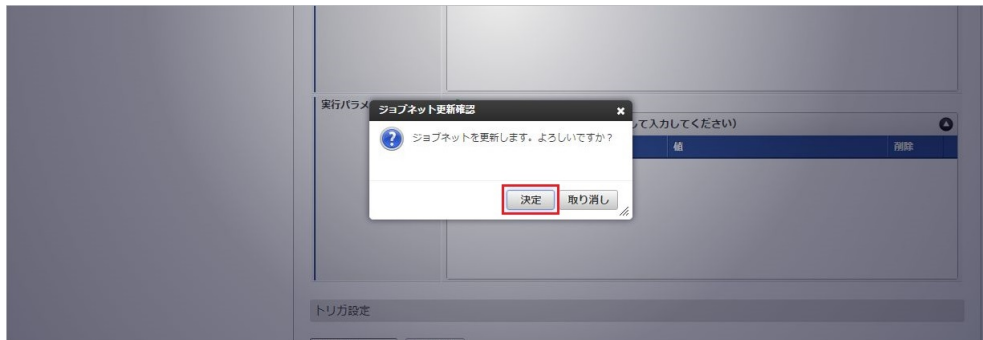
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-import-payee	Kaiden! / マスタ / インポート / 支払先

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの実行方法は、『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 単一期間(差分)モード 2: 単一期間(一新)モード 3: 単一期間(入替)モード 4: 複数期間(差分)モード 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/payee/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/payee/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterid	インポートするマスタのIDを設定します。 支払先マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「payee」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

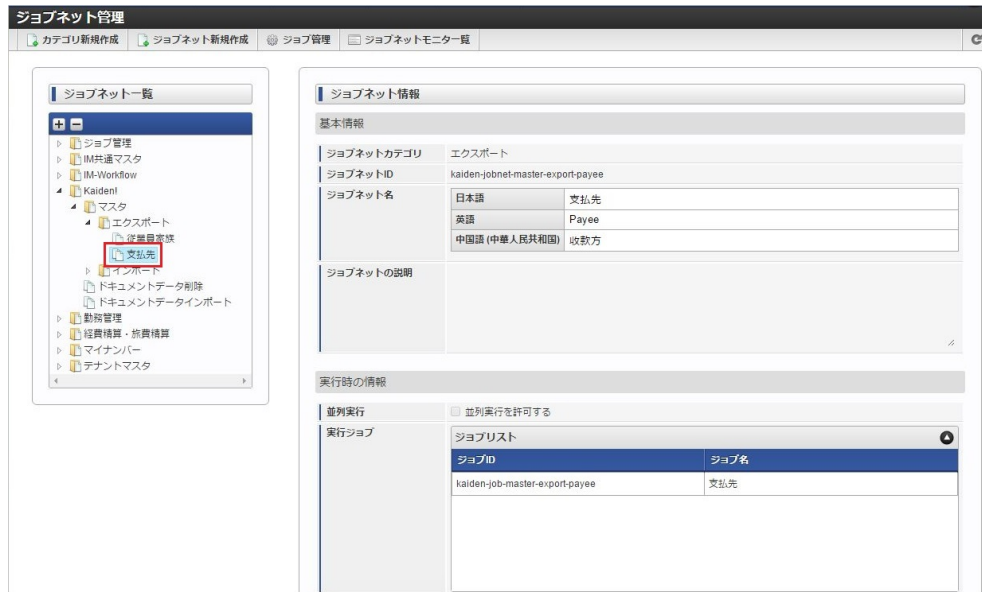
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「支払先」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-master-export-payee	Kaiden! / マスタ / エクスポート / 支払先

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

i コラム

ジョブネットの実行方法は、『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/payee/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 全件出力モード ■ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ■ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/payee/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/payee/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterid	エクスポートするマスタのIDを設定します。 支払先エクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「payee」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

ファイル分類内訳マスタ

本項では、ファイル分類内訳マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

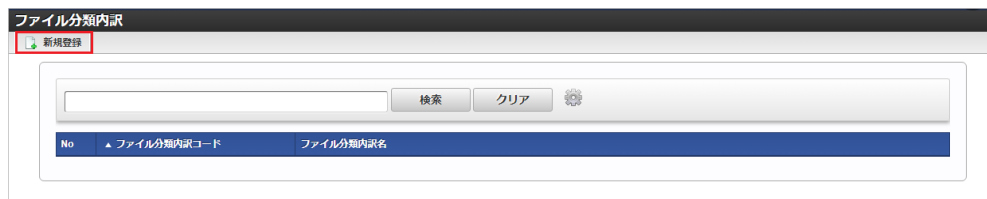
概要

ファイル分類内訳マスタは、ファイル管理で管理するファイルの識別情報を設定できます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

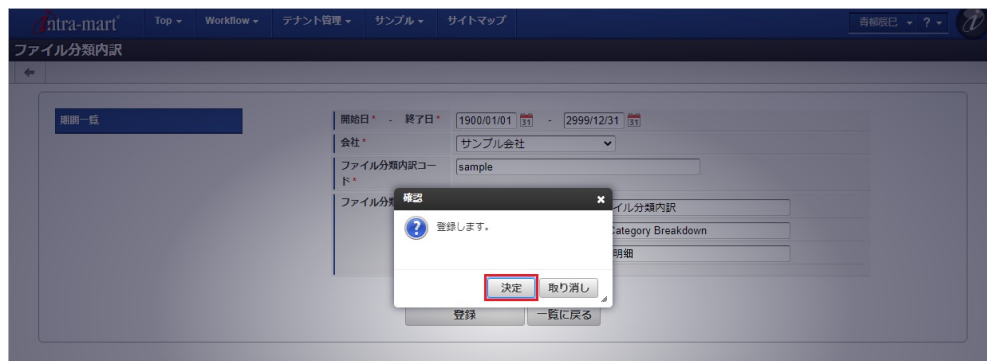
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「ファイル分類内訳」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- ファイル分類内訳コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
 - ファイル分類内訳名
ファイル分類内訳の名称を入力します。
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

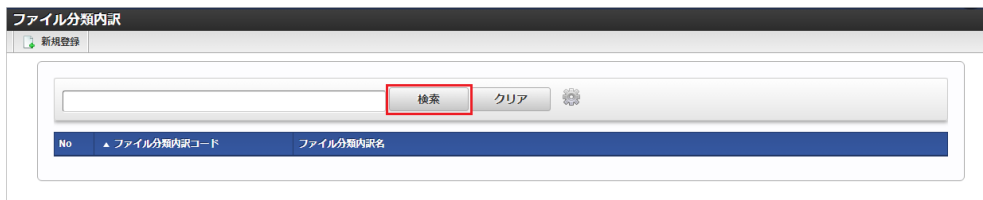


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「ファイル分類内訳」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいファイル分類内訳の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイル分類内訳コード
- ファイル分類内訳名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



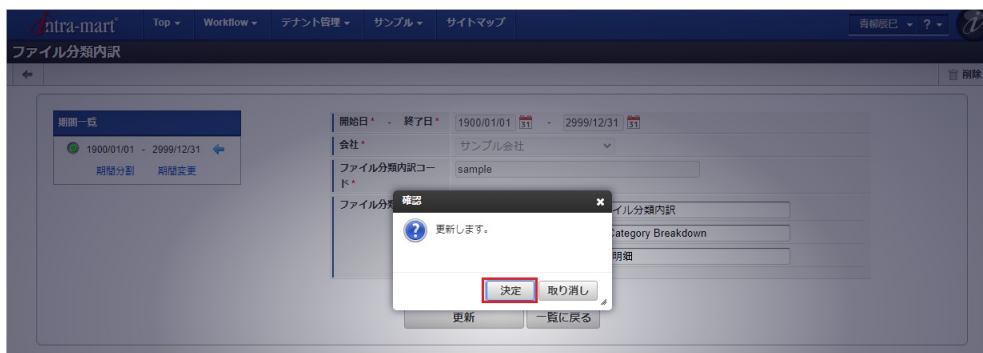
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- ファイル分類内訳コード

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ファイル分類内訳コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	ファイル分類内訳名	○	250	
7	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","ja","1900/01/01","2999/12/31","サンプルファイル分類内訳","0"
"comp_sample_01","sample","en","1900/01/01","2999/12/31","Sample File Category Breakdown","0"
"comp_sample_01","sample","zh_CN","1900/01/01","2999/12/31","示例文件分[]明[]","0"
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/file_category_breakdown

ファイル名 import.csv

コラム

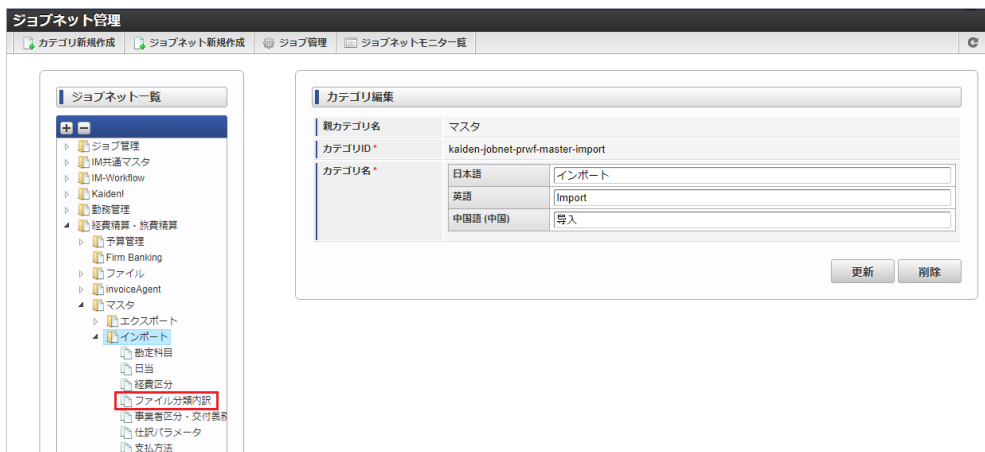
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

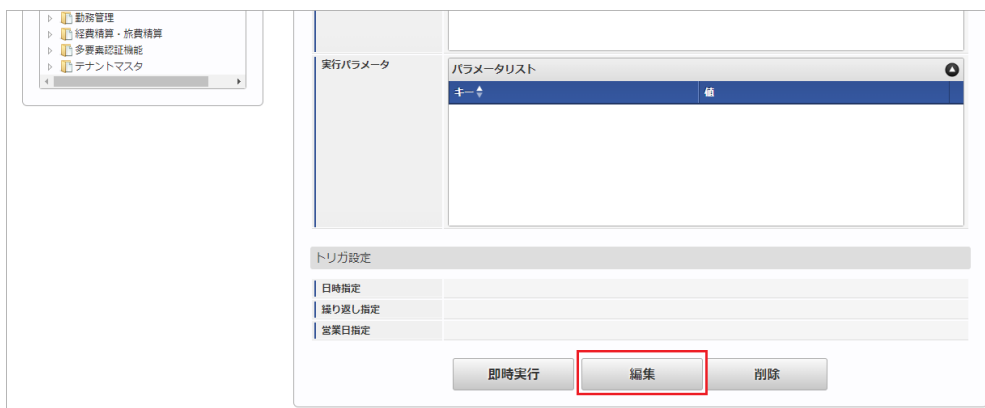
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

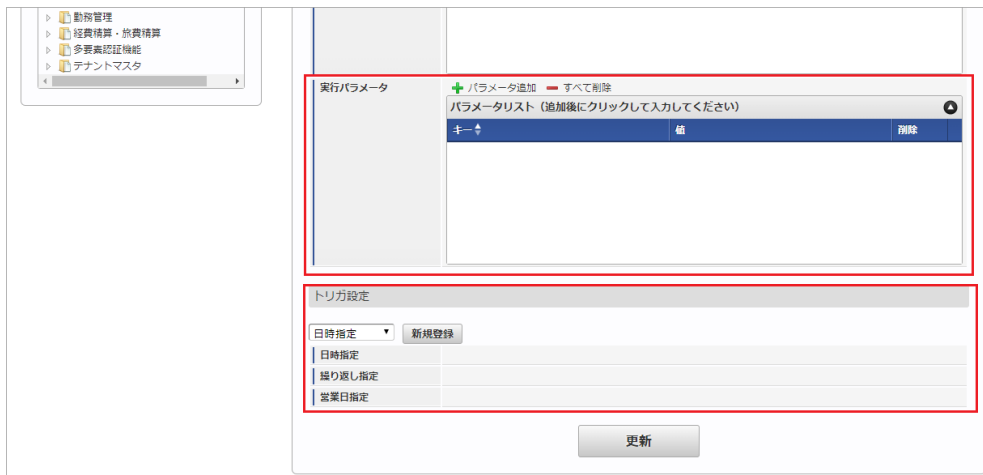
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイル分類内訳」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

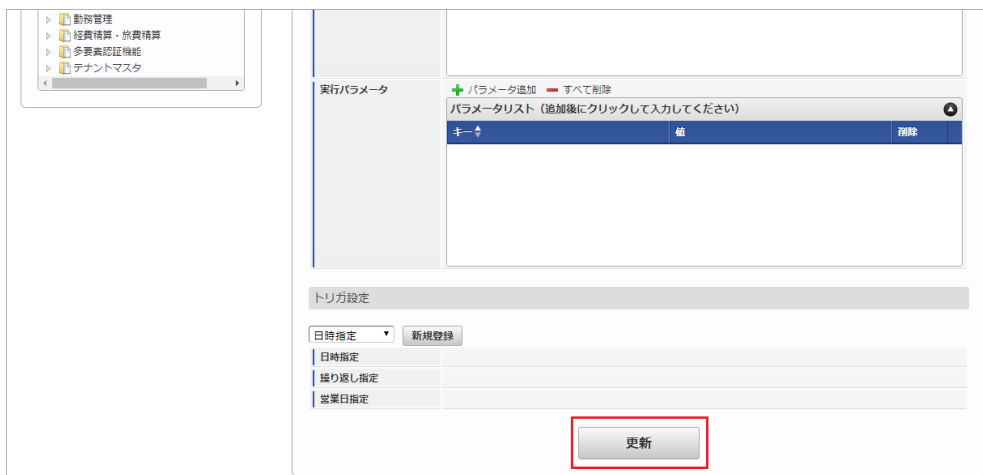
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

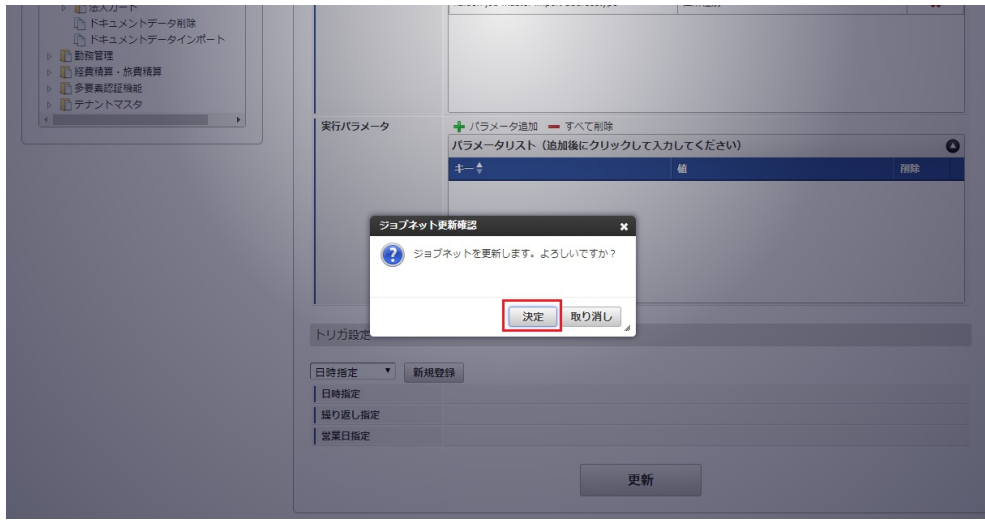
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-import-file-category-breakdown	経費精算・旅費精算 / マスタ / インポート / ファイル分類内訳

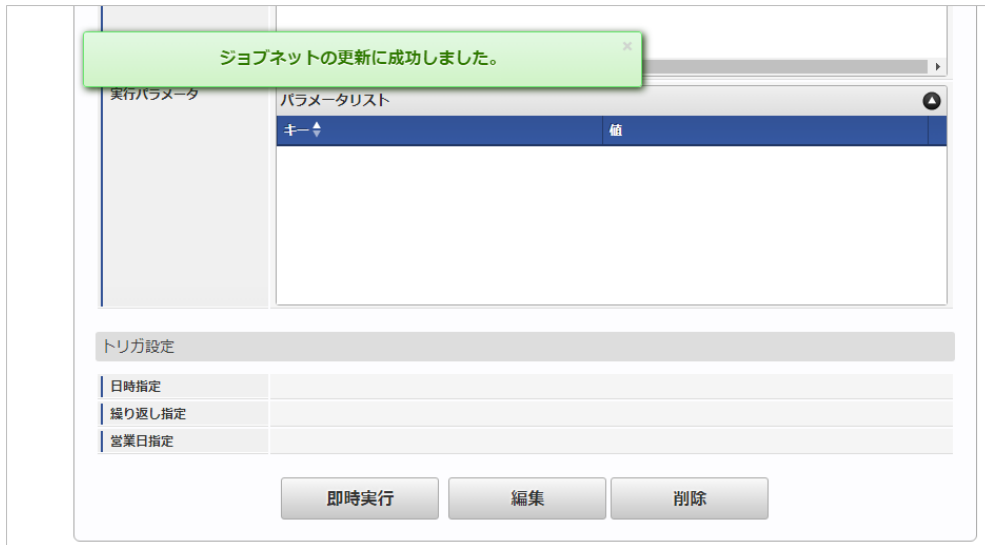
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明/設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 単一期間(差分)モード ■ 2: 単一期間(一新)モード ■ 3: 単一期間(入替)モード ■ 4: 複数期間(差分)モード ■ 5: 複数期間(入替)モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日(yyyy/MM/dd)を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category_breakdown/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1: 操作なし ■ 2: コピー(copy) ■ 3: アーカイブ(move) ■ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6: 削除(delete) ■ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category_breakdown/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ■ UTF-8 ■ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ■ , : カンマ ■ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ■ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類内訳マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category_breakdown」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

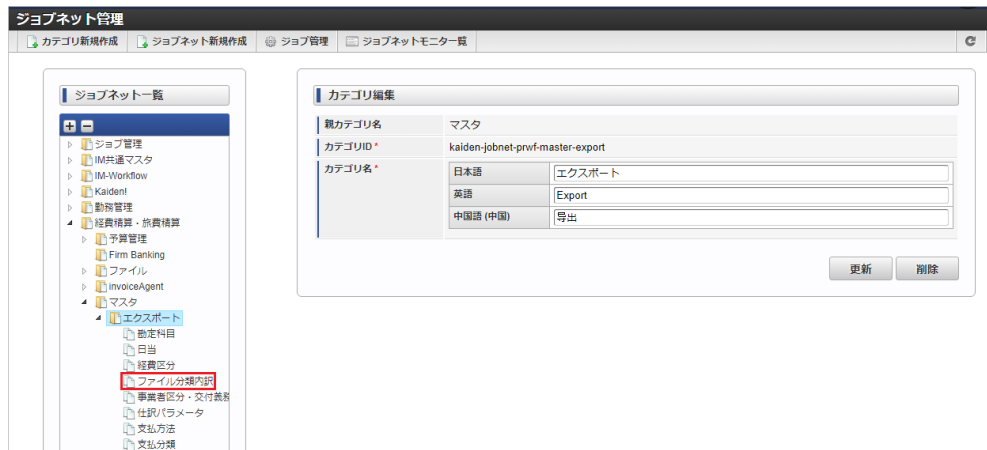
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

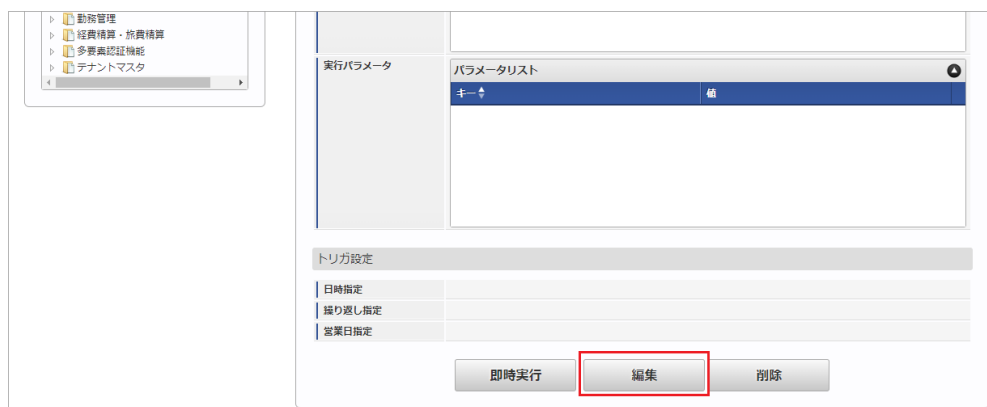
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

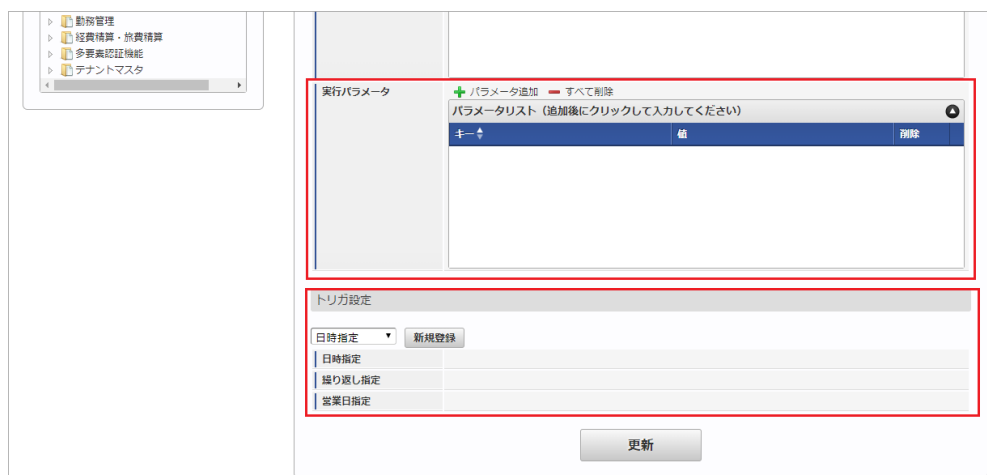
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイル分類内訳」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

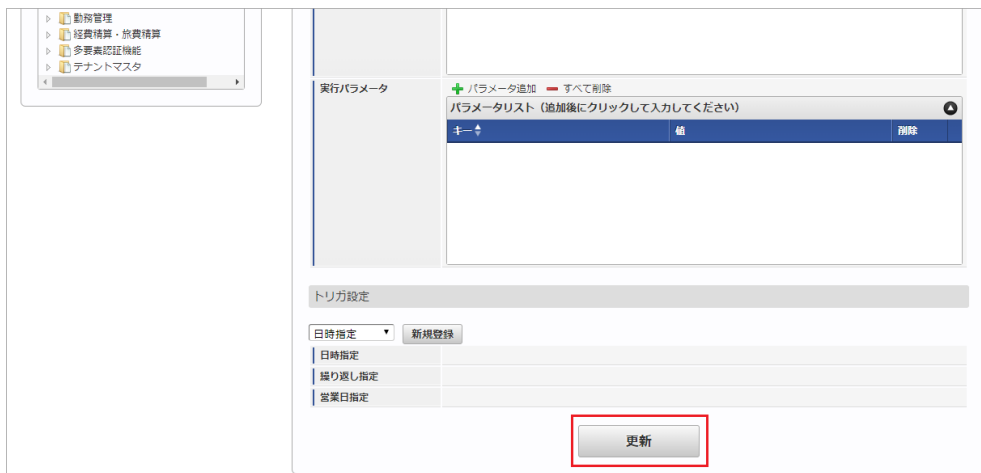
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

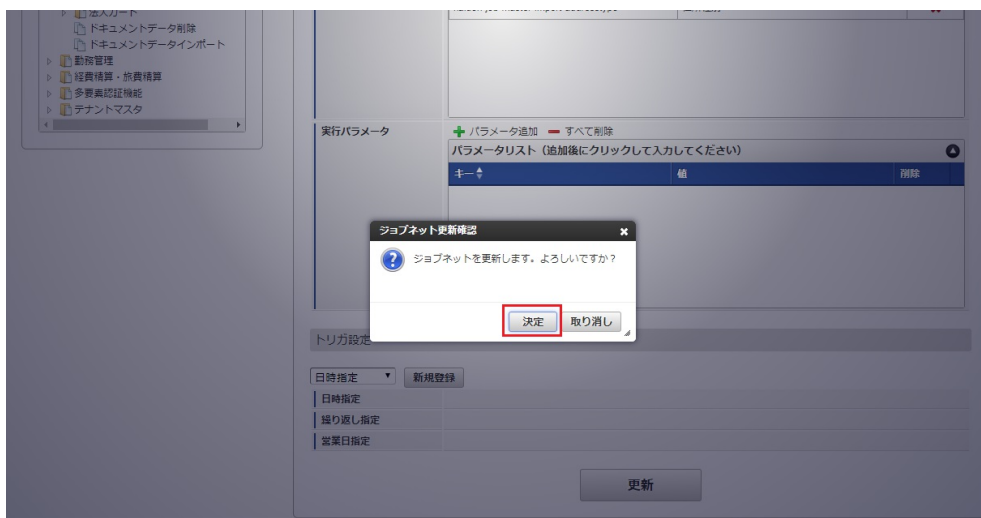
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-master-export-file-category-breakdown	経費精算・旅費精算 / マスタ / エクスポート / ファイル分類内訳

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/file_category_breakdown/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
fileCategoryBreakdownCd	ファイル分類内訳コード	
localeId	ロケール	ja：日本語 en：英語 zh_CN：中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
fileCategoryBreakdownName	ファイル分類内訳名	
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明/設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category_breakdown/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category_breakdown/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類内訳マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category_breakdown」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

通勤費Web連携設定マスタ

本項では、通勤費Web連携設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

通勤費Web連携設定スタは、「通勤費Web」との接続方法を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「通勤費Web」→「通勤費Web連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 企業ID
「通勤費Web」の企業IDを入力します。
- APIキー
「通勤費Web」のAPIキーを入力します。
- ベースURL
「通勤費Web」への接続URLを入力します。
- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。

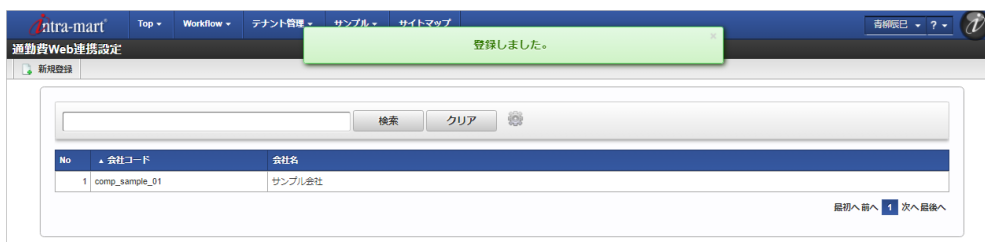
i コラム

「会社」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

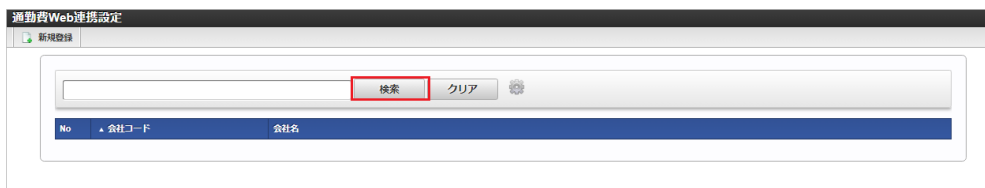


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「通勤費Web」→「通勤費Web連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

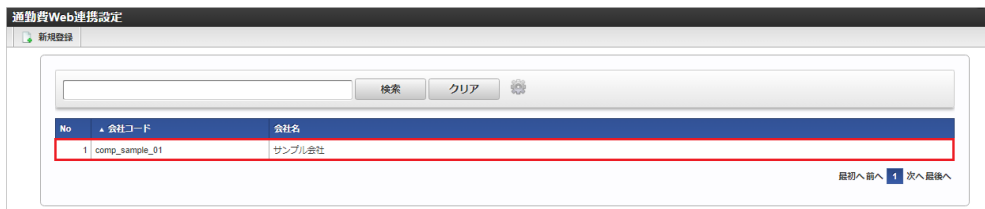


i コラム

検索欄に検索したい通勤費Webユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

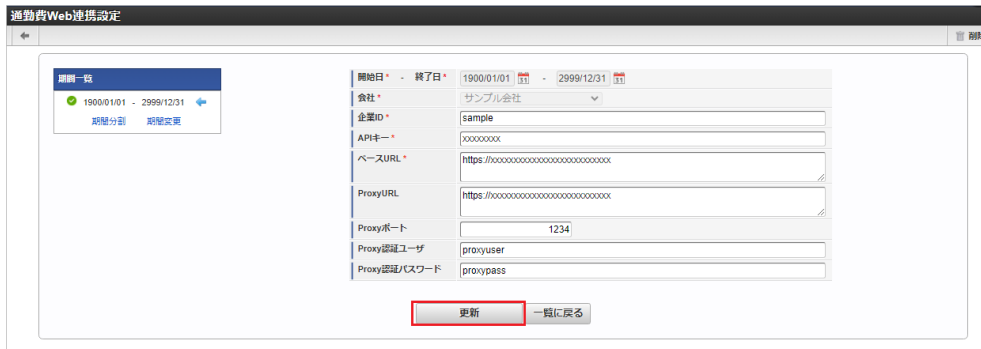
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

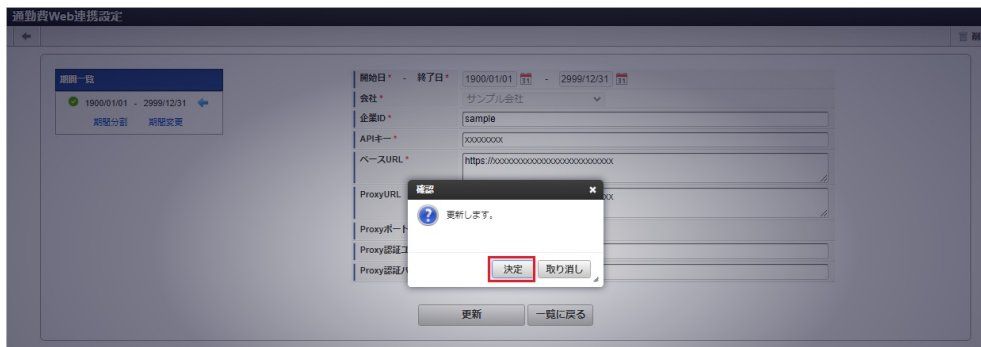
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
-------	-----	----	-------	----

1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
5	企業ID	○	100	
6	APIキー	○	100	
7	ベースURL	○		
8	ProxyURL			
9	Proxyポート		18	
10	Proxy認証ユーザ		1000	
11	Proxy認証パスワード		1000	

データサンプル

```
"comp_sample_01","1900/01/01","2999/12/31","0","sample","xxxxx","xxxxxxxxxxxxxxxx","xxxxxxxxxxxxxxxx","1234","proxyUser","proxyPas
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings

ファイル名 import.csv

コラム

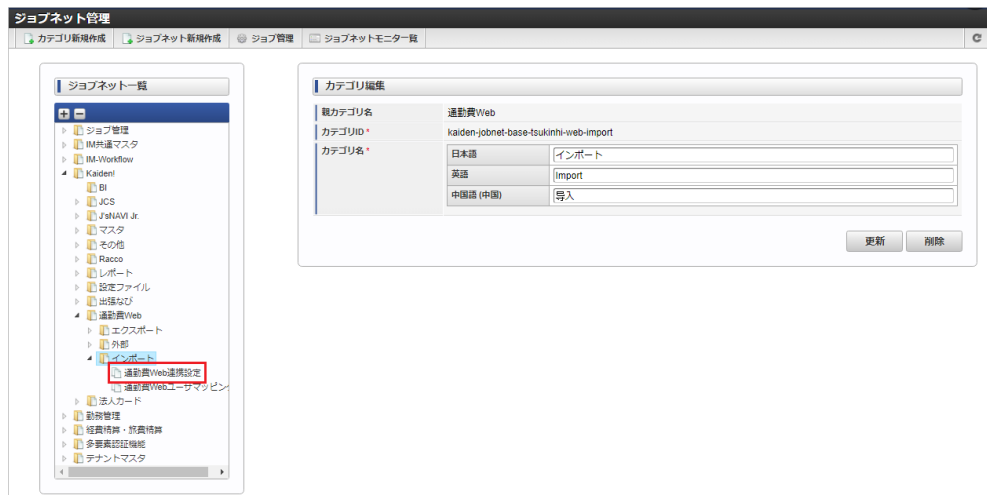
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

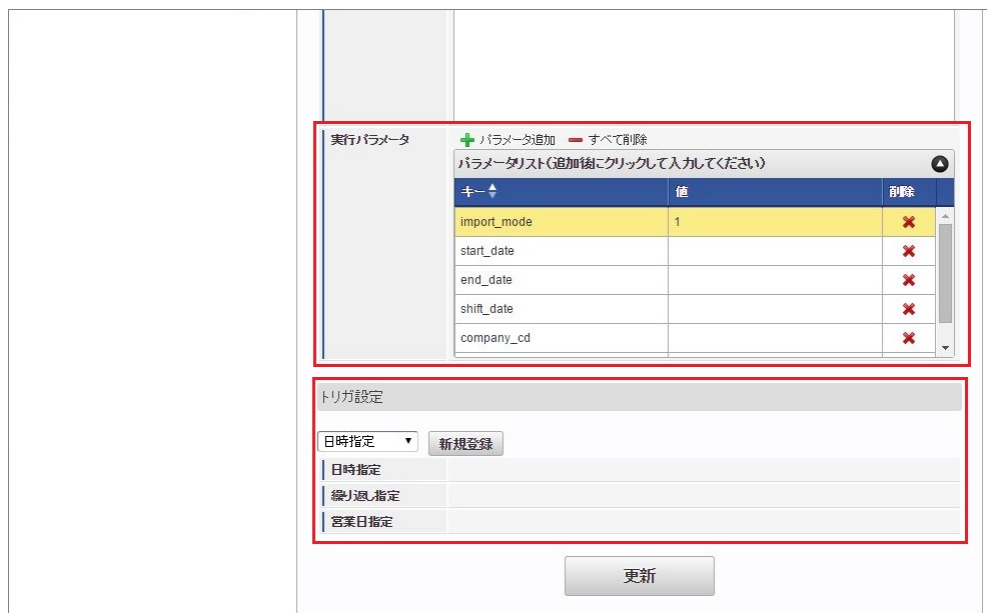
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「通勤費Web連携設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

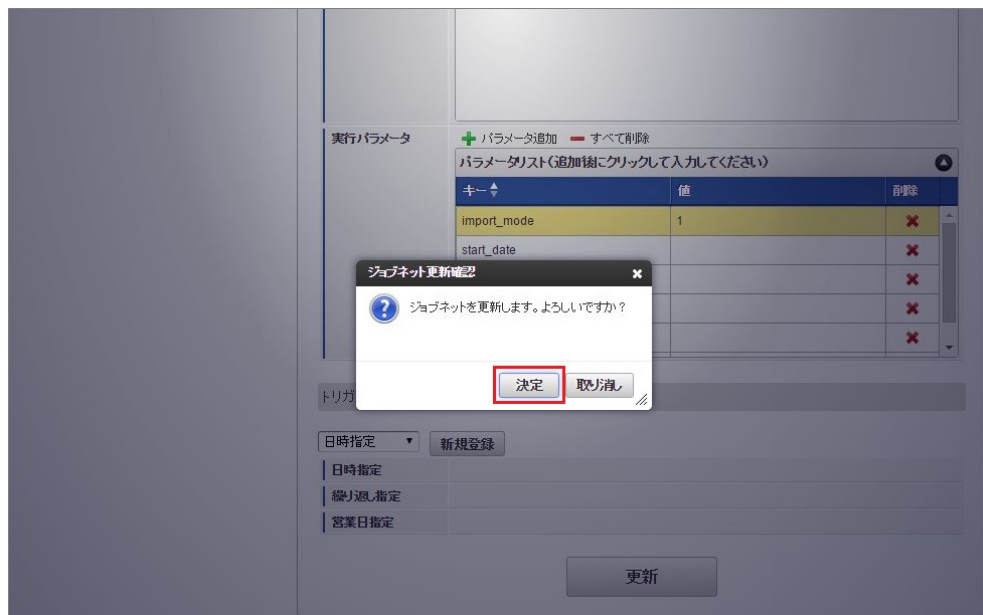
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsukinhi-web-import-tsukinhi-web-settings	Kaiden! / 通勤費Web / インポート / 通勤費Web連携設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

キー	値
company_cd	
end_date	
import_mode	1
shift_date	
start_date	

トリガ設定

日時指定
繰り越し指定
営業日指定

即時実行 編集 削除



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 (省略時：1)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Web連携設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tsukinhi_web_settings」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「通勤費Web連携設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

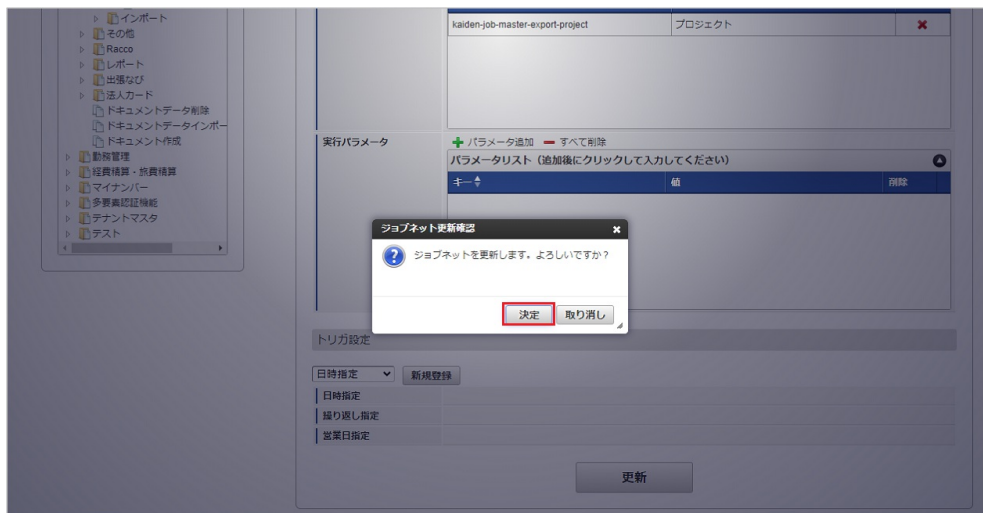
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsunihin-web-export-tsunihin-web-settings	Kaiden! / 通勤費Web / エクスポート / 通勤費Web連携設定

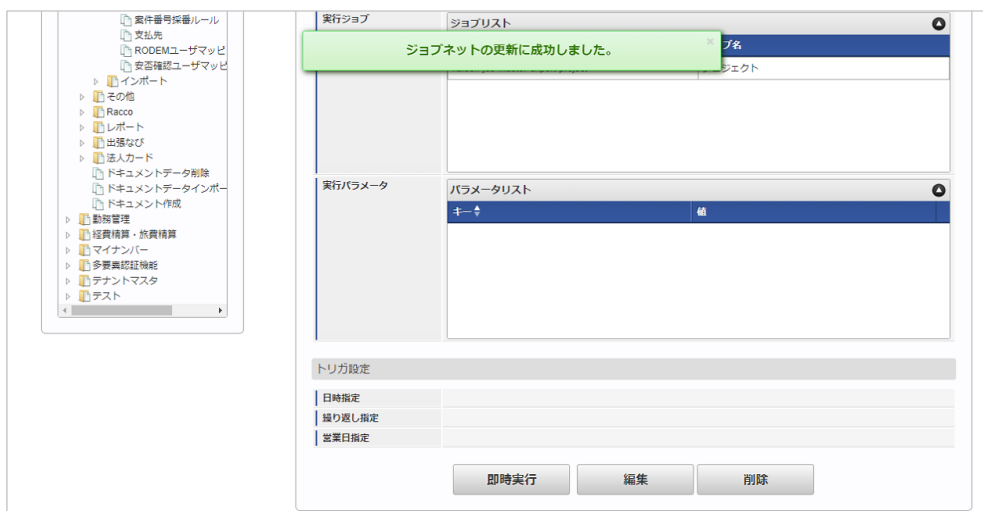
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効
corporateld	企業ID	
apiKey	APIキー	
baseUrl	ベースURL	
proxyHost	ProxyURL	
proxyPort	Proxyポート	
proxyUser	Proxyユーザ	
proxyPassword	Proxyパスワード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/tsukinhi_web_settings/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Web連携設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tsukinhi_web_settings」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、通勤費Webユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

通勤費Webユーザマッピングマスタは、「通勤費Web」と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。
通勤費Webから通勤経路をインポートする場合、設定します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「通勤費Web」→「通勤費Webユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 社員ID
「通勤費Web」で登録するユーザIDを設定します。

コラム

「ユーザ」は、開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「通勤費Web」→「通勤費Webユーザマッピング」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい通勤費Webユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザ
- ユーザ名
- 社員ID

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。

No	ユーザ	ユーザ名	社員ID	開始日	終了日
1	ayoyagi	青柳 辰巳	000000	1900/01/01	2999/12/31

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	

3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
6	社員ID	○	20	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","000000"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user

ファイル名 import.csv

コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「通勤費Webユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

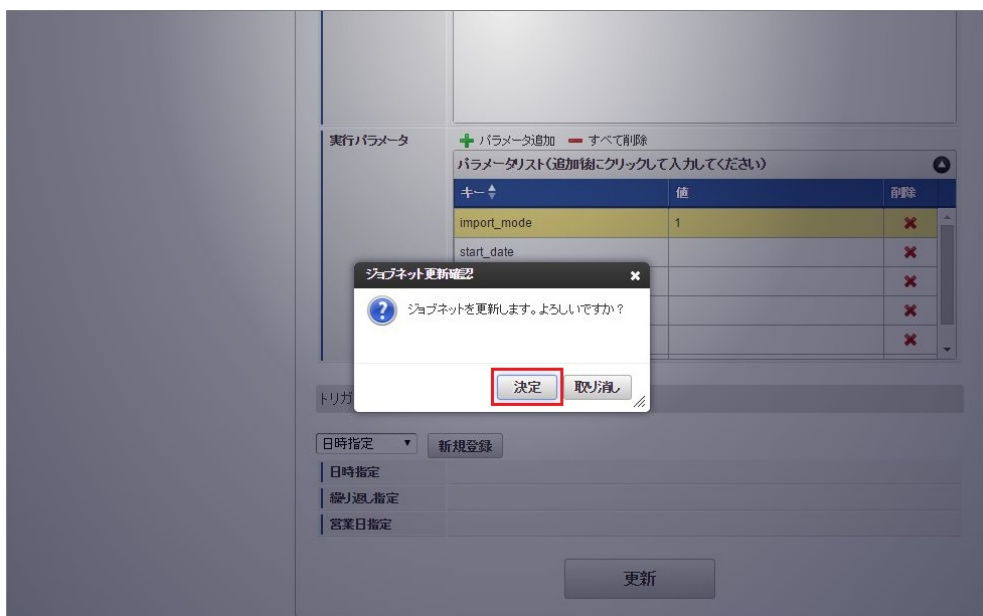
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsukinhi-web-import-tsukinhi-web-user	Kaiden! / 通勤費Web / インポート / 通勤費Webユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：単一期間（差分）モード ▪ 2：単一期間（一新）モード ▪ 3：単一期間（入替）モード ▪ 4：複数期間（差分）モード ▪ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterid	インポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Webユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tsukinhi_web_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「通勤費Webユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

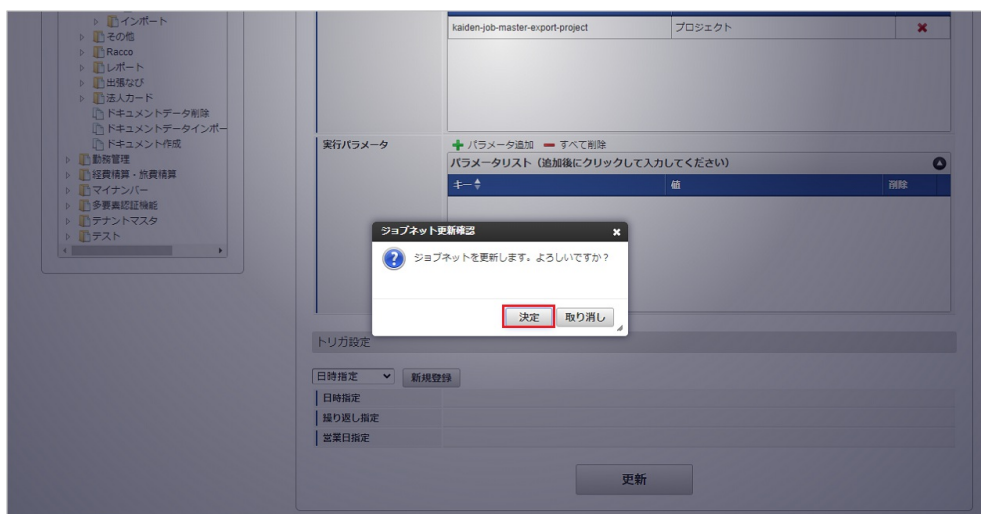
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsukinhi-web-export-	Kaiden! / 通勤費Web / エクスポート / 通勤費Webユーザマッピング
tsukinhi-web-user	

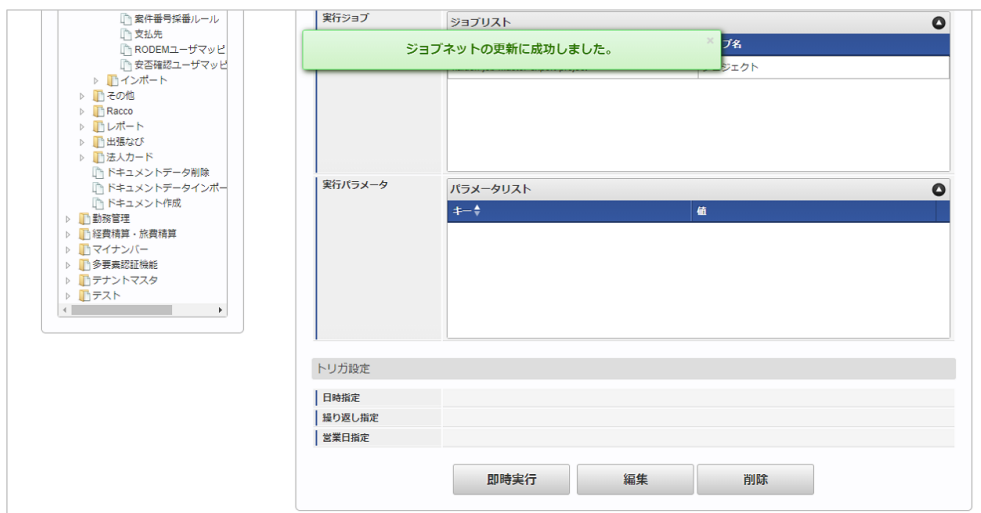
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
employeeId	社員ID	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1)
		<ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/tsukinhi_web_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Webユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「tsukinhi_web_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

概要

IM-Workflowでは、コンテンツ定義とルート定義の組合せでフロー定義（ワークフロー機能）を構築しています。
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、IM-Workflowのコンテンツ定義を設定で作成する機能を提供しています。

次項の[コンテンツ定義](#)では、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるコンテンツ定義の作成方法を説明します。
コンテンツ定義を作成後、ルート定義・フロー定義を行います。

コラム

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義の作成は、申請書マスタメンテナンス機能を利用します。
申請書マスタメンテナンス機能では、ガジェットを組み合わせることでコンテンツ定義を作成します。
ガジェットの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照してください。

コンテンツ定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費が使用するコンテンツ定義は、申請書マスタメンテナンス機能で作成します。
申請書マスタメンテナンス機能では、ガジェットを組み合わせることでコンテンツ定義を作成します。

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用した、intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費におけるコンテンツ定義の作成方法を説明します。

コラム

ガジェットの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照してください。
初期データに含まれているコンテンツは、[初期データ](#)を参照してください。

注意

申請書マスタメンテナンス機能では、コンテンツ定義の基本情報・画面・ユーザプログラムを作成します。
IM-Workflowのコンテンツ定義編集画面で、コンテンツ定義の基本情報・画面・ユーザプログラムを変更しないでください。
ユーザプログラムの追加やメール、ルールの追加は行うことができます。
ただし、SAStruts+S2JDBCの開発モデルの申請書をSpringMVC+Mirage-SQLの開発モデルの申請書に更新する場合、IM-Workflowのコンテンツ定義編集画面からコンテンツ定義のユーザプログラムの「jp.co.slcs.kaiden2」の箇所を「jp.co.slcs.kaiden.v2」に変更してください。

新規登録

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツの新規登録方法を説明します。
コンテンツバージョン設定の詳細は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照してください。

- [コンテンツ登録](#)
- [コンテンツバージョン登録](#)

コンテンツ登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 申請書タイプ
作成したい申請書によって選択する申請書タイプが異なります。
登録後の変更はできません。

i コラム

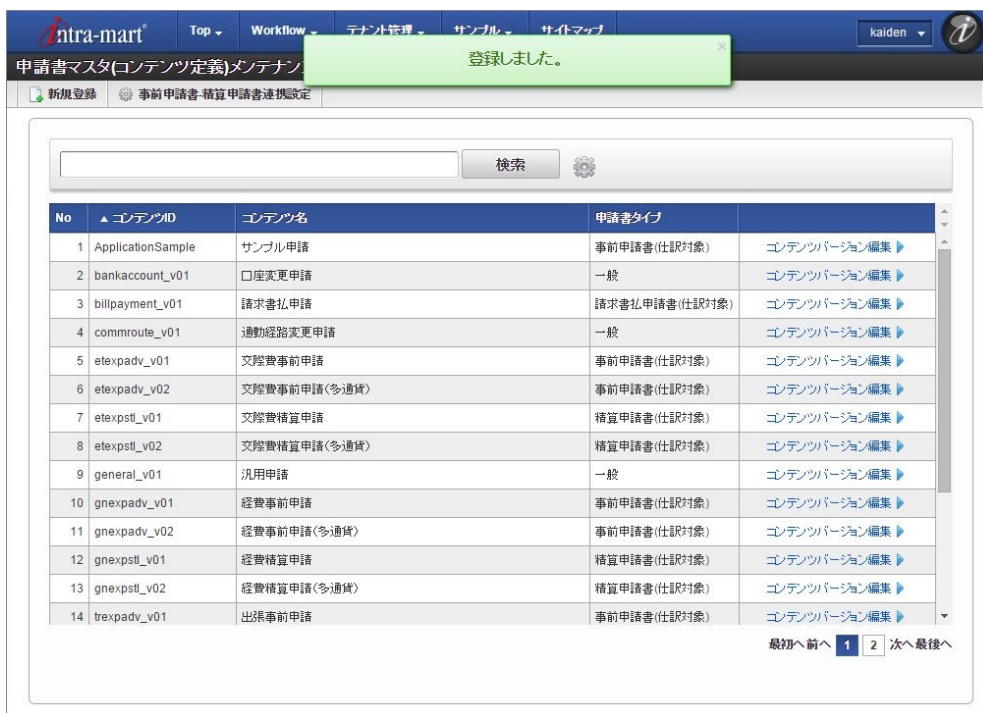
申請書タイプは次の種類があります。

申請書タイプ	説明
一般	汎用的な申請書です。
事前申請書(仕訳対象)	出張や物品購入などを起案し上司に決裁を仰ぐことを目的とした申請書です。
精算申請書(仕訳対象)	事前申請書にて承認された行為に対する報告や立替精算を目的とした申請書です。
請求書払申請書(仕訳対象)	請求書や納品書への経費支払を目的とした申請書です。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



コンテンツバージョン登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



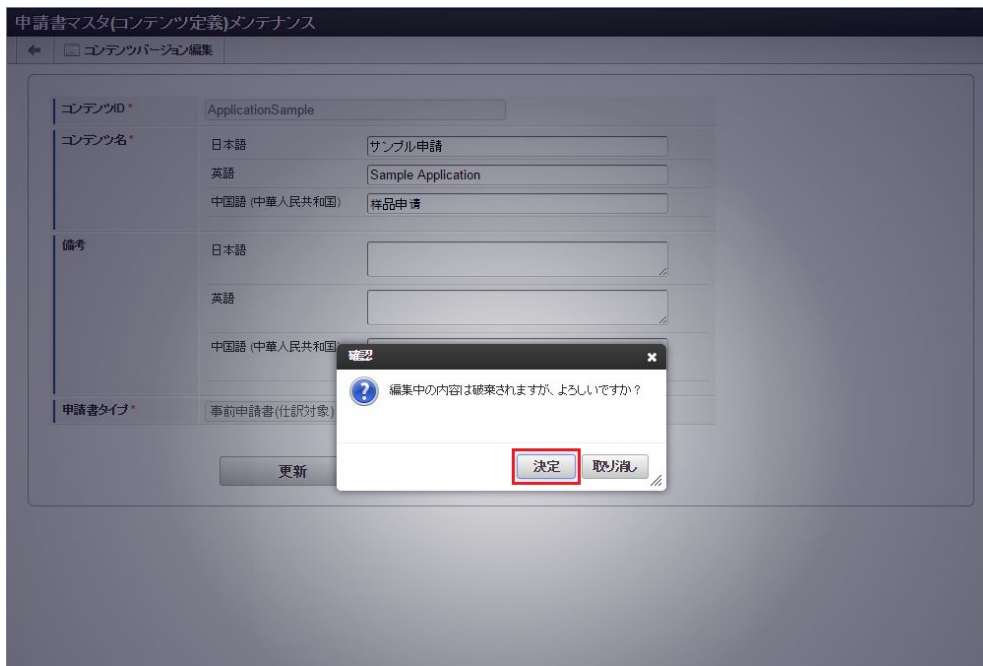
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

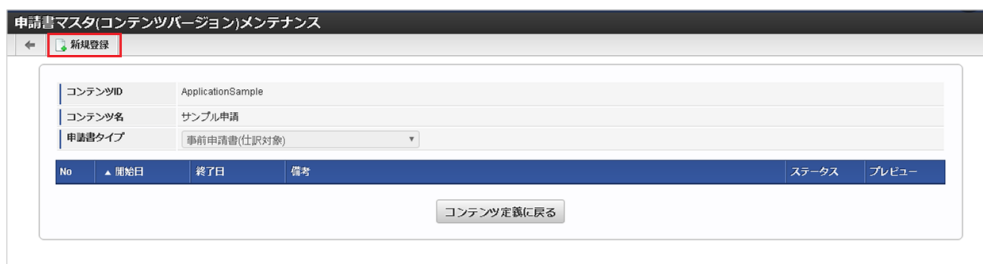


i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)
開始日	2000/01/01
終了日	2999/12/31
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
案件番号採番クラス	標準(すべての申請書で通し番号)
備考	日本語 英語 中国語(中華人民共和国)
コンテンツ定義	<input type="checkbox"/> 画面情報を変更しない <input type="checkbox"/> ユーザプログラムを変更しない
画面種別設定	
プログラム設定	
パラメータ設定	

申請書ガジェット

- ガジェット追加
- 旅費情報
- 旅程明細
- 宿泊明細
- 備考

申請書プレビュー

- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
[案件番号採番ルール\(フロー連携\)マスタ](#)で設定したフローと紐付く場合、「拡張(採番ルール定義による採番番号)」を設定してください。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。
- コンテンツ定義
コンテンツバージョンの変更方法を選択します。
(更新時のみ有効です。)
 - 画面情報を変更しない
チェックした場合は、コンテンツの画面情報を変更しません。
チェックをしていない場合は、コンテンツの画面情報を変更(洗い替え)を行います。
 - ユーザプログラムを変更しない
チェックした場合は、コンテンツのユーザプログラムを変更しません。
チェックをしていない場合は、コンテンツのユーザプログラムを変更(洗い替え)を行います。
- 画面種別設定
利用する画面情報を設定します。
設定方法の詳細は、[画面種別設定](#)を参照してください。
- プログラム設定
利用するユーザプログラムの情報を設定します。
設定方法の詳細は、[プログラム設定](#)を参照してください。
- パラメータ設定
利用するパラメータの情報を設定します。
設定方法の詳細は、[パラメータ設定](#)を参照してください。
- ガジェット

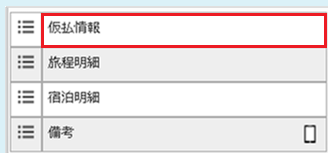
利用するガジェットを設定します。

設定方法の詳細は、[ガジェット設定](#)を参照してください。

i コラム

利用するガジェットの設定アイコンをクリックし、次の設定を行うことができます。

- ラベル設定
- 拡張テキスト設定



i コラム

申請書タイプにより、「申請書に追加済のガジェット」にガジェットが初期設定されている場合があります。

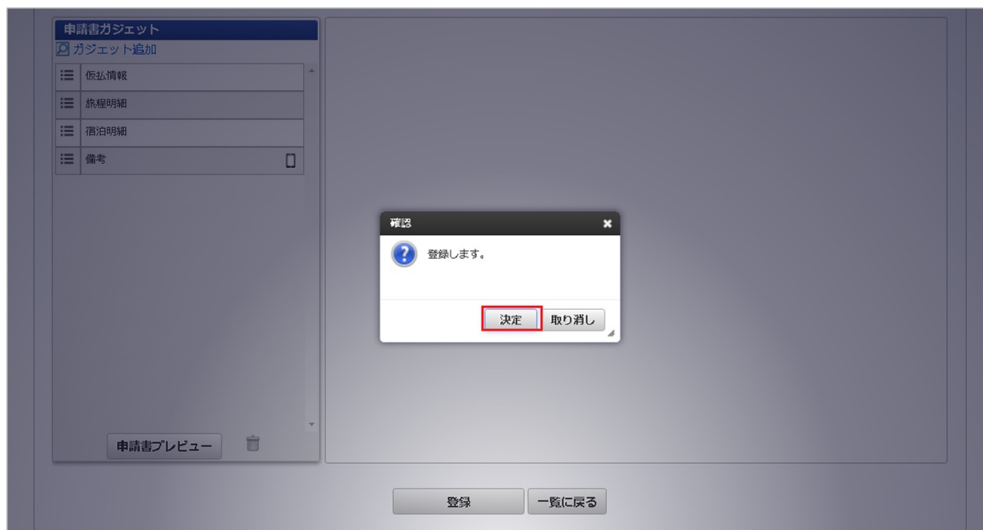
申請書タイプ	初期表示ガジェット
一般	
事前申請書(仕訳対象)	仮払情報
精算申請書(仕訳対象)	精算情報
請求書払申請書(仕訳対象)	請求書払情報

! 注意

ガジェットの組み合わせには一部制限があります。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』 - 「補足」 - 「ガジェット設定」を参照してください。

8. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



9. 新規登録することができました。



本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツの新規登録方法を説明します。

コンテンツバージョン設定の詳細は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照してください。

注意

すでにフロー定義に連携済みのコンテンツ情報の変更も行えますが、申請済みの申請書にも変更が反映されますので注意してください。

すでにフロー定義に連携済みのコンテンツは次の様な警告を表示しています。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

新規登録

⚠ フロー定義に連携済みです。すでに申請済みの申請書にも変更が反映されますので注意してください。

コンテンツID: gnextpadc_v01
 コンテンツ名: 経費事前申請
 申請書タイプ: 事前申請書(仕訳対象)

No	開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	2000/01/01	2999/12/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

- [コンテンツ更新](#)
- [コンテンツバージョン更新](#)

コンテンツ更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
1. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ
----	---------	--------	--------

2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

新規登録 事前申請書-精算申請書連携設定

検索

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
1	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
2	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
3	billpayment_v01	請求書払申請	請求書払申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
4	commroute_v01	通勤経路変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
5	etexpadv_v01	交際費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	etexpadv_v02	交際費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
7	etexpstl_v01	交際費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
8	etexpstl_v02	交際費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
9	general_v01	汎用申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶
10	gnexpadv_v01	経費事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
11	gnexpadv_v02	経費事前申請(多通貨)	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
12	gnexpstl_v01	経費精算申請	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
13	gnexpstl_v02	経費精算申請(多通貨)	精算申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
14	trexpadv_v01	出張事前申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶

最初へ 前へ 1 2 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID * ApplicationSample

コンテンツ名 *

日本語	サンプル申請
英語	Sample Application
中国語(中華人民共和国)	样品申请

備考

日本語	
英語	
中国語(中華人民共和国)	

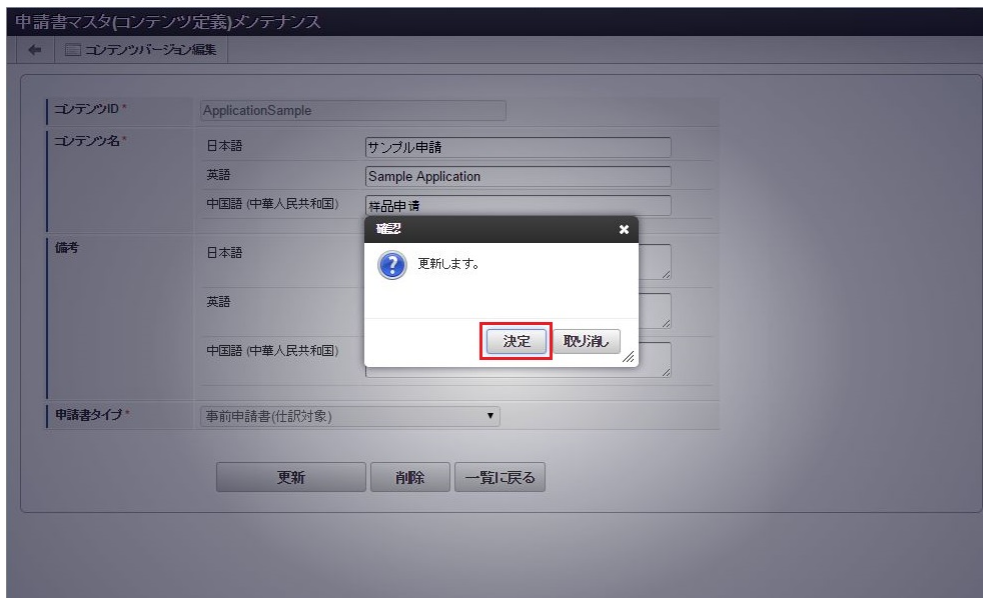
申請書タイプ * 事前申請書(仕訳対象)

更新 削除 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- コンテンツID
- 申請書タイプ

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 更新することができました。



コンテンツバージョン更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



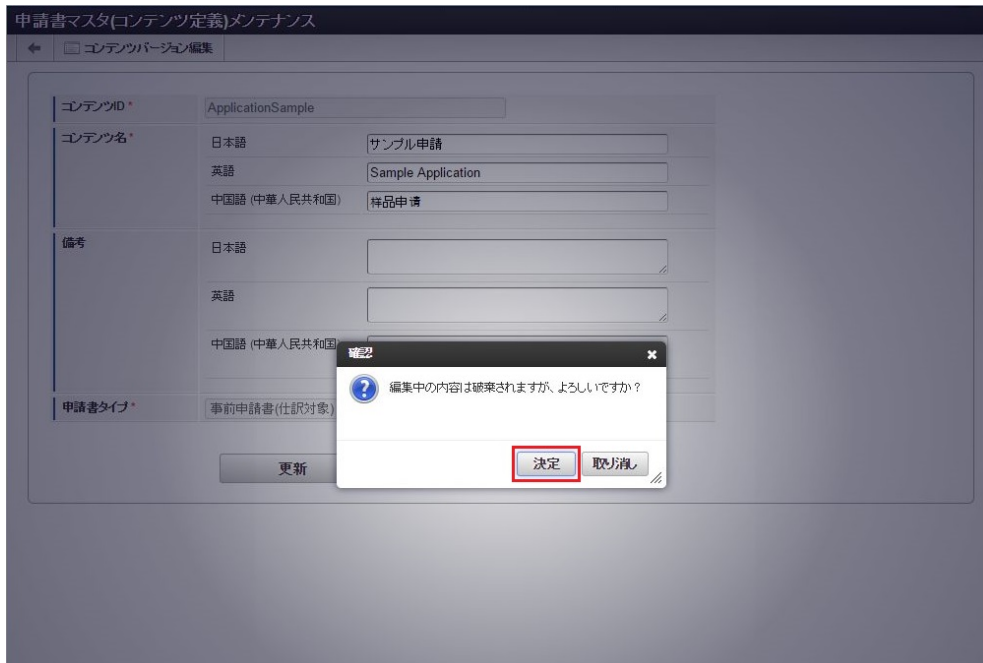
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

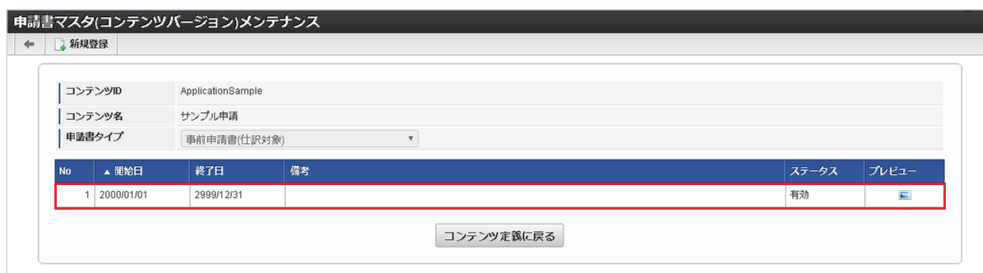


i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー 連携精算申請書作成

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)
開始日	2000/01/01
終了日	2999/12/31
ステータス	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効
案件番号振替クラス	標準(すべての申請書で通し番号)
備考	日本語 <input type="text"/>
	英語 <input type="text"/>
	中国語(中華人民共和国) <input type="text"/>
コンテンツ定義	<input type="checkbox"/> 画面情報を変更しない <input checked="" type="checkbox"/> ユーザプログラムを変更しない
画面種別設定	
プログラム設定	
パラメータ設定	

申請書ガジェット

ガジェット追加

- 仮払情報
- 旅程明細
- 宿泊明細
- 備考

申請書プレビュー

コラム

利用するガジェットの設定アイコンをクリックし、次の設定を行うことができます。

- [ラベル設定](#)
- [拡張テキスト設定](#)

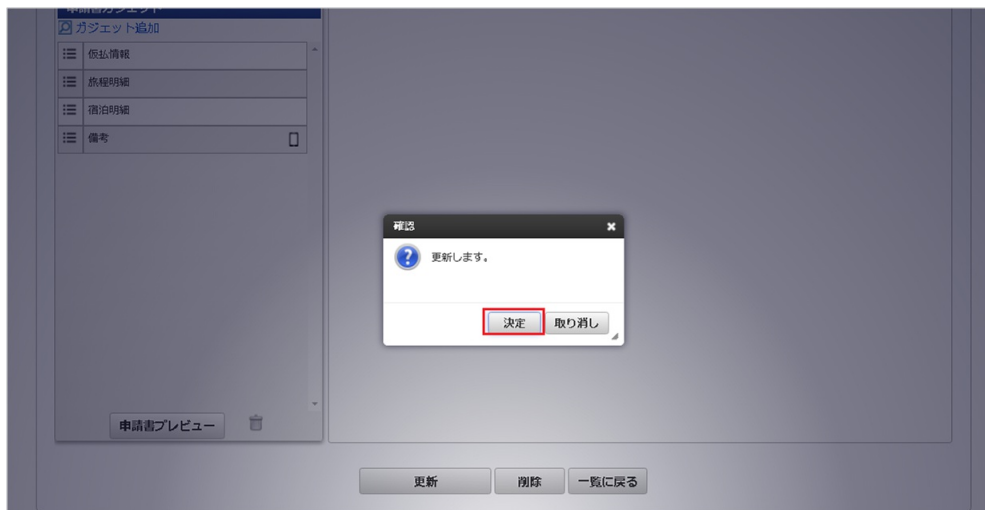
<input checked="" type="checkbox"/>	仮払情報
<input type="checkbox"/>	旅程明細
<input type="checkbox"/>	宿泊明細
<input type="checkbox"/>	備考

注意

ガジェットの組み合わせには一部制限があります。

詳細は『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』-「補足」-「ガジェット設定」を参照してください。

8. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



9. 更新することができました。



i コラム

申請書マスタの情報とガジェットの情報に不整合がある場合、次のエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合、コンテンツバージョンのガジェット設定で該当のガジェットを一度削除し、再度設定してください。

ガジェットの最新状態が反映されていません。該当のガジェットを一度外し、再度追加してください。

ガジェット名:経費明細
 ガジェットクラス:expenseDetail
 ガジェットバリエーション:v01
 フィールドグループID:extensionA
 フィールドキー:extensionA

コピー

本項では、申請書マスタメンテナンス機能を利用したコンテンツのコピー方法を説明します。

- コンテンツコピー
- コンテンツバージョンコピー

コンテンツコピー

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



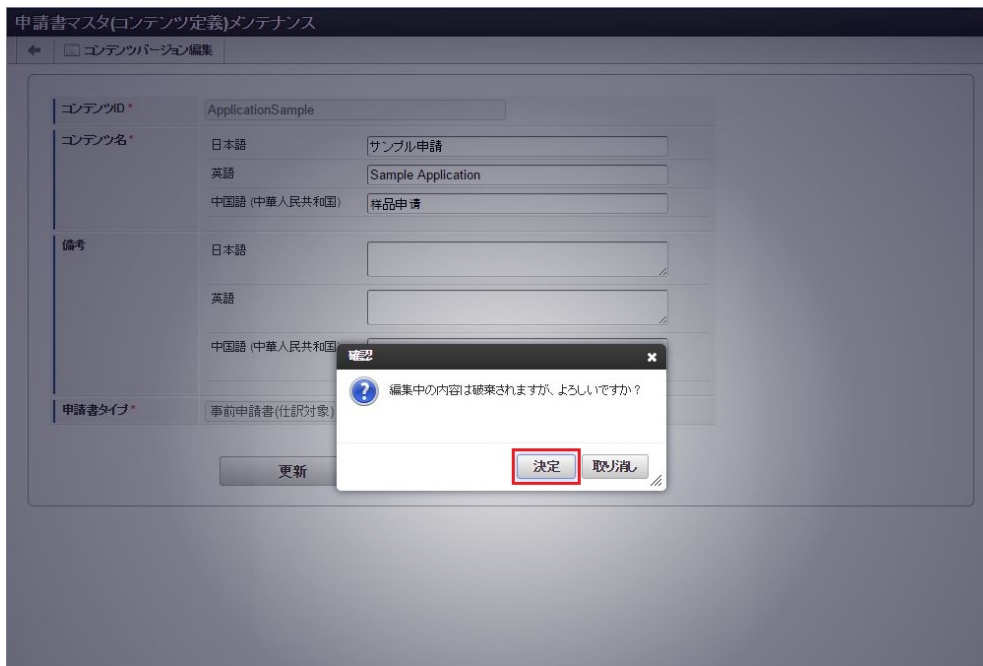
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。



5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

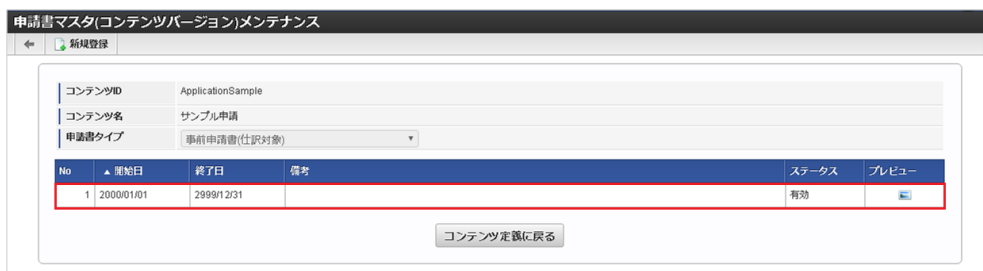


i コラム

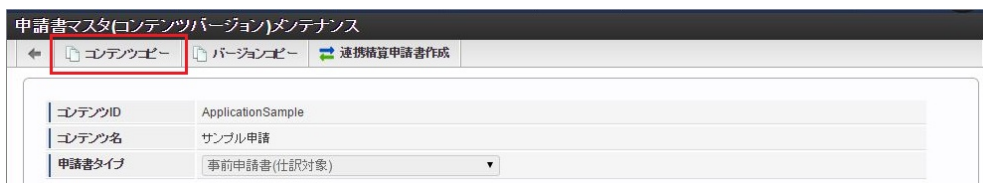
申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「コンテンツコピー」をクリックします。



8. コンテンツコピー画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

コンテンツコピー (申請書マスターメンテナンス)

コンテンツID *

コンテンツ名 *
 日本語 サンプル申請
 英語 Sample Application
 中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
 日本語
 英語
 中国語 (中華人民共和国)

開始日 * - 終了日 * 2000/01/01 - 2999/12/31

ステータス * 有効 無効

案件番号採番クラス * 標準(すべての申請書で通し番号)

備考
 日本語
 英語
 中国語 (中華人民共和国)

- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

英語 Sample Application
中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

開始日 * - 終了日 * 2000/01/01 - 2999/12/31

ステータス * 有効 無効

案件番号採番クラス * 標準(すべての申請書で通し番号)

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

確認

コピーします。

10. コピーすることができました。

コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面で、コピーされたコンテンツを確認してください。

コンテンツバージョンコピー

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID*	ApplicationSample	
コンテンツ名*	日本語	サンプル申請
	英語	Sample Application
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请
備考	日本語	<input type="text"/>
	英語	<input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和国)	<input type="text"/>
申請書タイプ*	事前申請書(仕訳対象)	

更新 削除 一覧に戻る

5. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← コンテンツバージョン編集

コンテンツID*	ApplicationSample	
コンテンツ名*	日本語	サンプル申請
	英語	Sample Application
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请
備考	日本語	<input type="text"/>
	英語	<input type="text"/>
	中国語 (中華人民共和国)	<input type="text"/>
申請書タイプ*	事前申請書(仕訳対象)	

更新

確認

編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか？

決定 取り消し

i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集 ▶
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集 ▶

6. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID	ApplicationSample	
コンテンツ名	サンプル申請	
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)	

No	▲ 開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	200001/01	2999/12/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

7. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「バージョンコピー」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー 連携精算申請書作成

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)

8. バージョンコピー画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

バージョンコピー (申請書マスタメンテナンス)

←

<p>期間一覧</p> <p>2000/01/01 - 2999/12/31</p> <p>コピー元のバージョン</p>	<p>開始日 * - 終了日 *</p> <p>2015/02/01 - 2999/12/31</p> <p>ステータス *</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効</p> <p>案件番号採番クラス *</p> <p>標準(すべての申請書で通し番号)</p> <p>備考</p> <p>日本語</p> <p>英語</p> <p>中国語 (中華人民共和国)</p>
--	---

コピー 戻る

- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

バージョンコピー (申請書マスタメンテナンス)

←

<p>期間一覧</p> <p>2000/01/01 - 2999/12/31</p> <p>コピー元のバージョン</p>	<p>開始日 * - 終了日 *</p> <p>2015/02/01 - 2999/12/31</p> <p>ステータス *</p> <p><input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効</p> <p>案件番号採番クラス *</p> <p>標準(すべての申請書で通し番号)</p> <p>備考</p> <p>日本語</p> <p>英語</p> <p>中国語 (中華人民共和国)</p>
--	---

確認

コピーします。

決定 取り消し

コピー 戻る

10. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

コンテンツID: ApplicationSample
 コンテンツ名: サンプル申請
 申請書タイプ: 事前申請書(仕訳対象)

開始日: 2000/01/01 - 終了日: 2999/12/31
 ステータス: 有効 無効
 案件番号振替クラス: 標準(すべての申請書で通し番号)

備考: 日本語, 英語, 中国語(中華人民共和国)

コンテンツ定義: 画面情報を変更しない ユーザプログラムを変更しない

前画面種別設定
 プログラム設定
 パラメータ設定

申請書ガジェット
 ガジェット追加
 仮払情報
 旅費明細
 宿泊明細
 備考

申請書プレビュー

更新 削除 一覧に戻る

11. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

確認

更新します。

決定 取り消し

更新 削除 一覧に戻る

12. 更新することができました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 再検索 更新しました。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

新規登録

No	▲ 開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	2000/01/01	2015/01/31		有効	
2	2015/02/01	2999/12/31		有効	

コンテンツ定義に戻る

申請書の連携

- 連携精算申請書作成
- 申請書連携設定

連携精算申請書作成

本項では、申請書連携用コンテンツの作成方法を説明します。

申請書マスタメンテナンス機能では、次の様に申請書連携用コンテンツをコピーして作成することができます。

- 事前申請のコンテンツから、精算申請のコンテンツを作成（コピー）する
- 精算申請のコンテンツから、事前申請のコンテンツを作成（コピー）する

作成後は、[申請書連携設定](#)が設定済の状態として設定されます。

申請書連携用コンテンツをコピーして作成する場合には、精算情報ガジェットと仮払情報ガジェットが自動的に切り替わります。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「コンテンツバージョン編集」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← **コンテンツバージョン編集**

コンテンツID* ApplicationSample

コンテンツ名*
日本語 サンプル申請
英語 Sample Application
中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

申請書タイプ* 事前申請書(仕訳対象)

更新 削除 一覧に戻る

- 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツ定義)メンテナンス

← **コンテンツバージョン編集**

コンテンツID* ApplicationSample

コンテンツ名*
日本語 サンプル申請
英語 Sample Application
中国語 (中華人民共和国) 样品申请

備考
日本語
英語
中国語 (中華人民共和国)

申請書タイプ* 事前申請書(仕訳対象)

更新

確認
? 編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか?
決定 取り消し

i コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の「コンテンツバージョン編集」からも遷移可能です。

No	▲ コンテンツID	コンテンツ名	申請書タイプ	
5	ApplicationSample	サンプル申請	事前申請書(仕訳対象)	コンテンツバージョン編集
6	bankaccount_v01	口座変更申請	一般	コンテンツバージョン編集

- 申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← 新規登録

コンテンツID ApplicationSample

コンテンツ名 サンプル申請

申請書タイプ 事前申請書(仕訳対象)

No	▲ 開始日	終了日	備考	ステータス	プレビュー
1	20000101	29991231		有効	

コンテンツ定義に戻る

- 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面で「連携精算申請書作成」をクリックします。

申請書マスタ(コンテンツバージョン)メンテナンス

← コンテンツコピー バージョンコピー **連携精算申請書作成**

コンテンツID	ApplicationSample
コンテンツ名	サンプル申請
申請書タイプ	事前申請書(仕訳対象)

8. 連携精算申請書作成画面で必要な情報を入力し、「コピー」をクリックします。

連携精算申請書作成 (申請書マスタメンテナンス)

←

コンテンツID *		
コンテンツ名 *	日本語	サンプル申請
	英語	Sample Application
	中国語 (中華人民共和国)	样品申请
備考	日本語	
	英語	
	中国語 (中華人民共和国)	
開始日 *	終了日 *	2000/01/01 - 2999/12/31
ステータス *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効	
案件番号採番クラス *	標準(すべての申請書で通し番号)	
備考	日本語	
	英語	
	中国語 (中華人民共和国)	

コピー 戻る

- コンテンツID
一意のIDを入力します。
- コンテンツ名
コンテンツ名称を入力します。
- 備考
コンテンツの備考を入力します。
- 開始日
コンテンツバージョンの有効期間開始日を入力します。
- 終了日
コンテンツバージョンの有効期間終了日を入力します。
- ステータス
コンテンツバージョンの「有効」「無効」を選択します。
- 案件番号採番クラス
利用する案件番号採番クラスを選択します。
- 備考
コンテンツバージョンの備考を入力します。

9. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



10. 申請書連携用コンテンツを作成することができました。



コラム

申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面で、コピーされたコンテンツを確認してください。

申請書連携設定

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、事前申請書と精算申請書を連携させることができます。

事前申請書と精算申請書を連携することで、仮払金の精算など複数の申請書を用いることで完結する業務を実現することができます。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「事前申請書-精算申請書連携設定」をクリックします。



3. 事前申請書-精算申請書連携設定画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



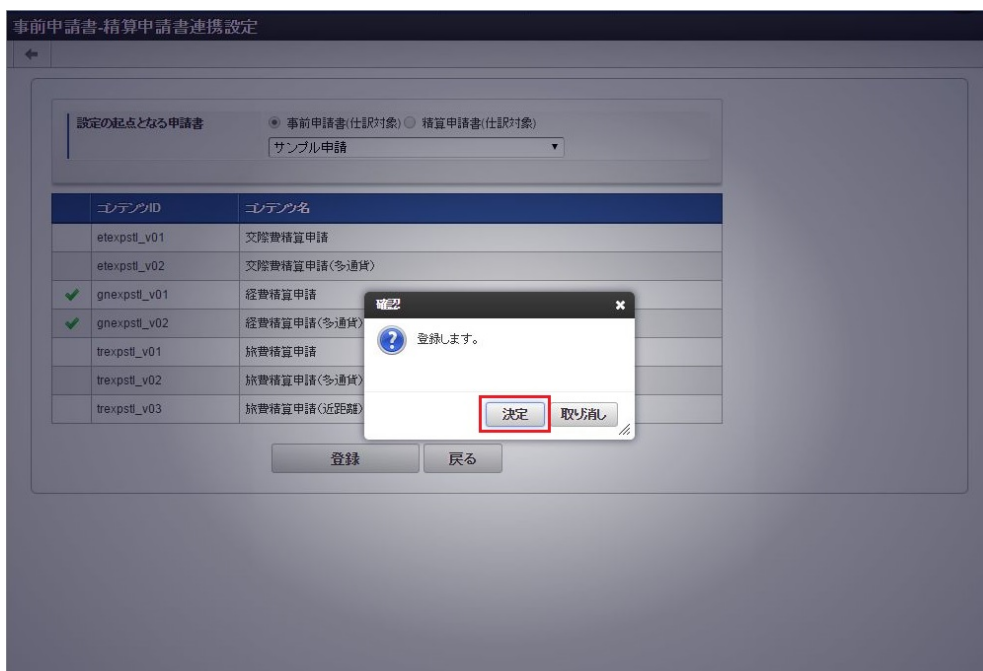
- 設定の起点となる申請書
連携元の申請書を選択します。
- コンテンツ
連携先の申請書を選択します。

i コラム

「1:1」の連携だけではなく「n:m」の連携が可能です。



4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 登録することができました。

事前申請書-精算申請書連携設定

登録しました。

設定の起点となる申請書 事前申請書(仕訳対象) 精算申請書(仕訳対象)

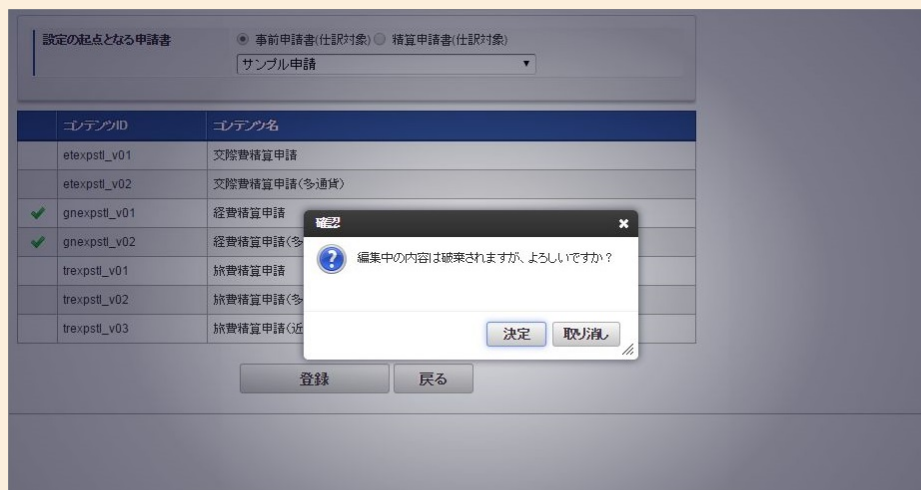
サンプル申請

コンテンツID	コンテンツ名
etexpstl_v01	交際費精算申請
etexpstl_v02	交際費精算申請(多通貨)
<input checked="" type="checkbox"/> gnexpstl_v01	経費精算申請
<input checked="" type="checkbox"/> gnexpstl_v02	経費精算申請(多通貨)
trexpstl_v01	旅費精算申請
trexpstl_v02	旅費精算申請(多通貨)
trexpstl_v03	旅費精算申請(近距離)

登録 戻る

注意

申請書連携設定を行っていない場合でも「戻る」ボタンをクリック時に、「編集中の内容は破棄されますが、よろしいですか?」という確認ダイアログが表示されます。



プレビュー表示

申請書マスタ(コンテンツバージョン)一覧画面では、申請書のプレビューを表示できます。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「カスタマイズ」→「申請書」をクリックします。
2. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面表示後、「検索」をクリックします。



3. 申請書マスタ(コンテンツ定義)一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



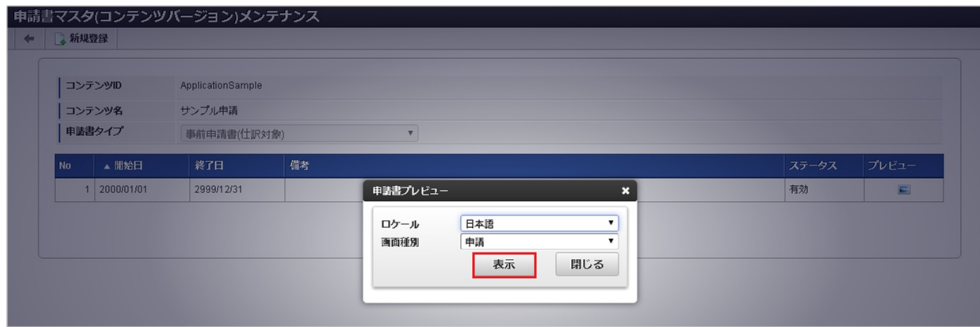
i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 申請書マスタ(コンテンツ定義)登録/更新画面表示後、「プレビュー」欄のアイコンをクリックします。



5. ポップアップが表示されたら、ロケール・画面種別を選択して「表示」をクリックします。



- ロケール
プレビューを表示する言語を選択します。
- 画面種別
プレビューを表示する画面の種別を選択します。
[画面種別設定](#)で設定したPC用画面の画面種別を選択できます。
スマートフォン用画面のプレビューは表示できません。

6. 申請書のプレビューが表示されます。



コンテンツバージョン設定時の操作方法

本項では、コンテンツバージョン設定時の操作方法を説明します。

- [画面種別設定](#)
- [プログラム設定](#)
- [パラメータ設定](#)
- [ガジェット設定](#)
 - [利用ガジェット設定](#)
 - [申請書プレビュー](#)
- [ラベル設定](#)
- [拡張テキスト設定](#)
- [項目設定](#)
 - [入力／表示設定](#)
 - [必須／任意設定](#)
 - [チェックルール設定](#)
 - [明細制御設定](#)
 - [ガジェット表示設定](#)

画面種別設定

画面種別設定では、IM-Workflowで使用する画面（申請画面や処理画面など）を設定します。

IM-Workflowの処理に必要な画面は、新規作成時に自動設定されますので、標準的な画面のみを使用する場合は変更の必要はありません。

参照と特定項目の入力を行う画面の2種類の処理画面を設定する場合や、同一種類の画面で必須項目を変更する場合などで使用します。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録／更新画面を表示した時点では、画面種別設定は省略表示となっていますので、「画面種別設定」をクリックします。



2. 画面種別設定で必要な情報を設定します。



		中国語 (中華人民共和国)	申請		
		基底JSP/PC			
2	一時保存	日本語	一時保存	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Save temporary		
		中国語 (中華人民共和国)	临时保存		
		基底JSP/PC			
3	申請(起草案件)	日本語	申請(起草案件)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Apply (Draft application)		
		中国語 (中華人民共和国)	申請(申請案件)		
		基底JSP/PC			
4	再申請	日本語	再申請	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Re-Apply		
		中国語 (中華人民共和国)	再申請		
		基底JSP/PC			
5	処理	日本語	処理	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Process		
		中国語 (中華人民共和国)	处理		
		基底JSP/PC			
6	確認	日本語	確認	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Confirmation		
		中国語 (中華人民共和国)	确认		
		基底JSP/PC			
7	処理詳細	日本語	処理詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Process Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	处理详细		
		基底JSP/PC			
		基底JSP/SP			
8	参照詳細	日本語	参照詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Reference Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	参照详细		
		基底JSP/PC			
		基底JSP/SP			
9	確認詳細	日本語	確認詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Confirmation Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	确认详细		
		基底JSP/PC			
		基底JSP/SP			
10	過去詳細	日本語	過去詳細	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Archive Detail		
		中国語 (中華人民共和国)	存档详细		
		基底JSP/PC			
		基底JSP/SP			
11	申請(sp)	日本語	申請(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Apply (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	申请(sp)		
		基底JSP/SP			
12	一時保存(sp)	日本語	一時保存(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Save temporary (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	临时保存(sp)		
		基底JSP/SP			
13	申請(起草案件)(sp)	日本語	申請(起草案件)(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Apply (Draft application) (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	申請(申請案件)(sp)		
		基底JSP/SP			
14	再申請(sp)	日本語	再申請(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Re-Apply (sp)		
		中国語 (中華人民共和国)	再申請(sp)		
		基底JSP/SP			
15	処理(sp)	日本語	処理(sp)	<input checked="" type="checkbox"/>	
		英語	Process (sp)		

- 画面種別
IM-Workflowの処理に必要な画面を選択します。
- 画面名
画面名を入力します。
- 初期使用
IM-Workflowの初期利用有無を選択します。
- 基底JSPパス
使用するJSPパスを設定します。
標準のJSPを使用する場合は変更の必要はありません。
JSPをカスタマイズした場合、「kaiden/v2」以下のパスを設定してください。
画面種別が次の場合、基底JSPパスにPCとSPの両方を設定できます。
 - 処理詳細
 - 参照詳細
 - 確認詳細
 - 過去詳細

コラム

明細の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

注意

intra-mart Accel Platformの仕様により、初期使用にチェックしていないスマートフォン用の画面定義を作成しても、フロー定義で設定することができません。

3. 設定後、画面種別設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

プログラム設定

プログラム設定では、IM-Workflowの処理時に実行するプログラムを設定します。
標準的な処理のみを使用する場合は設定の必要はありません。
また、ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、プログラムを設定できます。
設定可能なプログラムは [ユーザプログラムの設定](#) を参照してください。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面を表示した時点では、プログラム設定は省略表示となっていますので、「プログラム設定」をクリックします。

2. プログラム設定で必要な情報を設定します。

- ユーザプログラム
IM-Workflowの処理時に実行するプログラムを設定します。
- 実行順番
処理の実行順番を設定します。

コラム

明細の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

3. 設定後、プログラム設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

プログラム設定

パラメータ設定

パラメータ設定では、プログラム設定で設定したプログラムで使用するパラメータを設定します。

プログラム設定を設定しない場合は設定の必要はありません。

また、ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、設定可能なパラメータは [ユーザプログラムの設定](#) を参照してください。

1. 申請書マスタ(コンテンツバージョン)登録/更新画面を表示した時点では、パラメータ設定は省略表示となっていますので、「パラメータ設定」をクリックします。

パラメータ設定

2. パラメータを設定する画面種別をクリックします。
パラメータは画面種別ごとに異なる値を設定できます。

申請	一時保存	申請(伝票案件)	再申請	処理	申請(印)	一時保存(印)	申請(伝票案件(印))	再申請(印)	処理(印)	
パラメータキー	パラメータ値									
1	parameterkey1	<input type="text"/>								
2	parameterkey2	<input type="text"/>								
3	parameterkey3	<input type="text"/>								
4	parameterkey4	<input type="text"/>								
5	parameterkey5	<input type="text"/>								

3. パラメータ設定で必要な情報を設定します。

申請	一時保存	申請(伝票案件)	再申請	処理	申請(印)	一時保存(印)	申請(伝票案件(印))	再申請(印)	処理(印)	
パラメータキー	パラメータ値									
1	parameterkey1	<input type="text"/>								
2	parameterkey2	<input type="text"/>								
3	parameterkey3	<input type="text"/>								
4	parameterkey4	<input type="text"/>								
5	parameterkey5	<input type="text"/>								

- パラメータ値
プログラム設定で設定したプログラムで使用するパラメータの値を設定します。

4. 設定後、パラメータ設定を省略表示に戻す場合は、省略表示アイコンをクリックします。

パラメータ設定

ガジェット設定

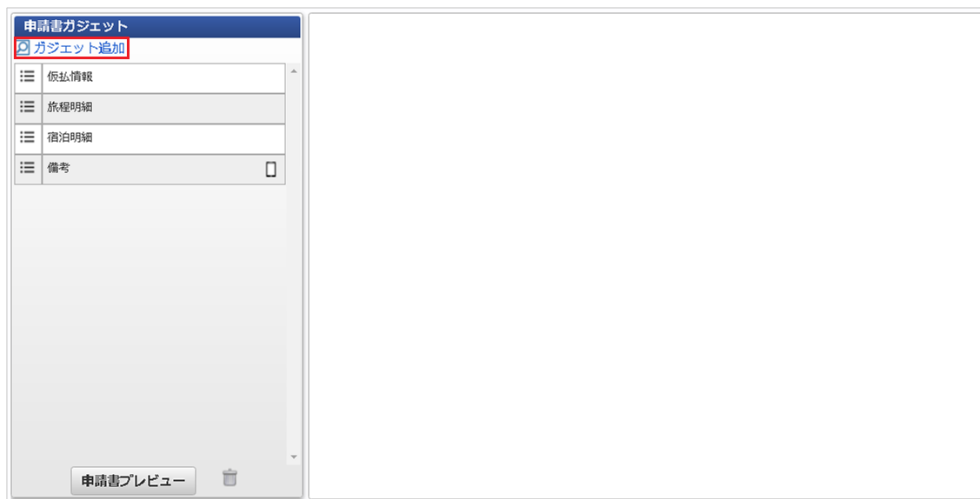
ガジェット設定では、申請画面や処理画面などで利用するガジェットを設定します。

各ガジェットの設定アイコンから、[ラベル設定](#)や[拡張テキスト設定](#)を変更することができます。

利用ガジェット設定

ガジェットの追加方法を説明します。

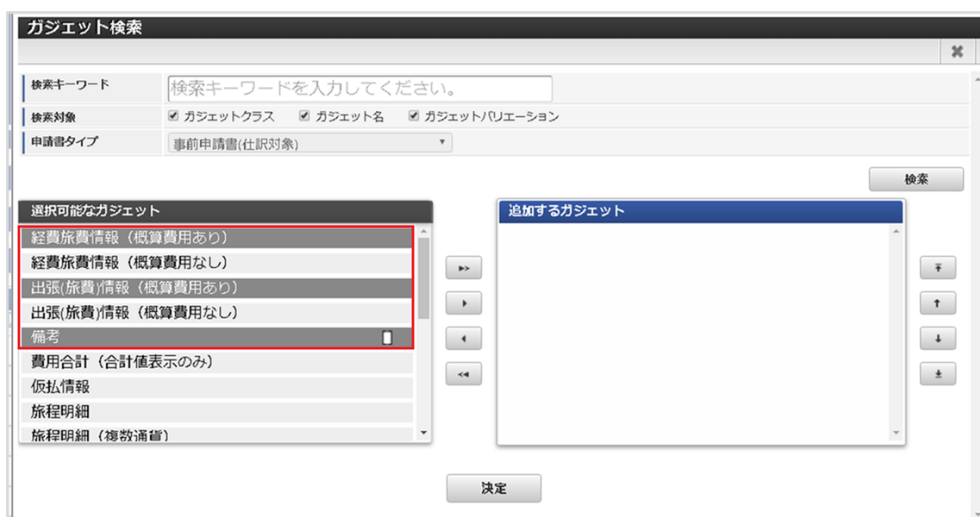
1. ガジェット追加アイコンをクリックします。



2. ガジェット検索画面がポップアップ表示します。
検索ボタンをクリックすると、絞り込み検索を実施できます。



3. 選択可能なガジェットに表示されている、追加したいガジェットをクリックします。
CTRLキーをクリックしながら各行をクリックすると、複数選択できます。



4. 追加ボタンをクリックすると、選択されたガジェットが追加されます。

5. 決定ボタンをクリックすると、選択したガジェットが追加されます。

■ ガジェットの削除

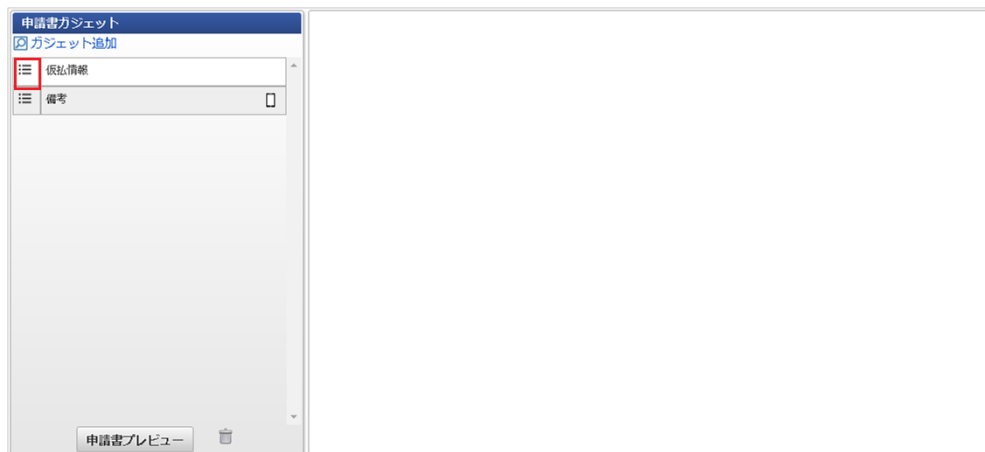
「申請書ガジェット」に表示されているガジェットのリストアイコンをゴミ箱アイコンまでドラッグアンドドロップすると削除できます。

■ コラム

ゴミ箱アイコンをダブルクリックすると、「申請書ガジェット」に表示されているガジェットを全て削除できます。

■ ガジェットの表示順変更

「申請書ガジェット」に表示されているガジェットをドラッグアンドドロップすることで、ガジェットの表示順を変更できます。

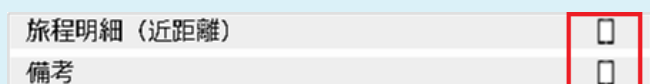


- **ガジェットのラベル/項目設定**
 「申請書ガジェット」に表示されているガジェット名をクリックすると、各ガジェットのラベル設定、項目設定を行うことができます。詳細は、[ラベル設定](#)、または[拡張テキスト設定](#)を参照してください。



📘 コラム

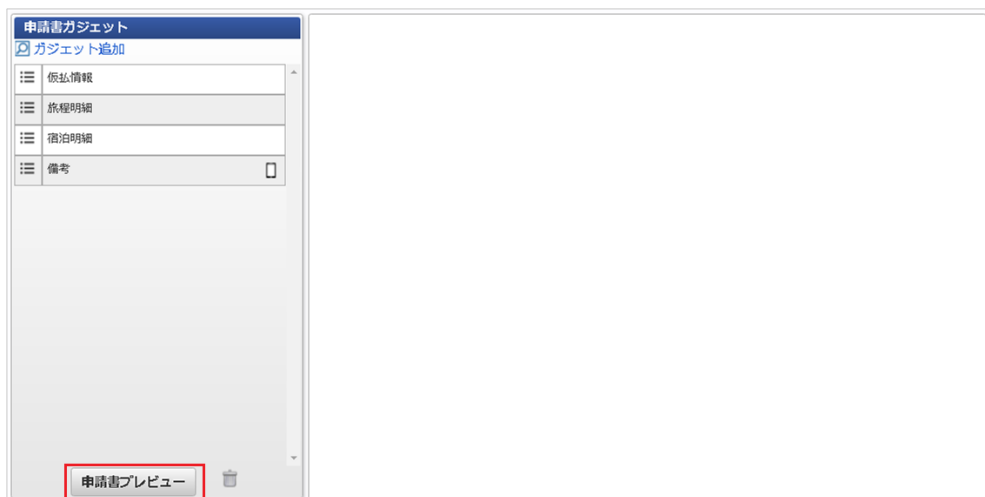
ガジェット名の横にスマートフォンアイコンが表示されているガジェットは、スマートフォン用画面で入力可能なガジェットです。



申請書プレビュー

申請書のプレビュー方法を説明します。

1. 「申請書プレビュー」ボタンをクリックします。



2. ポップアップが表示されたら、ロケール・画面種別を選択して「表示」をクリックします。



- ロケール
プレビューを表示する言語を選択します。
- 画面種別
プレビューを表示する画面の種別を選択します。
[画面種別設定](#)で設定したPC用画面の画面種別を選択できます。
スマートフォン用画面のプレビューは表示できません。

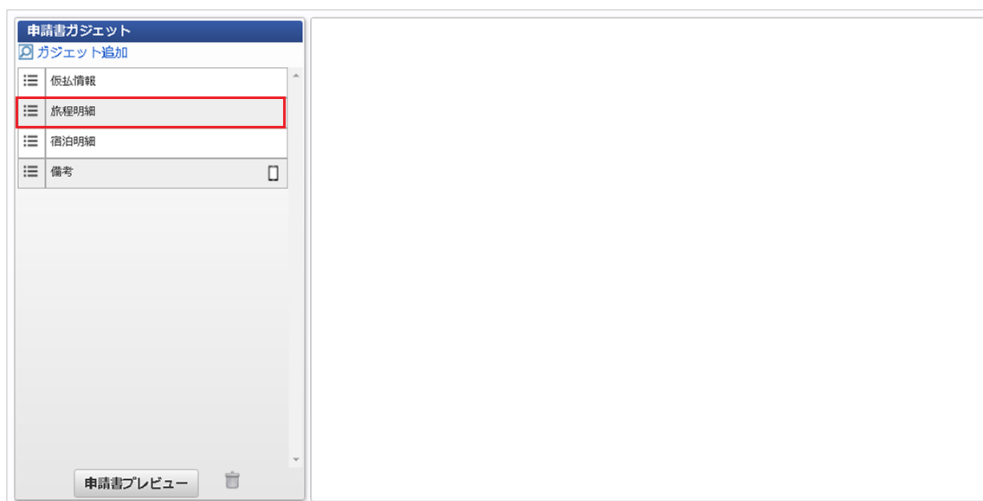
3. 申請書のプレビューが表示されます。



ラベル設定

ラベル設定では、各ガジェットが保持する項目のラベルを設定することができます。

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「ラベル設定」をクリックします。



3. 言語を切り替えたい場合、各言語をクリックします。



4. 変更後サーフィスを入力します。



5. 「変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベルの設定が保存されます。



i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベルの設定と項目の設定が全て保存されます。



i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) interface. On the left, there is a sidebar with 'ガジェット追加' (Add Gadget) and a list of gadgets: '仮払情報', '旅程明細', '宿泊明細', and '備考'. The main area is titled '旅程明細' (Travel Details) and contains a table with columns for 'project', 'roundTrip', 'routeDate', 'routeSearchLink', 'startingSpot', 'supplement', 'taxType', and 'travelRoute'. Below the table are sections for '英語' (English) and '中国語' (Chinese), followed by '変更を反映する' (Reflect Changes) and '全ての変更を反映する' (Reflect All Changes) buttons. At the bottom, there are three buttons: '更新' (Update), '削除' (Delete), and '一覧に戻る' (Return to List). The '更新' button is highlighted with a red box.

拡張テキスト設定

拡張テキスト設定では、メッセージ表示ガジェットが表示する拡張テキストを設定することができます。

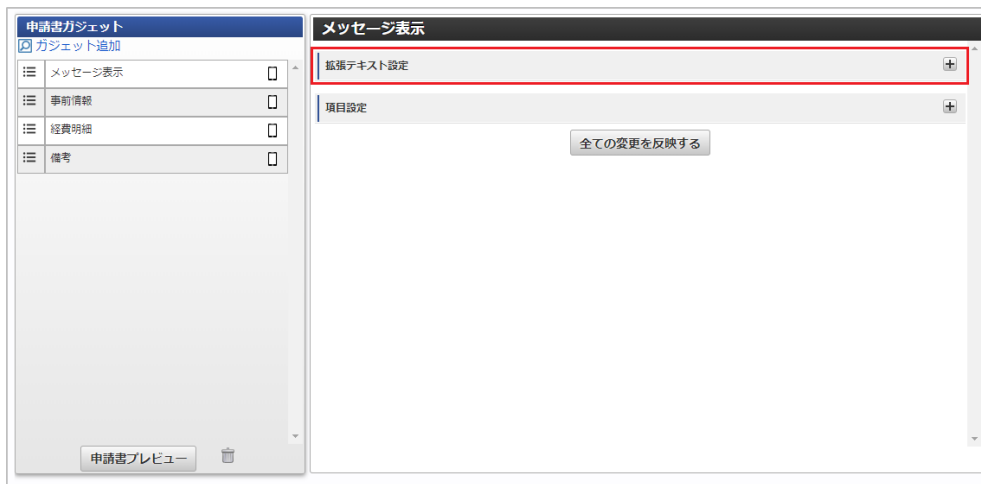
i コラム

拡張テキスト設定はメッセージ表示ガジェットのみ設定することが可能です。

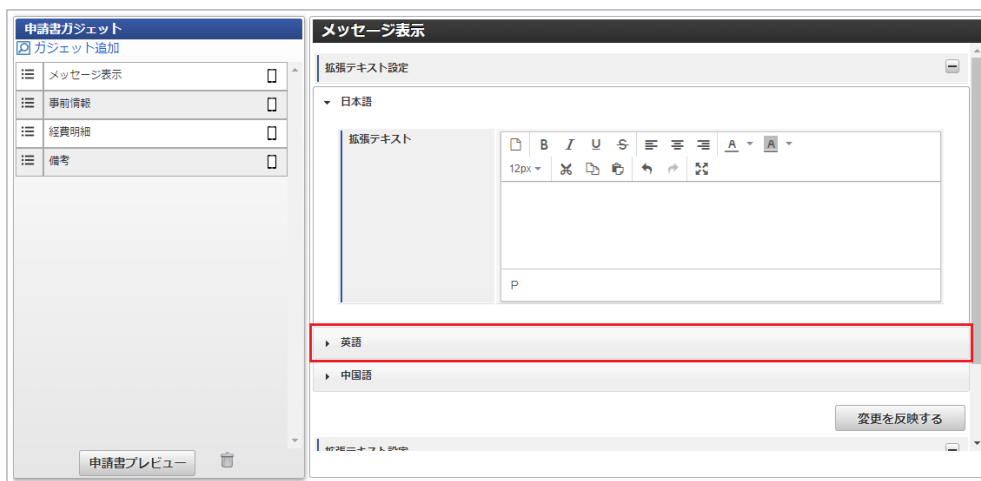
1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) interface. The sidebar on the left has 'ガジェット追加' (Add Gadget) and a list of gadgets: 'メッセージ表示', '事前情報', '経費明細', and '備考'. The 'メッセージ表示' (Message Display) gadget is highlighted with a red box. The main area is empty. At the bottom, there are two buttons: '申請書プレビュー' (Preview Application) and a trash icon.

2. 「拡張テキスト設定」をクリックします。



3. 言語を切り替えたい場合、各言語をクリックします。



4. 「変更を反映する」ボタンをクリックすると、拡張テキストの設定が保存されます。

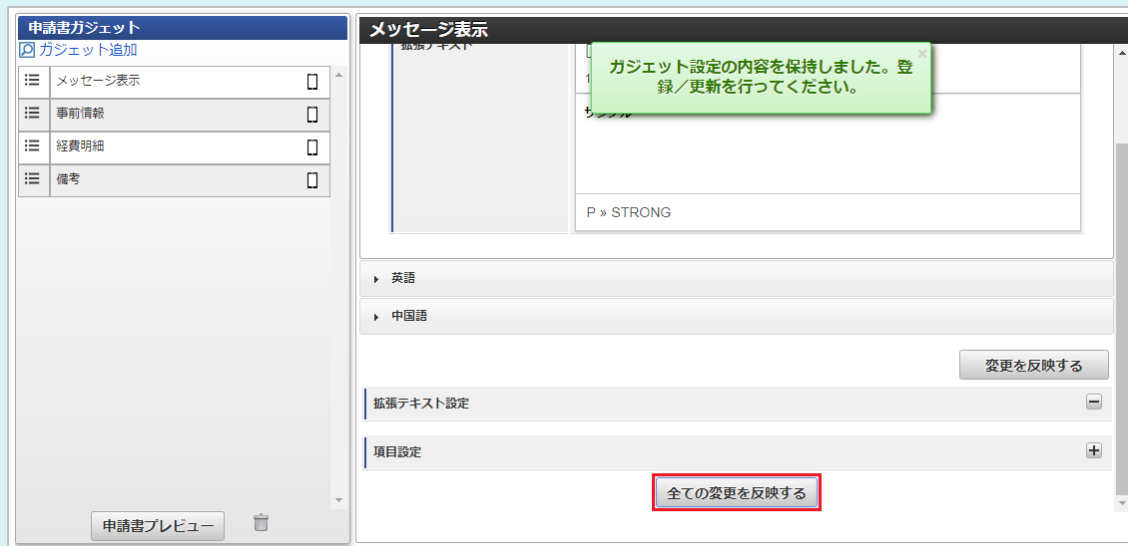


i コラム

拡張テキストのツールバーを操作することで文字サイズや文字色、太字などメッセージのスタイルを設定することができます。申請書に任意のメッセージを表示する方法は、「[申請書に任意のメッセージを表示する方法](#)」を参照してください。

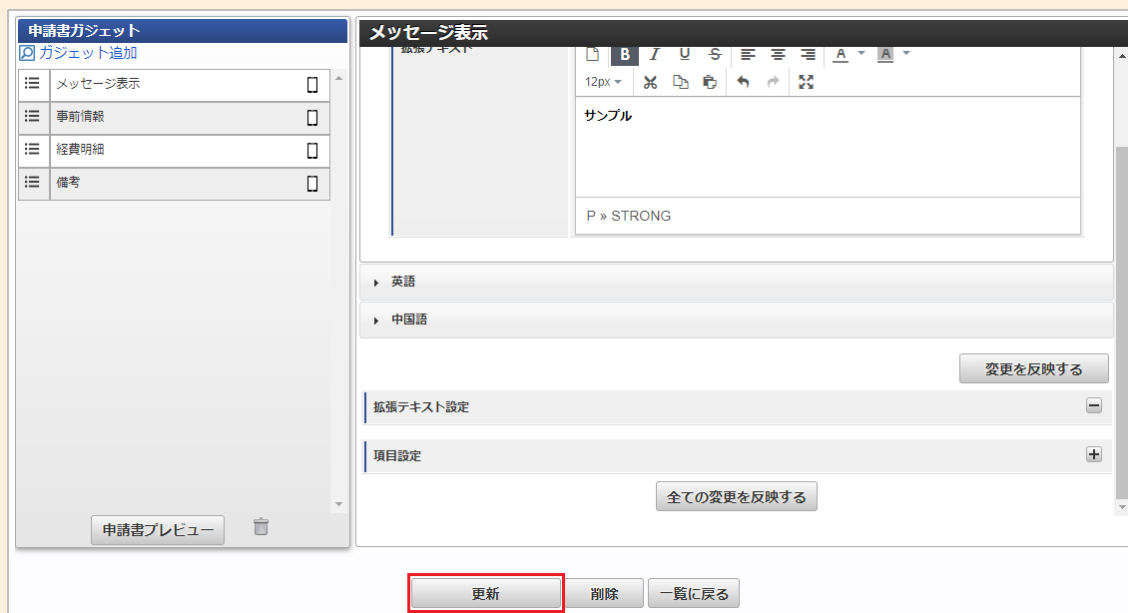
コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、拡張テキストの設定と項目の設定が全て保存されます。



注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
 「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、拡張テキスト設定、項目設定の変更が保存されません。
 また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。



項目設定

項目設定では、各ガジェットが保持する項目の次の設定について設定することができます。

- 入力/表示設定
- 必須/任意設定（必須チェックの有効/無効）
- チェックルール設定（入力チェックの設定）
- 明細制御設定（明細行の追加/削除の許可）
- ガジェット表示設定

入力/表示設定

入力/表示設定では、各ガジェットが保持する項目の入力有無を設定することができます。

i コラム

次の画面の項目は設定変更できません。

- 申請画面
- 一時保存画面
- 申請(起票案件)画面
- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面

次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

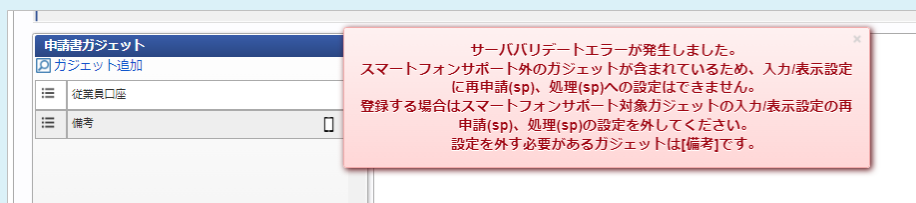
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

i コラム

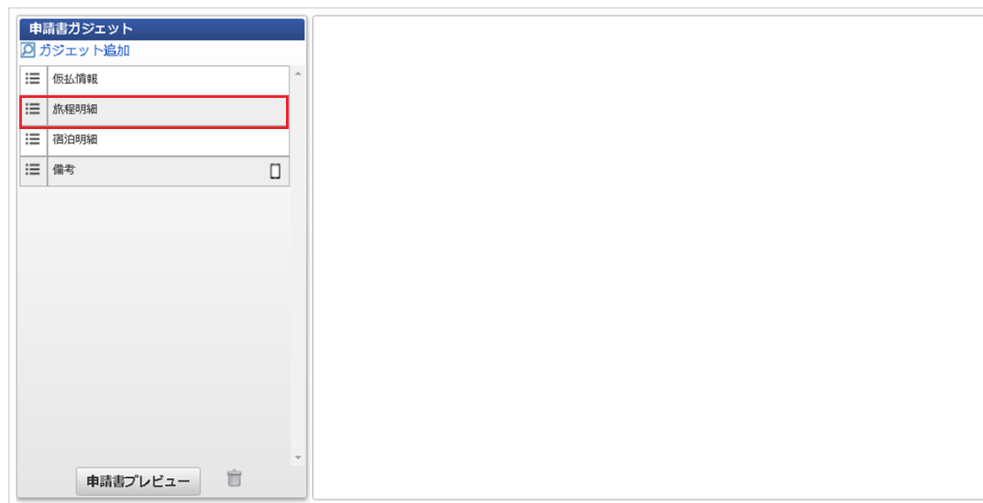
スマートフォン用画面で入力できないガジェットが含まれている場合は、入力/表示設定の次の画面の項目をラベル表示にしてください。

- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

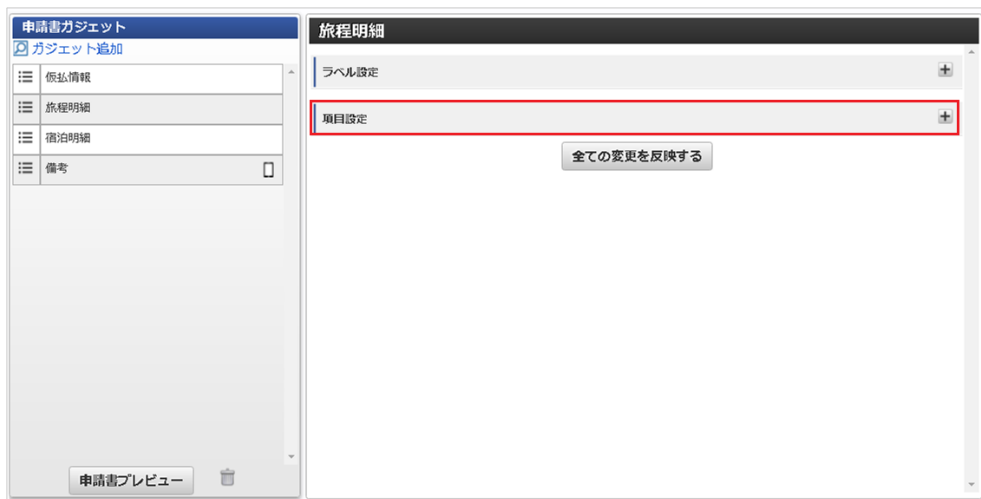
テキスト表示項目にした場合、「更新」ボタンクリック時にエラーが発生します。



1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「入力／表示設定」をクリックします。



4. 入力／表示設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合はテキスト表示項目の設定です。
- 項目が未選択状態の場合はラベル表示項目の設定です。

コラム
画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

注意
各画面種別で必須入力かつテキスト表示の項目は、申請時、処理時等に必須チェックを実施します。そのため、該当の項目が空欄の場合、入力エラーが発生します。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Widgets) and '旅程明細' (Itinerary Details) sections. The '旅程明細' table contains the following data:

項目	英語	中国語	入力欄
project	プロジェクト	プロジェクト	
roundTrip	往復	往復	
routeDate	日付	日付	
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携	
startingSpot	出発地	出発地	
supplement	補足	補足	
taxType	税区分	税区分	
travelRoute	利用区間	利用区間	

Buttons visible: 変更を反映する, 全ての変更を反映する (highlighted in red), 申請書プレビュー.

i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the same application interface as above, but with the '更新' (Update) button highlighted in red. The '旅程明細' table data is identical to the previous screenshot.

Buttons visible: 変更を反映する, 全ての変更を反映する, 更新 (highlighted in red), 削除, 一覧に戻る.

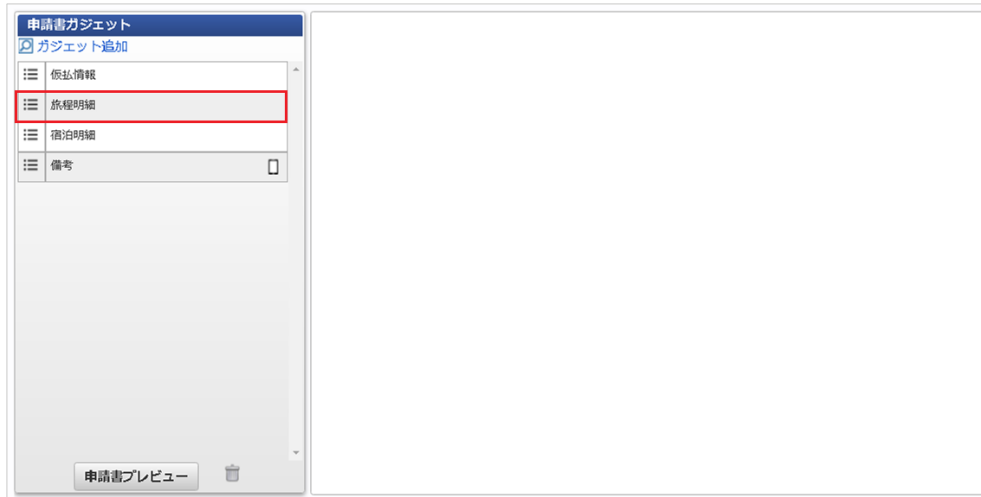
必須/任意設定

項目の必須/任意設定では、各ガジェットが保持する項目の必須入力有無（必須チェックの有効/無効）を設定することができます。項目の入力を必須に設定することで、各画面で対象項目を未入力の場合にエラーとすることができます。

i コラム

各ガジェットでシステム上必要な項目は設定できません。必須/任意設定の画面に表示されている項目のみ設定変更が可能です。

1. 設定を行うガジェットの名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「必須／任意設定」をクリックします。



4. 必須／任意設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- チェックボックスにチェックした場合は必須項目の設定です。
- チェックボックスにチェックしていない場合は任意項目の設定です。

i コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

必須設定例

		画面種別				
		申請	一時保存	申請 (起票案件)	再申請	処理
項 目	項目A	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	項目B					<input type="checkbox"/>

上記のように設定した場合、項目Aと項目Bは以下の通り設定されます。

- 項目A
申請／一時保存／申請 (起票案件) 画面の「申請」クリック時、必須チェック
再申請画面の「再申請」クリック時、必須チェック
- 項目B
処理画面の「処理」クリック時、必須チェック

! 注意

各画面種別で必須入力かつテキスト表示の項目は、申請時、処理時等に必須チェックを実施します。そのため、該当の項目が空欄の場合、入力エラーが発生します。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) and '旅程明細' (Itinerary Details) sections. The '全ての変更を反映する' (Reflect all changes) button is highlighted with a red box. A green tooltip message is displayed over the form, stating: 'ガジェット設定の内容を保持しました。登録/更新を行ってください。' (Gadget settings content has been saved. Please register/update.)

i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。
また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

The screenshot shows the same application interface as above, but with the '更新' (Update) button highlighted in red. The '全ての変更を反映する' (Reflect all changes) button is also visible. The '更新' button is located at the bottom of the page.

チェックルール設定

チェックルール設定では、各ガジェットが保持する項目の入力チェックを設定することができます。

設定可能なチェックは、『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』-「リファレンス」-「バリデート処理」を参照してください。

i コラム

チェックルール設定に対応していないガジェットは、チェックルール設定画面が表示されません。

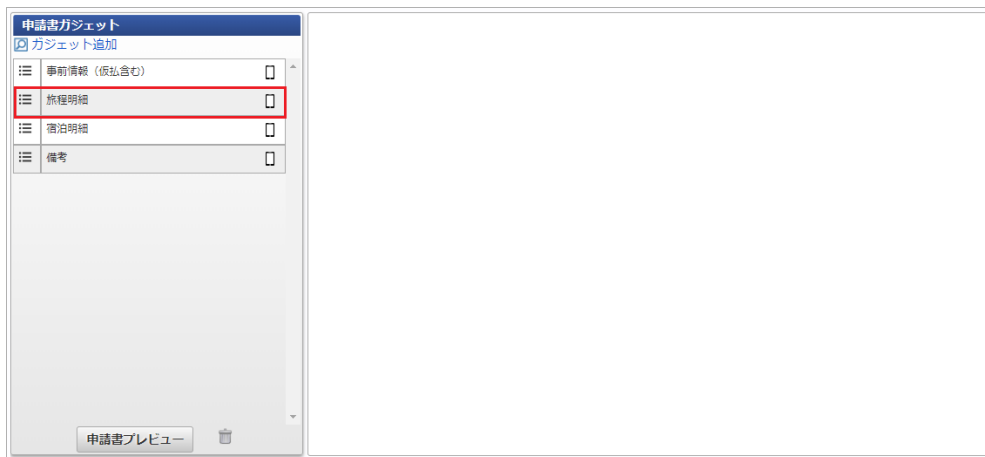
GadgetBuilder版のガジェットがチェックルール設定に対応しています。

GadgetBuilder版ではないガジェットと一部のGadgetBuilder版のガジェットはチェックルールに対応していません。

! 注意

誤った設定を実施すると、申請書が正常に動作しない可能性があります。

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「チェックルール設定」をクリックします。

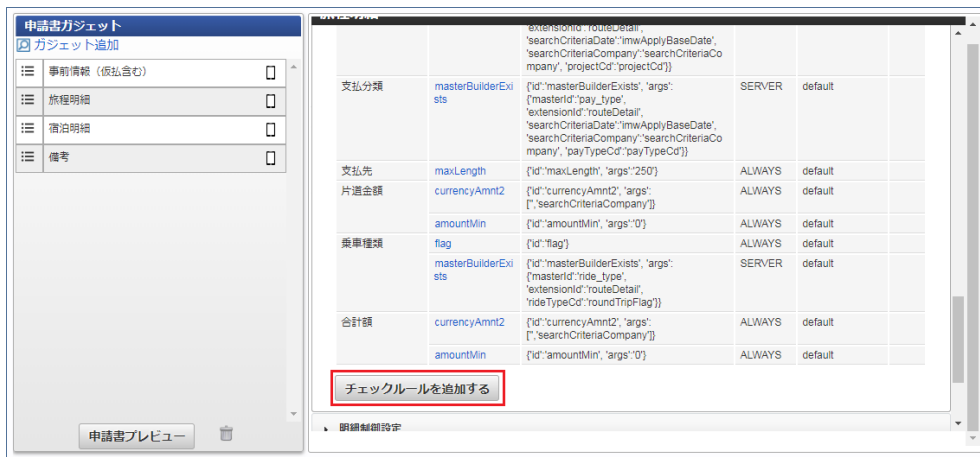


4. GadgetBuilder定義ファイルで定義された項目が表示されます。
GadgetBuilder定義ファイルで定義された項目を削除することはできません。

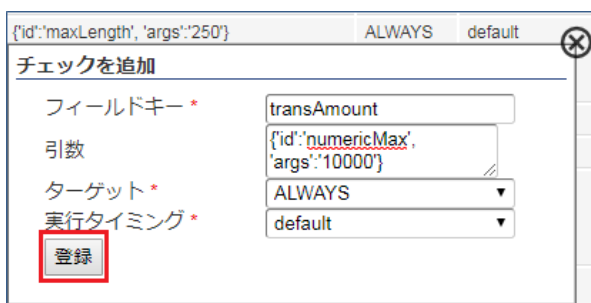


- 項目名
バリデーションを実施する項目の名称が表示されます。
項目名にフォーカスをあてるとフィールドキーが表示されます。
- バリデーションID
入力チェックのIDが表示されます。
- 引数
バリデーションID及び引数がJSON形式で表示されます。
- ターゲット
入力チェックの実行タイミングが表示されます。
- 実行タイミング
入力チェックを実行するイベントが表示されます。
- 削除
ゴミ箱アイコンが表示されたチェックルールは削除可能です。
削除したい場合、ゴミ箱アイコンをクリックしてください。

5. 入力チェックを追加したい場合、「チェックルールを追加する」をクリックします。



6. チェックを入力して「登録」をクリックします。



- フィールドキー
入力チェックを実施したい項目のフィールドキーを入力します。
フィールドキーは、該当のガジェットのGadgetBuilder定義ファイルを参照してください。
GadgetBuilder定義ファイルの格納先は、『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。
- 引数
バリデーションID及び引数をJSON形式で入力します。
入力形式の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「リファレンス」 - 「バリデート処理」を参照して「config」

に設定する内容を入力してください。

日付形式チェックの場合「{id}:'date'}」と入力します。

- ターゲット
入力チェックの実行タイミングを選択します。
- 実行タイミング
入力チェックを実行するイベントを表示します。

7. チェックルールが登録できました。



8. 「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



9. バリデーションIDをクリックすると、チェックを追加画面に該当行の設定内容が表示されます。



i コラム

選択可能なターゲットは次の通りです。

設定値	説明
CLIENT	クライアントサイドのみ実行
SERVER	サーバーサイドのみ実行
ALWAYS	クライアントサイド、サーバーサイドの両方で実行

i コラム

選択可能な実行タイミングは次の通りです。

設定値	説明
default	全てのイベントで実行
apply	申請イベント(PC版)のみ実行
applySp	申請イベント(SP版)のみ実行
temporarySave	一時保存イベント(PC版)のみ実行
temporarySaveSp	一時保存イベント(SP版)のみ実行
reapply	再申請イベント(PC版)のみ実行
reapplySp	再申請イベント(SP版)のみ実行
process	処理イベント(PC版)のみ実行
processSp	処理イベント(SP版)のみ実行

i コラム

GadgetBuilder定義ファイルで「fieldInputType」が「LABEL」のフィールド及び「groupInputType」の「LABEL」を引き継いだフィールドは、チェックルール設定に表示されません。

! 注意

実行タイミングに「warning」、「information」は設定できません。

「warning」、「information」の詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

The screenshot shows the '申請書ガジェット' (Application Gadget) configuration interface. On the left, there's a sidebar with 'ガジェット追加' (Add Gadget) and a list of categories: 仮払情報, 旅程明細, 宿泊明細, and 備考. The main area is titled '旅行明細' (Travel Details) and contains a table of fields with input controls. A green tooltip message is displayed over the table, stating 'ガジェット設定の内容を保持しました。登録/更新を行ってください。' (Gadget settings have been saved. Please register/update). At the bottom of the main area, there are two buttons: '変更を反映する' (Reflect changes) and '全ての変更を反映する' (Reflect all changes), with the latter highlighted by a red box.

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

明細制御設定

明細制御設定では、明細行があるガジェットの場合、明細行の追加許可・削除許可を設定することができます。

i コラム

次の画面の項目は設定変更できません。

- 申請画面
- 一時保存画面
- 申請(起票案件)画面
- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面

次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

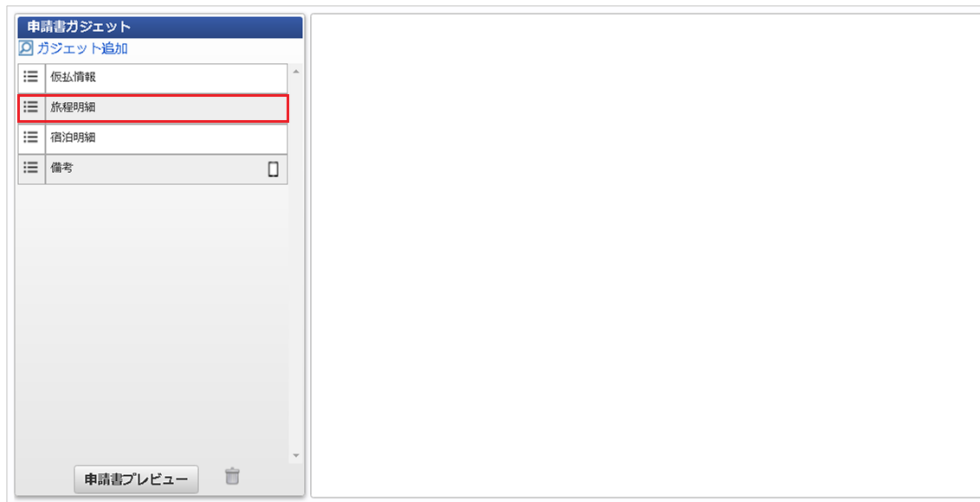
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

i コラム

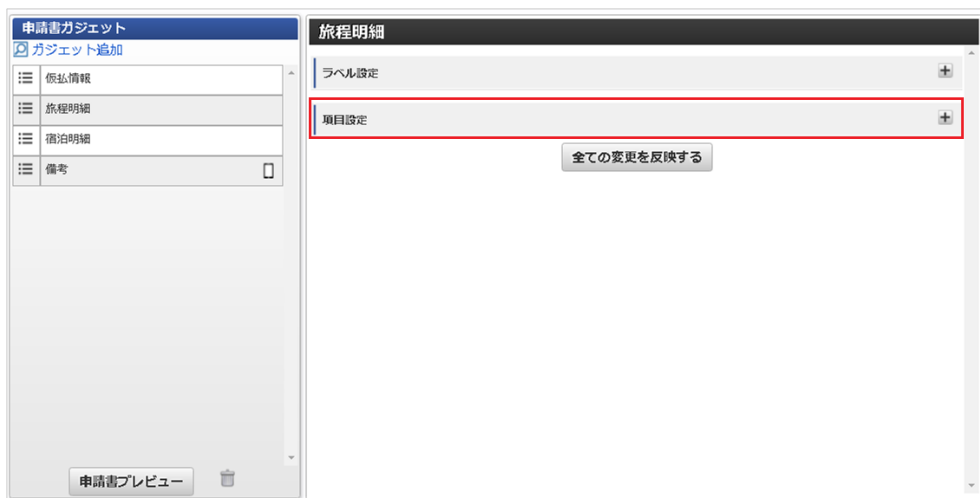
スマートフォン用画面で入力できないガジェットが含まれている場合は、明細制御設定の次の画面の追加・削除を禁止にしてください。

- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「明細制御設定」をクリックします。



4. 明細制御設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合は許可の設定です。
- 項目が未選択状態の場合は禁止の設定です。

i コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。



i コラム

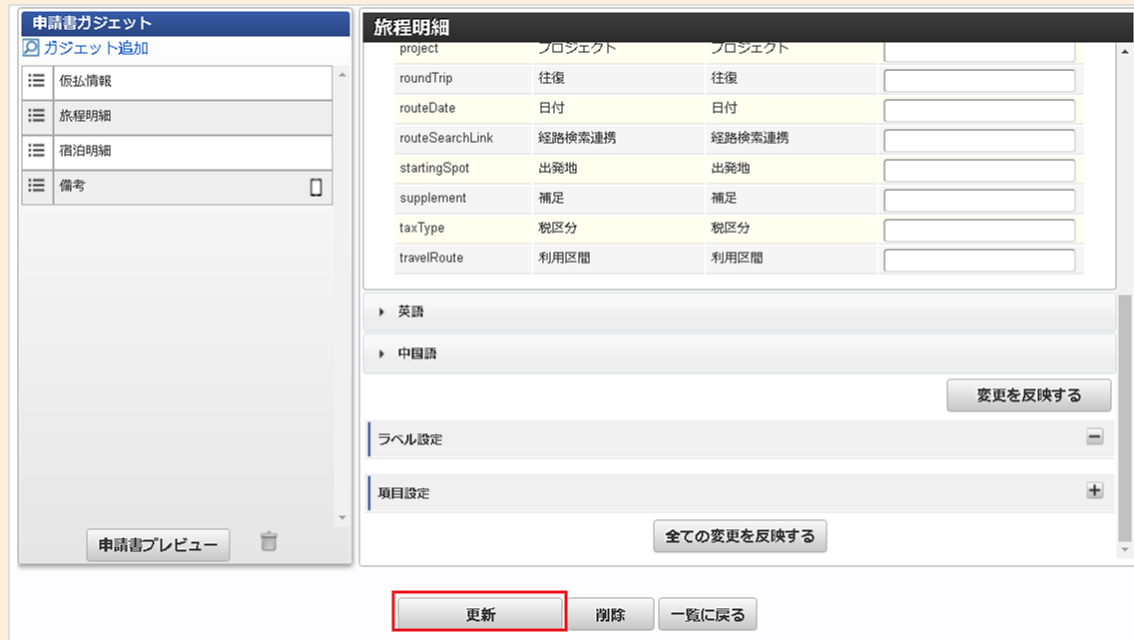
ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。

「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。

また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。



project	プロジェクト	プロジェクト	
roundTrip	往復	往復	
routeDate	日付	日付	
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携	
startingSpot	出発地	出発地	
supplement	補足	補足	
taxType	税区分	税区分	
travelRoute	利用区間	利用区間	

Buttons: 変更を反映する, ラベル設定, 項目設定, 全ての変更を反映する, 更新, 削除, 一覧に戻る

ガジェット表示設定

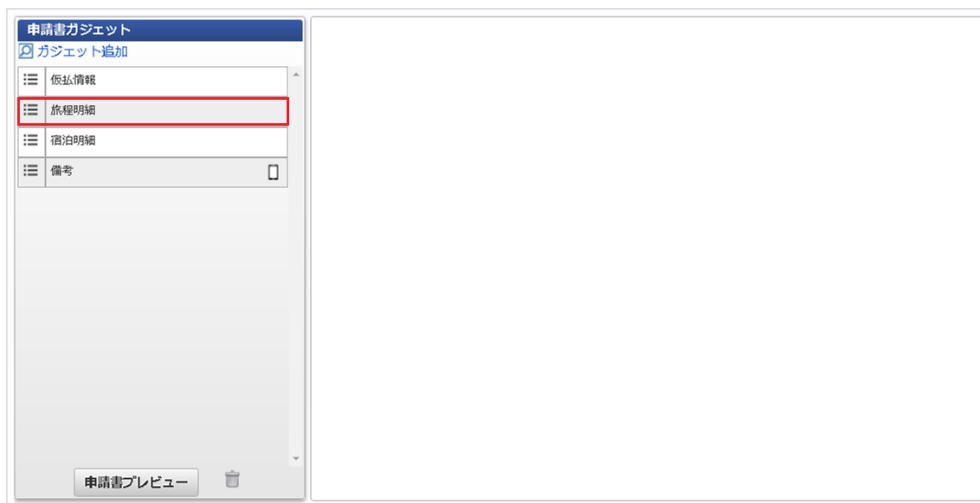
ガジェット表示設定では、各ガジェットの表示状態を画面種別ごとに設定することができます。

i コラム

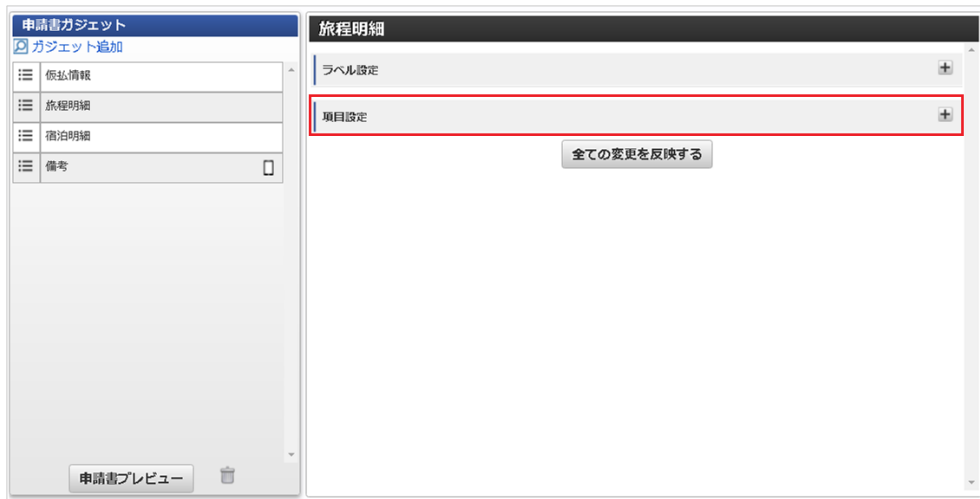
次の画面の項目は、スマートフォン用画面で申請可能なガジェットのみ、設定変更できます。

- 申請(sp)画面
- 一時保存(sp)画面
- 申請(起票案件)(sp)画面
- 再申請(sp)画面
- 処理(sp)画面

1. 設定を行うガジェットのガジェット名をクリックします。



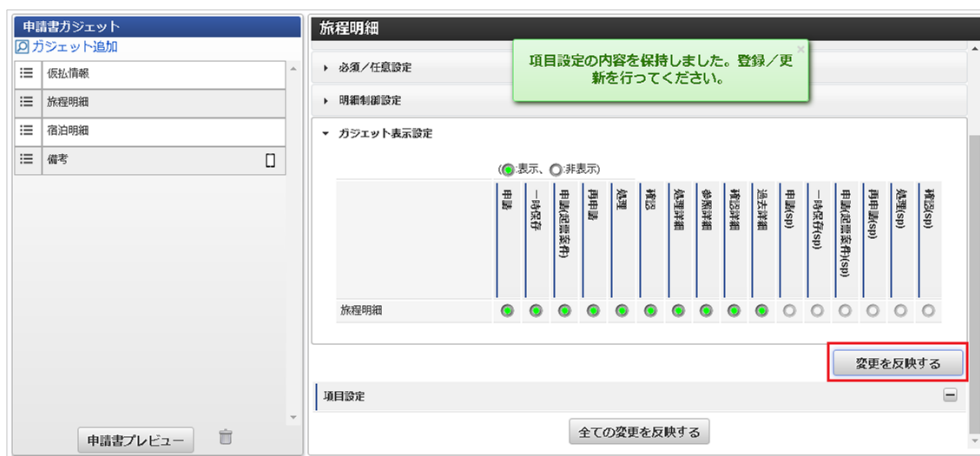
2. 「項目設定」をクリックします。



3. 「ガジェット表示設定」をクリックします。



4. ガジェット表示設定を行い、「変更を反映する」ボタンをクリックして項目の設定を保存します。



- 項目が選択状態の場合は表示の設定です。
- 項目が未選択状態の場合は非表示の設定です。

i コラム

画面種別や項目名をクリックすることで、一括選択が可能です。

i コラム

「全ての変更を反映する」ボタンをクリックすると、ラベル設定と項目設定の両方の設定が一括保存されます。

項目	英語	中国語
project	プロジェクト	プロジェクト
roundTrip	往復	往復
routeDate	日付	日付
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携
startingSpot	出発地	出発地
supplement	補足	補足
taxType	税区分	税区分
travelRoute	利用区間	利用区間

変更を反映する

全ての変更を反映する

i コラム

ラベル設定、項目設定変更後の申請書のプレビューを確認したい場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしてから「申請書プレビュー」ボタンをクリックしてください。

! 注意

ラベル設定、項目設定を変更した場合、「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックした後、「更新」ボタンをクリックしてください。
「変更を反映する」ボタンまたは「全ての変更を反映する」ボタンをクリックしない場合、ラベル設定、項目設定の変更が保存されません。
また、「更新」ボタンをクリックしない場合、コンテンツバージョンの変更が保存されません。

項目	英語	中国語
project	プロジェクト	プロジェクト
roundTrip	往復	往復
routeDate	日付	日付
routeSearchLink	経路検索連携	経路検索連携
startingSpot	出発地	出発地
supplement	補足	補足
taxType	税区分	税区分
travelRoute	利用区間	利用区間

変更を反映する

全ての変更を反映する

更新 削除 一覧に戻る

初期データ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の初期データには次のコンテンツが含まれています。

i コラム

GadgetBuilder版コンテンツへ入替への設定により、コンテンツの内容が異なります。

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール」を参照して設定してください。

GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施しない場合

コンテンツ	コンテンツID	ガジェット	ガジェットクラス	バリエーション
経費事前申請	gnexpadv_v01	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費精算申請	gnexpstl_v01	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請	trexpadv_v01	出張(旅費)情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v03
		仮払情報	advance	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請	trexpstl_v01	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費事前申請	etexpadv_v01	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
交際費精算申請	etexpstl_v01	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv_v02	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01

		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費精算申請 (多通貨)	gnexpstl_v02	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請 (多通貨)	trexpadv_v02	出張(旅費)情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v03
		仮払情報	advance	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請 (多通貨)	trexpstl_v02	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
旅費精算申請 (近距離)	trexpstl_v03	精算情報 (精算のみ)	settle	v02
		旅程明細 (近距離)	routeDetail	v03
		備考	generic	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
交際費事前申請 (多通貨)	etexpadv_v02	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		仮払情報	advance	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費精算申請 (多通貨)	etexpstl_v02	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
経費支払申請	billpayment_v01	請求書払情報	billPaymentInfo	v01
		請求書払明細	billPaymentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01

		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
旅費精算申請（近距離）ファイル添付	trexpstl_v04	精算情報（精算のみ）	settle	v02
		旅程明細（近距離）	routeDetail	v03
		ファイル添付明細	fileAttachDetail	v01
		備考	generic	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
口座変更申請	bankaccount_v01	従業員口座	chgEmpBank	v01
通勤経路変更申請	commroute_v01	通勤経路	chgCommRoute	v01
家族異動届	chgempfamily_v01	家族異動	chgEmpFamily	v01
支払先登録申請	payeeregist_v01	支払先申請	payeeRegister	v01
電子化申請	digitization_v01	ファイル明細	fileDetail	v01
		ファイル検索	searchFile	v01
汎用申請	general_v01	備考	generic	v01

GadgetBuilder版コンテンツへ入替えを実施した場合

コンテンツ	コンテンツID	ガジェット	ガジェットクラス	バリエーション
経費事前申請	gnexpadv_v01	経費旅費情報 （概算費用あり）	expenseInfo	v01
		事前情報（仮含む）	advance	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費精算申請	gnexpstl_v01	経費旅費情報 （概算費用なし）	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請	trexpadv_v01	出張(旅費)情報 （概算費用あり）	expenseInfo	v03
		事前情報（仮含む）	advance	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請	trexpstl_v01	出張(旅費)情報 （概算費用なし）	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細	routeDetail	v01
		宿泊明細	lodgeDetail	v01
		日当明細	allowanceDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01

交際費事前申請	etexpadv_v01	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		事前情報 (仮払含む)	advance	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費精算申請	etexpstl_v01	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		経費明細	expenseDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
経費事前申請 (多通貨)	gnexpadv_v02	経費旅費情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v01
		事前情報 (仮払含む)	advance	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
経費精算申請 (多通貨)	gnexpstl_v02	経費旅費情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
出張事前申請 (多通貨)	trexpadv_v02	出張(旅費)情報 (概算費用あり)	expenseInfo	v03
		事前情報 (仮払含む)	advance	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請 (多通貨)	trexpstl_v02	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	expenseInfo	v04
		精算情報	settle	v01
		旅程明細 (複数通貨)	routeDetail	v02
		宿泊明細 (複数通貨)	lodgeDetail	v02
		日当明細 (複数通貨)	allowanceDetail	v02
		経費明細 (複数通貨)	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
旅費精算申請 (近距離)	trexpstl_v03	精算情報 (精算のみ)	settle	v02
		旅程明細 (簡易)	routeDetail	v03
		備考	generic	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01

交際費事前申請（多通貨）	etexpadv_v02	経費旅費情報 （概算費用あり）	expenseInfo	v01
		事前情報（仮払含む）	advance	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		経費明細（複数通貨）	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
交際費精算申請（多通貨）	etexpstl_v02	経費旅費情報 （概算費用なし）	expenseInfo	v02
		精算情報	settle	v01
		交際情報	entertainmentDetail	v01
		経費明細（複数通貨）	expenseDetail	v02
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
経費支払申請	billpayment_v01	請求書払情報	billPaymentInfo	v01
		請求書払明細	billPaymentDetail	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
旅費精算申請（近距離）ファイル 添付	trexpstl_v04	精算情報（精算のみ）	settle	v02
		旅程明細（簡易）	routeDetail	v03
		ファイル添付明細	fileAttachDetail	v01
		備考	generic	v01
		会計期間チェック	accountingPeriodValidate	v01
		費用明細行数チェック	expenseCountValidate	v01
口座変更申請	bankaccount_v01	従業員口座	chgEmpBank	v01
通勤経路変更申請	commroute_v01	通勤経路	chgCommRoute	v01
		経路検索	routeSearch	v01
家族異動届	chgempfamily_v01	家族異動	chgEmpFamily	v01
支払先登録申請	payeeregist_v01	支払先申請	payeeRegister	v01
電子化申請	digitization_v01	ファイル明細	fileDetail	v01
		ファイル検索	searchFile	v01
汎用申請	general_v01	備考	generic	v01

ルート定義

IM-Workflowの機能を利用してルート定義を作成します。
ルート定義の作成方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

フロー定義

IM-Workflowの機能を利用してフロー定義を作成します。
フロー定義の作成方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。



コラム

コンテンツ定義で複数画面を設定した場合は忘れずに設定してください。

その他の定義

IM-Workflowの機能を利用してその他の定義を作成します。

作成方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

- 案件プロパティ定義
- ルール定義
- メール定義

案件プロパティ定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の初期データとして、次の案件プロパティが登録されています。

コンテンツ定義で選択した申請書タイプによって、利用可能な案件プロパティが変わりますのでご注意ください。

案件プロパティ	案件プロパティキー	型	設定内容
仮払金額	K_AdvAmount	数値	事前申請書で入力した仮払金額
費用合計	K_ExpenseAmount	数値	精算申請書の各明細の金額の合計値
会社負担額合計	K_CompanyPayAmount	数値	精算申請書内の各明細に入力された金額のうち、支払分類が立替以外である金額の合計値
精算予定額合計	K_AdvanceOffset	数値	精算申請書で入力した精算予定額の合計値
本人立替額合計	K_TemporaryPayAmount	数値	精算申請書内の各明細に入力された金額のうち、支払分類が立替である金額の合計値
精算額	K_AdjustmentAmount	数値	「本人立替額合計」から「精算予定額合計」を減じた値
概算費用	K_ApproximateAmount	数値	概算費用に入力した値

申請書タイプ別の利用可能な案件プロパティ

案件プロパティ	案件プロパティキー	一般	事前申請書	精算申請書	請求書払申請書
仮払金額	K_AdvAmount		○		
費用合計	K_ExpenseAmount			○	○
会社負担額合計	K_CompanyPayAmount			○	○
精算予定額合計	K_AdvanceOffset			○	
本人立替額合計	K_TemporaryPayAmount			○	
精算額	K_AdjustmentAmount			○	
概算費用	K_ApproximateAmount	○	○	○	



注意

概算費用は、GadgetBuilder版ガジェットのみ案件プロパティを登録します。

ルール定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の独自設定はありませんので、必要に応じて設定を行ってください。

金額による分岐ルールなどを設定する場合は、案件プロパティ定義をご利用ください。

メール定義

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の独自設定はありませんので、必要に応じて設定を行ってください。

メール本文に金額などを設定する場合は、案件プロパティ定義をご利用ください。

仕訳データ

本項では、仕訳データの作成／出力方法を説明します。

- 概要
- 仕訳のパターン
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - エクスポートファイルの取得
- 実行パラメータ

概要

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、申請データを仕訳データとして出力する機能を提供しています。
仕訳機能の詳細は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / 仕訳機能詳細』を参照してください。

仕訳のパターン

1. 仮払金の仕訳

事前申請書にて入力された仮払額を基に、仮払金に関する仕訳を作成できます。
仮払額がない（0）の場合、仕訳は作成されません。

仕訳例（仮払金50,000を希望した事前申請仕訳）

借方		貸方	
仮払金	50,000	現預金など	50,000



コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
仕訳パラメータマスタの仮払金勘定科目コード
- 現預金など
支払方法マスタの債務勘定科目コード

2. 経費支出（仮払なし）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（交通費10,000の精算申請仕訳）

借方		貸方	
旅費交通費	10,000	未払金など	10,000



コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 旅費交通費
経費区分マスタの勘定科目コード
- 未払金など
支払分類マスタで立替対象に設定されている場合、支払方法マスタの債務勘定科目コード
支払分類マスタで立替対象外に設定されている場合、支払分類マスタの債務勘定科目コード

3. 経費支出（仮払あり、追払いあり）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を行った場合の仕訳）

借方		貸方	
----	--	----	--

旅費交通費	51,000	仮払金	50,000
		未払金など	1,000

コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
仕訳パラメータマスタの仮払金勘定科目コード
- 旅費交通費
経費区分マスタの勘定科目コード
- 未払金など
支払分類マスタの債務勘定科目コード

4. 経費支出（仮払あり、戻入あり）の仕訳

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

仕訳例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費49,000の精算申請を行った場合の仕訳）

借方		貸方	
旅費交通費	49,000	仮払金	50,000
現預金など	1,000		

コラム

仕訳データとして出力される勘定科目コードは、以下から判定されます。

- 仮払金
仕訳パラメータマスタの仮払金勘定科目コード
- 旅費交通費
経費区分マスタの勘定科目コード
- 現預金など
事前申請書で選択した支払方法マスタの債務勘定科目コード
仕訳パラメータマスタの戻入勘定科目コードが設定されている場合はそちらが優先されます。

注意

仮払金の計上先（部門・プロジェクト）と費用の計上先（部門・プロジェクト）が異なる場合は、いったん仮払金をすべて戻入したのち経費支出の仕訳を起こしますので、注意してください。

仕訳例

仮払金50,000（計上先A）の事前申請書に対し、交通費49,000（計上先B）の旅費精算申請書を作成し、承認された。

仮払金の仕訳

借方		貸方	
仮払金	(計上先A) 50,000	現預金など	(計上先A) 50,000

経費支出の仕訳

借方		貸方	
現預金など	(計上先A) 50,000	仮払金	(計上先A) 50,000
旅費交通費	(計上先B) 49,000	未払金など	(計上先B) 49,000

! 注意

仮払金の支払方法と費用の支払方法が異なる場合は、いったん仮払金をすべて戻入したのち経費支出の仕訳を起こしますので、注意してください。

仕訳例

仮払金50,000（現金）の事前申請書に対し、交通費49,000（銀行振込）の旅費精算申請書を作成し、承認された。

仮払金の仕訳

借方			貸方
仮払金	50,000	現預金など	50,000

経費支出の仕訳

借方			貸方
現預金など	50,000	仮払金	50,000
旅費交通費	49,000	未払金など	49,000

! 注意

請求書払明細（外貨支払）ガジェットを利用すると、マイナス金額の入力が可能です。仕訳出力時に金額がマイナスの場合は、貸借を入れ替え、金額をプラスで出力します。

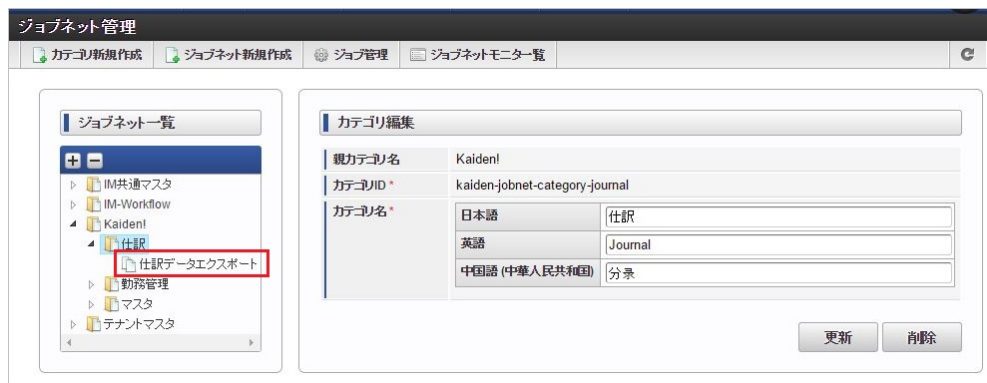
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用した仕訳出力方法を説明します。

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「仕訳データエクスポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-journal-create	Kaiden! / 仕訳 / 仕訳データ作成
kaiden-job-journal-export	Kaiden! / 仕訳 / 仕訳データエクスポート

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

エクスポートファイルの取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/会社コード/export

ファイル名 journal_実行日時.csv

会社単位で仕訳エクスポートが行われますので、ダウンロード先のディレクトリは各会社単位です。

ファイル名には実行日付（「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式）が付与されます。



コラム

エクスポートファイルをダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

各実行パラメータに記載がない場合、「仕訳データエクスポート」ジョブのみで使用されます。

名称	キー	説明／設定値
処理対象会社コード	company_cd	「仕訳データ作成」、「仕訳データエクスポート」で処理を行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
エクスポートファイル	target_file	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/{COMPANY_CD}/export/ journal_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
ヘッダー出力有無	header_output	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：true) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : 出力する ▪ false : 出力しない
既存ファイル操作	file_operation	同名のファイルが存在する場合の操作を設定します。 (省略時：2) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : エラーを出力する ▪ 2 : 上書き保存する

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{COMPANY_CD} : 会社コード

振込データ

本項では、振込（FB）データのメンテナンス／出力方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
- エクスポート
 - 出力条件
 - 出力パターン
 - 出力方法（一括）
 - 出力方法（個別）

概要

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費では、申請データを元に従業員の仮払金及び経費立替の振込データを入力する機能を提供しています。また、振込データは出力のステータス変更が可能です。

メンテナンス

F Bデータメンテナンス機能では、振込データを出力不要に設定したり、振込データの再出力が行えるようにステータス変更が可能です。本項では、振込データのステータス変更方法を説明します。

i コラム

変更可能なステータスは次の通りです。

変更前		変更可能な状態
出力可能（未出力）	→	出力不要
出力済	→	出力可能（未出力）
出力不要	→	出力可能（未出力）

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「メンテナンス」をクリックします。
2. F Bデータメンテナンス画面表示後、F Bステータスを選択し「検索」をクリックします。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社	サンプル会社	振込日	
振込元口座		FBステータス	出力可能
社員名		最終承認日	
FBデータ出力日		仮払希望日	
立替精算口座有無	<input type="checkbox"/> 立替精算口座がない社員のみを対象にする		

検索 クリア

✓ No	▲ 社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ前へ 1 次へ最後へ

出力不要にする 出力可能にする

3. 行をクリックし、ステータスを変更するデータを選択します。
詳細アイコンをクリックすると、申請書の詳細を別画面で表示します。
権限のない申請書の詳細アイコンをクリックしても、申請書は表示されません。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社: サンプル会社 | 振込日: | 振込元口座: | FBステータス: 出力可能
 社員名: | 最終承認日: | FBデータ出力日: | 仮払希望日: | 立替精算口座有無: 立替精算口座がない社員のみを対象とする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

出力不要にする 出力可能にする

4. 「出力不要にする」、「出力可能にする」をクリックします。

※ここでは出力可能から出力不要に変更します。

FBデータメンテナンス

出力不要にする

会社: サンプル会社 | 振込日: | 振込元口座: | FBステータス: 出力可能
 社員名: | 最終承認日: | FBデータ出力日: | 仮払希望日: | 立替精算口座有無: 立替精算口座がない社員のみを対象とする

検索 クリア

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

出力不要にする 出力可能にする

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 振込データのステータス変更ができました。

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	maruyama	円山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

エクスポート

本項では、F Bデータ出力機能を利用した振込データの出力方法を説明します。

出力条件

振込データが作成される条件は以下の通りです。

- 仮払金や立替経費に関する仕訳データが出力されている。
- **仕訳パラメータマスタ**でFB出力対象に設定している。
- FB出力対象の**支払方法マスタ**を利用している。
- 振込先として、**従業員口座マスタ**に立替精算の口座情報が登録されている。

出力パターン

- **仮払金の振込データ**
事前申請書にて入力された仮払金に対する振込データを作成できます。

例（仮払金50,000を希望した事前申請）
50,000の振込データが作成できます。

- **経費支出（仮払なし）の振込データ**
精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（交通費10,000の精算申請）
10,000の振込データが作成できます。

- **経費支出（仮払あり、追払いあり）の振込データ**
精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を行った場合）
1,000の振込データが作成できます。

- **経費支出（仮払あり、戻入あり）の振込データ**
精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費49,000の精算申請を行った場合）
-1,000の振込データが作成できます。

コラム

この場合、振込データはマイナスですが、振替データを作成できるわけではありません。
マイナスの振込データのため、振込データ出力時にプラスの振込データと相殺させて出力します。

! 注意

紐づけた事前申請書の仮払手段と、精算申請書の精算手段が異なると、仮払金を相殺して振込データを出力できません。

例（仮払金を現金で50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を銀行振り込みで行った場合）

51,000の振込データが作成され、仮払金の50,000は相殺されません。

出力方法（一括）

仮払金や立替経費の精算に関する振込データを一括出力することができます。

出力した振込データをファームバンキング端末などに連携することで、振込に関する作業の省力化を実現できます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「一括出力」をクリックします。
2. FBデータ一括出力画面表示後、検索条件を設定し「検索」をクリックします。

- 振込日
振込日を入力します。
- 振込元口座
振込元口座（ファームバンキング端末等にて振込依頼をする口座）を選択します。
- 立替精算口座がない従業員
立替精算口座がない従業員の処理スキップ有無を選択します。
- 金額がマイナスの従業員
振込金額がマイナスの従業員の処理スキップ有無を選択します。

i コラム

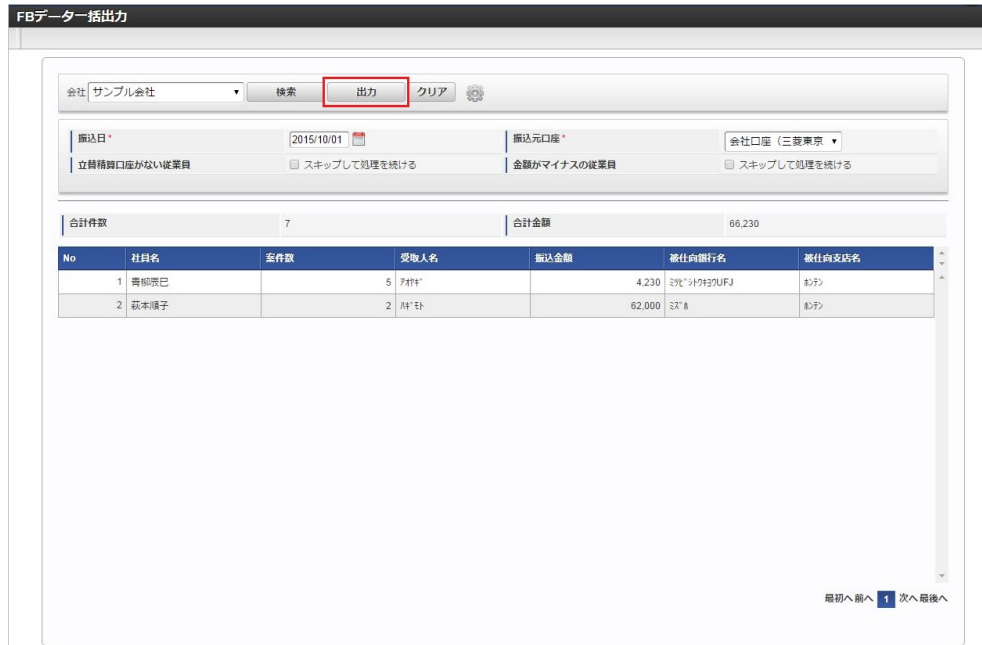
振込データの絞り込みについて

振込データは、詳細検索アイコンをクリックすることで、詳細な検索条件を指定することができます。

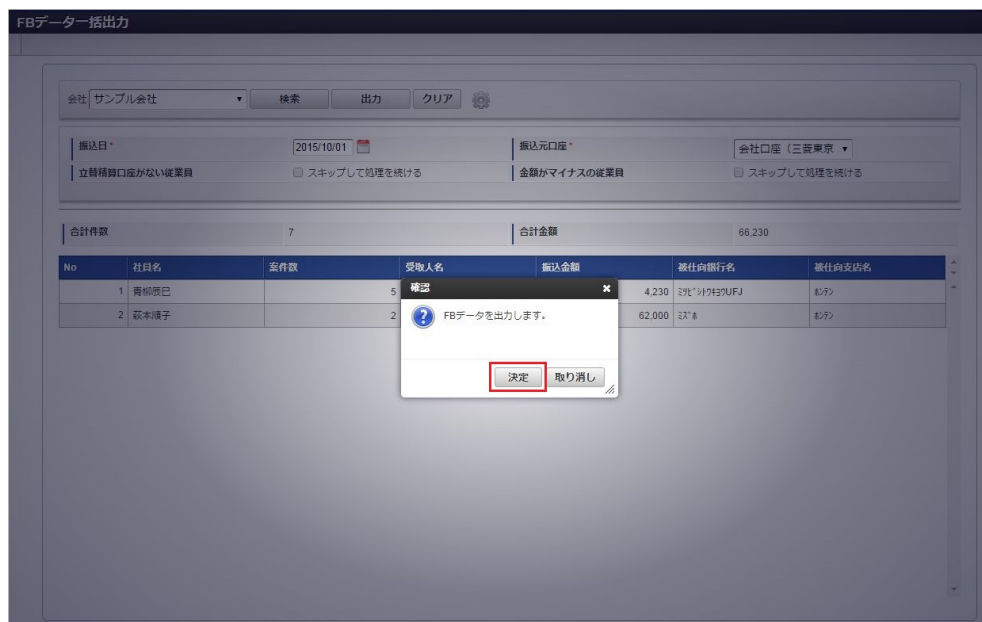
- 振込先銀行
振込先の銀行（支店）を設定します。
- 組織
振込を行う従業員の組織を設定します。
- 社員名
振込を行う従業員の名称を設定します。
- 最終承認日
振込を行うデータの最終承認日を設定します。
- 仮払希望日
振込を行うデータの仮払希望日を設定します。
- FBデータ出力日
振込を行うデータの出力日を設定します。
- 振込日
振込を行うデータの振込日を設定します。
- 仕訳出力日
振込を行うデータの仕訳出力日を設定します。

3. 振込元口座を設定します。

振込データを確認し「出力」をクリックします。

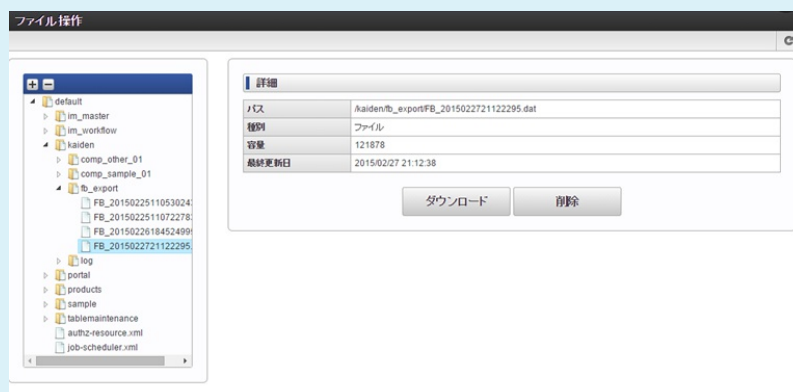


4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



コラム

ストレージにファイルが出力されますので、出力されたファイルを所定のフォルダに転送していただく運用も可能です。転送用のバッチは標準機能ではご用意していませんので、作成いただく必要があります。



! 注意

一括出力を行う場合、FBデータ出力用のジョブ及びジョブネット情報が登録されている必要があります。登録されていない場合、ジョブの起動に失敗し出力が行えませんので、削除しないように注意してください。万が一、削除してしまった場合、再度同じIDでジョブおよびジョブネット情報を登録してください。

- ジョブ
ID : kaiden-job-fb-export
- ジョブネットカテゴリ
kaiden-jobnet-prwf-fb-export
このカテゴリ以下に、オンライン用のジョブネットが登録され、実行されます。

出力方法（個別）

仮払金や立替経費の精算に関する振込データを個別出力することができます。

出力した振込データをファームバンキング端末などに連携することで、振込に関する作業の省力化を実現できます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「Firm Banking」→「出力」をクリックします。
2. FBデータ出力画面表示後、「検索」をクリックします。

FBデータ出力

会社	サンプル会社	社員名					
振込先銀行名		最終承認日					
仮払希望日		FBデータ出力日					
<input type="button" value="検索"/> <input type="button" value="クリア"/>							
振込日*		振込元口座*					
<input type="button" value="出力"/>							
✓ No	▲ 社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳		0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	円山益男		0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

3. 振込日、振込元口座を設定します。
振込データの対象行をクリックし、振込対象データを選択します。

FBデータ出力

会社: サンプル会社 | 社員名: [検索]

振込先銀行名: [検索] | 最終承認日: [日付] - [日付]

振込希望日: [日付] - [日付] | FBデータ出力日: [日付] - [日付]

[検索] [クリア]

振込日*: 2013/08/30 | 振込元口座*: 三菱UFJ 丸の内 | [出力]

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	振込希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳	[詳細]	0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男	[詳細]	0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ前へ 1 次へ最後へ

- 振込日
振込日を入力します。
- 振込元口座
振込元口座（ファームバンキング端末等にて振込依頼をする口座）を選択します。



注意

振込データは同時に20案件（一覧表示の最大件数）分まで出力可能です。
ページを跨いで複数の案件を同時に出力することはできません。

- 「出力」をクリックします。

FBデータ出力

会社: サンプル会社 | 社員名: [検索]

振込先銀行名: [検索] | 最終承認日: [日付] - [日付]

振込希望日: [日付] - [日付] | FBデータ出力日: [日付] - [日付]

[検索] [クリア]

振込日*: 2013/08/30 | 振込元口座*: 三菱UFJ 丸の内 | [出力]

No	社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	振込希望日	最終承認日
1	aoyagi	青柳辰巳	[詳細]	0000000025	新商品開発に関する大阪支社出張	2013/8/29	2013/8/28 18:27:23
2	maruyama	丸山益男	[詳細]	0000000026	事務用品購入	2013/8/29	2013/8/28 18:30:11

最初へ前へ 1 次へ最後へ

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



i コラム

マイナスの振込データについて

仮払金の戻入が発生した場合、マイナスの振込データが作成されます。
このマイナスの振込データは、ほかのプラスの振込データと相殺するために利用できます。

以下のように、-2,000と50,000を相殺させ、48,000の振込データを作成できます。

✓	No	▲社員コード	社員名	詳細	案件番号	案件名	仮払希望日	最終承認日	振込金額	振込先銀行
✓	1	maruyama	円山益男		0000000028	事務用品の購入		2013/8/28 20:10:42	-2,000	三菱東京UF
✓	2	maruyama	円山益男		0000000029	〇〇社との業務提携に向けた打ち合...		2013/8/28 20:14:31	50,000	三菱東京UF

マイナスの振込データの相殺は、本人以外の振込データとはできません。
※円山さんのマイナス振込データは、円山さんのプラス振込データとしか相殺できません。

精算ステータス

本項では、精算ステータスのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- [精算ステータス変更](#)

概要

承認された事前申請には、次の様なステータス（精算状況）があり、本機能ではこのステータスの一部を変更できます。

- 未精算
- 精算中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 精算済
- 精算不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「精算中～精算済」に変化しますが、本機能では、未精算と精算不要を切り替えることができます。

精算ステータス変更

精算ステータスを未精算から精算不要にする

未精算の事前申請書が、何らかの理由により精算する必要がなくなった場合、当該申請書を精算不要にできます。
精算不要にした事前申請書に対する精算申請書は、作成できません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「仮払未精算データ」→「メンテナンス」をクリックします。

仮払未精算データメンテナンス

精算状況 未精算 精算不要

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

仮払金額

申請組織

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
------	----	------	-----	---------	-------	------	----

精算不要に変更 未精算に変更

2. 検索欄の精算状況に **未精算** を設定し「検索」をクリックすると、仮払未精算のデータが一覧表示されます。

仮払未精算データメンテナンス

精算不要に変更

精算状況 未精算 精算不要

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

仮払金額

申請組織

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	16,000	16,000
2		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
3		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0
4		0000000920	PC購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	8,000	5,000

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

- 詳細**
 事前申請書の詳細を別画面で表示します。
 権限のない事前申請書の詳細アイコンをクリックしても、申請書は表示されません。
- 仮払金額**
 事前申請で承認された仮払金額を表示します。
- 残額**
 未精算の仮払額の残高です。
 すでに精算済の仮払額を差し引いた残りを表示しています。

例) 仮払金8,000のうち3,000が精算済の場合、残額として5,000が表示されます。

i コラム

仮払金が0の場合でも、精算申請の作成は必要のため、未精算であれば表示されます。

3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックがつきます。

仮払未精算データメンテナンス

精算不要に変更

精算状況	<input checked="" type="radio"/> 未精算 <input type="radio"/> 精算不要	会社	サンプル会社
案件番号	<input type="text"/>	案件名	<input type="text"/>
申請基準日	<input type="text"/> - <input type="text"/>	仮払金額	<input type="text"/> - <input type="text"/>
申請組織	<input type="text"/>	申請権限者	<input type="text"/>

検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	16,000	16,000
✓	2		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
✓	3		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0
	4		0000000920	PC購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	8,000	5,000

最初へ前へ 1 次へ最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

4. 「精算不要に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。
確認ポップアップの「決定」をクリックします。

仮払未精算データメンテナンス

精算不要に変更

精算状況	<input checked="" type="radio"/> 未精算 <input type="radio"/> 精算不要	会社	サンプル会社
案件番号	<input type="text"/>	案件名	<input type="text"/>
申請基準日	<input type="text"/> - <input type="text"/>	仮払金額	<input type="text"/> - <input type="text"/>
申請組織	<input type="text"/>	申請権限者	<input type="text"/>

検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	青柳辰巳	16,000	16,000
✓	2		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
✓	3		0000000915	経費申請			0	0
	4		0000000920	PC購入申請			8,000	5,000

確認

更新します。

決定 取り消し

最初へ前へ 1 次へ最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

5. 一覧からデータが消え、精算状況が精算不要に変更されました。

intra-mart Top Workflow 皆伝! サイトマップ 音柳辰巳

仮払未精算データメンテナンス 更新しました。

精算不要に変更

精算状況 未精算 精算不要 会社 サンプル会社

案件番号 案件名

申請基準日 仮払金額

申請組織 申請権限者

検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000913	備品購入申請	2013/08/28	音柳辰巳	16,000	16,000
	2		0000000920	PC購入申請	2013/08/28	音柳辰巳	8,000	5,000

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

精算ステータスを精算不要から未精算にする

当機能で精算不要にした事前申請書を、未精算に切り替えます。

1. 検索欄の精算状況に **精算不要** を設定し「検索」をクリックすると、精算不要データが一覧表示されます。

仮払未精算データメンテナンス 未精算に変更

精算状況 未精算 精算不要 会社 サンプル会社

案件番号 案件名

申請基準日 仮払金額

申請組織 申請権限者

検索 クリア

✓	No	詳細	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	仮払金額	残額
	1		0000000914	○○プロジェクト出張費申請	2013/08/28	上田辰男	60,000	60,000
	2		0000000915	経費申請	2013/08/28	関根千香	0	0

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

精算不要に変更 未精算に変更

2. 切り替え対象のデータ行を選択し「未精算に変更」をクリックすると、精算状況が未精算に変更されます。

アーカイブ

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データアーカイブは、IM-Workflowが提供するアーカイブ（ジョブ）機能を利用します。IM-Workflowのアーカイブ（ジョブ）機能実行方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データアーカイブには、次の様な制約があります。

- 未精算の仮払がある案件のアーカイブ処理は実施できません。
仮払金が0円の場合でも、未精算（ステータスが未処理・処理中）の場合はアーカイブ処理は実施できません。
精算を行うか、未精算仮払メンテナンスより精算不要のステータスに変更後、アーカイブ処理をお願いします。
- 決裁が完了していない（ステータスが決裁可能）決裁事前申請書のアーカイブ処理は実施できません。
決裁精算申請書で精算を行うか、決裁連携データメンテナンスより決裁終了のステータスに変更後、アーカイブ処理をお願いします。

案件削除

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データ削除は、IM-Workflowが提供する次の削除機能を利用します。

- 未完了案件削除
- 完了案件削除
- 過去案件削除

IM-Workflowが提供する各削除機能の実行方法は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データ削除には、次の様な制約があります。

- ワークフローの完了案件の削除処理は実施できません。
これは、仕訳出力やFBデータ出力等を行う申請データが、簡単に削除されないようにする仕様です。
完了案件の削除処理を行う場合は、アーカイブ処理の実施後に削除処理をお願いします。

案件操作

intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費の申請データは、IM-Workflowが提供する案件操作機能で操作可能です。

IM-Workflowが提供する案件操作機能の詳細は、『[IM-Workflow 管理者操作ガイド](#)』を参照してください。



コラム

案件操作でフローが完了した場合、「否認」、「取止め」と同じ処理を実施します。
事前申請書/精算申請書を案件操作してフロー完了とした場合、仕訳が行われません。
また、事前申請書を案件操作してフロー完了とした場合、精算申請書と紐付けることができません。

法人カードデータを取り込み精算するための関連操作

利用データ取得

本項では、「Cloud-Base」から法人カードの利用データを取得する方法を説明します。

- [概要](#)
- [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)

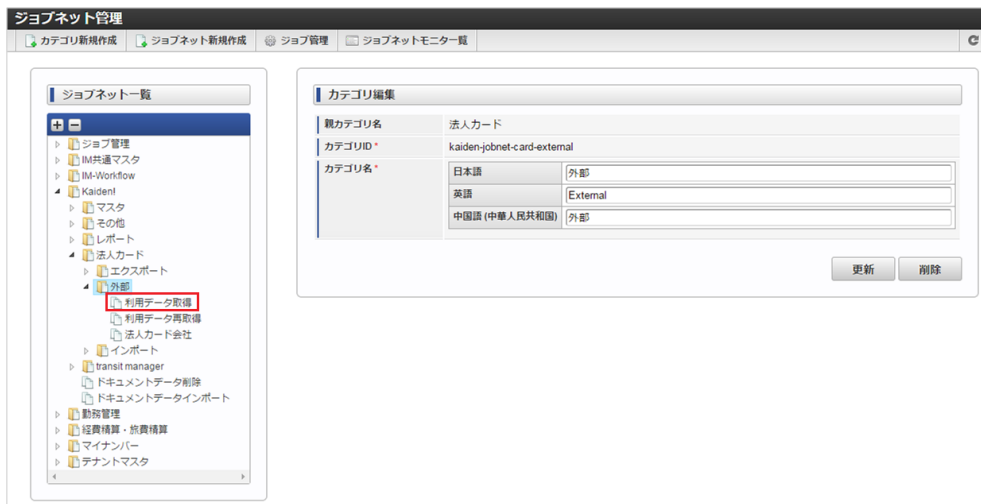
概要

利用データ取得は、指定された[Cloud-Base契約マスタ](#)の情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カードの利用データを取得します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

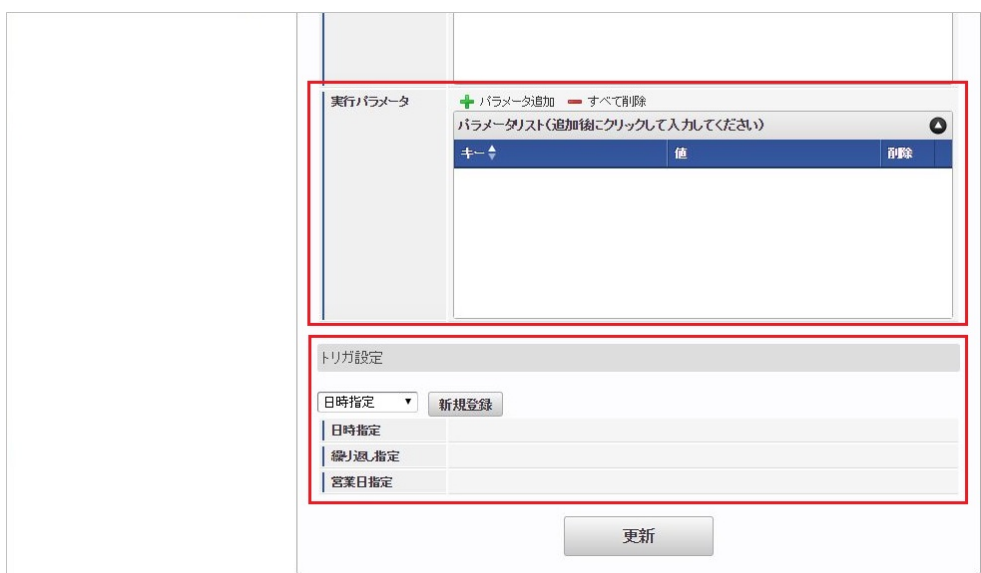
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「利用データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

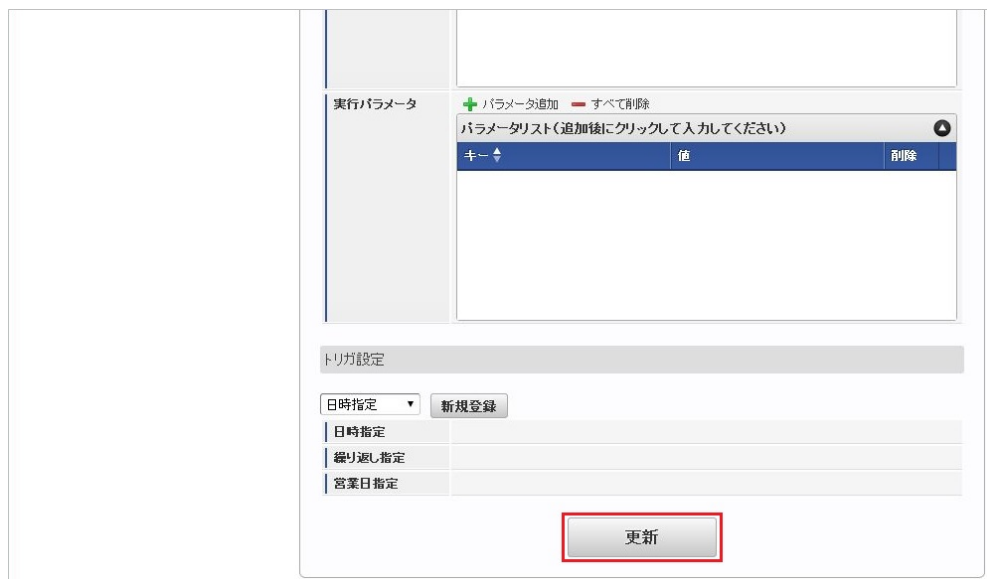
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

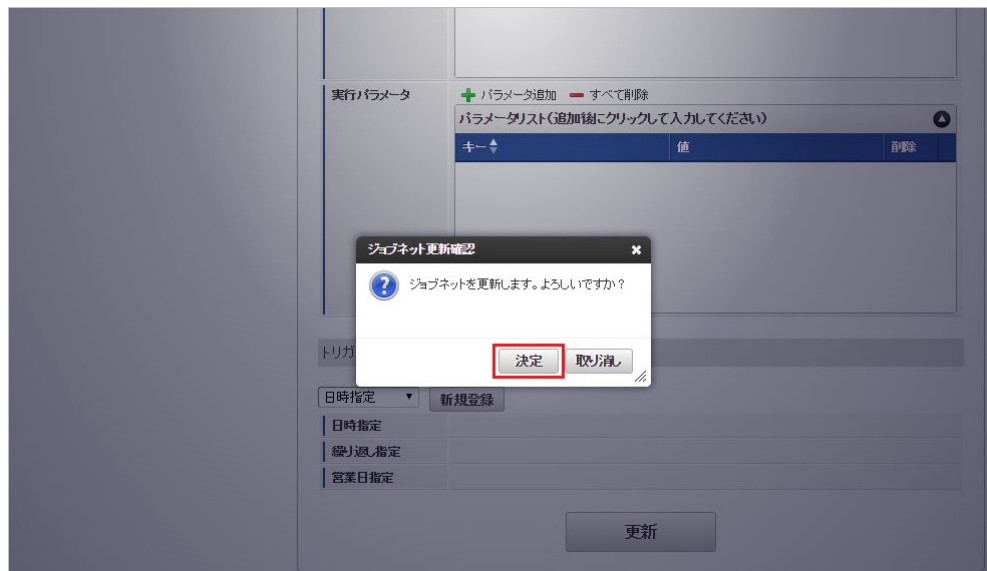
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-01-acquisition-of-usage-data	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ取得
kaiden-job-card-external-02-register-usage-data	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ登録

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

「利用データ取得」、「利用データ登録」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明/設定値
CB契約ID	cbContractId	法人カード利用データ取得元のCloud-Base契約マスタで設定したIDを設定します。 (設定必須)

利用データ再取得

本項では、「Cloud-Base」から法人カードの利用データを再取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

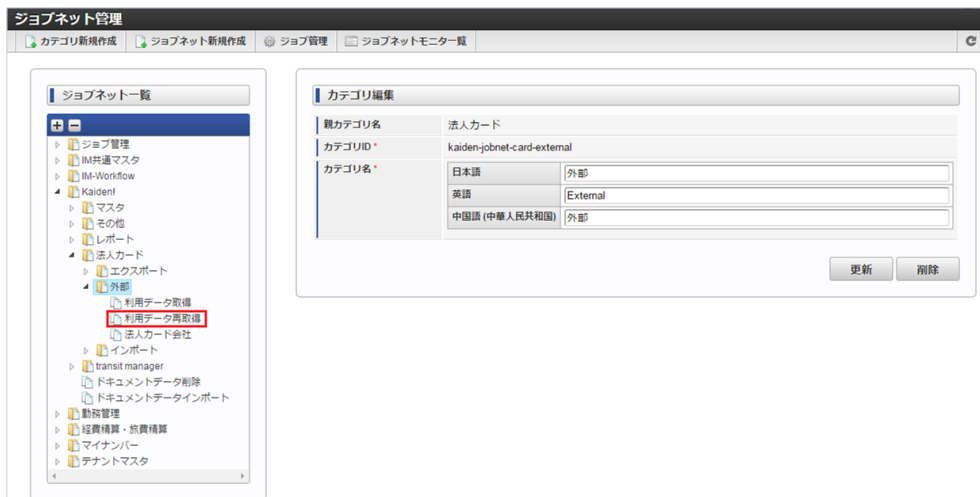
概要

利用データ再取得は、指定されたCloud-Base契約マスタの情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カードの利用データを再取得します。利用データ再取得を実行すると、*利用データ取得*で取得済みのデータを利用データの退避用テーブルに登録します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「利用データ再取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

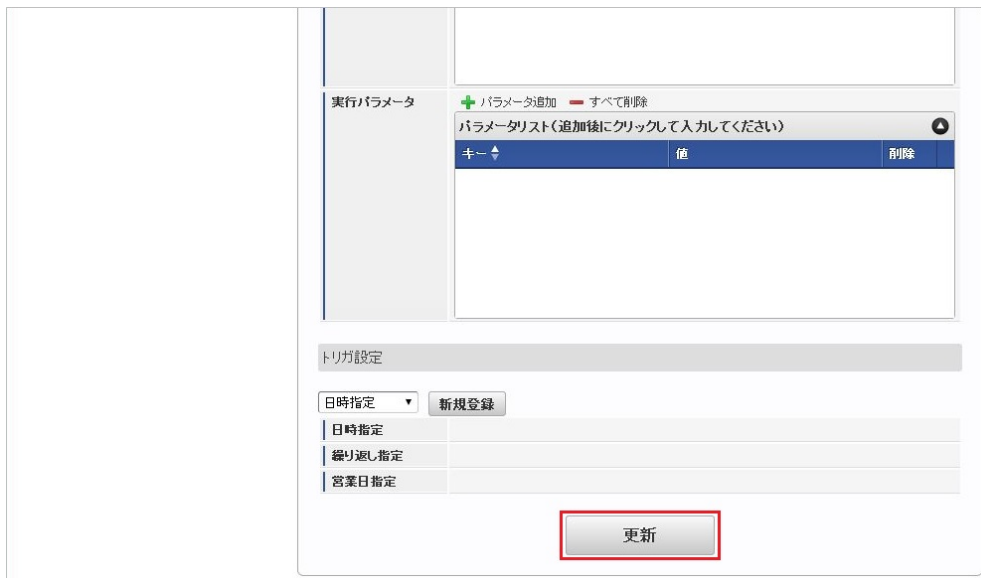
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

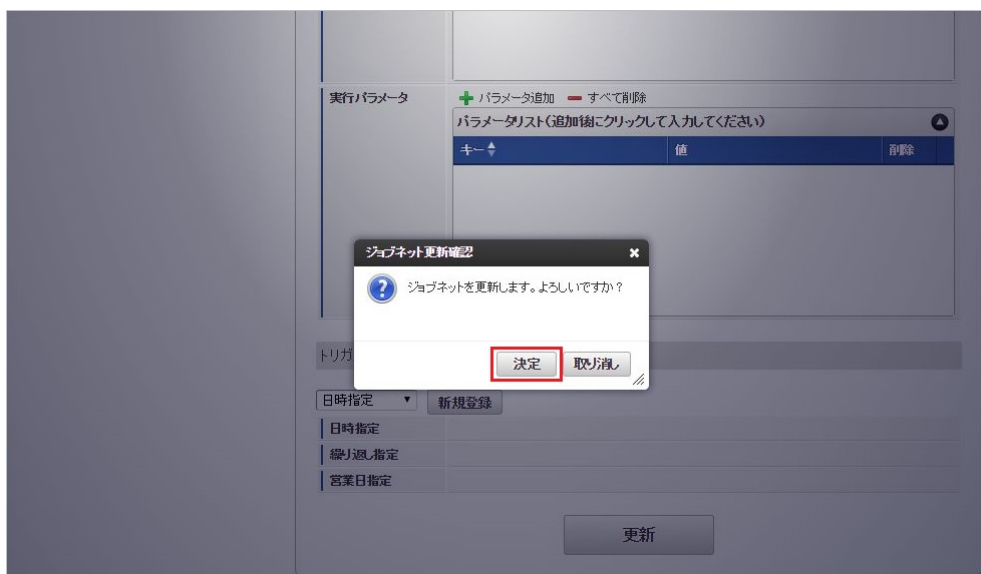
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-03-usage-data-reacquisition	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 利用データ再取得

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
CB契約ID	cbContractId	法人カード利用データ再取得元のCloud-Base契約マスタで設定したIDを設定します。 (設定必須)

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	startDate	利用データ再取得依頼の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (設定必須)
終了日	endDate	利用データ再取得依頼の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (設定必須)

利用データテーブルメンテナンス

本項では、利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス

概要

利用データテーブルメンテナンスは、[利用データ取得](#)で「Cloud-Base」から取り込んだ法人カードの利用データのメンテナンスを行います。

[法人カードマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている法人カードのデータの場合、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を変更できます。

利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「法人カード」→「利用データテーブルメンテナンス」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい利用データテーブルメンテナンスの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算者名
- 精算者ユーザコード
- 利用加盟店名 (カナ)
- 利用データステータス

コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- [Cloud-Base契約マスタ](#)で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐付くデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

検索
クリア
⚙️

No	▲ 利用日	精算者名	利用加盟店名 (カナ)	利用金額	利用データステータス
1	2016/04/13	青柳崇巳	ｱｸｼ-ｷｽｸﾞﾝ	-4036	未処理
2	2016/04/13	青柳崇巳	ｱｸｼ-ｷｽｸﾞﾝ	4036	未処理
3	2016/04/16	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝｼﾞﾀﾞｲﾚﾝｼﾞﾝｸﾞｼﾞﾝｸﾞ	-16690	未処理
4	2016/04/16	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	-9790	未処理
5	2016/04/16	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	8610	未処理
6	2016/04/16	青柳崇巳	ｷﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	48000	未処理
7	2016/04/16	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝｼﾞﾀﾞｲﾚﾝｼﾞﾝｸﾞｼﾞﾝｸﾞ	30090	未処理
8	2016/04/16	青柳崇巳	ﾄﾞｷﾝｼﾞﾀﾞｲ	7700	未処理
9	2016/04/16	青柳崇巳	ﾀｲｸﾞﾙ	2490	未処理
10	2016/04/16	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	8610	未処理
11	2016/04/17	青柳崇巳	ﾈ-ｷｽｸﾞﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	34890	未処理
12	2016/04/17	青柳崇巳	ｷﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	7800	未処理
13	2016/04/18	青柳崇巳	ﾄﾞｷﾝｼﾞﾀﾞｲ	1810	未処理
14	2016/04/18	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	33588	未処理
15	2016/04/18	青柳崇巳	ｷﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	17100	未処理
16	2016/04/19	青柳崇巳	ﾄﾞｷﾝｼﾞﾀﾞｲ	3610	未処理
17	2016/04/19	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	13910	未処理
18	2016/04/19	青柳崇巳	ｼﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	3980	未処理
19	2016/04/19	青柳崇巳	ｷﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	11900	未処理
20	2016/04/19	青柳崇巳	ｷﾞﾝｷﾝ-ｷｽｸﾞﾝ	36000	未処理

最初へ 前へ **1** 2 3 4 5 6 7 8 9 10 次へ 最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス	
会社*	サンプル会社
精算ユーザ*	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳 環巳
利用データステータス*	未処理
備考	
カードデータキー	8edgc084mn4cam3
CBカードデータキー	USE2017031500000030000
CB契約	CloudBase
カード会社契約	三井住友VISAカード
トランザクションID	08edgc06h119nyk
カード会社	三井住友VISAカード
カードID	0000000000000000
決済日	2016/07/10
対象日	2017/03/15
請求日	2016/07/10
作成日	2017/03/15
TRコード	02
法人契約組織番号	0001
法人契約組織名	ｸﾞﾙｰﾌﾟ
法人申込組織番号	5000
法人申込組織名	DIMKT00F41
使用者所属組織番号	5000
使用者所属組織名	DIMKT00F41
利用区分	1
利用日	2016/04/13
利用金額	-4036
利用加盟店名(カナ)	ﾊｯﾋﾟｰ ﾈｲﾌﾞ
加盟店番号(VJ加盟店のみ)	382039230
ISO業種コード	5964
区分コード	0
マルチエリア	Happy 急便
加盟店名(漢字)	Happy 急便
現地通貨額	
海外換算レート	
換算レート小数点位置	
レート換算日	
外貨暗号	
加盟店所在地	
クーポンチケット番号	
クーポン番号	
課金情報	
高速道路利用情報	
利用ETCカード会員番号	
利用ETCカード会員名(カナ)	
割引元金情報	
カソリンスタンド名称	
市外通話割引率	
文字区分	
航空券情報	
取扱店所(カナ)	
取扱店所(漢字)	
会員決済日	2016/07/11
一連NO	00001
カード会社連携ファイル取込日時	2017/05/01
取消フラグ	<input type="radio"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 有効
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2017/07/01
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットバージョン	

次の項目は編集可能な項目です。

- 精算ユーザ
精算者を選択します。
利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

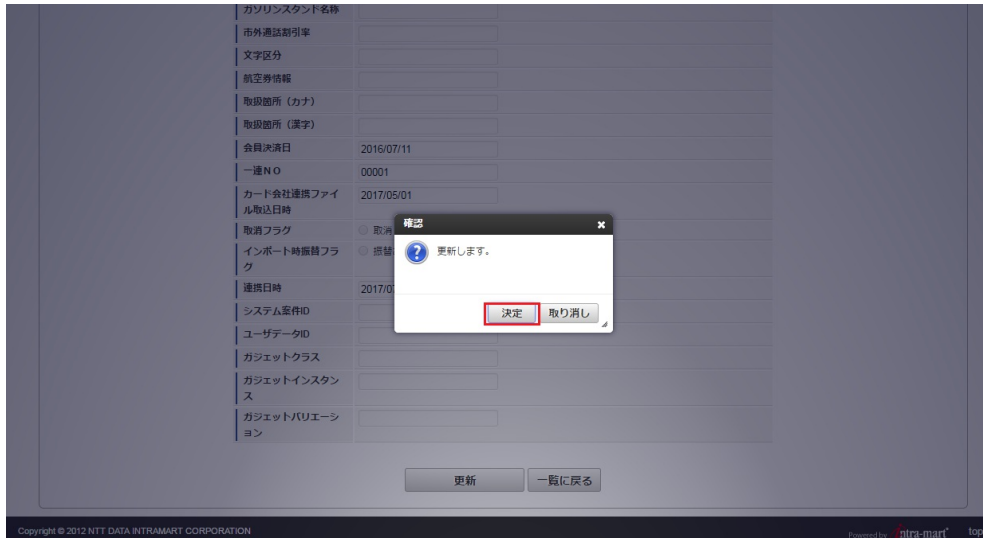
コラム

Cloud-Base契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、法人カードマスタの「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたカードIDに紐付く場合のみ編集可能です。

精算ユーザを振り替えた場合も、カードIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。

No	▲ 利用日	積立者名	利用加盟店名 (カナ)	利用金額	利用データステータス
1	2016/04/13	青柳 崇巳	アピ*+127c*	4036	未処理
2	2016/04/13	青柳 崇巳	アピ*+127c*	-4036	未処理
3	2016/04/16	青柳 崇巳	ジエフ+4427d27	-9790	未処理
4	2016/04/16	青柳 崇巳	トク2727d47	7700	未処理
5	2016/04/16	青柳 崇巳	ジエフ+427c2b*	8610	未処理
6	2016/04/16	青柳 崇巳	8782727d47d*	48000	未処理
7	2016/04/16	青柳 崇巳	ジエフ+427c2b*	-16690	未処理
8	2016/04/16	青柳 崇巳	クイオセ-8	2490	未処理
9	2016/04/16	青柳 崇巳	ジエフ+427c2b*	8610	未処理
10	2016/04/16	青柳 崇巳	ジエフ+427c2b*	30090	未処理
11	2016/04/17	青柳 崇巳	8782727d47d*	7800	未処理
12	2016/04/17	青柳 崇巳	エフエ-インホリホリホリホリ	34890	未処理
13	2016/04/18	青柳 崇巳	アピ*+127c*	33588	未処理
14	2016/04/18	青柳 崇巳	トク2727d47	1810	未処理
15	2016/04/18	青柳 崇巳	8782727d47d*	17100	未処理
16	2016/04/19	青柳 崇巳	トク2727d47	3610	未処理

法人カード会社取り込み

本項では、「Cloud-Base」から法人カード会社の情報を取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

法人カード会社取り込みはCloud-Base契約マスタに登録された情報に基づき「Cloud-Base」に接続し、法人カード会社のID、名称等の情報を取得します。

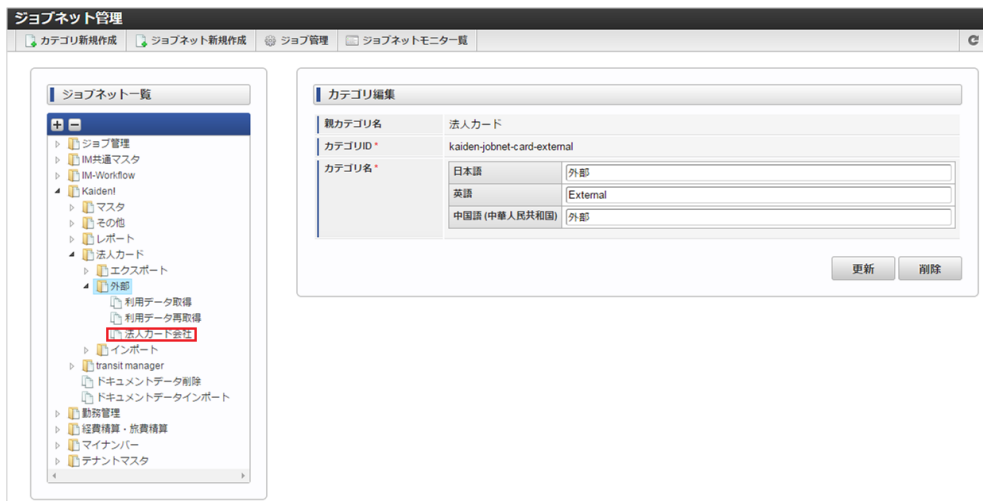
法人カード会社の情報は法人カード会社マスタからもメンテナンス可能です。

新規に法人カード会社を登録する際や、法人カード会社の情報に変更がある場合、実行してください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

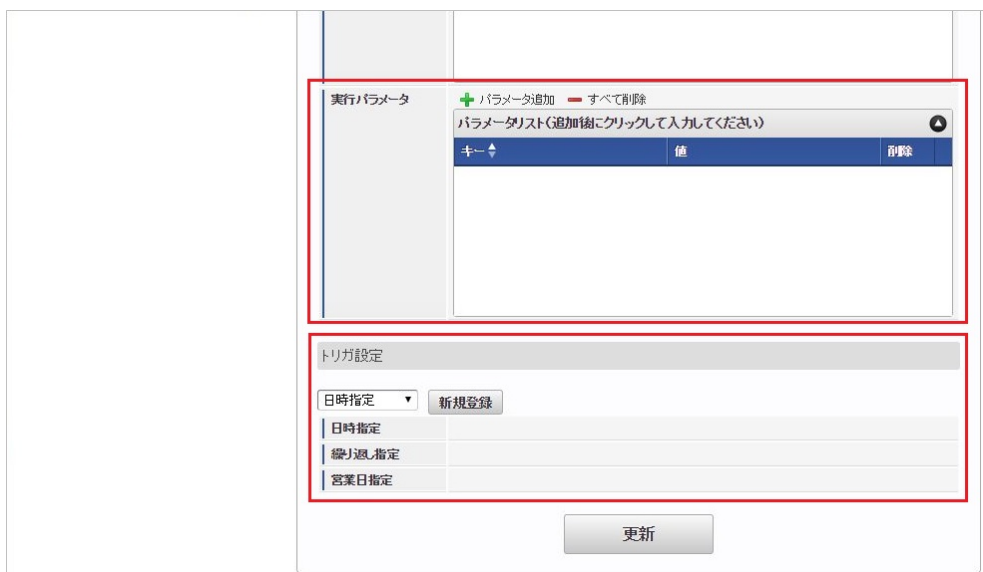
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード会社」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「トリガ設定」を編集します。



i コラム

当ジョブに実行パラメータの設定は不要です。
 設定されている実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
 トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-card-external-04-card-company	Kaiden! / 法人カード / 外部 / 法人カード会社

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。




コラム

ジョブネットの設定（実行）後、[法人カード会社マスタ](#)でジョブが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

下記の実行パラメータで実行されます。

名称	キー	説明/設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間は10秒です。
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードは単一期間（差分）モードです。 （省略時：1）
開始日	start_date	インポート期間の開始日はシステムの開始日です。
終了日	end_date	インポート期間の終了日はシステムの終了日です。

J'sNAVI Jr.と連携して精算するための関連操作

利用データ取得

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードの利用データを取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

利用データ取得は、指定された[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の情報に基づき「J'sNAVI Jr.」に接続し、法人カードの利用データを取得します。

[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の「カード利用データ連携URL」を使用して「J'sNAVI Jr.」と通信します。

カードの利用日時時点で有効なユーザが[J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ](#)に登録されていない場合、[J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)の「担当者」を利用者に設定します。

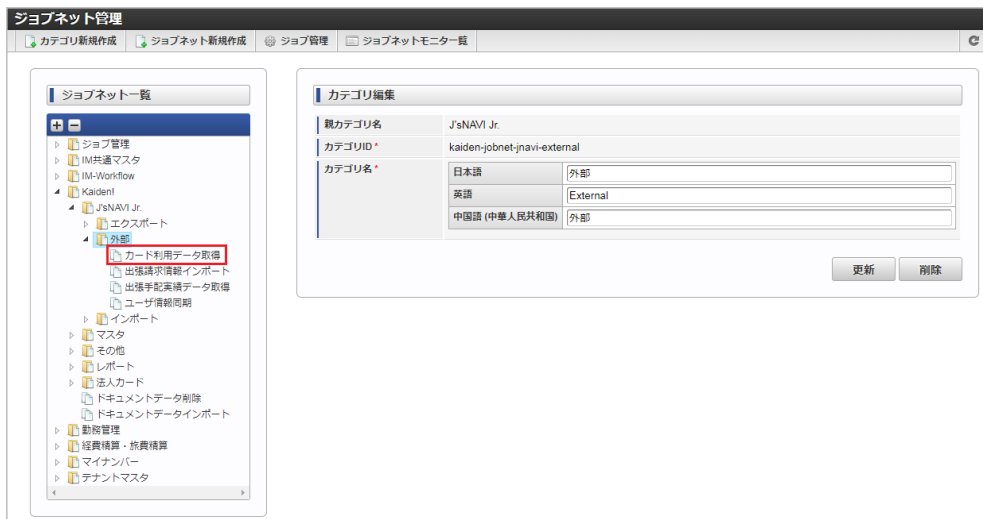
取得するデータは法人カード会社によって異なります。

詳細は、「J'sNAVI Jr.」のサービス内容をご確認ください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

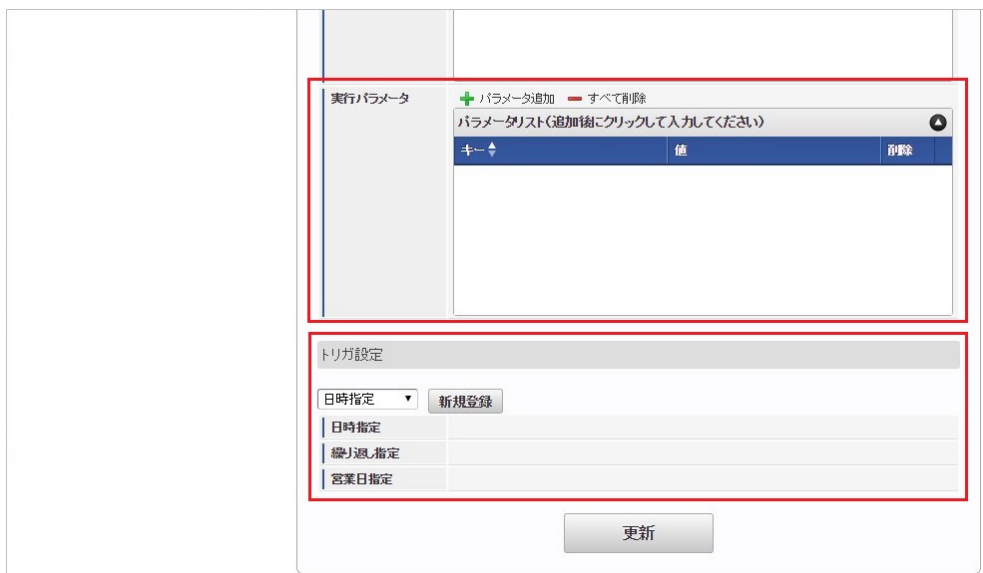
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「カード利用データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

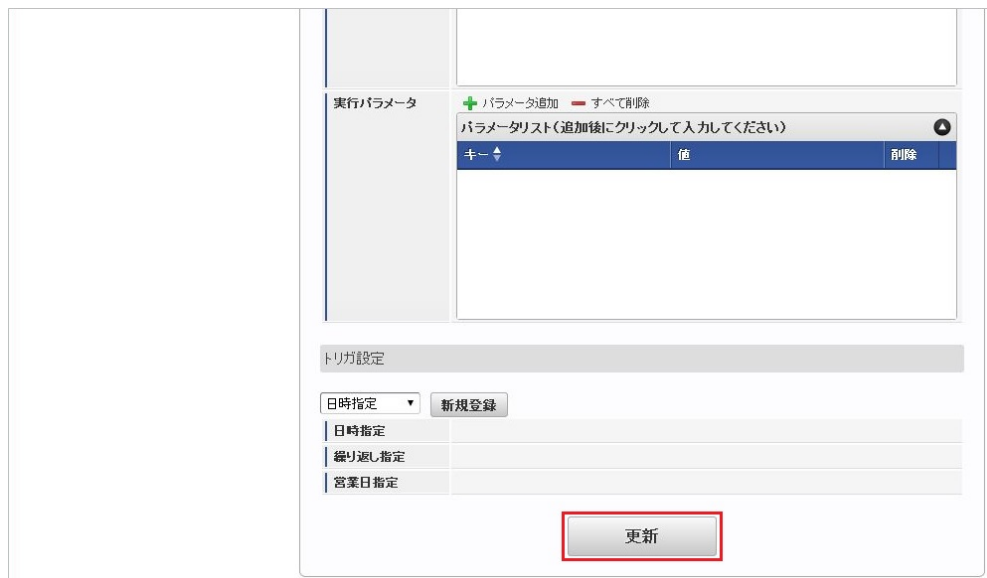
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

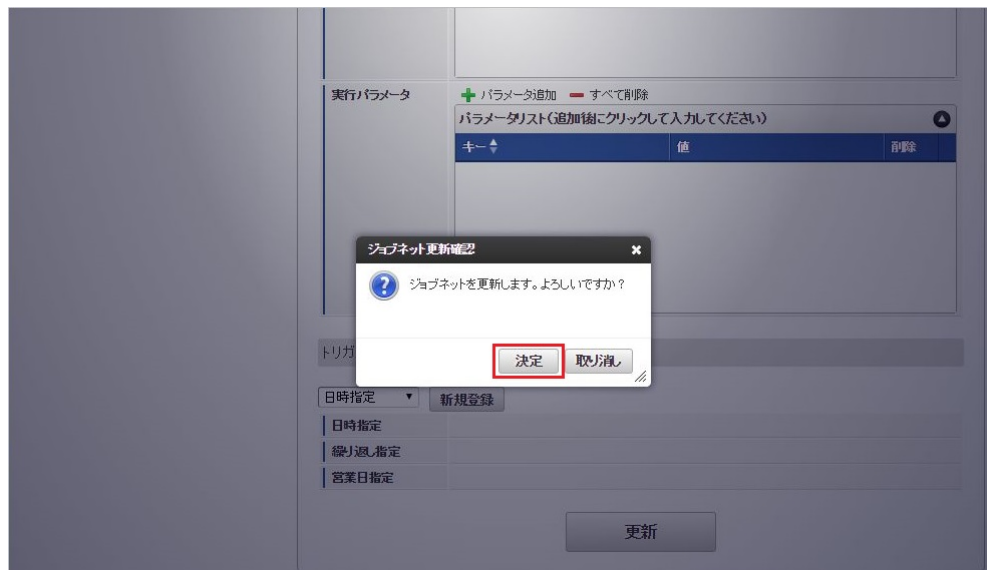
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-card-usage-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / 外部 / カード利用データ取得

5. 編集後、「更新」をクリックします。



The screenshot shows a web interface for configuring a job. It includes sections for '実行パラメータ' (Execution Parameters) with a table for adding parameters, and 'トリガ設定' (Trigger Settings) with fields for '日時指定' (Date/Time), '繰り返し指定' (Repeat), and '営業日指定' (Business Day). A '新規登録' (New Registration) button is next to the date field. At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangular box.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



This screenshot shows the same configuration page as above, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog contains a question mark icon and the text 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). There are two buttons: '決定' (Confirm) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red rectangular box.

7. ジョブネットが設定されました。




コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

ファイル取得

利用データ取得に成功した場合、次の通り「J'sNAVI Jr.」からダウンロードしたファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/cardData/archive
ファイル名	import-CARD_{corporateCd}_{YMDHMSN}.csv

「J'sNAVI Jr.」からデータをダウンロード後に処理に失敗した場合、次の通りファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/cardData/error/
ファイル名	import-CARD_{corporateCd}_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{corporateCd} : 企業コード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
企業コード	corporateCd	法人カード利用データ取得元のJ'sNAVI Jr. 契約マスタで設定した「契約企業コード」を設定します。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
データ連携開始日	dtRelationFrom	取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時：未取得のデータを全て取得します。)
データ連携終了日	dtRelationTo	取得するデータの終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時：未取得のデータを全て取得します。)
マスタID	masterId	処理するマスタのIDを設定します。 「カード利用データ取得」の場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card_data」を設定しています。

出張手配実績データ取得

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ
 - 実績データの変更

概要

出張手配実績データ取得は、指定されたJ'sNAVI Jr. 契約マスタの情報に基づき「J'sNAVI Jr.」に接続し、出張手配の実績データを取得します。

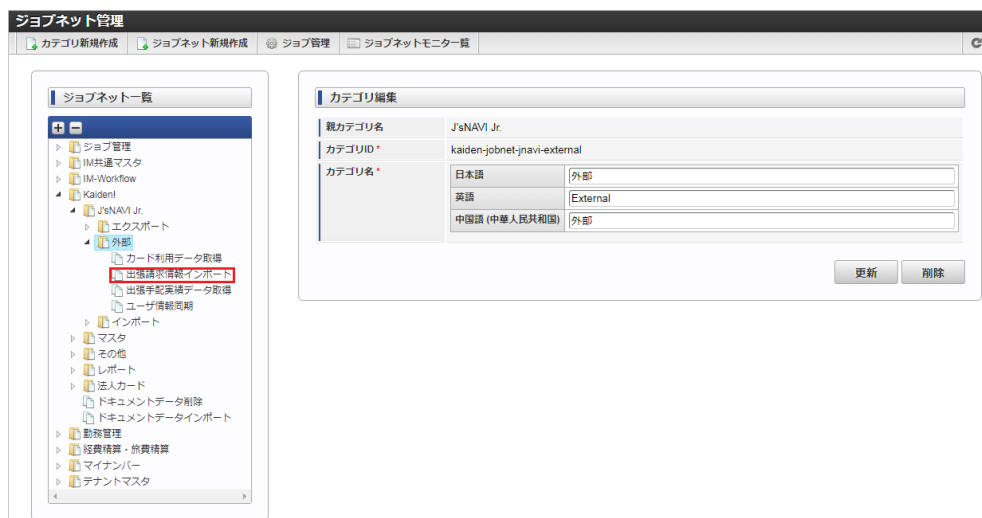
J'sNAVI Jr. 契約マスタの「出張手配実績データ取得URL」を使用して「J'sNAVI Jr.」と通信します。

有効なユーザが出張手配ユーザマッピングマスタに登録されていない場合、J'sNAVI Jr. 契約マスタの「担当者」を利用者に設定します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配実績データ取得」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-trip-result-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / 外部 / 出張手配実績データ取得
kakaiden-job-base-jnavi-acquisition-of-trip-registration-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr. / 外部 / 出張手配実績データ登録

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

ファイル取得

利用データ取得に成功した場合、次の通り「J'sNAVI Jr.」からダウンロードしたファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/tripData/archive
--------	-------------------------------

ファイル名	import-TRIP-RESULT- <code>{corporateCd}</code> - <code>{YMDHMSN}</code> .csv
-------	--

「J'sNAVI Jr.」からデータをダウンロード後に処理に失敗した場合、次の通りファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/jnavi/tripData/error/
--------	------------------------------

ファイル名	import-TRIP-RESULT- <code>{corporateCd}</code> - <code>{YMDHMSN}</code> .csv
-------	--



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{corporateCd} : 企業コード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

各実行パラメータに記載がない場合、「出張手配実績データ取得」、「出張手配実績データ登録」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
企業コード	corporateCd	出張手配実績データ取得元のJ'sNAVI Jr. 契約マスタで設定した「契約企業コード」を設定します。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
暗号化モード	encryptMode	「出張手配実績データ取得」でデータ取得時の暗号化モードを指定します。 暗号化ありを使用する場合、事前に「J'sNAVI Jr.」への連絡が必要です。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 暗号化なし 2 : 暗号化あり
データ連携開始日	dtRelationFrom	「出張手配実績データ取得」でデータ取得時の取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時: 未取得のデータを全て取得します。)
データ連携終了日	dtRelationTo	「出張手配実績データ取得」でデータ取得時の取得するデータの終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ連携開始日」から「データ連携終了日」の期間内に取得したデータを再取得します。 (省略時: 未取得のデータを全て取得します。)
マスタID	masterId	処理するマスタのIDを設定します。 「出張手配実績データ取得」の場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_trip_data_work」を設定しています。

実績データの変更

出張予約を変更並びにキャンセルした場合、変更・キャンセル前後のデータが全て実績データとして取り込まれます。
有効なデータのみ精算してください。
また、出張予約を変更並びにキャンセルした場合、金額がマイナスのデータが発生します。
金額がマイナスのデータを精算することはできませんのでご注意ください。

法人カード利用データテーブル (J'sNAVI Jr.) メンテナンス

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カード利用データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

利用データテーブルメンテナンスは、[利用データ取得](#)で「J'sNAVI Jr.」から取り込んだ法人カードの利用データのメンテナンスを行います。
[J'sNAVI Jr.法人カードマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている法人カードのデータの場合、「精算ユーザ」、
「利用データステータス」を変更できます。
利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、
本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「法人カード」→「法人カード利用データテーブル」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい法人カード利用データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 精算会社
- 精算ユーザ
- 加盟店名

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- [J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

利用データテーブルメンテナンス

検索 クリア

No	▲ 利用日	精算会社	精算ユーザ	加盟店名	円換利用金額	利用データステータス
1	2012/04/10	サンプル会社	林政義	S N O W S N O W S N O W S N O	999999999	処理済
2	2016/09/11	サンプル会社	林政義	JR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGER	999999999999999 9	未処理
3	2016/09/11	サンプル会社	林政義	JR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGERJR TIGER	999999999999999 9	処理済
4	2017/04/14	サンプル会社	林政義	モバイル 99(3P/3P)	99999999999	未処理
5	2017/04/14	サンプル会社	林政義	DELTA AIR 00679652	112952	未処理

最初へ前へ 1 次へ最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

精算会社*	サンプル会社
精算ユーザ*	<input checked="" type="checkbox"/> 林政義
利用データステータス*	未処理
備考	
カードID	S0003
企業コード	TEST038
企業名	運携テスト用企業(スミセイ情報システム様)
決済方式	PRIVATE
カードタイプ	CORP
連番	999999999
集計部署コード	9999
集計部署名	????????????????
利用者部署コード	9999
利用者部署名	????????????????
利用者ユーザID	S0003
利用者社員名	イイ 3770214 3770214
利用日	2017/04/14
売上基準日	
会員決済日	2017/06/12
国内海外区分	J
通貨種類	USD
現地利用金額	999999999
換算レート	1112830.0009999
レート換算日	2017/04/16
円貨利用金額	112952
税金手数料等	
加盟店番号	00000000
加盟店名	DELTA AIR 00679652
加盟店業種コード	3058
海外加盟店所在地	BRUSSELSAAAAA
利用国名	
利用カード会社	MS
利用カードブランド	VISA
データ区分 1	02
データ区分 2	B
データ区分 3	
タクシードキュメント番号	999999999999999
タクシードキュメント付加情報	ああああああA
ETCカード利用番号	7800123456789012
ETCカード付加情報	スト9知カミ9知のスト9
出発地	あああああ
到着地	あああああ
連携データ備考	あああああああ
連携データ予備項目 1	2017042000024
連携データ予備項目 2	あああ
連携データ予備項目 3	あああ
連携データ予備項目 4	
連携データ予備項目 5	
連携データ予備項目 6	
連携データ予備項目 7	
連携データ予備項目 8	
連携データ予備項目 9	
連携データ予備項目 10	
連携データ予備項目 11	
連携データ予備項目 12	
連携データ予備項目 13	
連携データ予備項目 14	
連携データ予備項目 15	
連携データ予備項目 16	
連携データ予備項目 17	
連携データ予備項目 18	
連携データ予備項目 19	
連携データ予備項目 20	
作成日時	2017/04/20 14:00:21.000
更新日時	2018/01/23 14:42:16.000
取消フラグ	<input type="radio"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 有効
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2018/03/02 14:07:00.466
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットパーエション	

次の項目は編集可能な項目です。

- 精算ユーザ

精算者を選択します。

利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。

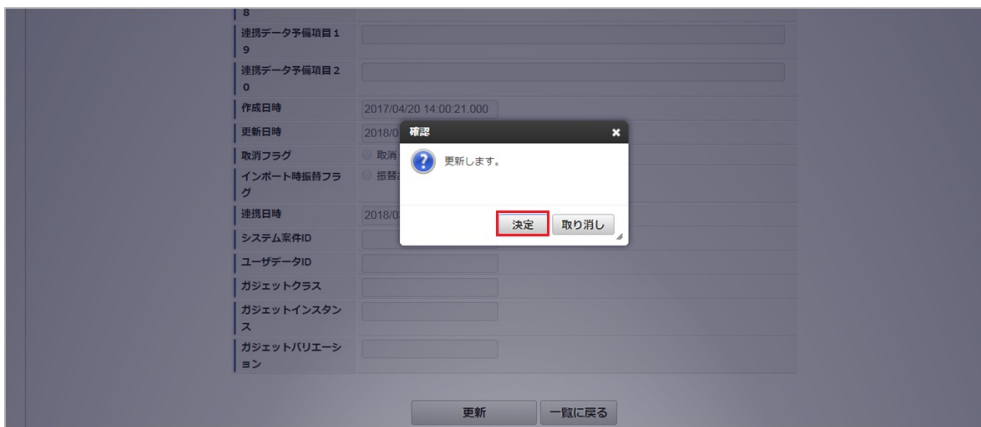
- 利用データステータス
 - 「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
 - 「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
 - 備考を入力します。

i コラム

J'sNAVI Jr. 契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、J'sNAVI Jr. 法人カードマスタの「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたカードIDに紐付く場合のみ編集可能です。精算ユーザを振り替えた場合も、カードIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



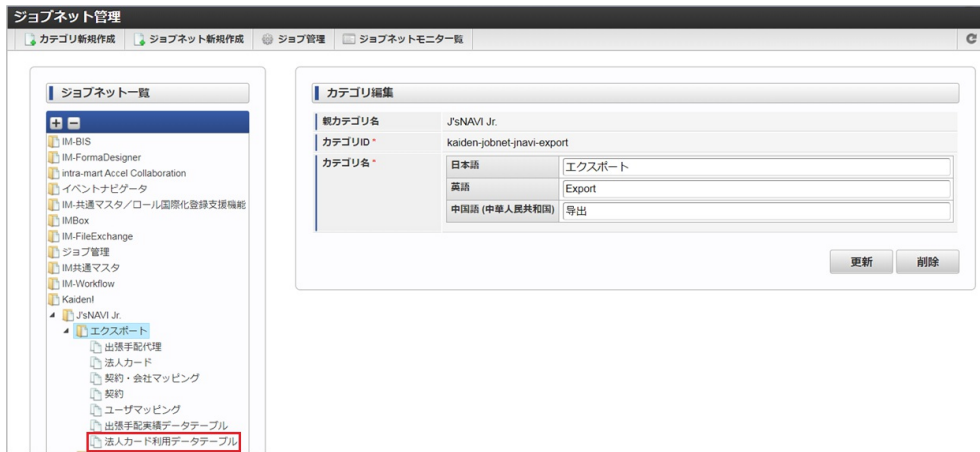
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

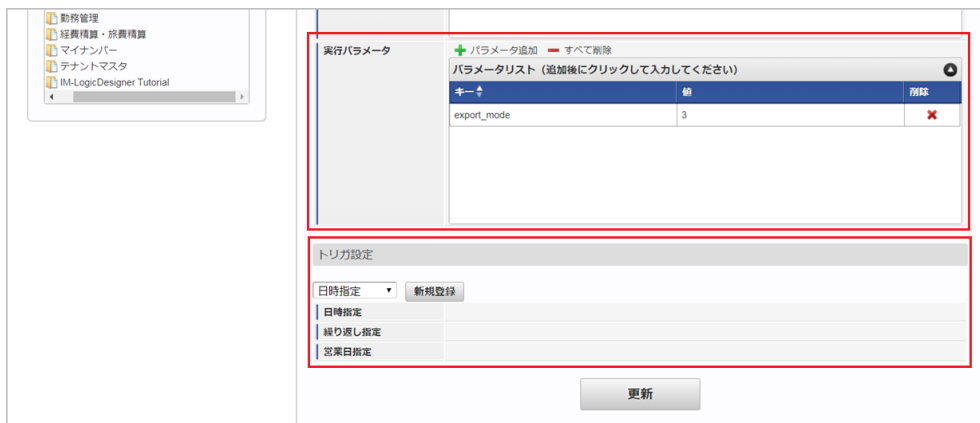
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「法人カード利用データテーブル」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

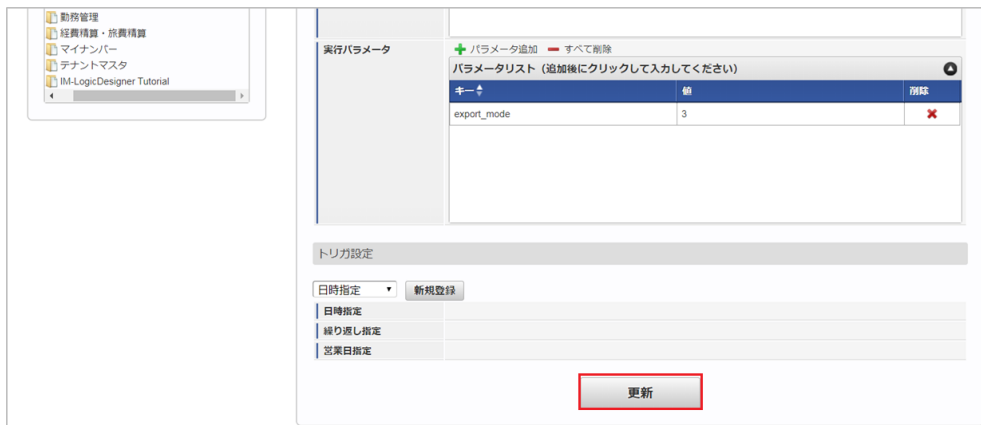
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

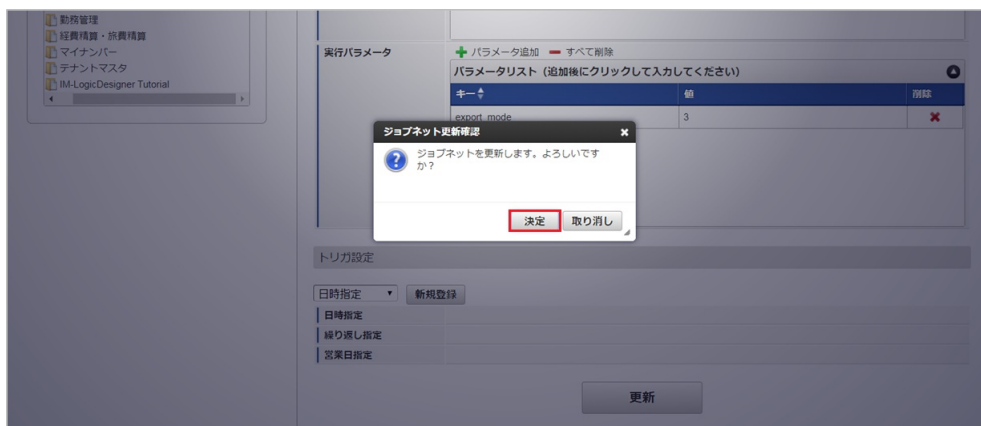
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-user	Kaiden! / J'sNAVI Jr./ エクスポート / 法人カード利用データテーブル

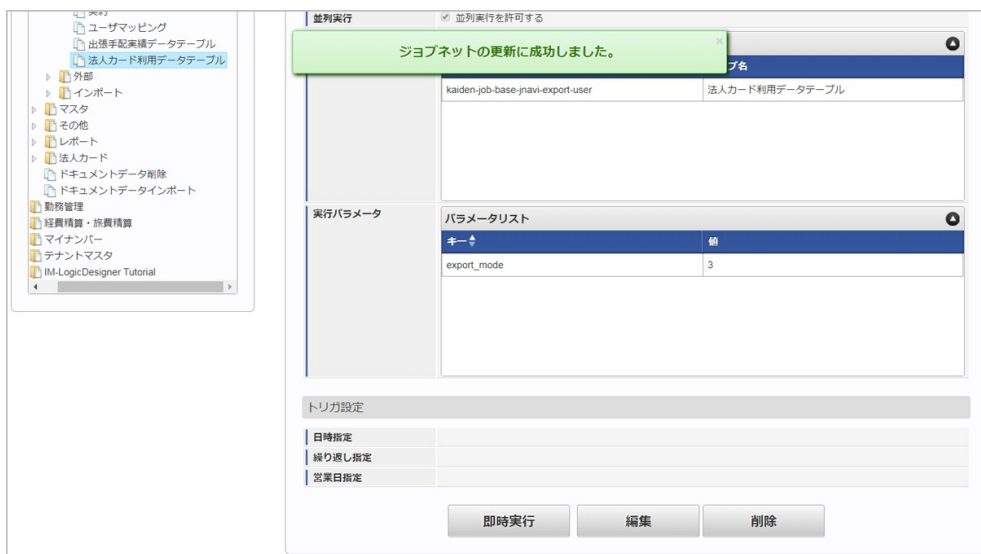
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_card_data/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
cardDataKey	カードデータキー	
orgCardDataKey	連携元カードデータキー	
cardId	カードid	
settleCompanyCd	精算者会社コード	
settleUserCd	精算者ユーザコード	
corporateCd	企業コード	
corporateName	企業名	
settleMethod	決済方式	
cardType	カードタイプ	
serialNumber	連番	
aggregateDeptCd	集計部署コード	
aggregateDeptName	集計部署名	
memberDeptCd	利用者部署コード	
memberDeptName	利用者部署名	
memberCd	利用者ユーザID	
memberName	利用者社員名	
useDate	利用日	
salesDate	売上基準日	
memberSettleDate	会員決済日	
useClassification	国内海外区分	
currencyType	通貨種類	
currencyAmount	現地利用金額	
exchangeRate	換算レート	
exchangeRateDate	レート換算日	
amount	円貨利用金額	
taxFrees	税金手数料等	
storeNumber	加盟店番号	
storeName	加盟店名	
storeIndustryCd	加盟店業種コード	
storeLocation	海外加盟店所在地	
useCountryName	利用国名	
cardCompanyCd	利用カード会社	
cardBrand	利用カードブランド	
dataClassification1	データ区分1	
dataClassification2	データ区分2	
dataClassification3	データ区分3	
taxiTicketNo	タクシーチケット番号	

taxiTicketInfo	タクシーチケット付加情報
etcCardNo	etcカード利用番号
etcCardInfo	etcカード付加情報
departure	出発地
arrival	到着地
remarks	連携データ備考
preItem1	連携データ予備項目 1
preItem2	連携データ予備項目 2
preItem3	連携データ予備項目 3
preItem4	連携データ予備項目 4
preItem5	連携データ予備項目 5
preItem6	連携データ予備項目 6
preItem7	連携データ予備項目 7
preItem8	連携データ予備項目 8
preItem9	連携データ予備項目 9
preItem10	連携データ予備項目 1 0
preItem11	連携データ予備項目 1 1
preItem12	連携データ予備項目 1 2
preItem13	連携データ予備項目 1 3
preItem14	連携データ予備項目 1 4
preItem15	連携データ予備項目 1 5
preItem16	連携データ予備項目 1 6
preItem17	連携データ予備項目 1 7
preItem18	連携データ予備項目 1 8
preItem19	連携データ予備項目 1 9
preItem20	連携データ予備項目 2 0
createDate	作成日
updateDate	更新日
useDataStatus	利用データステータス
cancelFlag	取消フラグ
importTransferFlag	インポート時振替フラグ
importTs	連携日時
systemMatterId	システム案件ID
userDataId	ユーザデータID
gadgetClass	ガジェットクラス
gadgetInstance	ガジェットインスタンス
gadgetVariation	ガジェットバリエーション
note	備考
freeText1	フリーテキスト1
freeText2	フリーテキスト2
freeText3	フリーテキスト3
freeText4	フリーテキスト4
freeText5	フリーテキスト5
freeText6	フリーテキスト6

freeText7	フリーテキスト7
freeText8	フリーテキスト8
freeText9	フリーテキスト9
freeText10	フリーテキスト10
freeNo1	フリーナンバー1
freeNo2	フリーナンバー2
freeNo3	フリーナンバー3
freeNo4	フリーナンバー4
freeNo5	フリーナンバー5
freeNo6	フリーナンバー6
freeNo7	フリーナンバー7
freeNo8	フリーナンバー8
freeNo9	フリーナンバー9
freeNo10	フリーナンバー10
extensionA	予備項目a
extensionB	予備項目b
extensionC	予備項目c
extensionD	予備項目d
extensionE	予備項目e
extensionF	予備項目f
extensionG	予備項目g
extensionH	予備項目h
extensionI	予備項目i
extensionJ	予備項目j
entryTs	申請日時
entryUserCd	申請者ユーザID
renewCnt	更新カウント
renewTs	更新日時
renewUserCd	更新者ユーザID

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jnavi_card_data/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/jnavi_card_data/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true：ヘッダー出力有 false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 法人カード利用データテーブルエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_card_data」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データテーブルのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 更新
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張手配実績データテーブルメンテナンスは、[出張手配実績データ取得](#)で「J'sNAVI Jr.」から取り込んだ出張手配実績データのメンテナンスを行います。

[出張手配ユーザマッピングマスタ](#)の「利用データ編集可否」が可能に設定されている出張手配実績データの場合、「利用ユーザ」、「利用データステータス」を変更できます。

利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「J'sNAVI Jr.」→「出張手配」→「出張手配実績データテーブル」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したい出張手配実績データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 利用会社
- 利用ユーザ
- 支払内容

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- [J'sNAVI Jr. 契約マスタ](#)で「担当者」に設定されたユーザは、担当する会社に紐付くデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが精算者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

出張手配実績データテーブルメンテナンス

検索 クリア

No	請求発生日	利用会社	利用ユーザ	支払内容	金額	利用データステータス
1	2018/02/01	サンプル会社	萩本麻子	福山 広島 ひかり491 普通	4420	未処理
2	2018/02/01	サンプル会社	萩本麻子	広島 東京羽田 JL 0254 eL'グ'326	20840	未処理

最初へ前へ 1 次へ最後へ



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

出張手配実績データテーブルメンテナンス

利用会社 *	サンプル会社
利用ユーザ *	<input checked="" type="checkbox"/> 坂本 博子
利用データステータス *	未処理
備考	<input type="text"/>
企業コード	00000
SEQNO	1
発注機能コード	JE
検番	001
ユーザID	00001
処理番号	
副番号	
旅行番号	J0000099991
請求発生日	2018/02/01
出発日	2018/02/02
到着日	2018/02/01
金額	4420
請求対象区分	2
個別設定01	JR Express
個別設定02	JR
個別設定03	福山
個別設定04	広島
個別設定05	EX予約
個別設定06	ひかり491
個別設定07	普通
個別設定08	08:42
個別設定09	09:05
個別設定10	4100000077913059-2188
個別設定11	出場
個別設定12	2017/09/06
個別設定13	00001
個別設定14	青柳炭巴
個別設定15	
個別設定16	
個別設定17	
個別設定18	
個別設定19	
個別設定20	
個別設定21	
個別設定22	
個別設定23	
個別設定24	
個別設定25	
個別設定26	
個別設定27	
個別設定28	
個別設定29	
個別設定30	
連携問い合わせ区分	0
連携問い合わせ日時	
WS連携問い合わせ区分	1
WS連携問い合わせ日時	2018/03/01 00:00:00.000
システム区分	J
WF申請書関連フラグ	0
支払内容	福山 広島 ひかり491 普通
作成日時	2018/03/01 00:00:00.000
更新日時	2018/03/01 00:00:00.000
所属箇所コード	9999
精算箇所コード	
取消フラグ	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 精算不要
インポート時振替フラグ	<input type="radio"/> 振替あり <input checked="" type="radio"/> 振替無し
連携日時	2018/03/10 00:00:00.000
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットインスタンス	
ガジェットバージョン	

次の項目は編集可能な項目です。

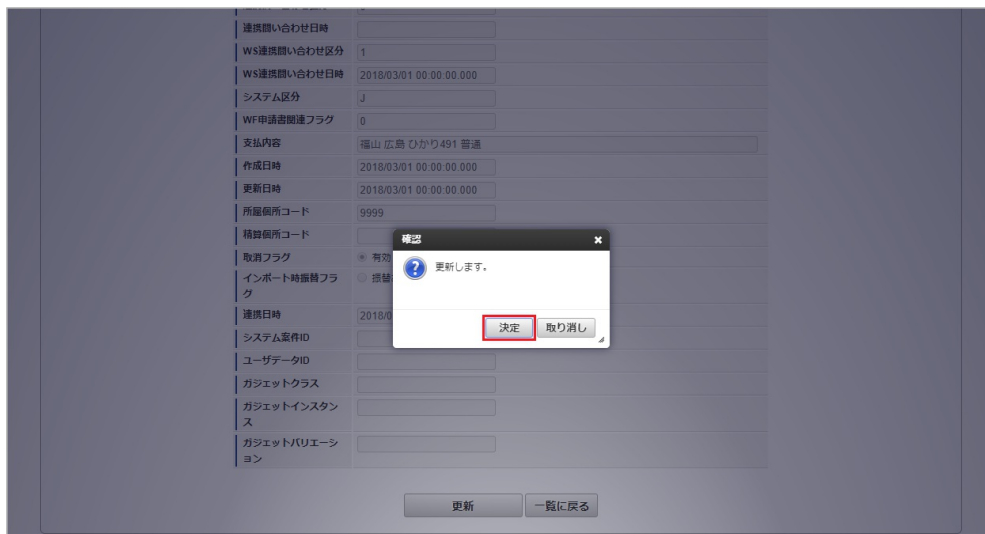
- 利用ユーザ
利用者を選択します。
利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

コラム

J'sNAVI Jr.契約マスタで「担当者」に設定されたユーザは、「精算ユーザ」、「利用データステータス」を編集可能です。

上記のユーザ以外は、「精算ユーザ」、「利用データステータス」は、出張手配ユーザマッピングマスタの「利用データ編集可否」が「可能」に設定されたJ'sNAVI Jr.ユーザIDに紐付く場合のみ編集可能です。利用ユーザを振り替えた場合も、J'sNAVI Jr.ユーザIDに基づき利用データの編集可否が決定されます。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

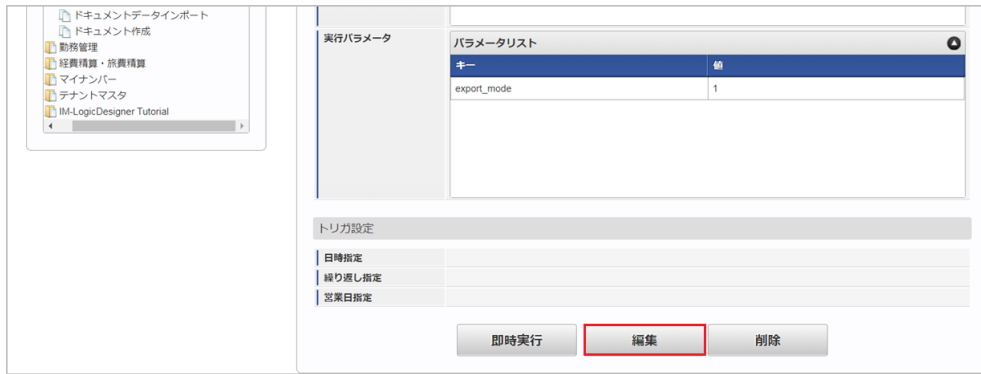
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張手配実績データテーブル」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jnavi-export-trip-data	Kaiden! / J'sNAVI Jr./ エクスポート / 出張手配実績データテーブル

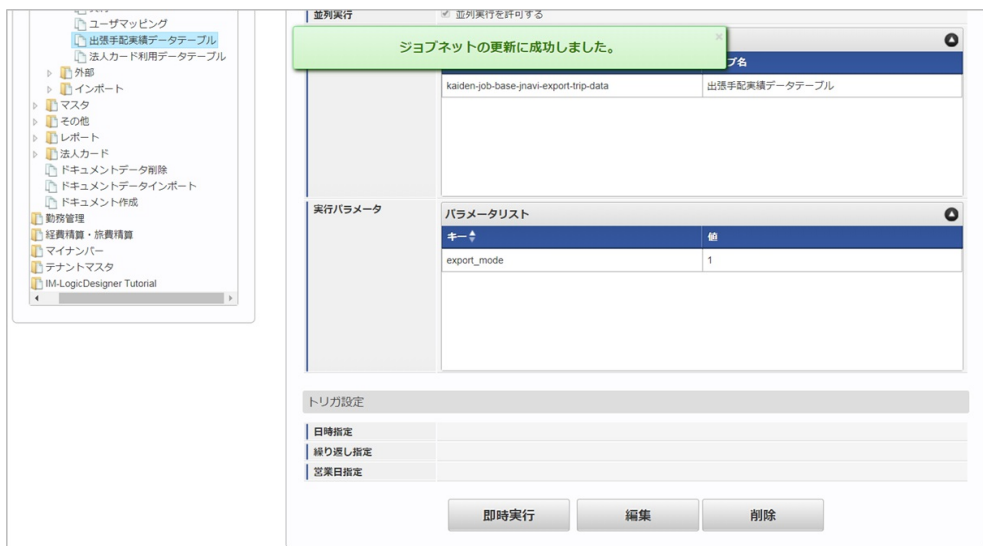
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
tripDataKey	出張手配実績データキー	
orgTripDataKey	連携元出張手配実績データキー	
imCompanyCd	利用会社コード	
imUserCd	利用ユーザコード	
corporateCd	企業コード	
seqNo	SEQNO	

orderFuncCd	発注機能コード
branchNo	枝番
userId	ユーザid
processNo	処理番号
subNo	副番号
tripNo	旅行番号
billingDate	請求発生日
departureDate	出発日
arrivalDate	到着日
amount	金額
billableType	精算対象区分
data01	個別設定01
data02	個別設定02
data03	個別設定03
data04	個別設定04
data05	個別設定05
data06	個別設定06
data07	個別設定07
data08	個別設定08
data09	個別設定09
data10	個別設定10
data11	個別設定11
data12	個別設定12
data13	個別設定13
data14	個別設定14
data15	個別設定15
data16	個別設定16
data17	個別設定17
data18	個別設定18
data19	個別設定19
data20	個別設定20
data21	個別設定21
data22	個別設定22
data23	個別設定23
data24	個別設定24
data25	個別設定25
data26	個別設定26
data27	個別設定27
data28	個別設定28
data29	個別設定29
data30	個別設定30
inquiryType	連携問い合わせ区分
inquiryDate	連携問い合わせ日時
wsInquiryType	ws連携問い合わせ区分

wsInquiryDate	ws連携問い合わせ日時
systemType	システム区分
wfRelationFlag	wf申請書関連フラグ
paymentDetails	支払内容
createDate	作成日
updateDate	更新日
costCenterCd	所属個所コード
adCd	精算個所コード
historyFlag	履歴フラグ
offsetFlag	相殺有無フラグ
useDataStatus	利用データステータス
cancelFlag	取消フラグ
importTransferFlag	インポート時振替フラグ
warningFlag	警告フラグ
importTs	連携日時
systemMatterId	システム案件id
useDataId	ユーザデータid
gadgetClass	ガジェットクラス
gadgetVariation	ガジェットバリエーション
gadgetInstance	ガジェットインスタンス
note	備考
extensionA	予備項目a
extensionB	予備項目b
extensionC	予備項目c
extensionD	予備項目d
extensionE	予備項目e
extensionF	予備項目f
extensionG	予備項目g
extensionH	予備項目h
extensionI	予備項目i
extensionJ	予備項目j
entryTs	申請日時
entryUserCd	申請者ユーザID
renewCnt	更新カウント
renewTs	更新日時
renewUserCd	更新者ユーザID

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1: 全件出力モード▪ 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力)▪ 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象日以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1: 既存ファイルに追記▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jnavi_trip_data/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none">▪ UTF-8▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none">▪ , : カンマ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none">▪ " : ダブルクォーテーション▪ none : 囲み文字なし

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張手配実績データテーブルエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jnavi_trip_data」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

BTMサービス利用実績データメンテナンス

本項では、BTMサービス利用実績データのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 更新

概要

BTMサービス利用実績データメンテナンスは、オプションモジュールの実績データ取得で「BTMサービス」から取り込んだBTMサービス利用実績データのメンテナンスを行います。

コラム

BTMサービスと連携する場合、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

[権限設定マスタ](#)でBTMサービス利用実績データの更新権限を付与されている場合、「利用ユーザ」、「利用データステータス」を変更できます。利用データには次の様なステータスがあります。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、精算申請を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

更新

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「BTMサービス」→「BTMサービス利用実績データ」をクリックします。

コラム

BTMサービス利用実績データメンテナンスを管理者として開く場合は、「サイトマップ」→「Kaiden!」→「BTMサービス」→「BTMサービス利用実績データ(管理者)」をクリックします。

- 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいBTMサービス利用実績データテーブルの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 利用ユーザ
- 摘要 1

i コラム

一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐づくデータが表示されます。
- 上記のユーザ以外は、ログインユーザが利用者のデータが表示されます。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

BTMサービス利用実績データメンテナンス

検索 クリア

No	▲ 利用開始日	利用終了日	利用ユーザ	摘要1	利用金額	利用データステータス	燃費状況
1	2017/10/31	2017/11/01	萩本晴子	タイフロンネットホテル名古屋駅前	10800	未処理	最新
2	2017/11/19	2017/11/22	萩本晴子	京王プレッソイン丸下	30200	未処理	最新
3	2017/11/21	2017/11/22	萩本晴子	リッチモンドホテル東大阪	11600	未処理	最新
4	2017/11/25	2017/11/26	萩本晴子	東横イン東京駅新大橋前	8424	未処理	最新
5	2017/11/27	2017/11/28	萩本晴子	ホテルメトロポリタン仙台	12300	未処理	最新

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

BTMサービス利用実績データメンテナンス	
会社*	サンプル会社
利用ユーザ*	<input checked="" type="checkbox"/> 仮本障子
利用データステータス*	未処理
備考	<input type="text"/>
連携番号	SH00001R17080xxxx1000
契約システムID	SA
企業コード	C00000012
連携システム権限者ID	G1346322
連携システム実行者ID	G1346322
利用開始日	2017/11/21
利用終了日	2017/11/22
日付3	2017/11/07
日付4	
日付5	
摘要1	リッチモンドホテル東大阪
摘要2	大阪府東大阪市長田中1-3-16
摘要3	06-6785-3333
摘要4	※禁煙※スタンダードシングルルーム
摘要5	【LongStay】最大24時間ステイ！14時～14時～和洋バイキング朝食付き～
利用金額	11600
金額2	11600
金額3	0
金額4	
金額5	
ステータス1	
ステータス2	
ステータス3	
ステータス4	
ステータス5	
数値1	1
数値2	1
数値3	
数値4	
数値5	
備考1	<input type="text"/>
備考2	<input type="text"/>
備考3	<input type="text"/>
備考4	<input type="text"/>
備考5	<input type="text"/>
履歴状況	<input checked="" type="radio"/> 最新 <input type="radio"/> 履歴
取消フラグ	<input type="radio"/> 取消 <input checked="" type="radio"/> 有効
インポート時振替フラグ	<input checked="" type="radio"/> 振替あり <input type="radio"/> 振替無し
連携日時	2020/01/17 11:15:25.000
システム案件ID	
ユーザデータID	
ガジェットクラス	
ガジェットバージョン	
ガジェットインスタンス	

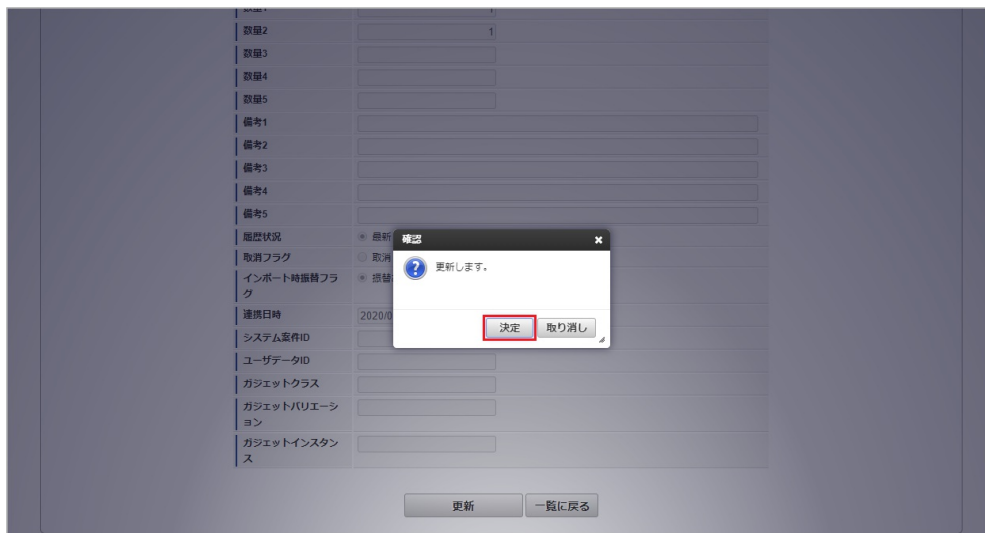
次の項目は編集可能な項目です。

- 利用ユーザ
利用者を選択します。
利用データステータスが、「未処理」、「処理不要」の場合のみ、編集可能です。
- 利用データステータス
「未処理」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成可能です。
「処理不要」を設定した場合、当該データを使用して精算申請書を作成できません。
- 備考
備考を入力します。

コラム

「利用ユーザ」、「利用データステータス」は、「履歴状況」が「最新」の場合のみ編集可能です。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



申請書公開設定

本項では、申請書公開設定のメンテナンス方法を説明します。

- [概要](#)
- [公開状況変更](#)

概要

申請書公開とは申請書を特定の従業員に公開し、公開された従業員は公開された申請書をコピーすることができる機能です。申請書公開には、次の様なステータス（公開状況）があり、本機能ではこのステータスを変更できます。

- 公開
- 非公開

本機能では公開設定された申請書の公開と非公開を切り替えることができます。また公開対象者を変更することができます。

公開状況変更

公開状況を公開から非公開にする

公開した申請書が、何らかの理由により公開する必要がなくなった場合、当該申請書を非公開にできます。非公開にした申請書は公開された従業員から参照することができません。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「申請書公開」→「申請書公開設定」をクリックします。

申請書公開設定

公開状況 公開 非公開

申請標準会社 サンプル会社

申請標準日

申請標準組織

案件名

案件番号

検索 クリア

No	詳細	案件番号	案件名	申請標準日
----	----	------	-----	-------

2. 検索欄の公開状況に **公開** を設定し「検索」をクリックすると、公開された申請書が一覧表示されます。

申請書公開設定

公開状況 公開 非公開

申請標準会社 サンプル会社

申請標準日

申請標準組織

案件名

案件番号

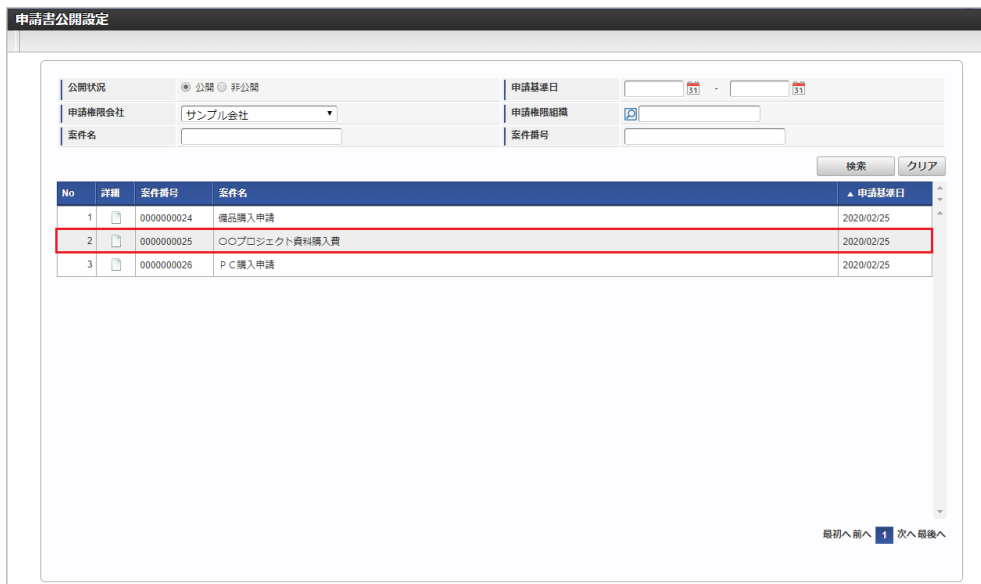
検索 クリア

No	詳細	案件番号	案件名	申請標準日
1		0000000024	備品購入申請	2020/02/25
2		0000000025	〇〇プロジェクト資料購入費	2020/02/25
3		0000000026	P C 購入申請	2020/02/25

最初へ前へ 1 次へ最後へ

- **詳細**
申請書の詳細を別画面で表示します。
- **案件番号**
申請書の案件番号を表示します。
- **案件名**
申請書の案件名を表示します。
- **申請標準日**
申請書の申請標準日を表示します。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



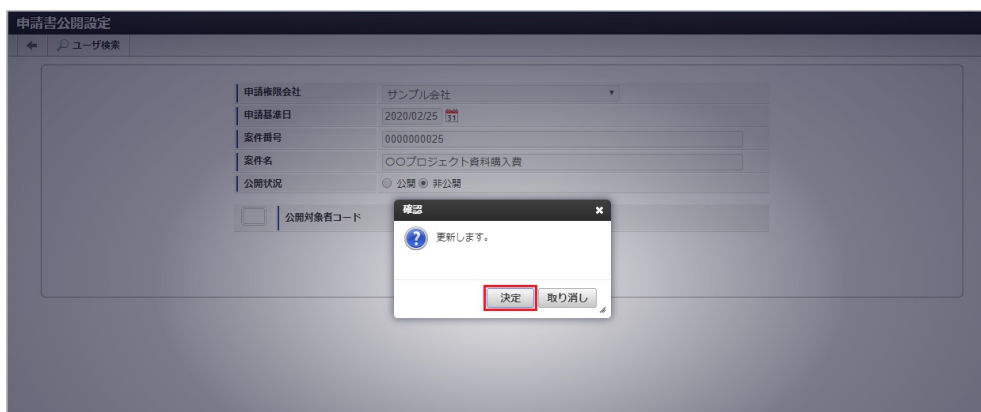
4. 更新画面で公開状況を「非公開」を選択し、公開対象者一覧を0件に編集後に「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 申請権限会社
- 申請基準日
- 案件番号
- 案件名

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 一覧からデータが消え、公開状況が非公開に変更されました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

申請書公開設定 更新しました。

公開状況 公開 非公開 申請基準日 [] - []

申請権限会社 サンプル会社 申請権限組織 []

案件名 [] 案件番号 []

検索 クリア

No	詳細	案件番号	案件名	申請基準日
1		0000000024	備品購入申請	2020/02/25
2		0000000026	P C購入申請	2020/02/25

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

公開状況を「非公開」に変更時、申請書の参照者から公開対象者は削除されません。
 公開対象者が参照者の場合、公開対象者で申請書を参照することができます。
 公開対象者で申請書を参照しない場合、案件操作にて参照者から公開対象者を削除してください。
 案件操作の詳細は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

公開状況を非公開から公開にする

当機能で非公開にした申請書を、公開に切り替えます。

1. 検索欄の公開状況に **非公開** を設定し「検索」をクリックすると、非公開にされた申請書が一覧表示されます。

申請書公開設定

公開状況 公開 非公開 申請基準日 [] - []

申請権限会社 サンプル会社 申請権限組織 []

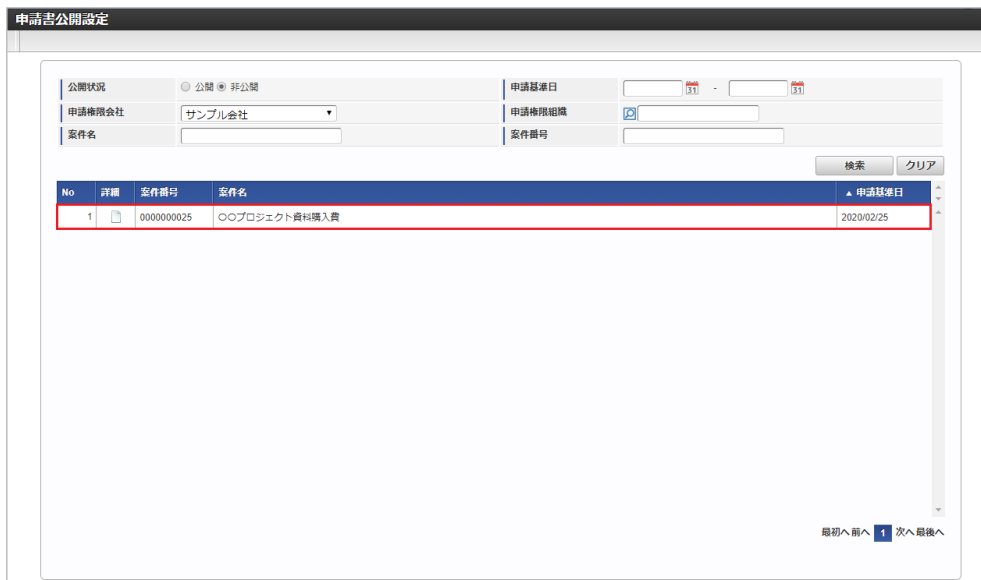
案件名 [] 案件番号 []

検索 クリア

No	詳細	案件番号	案件名	申請基準日
1		0000000025	〇〇プロジェクト資料購入費	2020/02/25

最初へ前へ 1 次へ最後へ

2. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



3. 更新画面で公開状況を「公開」を選択し、「ユーザ検索」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 申請権限会社
- 申請基準日
- 案件番号
- 案件名

4. ユーザ検索画面で公開対象者を選択し、「決定」をクリックします。



5. 公開対象者一覧に選択したユーザが追加されていることを確認し、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

7. 一覧からデータが消え、公開状況が公開に変更されました。

i コラム

公開状況を「公開」に変更時、申請書の参照者に公開対象者は追加されません。
 公開対象者が参照者ではない場合、公開対象者で申請書を参照することができません。
 公開対象者で申請書を参照する場合、あらかじめ、ユーザや組織、ロール等で参照者を設定しておくか、案件操作にて参照者に公開対象者を追加してください。
 参照者の設定方法、案件操作の詳細は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

i コラム

公開状況が「公開」の場合に公開対象者変更時、申請書の参照者は更新されません。
 公開対象者が参照者ではない場合、公開対象者で申請書を参照することができません。
 公開対象者で申請書を参照する場合、あらかじめ、ユーザや組織、ロール等で参照者を設定しておくか、案件操作にて参照者に公開対象者を追加してください。
 また、公開対象者から削除した場合、案件操作にて参照者から公開対象者を削除してください。
 参照者の設定方法、案件操作の詳細は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

本項では、決裁連携データメンテナンスのメンテナンス方法を説明します。

- 概要
- 決裁状況の変更
- 連携対象者の変更
- 決裁状況レポートの表示

概要

決裁事前申請書は、請求書や納品書に対する支払等を起案し決裁を仰ぐことを目的とした申請書です。

決裁精算申請書は、決裁事前申請書にて承認された行為に対する精算を目的とした申請書です。

決裁事前ガジェットを含む申請書は、決裁精算ガジェットを含む複数の申請書で紐付けを行い並行して精算することが可能です。

承認された決裁事前申請には、次の様なステータス（決裁状況）があり、本機能ではこのステータスを変更できます。

- 決裁可能
- 決裁終了

通常は、決裁精算申請を「作成～承認」することでステータスが「決裁可能～決裁終了」に変化しますが、

本機能では、決裁可能と決裁終了を切り替えることができます。

また決裁事前申請の連携対象者を変更することができます。

連携対象者は連携された申請書に対し決裁精算申請を作成することができます。

決裁状況の変更

決裁状況を決裁可能から決裁終了にする

決裁事前申請書が、何らかの理由により精算する必要がなくなった場合、当該申請書を決裁終了にできます。

決裁終了にした決裁事前申請書に対する決裁精算申請書は、作成できません。

i コラム

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐付く全ての決裁事前申請書の決裁状況を更新することができます。
- 上記以外の場合、ログイン中のユーザが申請した申請書および自身に連携されている決裁事前申請書でクローズ権限を保持している申請書のみ決裁状況を変更することができます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。

i コラム

決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、

「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。

2. 検索欄の決裁状況に **決裁可能** を設定し「検索」をクリックすると、決裁未精算のデータが一覧表示されます。

決裁連携データメンテナンス

決裁終了に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

案件名

申請基準日

決裁金額

申請権限組織

申請権限者

検索 クリア

No	詳細	連携	案件番号	案件名	申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	備品購入費申請	2020/02/25	青柳原巳	15,000	15,000
2			0000000028	○○プロジェクト広告費申請	2020/02/25	青柳原巳	200,000	200,000
3			0000000029	P C購入申請	2020/02/25	青柳原巳		
4			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	萩本隼子	160,000	160,000

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

- **詳細**
決裁事前申請書の詳細を別画面で表示します。
- **連携**
決裁事前申請書の連携対象者を別画面で表示します。
- **案件番号**
決裁事前申請書の案件番号を表示します。
- **案件名**
決裁事前申請書の案件名を表示します。
- **申請基準日**
決裁事前申請書の申請基準日を表示します。
- **申請権限者**
決裁事前申請書の申請権限者を表示します。
- **決裁金額**
決裁事前申請書で申請した決裁金額を表示します。
- **残高**
未精算の決裁金額の残高です。
すでに精算済の決裁金額を差し引いた残りを表示しています。

例) 決裁額8,000のうち3,000が精算済の場合、残額として5,000が表示されます。

コラム

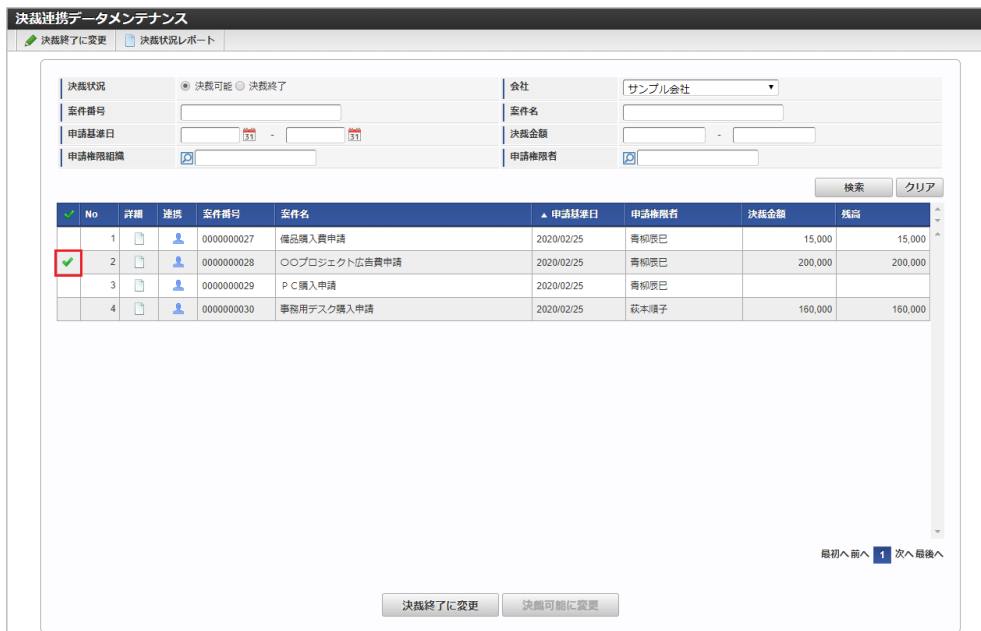
決裁事前申請書で金額未定として申請した場合、「決裁金額」と「残高」は空欄となります。

コラム

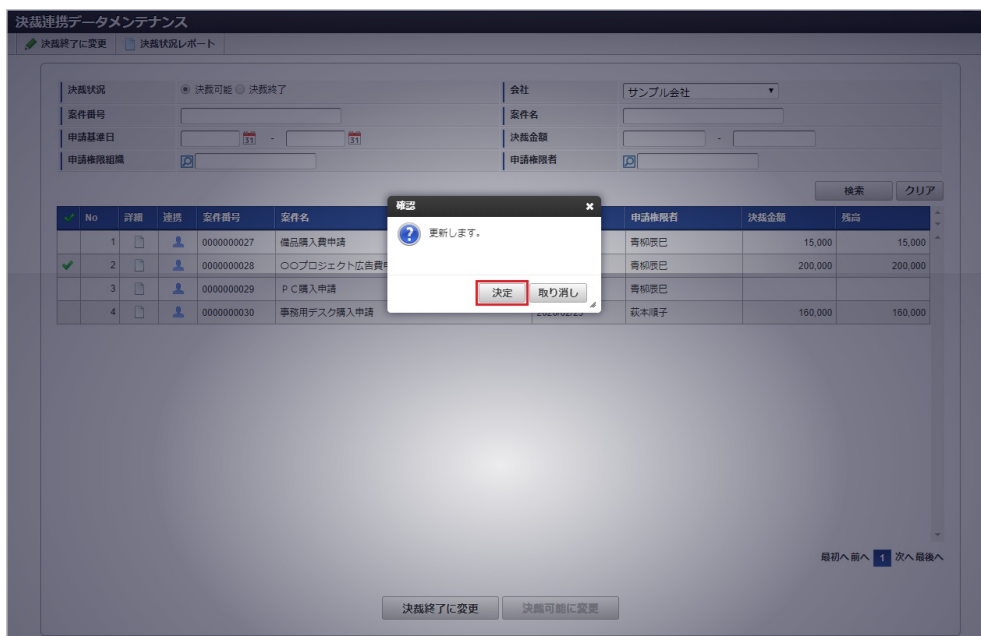
一覧画面で検索可能なデータは次の通りです。

- 管理者として開いた場合、所属する会社に紐付く決裁事前申請書が表示されます。
- 上記以外の場合、ログインユーザが申請者の決裁事前申請書および自身に連携されている決裁事前申請書が表示されます。

3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックがつかます。



4. 「決裁終了に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。
 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



5. 一覧からデータが消え、決裁状況が決裁終了に変更されました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

決裁連携データメンテナンス 更新しました。

決裁終了に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

申請基準日

申請権限組織

案件名

決裁金額

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	連携	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000027	備品購入費申請	2020/02/25	青柳辰巳	15,000	15,000
2			0000000029	P C 購入申請	2020/02/25	青柳辰巳		
3			0000000030	事務用デスク購入申請	2020/02/25	森本順子	160,000	160,000

最初へ前へ 1 次へ最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

決裁状況を決裁終了から決裁可能にする

当機能で決裁終了にした決裁事前申請書を、決裁可能に切り替えます。

1. 検索欄の決裁状況に **決裁終了** を設定し「検索」をクリックすると、決裁終了データが一覧表示されます。

決裁連携データメンテナンス

決裁可能に変更 決裁状況レポート

決裁状況 決裁可能 決裁終了

会社 サンプル会社

案件番号

申請基準日

申請権限組織

案件名

決裁金額

申請権限者

検索 クリア

✓ No	詳細	連携	案件番号	案件名	▲ 申請基準日	申請権限者	決裁金額	残高
1			0000000028	〇〇プロジェクト広告費申請	2020/02/25	青柳辰巳	200,000	200,000

最初へ前へ 1 次へ最後へ

決裁終了に変更 決裁可能に変更

2. 切り替え対象のデータ行を選択し「決裁可能に変更」をクリックすると、決裁状況が決裁可能に変更されます。

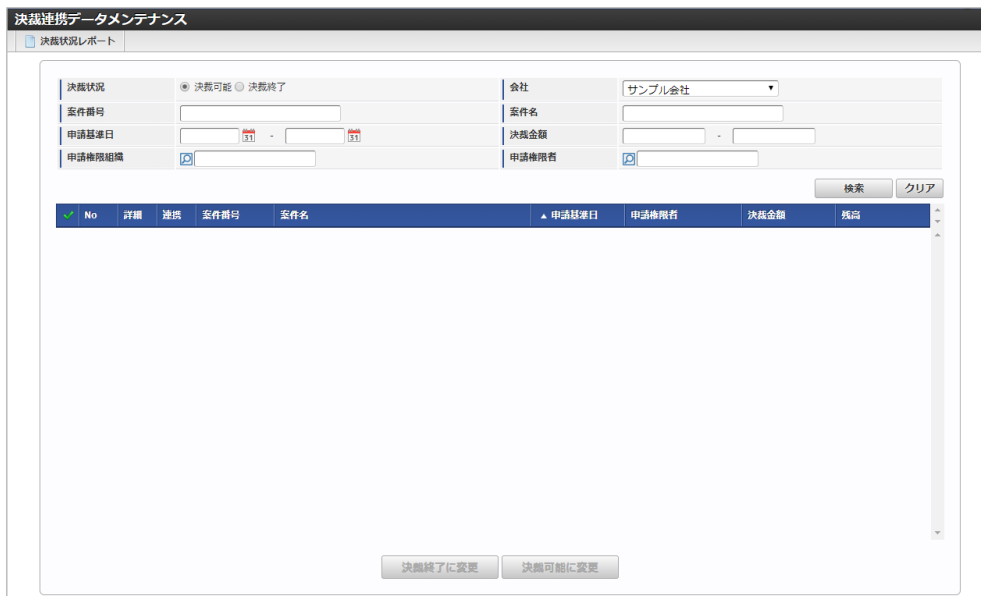
連携対象者の変更

決裁事前申請書が、何らかの理由により連携する対象者を変更する場合、当該申請書の連携対象者を変更することができます。管理者として開いた場合、所属する会社に紐づく全ての申請書の連携対象者を変更することができます。上記以外の場合、自身が作成した申請書のみ連携対象者を変更することができます。

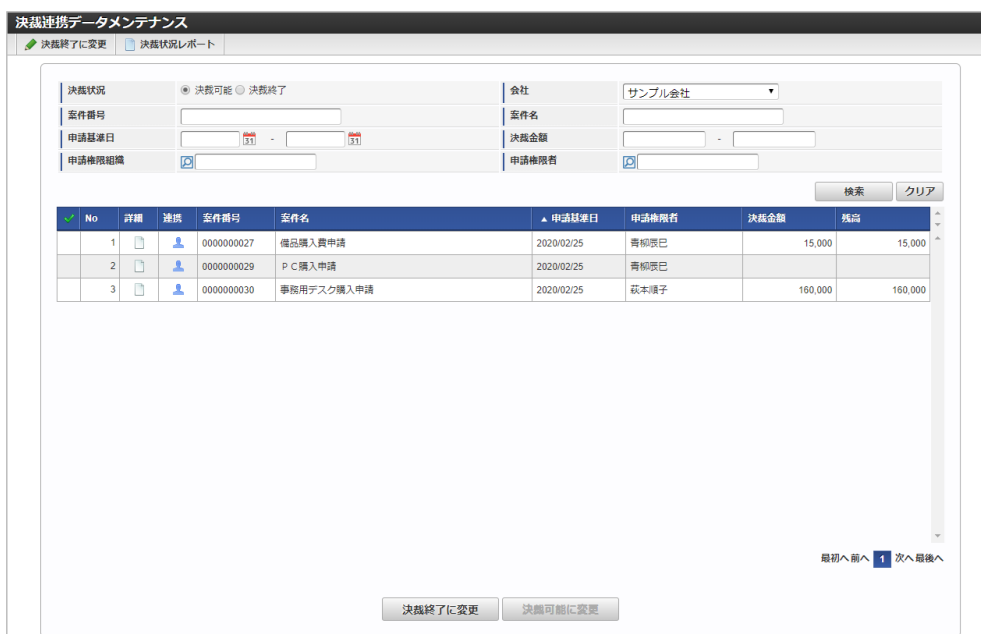
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。

コラム

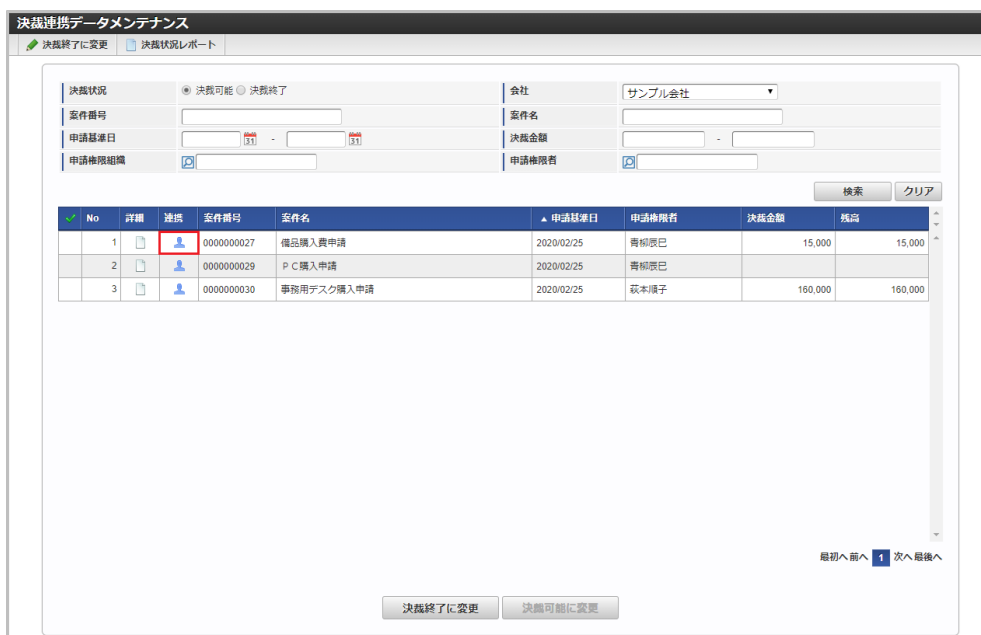
決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。



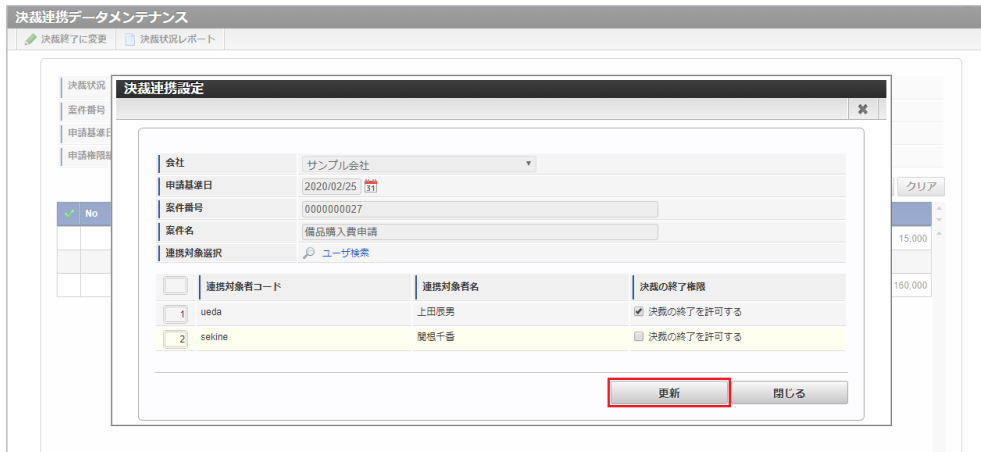
2. 検索欄の決裁状況に **決裁可能** を設定し「検索」をクリックすると、決裁未精算のデータが一覧表示されます。



3. 連携対象者を変更するデータ行の連携アイコンをクリックします。



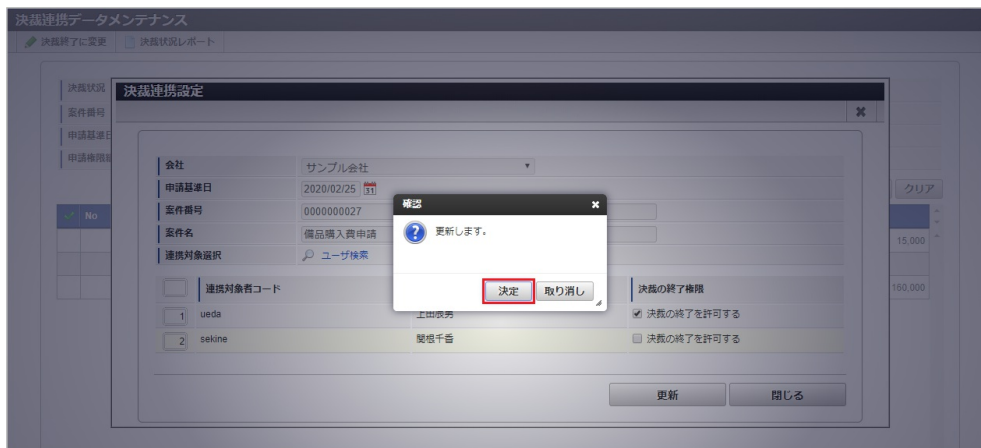
4. 連携設定画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集可能な項目です。

- 連携対象者選択**
 ユーザ検索画面を起動し、選択したユーザを連携対象者一覧へ追加します。
- 決裁の終了権限**
 決裁の終了を許可するをチェックした場合、決裁精算申請時に決裁を終了することができます。また本機能で「決裁状況」の変更を行うことができます。決裁の終了を許可するをチェックしない場合、決裁精算申請時に決裁を終了することができません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



i コラム

連携対象者変更時、申請書の参照者は更新されません。

連携対象者が参照者ではない場合、連携対象者で申請書を参照することができません。

連携対象者で申請書を参照する場合、あらかじめ、ユーザや組織、ロール等で参照者を設定しておくか、案件操作にて参照者に連携対象者を追加してください。

また、連携対象者から削除した場合、案件操作にて参照者から連携対象者を削除してください。

参照者の設定方法、案件操作の詳細は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

決裁状況レポートの表示

本機能から決裁状況レポートを別ウィンドウで表示することができます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス」をクリックします。

i コラム

決裁連携データメンテナンスを管理者として開く場合は、

「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「決裁連携」→「決裁連携データメンテナンス（管理者）」をクリックします。

2. ツールバー「決裁状況レポート」をクリックすると、別ウィンドウで決裁状況レポートを開きます。

i コラム

本機能を管理者として開いた場合、「決裁状況一覧(管理者)」レポートを開きます。

上記以外の場合、「決裁状況一覧」レポートを開きます。

レポートの操作方法是『[intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド](#)』-「レポート」-「ワークフロー」-「決裁状況一覧」を参照してください。

ストレージのファイル进行操作するための関連操作

ストレージアップロード／ダウンロード

本項では、ストレージアップロード／ダウンロードの利用方法を説明します。

- 概要
- アップロード
- ダウンロード

概要

ストレージアップロード／ダウンロードとはストレージに対してアップロード、ダウンロードを行う機能です。

アップロード

パブリックストレージへファイルをアップロードします。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル操作」→「ストレージアップロード／ダウンロード」をクリックします。

ストレージアップロード／ダウンロード

アップロード

ファイルパス*

ファイル*

アップロード

ダウンロード

対象ストレージ* パブリックストレージ システムストレージ

ファイルパス*

ダウンロード

2. アップロードエリアの「ファイルパス」と「ファイル」を選択し、「アップロード」をクリックします。

ストレージアップロード／ダウンロード

アップロード

ファイルパス*

ファイル* 1ファイル

アップロード

ダウンロード

対象ストレージ* パブリックストレージ システムストレージ

ファイルパス*

ダウンロード

- **ファイルパス**
アップロード先のファイルパスを選択します。
- **ファイル**
アップロードするファイルを選択します。
※複数選択可能

i コラム

ファイルパスについて

「[ファイルパス管理マスタ](#)」で登録された、以下のファイルパスを選択することができます。

- アップロードが許可されたファイルパス
- 機能権限がログインユーザに付与されているファイルパス
権限付与の方法は、「[権限設定マスタ](#)」を参照してください。

i コラム

アップロードについて

ファイルパスの存在有無により、以下にファイルがアップロードされます。

- 選択したファイルパスがストレージに存在する
 - ストレージに存在するファイルパスがディレクトリの場合
ファイルパスの配下にアップロードします。
 - ストレージに存在するファイルパスがファイルの場合
ファイルパスのファイルが存在しているディレクトリの配下にアップロードします。

【イメージ】

ファイルパス : kaiden/SampleA.csv

ストレージ : kaiden/SampleA.csv ※ファイル

「SampleB.csv」をアップロード

ストレージの「kaiden」配下へアップロードされ「kaiden/SampleB.csv」となります。

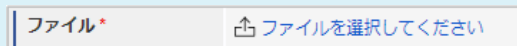
- 選択したファイルパスがストレージに存在しない
ストレージにファイルパスが作成され、その配下にアップロードします。

i コラム

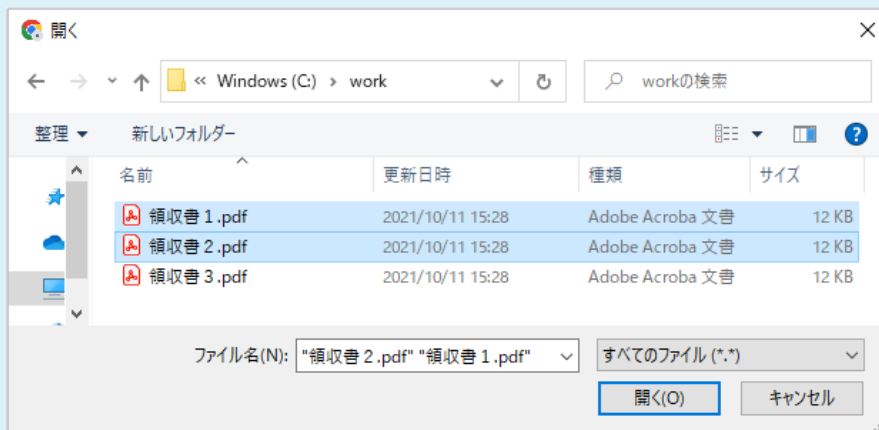
ファイル選択の操作方法は、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』 - 「リファレンス」 - 「各種操作」 - 「PC用画面の各種操作」 - 「ファイル添付」を参照してください。

ただし、「ストレージアップロード／ダウンロード」では、以下の仕様となっています。

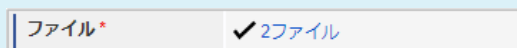
- 「アップロード」リンクではなく「ファイルを選択してください」リンクが表示されます。



- ファイルは複数選択することができます。



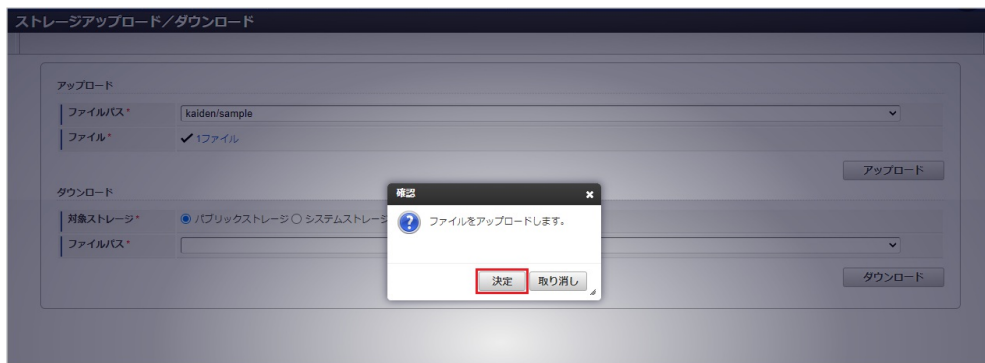
- ファイル選択後は、「プレビュー」リンクが表示されず「ファイルの件数」リンクのみ表示されます。



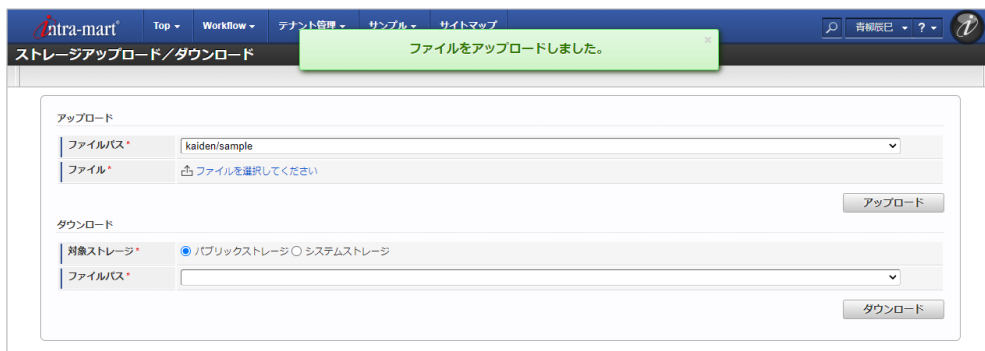
- ファイル一覧ポップアップには「ファイル追加」ボタンが表示されます。
「ファイル追加」ボタンをクリックすると、ファイル選択のダイアログが表示され、ファイルを追加することができます。



3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. アップロードすることができました。



ダウンロード

パブリックストレージまたはシステムストレージからファイルをダウンロードします。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル操作」→「ストレージアップロード/ダウンロード」をクリックします。



2. ダウンロードエリアの「対象ストレージ」と「ファイルパス」を選択し、「ダウンロード」をクリックします。



- **対象ストレージ**
ダウンロードする対象のストレージを選択します。
 - パブリックストレージ
 - システムストレージ
- **ファイルパス**
ダウンロード元のファイルパスを選択します。



コラム

ファイルパスについて

「[ファイルパス管理マスタ](#)」で登録された、以下のファイルパスを選択することができます。

- ダウンロードが許可されたファイルパス
- 機能権限がログインユーザに付与されているファイルパス
権限付与の方法は、「[権限設定マスタ](#)」を参照してください。



コラム

ダウンロードについて

ファイルパスの存在有無によって、以下のファイルがダウンロードされます。

- 選択したファイルパスがストレージに存在する
 - ストレージに存在するファイルパスがディレクトリの場合
ファイルパス配下のファイルをzip化しダウンロードします。
 - ストレージに存在するファイルパスがファイルの場合
ファイルパスのファイルをダウンロードします。
- 選択したファイルパスがストレージに存在しない
ストレージに対象が存在しないため、ダウンロードされません。

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. ダウンロードすることができました。



ジョブ実行

本項では、ジョブ実行の操作方法を説明します。

- [概要](#)
- [ジョブネット実行](#)
- [ジョブネット実行結果の確認](#)

概要

ジョブ実行とは、[権限設定マスタ](#)、[ジョブ管理マスタ](#)で付与された権限のジョブネットを実行/参照することができる機能です。
なお、ジョブ実行からジョブネットパラメータの設定はできません。

ジョブネット実行

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ジョブ」→「ジョブ実行」をクリックします。
2. 「検索」をクリックすると、実行可能なジョブネットが一覧表示されます。



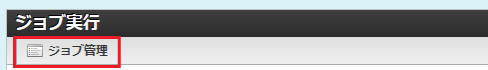
i コラム

検索欄に検索したいジョブ管理の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

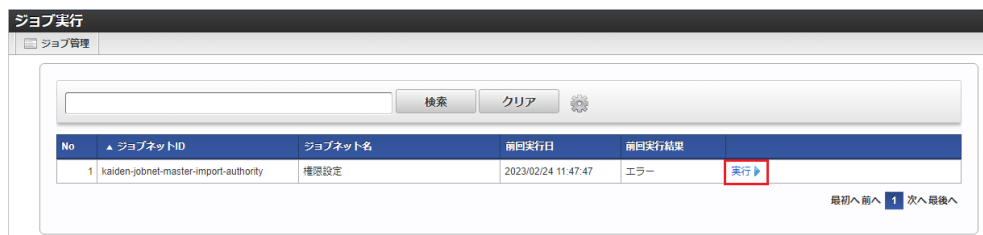
- ジョブネットID
- ジョブネット名

i コラム

「ジョブ管理」をクリックすると、ジョブ管理画面を表示します。
ジョブ管理の詳細は [ジョブ管理マスタ](#) を参照ください。



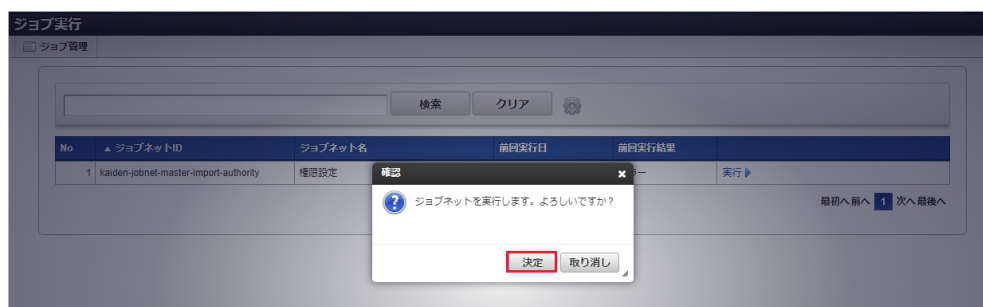
3. ジョブネットを実行したい行の「実行」をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#) を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. ジョブネットが実行されました。



ジョブネット実行結果の確認

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ジョブ」→「ジョブ実行」をクリックします。
2. 「検索」をクリックすると、実行可能なジョブネットが一覧表示されます。

i コラム

検索欄に検索したいジョブ管理の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ジョブネットID
- ジョブネット名

3. ジョブネットの実行結果を確認したい行をクリックします。

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. ジョブネットの実行結果が一覧表示されます。

No	モニタID	トリガID	ステータス	開始日	終了日
1	intra-martAPP:198.19.99.111:52001677201713506	MT_bd3b6e11qe162	エラー	2023/02/24 13:34:57	2023/02/24 13:34:57
2	intra-martAPP:198.19.99.111:52001677201713504	MT_1c6jpev733rct	エラー	2023/02/24 11:47:47	2023/02/24 11:47:47

i コラム

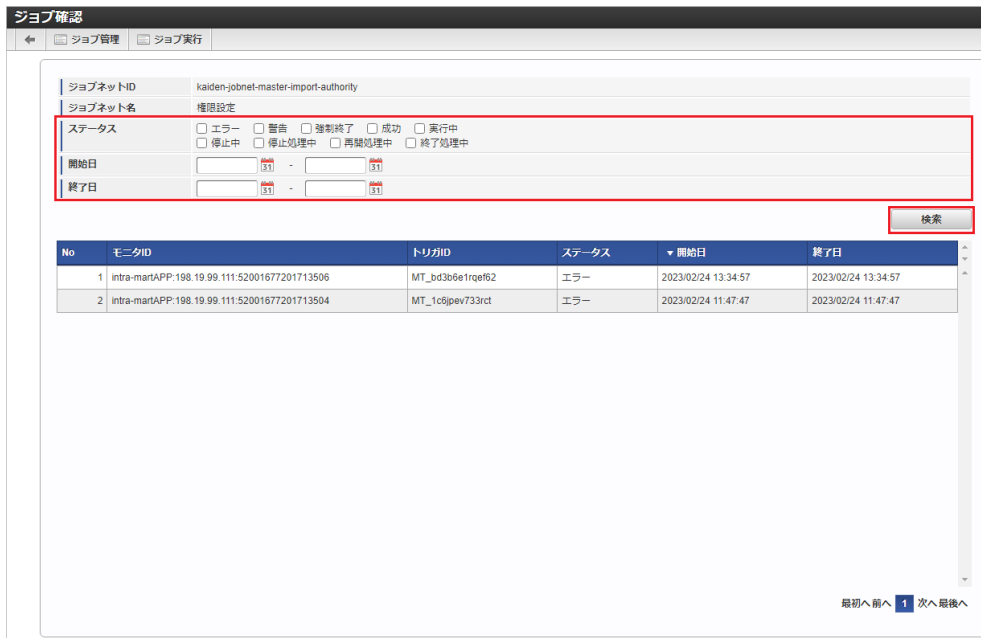
ジョブネットモニタなど、ジョブ実行以外の機能から実行した実行結果を含めて表示されます。

i コラム

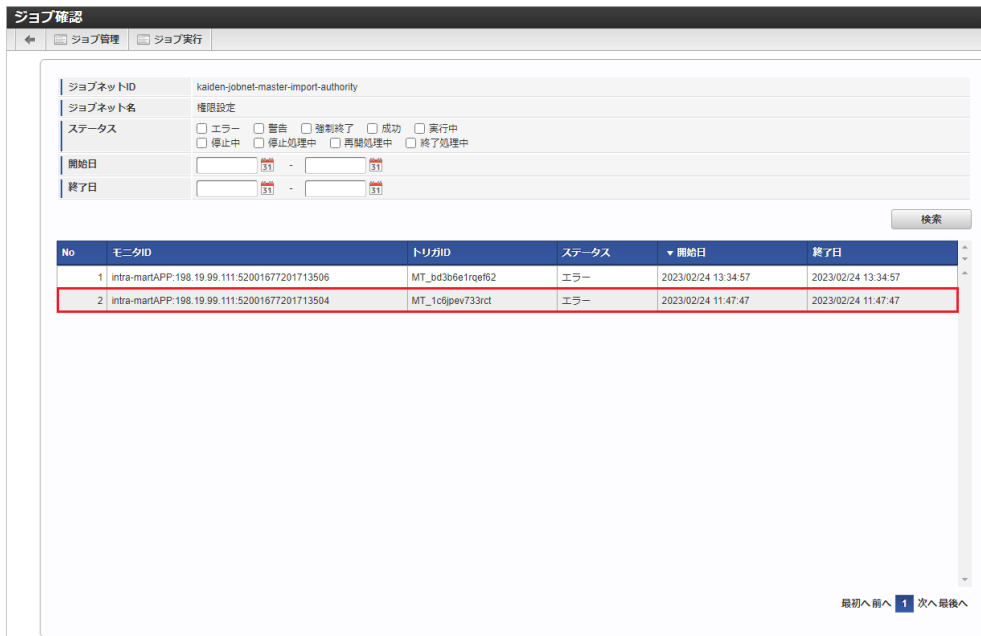
「ジョブ管理」をクリックすると、ジョブ管理画面を表示します。
 ジョブ管理の詳細は [ジョブ管理マスタ](#) を参照ください。
 「ジョブ実行」をクリックすると、表示しているジョブネットを実行します。



5. 検索条件を入力して「検索」をクリックすると、検索条件で絞り込んだ実行結果が一覧表示されます。



1. ジョブネット実行結果の詳細を確認したい行をクリックします。



2. ジョブネット実行結果の詳細が表示されます。

ジョブ確認 (詳細)

モニタID	intra-martAPP:198.19.99.111.52001677201713504
ジョブネットID	kaiden-jobnet-master-import-authority
ジョブネット名	権限設定
トリガID	MT_1c6ipev733rct
ステータス	エラー
開始日	2023/02/24 11:47:47
終了日	2023/02/24 11:47:47
メッセージ	

No	詳細	ジョブID	ジョブ名	ステータス	開始日	終了日	メッセージ
1		kaiden-job-master-import-authority	権限設定	エラー	2023/02/24 11:47:47	2023/02/24 11:47:47	権限設定を終了しました。(結果：会社別処理でエラーが発生しています。)

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

3. 「詳細」をクリックすると出力されたジョブ履歴の内容を確認できます。

ジョブ確認 (詳細)

モニタID	intra-martAPP:198.19.99.111.52001677201713504
ジョブネットID	kaiden-jobnet-master-import-authority
ジョブネット名	権限設定
トリガID	MT_1c6ipev733rct
ステータス	エラー
開始日	2023/02/24 11:47:47
終了日	2023/02/24 11:47:47
メッセージ	

No	詳細	ジョブID	ジョブ名	ステータス	開始日	終了日	メッセージ
1		kaiden-job-master-import-authority	権限設定	エラー	2023/02/24 11:47:47	2023/02/24 11:47:47	権限設定を終了しました。(結果：会社別処理でエラーが発生しています。)

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

4. 「検索オプション」を変更すると、設定した検索オプションで絞り込んだジョブ履歴が表示されます。

ジョブ実行結果確認

検索オプション

実行結果	<input type="checkbox"/> 成功 <input checked="" type="checkbox"/> エラー <input checked="" type="checkbox"/> 警告
会社	サンプル会社

ジョブ履歴

ジョブID	kaiden-job-master-import-authority
会社コード	comp_sample_01
開始日	2023/02/24 11:47:47
終了日	
ステータス	error
総処理件数	0
正常処理件数	0
エラー処理件数	1
ファイル名	20230224114747835_8grpremsyilug45.xml

詳細

No	ログレベル	メッセージ
1	info	権限設定の会社別処理(comp_sample_01)を開始しました。
2	error	システムエラーが発生しました。原因=java.io.FileNotFoundException / D:\tools\resin\resin-pro-4.0.66_2014\storage\publicstorage\imart\kaiden\genericmasterauthority\import_header.csv (指定された/スが見つかりません。)

ファイル管理

[ファイル管理](#)を参照ください。

ファイル削除

[ファイル削除](#)を参照ください。

通勤費Webと連携して通勤経路を取得するための関連操作

通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポート

本項では、「通勤費Web」から定期経路連携ファイルを取得する方法を説明します。

取得したファイルを[通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート](#)でインポートすることで、[通勤経路マスタ](#)に通勤経路を登録できます。

- [概要](#)
- [ジョブネットの設定](#)
- [ファイル取得](#)
- [実行パラメータ](#)

概要

通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポートは、指定された[通勤費Web連携設定マスタ](#)の情報に基づき「通勤費Web」に接続し、定期経路連携ファイルを取得します。

「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」で「通勤費Web」に定期経路連携ファイルの出力予約を実施します。

「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」で「通勤費Web」側で出力準備ができた定期経路連携ファイルをダウンロードします。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsukinhi-web-external-01-commute-route-data-linkage-export-reserve	Kaiden! / 通勤費Web/ 外部 / 通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約
kaiden-job-base-tsukinhi-web-external-02-commute-route-data-linkage-download	Kaiden! / 通勤費Web/ 外部 / 通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポートに成功した場合、次の通り「通勤費Web」からダウンロードしたファイルが出力されます。

- 出力先

ディレクトリ	kaiden/ekispert/download/commuterRouteDataLinkageCsv/{COMPANY_CD}
ファイル名	commuterRouteDataLinkage.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

{COMPANY_CD} : 会社コード

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

各実行パラメータに記載がない場合、「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」、「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 設定は必須です。
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
支給年月	payment_month	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」で「通勤費Web」から出力対象の経路の支給年月(yyyy/MM)を設定します。 (省略時: ジョブの実行年月)
接続回数	connection_times	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」で「通勤費Web」にファイル出力予約の処理状況を確認する際の最大接続回数を設定します。 (省略時: 10)
接続間隔	connection_interval	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」で「通勤費Web」にファイル出力予約の処理状況を確認する際の接続間隔(秒)を設定します。 (省略時: 60)
タスク番号	task_no	タスク番号が設定されている場合、「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイル出力予約」で「通勤費Web」にファイル出力予約の処理状況を確認します。 設定されていない場合、「通勤費Web」にファイル出力処理の予約を実行します。 ファイル出力処理の予約を実行時に予約に紐づくタスク番号をログに出力します。
エクスポートファイルのパス	file_path	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」でエクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/ekispert/download/commuterRouteDataLinkageCsv/{COMPANY_CD}/commuterRouteDataLinkage.csv)
文字コード	character	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」でエクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: SHIFT-JIS) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」でエクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ

名称	キー	説明／設定値
囲み文字	enclosing	「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルダウンロード」でエクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：none) <ul style="list-style-type: none"> ”：ダブルクォーテーション none：囲み文字なし

通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート

本項では、[通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポート](#)で「通勤費Web」から取得した定期経路連携ファイルをインポートすることで、[通勤経路マスタ](#)に通勤経路を登録する方法を説明します。

- 概要
 - ファイル作成
- ジョブネットの設定
- 実行パラメータ

概要

通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポートは、「通勤費Web」から取得した定期経路連携ファイルをインポートして、[通勤経路マスタ](#)に通勤経路を登録します。

[通勤費Webユーザマッピングマスタ](#)に登録されていないユーザのデータはインポートされません。

インポートデータにバス経路等が含まれる場合、データはインポートされますが「通勤費Web」からインポートしたデータとして扱われず、定期券控除に利用されません。

ファイル作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 commuterRouteDataLinkage.csv

文字コード SHIFT-JIS

区切り文字 ,

囲み文字 なし

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	社員ID	○	20	
2	削除フラグ		1	N：有効 N以外：無効（論理削除）
3	出発駅名		255	
4	到着駅名		255	
5	開始日	○	10	
6	終了日	○	10	
7	定期文字列		255	
8	定期経路シリアルズデータ		255	

データサンプル

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ	kaiden/ekispert/download/commuterRouteDataLinkageCsv/{COMPANY_CD}
ファイル名	commuterRouteDataLinkage.csv

{COMPANY_CD} : 会社コード



コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

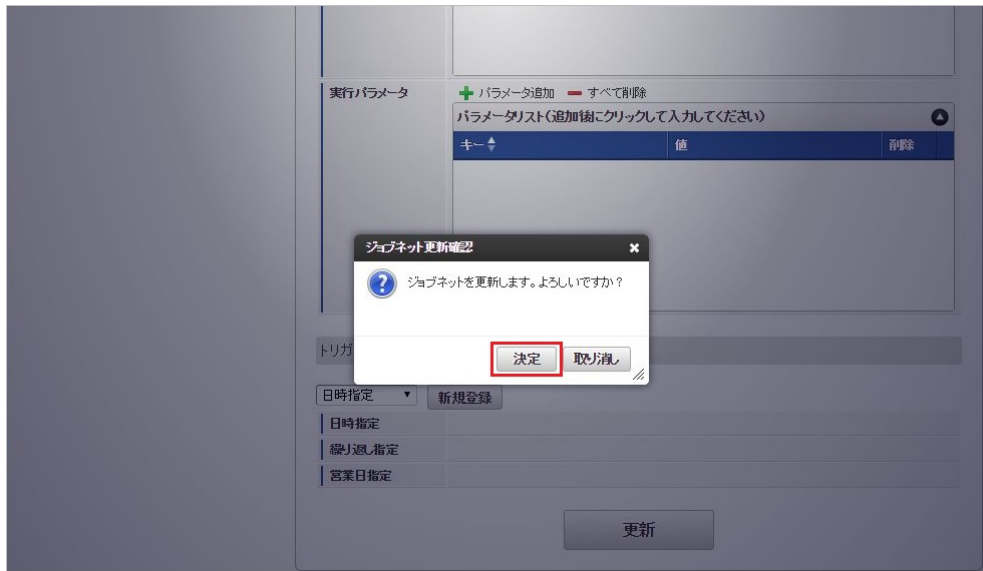
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-tsukinhi-web-external-03-commute-route-data-linkage-import	Kaiden! / 通勤費Web/ 外部 / 通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/ekispert/download/commuterRouteDataLinkageCsv/{COMPANY_CD}/commuterRouteDataLinkage.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/ekispert/download/commuterRouteDataLinkageCsv/{COMPANY_CD}/commuterRouteDataLinkage_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: SHIFT-JIS) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: none) <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)

{COMPANY_CD}: 会社コード

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Builder編集

本項では、MasterBuilder定義、ReportBuilder定義、GadgetBuilder定義を画面上で編集、登録する方法について説明します。

- [概要](#)
- [Builder編集](#)

概要

当機能はMasterBuilder定義、ReportBuilder定義、GadgetBuilder定義のXMLファイルをアップロードし、編集した内容をパブリックストレージに反映できます。



コラム

MasterBuilder定義、ReportBuilder定義、GadgetBuilder定義に関しては、『[intra-mart Accel Kaiden! MasterBuilder 設定ガイド](#)』、『[intra-mart Accel Kaiden! ReportBuilder 設定ガイド](#)』、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』を参照してください。

Builder編集

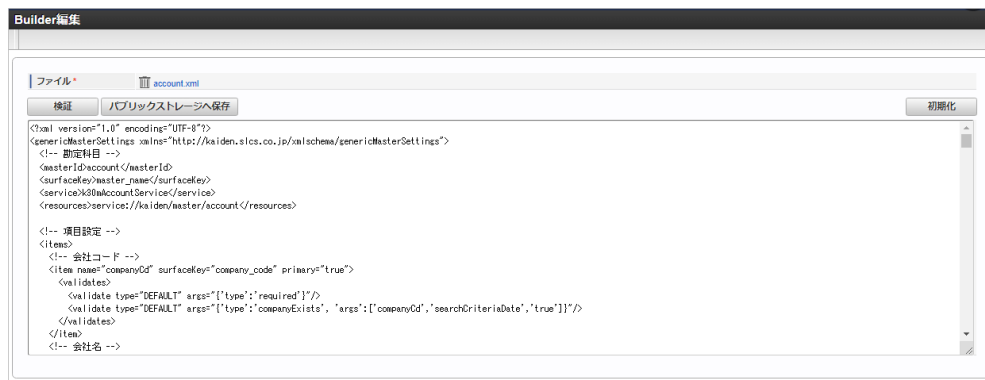
1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Builder」→「Builder編集」をクリックします。



2. アップロードアイコンをクリックし、MasterBuilder定義、ReportBuilder定義、GadgetBuilder定義のXMLファイルをアップロードします。



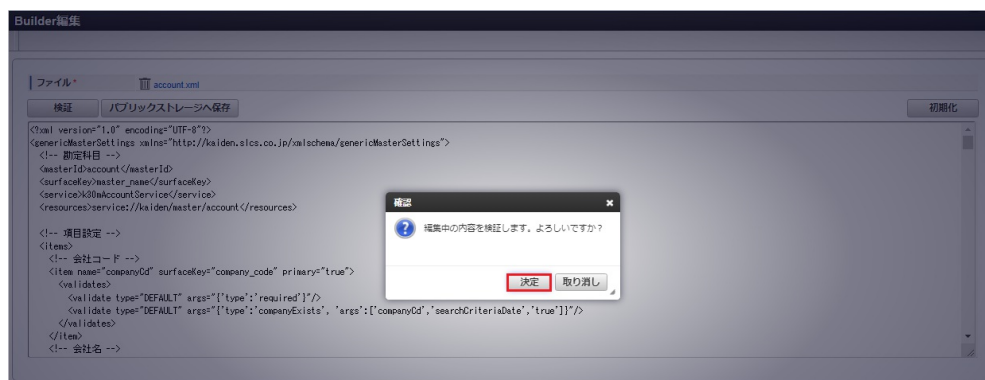
3. アップロードしたファイルが表示されます。



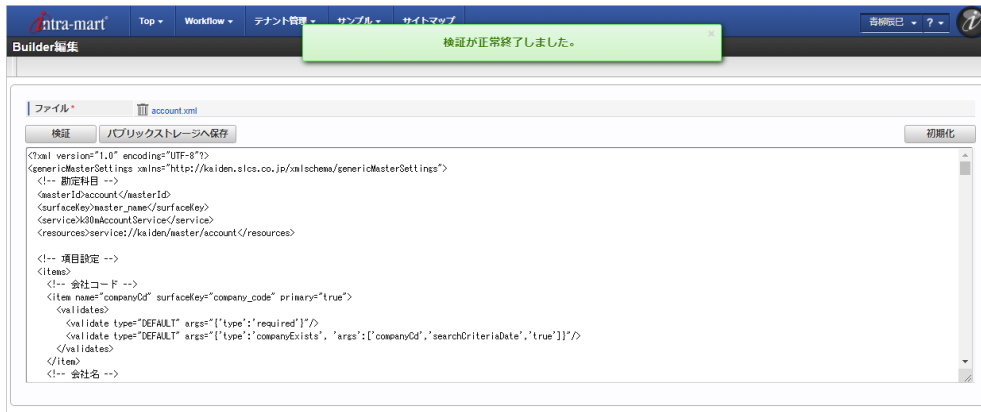
4. 「検証」をクリックすると、ファイルの内容を検証します。



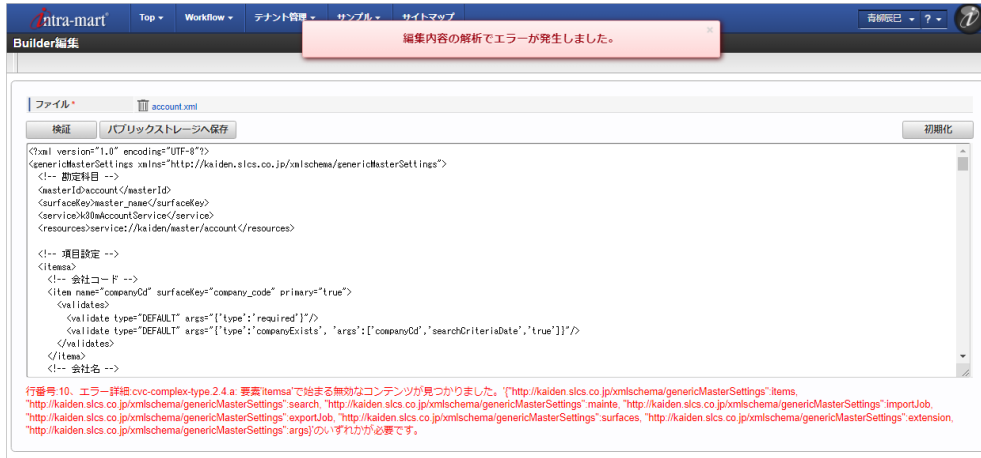
5. 確認ポップアップが表示されたら「決定」をクリックします。



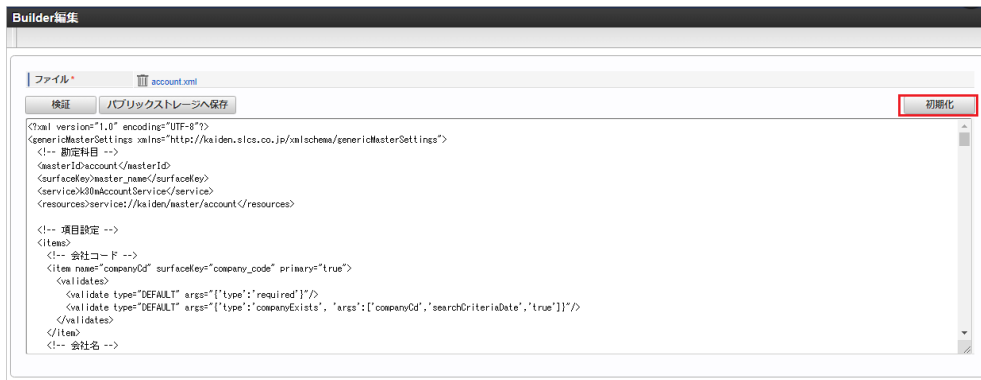
6. ファイルの検証が正常に完了しました。



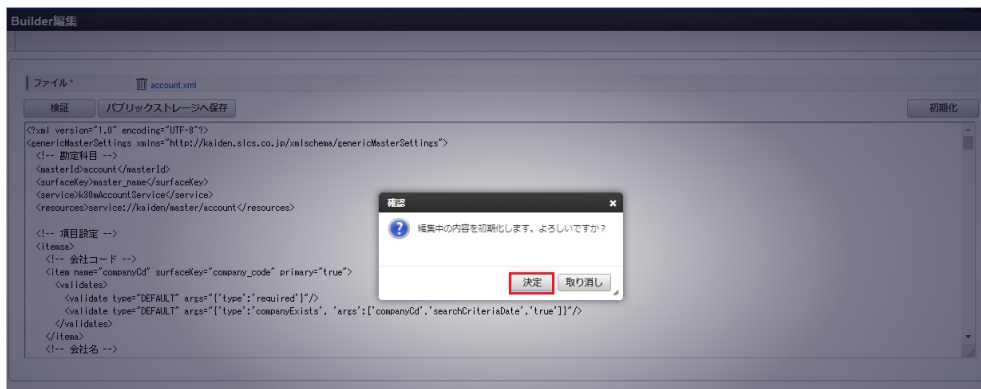
7. ファイルの検証時にエラーが発生した場合、エラーの内容が表示されます。



8. 「初期化」をクリックすると、ファイルの内容がアップロード時の状態に戻ります。



9. 確認ポップアップが表示されたら「決定」をクリックします。



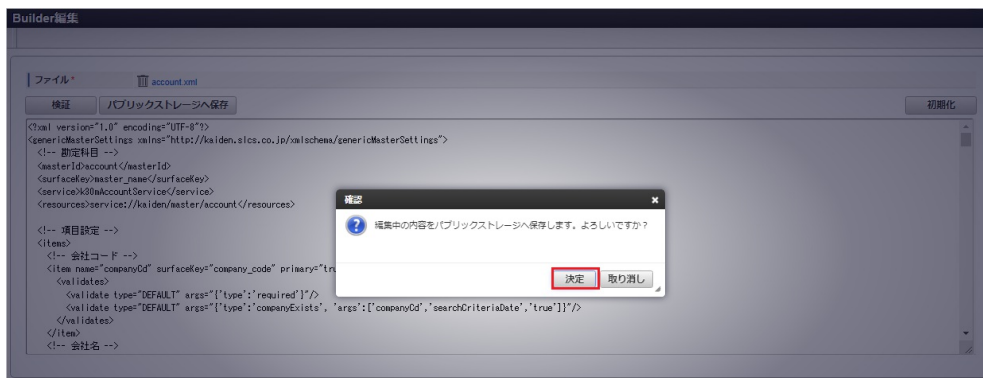
10. ファイルの内容がアップロード時の状態に戻りました。



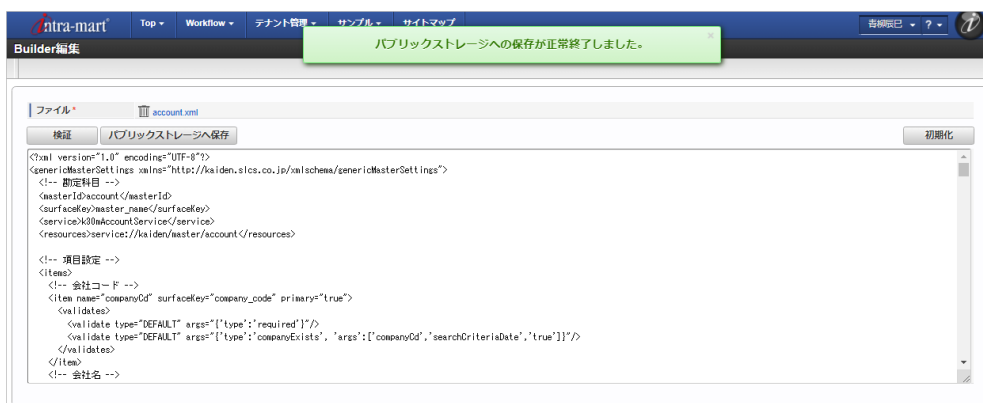
11. 編集が完了したら、「パブリックストレージへ保存」をクリックします。



12. 確認ポップアップが表示されたら「決定」をクリックします。

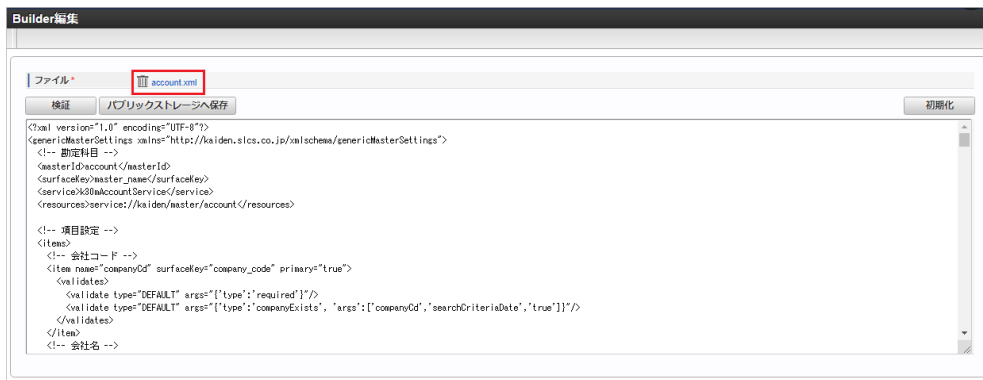


13. 編集した内容がパブリックストレージに保存されました。
既にパブリックストレージに同名のファイルが保存されている場合、上書きします。

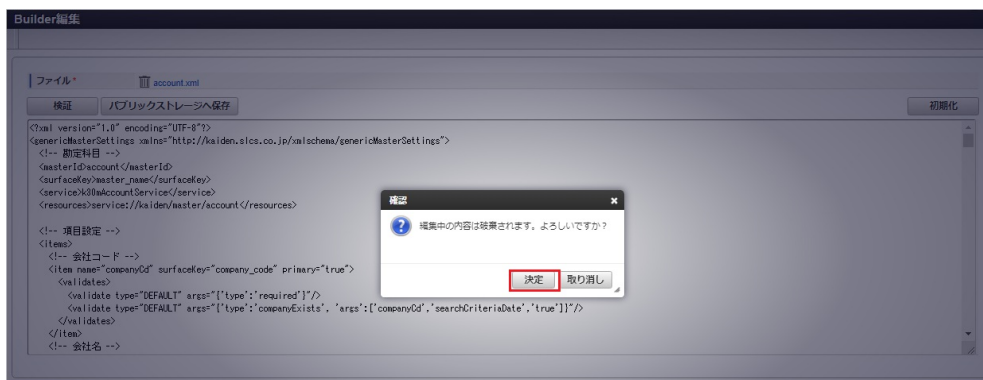


- MasterBuilder定義
「パブリックストレージ/kaiden/generic/master」に保存されます。
- ReportBuilder定義
「パブリックストレージ/kaiden/generic/report」に保存されます。
- GadgetBuilder定義
「パブリックストレージ/kaiden/generic/gadget」に保存されます。

14. ファイルの編集を破棄する場合、ごみ箱アイコンをクリックします。



15. 確認ポップアップが表示されたら「決定」をクリックします。



16. ファイルの編集が破棄されました。



i コラム

MasterBuilder定義、ReportBuilder定義、GadgetBuilder定義を変更した場合、変更を各画面で確認する前にキャッシュ削除ジョブを実行してください。

ジョブネット管理

ジョブネット一覧

- IM-ContentsSearch クローラ
- IM-FileExchange
- ジョブ管理
- IM共通マスタ
- IM-Workflow
- Kaiden!
 - J'sNAV! Jr.
 - マスタ
 - その他
 - 期間作成 (共通)
 - 期間作成 (会社)
 - キャッシュ削除**
- レポート
- 法人カード
- ドキュメントデータ削除
- ドキュメントデータインポート
- 勤務管理
- 経費精算・旅費精算
- 多要素認証機能
- テナントマスタ

ジョブネット情報

基本情報

ジョブネットカテゴリ: その他

ジョブネットID: kaiden-jobnet-other-delete-cache

ジョブネット名

日本語	キャッシュ削除
英語	Delete cache
中国語 (中華人民共和国)	缓存清除

ジョブネットの説明

実行時の情報

並列実行 並列実行を許可する

実行ジョブ

ジョブID	ジョブ名
kaiden-job-other-delete-cache	キャッシュ削除

実行パラメータ

パラメータリスト	値
キー	

トリガ設定

日時指定

繰り返し指定

翌業日指定

即時実行 編集 削除

i コラム

GadgetBuilder定義を変更した場合、キャッシュ削除ジョブの実行に加えてガジェットのリポート、申請書マスタの更新が必要です。詳細は『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』-「カスタマイズ手順」を参照ください。

各種操作

一覧画面の操作

本項では、次の様な一覧画面の操作方法を説明します。



- **新規登録ボタン**

クリックすると、メンテナンス(新規)画面が表示されます。



- **検索ボタン**

クリックすると、検索欄に入力されたキーワードで検索した結果を一覧に表示します。
ステータス、日付項目以外の一覧に表示している項目をキーワード検索できます。
初期表示時は、データの一覧・検索オプションは表示しません。



- **検索オプション**

設定アイコンをクリックすることで、検索条件の設定ができ、検索条件の絞り込みを行います。
利用できる条件は、各マスタ機能によって異なります。



- **検索基準日**

検索したい日付を入力します。

- **会社**

検索したい会社を選択します。

- **ロケール**

検索したいロケールを選択します。

- **ステータスが無効のデータも検索**

ステータスが無効のデータも検索したい場合にチェックします。

- ソート

検索後の一覧データは、ヘッダー部分をクリックすることで、対象項目の降順・昇順にソートすることができます。
ソート可能な項目は、各機能によって異なります。

No	分類	プロジェクトコード	プロジェクト名	上位プロジェクト名
----	----	-----------	---------	-----------

- ページング

一覧データのページングが行えます。



- 最初へ

1ページ目を表示します。

- 前へ

現在のページの前ページを表示します。

- ページ番号

現在のページを色つきで表します。

数字をクリックすると、対象ページを表示します。

- 次へ

現在のページの次ページを表示します。

- 最後へ

最終ページを表示します。

期間の操作

本項では、次の様な期間欄の操作方法を説明します。

- 期間の有効化・無効化アイコン

選択されている期間が有効の場合は緑のチェックアイコン、無効の場合は赤の×アイコンが表示されます。
クリックすると有効／無効の状態を切り替えることができます。



- 有効期間開始日、有効期間終了日

有効期間の開始日と終了日が表示されます。



- 期間分割リンク

対象の期間を分割します。



コラム

リンクをクリックすると、期間分割画面が表示されますので、分割日を入力後、実行をクリックします。

期間変更リンク

対象の期間の開始日、終了日を変更します。



コラム

リンクをクリックすると、期間変更画面が表示されますので、新しい開始日と終了日を入力後、実行をクリックします。隣接する期間の開始日と終了日は、自動的に調整されます。

対象期間表示アイコン

対象期間のデータを表示します。

表示中の期間は青のアイコンが表示されます。



明細行の操作

本項では、明細行の操作方法を説明します。

- 操作パネルを開く
- 明細行（1行）の追加方法
- 明細行（連続）の追加方法
- 明細行のコピー・貼り付け方法
- 最下行にコピーする方法
- 上に追加する方法
- 上に追加（連続）する方法
- 行削除方法

操作パネルを開く

ヘッダーまたは明細の以下の個所をクリックし、操作パネルを開くことで、明細行に対しての操作が行えます。

<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	
<input type="checkbox"/>	経費区分* 勘定科目 税区分	部門	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="checkbox"/>	<input type="text"/>	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課11	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム株式会社...
立替	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

■ 操作パネル

※操作パネルの位置によって利用できる機能が異なります。

ヘッダー用の操作パネル



明細用の操作パネル



■ 操作アイコン

アイコン	説明
	選択された明細行の上に連続して明細行を追加します
	選択された明細行の上に明細行を追加します
	選択された明細行を削除します
	選択された明細行の下に連続して明細行を複数行追加します
	選択された明細行の下に明細行を一行追加します
	選択された明細行をコピーします
	コピーされた行の内容を選択された明細行に貼り付けます
	選択された明細行をコピーし、最後の一行に追加します

明細行（1行）の追加方法

1. ヘッダ用パネルの「下に追加」をクリックします。

2. 新規明細行が1行追加されます。

明細行（連続）の追加方法

1. ヘッダ用パネルの「下に追加（連続）」をクリックします。

2. ボタンを押しても操作パネルは閉じませんので、連続して追加できます。

明細行のコピー・貼り付け方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「行コピー」をクリックします。

2. 以下のように明細行が選択されます。

3. 貼り付けたい明細行の明細行用パネルの「貼り付け」をクリックします。

4. 明細内容がコピーされました。

最下行にコピーする方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「最下行にコピー追加」をクリックします。

The screenshot shows a table with columns for '宿泊期間' (Stay Period), '経費区分' (Expense Category), '勘定科目' (Account), '税区分' (Tax Category), '宿泊先' (Stay Location), '部門' (Department), 'プロジェクト' (Project), '支払分類' (Payment Category), '支払先' (Payment Counterparty), '金額' (Amount), and '課税' (Taxation). Row 1 contains data for '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel) with an amount of 10,000. A red box highlights the '最下行にコピー追加' (Copy to last row) button in the left-hand panel.

2. 最下行に追加されました。

The screenshot shows the same table as before, but now with a new row (row 4) added at the bottom. This new row contains the same data as row 1: '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel) with an amount of 10,000. The original row 1 is now row 2.

上に追加する方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「上に追加」をクリックします。

The screenshot shows the same table as in the previous section. A red box highlights the '上に追加' (Add to top) button in the left-hand panel.

2. 選択している明細の上行に新規明細行が追加されました。

The screenshot shows the same table as before, but now with a new row (row 1) added at the top. This new row contains the same data as row 1 from the previous section: '大阪シティホテル' (Osaka City Hotel) with an amount of 10,000. The original row 1 is now row 2.

上に追加（連続）する方法

1. コピーしたい明細行の明細行用パネルの「上に追加（連続）」をクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
2013/07/01 - 2013/07/06	01			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
コーポレートカード				10000	日本円	1	10000
請求書払							

2. ボタンを押しても操作パネルは閉じませんので、連続して追加できます。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
2013/07/01 - 2013/07/06				大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
コーポレートカード				10000	日本円	1	10000
請求書払							

行削除方法

1. 削除したい明細行の明細行用パネルの「行削除」をクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
1	2013/07/01 - 2013/07/06			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
仕入				課税	10000	日本円	1
コーポレートカード							
2							
支払分類*				支払先	金額*		
コーポレートカード							
3	2013/07/01 - 2013/07/06			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
仕入				課税	10000	日本円	1
コーポレートカード							

2. アイコンが変化するので、このアイコンをクリックします。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
1	2013/07/01 - 2013/07/06			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
仕入				課税	10000	日本円	1
コーポレートカード							
2							
支払分類*				支払先	金額*		
コーポレートカード							
3	2013/07/01 - 2013/07/06			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
仕入				課税	10000	日本円	1
コーポレートカード							

3. 明細行が削除されました。

宿泊期間*	経費区分*	勘定科目	税区分	宿泊先*	部門	宿泊先Tel	プロジェクト
1	2013/07/01 - 2013/07/06			大阪シティホテル			
支払分類*				支払先	金額*		
仕入				課税	10000	日本円	1
コーポレートカード							
2							
支払分類*				支払先	金額*		
コーポレートカード							

明細行（カード形式）の操作

本項では、明細行（カード形式）の操作方法を説明します。

- 明細行の追加方法
- 明細行のコピー・貼り付け方法
- 行削除方法
- 行移動方法

明細行の追加方法

1. 「+」をクリックします。

1

住所種別
▼

郵便番号
住所検索

都道府県
▼

郡市区町村
郡市区町村

丁目・番地
丁目・番地

ビル・建物名
ビル・建物名

+

2. 新規明細行が1行追加されます。

1

住所種別
▼

郵便番号
住所検索

都道府県
▼

郡市区町村
郡市区町村

丁目・番地
丁目・番地

ビル・建物名
ビル・建物名

2

住所種別
▼

郵便番号
住所検索

都道府県
▼

明細行のコピー・貼り付け方法

1. コピーしたい明細行の「行コピー」アイコンをクリックします。

1

住所種別
現住所 ▼

郵便番号
 住所検索

都道府県
北海道 ▼

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

+

2. 最下行にコピーした行が追加されました。

1

住所種別
現住所 ▼

郵便番号
 住所検索

都道府県
北海道 ▼

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別
現住所 ▼

郵便番号
 住所検索

都道府県
北海道 ▼

郡市区町村

行削除方法

1. 削除したい明細行の「ゴミ箱」アイコンをクリックします。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

+

2. 明細行が削除されました。

+

行移動方法

1. 移動したい明細行の「移動」アイコンをクリックします。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別

郵便番号

都道府県

2. ドラッグアンドドロップすると、明細行が移動できます。

1

住所種別

郵便番号

都道府県

郡市区町村

丁目・番地

ビル・建物名

2

住所種別

郵便番号

都道府県

マスタ検索

組織マスタ検索を例に各種マスタの検索方法を説明します。

本手順は組織マスタ検索ですが、その他にプロジェクトマスタや経費区分マスタの検索も同様の手順で行えます。

コラム

各画面に以下の様なテキストボックスが表示されている場合、各種マスタの検索ができます。



■ 検索方法①

テキストボックス左の検索アイコンをクリックするか、テキストボックス内でENTERキーを押すと、検索結果が一覧表示されます。

検索結果の一覧をクリックするか、キーボードの↑↓キーで選択後、ENTERキーで確定してください。

(以下は組織検索の例です。)

No	組織コード	組織名
1	dept_sample_10	サンプル部門 0 1
2	dept_sample_11	サンプル課 1 1
3	dept_sample_12	サンプル課 1 2
4	dept_sample_13	サンプル課 1 3
5	dept_sample_14	サンプル課 1 4
6	dept_sample_15	サンプル課 1 5
7	dept_sample_20	サンプル部門 0 2
8	dept_sample_21	サンプル課 2 1
9	dept_sample_22	サンプル課 2 2
10	dept_sample_23	サンプル課 2 3

1 - 10 / 11 件

■ 検索方法②

テキストボックス内にキーワードを入力した状態で検索アイコンをクリックするか、

テキストボックス内でENTERキーを押すと、入力したキーワードでの絞り込み検索が行えます。

(以下は組織検索の例です。)

No	組織コード	組織名
1	dept_sample_11	サンプル課 1 1
2	dept_sample_12	サンプル課 1 2
3	dept_sample_13	サンプル課 1 3
4	dept_sample_14	サンプル課 1 4
5	dept_sample_15	サンプル課 1 5
6	dept_sample_21	サンプル課 2 1
7	dept_sample_22	サンプル課 2 2
8	dept_sample_23	サンプル課 2 3
9	dept_sample_24	サンプル課 2 4

1 - 9 / 9 件

■ 検索結果の消去方法①

テキストボックス左のアイコンをクリックします。

サンプル課11

アイコンが切り替わりますので、再度アイコンをクリックすると、検索結果を消去することができます。

サンプル課11

■ 検索結果の消去方法②

TABキーなどでカーソルがテキストボックスに当たっている状態にし、DELETEキーを押すと検索結果を消去することができます。

サンプル課11

i コラム

赤枠の部分に、マスタの検索件数を表示しています。

「1-10」の部分には表示しているデータの件数を示します。

「11件」の部分には、検索対象のデータの総数を示します。

No	組織コード	組織名
1	dept_sample_10	サンプル部門0 1
2	dept_sample_11	サンプル課 1 1
3	dept_sample_12	サンプル課 1 2
4	dept_sample_13	サンプル課 1 3
5	dept_sample_14	サンプル課 1 4
6	dept_sample_15	サンプル課 1 5
7	dept_sample_20	サンプル部門0 2
8	dept_sample_21	サンプル課 2 1
9	dept_sample_22	サンプル課 2 2
10	dept_sample_23	サンプル課 2 3

1 - 10 / 11 件

セレクトボックス

セレクトボックスの検索機能の操作を説明します。

セレクトボックスの件数が最大表示件数を超える場合、検索機能を利用できます。

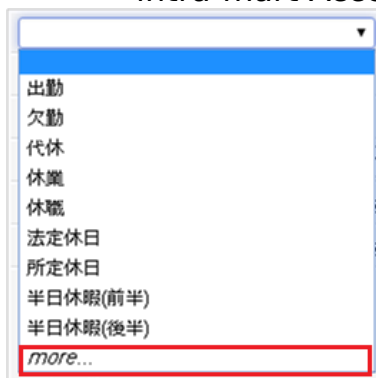
i コラム

セレクトボックスの最大表示件数は標準で10件に設定されています。

設定の変更方法は『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「モジュール設定」を参照してください。

1. セレクトボックスの件数が最大表示件数を超える場合、最下行に「more」が表示されます。

「more」をクリックすると、検索画面がポップアップ表示します。



2. テキストボックスにコードまたは名称を入力すると、入力したキーワードでの絞り込み検索が行えます。



3. 検索結果の一覧をクリックして確定してください。

検索

検索 (コード or 名称)

検索結果

コード	名称
attendance	出勤
due_diligence	欠勤
compensation	代休
closure	休業
suspension	休職
leagal_holiday	法定休日
holiday	所定休日
leave_half_before	半日休暇(前半)
leave_half_later	半日休暇(後半)
leave_entire	全日休暇
trnsfr_holiday_legal	振替休日(法定)
trnsfr_holiday	振替休日(所定)
trnsfr_attend_legal	振替出勤(法定)
trnsfr_attend	振替出勤(所定)
holiday_attend_legal	休日出勤(法定)
holiday_attend	休日出勤(所定)

閉じる

登録番号検索

登録番号検索機能の操作を説明します。

「[適格請求書設定マスタ](#)」の「登録番号チェック種別」を「公表情報ダウンロードデータ」に設定すると使用できます。使用する場合、「[適格請求書発行事業者の公表情報マスタ](#)」のデータをインポートしてください。

1. 「登録番号検索」ボタンをクリックします。

登録番号	<input type="text"/>	登録番号検索
検索キーワード	<input type="text"/>	

2. 検索条件を入力し、「検索」をクリックします。

登録番号検索

検索基準日* 2022/10/06  31 登録番号

キーワード

検索

No	▲登録番号	名称	名称カナ	本店又は主たる事務所

コラム

検索条件のキーワードに「適格請求書発行事業者の公表情報」の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 名称
- 名称カナ
- 本店又は主たる事務所の所在地（法人）
- 本店又は主たる事務所の所在地（公表申出）

3. 反映したい行をクリックします。

登録番号検索

検索基準日* 2022/10/06  31 登録番号

キーワード

検索

No	▲登録番号	名称	名称カナ	本店又は主たる事務所
1	T00000000000000	サンプル株式会社		北海道札幌市中央区

最初へ前へ **1** 次へ最後へ

4. 「決定」または「取り消し」をクリックします。
「決定」をクリックすると、仕入先名に名称が設定されます。
「取り消し」をクリックすると、仕入先名に名称が設定されません。

確認

 仕入先名に登録番号検索で検索した名称を設定しますか？

決定 **取り消し**

5. 「登録番号」が反映されます。
「決定」をクリックした場合、仕入先名に名称が反映されます。

登録番号 **登録番号検索**

検索キーワード

インポートモードと実行結果

本項では、マスタのインポートモードを説明します。
 期間化情報を持つマスタは、インポートモードを選択可能です。
 期間化情報を持たないマスタは、インポートモードを選択できません。
 必ずインポートモード1(差分更新)でインポートします。

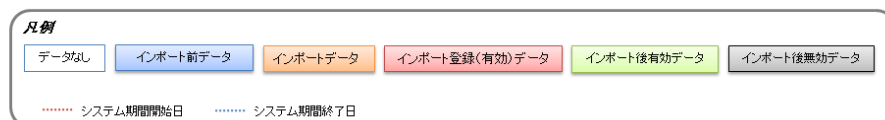
- インポートモードと実行結果

モード	名称	処理方式
1	単一期間(差分)モード	すでに登録済みのデータに対して差分更新を行います。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日/終了日を調整します。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。
2	単一期間(一新)モード	すでに登録済みのデータを一新します。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日/終了日を調整します。 差分モードとは違い、インポートした期間よりも未来の期間は無効状態として登録されます。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。
3	単一期間(入替)モード	全件(全期間)インポートデータで洗い替えを行います。 すべてのデータを一旦削除し、インポートデータを新規データとして登録します。 ※インポート時に会社を指定している場合、削除されるのはその会社のみです。 インポート期間の開始日、終了日は実行パラメータから取得します。
4	複数期間(差分)モード	すでに登録済みのデータに対して差分更新を行います。 インポートするデータの期間が重複する場合、登録済みのデータの開始日/終了日を調整します。 インポート期間の開始日、終了日はインポートファイル中の開始日、終了日を使用します。
5	複数期間(入替)モード	全件(全期間)インポートデータで洗い替えを行います。 すべてのデータを一旦削除し、インポートデータを新規データとして登録します。 ※インポート時に会社を指定している場合、削除されるのはその会社のみです。 インポート期間の開始日、終了日はインポートファイル中の開始日、終了日を使用します。

単一期間モードの場合、インポート期間は以下のように決定されます。
 インポート期間に関連する実行パラメータは、「開始日」「終了日」「シフト日数」です。

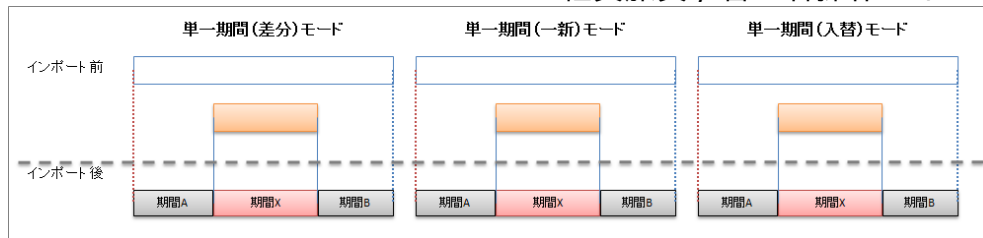
実行パラメータの指定	インポートされる期間
指定なし	ジョブ実行日 ~ システム終了日(2999/12/31)
開始日のみ	指定された開始日 ~ システム終了日(2999/12/31)
終了日のみ	ジョブ実行日 ~ 指定された終了日
シフト日付のみ	ジョブ実行日+シフト日付 ~ システム終了日(2999/12/31)
開始日と終了日	指定された開始日 ~ 指定された終了日
開始日とシフト日付	指定された開始日+シフト日付 ~ システム終了日(2999/12/31)
終了日とシフト日付	ジョブ実行日+シフト日付 ~ 指定された終了日
開始日と終了日とシフト日付	指定された開始日+シフト日付 ~ 指定された終了日

図解) インポートモード別の実行結果



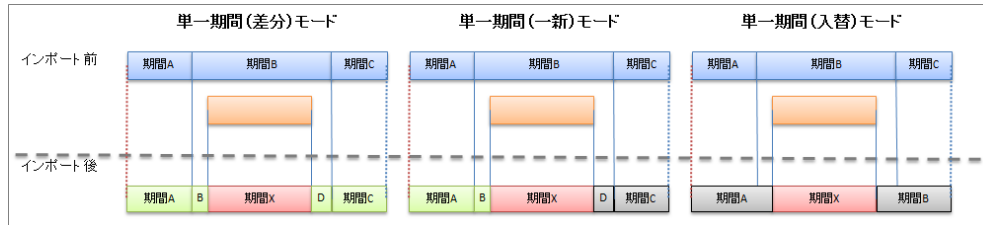
新規登録

- 期間指定されている

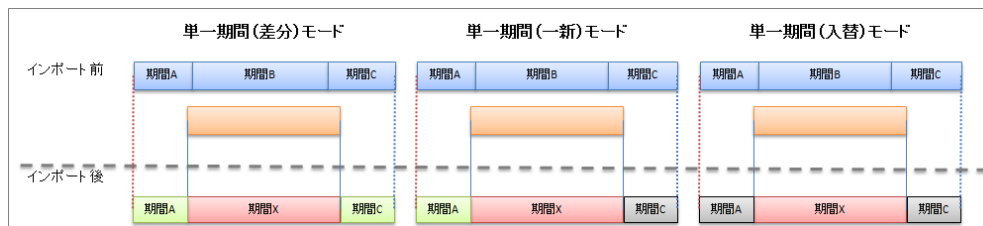


更新

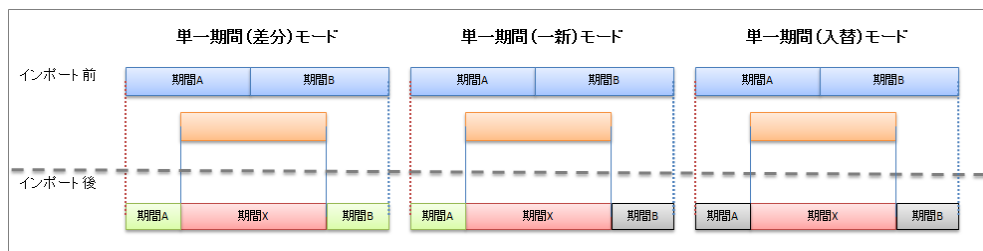
- インポート期間が既期間より短い



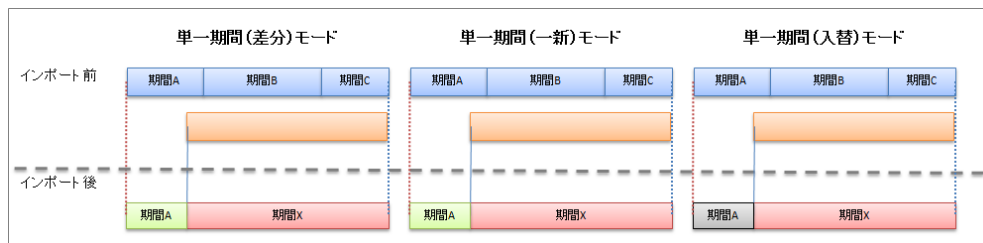
- インポート期間が既期間より長い



- インポート期間が複数の期間にまたがる



- インポート期間によりひとつ以上の期間が削除される



ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて

本項では、会社グループを説明します。
 会社単位で管理するマスタのインポート・エクスポートなどで、会社グループを指定して処理可能です。
 会社グループは、IM-共通マスタのマスタです。
 詳細は『IM-共通マスタ 管理者操作ガイド』を参照してください。

電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理システムとの連携方法

i コラム

DataDelivery、invoiceAgent 文書管理連携モジュールと連携する場合、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。
 その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する場合、本項を参照してください。

その他の電子証憑管理に対応したシステムと連携する方法

概要

本項では、Kaiden! の申請情報を電子帳簿保存法のスキャナ保存制度に対応した電子証憑管理に対応したシステム

(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携する際の概要を説明します。

Kaiden! で添付された画像ファイルと取引日、取引先、金額などの申請内容を電子証憑管理システムに連携することが可能です。スキャンされた証憑 (PDF) へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、保管期限経過後の削除などは、連携先の電子証憑管理システムにて対応している前提です。

Kaiden! では、ファイル添付明細ガジェットでの申請情報を出力して、電子証憑管理システムに連携することができます。出力する情報の詳細は [出力ファイルの定義](#) を参照してください。

主な出力情報

- 添付された請求書／領収書
- 取引日
- 取引先名
- 伝票番号
- 摘要
- 金額

i コラム

ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、申請書メンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。詳細は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

i コラム

ファイル添付明細 (簡易) ガジェットは、電子証憑管理に対応したシステムに連携することができません。

各システムの役割

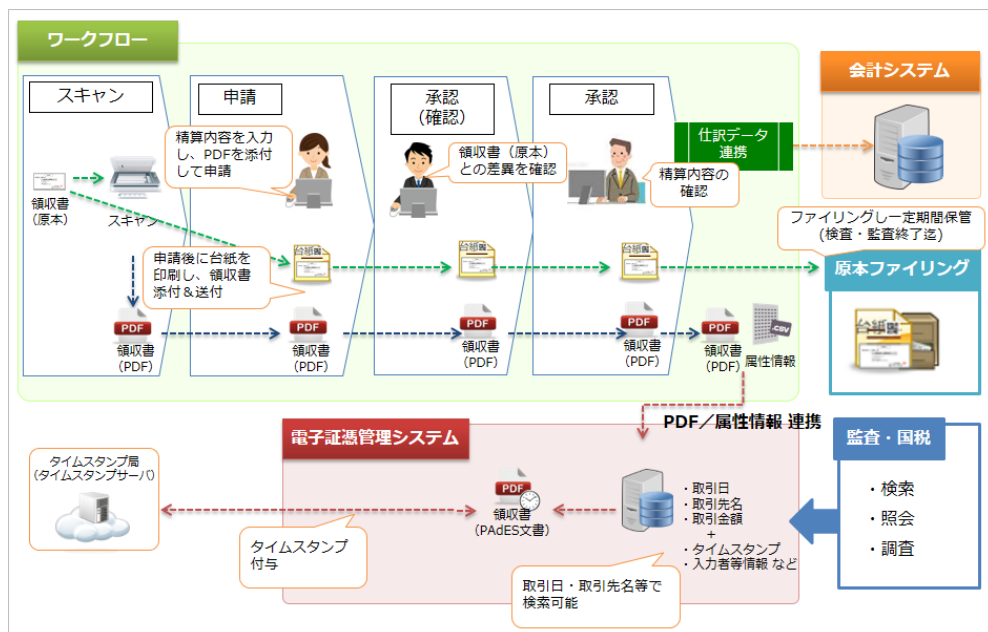
電子証憑管理に対応したシステムと連携して、電子化した文書を申請に添付する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 電子証憑管理に対応したシステム
サーバ上で文書を管理します。

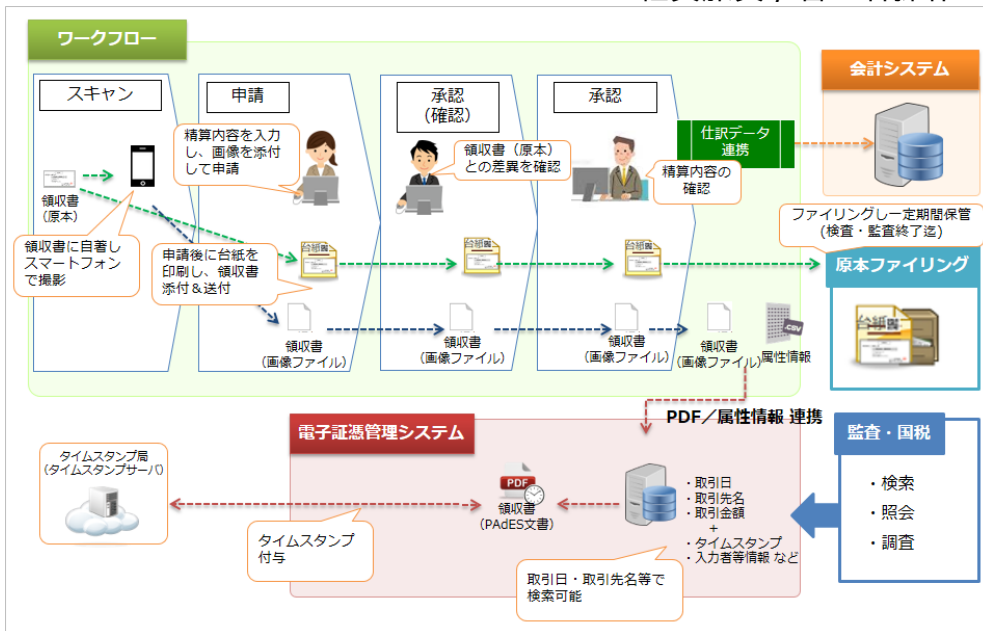
業務フロー

本項では、Kaiden! の申請情報を電子証憑管理に対応したシステム(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携する際の業務フロー例を紹介します。

PCから申請する場合



スマートフォンから申請する場合



ファイル添付明細ガジェット

本項では、ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成する際の注意点を説明します。

確認

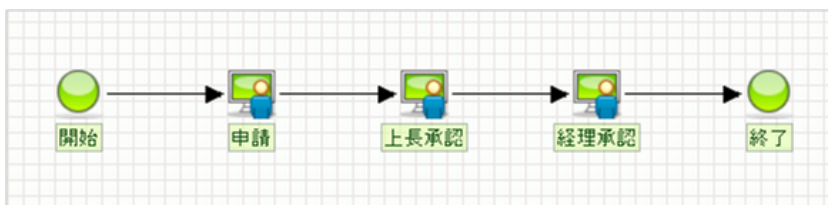
ファイル添付明細ガジェットの「確認」は、申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認して問題ない場合、確認担当者がチェックする項目です。

フローが終了するまでに、いずれかの承認者が申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認して「確認」にチェックする必要があります。

また、確認担当者以外は「確認」を変更できないよう設定する必要があります。
コンテンツ定義を作成する際は、業務フローに合わせて以下を参考に設定してください。

ルート定義

以下のルートを使用する際の設定方法を説明します。
経理承認で申請内容と添付されたファイル（請求書／領収書）、原本を確認することとします。
ルート定義の作成方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。



ガジェットのインポート

ファイル添付明細ガジェットの申請情報を出力するユーザプログラムを使用する場合、以下ガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
fileAttachDetail_v01.xml	ファイル添付明細
fileAttachDetailForDD_v01.xml	ファイル添付明細 (DataDelivery連携)

コラム

ファイル添付明細 (DataDelivery連携) はDataDelivery連携モジュールに含まれるガジェットです。
使用する場合、DataDelivery連携モジュールの操作を参照してください。

コンテンツ定義

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
コンテンツ定義の作成方法は、コンテンツ定義を参照してください。

1. 画面定義に処理画面を追加します。



注意

intra-mart Accel Platformの仕様により、初期使用にチェックしていないスマートフォン用の画面定義を作成しても、フロー定義で設定することができません。

2. ファイル添付明細ガジェットの申請情報を入力するユーザプログラムを設定します。

詳細は、[ユーザプログラムの設定](#)を参照してください。

3. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。

▼ 入力/表示設定

(● 入力、○ 表示)

	申請	一時保存	申請(承認案件)	再申請	処理	処理(経理承認)	申請(SP)	一時保存(SP)	申請(承認案件)(SP)	再申請(SP)	処理(SP)
ファイル添付明細											
取引日	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
取引先名	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
摘要	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
金額	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○
確認	●	●	●	●	○	○	●	●	●	●	○



コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力設定されていても入力できない項目です。



コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

4. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。

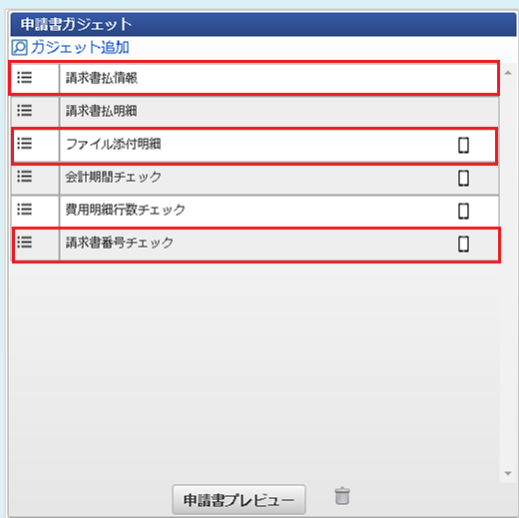
▼ 必須/任意設定

● 必須、○ 任意

	申請	一時保存	申請(定額案件)	再申請	処理	処理(経理承認)	申請(印)	一時保存(印)	申請(定額案件)(印)	再申請(印)	処理(印)
ファイル添付明細											
取引日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引先名	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
摘要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
金額	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
確認	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
添付	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

コラム

ファイル添付明細と請求書払情報を同一の申請書で使用する場合、請求書番号チェックを使用すると、ファイル添付明細の「請求書番号/領収書番号」と請求書払情報の「納品/請求No」の値が同じかチェックできます。



フロー定義

フロー定義を作成する際の注意点を説明します。

フロー定義の作成方法は、『IM-Workflow 管理者操作ガイド』を参照してください。

1. ノード設定で、経理承認のノードの処理画面を標準から変更して、コンテンツ定義で追加した画面種別を選択します。

📁 ノード設定 ✖ 閉じる

ノード名	経理承認
------	------

標準設定

処理設定

処理画面	<input checked="" type="radio"/> 標準から変更する <input type="radio"/> 標準から変更しない 処理 (経理入力用) 🔍 検索 ✖ クリア 📄 詳細
アクション動作処理	<input type="radio"/> 標準から変更する <input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
ノード到達処理	<input type="radio"/> 標準から変更する <input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼メール	<input type="radio"/> 標準から変更する <input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない
処理依頼IMBox	<input type="radio"/> 標準から変更する <input checked="" type="radio"/> 標準から変更しない

ユーザプログラムの設定

本項では、ファイル添付明細ガジェットの申請情報を出力する方法を説明します。出力したデータを利用して、電子証憑管理システムと連携することができます。

i コラム

ファイル添付明細ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。
詳細は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラム

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムは次の通りです。
以下ユーザプログラムを設定した場合、設定したノードでファイル添付明細ガジェットの申請情報をCSVファイルで出力します。
また、ファイル添付明細ガジェットで添付されたファイルを、指定されたパスへ移動します。
ユーザプログラムの設定方法は [ワークフロー設定](#) を参照してください。

ユーザプログラム	jp.co.slcs.kaiden.v2.product_workflow.feature.conductor.documentationSystemLink.impl. DocumentationSystemLinkConductorImpl
ユーザプログラム (DataDelivery と連携する場合)	jp.co.slcs.kaiden.v2.relation_data_delivery.feature.conductor.documentationSystemLink.impl. DataDeliveryLinkConductorImpl

i コラム

DataDeliveryと連携する場合は、DataDeliveryLinkConductorImplを利用してください。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムのパラメータ設定

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用可能なパラメータは次の通りです。

設定値	概要	必須
docSysLink	固定値の電子証憑管理システム連携処理の起動キーです。	○
「ノードID」または 「matterEnd」	ノードIDを指定します。指定したノードでユーザプログラムを呼び出します。 案件終了時に呼び出す場合は「matterEnd」を設定します。	○
convertPdf	固定値のPDF変換キーです。設定した場合、画像をPDFに変換します。	
noConfirmation	固定値の確認不要キーです。設定した場合、ファイル添付明細ガジェットの確認フラグに関わらず画像ファイルの移動とCSVファイルの出力を実施します。	
notMoveFile	固定値のファイル移動不要キーです。設定した場合、「DocumentationSystemLinkSettings.xml」で設定したパスに画像ファイルを出力しません。 ファイル添付明細 (DataDelivery連携) ガジェットを使用する場合、設定してください。 ファイル添付明細 (DataDelivery連携) ガジェットを使用する場合、「タイムスタンプ設定」で設定したファイルにタイムスタンプ付与済のファイルを出力します。	

i コラム

パラメータ設定は画面種別ごとに設定します。
ユーザプログラムを呼び出すノードを指定する場合、以下の通り画面種別に紐づくノード種別のノードIDを設定してください。

ノード種別	画面種別
申請ノード	申請
	一時保存
	申請 (起票案件)
	再申請
	申請 (sp)
	一時保存 (sp)
	申請 (起票案件) (sp)
	再申請 (sp)
	処理ノード

i コラム

1つの画面種別に対して複数のノードでユーザプログラムを呼び出す場合、ノードIDごとにパラメータ値を分けて設定してください。

パラメータキー	パラメータ値
1 parameterkey1	docSysLink
2 parameterkey2	noConfirmation
3 parameterkey3	matterEnd
4 parameterkey4	%ノードID_1%
5 parameterkey5	%ノードID_2%

! 注意

案件終了時（matterEnd）にユーザプログラムを呼び出す場合、設定する画面種別が「処理」or「処理(SP）」である必要があります。承認ノードとして追加した画面種別に対して設定した場合、正しくユーザプログラムが呼び出されません。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用する設定ファイル

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで使用する設定ファイルは次の通りです。

モジュール intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

設定場所 WEB-

INF/classes/jp/co/slcs/kaiden2/product_workflow/foundation/model/xml_schema/documentation_system_link_settings/DocumentationSystemLinkSettings.xml

DocumentationSystemLinkSettings.xml

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>
    <base:target_files>
      <base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
    </base:target_files>
    <base:character>UTF-8</base:character>
    <base:delimiter>,</base:delimiter>
    <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>
    <base:header_output>>true</base:header_output>
    <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
  </defaultSettings>

  <!-- 出力対象データのソート指定 -->
  <orders>
    <order>
      <base:field_key>system_matter_id</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
    <order>
      <base:field_key>user_data_id</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
    <order>
      <base:field_key>gadget_class</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
    <order>
      <base:field_key>gadget_instance</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
    <order>
      <base:field_key>row_number</base:field_key>
      <base:type>asc</base:type>
    </order>
  </orders>
```

```

<!-- 項目別設定 -->
<bfield_settings>
  <!-- システム案件ID -->
  <bfield_setting>
    <base:key>systemMatterId</base:key>
    <base:sort>1</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- ユーザーデータID -->
  <bfield_setting>
    <base:key>userDataId</base:key>
    <base:sort>2</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- タプルID -->
  <bfield_setting>
    <base:key>tupleId</base:key>
    <base:sort>3</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 行番号 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>rowNumber</base:key>
    <base:sort>4</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 取引日 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>tradingDate</base:key>
    <base:sort>5</base:sort>
    <base:type>3</base:type>
    <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
  </bfield_setting>
  <!-- 取引先 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>customerName</base:key>
    <base:sort>6</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 領収書番号 / 請求書番号 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>slipNum</base:key>
    <base:sort>7</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 摘要 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>summary</base:key>
    <base:sort>8</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 取引通貨額 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>transAmount</base:key>
    <base:sort>9</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 取引通貨コード -->
  <bfield_setting>
    <base:key>transCurrencyCd</base:key>
    <base:sort>10</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 会社通貨額 -->
  <bfield_setting>
    <base:key>companyAmount</base:key>
    <base:sort>11</base:sort>
    <base:type>2</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 会社通貨額コード -->
  <bfield_setting>
    <base:key>companyCurrencyCd</base:key>
    <base:sort>12</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </bfield_setting>
  <!-- 案件番号 -->
  <bfield_setting>

```

```

<base:key>matterNumber</base:key>
<base:sort>13</base:sort>
<base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件名 -->
<field_setting>
  <base:key>matterName</base:key>
  <base:sort>14</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス -->
<field_setting>
  <base:key>processStatus</base:key>
  <base:sort>15</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>processStatusName</base:key>
  <base:sort>16</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>17</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserName</base:key>
  <base:sort>18</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>19</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>20</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請基準日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyBaseDate</base:key>
  <base:sort>21</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 申請実行日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyDate</base:key>
  <base:sort>22</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>authUserCd</base:key>
  <base:sort>23</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>authUserName</base:key>
  <base:sort>24</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserCd</base:key>
  <base:sort>25</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>

```



```

</field_setting>
<!-- 実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserName</base:key>
  <base:sort>26</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理実行日時-->
<field_setting>
  <base:key>executeDate</base:key>
  <base:sort>27</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 確認権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>28</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserName</base:key>
  <base:sort>29</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>30</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>31</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認日時 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedTs</base:key>
  <base:sort>32</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルID -->
<field_setting>
  <base:key>fileId</base:key>
  <base:sort>33</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルパス -->
<field_setting>
  <base:key>filePath</base:key>
  <base:sort>34</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルタイムスタンプ-->
<field_setting>
  <base:key>fileTimestampTs</base:key>
  <base:sort>35</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatus</base:key>
  <base:sort>36</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatusName</base:key>
  <base:sort>37</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考1 -->
<field_setting>

```

```

<base:key>note1</base:key>
<base:sort>38</base:sort>
<base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考2 -->
<field_setting>
  <base:key>note2</base:key>
  <base:sort>39</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考3 -->
<field_setting>
  <base:key>note3</base:key>
  <base:sort>40</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
</field_settings>
<!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
<!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">
      <base:target_files>

<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
      </base:target_files>
      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:character>UTF-8</base:character>
      <base:delimiter>,</base:delimiter>
      <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>
      <base:header_output>true</base:header_output>
      <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/</move_to_dir>
    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

リファレンス

出力ファイルパス

タグ名 base:target_files

出力ファイルのパスを設定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>
    <base:target_files>

<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>

    </base:target_files>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>
  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
    <companySetting>
      <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">
        <base:target_files>

<base:target_file>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}/doclink_{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv</base:target_file>
        </base:target_files>
        <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>

        ... 略 ...

      </base:settings>
    </companySetting>
  </companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目

複数設定

設定値・設定する内容 出力ファイルのパスを設定します。

- target_file
ファイルパスを指定します。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ defaultSettings, settings(companySetting)

文字コード

タグ名 base:character

出力ファイルの文字コードを指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:character>UTF-8</base:character>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:character>UTF-8</base:character>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目 ○

複数設定 ×

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- UTF-8
- SHIFT-JIS

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ defaultSettings, settings(companySetting)

区切り文字

タグ名 base:delimiter

出力ファイルの区切り文字を指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:delimiter>,</base:delimiter>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:delimiter>,</base:delimiter>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
  </companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	出力ファイルの区切り文字を指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSettings, settings(companySetting)

囲み文字

タグ名 base:enclosing

出力ファイルの囲み文字を指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:enclosing>&quot;</base:enclosing>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	出力ファイルの囲み文字を指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSettings, settings(companySetting)

ヘッダー出力有無

タグ名 base:header_output

出力ファイルのヘッダー出力有無を指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <base:header_output>true</base:header_output>

    ... 略 ...

  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
  <companySetting>
    <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

      ... 略 ...

      <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
      <base:header_output>true</base:header_output>

      ... 略 ...

    </base:settings>
  </companySetting>
</companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目

複数設定

設定値・設定する内容 以下のいずれかを指定できます。

- **true**
ヘッダーを出力する。
- **false**
ヘッダーを出力しない。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ defaultSettings, settings(companySetting)

画像移動先パス

タグ名 move_to_dir

画像ファイルの移動先パスを指定します。

【設定項目】

```

<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

  <!-- デフォルト設定値 -->
  <defaultSettings>

    ... 略 ...

    <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
  </defaultSettings>

  ... 略 ...

  <!-- 会社ごとの設定(サンプル) -->
  <!-- <companySettings>
    <companySetting>
      <base:settings xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xsi:type="extensionSettings">

        ... 略 ...

        <base:company_cd>comp_other_01</base:company_cd>
        <move_to_dir>kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}</move_to_dir>
      </base:settings>
    </companySetting>
  </companySettings> -->
</documentationSystemLinkSettings>

```

必須項目	○
複数設定	×
設定値・設定する内容	画像ファイルの移動先パスを指定します。
単位・型	文字列 (xxxxxxx)
親タグ	defaultSetting, settings(companySetting)

ソート指定

タグ名 order

出力対象データのソート順を指定します。

【設定項目】


```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

... 略 ...

<!-- 出力対象データのソート指定 -->
<orders>
  <order>
    <base:field_key>system_matter_id</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>user_data_id</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>gadget_class</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>gadget_instance</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
  <order>
    <base:field_key>row_number</base:field_key>
    <base:type>asc</base:type>
  </order>
</orders>

... 略 ...

</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目

複数設定

設定値・設定する内容 出力対象データのソート順を指定します。

- **field_key**
フィールドキーを指定します。
- **type**
ソートのタイプを指定します。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ orders

項目別設定

タグ名 field_setting

出力対象データを指定します。

【設定項目】

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" standalone="no"?>
<documentationSystemLinkSettings xmlns="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/documentationSystemLinkSettings"
  xmlns:base="http://kaiden.slcs.co.jp/xmlschema/genericExtExportSettingsIF">

... 略 ...

<!-- 項目別設定 -->
<field_settings>
  <!-- システム案件ID -->
  <field_setting>
    <base:key>systemMatterId</base:key>
    <base:sort>1</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
  </field_setting>
  <!-- ユーザデータID -->
  <field_setting>
    <base:key>userDataId</base:key>
    <base:sort>2</base:sort>
    <base:type>1</base:type>
```

```

</base:type></base:type>
</field_setting>
<!-- タブルID -->
<field_setting>
  <base:key>tupId</base:key>
  <base:sort>3</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 行番号 -->
<field_setting>
  <base:key>rowNumber</base:key>
  <base:sort>4</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引日 -->
<field_setting>
  <base:key>tradingDate</base:key>
  <base:sort>5</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 取引先 -->
<field_setting>
  <base:key>customerName</base:key>
  <base:sort>6</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 領収書番号 / 請求書番号 -->
<field_setting>
  <base:key>slipNum</base:key>
  <base:sort>7</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 摘要 -->
<field_setting>
  <base:key>summary</base:key>
  <base:sort>8</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引通貨額 -->
<field_setting>
  <base:key>transAmount</base:key>
  <base:sort>9</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 取引通貨コード -->
<field_setting>
  <base:key>transCurrencyCd</base:key>
  <base:sort>10</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額 -->
<field_setting>
  <base:key>companyAmount</base:key>
  <base:sort>11</base:sort>
  <base:type>2</base:type>
</field_setting>
<!-- 会社通貨額コード -->
<field_setting>
  <base:key>companyCurrencyCd</base:key>
  <base:sort>12</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件番号 -->
<field_setting>
  <base:key>matterNumber</base:key>
  <base:sort>13</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 案件名 -->
<field_setting>
  <base:key>matterName</base:key>
  <base:sort>14</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス -->
<field_setting>
  <base:key>processStatus</base:key>

```

```

<base:sort>15</base:sort>
<base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理ステータス名称-->
<field_setting>
  <base:key>processStatusName</base:key>
  <base:sort>16</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>17</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyAuthUserName</base:key>
  <base:sort>18</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>19</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>applyExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>20</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 申請基準日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyBaseDate</base:key>
  <base:sort>21</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 申請実行日 -->
<field_setting>
  <base:key>applyDate</base:key>
  <base:sort>22</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd</base:date_format>
</field_setting>
<!-- 権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>authUserCd</base:key>
  <base:sort>23</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>authUserName</base:key>
  <base:sort>24</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserCd</base:key>
  <base:sort>25</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>executeUserName</base:key>
  <base:sort>26</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 処理実行日時 -->
<field_setting>
  <base:key>executeDate</base:key>
  <base:sort>27</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>

```

```

</field_setting>
<!-- 確認権限者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserCd</base:key>
  <base:sort>28</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認権限者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedAuthUserName</base:key>
  <base:sort>29</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者コード -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserCd</base:key>
  <base:sort>30</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認実行者名称 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedExecuteUserName</base:key>
  <base:sort>31</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 確認日時 -->
<field_setting>
  <base:key>checkedTs</base:key>
  <base:sort>32</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルID -->
<field_setting>
  <base:key>fileId</base:key>
  <base:sort>33</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルパス -->
<field_setting>
  <base:key>filePath</base:key>
  <base:sort>34</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルタイムスタンプ -->
<field_setting>
  <base:key>fileTimestampTs</base:key>
  <base:sort>35</base:sort>
  <base:type>3</base:type>
  <base:date_format>yyyy/MM/dd HH:mm:ss</base:date_format>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatus</base:key>
  <base:sort>36</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- ファイルステータス名称 -->
<field_setting>
  <base:key>fileStatusName</base:key>
  <base:sort>37</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考1 -->
<field_setting>
  <base:key>note1</base:key>
  <base:sort>38</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考2 -->
<field_setting>
  <base:key>note2</base:key>
  <base:sort>39</base:sort>
  <base:type>1</base:type>
</field_setting>
<!-- 備考3 -->
<field_setting>
  <base:key>note3</base:key>

```

```

</base:key>/base:key>
<base:sort>40</base:sort>
<base:type>1</base:type>
</field_setting>
</field_settings>

```

... 略 ...

```
</documentationSystemLinkSettings>
```

必須項目 ×

複数設定 ○

設定値・設定する内容 出力対象項目を指定します。

- **key**
フィールドキーを指定します。
- **sort**
ソート順を指定します。
- **type**
出力タイプを指定します。
1:文字型
2:数値型
3:日付型
- **date_format**
出力タイプが日付型の場合、日付の形式を指定します。

単位・型 文字列 (xxxxxxx)

親タグ field_settings

追加可能な項目

出力に追加可能な項目は以下の通りです。

No(列)	項目名	キー	タイプ	フォーマット	備考
1	画像変換フラグ	imageConversionFlag	1		0 : 画像変換なし(添付ファイルがPDF) 1 : 画像変換あり(添付ファイルがPDF以外のファイル)
2	予備項目A~J	extensionA~J	1		標準機能で使用していません

出力ファイルの定義

本項では、ファイル添付ガジェットを含む申請書で設定可能なユーザプログラムで出力される、出力ファイルの定義を説明します。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

ディレクトリ kaiden/{COMPANY_CD}/fileAttach/{MATTER_NUMBER}

ファイル名 {MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
-------	-----	------	----

1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式
6	取引先	customerName	
7	請求書番号/領収書番号	slipNum	
8	摘要	summary	
9	取引通貨額	transAmount	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	
11	会社通貨額	companyAmount	
12	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
13	案件番号	matterNumber	
14	案件名	matterName	
15	処理ステータス	processStatus	
16	処理ステータス名称	processStatusName	
17	申請権限者コード	authUserCd	
18	申請権限者名称	authUserName	
19	申請実行者コード	executeUserCd	
20	申請実行者名称	executeUserName	
21	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
22	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
23	権限者コード	authUserCd	
24	権限者名称	authUserName	
25	実行者コード	executeUserCd	
26	実行者名称	executeUserName	
27	処理実行日時	executeDate	
28	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
29	確認権限者名称	checkedAuthUserName	
30	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
31	確認実行者名称	checkedExecuteUserName	
32	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
33	ファイルID	fileId	
34	ファイルパス	filePath	
35	ファイルタイムスタンプ	fileTimestampTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式 *将来拡張用
36	ファイルステータス	fileStatus	0 : 変更なし 1 : 追加 2 : 削除
37	ファイルステータス名称	fileStatusName	
38	備考1	note1	*将来拡張用
39	備考2	note2	*将来拡張用
40	備考3	note3	*将来拡張用
41	画像変換フラグ	imageConversionFlag	0 : 画像変換なし(添付ファイルがPDF) 1 : 画像変換あり(添付ファイルがPDF以外のファイル) *設定ファイルに項目を追加すると出力可能

42	予備項目A～J	extensionA～J	予備項目のため、標準では使用なし ファイル添付明細ガジェットの予備項目に設定した値を出力可能 *設定ファイルに項目を追加すると出力可能
----	---------	--------------	---

添付ファイル削除時の出力ファイル

再申請時等にファイルを削除して新たに添付した場合、削除時の情報も出力します。
上記の場合、ファイルステータスが「1」、「2」の合計2行のデータが出力されます。

台紙印刷

本項では、申請書のQRコード付きの台紙を印刷した際の出力情報を説明します。

台紙の印刷方法は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド](#)』 - 「申請書の操作方法」 - 「申請書の共通操作」 - 「PC用画面の申請書の共通操作」を参照してください。

i コラム

台紙印刷には、台紙印刷画面の表示とPDF出力画面の表示の2種類あります。

標準では台紙印刷画面の表示に設定されています。

QRコード付きの台紙を使用する場合、台紙印刷の設定を変更してください。

設定の変更方法は『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール」 - 「モジュール設定」を参照してください。

出力情報

申請書の台紙に表示されているQRコードを読み取ると、次の情報を取得できます。

- 案件番号
- 案件名
- 申請基準日
- 申請会社
- 申請組織
- 申請者（代理人）

K111.旅費精算申請（近距離）		
案件番号	0000000007	
案件名	交通費精算	
申請基準日	2017/02/06	
申請会社	サンプル会社	
申請組織	サンプル課 1 1	
申請者(代理人)	青柳辰巳	

ここに貼り付けてください。

交通系ICカードデータを使用して精算する方法

概要

本項では、「transit manager」から交通系ICカードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するには、「transit manager」の利用契約が必要です。

「transit manager」は、交通系ICカードを業務用スマートフォンや専用端末などにかざすと、交通系ICカード利用データを読み込むことができるサービスです。

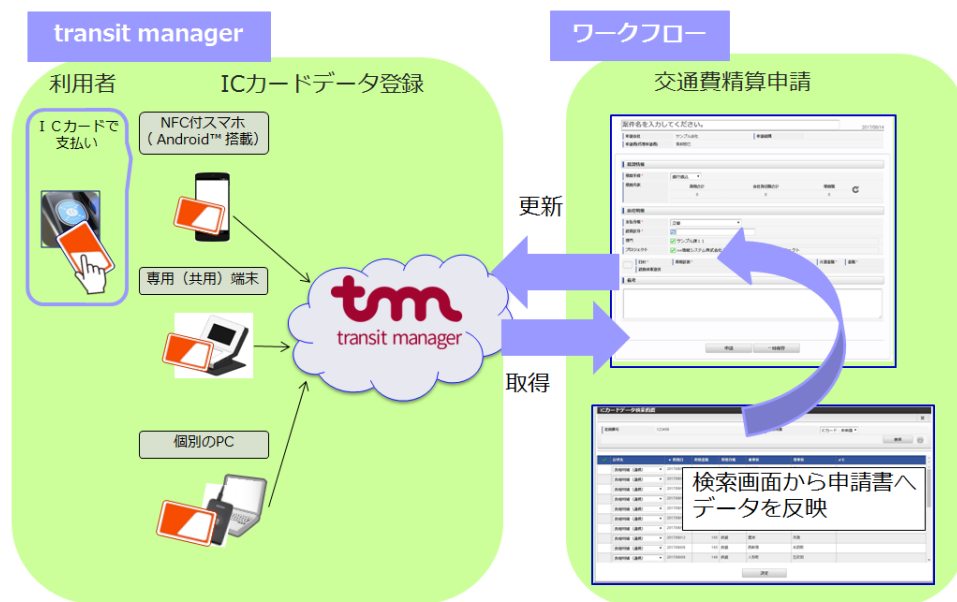
利用可能な交通系ICカードの種類や、取得するデータ等は「transit manager」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

「transit manager」から取得した交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- transit manager
交通系ICカードから使用履歴を読み取り、クラウド上で管理します。

本項では、「transit manager」から交通系ICカードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「transit manager」からICカードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する方法を説明します。交通系ICカードデータを使用してKaiden!の精算を実施するには、「transit manager」の利用契約が必要です。「transit manager」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- transit managerユーザマッピングマスタの設定

！ 注意

標準機能では、「transit manager」側から申請しても、Kaiden!の精算は自動的に実施されません。Kaiden!のICカードデータ検索機能を使用し、「transit manager」のデータを取得して精算申請を実施してください。

「transit manager」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「transit manager設定（ICカードデータ連携）」を参照して設定してください。

ガジェットのエクスポート

「transit manager」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのエクスポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchTransitManager_v01.xml	ICカードデータ検索
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ICカードデータ検索」と作成した連携用ガジェットを選択してください。



transit managerユーザマッピングマスタの設定

「transit manager」を使用して精算するユーザは [transit managerユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。

登録方法は、[transit managerユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

ICカードデータ検索で検索対象外となる「transit manager」のデータ

以下の条件に一致する「transit manager」のデータはICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

- transit managerで下記の状態のデータ

transit managerで未申請以外の状態のデータはICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

また、未申請状態のデータで、「業務外」または「申請を保留する」状態のデータも、検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「transit manager」から取得したデータを申請・一時保存すると、ICカードデータ検索機能で検索対象外となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#) を参照してください。

「transit manager」のデータ更新のタイミング

以下を実施した場合、「transit manager」に保存しているデータを「申請済データ」に更新します。

- 申請
- 再申請
- 一時保存
- 承認
- 最終承認

以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「差戻しデータ」に更新します。

- 取り止め
- 否認

- 案件操作による案件完了

以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「未処理状態」に更新します。

- 一時保存削除
- 未完了案件削除

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

ICカードのデータを取消明細で選択して申請した場合、ICカードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。

私用で使用したデータをICカードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- transit managerユーザマッピングマスタの設定

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「transit manager設定（ICカードデータ連携）」を参照して設定してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ICカードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



transit managerユーザマッピングマスタの設定

「transit manager」を使用して精算するユーザは [transit managerユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。登録方法は、[transit managerユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

「transit manager」のデータ更新のタイミング

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」に保存しているデータを「申請済データ」に更新します。

- 申請
- 再申請
- 一時保存
- 承認
- 最終承認

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「差戻しデータ」に更新します。

- 取り止め
- 否認
- 案件操作による案件完了

取消明細ガジェットを含む申請書で以下を実施した場合、「transit manager」のデータを「未処理状態」に更新します。

- 一時保存削除
- 未完了案件削除

法人カードデータを使用して精算する方法

Cloud-Baseと連携して精算する方法

概要

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

法人カードデータを使用して Kaiden! の精算を実施するには、「Cloud-Base」へ三井住友カードの情報を連携するサービスの利用契約が必要です。

「Cloud-Base」では、三井住友カード発行の法人カードの情報を登録すると、三井住友カードよりクレジットカードの利用明細を「Cloud-Base」へ送付するサービスを提供しています。

利用可能な法人カードや取得するデータは「Cloud-Base」のサービス内容に準じます。

「Cloud-Base」に関しては、株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマートにお問い合わせください。



コラム

Cloud-Baseおよびクラウドベースは、株式会社イントラマート・シー・エス・アイの商標です。

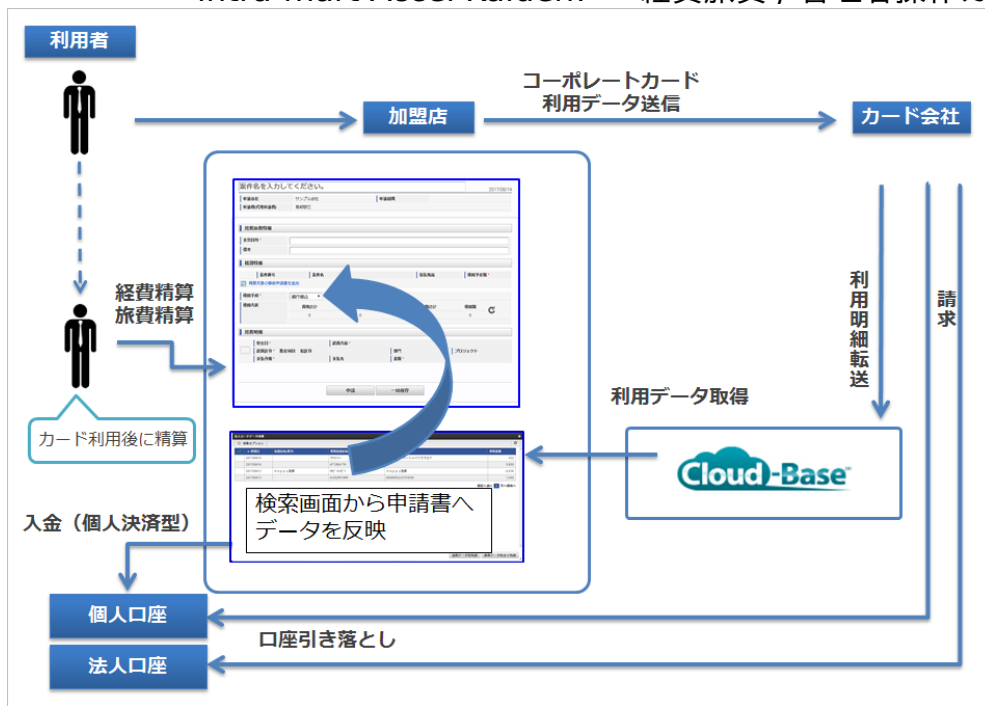
各システムの役割

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Cloud-Base
カード会社から使用データを受け取り Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



法人カードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「Cloud-Base」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「Cloud-Base」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 法人カード関連マスタの設定
- 連携用ガジェットの実装
- コンテンツ定義の実装
- ルート定義の実装
- フロー定義の実装
- 「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」との連携手順

法人カード関連マスタの設定

「Cloud-Base」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	必須	概要
法人カードマスタ	○	連携する法人カードを管理します。
法人カード会社マスタ		連携する法人カード会社を管理します。
法人カード会社契約マスタ		連携する法人カード会社との契約を管理します。
法人カードブランドマスタ		連携する法人カードのブランドを管理します。
法人カード契約体系マスタ		連携する法人カードの契約体系を管理します。
Cloud-Base契約マスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報を管理します。
Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。

連携用ガジェットの作成

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを使用して Kaiden! の精算をする際、連携用のガジェットを作成する必要があります。連携用ガジェットの作成方法は『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「応用」-「ガジェット（法人カードデータ検索ガジェットと連携する）」を参照してください。

コンテンツ定義の実装

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。コンテンツ定義の実装方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

- コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と作成した連携用ガジェットを選択してください。



「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[利用データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

法人カードデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「Cloud-Base」のデータは法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータを申請・一時保存すると、法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度法人カードデータ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [利用データテーブルメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

法人カードのデータを取消明細で選択して申請した場合、法人カードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。私用で使用したデータ、決済を取り消したデータを法人カードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 法人カード関連マスタの設定
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

法人カード関連マスタの設定

「Cloud-Base」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	必須	概要
法人カードマスタ	○	連携する法人カードを管理します。
法人カード会社マスタ		連携する法人カード会社を管理します。

法人カード会社契約マスタ		連携する法人カード会社との契約を管理します。
法人カードブランドマスタ		連携する法人カードのブランドを管理します。
法人カード契約体系マスタ		連携する法人カードの契約体系を管理します。
Cloud-Base契約マスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報を管理します。
Cloud-Base契約・会社マッピングマスタ	○	「Cloud-Base」の契約情報と会社を紐付けます。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「Cloud-Base」から法人カードデータを取得

「Cloud-Base」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「Cloud-Base」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[利用データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

J'sNAVI Jr.と連携して精算する方法

概要

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

法人カードデータを使用して Kaiden! の精算を実施するには、「J'sNAVI Jr.」の「コーポレートカードデータ連携サービス」の利用契約が必要です。

利用可能な法人カードや取得するデータは「コーポレートカードデータ連携サービス」の内容をご確認ください。

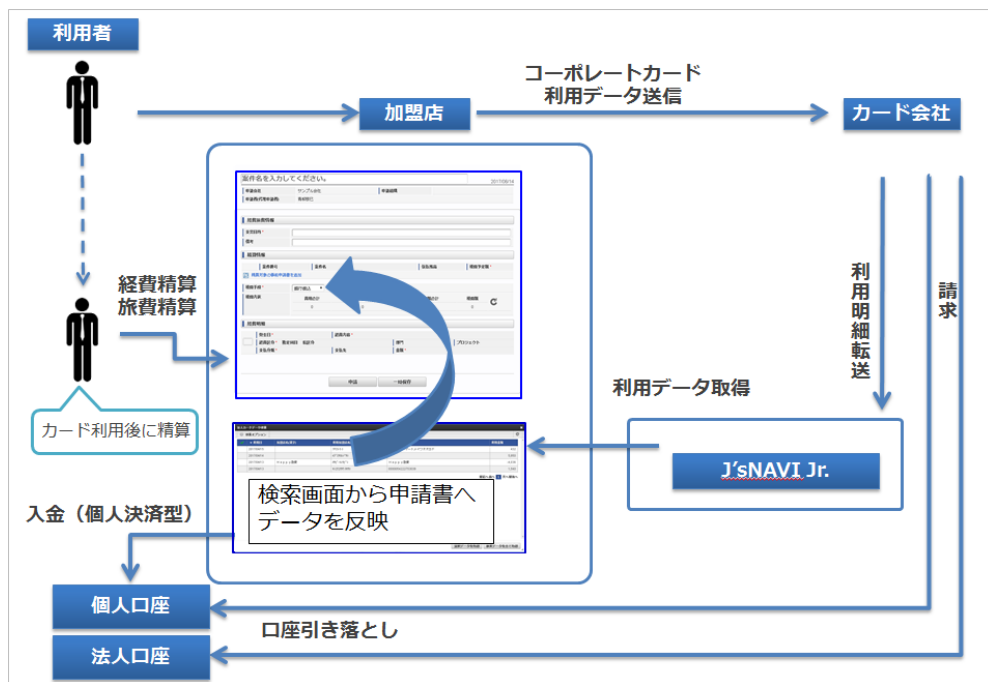
各システムの役割

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- J'sNAVI Jr.
カード会社から使用データを受け取りKaiden!に連携します。
会社ごとのデータの振り分けは「J'sNAVI Jr.」で行います。

連携イメージ

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



法人カードデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 法人カード関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

法人カード関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カードを管理します。

ガジェットのインポート

「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchCorporateCard_v02.xml	法人カードデータ検索(J'sNAVI Jr.)	○

expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）

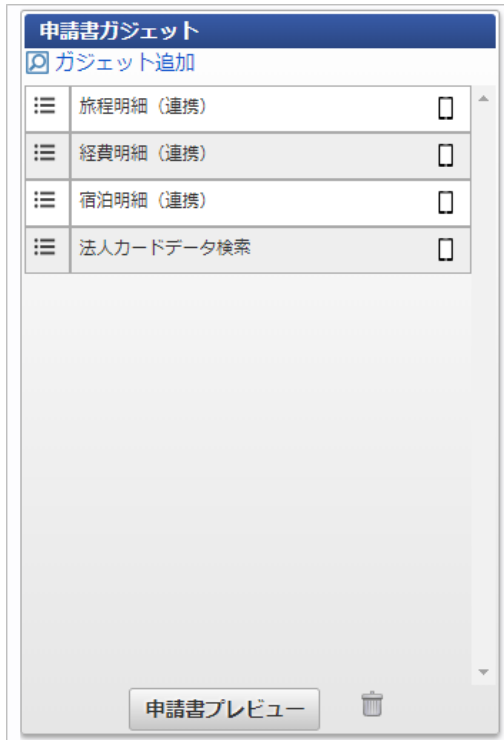
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)を実施してください。

法人カードデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「J'sNAVI Jr.」のデータは法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータを申請・一時保存すると、法人カードデータ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度法人カードデータ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

法人カードのデータを取消明細で選択して申請した場合、法人カードデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。私用で使用したデータ、決済を取り消したデータを法人カードデータ検索使用時非表示にしたい場合、取消明細を使用して申請してください。既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 法人カード関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

法人カード関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と法人カードのデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。
J'sNAVI Jr. 法人カードマスタ	連携する法人カードを管理します。

ガジェットのインポート

J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードデータを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchCorporateCard_v02.xml	法人カードデータ検索(J'sNAVI Jr.)
cancelDetail_v01.xml	取消明細

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「法人カードデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から法人カードデータを取得

「J'sNAVI Jr.」から法人カードのデータを取得する場合、[利用データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した法人カードのデータをメンテナンスする場合、[法人カード利用データテーブル \(J'sNAVI Jr.\) メンテナンス](#)を実施してください。

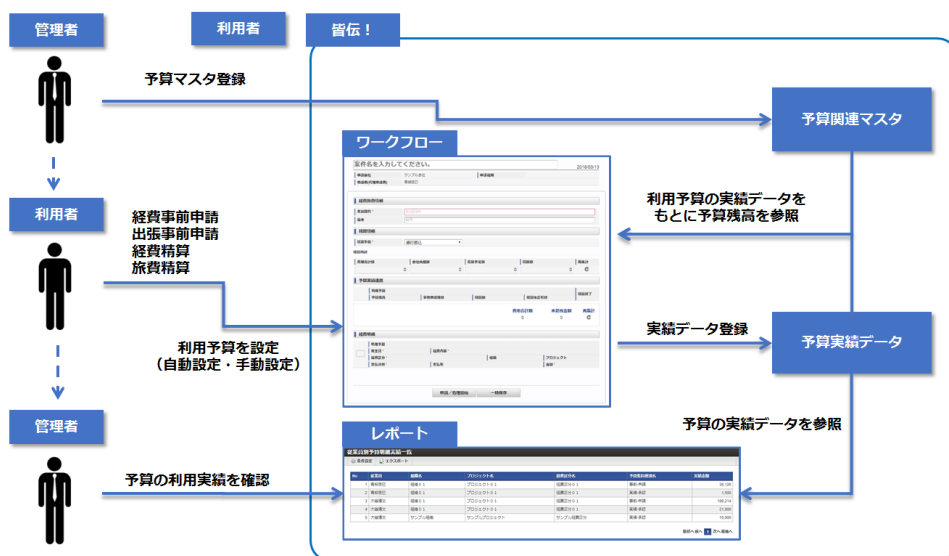
予算管理を実施する方法

概要

本項では、編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請と連携し予算管理する際の概要を説明します。

運用時のイメージ

本項では、編成した予算を使用してKaiden!の事前申請および精算申請と連携し予算管理するイメージを紹介します。



編成した予算を使用してKaiden!の申請を実施する

本項では、編成した予算を使用して Kaiden! の申請を実施する方法を説明します。

「事前申請書」、「精算申請書」、「請求書払申請書」で編成した予算を使用して申請することが可能です。

予算と連携した申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 予算関連マスタの設定
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

予算との連携手順

予算関連マスタの設定

予算と連携した申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

[予算関連マスタの補足](#)も併せて参照ください。

マスタ	必須	概要
予算単位マスタ	○	予算単位を管理します。
予算バージョンマスタ	○	予算バージョンを管理します。
予算マスタ	○	予算を管理します。

ガジェットのインポート

予算と連携した申請を実施する場合、以下の予算に関するガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
budgetAdvance_v01.xml	予算連携	○
budgetSettle_v01.xml	予算実績連携	○
allowanceDetail_v07.xml	日当明細（予算）自動引当	
allowanceDetail_v08.xml	日当明細（予算）手動引当	
expenseDetail_v07.xml	経費明細（予算）自動引当	
expenseDetail_v08.xml	経費明細（予算）手動引当	
lodgeDetail_v07.xml	宿泊明細（予算）自動引当	
lodgeDetail_v08.xml	宿泊明細（予算）手動引当	
routeDetail_v07.xml	旅程明細（予算）自動引当	
routeDetail_v08.xml	旅程明細（予算）手動引当	
billPaymentInfo_v01.xml	請求書払情報（予算連携）	○
billPaymentInfo_v04.xml	請求書払情報（外貨支払, 予算連携）	○
billPaymentDetail_v02.xml	請求書払明細（予算）自動引当	
billPaymentDetail_v03.xml	請求書払明細（予算）手動引当	
billPaymentDetail_v05.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当	
billPaymentDetail_v06.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. 事前申請書で予算の自動設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算連携ガジェット」と連携用の明細ガジェット「自動引当」を選択してください。



2. 事前申請書で手動で予算の設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算連携ガジェット」と連携用の明細ガジェット「手動引当」を選択してください。



3. 精算申請書で予算の自動設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「ガジェット」と連携用の明細ガジェット「自動引当」を選択してください。

申請書ガジェット		
ガジェット追加		
☰	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	<input type="checkbox"/>
☰	精算情報	<input type="checkbox"/>
☰	予算実績連携	<input checked="" type="checkbox"/>
☰	旅程明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
☰	宿泊明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
☰	日当明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
☰	経費明細 (予算) 自動引当	<input type="checkbox"/>
☰	会計期間チェック	<input type="checkbox"/>
☰	費用明細行数チェック	<input type="checkbox"/>

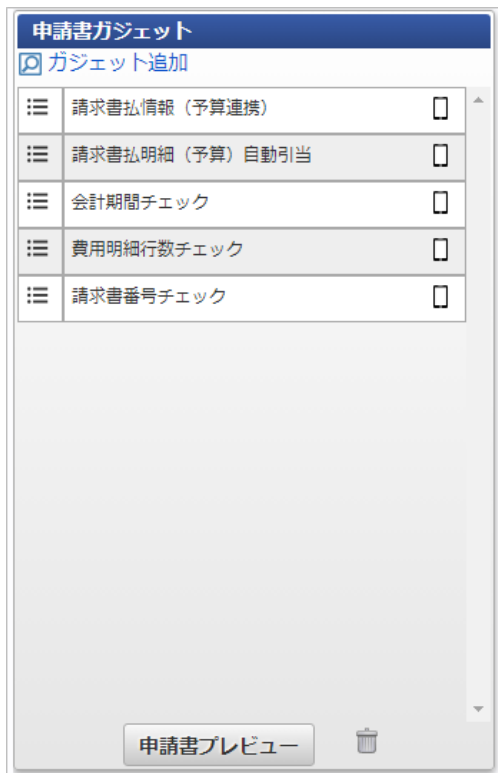
申請書プレビュー

4. 精算申請書で手動で予算の設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「予算実績連携ガジェット」と連携用の明細ガジェット「手動引当」を選択してください。

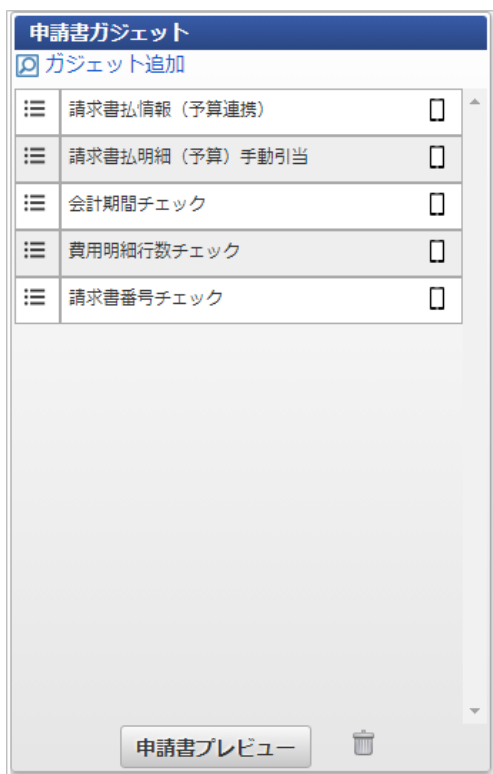
申請書ガジェット		
ガジェット追加		
☰	出張(旅費)情報 (概算費用なし)	<input type="checkbox"/>
☰	精算情報	<input type="checkbox"/>
☰	予算実績連携	<input type="checkbox"/>
☰	旅程明細 (予算) 手動引当	<input checked="" type="checkbox"/>
☰	宿泊明細 (予算) 手動引当	<input type="checkbox"/>
☰	日当明細 (予算) 手動引当	<input type="checkbox"/>
☰	経費明細 (予算) 手動引当	<input type="checkbox"/>
☰	会計期間チェック	<input type="checkbox"/>
☰	費用明細行数チェック	<input type="checkbox"/>

申請書プレビュー

5. 請求書払申請書で予算の自動設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「請求書払情報 (予算連携) ガジェット」と連携用の明細ガジェット「自動引当」を選択してください。
外貨支払いを行う場合、「請求書払情報 (外貨支払, 予算連携) ガジェット」を選択してください。



6. 請求書払申請書で手動で予算の設定を行うコンテンツ定義を作成する場合、利用ガジェット設定で、「請求書払情報 (予算連携) ガジェット」と連携用の明細ガジェット「手動引当」を選択してください。
 外貨支払いを行う場合、「請求書払情報 (外貨支払, 予算連携) ガジェット」を選択してください。



予算を連携した申請書を取り消す

予算を連携した申請書の内容を取消することができます。
 詳細は、[申請書を取り消す方法](#)を参照してください。

予算関連マスタの補足

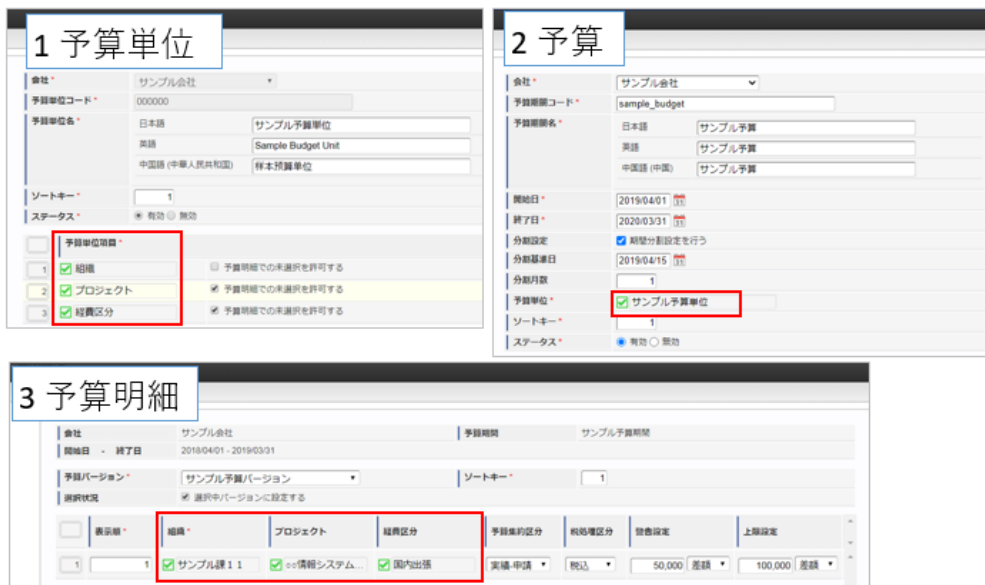
予算関連マスタについて具体例を用いて内容を説明します。
 設定方法の詳細は各マスタの説明を参照ください。

予算単位マスタ

予算単位マスタは、予算で使用する項目を管理します。

予算マスタで使用する予算単位を設定します。

次の図を例にすると、左上のように組織、プロジェクト、経費区分で予算単位を登録し、右上のように予算マスタに設定した場合、下のよう組織、プロジェクト、経費区分単位で予算明細を設定します。



予算バージョンマスタ

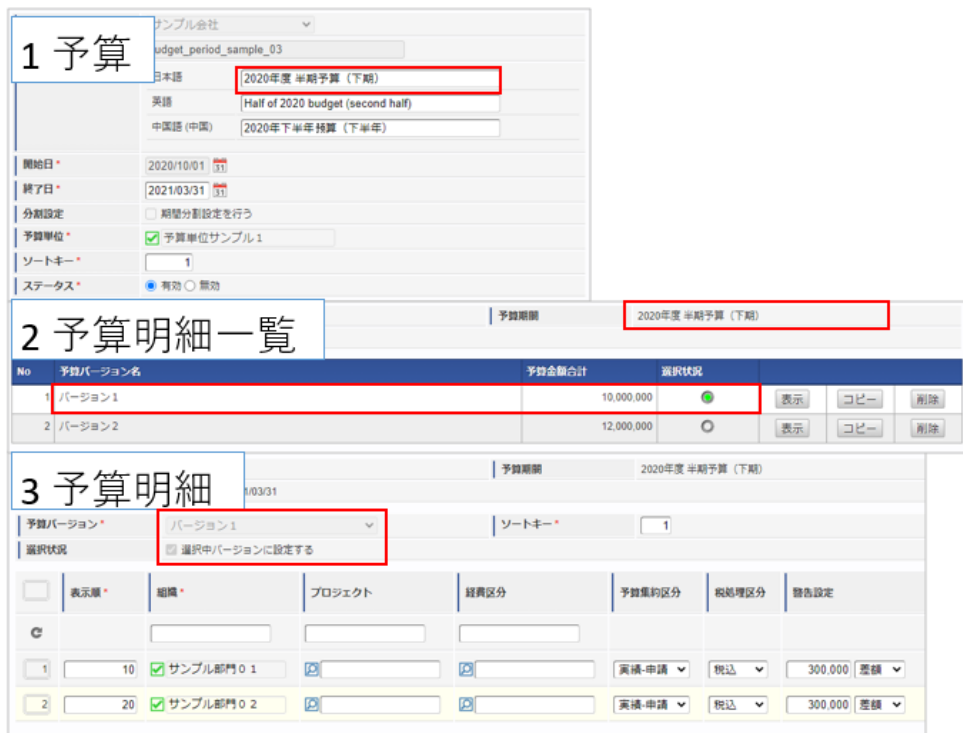
予算バージョンマスタは、予算で使用するバージョンを管理します。

予算に対して予算バージョンごとに予算明細を登録可能です。

複数の予算バージョンのうち、選択したバージョンの予算明細を予算の残高計算に使用します。

次の図を例にすると、「2020年度 半期予算(下期)」の予算に、2個の予算明細が登録されています。

予算バージョンが「バージョン1」の予算明細が選択されているため、「バージョン1」の予算明細に登録された金額で予算の残高が計算されます。



予算マスタ

予算マスタで予算を管理します。

予算マスタは、予算と予算明細で構成されています。

予算

予算は、予算の期間、使用する予算単位、予算の分割設定など、予算の基本的な情報を管理します。

予算	
会社 *	サンプル会社
予算期間コード *	sample_budget
予算期間名 *	日本語 サンプル予算 英語 サンプル予算 中国語 (中華人民共和国) サンプル予算
開始日 *	2019/04/01
終了日 *	2020/03/31
分割設定	<input checked="" type="checkbox"/> 期間分割設定を行う
分割基準日	2019/04/15
分割月数	1
予算単位 *	<input checked="" type="checkbox"/> 予算単位サンプル1
ソートキー *	1
ステータス *	<input checked="" type="radio"/> 有効 <input type="radio"/> 無効

予算明細

予算明細は予算で設定された予算単位に対する予算金額や警告を管理します。
予算に対して予算バージョンごとに予算明細を作成可能です。

予算明細			
会社	サンプル会社	予算期間	サンプル予算期間
開始日	2019/04/01 - 2019/03/31		
予算バージョン *	サンプル予算バージョン	ソートキー *	1
選択状況	<input checked="" type="checkbox"/> 選択中バージョンに設定する		
<input type="checkbox"/> 表示欄 *	<input type="checkbox"/> 組織 *	<input type="checkbox"/> プロジェクト	<input type="checkbox"/> 経費区分
<input type="checkbox"/> 1	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1	<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム...	<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張
		実績申請 ▾	税込 ▾
		50,000 差額 ▾	100,000 差額 ▾

カレンダーデータを使用して精算する方法

概要

本項では、「RODEM」からカレンダーに登録した経路情報を取得しKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。
カレンダーに登録した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施するには、「RODEM」の利用契約が必要です。
「RODEM」は、カレンダーに登録されたアポイントメント予定から行き先を特定し、「駅すばあと」のシステムを使って経路を検索するサービスです。
利用可能なカレンダーの種類や、取得するデータ等は「RODEM」のサービス内容をご確認ください。

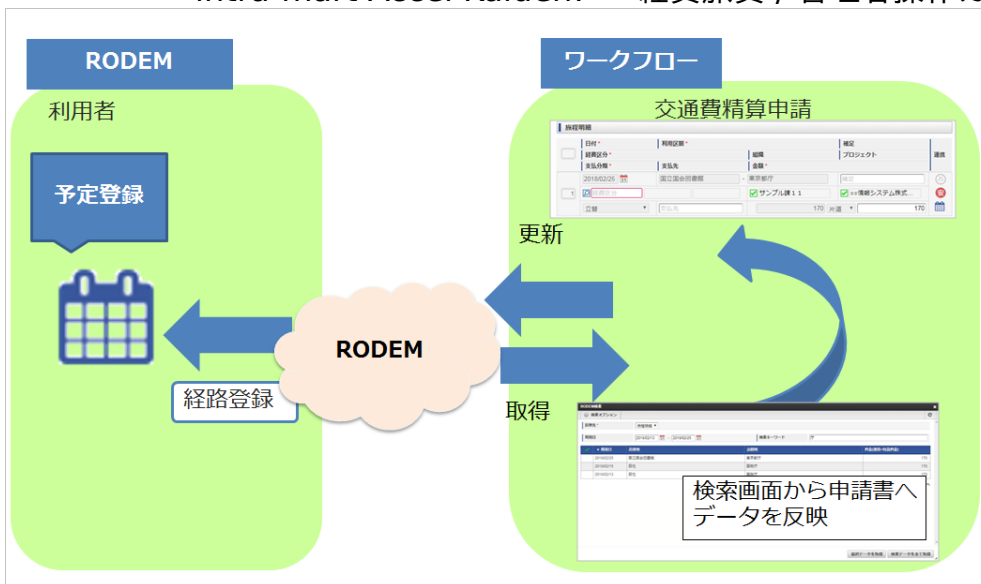
各システムの役割

「RODEM」から取得した経路情報を使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- RODEM
カレンダーに登録されたアポイントメント予定から行き先を特定し、経路を検索します。
また、移動予定の検索時に計算した運賃を Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算に使用するイメージを紹介します。



カレンダーから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する方法を説明します。
経路情報を使用してKaiden!の精算を実施するには、「RODEM」の利用契約が必要です。
「RODEM」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのリポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- RODEMユーザマッピングマスタの設定

「RODEM」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「RODEM設定（カレンダーデータ連携）」を参照して設定してください。

ガジェットのリポート

「RODEM」から経路情報を取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのリポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

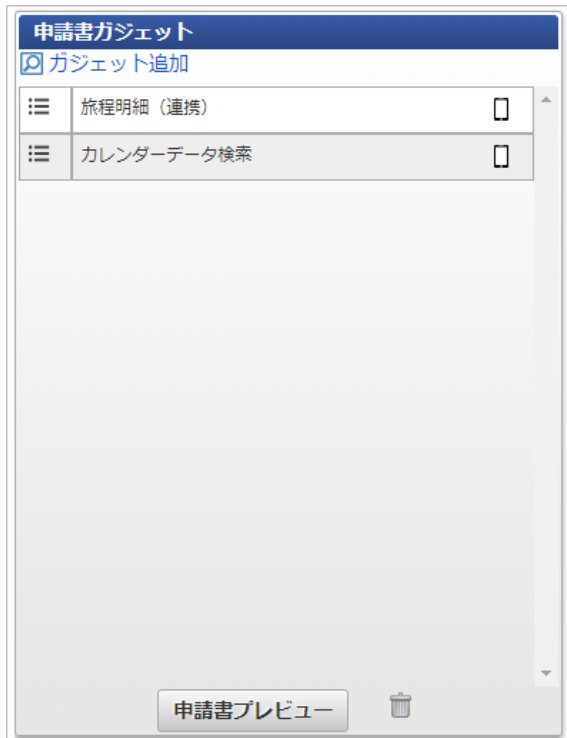
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchRodem_v01.xml	カレンダーデータ検索
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「カレンダーデータ検索」と「旅程明細（連携）ガジェット」を選択してください。



RODEMユーザマッピングマスタの設定

「RODEM」を使用して精算するユーザは [RODEMユーザマッピングマスタ](#) に登録する必要があります。
登録方法は、[RODEMユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

カレンダーデータ検索で検索対象外となるデータ

以下の条件に一致する「RODEM」のデータはカレンダーデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「RODEM」から取得したデータを申請・一時保存すると、カレンダーデータ検索機能で検索対象外となります。
該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度カレンダーデータ検索機能で検索対象となります。

検索時の注意

カレンダーデータ検索では、「RODEM設定（カレンダーデータ連携）」で設定した日付からシステム日付の期間を検索します。
初期値は「30」のため、30日前からシステム日付の期間を検索します。
設定した日付よりも過去の期間は検索できません。

注意

カレンダーデータを使用して精算する際に連携するシステムである「RODEM」がサービス終了したため、当機能は利用できません。

出張手配サービスと連携する方法

概要

本項では、Kaiden!の事前申請時に「J'sNAVI Jr.」で出張手配を実施し、取得した出張情報実績データをKaiden!の精算に使用する際の概要を説明します。

上記機能の利用には、「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスの利用契約が必要です。
出張手配サービスや取得するデータは「J'sNAVI Jr.」のサービス内容をご確認ください。

注意

Kaiden!と連携しているのは、最新バージョンの「J'sNAVI Jr.」です。
「J'sNAVI Jr.」の拡張設定(初期設定)に対応しています。
拡張設定無しには対応していません。
「J'sNAVI Jr.」に関しては、株式会社JTBビジネストラベルソリューションズにお問い合わせください。

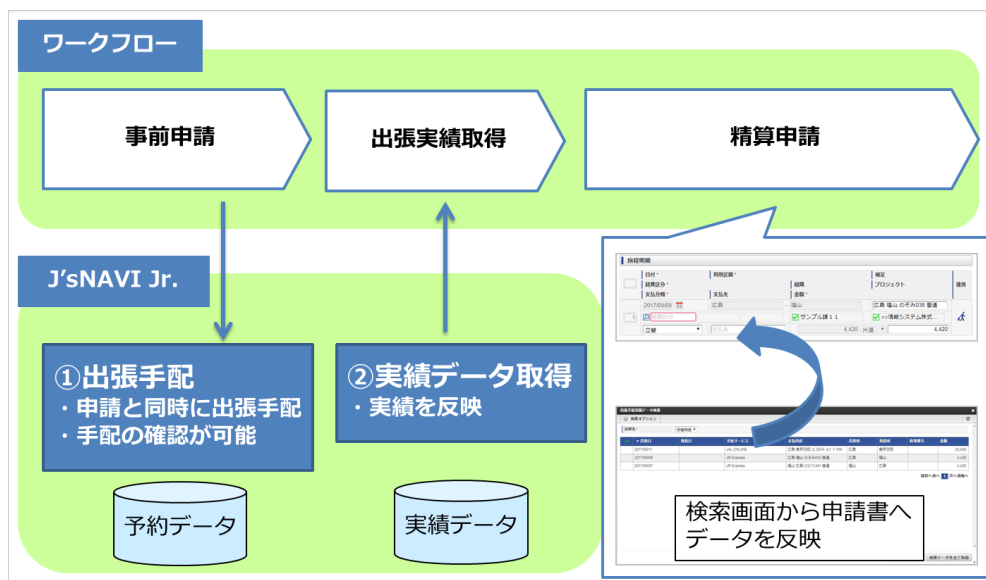
各システムの役割

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配実績データを使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- J'sNAVI Jr.
出張手配サービスを提供し、実績データを Kaiden! に連携します。

連携イメージ

本項では、「J'sNAVI Jr.」の出張手配サービスと連携するイメージを紹介します。



Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」を使用して出張手配する方法

本項では、Kaiden!から「J'sNAVI Jr.」にログインして出張手配する方法を説明します。

「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」-

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr.契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr.契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットの入ポート

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v01.xml	出張手配	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	



コラム

「J'sNAVI Jr.」の海外手配をKaiden!の事前申請と紐付ける場合、「expenseInfo_v05.xml」をコピーして

コピーしたファイルの「businessName」のvalueを「J0」から「F0」に変更してください。

コピーしたファイルのファイル名は「expenseInfo_c05.xml」にすることを推奨します。

また、コピーしたファイル名に合わせて「ガジェットクラス」、「ガジェットバリエーション」を変更してください。

「expenseInfo_v05.xml」を「expenseInfo_c05.xml」に変更した場合、「ガジェットバリエーション」を「v05」から「c05」に変更します。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

「J0」を設定した場合、国内手配モードで「J'sNAVI Jr.」にログインします。

「F0」を設定した場合、海外手配モードで「J'sNAVI Jr.」にログインします。

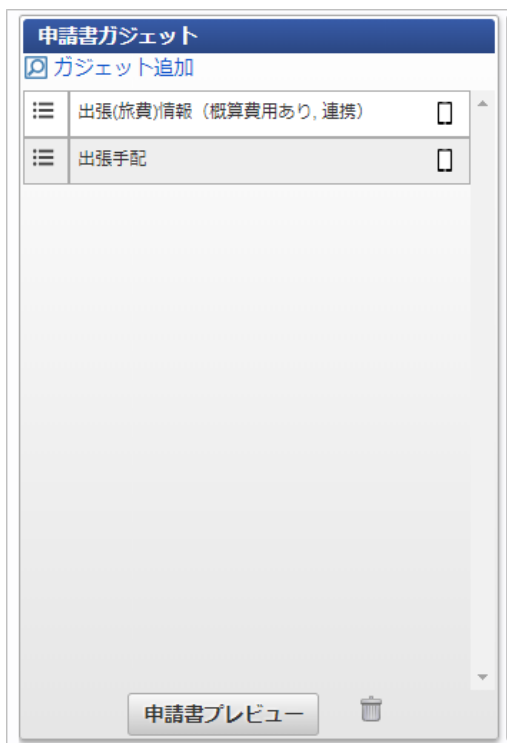
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

- 「J'sNAVI Jr.」の出張手配とKaiden!の事前申請を紐付ける場合、コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」と「出張手配」を選択してください。



- 「J'sNAVI Jr.」の出張手配とKaiden!の事前申請を紐付けない場合、コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配」を選択してください。



出張手配実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「J'sNAVI Jr.」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
-------	--------	----

searchBusinessTripArrangement_v01.xml	出張手配実績データ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	

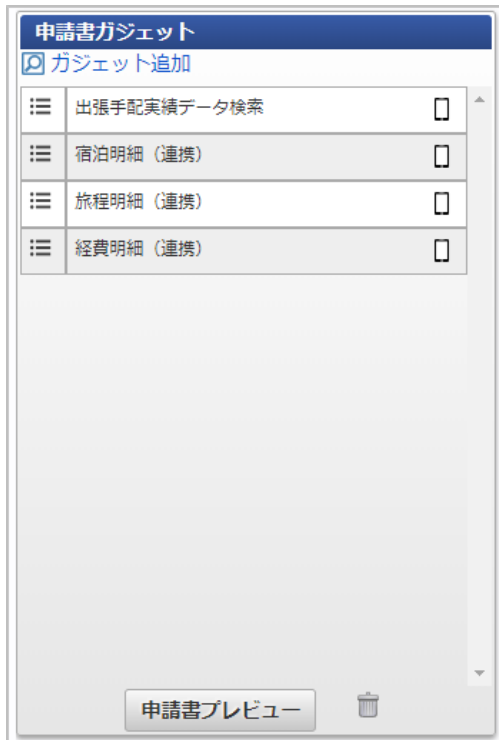
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配実績データ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張手配実績データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

出張手配実績データ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「J'sNAVI Jr.」のデータは出張手配実績データ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データを申請・一時保存すると、出張手配実績データ検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度出張手配実績データ検索機能で検索対象となります。
- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。
- [出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

出張手配の実績データを取消明細で選択して申請した場合、出張手配実績データ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張手配関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 -

「J'sNAVI Jr.設定（出張手配、法人カードデータ連携）」を参照して設定してください。

出張手配関連マスタの設定

「J'sNAVI Jr.」と出張手配の実績データを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
J'sNAVI Jr. 契約マスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報を管理します。
J'sNAVI Jr. 契約・会社マッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」の契約情報と会社を紐付けます。
出張手配ユーザマッピングマスタ	「J'sNAVI Jr.」のユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットのインポート

J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配実績データを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchBusinessTripArrangement_v01.xml	出張手配実績データ検索
cancelDetail_v01.xml	取消明細

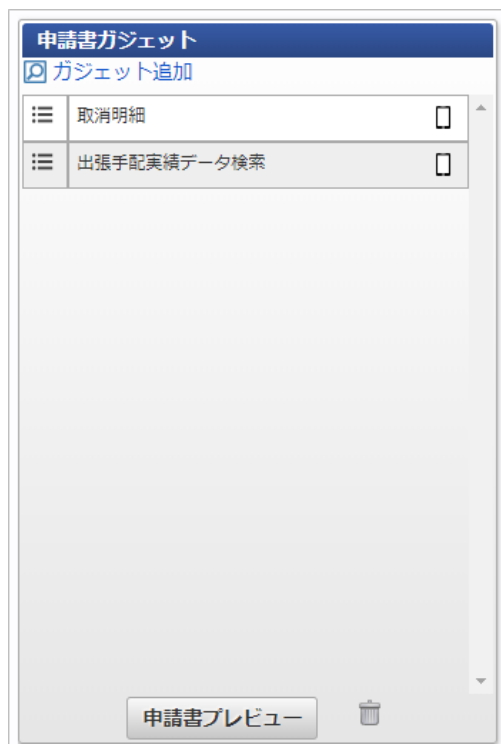
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張手配実績データ検索」と「取消明細」を選択してください。



「J'sNAVI Jr.」から出張手配実績データを取得

「J'sNAVI Jr.」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張手配実績データ取得](#)を実施してください。

「J'sNAVI Jr.」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[出張手配実績データテーブルメンテナンス](#)を実施してください。

事前申請書・精算申請書を取り消す方法

本項では、事前申請書・精算申請書を取り消す方法を説明します。

申請書を取り消すための申請書を作成して取消を実施します。

使用には以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成



注意

バージョン2.0.12で、当機能を申請書を取り消す機能に移管しました。

バージョン2.0.12以降をご利用の場合、「[申請書を取り消す方法](#)」を参照して申請書を取り消す機能をご利用ください。

事前申請書・精算申請書を取り消す申請書の作成手順

ガジェットのインポート

事前申請書・精算申請書を取り消す申請書を作成する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchAdvanceSettle_v01.xml	事前・精算書検索
matterDetail_v01.xml	案件明細

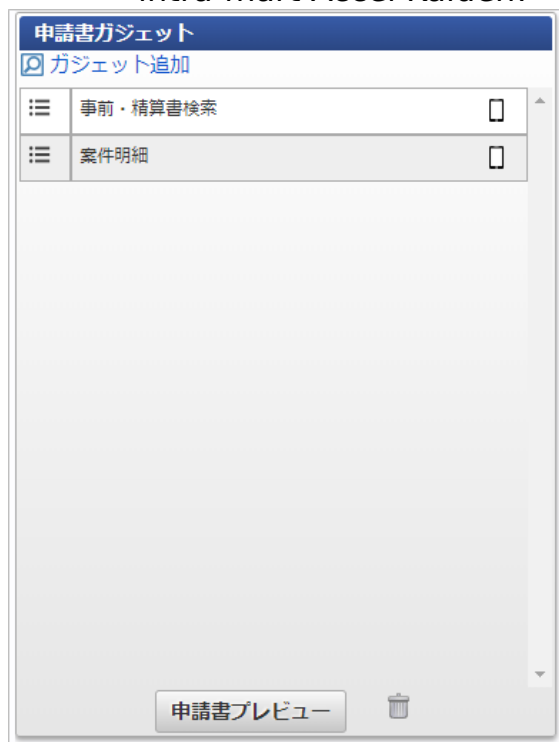
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「事前・精算書検索」と「案件明細」を選択してください。



検索対象となる申請書

以下の条件に一致する申請書が事前・精算検索機能で検索対象となります。
また、自分が申請した申請書のみを取り消し可能です。

- 精算申請書との紐付けがない最終承認済の事前申請書
- 最終承認済の精算申請書

コラム

精算申請書と紐付け済みの事前申請書を取り消す場合、紐づく精算申請書を取り消してから実施してください。

注意

請求書払申請書を取り消すことはできません。

申請時の注意

事前申請書・精算申請書を取り消す申請が最終承認されると、以下の操作が実施されます。

- 事前申請書と紐付いた精算申請書を取り消した場合、紐付けを解除します。
- 取り消した申請書が仕訳出力前の場合、仕訳対象外となります。
- 取り消した申請書が仕訳出力済の場合、反対仕訳のデータを登録します。
- 取り消した申請書が仕訳出力済でFBデータが発生する場合、金額×「-1」のFBデータを登録します。
- 取り消した申請書が予算と紐付いている場合、使用した予算額を取り消します。
- 渡航情報ガジェットを含む事前申請書を取り消した場合、渡航情報取消用のファイルを出力します。

注意

「交通系ICカードデータ」、「法人カードデータ」等の外部のシステムから取得したデータと連携した申請書を取り消した場合、再度該当のデータを使用して申請することができません。
同じ内容で再度申請したい場合、申請書コピー機能を使用してください。

安否確認システムと連携する方法

概要

本項では、Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムと連携するための渡航情報ファイルを出力する方法を説明します。

各システムの役割

Kaiden!の出張事前申請をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 安否確認システム
Kaiden!から出力されたファイルを渡航情報として取り込みます。

Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法

本項では、Kaiden!の出張事前申請時に安否確認システムに渡航情報の新規追加を連携するファイルを出力する方法を説明します。安否確認システムに連携するファイルを出力するには、以下の手順が必要です。

- 安否確認ユーザマッピングマスタの設定
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

設定手順

安否確認ユーザマッピングマスタの設定

以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
安否確認ユーザマッピングマスタ	安否確認システムのユーザとKaiden!を紐付けます。

ガジェットの入ポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
travelDetail_v01.xml	渡航明細
expenseInfo_v06.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 渡航明細連携)

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. Kaiden!の出張事前申請時、安否確認システムに連携するファイルを出力するためには、コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 渡航明細連携)」と「渡航明細」を選択してください。



Kaiden!の出張事前申請を取り消す際に安否確認システムに連携するファイルを出力する方法

本項では、Kaiden!の事前申請書取消時に安否確認システムに渡航情報の削除を連携するファイルを出力する方法を説明します。安否確認システムに連携するファイルを出力するには、以下の手順が必要です。

- 安否確認ユーザマッピングマスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成



コラム

事前申請書の取消に関する詳細およびガジェットのインポート以降、コンテンツ定義の作成手順は [申請書を取り消す方法](#)を参照してください。

安否確認ユーザマッピングマスタの設定

以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
安否確認ユーザマッピングマスタ	安否確認システムのユーザとKaiden!を紐付けます。

出力ファイルの定義

本項では、安否確認システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。出力ファイルを連携する際は、安否確認システムにアップロードしてください。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- 出力先
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

ディレクトリ kaiden/safety/csv

ファイル名 travelDetail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	更新区分	actionFlag	1: 新規追加 2: 削除
2	ユーザID	userId	
3	渡航管理番号	travelNo	
4	出発日	departureDate	yyyyMMdd形式
5	帰着日	returnDate	yyyyMMdd形式
6	備考	summary	
7	渡航先件数	count	
8	エリアコード	areaCd	
9	国コード	countryCd	
10	都市コード	cityCd	
11	滞在先	destination	
12	開始日	startDate	yyyyMMdd形式
13	終了日	endDate	yyyyMMdd形式
14	特記事項	notice	

申請書にアラートを表示する方法

申請書にアラートを表示する方法

本項では、Kaiden!の申請書にアラートを表示する方法を説明します。

アラート機能を使用する場合、以下の手順が必要です。ガジェットに追加の設定が必要です。

- ガジェットのカスタマイズ
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成



コラム

標準で提供しているガジェットは、アラート表示の設定が実施されていません。
アラート機能を使用する場合、ガジェットのカスタマイズが必要です。

ガジェットのカスタマイズ

申請書にアラートを表示したい場合、GadgetBuilderで作成したガジェットのバリデート設定を実施する必要があります。

バリデート実行イベントに「warning」、「information」を設定すると、バリデートのチェックがNGの場合申請書にアラートを表示します。

アラートが表示されていても申請は可能です。



コラム

設定方法の詳細は『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

ガジェットのインポート

以下のガジェットの入ポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
バリデート設定を追加したガジェット	
informationDetail_v01.xml	情報明細

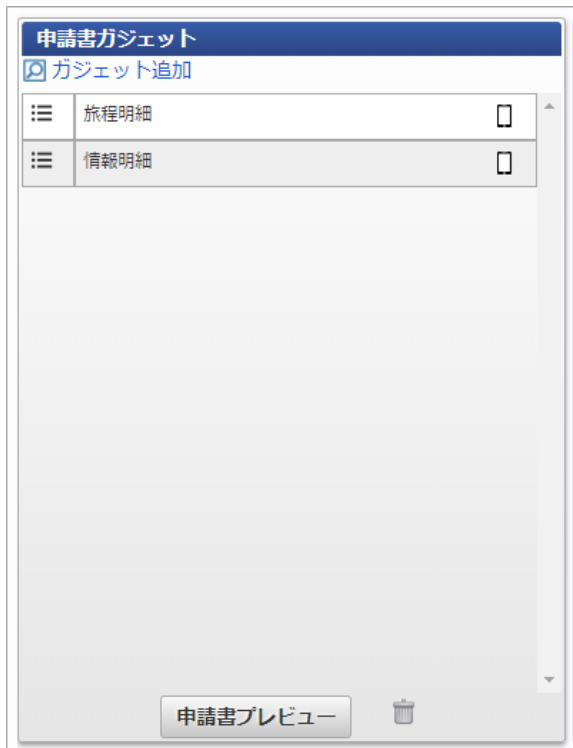
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「バリデート設定を追加したガジェット」と「情報明細」を選択してください。



確認コメントが必須入力のアラートの操作

本項では、確認コメントが任意入力のアラート（warning）を設定した際の操作を説明します。

1. アラートを設定している申請書を開きます。

旅程明細			
<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
	経費区分*	組織	プロジェクト
	支払分類*	支払先	金額*

情報明細			
	ガジェット名	項目名	メッセージ
			確認コメント

2. 入力後、「申請」をクリックします。

旅程明細				
<input type="checkbox"/>	日付 *	利用区間 *	組織	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分 *	支払先	金額 *	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類 *	支払先	金額 *	
1	2019/01/24	西新宿	赤坂見附	補足
<input checked="" type="checkbox"/>	国内出張	旅費交通費	課税(8%)	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1
	立替	支払先	170	片道 170
<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム株式...				

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

3. バリデーションのチェックが実施され、チェックNGの場合情報明細ガジェットにメッセージが表示されます。また、「確認コメント」の入力が必須です。

入力エラーが見つかりました

情報明細

確認コメント 警告メッセージが存在します。確認コメントを入力してください。

再チェック 閉じる

ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
⚠ 旅程明細	日付	対象の日付に同じ経路（西新宿 - 赤坂見附）がすでに申請されています。	

4. 処理時もアラートのメッセージを確認できます。

旅程明細				
<input type="checkbox"/>	日付	利用区間	組織	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分	支払先	金額	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類	支払先	金額	
1	2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附	サンプル課 1 1	〇〇情報システム株式会社...
<input checked="" type="checkbox"/>	国内出張	旅費交通費	課税(8%)	
	立替		170	片道 170

ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
⚠ 旅程明細	日付	対象の日付に同じ経路（西新宿 - 赤坂見附）がすでに申請されています。	前回申請が往路のみだったため、復路を申請します。

確認コメントが任意入力のアラートの操作

本項では、確認コメントが任意入力のアラート（information）を設定した際の操作を説明します。

1. アラートを設定している申請書を開きます。

旅程明細				
<input type="checkbox"/>	日付 *	利用区間 *	組織	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分 *	支払先	金額 *	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類 *	支払先	金額 *	

ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

2. 入力後、「申請」をクリックします。

旅程明細				
日付*	利用区画*	補足		
経費区分*	組織	プロジェクト		
支払分類*	支払先	金額*		
2019/01/24	西新宿	赤坂見附	補足	
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1	<input checked="" type="checkbox"/> ○○情報システム株式...
立替	東京メトロ	片道金額	片道	0
2019/01/24	西新宿	赤坂見附	補足	
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)	<input checked="" type="checkbox"/> サンプル課 1 1	<input checked="" type="checkbox"/> ○○情報システム株式...
立替	東京メトロ	170	片道	170

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント

3. バリデーションのチェックが実施され、チェックNGの場合情報明細ガジェットにメッセージが表示されます。「確認コメント」を入力して申請することも可能です。

案件 入力エラーが見つかりました

旅程明細	片道金額	必須です。
	換算額	必須です。

再チェック 閉じる

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	

4. 処理時もアラートのメッセージを確認できます。

旅程明細				
日付	利用区画	補足		
経費区分	組織	プロジェクト		
支払分類	支払先	金額		
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附			
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)	サンプル課 1 1	○○情報システム株式会社...
立替	東京メトロ	170	片道	170
2019/01/24	西新宿 - 赤坂見附			
<input checked="" type="checkbox"/> 国内出張	旅費交通費	課税(8%)	サンプル課 1 1	○○情報システム株式会社...
立替	東京メトロ	170	片道	170

情報明細			
ガジェット名	項目名	メッセージ	確認コメント
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	1行目と2行目は往復の入力です。
旅程明細	日付	申請書内に日付・経路（西新宿 - 赤坂見附）の同じ明細が存在します。	

概要

本項では、駅すばあとWebサービスを使用して経路検索を実施する方法を説明します。

各システムの役割

駅すばあとWebサービスから取得した経路情報を使用してKaiden!の精算をする際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 駅すばあとWebサービス
経路検索を実施します。

駅すばあとWebサービスを使用してKaiden!の申請を実施する

本項では、「駅すばあとWebサービス」から経路情報を取得し Kaiden! の申請を実施する際の方法を説明します。

経路情報を使用してKaiden!の申請を実施するには、「駅すばあとWebサービス」の利用契約が必要です。

「駅すばあとWebサービス」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 駅すばあと検索条件関連マスタの設定

「駅すばあとWebサービス」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール」 - 「経路検索設定」及び、

「[駅すばあとWebサービス設定](#)」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

「駅すばあとWebサービス」から経路情報を取得し Kaiden! の申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
routeSearch_v01.xml	経路検索	○
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）	
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）	
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）	
chgCommRoute_v01.xml	通勤経路	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「経路検索」と「旅程明細（連携）ガジェット」等を選択してください。



駅すばあと検索条件関連マスタの設定

経路検索の条件を会社ごとに変更したい場合、また、ユーザに画面で「駅すばあとWebサービス設定」で設定した条件を変更させたい場合、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#) に設定を登録してください。

また、ユーザごとに経路検索の条件を変更したい場合、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#) と [駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を紐付けてください。

登録方法は、[駅すばあと検索条件設定マスタ](#)、[駅すばあと検索条件ユーザマッピングマスタ](#) を参照してください。

仕訳の出力項目を変更する方法

本項では、仕訳の出力項目を変更する方法を説明します。

設定ファイル

仕訳の出力設定を行います。

モジュール	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
設定場所	%パブリックストレージ ジ%/kaiden/settings/default/JournalExportSettings/JournalExportSettings.xml

コラム

仕訳出力設定ファイルは会社毎に設定ファイルを指定することができます。
会社毎に設定ファイルを指定する場合、パブリックストレージに以下の通り設定ファイルを配置してください。

格納先

%パブリックストレージ%/kaiden/settings/%会社コード%/JournalExportSettings/JournalExportSettings.xml

タグ概要

設定ファイルのタグ概要は次の通りです。

タグ	名称・説明
genericExportSettings/field_settings/field_setting	出力する項目を設定します。
genericExportSettings/field_settings/field_setting/key	出力する項目のキーを設定します。
genericExportSettings/field_settings/field_setting/sort	出力する項目の出力順を設定します。

genericExportSettings/field_settings/field_setting/type	出力する項目のタイプを設定します。 * 1:文字列 * 2:数値 * 3:日付形式
genericExportSettings/field_settings/field_setting/number_format	出力項目のフォーマットを設定します。 タイプが数値の時のみ設定可能です。

追加可能な項目

仕訳の出力に追加可能な項目は以下の通りです。

No(列)	項目名	キー	タイプ	フォーマット	備考
1	ヘッダー汎用コード1	headerGeneralCd1	1		
2	ヘッダー汎用コード2	headerGeneralCd2	1		標準機能で使用していません
3	ヘッダー汎用コード3	headerGeneralCd3	1		標準機能で使用していません
4	ヘッダー汎用フラグ1	headerGeneralFlag1	1		
5	ヘッダー汎用フラグ2	headerGeneralFlag2	1		標準機能で使用していません
6	ヘッダー汎用フラグ3	headerGeneralFlag3	1		標準機能で使用していません
7	会社通貨コード	companyCurrencyCd	1		
8	会社通貨換算レート	companyRate	2	『####.####』	
9	取引通貨額	transAmount	2	『####』	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	1		
11	税区分コード	taxTypeCd	1		
12	税率	taxRate	2	『####』	
13	ファイルID	fileId	1		
14	処理番号	procNo	2		
15	登録番号	registeredNumber	1		
16	事業者別税区分コード	taxTypeIssuerLinkCd	1		
17	交付義務の免除理由	exemptionReason	1		
18	マルチバリューチャージサービス出力フラグ	mvcsOutputFlag	1		マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用する場合、値が設定されます。

税率変更時のマスタ設定方法

本項では、増税等税率変更時のマスタ設定方法例を説明します。
本項で説明する内容は設定例となりますので、運用に合わせて設定ください。
税率に関連するマスタは以下の通りです。

- 税区分マスタ
- 経費区分マスタ

税区分マスタの設定

[税区分マスタ](#)で、変更になった税率を追加します。
税率が8%から10%に増税し、軽減税率8%が追加になった場合、10%と軽減税率8%の税区分をマスタに追加します。

経費区分マスタの設定

[経費区分マスタ](#)を新規作成し、追加した[税区分マスタ](#)と[勘定科目マスタ](#)を紐付けます。

ガジェットテンプレートを使用する方法

本項では、Kaiden!の申請書に設定されているガジェットでテンプレート機能を使用する方法を説明します。
テンプレート機能を使用する場合、以下の手順が必要です。ガジェットに追加の設定が必要です。

- ガジェットのカスタマイズ
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

コラム

標準で提供しているガジェットは、テンプレート機能を使用する設定が実施されていません。
テンプレート機能を使用する場合、ガジェットのカスタマイズが必要です。

注意

テンプレート機能はGadgetBuilder版のガジェットのみ対応しています。

ガジェットのカスタマイズ

申請書に設定するガジェットでテンプレート機能を使用したい場合、標準で提供しているガジェットにテンプレート設定を実施する必要があります。
ガジェット引数に設定する内容は以下の通りです。

キー	設定値
----	-----

template	true
----------	------

コラム

標準で提供しているガジェットでテンプレート機能に対応しているガジェットは以下の通りです。

ファイル名	ガジェット名
expenseDetail_v01.xml	経費明細
expenseDetail_v02.xml	経費明細 (複数通貨)
routeDetail_v01.xml	旅程明細
routeDetail_v02.xml	旅程明細 (複数通貨)
routeDetail_v03.xml	旅程明細 (簡易)
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)
routeDetail_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)

コラム

設定方法の詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「GadgetBuilder定義」を参照してください。

ガジェットのインポート

テンプレート機能を設定したガジェットのインポートが必要です。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「テンプレート機能を設定したガジェット」を選択してください。

ガジェットのテンプレート登録の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを登録する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。

i コラム

代理申請の場合、テンプレートを登録することはできません。

2. 入力後、「登録」をクリックします。

- テンプレート名
テンプレートの名称を入力します。
- 共通
 - チェック済で登録した場合、コンテンツが異なる申請書でも同一ガジェットであれば登録したテンプレートを共通で使用することができます。
 - 未チェックで登録した場合、テンプレートを登録した申請書でのみ登録したテンプレートを使用することができます。

コラム

テンプレートの登録がガジェットの入力項目を保存します。
テンプレートから除外したい項目は未入力状態でテンプレート登録を行ってください。

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

4. テンプレートを登録することができました。

案件名を入力してください。 2020/02/19

申請会社 青柳辰巳

申請者(代理申請者)

テンプレートデータを保存しました。

旅程明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織
	支払分類*	支払先
		金額*
2020/02/20 <small>31</small>	西新宿 - 新大坂	サンプル補足
<input checked="" type="checkbox"/>	国内出張	旅費交通費
		課税(8%)
1	<input checked="" type="checkbox"/>	サンプル課 1 1
		<input checked="" type="checkbox"/> 〇〇情報システム株式...
立替	サンプル支払先	13,870 片道
		13,870

経費明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

発生日*	経費内容*
<input type="checkbox"/>	経費区分*
	支払分類*
	支払先
	金額*

ガジェットのテンプレート読込の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを読込する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。

旅程明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織
	支払分類*	支払先
		金額*

経費明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

発生日*	経費内容*
<input type="checkbox"/>	経費区分*
	支払分類*
	支払先
	金額*

2. テンプレートを選択し、「読込」をクリックします。

旅程明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

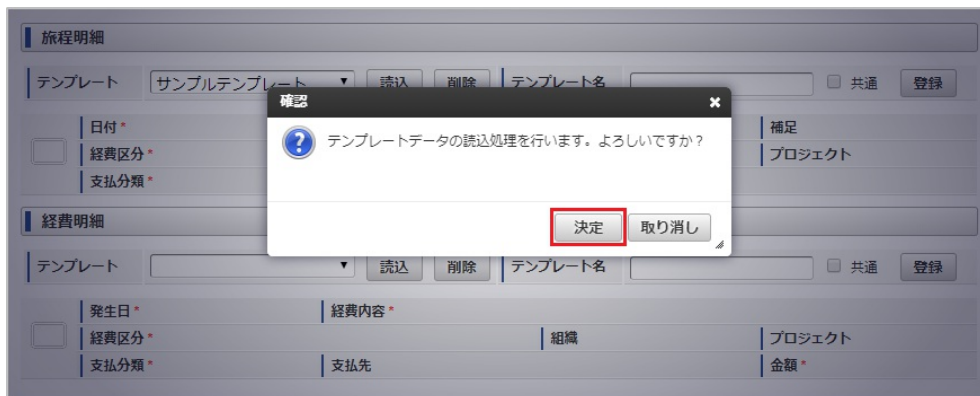
日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織
	支払分類*	支払先
		金額*

経費明細

テンプレート
 テンプレート名 共通

発生日*	経費内容*
<input type="checkbox"/>	経費区分*
	支払分類*
	支払先
	金額*

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



4. テンプレートを読み込めることができました。



ガジェットのテンプレート削除の操作

本項では、ガジェットのテンプレートを削除する際の操作を説明します。

1. ガジェットのテンプレート機能を設定した申請書を開きます。



コラム

代理申請の場合、テンプレートを削除することはできません。



The screenshot shows two sections: '旅程明細' (Trip Details) and '経費明細' (Expense Details). Each section has a 'テンプレート' (Template) dropdown menu and a '削除' (Delete) button. The '旅程明細' section also includes fields for '日付' (Date), '利用区間' (Usage Period), '組織' (Organization), 'プロジェクト' (Project), '経費区分' (Expense Category), '支払先' (Payment Destination), and '金額' (Amount). The '経費明細' section includes fields for '発生日' (Occurrence Date), '経費内容' (Expense Content), '組織' (Organization), 'プロジェクト' (Project), '経費区分' (Expense Category), '支払先' (Payment Destination), and '金額' (Amount).

2. テンプレートを選択し、「削除」をクリックします。



This screenshot shows the same application form as above, but with the '削除' (Delete) button in the '旅程明細' section highlighted with a red box. The 'テンプレート' dropdown menu is set to 'サンプルテンプレート' (Sample Template).

3. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



This screenshot shows the application form with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box has a question mark icon and the text 'テンプレートデータの削除処理を行います。よろしいですか?' (Do you want to delete the template data?). Below the text are two buttons: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

4. テンプレートを削除することができました。

一時保存 申請書コピー

テンプレートデータを削除しました。

案件名を入力してください。 2020/02/19

申請会社	サンプル会社	申請組織	
申請者(代理申請者)	青柳辰巳		

旅程明細

テンプレート: 読込 削除 テンプレート名: 共通 登録

<input type="checkbox"/>	日付*	利用区間*	補足
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

経費明細

テンプレート: 読込 削除 テンプレート名: 共通 登録

<input type="checkbox"/>	発生日*	経費内容*	
<input type="checkbox"/>	経費区分*	組織	プロジェクト
<input type="checkbox"/>	支払分類*	支払先	金額*

申請 一時保存

申請書に任意のメッセージを表示する方法

申請書に任意のメッセージを表示する方法

本項では、Kaiden!の申請書に任意のメッセージを表示する方法を説明します。
任意のメッセージを表示する場合、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットのインポート

申請書に任意のメッセージを表示する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
appExtentionText_v01.xml	メッセージ表示

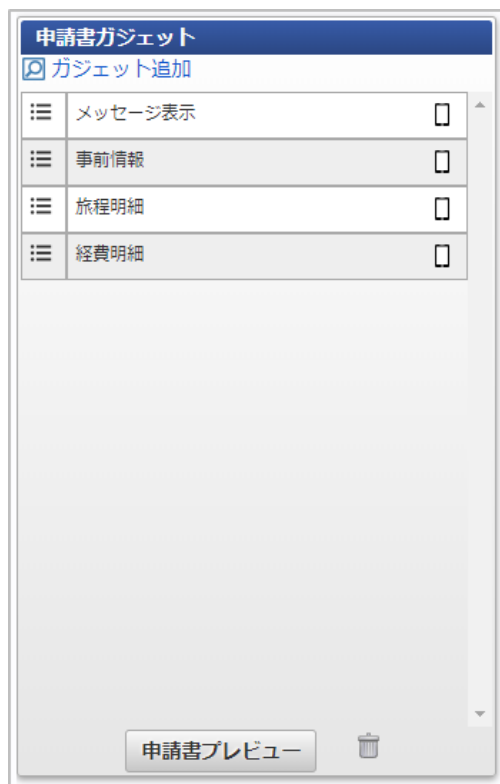
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「メッセージ表示」を選択し、拡張テキスト設定を行ってください。
拡張テキストの設定方法は、[コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)「拡張テキスト設定」を参照してください。



申請書に任意のメッセージを表示

任意のメッセージを設定している申請書を開きます。

1. コンテンツ定義作成時に「メッセージ表示」ガジェットを配置した位置に任意のメッセージが表示されます。

案件名を入力してください。
2020/02/19

申請会社	サンプル会社	申請組織	
申請者(代理申請者)	青柳辰巳		

サンプルメッセージ (中央挿入)

サンプルメッセージ (左挿入) サンプルメッセージ (右挿入)

旅程明細

テンプレート ▼
読込
削除
 テンプレート名
 共通
 登録

<input type="checkbox"/> 日付*	利用区間*	補足	
<input type="checkbox"/> 経費区分*	組織	プロジェクト	
<input type="checkbox"/> 支払分類*	支払先	金額*	

経費明細

テンプレート ▼
読込
削除
 テンプレート名
 共通
 登録

<input type="checkbox"/> 発生日*	経費内容*		
<input type="checkbox"/> 経費区分*	組織	プロジェクト	
<input type="checkbox"/> 支払分類*	支払先	金額*	

申請
一時保存

BTMサービスと連携する方法

BTMサービス利用実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「BTMサービス」から利用実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。「BTMサービス」と連携するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成

- ・ フロー定義の作成
- ・ 「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」との連携手順

ガジェットの入ポート

「BTMサービス」からBTMサービスの利用実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)	
routeDetail_v10.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易, 連携)	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」から利用実績データを取得する方法は、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

取消明細を使用する

本項では、取消明細を使用する際の方法を説明します。

BTMサービスの利用実績データを取消明細で選択して申請した場合、BTMサービスデータ検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されま

す。

既に精算申請されているデータを取消明細で選択して申請することはできません。

取消明細を使用するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「BTMサービス」から利用実績データを取得

ガジェットのインポート

「BTMサービス」から取得した利用実績データを取消明細を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索
cancelDetail_v01.xml	取消明細

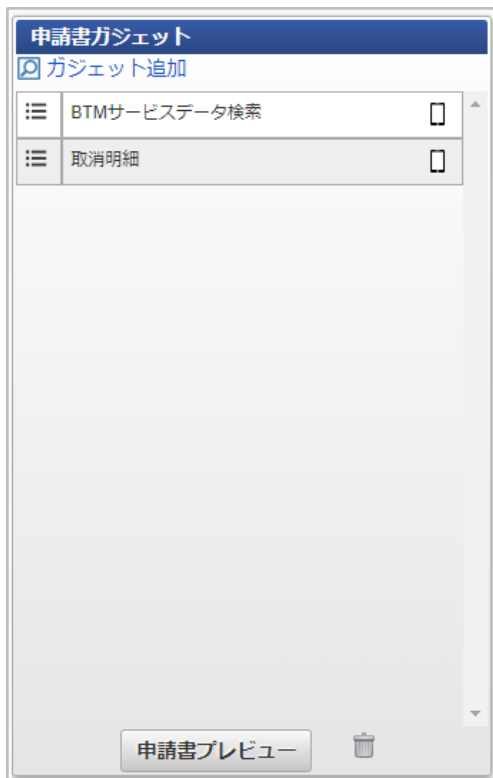
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と「取消明細」を選択してください。



「BTMサービス」から利用実績データを取得

「BTMサービス」から利用実績データを取得する方法は、[オプションモジュールの操作](#)を参照してください。

「BTMサービス」から取得した利用実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

申請書公開設定機能を使用する方法

申請書公開設定機能を使用する方法

本項では、自身が作成した申請書を公開する方法を説明します。

申請書を公開するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
publicApplication_v01.xml	申請書公開設定

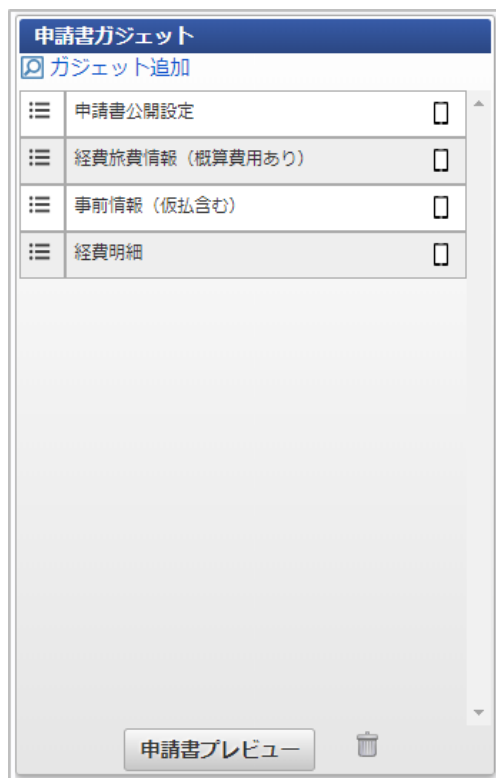
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、任意のガジェットと「申請書公開設定」を選択してください。



コラム

「申請書公開設定」ガジェットを含まない申請書は他者に公開できません。

申請書コピーで検索対象となるデータ

以下の条件に一致する申請書が申請書コピーでの検索対象となります。

- 自身が作成した申請書で完了案件となっている申請書
- 自身に公開されている申請書で完了案件となっている申請書

コラム

完了案件には「否認」、「取止め」された申請書も含まれます。

申請書紐づけ機能を使用する方法

申請書紐づけ機能を使用してKaiden!の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する

本項では、申請書紐づけ機能を使用して Kaiden! の決裁事前申請および決裁精算申請を実施する際の方法を説明します。申請書紐づけ機能を使用して決裁事前申請および決裁精算申請を連携するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

ガジェットの入ポート

申請書紐づけ機能を使用して決裁事前申請および決裁精算申請を連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
decisionAdvance_v01.xml	決裁事前	○
decisionSettle_v01.xml	決裁精算	○

必要に応じてガジェットを追加してください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

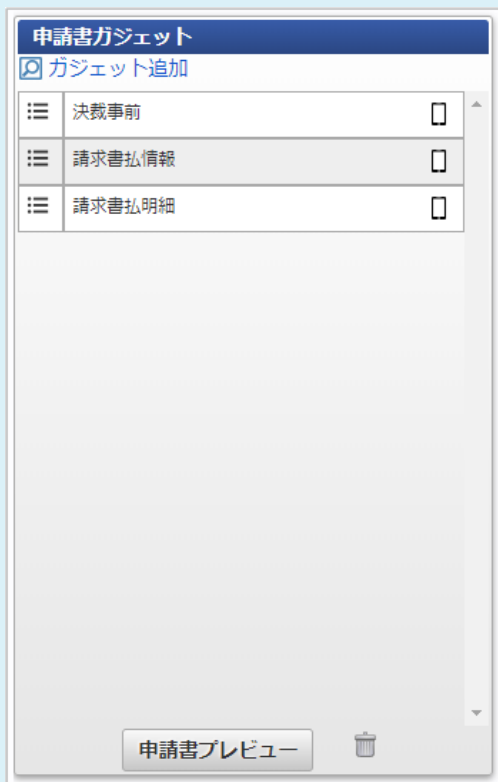
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. 決裁事前申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「決裁事前ガジェット」を選択してください。



コラム

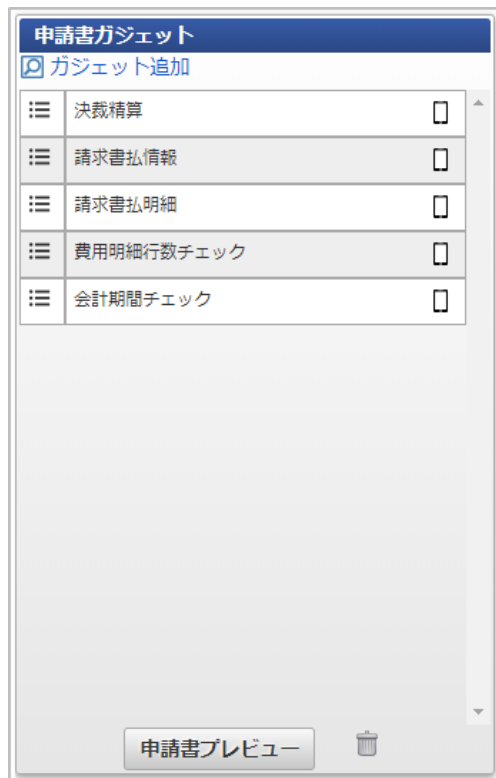
利用ガジェット設定で任意の明細を選択することで、決裁金額に明細の合計金額を設定することも可能です。



注意

決裁事前申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、申請書タイプを「一般」で作成する必要があります。

- 決裁精算申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、利用ガジェット設定で、「決裁精算ガジェット」と「請求書払情報ガジェット」、「請求書払明細ガジェット」を選択してください。



**注意**

決裁精算申請書で申請書紐づけを行うコンテンツ定義作成する場合、申請書タイプを「請求書払申請書(仕訳対象)」で作成する必要があります。

フォーム付きPDFを添付して申請する方法

フォーム付きPDFを添付して申請する方法

本項では、フォーム付きPDFを添付して申請する方法を説明します。

「Acrobat DC Pro」等のPDF編集ソフトを使用して、Word、Excel等をPDFに変換し、入力可能なフォームをPDFに付与することができます。

上記で作成したフォーム付きPDFを「フォーム付きPDF」ガジェットに添付して申請可能です。

フォーム付きPDFを添付可能な申請書を作成するには、以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

**コラム**

入力フォームの追加方法は各ツールのマニュアル等を参照してください。

参考URL：[\(Adobe\) PDF フォームの作成と配布](#)

ガジェットのインポート

以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
pdf_v01.xml	フォーム付PDF

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「フォーム付PDF」を選択してください。



出力ファイルの定義

本項では、フォーム付きPDFを使用した申請書の案件完了時に出力されるファイルの定義を説明します。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- 出力先

PDFデータ出力設定マスタに登録されているファイルパスへ出力します。

フォーム付きPDFの設定コード (settingCd) と一致するPDFデータ出力設定マスタに登録されているデータが対象です。

コラム

PDFデータ出力設定マスタについては、「[PDFデータ出力設定マスタ](#)」を参照してください。

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

出力ファイルに次のデータが出力されます。

- 出力データ

PDFデータ出力設定マスタに登録されている出力カラムが出力されます。

フォーム付きPDFの設定コード (settingCd) と一致するPDFデータ出力設定マスタに登録されているデータが対象です。

コラム

PDFデータ出力設定マスタについては、「[PDFデータ出力設定マスタ](#)」を参照してください。

以下、出力可能なデータです。

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	案件番号	matterNumber	

2	案件名	matterName
3	申請基準日	applyBaseDate
4	申請権限者コード	applyAuthUserCd
5	権限会社コード	authCompanyCd
6	権限会社名	authCompanyName
7	権限組織セットコード	authOrgzSetCd
8	権限組織セット名	authOrgzSetName
9	権限組織コード	authOrgzCd
10	権限組織名	authOrgzName
11	権限者コード	authUserCd
12	権限者名	authUserName
13	実行者コード	executeUserCd
14	実行者名	executeUserName
15	申請時ロケールID	localeIdApply
16	代理フラグ	actFlag
17	フローID	flowId
18	フロー名	flowName
19	フローバージョンID	flowVersionId
20	コンテンツID	contentsId
21	コンテンツ名	contentsName
22	コンテンツバージョンID	contentsVersionId
23	ルートID	routeId
24	ルート名	routeName
25	ルートバージョンID	routeVersionId
26	システム案件ID	systemMatterId
27	ユーザデータID	userDataId
28	ガジェットID	gadgetId
29	ガジェットクラス	gadgetClass
30	ガジェットバリエーション	gadgetVariation
31	ガジェットインスタンス	gadgetInstance
32	タプルID	tupleId
33	行番号	rowNumber
34	PDFファイルパス	pdfFile
35	PDFファイルのフォームデータ	json JSON形式の文字列
36	PDFファイルのフォーム入力値	[フォーム名]

ファイル連携の機能を使用する方法

概要

本項では、ファイル連携の機能を使用して、外部から取得したファイルを取り込み、利用する方法を説明します。ファイル連携の機能を使用すると、外部から取得したファイルをKaiden!の申請で確認・精算できます。

i コラム

Kaiden!からファイルや申請情報を電子証憑管理に対応したシステム(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携することで、電子帳簿保存法のスキャナ保存、電子取引に対応することが可能です。

ただし、Kaiden!はアップロードされたファイルをパブリックストレージに配置するため、「電子証憑管理システム」に連携する前に変更することが可能です。

DataDelivery連携モジュールを使用する場合、画像ファイル、PDFファイルにタイムスタンプを付与して変更を防止しています。

! 注意

DataDelivery連携モジュールを使用しない場合や、画像ファイル、PDFファイル以外のファイルをアップロードする場合、電子取引の取引情報に係る電磁的記録の保存等に当たり、「訂正削除の防止に関する事務処理規程の備付け」を実施する必要があります。

各システムの役割

ファイル連携を使用する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- スキャナ
スキャナ等からファイルをKaiden!に連携します。

運用時の操作

ファイル管理

本項では、ファイル管理からファイルを登録、更新、改版、削除する方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新／改版／利用ユーザ編集
 - 削除

概要

ファイル管理は、アップロードしたファイルの登録、更新、改版、削除を行います。

i コラム

ファイル分類が「領収書」、「請求書」の場合、画像ファイル、PDFファイルを登録できます。

登録可能なファイルの拡張子は「.pdf」、「.bmp」、「.gif」、「.jpg」、「.jpeg」、「.png」、「.tif」、「.tiff」です。

ファイル分類が「その他」の場合、画像ファイル、PDFファイル以外のファイルも登録できます。

登録可能なファイルの拡張子を確認、変更する場合は、『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「応用」-「その他」-「機能説明」-「constants」-「ワークフローモジュール」を参照してください。

画像ファイルを登録すると、PDFファイルに変換して登録されます。

i コラム

ファイル管理のステータスについて

- 電子化ステータス

ファイル明細にファイルを紐づけ申請、承認した際に更新されるステータスです。

処理中、処理済のファイルは電子化申請で申請できません。

なお、電子化ステータスが未処理の状態、精算申請、請求書申請の経費明細や請求書明細等にファイルを紐づけて申請、承認した際も電子化ステータスを以下の通り更新します。

- 未処理：電子化申請が未申請
- 処理中：電子化申請中
- 処理済：電子化申請済

- 精算ステータス

精算申請、請求書申請で経費明細や請求書明細等にファイルを紐づけて申請、承認した際に更新されるステータスです。

処理済のファイルは精算申請で申請できません。

なお、ファイル分類が「その他」のファイルは、精算ステータスが「処理済」でファイル管理に登録され、精算申請、請求書申請で経費明細や請求書明細等に紐づけることができません。

- 未処理：精算申請が未申請
- 処理中：精算申請中、または精算申請済で精算残額あり
- 処理済：精算申請済かつ、精算残額なし

i コラム

ファイル管理を利用する際は、以下認可の許可が必要です。

- 「画面・処理/Kaiden!/マスタメンテナンス/汎用」の権限
- ファイルを登録する会社の編集権限
- 「画面・処理/経費精算・旅費精算/ファイル/ファイル管理」の権限(管理者用を利用する場合)
- 「画面・処理/個人設定/ファイル管理」の権限(個人用を利用する場合)

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したファイルのメンテナンス方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「ファイル管理」をクリックします。

i コラム

ファイル管理を個人用として開く場合は、

「サイトマップ」→「個人設定」→「ファイル管理」をクリックします。

2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録画面で必要な情報を入力し、「新規登録」をクリックします。

ファイル管理

会社 *	サンプル会社	ファイルID	
ファイル分類 *	請求書	ファイル分類内訳	
受領方法 *	書面受領 (郵送)	受領日 *	2020/03/31
受領者 *	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳辰巳	取引日 *	2020/03/31
登録番号	T0000000000000000 <input type="button" value="登録番号検索"/>	取引金額 *	90,720 JPY
取引先 *	サンプル株式会社		
摘要	インク代		
ファイル *	<input type="button" value="ファイル選択"/> 請求書.pdf		

display 1 / 1 | 68% |

見積No: 10093583201

〇〇情報システム株式会社 御中
ご担当: 菅佐 太郎 様

請求書 請求書No. 456ORP
請求日 2020年3月31日

サンプル株式会社
〒000-0001
東京都
三角ビル3階
TEL: 000-0000-0000 FAX:
E-Mail: aaaaa@mailcome.com 担当: XXX

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額	¥90,720	(税込)
お支払期限	2020年4月30日	

小計	消費税額	合計金額
¥84,000	¥6,720	¥90,720

No.	日付	摘要	数量	単価	金額	備考

- 会社
登録画面で会社の変更はできません。
一覧画面の「会社」で選択した会社を設定します。
- ファイル分類
ファイル分類を選択します。
- ファイル分類内訳
ファイル分類内訳を選択します。
- 受領方法
受領方法を選択します。
- 受領日
受領日を入力します。
受領日を入力時に取引日が未入力の場合、受領日と同じ日付を取引日に設定します。
- 受領者
受領者を選択します。
- 取引日
取引日を入力します。
取引日を入力時に受領日が未入力の場合、取引日と同じ日付を受領日に設定します。
- 登録番号
登録番号を入力します。
「登録番号検索」をクリックすると、登録番号を検索できます。
- 取引金額
取引金額を入力します。
通貨を選択します。
- 取引先
取引先を入力します。
- 摘要
摘要を入力します。
- ファイル
「ファイル選択」アイコンをクリックしてファイルをアップロードします。
ファイル分類が「領収書」、「請求書」の場合、アップロード可能なファイルは画像ファイル、PDFファイルです。
ファイルアップロード後はファイル名が表示され、クリックするとファイルのアップロードを解除します。
- ファイルドロップ
ファイルをドラッグアンドドロップしてファイルをアップロードします。
ファイルアップロード後はファイルのプレビュー画面が表示されます。
画像ファイル、PDFファイル以外のファイルの場合、プレビュー画面は表示されません。

i コラム

「登録番号検索」は、「[適格請求書設定マスタ](#)」の「登録番号チェック種別」を「公表情報ダウンロードデータ」に設定すると表示されます。

登録番号検索の操作方法は、[登録番号検索](#)を参照してください。

i コラム

ファイル分類が「その他」の場合、「ファイル分類」、「ファイル分類内訳」、「受領者」、「摘要」、「ファイル」を設定可能です。

ファイル管理 ✕

会社*	サンプル会社	ファイルID	
ファイル分類*	その他	ファイル分類内訳	
受領者*	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳辰巳		
摘要	<input type="text" value="摘要"/>		
ファイル*	<input type="text" value="サンプル申請書.xlsx"/>		

ファイル詳細表示不可

i コラム

画像ファイル、PDFファイルを複数アップロードすると、1個のPDFファイルに統合して登録します。

画像ファイル、PDFファイル以外のファイルは1ファイルのみアップロード可能です。

4. 新規登録することができました。

ファイルID「20230510-00004」を登録しました。

検索基準日 2023/05/10 会社 サンプル会社

No	ファ...	処理番号	ファイ...	ファイ...	ファイ...	電子化...	精算ス...	受領方法	受領日	受領者	取引日	登録番号	取引先名	取引金額	取引通貨	摘要
1	20230501-00001	1	領収書	領収書.pdf	処理中	処理中	書面受領 (郵送)	2023/05/08	2023/05/08	青柳辰巳	2023/05/08		11111	1,000	JPY	
2	20230510-00001	1	請求書	請求書.pdf	未処理	未処理	書面受領 (郵送)	2020/03/31	2020/03/31	青柳辰巳	2020/03/31	T0000000000000	サンプル株式会社	90,720	JPY	インク代
3	20230510-00002	1	その他	サンプル申請書.xlsx	未処理	処理済				青柳辰巳						
4	20230510-00003	1	領収書	サンプルファイル分類内訳	領収書.pdf	未処理	未処理	Webダウンロード	2023/05/10	青柳辰巳	2023/05/10		サンプル取引先	1,000	JPY	
5	20230510-00004	1	その他	サンプル申請書.xlsx	未処理	処理済				上田京男						

最初へ前へ 1 次へ最後へ

更新/改版/利用ユーザ編集

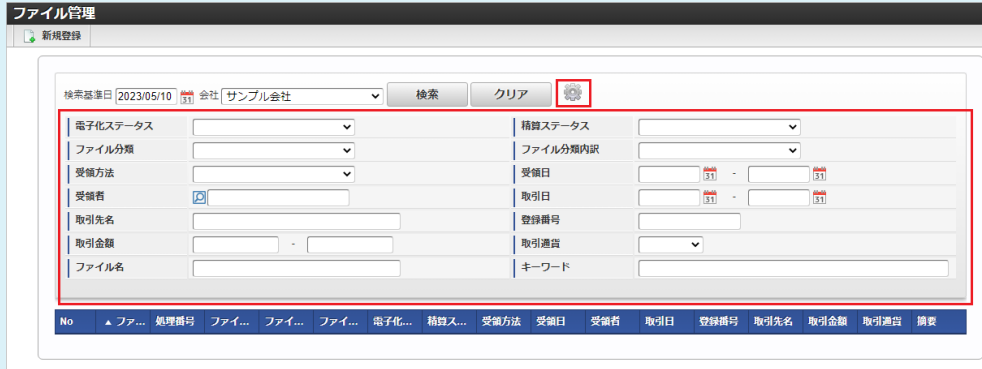
1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「ファイル管理」をクリックします。

2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

設定アイコンをクリックして検索条件を指定することで絞り込み検索が行えます。
 検索基準日は、検索条件を表示する際に使用しています。
 一覧画面の検索結果は各ファイルの処理日時を基準日としています。



i コラム

検索条件のキーワードにファイル管理の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイルID
- 処理番号
- 摘要

i コラム

- 管理者の場合
 全てのファイルが、一覧画面で検索可能です。
- 個人の場合
 ファイルの利用ユーザにログインユーザが含まれている場合、一覧画面で検索可能です。

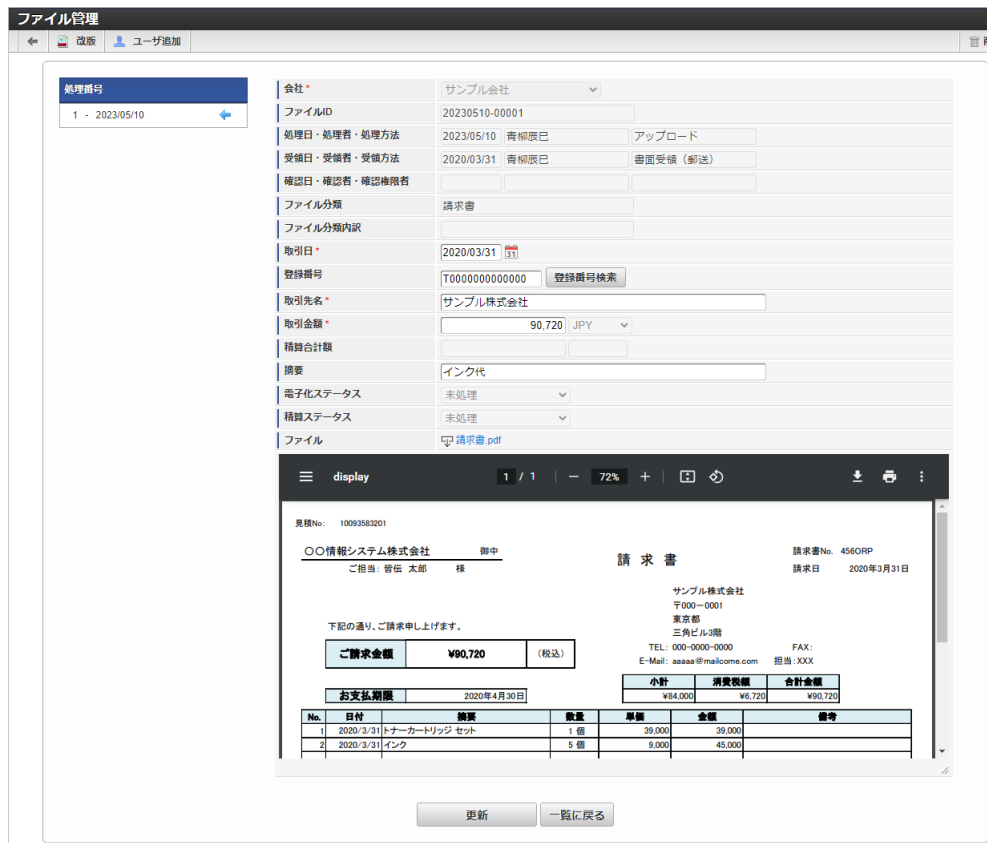
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#) を参照してください。

4. 登録したファイル情報が表示されます。



- 会社
会社が表示されます。
- ファイルID
登録したファイルを一意に特定するIDです。
新規登録時に採番されます。
- 処理日・処理者・処理方法
処理日が表示されます。
処理者が表示されます。
処理方法が表示されます。
- 受領日・受領者・受領方法
受領日が表示されます。
受領者が表示されます。
受領方法が表示されます。
- 確認日・確認者・確認権限者
確認日が表示されます。
確認者が表示されます。
確認権限者が表示されます。
- ファイル分類
ファイル分類が表示されます。
- ファイル分類内訳
ファイル分類内訳が表示されます。
- 取引日
取引日が表示されます。
- 登録番号
登録番号が表示されます。
- 取引先名
取引先名が表示されます。
- 取引金額
取引金額が表示されます。
通貨が表示されます。
- 精算合計額
精算申請で申請中または申請済の精算金額の合計が表示されます。
通貨が表示されます。
- 摘要
摘要が表示されます。
- 電子化ステータス
電子化ステータスが表示されます。

- 精算ステータス
精算ステータスが表示されます。
- ファイル
ファイル名が表示されます。
クリックするとファイルをダウンロードします。
- ファイルプレビュー
ファイルのプレビュー画面が表示されます。
画像ファイル、PDFファイル以外のファイルの場合、プレビュー画面は表示されません。

5. 更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

ファイル管理

← 戻る 更新 ユーザ追加 印刷

処理番号
1 - 2023/05/10

会社* サンプル会社

ファイルID 20230510-00001

処理日・処理者・処理方法 2023/05/10 青柳 辰巳 アップロード

受領日・受領者・受領方法 2020/03/31 青柳 辰巳 書面受領 (郵送)

確認日・確認者・確認権限者

ファイル分類 請求書

ファイル分類内訳

取引日* 2020/03/31

登録番号 T0000000000000 登録番号検索

取引先名* サンプル株式会社

取引金額* 90,720 JPY

精算合計額

摘要 インク代

電子化ステータス 未処理

精算ステータス 未処理

ファイル 請求書.pdf

display 1 / 1 72% +

見積No. 1009383201

〇〇情報システム株式会社 御中 請求書 請求書No. 456ORP
ご担当: 菅佐 太郎 様 請求日 2020年3月31日

サンプル株式会社
〒000-0001
東京都
三谷ビル3階
TEL: 000-0000-0000 FAX:
E-Mail: aaaaa@malcome.com 担当: XXX

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額 ¥90,720 (税込)

お支払期限 2020年4月30日

小計	消費税額	合計金額
¥84,000	¥6,720	¥90,720

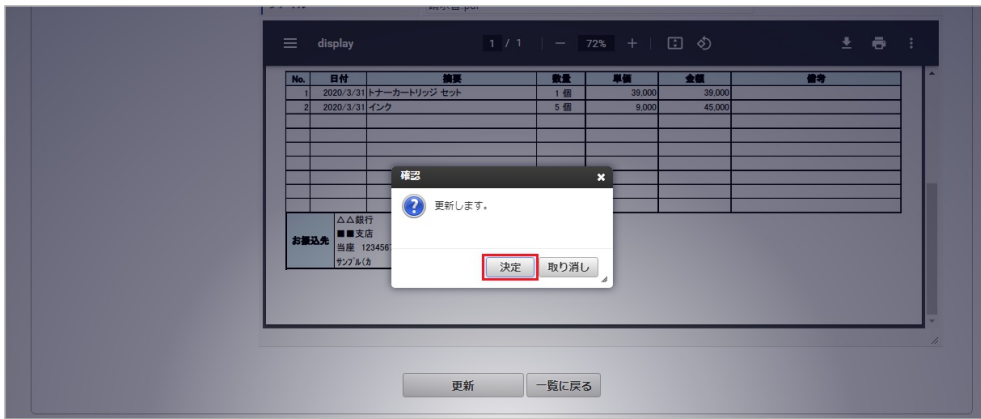
No.	日付	品名	数量	単価	金額	備考
1	2020/3/31	トナーカートリッジ セット	1 個	39,000	39,000	
2	2020/3/31	インク	5 個	9,000	45,000	

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ファイルID
- 処理日・処理者・処理方法
- 受領日・受領者・受領方法
- 確認日・確認者・確認権限者
- ファイル分類
- ファイル分類内訳
- 取引金額 ※通貨のみ
- 精算合計額
- 電子化ステータス
- 精算ステータス
- ファイル

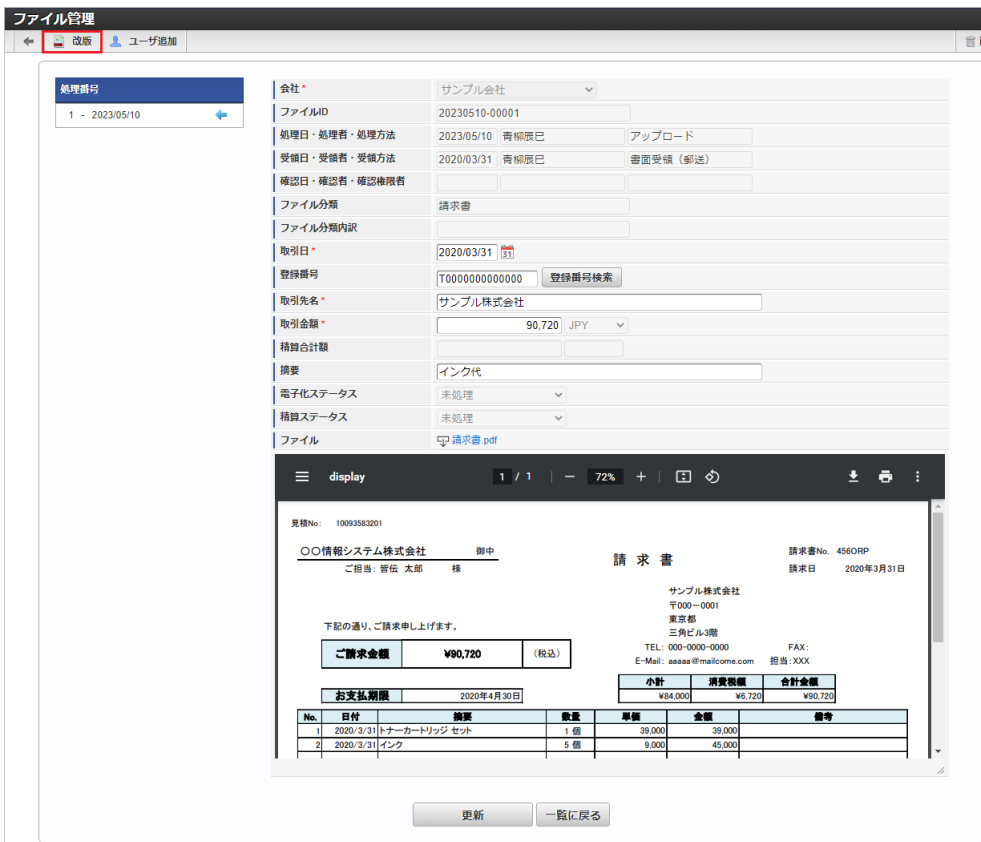
6. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



7. 更新することができました。



8. 更新画面の「改版」ボタンをクリックします。



9. 改版画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

ファイル管理

会社 *	サンプル会社	ファイルID	20230510-00001	1
ファイル分類 *	請求書	ファイル分類内訳		
受領方法 *	書面受領 (郵送)	受領日 *	2020/03/31	31
受領者 *	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳辰巳	取引日 *	2020/03/31	31
登録番号	T00000000000000 <input type="button" value="登録番号検索"/>	取引金額 *	90,720	JPY
取引先 *	サンプル株式会社			
摘要	インク代			
ファイル *	請求書.pdf			

display 1 / 1 | 68% |

見積No: 10093583201

〇〇情報システム株式会社 御中
ご担当: 皆伝 太郎 様

請求書 請求書No. 456ORP
請求日 2020年3月31日

サンプル株式会社
〒000-0001
東京都
三角ビル3階
TEL: 000-0000-0000 FAX:
E-Mail: aaaaa@mailcome.com 担当: XXX

下記の通り、ご請求申し上げます。

ご請求金額	¥90,720	(税込)
お支払期限	2020年4月30日	
小計	消費税額	合計金額
¥84,000	¥6,720	¥90,720

No.	日付	摘要	数量	単価	金額	備考

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ファイルID
- ファイル分類
- 受領方法
- 受領者
- 取引金額 *通貨のみ

10. 改版することができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

ファイル管理 **ファイルID「20230510-00001」を改版しました。**

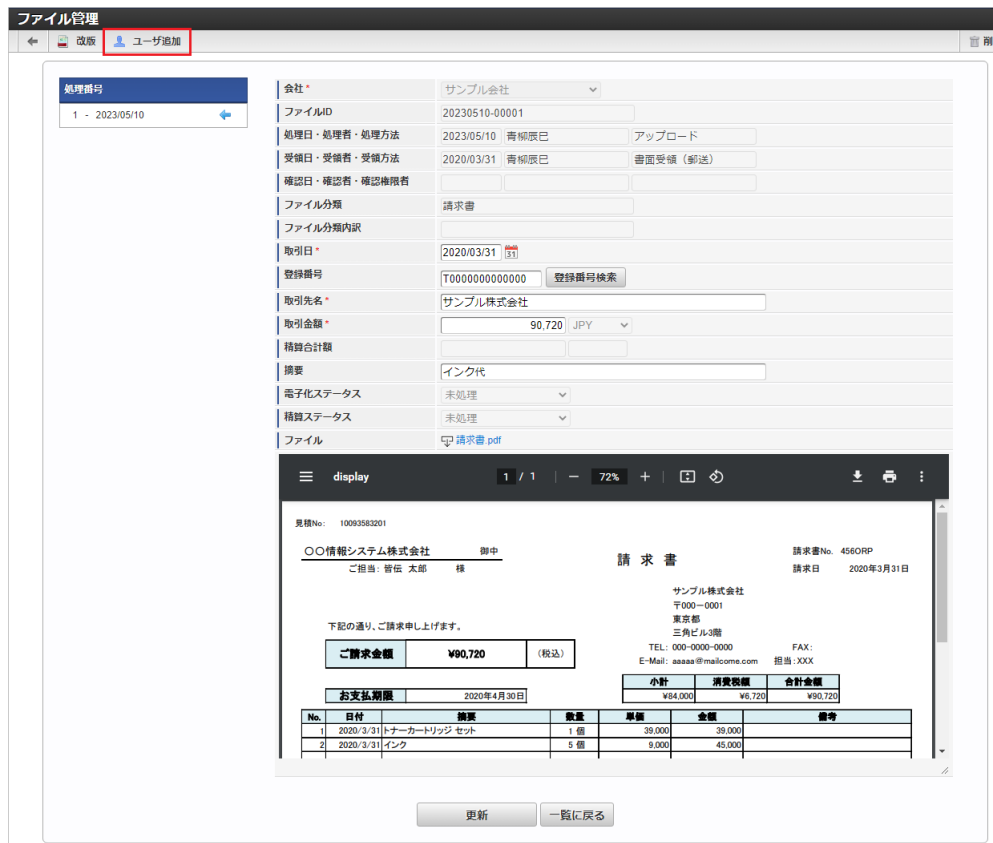
新規登録

検索基準日 2023/05/10 会社 サンプル会社

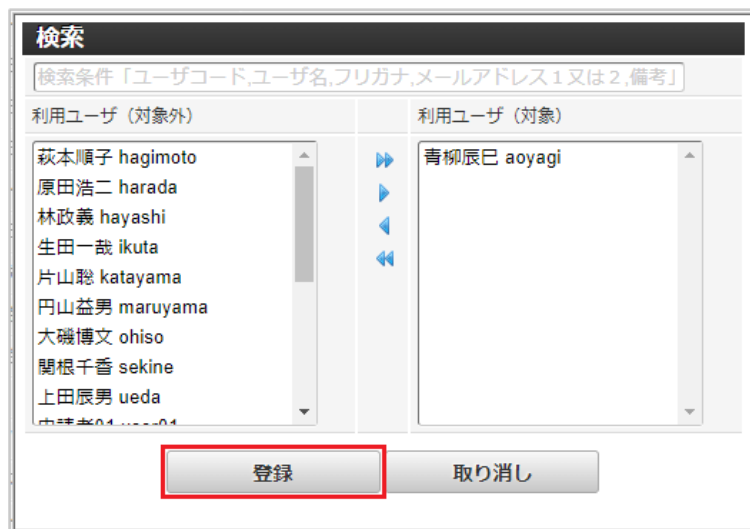
No	▲ ファ...	処理番号	ファイ...	ファイ...	ファイ...	電子化...	精算ス...	受領方法	受領日	受領者	取引日	登録番号	取引先名	取引金額	取引通貨	摘要
1	20230501-00001	1	領収書		領収書.pdf	処理中	処理中	書面受領 (郵送)	2023/05/08	青柳辰巳	2023/05/08		11111	1,000	JPY	
2	20230510-00001	2	請求書		請求書.pdf	未処理	未処理	書面受領 (郵送)	2020/03/31	青柳辰巳	2020/03/31	T0000000000000	サンプル株式会社	90,720	JPY	インク代
3	20230510-00002	1	その他		サンプル申請書.xlsx	未処理	処理済			青柳辰巳						
4	20230510-00003	1	領収書	サンプルファイル分類内訳	領収書.pdf	未処理	未処理	Webダウンロード	2023/05/10	青柳辰巳	2023/05/10		サンプル取引先	1,000	JPY	
5	20230510-00004	1	その他		サンプル申請書.xlsx	未処理	処理済			上田原男						

最初へ前へ 1 次へ 最後へ

11. 更新画面で「ユーザ追加」をクリックします。



12. ユーザを選択し「右」、または「左」アイコンをクリックすると、ファイルの利用ユーザが対象外かを変更できます。「登録」をクリックします。



i コラム

検索欄にユーザマスタの以下の項目を入力すると、該当するユーザが利用ユーザ（対象外）に表示されます。

- ユーザコード
- ユーザ名
- フリガナ
- メールアドレス 1
- メールアドレス 2
- 備考

13. 利用ユーザの更新ができました。

intra-mart Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

ファイル管理 更新しました。

← 改版 ユーザ追加 削除

処理番号	会社*	サンプル会社
1 - 2023/05/10	ファイルID	20230510-00001
2 - 2023/05/10	処理日・処理者・処理方法	2023/05/10 青柳辰巳 アップロード
	受領日・受領者・受領方法	2020/03/31 青柳辰巳 書面受領 (郵送)
	確認日・確認者・確認検限者	
	ファイル分類	請求書
	ファイル分類内訳	
	取引日*	2020/03/31 <small>51</small>
	登録番号	T00000000000000 登録番号検索
	取引先名*	サンプル株式会社
	取引金額*	90,720 JPY
	精算合計額	
	摘要	インク代
	電子化ステータス	未処理
	精算ステータス	未処理

i コラム

電子化ステータス、精算ステータスが処理中または処理済の場合、更新、改版はできません。

i コラム

電子化ステータスが未設定で、申請書と紐づいている場合、更新、改版はできません。

削除

ファイル管理からアップロード済みのファイルを削除できます。
ただし、次の条件に合致する場合削除できません。

- 電子化ステータス、精算ステータスが処理中の場合
- 電子化ステータス、精算ステータスが処理済の場合
- 電子化ステータス、精算ステータスが未処理で、申請書と紐づいている場合
- 電子化ステータスが未設定で、申請書と紐づいている場合

i コラム

一時保存の申請書、否認など承認以外で案件が終了した申請書に紐づいたファイル、再申請時などに申請書との紐づけを解除したファイルは、電子化ステータス、精算ステータスは未処理だが、申請書と紐づいているため削除できません。
削除する場合、[ファイル削除](#)を実施してください。

ファイル削除

本項では、ジョブを利用したファイルの削除方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

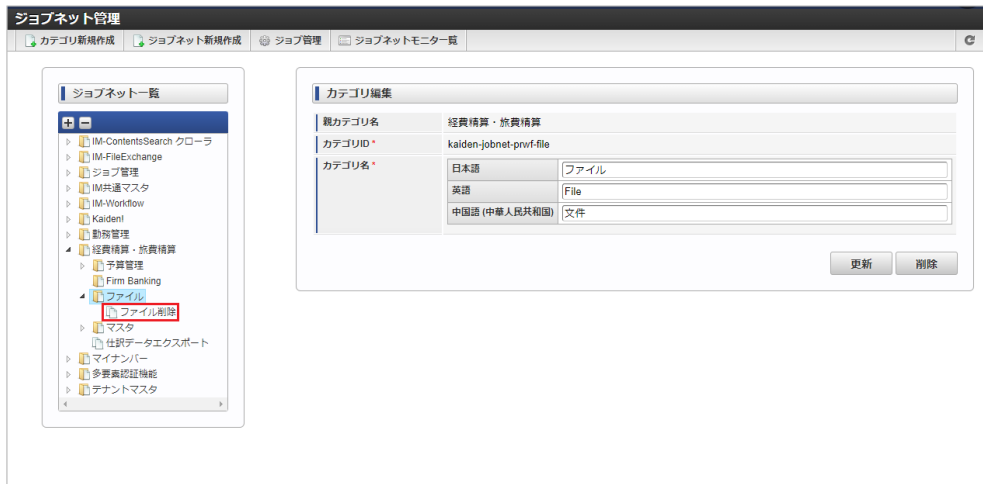
概要

ファイル削除では、保持期限を経過したファイルを削除します。
削除対象のファイルは、ファイル管理に登録されたファイルとファイル明細(汎用)ガジェットにアップロードされたファイルです。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧(画面左部)の「ファイル削除」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

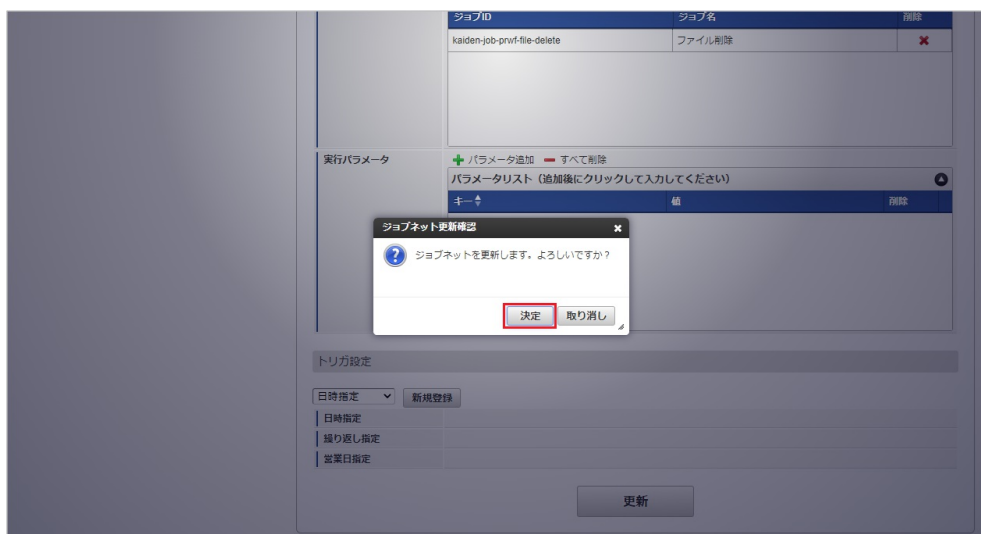
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-file-deletet	経費精算・旅費精算 / ファイル / ファイル削除

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
保持期限 (年)	delete_year	ジョブ実行日 (年) から引く年数を指定します。 ジョブ実行日 (年) から指定した年数を引いた年が保持期限 (年) となります。 (省略時: 0) (保持期限 (月)、保持期限 (日) も省略時:11)
保持期限 (月)	delete_month	ジョブ実行日 (月) から引く月数を指定します。 ジョブ実行日 (月) から指定した月数を引いた月が保持期限 (月) となります。 (省略時: 0)
保持期限 (日)	delete_day	ジョブ実行日 (日) から引く日数を指定します。 ジョブ実行日 (日) から指定した日数を引いた日が保持期限 (日) となります。 (省略時: 0)
電子化ステータス	elect_status	削除対象とする電子化ステータスを設定します。 (省略時: 300016-9) <ul style="list-style-type: none"> ■ 300016-0 : 未処理 ■ 300016-1 : 処理中 ■ 300016-9 : 処理済
精算ステータス	settle_status	削除対象とする精算ステータスを設定します。 (省略時: 300016-9) <ul style="list-style-type: none"> ■ 300016-0 : 未処理 ■ 300016-1 : 処理中 ■ 300016-9 : 処理済
処理方法コード	proc_cd	削除対象とする処理方法コードを設定します。 (省略時: 全ての処理方法コード)
ファイル分類コード	file_category_cd	削除対象とするファイル分類コードを設定します。 (省略時: 全てのファイル分類コード)
受領方法コード	received_cd	削除対象とする受領方法コードを設定します。 (省略時: 全ての受領方法コード)

名称	キー	説明 / 設定値
受領方法カテゴリコード	received_category_cd	削除対象とする受領方法カテゴリコードを設定します。 (省略時: 全ての受領方法カテゴリコード)
案件を参照するか否か	include_matter	案件を参照するか否かを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 参照する場合 ファイルに紐づく案件が存在する場合、削除対象になりません。 また、以下の設定が適用されます。 <ul style="list-style-type: none"> 旧処理番号に紐づく案件を参照するか否か 連携履歴(取消案件)として紐づく案件を参照するか否か アーカイブ案件として紐づく案件を参照するか否か (省略時: true) <ul style="list-style-type: none"> true: 参照する false: 参照しない
旧処理番号に紐づく案件を参照するか否か	include_old_proc_no	旧処理番号に紐づく案件を参照するか否かを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 参照する場合 ファイルの旧処理番号に紐づく案件が存在する場合、削除対象になりません。 「案件を参照するか否か」が参照しないの場合、この設定は適用されません。 (省略時: true) <ul style="list-style-type: none"> true: 参照する false: 参照しない
連携履歴(取消案件)として紐づく案件を参照するか否か	include_history	連携履歴(取消案件)として紐づく案件を参照するか否かを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 参照する場合 連携履歴(取消案件)のファイルと紐づく案件が存在する場合、削除対象になりません。 「案件を参照するか否か」が参照しないの場合、この設定は適用されません。 (省略時: true) <ul style="list-style-type: none"> true: 参照する false: 参照しない
アーカイブ案件として紐づく案件を参照するか否か	include_archive_matter	アーカイブ案件に紐づく案件を参照するか否かを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> 参照する場合 ファイルに紐づく過去案件が存在する場合、削除対象になりません。 「案件を参照するか否か」が参照しないの場合、この設定は適用されません。 (省略時: true) <ul style="list-style-type: none"> true: 参照する false: 参照しない

コラム

保持期限について

- 保持期限(年)、保持期限(月)、保持期限(日)の全てが未指定の場合
ジョブ実行日から11年前の日付となります。
- 保持期限(年)、保持期限(月)、保持期限(日)のいずれかが指定されている場合
ジョブ実行日からそれぞれに指定された数が引かれた日付となります。

i コラム

ファイル明細(汎用)ガジェットにアップロードされたファイルの削除条件の判定は保持期限のみで行います。
 ファイル明細(汎用)ガジェットにアップロードされたファイルの削除条件の判定をする際、その他のパラメータは考慮しません。

- 削除対象のファイル

ファイル削除で削除対象となるファイルは次の通りです。

1. 案件を参照しない場合

取引日からの保持期限を超過したファイルが削除対象です。

i コラム

削除例

保持期限：2021/10/01、案件を参照するか否か：参照しない

削除対象：file_01、file_02、file_03、file_04、file_05

ファイルID	取引日	処理番号	履歴	紐づく通常案件	紐づく過去案件
file_01	2021/09/30	1	0	なし	なし
file_02	2021/09/30	1	0	あり（申請中）	なし
file_03	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_04	2021/09/30	1	0	なし	あり
file_05	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_05	2021/09/30	2	0	なし	なし
file_06	2021/10/01	1	0	なし	なし
file_07	2021/10/01	1	0	あり（申請中）	なし
file_08	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_09	2021/10/01	1	0	なし	あり
file_10	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_10	2021/10/01	2	0	なし	なし

2. 案件を参照する場合

取引日からの保持期限を超過しており、紐づく案件が存在しないファイルが削除対象です。

コラム

削除例①

保持期限：2021/10/01、案件を参照するか否か：参照する

削除対象：file_01

ファイルID	取引日	処理番号	履歴	紐づく通常案件	紐づく過去案件
file_01	2021/09/30	1	0	なし	なし
file_02	2021/09/30	1	0	あり（申請中）	なし
file_03	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_04	2021/09/30	1	0	なし	あり
file_05	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_05	2021/09/30	2	0	なし	なし
file_06	2021/10/01	1	0	なし	なし
file_07	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_08	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_09	2021/10/01	1	0	なし	あり
file_10	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_10	2021/10/01	2	0	なし	なし

コラム

削除例②

保持期限：2021/10/01、案件を参照するか否か：参照する

旧処理番号に紐づく案件を参照するか否か：参照しない

連携履歴（取消案件）として紐づく案件を参照するか否か：参照しない

アーカイブ案件として紐づく案件を参照するか否か：参照しない

削除対象：file_01、file_03、file_04、file_05

ファイルID	取引日	処理番号	履歴	紐づく通常案件	紐づく過去案件
file_01	2021/09/30	1	0	なし	なし
file_02	2021/09/30	1	0	あり（申請中）	なし
file_03	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_04	2021/09/30	1	0	なし	あり
file_05	2021/09/30	1	1	あり（否認終了）	なし
file_05	2021/09/30	2	0	なし	なし
file_06	2021/10/01	1	0	なし	なし
file_07	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_08	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_09	2021/10/01	1	0	なし	あり
file_10	2021/10/01	1	1	あり（否認終了）	なし
file_10	2021/10/01	2	0	なし	なし

リファレンス

ファイルの電子化申請を実施する方法(ファイル明細ガジェット)

本項では、ファイル明細ガジェットを使用して外部から取得したファイルの電子化申請をする方法を説明します。電子化申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

電子化申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの電子化申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要	必須
受領方法マスタ	ファイルの受領方法を管理します。	○
ファイル分類内訳マスタ	ファイルの分類の内訳を管理します。	

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。
ファイル明細(汎用)ガジェットを使用する場合、ファイル管理の利用は必須です。

機能	概要
ファイル管理	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。

ガジェットのインポート

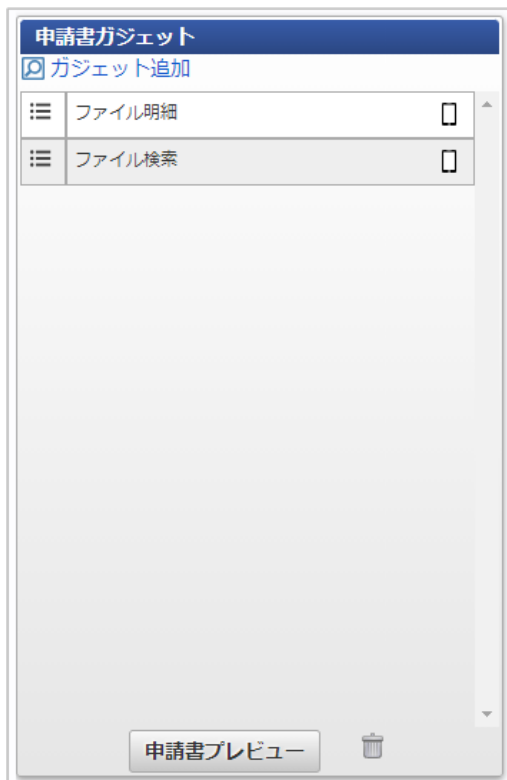
電子化申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
fileDetail_v01.xml	ファイル明細	○
searchFile_v01.xml	ファイル検索	○

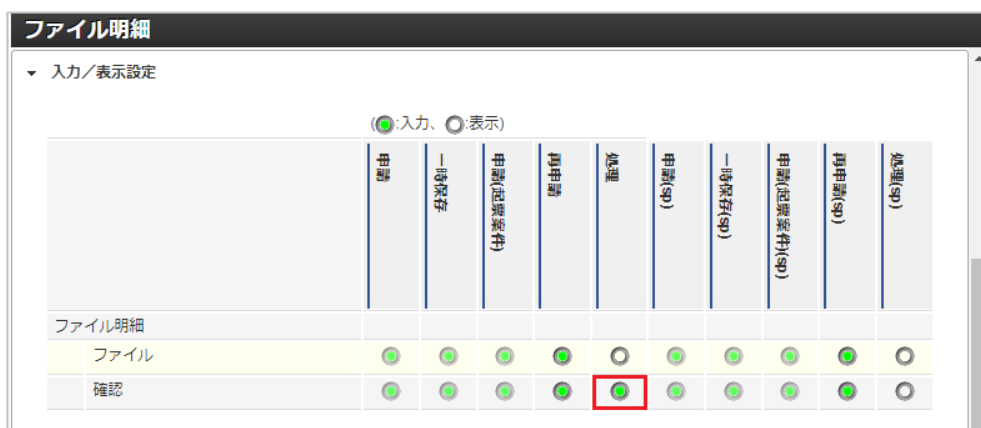
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。
コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ファイル明細」、「ファイル検索」を選択してください。



2. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。



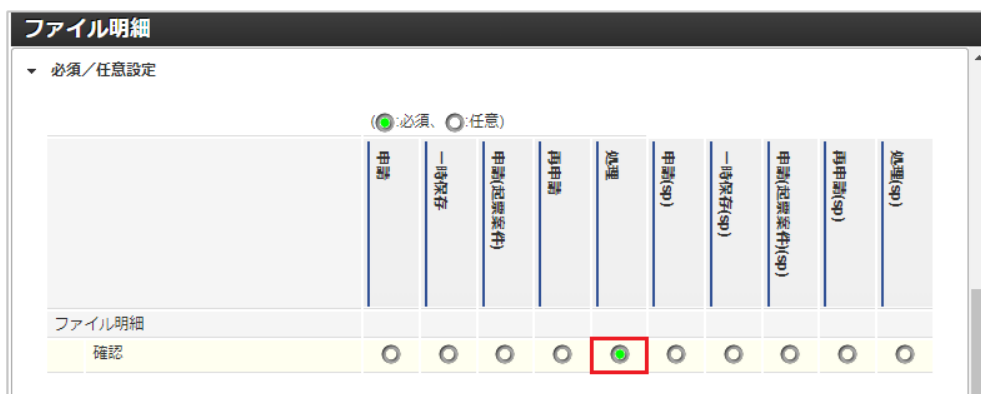
i コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力が設定されていても入力できない項目です。

i コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

3. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。



ファイルの電子化申請の方法は以下3種類を用意しています。

いずれかの方法で実施してください。

1. 電子化をする申請書と精算または請求書払を実施する申請書の2段階で申請します。
ファイルを確認する申請書と精算または請求書払を行う申請書を分けることが可能です。
2. 精算または請求書払を実施する申請書のみで電子化申請と精算申請を同時に行います。
精算又は請求書払を実施する申請書にファイル明細ガジェットを含めます。
ファイル明細ガジェットと精算又は請求書払を実施する明細ガジェット両方にファイルを添付してください。
1個の申請書で電子化申請と精算又は請求書払が実施できます。
ファイル明細ガジェットにファイルを添付することで、申請書内で明示的にファイルをチェックさせることができます。
3. 精算または請求書払を実施する申請書のみで電子化申請と精算申請を同時に行います。
精算又は請求書払を実施する申請書にファイル明細ガジェットを含めません。
精算又は請求書払を実施する明細ガジェットのみファイルに添付してください。
1個の申請書で電子化申請と精算又は請求書払が実施できます。

ファイルの電子化申請を実施する方法(ファイル明細(汎用)ガジェット)

本項では、ファイル明細(汎用)ガジェットを使用して外部から取得したファイルの電子化申請をする方法を説明します。
電子化申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

電子化申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの電子化申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要	必須
受領方法マスタ	ファイルの受領方法を管理します。	○
ファイル分類内訳マスタ	ファイルの分類の内訳を管理します。	

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。
ファイル明細(汎用)ガジェットを使用する場合、ファイル管理の利用は任意です。
ファイル検索から取得したファイルを使用して申請する場合、事前にファイル管理への登録が必要です。
ファイル明細(汎用)へファイルをアップロードする場合、ファイル管理は使用しません。

機能	概要
ファイル管理	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。

ガジェットのインポート

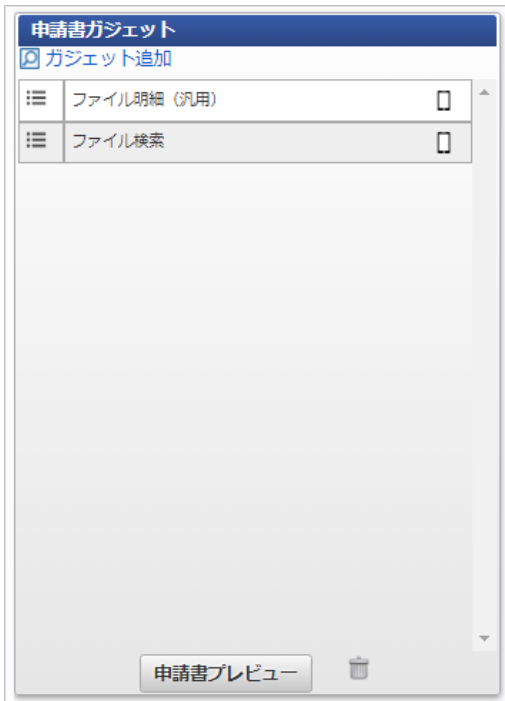
電子化申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
fileDetail_v02.xml	ファイル明細(汎用)	○
searchFile_v01.xml	ファイル検索	○

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。
コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ファイル明細(汎用)」、「ファイル検索」を選択してください。



2. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。

ファイル明細 (汎用)	申請	一時保存	申請(既済案件)	再申請	処理	申請(ep)	一時保存(ep)	申請(既済案件)(ep)	再申請(ep)	処理(ep)
ファイル明細										
受領日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受領者	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受領方法	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
受領方法カテゴリ	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファイル分類	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファイル分類内訳	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取引日	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取引先	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
取引金額	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
原本保管	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
登録番号	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
摘要	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
確認	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
ファイル	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

i コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力の設定されていても入力できない項目です。

i コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

3. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。

ファイル明細 (汎用)										
▼ 必須/任意設定										
(●:必須、○:任意)										
	申請	一時保存	申請(応募条件)	精申請	応募	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(応募条件)(sp)	精申請(sp)	応募(sp)
ファイル明細										
受領者	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
受領方法	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ファイル分類	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引先	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引金額	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
登録番号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
摘要	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
確認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

電子化申請の種類

ファイルの電子化申請の方法は以下3種類を用意しています。

いずれかの方法で実施してください。

ただし、ファイル明細(汎用)へアップロードしたファイルは、精算、請求書払の申請書と紐づけることはできません。

1. 電子化をする申請書と精算または請求書払を実施する申請書の2段階で申請します。
 ファイルを確認する申請書と精算または請求書払を行う申請書を分けることが可能です。
2. 精算または請求書払を実施する申請書のみで電子化申請と精算申請を同時に行います。
 精算又は請求書払を実施する申請書にファイル明細ガジェットを含めます。
 ファイル明細ガジェットと精算又は請求書払を実施する明細ガジェット両方にファイルを添付してください。
 1個の申請書で電子化申請と精算又は請求書払が実施できます。
 ファイル明細ガジェットにファイルを添付することで、申請書内で明示的にファイルをチェックさせることができます。
3. 精算または請求書払を実施する申請書のみで電子化申請と精算申請を同時に行います。
 精算又は請求書払を実施する申請書にファイル明細ガジェットを含めません。
 精算又は請求書払を実施する明細ガジェットのみファイルに添付してください。
 1個の申請書で電子化申請と精算又は請求書払が実施できます。

ファイルの精算申請を実施する方法

本項では、外部から取得したファイルの精算申請する方法を説明します。

精算申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

精算申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの精算申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要	必須
受領方法マスタ	ファイルの受領方法を管理します。	○
ファイル分類内訳マスタ	ファイルの分類の内訳を管理します。	

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。

機能	概要
----	----

ファイル管理

ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。

ガジェットの入ポート

精算申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchFile_v01.xml	ファイル検索	○
fileDetail_v01.xml	ファイル明細	
attachedFileValidation_v01.xml	添付ファイルチェック	
settle_v01.xml	精算情報	
settle_v02.xml	精算情報（精算のみ）	
routeDetail_v01.xml	旅程明細	
routeDetail_v02.xml	旅程明細（複数通貨）	
routeDetail_v03.xml	旅程明細（簡易）	
routeDetail_v04.xml	旅程明細（複数通貨、簡易）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨、連携）	
routeDetail_v07.xml	旅程明細（予算）自動引当	
routeDetail_v08.xml	旅程明細（予算）手動引当	
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易、連携）	
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨、簡易、連携）	
lodgeDetail_v01.xml	宿泊明細	
lodgeDetail_v02.xml	宿泊明細（複数通貨）	
lodgeDetail_v03.xml	宿泊明細（簡易）	
lodgeDetail_v04.xml	宿泊明細（複数通貨、簡易）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨、連携）	
lodgeDetail_v07.xml	宿泊明細（予算）自動引当	
lodgeDetail_v08.xml	宿泊明細（予算）手動引当	
expenseDetail_v01.xml	経費明細	
expenseDetail_v02.xml	経費明細（複数通貨）	
expenseDetail_v03.xml	経費明細（簡易）	
expenseDetail_v04.xml	経費明細（複数通貨、簡易）	
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨、連携）	
expenseDetail_v07.xml	経費明細（予算）自動引当	
expenseDetail_v08.xml	経費明細（予算）手動引当	

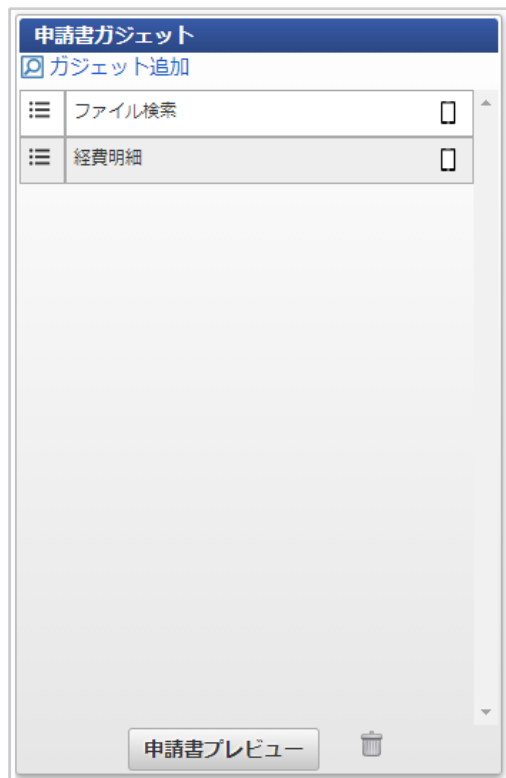
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ファイル検索」と連携用ガジェットを選択してください。



ファイルの請求書払申請を実施する方法

本項では、外部から取得したファイルの請求書払申請をする方法を説明します。
請求書払申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

請求書払申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの請求書払申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要	必須
受領方法マスタ	ファイルの受領方法を管理します。	<input type="radio"/>
ファイル分類内訳マスタ	ファイルの分類の内訳を管理します。	

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。

機能	概要
ファイル管理	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。

ガジェットのインポート

請求書払申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchFile_v01.xml	ファイル検索	<input type="radio"/>

fileDetail_v01.xml	ファイル明細
attachedFileValidation_v01.xml	添付ファイルチェック
billPaymentInfo_v01.xml	請求書払情報
billPaymentInfo_v02.xml	請求書払情報（予算連携）
billPaymentInfo_v03.xml	請求書払情報（外貨支払）
billPaymentInfo_v04.xml	請求書払情報（外貨支払, 予算連携）
billPaymentDetail_v01.xml	請求書払明細
billPaymentDetail_v02.xml	請求書払明細（予算）自動引当
billPaymentDetail_v03.xml	請求書払明細（予算）手動引当
billPaymentDetail_v04.xml	請求書払明細（外貨支払）
billPaymentDetail_v05.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
billPaymentDetail_v06.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当

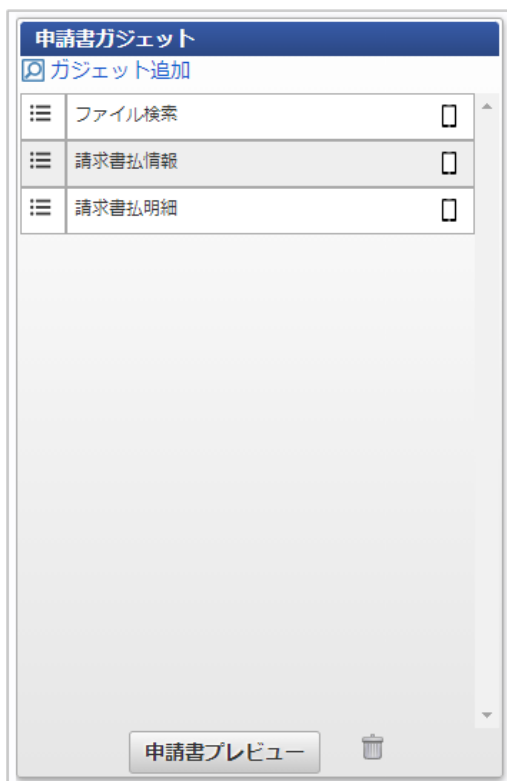
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ファイル検索」と「請求書払情報」と「請求書払明細」を選択してください。



申請書を取り消す方法

本項では、申請書を取り消す方法を説明します。

申請書を取り消すための申請書を作成して取消を実施します。

使用には以下の手順が必要です。

- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成

申請書を取り消す申請書の作成手順

ガジェットのインポート

申請書を取り消す申請書を作成する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名
searchCancelMatter_v01.xml	案件検索（取消用）
matterDetail_v01.xml	案件明細

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「案件検索（取消用）」と「案件明細」を選択してください。



検索対象となる申請書

以下の条件に一致する申請書が案件検索（取消用）機能で検索対象となります。

また、自分が申請した申請書のみを取り消し可能です。

- 最終承認済の一般申請書
- 最終承認済の事前申請書
- 最終承認済の精算申請書
- 最終承認済の請求書払申請書

i コラム

以下のガジェットを含む申請書は検索対象となりません。

ファイル名	ガジェット名
cancelDetail_v01.xml	取消明細
chgCommRoute_v01.xml	通勤経路
chgEmpAddress_v01.xml	住所変更
chgEmpBank_v01.xml	従業員口座
chgEmpFamily_v01.xml	家族異動
journalDetail_v01.xml	費用振替明細
matterDetail_v01.xml	案件明細
payeeRegister_v01.xml	支払先申請
childcareLeaveApply_v01.xml	育児休暇
longLeaveApply_v01.xml	長期休暇
maternityLeaveApply_v01.xml	産前産後休暇
colEmpNumber_v01.xml	マイナンバー提出(従業員)
colPayeeNumber_v01.xml	マイナンバー提出(支払先)
cancelDetailForKTB_v01.xml	取消明細 (活文IDE連携)

i コラム

精算申請書と紐付け済みの事前申請書を取り消す場合、紐付く精算申請書を取り消してから実施してください。

i コラム

「決裁精算ガジェット」を含む申請書と紐付け済みの「決裁事前ガジェット」を含む申請書を取り消す場合、紐付く「決裁精算ガジェット」を含む申請書を取り消してから実施してください。

申請時の注意

申請書を取り消す申請が最終承認されると、以下の操作が実施されます。

- 申請書が取り消されます。
- 事前申請書と紐付いた精算申請書を取り消した場合、紐付けを解除します。
- 「決裁事前ガジェット」を含む申請書と紐付いた「決裁精算ガジェット」を含む申請書を取り消した場合、紐付けを解除します。
- 取り消した申請書が仕訳出力前の場合、仕訳対象外となります。
- 取り消した申請書が仕訳出力済の場合、反対仕訳のデータを登録します。
- 取り消した申請書が仕訳出力済でFBデータが発生する場合、金額×「-1」のFBデータを登録します。
- 取り消した申請書が仕訳作成済でマルチバリューチャージサービスへのチャージデータが発生する場合、金額×「-1」のマルチバリューチャージサービスへのチャージデータを登録します。
また、仕訳が作成済で未出力の場合、反対仕訳のデータを登録します。
- 取り消した申請書が予算と紐付いている場合、使用した予算額を取り消します。
- 取り消した申請書がファイル管理のファイルと紐付いている場合、紐付けを解除し、取消した申請書で更新された電子化ステータス、精算ステータスを未処理に更新します。
また、「DataDelivery」と連携している場合、DataDelivery連携取消用のファイルを出力します。
- 取り消した申請書が「渡航情報ガジェット」を含む場合、渡航情報取消用のファイルを出力します。
- 取り消した申請書が「法人カードデータ(J'sNAVI Jr.)」と紐付いている場合、紐付けを解除します。
- 取り消した申請書が「出張手配実績データ」と紐付いている場合、紐付けを解除します。
- 取り消した申請書が「BTMサービス利用実績データ」と紐付いている場合、紐付けを解除します。

**注意**

取消した申請書にマルチバリュージャージサービスへのチャージデータの発生有無で、反対仕訳が登録される基準が異なります。マルチバリュージャージサービスへのチャージデータが発生しない申請書の場合、次の通り反対仕訳のデータを登録します。

- 取り消した申請書が仕訳出力前の場合、反対仕訳のデータを登録しない
- 取り消した申請書が仕訳出力後の場合、反対仕訳のデータを登録する

マルチバリュージャージサービスへのチャージデータが発生する申請書の場合、次の通り反対仕訳のデータを登録します。

- 取り消した申請書が仕訳作成前の場合、反対仕訳のデータを登録しない
- 取り消した申請書が仕訳作成後の場合、仕訳の出力有無に関わらず反対仕訳のデータを登録する

インボイス制度対応に必要なKaiden!の設定

本項では、インボイス制度（適格請求書保存方式）対応に必要なKaiden!の設定を説明します。仕入税額控除を行う際には、適格請求書方式による請求書の保存が必要です。Kaiden!では、請求書／領収書を **ファイル管理** に保存する際、適格請求書発行事業者の登録番号を登録できます。また、**ファイル管理** に保存したファイルを紐づけて精算申請、請求書払申請が実施できます。対応には、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- 仕訳出力ファイルの設定
- 精算申請書の作成
- 請求書払申請書の作成

**コラム**

ファイル管理 に保存したファイルを紐づけて精算申請、請求書払申請を実施する場合、「**ファイル連携の機能を使用する方法**」も併せて参照してください。

関連マスタの設定

インボイス制度（適格請求書保存方式）対応をする場合、以下のマスタの設定が必要です。必要に応じて設定してください。

マスタ	概要
税区分マスタ	「適格請求書発行事業者連携コード」、「免税事業者用連携コード」を設定可能です。対象取引に登録番号が紐づく場合、仕訳出力時の「事業者別税区分コード」に「適格請求書発行事業者連携コード」を出力します。対象取引に登録番号が紐づかない場合、仕訳出力時の「事業者別税区分コード」に「免税事業者用連携コード」を出力します。
仕入先マスタ	適格請求書発行事業者の登録番号を設定可能です。
適格請求書設定マスタ	インボイス制度の適格請求書に関する設定を行います。なお、登録番号チェックを「公表システムWeb-API」で行う場合、国税庁が発行するアプリケーションIDが必要です。詳細は「 アプリケーションIDの申請について 」を参照ください。
事業者区分・交付義務の免除理由マスタ	インボイス制度の事業者区分と適格請求書の交付義務の免除理由を設定します。申請書の各明細の「交付義務の免除理由」として選択できます。また、申請書で選択した内容を、仕訳出力時の「交付義務の免除理由」に出力します。
適格請求書発行事業者の公表情報マスタ	国税庁の提供している適格請求書発行事業者の公表情報を取り込みます。適格請求書発行事業者の公表情報を取り込むと、「 登録番号検索 」が使用可能です。

仕訳出力ファイルの設定

インボイス制度（適格請求書保存方式）関連の項目として、「登録番号」、「事業者別税区分コード」、「交付義務の免除理由」を出力可能です。上記項目を出力したい場合、「[仕訳の出力項目を変更する方法](#)」を参照して仕訳の出力項目を変更してください。

精算申請書の作成

ガジェットの入ポート

精算申請を実施する場合、以下のガジェットの入ポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
issuerTypeExemptionReason_v01	事業者区分・交付義務の免除理由	○
searchFile_v01.xml	ファイル検索	○
routeDetail_v01.xml	旅程明細	
routeDetail_v02.xml	旅程明細（複数通貨）	
routeDetail_v03.xml	旅程明細（簡易）	
routeDetail_v04.xml	旅程明細（複数通貨, 簡易）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）	
routeDetail_v07.xml	旅程明細（予算）自動引当	
routeDetail_v08.xml	旅程明細（予算）手動引当	
routeDetail_v09.xml	旅程明細（簡易, 連携）	
routeDetail_v10.xml	旅程明細（複数通貨, 簡易, 連携）	
lodgeDetail_v01.xml	宿泊明細	
lodgeDetail_v02.xml	宿泊明細（複数通貨）	
lodgeDetail_v03.xml	宿泊明細（簡易）	
lodgeDetail_v04.xml	宿泊明細（複数通貨, 簡易）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）	
lodgeDetail_v07.xml	宿泊明細（予算）自動引当	
lodgeDetail_v08.xml	宿泊明細（予算）手動引当	
expenseDetail_v01.xml	経費明細	
expenseDetail_v02.xml	経費明細（複数通貨）	
expenseDetail_v03.xml	経費明細（簡易）	
expenseDetail_v04.xml	経費明細（複数通貨, 簡易）	
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）	
expenseDetail_v07.xml	経費明細（予算）自動引当	
expenseDetail_v08.xml	経費明細（予算）手動引当	
allowanceDetail_v01.xml	日当明細	
allowanceDetail_v02.xml	日当明細（複数通貨）	
allowanceDetail_v03.xml	日当明細（簡易）	
allowanceDetail_v04.xml	日当明細（複数通貨, 簡易）	
allowanceDetail_v05.xml	日当明細（連携）	
allowanceDetail_v06.xml	日当明細（複数通貨, 連携）	
allowanceDetail_v07.xml	日当明細（予算）自動引当	
allowanceDetail_v08.xml	日当明細（予算）手動引当	
amountSumDetail_v01.xml	税率別合計金額	

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「事業者区分・交付義務の免除理由」、「ファイル検索」、明細ガジェットなど他の必要なガジェットを選択してください。



請求書払申請書の作成

ガジェットのインポート

精算申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[Intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
registratedNumberValidation_v01.xml	登録番号チェック	○
searchFile_v01.xml	ファイル検索	○
billPaymentInfo_v01.xml	請求書払情報	
billPaymentInfo_v02.xml	請求書払情報（予算連携）	
billPaymentInfo_v03.xml	請求書払情報（外貨支払）	
billPaymentInfo_v04.xml	請求書払情報（外貨支払, 予算連携）	
billPaymentDetail_v01.xml	請求書払明細	
billPaymentDetail_v02.xml	請求書払明細（予算）自動引当	
billPaymentDetail_v03.xml	請求書払明細（予算）手動引当	
billPaymentDetail_v04.xml	請求書払明細（外貨支払）	
billPaymentDetail_v05.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当	
billPaymentDetail_v06.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当	
amountSumDetail_v01.xml	税率別合計金額	

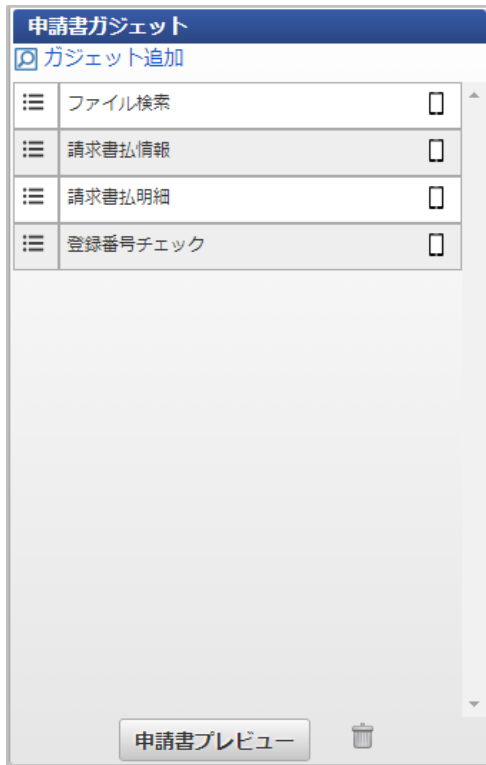
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「登録番号チェック」、「ファイル検索」、その他必要なガジェットを選択してください。



ジョブ実行機能からジョブを実行する方法

本項では、ジョブ実行機能からジョブを実行する方法を説明します。

ジョブ実行機能を使用すると、権限を保持するユーザが権限を保持するジョブネットのみを実行することができます。

関連マスタの設定

ジョブ実行機能の使用には、以下の設定が必要です。

マスタ	概要
権限設定マスタ	ジョブ実行機能を使用するユーザの権限を設定可能です。
ジョブ管理マスタ	ジョブ実行機能を使用可能な権限とジョブネットを設定可能です。

ジョブ実行機能の使用方法

ジョブ実行機能の使用方法は、[ジョブ実行](#)を参照ください。

申請書マスタのインポート・エクスポート機能を用いて申請書情報を移行する方法

本項では、申請書マスタのインポート・エクスポート機能を用いて申請書情報を移行する方法を説明します。

申請書マスタのインポート・エクスポート機能の詳細は[申請書マスタ](#)を参照ください。

前提

運用中の環境の申請書に対して、利用ガジェットの変更、GadgetBuilder定義の変更をする場合の移行方法を説明します。

検証環境の申請書に変更を加え、本番環境へデータを移行するケースを例とします。

手順

変更前の本番環境のデータと検証環境のデータを一致させる

申請書の変更作業実施前に、本番環境のデータと検証環境のデータを一致させます。

1. 本番環境で「申請書マスタエクスポート」を実施します。

2. 検証環境で「申請書マスタインポート」を実施し、本番環境からエクスポートしたデータを取り込みます。

検証環境の申請書を更新する

検証環境の申請書に必要な変更を反映します。

GadgetBuilder定義に変更が発生する場合、検証環境に変更したGadgetBuilder定義が適用済みの前提で説明します。

1. 使用するガジェットのGadgetBuilder定義に申請書ガジェットマスタの更新が必要な変更がある場合、検証環境にガジェットをインポートします。
ガジェットインポートの詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照してください。
申請書ガジェットマスタの更新が必要かどうかは、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「手順⑤ : GadgetBuilder定義編集」を参照してください。
2. 検証環境でキャッシュ削除ジョブを実行し、キャッシュを削除します。
キャッシュ削除ジョブの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照してください。
3. 検証環境の申請書マスタメンテナンス機能で、必要な変更を反映します。
申請書ガジェットマスタの更新が必要なGadgetBuilder定義の変更がある場合、申請書マスタメンテナンス機能でガジェットを削除して再度追加してください。
申請書ガジェットマスタの更新が不要なGadgetBuilder定義の変更がある場合、申請書マスタメンテナンス機能で、コンテンツまたはコンテンツバージョンを更新してください。
申請書マスタメンテナンス機能の詳細は [コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照ください。

i コラム

申請書マスタでガジェットを削除して再度追加すると、ガジェットの必須/任意設定等に初期値が登録されます。設定を変更している場合は、再度設定を行ってください。

i コラム

申請書マスタでコンテンツバージョンをコピーすると、フロー定義の個別設定の内容を引き継ぎません。コンテンツバージョンをコピーした場合、個別設定の内容は再度フロー定義で設定してください。

検証環境のデータを本番環境に移行する

変更を反映した検証環境のデータを本番環境に移行します。

GadgetBuilder定義に変更が発生する場合、本番環境に変更したGadgetBuilder定義が適用済みの前提で説明します。

1. 使用するガジェットのGadgetBuilder定義に申請書ガジェットマスタの更新が必要な変更がある場合、本番環境にガジェットをインポートします。
ガジェットインポートの詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照してください。
申請書ガジェットマスタの更新が必要かどうかは、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「手順⑤ : GadgetBuilder定義編集」を参照してください。
2. 検証環境で「申請書マスタエクスポート」を実施します。
3. 本番環境で「申請書マスタインポート」を実施し、検証環境からエクスポートしたデータを取り込みます。
4. 本番環境でキャッシュ削除ジョブを実行し、キャッシュを削除します。
キャッシュ削除ジョブの詳細は、『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「カスタマイズ手順」-「手順⑥-2 : GadgetBuilder定義反映(申請書ガジェットマスタ更新不要)」を参照してください。
5. 本番環境の申請書マスタメンテナンス機能で、コンテンツまたはコンテンツバージョンを更新してキャッシュを削除します。
申請書マスタメンテナンス機能の詳細は [コンテンツバージョン設定時の操作方法](#)を参照ください。

環境間の設定比較

エクスポートデータの比較

変更前の本番環境からエクスポートした申請書のXMLと、変更後に検証環境からエクスポートした申請書のXML定義を比較することで申請書データの変更箇所を確認可能です。

テーブルデータの比較

変更前後の本番環境のテーブルを比較して申請書マスタデータの変更箇所を確認可能です。

申請書マスタデータのテーブル定義は『intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド』-「リファレンス」-「申請書マスタデータのテーブル構成について」を参照してください。

通勤費Webから通勤経路をインポートする方法

概要

本項では、通勤費Webから定期経路情報を取得し、[通勤経路マスタ](#)に登録する方法を説明します。
[通勤経路マスタ](#)に登録された情報は、経路検索時の定期区間控除情報として利用します。

各システムの役割

通勤費Webから取得した経路情報を使用してKaiden!に登録する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! Core Module
Kaiden!の基盤となる機能を提供します。
- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 通勤費Web
定期経路情報を管理します。

通勤費Webから通勤経路をインポートする

本項では、「通勤費Web」から経路情報を取得し Kaiden! へ登録する方法を説明します。
「通勤費Web」から経路情報を取得するには、「通勤費Web」の利用契約が必要です。
インポートした経路情報を使用して Kaiden! の申請時に定期区間控除を行うには、「駅すばあとWebサービス」の利用が必要です。
「駅すばあとWebサービス」の利用に関しては[駅すばあとWebサービスと連携する方法](#)を参照ください。
「通勤費Web」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 通勤費Web連携設定マスタの設定
- 通勤費Webユーザマッピングマスタの設定
- 「通勤費Web」から定期経路ファイルを取得
- 「通勤費Web」から取得した定期経路ファイルをインポート

「通勤費Web」との連携手順

通勤費Web連携設定マスタの設定

[通勤費Web連携設定マスタ](#)に「通勤費Web」との接続設定を登録してください。

通勤費Webユーザマッピングマスタの設定

[通勤費Webユーザマッピングマスタ](#)に「通勤費Web」と Kaiden! のユーザの紐づけを登録してください。

「通勤費Web」から定期経路ファイルを取得

[通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルエクスポート](#)を実施して、「通勤費Web」から定期経路ファイルを取得してください。

「通勤費Web」から取得した定期経路ファイルをインポート

[通勤費Web経費精算用定期経路連携ファイルインポート](#)を実施して、「通勤費Web」から取得した定期経路ファイルをインポートしてください。
インポートしたデータは[通勤経路マスタ](#)に登録されます。
必要に応じて[通勤経路マスタ](#)を確認、更新してください。

Racco連携モジュールの操作

概要

本項では、Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際の概要を説明します。
Racco連携モジュールを使用すると、Kaiden!事前申請時に「Racco」で宿泊手配を実施し、
取得した宿泊実績データでKaiden!の精算を実施できます。
「Racco」と連携するためには、「Racco」の利用契約が必要です。
「Racco」は、出張予約・管理サービスです。
詳細は「Racco」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Racco連携モジュール
「Racco」との連携機能を提供します。
- Racco
出張予約・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

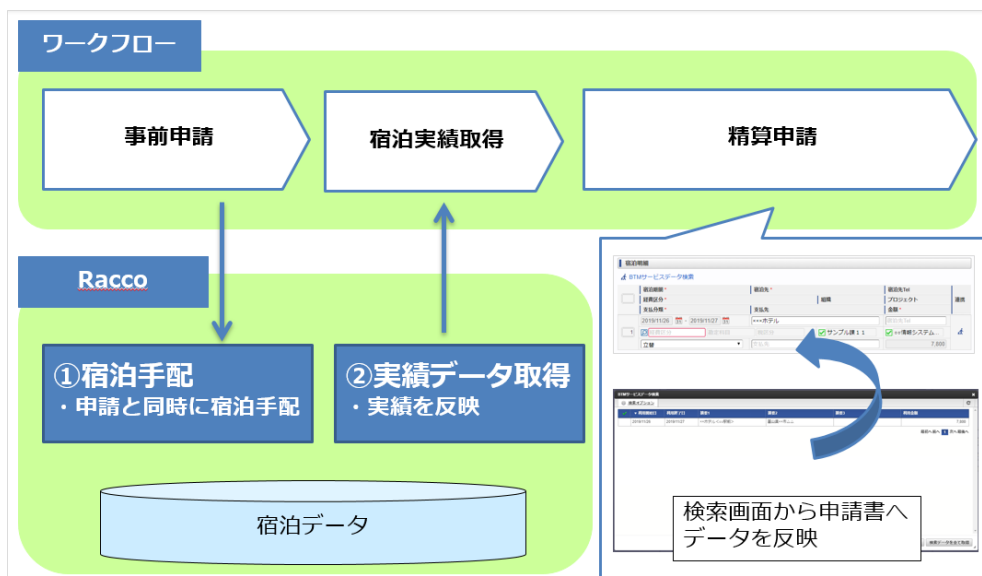
モジュールの選択

Racco連携モジュールを使用して、「Racco」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。
「Racco」から宿泊実績データを取得する機能はRacco連携モジュールに含まれています。
ワークフローを使用して、事前申請・精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	Racco連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「Racco」の宿泊予約サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

Racco契約マスタ

本項では、Racco契約マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

Racco契約マスタは、連携する「Racco」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

No	契約システムID	契約企業コード	契約企業名	備考
----	----------	---------	-------	----

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

Racco契約

契約システムID *	sample
契約企業コード *	sample
契約企業名 *	日本語 サンプル 英語 sample 中国語 (中華人民共和国) 样例
Basic認証ID(日次) *	xxxxxxxxxx
Basic認証パスワード(日次) *	*****
Basic認証ID(月次) *	xxxxxxxxxx
Basic認証パスワード(月次) *	*****
宿泊手配SSOURL *	https://xxxxxxxxxxxx
実績CSV取得URL *	https://xxxxxxxxxxxx
暗号化キー *	*****
初期化ベクタ *	..
提携チャネルコード *	xxxxxxxxxx
精算単位 *	一括精算
担当者所属会社 *	サンプル会社
担当者 *	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳 京巳
備考	

- 契約システムID
「Racco」に登録しているシステムIDを入力します。
- 契約企業コード
「Racco」に登録している企業コードを入力します。
- 契約企業名
契約企業名をロケール別に入力します。
- Basic認証ID(日次)
「[Racco宿泊実績データ取得](#)」で使用する、「Racco」へ接続する認証ID(日次データ取得用)を入力します。
- Basic認証パスワード(日次)
「[Racco宿泊実績データ取得](#)」で使用する、「Racco」へ接続する認証パスワード(日次データ取得用)を入力します。
- Basic認証ID(月次)
「[Racco宿泊実績データ取得](#)」で使用する、「Racco」へ接続する認証ID(月次データ取得用)を入力します。
- Basic認証パスワード(月次)
「[Racco宿泊実績データ取得](#)」で使用する、「Racco」へ接続する認証パスワード(月次データ取得用)を入力します。
- 宿泊手配SSOURL
「Racco」へシングルサインオンする際のURLを入力します。
- 実績CSV取得URL
「[Racco宿泊実績データ取得](#)」で使用する、「Racco」からデータを取得するURLを入力します。
- 暗号化キー
「Racco」へ接続する際使用する暗号化キーを入力します。
- 初期化ベクタ
「Racco」へ接続する際使用する初期化ベクタを入力します。
- 提携チャネルコード
「Racco」に登録している提携チャネルコードを入力します。
- 精算単位
精算単位を選択します。
運用途中で変更しないでください。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。



コラム

「[Racco宿泊実績データ取得](#)」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。



コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	契約システムID	契約企業コード	契約企業名	備考
1	sample	sample	サンプル	

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

i コラム

検索欄に検索したいRacco契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約システムID
- 契約企業コード
- 契約企業名
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	契約システムID	契約企業コード	契約企業名	備考
1	sample	sample	サンプル	

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the 'Racco契約' (Racco Contract) edit screen. The form contains the following fields:

- 契約システムID*: sample
- 契約企業コード*: sample
- 契約企業名*: 日本語 サンプル, 英語 sample, 中国語 (中華人民共和国) 样例
- Basic認証ID(日次)*: xxxxxxxxxxxx
- Basic認証パスワード(日次)*:
- Basic認証ID(月次)*: xxxxxxxxxxxx
- Basic認証パスワード(月次)*:
- 宿泊手配SSOURL*: https://xxxxxxxxxxxx
- 実績CSV取得URL*: https://xxxxxxxxxxxx
- 暗号化キー*:
- 初期化ヘクタ*: ..
- 提携チャネルコード*: xxxxxxxxxxxx
- 精算単位*: 一括精算
- 担当者所属会社*: サンプル会社
- 担当者*: 青柳 崇巳
- 備考: [Empty text area]

Buttons: 更新 (highlighted with a red box), 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 契約システムID
- 契約企業コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the 'Racco契約' (Racco Contract) edit screen with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box contains the text '更新します。' (Update) and two buttons: '決定' (OK) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

6. 更新することができました。

The screenshot shows the 'Racco契約' (Racco Contract) list screen. A green notification banner at the top says '更新しました。' (Updated). Below the banner is a search bar with '検索' (Search) and 'クリア' (Clear) buttons. Below the search bar is a table with one row of contract data:

No	契約システムID	契約企業コード	契約企業名	備考
1	sample	sample	サンプル	

Navigation: 最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 ""

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約システムID	○	10	
2	契約企業コード	○	30	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	契約企業名	○	250	
5	Basic認証ID(日次)	○	100	
6	Basic認証パスワード(日次)	○	100	
7	Basic認証ID(月次)	○	100	
8	Basic認証パスワード(月次)	○	100	
9	宿泊手配シングルサインオンURL	○	1000	
10	実績CSV取得URL	○	1000	
11	暗号化キー	○	100	
12	初期化ベクタ	○	100	
13	提携チャネルコード	○	100	
14	精算単位	○	100	lump : 一括精算 indv : 個別精算
15	担当者所属会社コード	○	100	
16	担当者	○	100	
17	備考		250	

データサンプル

```
"sample","sample","en","sample","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxx","https://xx
"sample","sample","ja","サンプ
ル","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxx","samplesampl
"sample","sample","zh_CN","□
品","samplesample","samplesample","samplesample","samplesample","https://xxxxxxxxxxxxx","https://xxxxxxxxxxxxx","samplesampl
```

コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/r_travel_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

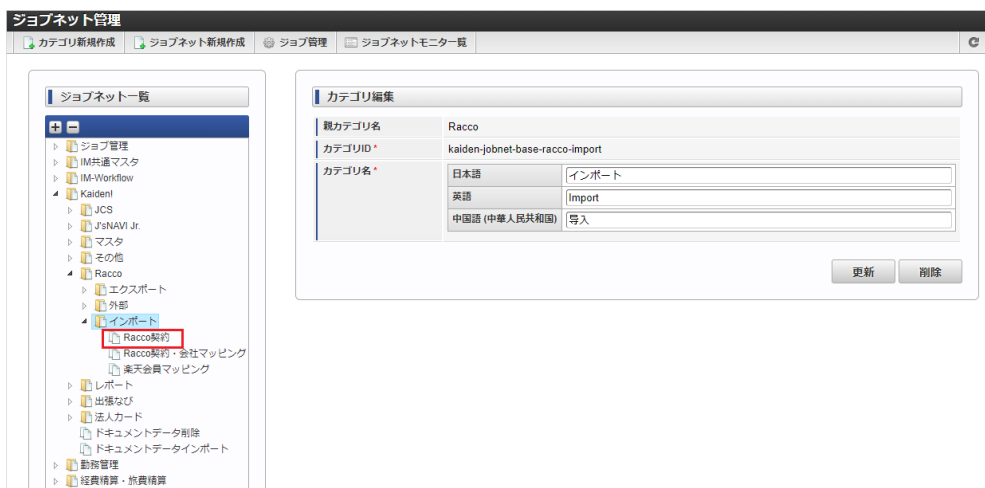
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

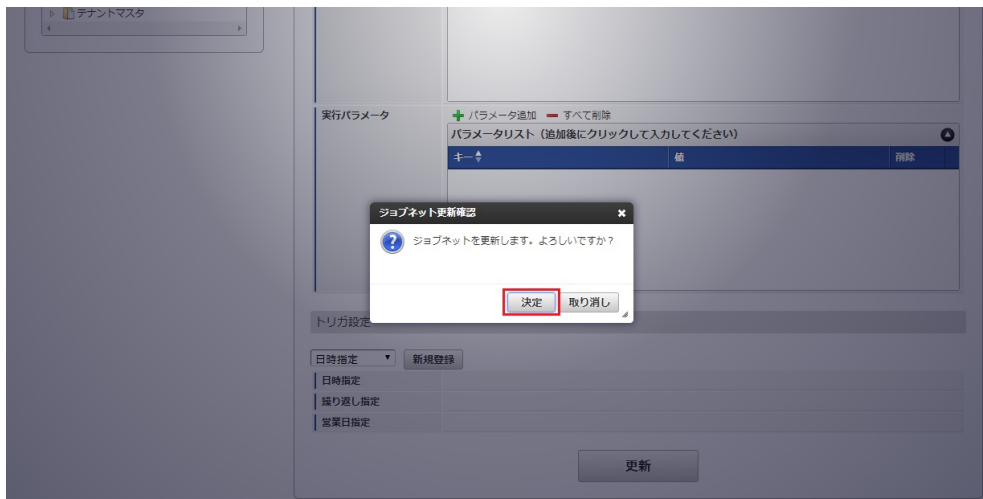
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-01- contract	Kaiden! / Racco / インポート /Racco契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/r_travel_contract/import.csv)

名称	キー	説明/設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Racco契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「r_travel_contract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

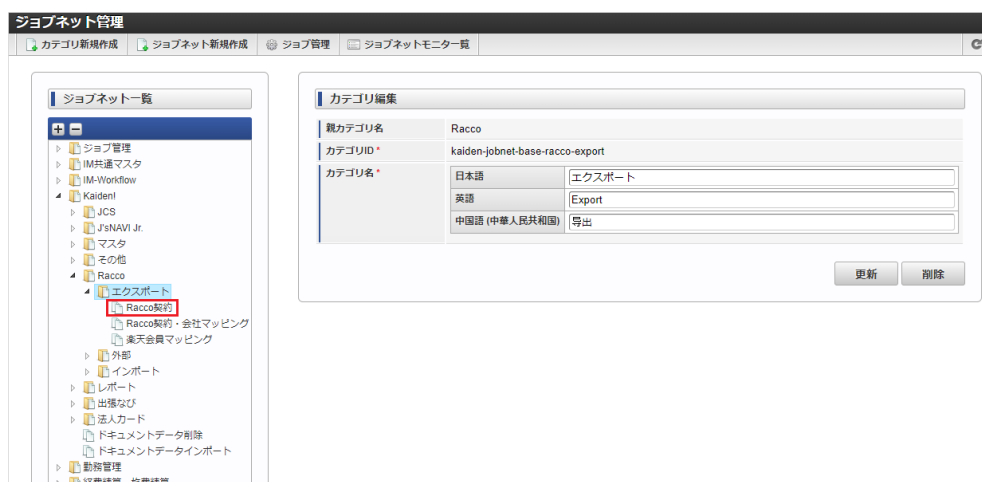
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

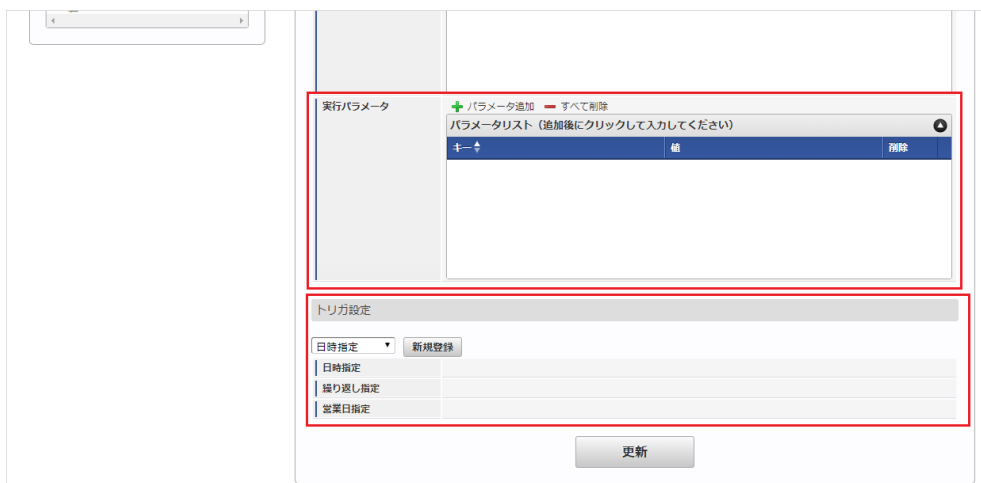
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「Racco契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

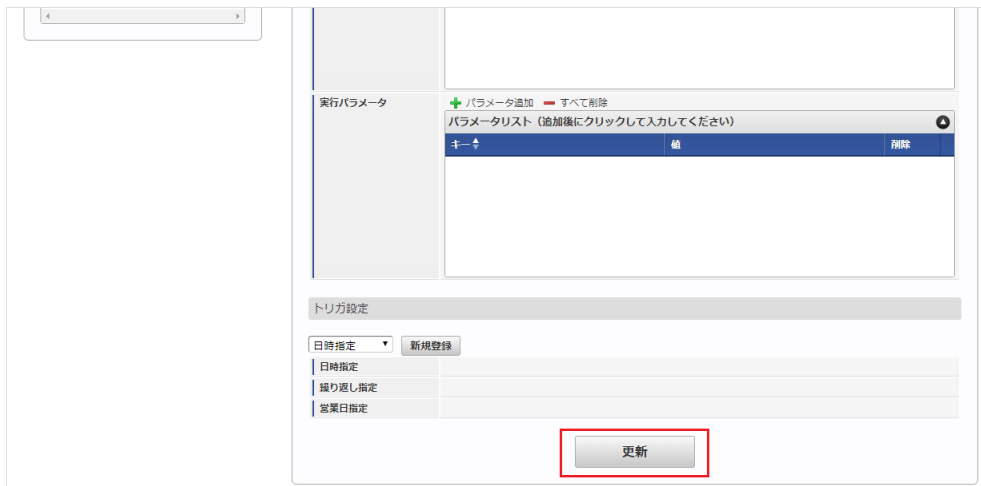
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

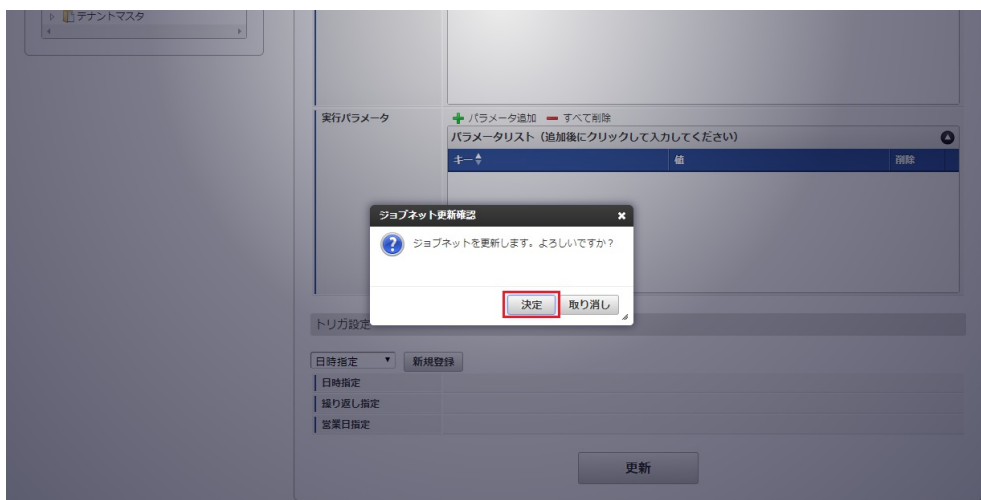
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-01-	Kaiden! / Racco / エクスポート /Racco契約
contract	

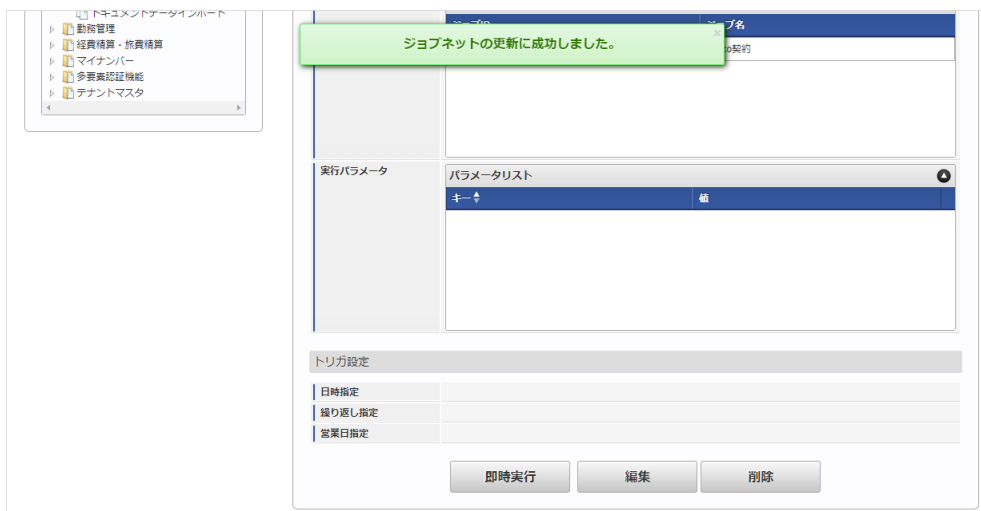
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/r_travel_contract

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名	
basicIdDaily	Basic認証ID(日次)	
basicPasswordDaily	Basic認証パスワード(日次)	
basicIdMonthly	Basic認証ID(月次)	
basicPasswordMonthly	Basic認証パスワード(月次)	
ssoUrl	宿泊手配シングルサインオンURL	
csvGetUrl	実績CSV取得URL	
encryptionKey	暗号化キー	
initializationVector	初期化ベクタ	
partnerChannelCode	提携チャネルコード	
paymentUnitCd	精算単位	lump : 一括精算 indv : 個別精算
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時 : コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時 : 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時 : ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Racco契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「r_travel_contract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Racco契約・会社マッピングマスタ

本項では、Racco契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Racco契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

The screenshot shows the 'Racco契約・会社マッピング' page. At the top left, there is a '新規登録' button highlighted with a red box. Below it is a search bar with '検索' and 'クリア' buttons. A table with columns 'No', '契約', '契約企業コード', and '契約企業名' is visible below the search bar.

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

The screenshot shows the registration form. It has two input fields: '会社' with a dropdown menu showing 'サンプル会社' and '契約' with a dropdown menu showing 'サンプル' and a checked checkbox. Below the fields are '登録' and '一覧に戻る' buttons. The '登録' button is highlighted with a red box.

- 会社
「Racco」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「Racco」に登録済みの契約を選択します。

i コラム

「会社」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

The screenshot shows the registration form with a confirmation dialog box overlaid. The dialog box has a question mark icon and the text '登録します。' (Confirm registration?). It has two buttons: '決定' (Confirm) and '取り消し' (Cancel). The '決定' button is highlighted with a red box.

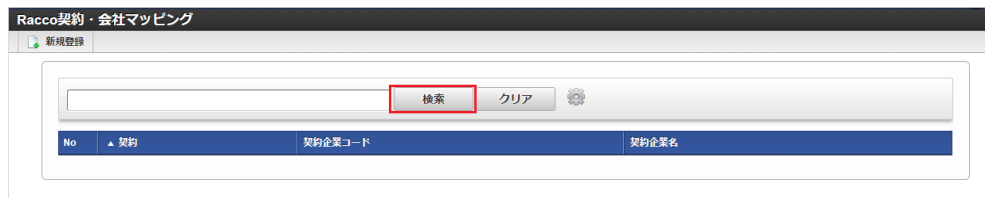
5. 新規登録することができました。

The screenshot shows the 'Racco契約・会社マッピング' page after successful registration. A green message box at the top says '登録しました。' (Registered). The table below now contains one row:

No	契約	契約企業コード	契約企業名
1	sample	sample	サンプル

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「Racco」→「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

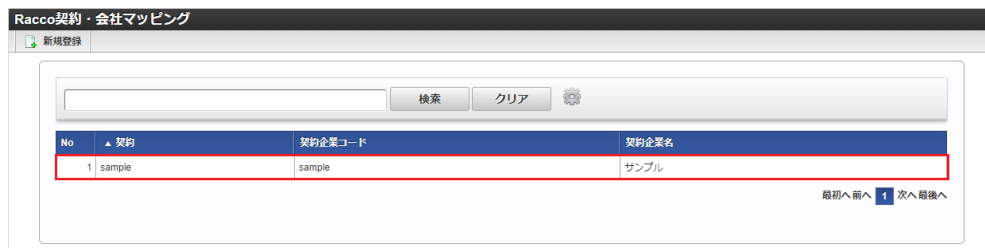


i コラム

検索欄に検索したいRacco契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名称

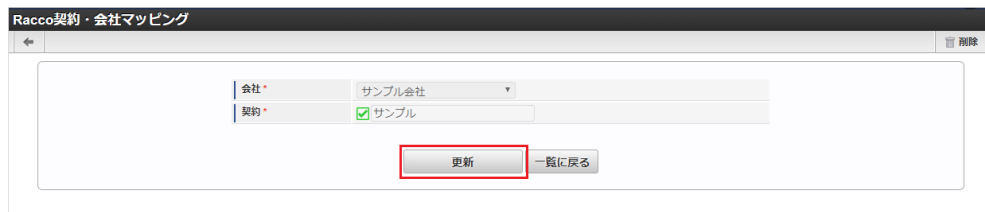
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



! 注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	契約システムID	○	10	
3	企業コード	○	30	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/r_travel_company

ファイル名 import.csv



コラム

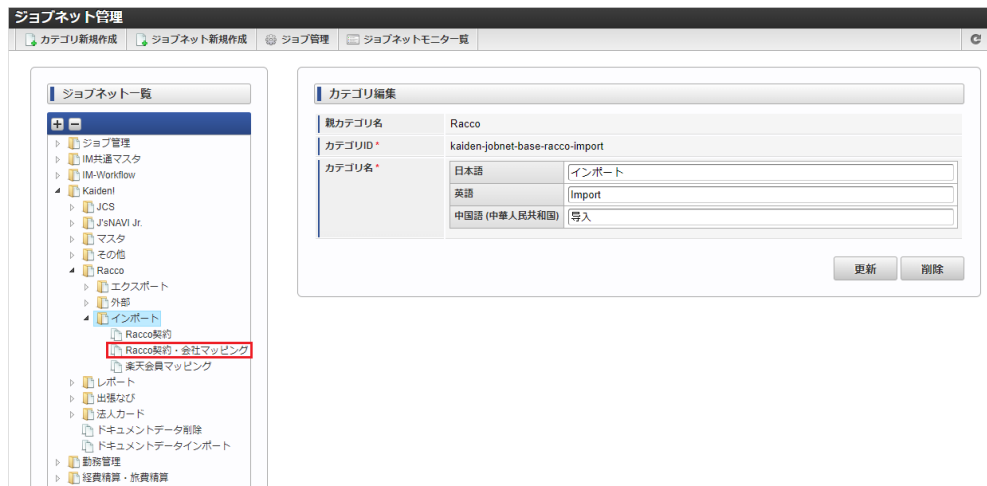
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

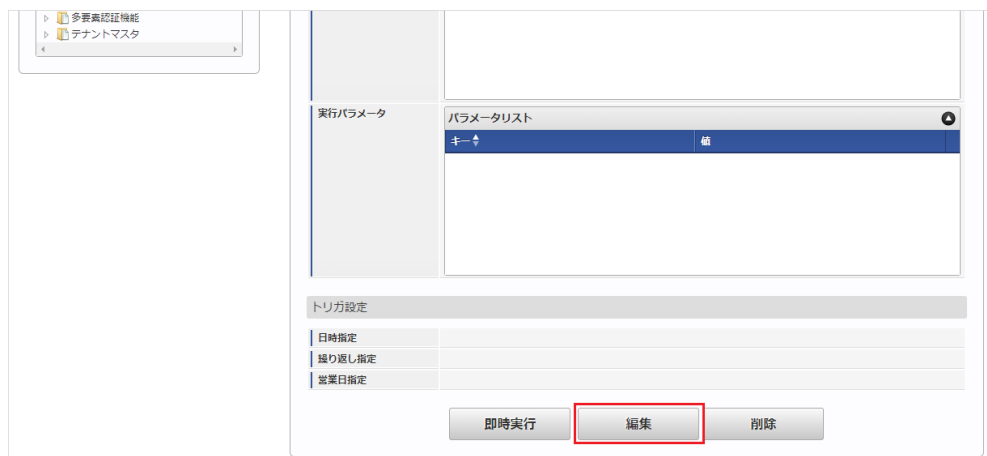
ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

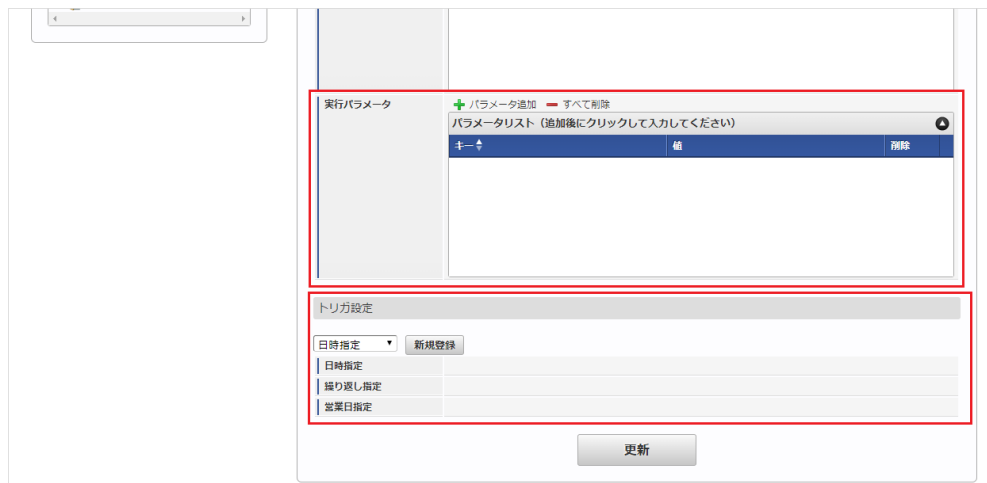
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-02-company	Kaiden! / Racco / インポート / Racco契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 Racco契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「r_travel_company」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

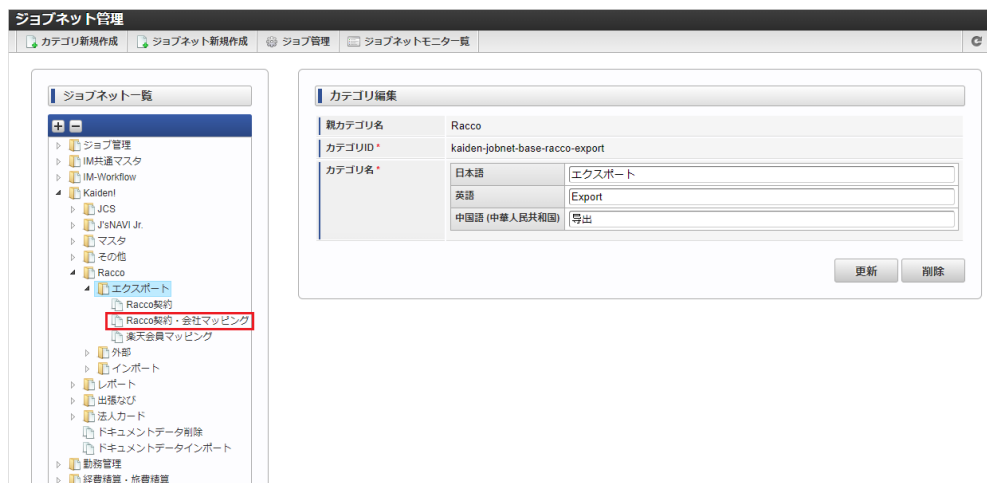
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

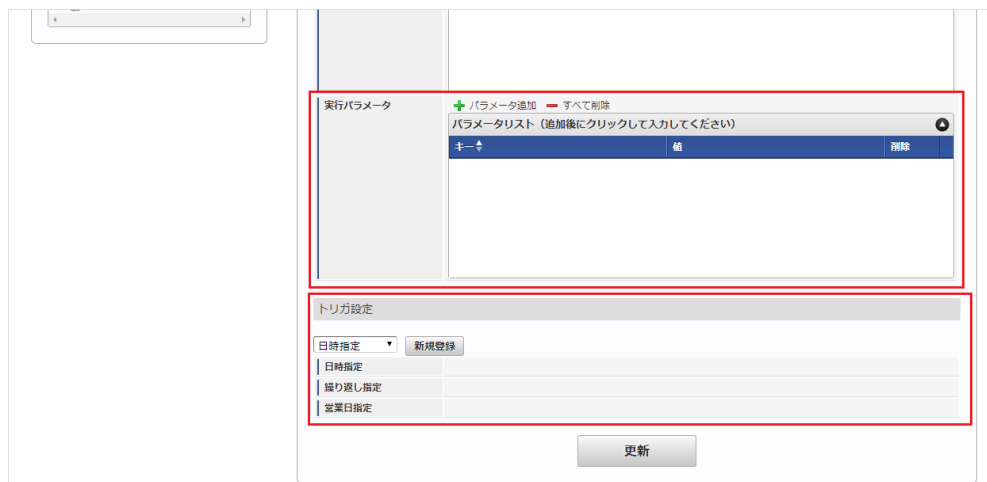
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-02-company	Kaiden! / Racco / エクスポート / Racco契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/r_travel_company/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/r_travel_company/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/r_travel_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Racco契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「r_travel_company」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

楽天会員マッピングマスタ

本項では、楽天会員マッピングマスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

楽天会員マッピングマスタは、「Racco」にシングルサインオンする際使用する「Racco」の契約と「Kaiden!」のユーザを紐付けます。

「Racco」にシングルサインオンすると、初回ログイン時に「Kaiden!」のユーザと「楽天会員」が紐づけられます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「楽天会員マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「Racco」との契約を選択します。
- 宿泊規定金額
1円から100,000円の間で設定可能です。
「Racco」ヘシングルサインオンして予約する場合、
宿泊料金の検索条件の初期値として使用されます。
「Racco」で宿泊規定金額を指定している場合、「Racco」の設定が優先されます。

i コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

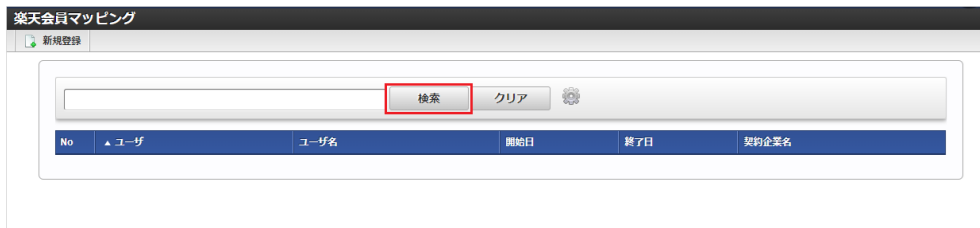
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「楽天会員マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

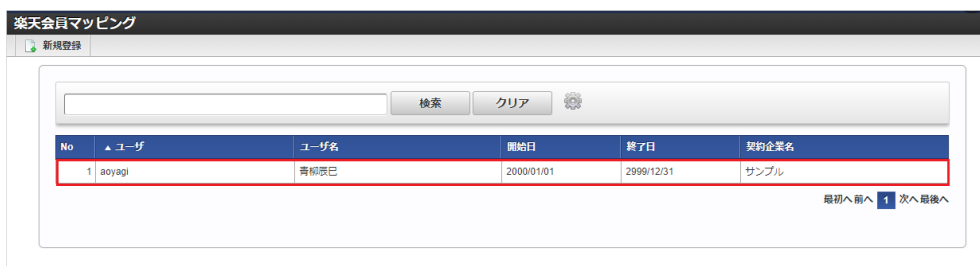


i コラム

検索欄に検索したい楽天会員マッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

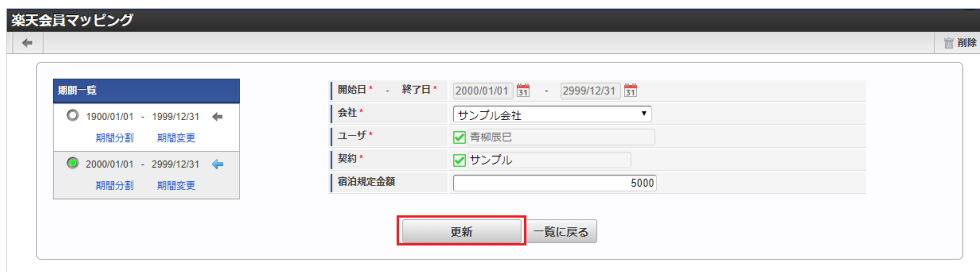
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

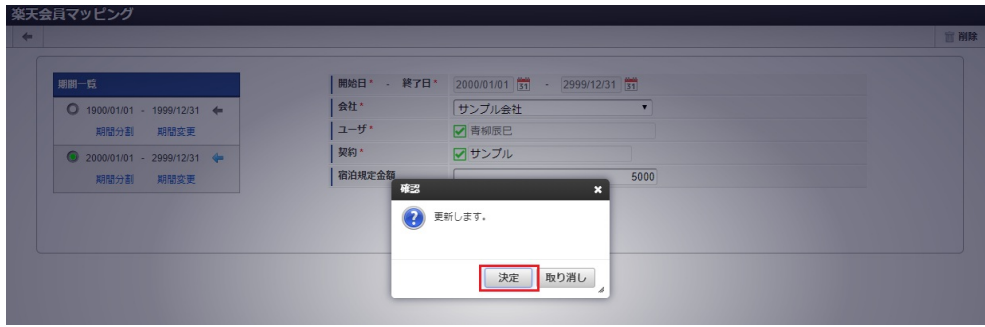
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
5	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
6	契約システムID	○	100	
7	契約企業コード	○	100	
8	宿泊規定金額		6	1から100000を指定してください 1円から100,000円の間で設定可能です。

データサンプル

```
"aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","sample","sample","100000"
```

 コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/rakuten_user

ファイル名 import.csv

 コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

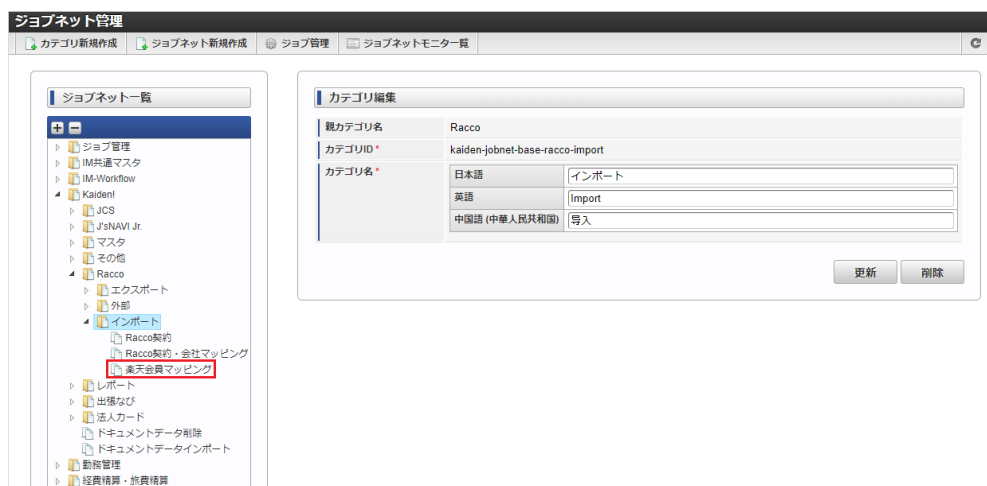
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「楽天会員マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

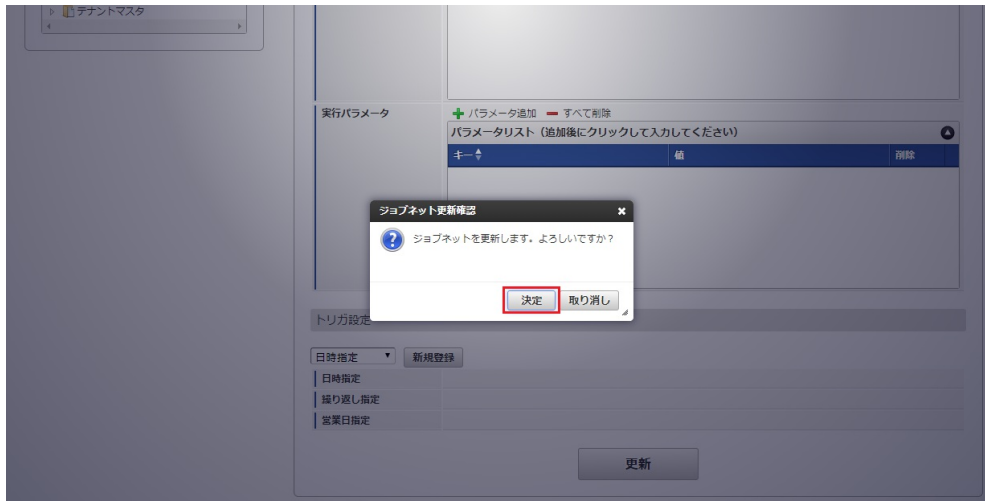
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

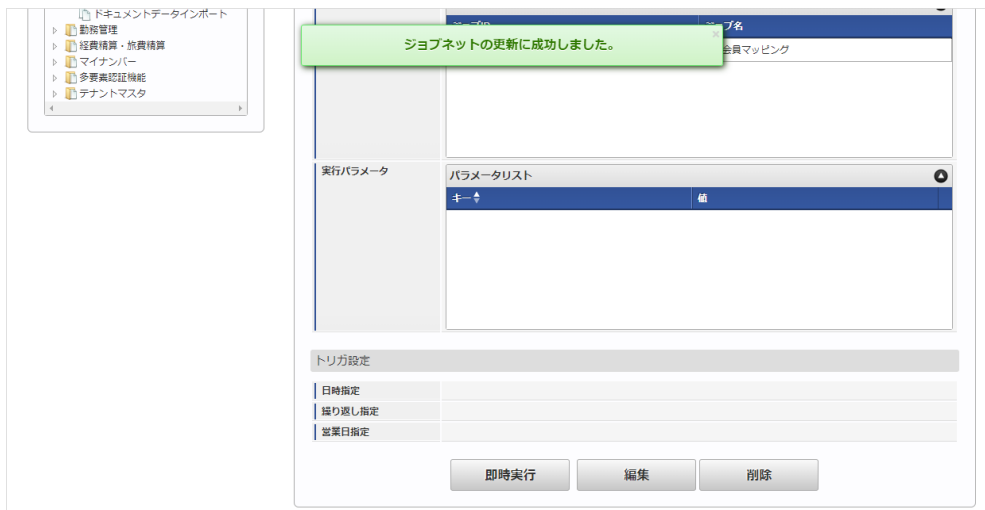
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-import-03- user	Kaiden! / Racco / インポート / 楽天会員マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 単一期間 (差分) モード 2: 単一期間 (一新) モード 3: 単一期間 (入替) モード 4: 複数期間 (差分) モード 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 楽天会員マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rakuten_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

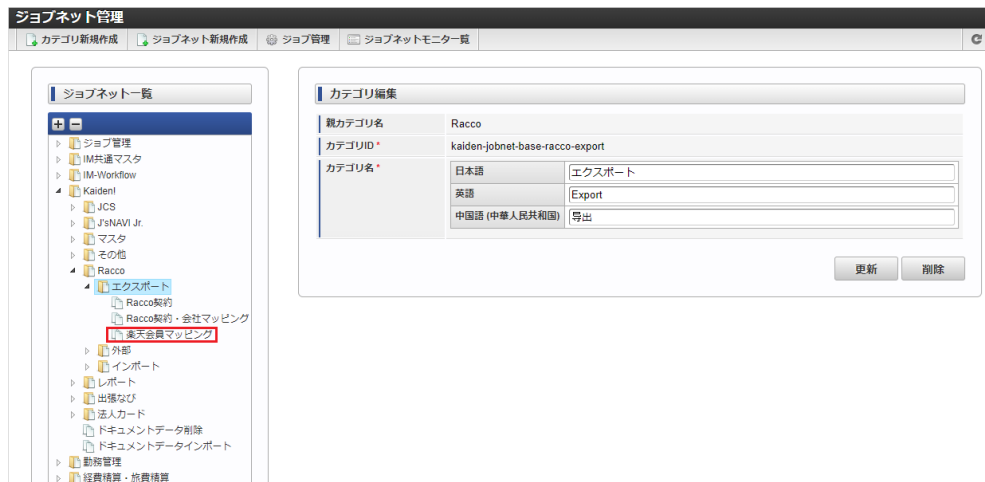
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

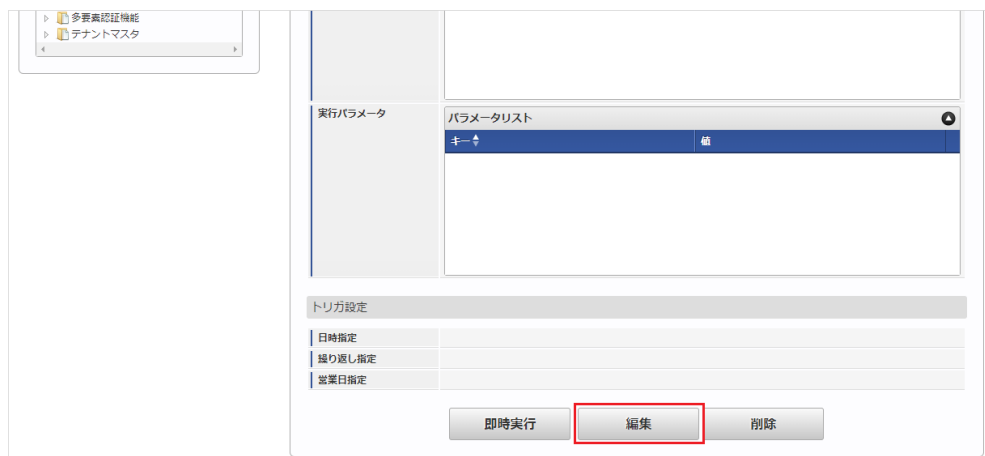
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「楽天会員マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。



コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-export-03-user	Kaiden! / Racco / エクスポート / 楽天会員マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the configuration page for a job. The '実行パラメータ' (Execution Parameters) section contains a table with one row: 'キー' (Key) and '値' (Value). Below this, the 'トリガ設定' (Trigger Settings) section has fields for '日時指定' (Date/Time), '日時指定' (Date/Time), '繰り返し指定' (Repeat), and '営業日指定' (Business Day). At the bottom, the '更新' (Update) button is highlighted with a red rectangle.

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

The screenshot shows the same configuration page as in step 5, but with a confirmation dialog box titled 'ジョブネット更新確認' (Job Network Update Confirmation) overlaid. The dialog asks 'ジョブネットを更新します。よろしいですか?' (Update job network. Is it okay?). The '決定' (Confirm) button is highlighted with a red rectangle.

7. ジョブネットが設定されました。

The screenshot shows the configuration page after the update. A green message box at the top says 'ジョブネットの更新に成功しました。' (Job network update successful). The '更新' (Update) button is now disabled. At the bottom, there are three buttons: '即時実行' (Execute Immediately), '編集' (Edit), and '削除' (Delete).

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/rakuten_user/
ファイル名	export.csv

コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
contractSystemId	契約システムID	
corporateCd	契約企業コード	
accommodationAmount	宿泊規定金額	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/rakuten_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 楽天会員マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「rakuten_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

Raccoへのシングルサインオン

本項では、Raccoへのシングルサインオン方法を説明します。

- 概要
- シングルサインオン

概要

RaccoへKaiden!からシングルサインオンする方法は以下2種類あります。

- Raccoシングルサインオン機能からアクセス
- 宿泊手配(Racco連携)ガジェットを含む申請書からアクセス

本項では、Raccoシングルサインオン機能からアクセスする方法について説明します。

Raccoシングルサインオン機能を使用する場合、Kaiden!の事前申請と紐づけることはできません。

宿泊手配(Racco連携)ガジェットについては、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照ください。

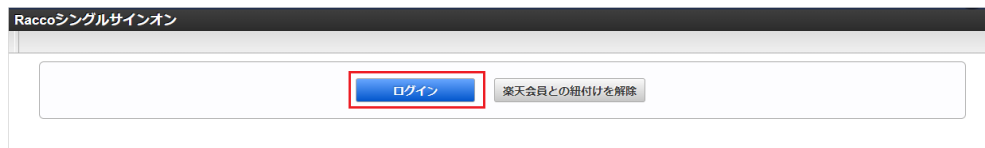
シングルサインオン

Raccoシングルサインオン機能の使用方法を説明します。

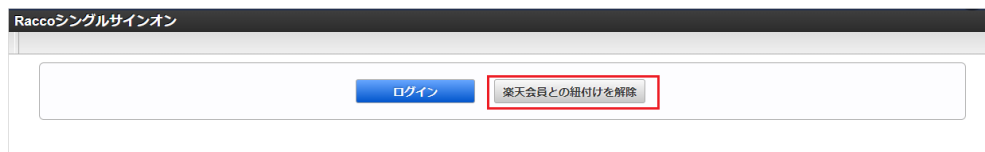
1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Racco」→「Raccoシングルサインオン」をクリックします。



2. 「ログイン」ボタンをクリックすると、「Racco」にシングルサインオンします。



3. 「楽天会員との紐付けを解除」ボタンをクリックすると、ログインユーザと楽天会員の紐づけを解除します。

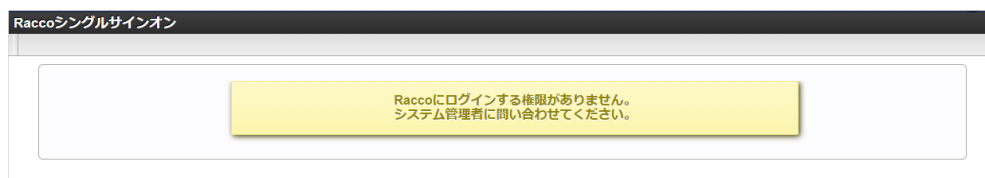


注意

従業員が退職する際は、ユーザと楽天会員の紐づけを解除してください。

紐づけを解除せずに、同じユーザコードの別のユーザがKaiden!からRaccoにシングルサインオンすると、退職済みのユーザとしてRaccoにログインします。

4. 楽天会員マッピングマスタに登録がないユーザでRaccoシングルサインオン機能にアクセスすると、以下のメッセージが表示され、ログインボタンは表示されません。



5. 以下メッセージが表示される場合、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』を参照して設定ファイルを変更してください。



6. 初期設定の場合、「楽天会員との紐付けを解除」ボタンのみ表示され、出張手配はできません。

Raccoシングルサインオン機能を使用して出張手配する場合、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』を参照して設定ファイルを変更してください。



Racco宿泊実績データ取得

本項では、「Racco」から宿泊実績データを取得／登録する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- 取得データ

概要

Racco宿泊実績データ取得は、指定されたRacco契約マスタの情報に基づき「Racco」に接続し、宿泊実績データを取得します。

Racco契約マスタの「実績CSV取得URL」を使用して「Racco」と通信します。

ジョブ実行日時時点で有効なユーザが楽天会員マッピングマスタに登録されていない場合、Racco契約マスタの「担当者所属会社」、「担当者」を利用会社、利用者に設定します。

Racco宿泊実績データ取得後、Racco宿泊実績データ登録ジョブを実行して取得したデータを登録します。

登録したデータはBTMサービス利用実績データメンテナンスで参照可能です。

コラム

実績取得モードを「corp-daily」に設定し、データ取得開始日・データ取得終了日のパラメータを未指定にして毎日実行すると、前日に連携された宿泊実績を日々取得できます。

また、毎月特定の日にRaccoから月次の宿泊実績が出力されます。

日次と月次の実績に差分が発生する可能性があり、月次のデータが最新となるため、日次と月次両方のデータの取得が必要です。

コラム

宿泊予約を変更並びにキャンセルした場合、日次のデータを取り込み後、月次のデータを取り込む際に変更が反映される場合があります。変更前のデータが精算済になってから変更後のデータを取り込むと、金額がマイナスのデータが発生する場合があります。

金額がマイナスのデータを精算することはできませんので、ご注意ください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Racco宿泊実績データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

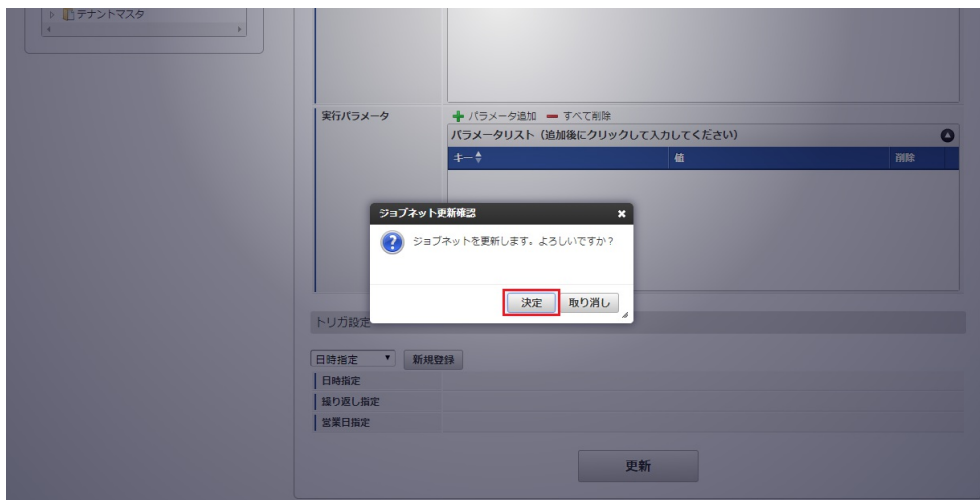
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-racco-external-lodge- data-import	Kaiden! / Racco/ 外部 / Racco宿泊実績データ取得
kaiden-job-base-racco-external-lodge- data-entry	Kaiden! / Racco/ 外部 / Racco宿泊実績データ登録

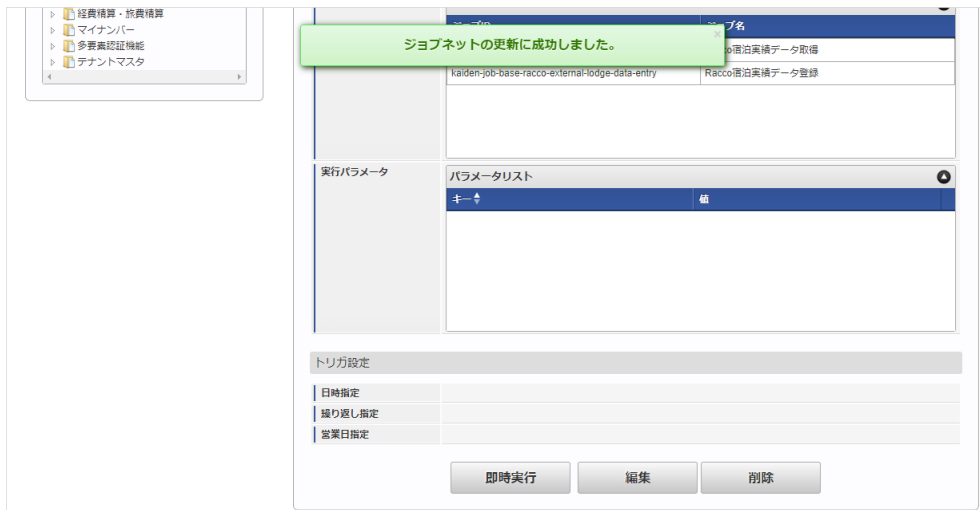
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

各実行パラメータに記載がない場合、「Racco宿泊実績データ取得」、「Racco宿泊実績データ登録」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
契約システムID	contract_system_id	宿泊実績取得元のRacco契約マスタで設定した「契約システムID」を設定します。 (省略時: 登録済みの全契約を対象とします。)
会社コード	company_cd	宿泊実績取得元のRacco契約・会社マッピングマスタで設定した「会社コード」を設定します。 (省略時: 契約システムIDに紐づく全会社を対象とします。)
実績取得モード	import_mode	「Racco宿泊実績データ取得」で取得する実績の取得モードを設定します。 設定は必須です。 <ul style="list-style-type: none"> corp-daily : 日ごとに出力されたデータを取得します。 corp-monthly : 月ごとに出力されたデータを取得します。
データ取得開始日	import_date_from	「Racco宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「Racco」から連携されたデータを取得します。 実績取得モードが「corp-daily」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
データ取得終了日	import_date_to	「Racco宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「データ取得開始日」から「データ取得終了日」の期間内に「Racco」から連携されたデータを取得します。 実績取得モードが「corp-daily」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前日)
データ取得月	import_date_month	「Racco宿泊実績データ取得」で取得するデータの月 (yyyyMM) を設定します。 実績取得モードが「corp-monthly」の場合使用します。 (省略時: ジョブ実行日の前月)

取得データ

- 取得データ

取得データが登録される形式です。

「k10t_btm_use_data」に登録されます。

項目名	値	備考
relation_service_id	RAKUTEN(固定値)	
result_id	予約番号	
company_cd	会社コード	IM-共通マスタ(会社)
user_cd	宿泊者ユーザID	IM-共通マスタ(ユーザ)
relation_no	Options 1	予約の連携番号
contract_system_id	契約システムID	
corporate_cd	企業コード	
relation_auth_user_id	宿泊者ユーザID	
relation_exe_user_id	予約者ユーザID	
date1	チェックイン日	
date2	チェックアウト日	
date3	予約日	
date4	キャンセル日	
summary1	宿泊先名称	

summary2	宿泊先住所	
summary3	宿泊先電話番号	
summary4	客室タイプ名称	
summary5	プラン名	
amount1	宿泊金額+キャンセル・不泊料金 精算に使用する金額	
amount2	宿泊金額	
amount3	キャンセル・不泊料金	
status1	ステータス	
quantity1	泊数	
quantity2	宿泊人数	
note1	備考1	予約時に入力した値
note2	備考2	予約時に入力した値
note3	備考3	予約時に入力した値

リファレンス

Kaiden!から「Racco」を使用して宿泊手配する方法

本項では、Kaiden!から「Racco」にログインして宿泊手配する方法を説明します。
「Racco」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- Racco関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「Racco」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! Racco連携モジュール」 - 「Racco設定」を参照して設定してください。

Racco関連マスタの設定

「Racco」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
Racco契約マスタ	「Racco」との契約情報を管理します。
Racco契約・会社マッピングマスタ	「Racco」との契約と会社を紐付けます。
楽天会員マッピングマスタ	「Racco」との契約とユーザを紐付けます。

ガジェットのインポート

「Racco」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。
ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v02.xml	宿泊手配 (Racco連携)	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	

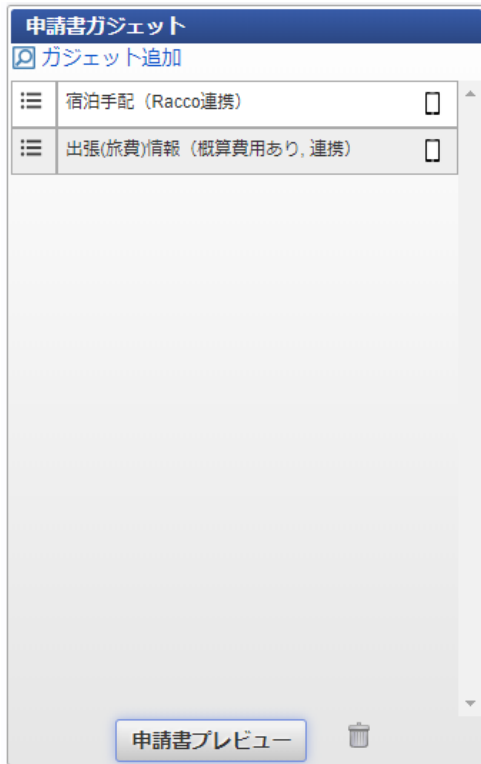
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「宿泊手配 (Racco連携)」を選択してください。



コラム

「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」を選択した場合、出張期間の初期値が「Racco」の検索条件の初期値として渡されます。

宿泊実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「Racco」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「Racco」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- Racco関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「Racco」から宿泊実績データを取得

「Racco」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! Racco連携モジュール」 - 「Racco設定」を参照して設定してください。

Racco関連マスタの設定

「Racco」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
Racco契約マスタ	「Racco」との契約情報を管理します。
Racco契約・会社マッピングマスタ	「Racco」との契約と会社を紐付けます。
楽天会員マッピングマスタ	「Racco」との契約とユーザを紐付けます。

ガジェットのインポート

「Racco」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）	

コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。

検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると

支払分類を指定した値で反映可能です。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「インクルードJSP」を参照ください。

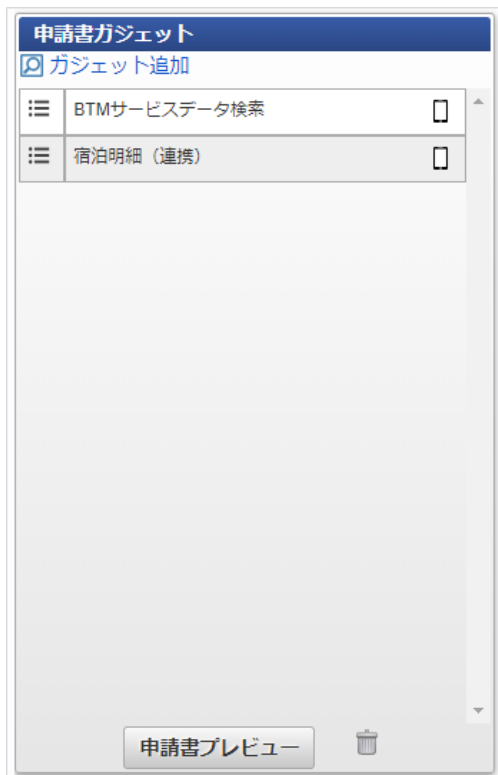
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「Racco」から宿泊実績データを取得

「Racco」から出張手配の実績データを取得する場合、[Racco 宿泊実績データ取得](#)を実施してください。

「Racco」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「Racco」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「Racco」から取得した宿泊実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。
 該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

- [BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

出張なび連携モジュールの操作

概要

本項では、出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際の概要を説明します。

出張なび連携モジュールを使用すると、出張情報の実績データでKaiden!の精算を実施できます。

「出張なび」と連携するためには、「出張なび」の利用契約が必要です。

「出張なび」は、出張手配・管理サービスです。

詳細は「出張なび」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 出張なび連携モジュール
「出張なび」との連携機能を提供します。
- 出張なび
出張手配・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

出張なび連携モジュールを使用して、「出張なび」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

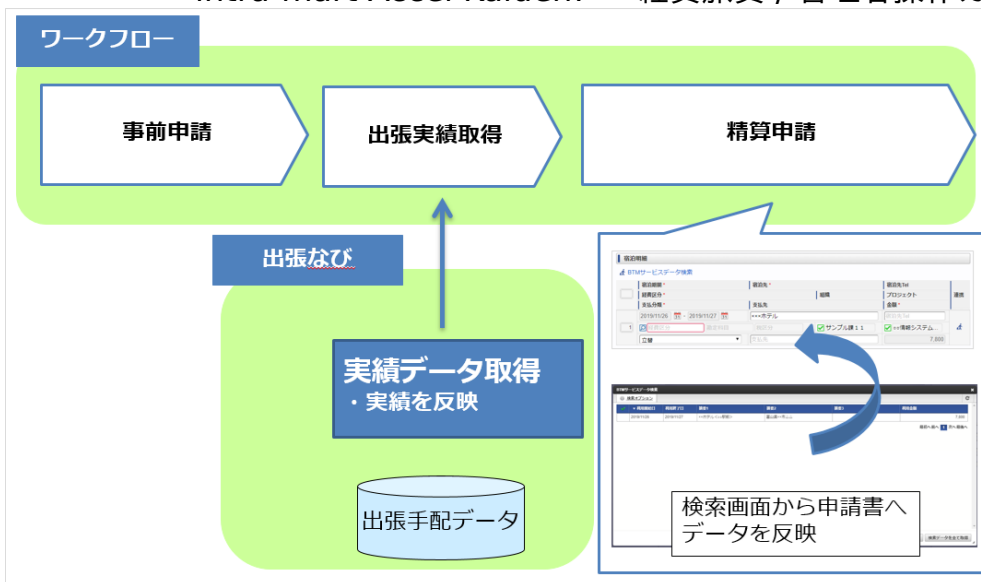
「出張なび」から出張手配の実績データを取得する機能は出張なび連携モジュールに含まれています。

ワークフローを使用して、精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	出張なび連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「出張なび」の出張手配サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

出張たび契約マスタ

本項では、出張たび契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張たび契約マスタは、連携する「出張たび」の契約情報を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張たび」→「出張たび契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 契約企業コード
「出張なび」に登録している企業コードを入力します。
- 契約企業名
契約企業名をロケール別に入力します。
- 実績データ連携URL
「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」からデータを取得するURLを入力します。
- 管理者ユーザID
「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」へ接続する際の管理者権限を持つユーザのユーザIDを入力します。
- 管理者ユーザパスワード
「出張なび実績データインポート」で使用する、「出張なび」へ接続する際の管理者権限を持つユーザのパスワードを入力します。
- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。

コラム

「出張なび実績データインポート」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

コラム

「担当者所属会社」、「担当者」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なび契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

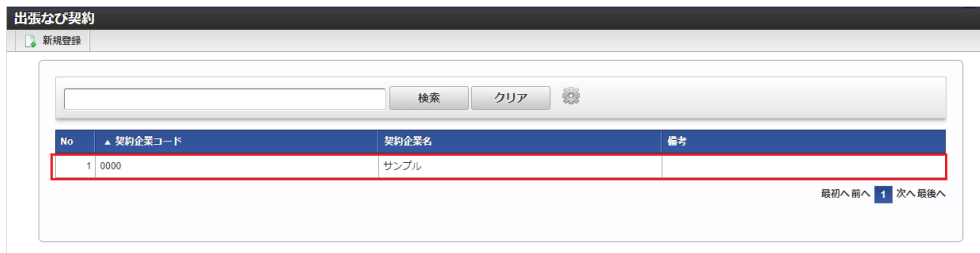


i コラム

検索欄に検索したい出張なび契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約企業コード
- 契約企業名
- 備考

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

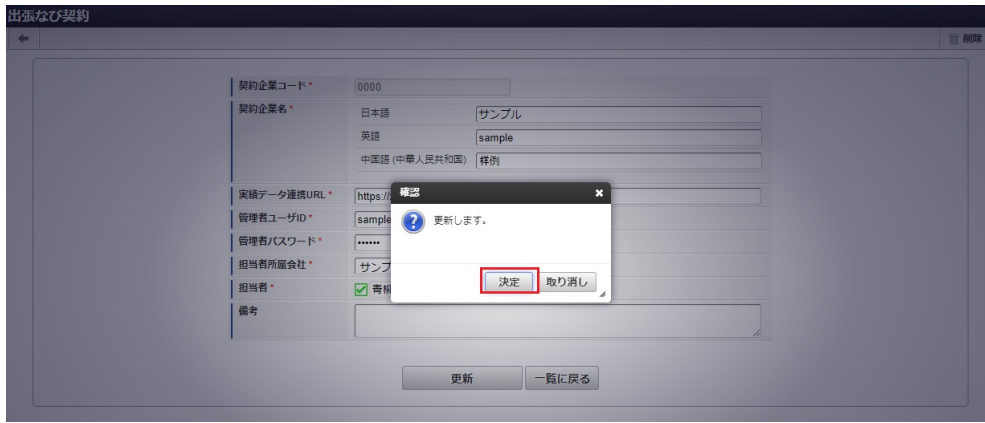
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 契約企業コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。

作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	契約企業コード	○	4	
2	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
3	契約企業名	○	250	
4	実績データ連携URL	○	1000	
5	管理者ユーザID	○	100	
6	管理者パスワード	○	100	
7	担当者所属会社コード	○	100	
8	担当者	○	100	
9	備考		250	

データサンプル

```
"sample","en","sample","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","ja","サンプル","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","zh_CN","样品","https://xxxxxxxxxxxxxx","samplesample","samplesample","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
```

i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

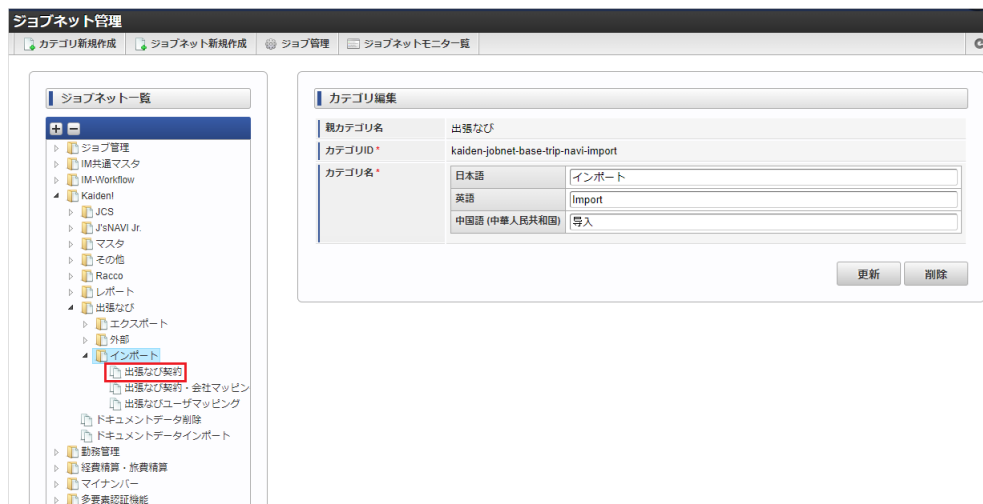
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

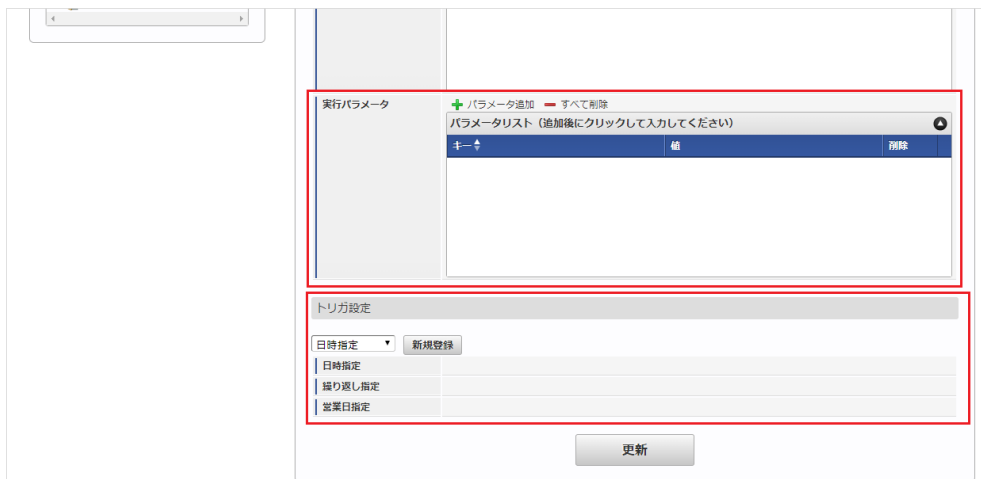
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

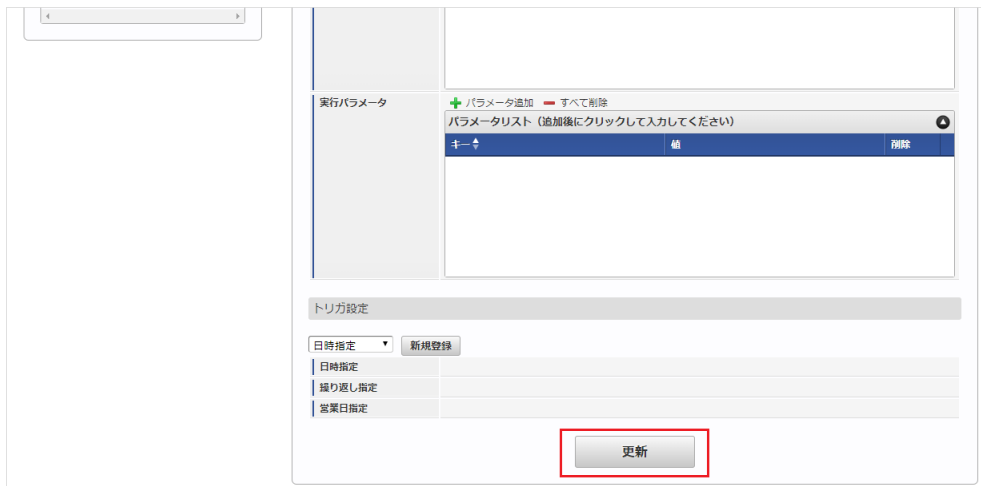
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

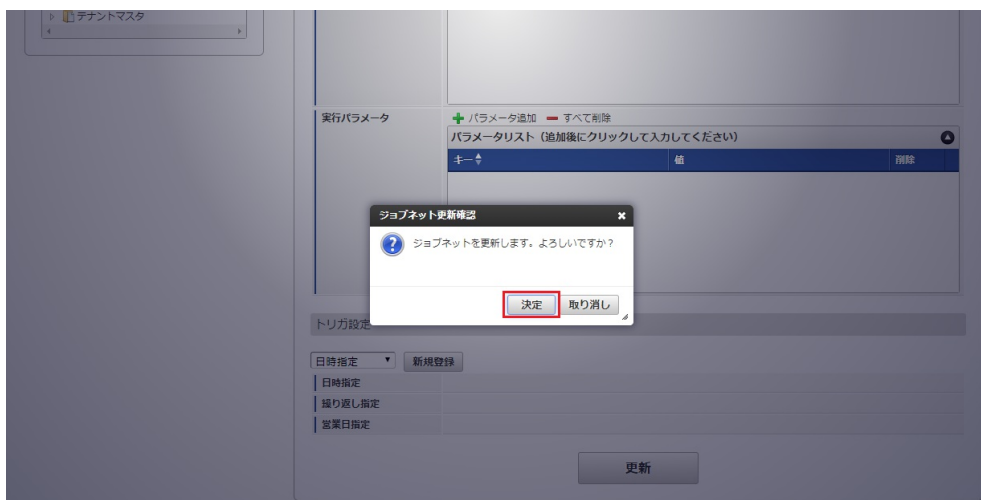
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-import-01-	Kaiden! / 出張なび / インポート / 出張なび契約
contract	

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)

名称	キー	説明 / 設定値
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 出張なび契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

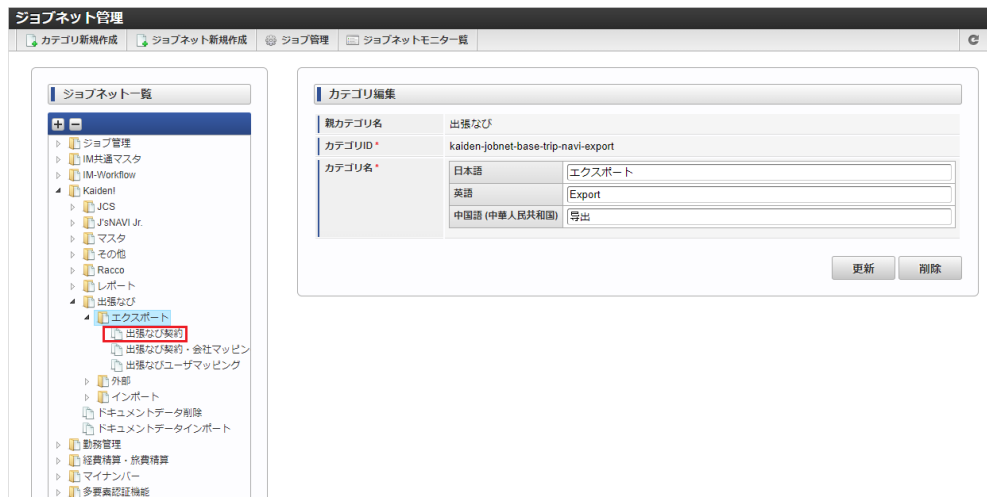
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「出張なび契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

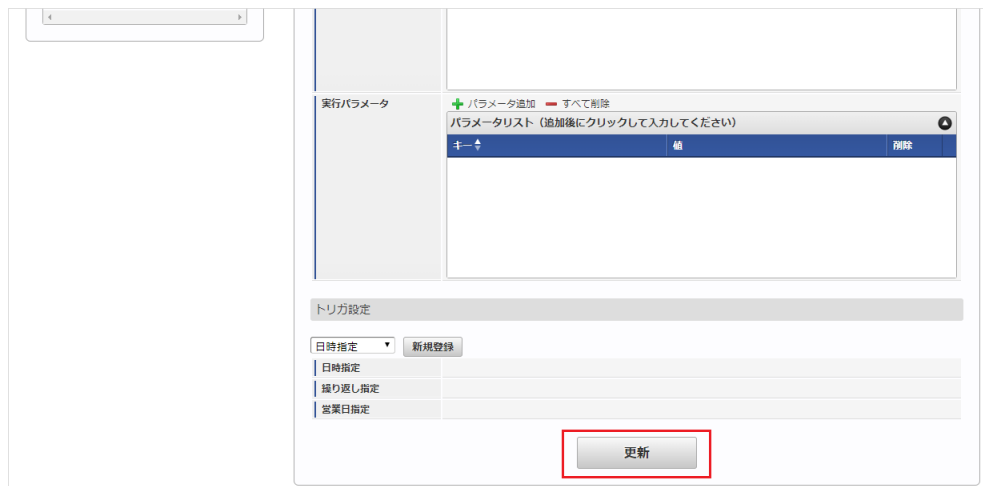
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

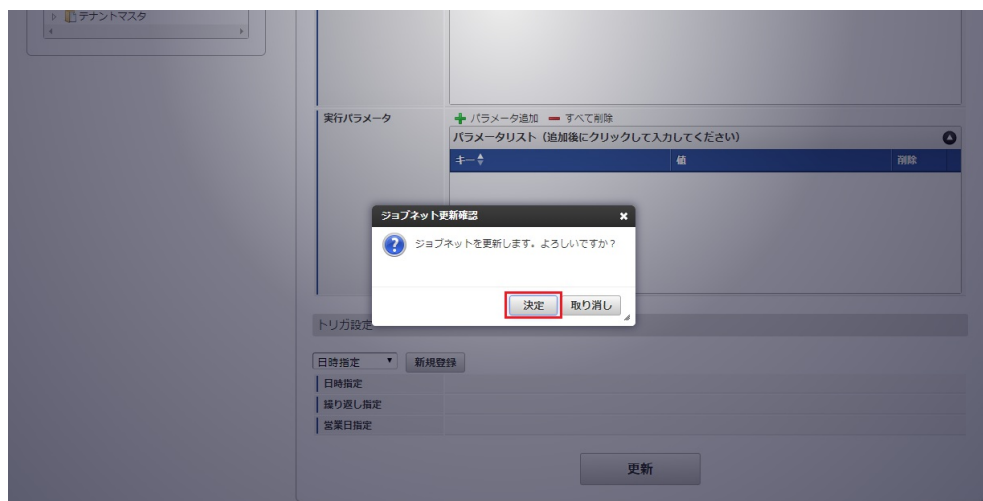
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-export-01- contract	Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なび契約

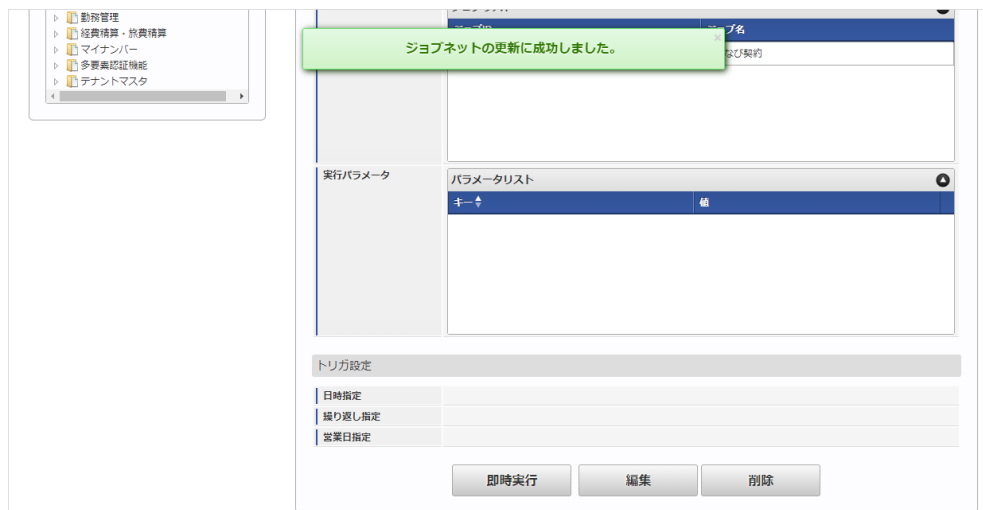
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/trip_navi_contract
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
entpCd	契約企業コード	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	契約企業名	
resultsGetUrl	実績データ連携URL	
adminUserId	管理者ユーザID	
adminUserPassword	管理者パスワード	
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1 : 全件出力モード ■ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張なび契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_contract」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張なび契約・会社マッピングマスタ

本項では、出張なび契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

出張なび契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
「出張なび」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「出張なび」に登録済みの契約を選択します。

i コラム

「会社」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「メンテナンス」→「出張なび」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

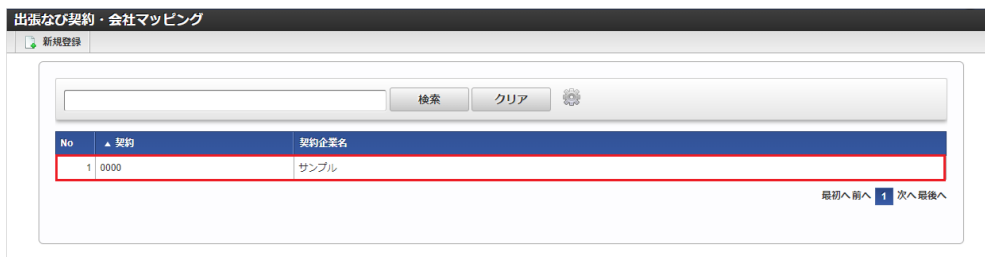


i コラム

検索欄に検索したい出張なび契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 契約
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



! 注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	契約企業コード	○	4	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_company

ファイル名 import.csv

コラム

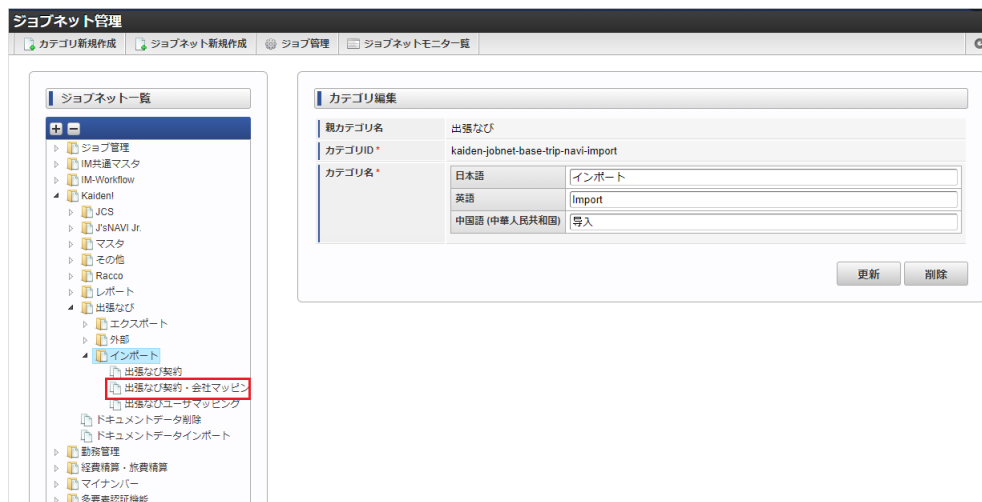
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-02-company	Kaiden! / 出張なび / インポート / 出張なび契約・会社マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/trip_navi_company/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/trip_navi_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)

名称	キー	説明/設定値
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 出張なび契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

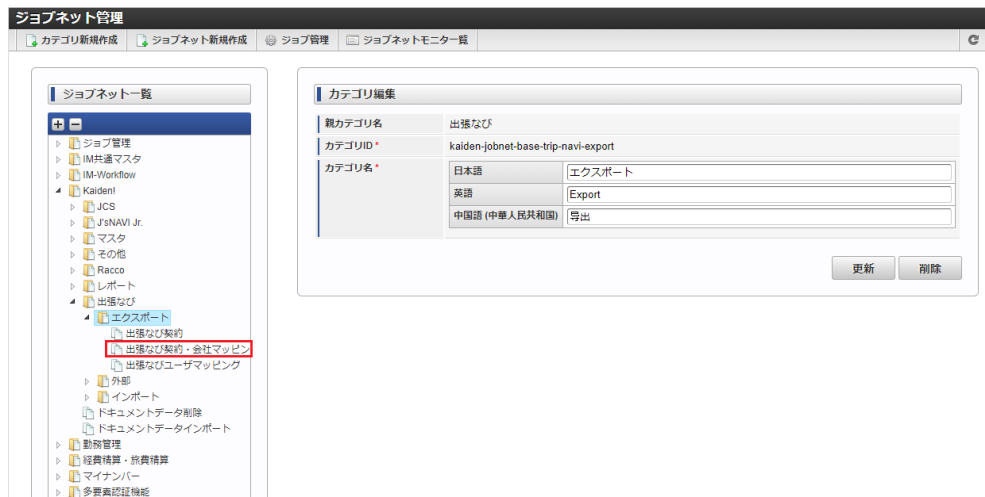
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なび契約・会社マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

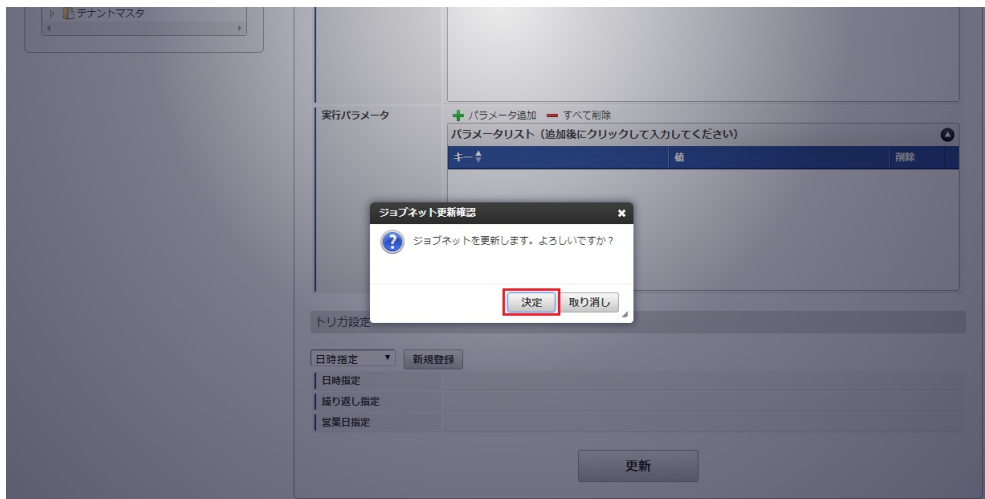
ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

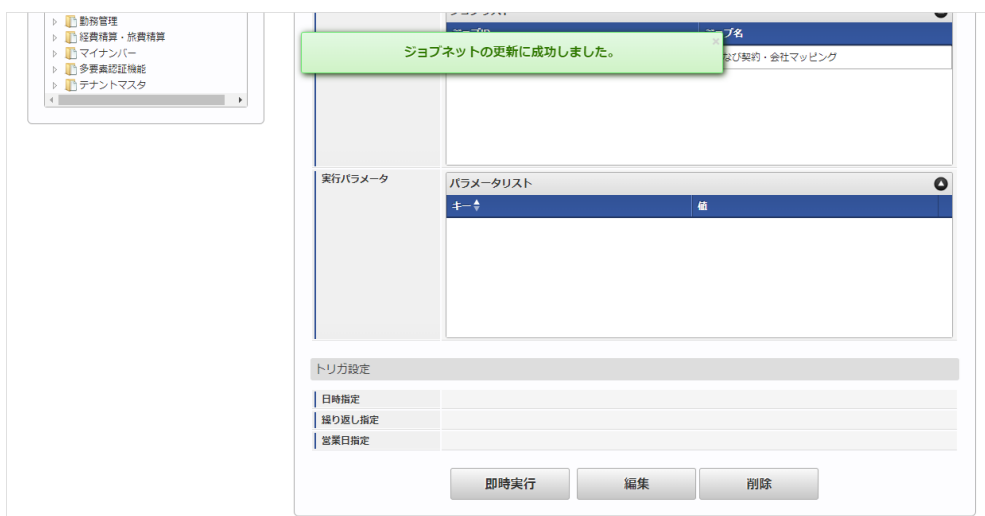
kaiden-job-base-jcs-export-02- Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なび契約・会社マッピング
company

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/trip_navi_company/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式**
 エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
entpCd	契約企業コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索 対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの 操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし

名称	キー	説明／設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張なび契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

出張なびユーザマッピングマスタ

本項では、出張なびユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

出張なびユーザマッピングマスタは、「出張なび」から取得する実績データに紐づくユーザと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なびユーザマッピング」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

- 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。

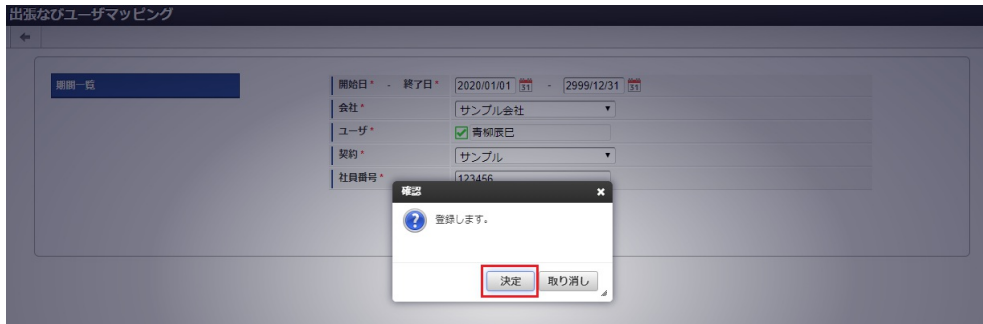
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「出張なび」との契約を選択します。
- 社員番号
「出張なび」の社員番号を入力します。



コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「出張なび」→「出張なびユーザマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したい出張なびユーザマッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

出張なびユーザマッピング

新規登録

検索 クリア

No	ユーザ	ユーザ名	開始日	終了日	契約企業名
1	aoyagi	青柳 咲巳	2020/01/01	2999/12/31	サンプル

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

- 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

出張なびユーザマッピング

← 削除

期間一覧

- 1900/01/01 - 2019/12/31 ← 期間分割 期間変更
- 2020/01/01 - 2999/12/31 ← 期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 2020/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

ユーザ * 青柳 咲巳

契約 * サンプル

社員番号 * 123456

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ユーザ

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

出張なびユーザマッピング

← 削除

期間一覧

- 1900/01/01 - 2019/12/31 ← 期間分割 期間変更
- 2020/01/01 - 2999/12/31 ← 期間分割 期間変更

開始日 * - 終了日 * 2020/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

ユーザ * 青柳 咲巳

契約 * サンプル

社員番号 * 123456

確認

更新します。

決定 取り消し

- 更新することができました。

intra-mart Top Workflow アナログ管理 サンプル サイトマップ 青柳 咲巳 ?

出張なびユーザマッピング 更新しました。

新規登録

検索 クリア

No	ユーザ	ユーザ名	開始日	終了日	契約企業名
1	aoyagi	青柳 咲巳	2020/01/01	2999/12/31	サンプル

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
2	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効
6	企業コード	○	100	
7	社員番号	○	9	

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","sample","123456"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/trip_navi_user

ファイル名 import.csv



コラム

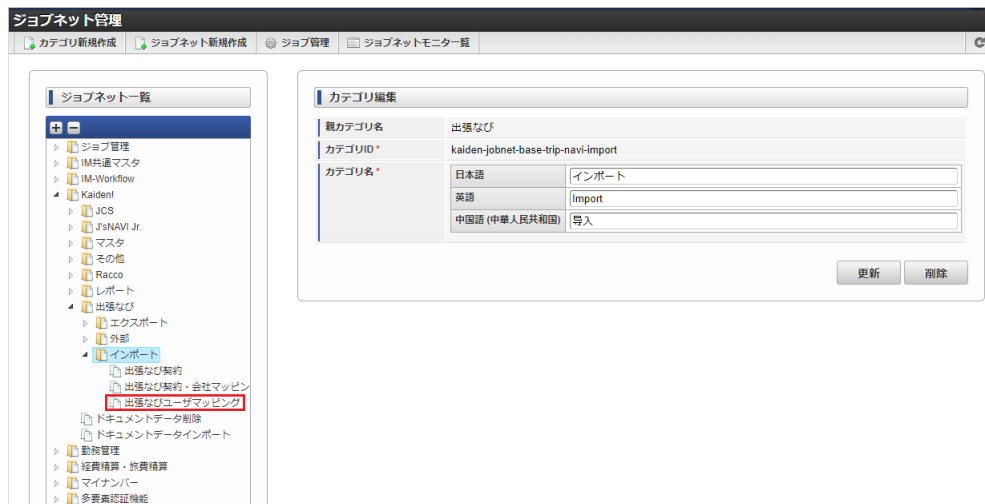
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

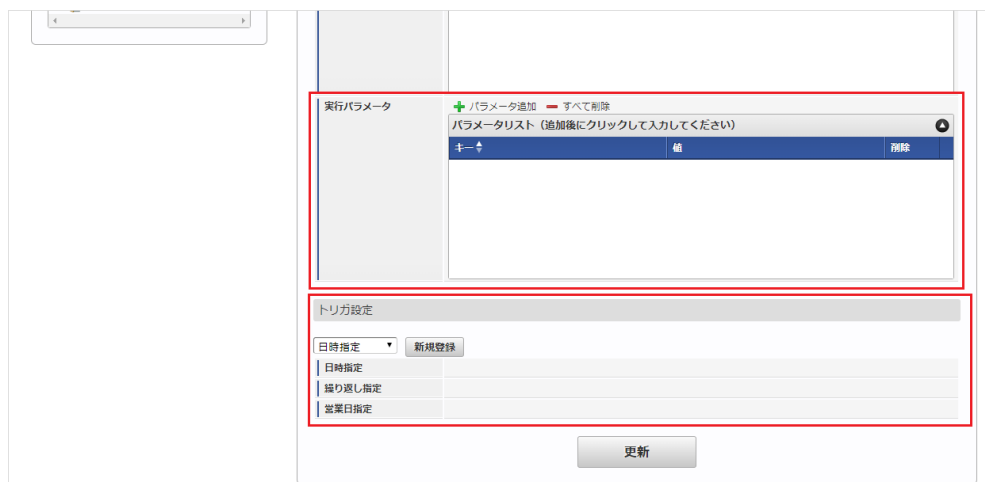
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なびユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

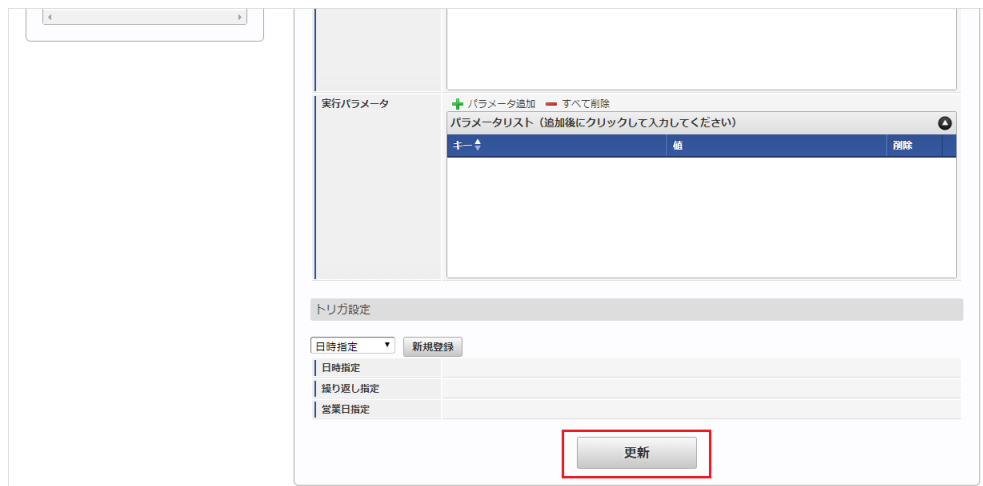
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

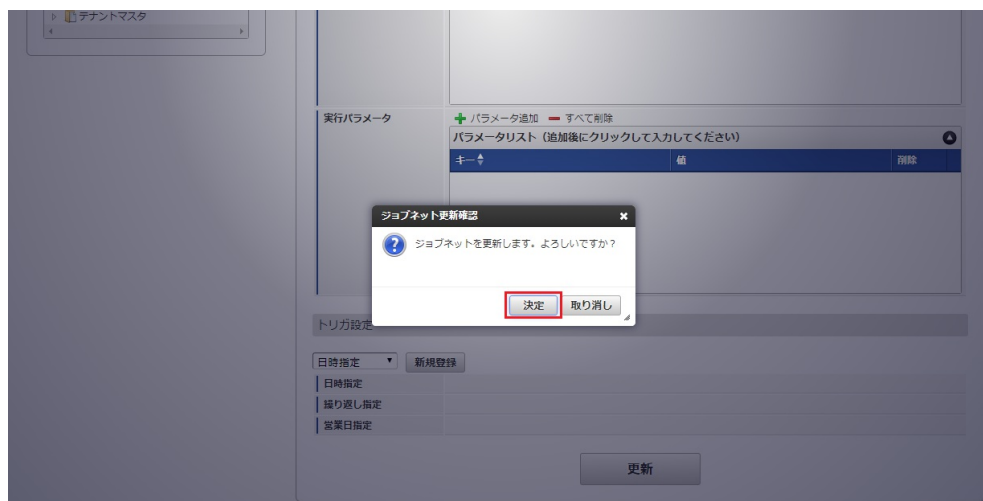
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-import-03-user	Kaiden! / 出張なび / インポート / 出張なびユーザマッピング

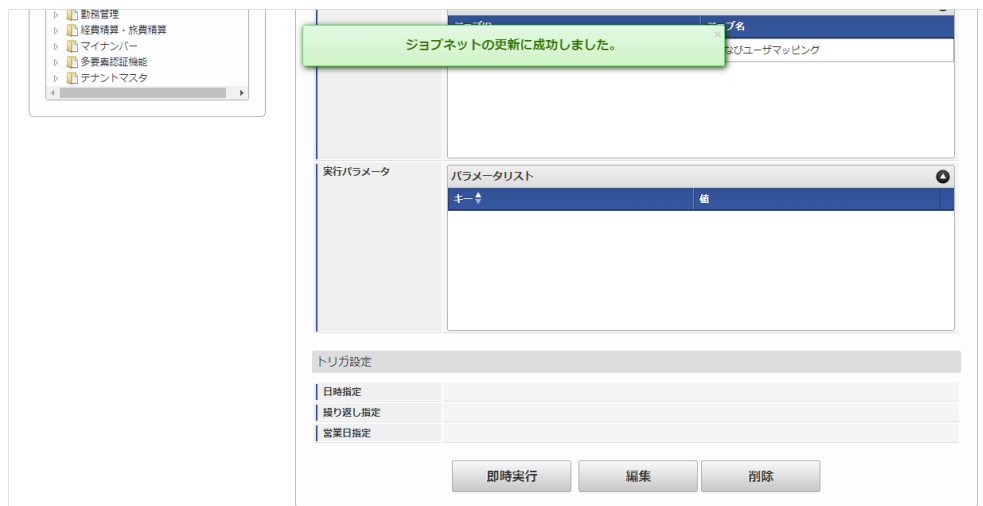
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/trip_navi_user/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/trip_navi_user/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterid	インポートするマスタのIDを設定します。 出張なびユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

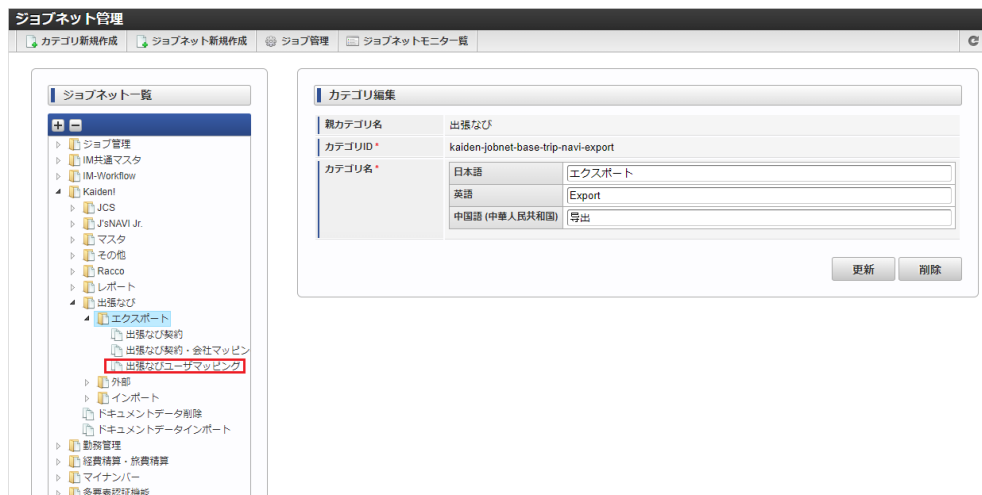
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

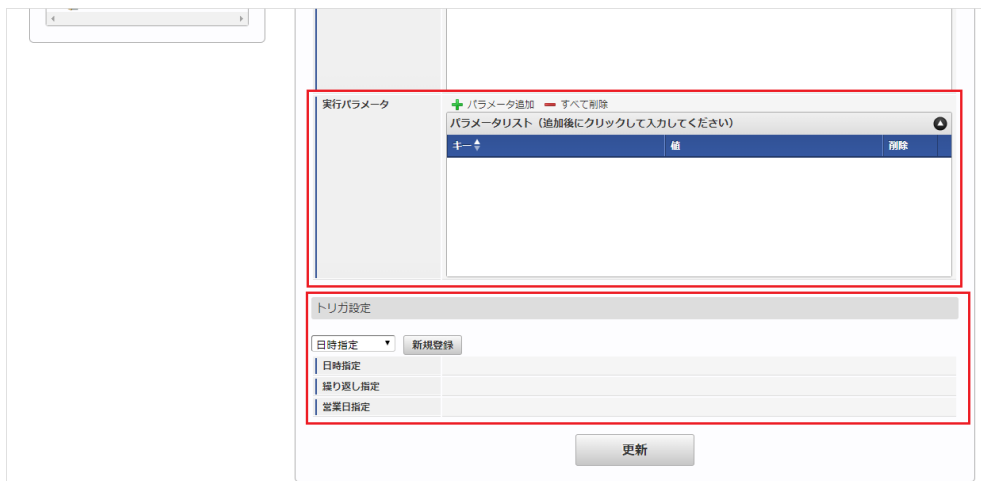
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「出張なびユーザマッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-trip-navi-export-03-user	Kaiden! / 出張なび / エクスポート / 出張なびユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/trip_navi_user/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
entpCd	企業コード	
empCd	社員番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/trip_navi_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 出張ナビユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「trip_navi_user」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

出張ナビ実績データインポート

本機能については、「出張ナビ」のご契約後にお問い合わせください。

リファレンス

実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「出張ナビ」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「出張ナビ」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- 出張ナビ関連マスタの設定
- ガジェットインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「出張ナビ」から実績データを取得

「出張ナビ」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! 出張なび連携モジュール」 - 「出張なび設定」を参照して設定してください。

出張なび関連マスタの設定

「出張なび」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
出張なび契約マスタ	「出張なび」との契約情報を管理します。
出張なび契約・会社マッピングマスタ	「出張なび」との契約と会社を紐付けます。
出張なびユーザマッピングマスタ	「出張なび」のユーザとユーザを紐付けます。

ガジェットの入ポート

「出張なび」から実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）	

 コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。

検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると

支払分類を指定した値で反映可能です。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「リファレンス」 - 「インクルードJSP」を参照ください。

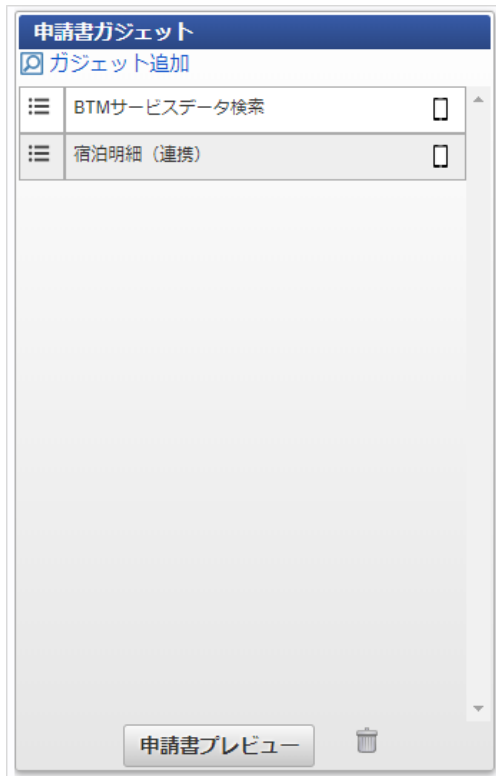
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「出張なび」から実績データを取得

「出張なび」から出張手配の実績データを取得する場合、[出張なび実績データインポート](#)を実施してください。

「出張なび」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「出張なび」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「出張なび」から取得した実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

- [BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)で「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

JCS連携モジュールの操作

概要

本項では、JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際の概要を説明します。

JCS連携モジュールを使用すると、Kaiden!事前申請時に「JCS」で宿泊手配を実施し、取得した宿泊データでKaiden!の精算を実施できます。

「JCS」と連携するためには、「JCS」の利用契約が必要です。

「JCS」は、宿泊予約・管理サービスです。

詳細は「JCS」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- JCS連携モジュール
「JCS」との連携機能を提供します。

- JCS
宿泊予約・管理サービスを提供し、実績データをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

JCS連携モジュールを使用して、「JCS」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

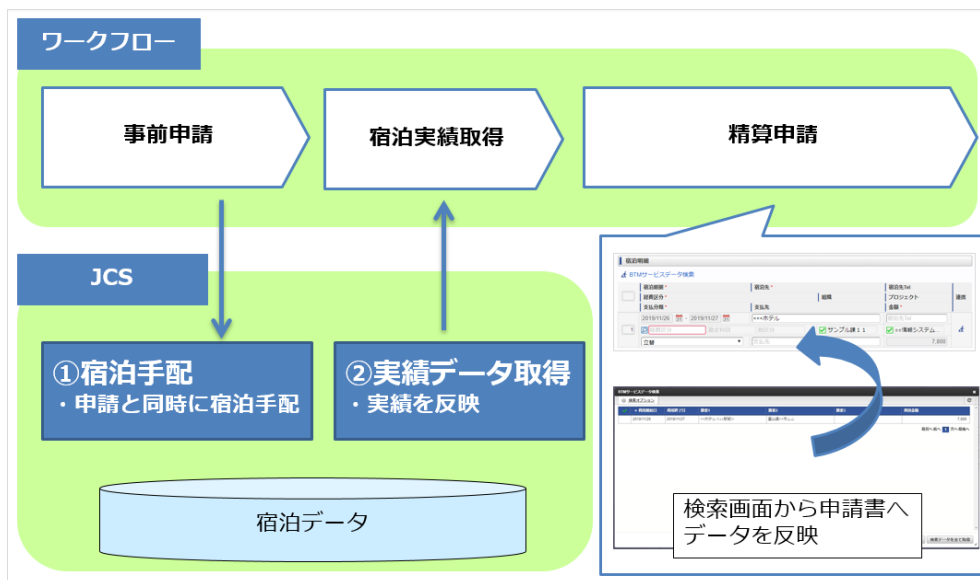
「JCS」から宿泊データを取得する機能はJCS連携モジュールに含まれています。

ワークフローを使用して、事前申請・精算申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールも選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	JCS連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

連携イメージ

本項では、「JCS」の宿泊予約サービスと連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

JCS契約マスタ

本項では、JCS契約マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCS契約マスタは、連携する「JCS」の契約情報を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 提携先識別CD
「JCS」に登録している提携先識別CDを入力します。
- エージェントCD
「JCS」に登録しているエージェントCDを入力します。
- 企業CD
「JCS」に登録している企業CDを入力します。
- 企業名
企業名をロケール別に入力します。
- シームレスログインURL
「JCS」にシングルサインオンする際のURLを入力します。
「シームレスログインURL」は、「[JCS宿泊実績データ取得](#)」でデータを取得する際も使用します。
- シームレスログイン共通鍵
「JCS」にシングルサインオンする際の共通鍵を入力します。
符号付十進数表記で、指定された値をカンマ区切りで入力してください。
「シームレスログイン共通鍵」は、「[JCS宿泊実績データ取得](#)」でデータを取得する際も使用します。
- 追加送付先メールアドレス
「JCS」にシングルサインオンして予約するときに、予約会員以外に予約通知メールの送信を強制する場合、送信先のメールアドレスを入力してください。
「追加送付先メールアドレス」を指定した場合、予約時にユーザが予約通知メールの送信先を変更することはできません。
- 上限金額超過時共有メールアドレス
「JCS」にシングルサインオンして予約するときに、予約会員以外に上限金額超過時共有メールの送信を強制する場合、送信先のメールアドレスを入力してください。
「上限金額超過時共有メールアドレス」を指定した場合、予約時にユーザが上限金額超過時共有メールの送信先を変更することはできません。

- 担当者所属会社
担当者が所属する会社を選択します。
- 担当者
担当者を選択します。
- 備考
契約に関する備考を入力します。

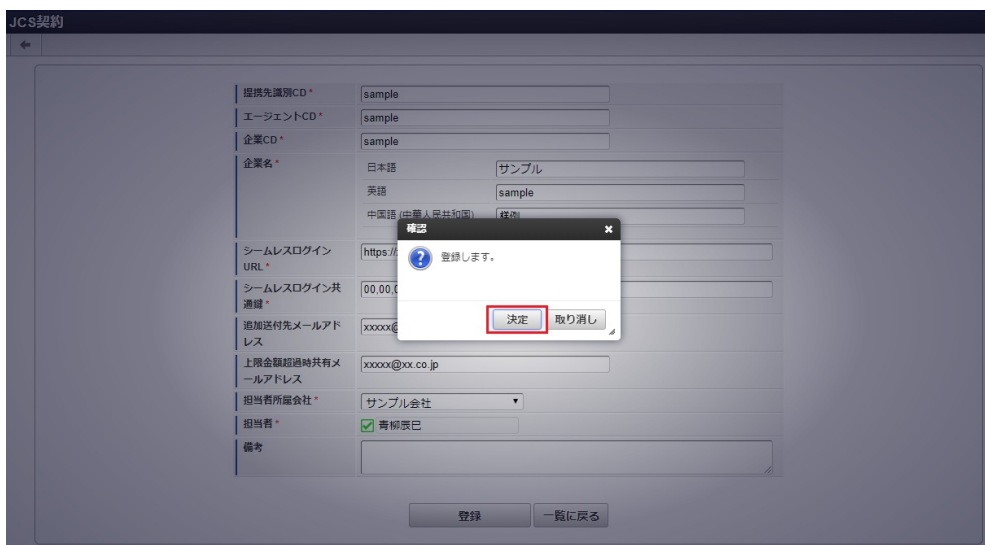
i コラム

「JCS宿泊実績データ取得」でデータを取得する際、ユーザが特定できない場合、担当所属会社、担当者に振替を行います。

i コラム

「担当所属会社」、「担当者」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD
- 企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

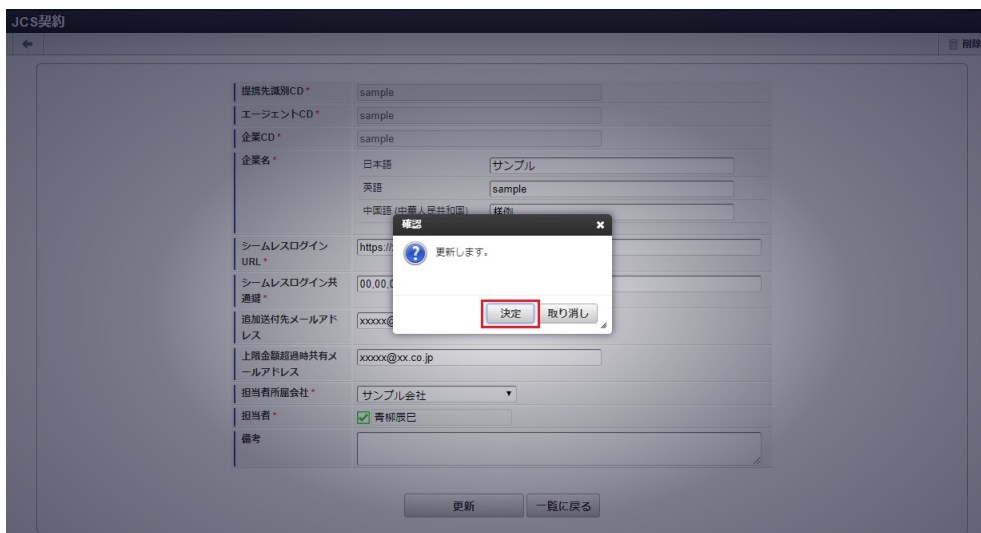
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

■ ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

■ データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	提携先識別CD	○	20	
2	エージェントCD	○	20	
3	企業CD	○	20	
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
5	企業名	○	250	
6	シームレスログインURL	○	1000	
7	シームレスログイン共通鍵	○	100	
8	追加送付先メールアドレス		100	
9	上限金額超過時共有メールアドレス		100	
10	担当者所属会社コード	○	100	
11	担当者	○	100	
12	備考		250	

データサンプル

```
"sample","sample","sample","en","sample","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_
"sample","sample","sample","ja","サンプル
ル","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
"sample","sample","sample","zh_CN","□
品","https://xxxxxxxxxxxxxx","100,100,100,100,100","xxxxxx@xxxxxx","xxxxxx@xxxxxx","comp_sample_01","aoyagi","SAMPLE"
```


i コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_contract

ファイル名 import.csv

i コラム

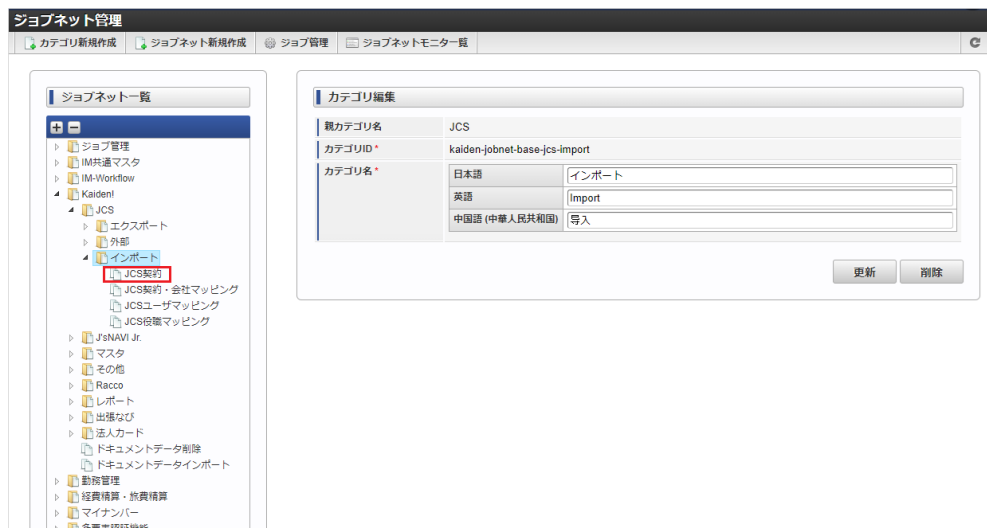
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

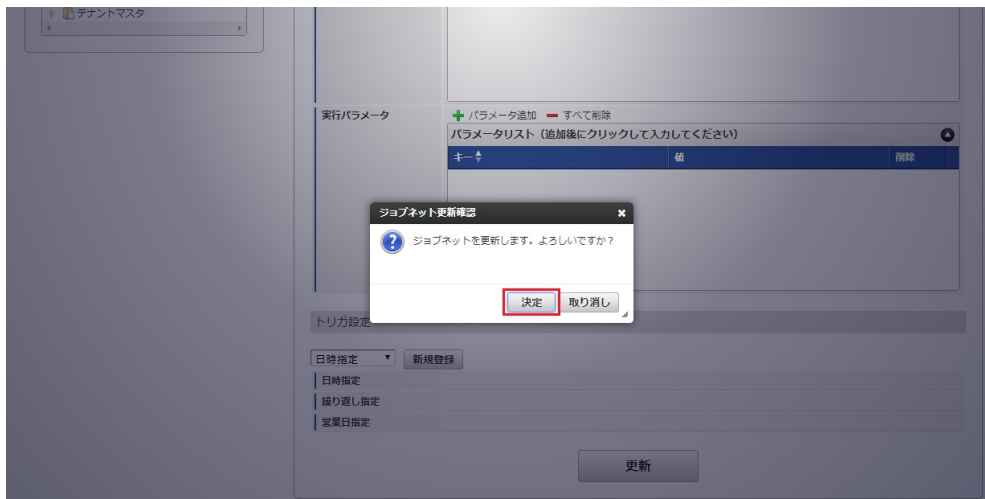
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

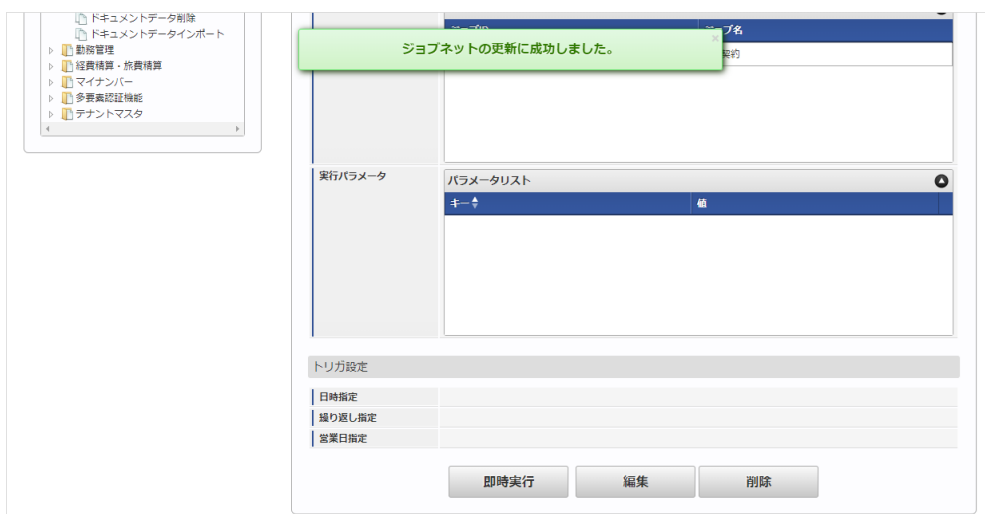
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-01-contract	Kaiden! / JCS / インポート / JCS契約

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_contract/import.csv)

名称	キー	説明/設定値
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , :カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 JCS契約マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

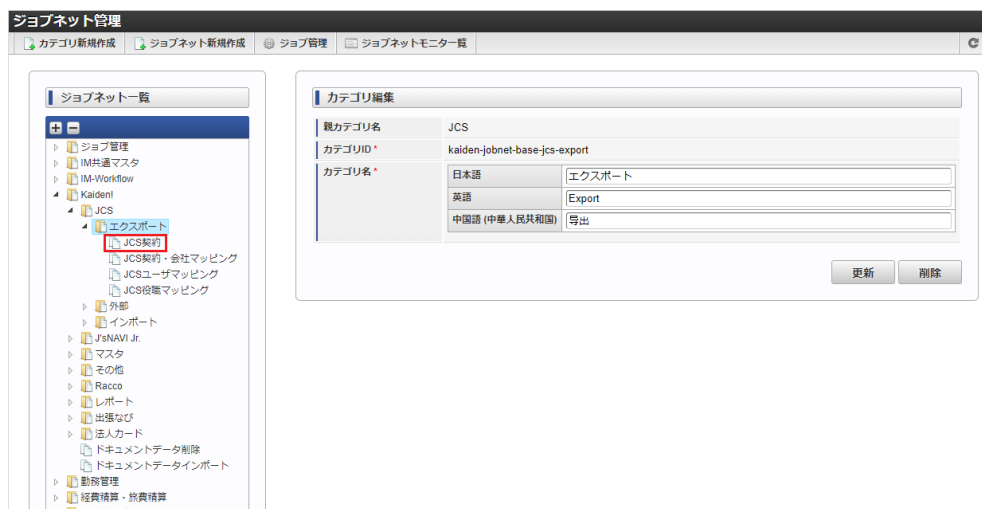
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

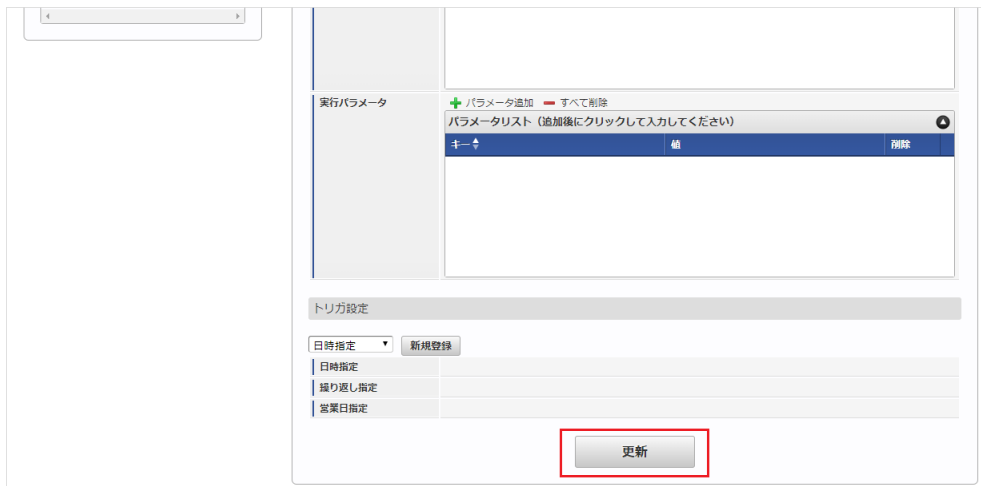
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

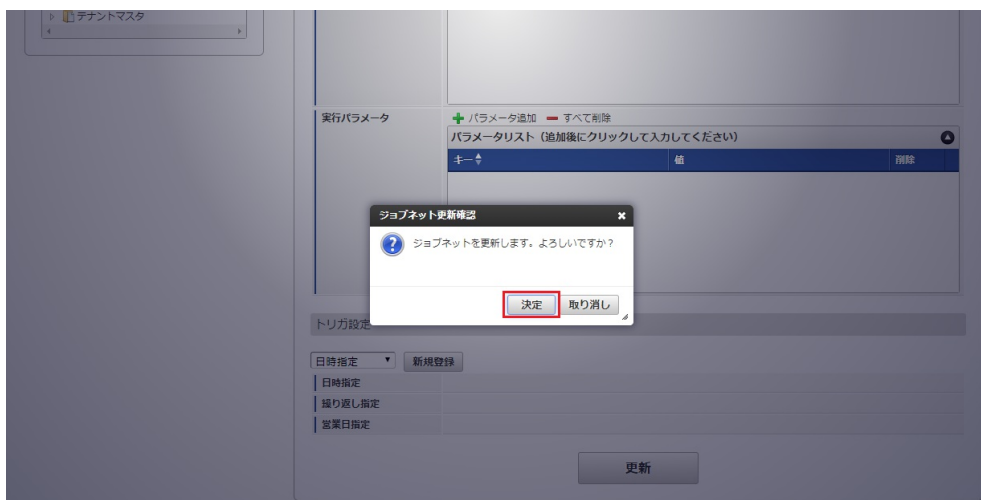
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-01-contract	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS契約

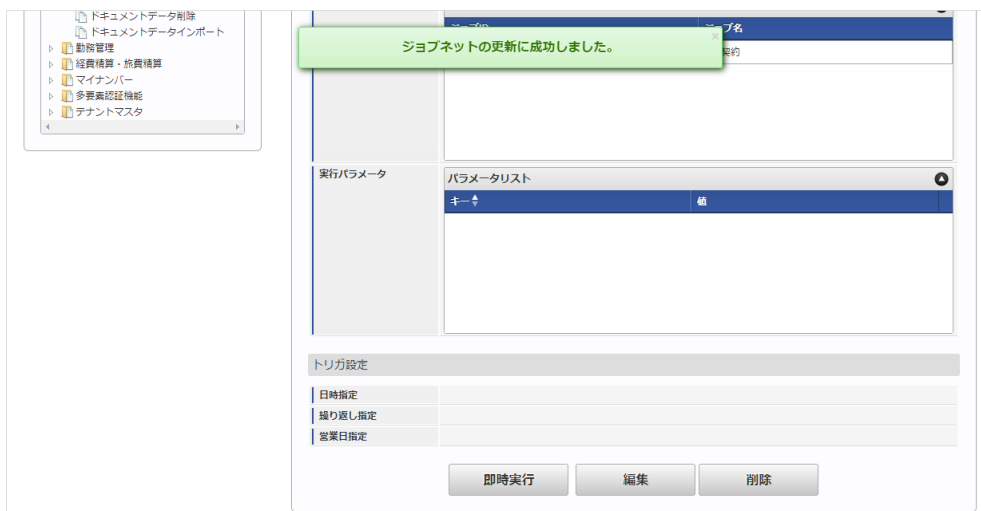
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_contract

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
jcsCd	提携先識別CD	
agentCd	エージェントCD	
corporateCd	企業CD	
localeId	ロケールID	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
corporateName	企業名	
ssoUrl	シームレスログインURL	
ssoPublicKey	シームレスログイン共通鍵	
addMailAddress	追加送付先メールアドレス	
exceededMailAddress	上限金額超過時共有メールアドレス	
chargeCompanyCd	担当者所属会社	
chargeUserCd	担当者	
note	備考	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/export.csv)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_contract/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 JCS契約マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_contract」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

JCS契約・会社マッピングマスタ

本項では、JCS契約・会社マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

JCS契約・会社マッピングマスタは、会社に対する契約の紐付けを管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

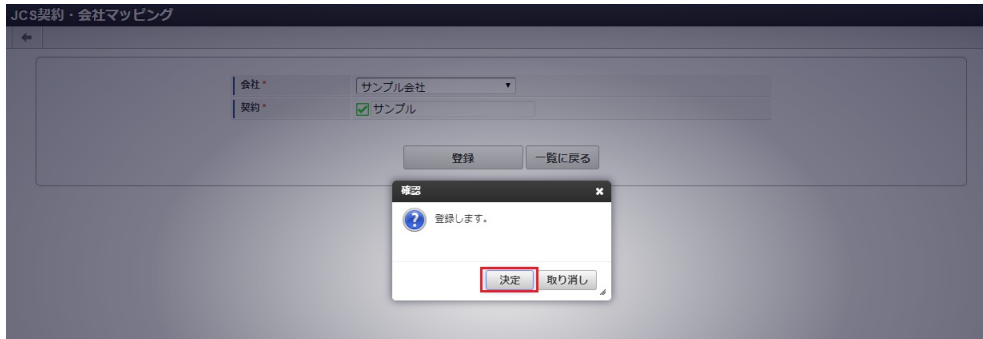


- 会社
「JCS」の契約と紐付ける会社を選択します。
- 契約
「JCS」に登録済みの契約を選択します。

コラム

「会社」は、一覧画面の検索基準日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マスタメンテナンス」→「JCS」→「契約・会社マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい契約・会社マッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 提携先識別CD
- エージェントCD
- 企業CD
- 企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

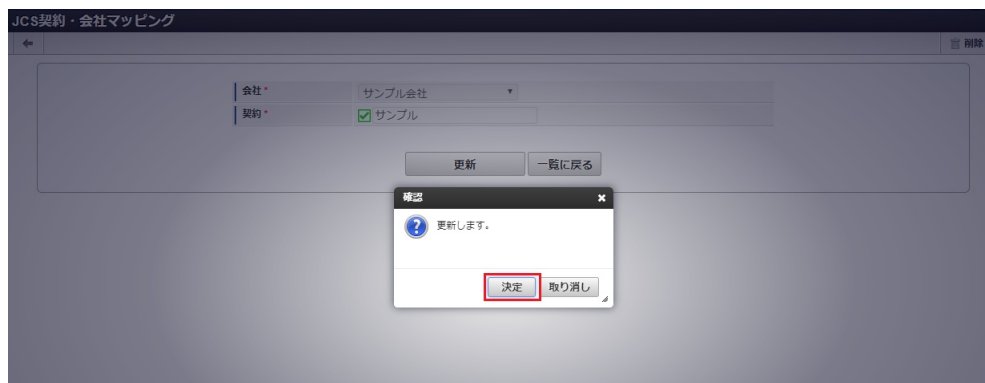
4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



! 注意

項目の編集は不可能で削除が可能です。

1. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



2. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 ""

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	提携先識別CD	○	20	
3	エージェントCD	○	20	
4	企業CD	○	20	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","sample","sample"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_company

ファイル名 import.csv

コラム

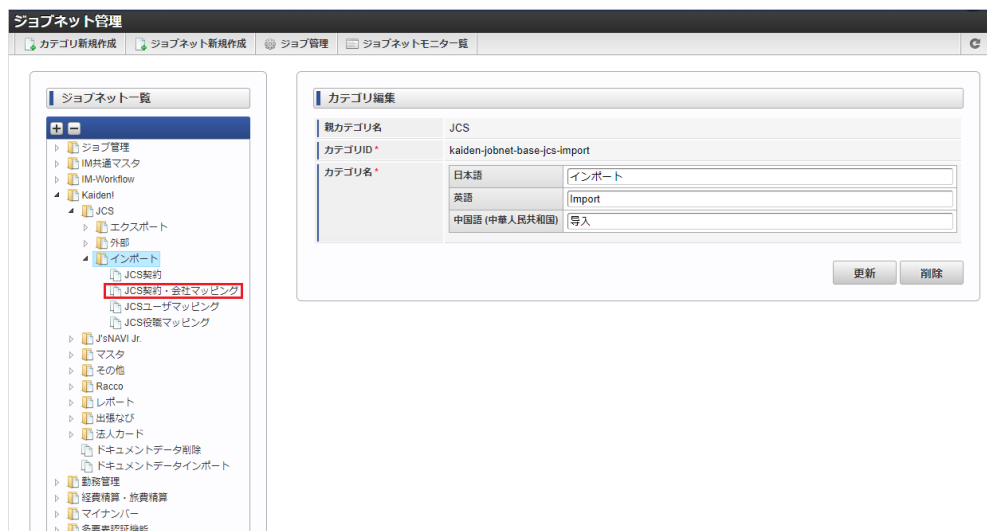
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-02-	Kaiden! / JCS / インポート / JCS契約・会社マッピング company

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_company/import.csv)
処理後のインポートファイル の操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1)
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 1：操作なし ■ 2：コピー(copy) ■ 3：アーカイブ(move) ■ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ■ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ■ 6：削除(delete) ■ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ■ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_company/import_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読み開始行数	start_rows	インポートファイルの読み開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterid	インポートするマスタのIDを設定します。 JCS契約・会社マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

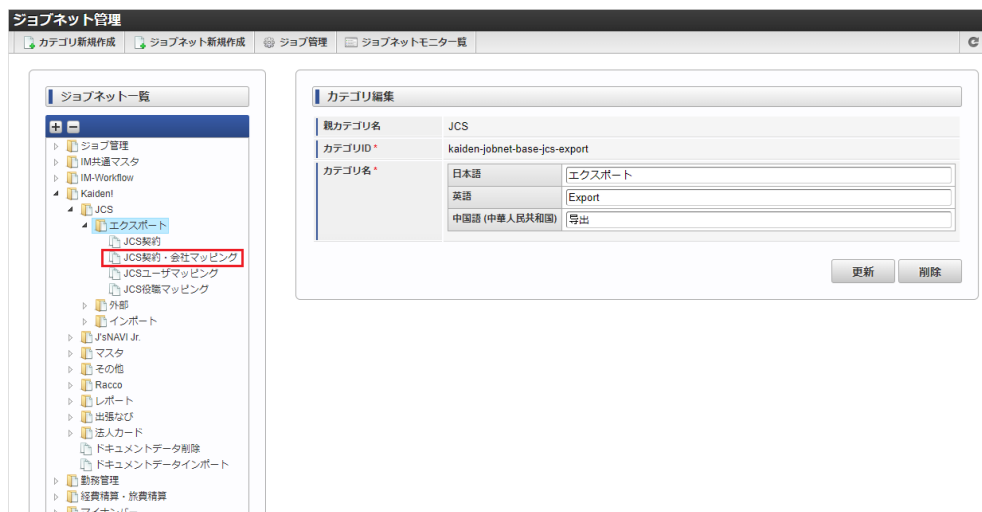
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

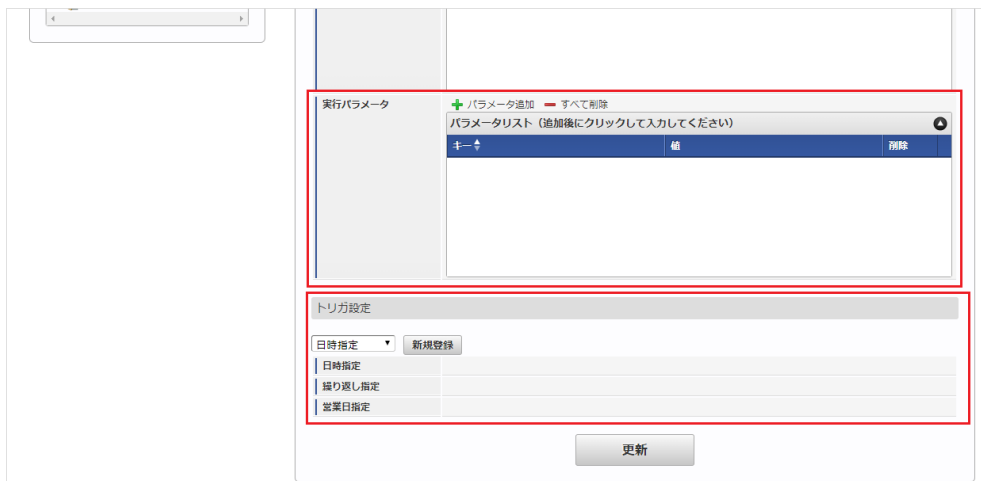
- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS契約・会社マッピング」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-02-	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS契約・会社マッピング company

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_company/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsCd	提携先識別CD	
agentCd	エージェントCD	
corporateCd	企業CD	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcs_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：既存ファイルに追記 2：既存ファイルを削除し、エクスポート 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート

名称	キー	説明 / 設定値
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_company/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 JCS契約・会社マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_company」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

JCSユーザマッピングマスタ

本項では、JCSユーザマッピングマスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

JCSユーザマッピングマスタは、「JCS」から取得する宿泊データに紐づくユーザと「Kaiden!」のユーザを紐付けます。メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSユーザマッピング」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
ユーザを紐付ける会社を選択します。
- ユーザ
ユーザを設定します。
- 契約
「JCS」との契約を選択します。
- 従業員コード
JCS」の従業員コードを入力します。

コラム

「会社」、「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	ユーザ	ユーザ名	開始日	終了日	契約企業名
1	abyagi	青柳辰巳	2000/01/01	2999/12/31	サンプル

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSユーザーマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいJCSユーザマッピングマスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名
- 契約企業名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
2	ユーザコード	○	100	IM-共通マスタのユーザコード
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
1	会社コード	○	100	IM-共通マスタの会社コード
6	提携先識別CD	○	20	
6	エージェントCD	○	20	
6	企業CD	○	20	
7	従業員コード	○	20	

データサンプル

```
"aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","comp_sample_01","sample","sample","sample","123456"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_user

ファイル名 import.csv

i コラム

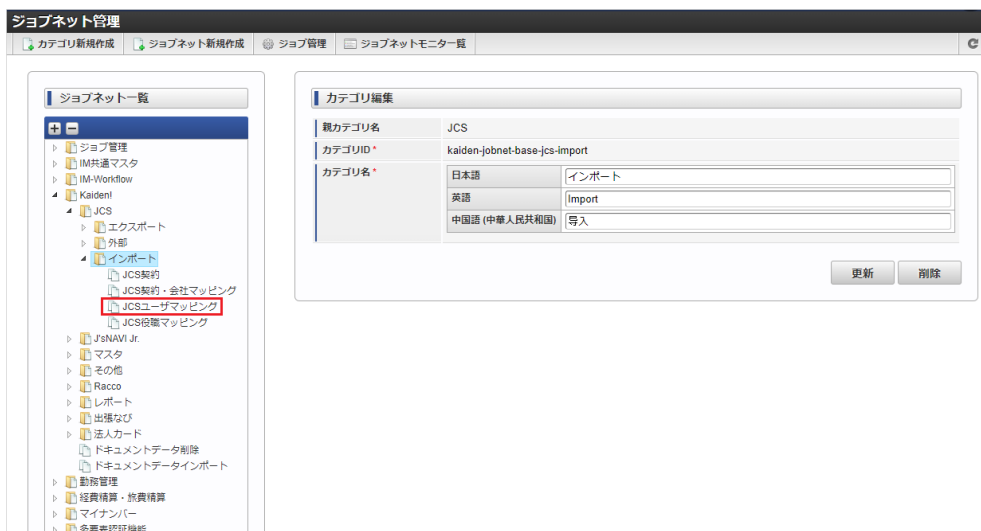
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCSユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

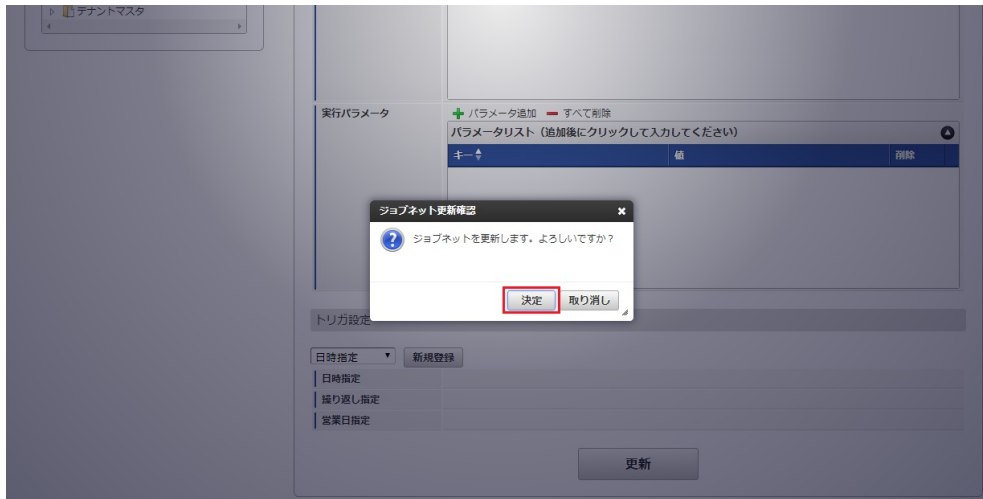
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-03-user	Kaiden! / JCS / インポート / JCSユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明 / 設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 JCSユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

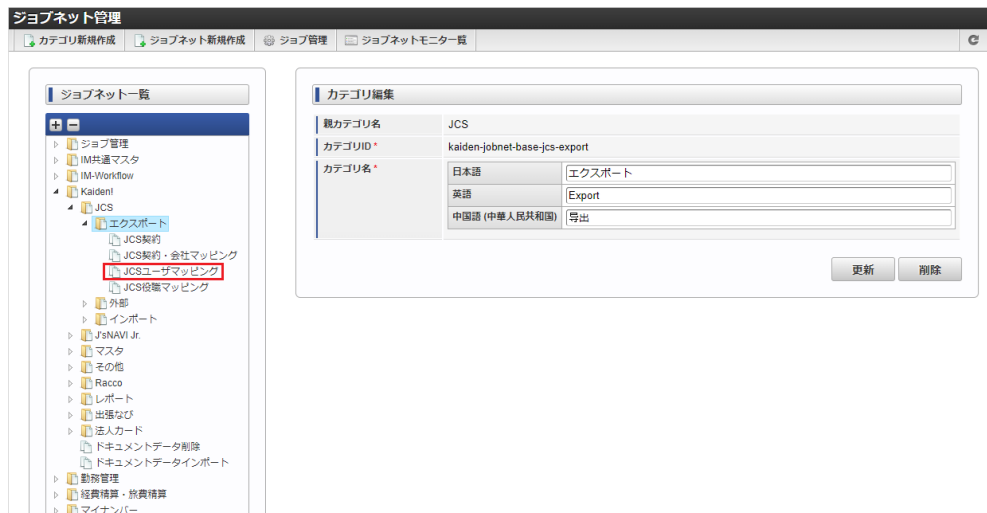
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「JCSユーザマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-03-user	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCSユーザマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcs_user/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	IM-共通マスタのユーザコード
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
imCompanyCd	会社コード	IM-共通マスタの会社コード
jcsCd	提携先識別CD	
agentCd	エージェントCD	
corporateCd	企業CD	
empCd	社員番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：全件出力モード ■ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ■ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日（yyyy/mm/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/jcs_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 JCSユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcs_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

JCS役職マッピングマスタ

本項では、JCS役職マッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

JCS役職マッピングマスタは、「JCS」の役職と「Kaiden!」の役職を紐付けます。

「JCS」で宿泊手配する際、役職別の上限金額を設定できます。

「JCS」にシングルサインオンする際、「Kaiden!」の役職に紐づく「JCS」の役職を算出し、宿泊の上限金額が設定されます。

役職別の上限金額については、「JCS」の設定が必要です。

詳細は「JCS」のマニュアルを参照ください。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS役職マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 会社
会社を選択します。
- JCS役職コード
「JCS」で設定した役職コードを入力します。
- JCS役職名
役職名を入力します。
- 優先度
優先度を入力します。
役職が複数の「JCS」の役職に紐づけられている場合、数字が小さいほど優先度が高く設定されます。
- 役職
役職を選択します。

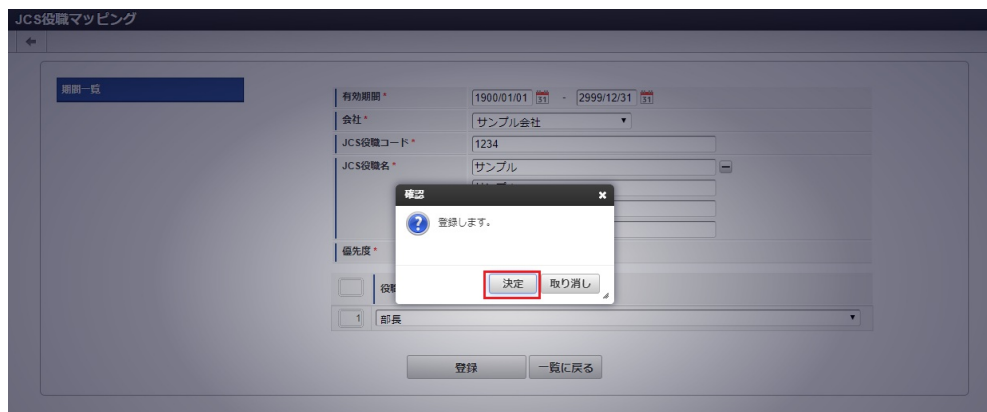
i コラム

「会社」、「役職」は、開始日を検索基準日としています。

i コラム

明細機能の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCS 役職マッピング」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したい従業員口座の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- JCS 役職コード
- JCS 役職名

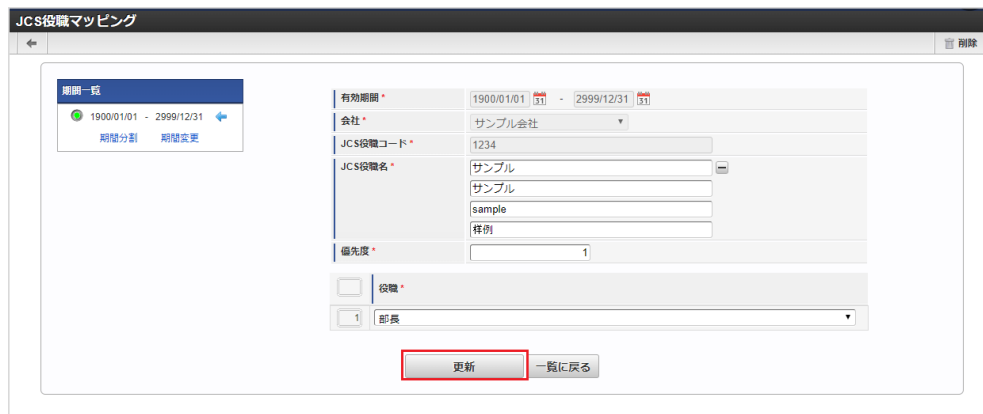
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

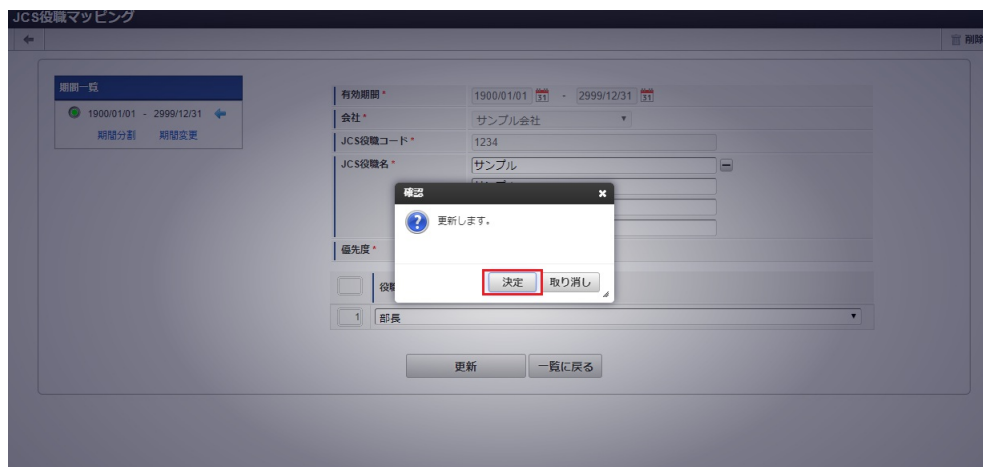
4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- JCS役職コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

■ データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	JCS役職コード	○	20	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
5	開始日	○	10	yyyy/MM/dd形式
6	終了日	○	10	yyyy/MM/dd形式
7	JCS役職名	○	250	
8	優先度	○	15	
9	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","term01","ja","1900/01/01","1999/12/31","サンプル","1","1"
"comp_sample_01","sample","term01","en","1900/01/01","1999/12/31","Sample","1","1"
"comp_sample_01","sample","term01","zh_CN","1900/01/01","1999/12/31","样品","1","1"
"comp_sample_01","sample","term02","ja","2000/01/01","2999/12/31","サンプル","1","0"
"comp_sample_01","sample","term02","en","2000/01/01","2999/12/31","Sample","1","0"
"comp_sample_01","sample","term02","zh_CN","2000/01/01","2999/12/31","样品","1","0"
```



コラム

上記は、日本語・英語・中国語の3ロケールを持つ場合のファイル例です。
項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。



コラム

「期間コード」は、「会社コード」、「JCS役職コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」、「JCS役職コード」、期間が同じで「ロケールID」が異なるデータは、同じ期間コードを設定します。
「会社コード」、「JCS役職コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

■ データ形式

import_detail.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	JCS役職コード	○	100	
3	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
4	タプルID	○	18	
5	行番号	○	18	
6	役職コード	○	100	

データサンプル

```
"comp_sample_01","sample","term01","0","1","sample"
"comp_sample_01","sample","term02","0","1","sample"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「import_header.csv」、「import_detail.csv」で設定された「会社コード」、「JCS役職コード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/jcsPostMapping

ファイル名 import_header.csv import_detail.csv

i コラム

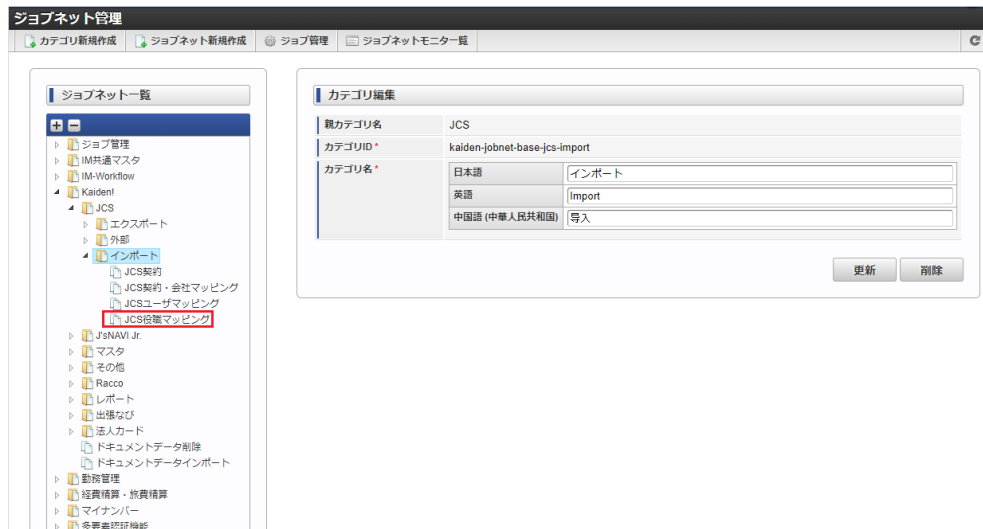
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS役職マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

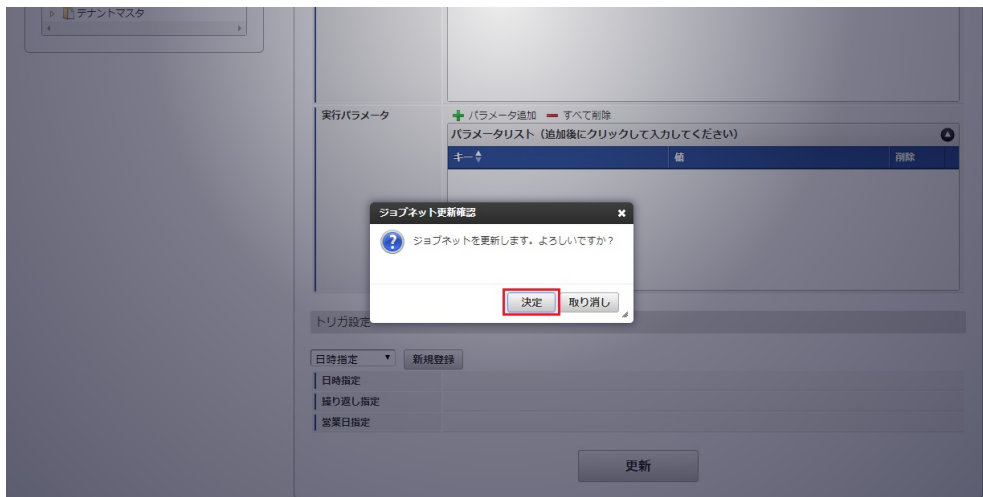
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

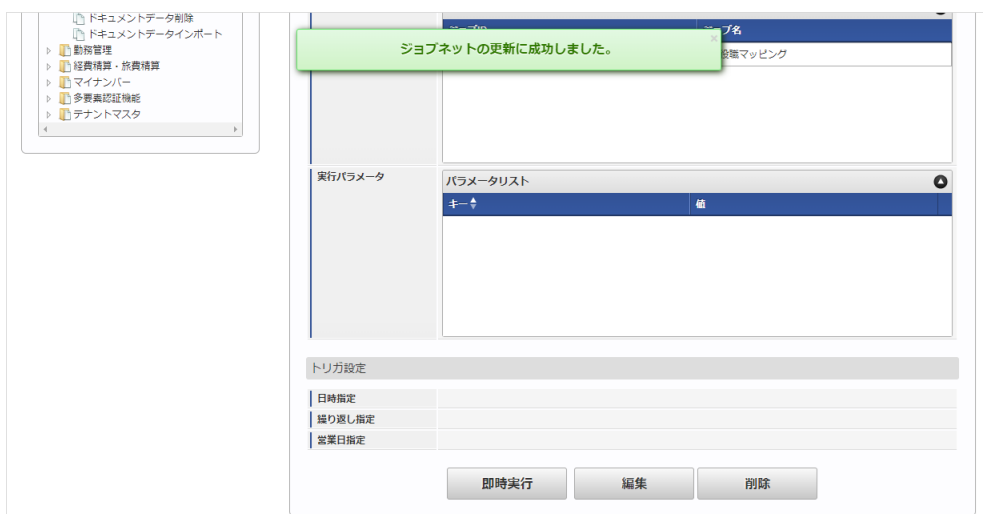
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-import-04-post	Kaiden! / JCS / インポート / JCS役職マッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：単一期間（差分）モード ▪ 2：単一期間（一新）モード ▪ 3：単一期間（入替）モード ▪ 4：複数期間（差分）モード ▪ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/jcsPostMapping/import_header.csv import_detail.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：操作なし ▪ 2：コピー(copy) ▪ 3：アーカイブ(move) ▪ 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6：削除(delete) ▪ 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/jcsPostMapping/import_header_{YMDHMSN}.csv import_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 JCS役職マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 JCS役職マッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcsPostMapping」を設定しています。

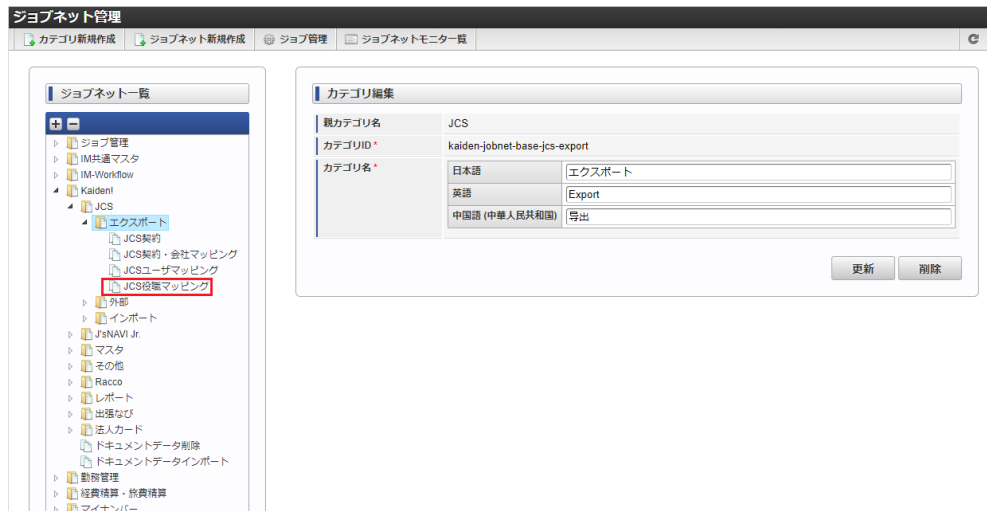
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

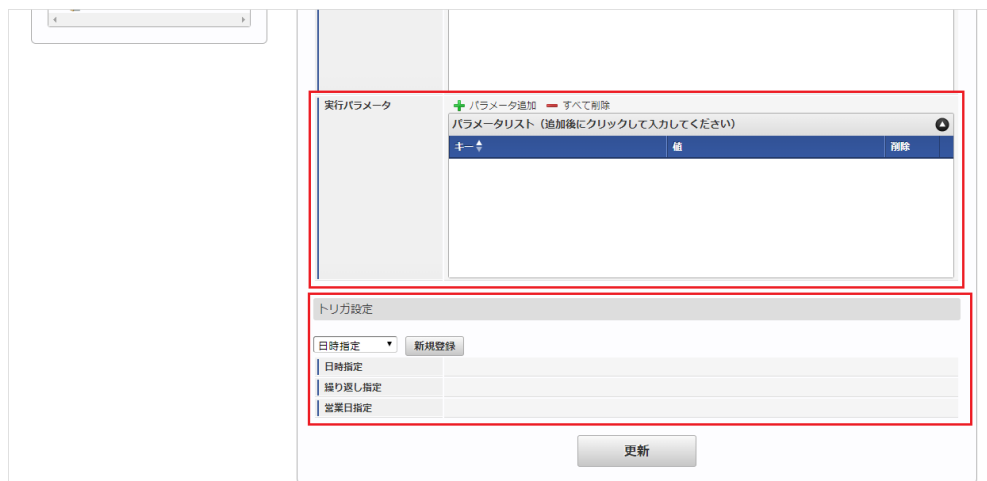
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS役職マッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

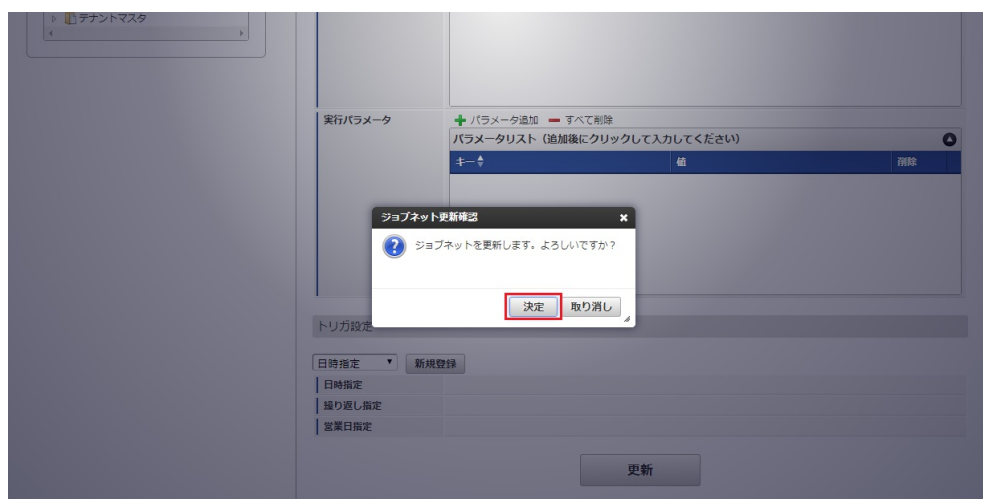
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-export-04-post	Kaiden! / JCS / エクスポート / JCS役職マッピング

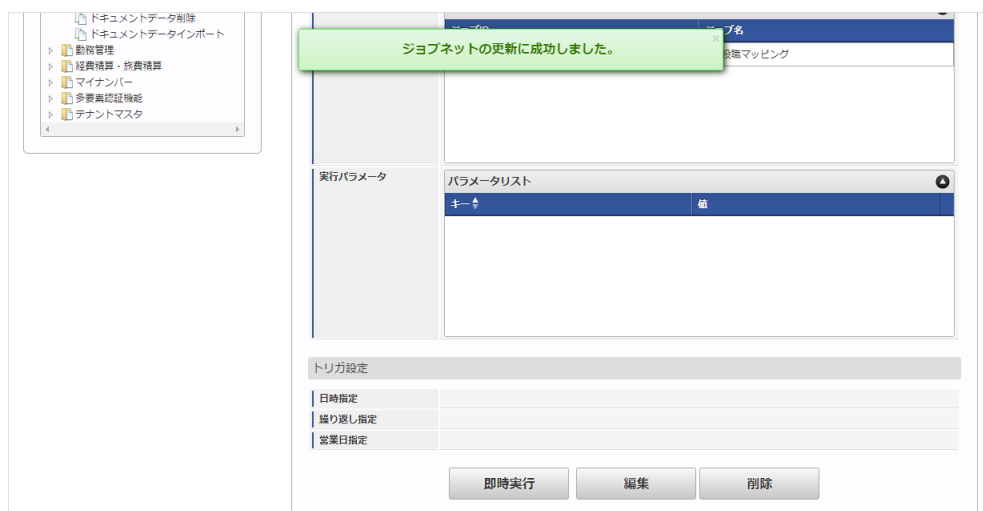
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/%会社コード%/master/jcsPostMapping/
ファイル名	export_header.csv export_detail.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsPostCd	JCS役職コード	
termCd	期間コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
jcsPostName	JCS役職名	
priority	優先度	
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_detail.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
jcsPostCd	JCS役職コード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
postCd	役職コード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時 : false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時 : 10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 全件出力モード ▪ 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) ▪ 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jcsPostMapping/export_header.csv export_detail.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1 : 既存ファイルに追記 ▪ 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/%会社コード%/master/jcsPostMapping/export_header_{YMDHMSN}.csv export_detail_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし

名称	キー	説明/設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 JCS役職マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 JCS役職マッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「jcsPostMapping」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

JCSへのシングルサインオン

本項では、JCSへのシングルサインオン方法を説明します。

- 概要
- 認可設定
- シングルサインオン

概要

JCSへKaiden!からシングルサインオンする方法は以下2種類あります。

- JCSシングルサインオン機能からアクセス
- 宿泊手配(JCS連携)ガジェットを含む申請書からアクセス

本項では、JCSシングルサインオン機能からアクセスする方法について説明します。

JCSシングルサインオン機能を使用する場合、Kaiden!の事前申請と紐づけることはできません。

宿泊手配(JCS連携)ガジェットについては、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』を参照ください。

認可設定

JCSシングルサインオン機能をする場合、認可設定を変更してください。

初期状態では、認可が禁止の状態に登録されています。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「認可」→をクリックします。
- 「Kaiden!」→「JCS」→「JCSシングルサインオン」の認可を許可設定します。

リソース	アクション	認証	組織	ロール	ゲストユーザ	承認済みユーザ	サンプル会社	その他会社	テナント管理者	委託管理者	メニュー管理者	メニュー適用管理者	アカウント管理者	ロール管理者	カレンダー管理者	ジョブスケジューラ管理者	M連携マスタ管理者	M連携マスタ適用管理者	ポータル管理者	Kaiden! 管理者
JCS																				
JCS契約・会社マッピング	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
JCS契約	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
JCS役職マッピング	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
しせらんコーポレートサー	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	禁止
JCSユーザマッピング	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
JcsNAM Jr	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
出張手配	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
ユーザマッピング	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
出張手配実績データ登録	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
出張手配代理	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
契約・会社マッピング	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可
契約	実行	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可	許可

シングルサインオン

JCSシングルサインオン機能の使用方法を説明します。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「JCS」→「JCSシングルサインオン」をクリックします。



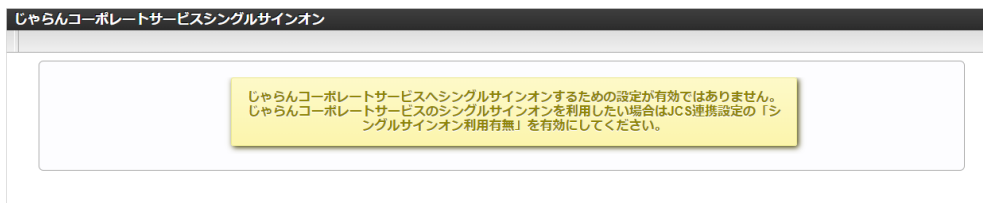
2. 「ログイン」ボタンをクリックすると、「JCS」にシングルサインオンします。



3. JCSユーザマッピングマスタに登録がないユーザでJCSシングルサインオン機能にアクセスすると、ログインボタンは表示されません。



4. 以下メッセージが表示される場合、『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』を参照して設定ファイルを変更してください。



JCS宿泊実績データ取得

本項では、「JCS」から宿泊実績データを取得／登録する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- 取得データ

概要

JCS宿泊実績データ取得は、指定された[JCS契約マスタ](#)の情報に基づき「JCS」に接続し、宿泊実績データを取得します。

[JCS契約マスタ](#)の「シームレスログインURL」を使用して「JCS」と通信します。

ジョブ実行日時時点で有効なユーザが[JCSユーザマッピングマスタ](#)に登録されていない場合、[JCS契約マスタ](#)の「担当者所属会社」、「担当者」を利用会社、利用者に設定します。

JCS宿泊実績データ取得後、JCS宿泊実績データ登録ジョブを実行して取得したデータを登録します。

登録したデータは[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)で参照可能です。

コラム

チェックアウト済のデータと、チェックアウト後に変更が発生したデータを日々取得してください。

変更データ取得フラグ、チェックアウト開始日、チェックアウト終了日を未設定にして毎日実行すると、前日にチェックアウトした宿泊実績を日々取得できます。

また、変更データ取得フラグを「true」に設定し、予約ステータス更新日時開始日、予約ステータス更新日時終了日を未設定にして毎日実行すると、前日に予約ステータスを変更し、システム日付時点でチェックアウト済の宿泊実績データを取得します。

コラム

宿泊予約を変更した場合、金額が同じデータが複数取り込まれる場合があります。

精算が必要なデータのみ精算申請し、精算が不要なデータは[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)で精算不要にメンテナンスしてください。

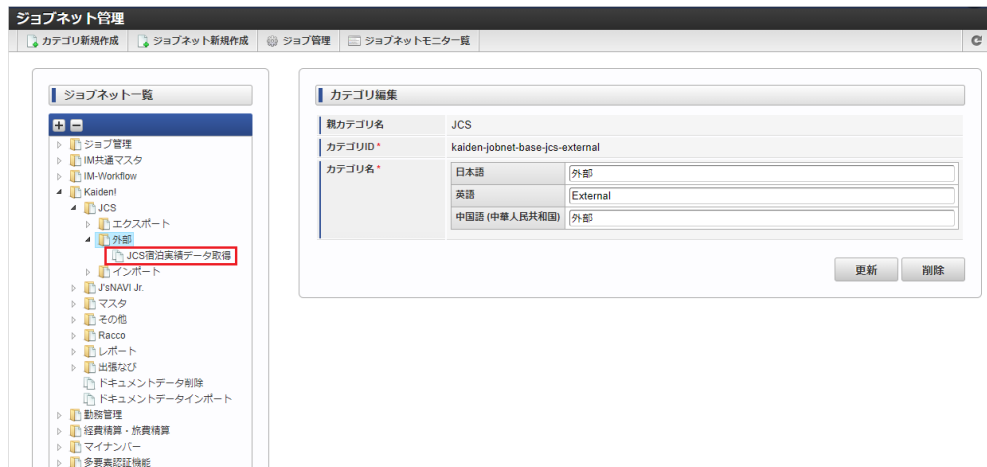
! 注意

JCS宿泊実績データ取得を、日に3回以上実施しないでください。
詳細はJCSにお問い合わせください。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

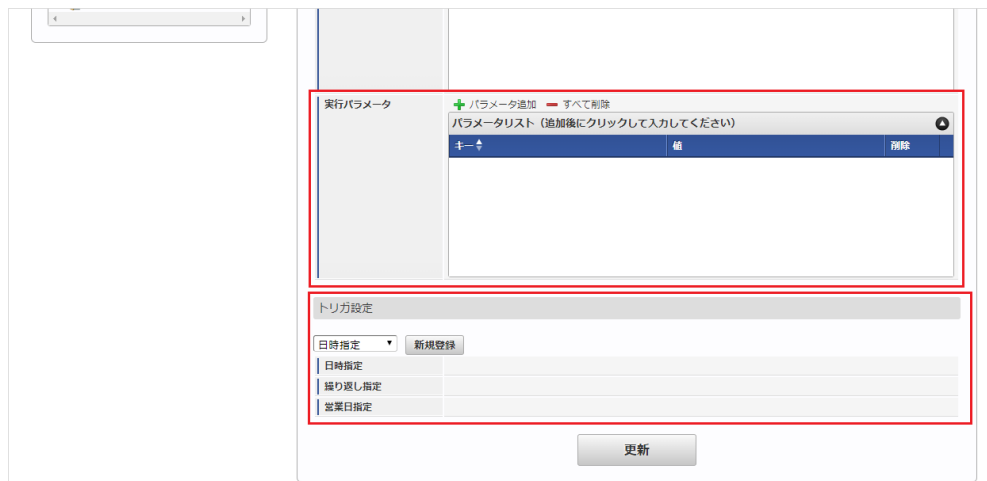
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「JCS宿泊実績データ取得」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

**i** コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

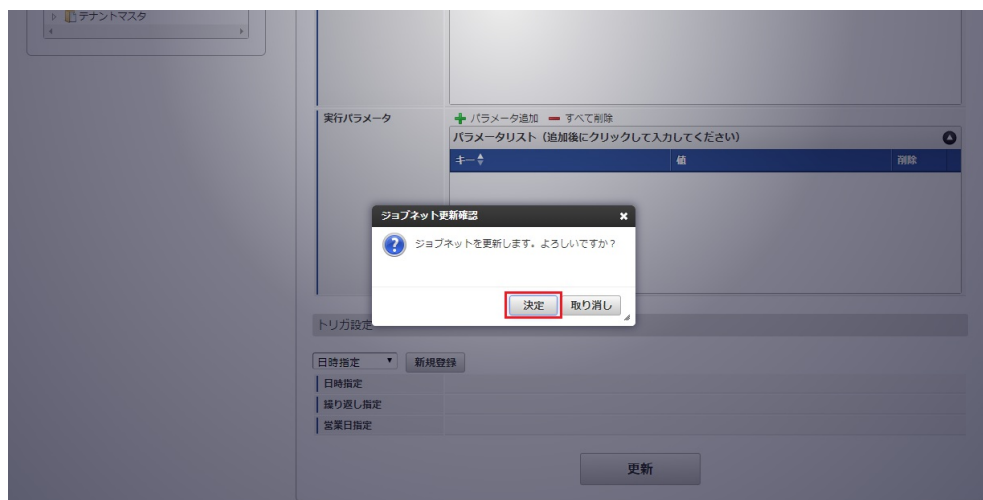
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-jcs-external-import	Kaiden! / JCS/ 外部 / JCS宿泊実績データ取得
kaiden-job-base-jcs-external-entry	Kaiden! / JCS/ 外部 / JCS宿泊実績データ登録

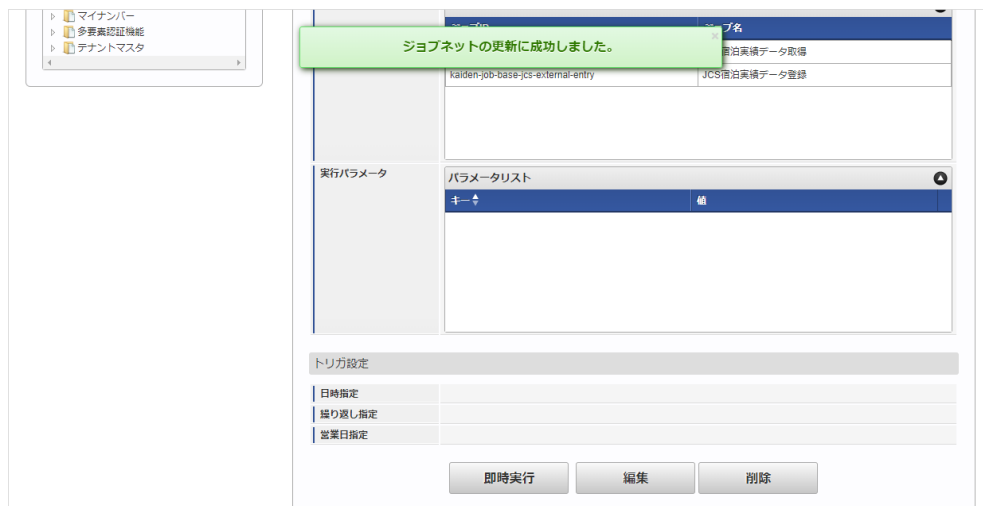
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。





コラム

ジョブネットの設定（実行）後、[BTM サービス利用実績データメンテナンス](#)でデータ取得が正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

各実行パラメータに記載がない場合、「JCS宿泊実績データ取得」、「JCS宿泊実績データ登録」両方のジョブで使用されます。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
提携先識別CD	jcs_cd	宿泊実績取得元の JCS契約マスタ で設定した「提携先識別CD」を設定します。 「提携先識別CD」を設定する場合、「エージェントCD」、「企業CD」が必須です。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
エージェントCD	agent_cd	宿泊実績取得元の JCS契約マスタ で設定した「エージェントCD」を設定します。 「エージェントCD」を設定する場合、「提携先識別CD」、「企業CD」が必須です。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
企業CD	agent_cd	宿泊実績取得元の JCS契約マスタ で設定した「企業CD」を設定します。 「企業CD」を設定する場合、「提携先識別CD」、「エージェントCD」が必須です。 (省略時：登録済みの全契約を対象とします。)
チェックアウト日開始日	checkout_from	「JCS宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「チェックアウト日開始日」から「チェックアウト日終了日」の期間内にチェックアウトしたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「false」の場合使用します。 (省略時：ジョブ実行日の前日)
チェックアウト日終了日	checkout_to	「JCS宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「チェックアウト日開始日」から「チェックアウト日終了日」の期間内にチェックアウトしたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「false」の場合使用します。 (省略時：ジョブ実行日の前日)
予約ステータス更新日時開始日	update_from	「JCS宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「予約ステータス更新日時開始日」から「予約ステータス更新日時終了日」の期間内に「JCS」で予約ステータスが更新されたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「true」の場合使用します。 (省略時：ジョブ実行日の前日)
予約ステータス更新日時終了日	update_to	「JCS宿泊実績データ取得」で取得するデータの開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 設定した場合、「予約ステータス更新日時開始日」から「予約ステータス更新日時終了日」の期間内に「JCS」で予約ステータスが更新されたデータを取得します。 変更データ取得フラグが「true」の場合使用します。 (省略時：ジョブ実行日の前日)

名称	キー	説明 / 設定値
変更データ取得フラグ	is_change	「JCS宿泊実績データ取得」で変更データの取得有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : システム日付時点でチェックアウト済で、「予約ステータス更新日時開始日/終了日」で指定した期間に変更が発生したデータを取得します。 false : 「チェックアウト日開始日/終了日」で指定した期間にチェックアウトしたデータを取得します。

取得データ

- 取得データ

取得データが登録される形式です。

「k10t_btm_use_data」に登録されます。

項目名	値	備考
relation_service_id	JCS(固定値)	
result_id	予約番号	
company_cd	会社コード	IM-共通マスタ(会社)
user_cd	ユーザコード	IM-共通マスタ(ユーザ)
relation_no	連携パラメータ2	予約の連携番号
contract_system_id	提携先識別CD	
corporate_cd	エージェントCD	
relation_auth_user_id	連携パラメータその他	JCS」の従業員コード
relation_exe_user_id	連携パラメータその他	JCS」の従業員コード
date1	宿泊日	チェックイン日
date2	チェックアウト日	
date3	履歴作成日時	
date4	キャンセル日時	
summary1	宿名	
summary2	プラン名	
summary3	部屋タイプ名	
summary4	都道府県名	
summary5	エリア名	
amount1	金額	精算に使用する金額
amount2	支払い金額	予約ステータスが「予約」、「変更」の場合、「支払い金額」-「使用クーポン額」、「キャンセル」の場合、「精算料金」が設定されます。
amount3	精算料金	予約ステータスが「予約」、「変更」の場合、支払い金額(現ポイント差引額)と同様、「キャンセル」の場合、キャンセル料が設定されます。
amount4	支払い金額(現ポイント差引額)	「支払い金額」-「使用ポイント額」-「使用クーポン額」が設定されません。
amount5	使用クーポン額	
status1	予約ステータス	0: 予約 1: 変更 2: キャンセル
status2	決済種別	0: 現地払 1: カード決済 2: 法人一括決済
quantity1	宿泊日数	
quantity2	部屋数	

quantity3	大人人数(男性)
quantity4	大人人数(女性)

リファレンス

Kaiden!から「JCS」を使用して宿泊手配する方法

本項では、Kaiden!から「JCS」にログインして宿泊手配する方法を説明します。

「JCS」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- JCS関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「JCS」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! JCS連携モジュール」 - 「JCS設定」を参照して設定してください。

JCS関連マスタの設定

「JCS」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

[JCS役職マッピングマスタ](#) の設定は任意です。

マスタ	概要
JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報を管理します。
JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社を紐付けます。
JCSユーザマッピングマスタ	「JCS」のユーザとユーザを紐付けます。
JCS役職マッピングマスタ	「JCS」の役職と役職を紐付けます。

ガジェットのインポート

「JCS」と宿泊手配のデータを連携する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
businessTripArrangement_v03.xml	宿泊手配 (JCS連携)	○
expenseInfo_v05.xml	出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)	

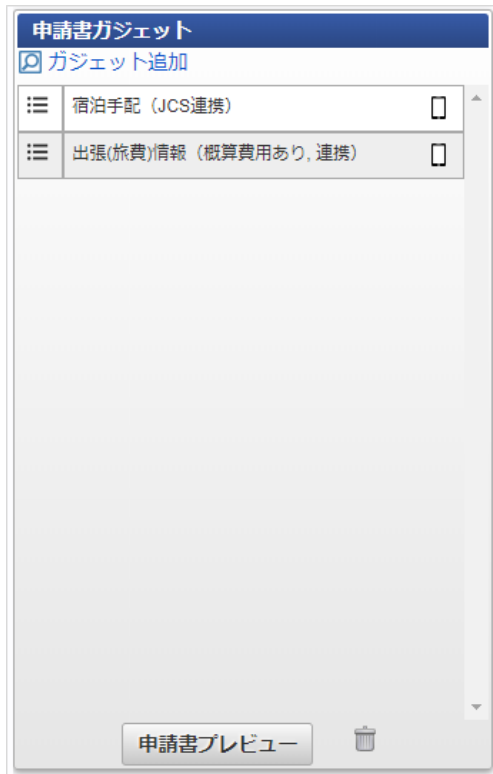
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「宿泊手配 (JCS連携)」を選択してください。



コラム

「出張(旅費)情報 (概算費用あり, 連携)」を選択した場合、出張期間から外れた期間の予約ができません。

宿泊実績データを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「JCS」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「JCS」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- JCS関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「JCS」から宿泊実績データを取得

「JCS」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「intra-mart Accel Kaiden! JCS連携モジュール」 - 「JCS設定」を参照して設定してください。

JCS関連マスタの設定

「JCS」と出張手配のデータを連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
JCS契約マスタ	「JCS」との契約情報を管理します。
JCS契約・会社マッピングマスタ	「JCS」との契約と会社を紐付けます。
JCSユーザマッピングマスタ	「JCS」のユーザとユーザを紐付けます。

ガジェットのインポート

「JCS」から宿泊実績データを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchBtmService_v01.xml	BTMサービスデータ検索	○
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）	

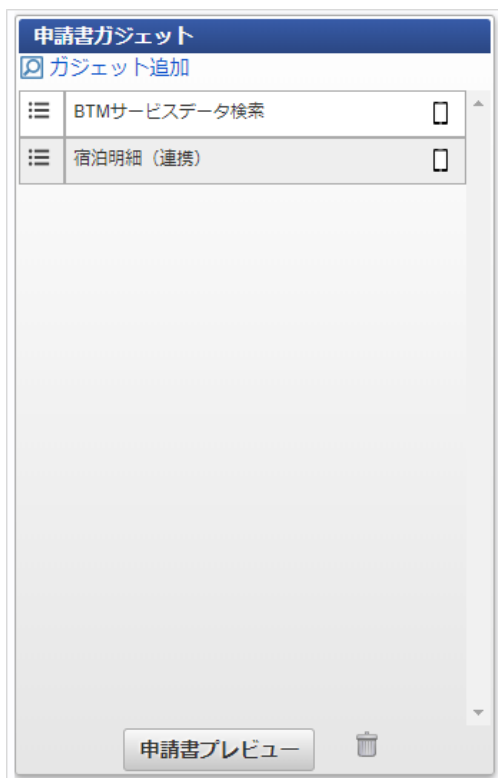
コラム

明細に宿泊実績データを反映した際支払分類も自動で指定したい場合、各明細ガジェットのxmlを修正してください。
 検索結果取得ガジェット用インクルードJSPの引数の「relations」に「payTypeCd」を指定すると
 支払分類を指定した値で反映可能です。
 詳細は『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「リファレンス」 - 「インクルードJSP」を参照ください。

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。
 コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。
 コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「BTMサービスデータ検索」と連携用ガジェットを選択してください。



「JCS」から宿泊実績データを取得

「JCS」から出張手配の実績データを取得する場合、[Racco宿泊実績データ取得](#)を実施してください。

「JCS」から取得した出張手配の実績データをメンテナンスする場合、[BTMサービス利用実績データメンテナンス](#)を実施してください。

BTMサービスデータ検索で検索対象外となる利用データ

以下の条件に一致する「JCS」のデータはBTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ

「JCS」から取得した宿泊実績データを申請・一時保存すると、BTMサービスデータ検索機能で検索対象外となります。
 該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度BTMサービスデータ検索機能で検索対象となります。

- 取消明細ガジェットを使用して申請済みのデータ

詳細は、[取消明細を使用する](#)を参照してください。

- BTMサービス利用実績データメンテナンスで「利用データステータス」を「処理不要」に設定したデータ

DataDelivery連携モジュールの操作

概要

本項では、Kaiden! の申請情報を「DataDelivery」に連携する際の概要を説明します。

Kaiden! で添付された画像ファイルに「DataDelivery」でタイムスタンプを付与し、

取引日、取引先、金額などの申請内容を連携することが可能です。

証憑（PDF）へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、保管期限経過後の削除などは、「DataDelivery」にて対応している前提です。

「DataDelivery」の利用には、「DataDelivery」の利用契約が必要です。

また、「DataDelivery」のサービスを動作環境にインストールする必要があります。

詳細は「DataDelivery」のサービス内容をご確認ください。

Kaiden! では、ファイル添付明細（DataDelivery連携）ガジェットの申請情報を出力して、

「DataDelivery」に連携することができます。

出力する情報の詳細は[出力ファイルの定義](#)を参照してください。

主な出力情報

- 添付された請求書／領収書
- 取引日
- 取引先名
- 伝票番号
- 摘要
- 金額

コラム

ファイル添付明細（DataDelivery連携）ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。

詳細は[ファイル添付明細ガジェット](#)を参照してください。

コラム

Kaiden! Ver2.0.14で「e文書対応ツール Ver.5.6.0」を検証しています。

各システムの役割

DataDeliveryと連携して、電子化した文書を申請に添付する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

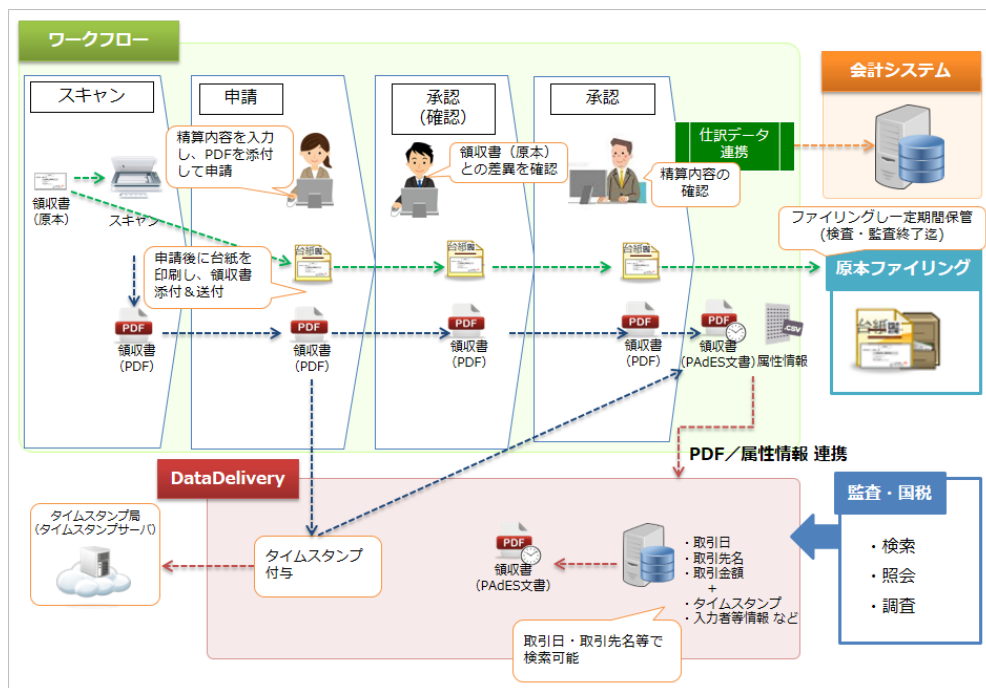
- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- DataDelivery連携モジュール
「DataDelivery」との連携機能を提供します。
- DataDelivery
サーバ上で文書を管理します。
Kaiden!に添付した申請書にタイムスタンプを付与します。

モジュールの選択

DataDelivery連携モジュールを使用して、「DataDelivery」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	DataDelivery連携モジュール

本項では、Kaiden! の申請情報をDataDeliveryに連携する際のイメージを紹介します。



DataDeliveryと連携してKaiden!の精算を実施する

本項では、「DataDelivery」を使用してKaiden!で精算を実施する際の方法を説明します。「DataDelivery」と連携することで、Kaiden!に添付したファイルにタイムスタンプを付与できます。「DataDelivery」と連携するには、以下の手順が必要です。

- jarファイル・クラスファイルの適用
- 設定ファイルの作成
- ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成
- ユーザプログラムの設定
- 出力ファイルの定義

「DataDelivery」との連携手順

jarファイル・クラスファイルの適用

1. モジュール・プロジェクトを作成し、「DataDelivery」のjarファイル・設定ファイルを格納してください。
2. 作成したモジュール・プロジェクトに、「src/main/webapp/WEB-INF/classes/jp/co/slcs/kaiden/v2/relation_data_delivery/foundation/helper」フォルダを作成し、「TimestampHelper.class」を格納してください。
「TimestampHelper.class」が必要な場合、弊社までお問い合わせください。
3. 上記のモジュール・プロジェクトからユーザモジュール(immファイル)を作成してください。
4. 作成したユーザモジュール(immファイル)を適用して環境を構築してください。

コラム

モジュール・プロジェクト、ユーザモジュールの作成は、『intra-mart e Builder for Accel Platform アプリケーション開発ガイド』を参照ください。

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 - 「DataDelivery連携モジュール」 - 「DataDelivery連携モジュール設定」を参照して設定してください。

ファイル添付明細ガジェットを含む申請書を作成

[ファイル添付明細ガジェット](#)を参照ください。

ユーザプログラムの設定

[ユーザプログラムの設定](#)を参照ください。

出力ファイルの定義

[出力ファイルの定義](#)を参照ください。

DataDeliveryとワークフローモジュールのファイル管理の連携

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

DataDelivery連携設定マスタ

本項では、DataDelivery連携設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)

概要

DataDelivery連携設定マスタは、DataDeliveryの連携設定を管理します。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「DataDelivery連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 受領方法カテゴリ
受領方法カテゴリを選択します。
- 解像度チェック
解像度チェックを実施する場合、チェックします。
 - 実施する

チェックした場合、解像度チェックを実施します。

- 実施時のエラーを無視する
チェックした場合、解像度チェック時のエラーを無視します。
- タイムスタンプ設定
タイムスタンプ設定を実施する場合、チェックします。
 - 実施する
チェックした場合、タイムスタンプ設定を実施します。
 - 実施時のエラーを無視する
チェックした場合、タイムスタンプ設定時のエラーを無視します。
- PDFファイルパス
PDFファイルの出力先ファイルパスを入力します。
※{}内に置換文字列を設定することで、置換されます。
(未設定:定数ファイルの初期値)
- CSVファイルパス
CSVファイルの出力先ファイルパスを入力します。
※{}内に置換文字列を設定することで、置換されます。
(未設定:定数ファイルの初期値)
- CSV出力カラム
CSVファイルに出力するカラムを入力します。
※出力データをカンマ区切りで設定します。
(未設定:定数ファイルの初期値)
- CSV文字コード
出力するCSVファイルの文字コードを入力します。
(未設定:定数ファイルの初期値)
- CSV区切り文字
出力するCSVファイルの区切り文字を入力します。
(未設定:定数ファイルの初期値)
- CSV囲み文字
出力するCSVファイルの囲み文字を入力します。
(未設定:定数ファイルの初期値)



コラム

定数ファイルの初期値は、『[intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド](#)』 - 「応用」 - 「その他」 - 「機能説明」 - 「constants」 - 「DataDelivery連携モジュール」を参照してください。

 コラム

PDFファイルパス、CSVファイルパスで使用可能な置換文字列は次の通りです。

置換文字列を設定する際は、「{ }」で囲んでください。

取引先コード、予備項目A～Jは標準機能では値が設定されません。

置換文字列	説明
COMPANY_CD	会社コードに置換します。
FILE_ID	ファイルIDに置換します。
PROC_NO	処理番号に置換します。
PROC_USER_CD	処理ユーザコードに置換します。
PROC_USER_NAME	処理ユーザ名に置換します。
PROC_TS	処理日時 (yyyyMMdd) に置換します。
PROC_CD	処理方法コードに置換します。
PROC_NAME	処理方法名に置換します。
FILE_CATEGORY_CD	ファイル分類コードに置換します。
FILE_CATEGORY_NAME	ファイル分類名に置換します。
RECEIVED_CATEGORY_ITEM_CD	受領方法カテゴリ項目コードに置換します。
RECEIVED_CATEGORY_CD	受領方法カテゴリコードに置換します。
RECEIVED_CATEGORY_NAME	受領方法カテゴリ名に置換します。
RECEIVED_CD	受領方法コードに置換します。
RECEIVED_NAME	受領方法名に置換します。
RECEIVED_TS	受領日時 (yyyyMMdd) に置換します。
RECEIVED_USER_CD	受領者コードに置換します。
RECEIVED_USER_NAME	受領者名に置換します。
TRADING_DATE	取引日 (yyyyMMdd) に置換します。
CUSTOMER_CD	取引先コードに置換します。
CUSTOMER_NAME	取引先名に置換します。
TRANS_CURRENCY_CD	取引通貨コードに置換します。
TRANS_AMOUNT	取引通貨額に置換します。
PDF_FILE_NAME	PDFファイル名に置換します。
OUTPUT_DATE	出力日 (yyyyMMdd) に置換します。
OUTPUT_TS	出力日 (yyyyMMddHHmmssSSS) に置換します。
ORIGINAL_STORAGE_FLAG	原本保管フラグに置換します。
ORIGINAL_STORAGE	原本保管名に置換します。
FILE_CATEGORY_BREAKDOWN_CD	ファイル分類内訳コードに置換します。
FILE_CATEGORY_BREAKDOWN_NAME	ファイル分類内訳名に置換します。
FILE_CATEGORY_ITEM_CD	ファイル分類項目コードに置換します。
USE_EXTENSION_A～J	予備項目A～Jに置換します。

i コラム

ファイル分類がその他の場合、次の項目は設定されません。
そのため、PDFファイルパス、CSVファイルパスで置換文字列に指定された場合、「NONE」に変換して出力します。

置換文字列	説明
RECEIVED_CATEGORY_ITEM_CD	受領方法カテゴリ項目コード
RECEIVED_CATEGORY_CD	受領方法カテゴリコード
RECEIVED_CATEGORY_NAME	受領方法カテゴリ名
RECEIVED_CD	受領方法コード
RECEIVED_NAME	受領方法名
RECEIVED_TS	受領日時 (yyyyMMdd)
TRADING_DATE	取引日 (yyyyMMdd)
CUSTOMER_CD	取引先コード
CUSTOMER_NAME	取引先名
TRANS_CURRENCY_CD	取引通貨コード
TRANS_AMOUNT	取引通貨額

i コラム

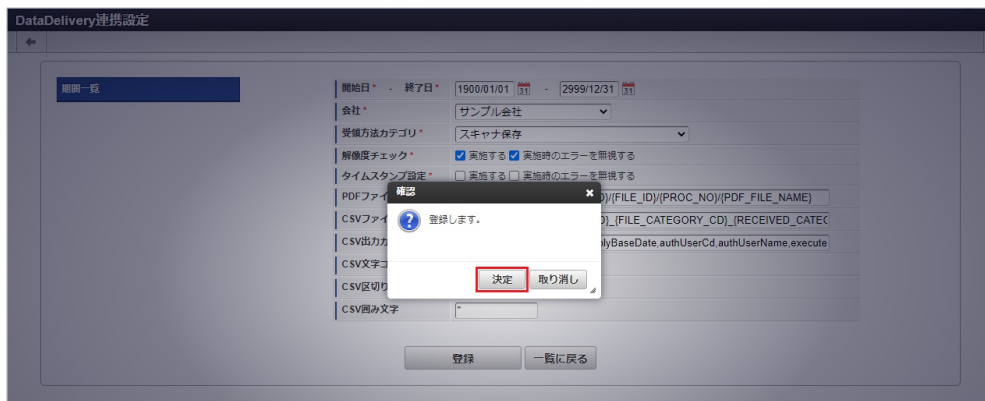
以下、CSVへ出力可能なカラムの一覧です。
CSV出力カラムで使用します。
取引先コード、予備項目A～Jは標準機能では値が設定されません。

CSV出力カラム一覧

キー	値
matterNumber	案件番号
matterName	案件名
applyBaseDate	申請基準日
authUserCd	処理権限者コード
authUserName	処理権限者名
executeUserCd	処理実行者コード
executeUserName	処理実行者名
executeDate	処理実行日時
processStatusCd	処理ステータスコード
processStatusName	処理ステータス名
linkageStatusCd	連携ステータスコード
linkageStatusName	連携ステータス名
companyCd	会社コード
fileId	ファイルID
procNo	処理番号
systemMatterId	システム案件ID
userDataId	ユーザデータID
gadgetId	ガジェットID
blockId	ブロックID
tupleId	タプルID
rowNumber	行番号
procUserCd	処理ユーザコード

キー	値
procUserName	処理ユーザ名
procTs	処理日時
procCd	処理方法コード
procName	処理方法名
fileCategoryCd	ファイル分類コード
fileCategoryName	ファイル分類名
receivedCategoryCd	受領方法カテゴリコード
receivedCategoryName	受領方法カテゴリ名
receivedCd	受領方法コード
receivedName	受領方法名
receivedTs	受領日時
receivedUserCd	受領者コード
receivedUserName	受領者名
checkedTs	確認日時
checkedAuthUserCd	確認権限者コード
checkedAuthUserName	確認権限者名
checkedExecuteUserCd	確認実行者コード
checkedExecuteUserName	確認実行者名
tradingDate	取引日
customerCd	取引先コード
customerName	取引先名
transCurrencyCd	取引通貨コード
transAmount	取引通貨額
summary	摘要
fullFileId	ファイルID&処理番号
resolutionCheck	解像度チェック結果
timestampSetting	タイムスタンプ付与結果
timestampTs	タイムスタンプ日時
pdfFilePath	PDFファイルパス
pdfFileName	PDFファイル名
orgFileName	オリジナルファイル名
registeredNumber	登録番号
originalStorageFlag	原本保管フラグ
originalStorage	原本保管名
fileCategoryBreakdownCd	ファイル分類内訳コード
fileCategoryBreakdownName	ファイル分類内訳名
procItemCd	処理方法項目コード
fileCategoryItemCd	ファイル分類項目コード
receivedCategoryItemCd	受領方法カテゴリ項目コード
useExtensionA~J	予備項目A~J

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

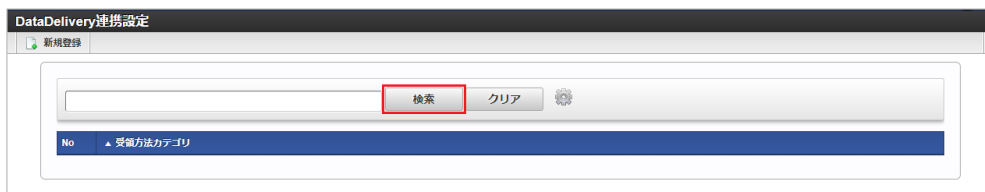


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「DataDelivery連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

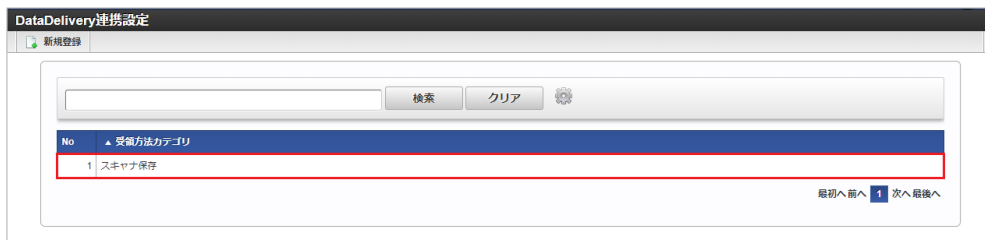


i コラム

検索欄に検索したいDataDelivery連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 受領方法カテゴリ

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

期間一括
1900/01/01 - 2999/12/31
期間分割 期間変更

開始日* 終了日* 1900/01/01 2999/12/31

会社* サンプル会社

受領方法カテゴリ* スキャナ保存

解像度チェック* 実施する 実施時のエラーを無視する

タイムスタンプ設定* 実施する 実施時のエラーを無視する

PDFファイルパス /home/PDF_IN/(COMPANY_CD)/(FILE_ID)/(PROC_NO)/(PDF_FILE_NAME)

CSVファイルパス /home/CSV_IN/(COMPANY_CD)/(FILE_CATEGORY_CD)/(RECEIVED_CATEC

CSV出力カラム matterNumber,matterName,applyBaseDate,authUserCd,authUserName.execute

CSV文字コード UTF-8

CSV区切り文字 ,

CSV囲み文字 *

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 受領方法カテゴリ

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

更新します。

決定 取り消し

更新 一覧に戻る

- 更新することができました。

更新しました。

検索 クリア

No	受領方法カテゴリ
1	スキャナ保存

最初へ前へ 1 次へ最後へ

DataDeliveryと連携してファイル管理を使用する

本項では、「DataDelivery」と連携してファイル管理を使用する際の方法を説明します。

「DataDelivery」と連携することで、ファイル登録時に解像度チェックとタイムスタンプ設定を行うことができます。

「DataDelivery」と連携するには、以下の手順が必要です。

- jarファイル・クラスファイルの適用
- 設定ファイルの作成
- ファイル管理

「DataDelivery」との連携手順

jarファイル・クラスファイルの適用

- 「%warファイルの展開先%\WEB-INF\lib」フォルダに、「DataDelivery」のjarファイル・設定ファイルを格納してください。
- 「%warファイルの展開先%\WEB-INF\classes\jp\co\slcs\kaiden2\base\foundation\helper」フォルダに「TimestampHelper.class」を格納してください。
「TimestampHelper.class」が必要な場合、弊社までお問い合わせください。

設定ファイルの作成

『intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「DataDelivery連携モジュール」 - 「DataDelivery連携モジュール設定」を参照して設定してください。

ファイル管理

コラム

詳細は、「[ファイル管理](#)」を参照してください。

解像度チェック

DataDelivery連携設定マスタで解像度チェックを実施する設定にしている場合、ファイル登録時に解像度チェックが行われます。

コラム

DataDelivery連携設定マスタについては、「[DataDelivery連携設定マスタ](#)」を参照してください。

コラム

実施時のエラーを無視する設定の場合、エラーを無視してファイルを登録します。
エラーの発生有無は連携ファイルへ出力できます。

コラム

DataDelivery連携設定マスタで未設定の場合

- スキャナ保存
解像度チェック：有効
解像度チェック実施時のエラー：無視しない
- 電子取引
解像度チェック：無効
解像度チェック実施時のエラー：無視しない

注意

「DataDelivery」との連携が正しく行われていない場合、解像度チェックは行われません。

タイムスタンプ設定

DataDelivery連携設定マスタでタイムスタンプ設定を実施する設定にしている場合、ファイル登録時にタイムスタンプ設定が行われます。

コラム

DataDelivery連携設定マスタについては、「[DataDelivery連携設定マスタ](#)」を参照してください。

コラム

実施時のエラーを無視する設定の場合、エラーを無視してファイルを登録します。
エラーの発生有無は連携ファイルへ出力できます。

コラム

DataDelivery連携設定マスタで未設定の場合

- スキャナ保存
タイムスタンプ設定：有効
タイムスタンプ設定実施時のエラー：無視しない
- 電子取引
タイムスタンプ設定：有効
タイムスタンプ設定実施時のエラー：無視する

注意

「DataDelivery」との連携が正しく行われていない場合、タイムスタンプ設定は行われません。

解像度チェック、タイムスタンプ設定のタイミング

DataDelivery連携設定マスタの設定により、次の場合解像度チェック、タイムスタンプ設定が行われます。

- 「[ファイル管理](#)」でファイルの新規登録時
- 「[ファイル管理](#)」でファイルの改版時
- ファイル明細ガジェットからファイルの登録時
- ファイル明細ガジェット(汎用)からファイルのアップロード時
アップロードしたファイルの申請、再申請等を実施したタイミングで行われます。
- ファイル検索ガジェットで選択したファイルをファイル明細ガジェット(汎用)に反映時
反映したファイルの解像度チェック、タイムスタンプ設定が未実施の場合、申請、再申請等を実施したタイミングで行われます。
ガジェットの詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』-「ガジェット」を参照ください。

DataDeliveryと連携してファイルの申請を実施する

本項では、「DataDelivery」を使用してファイルの申請を実施する際の方法を説明します。

「DataDelivery」と連携することで、連携データをCSVファイルで出力することができます。

「DataDelivery」と連携するには、以下の手順が必要です。

- jarファイル・クラスファイルの適用
- 設定ファイルの作成
- ファイルの申請
- 出力ファイルの定義

「DataDelivery」との連携手順

jarファイル・クラスファイルの適用

1. 「%warファイルの展開先%\WEB-INF\lib」フォルダに、「DataDelivery」のjarファイル・設定ファイルを格納してください。
2. 「%warファイルの展開先%\WEB-INF\classes\jp\co\slcs\kaiden2\base\foundation\helper」フォルダに「TimestampHelper.class」を格納してください。
「TimestampHelper.class」が必要な場合、弊社までお問い合わせください。

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「オプションモジュール」-

「DataDelivery連携モジュール」-「DataDelivery連携モジュール設定」を参照して設定してください。

ファイルの申請

ファイルの申請を実施する方法は以下を参照してください。

- [ファイルの電子化申請を実施する方法\(ファイル明細ガジェット\)](#)
- [ファイルの精算申請を実施する方法](#)
- [ファイルの請求書払申請を実施する方法](#)

出力ファイルの定義

出力する連携データについては、[出力ファイルの定義](#)を参照してください。

出力ファイルの定義

本項では、「DataDelivery」と連携してファイルの申請を実施した際に出力されるファイルの定義を説明します。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
DataDelivery連携設定マスタで設定されているCSVファイルパスへ出力します。
受領方法カテゴリと一致するDataDelivery連携設定マスタに登録されているデータが対象です。
DataDelivery連携設定マスタで未設定の場合、定数ファイルの初期値へ出力します。

コラム

DataDelivery連携設定マスタについては、「[DataDelivery連携設定マスタ](#)」を参照してください。

コラム

定数ファイルの初期値は、『[intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド](#)』-「応用」-「その他」-「機能説明」-「constants」-「DataDelivery連携モジュール」を参照してください。

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

出力ファイルに次のデータが出力されます。

- 出力データ

DataDelivery連携設定マスタで設定されているCSV出力カラムが出力されます。

受領方法カテゴリと一致するDataDelivery連携設定マスタに登録されているデータが対象です。

DataDelivery連携設定マスタで未設定の場合、定数ファイルの初期値が出力されます。

i コラム

DataDelivery連携設定マスタについては、「[DataDelivery 連携設定マスタ](#)」を参照してください。

i コラム

定数ファイルの初期値は、『[intra-mart Accel Kaiden! プログラミングガイド](#)』 - 「応用」 - 「その他」 - 「機能説明」 - 「constants」 - 「DataDelivery連携モジュール」を参照してください。

以下、出力可能なデータです。

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	案件番号	matterNumber	
2	案件名	matterName	
3	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
4	処理権限者コード	authUserCd	
5	処理権限者名	authUserName	
6	処理実行者コード	executeUserCd	
7	処理実行者名	executeUserName	
8	処理実行日時	executeDate	yyyy/MM/dd HH:mm:ss形式
9	処理ステータスコード	processStatusCd	
10	処理ステータス名	processStatusName	
11	連携ステータスコード	linkageStatusCd	0 : 変更なし 1 : ファイル追加 2 : ファイル解除
12	連携ステータス名	linkageStatusName	
13	会社コード	companyCd	
14	ファイルID	fileId	
15	処理番号	procNo	
16	システム案件ID	systemMatterId	
17	ユーザデータID	userDataId	
18	ガジェットID	gadgetId	
19	ブロックID	blockId	
20	タプルID	tupleId	
21	行番号	rowNumber	
22	処理ユーザコード	procUserCd	
23	処理ユーザ名	procUserName	
24	処理日時	procTs	yyyy/MM/dd形式

25	処理方法コード	procCd	
26	処理方法名	procName	
27	ファイル分類コード	fileCategoryCd	
28	ファイル分類名	fileCategoryName	
29	受領方法カテゴリコード	receivedCategoryCd	
30	受領方法カテゴリ名	receivedCategoryName	
31	受領方法コード	receivedCd	
32	受領方法名	receivedName	
33	受領日時	receivedTs	yyyy/MM/dd形式
34	受領者コード	receivedUserCd	
35	受領者名	receivedUserName	
36	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH:mm:ss形式
37	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
38	確認権限者名	checkedAuthUserName	
39	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
40	確認実行者名	checkedExecuteUserName	
41	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式
42	取引先コード	customerCd	標準機能では設定されません。
43	取引先名	customerName	
44	取引通貨コード	transCurrencyCd	
45	取引通貨額	transAmount	
46	摘要	summary	
47	ファイルID&処理番号	fullFileId	%ファイルID%%処理番号%
48	解像度チェック結果	resolutionCheck	0 : 未実施 1 : 実施済 9 : エラー
49	タイムスタンプ付与結果	timestampSetting	0 : 未実施 1 : 実施済 9 : エラー
50	タイムスタンプ日時	timestampTs	yyyy/MM/dd HH:mm:ss形式
51	PDFファイルパス	pdfFilePath	
52	PDFファイル名	pdfFileName	タイムスタンプ付与後のPDFファイル名（拡張子あり）
53	オリジナルファイル名	orgFileName	オリジナルのファイル名（拡張子あり）
54	登録番号	registeredNumber	登録番号
55	原本保管フラグ	originalStorageFlag	0 : 原本保管が不要 1 : 原本保管が必要
56	原本保管フラグ名	originalStorage	originalStorageFlagが0 : 不要 originalStorageFlagが1 : 必要
57	ファイル分類内訳コード	fileCategoryBreakdownCd	
58	ファイル分類内訳名	fileCategoryBreakdownName	
59	処理方法項目コード	procltemCd	
60	ファイル分類項目コード	fileCategoryItemCd	
61	受領方法カテゴリ項目コード	receivedCategoryItemCd	
62	予備項目A~J	useExtensionA~J	ファイル明細ガジェットの予備項目に設定した値が設定されます。 予備項目の使用にはカスタマイズが必要です。

概要

本項では、活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際の概要を説明します。
 活文連携モジュールを使用すると、「活文IDE」にアップロードした請求書のデータでKaiden!の精算を実施できます。
 「活文IDE」と連携するためには、「活文IDE」の利用契約が必要です。
 「活文IDE」は、帳票のテキスト解析およびデータ抽出を行うサービスです。
 詳細は「活文IDE」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
 経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- 活文連携モジュール
 「活文IDE」との連携機能を提供します。
- 活文IDE
 帳票のテキスト解析およびデータ抽出を行い、請求書のデータをKaiden!に連携します。

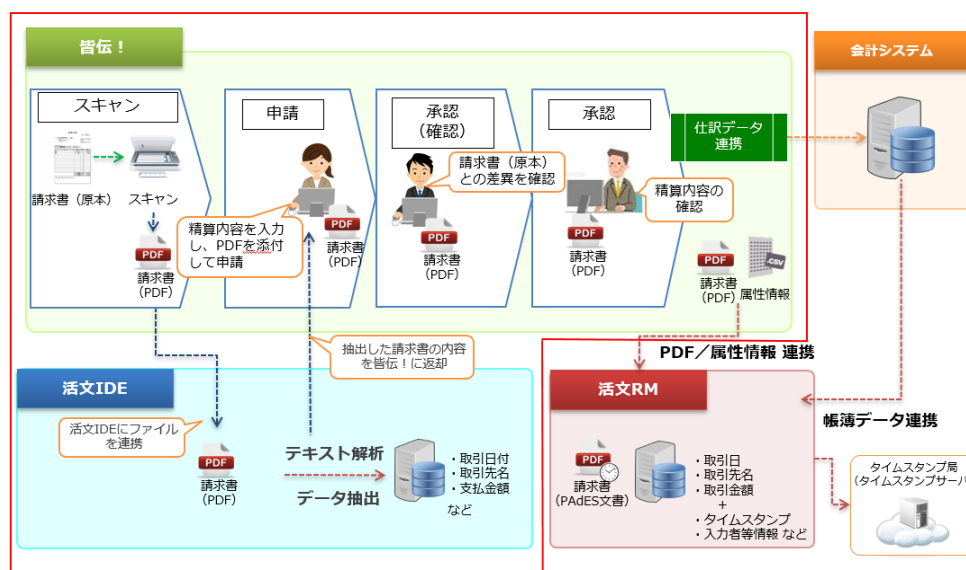
モジュールの選択

活文連携モジュールを使用して、「活文IDE」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	活文連携モジュール

連携イメージ

本項では、「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得しKaiden!の精算に使用するイメージを紹介します。
 赤枠で囲んだ箇所が、本ガイドで説明している連携部分です。



活文IDE とKaiden!の紐付け

本項では、活文IDEのメタデータとKaiden!の項目の紐付けを説明します。
 活文IDE連携（文書検索）の項目と活文IDEのメタデータを紐付けるため、活文IDEのメタデータを次の通り設定する必要があります。

メタデータの表示名	メタデータの項目	ガジェットの項目	備考
請求日	tradingDate	取引日	
取引先名	customerName	取引先名	
請求書番号	slipNum	請求書番号/領収書番号	
金額	transAmount	金額	



コラム

活文IDEのメタデータ設定は活文IDEのガイドを参照ください。

運用時の操作

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

本項では、「活文IDE」に文書をアップロードする方法及び、ステータスのメンテナンス方法を説明します。

- [概要](#)
- [活文IDE文書アップロード](#)
- [処理ステータス変更](#)

概要

活文IDE文書アップロード/メンテナンス画面から、「活文IDE」に文書をアップロードできます。
 また、「活文IDE」にアップロードした文書の利用データステータスを変更できます。
 活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)を使用する場合、アップロード時に文書の作成者を選択できます。
 また、認可を持つ会社にアップロードされた全ての文書を参照・メンテナンスすることが可能です。
 活文IDE文書アップロード/メンテナンスを使用する場合、作成者がログインユーザと一致する文書を参照・メンテナンスすることが可能です。

- 未処理
- 処理中（一時保存、申請中、再申請待ち）
- 処理済
- 処理不要

通常は、選択した文書を「作成～承認」することでステータスが「処理中～処理済」に変化しますが、本機能では、未処理と処理不要を切り替えることができます。

活文IDE文書アップロード

「活文IDE」に文書をアップロードできます。
 アップロードした文書は、申請書で精算可能です。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「活文」→「活文IDE文書アップロード/メンテナンス」をクリックします。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

活文IDE文書アップロード

会社 * サンプル会社

作成者 * 青柳原巳

文書種別

添付 *

アップロード

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス

作成日 作成者 青柳原巳

文書 文書種別

検索 クリア

No	文書名	文書枚数	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
----	-----	------	-----	------	-----------	------------

処理不要に変更 未処理に変更

i コラム

管理者として利用する場合、「活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。アップロード、検索の「作成者」が選択できます。

- 「会社」、「文書種別」を選択したら、アップロードアイコンをクリックしてください。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

活文IDE文書アップロード

会社 * サンプル会社

作成者 * 青柳原巳

文書種別 SEIKYU

添付 * ファイルを選択してください

アップロード

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス

作成日 作成者 青柳原巳

文書 文書種別

検索 クリア

No	文書名	文書枚数	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
----	-----	------	-----	------	-----------	------------

処理不要に変更 未処理に変更

- 会社
選択した会社の文書としてアップロードします。
- 作成者
選択したユーザの文書としてアップロードします。（管理者のみ変更可能）
- 文書種別
アップロードする文書の種別を選択します。
- 添付
クリックすると文書のアップロードが可能です。
PDFか画像ファイルをアップロードしてください。

- ファイルをアップロードすると、「添付」にチェックアイコンが表示されます。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社
 作成者* 青柳 辰巳
 文書種別 SEIKYU
 添付* 1ファイル

アップロード

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス
 作成日 31 - 31 作成者 青柳 辰巳
 文書 文書種別

検索 クリア

No	文書名	文書取扱い	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
----	-----	-------	-----	------	-----------	------------

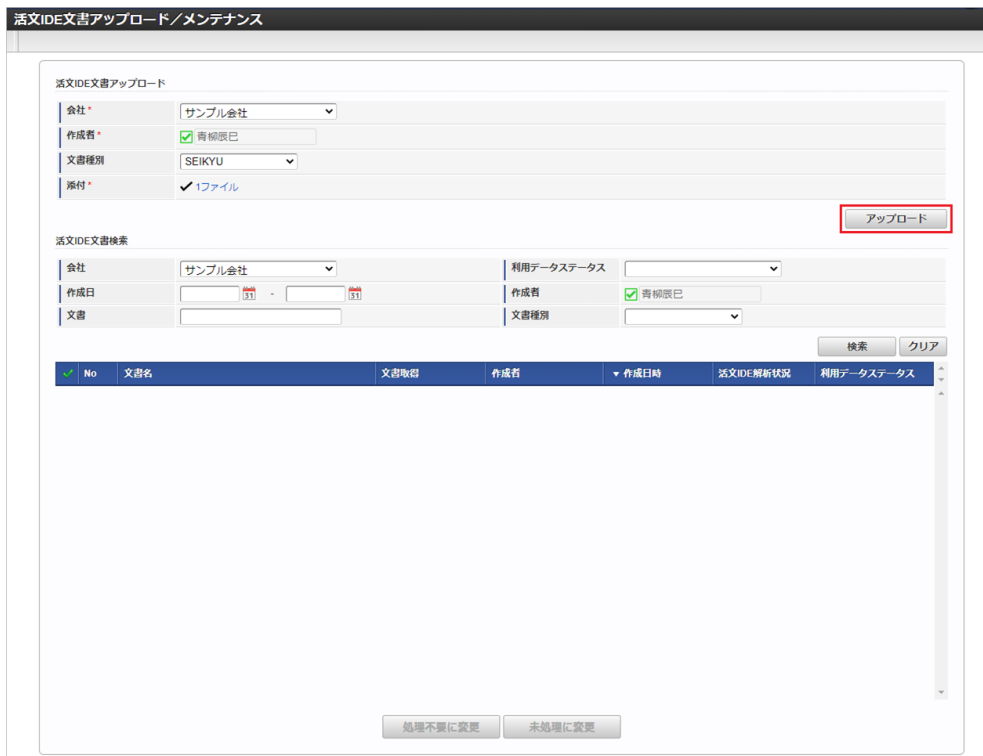
処理不要に変更 未処理に変更

4. 「チェックアイコン」をクリックすると、ファイルのダウンロード・参照・追加・削除等が実施できます。

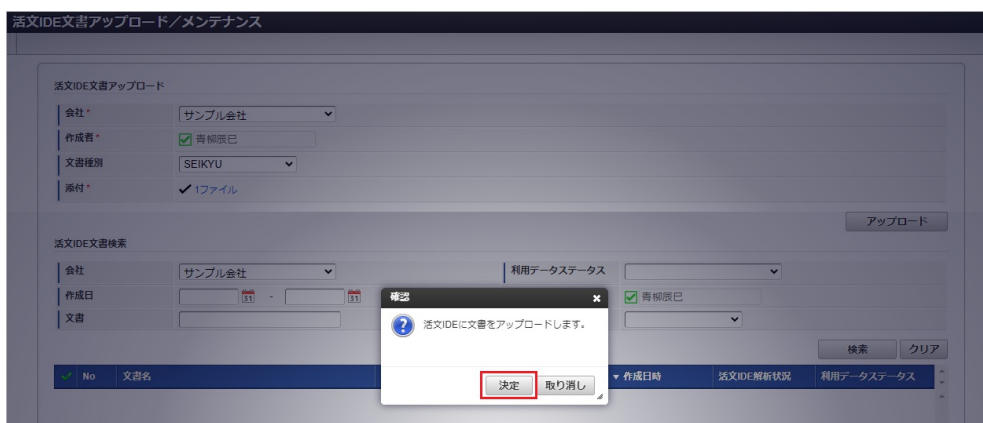


- 表示アイコン
ファイルの内容を表示します。
- ダウンロードアイコン
ファイルをダウンロードします。
- ゴミ箱アイコン
ファイルを削除します。
- ファイル追加
ファイルを追加します。
- 全削除
ファイルを全て削除します。
- 閉じる
ポップアップを閉じます。

5. 「アップロード」をクリックします。



6. 「決定」をクリックします。



7. 「活文IDE」に文書をアップロードできました。



8. 「検索」をクリックするとアップロードした文書が一覧に表示されます。
「活文IDE解析状況」が「finished」の状態になると、申請書で精算可能になります。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

処理不要に変更 未処理に変更

活文IDE文書アップロード

会社*

作成者* 青柳 辰巳

文書種別

添付*

活文IDE文書検索

会社 利用データステータス

作成日 - 作成者 青柳 辰巳

文書 文書種別

No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
1	xxxx請求書.pdf	<input type="button" value="文書を取得する"/>	青柳 辰巳	2020/06/24 18:01:42	finished	未処理

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

処理ステータス変更

処理ステータスを未処理から処理不要にする

活文IDEに連携した未処理の文書が、何らかの理由により処理する必要がなくなった場合、当該文書を処理不要にできます。処理不要にした文書は、活文IDE文書検索の検索ガジェットで検索・取込対象から除外されます。

i コラム

活文IDE文書検索ガジェットについては、『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』-「ガジェット」-「活文IDE文書検索」を参照してください。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「活文」→「活文IDE文書アップロード/メンテナンス」をクリックします。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

処理不要に変更 未処理に変更

活文IDE文書アップロード

会社*

作成者* 青柳 辰巳

文書種別

添付*

活文IDE文書検索

会社 利用データステータス

作成日 - 作成者 青柳 辰巳

文書 文書種別

No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
----	-----	------	-----	------	-----------	------------

コラム

管理者として利用する場合、「活文IDE文書アップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。
アップロード、検索の「作成者」が選択できます。

2. 活文IDE文書検索欄の利用データステータスに **未処理** を設定し「検索」をクリックすると、未処理のデータが一覧表示されます。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

処理不要に変更
 未処理に変更

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社
 作成者* 青柳原巳
 文書種別
 添付*

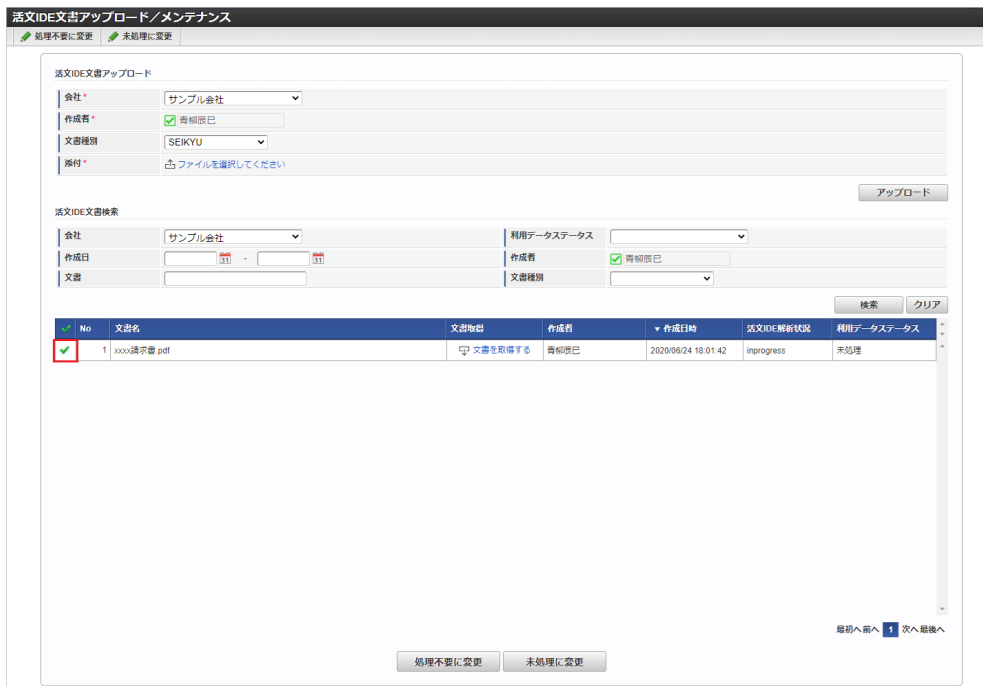
活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス 未処理
 作成日 / - / 作成者 青柳原巳
 文書 文書種別

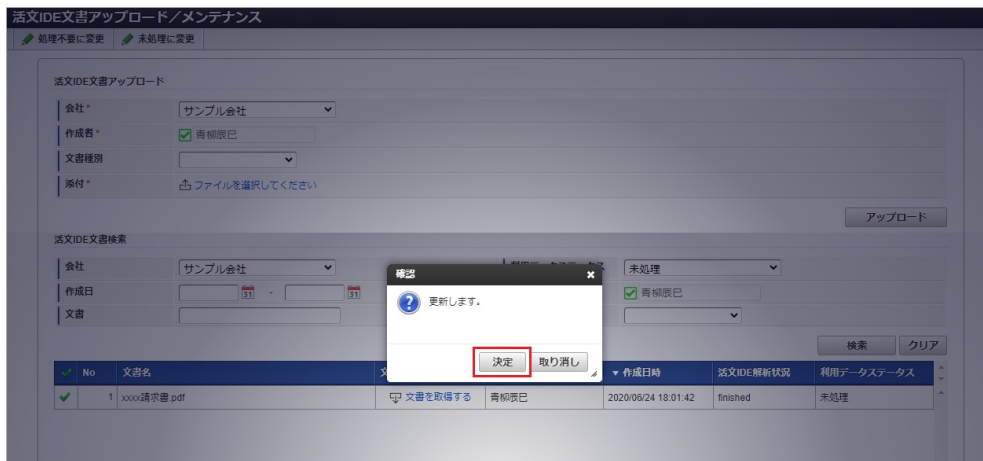
<input checked="" type="checkbox"/>	No	文書名	文書取得	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
<input checked="" type="checkbox"/>	1	xxxx請求書.pdf	<input type="button" value="📄 文書を取得する"/>	青柳原巳	2020/06/24 18:01:42	finished	未処理

最初へ前へ **1** 次へ 最後へ

- **文書**
アップロードされている文書名を表示します。
 - **ダウンロード**
クリックするとアップロードされた文書をダウンロードします。
 - **作成者**
アップロードを実施したユーザ名を表示します。
 - **作成日**
アップロードを実施した日を表示します。
 - **解析状況**
文書の解析状況を表示します。
解析が完了すると、「finished」と表示されます。
 - **利用データステータス**
文書の精算状況を表示します。
3. 切り替え対象のデータ行をクリックすると、選択行にチェックがつきます。



4. 「処理不要に変更」をクリックすると、確認ポップアップが表示されます。
 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



5. 活用データステータスが処理不要に変更されました。

intra-mart Top Workflow サンプル サイトマップ 青柳辰巳 ?

活文IDE文書アップロード/メンテナンス 更新しました。

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社
 作成者* 青柳辰巳
 文書種別
 添付*

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス 未処理
 作成日 [31] - [31] 作成者 青柳辰巳
 文書 文書種別

✓ No	文書名	文書取扱い	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
------	-----	-------	-----	------	-----------	------------

処理ステータスを処理不要から未処理にする

当機能で処理不要にした文書を、未処理に切り替えます。

1. 検索欄の利用データステータスに **処理不要** を設定し「検索」をクリックすると、処理不要データが一覧表示されます。

活文IDE文書アップロード/メンテナンス

活文IDE文書アップロード

会社* サンプル会社
 作成者* 青柳辰巳
 文書種別
 添付*

活文IDE文書検索

会社 サンプル会社 利用データステータス **処理不要**
 作成日 [31] - [31] 作成者 青柳辰巳
 文書 文書種別

✓ No	文書名	文書取扱い	作成者	作成日時	活文IDE解析状況	利用データステータス
1	xxxx請求書.pdf	<input type="button" value="📄 文書を取得する"/>	青柳辰巳	2020/06/24 18:01:42	finished	処理不要

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

2. 切り替え対象のデータ行を選択し「未処理に変更」をクリックすると、利用データステータスが未処理に変更されます。

リファレンス

「活文IDE」にアップロードした文書を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得しKaiden!の精算を実施する際の方法を説明します。「活文IDE」と連携するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成

- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ユーザプログラムの設定
- 出力ファイルの定義
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「活文IDE」に文書をアップロード

「活文IDE」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』 - 「WARファイルの作成」 - 「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」 - 「オプションモジュール」 -

「活文連携モジュール」 - 「活文IDE設定」を参照して設定してください。

ガジェットの入ポート

「活文IDE」にアップロードした文書のデータを取得してKaiden!の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
katsubunIdeDetail_v01.xml	活文IDE連携（文書検索）	○
searchKatsubunIdeLink_v01.xml	活文IDE文書検索	○

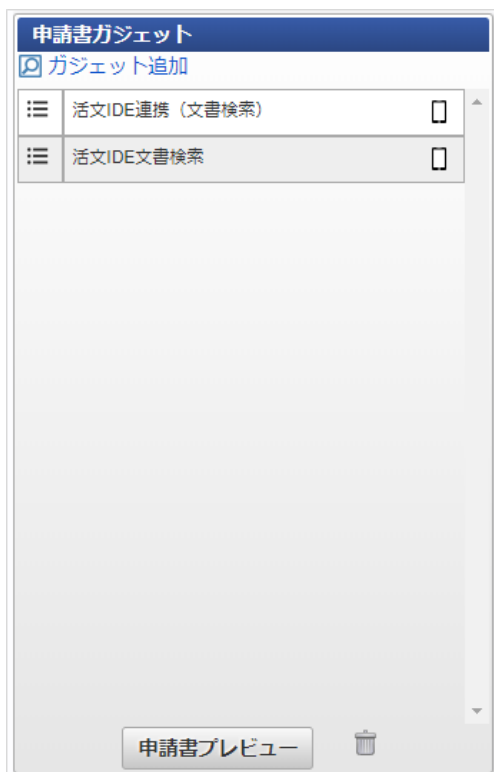
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「活文IDE連携（文書検索）」と「活文IDE文書検索」を選択してください。



ユーザプログラムの設定

[ユーザプログラムの設定](#)を参照ください。

出力ファイルの定義

[出力ファイルの定義](#)を参照ください。

「活文IDE」に文書をアップロード

[活文IDE文書アップロード/メンテナンス](#)を参照ください。

活文IDE文書検索で検索対象外となる文書データ

以下の条件に一致する「活文IDE」のデータ活文IDE文書検索機能で検索対象外となります。

- Kaiden!で精算申請済みのデータ
 - 「活文IDE」から取得した文書データを申請・一時保存すると、活文IDE文書検索機能で検索対象外となります。該当のデータを含む申請書を取り止め、否認、案件操作による案件完了した場合、再度活文IDE文書検索機能で検索対象となります。
- 取消明細（活文IDE連携）ガジェットを使用して申請済みのデータ
 - 詳細は、[取消明細（活文IDE連携）を使用する](#)を参照してください。
- [活文IDE文書アップロード/メンテナンス](#)で「処理ステータス」を「処理不要」に設定したデータ

取消明細（活文IDE連携）を使用する

本項では、取消明細（活文IDE連携）を使用する際の方法を説明します。活文IDEにアップロードした文書データを取消明細（活文IDE連携）で選択して申請した場合、活文IDE文書検索使用時、該当のデータが検索・取込対象から除外されます。既に精算申請されているデータを取消明細（活文IDE連携）で選択して申請することはできません。取消明細（活文IDE連携）で申請したデータは、最終承認されても仕訳ファイルの出力対象とはなりません。取消明細（活文IDE連携）を使用するには、以下の手順が必要です。

- 設定ファイルの作成
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 「活文IDE」に文書をアップロード

「活文IDE」との連携手順

設定ファイルの作成

『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden!の設定ファイル」-「オプションモジュール」-

「活文連携モジュール」-「活文IDE設定」を参照して設定してください。

ガジェットのインポート

活文IDEにアップロードした文書データを取消明細（活文IDE連携）を使用して申請する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

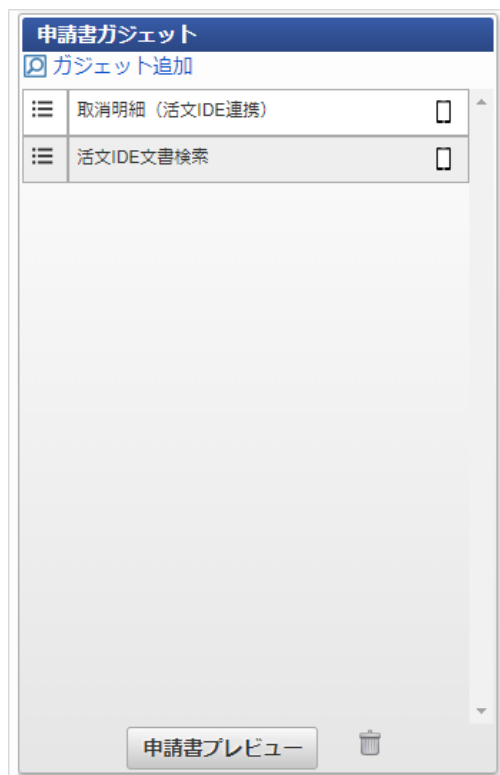
『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
katsubunIdeDetail_v01.xml	取消明細（活文IDE連携）	○
searchKatsubunIdeLink_v01.xml	活文IDE文書検索	○

コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「取消明細（活文IDE連携）」と「活文IDE文書検索」を選択してください。



「活文IDE」に文書をアップロード

[活文IDE文書アップロード/メンテナンス](#)を参照ください。

Bill One連携モジュールの操作

概要

本項では、Bill One連携モジュールを使用して、「Bill One」と連携する際の概要を説明します。

Bill One連携モジュールを使用すると、「Bill One」から請求書情報データを取得し、Kaiden!へ請求書ファイルを登録することができます。

「Bill One」と連携するためには、「Bill One」の利用契約が必要です。

「Bill One」は、請求書受領サービスです。

詳細は「Bill One」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

Bill One連携モジュールを使用して、「Bill One」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Bill One連携モジュール
「Bill One」との連携機能を提供します。
- Bill One
請求書受領サービスを提供し、請求書情報データをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

Bill One連携モジュールを使用して、「Bill One」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

「Bill One」から請求書情報データを取得する機能はBill One連携モジュールに含まれています。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

Bill One連携設定マスタ

本項では、Bill One連携設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)

概要

Bill One連携設定マスタは、Bill Oneの連携設定を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。



コラム

「請求書情報取得 (Bill One)」で使用されます。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「Bill One連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

BillOne連携設定

期間一覧

開始日 *	1900/01/01	終了日 *	2999/12/31
会社 *	サンプル会社		
ProxyURL	https://xxxxxxxxxx		
Proxyポート	1234		
Proxy認証ユーザ	proxyuser		
Proxy認証パスワード	proxypass		
アクセストークン取得用URL *	https://xxxxxxxxxx		
請求書情報一覧取得用URL *	https://xxxxxxxxxx		
クライアントID *	xxxxxxxxxx		
クライアントシークレット *	xxxxxxxxxx		
リフレッシュトークン *	xxxxxxxxxx		
処理方法 *	BillOne連携		
受領方法（発行者アップロード） *	書面受領（FAX）		
受領方法（メール） *	メール添付（PDF）		
受領方法（郵送） *	書面受領（郵送）		
受領方法（受領者アップロード） *	Webダウンロード		
受領方法（自動登録） *	システム連携		
受領方法（その他） *	Web画面印刷		
受領者	<input checked="" type="checkbox"/> 青柳景巳		
電子化ステータス *	未処理		
精算ステータス *	未処理		

登録 一覧に戻る

- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。
- アクセストークン取得用URL
アクセストークン取得用のURLを入力します。
- 請求書情報一覧取得用URL
請求書情報一覧取得用のURLを入力します。
- クライアントID
クライアントIDを入力します。
- クライアントシークレット
クライアントシークレットを入力します。
- リフレッシュトークン
リフレッシュトークンを入力します。
- 処理方法
処理方法を選択します。
- 受領方法（発行者アップロード）
受領方法を選択します。
- 受領方法（メール）
受領方法を選択します。
- 受領方法（郵送）
受領方法を選択します。
- 受領方法（受領者アップロード）
受領方法を選択します。
- 受領方法（自動登録）
受領方法を選択します。
- 受領方法（その他）
受領方法を選択します。
- 受領者
受領者を選択します。
- 電子化ステータス
電子化ステータスを選択します。
- 精算ステータス
精算ステータスを選択します。

i コラム

「請求書情報取得 (Bill One)」で請求書を取得する際、受領者が特定できない場合、受領者を当マスタで設定した受領者に設定します。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「Bill One連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

No	会社コード	会社名
----	-------	-----

i コラム

検索欄に検索したいBill One連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

BillOne連携設定

新規登録

検索 クリア

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

BillOne連携設定

← 削除

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

期間分割 期間変更

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 [日] - 2999/12/31 [日]

会社 * サンプル会社

ProxyURL https://xxxxxxxxxx

Proxyポート 1234

Proxy認証ユーザ proxyuser

Proxy認証パスワード proxypass

アクセストークン取得URL * https://xxxxxxxxxx

請求書情報一覧取得URL * https://xxxxxxxxxx

クライアントID * xxxxxxxxxxxx

クライアントシークレット * xxxxxxxxxxxx

リフレッシュトークン * xxxxxxxxxxxx

処理方法 * BillOne連携

受領方法 (発行者アップロード) * 書面受領 (FAX)

受領方法 (メール) * メール添付 (PDF)

受領方法 (郵送) * 書面受領 (郵送)

受領方法 (受領者アップロード) * Webダウンロード

受領方法 (自動登録) * システム連携

受領方法 (その他) * Web画面印刷

受領者 青柳宗巳

電子化ステータス * 未処理

精算ステータス * 未処理

更新 一覧に戻る

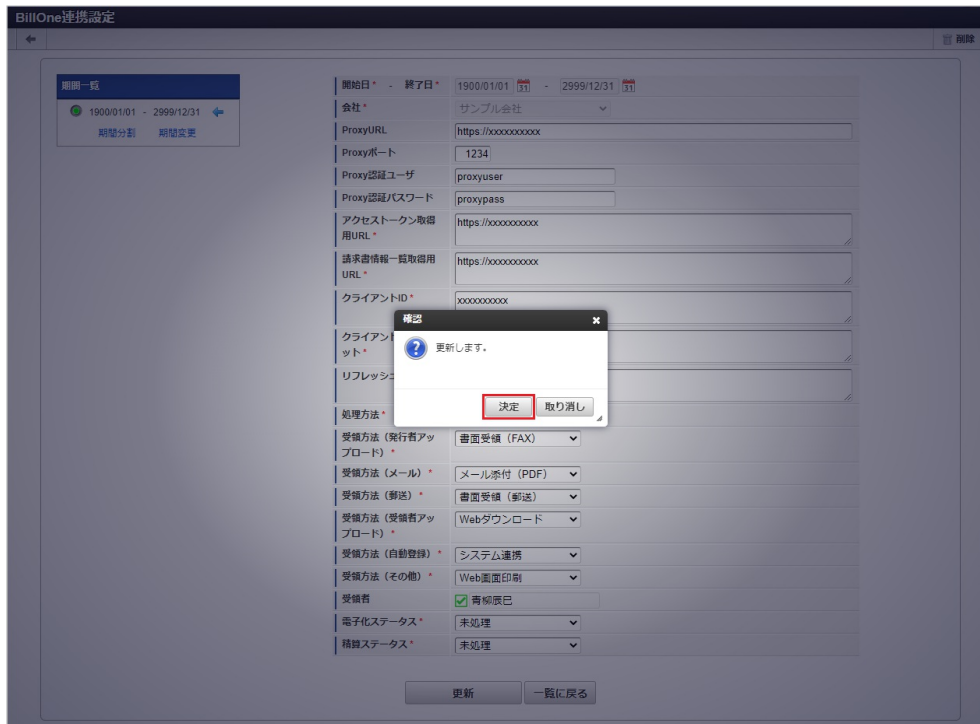
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



運用時の操作

請求書情報取得 (Bill One)

本項では、「Bill One」から請求書情報データを取得／登録する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

請求書情報取得 (Bill One) は、「Bill One」に接続し、請求書情報データを取得しファイルを登録します。「Bill One」に接続するには、「[Bill One連携設定マスタ](#)」の登録が必要です。

i コラム

登録されたファイルは、「[ファイル管理](#)」で確認して下さい。

i コラム

「Bill One」から取得する対象の請求書情報データ

- 既に取得している請求書情報データが存在しない場合、「Bill One」から全請求書情報データを取得します。
- 既に取得している請求書情報データが存在する場合
 - 最終更新日時が直近2ヵ月以内の請求書情報データが存在する場合、「Bill One」から最新の最終更新日時以降の請求書情報データを取得します。
 - 最終更新日時が直近2ヵ月以内の請求書情報データが存在しない場合、「Bill One」から全請求書情報データを取得します。

i コラム

請求書情報データを取得後に「Bill One」で更新されている場合

- 更新前の請求書情報データのファイルが「[ファイル管理](#)」に存在しない場合、登録されます。
- 更新前の請求書情報データのファイルが「[ファイル管理](#)」に存在する場合、改版されます。
改版対象のファイルの電子化ステータス、精算ステータスのいずれかが「処理中」、「処理済」の場合、改版できないため請求書情報取得ジョブの実行がエラーになります。
エラーが発生した場合、ファイルの電子化ステータス、精算ステータスを「未処理」に変更してから請求書情報取得ジョブを再実行してください。

i コラム

「Bill One」から取得した請求書データの受領者のメールアドレスが、IM-共通マスタのユーザマスタの「メールアドレス1」、「メールアドレス2」のいずれかと一致する場合、メールアドレスが一致するユーザをファイルの受領者に設定します。
受領者が特定できない場合、「[Bill One連携設定マスタ](#)」で設定した受領者がファイルの受領者として設定されます。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「請求書情報取得（Bill One）」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

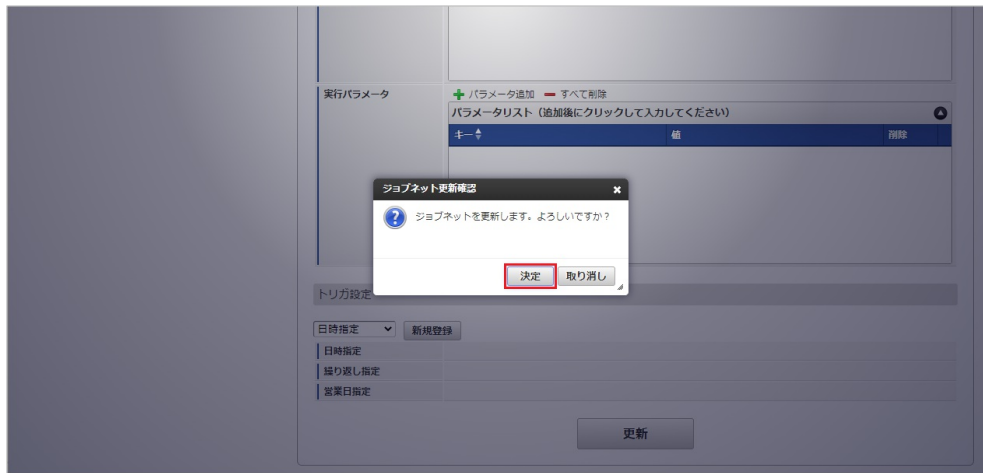
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

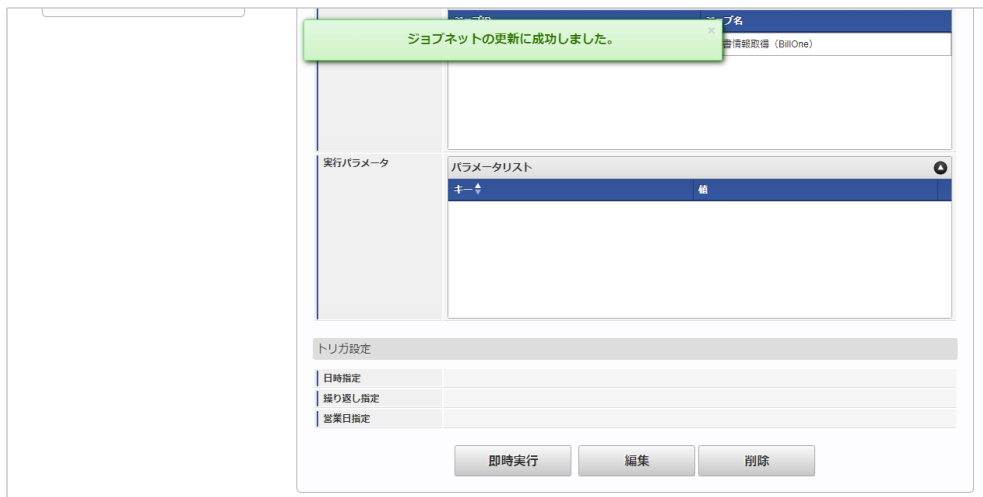
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-rebo-file-import	経費精算・旅費精算 / ファイル / 請求書情報取得 (Bill One)

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
事前チェックエラーログ出力レベル	pre_check_error_log_level	インポートの事前チェックでエラーになった際のログ出力レベルを設定します。 事前チェックでは、「通貨」、「請求金額」、「取引先」の必須チェックおよび、「取引先」が250文字を超えるかのチェックを行います。 ログ出力レベルが「INFO」、「WARN」の場合、エラーになった請求書をスキップしてインポートを続行します。 (省略時：WARN)
PDF読みエラーログ出力レベル	pdf_read_error_log_level	インポート対象の請求書のPDFが読み込みエラーの場合のログ出力レベルを設定します。 ログ出力レベルが「INFO」、「WARN」の場合、エラーになった請求書をスキップしてインポートを続行します。 (省略時：WARN)

概要

本項では、CLOVA OCR連携モジュールを使用して、「LINE WORKS OCR」と連携する際の概要を説明します。CLOVA OCR連携モジュールを使用すると、「LINE WORKS OCR」で請求書・領収書の文字・文章を読み取り、Kaiden!へ連携して使用することができます。

「LINE WORKS OCR」と連携するためには、「LINE WORKS OCR」の利用契約が必要です。

「LINE WORKS OCR」は、AI-OCRサービスです。

詳細は「LINE WORKS OCR」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

CLOVA OCR連携モジュールを使用して、「LINE WORKS OCR」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- CLOVA OCR連携モジュール
「LINE WORKS OCR」との連携機能を提供します。
- LINE WORKS OCR
AI-OCRサービスを提供し、OCRデータをKaiden!に連携します。

モジュールの選択

CLOVA OCR連携モジュールを使用して、「LINE WORKS OCR」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。「LINE WORKS OCR」からOCRデータを取得する機能はCLOVA OCR連携モジュールに含まれています。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	intra-mart Accel Kaiden! CLOVA OCR連携モジュール

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

CLOVA OCR連携設定マスタ

本項では、CLOVA OCR連携設定マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新

概要

CLOVA OCR 連携設定マスタは、LINE WORKS OCR APIの連携設定を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「CLOVA OCR連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- LINE Business ID
LINE Business IDを入力します。
- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。
- Receipt Premium OCR呼び出しURL
領収書のOCR呼び出し用のURLを入力します。
- Invoice OCR呼び出しURL
請求書のOCR呼び出し用のURLを入力します。
- API認証キー
API認証キーを入力します。

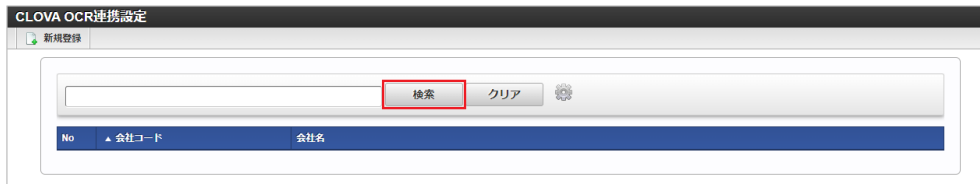
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「CLOVA OCR連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

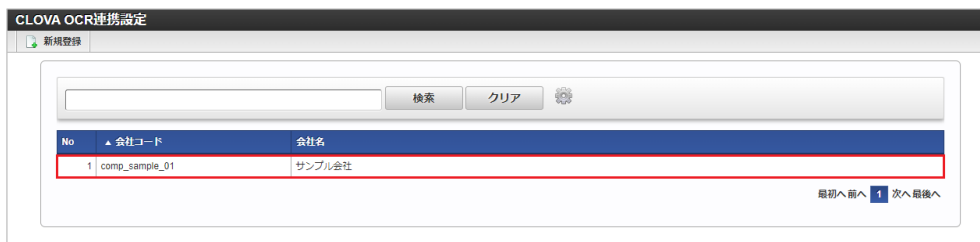


i コラム

検索欄に検索したいCLOVA OCR連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

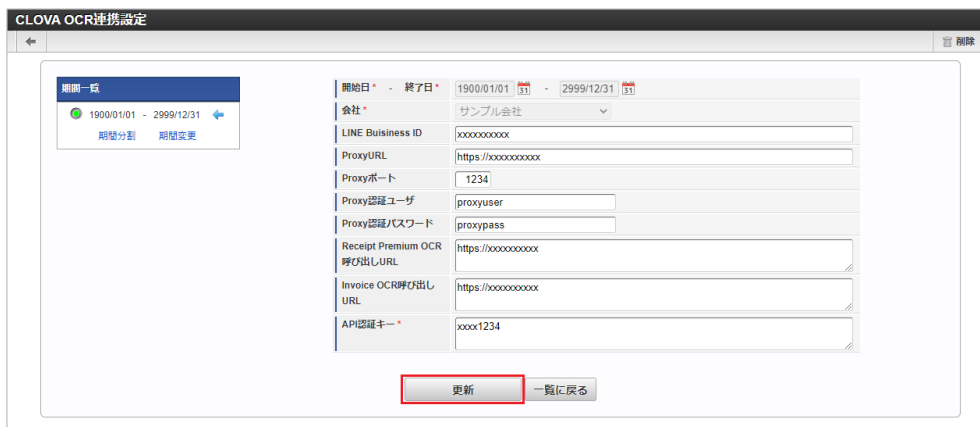
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



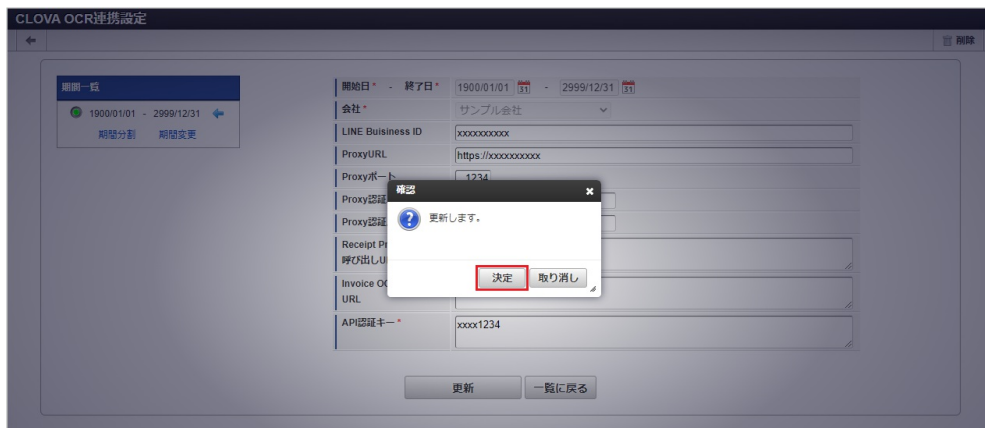
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



リファレンス

LINE WORKS OCR APIと連携してファイル管理を使用する

本項では、「LINE WORKS OCR API」と連携してファイル管理を使用する際の方法を説明します。

「LINE WORKS OCR API」と連携するには、以下の手順が必要です。

- LINE WORKS OCR関連マスタの設定
- ファイル管理

コラム

LINE WORKS OCR関連マスタの設定を実施すると、ファイル明細(汎用)にファイルをアップロードする際も書類がOCRされます。

「LINE WORKS OCR」との連携手順

LINE WORKS OCR関連マスタの設定

「LINE WORKS OCR」と連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
CLOVA OCR連携設定マスタ	「LINE WORKS OCR API」との連携設定を管理します。

ファイル管理

コラム

詳細は、「[ファイル管理](#)」を参照してください。

領収書のOCR結果の反映

領収書をアップロードした場合、領収書のOCR結果が以下の項目に反映されます。

- 受領日
システム日付が反映されます。
- 取引日
領収書の日付が反映されます。
- 取引先
領収書の取引先が反映されます。

- 取引金額
領収書の金額が反映されます。
- 摘要
領収書の摘要が反映されます。

コラム

ファイル分類で領収書を選択してからアップロードしてください。

コラム

「CLOVA OCR連携設定マスタ」の「Receipt Premium OCR呼び出しURL」を設定してください。
正しいURLが設定されていない場合、領収書のOCR結果は反映されません。

請求書のOCR結果の反映

請求書をアップロードした場合、請求書のOCR結果が以下の項目に反映されます。

- 受領日
システム日付が反映されます。
- 取引日
請求書の日付が反映されます。
- 登録番号
請求書の登録番号が反映されます。
- 取引金額
請求書の金額が反映されます。
- 取引先
請求書の取引先が反映されます。

コラム

ファイル分類で請求書を選択してからアップロードしてください。

コラム

「CLOVA OCR連携設定マスタ」の「Invoice OCR呼び出しURL」を設定してください。
正しいURLが設定されていない場合、請求書のOCR結果は反映されません。

invoiceAgent 文書管理連携モジュールの操作

概要

本項では、invoiceAgent 文書管理連携モジュールを使用して、「invoiceAgent 文書管理」と連携する際の概要を説明します。
invoiceAgent 文書管理連携モジュールを使用すると、「invoiceAgent 文書管理」へ請求書・領収書を電子化して登録することができます。
「invoiceAgent 文書管理」と連携するためには、「invoiceAgent 文書管理」の利用契約が必要です。
「invoiceAgent 文書管理」は、文書をデータ化し、取引の電子化を促進するサービスです。
詳細は「invoiceAgent 文書管理」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

invoiceAgent 文書管理連携モジュールを使用して、「invoiceAgent 文書管理」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- invoiceAgent 文書管理連携モジュール
「invoiceAgent 文書管理」との連携機能を提供します。
- invoiceAgent 文書管理
文書をデータ化し、取引の電子化を促進するサービスを提供します。

モジュールの選択

invoiceAgent 文書管理連携モジュールを使用して、「invoiceAgent 文書管理」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

「invoiceAgent 文書管理」へ請求書・領収書を電子化して登録する機能はinvoiceAgent 文書管理連携モジュールに含まれています。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	intra-mart Accel Kaiden! invoiceAgent 文書管理連携モジュール

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

invoiceAgent連携設定マスタ

本項では、invoiceAgent連携設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)

概要

invoiceAgent連携設定マスタは、invoiceAgent 文書管理の連携設定を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「invoiceAgent連携設定」をクリックします。
- 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

- 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ベースURL
「invoiceAgent 文書管理」へ接続するURLを入力します。
- invoiceAgent管理者ユーザー
「invoiceAgent 文書管理」へ接続する管理者ユーザーを入力します。

- invoiceAgent管理者パスワード
「invoiceAgent 文書管理」へ接続する管理者パスワードを入力します。
- invoiceAgentルートフォルダID
「invoiceAgent 文書管理」へのファイル登録先となるフォルダのIDを入力します。
- invoiceAgent格納パス
invoiceAgent 文書管理ルートフォルダID配下のファイル登録先パスを入力します。
※{ }内に置換文字列を設定することで、置換されます。
ファイルの電子化申請実施時に、invoiceAgent 文書管理の当項目に設定したパスにファイルが登録/移動されます。
- invoiceAgent監視対象フォルダID
invoiceAgent 文書管理の監視対象フォルダIDを入力します。
[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス](#) にアップロードしたファイルはinvoiceAgent 文書管理の当項目に入力したフォルダIDに登録されます。
- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。

 コラム

invoiceAgent格納パスで使用可能な置換文字列は次の通りです。

置換文字列を設定する際は、「{ }」で囲んでください。

取引先コード、予備項目A～Jは標準機能では値が設定されません。

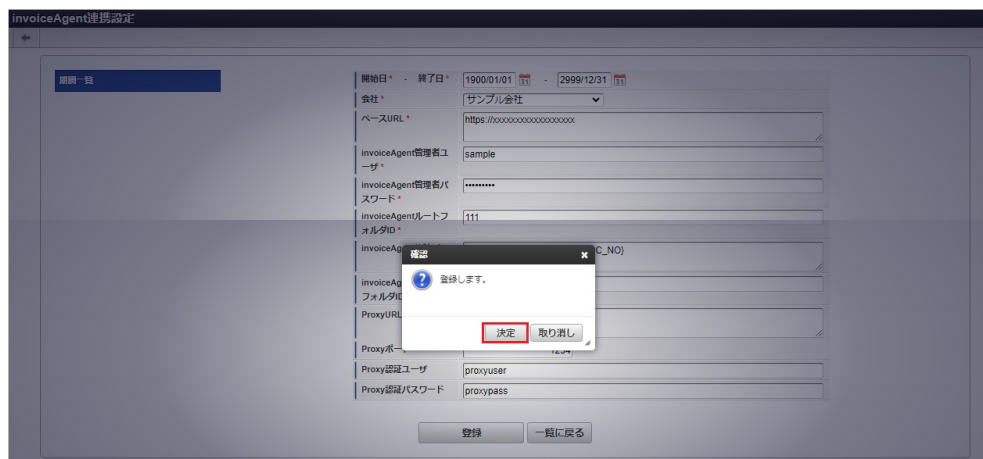
置換文字列	説明
COMPANY_CD	会社コードに置換します。
FILE_ID	ファイルIDに置換します。
PROC_NO	処理番号に置換します。
PROC_USER_CD	処理ユーザコードに置換します。
PROC_USER_NAME	処理ユーザ名に置換します。
PROC_TS	処理日時 (yyyyMMdd) に置換します。
PROC_CD	処理方法コードに置換します。
PROC_NAME	処理方法名に置換します。
FILE_CATEGORY_CD	ファイル分類コードに置換します。
FILE_CATEGORY_NAME	ファイル分類名に置換します。
RECEIVED_CATEGORY_ITEM_CD	受領方法カテゴリ項目コードに置換します。
RECEIVED_CATEGORY_CD	受領方法カテゴリコードに置換します。
RECEIVED_CATEGORY_NAME	受領方法カテゴリ名に置換します。
RECEIVED_CD	受領方法コードに置換します。
RECEIVED_NAME	受領方法名に置換します。
RECEIVED_TS	受領日時 (yyyyMMdd) に置換します。
RECEIVED_USER_CD	受領者コードに置換します。
RECEIVED_USER_NAME	受領者名に置換します。
TRADING_DATE	取引日 (yyyyMMdd) に置換します。
CUSTOMER_CD	取引先コードに置換します。
CUSTOMER_NAME	取引先名に置換します。
TRANS_CURRENCY_CD	取引通貨コードに置換します。
TRANS_AMOUNT	取引通貨額に置換します。
FILE_NAME	ファイル名に置換します。
OUTPUT_DATE	出力日 (yyyyMMdd) に置換します。
OUTPUT_TS	出力日 (yyyyMMddHHmmssSSS) に置換します。
MATTER_NUMBER	案件番号に置換します。
MATTER_NAME	案件名に置換します。
SYSTEM_MATTER_ID	システム案件IDに置換します。
ORIGINAL_STORAGE_FLAG	原本保管フラグに置換します。
ORIGINAL_STORAGE	原本保管フラグ名に置換します。
FILE_CATEGORY_BREAKDOWN_CD	ファイル分類内訳コードに置換します。
FILE_CATEGORY_BREAKDOWN_NAME	ファイル分類内訳名に置換します。
FILE_CATEGORY_ITEM_CD	ファイル分類項目コードに置換します。
USE_EXTENSION_A～J	予備項目A～Jに置換します。

i コラム

ファイル分類がその他の場合、次の項目は設定されません。
そのため、invoiceAgent格納パスに指定された場合、「NONE」に変換して出力します。

置換文字列	説明
RECEIVED_CATEGORY_ITEM_CD	受領方法カテゴリ項目コード
RECEIVED_CATEGORY_CD	受領方法カテゴリコード
RECEIVED_CATEGORY_NAME	受領方法カテゴリ名
RECEIVED_CD	受領方法コード
RECEIVED_NAME	受領方法名
RECEIVED_TS	受領日時 (yyyyMMdd)
TRADING_DATE	取引日 (yyyyMMdd)
CUSTOMER_CD	取引先コード
CUSTOMER_NAME	取引先名
TRANS_CURRENCY_CD	取引通貨コード
TRANS_AMOUNT	取引通貨額

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

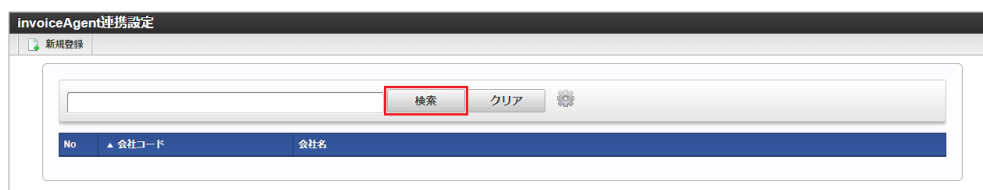


5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「invoiceAgent連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいinvoiceAgent連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

6. 更新することができました。



invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ

本項では、invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタは、会社毎に「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティとファイル管理の項目を紐づけます。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

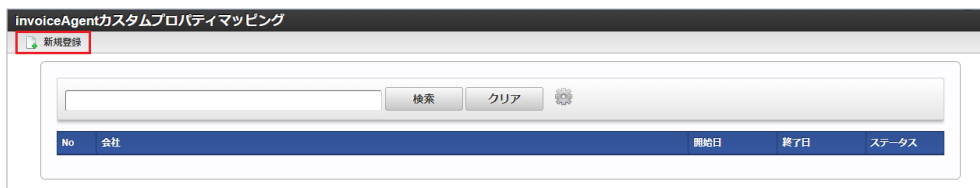
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

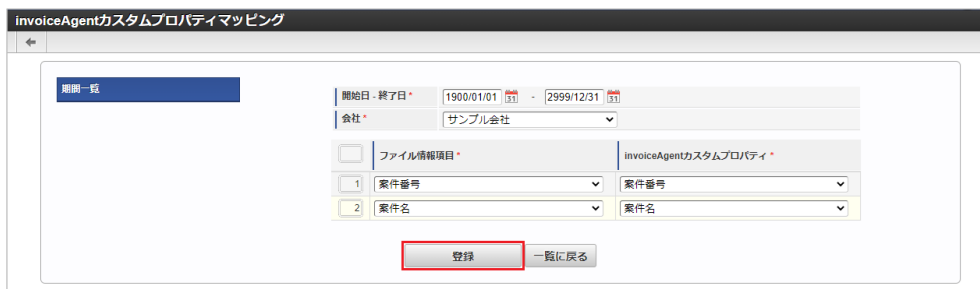
本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「invoiceAgentカスタムプロパティマッピング」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。



- ファイル情報項目
「invoiceAgent 文書管理」へ登録されるファイルのカスタムプロパティの設定値となる項目を選択します。
※invoiceAgent 文書管理カスタムプロパティへの設定値
- invoiceAgentカスタムプロパティ

「invoiceAgent 文書管理」へ登録されるファイルのカスタムプロパティを選択します。

※ファイル情報項目の値の設定先

i コラム

ファイル情報項目については、「[カスタムプロパティへ設定可能なファイル情報項目](#)」を参照してください。

i コラム

invoiceAgentカスタムプロパティは「invoiceAgent 文書管理」から取得するため、「[invoiceAgent連携設定マスタ](#)」の登録が必要です。

i コラム

明細行の操作方法は、[明細行の操作](#)を参照してください。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

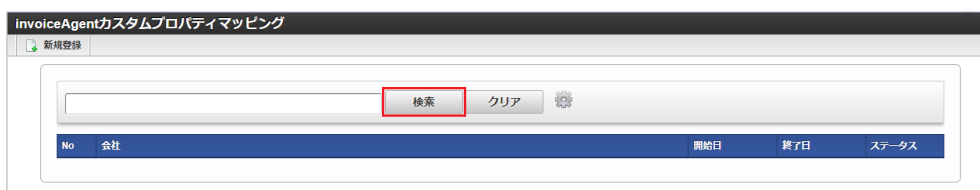


5. 新規登録することができました。



更新

- 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「ファイル」→「invoiceAgentカスタムプロパティマッピング」をクリックします。
- 一覧画面で「検索」をクリックします。

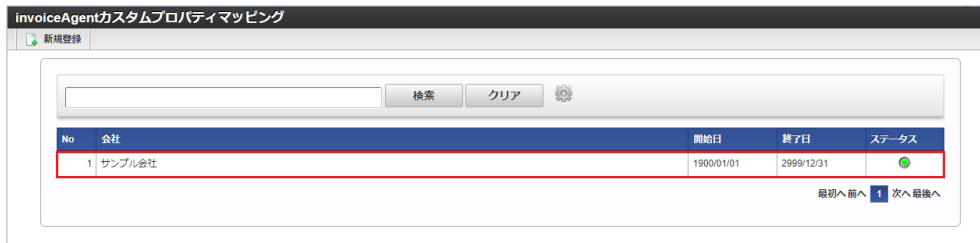


i コラム

検索欄に検索したいinvoiceAgentカスタムプロパティマッピングの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社

- 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import_header.csv
import_dtl.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

データ形式

import_header.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）

データサンプル

```
"comp_sample_01","term01","1900/01/01","1999/12/31","1"
"comp_sample_01","term02","2000/01/01","2999/12/31","0"
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「期間コード」は、「会社コード」が同じデータ単位で期間(開始日・終了日が同一)ごとに一意の値を設定します。
「会社コード」が異なるデータに対しては、期間コードに重複する値を設定可能です。

import_dtl.csv

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	期間コード	○	50	半角英数字、「_」「-」を設定可能です。
3	タプルID	○	18	
4	行番号	○	18	
5	ファイル情報項目	○	100	
6	invoiceAgentプロパティID	○	100	
7	invoiceAgentプロパティキータイプ	○	100	
8	invoiceAgentプロパティキー日付タイプ		18	
9	invoiceAgentプロパティキー数値タイプ		18	

データサンプル

```
"comp_sample_01","term01","0","1","matterNumber","105","string","",""
"comp_sample_01","term01","1","2","matterName","106","string","",""
"comp_sample_01","term02","0","1","matterNumber","105","string","",""
"comp_sample_01","term02","1","2","matterName","106","string","",""
```

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

i コラム

「import_header.csv」、「import_dtl.csv」で設定された「会社コード」、「期間コード」が同一の場合、同じデータのヘッダ部分・明細部分として扱います。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/invoiceAgentPropertyMapping

ファイル名 import_header.csv
 import_dtl.csv

i コラム

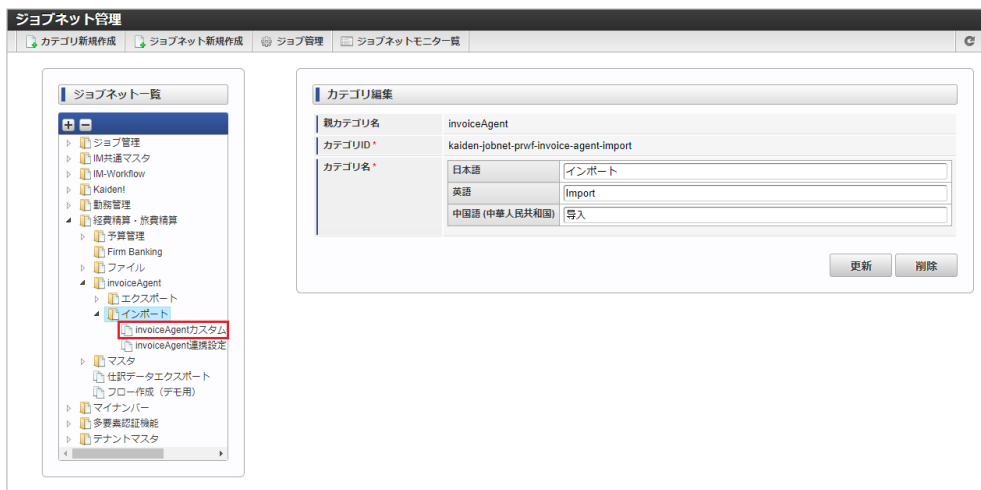
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「invoiceAgentカスタムプロパティマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

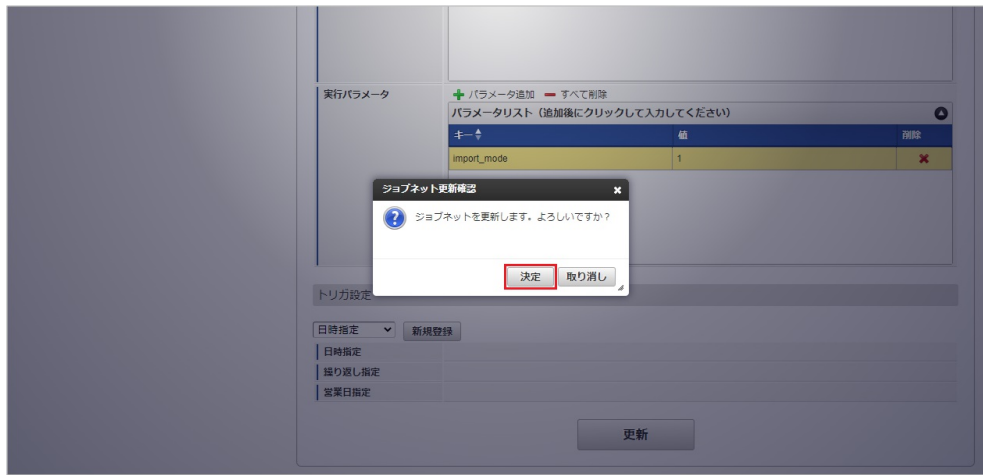
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

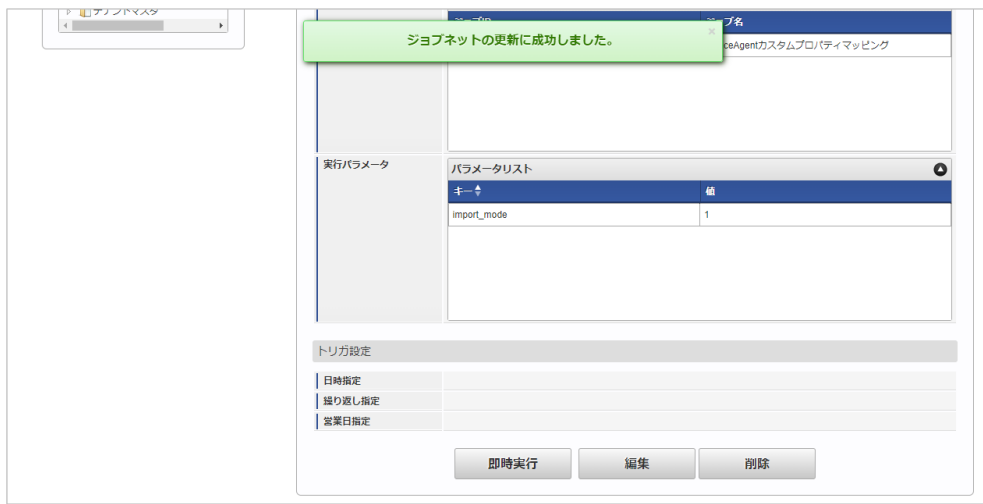
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-invoice-agent-import-iaPropertyMapping	経費精算・旅費精算 / invoiceAgent / インポート / invoiceAgentカスタムプロパティマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 単一期間 (差分) モード 2 : 単一期間 (一新) モード 3 : 単一期間 (入替) モード 4 : 複数期間 (差分) モード 5 : 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/invoiceAgentPropertyMapping/import_header.csv, import_dtl.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 操作なし 2 : コピー(copy) 3 : アーカイブ(move) 4 : 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6 : 削除(delete) 7 : 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8 : 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/invoiceAgentPropertyMapping/import_header_{YMDHMSN}.csv, import_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
ガジェットクラス	gadgetClass	インポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	インポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「invoiceAgentPropertyMapping」を設定しています。

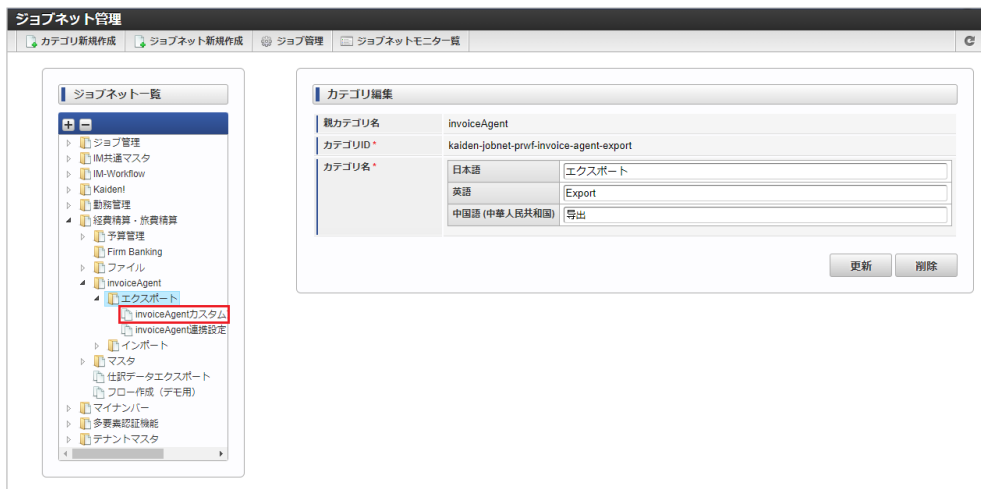
{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

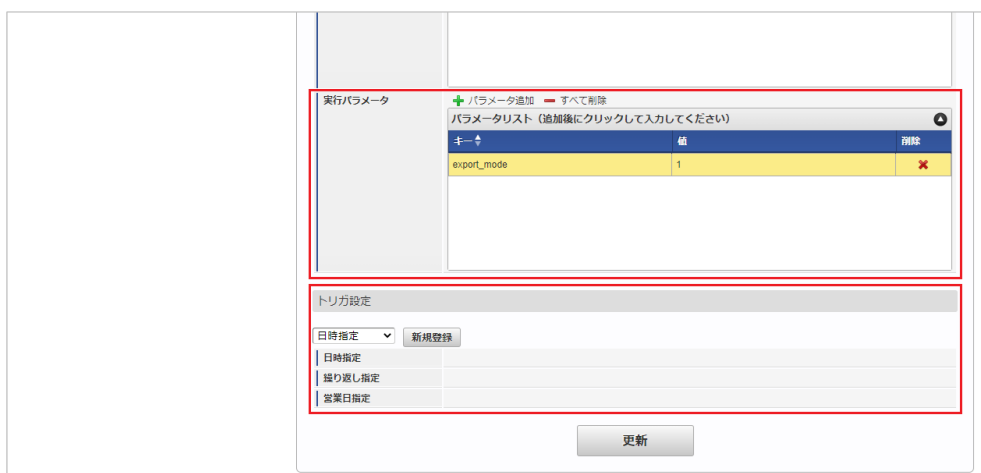
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「invoiceAgentカスタムプロパティマッピング」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-invoice-agent-export-iaPropertyMapping	経費精算・旅費精算 / invoiceAgent / エクスポート / invoiceAgentカスタムプロパティマッピング

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
export_mode	1	✖

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
export_mode	1	✖

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

7. ジョブネットが設定されました。

ジョブネットの更新に成功しました。

実行パラメータ

パラメータリスト

キー	値
export_mode	1

トリガ設定

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

即時実行 編集 削除

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/invoiceAgentPropertyMapping
ファイル名	export_header.csv export_dtl.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

export_header.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
termCd	期間コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効

export_dtl.csv

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
termCd	期間コード	
tupleId	タプルID	
rowNumber	行番号	
fileInfoltem	ファイル情報項目	
iaPropertyId	invoiceAgentプロパティID	
iaPropertyType	invoiceAgentプロパティキータイプ	
iaPropertyDateType	invoiceAgentプロパティキー日付タイプ	
iaPropertyNumType	invoiceAgentプロパティキー数値タイプ	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明／設定値
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：全件出力モード ▪ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） ▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/invoiceAgentPropertyMapping/export_header.csv, export_dtl.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1：既存ファイルに追記 ▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/{COMPANY_CD}/master/invoiceAgentPropertyMapping/export_header_{YMDHMSN}.csv, export_dtl_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ ,：カンマ ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> ▪ "：ダブルクォーテーション ▪ none：囲み文字なし

名称	キー	説明／設定値
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
ガジェットクラス	gadgetClass	エクスポートするマスタのガジェットクラスを設定します。 invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「master」を設定しています。
ガジェットバリエーション	gadgetVariation	エクスポートするマスタのガジェットバリエーションを設定します。 invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「invoiceAgentPropertyMapping」を設定しています。

{COMPANY_CD} : 会社コード

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス

本項では、「invoiceAgent 文書管理」にファイルをアップロードする方法及び、ファイル管理への登録方法を説明します。当機能に登録したファイルは、「invoiceAgent 文書管理」の*invoiceAgent連携設定マスタ*のinvoiceAgent監視対象フォルダIDに登録されます。また、「invoiceAgent 文書管理」でファイルの振り分けを行う際にOCRサービスを使用してファイルの情報を読み取ります。OCRの解析が完了したファイルは、当機能または「ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)ガジェット」を使用して [ファイル管理](#)へ登録できます。尚、*invoiceAgent 文書管理文書情報更新*を実行することで、「invoiceAgent 文書管理」のOCRの解析状況を更新します。

コラム

「invoiceAgent 文書管理」のOCRの解析結果とファイル管理の項目の紐づけはカスタムプロパティで行います。
*invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ*を事前に設定してください。
当機能を使用するための設定方法は[Kaiden!からinvoiceAgent 文書管理へファイルアップロードしてから電子化申請を実施する\(OCR機能の活用\)](#)を参照ください。

コラム

ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)ガジェットについては、『[intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド](#)』を参照してください。

コラム

当機能からファイル管理へファイルを登録する際は、当機能の認可とは別に以下認可の許可が必要です。

- 「画面・処理/Kaiden!/マスタメンテナンス/汎用」の権限
- 「画面・処理/個人設定/ファイル管理」の権限
- ファイルを登録する会社の編集権限

- 概要
- [invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード](#)
- [ファイル検索／ファイル管理への登録](#)

概要

invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス画面から、「invoiceAgent 文書管理」にファイルをアップロードできます。また、「invoiceAgent 文書管理」でOCRの読み取りが完了したファイルをファイル管理へ登録することができます。invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス(管理者)を使用する場合、アップロード時にファイルの登録者を選択できます。また、認可を持つ会社にアップロードされた全てのファイルを参照・メンテナンスすることが可能です。invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンスを使用する場合、登録者がログインユーザと一致するファイルを参照・メンテナンスすることが可能です。

invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード

「invoiceAgent 文書管理」にファイルをアップロードできます。

アップロードし、OCRの読み取りが完了したファイルは、ファイル管理に登録し申請書で精算可能です。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「invoiceAgent」→「invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス」をクリックします。

The screenshot shows the 'invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード/メンテナンス' interface. It includes a form for uploading documents with fields for '会社' (Company), '登録者' (Registered User), and '添付' (Attachment). Below the form is a search section with filters for '会社', '登録日', 'ファイルID', and '解凍状況'. A table at the bottom lists uploaded files with columns for 'No', 'ファイルID', 'ファイル名', 'ファイル取得', '登録者', '登録日時', '解凍状況', and 'ファイル管理への登録状況'.

コラム

管理者として利用する場合、「invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。アップロード、検索の「登録者」が選択できます。

2. 「会社」、「登録者」を選択したら、アップロードアイコンをクリックしてください。

This screenshot is identical to the previous one, but a red box highlights the 'アップロード' (Upload) button in the top right corner of the form section.

- **会社**
選択した会社の文書としてアップロードします。
 - **登録者**
選択したユーザの文書としてアップロードします。（管理者のみ変更可能）
 - **添付**
クリックすると文書のアップロードが可能です。
PDFか画像ファイルをアップロードしてください。
複数のファイルをアップロード可能です。
画像ファイルをアップロードした場合、PDFに変換して登録されます。
3. ファイルをアップロードすると、ポップアップが表示されます。
ポップアップからファイルのダウンロード・参照・追加・削除等が実施できます。

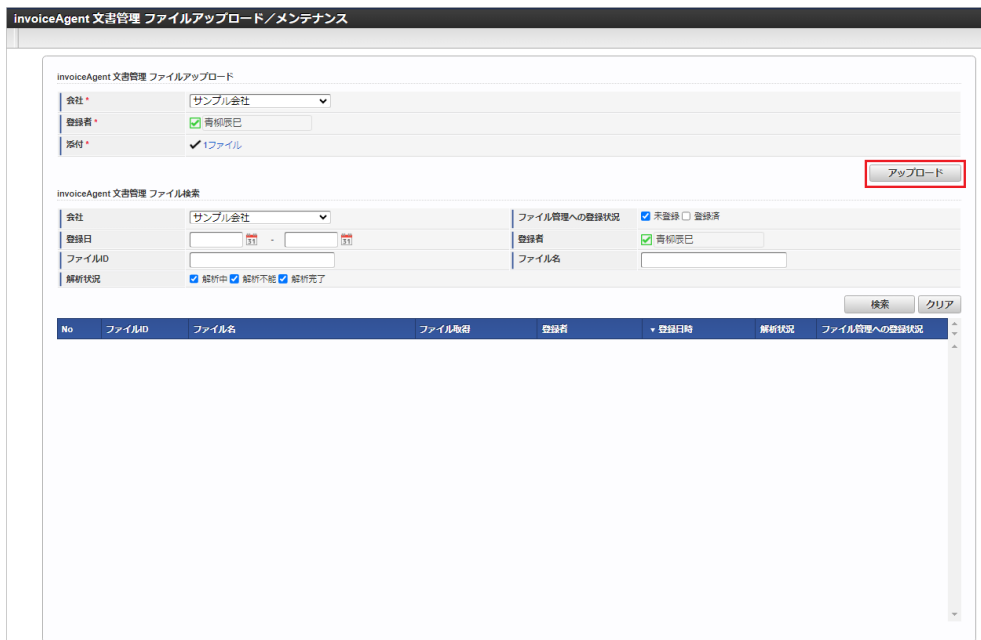


- 表示アイコン
ファイルの内容を表示します。
- ダウンロードアイコン
ファイルをダウンロードします。
- ゴミ箱アイコン
ファイルを削除します。
- ファイル追加
ファイルを追加します。
- 全削除
ファイルを全て削除します。
- 閉じる
ポップアップを閉じます。

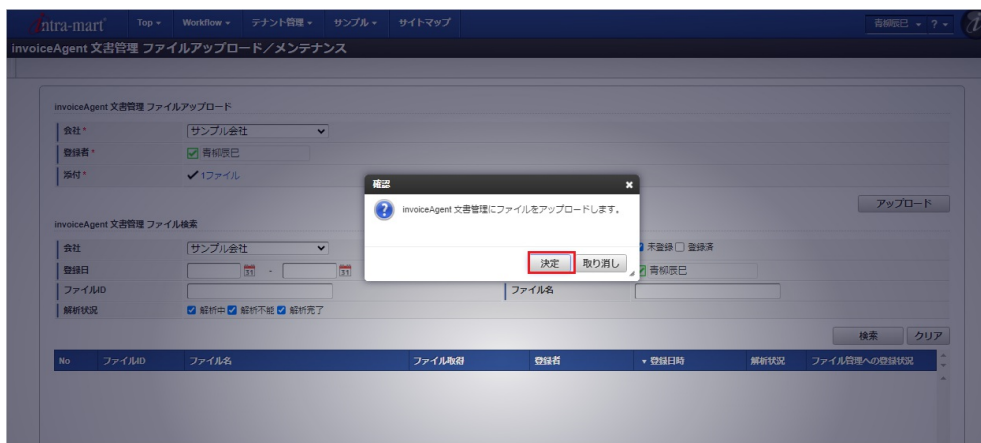
4. ポップアップを閉じると、「添付」にチェックアイコンが表示されます。



5. 「アップロード」をクリックします。



6. 「決定」をクリックします。



7. 「invoiceAgent 文書管理」に文書をアップロードできました。



8. 「検索」をクリックするとアップロードした文書が一覧に表示されます。
 「解析状況」が「解析完了」の状態になると、ファイル管理に登録できます。
 「解析状況」が「解析不能」のファイルはOCRで解析できないファイルであり、ファイル管理に登録できません。

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード/メンテナンス

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード

会社 * サンプル会社
 登録者 * 青柳原巳
 添付 *

invoiceAgent 文書管理 ファイル検索

会社 サンプル会社
 登録日 -
 ファイルID
 解析状況 解析中 解析不能 解析完了

ファイル管理への登録状況 未登録 登録済
 登録者 青柳原巳
 ファイル名

No	ファイルID	ファイル名	ファイル取得	登録者	登録日時	解析状況	ファイル管理への登録状況
1	166	請求書.pdf	<input type="button" value="📄 ファイルを閲覧する"/>	青柳原巳	2024/01/17 10:52:34	解析中	未登録

最初へ 前へ 1 次へ 最後へ

ファイル検索/ファイル管理への登録

OCRの解析状況が解析完了のファイルをファイル管理へ登録できます。

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「invoiceAgent」→「invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス」をクリックします。

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード/メンテナンス

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード

会社 * サンプル会社
 登録者 * 青柳原巳
 添付 *

invoiceAgent 文書管理 ファイル検索

会社 サンプル会社
 登録日 -
 ファイルID
 解析状況 解析中 解析不能 解析完了

ファイル管理への登録状況 未登録 登録済
 登録者 青柳原巳
 ファイル名

No	ファイルID	ファイル名	ファイル取得	登録者	登録日時	解析状況	ファイル管理への登録状況
----	--------	-------	--------	-----	------	------	--------------

i コラム

管理者として利用する場合、「invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス(管理者)」をクリックしてください。アップロード、検索の「登録者」が選択できます。

2. invoiceAgent 文書管理ファイル検索欄の解析状況の「解析完了」と、ファイル管理への登録状況の「未登録」をチェックして「検索」をクリックします。

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード/メンテナンス

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード

会社 * サンプル会社
 登録者 * 青柳 崇巳
 添付 * ファイルを選択してください

アップロード

invoiceAgent 文書管理 ファイル検索

会社 サンプル会社
 登録日 -
 ファイルID
 解析状況 解析中 解析不能 解析完了

ファイル管理への登録状況 未登録 登録済
 登録者 青柳 崇巳
 ファイル名

検索 クリア

No	ファイルID	ファイル名	ファイル取得	登録者	登録日時	解析状況	ファイル管理への登録状況
----	--------	-------	--------	-----	------	------	--------------

3. OCRの解析が完了し、ファイル管理へ未登録のデータが一覧表示されます。

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード/メンテナンス

invoiceAgent 文書管理 ファイルアップロード

会社 * サンプル会社
 登録者 * 青柳 崇巳
 添付 * ファイルを選択してください

アップロード

invoiceAgent 文書管理 ファイル検索

会社 サンプル会社
 登録日 -
 ファイルID
 解析状況 解析中 解析不能 解析完了

ファイル管理への登録状況 未登録 登録済
 登録者 青柳 崇巳
 ファイル名

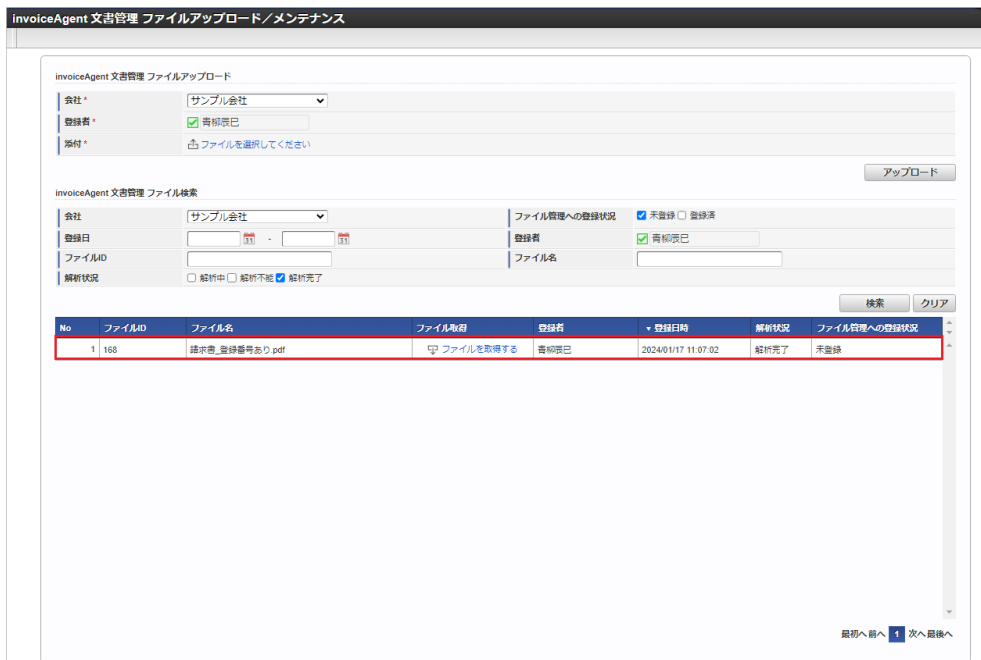
検索 クリア

No	ファイルID	ファイル名	ファイル取得	登録者	登録日時	解析状況	ファイル管理への登録状況
1	168	請求書_登録番号あり.pdf	<input type="button" value="ファイルを取得する"/>	青柳 崇巳	2024/01/17 11:07:02	解析完了	未登録

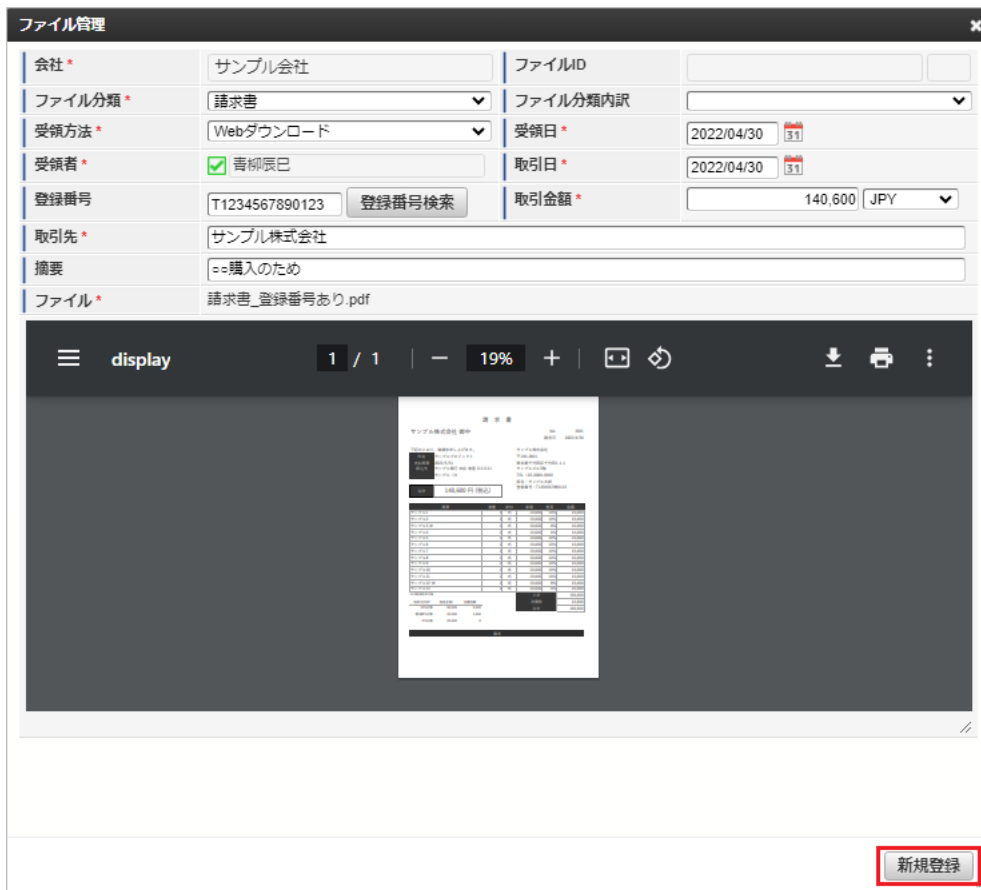
最初へ戻る 1 次へ最後へ

- **ファイルID**
invoiceAgent 文書管理のファイルIDを表示します。
- **ファイル名**
ファイル名を表示します。
- **ファイル取得**
クリックするとアップロードされた文書をダウンロードします。
- **登録者**
アップロードを実施したユーザ名を表示します。
- **登録日時**
アップロードを実施した日時を表示します。
- **解析状況**
ファイルの解析状況を表示します。
「解析中」、「解析不能」、「解析完了」のいずれかが表示されます。
- **ファイル管理への登録状況**
ファイルがファイル管理に登録されているかを表示します。
「未登録」、「登録済み」のいずれかが表示されます。

4. 「解析状況」が「解析完了」、「ファイル管理への登録状況」が「未登録」のデータ行をクリックすると、ファイル管理への登録画面がポップアップ表示されます。



5. 登録画面で必要な情報を入力し、「新規登録」をクリックします。
登録画面には、OCR解析結果が初期設定されます。



- 会社
ファイルアップロード時に選択した会社から変更できません。
- ファイル分類
ファイル分類を選択します。
- ファイル分類内訳
ファイル分類内訳を選択します。
- 受領方法
受領方法を選択します。
- 受領日
受領日を入力します。
受領日を入力時に取引日が未入力の場合、受領日と同じ日付を取引日に設定します。
- 受領者

ファイルアップロード時に選択した登録者から変更できません。

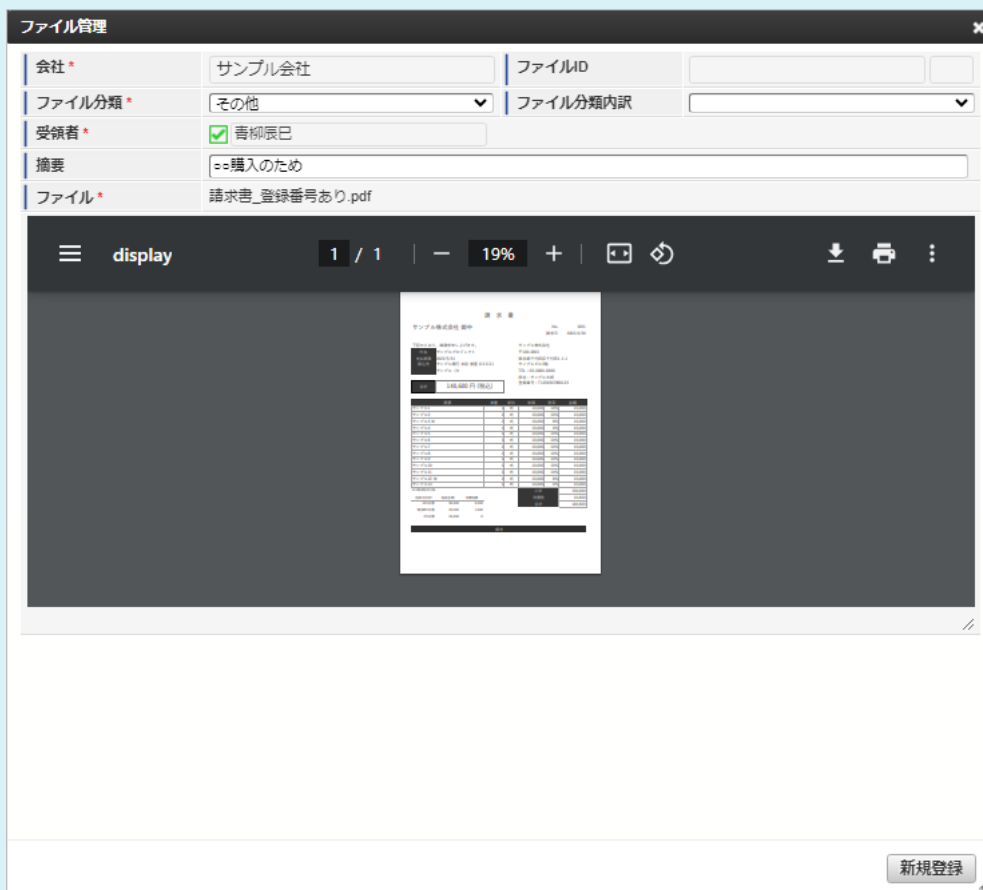
- 取引日
取引日を入力します。
取引日を入力時に受領日が未入力の場合、取引日と同じ日付を受領日に設定します。
- 登録番号
登録番号を入力します。
「登録番号検索」をクリックすると、登録番号を検索できます。
- 取引金額
取引金額を入力します。
通貨を選択します。
- 取引先
取引先を入力します。
- 摘要
摘要を入力します。
- ファイル
ファイル名、プレビュー画面が表示され変更できません。

i コラム

「登録番号検索」は、「[適格請求書設定マスタ](#)」の「登録番号チェック種別」を「公表情報ダウンロードデータ」に設定すると表示されます。
登録番号検索の操作方法は、[登録番号検索](#)を参照してください。

i コラム

ファイル分類が「その他」の場合、「ファイル分類」、「ファイル分類内訳」、「受領者」、「摘要」、「ファイル」を設定可能です。



6. ファイル管理にファイルが登録されました。



invoiceAgent 文書管理文書情報更新

本項では、[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)からアップロードしたファイルを「invoiceAgent 文書管理」でOCR解析した結果を取得する方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

invoiceAgent 文書管理文書情報更新は、「invoiceAgent 文書管理」に接続し、[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)でアップロードしたファイルのOCR解析状況及び解析結果を取得します。

「invoiceAgent 文書管理」に接続するには、「[invoiceAgent連携設定マスタ](#)」の登録が必要です。

i コラム

OCRの解析結果は、「[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)」で確認して下さい。

i コラム

invoiceAgent 文書管理文書情報更新は、[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)からアップロードしたファイルのうち、解析情報が「解析中」のファイルの情報を取得します。

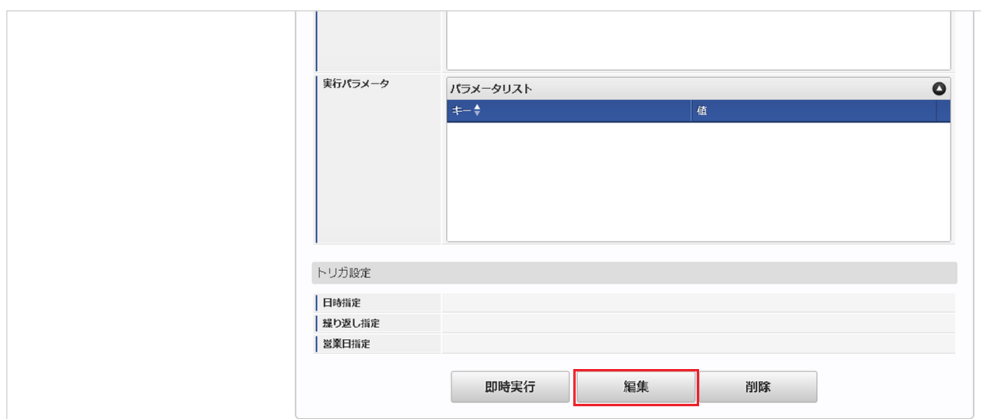
ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「invoiceAgent 文書管理文書情報更新」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

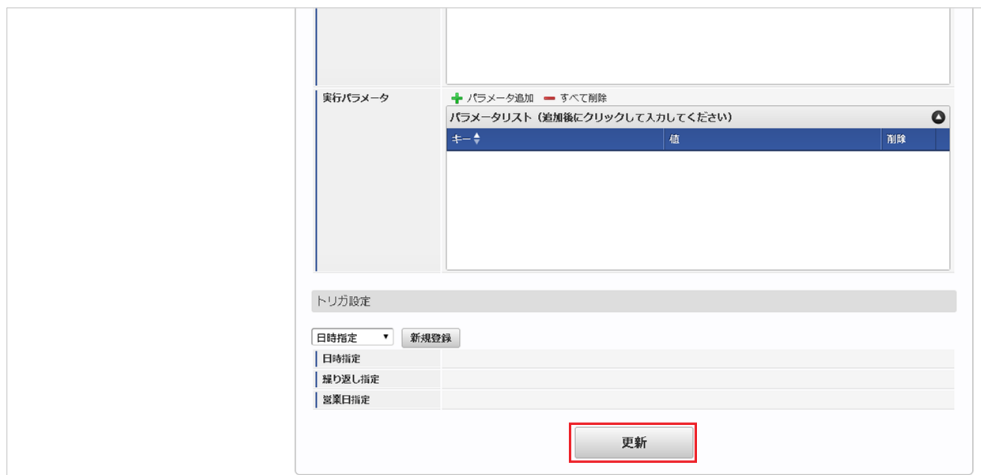
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

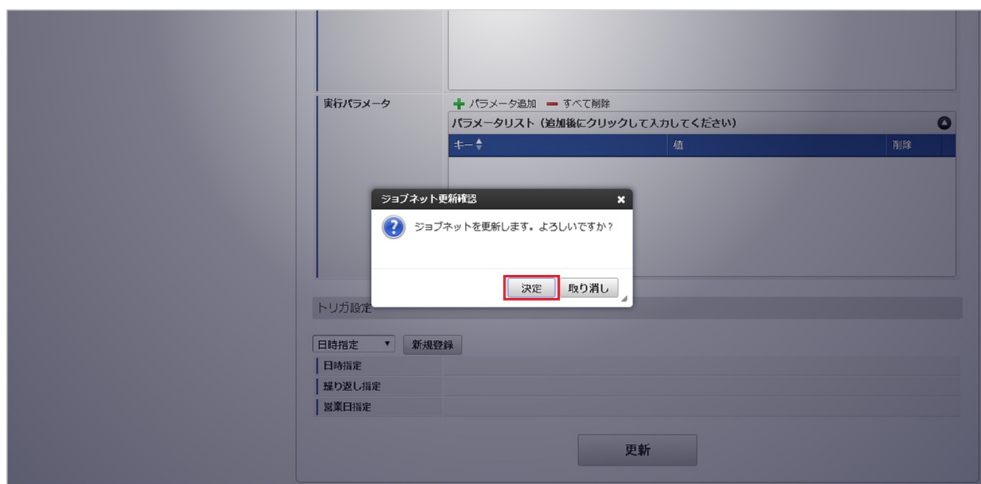
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-jobnet-prwf-invoice-agent-external-01-invoiceAgentDocumentInfoUpdate	経費精算・旅費精算 / invoiceAgent / 外部 / invoiceAgent 文書管理文書情報更新

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
接続回数	connection_times	「invoiceAgent 文書管理文書情報更新」で「invoiceAgent 文書管理」にファイルの解析状況を確認する際の最大接続回数を設定します。 (省略時：10)
接続間隔	connection_interval	「invoiceAgent 文書管理文書情報更新」で「invoiceAgent 文書管理」にファイルの解析状況を確認する際の接続間隔(秒)を設定します。 (省略時：60)

リファレンス

invoiceAgent 文書管理と連携してファイルの電子化申請を実施する

本項では、「invoiceAgent 文書管理」を使用してファイルの電子化申請を実施する際の方法を説明します。

「invoiceAgent 文書管理」と連携することで、「invoiceAgent 文書管理」へファイルを登録しカスタムプロパティを設定することができます。「invoiceAgent 文書管理」と連携するには、以下の手順が必要です。

- invoiceAgent 文書管理の設定
- invoiceAgent関連マスタの設定
- ファイルの電子化申請

「invoiceAgent 文書管理」との連携手順

invoiceAgent 文書管理の設定

「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティを設定します。

「invoiceAgent 文書管理」で登録したカスタムプロパティを*invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ*でファイル管理の項目と紐づけます。

詳細は「invoiceAgent 文書管理」のドキュメントを参照ください。

invoiceAgent 文書管理関連マスタの設定

「invoiceAgent 文書管理」と連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
invoiceAgent連携設定マスタ	「invoiceAgent 文書管理」の連携設定を管理します。
invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ	「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティとファイル管理の項目を紐づけます。

ファイルの電子化申請

ファイルの電子化申請を実施する方法は以下を参照してください。

- [ファイルの電子化申請を実施する方法\(ファイル明細ガジェット\)](#)

Kaiden!からinvoiceAgent 文書管理へファイルアップロードしてから電子化申請を実施する(OCR機能の活用)

本項では、Kaiden!の*invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード/メンテナンス*から「invoiceAgent 文書管理」へファイルアップロードしてから電子化申請を実施する方法を説明します。

「invoiceAgent 文書管理」へアップロード後に「invoiceAgent 文書管理」側でファイルのOCR解析を行います。

ファイルの解析結果を使用して [ファイル管理](#)へファイルを登録します。

ファイル管理へ登録したファイルは電子化申請に使用することができます。

ファイルの電子化申請については[invoiceAgent 文書管理と連携してファイルの電子化申請を実施する](#)を参照ください。

Kaiden!からinvoiceAgent 文書管理へファイルアップロードしてから電子化申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- invoiceAgent 文書管理の設定
- invoiceAgent関連マスタの設定
- ファイルの電子化申請

「invoiceAgent 文書管理」との連携手順

invoiceAgent 文書管理の設定

詳細は「invoiceAgent 文書管理」のドキュメントを参照ください。

invoiceAgent 文書管理の設定

「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティを設定します。
「invoiceAgent 文書管理」で登録したカスタムプロパティを[invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ](#)でファイル管理の項目と紐づけます。

OCR機能を使用するための設定

[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)を使用して「invoiceAgent 文書管理」へファイルをアップロードする場合、「invoiceAgent 文書管理」でOCR機能を使用するための設定を実施してください。
また、「invoiceAgent 文書管理」でファイルを振り分ける際にOCR解析を実施するため、「invoiceAgent 文書管理」の振り分け設定も実施してください。

invoiceAgent 文書管理関連マスタの設定

「invoiceAgent 文書管理」と連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
invoiceAgent連携設定マスタ	「invoiceAgent 文書管理」の連携設定を管理します。
invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ	「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティとファイル管理の項目を紐づけます。

invoiceAgent 文書管理へのファイルアップロード

[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)を使用して「invoiceAgent 文書管理」へファイルをアップロードします。
アップロードしたファイルは「invoiceAgent 文書管理」で設定したinvoiceAgent監視対象フォルダIDに登録されます。
その後OCR解析が実施され、「invoiceAgent 文書管理」の設定によりファイルの格納先が移動します。

invoiceAgent 文書管理でのOCR解析結果の取得

[invoiceAgent 文書管理文書情報更新](#)を使用して「invoiceAgent 文書管理」でのOCR解析結果を取得します。

ファイル管理への登録

OCR解析が完了したファイルはファイル管理へ登録します。
[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)、「invoiceAgent文書検索ガジェット」を使用してファイル管理へ登録できます。

invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス

使用方法は[invoiceAgent 文書管理ファイルアップロード／メンテナンス](#)を参照してください。

ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)ガジェット

使用するための方法は [ファイル検索\(invoiceAgent 文書管理\)ガジェットを使用してファイル管理への登録及び電子化申請を実施する方法](#)を参照してください。

ガジェットの操作方法は『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ガジェットガイド』を参照してください。

ファイルの電子化申請

ファイルの電子化申請を実施する方法は以下を参照してください。
電子化申請を実施すると「invoiceAgent 文書管理」で設定したinvoiceAgent格納パスにファイルが移動し、カスタムプロパティが更新されます。

- [invoiceAgent 文書管理と連携してファイルの電子化申請を実施する](#)

ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)ガジェットを使用してファイル管理への登録及び電子化申請を実施する方法

本項では、invoiceAgent 文書管理でOCR解析が完了したファイルをファイル管理へ登録し、併せて電子化申請等をする方法を説明します。
invoiceAgent 文書管理でOCR解析を実施する方法は[Kaiden! からinvoiceAgent 文書管理へファイルアップロードしてから電子化申請を実施する\(OCR機能の活用\)](#)を参照してください。

尚、電子化申請を実施すると「invoiceAgent 文書管理」で設定したinvoiceAgent格納パスにファイルが移動し、カスタムプロパティが更新されます。

実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成

- ・ フロー定義の作成

実施準備手順

関連マスタの設定

[ファイル管理](#)を使用する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要	必須
受領方法マスタ	ファイルの受領方法を管理します。	○
ファイル分類内訳マスタ	ファイルの分類の内訳を管理します。	

ガジェットのインポート

ファイルを使用した申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchIaFile_v01.xml	ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)	○
fileDetail_v01.xml	ファイル明細	
fileDetail_v02.xml	ファイル明細 (汎用)	
attachedFileValidation_v01.xml	添付ファイルチェック	
settle_v01.xml	精算情報	
settle_v02.xml	精算情報 (精算のみ)	
routeDetail_v01.xml	旅程明細	
routeDetail_v02.xml	旅程明細 (複数通貨)	
routeDetail_v03.xml	旅程明細 (簡易)	
routeDetail_v04.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易)	
routeDetail_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetail_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetail_v07.xml	旅程明細 (予算) 自動引当	
routeDetail_v08.xml	旅程明細 (予算) 手動引当	
routeDetail_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)	
routeDetail_v10.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易, 連携)	
routeDetail_v11.xml	旅程明細 (簡易, 連携) (カード形式)	
lodgeDetail_v01.xml	宿泊明細	
lodgeDetail_v02.xml	宿泊明細 (複数通貨)	
lodgeDetail_v03.xml	宿泊明細 (簡易)	
lodgeDetail_v04.xml	宿泊明細 (複数通貨, 簡易)	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細 (連携)	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細 (複数通貨, 連携)	
lodgeDetail_v07.xml	宿泊明細 (予算) 自動引当	
lodgeDetail_v08.xml	宿泊明細 (予算) 手動引当	
expenseDetail_v01.xml	経費明細	
expenseDetail_v02.xml	経費明細 (複数通貨)	
expenseDetail_v03.xml	経費明細 (簡易)	
expenseDetail_v04.xml	経費明細 (複数通貨, 簡易)	
expenseDetail_v05.xml	経費明細 (連携)	
expenseDetail_v06.xml	経費明細 (複数通貨, 連携)	

expenseDetail_v07.xml	経費明細（予算）自動引当
expenseDetail_v08.xml	経費明細（予算）手動引当
expenseDetail_v09.xml	経費明細（カード形式）
billPaymentInfo_v01.xml	請求書払情報
billPaymentInfo_v02.xml	請求書払情報（予算連携）
billPaymentInfo_v03.xml	請求書払情報（外貨支払）
billPaymentInfo_v04.xml	請求書払情報（外貨支払, 予算連携）
billPaymentDetail_v01.xml	請求書払明細
billPaymentDetail_v02.xml	請求書払明細（予算）自動引当
billPaymentDetail_v03.xml	請求書払明細（予算）手動引当
billPaymentDetail_v04.xml	請求書払明細（外貨支払）
billPaymentDetail_v05.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）自動引当
billPaymentDetail_v06.xml	請求書払明細（外貨支払, 予算）手動引当

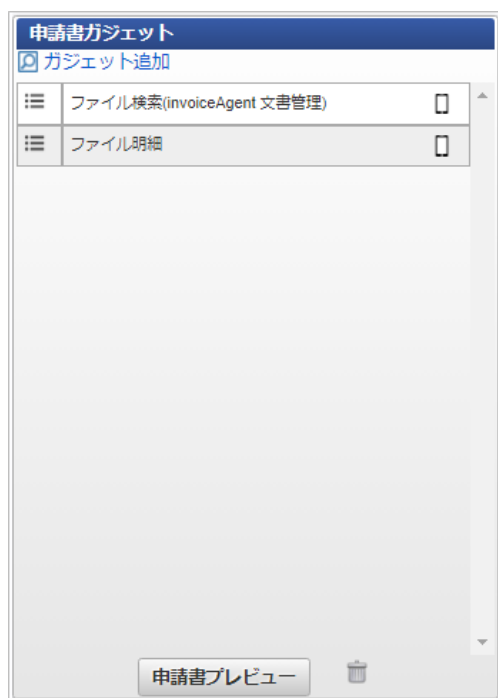
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「ファイル検索(invoiceAgent 文書管理)」と連携用ガジェットを選択してください。



コラム

invoiceAgent 文書管理と連携してファイルの電子化申請を実施する、リファレンスも参考にしてください。

カスタムプロパティへ設定可能なファイル情報項目

本項では、「invoiceAgent 文書管理」のカスタムプロパティへ設定可能なファイル情報項目を説明します。

ファイル情報項目

カスタムプロパティへ設定可能なファイル情報項目です。

カスタムプロパティへの紐づけは、invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタで行います。

コラム

invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタについては、「[invoiceAgentカスタムプロパティマッピングマスタ](#)」を参照してください。

No(列)	項目名	項目コード	備考
1	案件番号	matterNumber	
2	案件名	matterName	
3	申請基準日 (IM-Workflow)	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
4	処理権限者コード (IM-Workflow)	authUserCd	
5	処理権限者名 (IM-Workflow)	authUserName	
6	処理実行者コード (IM-Workflow)	executeUserCd	
7	処理実行者名 (IM-Workflow)	executeUserName	
8	処理実行日時 (IM-Workflow)	executeDate	yyyy/MM/dd HH:mm:ss形式
9	処理ステータスコード (IM-Workflow)	processStatusCd	
10	処理ステータス名 (IM-Workflow)	processStatusName	
11	会社コード	companyCd	
12	ファイルID	fileId	
13	処理番号	procNo	
14	システム案件ID	systemMatterId	
15	ユーザデータID	userDataId	
16	ガジェットID	gadgetId	
17	ブロックID	blockId	
18	タプルID	tupleId	
19	行番号	rowNumber	
20	処理ユーザコード	procUserCd	
21	処理ユーザ名	procUserName	
22	処理日時	procTs	yyyy/MM/dd形式
23	処理方法コード	procCd	
24	処理方法名	procName	
25	ファイル分類コード	fileCategoryCd	
26	ファイル分類名	fileCategoryName	
27	受領方法カテゴリコード	receivedCategoryCd	
28	受領方法カテゴリ名	receivedCategoryName	
29	受領方法コード	receivedCd	
30	受領方法名	receivedName	
31	受領日時	receivedTs	yyyy/MM/dd形式
32	受領者コード	receivedUserCd	
33	受領者名	receivedUserName	
34	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH:mm:ss形式
35	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
36	確認権限者名	checkedAuthUserName	
37	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
38	確認実行者名	checkedExecuteUserName	
39	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式
40	取引先コード	customerCd	標準機能では設定されません。

41	取引先名	customerName	
42	取引通貨コード	transCurrencyCd	
43	取引通貨額	transAmount	
44	摘要	summary	
45	原本保管フラグ	originalStorageFlag	0 : 原本保管が不要 1 : 原本保管が必要
46	原本保管フラグ名	originalStorage	originalStorageFlagが0 : 不要 originalStorageFlagが1 : 必要
47	ファイル分類内訳コード	fileCategoryBreakdownCd	
48	ファイル分類内訳名	fileCategoryBreakdownName	
49	処理方法項目コード	procItemCd	
50	ファイル分類項目コード	fileCategoryItemCd	
51	受領方法カテゴリ項目コード	receivedCategoryItemCd	
52	予備項目A~J	useExtensionA~J	ファイル明細ガジェットの予備項目に設定した値が設定されま す。 予備項目の使用にはカスタマイズが必要です。

マルチバリューチャージサービス連携モジュールの操作

概要

本項では、マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用して、「マルチバリューチャージサービス」と連携する際の概要を説明します。マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用すると、申請データを元に従業員の仮払金及び経費立替を「マルチバリューチャージサービス」を使用して支払いすることができます。

「マルチバリューチャージサービス」と連携するためには、「マルチバリューチャージサービス」の利用契約が必要です。

「マルチバリューチャージサービス」は、電子マネーギフトやコード決済サービスなど多様なサービスから選択して支払いができるサービスです。詳細は「マルチバリューチャージサービス」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用して、「マルチバリューチャージサービス」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- マルチバリューチャージサービス連携モジュール
「マルチバリューチャージサービス」との連携機能を提供します。
- マルチバリューチャージサービス
Kaiden!から連携されたデータをもとに、電子マネーギフトやコード決済サービスによる決裁指示を代行するサービスを提供します。

モジュールの選択

マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用して、「マルチバリューチャージサービス」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。

「マルチバリューチャージサービス」へ連携するデータを出力する機能はマルチバリューチャージサービス連携モジュールに含まれています。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	マルチバリューチャージサービス連携モジュール

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ

本項では、マルチバリューチャージサービス連携設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [置換文字列](#)

概要

マルチバリューチャージサービス連携設定マスタは、マルチバリューチャージサービスの連携設定を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

メンテナンス、インポートの2種類の 방법으로マスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マルチバリューチャージサービス」→「マルチバリューチャージサービス連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- [支払方法](#)
支払方法を選択します。

FB出力対象外の支払方法を選択してください。

選択した支払方法が事前申請書の仮払手段、または精算申請書の精算手段に設定された場合、マルチバリューチャージサービスへのチャージ依頼対象になります。

- チャージ上限金額
チャージ上限金額を入力します。
入力した金額が、マルチバリューチャージサービスへチャージ依頼する際の上限となります。
- 個別ご案内文
個別ご案内文を入力します。
個別ご案内文は「マルチバリューチャージサービス」へのチャージ依頼用CSVの出力内容に使用されます。
- 備考
備考を入力します。
備考は「マルチバリューチャージサービスにチャージ依頼用CSV」への出力内容に使用されます。
- 事業者ID
事業者IDを入力します。
- 事業者パスワード
事業者パスワードを入力します。
- URL
URLを入力します。
- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。

i コラム

「会社」、「支払方法」は開始日を検索基準日としています。

i コラム

個別ご案内文、備考に置換文字を設定できます。

詳細は、[置換文字列](#)を参照してください。

置換後の文字列が400文字を超える場合、400文字までを個別ご案内文、備考として使用します。

i コラム

「事業者ID」、「事業者パスワード」、「URL」、「ProxyURL」、「Proxyポート」、「Proxy認証ユーザ」、「Proxy認証パスワード」は将来拡張用の項目です。

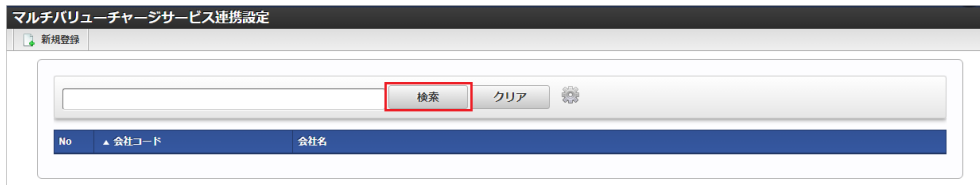
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マルチバリュウチャージサービス」→「マルチバリュウチャージサービス連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

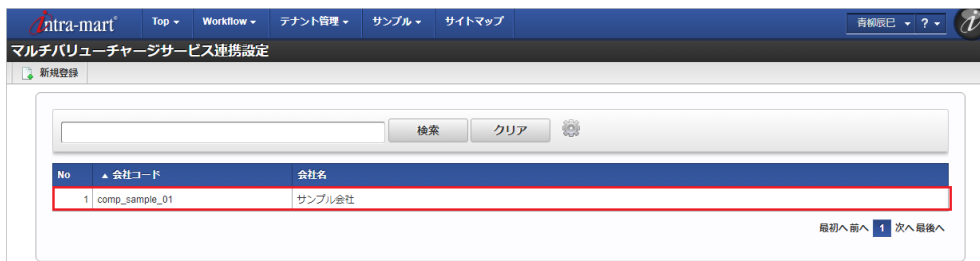


コラム

検索欄に検索したいマルチバリュウチャージサービス連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録／更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

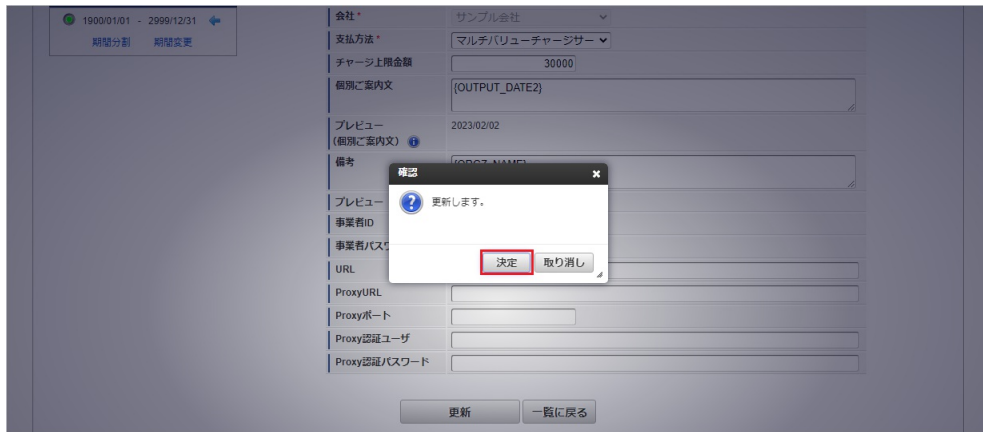
- 開始日
- 終了日

- 会社

i コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



- 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。

4	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
5	支払方法コード	○	100	FB出力対象外の支払方法を指定します。
6	上限金額		15	
7	個別ご案内文		400	
8	備考		400	
9	事業者ID		5	将来拡張用の項目です。
10	事業者パスワード		20	将来拡張用の項目です。
11	URL			将来拡張用の項目です。
12	ProxyURL			将来拡張用の項目です。
13	Proxyポート		18	将来拡張用の項目です。
14	Proxy認証ユーザ		1000	将来拡張用の項目です。
15	Proxy認証パスワード		1000	将来拡張用の項目です。

データサンプル

```
"comp_sample_01","","","0","0002","50000","サンプル","サンプル","","","","","","","",""
```



コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/mvcs_settings

ファイル名 import.csv



コラム

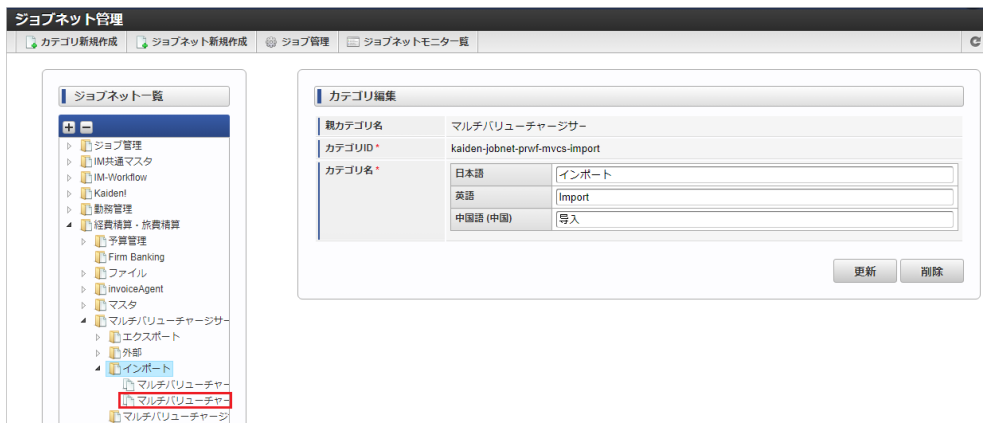
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

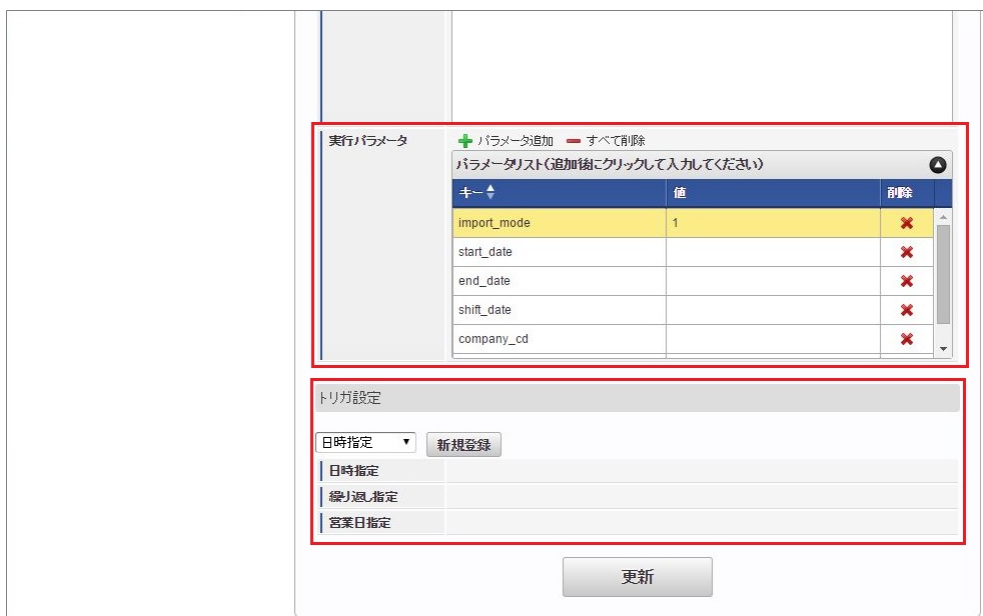
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「マルチバリューチャージサービス連携設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

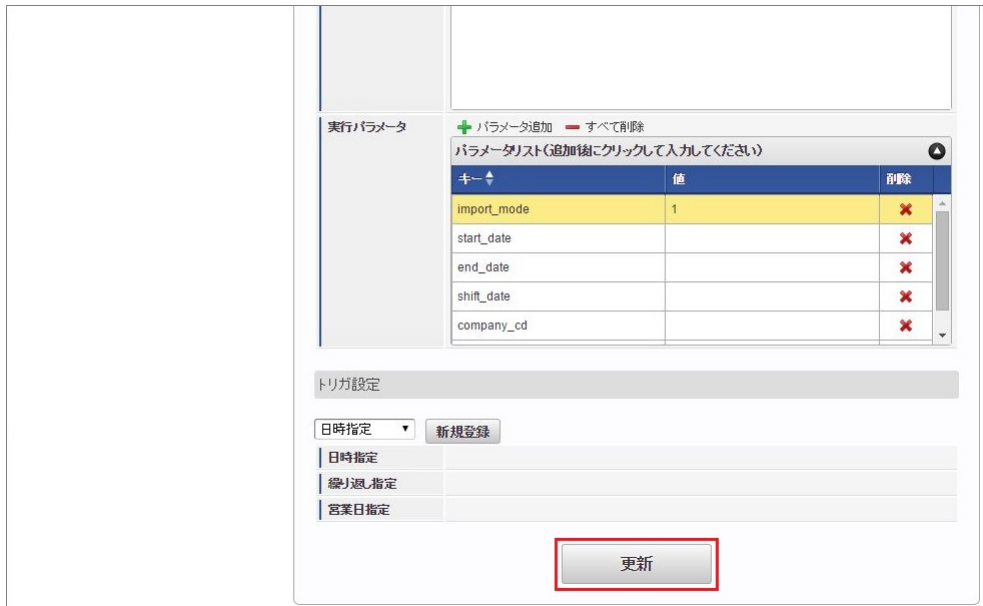
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
 ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

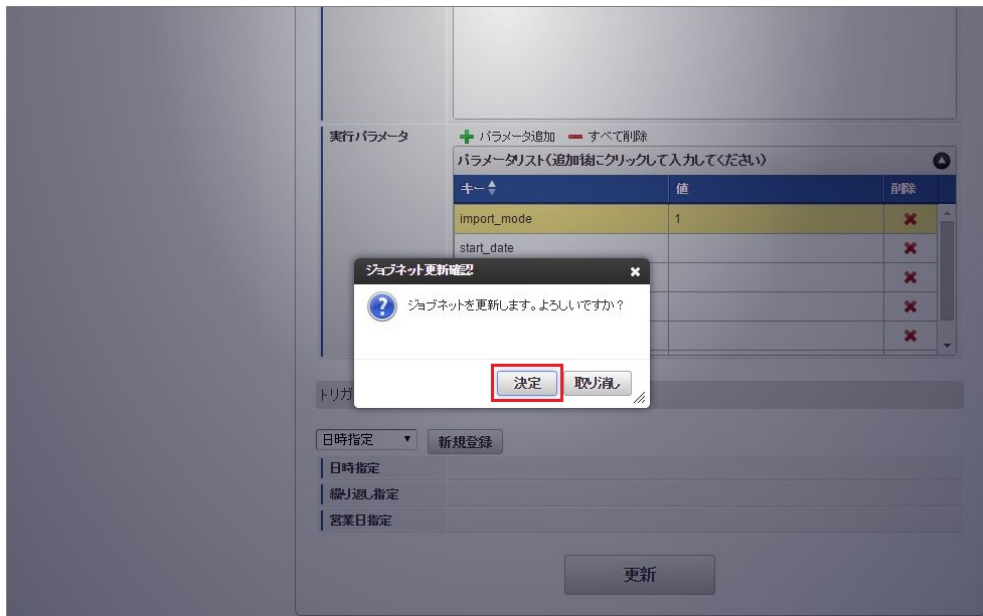
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-import-settings	経費精算・旅費精算 / マルチバリューチャージサービス / インポート / マルチバリューチャージサービス連携設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時：システムの終了日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_settings/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了(警告含)時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了(警告含)時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了(警告含)時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_settings/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 マルチバリューチャージサービス連携設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「mvcs_settings」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

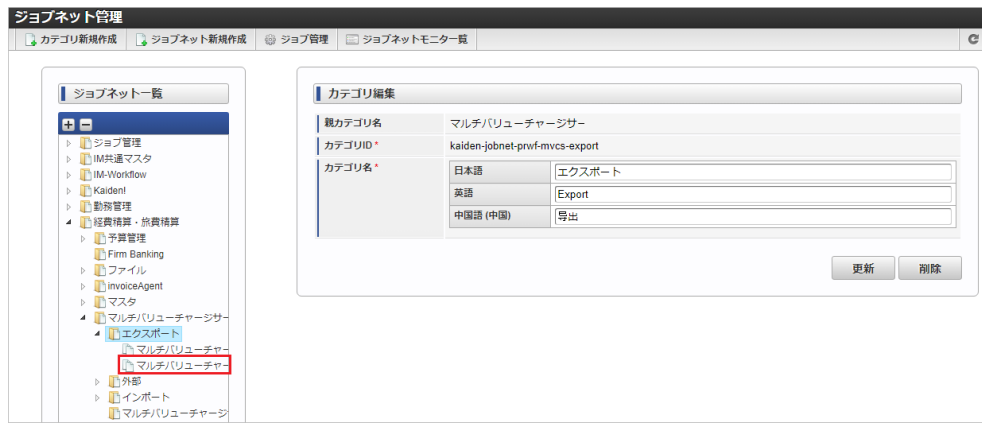
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

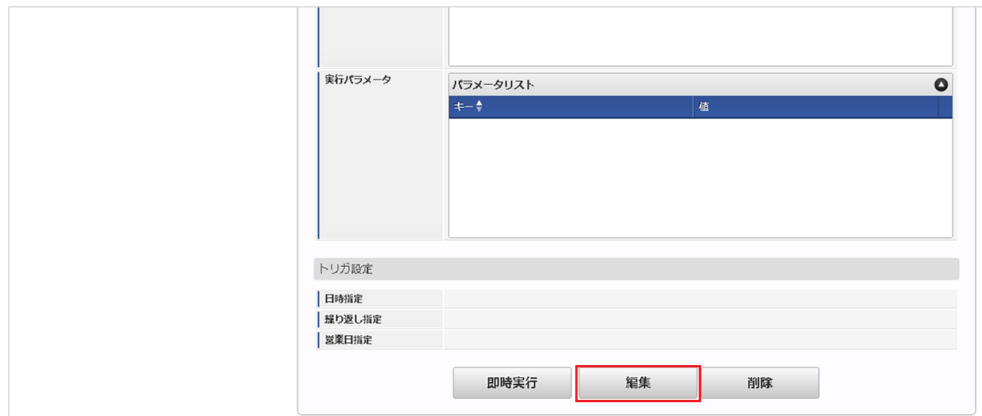
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧(画面左部)の「マルチバリューチャージサービス連携設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-export-settings	経費精算・旅費精算 / マルチバリュエーターサービス / エクスポート / マルチバリュエーターサービス連携設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/mvcs_settings/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効 (論理削除)
payMethodCd	支払方法コード	
maximumAmount	上限金額	
information	個別ご案内文	
note	備考	
memberStoreId	事業者ID	
memberStorePassword	事業者パスワード	
url	URL	
proxyHost	ProxyURL	
proxyPort	Proxyポート	
proxyUser	Proxy認証ユーザ	
proxyPassword	Proxy認証パスワード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明/設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 全件出力モード 2 : 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3 : 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_settings/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1 : 既存ファイルに追記 2 : 既存ファイルを削除し、エクスポート 3 : エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_settings/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 マルチバリュエチャージサービス連携設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「mvcs_settings」を設定しています。

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

置換文字列

「個別ご案内文」、「備考」には、置換文字列の使用が可能です。
置換文字列を設定する際は、「{ }」で囲んでください。
使用可能な置換文字列は、次の通りです。

名称	置換文字列	説明
権限会社コード	COMPANY_CD	申請時の権限会社コードに置換します。
申請権限者の主所属組織コード	ORGZ_CD	申請時の処理権限者の主所属組織コードに置換します。
申請権限者コード	AUTH_USER_CD	申請時の処理権限者コードに置換します。
権限会社名	COMPANY_NAME	申請時の権限会社名に置換します。
申請権限者の主所属組織名	ORGZ_NAME	申請時の処理権限者の主所属組織名に置換します。
申請権限者名	AUTH_USER_NAME	申請時の処理権限者名に置換します。
依頼出力日時「西暦年 (yyyy)」	OUTPUT_Y1	依頼出力日時「西暦年(yyyy)」に置換します。
依頼出力日時「西暦年上2桁 (yy)」	OUTPUT_Y2	依頼出力日時「西暦年上2桁(yy)」に置換します。
依頼出力日時「西暦年下2桁 (yy)」	OUTPUT_Y3	依頼出力日時「西暦年下2桁(yy)」に置換します。
依頼出力日時「和暦元号 (G)」	OUTPUT_G3	依頼出力日時「和暦元号(G)」に置換します。
依頼出力日時「和暦年(y)」	OUTPUT_GY1	依頼出力日時「和暦年(y)」に置換します。
依頼出力日時「和暦年(yy)」	OUTPUT_GY2	依頼出力日時「和暦年(yy)」に置換します。
依頼出力日時「月(M)」	OUTPUT_M1	依頼出力日時「月(M)」に置換します。
依頼出力日時「月(MM)」	OUTPUT_M2	依頼出力日時「月(MM)」に置換します。
依頼出力日時「日(d)」	OUTPUT_D1	依頼出力日時「日(d)」に置換します。
依頼出力日時「日(dd)」	OUTPUT_D2	依頼出力日時「日(dd)」に置換します。
依頼出力日時の月末日(dd)	OUTPUT_D3	依頼出力日時の月末日(dd)に置換します。
依頼出力日時(yyyyMMdd)	OUTPUT_DATE1	依頼出力日時(yyyyMMdd)に置換します。
依頼出力日時(yyyyMMdd)	OUTPUT_DATE2	依頼出力日時(yyyy/MM/dd)に置換します。
依頼出力日時 (yyyyMMddHHmm)	OUTPUT_TS1	依頼出力日時(yyyyMMddHHmm)に置換します。
依頼出力日時(yyyy/MM/dd HH:mm)	OUTPUT_TS2	依頼出力日時(yyyy/MM/dd HH:mm)に置換します。
依頼出力日時 (yyyyMMddHHmmssSSS)	OUTPUT_TS3	依頼出力日時(yyyyMMddHHmmssSSS)に置換します。
依頼出力日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS)	OUTPUT_TS4	依頼出力日時(yyyy/MM/dd HH:mm:ss.SSS)に置換します。

マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタ

本項では、マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタは、「マルチバリューチャージサービス」にチャージを依頼する際に使用する携帯電話番号を管理します。

登録した携帯電話番号は、「マルチバリューチャージサービス」及び決裁事業者に提供します。

「マルチバリューチャージサービス」にチャージを依頼すると、登録した携帯電話番号に「マルチバリューチャージサービス」からSMSが送付されます。

メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。

また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

i コラム

マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタのメンテナンス画面は、管理者用と利用者用があります。

本項では、管理者用機能の説明をします。

利用者用を使用する場合、次の違いがあります。

- 利用者として開く場合は、「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マルチバリューチャージサービス」→「マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号」をクリックします。
- 利用者として開く場合は、ログインユーザのデータのみ登録、更新、削除、参照ができます。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マルチバリューチャージサービス」→「マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号(管理者)」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- ユーザ
ユーザを設定します。
- 携帯電話番号
「マルチバリューチャージサービス」からのSMSを受け取る携帯電話番号を入力します。

i コラム

「ユーザ」は開始日を検索基準日としています。

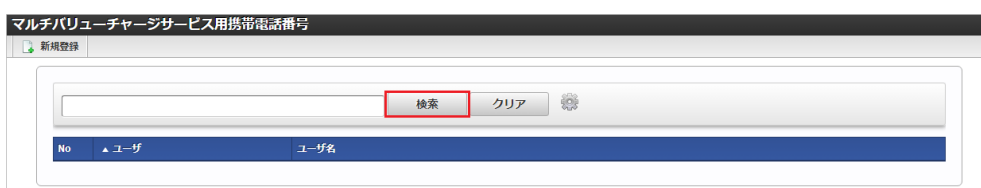
4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「経費精算・旅費精算」→「マルチバリュウチャージサービス」→「マルチバリュウチャージサービス用携帯電話番号(管理者)」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいマルチバリュウチャージサービス用携帯電話番号マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ユーザコード
- ユーザ名

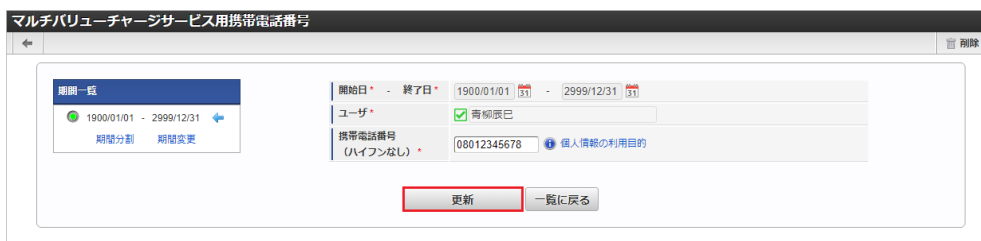
3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- ユーザ

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	ユーザーコード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
5	携帯電話番号	○	11	

データサンプル

"aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","08012345678"

i コラム

項目を省略する場合でも、「”」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。

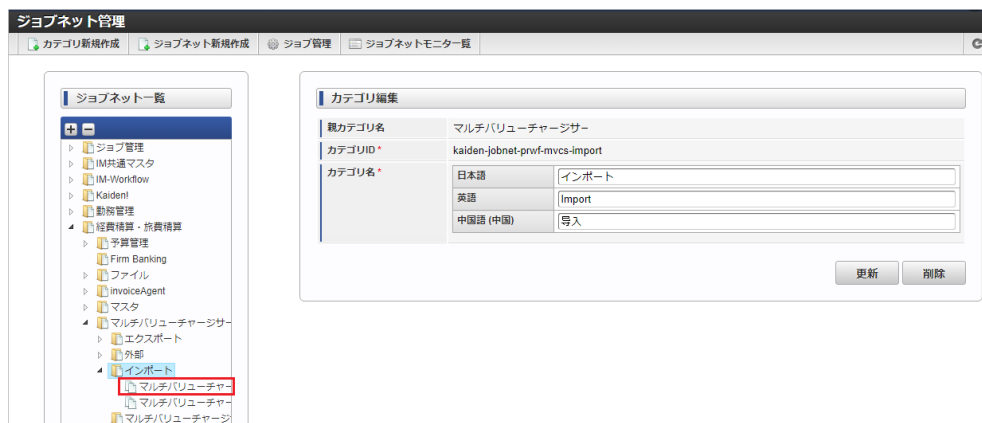
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「マルチバリュージャージサービス用携帯電話番号」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

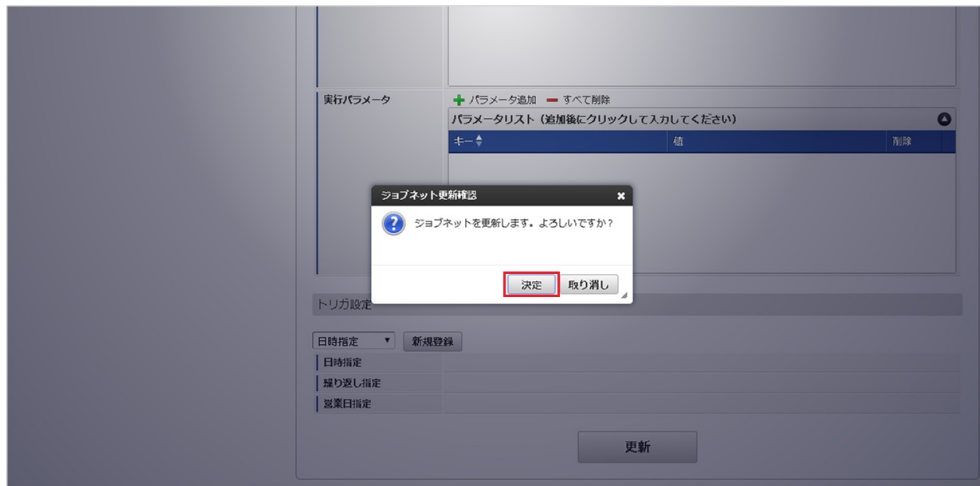
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

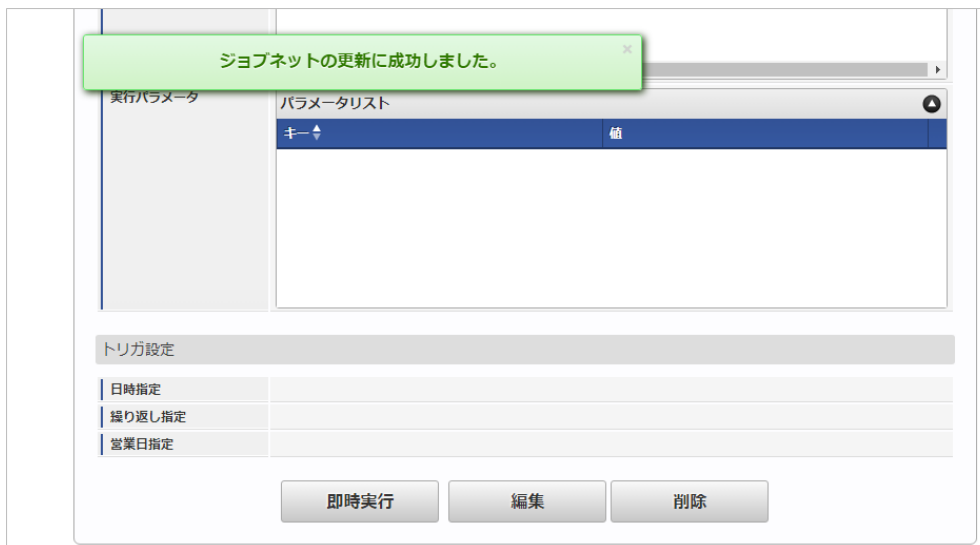
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-import-mobile-number	経費精算・旅費精算 / マルチバリューチャージサービス / インポート / マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> ■ 1：単一期間（差分）モード ■ 2：単一期間（一新）モード ■ 3：単一期間（入替）モード ■ 4：複数期間（差分）モード ■ 5：複数期間（入替）モード

名称	キー	説明／設定値
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 操作なし ▪ 2: コピー(copy) ▪ 3: アーカイブ(move) ▪ 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし ▪ 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) ▪ 6: 削除(delete) ▪ 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし ▪ 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「mvcs_mobile_number_company」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

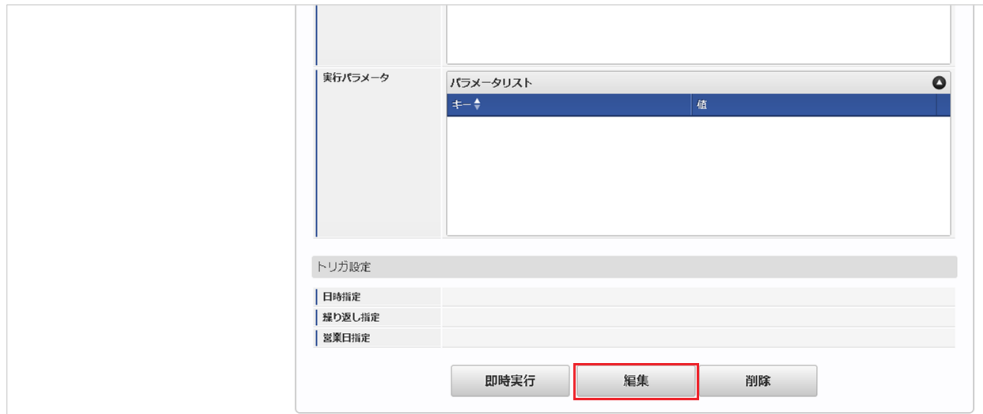
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧 (画面左部) の「マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

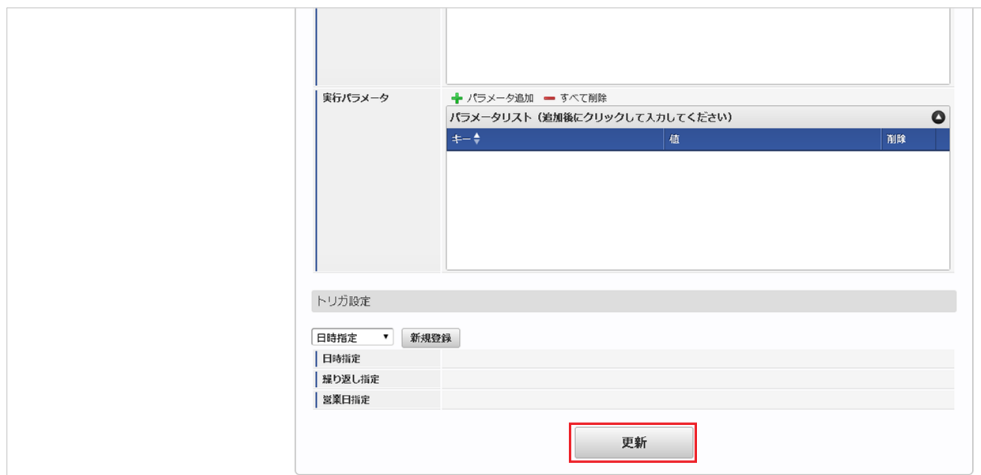
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

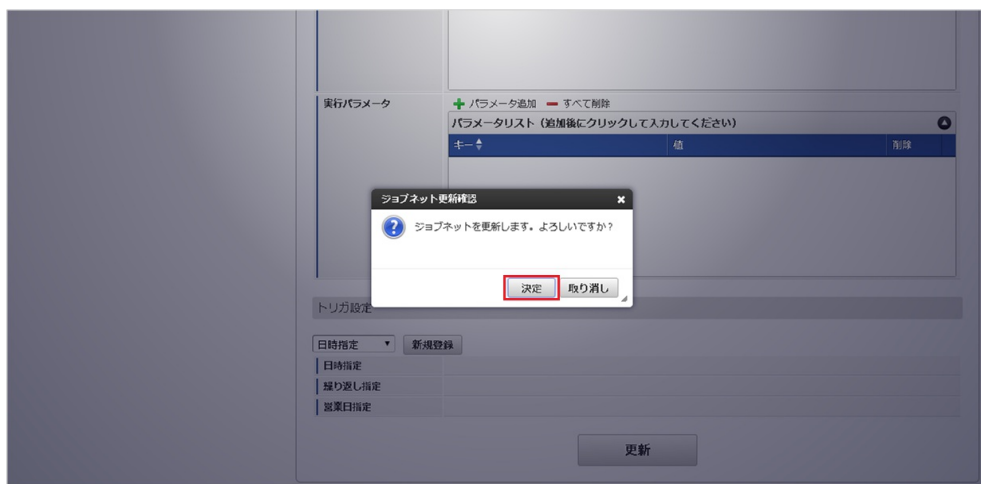
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-export-mobile-number	経費精算・旅費精算 / マルチレビューチャージサービス / エクスポート / マルチレビューチャージサービス用携帯電話番号

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company/

ファイル名 export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
userCd	ユーザコード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	
mobileNumber	携帯電話番号	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 全件出力モード 2: 期間モード (エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力) 3: 更新日モード (エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 既存ファイルに追記 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/mvcs_mobile_number_company/export_{YMDHMSN}.csv)

名称	キー	説明／設定値
文字コード	character	<p>エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8)</p> <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	<p>エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,)</p> <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	<p>エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：")</p> <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	<p>エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false)</p> <ul style="list-style-type: none"> true : ヘッダー出力有 false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	<p>エクスポートするマスタのIDを設定します。 マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「mvcs_mobile_number_company」を設定しています。</p>

{YMDHMSN} : 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

運用時の操作

マルチバリューチャージサービスデータ

本項では、マルチバリューチャージサービスデータのメンテナンス方法／出力方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [更新](#)
- [エクスポート](#)
 - [出力条件](#)
 - [出力パターン](#)
 - [マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンスからの出力方法](#)
 - [マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力からの出力方法](#)

概要

マルチバリューチャージサービス連携モジュールを使用すると、申請データを元に「マルチバリューチャージサービス」へのチャージ依頼を作成します。

また、マルチバリューチャージサービスデータはCSV出力ステータスの変更が可能です。

マルチバリューチャージサービスデータには次の様なCSV出力ステータスがあります。

- 未出力
- 出力済
- 出力不要

通常は、マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力を実行することでCSV出力ステータスが「未出力」から「出力済」に変化します。マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンスでは、CSV出力ステータスの「未出力」と「出力不要」を切り替えることができます。

メンテナンス

マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンスでは、マルチバリューチャージサービスデータのCSV出力ステータスの変更が可能です。

本項では、マルチバリューチャージサービスデータのCSV出力ステータスの変更方法を説明します。

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マルチバリューチャージサービス」→「マルチバリューチャージサービスデータ出力/メンテナンス」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

コラム

検索欄に検索したいマルチバリューチャージサービスデータの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 案件番号
- 案件名
- 申請権限者
- 受付No

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。
詳細アイコンをクリックすると、申請書の詳細を別画面で表示します。
権限のない申請書の詳細アイコンをクリックしても、申請書は表示されません。

コラム

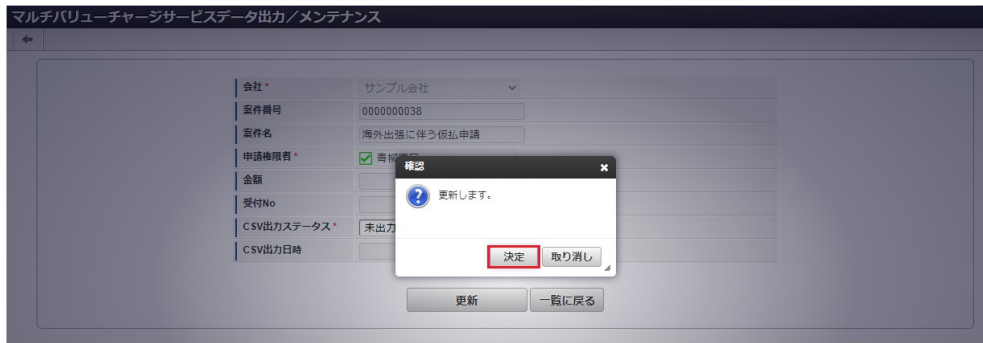
一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

次の項目のみ編集可能です。

- CSV出力ステータス
「未出力」を設定した場合、マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力実行時にチャージ依頼用CSVの出力対象となります。
「出力不要」を設定した場合、マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力実行時にチャージ依頼用CSVの出力対象外となります。
「出力済」の場合、編集できません。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



エクスポート

本項では、チャージ依頼用CSVの出力方法を説明します。

チャージ依頼用CSVは、マルチバリューチャージサービスデータ出力/メンテナンス機能またはマルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力から出力可能です。

出力したチャージ依頼データを「マルチバリューチャージサービス」に連携することで、チャージ依頼を実施できます。

出力したチャージ依頼データは「マルチバリューチャージサービス依頼確認一覧」から確認可能です。

詳細は『intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド』を参照ください。

注意

チャージ依頼用CSVを出力時に、受付Noが重複するとエクスポートを正常に実行できません。

受付Noは「1」から採番され、「9999999999999999」になると再度「1」から採番します。

再度「1」から採番する際、受付Noが「1」のチャージ依頼データが登録されている場合、受付Noが重複するためエクスポートを正常に実行できません。

上記に該当する場合、[マルチバリューチャージサービス依頼データ削除](#)でチャージ依頼データを削除してください。

出力条件

「マルチバリューチャージサービス」へのチャージ依頼データが作成される条件は以下の通りです。

- 仮払金や立替経費に関する仕訳データが作成されている。
- [マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ](#)が設定されている。
- [マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ](#)に設定された[支払方法マスタ](#)を利用している。
- 「マルチバリューチャージサービス」からSMSを送付する携帯電話番号が、[マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタ](#)に登録されている。
- 申請書ごとのチャージ金額が、[マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ](#)に設定された上限金額以下である。

コラム

「マルチバリューチャージサービス」へのチャージ依頼データは、仕訳データが作成済であれば、未出力の状態でも作成できます。

出力パターン

- **仮払金のチャージ依頼データ**
事前申請書にて入力された仮払金に対するチャージ依頼データを作成できます。

例（仮払金50,000を希望した事前申請）

50,000 のチャージ依頼データが作成できます。

- **経費支出（仮払なし）のチャージ依頼データ**
精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（交通費10,000の精算申請）

10,000 のチャージ依頼データが作成できます。

- **経費支出（仮払あり、追払いあり）のチャージ依頼データ**

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を行った場合）

1,000 のチャージ依頼データが作成できます。

- 経費支出（仮払あり、戻入あり）のチャージ依頼データ

精算申請書に記載されている経費支出に関する仕訳を作成できます。

例（仮払金50,000の事前申請に対し、交通費49,000の精算申請を行った場合）

-1,000 のチャージ依頼データが作成できます。

コラム

この場合、チャージ依頼データはマイナスですが、マイナス金額のチャージ依頼データを作成できるわけではありません。チャージ依頼データ出力時にプラスのチャージ依頼データと相殺させて金額がプラスの場合出力します。マイナスのチャージ依頼データの相殺は、本人のチャージ依頼データのみで実施されます。

注意

紐づけた事前申請書の仮払手段と、精算申請書の精算手段が異なると、仮払金を相殺してチャージ依頼データを出力できません。

例（仮払金を現金で50,000の事前申請に対し、交通費51,000の精算申請を「マルチバリューチャージサービス」へのチャージ依頼で行った場合）

51,000 のチャージ依頼データが作成され、仮払金の50,000は相殺されません。

マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンスからの出力方法

マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンス機能からチャージ依頼データを出力することができます。

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「マルチバリューチャージサービス」→「マルチバリューチャージサービスデータ出力／メンテナンス」をクリックします。
2. 「出力」をクリックします。



3. 出力設定を設定し、「実行」をクリックします。



- 会社
処理対象会社を選択します。
- 受付No
受付Noを入力します。
複数設定する場合、「,」区切りで入力してください。

コラム

受付Noを指定しない場合、未出力のデータが全て出力対象となります。受付Noを指定する場合、指定した受付Noのデータが出力対象となります。出力済みのデータを再出力したい場合、受付Noを指定します。再出力時、受付Noは新しい番号が採番されます。

コラム

「実行」をクリックするとマルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力が実行され、ストレージにファイルが出力されます。

注意

マルチバリュウチャージサービスデータ出力／メンテナンス機能からの出力を行う場合、マルチバリュウチャージサービスデータ出力用のジョブ及びジョブネット情報が登録されている必要があります。

登録されていない場合、ジョブの起動に失敗し出力が行えませんが、削除しないように注意してください。

万が一、削除してしまった場合、再度同じIDでジョブおよびジョブネット情報を登録してください。

- ジョブ
ID : kaiden-job-prwf-mvcs-external-export
- ジョブネットカテゴリ
kaiden-jobnet-prwf-mvcs-online
このカテゴリ以下に、オンライン用のジョブネットが登録され、実行されます。

マルチバリュウチャージサービスチャージ用CSV出力からの出力方法

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「マルチバリュウチャージサービスチャージ用CSV出力」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

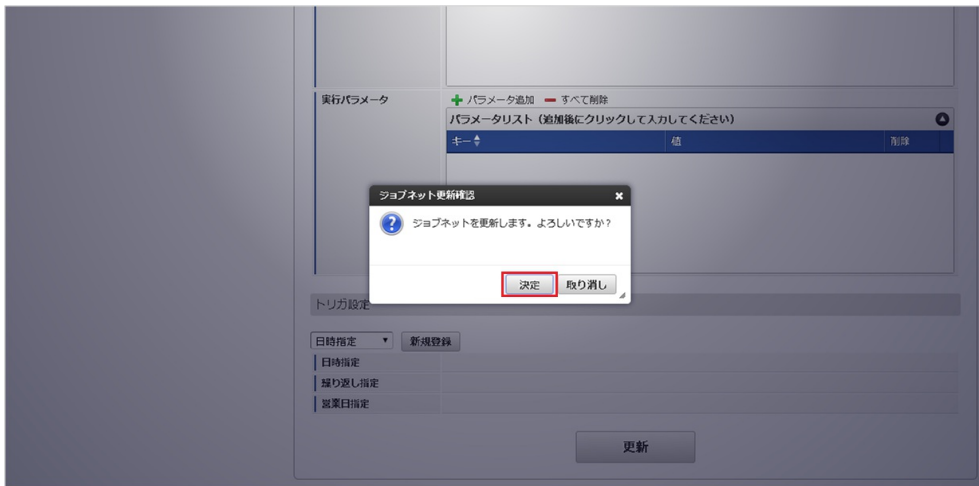
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

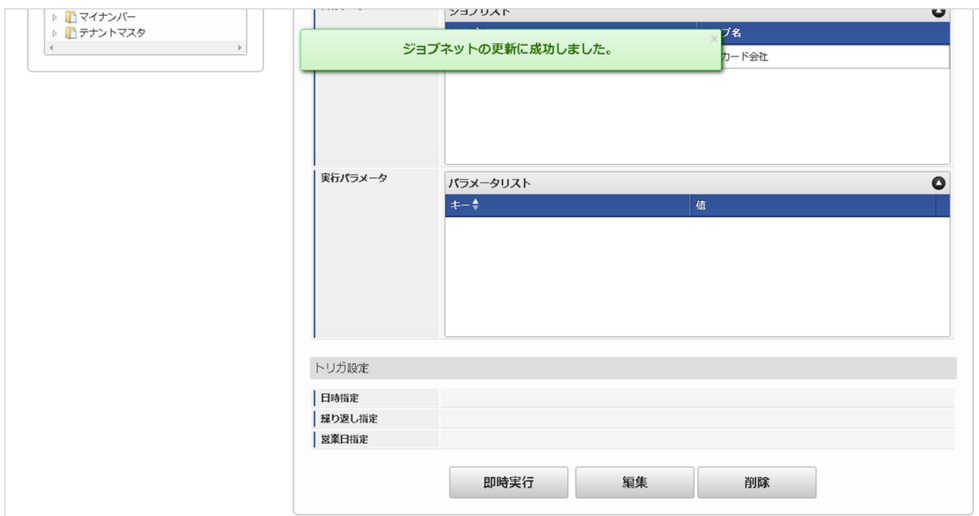
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-external-export	経費精算・旅費精算 / マルチバリューチャージサービス / 外部 / マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先
MvcExportSettings.xmlの設定より変化します。
以下は初期値のエクスポート先です。

ディレクトリ kaiden/{COMPANY_CD}/export/
ファイル名 mvcs_{YMDHMSN}.csv

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
memberOrderNo	受付No	
userName	ユーザ名	
amount	金額	
mobileNumber	携帯電話番号	
password	パスワード	

information	個別ご案内文
note	備考

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
受付No	member_order_no	出力対象のデータの受付Noを指定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 (省略時：未出力のデータ全てを出力対象とします)

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

{COMPANY_CD}：会社コード

マルチバリュウチャージサービス明細CSVインポート

本項では、「マルチバリュウチャージサービス」から出力した明細CSVのインポート方法を説明します。

- 概要
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

概要

「マルチバリュウチャージサービス」へ登録したチャージ依頼データを明細CSVとして出力できます。明細CSVをインポートすると、Kaiden!で保持しているチャージ依頼データを更新し、「マルチバリュウチャージサービス依頼確認一覧」でチャージの登録が完了しているかなどのステータスを確認できます。詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド](#)』を参照ください。なお、Kaiden!で保持していない受付Noのデータをインポートした場合、処理がスキップされます。

インポートデータ作成

「マルチバリュウチャージサービス」から出力した明細CSVをインポートデータに使用してください。作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式
 - ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 - 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 指定なし

文字コード SHIFT-JIS

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	依頼番号	○	15	
2	問い合わせ番号		15	
3	事業者ID	○	5	
4	サブID	○	4	
5	受付No	○	15	
6	個別ご案内文	○	15	
7	担当者名	○	100	
8	登録日時	○	19	
9	承認者名		100	
10	承認日時		19	
11	金額	○	15	
12	お客様氏名	○	100	当項目はインポートしません。
13	携帯電話番号	○	20	当項目はインポートしません。
14	備考		400	
15	ステータスコード	○	2	
16	ステータス名	○	40	
17	チャージ登録完了日時		18	
18	チャージ先コード		3	
19	チャージ先名		200	
20	予備項目1		400	
21	予備項目2		400	
22	予備項目3		400	

データサンプル

```
"1","","11111","1111","1","サンプル","青柳辰巳","2022/09/09 14:33:59","","","1000","青柳辰巳","08012345678","","5","チャージ完了","","","","","",""
```

コラム

「マルチバリューチャージサービス」から出力した明細CSVをインポートしてください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/mvcs_request_list/import

ファイル名 指定なし

コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

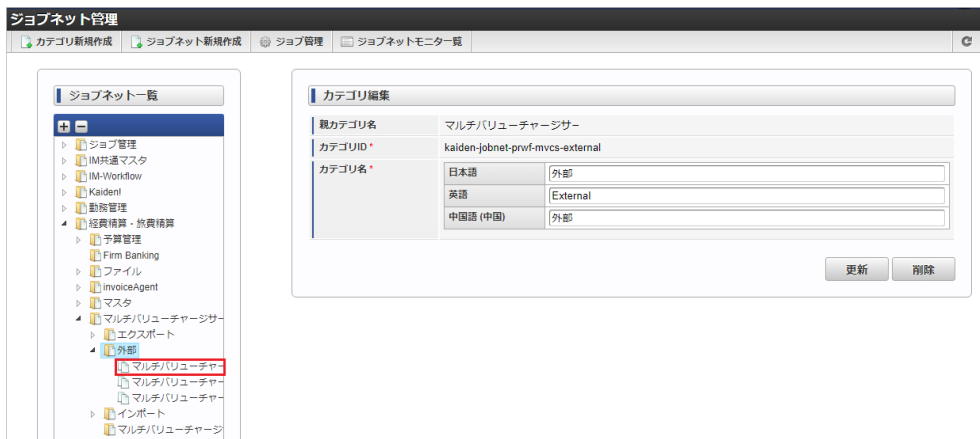
- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

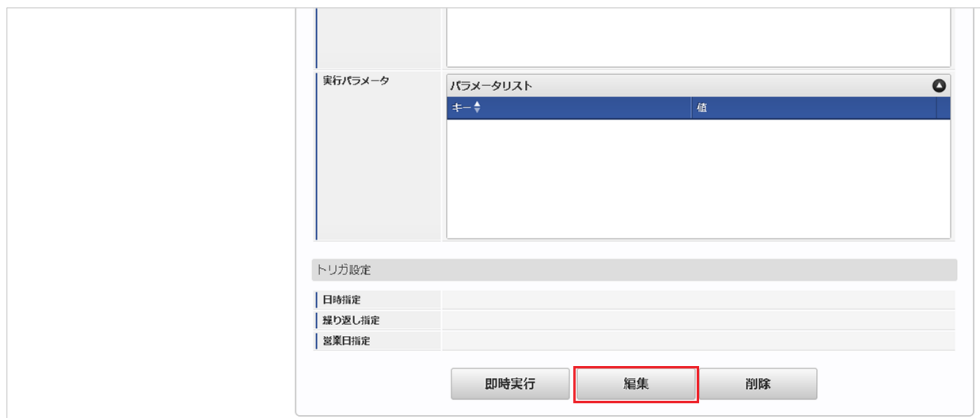
インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。

2. ジョブネット一覧（画面左部）の「マルチバリュウチャージサービス明細CSVインポート」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

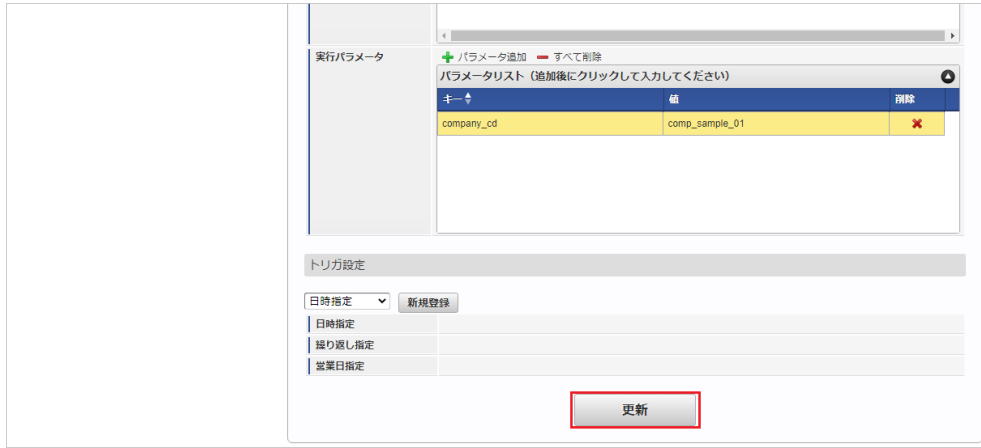
コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

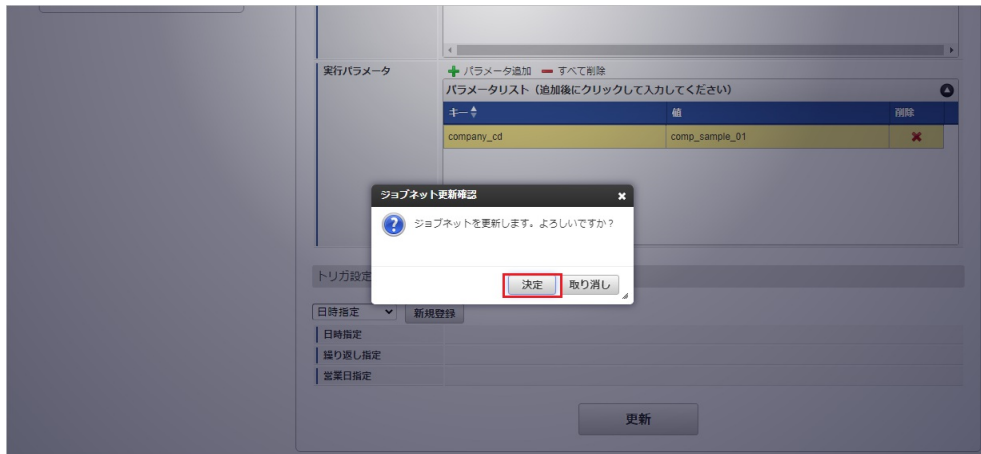
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名（ジョブ選択時のツリー）
kaiden-job-prwf-mvcs-external-detail-csv-import	経費精算・旅費精算 / マルチバリュウチャージサービス / インポート / マルチバリュウチャージサービス明細CSVインポート

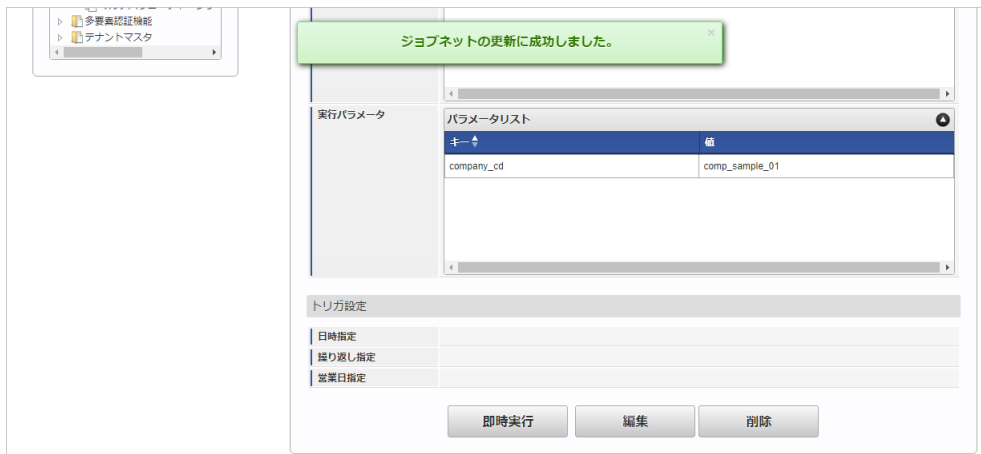
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)

名称	キー	説明/設定値
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 必ず指定してください。
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 ファイル名を含めずに設定してください。 (省略時 : kaiden/mvcs_request_list/import)

マルチバリューチャージサービス依頼データ削除

本項では、ジョブを利用したマルチバリューチャージサービス依頼データの削除方法を説明します。

- 概要
- ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ

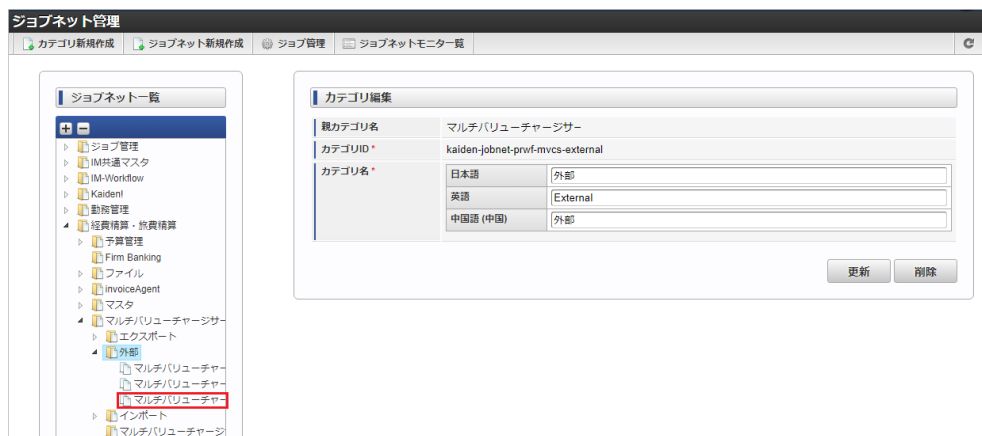
概要

マルチバリューチャージサービス依頼データ削除を実行すると、チャージ依頼用CSVに出力したマルチバリューチャージサービス依頼データ及び、依頼データに紐づくマルチバリューチャージサービスデータを削除します。

ジョブネットの設定

ジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「マルチバリューチャージサービス依頼データ削除」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。



- 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

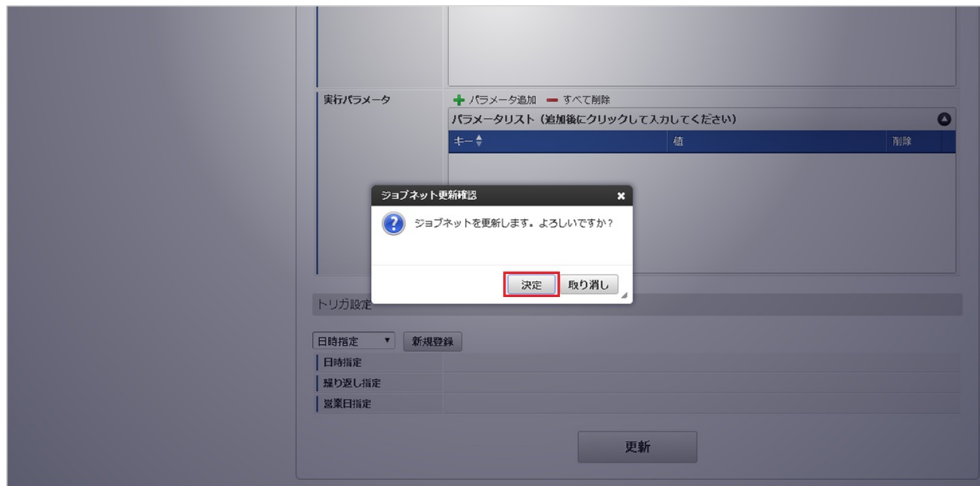
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

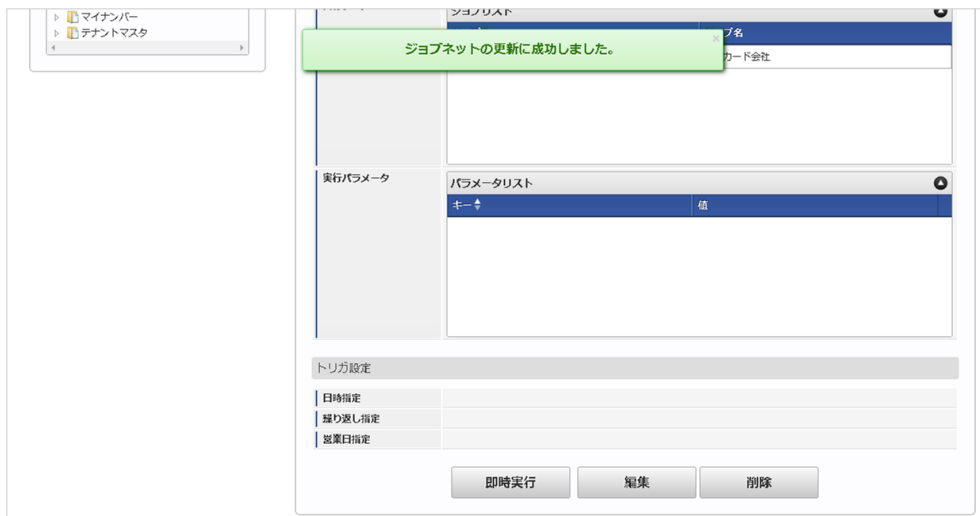
ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-prwf-mvcs-external-request-data-delete	経費精算・旅費精算 / マルチバリューチャージサービス / 外部 / マルチバリューチャージサービス依頼データ削除

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
削除対象日付	target_date	削除対象日付(yyyy/mm/dd)を指定します。 削除対象日付よりマルチバリュチャージサービス依頼データの依頼出力日時が前のデータを削除します。 (省略時: ジョブの実行日の1か月前)

リファレンス

Kaiden!で申請した仮払金や経費立て替えを「マルチバリュチャージサービス」にチャージ依頼する

本稿では、Kaiden!で申請した仮払金や経費立て替えを「マルチバリュチャージサービス」にチャージ依頼する方法を説明します。「マルチバリュチャージサービス」と連携するには、以下の手順が必要です。

- IM-共通マスタ(ユーザ)の設定
- マルチバリュチャージサービス関連マスタの設定
- ガジェットのインポート

- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成
- 仕訳データ作成
- チャージ依頼用CSVを作成し、「マルチバリューチャージサービス」へアップロード
- チャージ手続きの実施

「マルチバリューチャージサービス」との連携手順

IM-共通マスタ(ユーザ)の設定

「マルチバリューチャージサービス」と連携する場合、IM-共通マスタ(ユーザ)のユーザ名を「マルチバリューチャージサービス」及び決裁事業者に提供します。

登録方法は『IM-共通マスタ 管理者操作ガイド』を参照してください。

ユーザ名が100文字を超える場合、100文字までを使用します。

ユーザ名に半角スペースを含む場合、全角スペースに変換します。

ユーザ名は全角のみ使用してください。

ユーザ名に半角英数字、記号を使用すると、マルチバリューチャージサービスチャージ用CSV出力でエラーが発生します。

マルチバリューチャージサービス関連マスタの設定

「マルチバリューチャージサービス」と連携する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
マルチバリューチャージサービス連携設定マスタ	「マルチバリューチャージサービス」との連携設定を管理します。
マルチバリューチャージサービス用携帯電話番号マスタ	「マルチバリューチャージサービス」で使用する携帯電話番号を管理します。

ガジェットのインポート

「マルチバリューチャージサービス」と連携してKaiden! で仮払金や経費立て替えを実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
mvcsAmountValidate_v01.xml	マルチバリューチャージサービス金額チェック	○



コラム

事前申請書、精算申請書に上記ガジェットを追加してください。

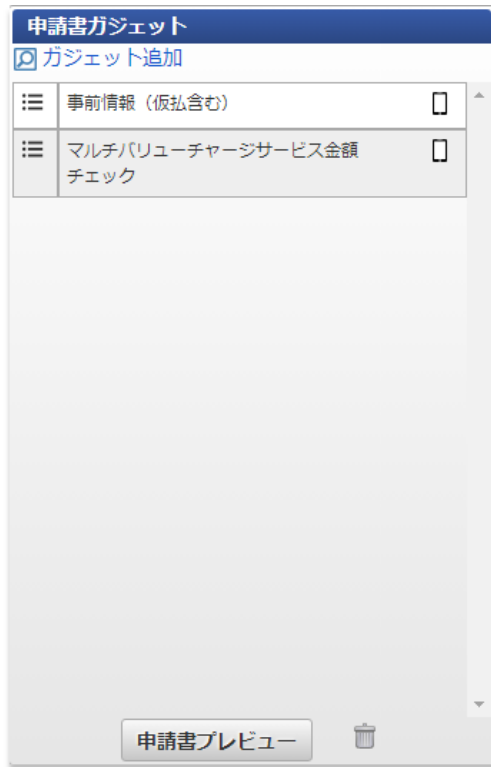
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「マルチバリューチャージサービス金額チェック」と事前申請書、精算申請書に必要なガジェットを選択してください。



仕訳データ作成

[仕訳データ](#)を参照して仕訳データを作成してください。

初期データで設定しているジョブネット「仕訳データエクスポート」は、「仕訳データ作成」、「仕訳データエクスポート」のジョブを実行します。「仕訳データエクスポート」より高頻度で「マルチバリューチャージサービス」へチャージ依頼を実施したい場合、「仕訳データ作成」のみ実行するジョブネットを作成、実行してください。

「仕訳データ作成」が完了しているデータは、「仕訳データエクスポート」前でもチャージ依頼用CSVの出力対象となります。

チャージ依頼用CSVを作成し、「マルチバリューチャージサービス」へアップロード

[マルチバリューチャージサービスデータ](#)を参照してチャージ依頼用CSVを作成してください。

出力したチャージ依頼用CSVは「マルチバリューチャージサービス」へアップロードしてください。

チャージ手続きの実施

「マルチバリューチャージサービス」へチャージ依頼用CSVをアップロードすると、各ユーザに「マルチバリューチャージサービス」からSMSが送付されます。

「マルチバリューチャージサービス依頼確認一覧」を参照して受付Noとパスワードを確認してログインし、チャージ手続きを実施してください。

詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! レポート操作ガイド](#)』を参照ください。

Microsoft 365 連携モジュールの操作

概要

本項では、Microsoft 365 連携モジュールを使用して、「Microsoft 365」と連携する際の概要を説明します。

Microsoft 365 連携モジュールを使用すると、「Microsoft 365」のカレンダーデータを取得しKaiden!の精算に使用できます。

「Microsoft 365」と連携するためには、「Microsoft 365」の利用契約が必要です。

詳細は「Microsoft 365」のサービス内容をご確認ください。

各システムの役割

Microsoft 365 連携モジュールを使用して、「Microsoft 365」と連携する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- Microsoft 365 連携モジュール
「Microsoft 365」との連携機能を提供します。
- Microsoft 365
カレンダー機能などを提供します。

モジュールの選択

Microsoft 365 連携モジュールを使用して、「Microsoft 365」と連携する際、以下のモジュールを選択してください。「Microsoft 365」からデータを取得する機能はMicrosoft 365 連携モジュールに含まれています。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	Microsoft 365 連携モジュール
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール

マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

Microsoft 365連携設定マスタ

本項では、Microsoft 365連携設定マスタの設定方法を説明します。

- [概要](#)
- [メンテナンス](#)
 - [新規登録](#)
 - [更新](#)
- [インポート](#)
 - [インポートデータ作成](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [実行パラメータ](#)
- [エクスポート](#)
 - [ジョブネットの設定](#)
 - [ファイル取得](#)
 - [実行パラメータ](#)

概要

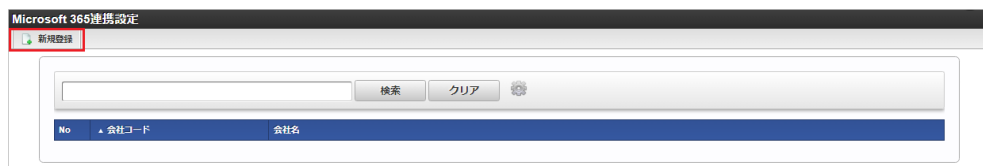
Microsoft 365連携設定マスタは、Microsoft 365との接続設定を管理します。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Microsoft 365」→「Microsoft 365連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

Microsoft 365連携設定

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

会社: サンプル会社

ProxyURL: http:xxxxxxxx

Proxyポート: 8080

Proxy認証ユーザ: sample

Proxy認証パスワード: sample

テナントID: xxxxxxxxxxxx

クライアントID: xxxxxxxxxxxx

クライアントシークレット: xxxxxxxxxxxx

リダイレクトURL: http://localhost:8080/intra-mart/kaiden/v2/util/microsoft365/redirect

登録 一覧に戻る

- ProxyURL
ProxyのURLを入力します。
- Proxyポート
Proxyのポート番号を入力します。
- Proxy認証ユーザ
Proxyの認証ユーザを入力します。
- Proxy認証パスワード
Proxyの認証パスワードを入力します。
- テナントID
「Microsoft Azure」の「ディレクトリ(テナント)ID」を入力します。
- クライアントID
「Microsoft Azure」の「アプリケーション(クライアント)ID」を入力します。
- クライアントシークレット
「Microsoft Azure」に登録したクライアントシークレットの値を入力します。
キーは設定の保存後に一度のみ表示されます。
有効期限が切れた場合は、キーを再発行して当マスタの更新する必要があります。
- リダイレクトURL
「Microsoft Azure」に登録したリダイレクトURIを入力します。
リダイレクトURLは「ベースURL + /kaiden/v2/util/microsoft365/redirect」になります。

i コラム

「会社」は開始日を検索基準日としています。

i コラム

当マスタの設定前に「Microsoft Azure」にアプリケーションを設定してください。
アプリケーションの設定方法は、[Microsoft Azureの準備](#)を参照してください。

- 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

Microsoft 365連携設定

開始日: 1900/01/01 終了日: 2999/12/31

会社: サンプル会社

ProxyURL: http:xxxxxxxx

Proxyポート: 8080

Proxy認証ユーザ: sample

Proxy認証パスワード: sample

テナントID: xxxxxxxxxxxx

クライアントID: xxxxxxxxxxxx

クライアントシークレット: xxxxxxxxxxxx

リダイレクトURL: http://localhost:8080/intra-mart/kaiden/v2/util/microsoft365/redirect

登録 一覧に戻る

登録します。

決定 取り消し

- 新規登録することができました。

intra-mart

Microsoft 365連携設定

登録しました。

新規登録

検索 クリア

No	会社コード	会社名
1	comp_sample_01	サンプル会社

最初へ前へ 1 次へ最後へ

更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「Microsoft 365」→「Microsoft 365連携設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。

The screenshot shows the 'Microsoft 365連携設定' (Microsoft 365 Connection Settings) search interface. At the top, there is a search bar with a '検索' (Search) button highlighted in red and a 'クリア' (Clear) button. Below the search bar is a table with columns for 'No.', '会社コード' (Company Code), and '会社名' (Company Name).

コラム

検索欄に検索したいMicrosoft 365連携設定の以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- 会社コード
- 会社名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

The screenshot shows the list view of Microsoft 365 connection settings. The search bar and buttons are at the top. Below is a table with columns for 'No.', '会社コード', and '会社名'. The first row, containing '1', 'comp_sample_01', and 'サンプル会社', is highlighted with a red box. At the bottom right, there are navigation buttons: '最初へ 前へ 1 次へ 最後へ'.

コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

The screenshot shows the edit form for a Microsoft 365 connection setting. On the left, there is a '詳細一覧' (Details List) sidebar with '更新' (Update) and '削除' (Delete) buttons. The main form contains fields for '開始日' (Start Date), '終了日' (End Date), '会社' (Company), 'ProxyURL', 'Proxyポート' (Proxy Port), 'Proxy認証ユーザ' (Proxy Auth User), 'Proxy認証パスワード' (Proxy Auth Password), 'テナントID' (Tenant ID), 'クライアントID' (Client ID), 'クライアントシークレット' (Client Secret), and 'リダイレクトURL' (Redirect URL). The '更新' (Update) button at the bottom is highlighted with a red box.

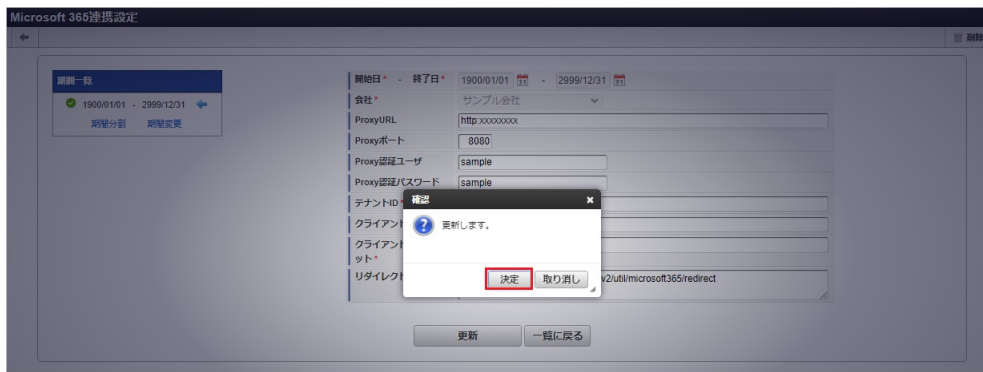
次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社

コラム

期間機能の操作方法は、[期間の操作](#)を参照してください。

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



6. 更新することができました。



インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
3	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効（論理削除）
5	ProxyURL			
6	Proxyポート		18	
7	Proxy認証ユーザ		250	
8	Proxy認証パスワード		250	
9	テナントID		100	

10	クライアントID	100
11	クライアントシークレット	100
12	リダイレクトURL	

データサンプル

```
"comp_sample_01","1900/01/01","2999/12/31","0","xxxxxx","8080","sample","sample","xxxxxx","xxxxxx","xxxxxx","http://localhost:8080"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/microsoft365_settings

ファイル名 import.csv

コラム

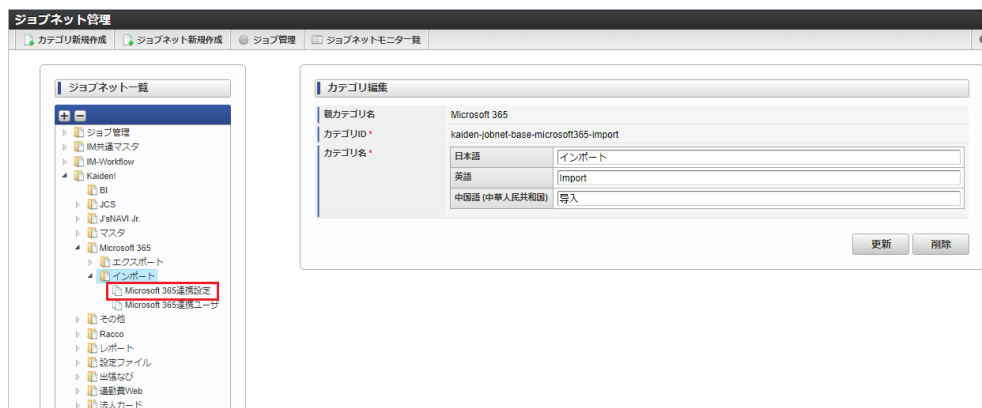
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

- 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
- ジョブネット一覧（画面左部）の「Microsoft 365連携設定」をクリックします。



- 「編集」をクリックします。

4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

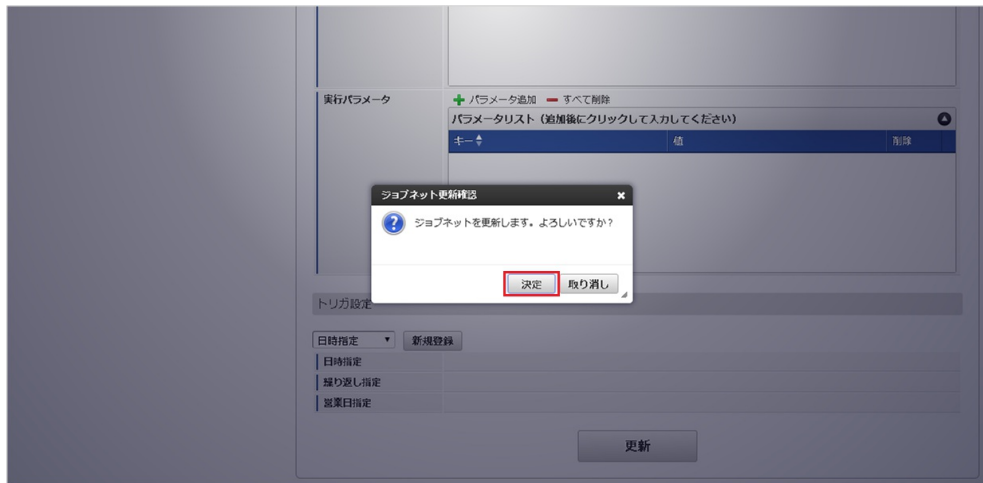
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-microsoft365-import-01-microsoft365Settings	Kaiden! / Microsoft 365 / インポート / Microsoft 365連携設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセット コード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明／設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考： インポートモードと実行結果 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：単一期間（差分）モード 2：単一期間（一新）モード 3：単一期間（入替）モード 4：複数期間（差分）モード 5：複数期間（入替）モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日（yyyy/MM/dd）を設定します。 (省略時：システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/microsoft365_settings/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none"> 1：操作なし 2：コピー(copy) 3：アーカイブ(move) 4：正常終了（警告含）時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6：削除(delete) 7：正常終了（警告含）時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8：正常終了（警告含）時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時： kaiden/generic/master/microsoft365_settings/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none"> ,：カンマ \t：タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none"> "：ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時：0)
マスタID	masterid	インポートするマスタのIDを設定します。 Microsoft 365連携設定マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「microsoft365_settings」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Microsoft 365連携設定」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

kaiden-job-base-microsoft365-export-01-
microsoft365Settings

ジョブ名（ジョブ選択時のツリー）

Kaiden! / Microsoft 365 / エクスポート / Microsoft 365連携設定

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

7. ジョブネットが設定されました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/microsoft365_settings/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0：有効 1：無効（論理削除）
proxyHost	ProxyURL	
proxyPort	Proxyポート	
proxyUser	Proxy認証ユーザ	
proxyPassword	Proxy認証パスワード	
tenantId	テナントID	
clientId	クライアントID	
clientSecret	クライアントシークレット	
redirectUrl	リダイレクトURL	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1)
		<ul style="list-style-type: none"> 1：全件出力モード 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力） 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）

名称	キー	説明 / 設定値
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_settings/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ (移動) し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_settings/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 Microsoft 365連携設定マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「microsoft365_settings」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

Microsoft 365連携ユーザ設定

本項では、Microsoft 365連携ユーザ設定の設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

Microsoft 365連携ユーザ設定は、「カレンダーデータ検索(Microsoft 365)ガジェット」の検索設定を管理します。メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

メンテナンス機能は、ログインユーザのデータのみ登録、更新、削除、参照ができます。詳細は『intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費 / ユーザ操作ガイド』を参照ください。

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- **ファイル形式**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 “

- **データ形式**

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ユーザコード	○	100	
3	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
4	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	削除フラグ	○	1	0：有効 1：無効
6	ユーザID		1000	
7	チームID		1000	
8	チャンネルID		1000	
9	カレンダー取得日数(過去)		18	

10	カレンダー取得日数(未来)	18
11	カレンダー除外キーワード	250

データサンプル

```
"comp_sample_01","aoyagi","1900/01/01","2999/12/31","0","xxxxxxxx","xxxxxxxx","xxxxxxxx","10","30","Teams会議"
```

コラム

項目を省略する場合でも、「"」で囲んでください。

■ アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/microsoft365_user

ファイル名 import.csv

コラム

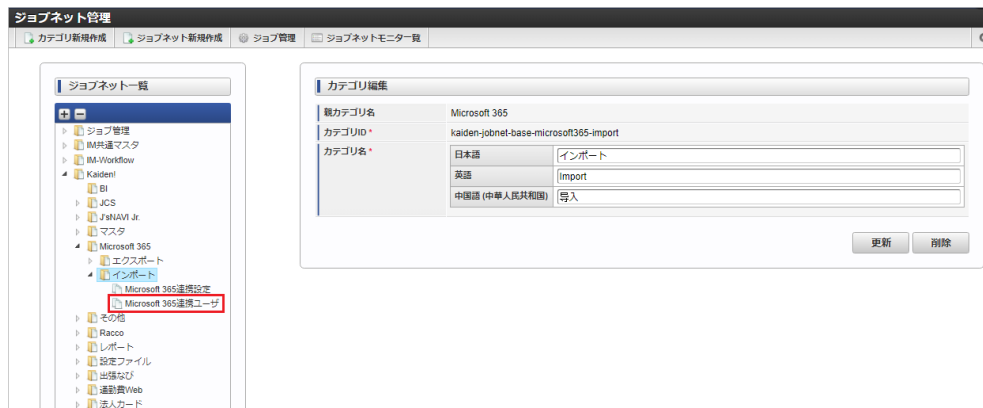
インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
 ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Microsoft 365連携ユーザ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。

i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

i コラム

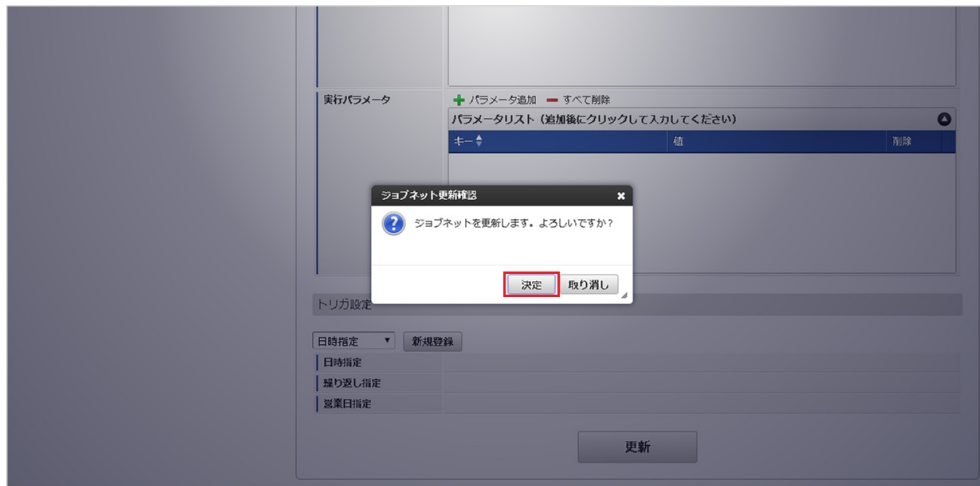
複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-microsoft365-import-02-microsoft365User	Kaiden! / Microsoft 365 / インポート / Microsoft 365連携ユーザ

5. 編集後、「更新」をクリックします。

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">1: 単一期間 (差分) モード2: 単一期間 (一新) モード3: 単一期間 (入替) モード4: 複数期間 (差分) モード5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_user/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none">1: 操作なし2: コピー(copy)3: アーカイブ(move)4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move)6: 削除(delete)7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_user/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none">UTF-8SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none">, : カンマ\t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none">" : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Webユーザマッピングマスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「microsoft365_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

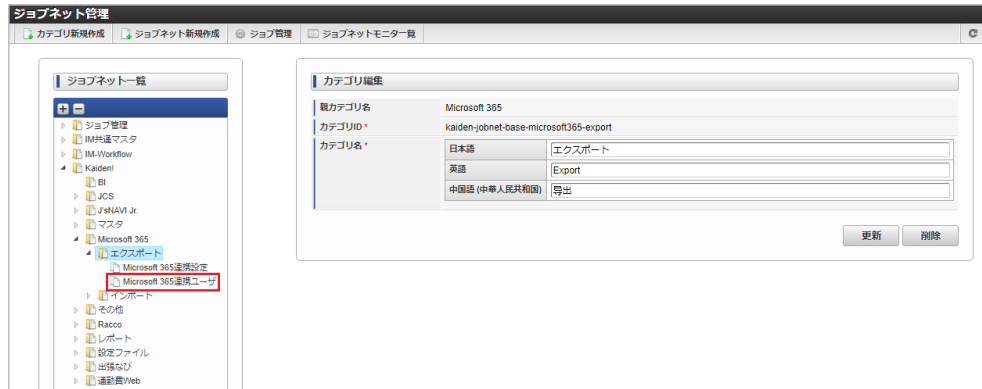
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

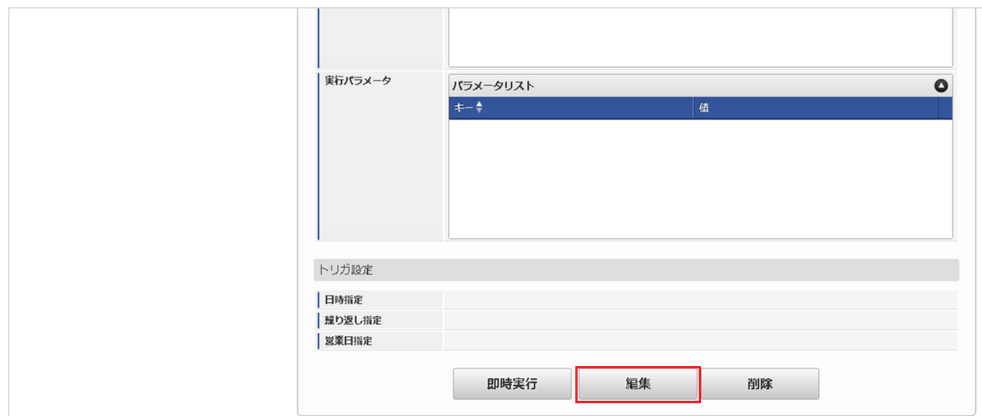
ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「Microsoft 365連携ユーザ」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID

ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)

kaiden-job-base-microsoft365-export-02-microsoft365User Kaiden! / Microsoft 365 / エクスポート / Microsoft 365連携ユーザ

5. 編集後、「更新」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
----	---	----

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
----	---	----

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

更新

ジョブネット更新確認

ジョブネットを更新します。よろしいですか?

決定 取り消し

7. ジョブネットが設定されました。

実行パラメータ

+ パラメータ追加 - すべて削除

パラメータリスト (追加後にクリックして入力してください)

キー	値	削除
----	---	----

トリガ設定

日時指定 ▼ 新規登録

日時指定

繰り返し指定

営業日指定

即時実行 編集 削除

ジョブネットの更新に成功しました。

ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- エクスポート先**
 ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
 以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/microsoft365_user/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- データ形式

エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
userCd	ユーザコード	
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
deleteFlag	削除フラグ	0 : 有効 1 : 無効
teamId	チームID	
channelId	チャンネルID	
calTargetDaysBefore	カレンダー取得日数(過去)	
calTargetDaysAfter	カレンダー取得日数(未来)	
calExclusionKeyword	カレンダー除外キーワード	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明 / 設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時: false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時: 10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考: ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時: 登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時: コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時: 1)
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日 (yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)

名称	キー	説明 / 設定値
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_user/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> ▪ 1: 既存ファイルに追記 ▪ 2: 既存ファイルを削除し、エクスポート ▪ 3: エクスポートファイルをアーカイブ(移動)し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/microsoft365_user/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> ▪ UTF-8 ▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> ▪ , : カンマ ▪ \t : タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> ▪ " : ダブルクォーテーション ▪ none : 囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時: false) <ul style="list-style-type: none"> ▪ true : ヘッダー出力有 ▪ false : ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 通勤費Webユーザマッピングマスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「microsoft365_user」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

リファレンス

Microsoft Azureの準備

本項では、「Microsoft 365」と連携するために必要なMicrosoft Azureの準備を行います。

本項の内容はMicrosoft Azure管理者 向けの作業です。

Microsoft 365、Microsoft Azureの詳細や具体的な操作方法はMicrosoft社のドキュメントを参照してください。

本項に記載の設定方法はMicrosoft社の仕様変更により変わる場合があります。

ディレクトリにアプリケーションを設定する

アプリケーションを登録する

「Microsoft Azure」の管理ポータルから「Microsoft 365」との連携に必要な情報をアプリケーションとして登録します。

1. 「Microsoft Azure」の管理ポータルに Microsoft Azure管理者ユーザでサインインします。
2. 「Microsoft Entra ID」を選択します。
3. 「アプリの登録」を選択し、アプリケーションを新規登録します。

- 名前
任意の名前を入力します。
- サポートされているアカウントの種類
任意
- リダイレクトURI
ベースURL + /kaiden/v2/util/microsoft365/redirect

アプリケーションを設定する

「Microsoft Azure」の管理ポータルから登録したアプリケーションの構成を変更します。

- 登録したアプリケーションを選択し、「APIのアクセス許可」を選択し、アプリケーションのアクセス許可を設定します。
 - Microsoft GraphのUser.Readの委任されたアクセス許可
「Microsoft 365連携ユーザ設定」で、ユーザIDを取得する場合アクセス許可を設定します。
 - Microsoft GraphのCalendars.ReadBasicの委任されたアクセス許可
「カレンダーデータ検索(Microsoft 365)」で、カレンダー情報を取得する場合アクセス許可を設定します。
- 「証明書とシークレット」を選択し、新しいクライアントシークレットを作成します。
 - 説明
任意の内容を入力します。
 - 有効期限
任意の有効期限を選択します。



注意

クライアントシークレットは設定の保存後に一度のみ表示されます。
「Microsoft 365連携設定」にクライアントシークレットを設定するため、表示内容を退避させてください。



コラム

クライアントシークレット有効期限が切れた場合は、新しいクライアントシークレットを再発行する必要があります。



コラム

設定したアプリケーションの「ディレクトリ(テナント)ID」、「アプリケーション(クライアント)ID」、「リダイレクトURI」、「クライアントシークレット」は「Microsoft 365連携設定」に設定します。

カレンダーデータを使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、「Microsoft 365」からカレンダーデータを取得し Kaiden! の精算を実施する際の方法を説明します。

「Microsoft 365」と連携するには、以下の手順が必要です。

- Microsoft Azureの準備
- 関連マスタの設定
- ガジェットのインポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

「Microsoft 365」との連携手順

Microsoft Azureの準備

[Microsoft Azureの準備](#)を参照して設定してください。

関連マスタの設定

「Microsoft 365」からカレンダーのデータを取得する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
Microsoft 365連携設定マスタ	「Microsoft 365」との連携設定を管理します。
Microsoft 365連携ユーザ設定	「Microsoft 365」のユーザとユーザをマッピングします。(設定は任意)

ガジェットのインポート

「Microsoft 365」からカレンダーデータを取得し Kaiden! の精算を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの設定ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchMicrosoft365Calendar_v01.xml	カレンダーデータ検索(Microsoft 365)	○
routeDetai_v05.xml	旅程明細 (連携)	
routeDetai_v06.xml	旅程明細 (複数通貨, 連携)	
routeDetai_v09.xml	旅程明細 (簡易, 連携)	
routeDetai_v10.xml	旅程明細 (複数通貨, 簡易, 連携)	

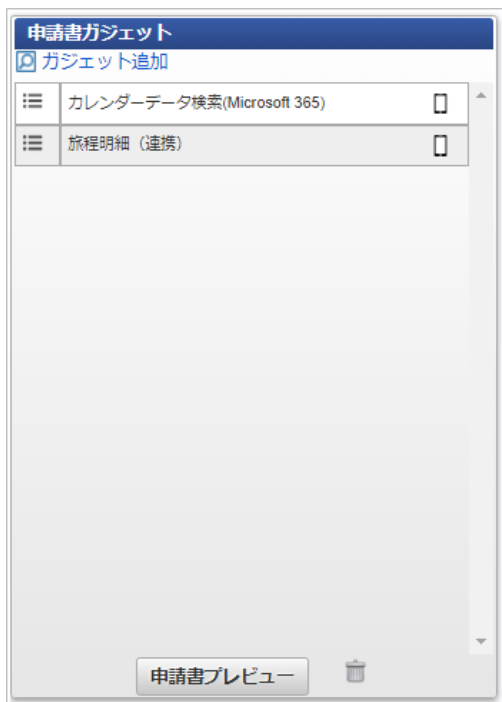
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「カレンダーデータ検索(Microsoft 365)」と連携用ガジェットを選択してください。



SAStruts版 アーカイブ(文書管理 (iAD) 連携モジュール)の操作

概要

本項では、intra-mart Accel Documents と連携して電子化した文書を申請に使用する際の概要を説明します。

文書登録ガジェットを使用すると、intra-mart Accel Documents に文書を登録できます。

文書連携ガジェットを使用すると、intra-mart Accel Documents の文書を選択して申請書を作成できます。

コラム

文書登録ガジェット、文書連携ガジェットを使用する場合、申請書マスタメンテナンス機能を利用してコンテンツ定義を作成してください。

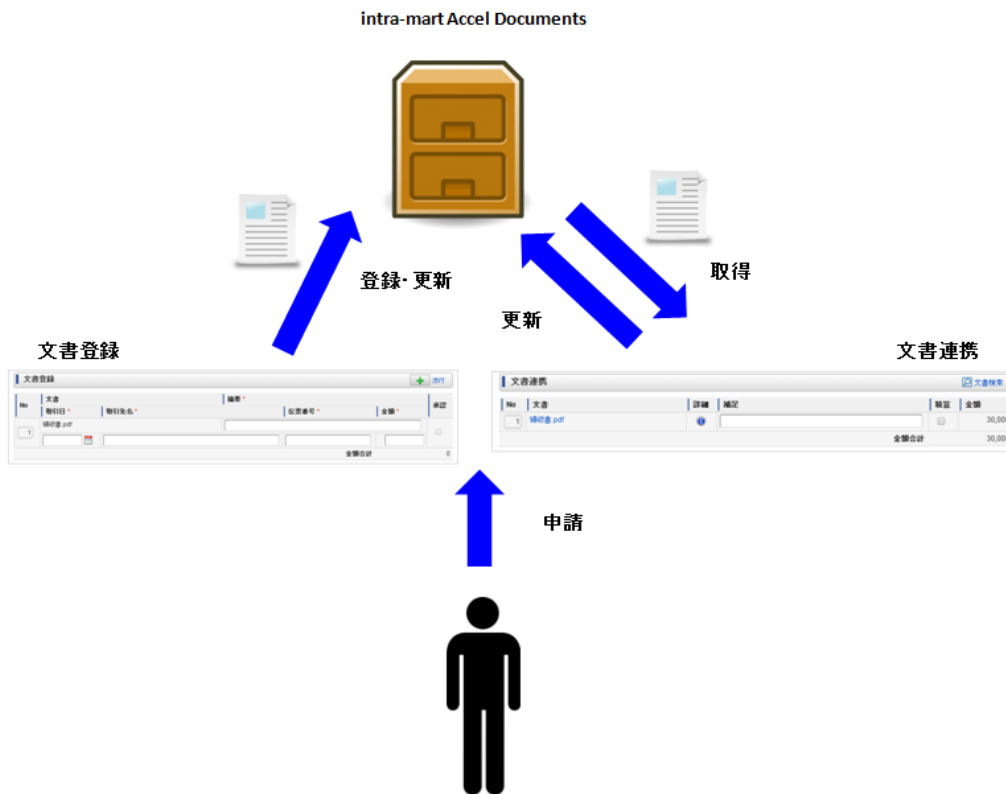
詳細は [ワークフロー設定](#)を参照してください。

各システムの役割

intra-mart Accel Documents と連携して電子化した文書を申請に使用する際に、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。

- intra-mart Accel Documents
サーバ上で文書を管理します。



文書登録

電子化した請求書や領収書を、intra-mart Accel Documents に登録する場合に使用するガジェットです。文書登録ガジェットで承認された文書は、intra-mart Accel Documents に承認済みとして登録されます。精算申請か請求書払申請のタイプの申請書の文書登録ガジェットで登録された文書は、intra-mart Accel Documents に精算済みとして登録されます。

文書連携

intra-mart Accel Documents に登録している請求書や領収書を選択して申請する場合に使用するガジェットです。文書連携ガジェットに添付できる文書は、intra-mart Accel Documents で承認済み、未精算の文書のみです。

intra-mart Accel Documents と Kaiden! の紐付け

本項では、intra-mart Accel Documents の属性情報と Kaiden! の項目の紐付けを説明します。

intra-mart Accel Documents の属性情報と Kaiden! の項目は SASruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール) のモジュール設定により次のように紐付いています。

属性情報	モジュール設定のタグ名	項目	備考
キャビネット	cabinetId		
名前	なし	文書	
クラス	classId		文書登録ガジェットで申請時、モジュール設定で設定したクラスの文書として登録される。
作成者	なし	作成者	文書登録ガジェットで申請時、申請ユーザ（代理の場合は代理先ユーザ）が作成者として登録される。
作成日時	なし	作成日	文書登録ガジェットで申請時、申請日時が作成日時として登録される。
更新者	なし		文書登録ガジェット、文書連携ガジェットで申請、最終承認時、ワークフロー実行ユーザが更新者として登録される。
更新日時	なし		文書登録ガジェット、文書連携ガジェットで申請、最終承認時、ワークフロー実行日時が更新日時として登録される。
ワークフロー案件	なし		文書登録ガジェットで申請時、申請した案件が登録される。

文書利用案件	なし	文書利用案件	
伝票番号	attributeldSlipNum	伝票番号	
取引先名	attributeldClient	取引先名	
取引日	attributeldTradeDate	取引日	
承認済みフラグ	attributeldApprovedFlg	承認	文書登録ガジェットで申請時、「false」が登録される。 文書登録ガジェットで承認時に「承認」にチェックした場合、「true」に更新される。 文書登録ガジェットで承認時に「承認」のチェックを外した場合、「false」に更新される。 文書検索で「true」の文書が検索対象となる。
摘要	attributeldSummary	摘要	
文書管理番号	attributeldManageld		文書登録ガジェットで申請時、システムで付与したランダムな値が登録される。
精算済みフラグ	attributeldSettledFlg	精算	文書登録ガジェットで申請時、「false」が登録される。 文書登録ガジェットで、申請書のタイプが精算申請と請求書払申請の場合、最終承認時、「true」に更新される。 文書連携ガジェットで処理時に「精算」にチェックした場合、最終承認時、「true」に更新される。 文書検索で「false」の文書が検索対象となる。
金額	attributeldAmount	金額	

コラム

SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール) のモジュール設定の詳細は『[intra-mart Accel Kaiden! セットアップガイド](#)』-「WARファイルの作成」-「intra-mart Accel Kaiden! の設定ファイル」-「オプションモジュール」-「SAStruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 文書管理 (iAD) 連携モジュール)」-「モジュール設定」を参照してください。

intra-mart Accel Documents のデータ更新のタイミング

本項では、intra-mart Accel Documents と連携した際のデータの更新のタイミングを説明します。

- [文書登録](#)
- [文書連携](#)

文書登録

文書登録ガジェットを使用した場合、申請、再申請時に intra-mart Accel Documents に次のデータが登録されます。

- 添付文書
- 添付文書の以下の属性情報
 - クラス
 - 作成者
 - 作成日時
 - 更新者
 - 更新日時
 - ワークフロー案件
 - 文書利用案件
 - 伝票番号
 - 取引先名
 - 取引日
 - 承認済みフラグ
 - 摘要
 - 文書管理番号
 - 精算済みフラグ
 - 金額

文書登録ガジェットを使用した場合、承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報

- 更新者
- 更新日時
- 承認済みフラグ

文書登録ガジェットを、精算申請か請求書払申請のタイプの申請書で使用した場合、最終承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 精算済みフラグ

文書連携

文書登録ガジェットを使用した場合、申請、再申請時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 文書利用案件

文書登録ガジェットを使用した場合、最終承認時に intra-mart Accel Documents の次のデータが更新されます。

- 添付文書の以下の属性情報
 - 更新者
 - 更新日時
 - 精算済みフラグ

SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の操作

概要

本項では、SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)を使用して、外部から取得したファイルを取り込み、電子帳簿保存法のスキャナ保存制度

に対応した電子証憑管理に対応したシステム(以下「電子証憑管理システム」とします)に連携する際の概要を説明します。

SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)を使用すると、外部から取得したファイルをKaiden!の申請で確認・精算できます。

また、Kaiden! で取り込んだファイルと取引日、取引先、金額などの申請内容を電子証憑管理システムに連携することが可能です。

スキャンされた証憑 (PDF) へのタイムスタンプ付与や画像チェック、タイムスタンプ一括検証、証憑検索・参照、保管期限経過後の削除などは、連携先の電子証憑管理システムにて対応している前提です。

注意

SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)の機能は、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュールに移管しています。詳細は「[ファイル連携の機能を使用する方法](#)」を参照ください。

各システムの役割

SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)を使用する際、関連する各システムの役割は次の通りです。

- intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費
経費精算、旅費精算等のワークフロー機能を提供します。
- SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)
外部から取得したファイルを取り込み、電子証憑管理システムへ連携する機能を提供します。
- スキャナ
スキャナ等からファイルをKaiden!に連携します。
- 電子証憑管理に対応したシステム
サーバ上で文書を管理します。

モジュールの選択

SAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)を使用する際、以下のモジュールを選択してください。

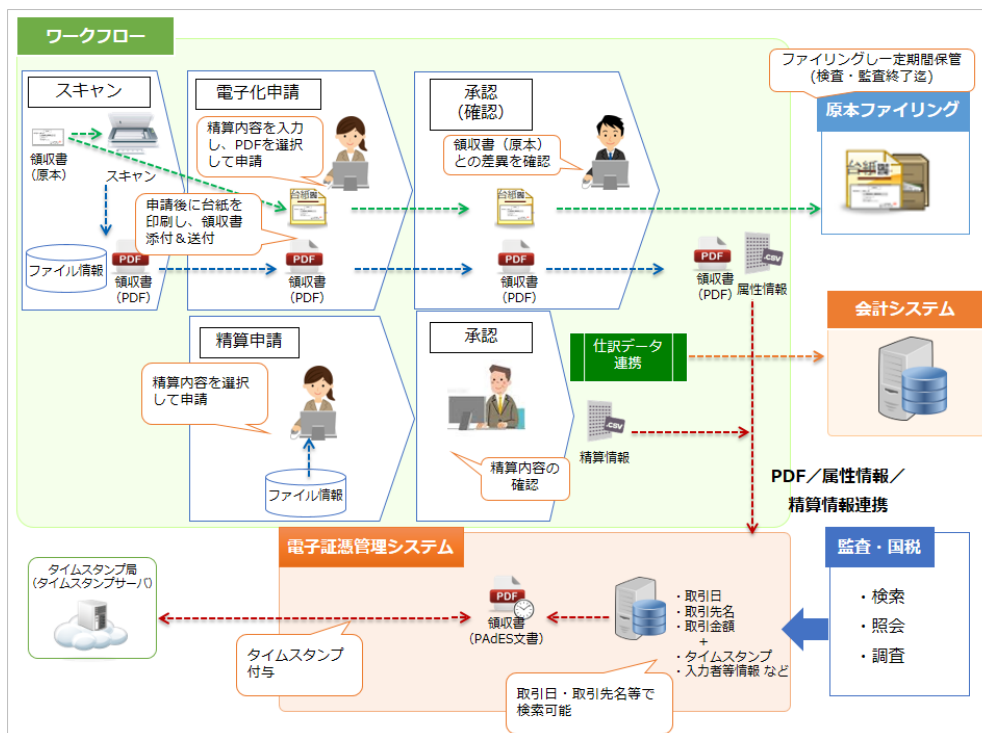
外部から取得したファイルを登録する機能はSAStruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)に含まれています。

ワークフローを使用して、申請を実施する場合、intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール、SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール)も選択してください。

モジュールパック	モジュール
intra-mart Accel Kaiden! Core Module	intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール
	intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール
	SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! 基盤モジュール)
	SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! IM-Workflow連携モジュール)
intra-mart Accel Kaiden! 経費旅費	SAstruts版 アーカイブ(ファイル連携モジュール)
	intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール
	SAstruts版 アーカイブ(intra-mart Accel Kaiden! ワークフローモジュール)

連携イメージ

本項では、外部から取得したファイルを確認・精算し、電子証憑管理システムに連携するイメージを紹介します。



マスタ設定

概要

マスタの概要は、[概要](#)を参照してください。

ファイル分類マスタ

本項では、ファイル分類マスタの設定方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 更新
- インポート
 - インポートデータ作成
 - ジョブネットの設定
 - 実行パラメータ
- エクスポート
 - ジョブネットの設定
 - ファイル取得
 - 実行パラメータ

概要

ファイル分類マスタは、外部から取得するファイルの分類を管理します。
メンテナンス、インポートの2種類の方法でマスタ設定が可能です。
また、マスタ設定をエクスポート可能です。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル分類」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。

3. 登録/更新画面で必要な情報を入力し、「登録」をクリックします。

- 開始日
開始日を設定します。
- 終了日
終了日を設定します。
- 会社
会社を選択します。
- ファイル分類コード
会社ごとに一意のコードを入力します。
- ファイル分類名
ファイル分類の名称を入力します。
- 書類データ
必要にチェックすると、連携ファイル検索(電子化申請用)で検索時に検索対象になります。
- 精算データ
必要にチェックすると、連携ファイル検索(精算申請用)で検索時に検索対象になります。

- 保管期限(年)
ファイルを保管する期限の「年」を入力します。
- 保管期限(月)
ファイルを保管する期限の「月」を入力します。

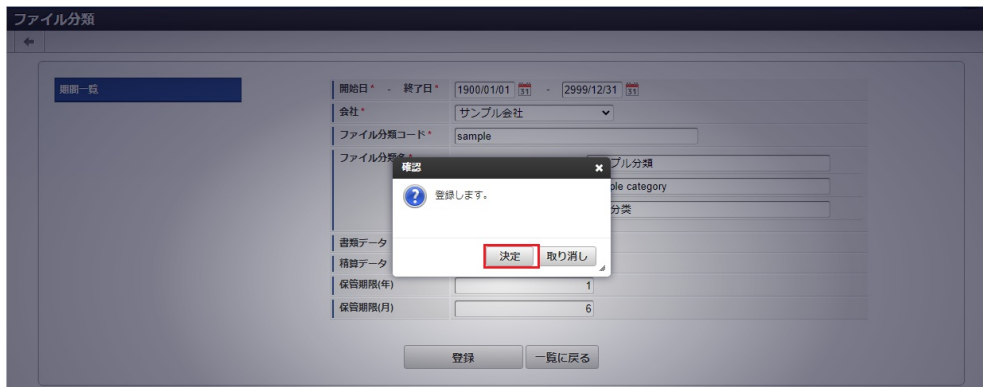
i コラム

「会社」は開始日を検索基準日としています。

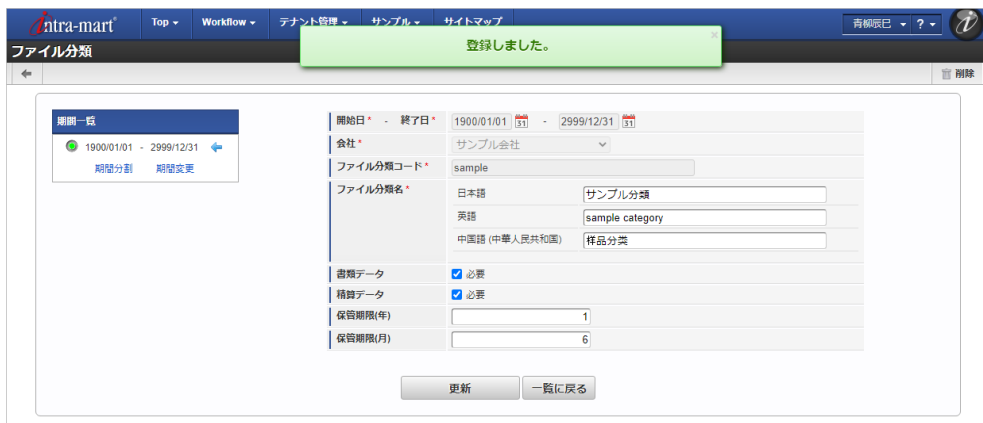
i コラム

「保管期限(年)」または「保管期限(月)」を設定すると、電子化申請または精算申請済みのファイルを保管期限が過ぎるまでファイル設定画面で削除できません。

4. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。



5. 新規登録することができました。



更新

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル分類」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



i コラム

検索欄に検索したいファイル分類マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイル分類コード
- ファイル分類名

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。

ファイル分類

新規登録

検索 クリア

No	ファイル分類コード	ファイル分類名	書誌データ	精詳データ
1	1000	帳収書	必要	必要
2	2000	請求書	必要	必要
3	9000	その他	不要	不要
4	sample	サンプル分類	必要	必要

最初へ前へ 1 次へ最後へ

i コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録/更新画面で情報を編集し、「更新」をクリックします。

ファイル分類

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

ファイル分類コード * sample

ファイル分類名 *

日本語 サンプル分類

英語 sample category

中国語 (中華人民共和国) 样品分类

書誌データ 必要

精詳データ 必要

保管期限(年) 1

保管期限(月) 6

更新 一覧に戻る

次の項目は編集不可項目です。

- 開始日
- 終了日
- 会社
- ファイル分類コード

5. 確認ポップアップが表示されますので、「決定」をクリックします。

ファイル分類

更新しました。

更新

一覧に戻る

6. 更新することができました。

intra-mart

Top Workflow テナント管理 サンプル サイトマップ

青柳京巳

ファイル分類

更新しました。

期間一覧

1900/01/01 - 2999/12/31

開始日 * 終了日 * 1900/01/01 31 - 2999/12/31 31

会社 * サンプル会社

ファイル分類コード * sample

ファイル分類名 *

日本語 サンプル分類

英語 sample category

中国語 (中華人民共和国) 样品分类

書誌データ 必要

精詳データ 必要

保管期限(年) 1

保管期限(月) 6

更新 一覧に戻る

インポート

本項では、インポート機能を利用したマスタ設定方法を説明します。

インポートデータ作成

インポートするデータを作成し、ストレージにアップロードします。
作成するインポートデータの形式は、次の通りです。

- ファイル形式

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のファイル形式です。

ファイル名 import.csv

文字コード UTF-8

区切り文字 ,

囲み文字 "

- データ形式

No(列)	項目名	必須	最大文字数	備考
1	会社コード	○	100	
2	ファイル分類コード	○	100	
3	ロケールID	○	50	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
4	開始日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
5	終了日		10	yyyy/MM/dd形式 インポートモードが 4、5の場合、使用されます。
6	ファイル分類名	○	250	
7	書類データ必要フラグ	○	1	0 : 不要 1 : 必要
8	精算データ必要フラグ	○	1	0 : 不要 1 : 必要
9	保管期限(年)		2	0から99の整数を設定可能です。
10	保管期限(月)		2	0から12の整数を設定可能です。
11	削除フラグ	○	1	0 : 有効 1 : 無効

データサンプル

```
"comp_sample_01","000000","ja","","","サンプルファイル分類","1","1","2","6","0"
"comp_sample_01","000000","en","","","sample category","1","1","2","6","0"
"comp_sample_01","000000","zh_CN","","","品分","1","1","2","6","0"
```



コラム

項目を省略する場合でも、「」で囲んでください。

- アップロード先

ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。

以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のアップロード先です。

ディレクトリ kaiden/generic/master/file_category

ファイル名 import.csv

i コラム

インストール直後などはアップロード先のディレクトリが作成されていません。
ディレクトリの作成方法やファイルのアップロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

ジョブネットの設定

インポート機能用のジョブネットの設定を行います。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイル分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

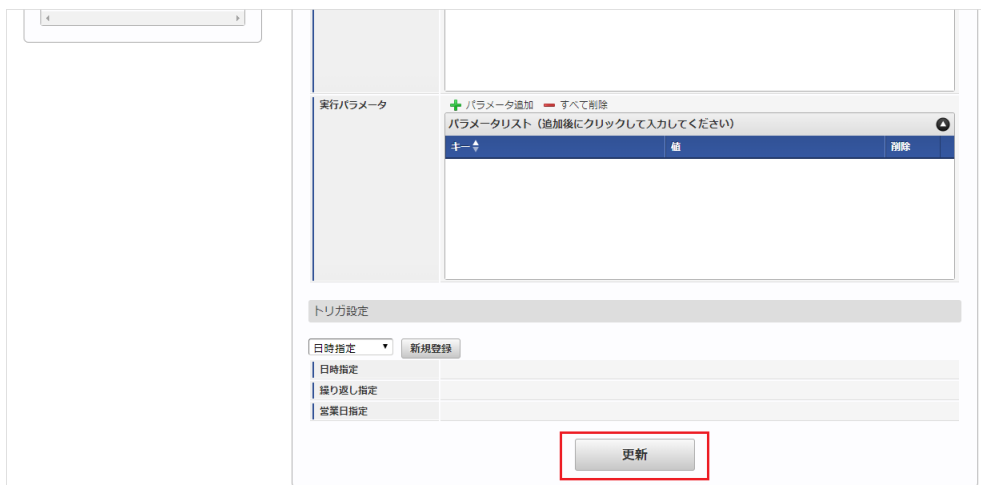
i コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

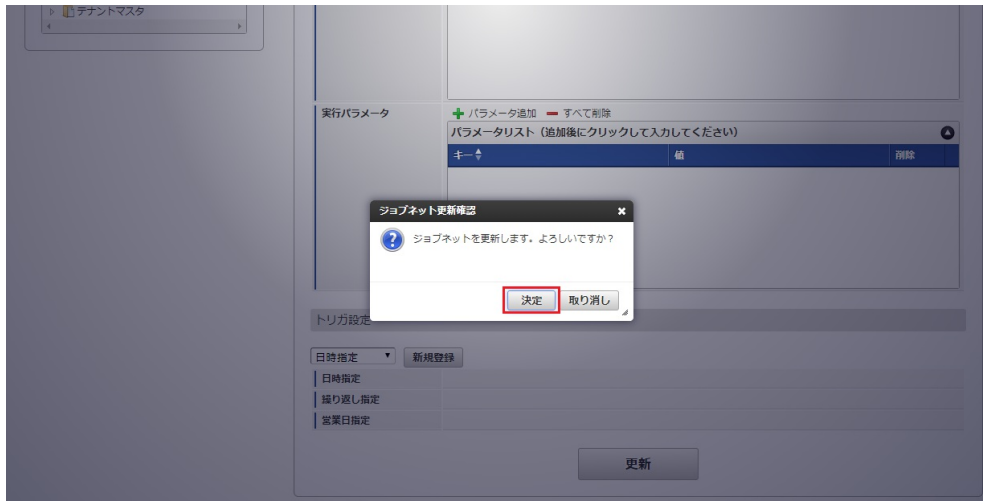
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-file-import-01-fileCategory	Kaiden! / ファイル / インポート / ファイル分類

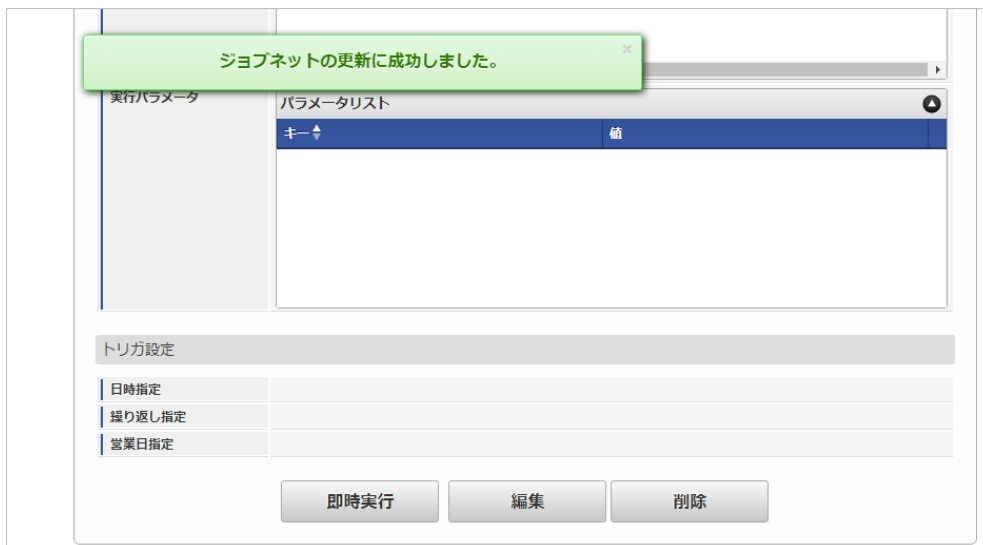
5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



i コラム

ジョブネットの設定（実行）後、メンテナンス機能でインポートが正しく実行されたことを確認してください。

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	インポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	インポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	インポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)

名称	キー	説明 / 設定値
インポートモード	import_mode	インポートの処理モードを設定します。 参考: インポートモードと実行結果 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 単一期間 (差分) モード 2: 単一期間 (一新) モード 3: 単一期間 (入替) モード 4: 複数期間 (差分) モード 5: 複数期間 (入替) モード
開始日	start_date	インポート期間の開始日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: ジョブの実行日)
終了日	end_date	インポート期間の終了日 (yyyy/MM/dd) を設定します。 (省略時: システムの終了日)
シフト日数	shift_date	インポート期間の開始日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648~2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時: 0)
インポートファイルのパス	file_path	インポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category/import.csv)
処理後のインポートファイルの操作モード	file_mode	処理後のインポートファイルの操作モードを設定します。 (省略時: 1) <ul style="list-style-type: none"> 1: 操作なし 2: コピー(copy) 3: アーカイブ(move) 4: 正常終了 (警告含) 時アーカイブ(move)、エラー終了時操作なし 5: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時アーカイブ(move) 6: 削除(delete) 7: 正常終了 (警告含) 時削除(delete)、エラー終了時操作なし 8: 正常終了 (警告含) 時操作なし、エラー終了時削除(delete)
アーカイブ先パス	archive_path	インポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時: kaiden/generic/master/file_category/import_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	インポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時: UTF-8) <ul style="list-style-type: none"> UTF-8 SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	インポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時: ,) <ul style="list-style-type: none"> , : カンマ \t : タブ
囲み文字	enclosing	インポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時: ") <ul style="list-style-type: none"> " : ダブルクォーテーション
読込開始行数	start_rows	インポートファイルの読込開始行数を設定します。 (省略時: 0)
マスタID	masterId	インポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類マスタインポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category」を設定しています。

{YMDHMSN}: 「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

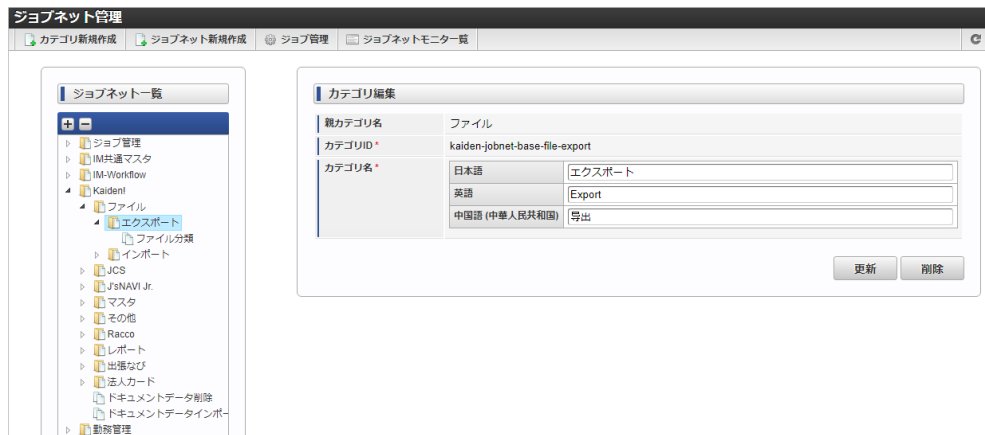
エクスポート

本項では、エクスポート機能を利用したマスタ設定取得方法を説明します。

ジョブネットの設定

エクスポート機能用のジョブネットの設定を行います。

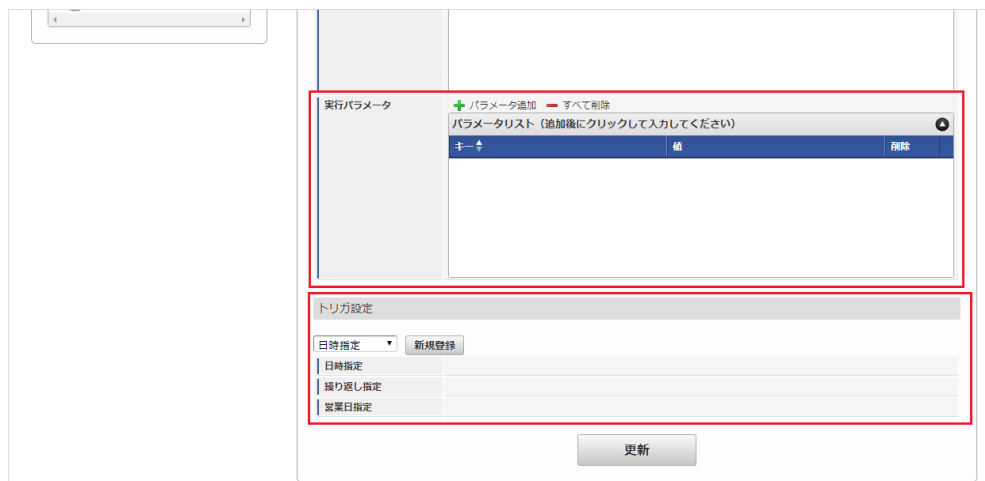
1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. ジョブネット一覧（画面左部）の「ファイル分類」をクリックします。



3. 「編集」をクリックします。



4. 必要に応じて「実行パラメータ」、「トリガ設定」を編集します。



i コラム

設定が必要な実行パラメータの詳細は、[実行パラメータ](#)を参照してください。
トリガ設定の設定方法は『[テナント管理者操作ガイド](#)』を参照してください。

コラム

複数の「実行パラメータ」、「トリガ設定」を行う場合はジョブネットを複数作成してください。
ジョブネットの作成方法は『テナント管理者操作ガイド』を参照してください。

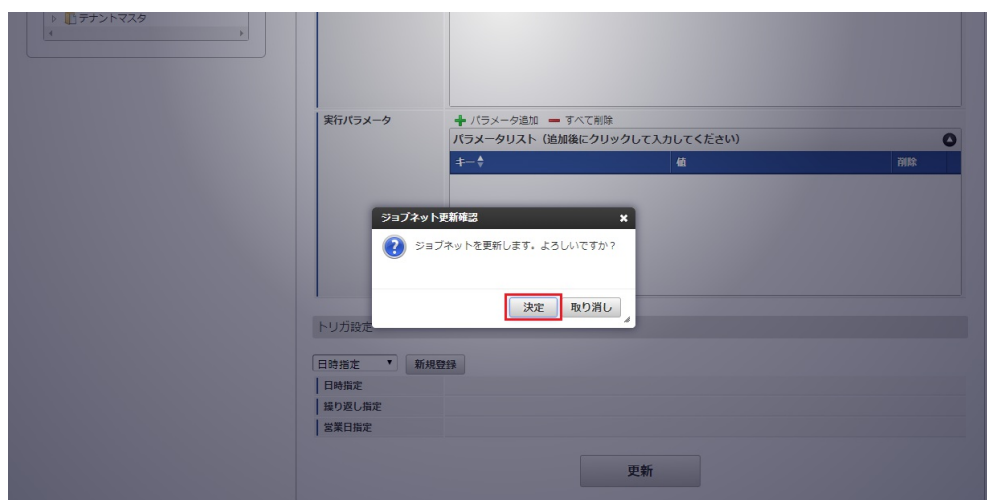
ジョブネット作成時には次のジョブを登録してください。

ジョブID	ジョブ名 (ジョブ選択時のツリー)
kaiden-job-base-file-export-01-fileCategory	Kaiden! / ファイル / エクスポート / ファイル連携

5. 編集後、「更新」をクリックします。



6. 確認ポップアップの「決定」をクリックします。



7. ジョブネットが設定されました。



ファイル取得

エクスポートファイルを次のエクスポート先から取得します。

- **エクスポート先**
ジョブネットの設定で設定する実行パラメータにより変化します。
以下は初期値（実行パラメータ未設定の場合）のエクスポート先です。

ディレクトリ	kaiden/generic/master/file_category/
ファイル名	export.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

- **データ形式**
エクスポートファイルのデータ形式です。

項目	項目名	備考
companyCd	会社コード	
fileCategoryCd	ファイル分類コード	
localeId	ロケール	ja : 日本語 en : 英語 zh_CN : 中国語
startDate	開始日	yyyy/MM/dd形式
endDate	終了日	yyyy/MM/dd形式
fileCategoryName	ファイル分類名	
docUseFlag	書類データ必要フラグ	
settleUseFlag	精算データ必要フラグ	
retentionYear	保管期限(年)	
retentionMonth	保管期限(月)	
deleteFlag	削除フラグ	

実行パラメータ

設定が可能な実行パラメータは次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
エラースキップ	error_skip	会社別処理でエラー発生時の後続処理をスキップするか設定します。 (省略時：false)
ロック待ち時間	lock_wait	ロックの待ち時間を設定します。 (省略時：10秒)
処理対象会社グループセットコード	company_group_set_cd	エクスポートを行う会社の会社グループセットコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社グループコード	company_group_cd	エクスポートを行う会社の会社グループコードを設定します。 参考： ジョブパラメータで指定可能な会社グループについて (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)
処理対象会社コード	company_cd	エクスポートを行う会社の会社コードを設定します。 (省略時：登録済みの全会社を対象とします。)

名称	キー	説明 / 設定値
コンダクター	conductor	ジョブの各処理間で実行されるコンダクターを設定します。 カンマ区切りで複数指定できます。 AbstractGenericJobConductorを継承したクラスのコンポーネント名を指定してください。 (省略時：コンダクターを使用しません。)
エクスポートモード	export_mode	エクスポートの処理モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1：全件出力モード▪ 2：期間モード（エクスポート対象データの検索対象日が含まれる期間を出力）▪ 3：更新日モード（エクスポート対象データの検索対象以降に更新されたレコードを出力）
エクスポート対象データの検索対象日	target_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日(yyyy/mm/dd)を設定します。 (省略時：ジョブの実行日)
シフト日数	shift_date	エクスポートモード2、3を設定した場合、エクスポート対象データの検索対象日に対する増減日数を設定します。 「-2147483648～2147483647」の範囲で設定してください。 (省略時：0)
エクスポートファイルのパス	file_path	エクスポートファイルのstorage以降のパスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/file_category/export.csv)
エクスポート時の既存ファイルの操作モード	file_mode	エクスポート時の既存ファイルの操作モードを設定します。 (省略時：1) <ul style="list-style-type: none">▪ 1：既存ファイルに追記▪ 2：既存ファイルを削除し、エクスポート▪ 3：エクスポートファイルをアーカイブ（移動）し、エクスポート
アーカイブ先パス	archive_path	エクスポート時の既存ファイルの操作モードが3の場合、エクスポートファイルのアーカイブ先パスを設定します。 (省略時：kaiden/generic/master/file_category/export_{YMDHMSN}.csv)
文字コード	character	エクスポートファイルの文字コードを設定します。 (省略時：UTF-8) <ul style="list-style-type: none">▪ UTF-8▪ SHIFT-JIS
区切り文字	delimiter	エクスポートファイルの区切り文字を設定します。 (省略時：,) <ul style="list-style-type: none">▪ ,：カンマ▪ \t：タブ
囲み文字	enclosing	エクスポートファイルの囲み文字を設定します。 (省略時：") <ul style="list-style-type: none">▪ "：ダブルクォーテーション▪ none：囲み文字なし
エクスポートファイルのヘッダー出力有無	header_row	エクスポートファイルのヘッダー出力有無を設定します。 (省略時：false) <ul style="list-style-type: none">▪ true：ヘッダー出力有▪ false：ヘッダー出力無
マスタID	masterId	エクスポートするマスタのIDを設定します。 ファイル分類マスタエクスポートの場合は、ジョブ設定の実行パラメータに「file_category」を設定しています。

{YMDHMSN}：「yyyyMMddHH24mmssSSS」形式

ファイル設定

本項では、ファイル設定からファイルをアップロード、改版、削除する方法を説明します。

- 概要
- メンテナンス
 - 新規登録
 - 改版／利用ユーザ編集
 - 削除

概要

ファイル設定は、アップロードしたファイルの登録、改版、削除を行います。
登録したファイルは電子化申請、精算申請を実施して電子証憑管理システムへ連携可能です。

i コラム

画像ファイル、PDFファイルを登録できます。
登録可能なファイルの拡張子は「.pdf」、「.bmp」、「.gif」、「.jpg」、「.jpeg」、「.png」、「.tif」、「.tiff」です。
画像ファイルを登録すると、PDFファイルに変換して登録されます。

メンテナンス

本項では、メンテナンス機能を利用したファイルのメンテナンス方法を説明します。

新規登録

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル設定」をクリックします。
2. 一覧画面表示後、「新規登録」をクリックします。



3. 登録／更新画面で必要な情報を入力し、「アップロード」をクリックします。

- 会社
会社を選択します。

- ファイル分類
ファイル分類を選択します。
- ファイル
「ファイル選択」アイコンをクリックしてファイルをアップロードします。
アップロード可能なファイルは画像ファイル、PDFファイルです。
ファイルアップロード後はファイル名が表示され、クリックするとファイルのアップロードを解除します。
- ファイルドロップ
ファイルをドラッグアンドドロップしてファイルをアップロードします。
複数のファイルをまとめてアップロード可能です。
ファイルアップロード後はファイルのプレビュー画面が表示されます。



コラム

「会社」、「ファイル分類」は一覧画面の検索オプションで選択中の検索基準日を検索基準日としています。

4. 新規登録することができました。

改版／利用ユーザ編集

1. 「サイトマップ」→「Kaiden!」→「ファイル」→「ファイル設定」をクリックします。
2. 一覧画面で「検索」をクリックします。



コラム

検索欄に検索したいファイル分類マスタの以下の項目を入力して「検索」をクリックすると、結果を一覧に表示します。

- ファイルID
- ファイル分類コード
- ファイル分類名
- ファイル名01



コラム

ファイルの利用ユーザにログインユーザが含まれている場合、一覧画面で検索可能です。

3. 一覧画面の対象データが表示されている行をクリックします。



コラム

一覧機能の操作方法は、[一覧画面の操作](#)を参照してください。

4. 登録したファイル情報が表示されます。

会社	サンプル会社	利用ユーザ	青柳辰巳
ファイルID	20201009-00001		
ファイル分類	領収書		
処理番号 (最新)	1		

処理者	処理日時	ステータス	書類	精算
青柳辰巳	2020/10/09 11:20:32	未確認	未登録	未精算

ファイル: 領収書(サンプル).pdf | 1 page | 317,887 byte

- 会社
会社が表示されます。
- ファイルID
登録したファイルを一意に特定するIDです。
新規登録時に採番されます。
- ファイル分類
ファイル分類が表示されます。
- 処理番号(最新)
最新の処理番号が表示されます。
改版時にカウントアップします。
- 利用ユーザ
ファイルを利用可能なユーザが表示されます。
ファイルの新規登録時は、登録を実施したユーザが登録されます。
「ユーザ追加」から利用ユーザの追加・削除ができます。
- 処理者
ファイルをアップロードしたユーザが表示されます。
- 処理日時
ファイルをアップロードした日時が表示されます。
- ステータス
ファイルのステータスが表示されます。
- 書類
書類の確認ステータスが表示されます。
- 精算
書類の精算ステータスが表示されます。
- ファイル
ファイル名、ファイルのページ数、ファイルのバイト数が表示されます。
- プレビューアイコン
クリックすると、ファイルのプレビューがポップアップ表示されます。
- ダウンロードアイコン
クリックすると、ファイルをダウンロードします。

5. 「改版」ボタンをクリックします。

6. 改版するファイルをアップロードして、「アップロード」をクリックします。



次の項目は編集不可項目です。

- 会社
- ファイル分類

7. 改版することができました。



8. 「ユーザ追加」をクリックします。



9. ユーザを選択し「右」、または「左」アイコンをクリックすると、ファイルの利用ユーザか対象外かを変更できます。「登録」をクリックします。

検索

利用ユーザ (対象外)		利用ユーザ (対象)
<ul style="list-style-type: none"> 萩本順子 原田浩二 林政義 生田一哉 片山聡 円山益男 大磯博文 sample 関根千香 test 	▶▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶	<ul style="list-style-type: none"> 青柳辰巳

登録
取り消し

10. 利用ユーザの更新ができました。

intra-mart
青柳辰巳

ファイル設定
更新しました。

会社: サンプル会社 ファイルID: 20201009-00001 ファイル分類: 領収書 処理番号 (最新): 2	利用ユーザ: 青柳辰巳
---	-------------

1	処理者	処理日時	ステータス	書類	精算
	青柳辰巳	2020/10/09 11:20:32	無効	無効	無効

ファイル: 領収書(サンプル).pdf | 1 | page | 317,887 | byte

i コラム

ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理中の場合、改版、利用ユーザの更新はできません。

削除

ファイル設定からアップロード済みのファイルを削除できます。
ただし、次の条件に合致する場合削除できません。

- ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理中の場合
- ファイルのステータス、書類の確認ステータス、精算ステータスが処理済で、ファイル分類で設定された保管期限が経過していない場合

ファイル連携

本項では、ファイル連携を用いてファイルを登録、改版する方法を説明します。

- [概要](#)
- [ロジックフローの作成](#)
- [ファイル連携の引数](#)

概要

ファイル設定は、外部から連携されたファイルの登録、改版を行います。
ファイル連携機能はIM-LogicDesignerのタスクとして提供しているため、ロジックフローを作成する必要があります。
登録したファイルはファイル設定で確認してください。
また、電子化申請、精算申請を実施して電子証憑管理システムへ連携可能です。

i コラム

画像ファイル、PDFファイルを登録できます。
画像ファイルを登録すると、PDFファイルに変換して登録されます。

ロジックフローの作成

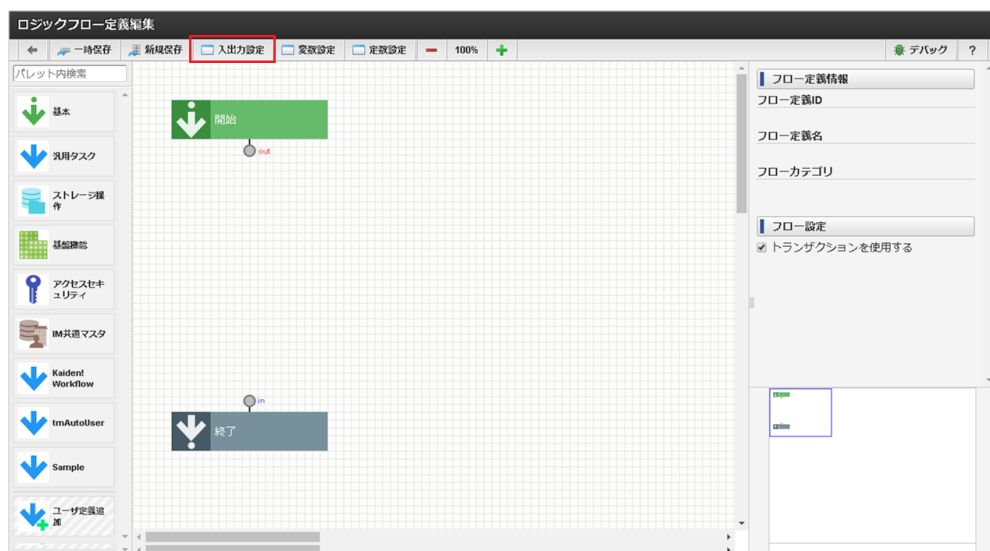
本項では、IM-LogicDesignerでロジックフローの作成を行います。

IM-LogicDesignerの詳細は『[IM-LogicDesigner ユーザ操作ガイド](#)』を参照してください。

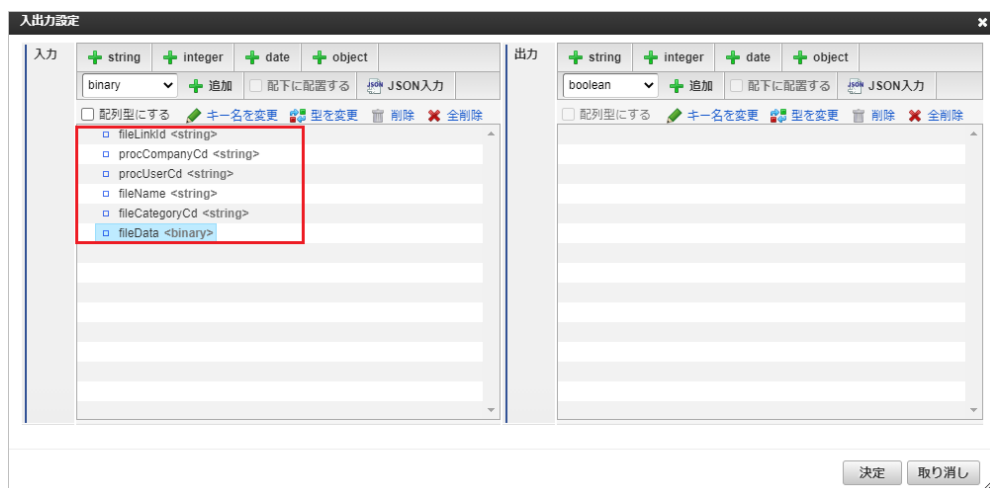
1. 「サイトマップ」→「LogicDesigner」→「フロー定義一覧」をクリックします。
2. 「ロジックフロー新規作成」をクリックします。



3. 「入出力設定」をクリックします。



4. 入力を設定します。

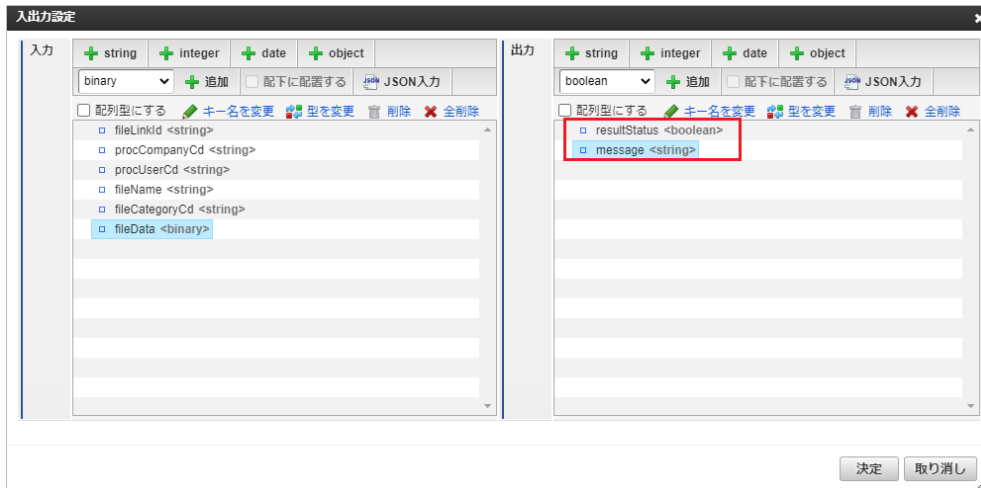


- キー名 : fileLinkId
型 : string型
- キー名 : procCompanyCd

型 : string型

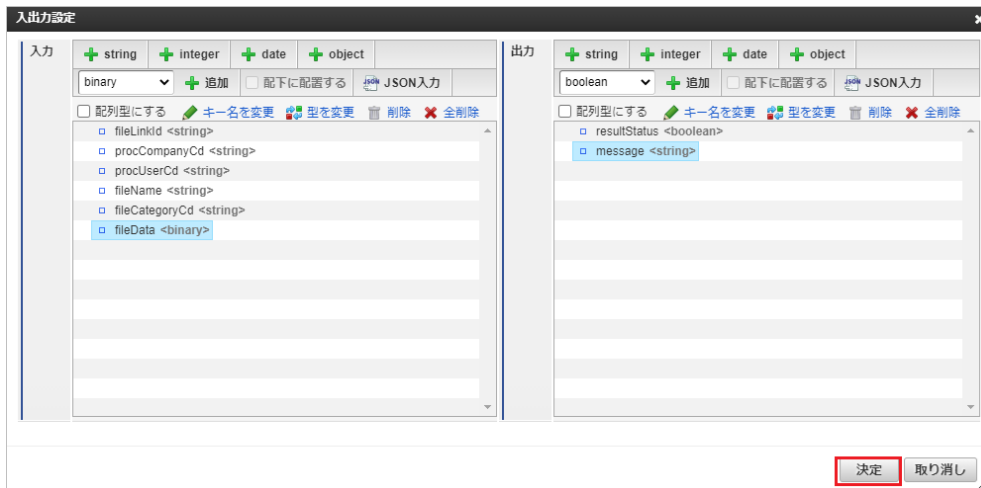
- キー名 : procUserCd
型 : string型
- キー名 : fileName
型 : string型
- キー名 : fileCategoryCd
型 : string型
- キー名 : fileData
型 : binary型

5. 出力を設定します。

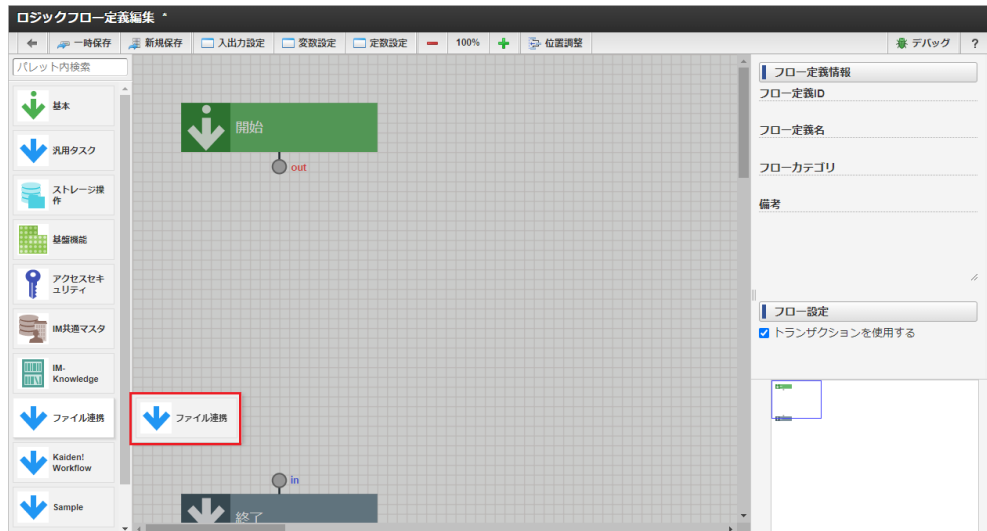


- キー名 : resultStatus
型 : boolean型
- キー名 : message
型 : string型

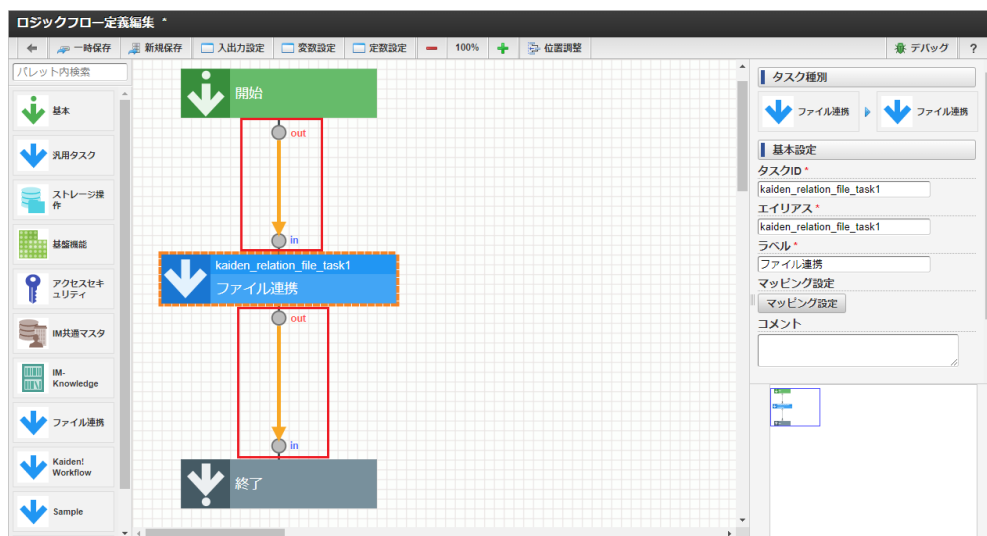
6. 「決定」をクリックします。



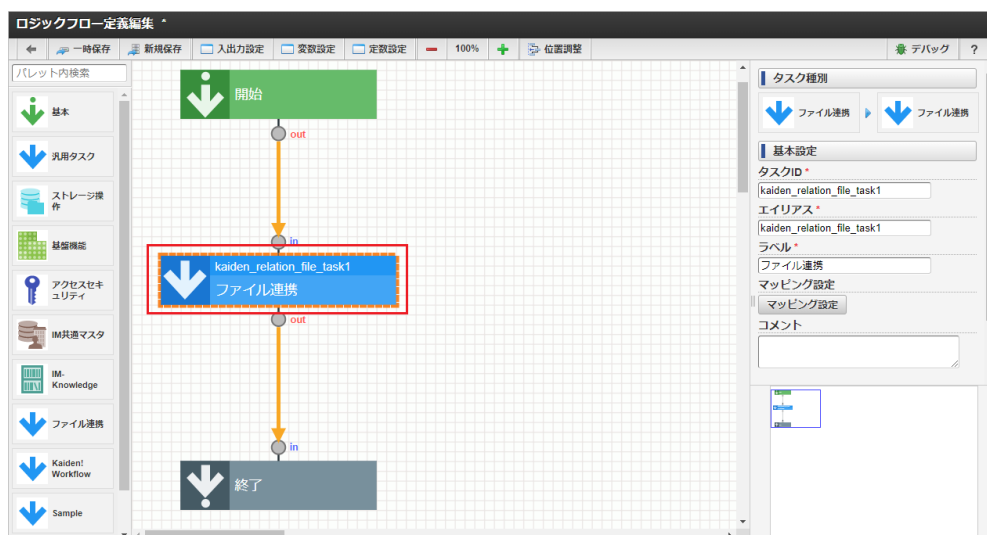
7. タスクの「ファイル連携(kaiden_relation_file_task)」を選択します。



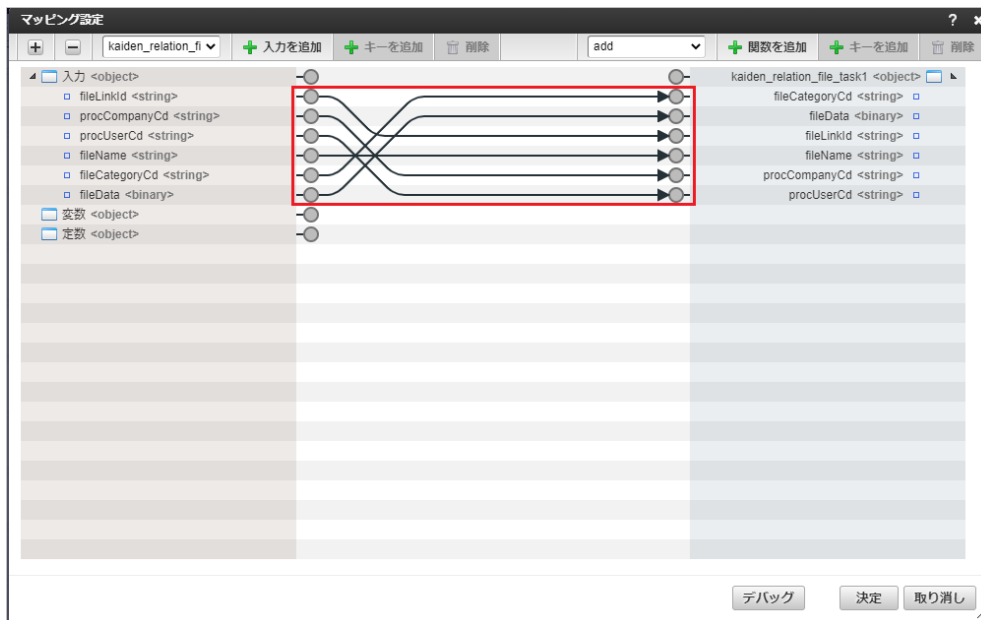
8. 開始タスク、「ファイル連携」タスク、終了タスクを繋ぎます。



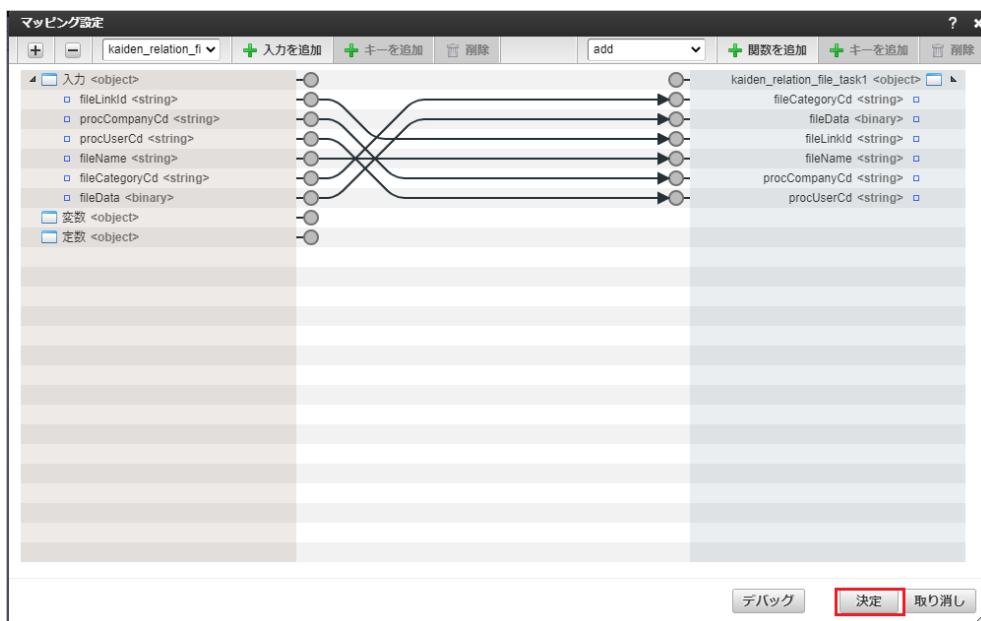
9. 「ファイル連携」タスクをダブルクリックします。



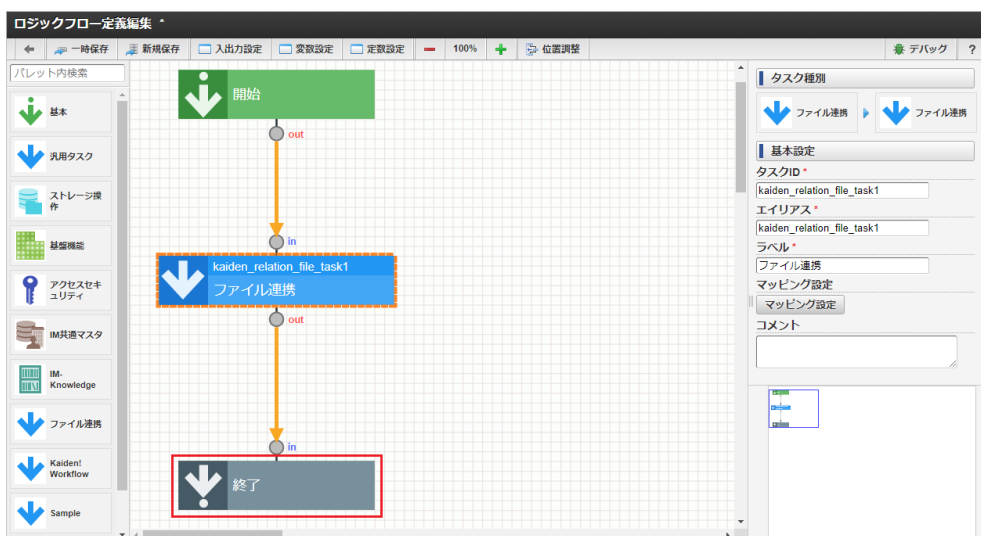
10. 入力から「ファイル連携」タスクに値を渡す設定をします。



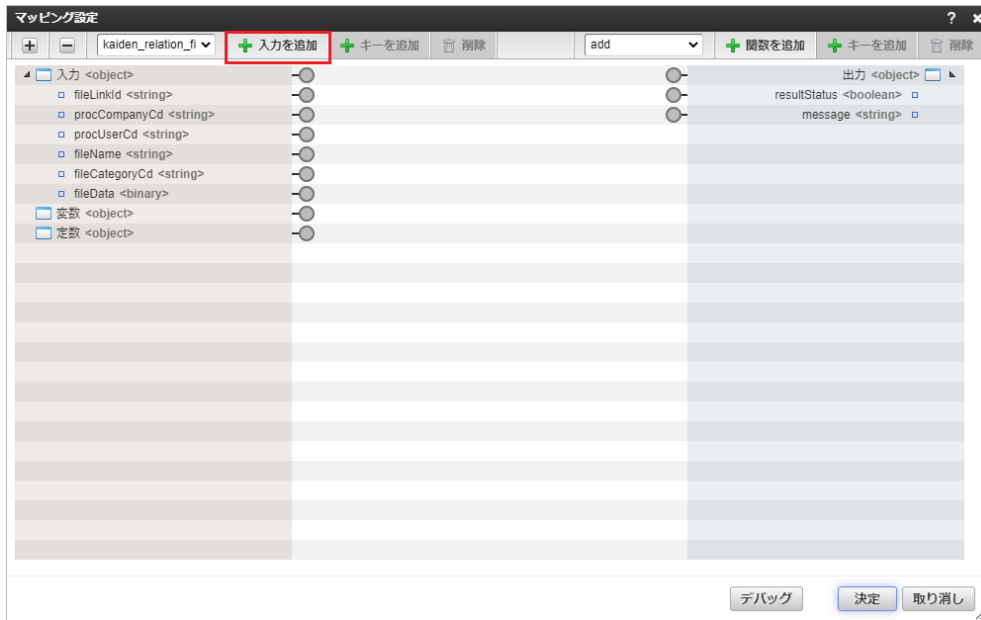
11. 「決定」をクリックします。



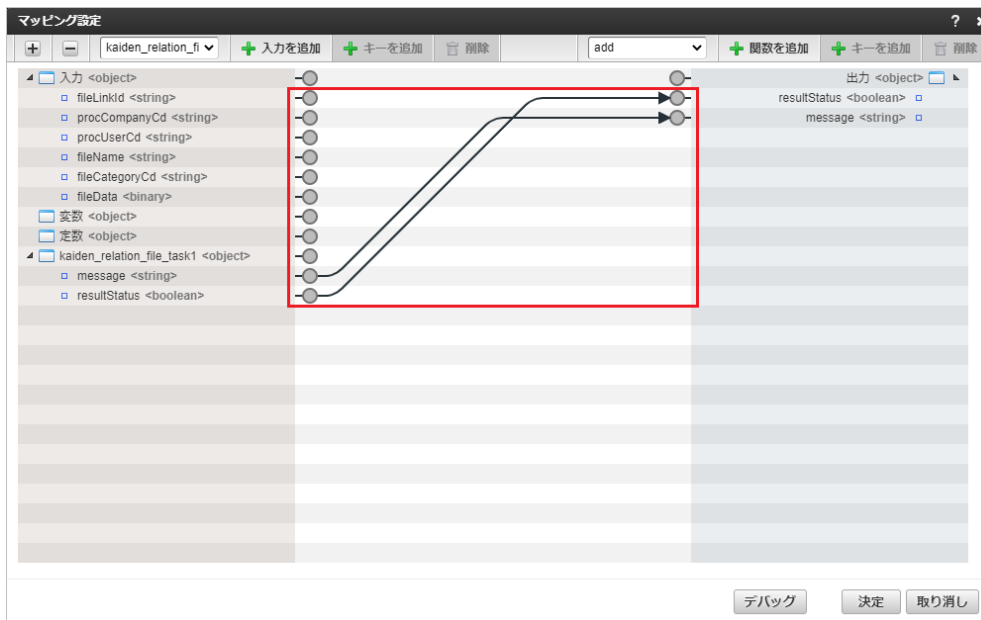
12. 終了タスクをダブルクリックします。



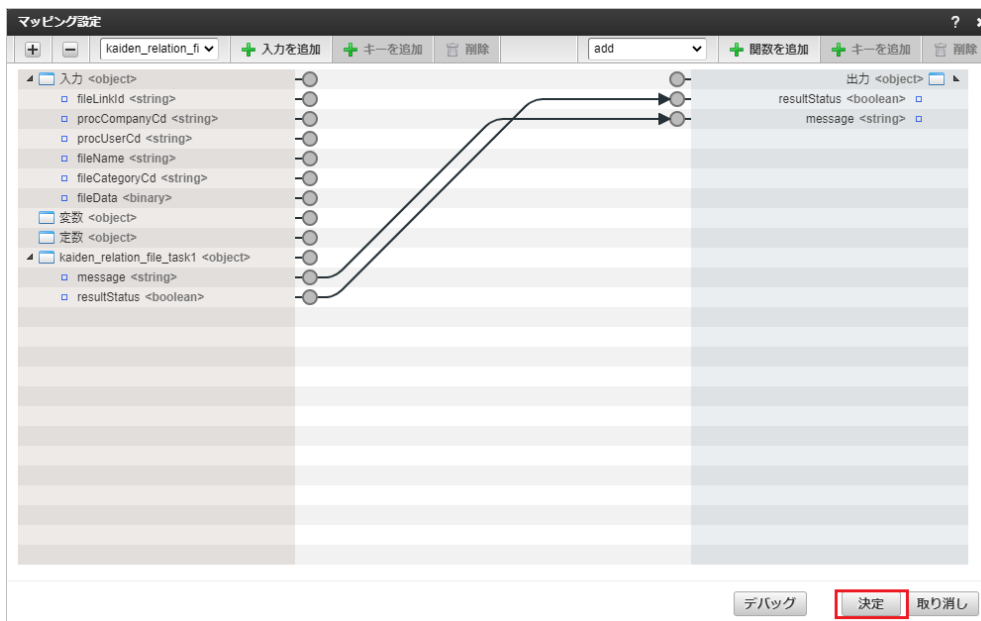
13. 「入力を追加」をクリックします。



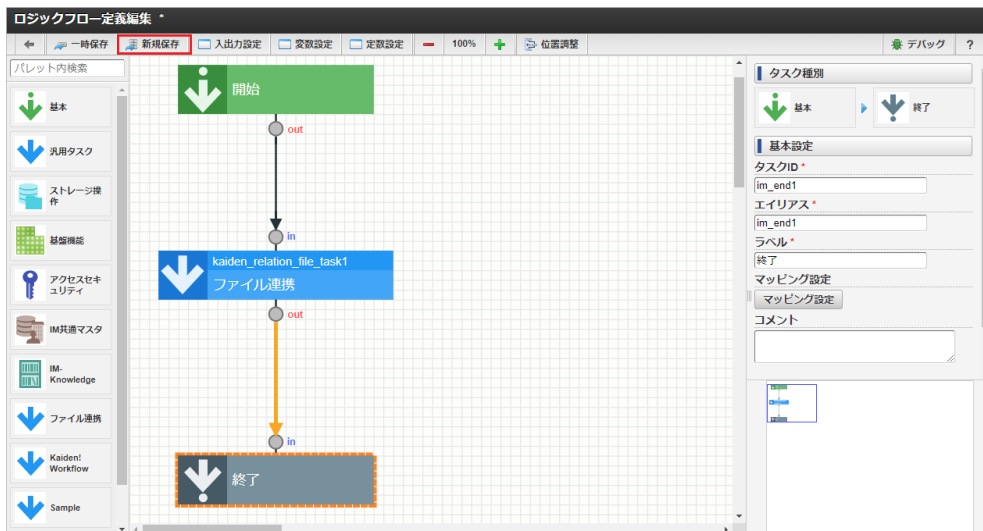
14. 「ファイル連携」タスクから出力に値を渡す設定をします。



15. 「決定」をクリックします。



16. 「新規保存」をクリックします。



17. 必要な項目を設定して「決定」をクリックします。

The screenshot shows the '新規保存' (New Save) dialog box. It contains the following fields and options:

- フロー定義ID ***: kaiden_relation_file
- フロー定義名 ***:
 - 標準 *: ファイル連携
 - 日本語:
 - 英語:
 - 中国語 (中華人民共和国):
- フローカテゴリ ***:
 - 検索:
 - 新規作成:
 - ID *: sample
 - 名称: Sample
- 備考**:

The '決定' (Decision) button in the bottom right corner is highlighted with a red box.

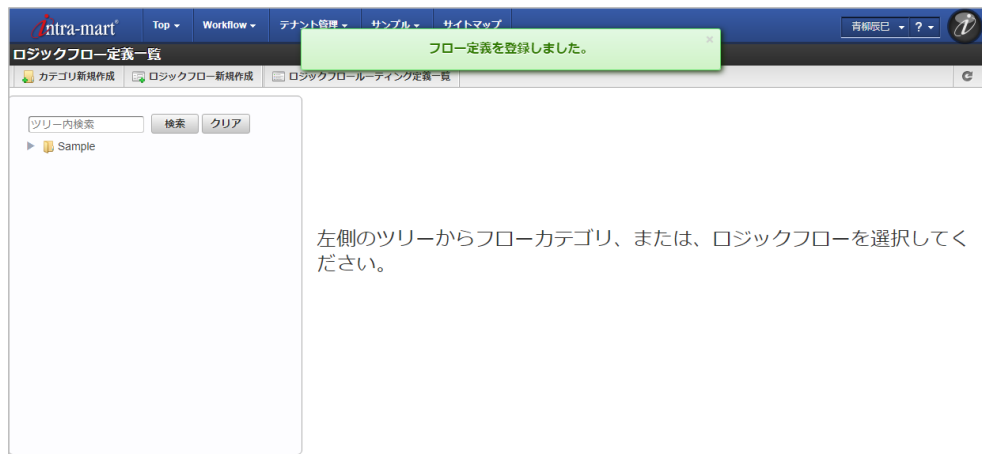
18. 「決定」をクリックします。

The screenshot shows the '新規保存' dialog box with a confirmation dialog overlaid. The confirmation dialog has the following text:

確認
? フロー定義を登録しますか?

The '決定' (Decision) button in the confirmation dialog is highlighted with a red box.

19. フロー定義を作成することができました。



ファイル連携の引数

ファイル連携機能の入力値は次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
ファイルID	fileLinkId	ファイルIDを指定します。 設定した場合、指定したファイルの改版を行います。 未設定の場合、ファイルを新規登録します。
処理会社コード	procCompanyCd	登録するファイルの会社コードを設定します。 (必須)
処理ユーザコード	procUserCd	登録するファイルの処理者を設定します。 (必須)
ファイル名	fileName	登録するファイルのファイル名を設定します。 (必須)
ファイル分類コード	fileCategoryCd	登録するファイルのファイル分類コードを設定します。 (必須)
ファイルデータ	fileData	登録するファイルをバイナリ形式で設定します。 (必須)

ファイル連携機能の出力値は次の通りです。

名称	キー	説明／設定値
処理結果	resultStatus	ファイルIDの処理結果を返却します。 <ul style="list-style-type: none"> ■ true : 処理成功 ■ false : 処理失敗
メッセージ	message	処理結果のメッセージを返却します。

リファレンス

ファイルの電子化申請を実施する方法

本項では、外部から取得したファイルの電子化申請をする方法を説明します。
電子化申請を実施すると、ファイルとファイルに紐づく情報を電子証憑管理システム向けに出力します。
また、電子化申請時に入力した内容を精算申請時に使用できます。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得
- ガジェットのエクスポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

電子化申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの電子化申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
ファイル分類マスタ	ファイルの分類情報を管理します。 電子化申請の対象にする場合、「書類データ」の「必要」にチェックしてください。

ファイルの取得

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。

機能	概要
ファイル設定	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。
ファイル連携	連携されたファイル情報を元にファイルを登録する機能です。 IM-LogicDesignerのタスクとして提供しています。

ガジェットの入ポート

電子化申請を実施する場合、以下のガジェットの入ポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』-「基本」-「設定の流れ」-「動作確認」-「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
electronizationDetail_v01.xml	電子化ファイル登録	○
searchRelationFile_v01.xml	連携ファイル検索（電子化申請用）	○

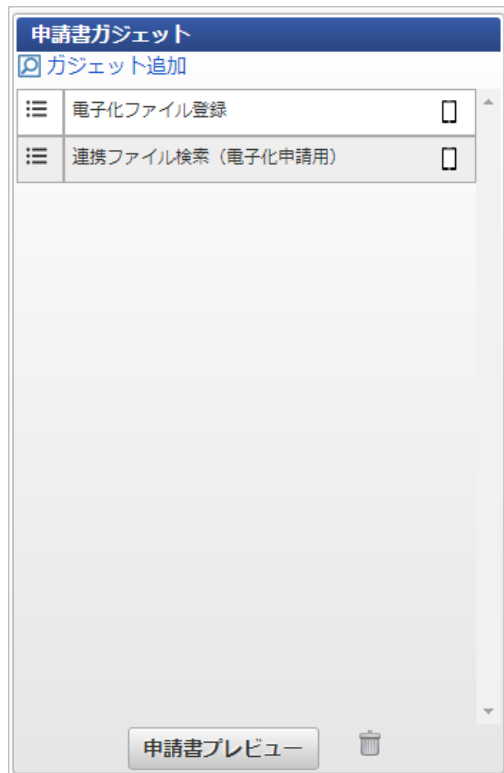
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際は、インポートしたガジェットを選択してください。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「電子化ファイル登録」、「連携ファイル検索（電子化申請用）」を選択してください。



2. 入力/表示設定で、対象の画面の設定の「確認」を入力に変更します。

電子化ファイル登録

▼ 入力/表示設定

(●:入力、○:表示)

	申請	一時保存	申請(起票案件)	再申請	処理	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(起票案件)(sp)	再申請(sp)	処理(sp)
電子化ファイル登録										
取引日	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
取引先名	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
摘要	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
金額	●	●	●	●	○	●	●	●	●	○
確認	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○



コラム

「確認」は、画面種別が「処理」以外の画面で入力が設定されていても入力できない項目です。



コラム

多段階承認する場合、「確認」は、一次の承認で入力する設定にしてください。

3. 必須/任意設定で、入力対象の画面の設定の「確認」を必須に変更します。

電子化ファイル登録

▼ 入力/表示設定

▼ 必須/任意設定

(●:必須、○:任意)

	申請	一時保存	申請(起票案件)	再申請	処理	申請(sp)	一時保存(sp)	申請(起票案件)(sp)	再申請(sp)	処理(sp)
電子化ファイル登録										
取引日	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
取引先名	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
請求書番号/領収書番号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
摘要	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
金額	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
確認	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

電子化申請入力情報を使用してKaiden!の精算を実施する

本項では、外部から取得したファイルの電子化申請後、Kaiden!の精算を実施する際の方法を説明します。

精算申請を実施すると、精算情報を電子証憑管理システム向けに出力します。

精算申請を実施するには、以下の手順が必要です。

- 関連マスタの設定
- ファイルの取得/電子化申請
- ガジェットの入ポート
- コンテンツ定義の作成
- ルート定義の作成
- フロー定義の作成

精算申請の実施準備手順

関連マスタの設定

外部から取得したファイルの精算申請を実施する場合、以下のマスタの設定が必要です。

マスタ	概要
ファイル分類マスタ	ファイルの分類情報を管理します。 精算申請の対象にする場合、「精算データ」の「必要」にチェックしてください。

ファイルの取得/電子化申請

外部からファイルを取得するために、以下の機能を用意しています。
また、精算申請は電子化申請が完了したファイルに対して行います。

機能	概要
ファイル設定	ファイルのアップロード・管理を実施する機能です。
ファイル連携	連携されたファイル情報を元にファイルを登録する機能です。 IM-LogicDesignerのタスクとして提供しています。

ガジェットの入ポート

精算申請を実施する場合、以下のガジェットのインポートが必要です。

ガジェットの定義ファイルは「%システムストレージ%/kaiden/generic/gadget」に格納しています。

『[intra-mart Accel Kaiden! GadgetBuilder 設定ガイド](#)』 - 「基本」 - 「設定の流れ」 - 「動作確認」 - 「GadgetBuilder定義インポート」を参照して実施してください。

ファイル名	ガジェット名	必須
searchRelationFile_v02.xml	連携ファイル検索（精算申請用）	<input type="radio"/>
expenseDetail_v05.xml	経費明細（連携）	
expenseDetail_v06.xml	経費明細（複数通貨, 連携）	
lodgeDetail_v05.xml	宿泊明細（連携）	
lodgeDetail_v06.xml	宿泊明細（複数通貨, 連携）	
routeDetail_v05.xml	旅程明細（連携）	
routeDetail_v06.xml	旅程明細（複数通貨, 連携）	

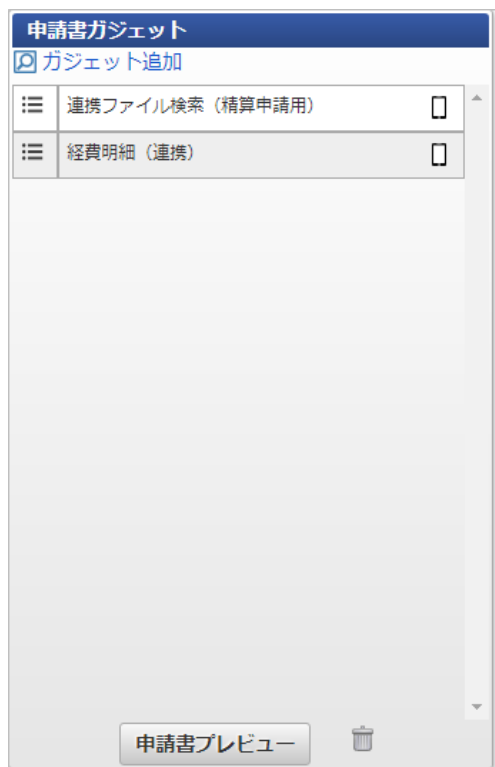
コンテンツ定義の作成

コンテンツ定義を作成する際の注意点を説明します。

コンテンツ定義の作成方法は、[コンテンツ定義](#)を参照してください。

コンテンツ定義を作成後、[ルート定義](#)、[フロー定義](#)を作成してください。

1. コンテンツ定義作成時、利用ガジェット設定で、「連携ファイル検索（精算申請用）」と連携用ガジェットを選択してください。



電子化申請時の出力ファイルの定義

本項では、電子証憑管理システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。
電子化申請の案件が承認で終了した場合、CSVファイルとPDFファイルが出力されます。

i コラム

一括承認などで承認され確認欄にチェックされない場合も、CSVファイル、PDFファイルが出力され、精算申請の対象となります。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

CSV出力ディレクトリ	kaiden/{COMPANY_CD}/relation_electronic_file/
CSVファイル名	{MATTER_NUMBER}_{YMDHMSN}.csv
PDFファイル出力ディレクトリ	kaiden/{COMPANY_CD}/relation_electronic_file/{MATTER_NUMBER}/{FILE_ID}/

i コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	取引日	tradingDate	yyyy/MM/dd形式

6	取引先	customerName	
7	請求書番号/領収書番号	slipNum	
8	摘要	summary	
9	取引通貨額	transAmount	
10	取引通貨コード	transCurrencyCd	
11	会社通貨額	companyAmount	
12	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
13	案件番号	matterNumber	
14	案件名	matterName	
15	申請権限者コード	authUserCd	
16	申請権限者名称	authUserName	
17	申請実行者コード	executeUserCd	
18	申請実行者名称	executeUserName	
19	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
20	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
21	受領者コード	receivedUserCd	
22	受領者名称	receivedUserName	
23	受領日時	receivedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
24	確認権限者コード	checkedAuthUserCd	
25	確認権限者名称	checkedAuthUserName	
26	確認実行者コード	checkedExecuteUserCd	
27	確認実行者名称	checkedExecuteUserName	
28	確認日時	checkedTs	yyyy/MM/dd HH24 : mm : ss形式
29	ファイルID	fileLinkId	
30	処理番号	procNo	

精算申請時の出力ファイルの定義

本項では、電子証憑管理システムに連携する出力ファイルの定義を説明します。
精算申請の案件が承認で終了した場合、CSVファイルが出力されます。

ファイル取得

出力ファイルを次の出力先から取得します。

- **出力先**
設定ファイルの設定により変化します。
以下は初期値の出力先です。

出力ディレクトリ kaiden/{COMPANY_CD}/relation_settle_file/

ファイル名 {MATTER_NUMBER}_{YMD}.csv



コラム

エクスポートファイルのダウンロード方法は、次のドキュメントを参照してください。

- 『システム管理者操作ガイド』
- 『テナント管理者操作ガイド』

データ形式

No(列)	項目名	ヘッダー	備考
-------	-----	------	----

1	システム案件ID	systemMatterId	
2	ユーザデータID	userDataId	
3	タプルID	tupleId	
4	行番号	rowNumber	
5	案件日付01	matterDate01	yyyy/MM/dd形式
6	案件日付02	matterDate02	yyyy/MM/dd形式
7	案件摘要01	matterNote01	
8	案件摘要02	matterNote02	
9	案件摘要03	matterNote03	
10	案件摘要04	matterNote04	
11	案件摘要05	matterNote05	
12	経費区分コード	expTypeCd	
13	勘定科目コード	accountCd	
14	税区分コード	taxTypeCd	
15	税率	taxRate	
16	数量	quantity	
17	取引通貨額	transAmount	
18	取引通貨コード	transCurrencyCd	
19	会社通貨額	companyAmount	
20	会社通貨換算レート	companyRate	
21	会社通貨コード	companyCurrencyCd	
22	会社通貨税抜額	companyAmountExcTax	
23	会社通貨税額	companyAmountTax	
24	会社通貨額合計	companyAmountSum	
25	支払分類コード	payTypeCd	
26	支払先コード	payMethodCd	
27	支払先名	payeeName	
28	組織セットコード	departmentSetCd	
29	組織コード	departmentCd	
30	プロジェクトコード	projectCd	
31	案件番号	matterNumber	
32	案件名	matterName	
33	申請権限者コード	authUserCd	
34	申請権限者名称	authUserName	
35	申請実行者コード	executeUserCd	
36	申請実行者名称	executeUserName	
37	申請基準日	applyBaseDate	yyyy/MM/dd形式
38	申請実行日	applyDate	yyyy/MM/dd形式
39	ファイルID	fileLinkId	
40	処理番号	procNo	

